


# 足立区高齢者等実態調査報告書

令和5年6月

 足 立 区



## 目次

第1章 調査概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の対象、調査期間.....	1
3 調査方法.....	1
4 回収状況.....	2
5 調査結果の表示方法.....	2
第2章 調査結果.....	3
1 介護予防・日常生活圏域ニーズに関する調査.....	3
（1）回答者の基本情報.....	3
（2）あなたのご家族や生活について.....	6
（3）運動・外出について.....	15
（4）食事について.....	23
（5）毎日の生活について.....	37
（6）社会参加について.....	47
（7）健康について.....	56
（8）健康と医療について.....	65
（9）買い物について.....	72
（10）日々の生活について.....	76
（11）将来の生活について.....	79
（12）介護サービスについて.....	90
（13）高齢者福祉サービスについて.....	92
2 高齢者単身世帯実態調査.....	117
（1）回答者の基本情報.....	117
（2）健康と医療について.....	125
（3）買い物や日常生活について.....	135
（4）社会参加や地域とのつながりについて.....	142
（5）今後の生活について.....	154
（6）介護保険サービスや足立区の事業について.....	161
3 要介護認定者に関する実態調査.....	173
（1）回答者の基本情報.....	173
（2）健康と医療について.....	182
（3）日常生活等について.....	191
（4）介護サービス等について.....	197
（5）今後の生活について.....	211
（6）介護者について.....	219
4 在宅介護の実態に関する調査.....	227

(1) 回答者の基本情報 .....	227
(2) 介護の状況について .....	231
(3) 介護者について .....	242
5 第2号被保険者調査 .....	247
(1) 回答者の基本情報 .....	247
(2) 就労について .....	250
(3) 健康や地域との関わりについて .....	254
(4) 区のサービス等について .....	262
(5) 今後の生活について .....	266
6 在宅サービス事業所調査 .....	269
(1) 事業所の基本情報 .....	269
(2) サービスの提供状況について .....	275
(3) 関係機関との連携やサービスの質の向上について .....	279
(4) 災害対応について .....	288
(5) 事業運営等について .....	294
7 居宅介護支援事業所調査 .....	313
(1) 事業所の基本情報 .....	313
(2) 災害対応について .....	329
(3) ケアプラン作成等について .....	335
(4) 権利擁護等について .....	353
(5) その他について .....	355
8 介護保険施設調査 .....	365
(1) 事業所の基本情報 .....	365
(2) サービスの提供状況について .....	370
(3) 事業運営等について .....	382
(4) 人材確保について .....	383
(5) 関係機関との連携やサービスの質の向上について .....	397
(6) 災害対応について .....	406
(7) 職員研修・その他について .....	411
9 有料老人ホーム・軽費老人ホーム施設調査 .....	415
(1) 事業所の基本情報 .....	415
(2) サービスの提供状況について .....	421
(3) 人材確保について .....	436
(4) 地域連携について .....	446
(5) 事業運営等について .....	447
(6) 災害対応について .....	455
(7) 職員研修・その他について .....	460
10 サービス付き高齢者向け住宅調査 .....	465
(1) 事業所の基本情報 .....	465
(2) サービスの提供状況について .....	468

( 3 ) 人材確保について .....	487
( 4 ) 職員研修・相談内容について .....	495
( 5 ) 災害対応について .....	501
( 6 ) 地域連携・その他について .....	505



## 第1章 調査概要

### 1 調査の目的

本調査は、足立区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画改定のための基礎資料として、各種実態調査を実施し、調査対象者の意向・要望、現状を把握することを目的とする。

### 2 調査の対象、調査期間

	調査票	対象者	実施期間
区民対象調査	1 介護予防・日常生活圏域ニーズに関する調査	65歳以上の一般高齢者、及び要支援認定者	令和4年 11月10日 ～ 令和4年 12月1日
	2 高齢者単身世帯実態調査	75歳以上の単身高齢者	
	3 要介護認定者に関する実態調査	要介護 1～5 の認定者	
	4 在宅介護の実態に関する調査	在宅生活中の要支援・要介護認定者 (期間中に認定の更新を行った者)	令和4年9月 ～ 令和4年11月
	5 第2号被保険者調査	55歳～64歳の第2号被保険者	令和4年 11月10日 ～ 令和4年 12月1日
事業所対象調査	6 在宅サービス事業所調査	在宅サービス提供事業者	令和4年 11月10日 ～ 令和4年 12月1日
	7 居宅介護支援事業所調査	居宅介護支援事業所	
	8 介護保険施設調査	介護保険施設	
	9 有料老人ホーム・軽費老人ホーム施設調査	有料老人ホーム・軽費老人ホーム施設	
	10 サービス付き高齢者向け住宅調査	サービス付き高齢者向け住宅	

### 3 調査方法

以下の調査以外は、郵送による配布・回収。

- ・ 4 在宅介護の実態に関する調査のみ聞き取り調査
- ・ 5 第2号被保険者調査は郵送による配布・WEB回収

#### 4 回収状況

	調査票	発送数	回収数	有効票	回収率
区民対象調査	1 介護予防・日常生活圏域 ニーズに関する調査	7,500	4,196	4,196	55.9%
	2 高齢者単身世帯実態調査	2,500	1,485	1,484	59.4%
	3 要介護認定者に関する実態調査	5,000	2,442	2,440	48.8%
	4 在宅介護の実態に関する調査	852	683	679	80.2%
	5 第2号被保険者調査	1,400	424	424	30.3%
事業所対象調査	6 在宅サービス事業所調査	758	449	449	59.2%
	7 居宅介護支援事業所調査	193	142	142	73.6%
	8 介護保険施設調査	45	34	34	75.6%
	9 有料老人ホーム・軽費老人 ホーム施設調査	58	31	31	53.4%
	10 サービス付き高齢者向け 住宅調査	37	22	22	59.5%

#### 5 調査結果の表示方法

- ① 回答は各質問の回答者数（n）を基礎とした百分率（%）で示している。
- ② 小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合もある。
- ③ 複数回答の場合、回答者が全体に対してどれくらいの比率であるかを示すため、合計が100.0%を超える場合がある。
- ④ クロス集計の分析軸の項目では基本属性が不明だった「無回答」の方は除いて表示している。従って、分析軸に表示している各項目の回答数合計は、全体の回答数と一致しない。  
(例：地区が無回答の場合、クロス集計の分析軸には北西、北東、南西、南東、千住のみ表示)
- ⑤ 図表として示したもののうち、質問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化してある場合がある。
- ⑥ 表形式で示した数値で、全体から±5ポイント差がある場合は、下線を引いている。



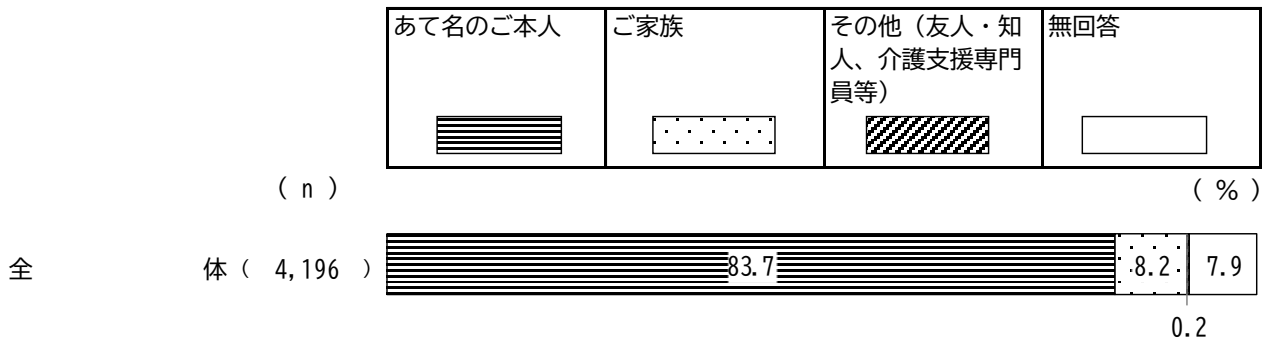
## 第2章 調査結果

### 1 介護予防・日常生活圏域ニーズに関する調査

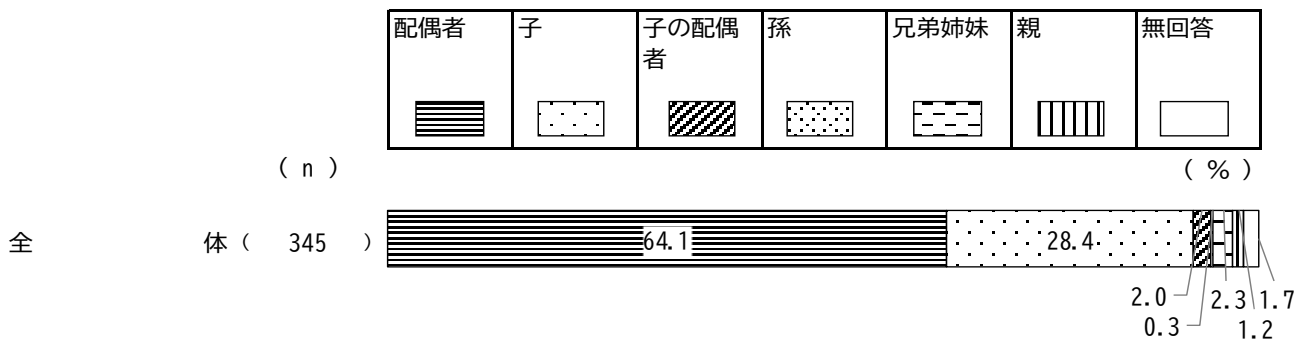
#### (1) 回答者の基本情報

この調査票を記入されたのはどなたですか（1つに○）。

回答者は、「あて名のご本人」が83.7%と最も高く、「ご家族」が8.2%、「その他（友人・知人、介護支援専門員等）」が0.2%となっている。

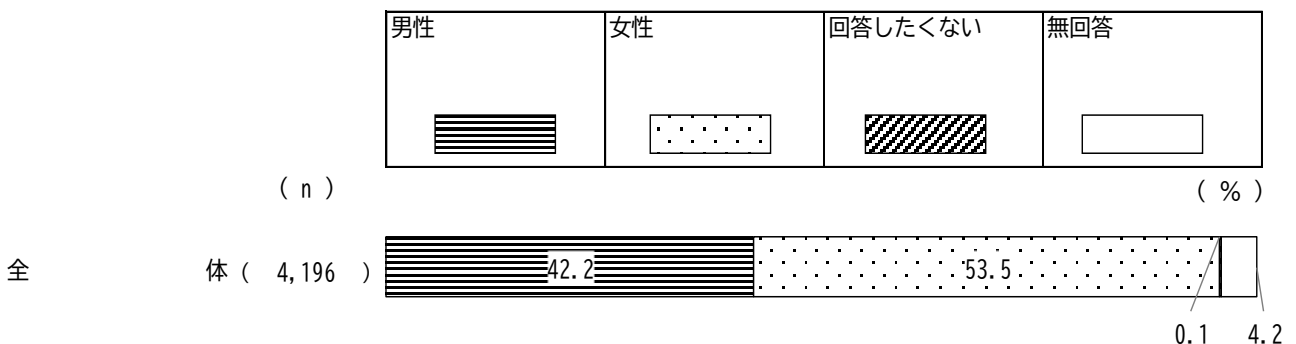


「ご家族」と回答した方の内訳をみると、「配偶者」が64.1%と最も高く、「子」が28.4%、「兄弟姉妹」が2.3%、「子の配偶者」が2.0%、「親」が1.2%、「孫」が0.3%となっている。



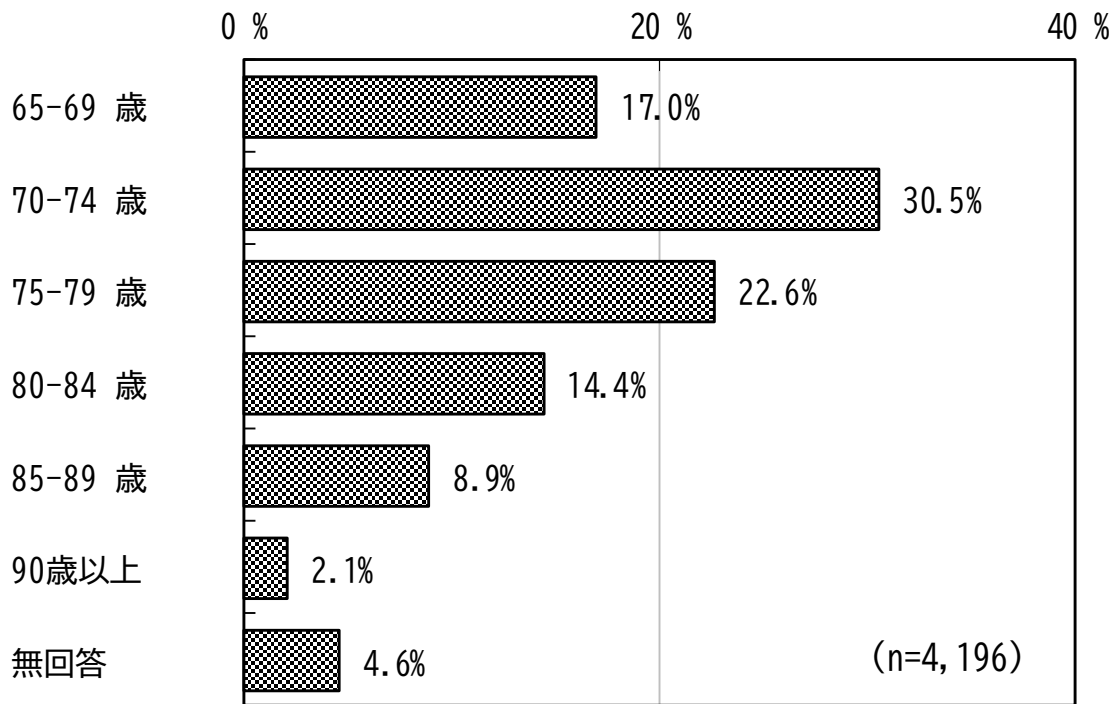
問1 あなたの性別をお聞きします（1つに○）。

性別は、「男性」が42.2%、「女性」が53.5%、「回答したくない」が0.1%となっている。



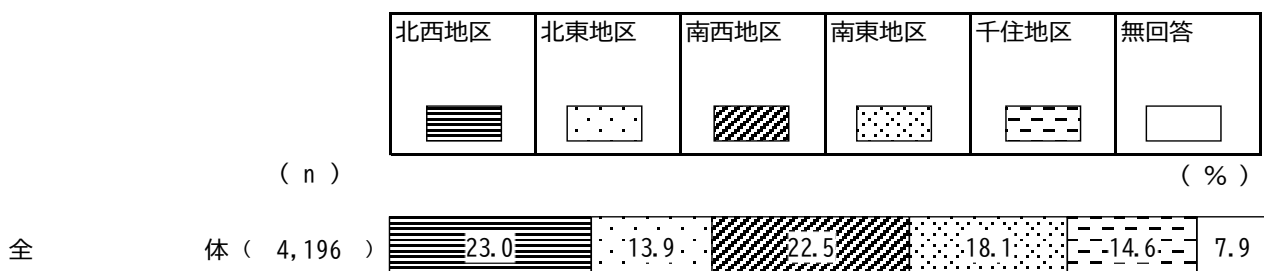
問1-2 あなたの年齢をお聞きします（数字を記入）。

年齢は、「70-74 歳」が 30.5%と最も高く、「75-79 歳」が 22.6%、「65-69 歳」が 17.0%、「80-84 歳」が 14.4%、「85-89 歳」が 8.9%、「90 歳以上」が 2.1%となっている。



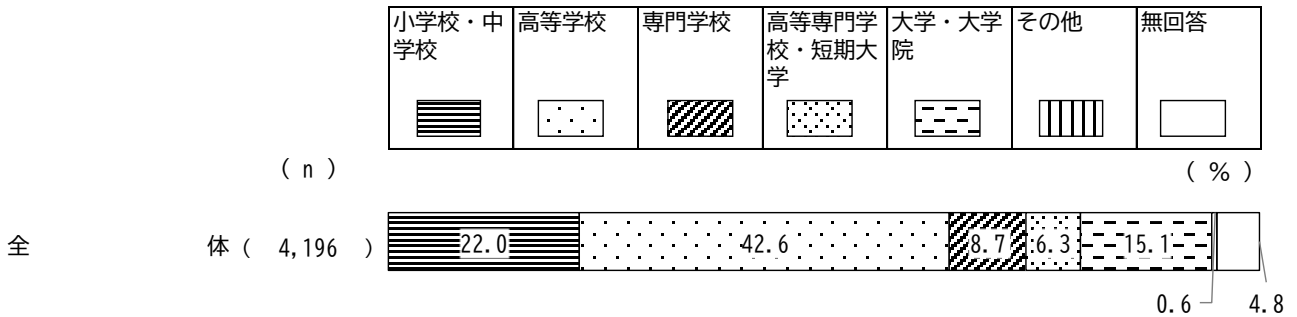
問2 お住まいの住所を「別紙：住所地一覧」の番号を記載してください。

日常生活圏域でみると、「北西地区」が 23.0%と最も高く、「南西地区」が 22.5%、「南東地区」が 18.1%、「千住地区」が 14.6%、「北東地区」が 13.9%となっている。



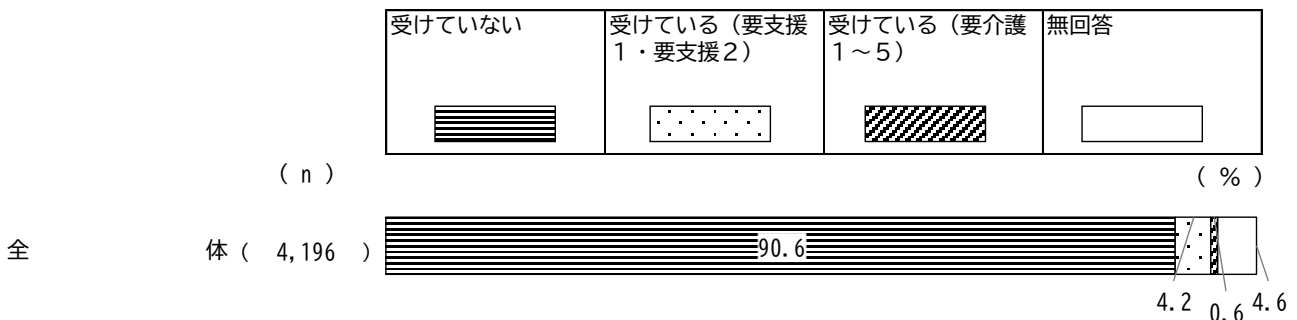
問3 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどれですか（1つに○）。

最後に卒業した学校について、「高等学校」が42.6%と最も高く、「小学校・中学校」が22.0%、「大学・大学院」が15.1%、「専門学校」が8.7%、「高等専門学校・短期大学」が6.3%となっている。



問4 あなたは現在、要介護認定を受けていますか（1つに○）。

要介護認定について、「受けていない」が90.6%と最も高く、「受けている（要支援1・要支援2）」が4.2%、「受けている（要介護1～5）」が0.6%となっている。



(2) あなたのご家族や生活について

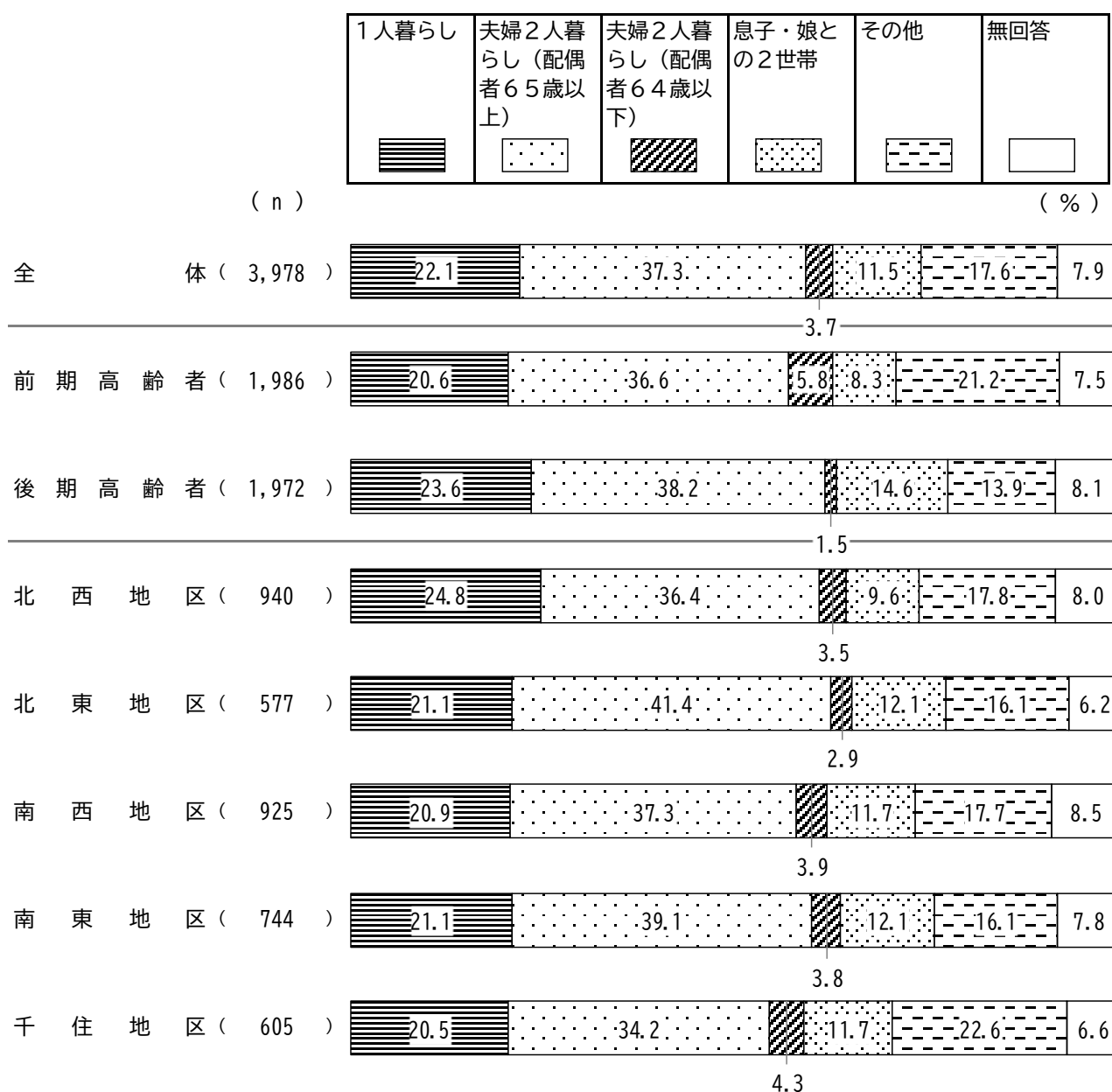
問5 あなたのご家族や生活状況について

問5 (1) 家族構成をお教えてください (1つに○)。

家族構成について、足立区全体では、「夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)」が37.3%と最も高く、「1人暮らし」が22.1%、「息子・娘との2世帯」が11.5%、「夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)」が3.7%となっている。

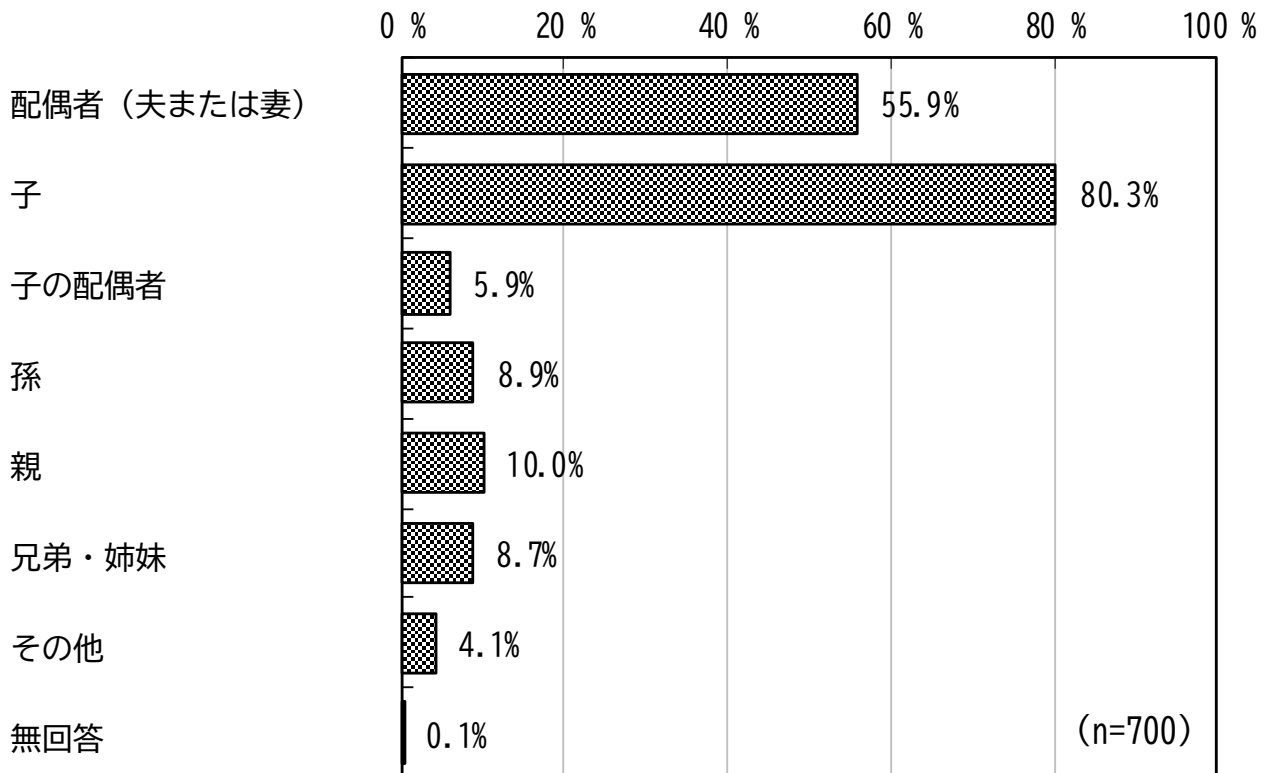
前期・後期別にみると、「息子・娘との2世帯」では、後期高齢者が14.6%と高く、前期高齢者が8.3%と低くなっている。

日常生活圏域別にみると、「夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)」では、北東地区が41.4%と高く、千住地区が34.2%と低くなっている。



## 問5 (1-1) あなたと一緒に住まいのご家族はどなたですか (いくつでも○)。

家族構成で「その他」と回答した方の同居している家族について、「子」が80.3%と最も高く、「配偶者 (夫または妻)」が55.9%、「親」が10.0%、「孫」が8.9%、「兄弟・姉妹」が8.7%、「子の配偶者」が5.9%となっている。

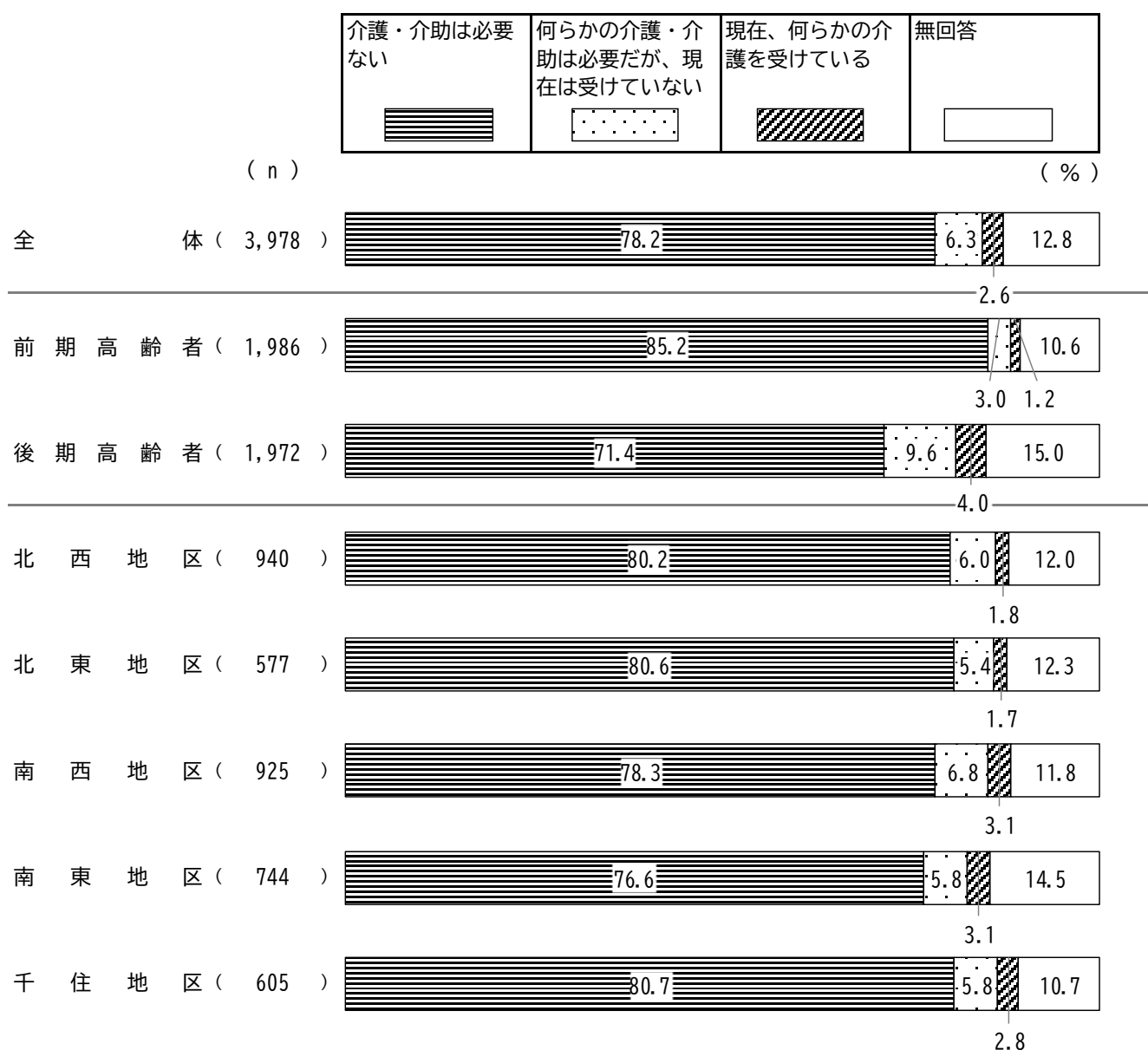


問5 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (1つに○)。

普段の生活での介護・介助について、足立区全体では、「介護・介助は必要ない」が78.2%と最も高く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.3%、「現在、何らかの介護を受けている」が2.6%となっている。

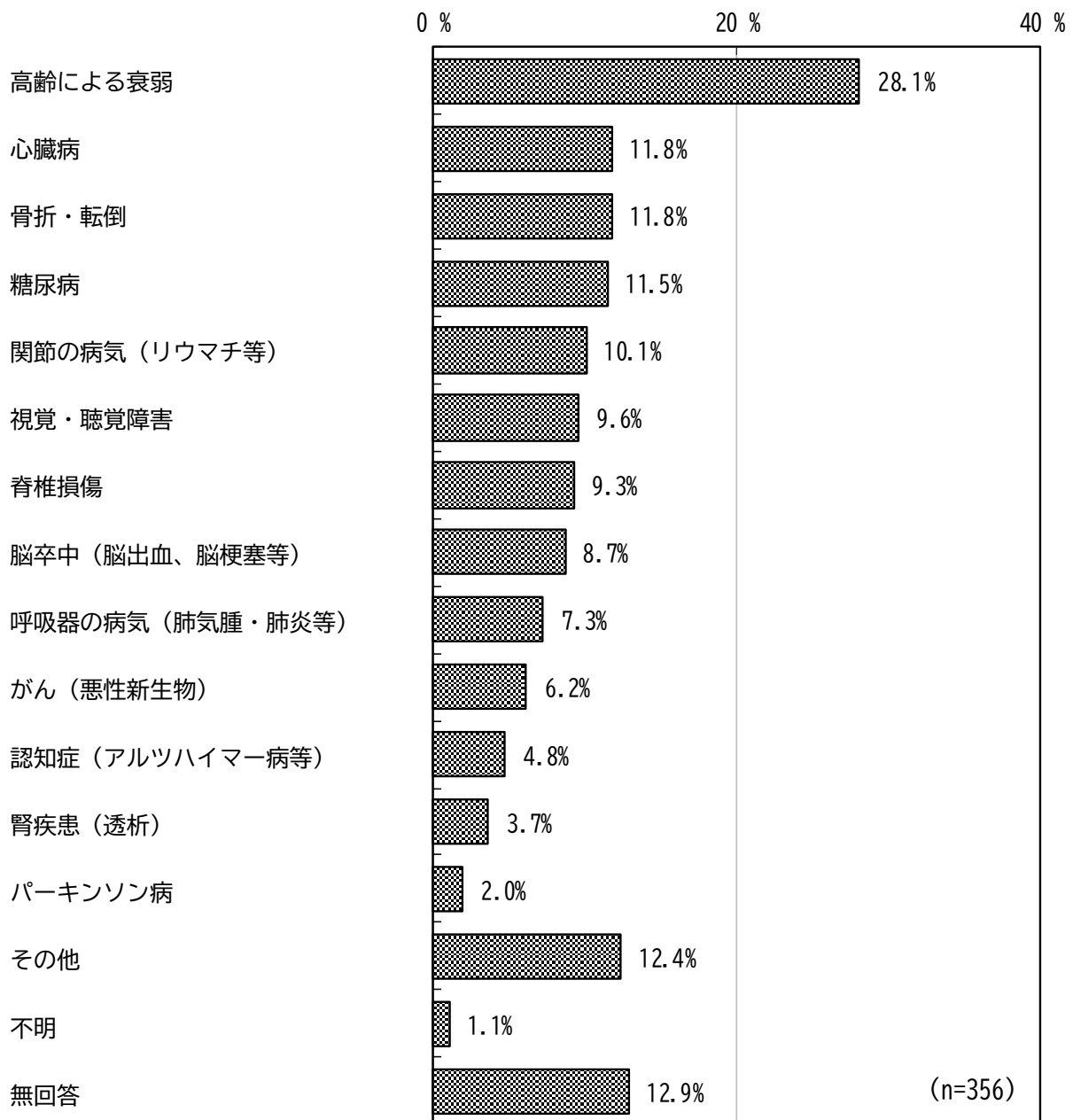
前期・後期別でみると、「介護・介助は必要ない」では、前期高齢者が85.2%と高く、後期高齢者では71.4%と低くなっている。

日常生活圏域別にみると、「介護・介助は必要ない」では、千住地区が80.7%と高く、南東地区では76.6%と低くなっている。



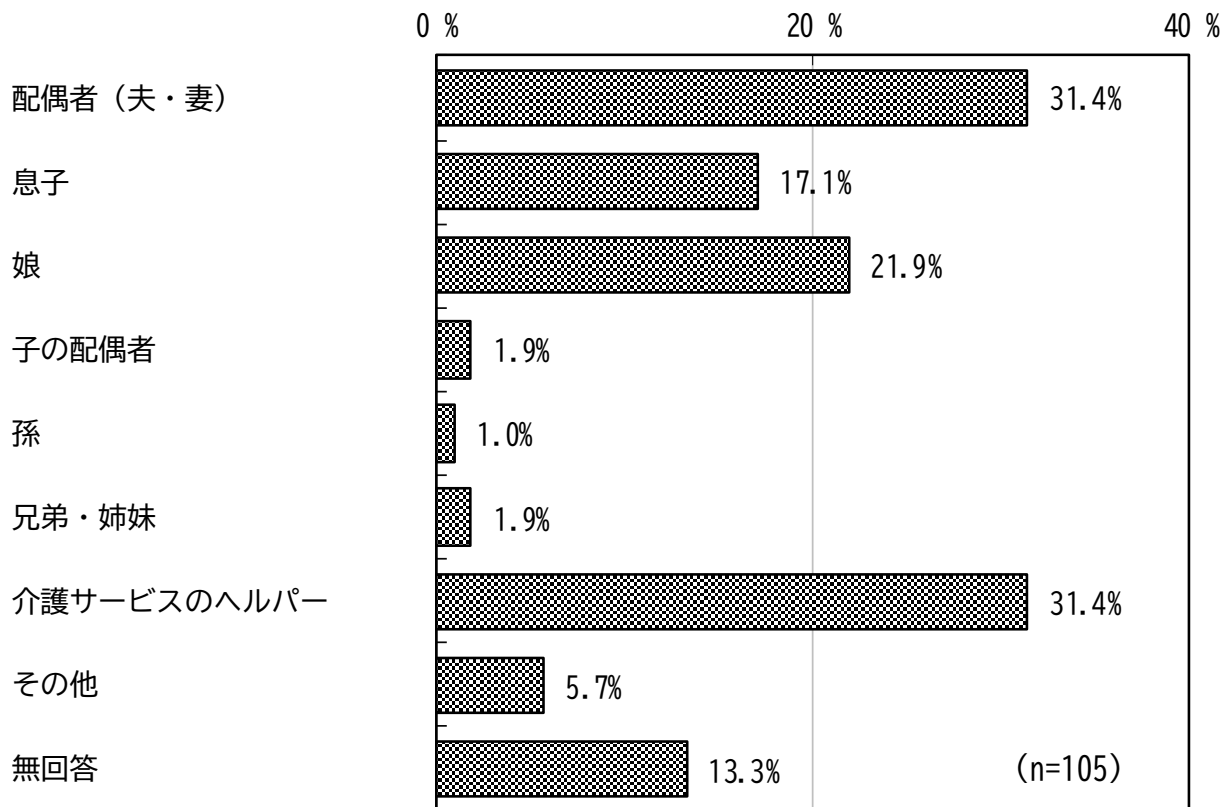
## 問5 (2-1) 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (いくつでも○)。

「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方の、介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が28.1%と最も高く、「心臓病」「骨折・転倒」が11.8%、「糖尿病」が11.5%、「関節の病気(リウマチ等)」が10.1%、「視覚・聴覚障害」が9.6%、「脊椎損傷」が9.3%、「脳卒中(脳出血、脳梗塞等)」が8.7%、「呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)」が7.3%、「がん(悪性新生物)」が6.2%、「認知症(アルツハイマー病等)」が4.8%、「腎疾患(透析)」が3.7%、「パーキンソン病」が2.0%となっている。また「不明」が1.1%となっている。



問5 (2-2) 主にどなたから介護、介助を受けていますか (いくつでも○)。

「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方の、主に介護、介助している方について、「配偶者(夫・妻)」「介護サービスのヘルパー」が31.4%と最も高く、「娘」が21.9%、「息子」が17.1%、「子の配偶者」「兄弟・姉妹」が1.9%、「孫」が1.0%となっている。





## 問5 (3) あなたの現在の年間の収入はどの程度ですか (1つに○)。

現在の年収について、足立区全体では、「200～400万円未満」が23.1%と最も高く、「50～100万円未満」が21.2%、「150～200万円未満」が17.7%、「100～150万円未満」が14.7%、「50万円未満」が8.3%、「400～700万円未満」が5.4%、「700～1,000万円未満」が1.7%、「1,000万円以上」が1.4%となっている。

前期・後期別にみると、前期高齢者では「200～400万円未満」が27.3%、後期高齢者では「50～100万円未満」が23.5%と最も高い。

日常生活圏域別にみると、北西地区では「50～100万円未満」が22.3%、北東地区では「50～100万円未満」が20.6%、南西地区では「200～400万円未満」が24.0%、南東地区では「200～400万円未満」が25.1%、千住地区では「200～400万円未満」が26.8%と最も高い。

(%)

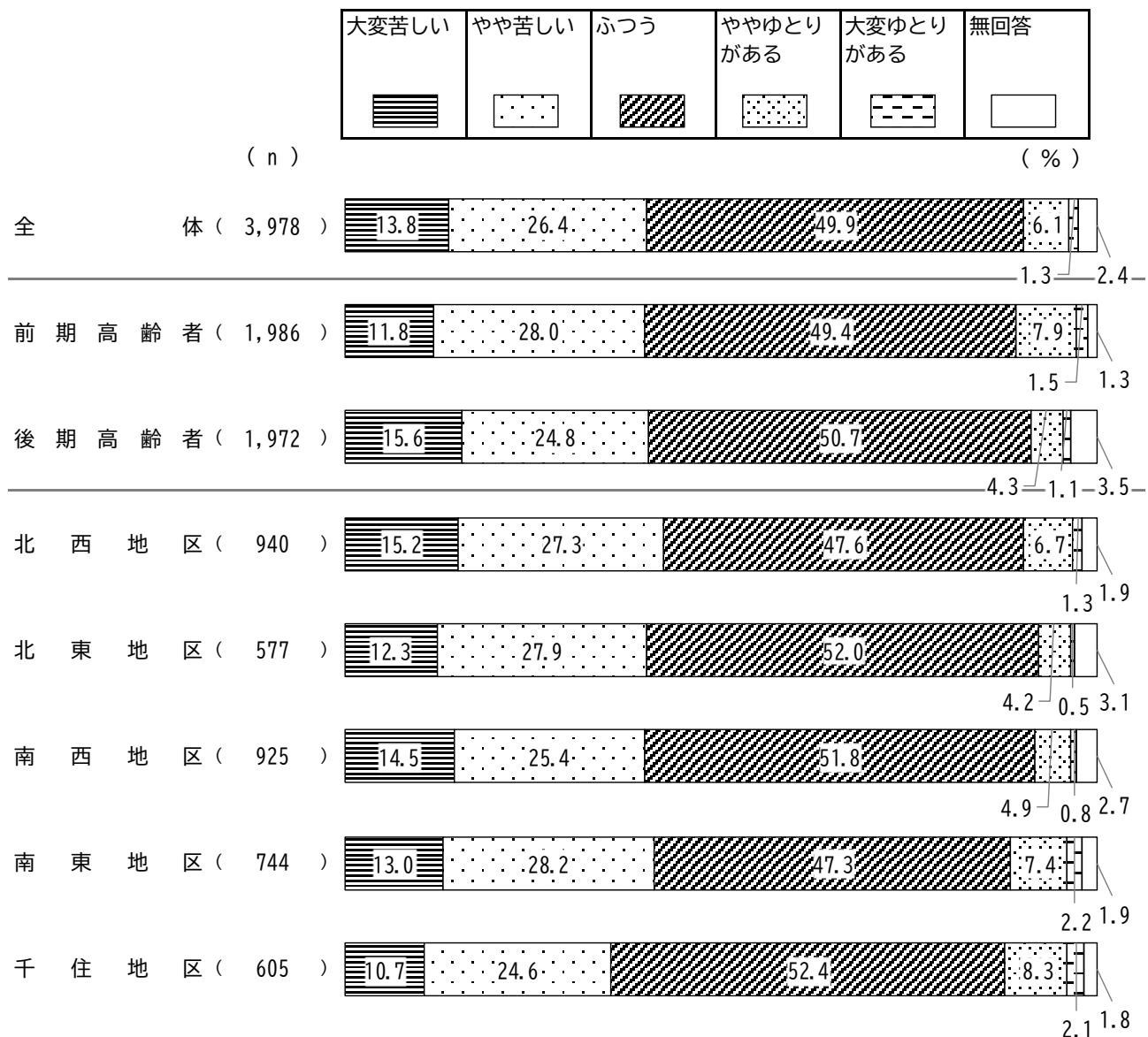
		調査数	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～400万円未満	400～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全体		3,978	8.3	21.2	14.7	17.7	23.1	5.4	1.7	1.4	6.5
年齢	前期高齢者	1,986	7.6	19.0	13.7	17.5	27.3	7.6	1.8	1.7	3.8
	後期高齢者	1,972	9.0	23.5	15.8	18.0	18.9	3.3	1.5	1.2	8.8
日常生活圏域	北西地区	940	7.4	22.3	16.0	17.8	22.2	5.2	1.9	1.3	5.9
	北東地区	577	10.6	20.6	15.8	18.4	19.9	5.2	0.5	1.6	7.5
	南西地区	925	8.4	23.0	14.9	17.2	24.0	5.2	0.8	1.2	5.3
	南東地区	744	8.1	19.9	12.6	18.3	25.1	6.0	1.5	2.0	6.5
	千住地区	605	6.8	19.3	13.6	17.0	26.8	6.8	4.1	1.3	4.3

問5 (4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (1つに○)。

現在の暮らしの経済的な状況について、足立区全体では、「ふつう」が49.9%と最も高く、「やや苦しい」が26.4%、「大変苦しい」が13.8%、「ややゆとりがある」が6.1%、「大変ゆとりがある」が1.3%となっている。

前期・後期別で見ると、「ふつう」では、大きな差がみられない。

日常生活圏域別にみると、「ふつう」では、千住地区が52.4%と高く、南東地区が47.3%と低くなっている。

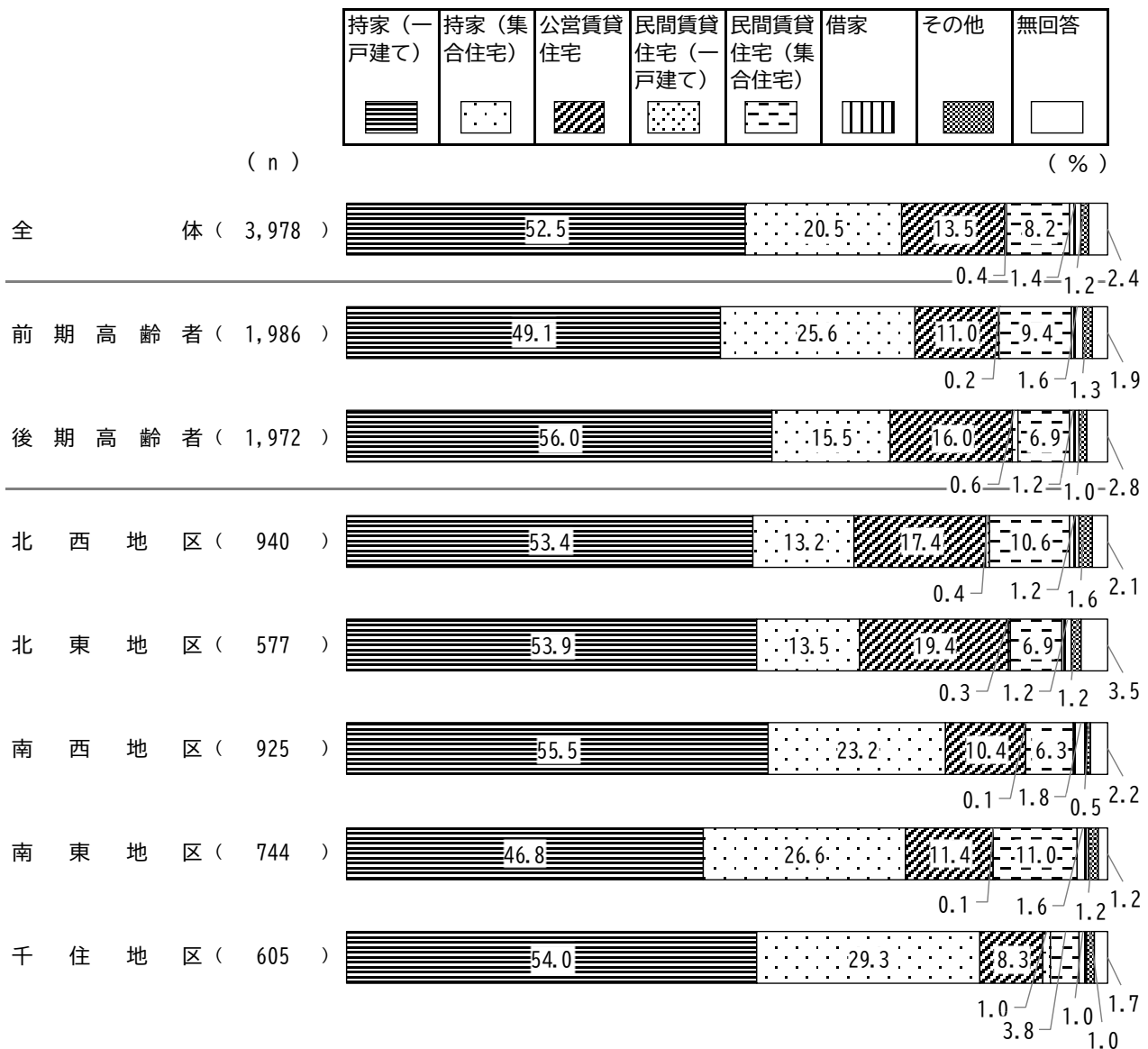


問5 (5) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (1つに○)。

現在の住まいについて、足立区全体では、「持家 (一戸建て)」が 52.5%と最も高く、「持家 (集合住宅)」が 20.5%、「公営賃貸住宅」が 13.5%、「民間賃貸住宅 (集合住宅)」が 8.2%、「借家」が 1.4%、「民間賃貸住宅 (一戸建て)」が 0.4%となっている。

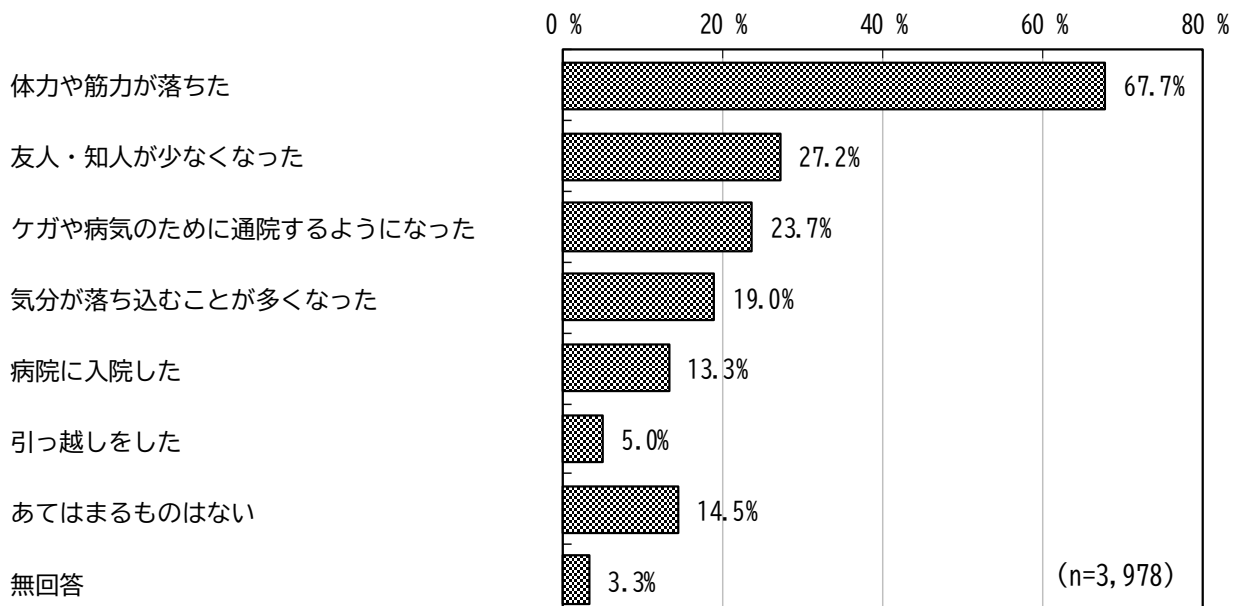
前期・後期別で見ると、「持家 (一戸建て)」では、後期高齢者が 56.0%と高く、前期高齢者が 49.1%と低くなっている。

日常生活圏域別にみると、「持家 (一戸建て)」では、南西地区が 55.5%と高く、南東地区が 46.8%と低くなっている。



問5(6) 3年前の2019年と比べて、あなたの生活状況におきた変化としてあてはまるものをお答えください(あてはまるものすべてに○)。

3年前と比べた生活状況におきた変化について、「体力や筋力が落ちた」が67.7%と最も高く、「友人・知人が少なくなった」が27.2%、「ケガや病気のために通院するようになった」が23.7%、「気分が落ち込むことが多くなった」が19.0%、「あてはまるものはない」が14.5%、「病院に入院した」が13.3%、「引っ越しをした」が5.0%となっている。



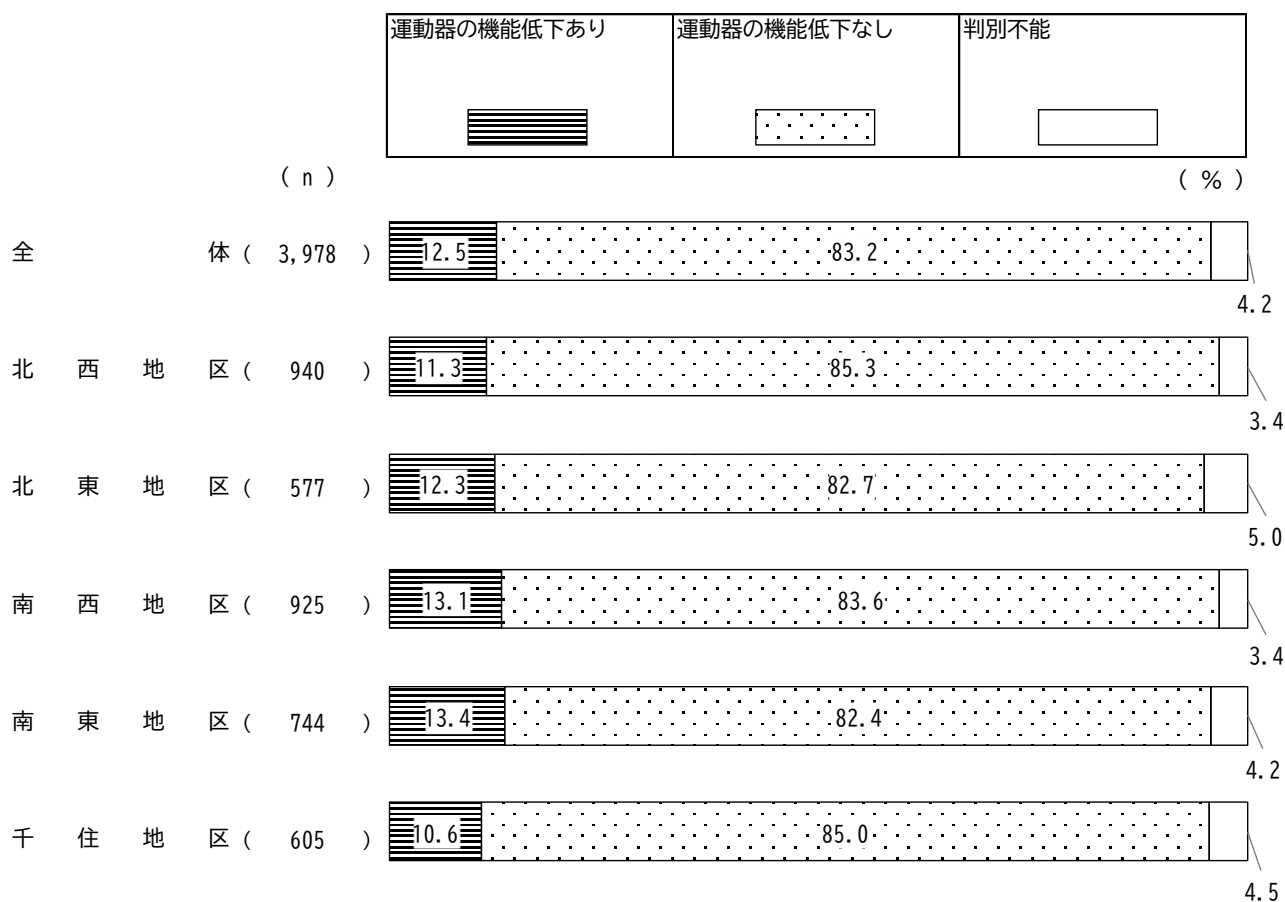
## (3) 運動・外出について

## 問6 からだを動かすことについて

## ① 運動器の機能低下

運動器の機能低下について、足立区全体では、「運動器の機能低下あり」が12.5%、「運動器の機能低下なし」が83.2%となっている。

日常生活圏域別にみると、「運動器の機能低下あり」では、南東地区が13.4%と高く、千住地区が10.6%と低くなっている。



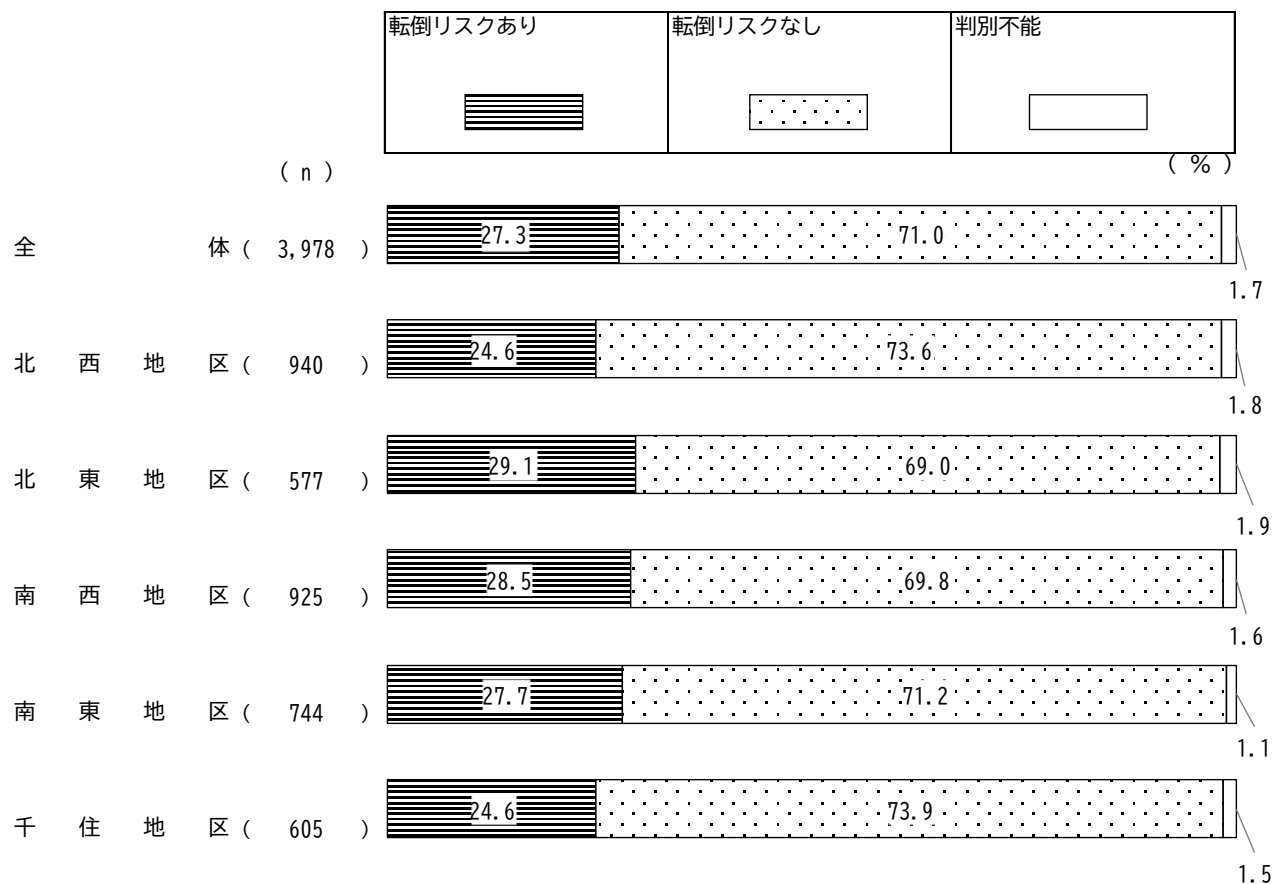
なお、上記の判断基準は、下記の設問の該当状況による。

リスクの区分	設問	質問項目	該当する選択肢	リスク該当者
運動器の機能低下	問6(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか(1つに○)。	3. できない	3つ以上の設問に該当
	問6(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか(1つに○)。	3. できない	
	問6(3)	15分位続けて歩いていますか(1つに○)。	3. できない	
	問6(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか(1つに○)。	1. 何度もある 2. 1度ある	
	問6(5)	転倒に対する不安は大きいですか(1つに○)。	1. とても不安である 2. やや不安である	

② 転倒リスク

転倒リスクについて、足立区全体では、「転倒リスクあり」が27.3%、「転倒リスクなし」が71.0%となっている。

日常生活圏域別にみると、「転倒リスクあり」では、北東地区が29.1%と高く、北西地区、千住地区が24.6%と低くなっている。



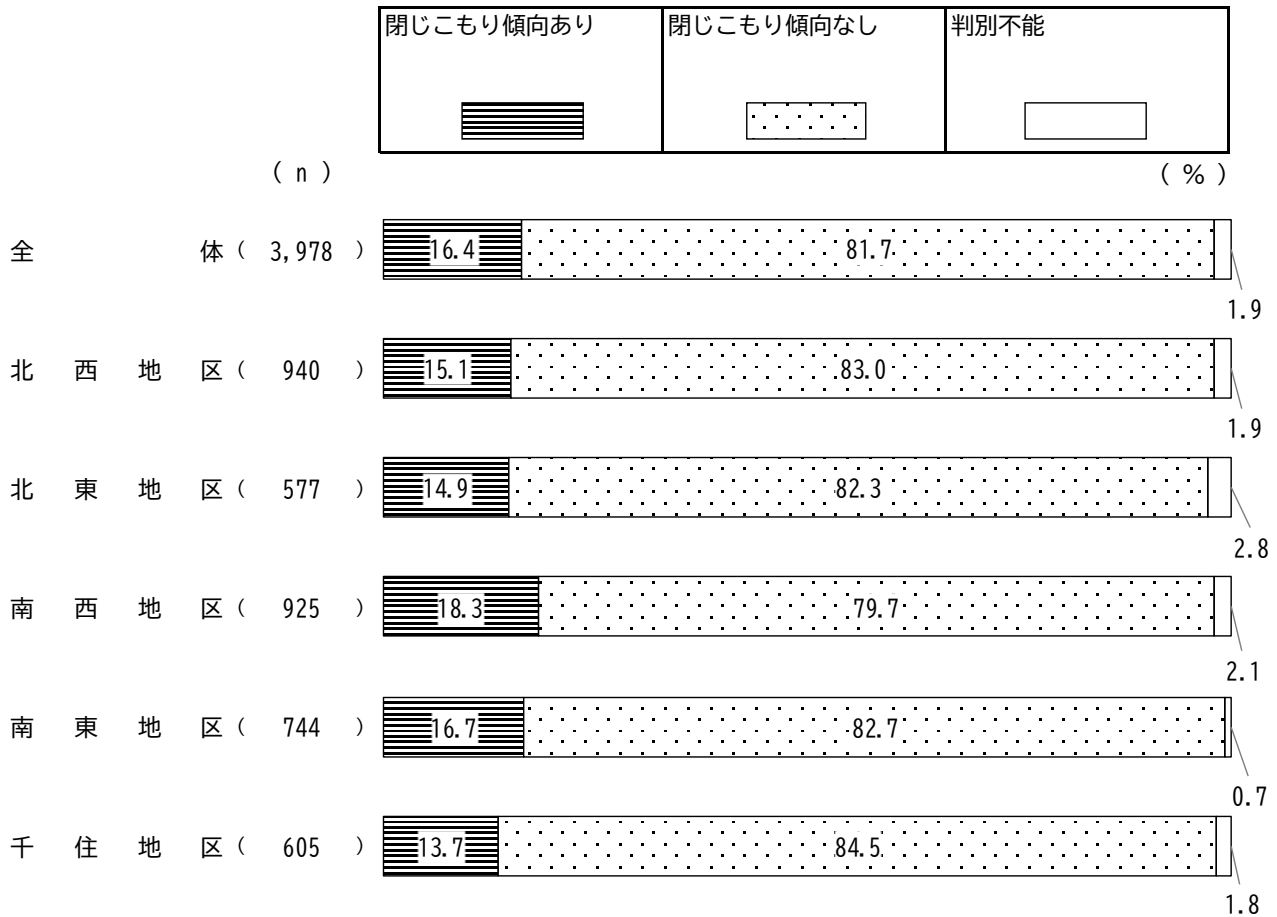
なお、上記の判断基準は、下記の設問の該当状況による。

リスクの区分	設問	質問項目	該当する選択肢	リスク該当者
転倒リスク	問6(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか(1つに○)。	1. 何度もある 2. 1度ある	1つの設問に該当

③ 閉じこもりリスク

閉じこもりリスクについて、足立区全体では、「閉じこもり傾向あり」が16.4%、「閉じこもり傾向なし」が81.7%となっている。

日常生活圏域別にみると、「閉じこもり傾向あり」では、南西地区が18.3%と高く、千住地区が13.7%と低くなっている。



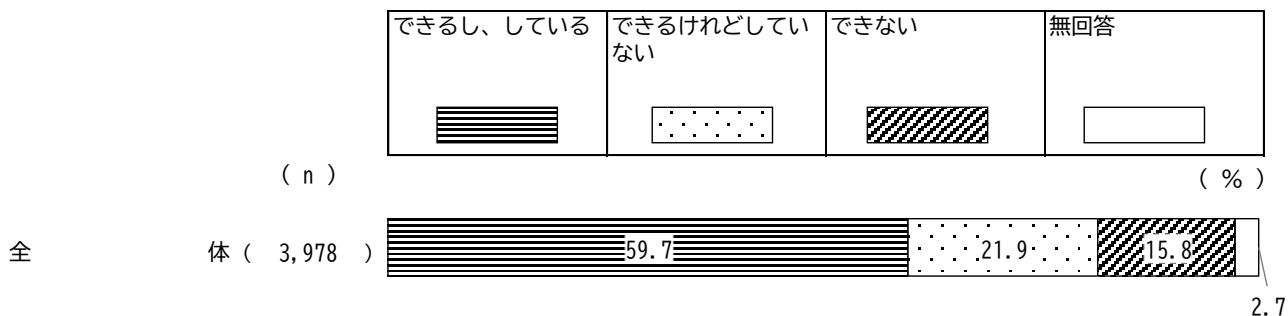
なお、上記の判断基準は、下記の設問の該当状況による。

リスクの区分	設問	質問項目	該当する選択肢	リスク該当者
閉じこもり傾向	問6(6)	週に1回以上は外出していますか(1つに○)。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回	1つの設問に該当

また、前頁に関連する設問の回答状況は下記のとおりです。

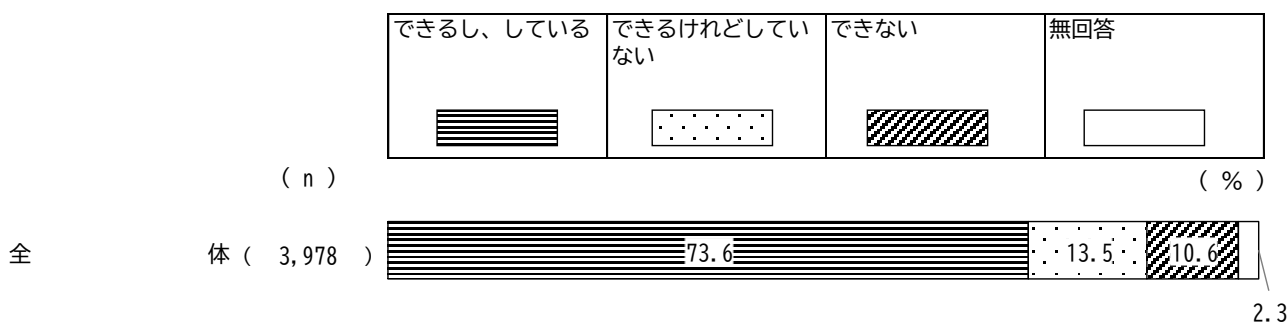
問6 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (1つに○)。

階段を手すりや壁をつたわずに昇ることについて、「できるし、している」が59.7%と最も高く、「できるけれどしていない」が21.9%、「できない」が15.8%となっている。



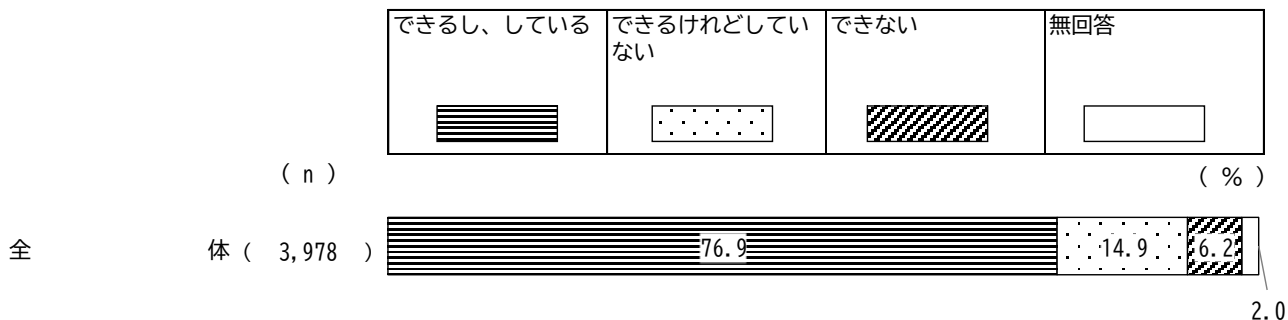
問6 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (1つに○)。

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることについて、「できるし、している」が73.6%と最も高く、「できるけれどしていない」が13.5%、「できない」が10.6%となっている。



問6 (3) 15分位続けて歩いていますか (1つに○)。

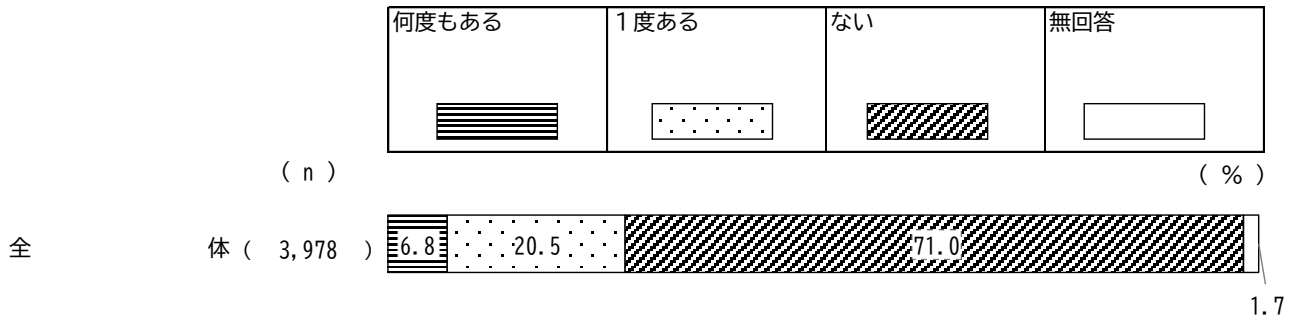
15分位続けて歩くことについて、「できるし、している」が76.9%と最も高く、「できるけれどしていない」が14.9%、「できない」が6.2%となっている。





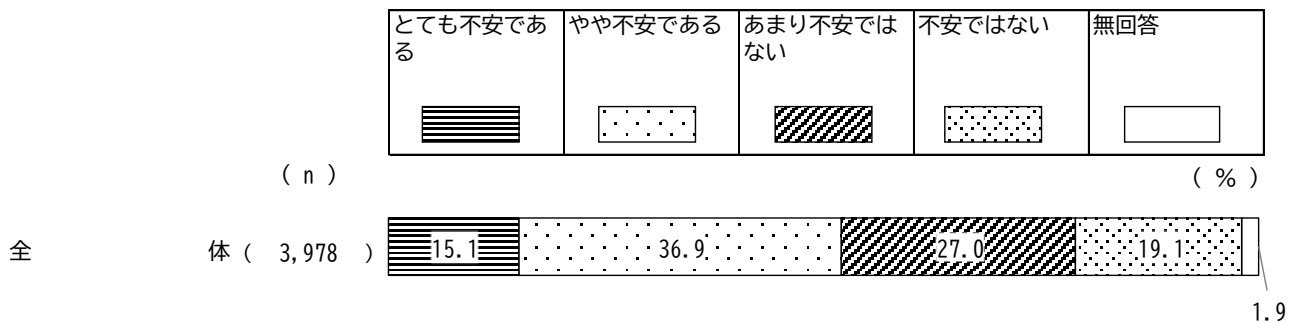
## 問6 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (1つに○)。

過去1年間に転んだ経験について、「ない」が71.0%と最も高く、「1度ある」が20.5%、「何度もある」が6.8%となっている。



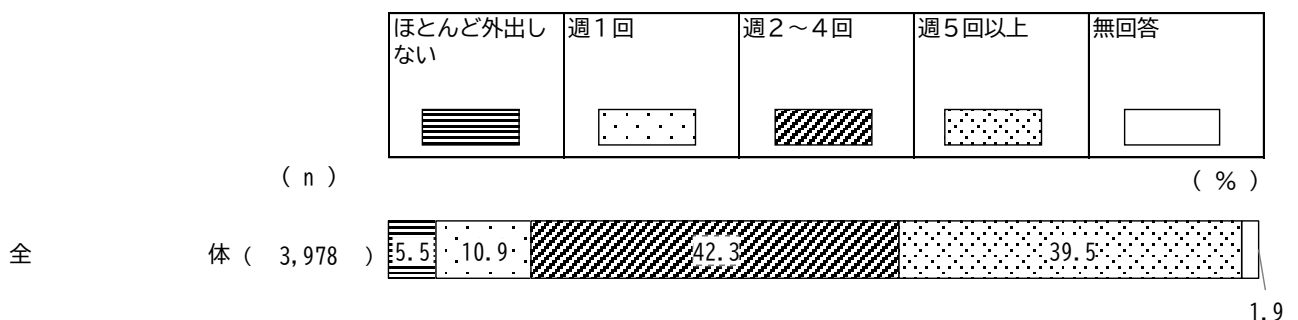
## 問6 (5) 転倒に対する不安は大きいですか (1つに○)。

転倒に対する不安について、「やや不安である」が36.9%と最も高く、「あまり不安ではない」が27.0%、「不安ではない」が19.1%、「とても不安である」が15.1%となっている。



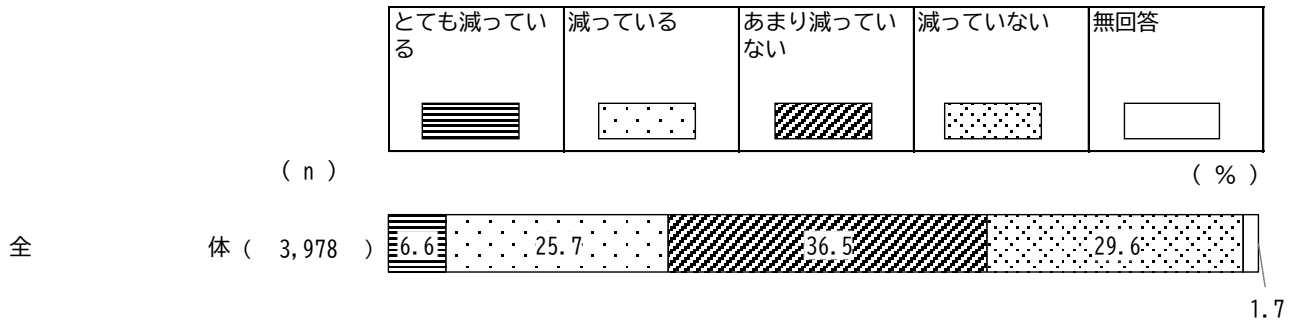
## 問6 (6) 週に1回以上は外出していますか (1つに○)。

外出の頻度について、「週2～4回」が42.3%と最も高く、「週5回以上」が39.5%、「週1回」が10.9%、「ほとんど外出しない」が5.5%となっている。



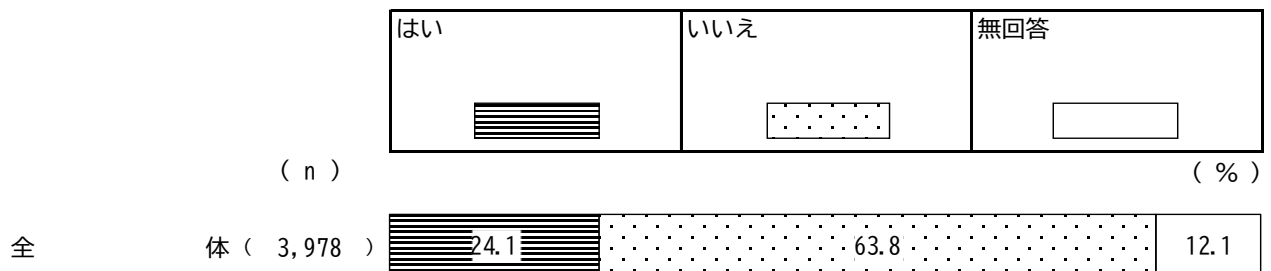
問6 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (1つに○)。

昨年と比べて外出の回数について、「あまり減っていない」が36.5%と最も高く、「減っていない」が29.6%、「減っている」が25.7%、「とても減っている」が6.6%となっている。



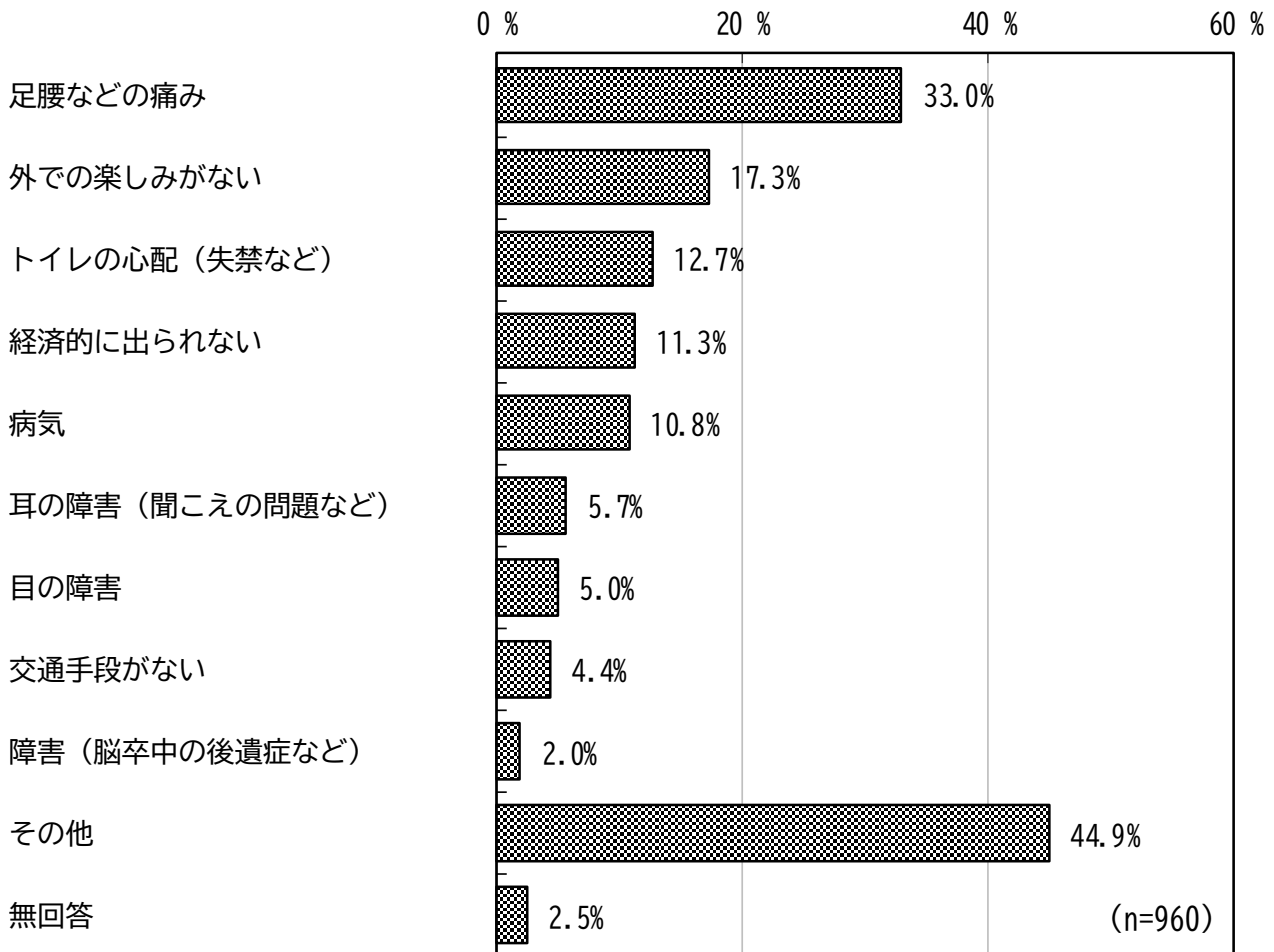
問6 (8) 外出を控えていますか (1つに○)。

外出を控えているかについて、「はい」が24.1%、「いいえ」が63.8%となっている。



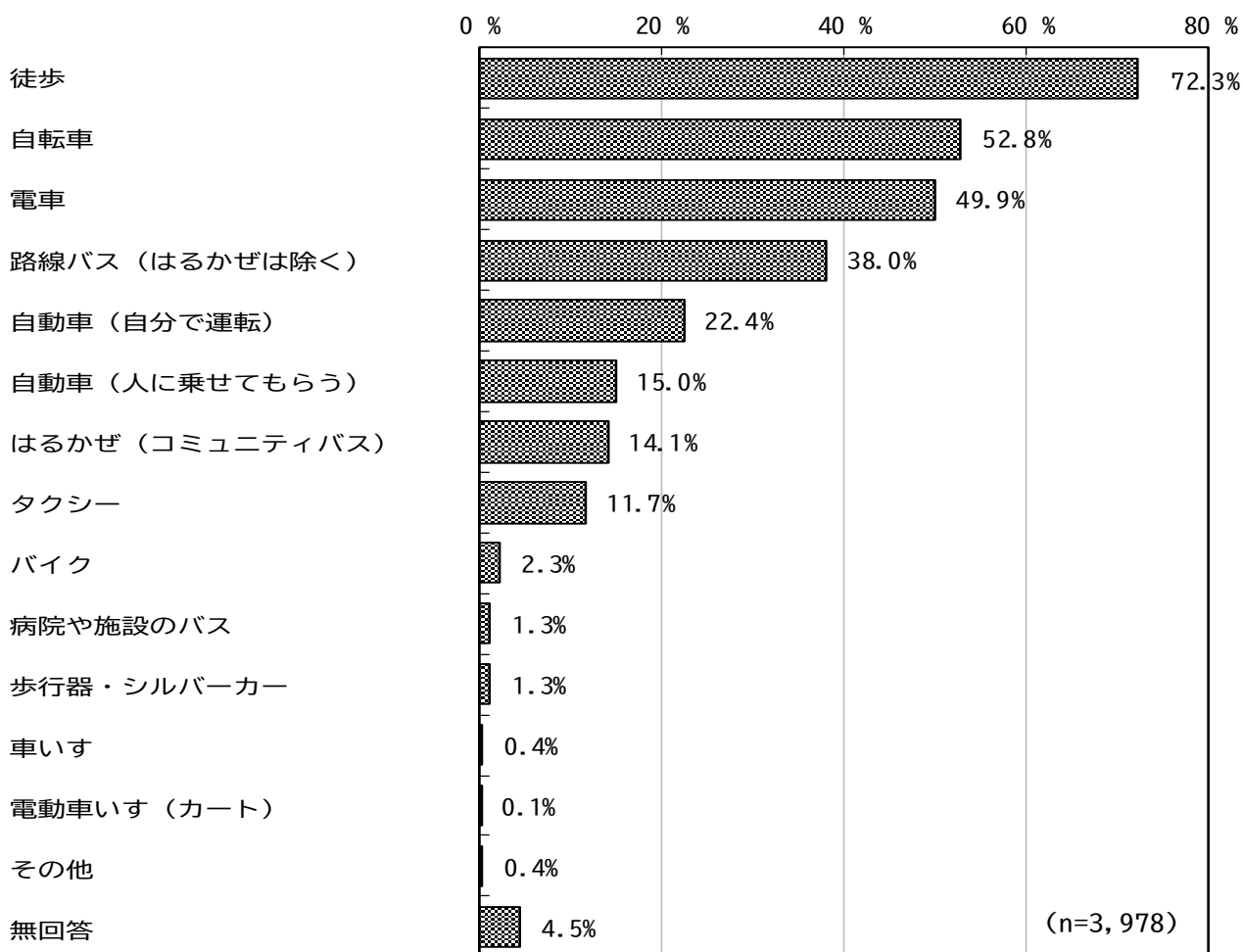
## 問6 (8-1) 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも○)。

外出を控えているかについて、「はい」と回答した方の外出を控えている理由として、「その他」を除くと、「足腰などの痛み」が33.0%と最も高く、「外での楽しみがない」が17.3%、「トイレの心配 (失禁など)」が12.7%、「経済的に出られない」が11.3%、「病気」が10.8%、「耳の障害 (聞こえの問題など)」が5.7%、「目の障害」が5.0%、「交通手段がない」が4.4%、「障害 (脳卒中の後遺症など)」が2.0%となっている。



問6 (9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも○)。

外出する際の移動手段として、「徒歩」が72.3%と最も高く、「自転車」が52.8%、「電車」が49.9%、「路線バス(はるかぜは除く)」が38.0%、「自動車(自分で運転)」が22.4%、「自動車(人に乗せてもらう)」が15.0%、「はるかぜ(コミュニティバス)」が14.1%、「タクシー」が11.7%、「バイク」が2.3%、「病院や施設のバス」「歩行器・シルバーカー」が1.3%、「車いす」が0.4%、「電動車いす(カート)」が0.1%となっている。



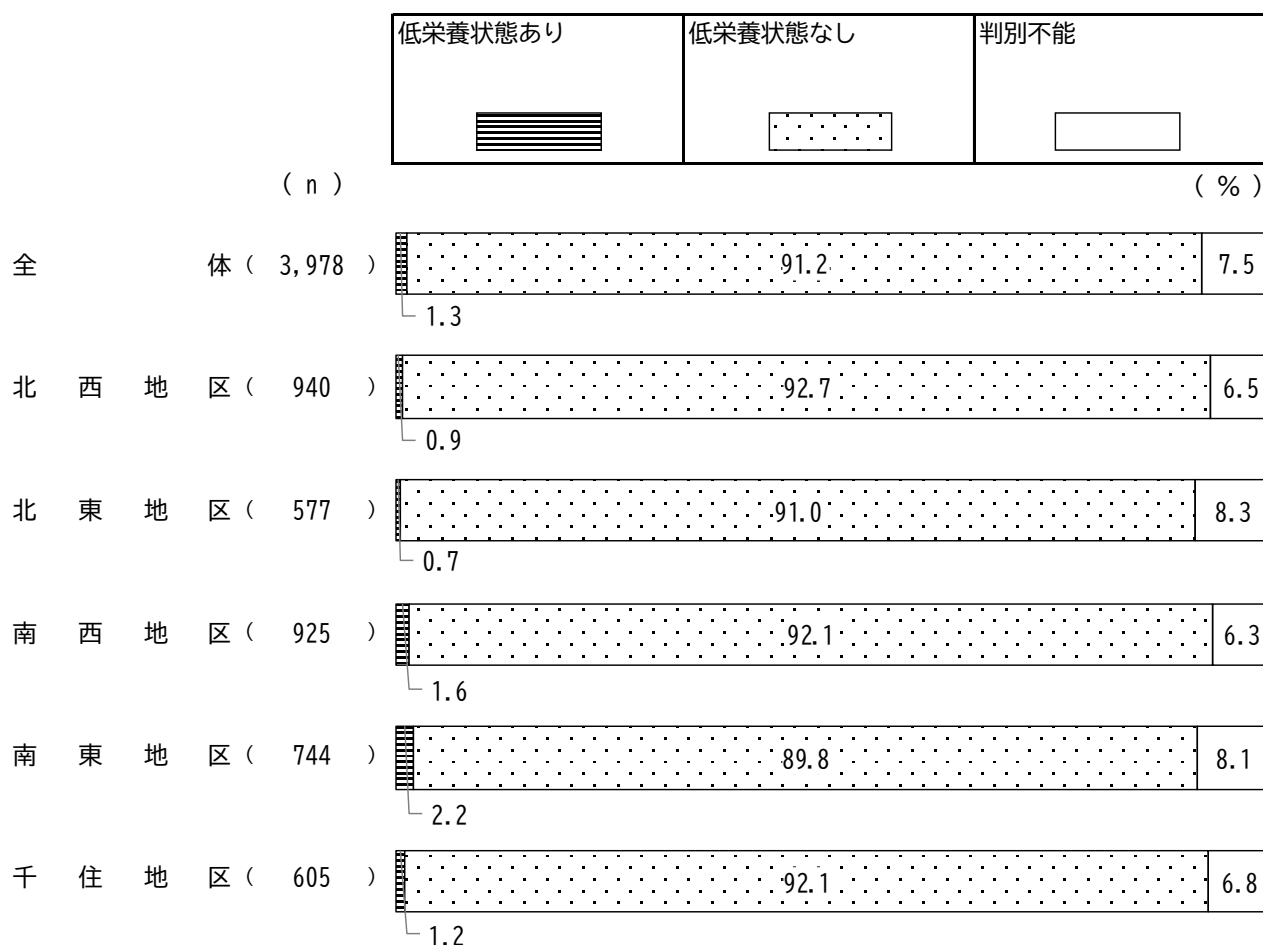
## (4) 食事について

## 問7 食べることについて

## ① 低栄養状態

低栄養状態について、足立区全体では、「低栄養状態あり」が1.3%、「低栄養状態なし」が91.2%となっている。

日常生活圏域別にみると、「低栄養状態あり」では、南東地区が2.2%と高く、北東地区が0.7%と低くなっている。



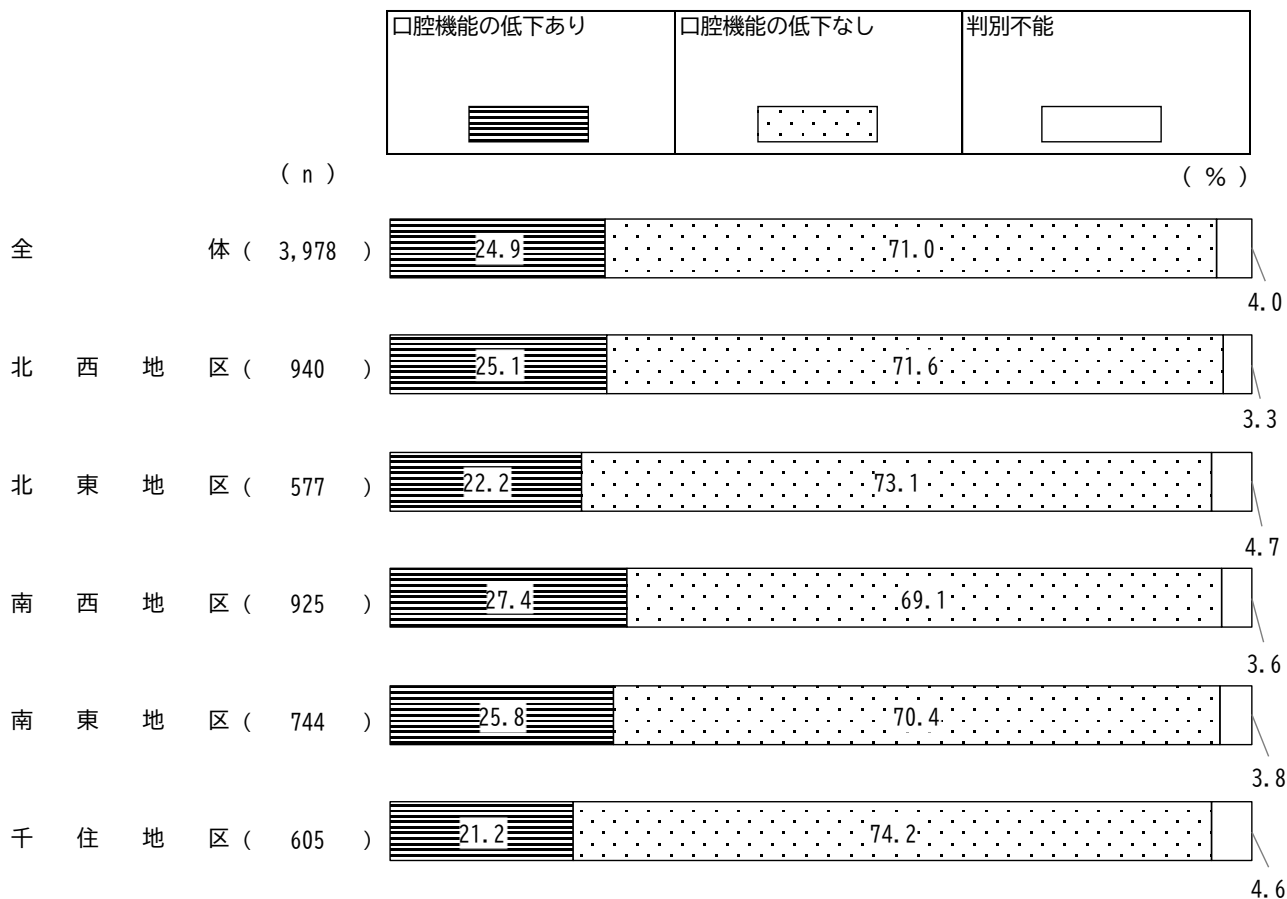
なお、上記の判断基準は、下記の設問の該当状況による。

リスクの区分	設問	質問項目	該当する選択肢	リスク該当者
低栄養状態	問7(1)	身長・体重をご記入ください(数字(整数)を記入)。	BMIが18.5未満 ※BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)	2つの設問に 該当
	問7(8)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか(1つに○)。	1. はい	

② 口腔機能の低下

口腔機能の低下について、足立区全体では、「口腔機能の低下あり」が24.9%、「口腔機能の低下なし」が71.0%となっている。

日常生活圏域別にみると、「口腔機能の低下あり」では、南西地区が27.4%と高く、千住地区が21.2%と低くなっている。



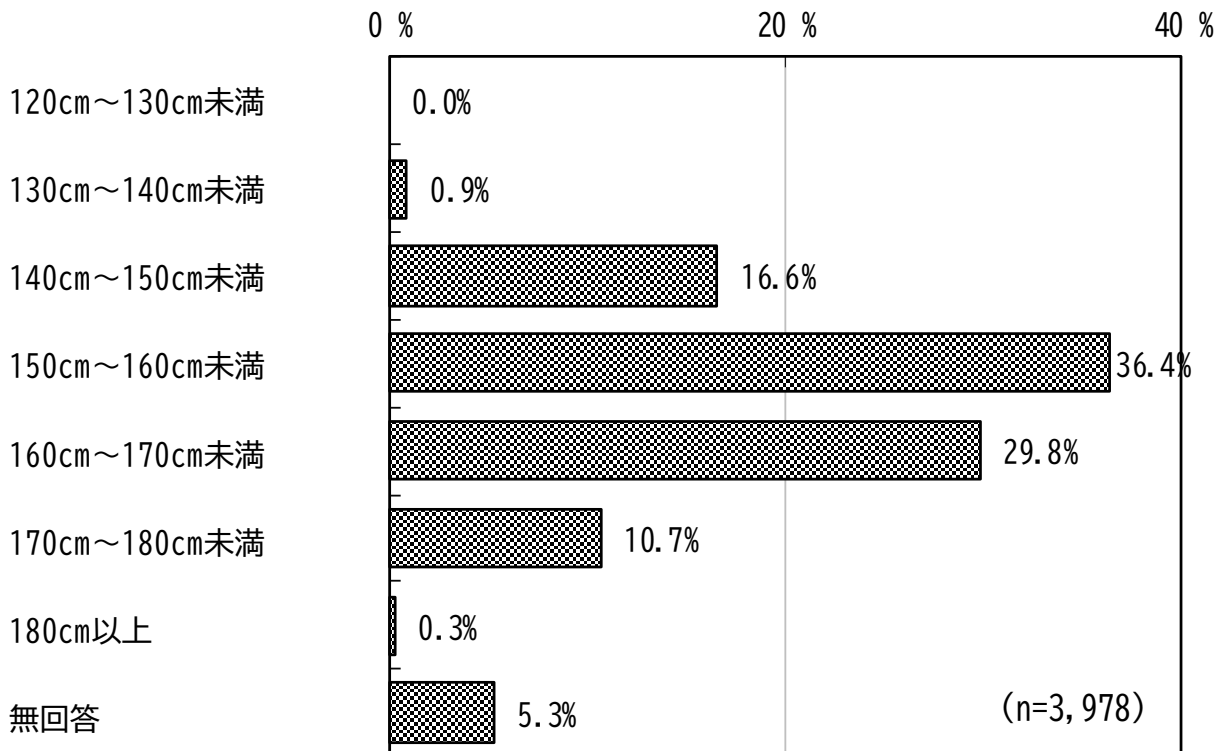
なお、上記の判断基準は、下記の設問の該当状況による。

リスクの区分	設問	質問項目	該当する選択肢	リスク該当者
口腔機能の低下	問7(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(1つに○)。	1. はい	2つの設問に該当
	問7(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか(1つに○)。	1. はい	
	問7(4)	口の渇きが気になりますか(1つに○)。	1. はい	

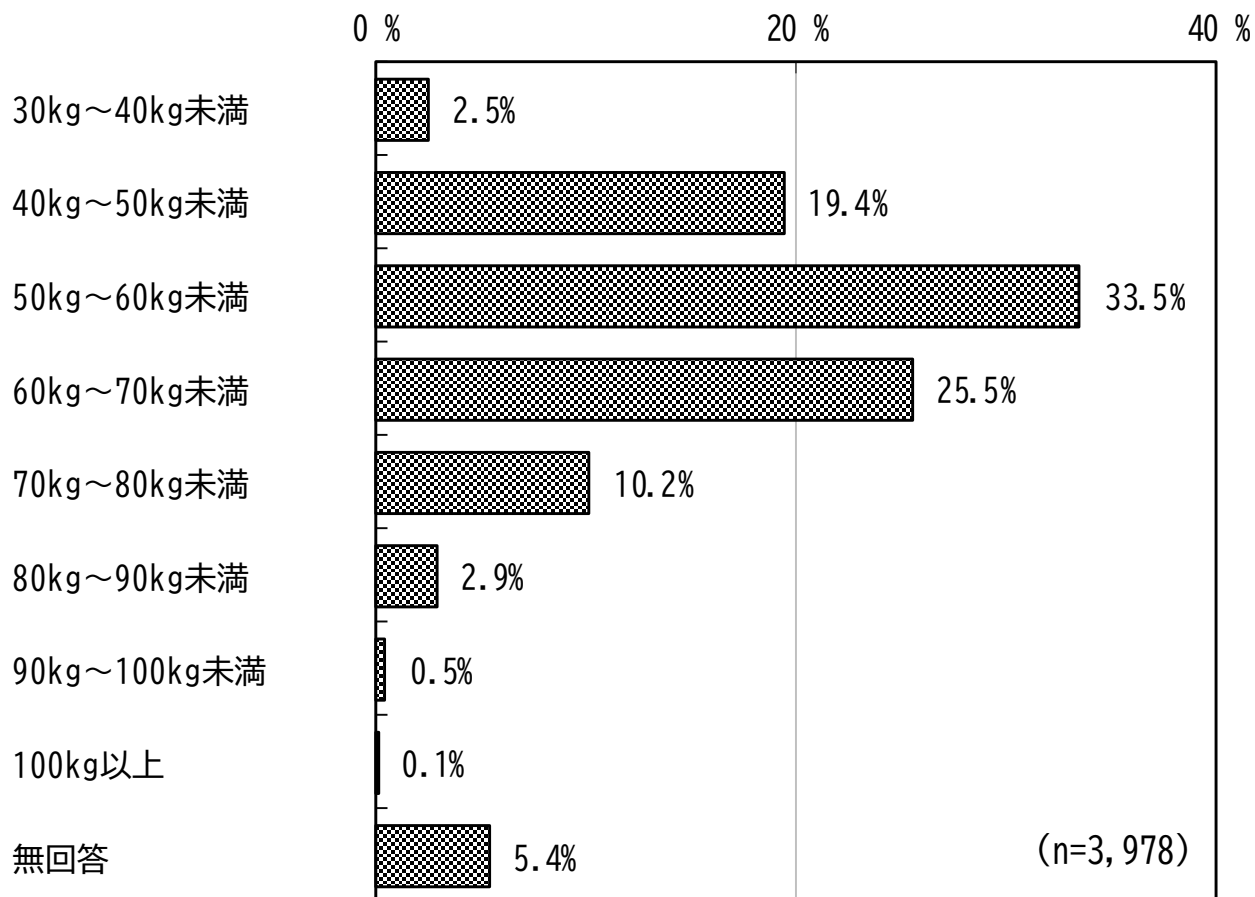
また、前頁に関連する設問の回答状況は下記のとおりです。

問7（1）身長・体重をご記入ください（数字（整数）を記入）。

身長について、「150cm～160cm未満」が36.4%と最も高く、「160cm～170cm未満」が29.8%、「140cm～150cm未満」が16.6%、「170cm～180cm未満」が10.7%、「130cm～140cm未満」が0.9%、「180cm以上」が0.3%、「120cm～130cm未満」が0.0%となっている。



体重について、「50kg～60kg未満」が33.5%と最も高く、「60kg～70kg未満」が25.5%、「40kg～50kg未満」が19.4%、「70kg～80kg未満」が10.2%、「80kg～90kg未満」が2.9%、「30kg～40kg未満」が2.5%、「90kg～100kg未満」が0.5%、「100kg以上」が0.1%となっている。

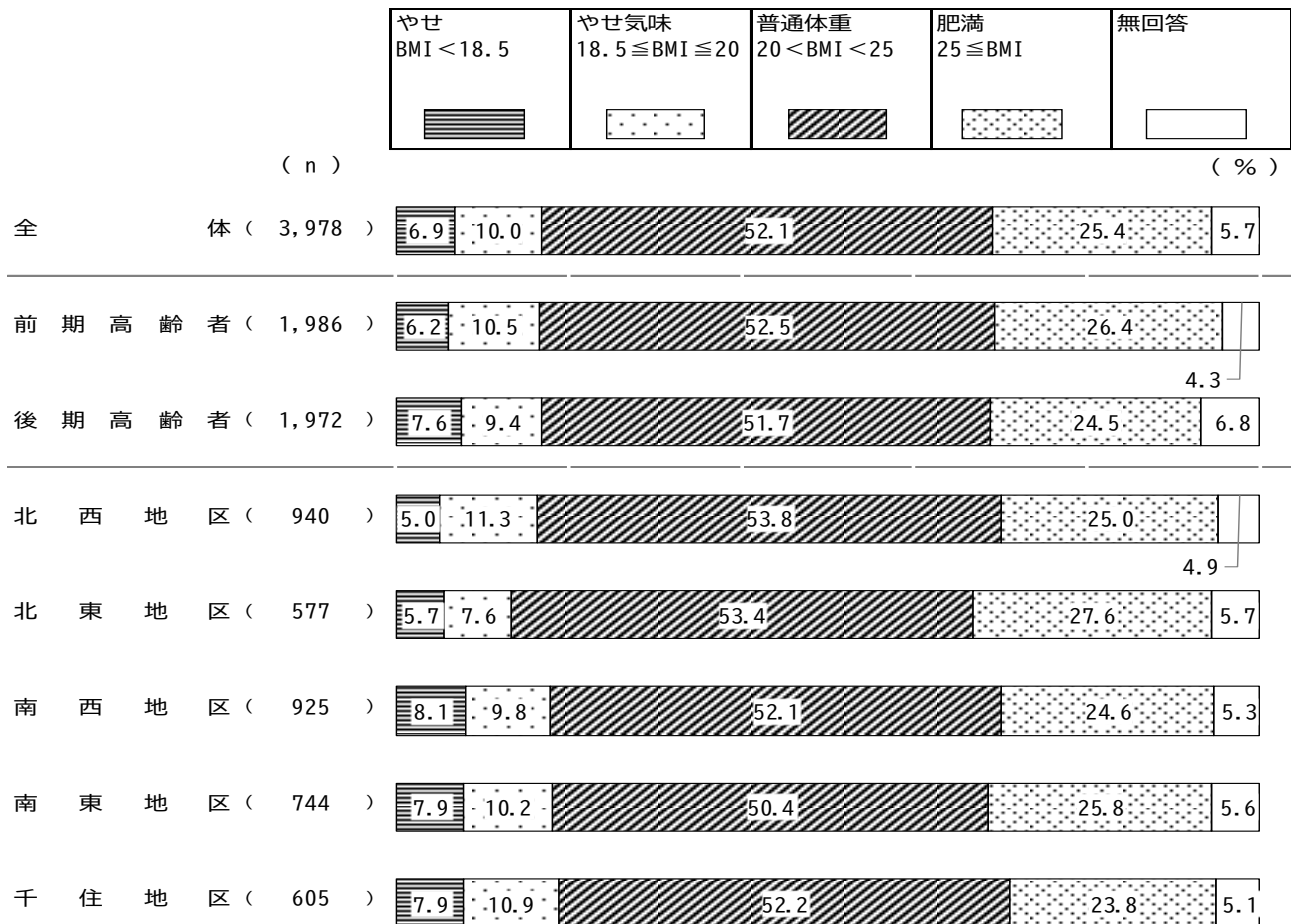




BMIについて、足立区全体では、「普通体重」が52.1%と最も高く、「肥満」が25.4%、「やせ気味」が10.0%、「やせ」が6.9%となっている。

前期・後期別にみると、大きな差はない。

日常生活圏域別にみると、「やせ」「やせ気味」の合計では、北東地区が低くなっている。



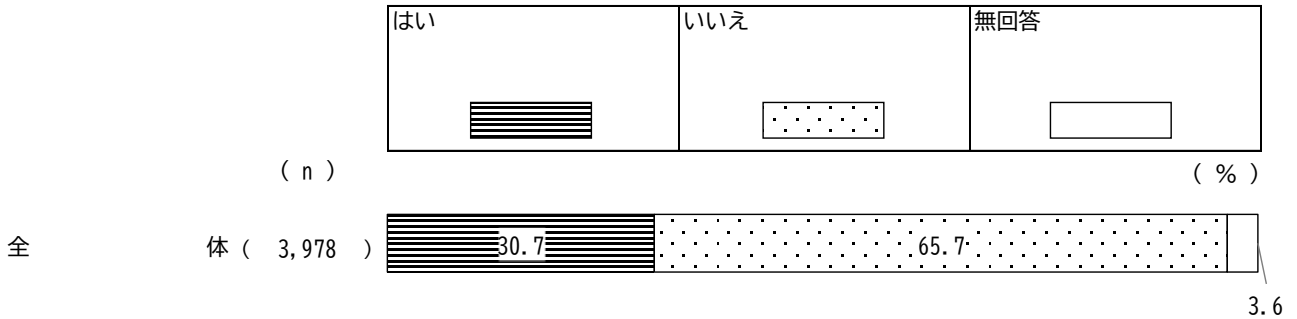
BMI (Body Mass Index) とは体格を表す指標。肥満や低体重（やせ）の判定に用い、 $[\text{体重 (kg)}] \div [\text{身長 (m) の 2 乗}]$  で求める。

本設問では身長と体重の回答からBMIを求め、その値を国（厚生労働省）の基準を元に判定を区分している。

判定基準はBMI < 18.5 を「やせ」、18.5 ≤ BMI ≤ 20 を「やせ気味」、20 < BMI < 25 を「普通体重」、25 ≤ BMI を「肥満」とする。

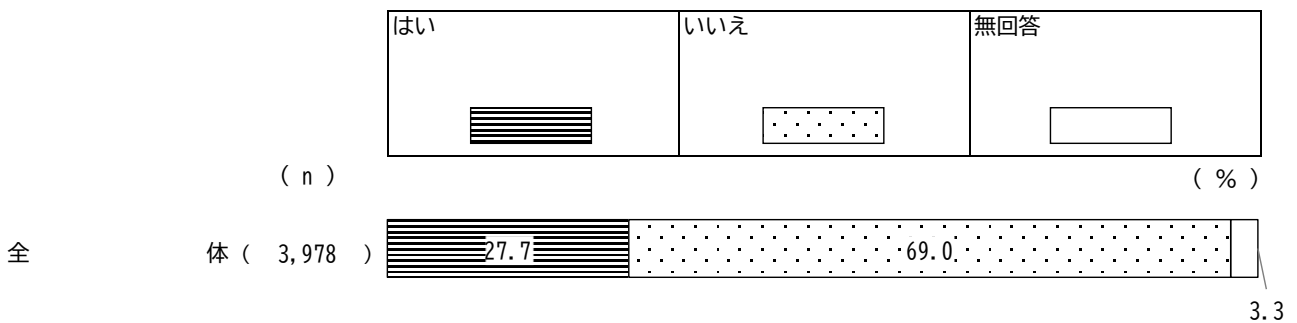
問7（2）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つに○）。

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が30.7%、「いいえ」が65.7%となっている。



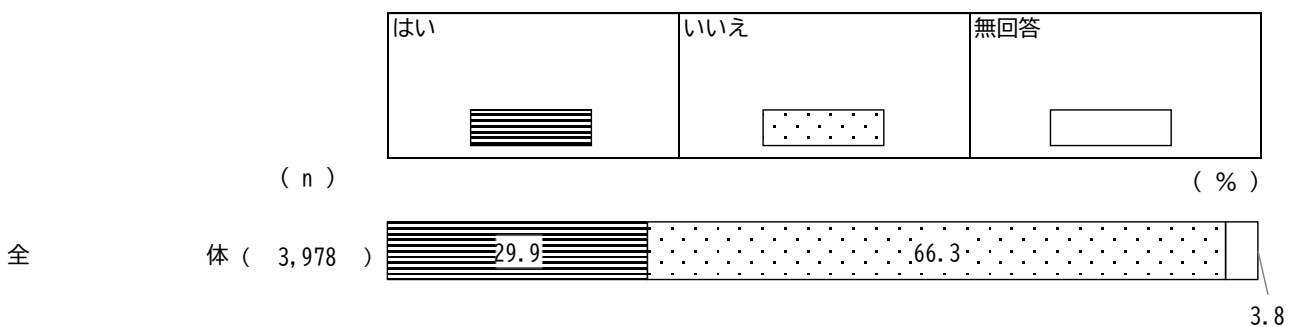
問7（3）お茶や汁物等でむせることがありますか（1つに○）。

お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が27.7%、「いいえ」が69.0%となっている。



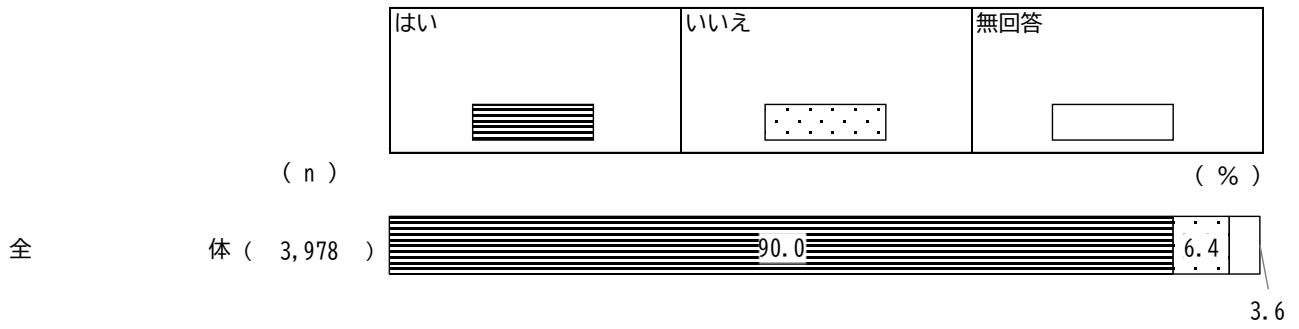
問7（4）口の渇きが気になりますか（1つに○）。

口の渇きが気になるかについて、「はい」が29.9%、「いいえ」が66.3%となっている。



問7 (5) 歯磨き (人にしてもらおう場合も含む) を毎日していますか (1つに○)。

歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が90.0%、「いいえ」が6.4%となっている。

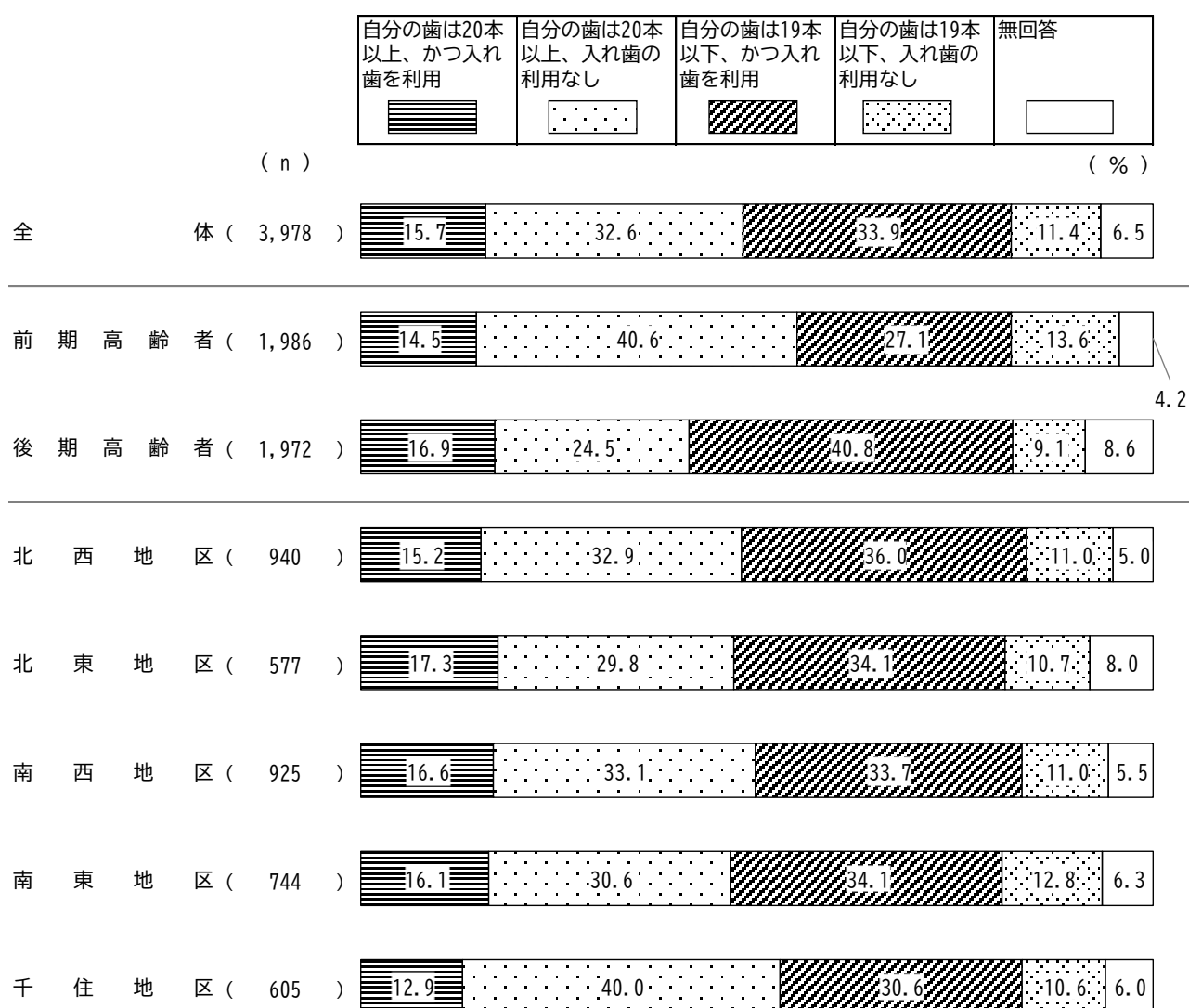


問7(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(1つに○)。

歯の数と入れ歯の利用状況について、足立区全体では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が33.9%と最も高く、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が32.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が15.7%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が11.4%となっている。

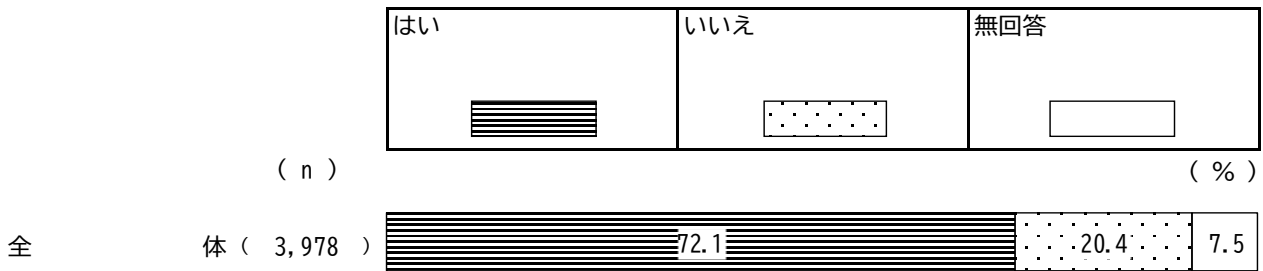
前期・後期別にみると、前期高齢者では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が40.6%、後期高齢者では「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が40.8%と最も高くなっている。

日常生活圏域別にみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」では、北西地区が36.0%と高く、千住地区が30.6%と低くなっている。



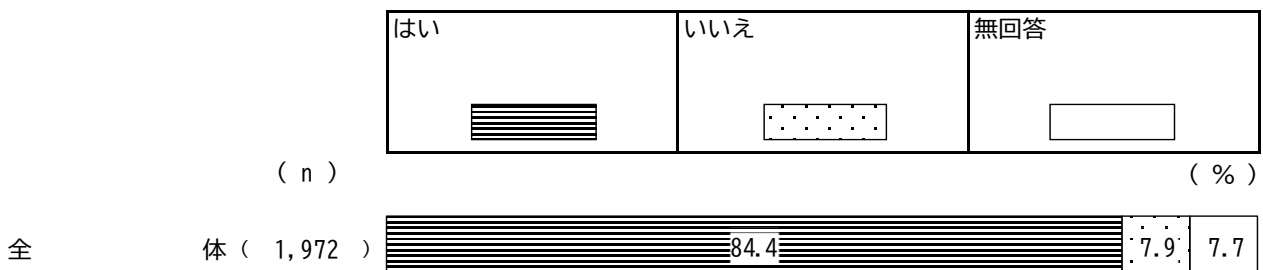
問7 (6-1) 噛み合わせは良いですか (1つに○)。

噛み合わせが良いかについて、「はい」が72.1%、「いいえ」が20.4%となっている。



問7 (6-2) 毎日入れ歯の手入れをしていますか (1つに○)。

噛み合わせが良いかに「はい」と回答した方の、毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が84.4%、「いいえ」が7.9%となっている。

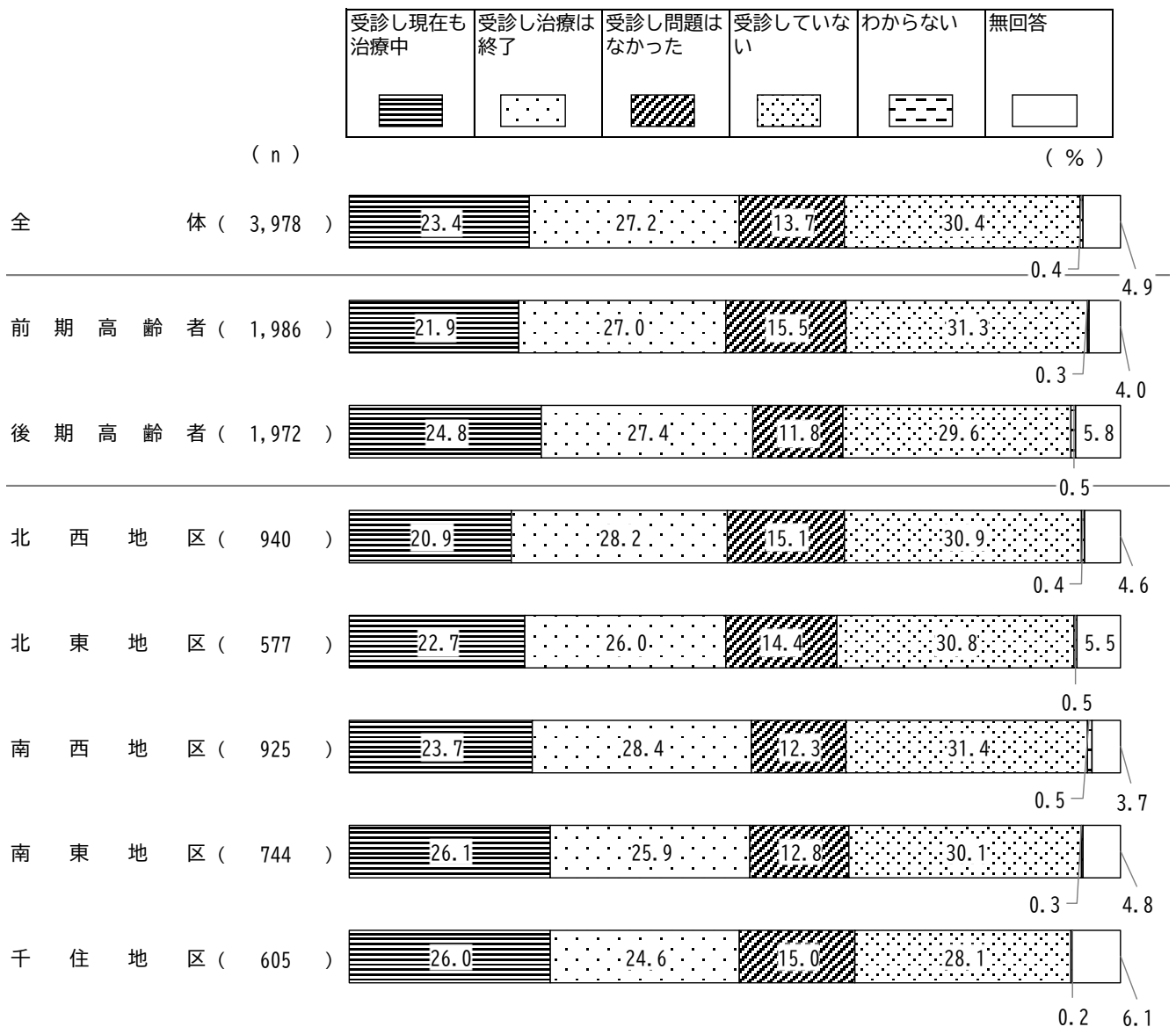


問7 (7) あなたは1年前から今日の間で歯科医師による歯科健診(検診)や治療を受けましたか(1つに○)。

歯科医師による歯科健診(検診)や治療について、足立区全体では、「受診していない」が30.4%と最も高く、「受診し治療は終了」が27.2%、「受診し現在も治療中」が23.4%、「受診し問題はなかった」が13.7%、「わからない」が0.4%となっている。

前期・後期別にみると、「受診していない」では、前期高齢者が31.3%、後期高齢者が29.6%となっている。

日常生活圏域別にみると、「受診していない」では、南西地区が31.4%と高く、千住地区が28.1%と低くなっている。

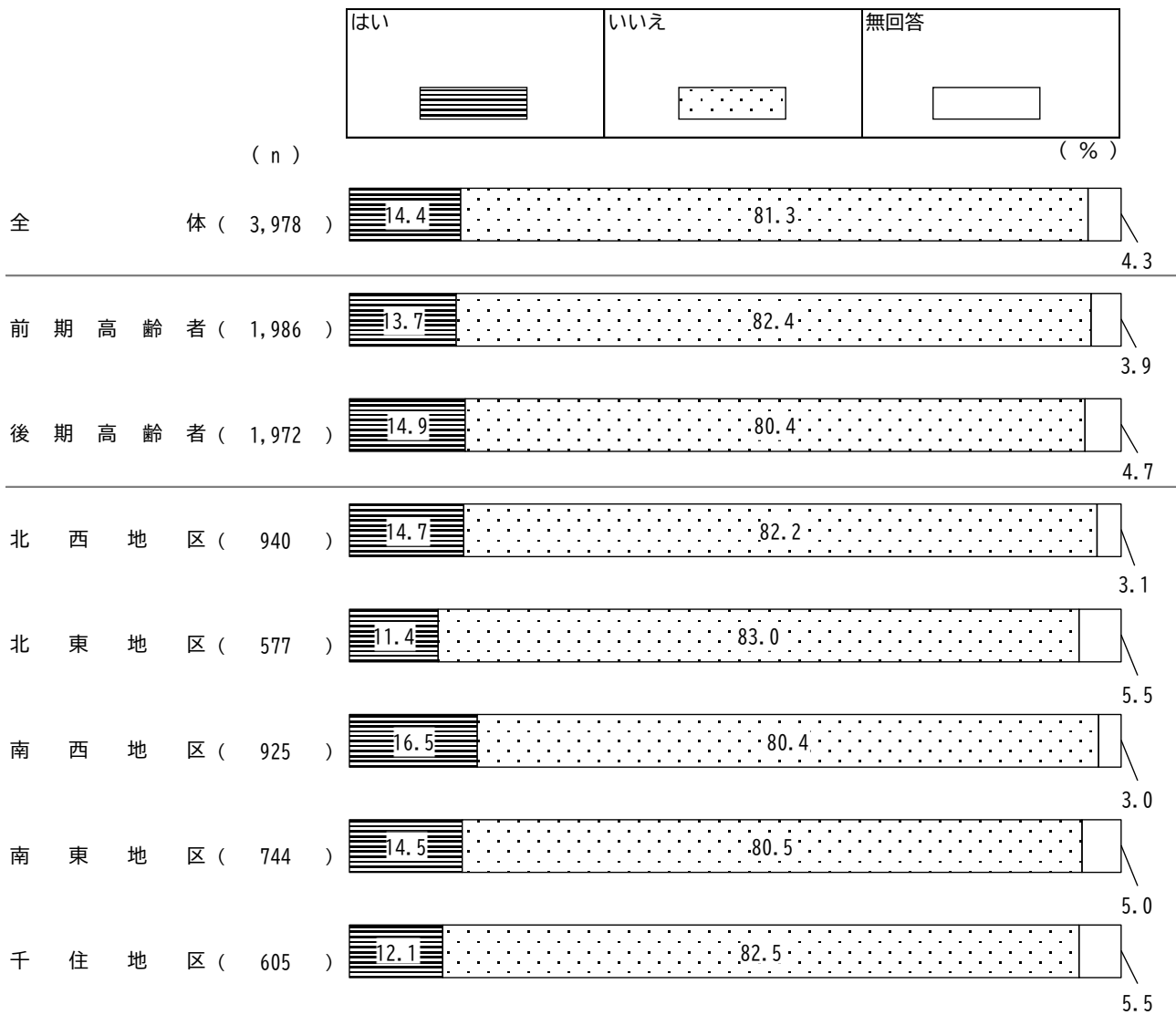


問7 (8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか(1つに○)。

6か月間で2～3kg以上の体重減少があるかについて、「はい」が14.4%、「いいえ」が81.3%となっている。

前期・後期別にみると、大きな差はない。

日常生活圏域別にみると、「はい」では、南西地区が16.5%と高く、北東地区が11.4%と低くなっている。

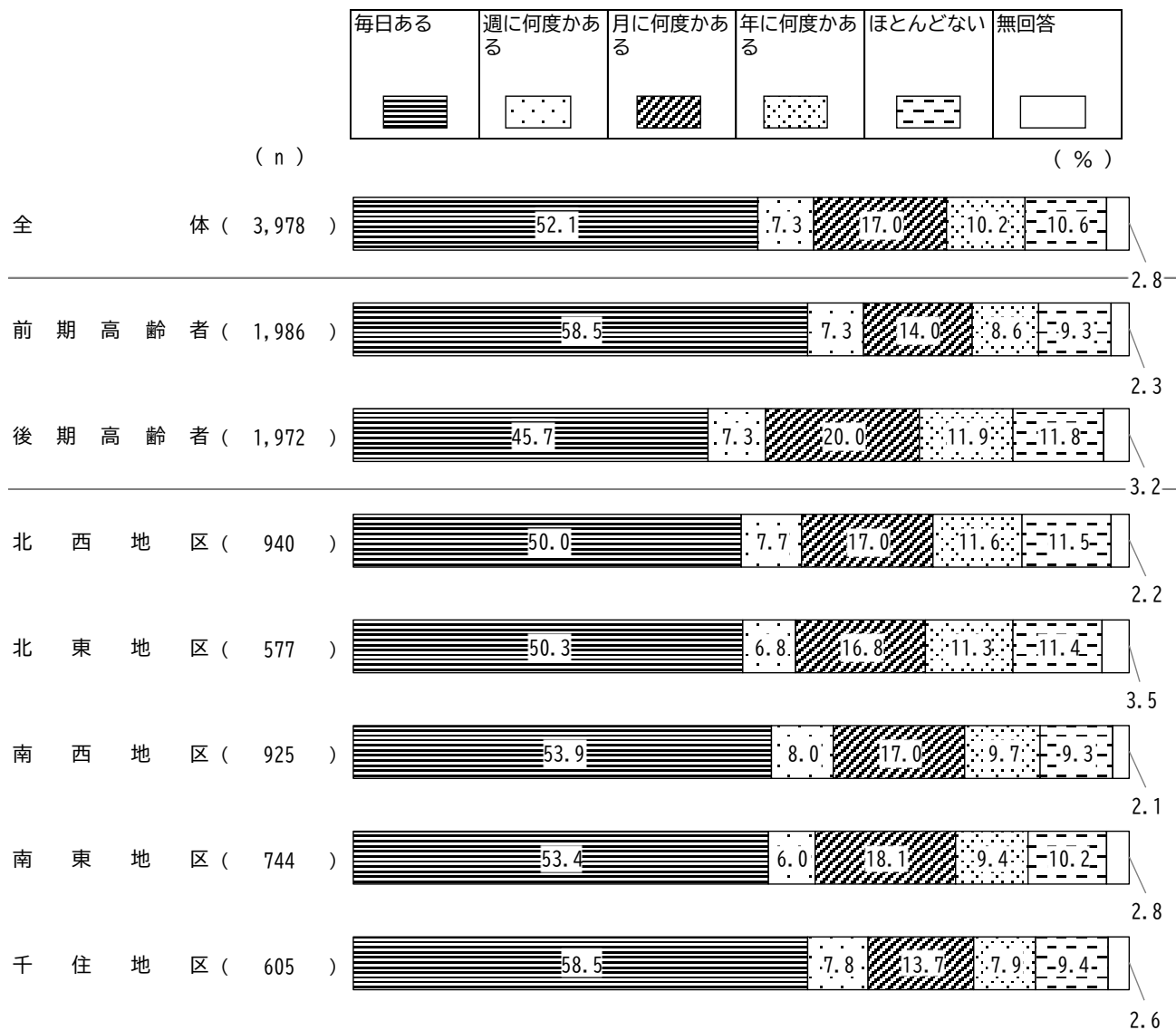


問7 (9) どなたかと食事をとる機会がありますか (1つに○)。

食事をとる機会について、足立区全体では、「毎日ある」が52.1%と最も高く、「月に何度かある」が17.0%、「ほとんどない」が10.6%、「年に何度かある」が7.3%、「週に何度かある」が10.2%となっている。

前期・後期別にみると、「毎日ある」では、前期高齢者が58.5%と高く、後期高齢者では45.7%と低くなっている。

日常生活圏域別にみると、「毎日ある」では、千住地区が58.5%と高く、北西地区が50.0%と低くなっている。





## 問7 (10) 食事は1日何回食べますか (1つに○)。

1日の食事の回数について、足立区全体では、「3回」が84.5%と最も高く、「2回」が12.1%、「1回」「4回以上」が0.4%となっている。

前期・後期別にみると、「3回」では、前期高齢者が82.7%、後期高齢者が86.6%となっている。

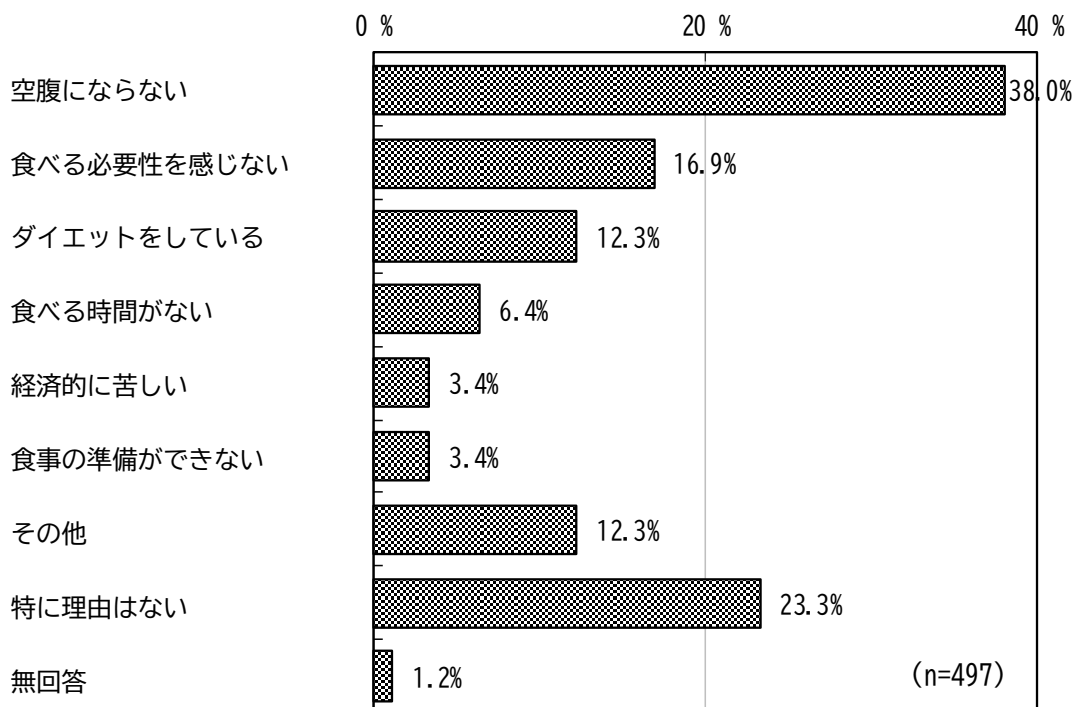
日常生活圏域別にみると、「3回」では、北西地区が86.8%と高く、北東地区が83.0%と低くなっている。

(%)

		調査数	1回	2回	3回	4回以上	無回答
全体		3,978	0.4	12.1	84.5	0.4	2.6
年齢	前期高齢者	1,986	0.7	13.9	82.7	0.4	2.3
	後期高齢者	1,972	0.2	10.1	86.6	0.3	2.9
日常生活圏域	北西地区	940	0.2	10.7	86.8	0.3	1.9
	北東地区	577	1.0	12.5	83.0	0.3	3.1
	南西地区	925	0.6	12.1	84.2	0.5	2.5
	南東地区	744	0.1	12.5	84.1	0.3	3.0
	千住地区	605	0.3	13.6	83.1	0.3	2.6

## 問7 (10-1) 食事を1日3回食べない理由は何ですか (いくつでも○)。

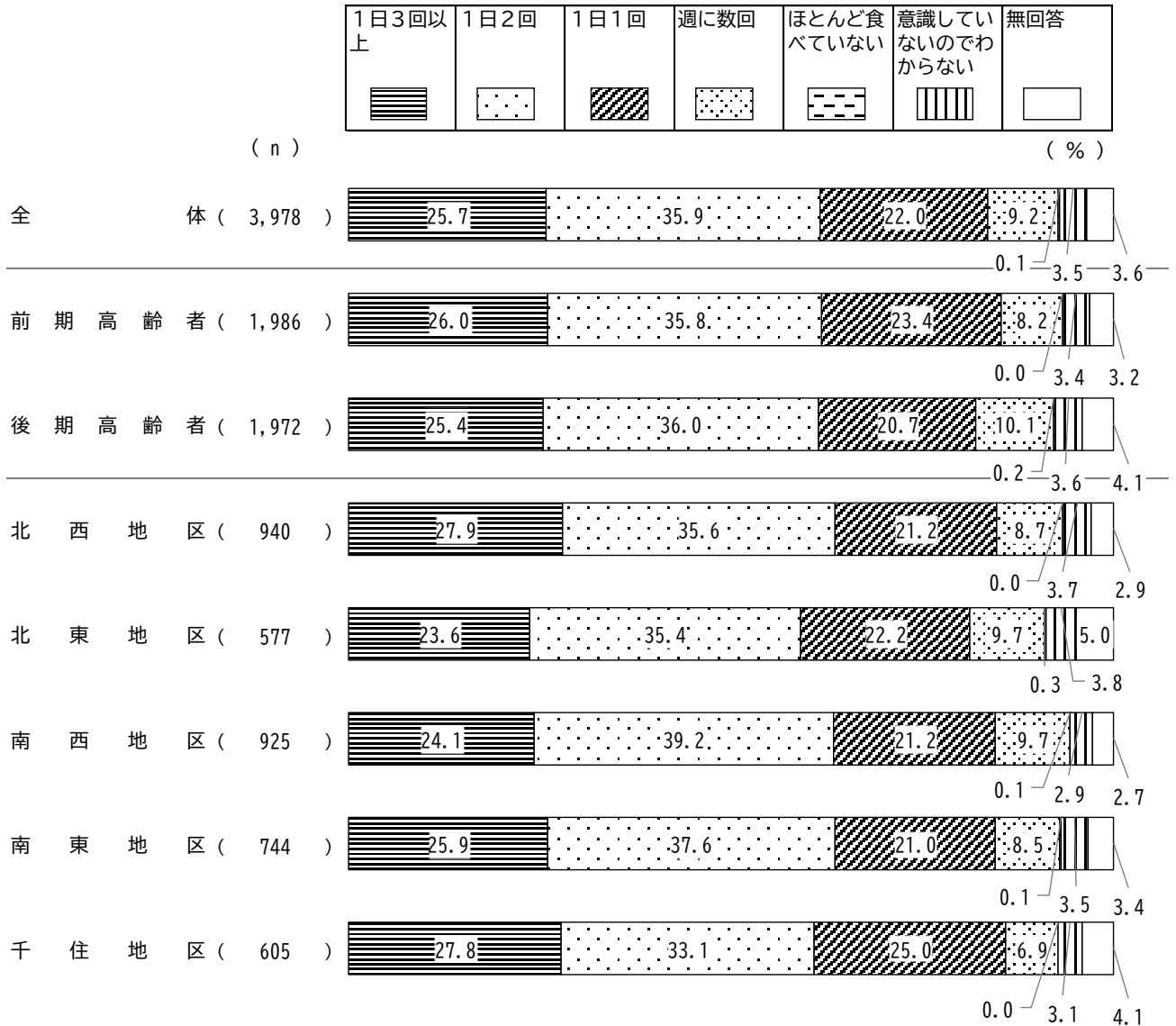
1日の食事の回数が「1回」または「2回」と回答した方の、食事を1日3回とらない理由について、「空腹にならない」が38.0%と最も高く、「食べる必要性を感じない」が16.9%、「ダイエットをしている」が12.3%、「食べる時間がない」が6.4%、「経済的に苦しい」「食事の準備ができない」が3.4%となっている。また「特に理由はない」が23.3%となっている。



問7 (11) たんぱく質を多く含む食品(肉・魚・卵・大豆製品の1種類以上)をどのくらいの頻度で食べていますか(1つに○)。

たんぱく質を多く含む食品を食べる頻度について、「1日3回以上」が25.7%と全体の約1/4となっている。

日常生活圏域別にみると、「1日3回以上」では、北西地区が27.9%と高く、北東地区が23.6%と低くなっている。



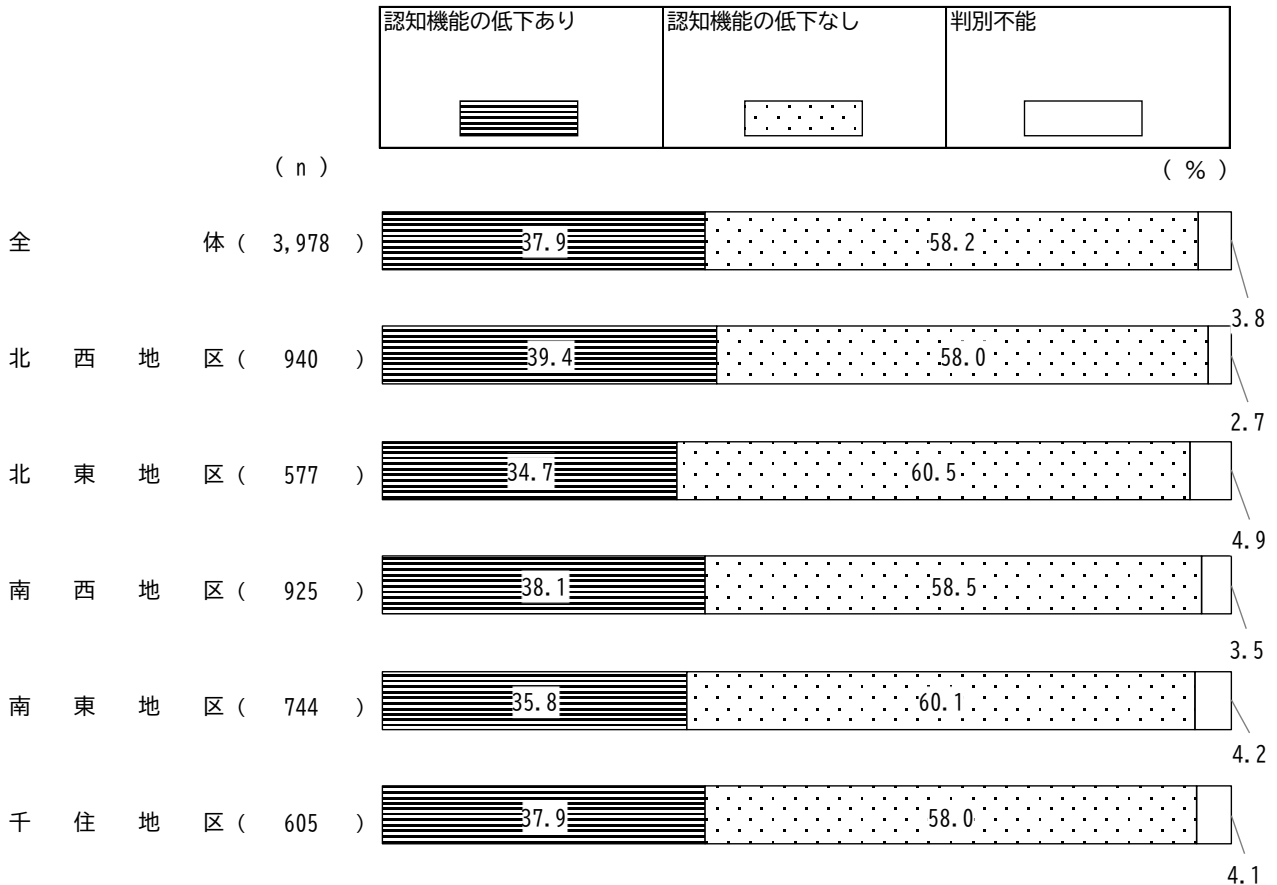
(5) 毎日の生活について

問8 毎日の生活について

① 認知機能の低下

認知機能の低下について、足立区全体では、「認知機能の低下あり」が37.9%、「認知機能の低下なし」が58.2%となっている。

日常生活圏域別にみると、「認知機能の低下あり」では、北西地区が39.4%と高く、北東地区が34.7%と低くなっている。



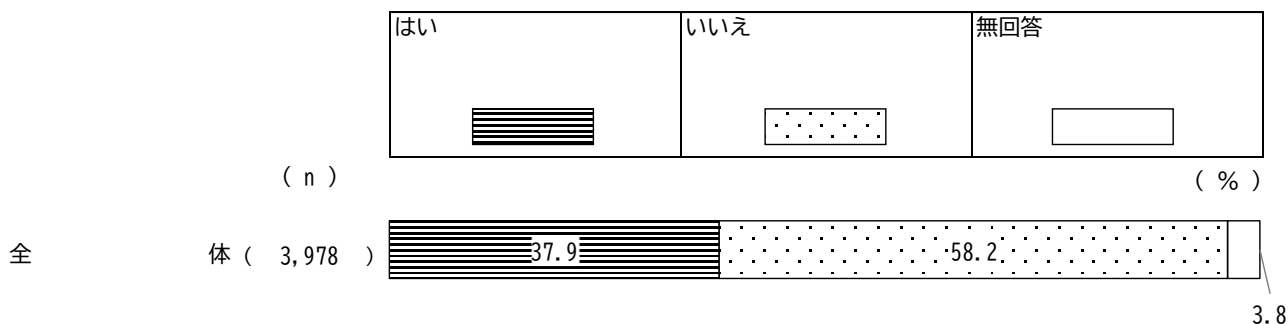
なお、上記の判断基準は、下記の設問の該当状況による。

リスクの区分	設問	質問項目	該当する選択肢	リスク該当者
認知機能の低下	問8(1)	物忘れが多いと感じますか(1つに○)。	1. はい	1つの設問に該当

また、前頁に関連する設問の回答状況は下記のとおりです。

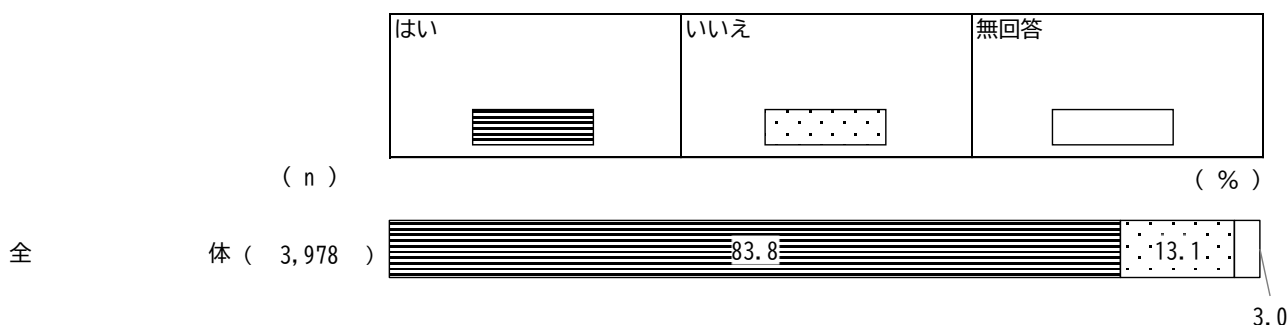
問8 (1) 物忘れが多いと感じますか (1つに○)。

物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が37.9%、「いいえ」が58.2%となっている。



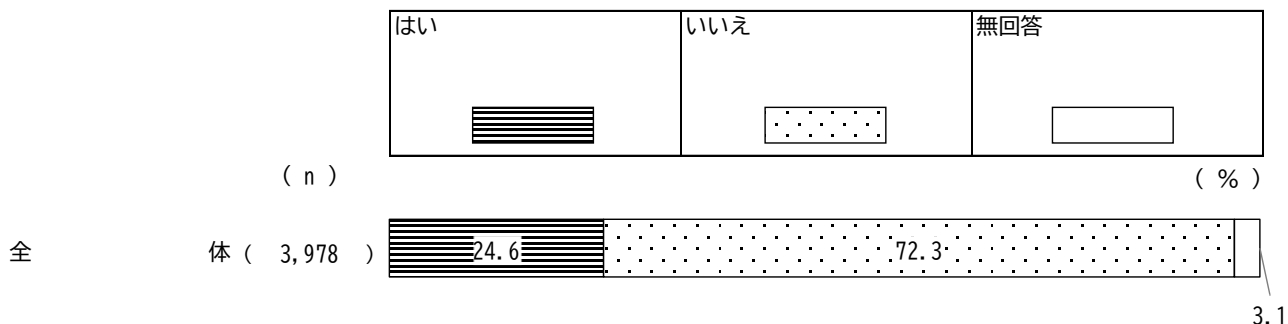
問8 (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (1つに○)。

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が83.8%、「いいえ」が13.1%となっている。



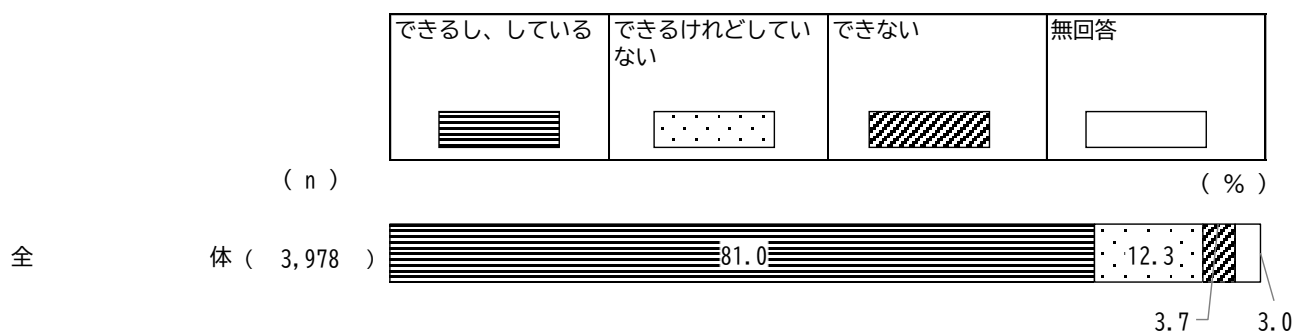
問8 (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (1つに○)。

今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい」が24.6%、「いいえ」が72.3%となっている。



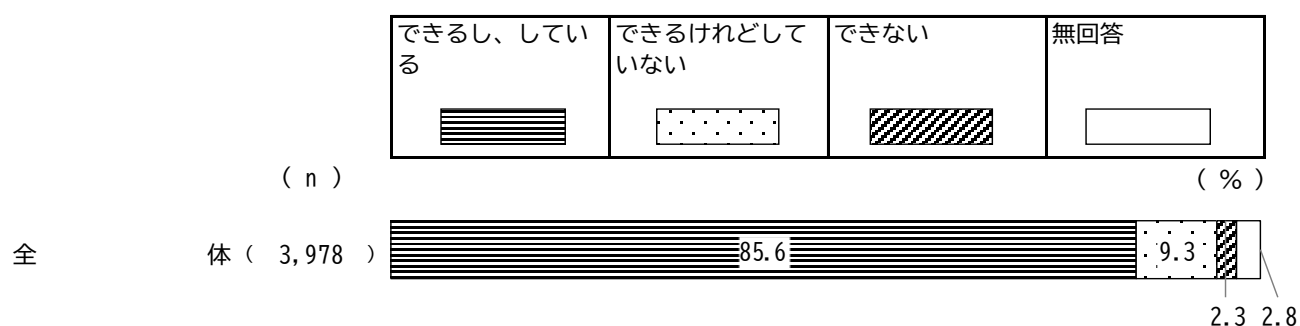
問8 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）  
（1つに○）。

バスや電車を使って1人で外出しているかについて、「できるし、している」が81.0%、「できるけれどしていない」が12.3%、「できない」が3.7%となっている。



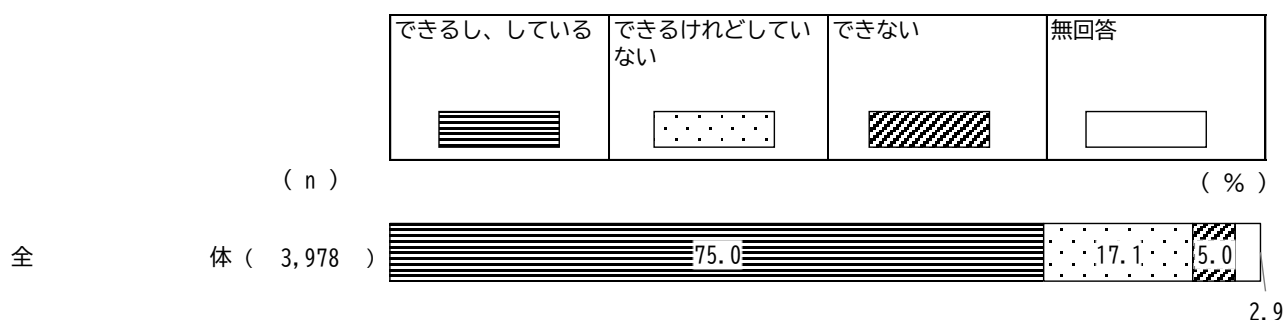
問8 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか（1つに○）。

自分で食品・日用品の買物をしているかについて、「できるし、している」が85.6%、「できるけれどしていない」が9.3%、「できない」が2.3%となっている。



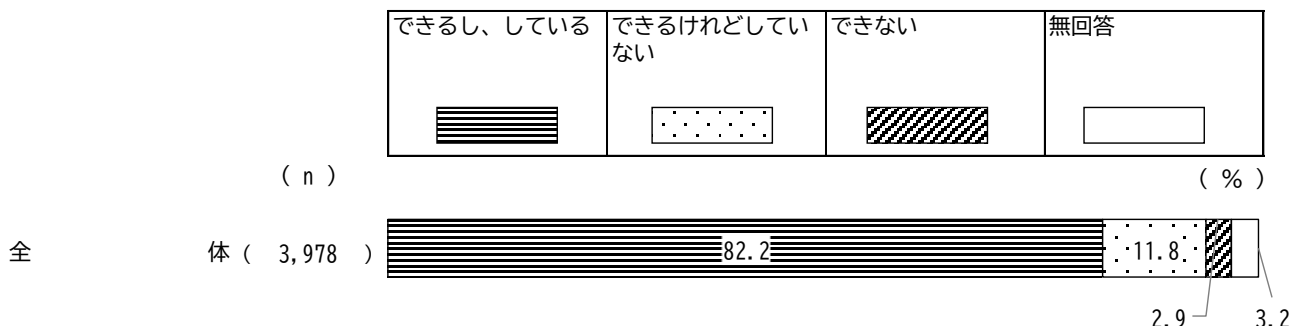
問8 (6) 自分で食事の用意をしていますか（1つに○）。

自分で食事の用意をしているかについて、「できるし、している」が75.0%、「できるけれどしていない」が17.1%、「できない」が5.0%となっている。



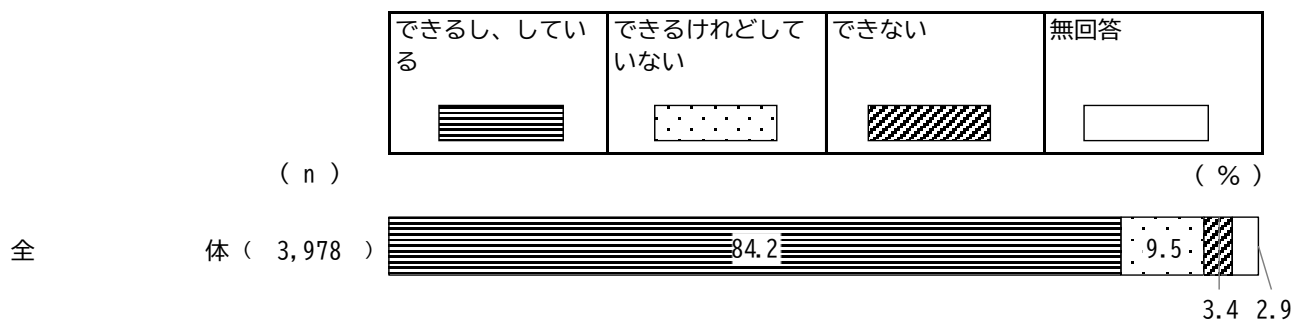
問8 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか (1つに○)。

自分で請求書の支払いをしているかについて、「できるし、している」が82.2%、「できるけれどしていない」が11.8%、「できない」が2.9%となっている。



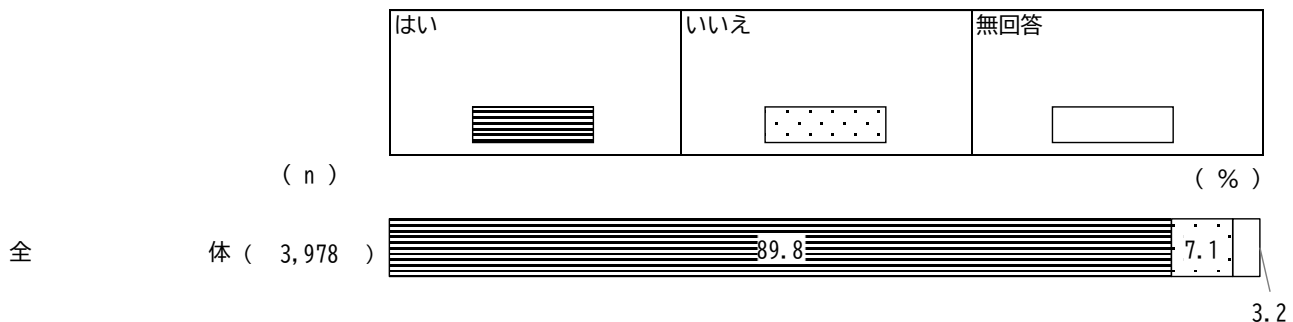
問8 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (1つに○)。

自分で預貯金の出し入れをしているかについて、「できるし、している」が84.2%、「できるけれどしていない」が9.5%、「できない」が3.4%となっている。



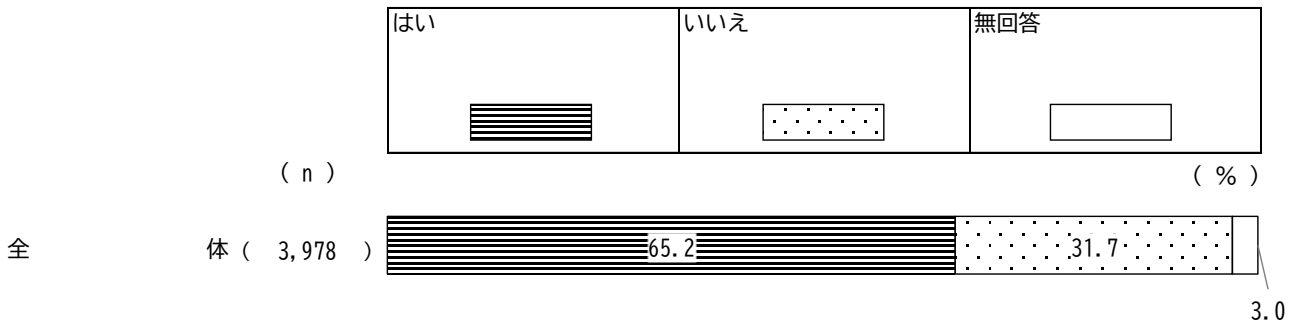
問8 (9) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (1つに○)。

年金などの書類が書けるかについて、「はい」が89.8%、「いいえ」が7.1%となっている。



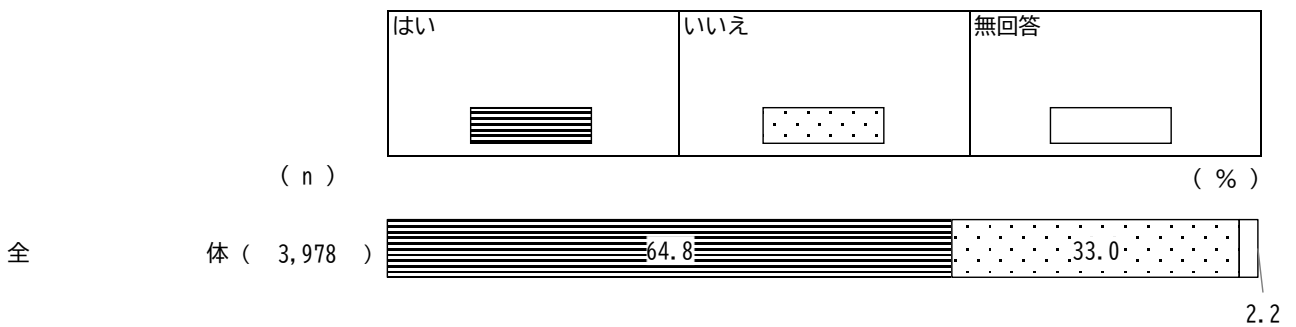
問8 (10) 新聞を読んでいますか (1つに○)。

新聞を読んでいるかについて、「はい」が65.2%、「いいえ」が31.7%となっている。



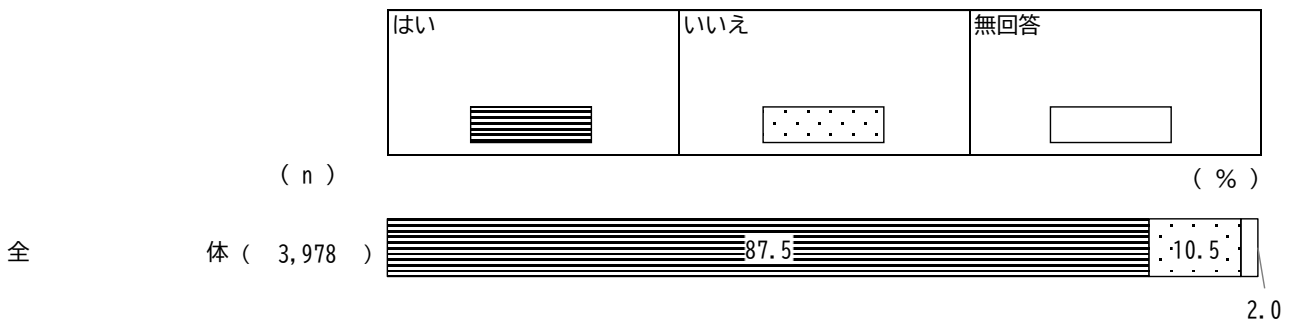
問8 (11) 本や雑誌を読んでいますか (1つに○)。

本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が64.8%、「いいえ」が33.0%となっている。



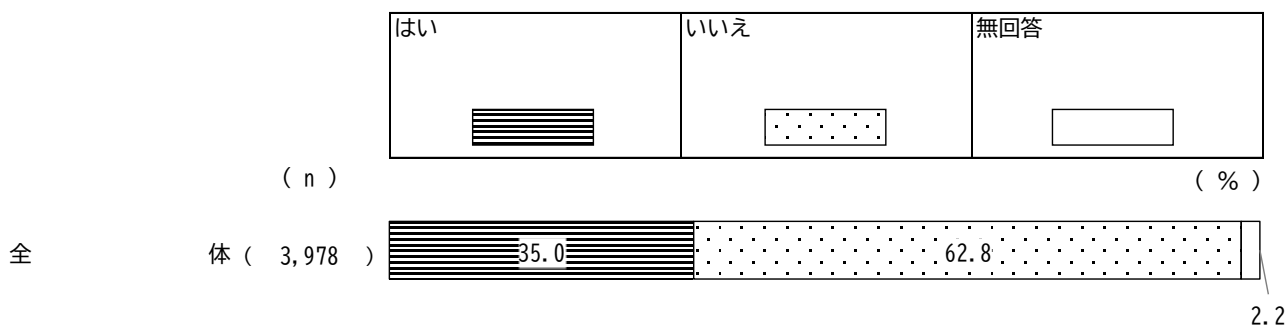
問8 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (1つに○)。

健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が87.5%、「いいえ」が10.5%となっている。



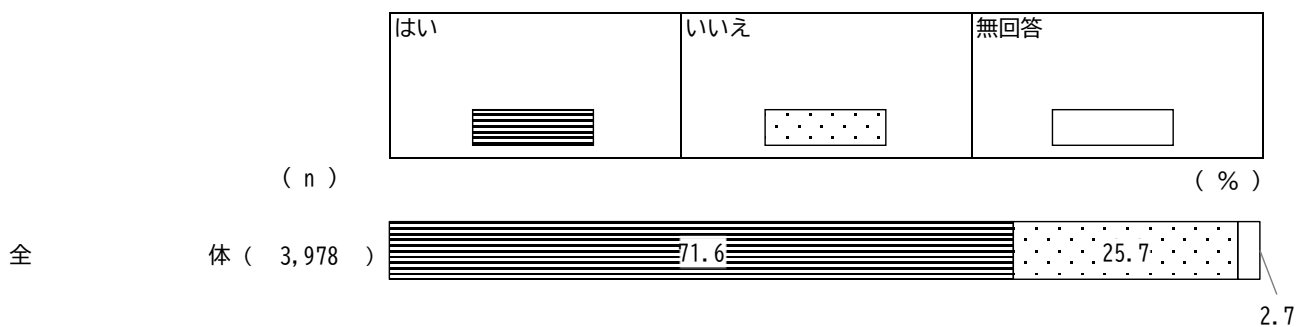
問8 (13) 友人の家を訪ねていますか (1つに○)。

友人の家を訪ねているかについて、「はい」が35.0%、「いいえ」が62.8%となっている。



問8 (14) 家族や友人の相談にのっていますか (1つに○)。

家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が71.6%、「いいえ」が25.7%となっている。





問8 (15) 趣味はありますか (1つに○)。

趣味について、足立区全体では、「趣味あり」が70.7%、「思いつかない」が8.9%となっている。

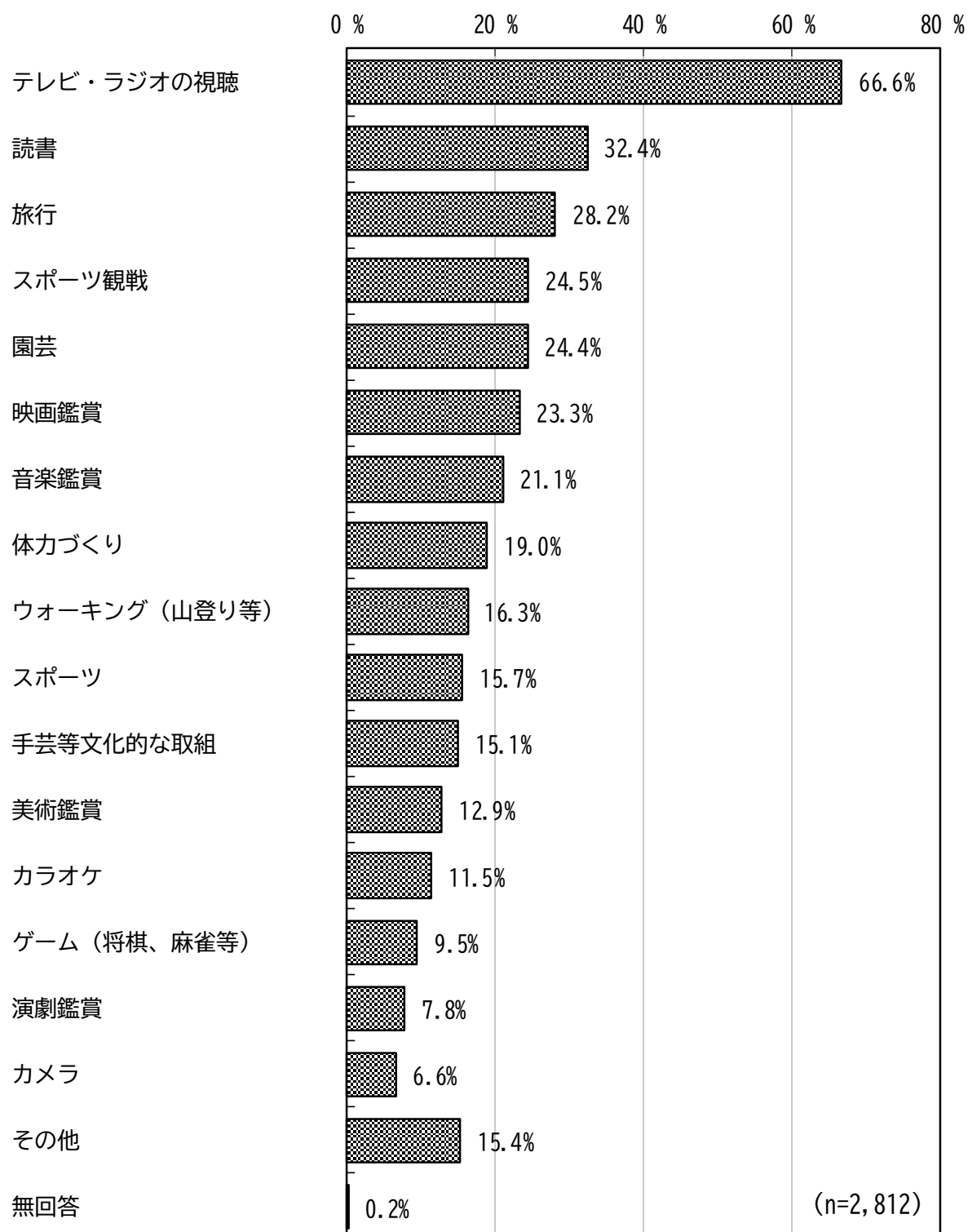
前期・後期別にみると、「趣味あり」では、前期高齢者が77.2%と高く、後期高齢者が64.1%と低くなっている。

日常生活圏域別にみると、「趣味あり」では、千住地区が73.4%と高く、北東地区が70.2%と低くなっている。

	趣味あり (n)	思いつかない (%)	無回答 (%)
全 体 ( 3,978 )	70.7	8.9	20.4
前 期 高 齢 者 ( 1,986 )	77.2	9.1	13.7
後 期 高 齢 者 ( 1,972 )	64.1	8.9	27.0
北 西 地 区 ( 940 )	72.0	8.4	19.6
北 東 地 区 ( 577 )	70.2	9.9	19.9
南 西 地 区 ( 925 )	71.7	8.9	19.5
南 東 地 区 ( 744 )	72.2	8.6	19.2
千 住 地 区 ( 605 )	73.4	8.3	18.3

問8 (15-1) どのようなことを趣味にしていますか (いくつでも○)。

「趣味あり」と回答した方の趣味の内容について、「テレビ・ラジオの視聴」が66.6%と最も高く、「読書」が32.4%、「旅行」が28.2%、「スポーツ観戦」が24.5%、「園芸」が24.4%、「映画鑑賞」が23.3%、「音楽鑑賞」が21.1%、「体力づくり」が19.0%、「ウォーキング (山登り等)」が16.3%、「スポーツ」が15.7%、「手芸等文化的な取組」が15.1%、「美術鑑賞」が12.9%、「カラオケ」が11.5%、「ゲーム (将棋、麻雀等)」が9.5%、「演劇鑑賞」が7.8%、「カメラ」が6.6%となっている。

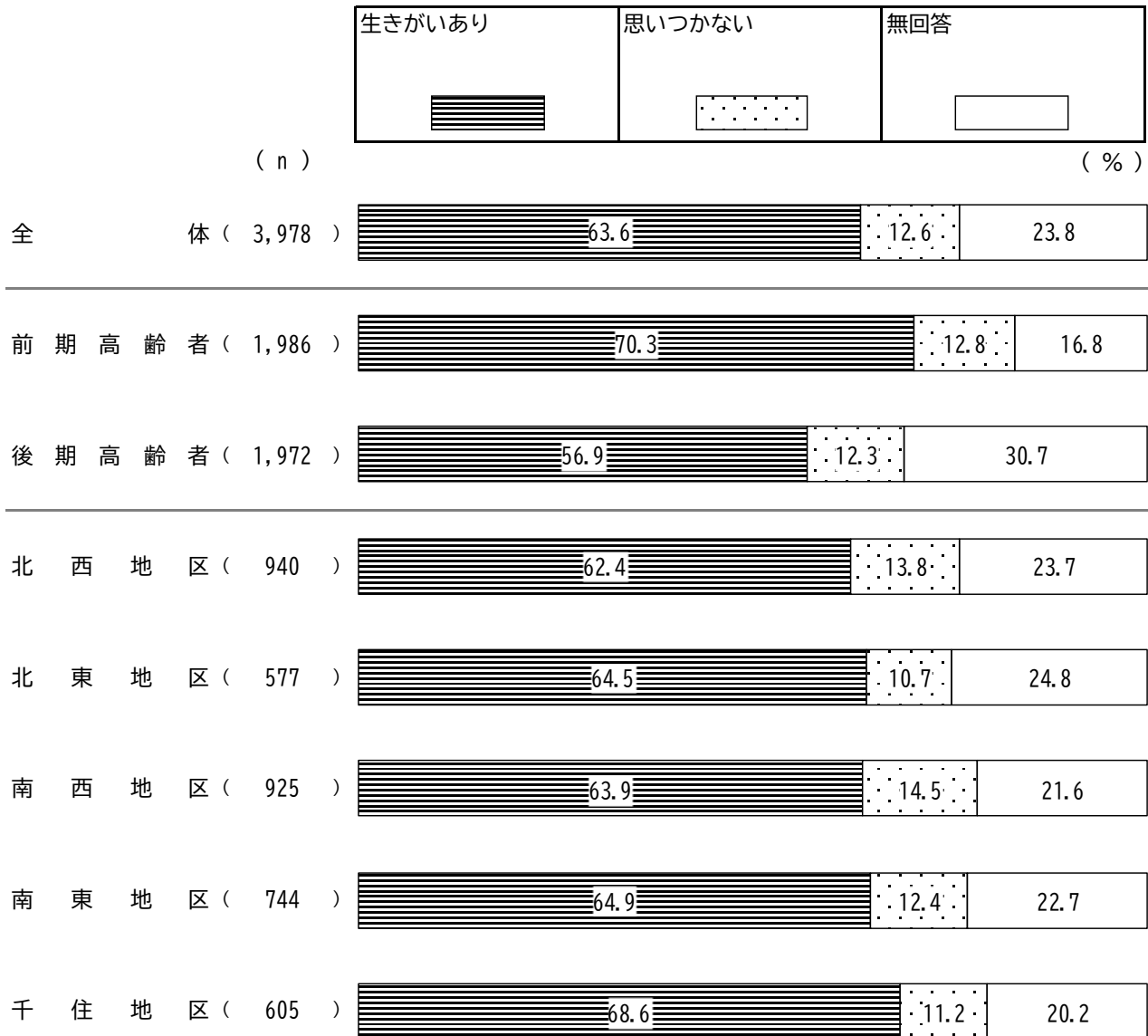


問8 (16) 生きがいがありますか (1つに○)。

生きがいについて、足立区全体では、「生きがいあり」が 63.6%、「思いつかない」が 12.6%となっている。

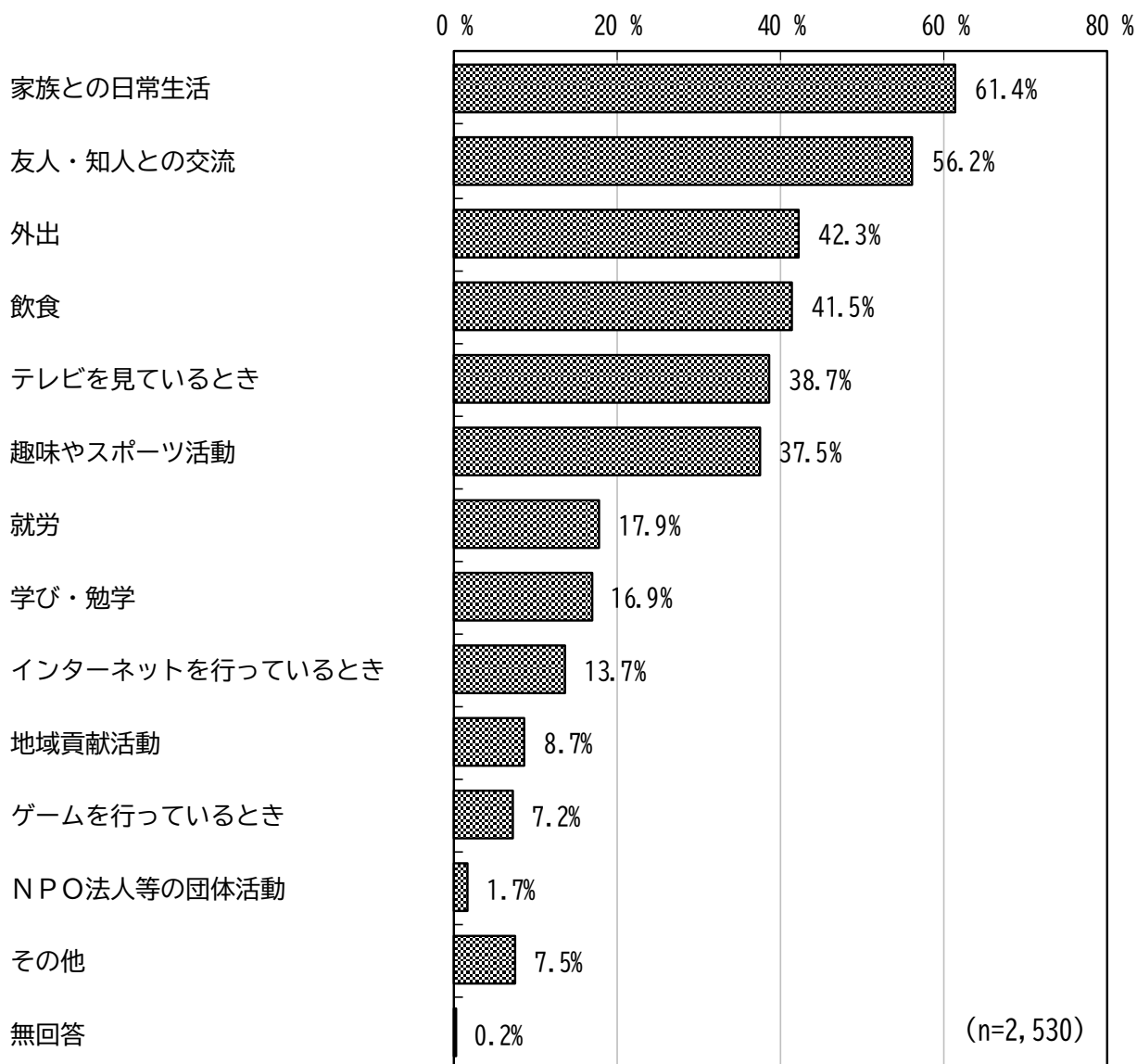
前期・後期別にみると、「生きがいあり」では、前期高齢者が 70.3%と高く、後期高齢者が 56.9%と低くなっている。

日常生活圏域別にみると、「生きがいあり」では、千住地区が 68.6%と高く、北西地区が 62.4%と低くなっている。



問8 (16-1) どのようなことに生きがいを感じますか (いくつでも○)。

「生きがいあり」と回答した方の生きがいの内容について、「家族との日常生活」が61.4%と最も高く、「友人・知人との交流」が56.2%、「外出」が42.3%、「飲食」が41.5%、「テレビを見ているとき」が38.7%、「趣味やスポーツ活動」が37.5%、「就労」が17.9%、「学び・勉学」が16.9%、「インターネットを行っているとき」が13.7%、「地域貢献活動」が8.7%、「ゲームを行っているとき」が7.2%、「NPO法人等の団体活動」が1.7%となっている。



## (6) 社会参加について

## 問9 地域での活動について

問9 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか  
(それぞれ1つに○)。

地域での会・グループ等への参加について、すべての会・グループ等で「参加していない」が最も高くなっている。

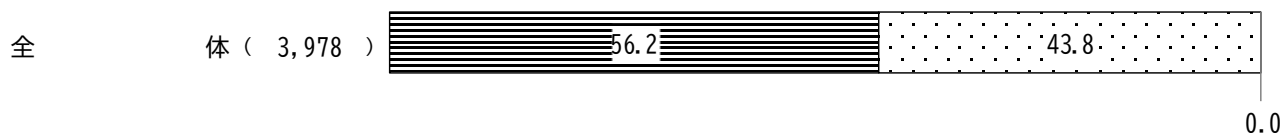
ボランティアのグループについて、「参加していない」が50.3%、スポーツ関係のグループやクラブについて、「参加していない」が44.5%、趣味関係のグループについて、「参加していない」が42.9%、学習・教養サークルについて、「参加していない」が49.3%、介護予防のための通いの場（ふれあいサロン等）について、「参加していない」が51.9%、老人クラブについて、「参加していない」が52.0%、町内会・自治会について、「参加していない」が44.8%、収入のある仕事について、「参加していない」が38.8%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
ボランティアのグループ	3978	0.4	1.1	1.3	3.0	2.2	50.3	41.7
スポーツ関係のグループやクラブ	3978	3.5	5.9	3.6	3.6	1.4	44.5	37.5
趣味関係のグループ	3978	1.6	3.1	3.8	7.4	3.9	42.9	37.3
学習・教養サークル	3978	0.4	0.7	0.8	2.7	1.8	49.3	44.4
介護予防のための通いの場（ふれあいサロン等）	3978	0.3	0.4	0.8	0.8	0.8	51.9	45.1
老人クラブ	3978	0.5	0.3	0.3	1.2	0.9	52.0	44.7
町内会・自治会	3978	0.5	0.5	0.8	5.3	7.9	44.8	40.1
収入のある仕事	3978	13.3	5.7	1.1	1.5	1.1	38.8	38.4

地域での会・グループ等への参加について、1つ以上の会・グループ等に「年に数回以上参加している」のは、「年数回以上のうちどれか一つでも○」が56.2%、「参加していない」が43.8%となっている。

年数回以上のうちどれか一つでも○	参加していない	無回答
 ( n )	 ( % )	

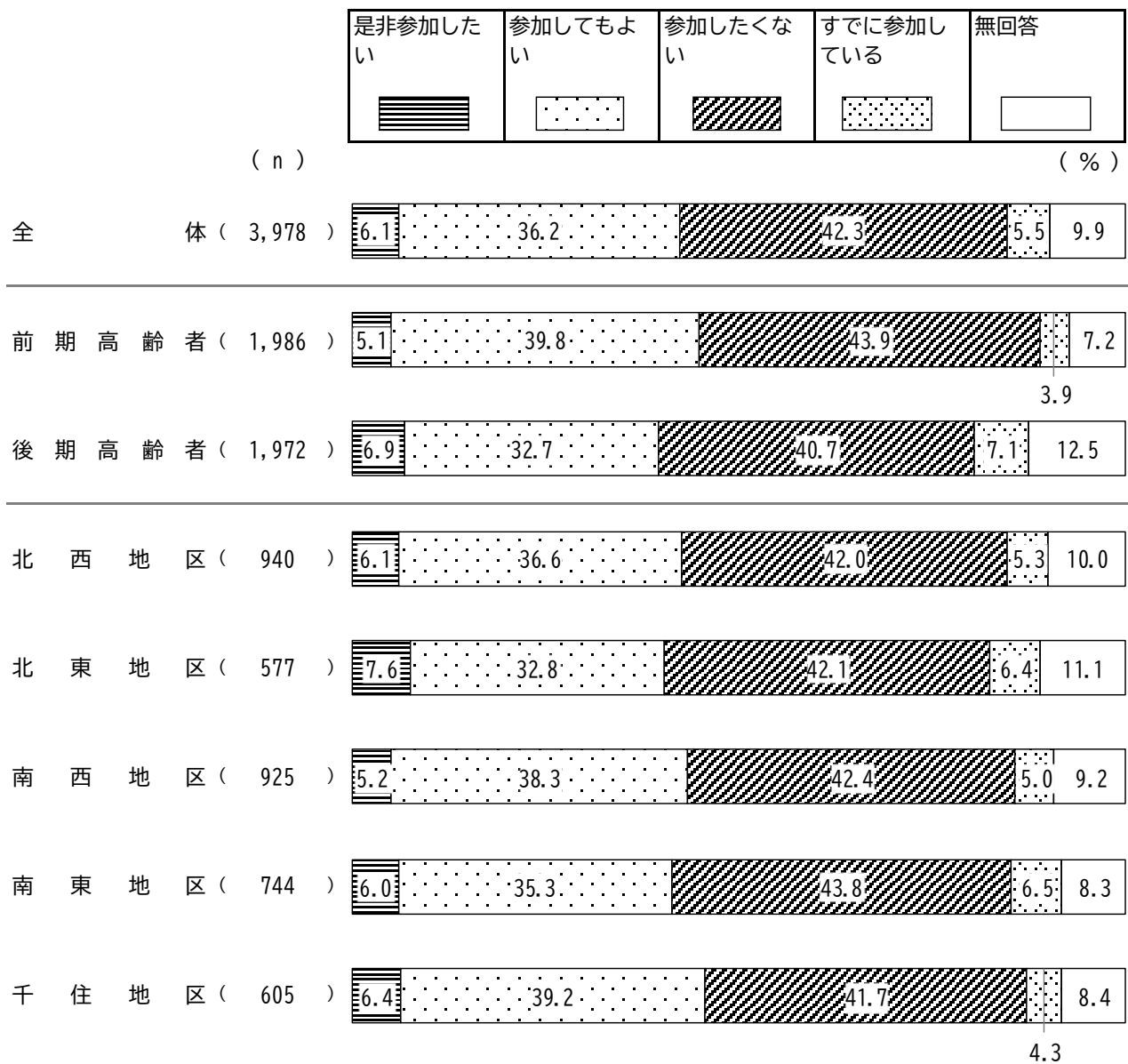


問9(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか(1つに○)。

地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動について、足立区全体では、「参加したくない」が42.3%と最も高く、「参加してもよい」が36.2%、「是非参加したい」が6.1%、「すでに参加している」が5.5%となっている。

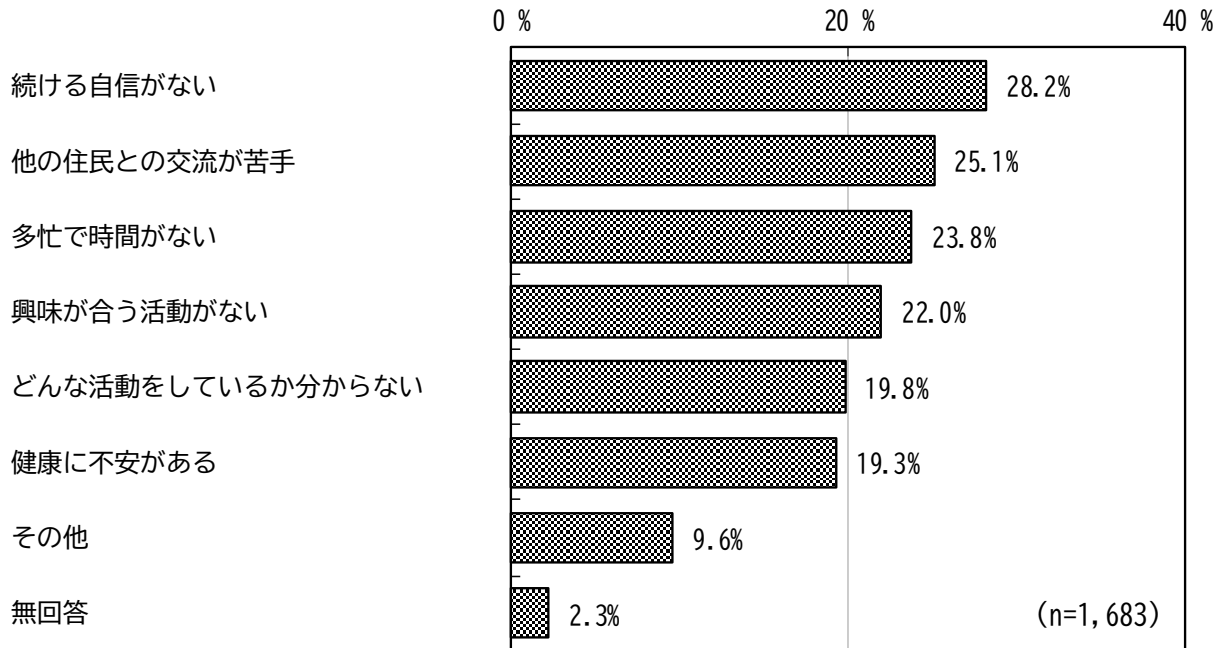
前期・後期別にみると、「参加したくない」では、前期高齢者が43.9%、後期高齢者が40.7%となっている。

日常生活圏域別にみると、「参加したくない」では、南東地区が43.8%と高く、千住地区が41.7%と低くなっている。



## 問9 (2-1) 参加したくない理由を教えてください (いくつでも○)。

地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動に「参加したくない」と回答した方の、参加したくない理由として、「続ける自信がない」が28.2%と最も高く、「他の住民との交流が苦手」が25.1%、「多忙で時間がない」が23.8%、「興味が合う活動がない」が22.0%、「どんな活動をしているか分からない」が19.8%、「健康に不安がある」が19.3%となっている。

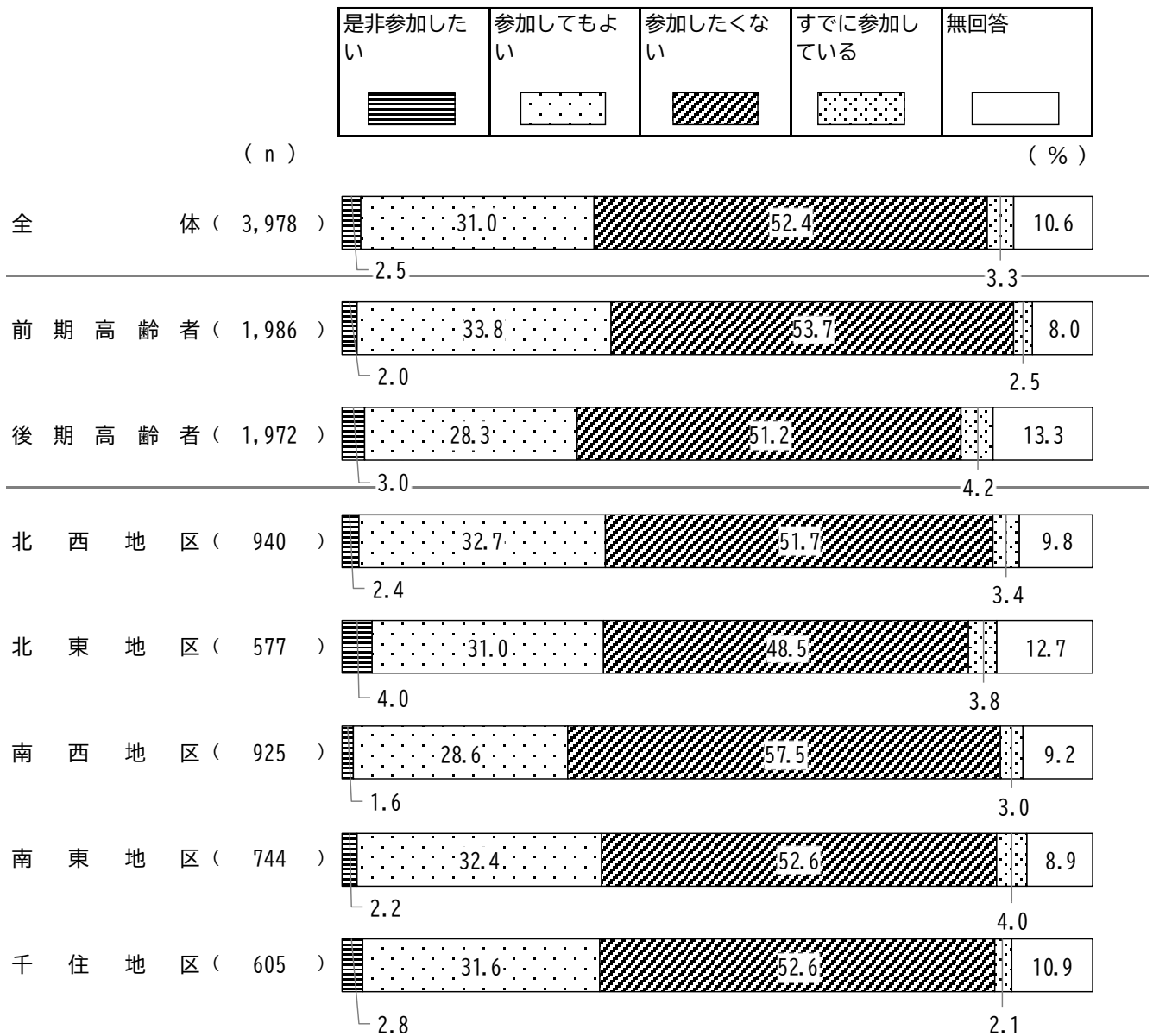


問9 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか(1つに○)。

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動へ、企画・運営(お世話役)として参加することについて、足立区全体では、「参加したくない」が52.4%と最も高く、「参加してもよい」が31.0%、「すでに参加している」が3.3%、「是非参加したい」が2.5%となっている。

前期・後期別にみると、「参加したくない」では、前期高齢者が53.7%、後期高齢者が51.2%となっている。

日常生活圏域別にみると、「参加したくない」では、南西地区が57.5%と高く、北東地区が48.5%と低くなっている。





## 問10 助け合いについて

問10 (1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか  
（いくつでも○）。

問10 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか  
（いくつでも○）。

問10 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか  
（いくつでも○）。

問10 (4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はいますか（いくつでも○）。

助け合いについて、

「心配事や愚痴を聞いてくれる人」について、「配偶者」が48.2%と最も高く、「友人」が42.5%、「別居の子ども」が32.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.8%、「同居の子ども」が19.2%、「近隣」が11.0%となっている。また「そのような人はいない」が5.1%となっている。

「心配事や愚痴を聞いてあげる人」について、「配偶者」が45.9%と最も高く、「友人」が42.4%、「別居の子ども」が30.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.7%、「同居の子ども」が16.8%、「近隣」が13.3%となっている。また「そのような人はいない」が5.8%となっている。

「看病や世話をしてくれる人」について、「配偶者」が52.7%と最も高く、「別居の子ども」が31.1%、「同居の子ども」が24.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が12.8%、「友人」が6.5%、「近隣」が2.6%となっている。また「そのような人はいない」が8.0%となっている。

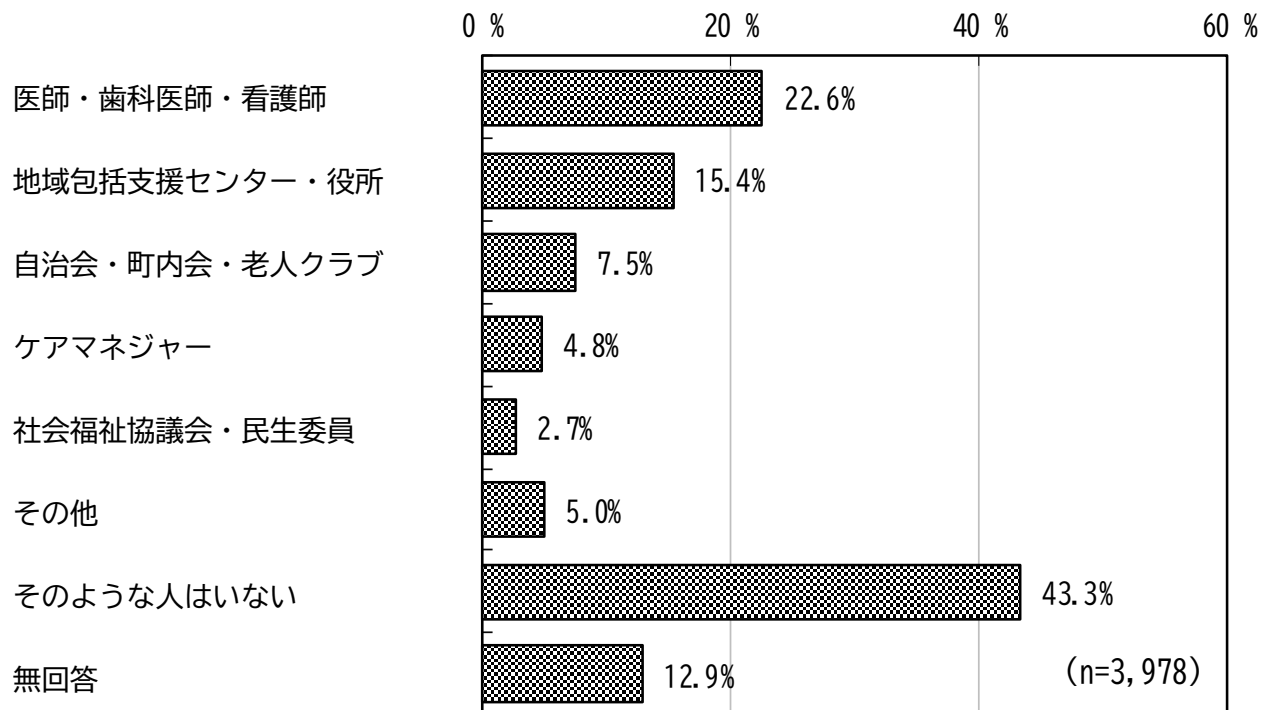
「看病や世話をしてあげる人」について、「配偶者」が53.4%と最も高く、「別居の子ども」が24.1%、「同居の子ども」が20.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が19.8%、「友人」が8.3%、「近隣」が3.7%となっている。また「そのような人はいない」が13.4%となっている。

(%)

	調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか	3978	48.2	19.2	32.7	27.8	11.0	42.5	1.7	5.1	6.4
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか	3978	45.9	16.8	30.7	29.7	13.3	42.4	1.7	5.8	7.6
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか	3978	52.7	24.6	31.1	12.8	2.6	6.5	1.1	8.0	6.8
(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はいますか	3978	53.4	20.7	24.1	19.8	3.7	8.3	0.9	13.4	8.9

問10(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(いくつでも○)。

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手について、「医師・歯科医師・看護師」が22.6%と最も高く、「地域包括支援センター・役所」が15.4%、「自治会・町内会・老人クラブ」が7.5%、「ケアマネジャー」が4.8%、「社会福祉協議会・民生委員」が2.7%となっている。また「そのような人はいない」が43.3%となっている。

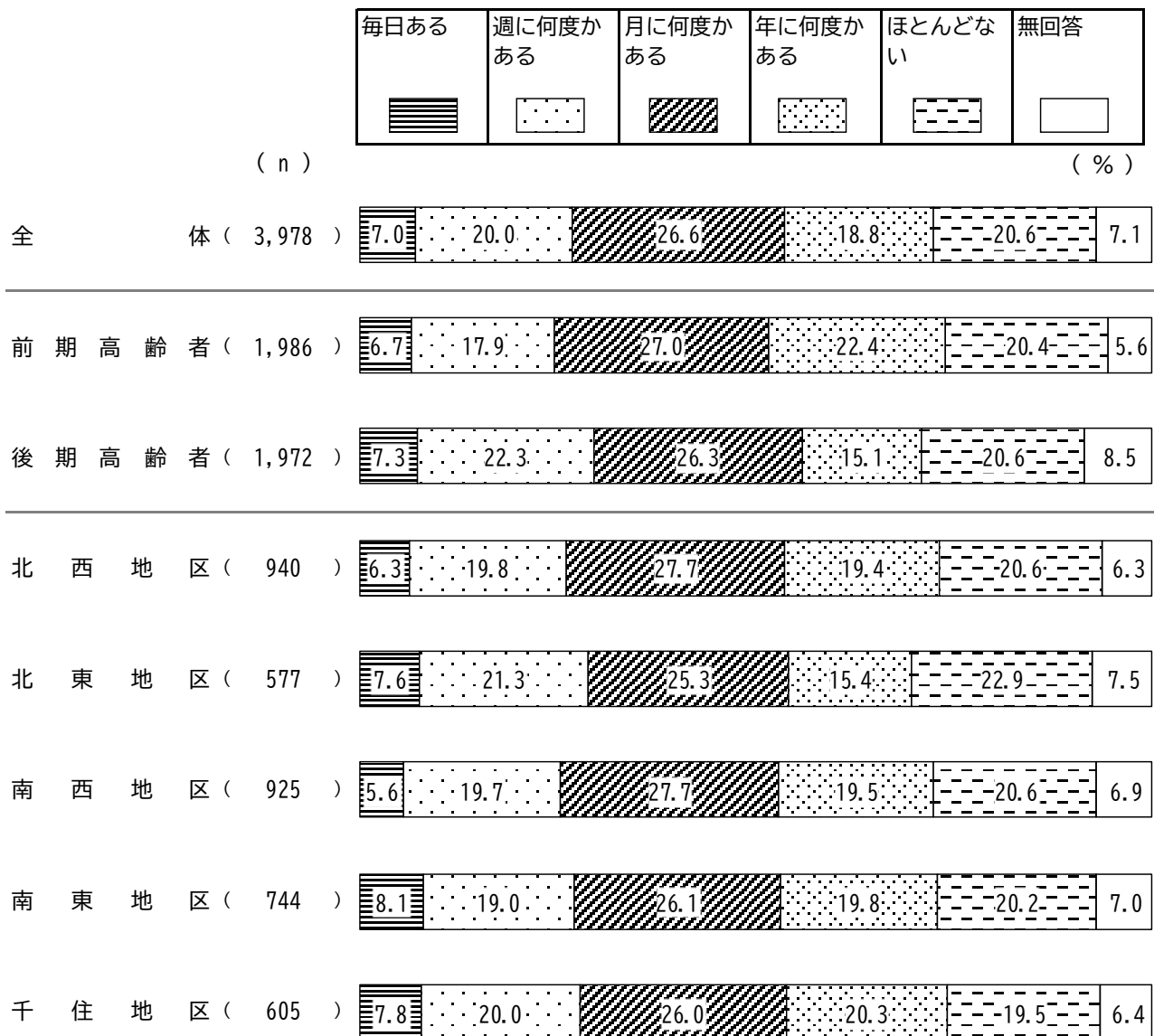


問10 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (1つに○)。

友人・知人と会う頻度について、足立区全体では、「月に何度かある」が26.6%と最も高く、「ほとんどない」が20.6%、「週に何度かある」が20.0%、「年に何度かある」が18.8%、「毎日ある」が7.0%となっている。

前期・後期別にみると、「月に何度かある」では、前期高齢者が27.0%、後期高齢者が26.3%となっている。

日常生活圏域別にみると、「月に何度かある」では、北西地区、南西地区が27.7%と高く、北東地区が25.3%と低くなっている。



問10(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします(1つに○)。

この1か月間に友人・知人と会った人数について、足立区全体では、「3～5人」が25.0%と最も高く、「1～2人」が23.0%、「0人(いない)」が19.1%、「10人以上」が16.8%、「6～9人」が9.3%となっている。

前期・後期別にみると、「3～5人」では、前期高齢者が24.8%、後期高齢者が25.2%となっている。

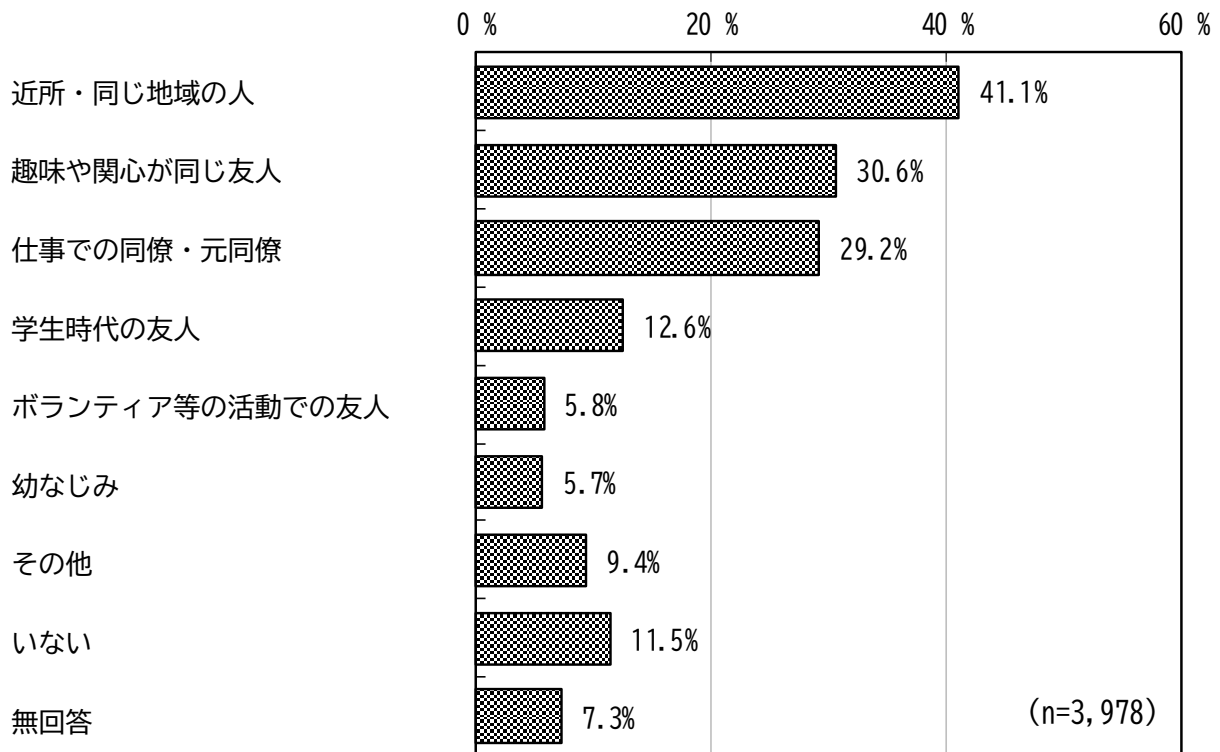
日常生活圏域別にみると、北東地区では、足立区全体と異なり、「1～2人」が24.1%と最も高くなっている。

(%)

		調査数	0人(いない)	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答
全体		3,978	19.1	23.0	25.0	9.3	16.8	6.8
年齢	前期高齢者	1,986	20.7	21.8	24.8	9.2	18.1	5.4
	後期高齢者	1,972	17.4	24.1	25.2	9.5	15.6	8.2
日常生活圏域	北西地区	940	18.4	23.9	26.9	8.5	16.5	5.7
	北東地区	577	18.9	24.1	23.7	9.7	15.8	7.8
	南西地区	925	19.8	21.9	26.6	8.6	16.3	6.7
	南東地区	744	20.2	22.4	23.8	9.8	18.0	5.8
	千住地区	605	19.2	20.8	22.5	11.1	20.5	6.0

## 問10 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも○)。

よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が41.1%と最も高く、「趣味や関心が同じ友人」が30.6%、「仕事での同僚・元同僚」が29.2%、「学生時代の友人」が12.6%、「ボランティア等の活動での友人」が5.8%、「幼なじみ」が5.7%となっている。また「いない」が11.5%となっている。



(7) 健康について

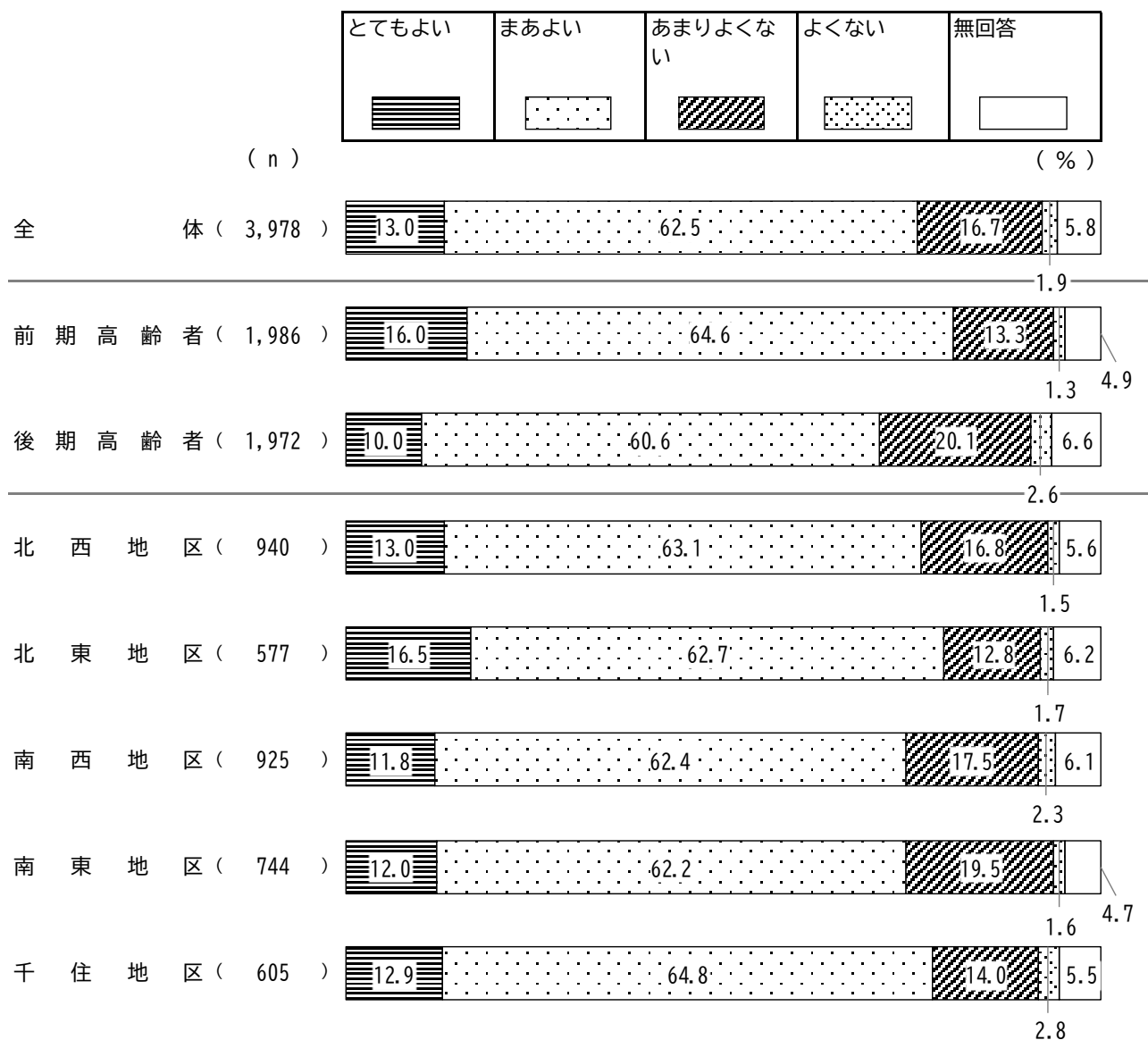
問11 健康について

問11 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (1つに○)。

現在の健康状態について、足立区全体では、「まあよい」が62.5%と最も高く、「あまりよくない」が16.7%、「ととてもよい」が13.0%、「よくない」が1.9%となっている。

前期・後期別にみると、「まあよい」では、前期高齢者が64.6%、後期高齢者が60.6%となっている。

日常生活圏域別にみると、「まあよい」では、千住地区が64.8%と高く、南東地区が62.2%と低くなっている。



問11 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか（当てはまる点数1つに○）  
 （「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）。

現在の幸福度について、足立区全体では、全体では、「8点」が20.9%と最も高く、「5点」が17.5%、「7点」が15.9%、「10点（とても幸せ）」が12.2%、「9点」が9.7%、「6点」が9.5%、「4点」が3.2%、「3点」が2.3%、「2点」が0.7%、「0点（とても不幸）」「1点」が0.3%となっている。7点以上は58.7%となっている。

なお、足立区では、幸福度が7点以上である割合を指標の一つとしている。

(%)

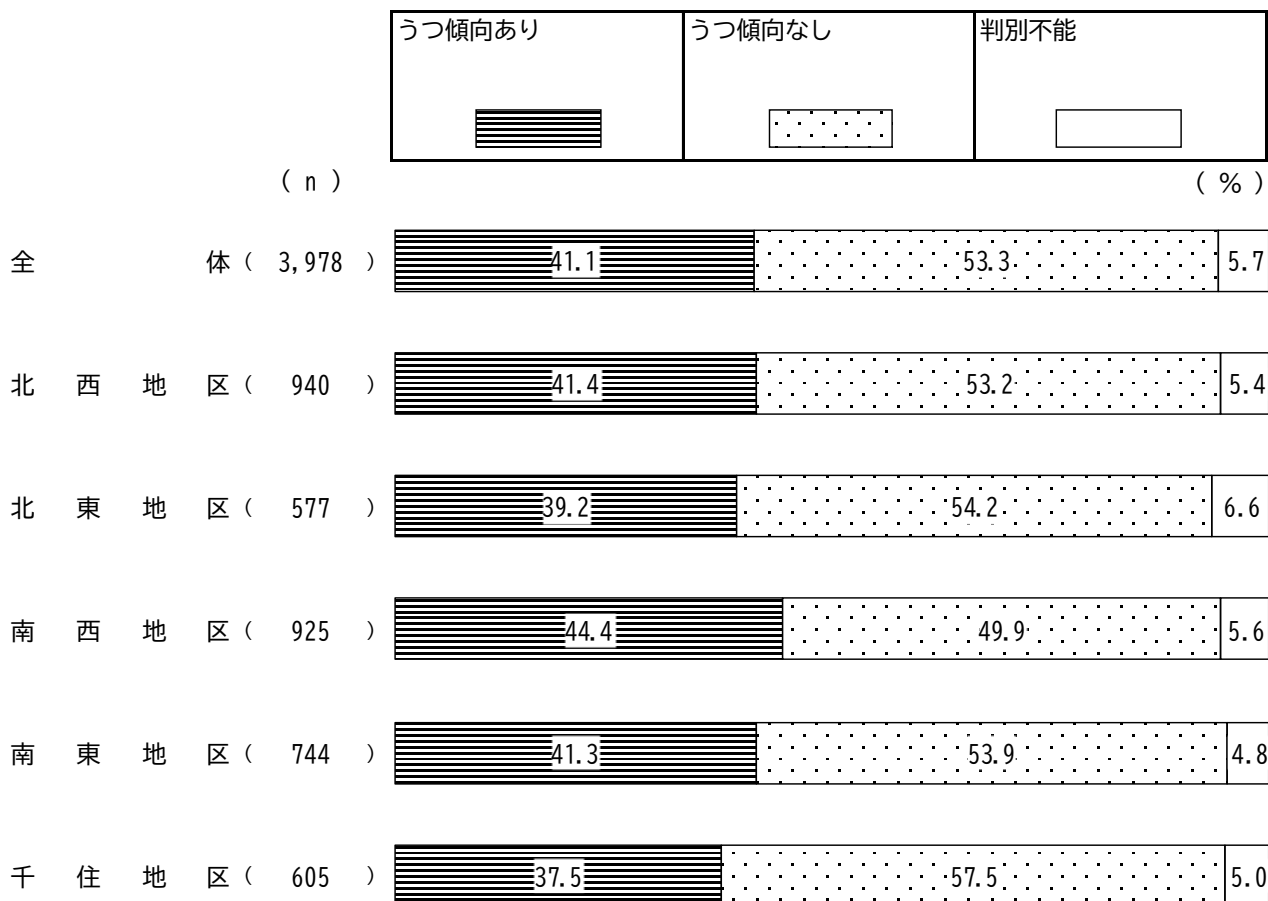
		調査数	0点(とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点
全体		3,978	0.3	0.3	0.7	2.3	3.2	17.5
年齢	前期高齢者	1,986	0.2	0.2	0.8	2.5	3.1	16.4
	後期高齢者	1,972	0.4	0.4	0.7	2.2	3.4	18.6
日常生活圏域	北西地区	940	0.3	0.3	0.9	2.0	3.8	18.8
	北東地区	577	0.2	0.5	0.7	2.4	1.4	19.6
	南西地区	925	-	0.2	0.8	2.3	3.4	17.1
	南東地区	744	0.4	0.4	0.8	2.6	3.4	18.0
	千住地区	605	0.3	0.2	0.3	2.3	3.3	13.7

		調査数	6点	7点	8点	9点	10点(とても幸せ)	無回答
全体		3,978	9.5	15.9	20.9	9.7	12.2	7.4
年齢	前期高齢者	1,986	10.3	16.9	21.6	10.5	11.7	6.0
	後期高齢者	1,972	8.7	15.0	20.2	9.0	12.7	8.7
日常生活圏域	北西地区	940	9.8	16.1	20.5	8.9	11.3	7.2
	北東地区	577	10.6	13.2	19.9	9.5	14.7	7.3
	南西地区	925	9.6	17.4	21.3	10.8	10.2	7.0
	南東地区	744	8.2	15.9	22.3	9.3	12.5	6.3
	千住地区	605	10.1	17.4	22.1	10.6	12.1	7.6

① うつ傾向

うつ傾向について、足立区全体では、「うつ傾向あり」が41.1%、「うつ傾向なし」が53.3%となっている。

日常生活圏域別にみると、「うつ傾向あり」では、南西地区が44.4%と高く、千住地区が37.5%と低くなっている。



なお、上記の判断基準は、下記の設問の該当状況による。

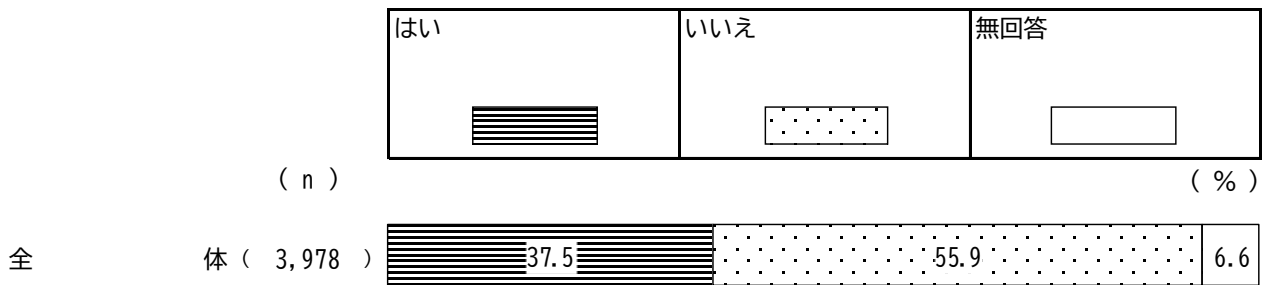
リスクの区分	設問	質問項目	該当する選択肢	リスク該当者
うつ傾向	問11(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか(1つに○)。	1. はい	1つ以上の設問に該当
	問11(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(1つに○)。	1. はい	



また、前頁に関連する設問の回答状況は下記のとおりです。

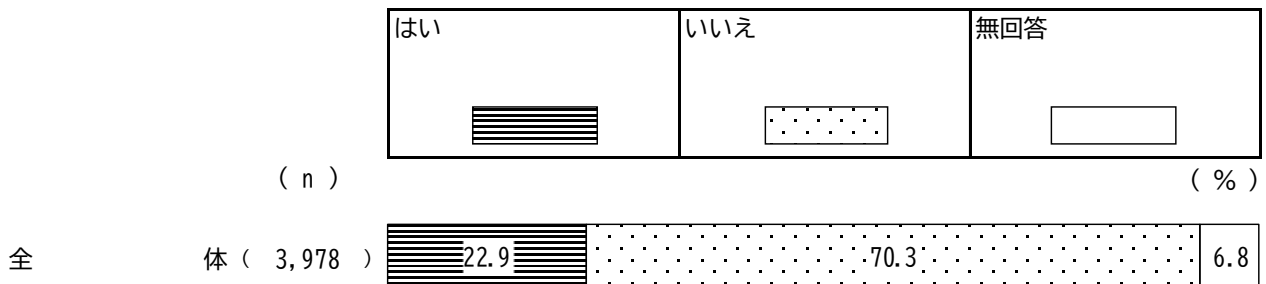
問11 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (1つに○)。

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が37.5%、「いいえ」が55.9%となっている。



問11 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (1つに○)。

物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがあったかについて、「はい」が22.9%、「いいえ」が70.3%となっている。

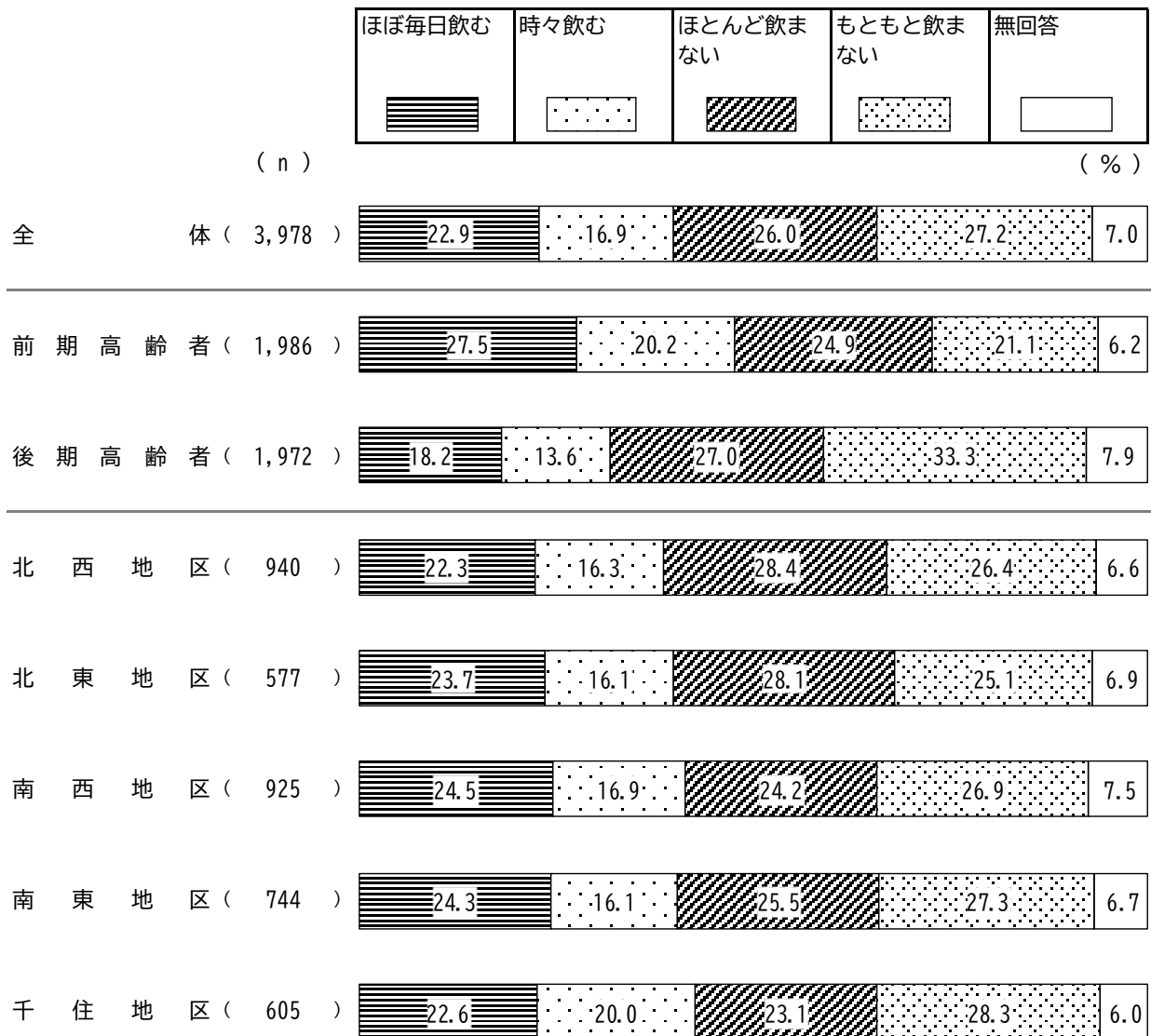


問11 (5) お酒は飲みますか (1つに○)。

飲酒について、足立区全体では、「もともと飲まない」が27.2%と最も高く、「ほとんど飲まない」が26.0%、「ほぼ毎日飲む」が22.9%、「時々飲む」が16.9%となっている。

前期・後期別にみると、前期高齢者では、「ほぼ毎日飲む」が27.5%、後期高齢者では、「もともと飲まない」が33.3%と最も高くなっている。

日常生活圏域別にみると、北西地区、北東地区では、「ほとんど飲まない」が、南西地区、南東地区、千住地区では、「もともと飲まない」が高くなっている。



## 問11 (5-1) お酒を飲む日は、1日にどのくらい量を飲みますか(1つに○)。

飲酒について、「ほぼ毎日飲む」または「時々飲む」と回答した方の、1日の飲酒量について、足立区全体では、「1合未満」が41.2%と最も高く、「1～2合未満」が35.7%、「2～3合未満」が16.8%、「3合以上」が4.4%となっている。

前期・後期別にみると、「1合未満」では、前期高齢者が38.0%、後期高齢者では46.2%となっている。

日常生活圏域別にみると、「1合未満」では、千住地区が45.3%と高く、南西地区が37.9%と低くなっている。

(%)

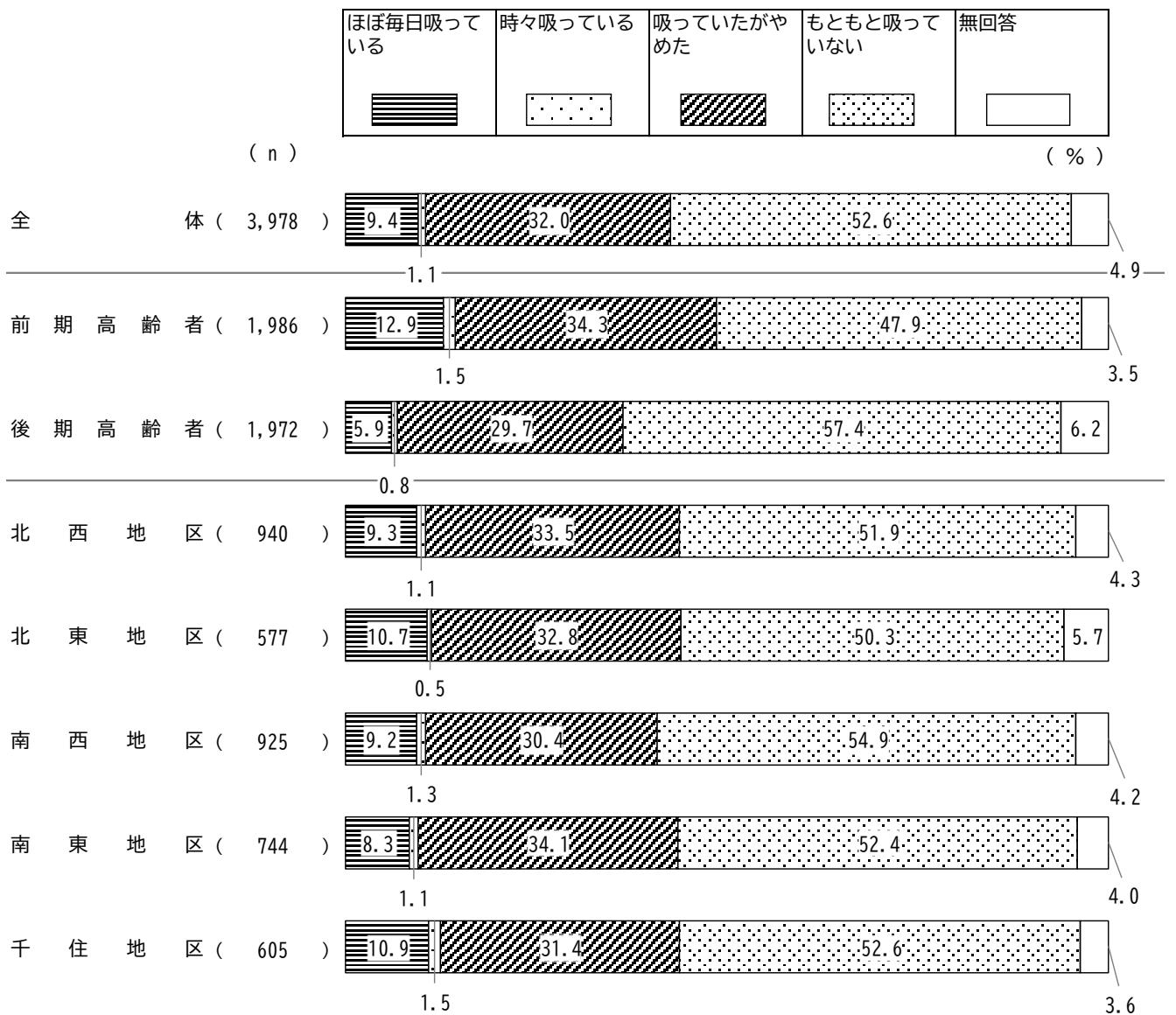
		調査数	1合未満	1～2合 未満	2～3合 未満	3合以上	無回答
全体		1,584	41.2	35.7	16.8	4.4	1.9
年齢	前期高齢者	949	38.0	33.6	21.3	6.1	0.9
	後期高齢者	628	46.2	38.5	10.0	1.9	3.3
日常生活 圏域	北西地区	363	44.6	33.6	16.5	3.9	1.4
	北東地区	230	38.3	37.8	17.4	4.8	1.7
	南西地区	383	37.9	38.1	17.2	4.7	2.1
	南東地区	301	39.5	35.5	19.3	4.7	1.0
	千住地区	258	45.3	33.3	14.7	5.0	1.6

問11 (6) タバコは吸っていますか (1つに○)。

喫煙について、足立区全体では、「もともと吸っていない」が52.6%と最も高く、「吸っていたがやめた」が32.0%、「ほぼ毎日吸っている」が9.4%、「時々吸っている」が1.1%となっている。

前期・後期別にみると、「ほぼ毎日吸っている」では、前期高齢者が12.9%、後期高齢者が5.9%となっている。

日常生活圏域別にみると、「ほぼ毎日吸っている」では、千住地区が10.9%と高く、南東地区が8.3%と低くなっている。



## 問11 (6-1) タバコは1日にどのくらい吸いますか (1つに○)。

喫煙について、「ほぼ毎日吸っている」または「時々吸っている」と回答した方の、一日の喫煙量について、足立区全体では、「15本未満」が50.5%と最も高く、「15～20本未満」が33.8%、「20～35本未満」が13.1%、「35本以上」が1.2%となっている。

前期・後期別にみると、「15本未満」では、前期高齢者が47.0%、後期高齢者が56.8%となっている。

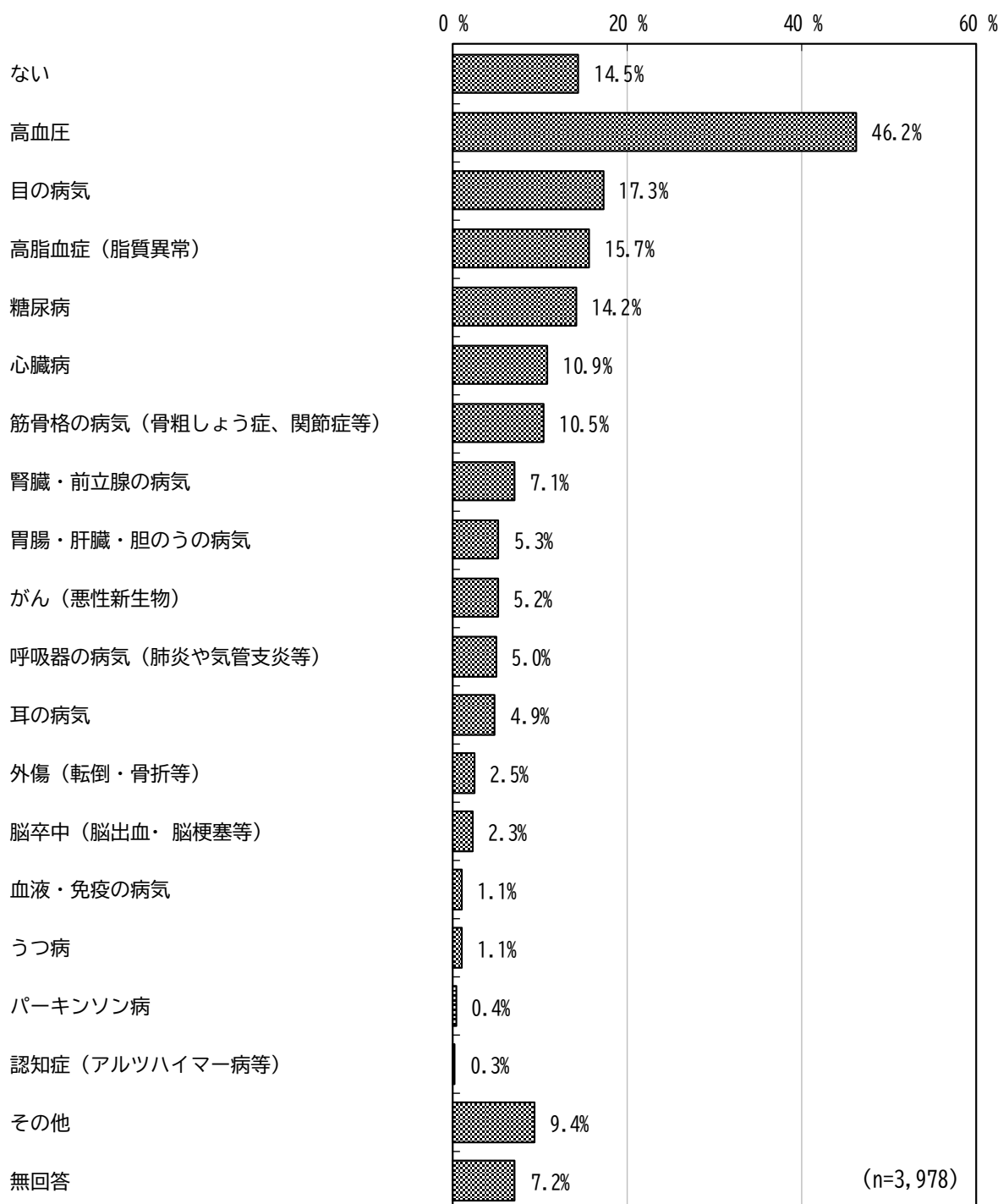
日常生活圏域別にみると、「15本未満」では、千住地区が58.7%と高く、北西地区が42.3%と低くなっている。

(%)

		調査数	15本未満	15～20本 未満	20～35本 未満	35本以上	無回答
全体		420	50.5	33.8	13.1	1.2	1.4
年齢	前期高齢者	285	47.0	35.4	14.4	1.4	1.8
	後期高齢者	132	56.8	31.1	10.6	0.8	0.8
日常生活 圏域	北西地区	97	42.3	41.2	15.5	0.0	1.0
	北東地区	65	52.3	29.2	15.4	3.1	0.0
	南西地区	97	50.5	29.9	16.5	1.0	2.1
	南東地区	70	48.6	37.1	11.4	1.4	1.4
	千住地区	75	58.7	32.0	6.7	1.3	1.3

問11 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも○)。

現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が46.2%と最も高く、「目の病気」が17.3%、「高脂血症 (脂質異常)」が15.7%、「ない」が14.5%、「糖尿病」が14.2%、「心臓病」が10.9%、「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)」が10.5%、「腎臓・前立腺の病気」が7.1%、「胃腸・肝臓・胆のうの病気」が5.3%、「がん (悪性新生物)」が5.2%、「呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)」が5.0%、「耳の病気」が4.9%、「外傷 (転倒・骨折等)」が2.5%、「脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)」が2.3%、「血液・免疫の病気」「うつ病」が1.1%、「パーキンソン病」が0.4%、「認知症 (アルツハイマー病等)」が0.3%となっている。



## (8) 健康と医療について

## 問12 あなたは、いくつまで健康（介護を受けない状態）に過ごしたいですか。

健康に過ごしたいと考えている年齢について、足立区全体では、「90～94歳」が24.5%と最も高く、「80～84歳」が22.4%、「85～89歳」が21.8%、「100歳以上」が8.6%、「95～99歳」が3.7%、「75～79歳」が3.4%、「70～74歳」が0.6%、「60歳未満」が0.2%、「60～64歳」が0.1%、「65～69歳」が0.0%となっている。

前期・後期別にみると、前期高齢者では「80～84歳」が35.8%、後期高齢者では「90～94歳」が29.9%と高くなっている。

(%)

		調査数	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳
全体		3,978	0.2	0.1	0.0	0.6	3.4	22.4
年齢	前期高齢者	1,986	0.1	0.1	0.1	1.1	6.1	35.8
	後期高齢者	1,972	0.3	0.1	0.0	0.0	0.6	8.8
日常生活圏域	北西地区	940	0.2	0.0	0.0	1.0	2.8	22.9
	北東地区	577	0.2	0.3	0.0	0.0	3.6	23.9
	南西地区	925	0.2	0.1	0.1	0.5	3.1	22.9
	南東地区	744	0.1	0.0	0.0	0.5	4.0	23.0
	千住地区	605	0.2	0.0	0.0	0.5	4.1	21.0

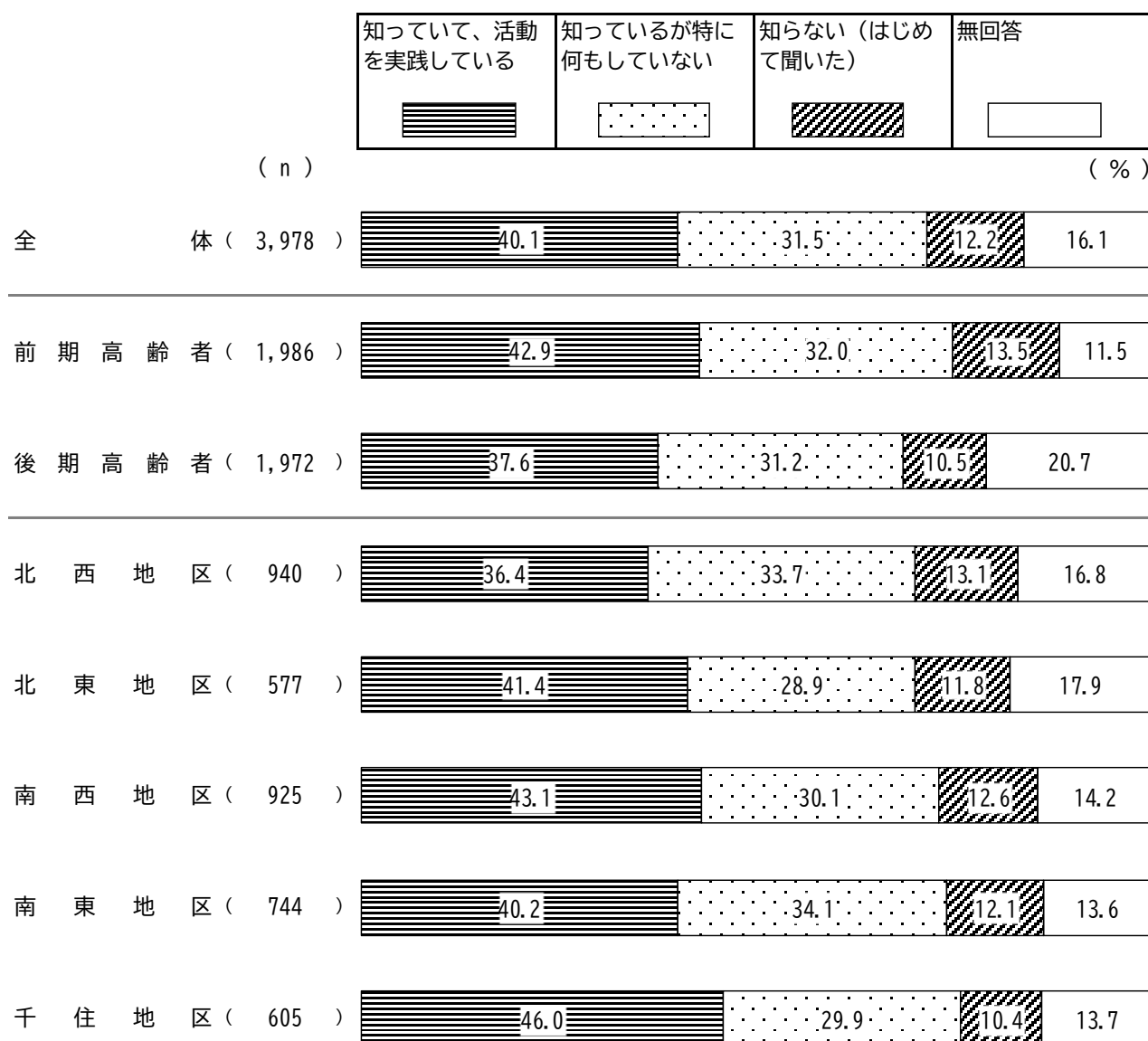
		調査数	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	調査数	無回答
全体		3,978	21.8	24.5	3.7	8.6	3,978	14.8
年齢	前期高齢者	1,986	19.2	19.2	1.7	6.9	1,986	9.7
	後期高齢者	1,972	24.4	29.9	5.8	10.4	1,972	19.8
日常生活圏域	北西地区	940	21.3	24.8	3.4	9.9	940	13.8
	北東地区	577	21.7	25.8	2.8	8.7	577	13.0
	南西地区	925	22.3	24.0	4.1	9.2	925	13.4
	南東地区	744	22.0	22.8	4.0	7.0	744	16.4
	千住地区	605	23.5	25.1	4.3	8.6	605	12.7

問13 高齢期におこりやすい「フレイル」(筋力や心身の機能などが低下し、衰弱した状態)にならないために、「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」のそれぞれが大切なことを知っていますか(1つに○)。

「フレイル」にならないために、「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」のそれぞれが大切なことを知っているかについて、足立区全体では、「知っていて、活動を実践している」が40.1%と最も高く、「知っているが特に何もしていない」が31.5%。「知っていて、活動を実践している」と「知っているが、特に何もしていない」を合わせた【知っている】は71.6%となっている。「知らない(はじめて聞いた)」が12.2%となっている。

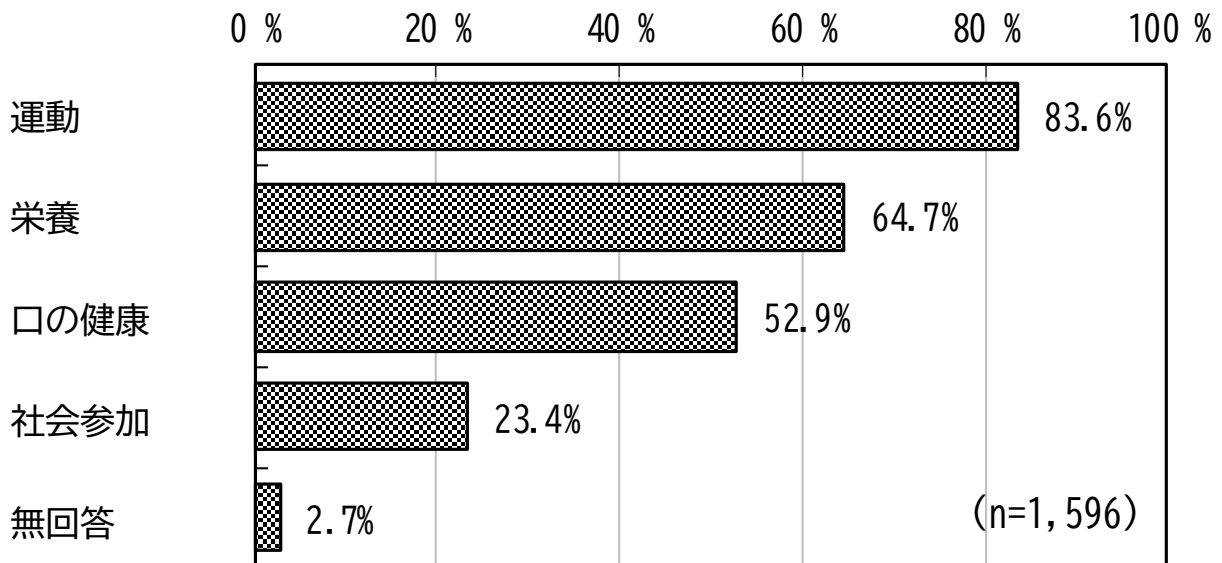
前期・後期別にみると、「知っていて、活動を実践している」では、前期高齢者が42.9%、後期高齢者が37.6%となっている。

日常生活圏域別にみると、「知っていて、活動を実践している」では、千住地区が46.0%と高く、北西地区が36.4%と低くなっている。





「フレイル」にならないために「実践している」と回答した方の活動は、「運動」が83.6%と最も高く、「栄養」が64.7%、「口の健康」が52.9%、「社会参加」が23.4%となっている。

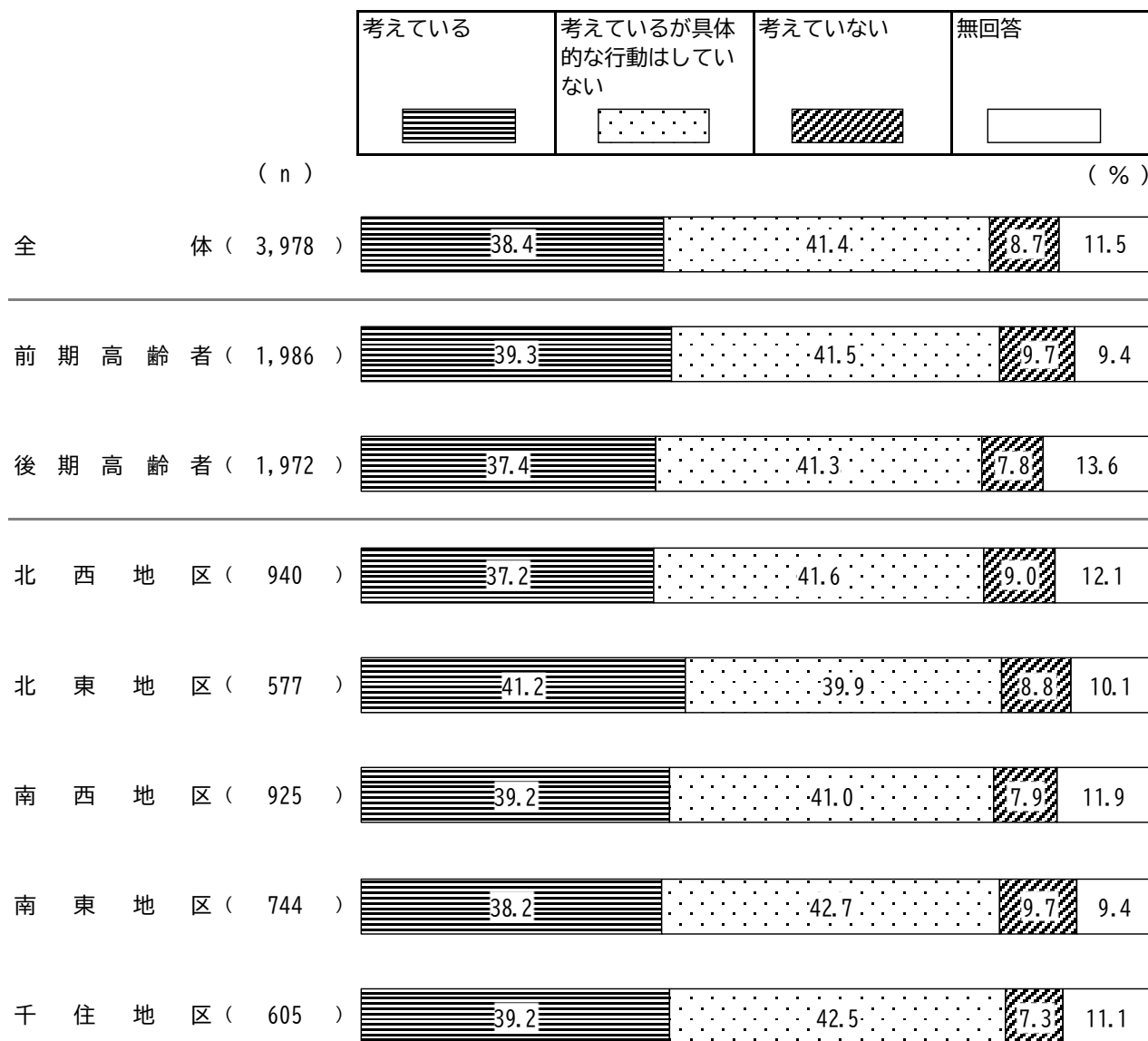


問14 あなたは、老いへの備えを考えていますか（1つに○）。

老いへの備えについて、足立区全体では、「考えているが具体的な行動はしていない」が41.4%と最も高く、「考えている」が38.4%、「考えていない」が8.7%となっている。

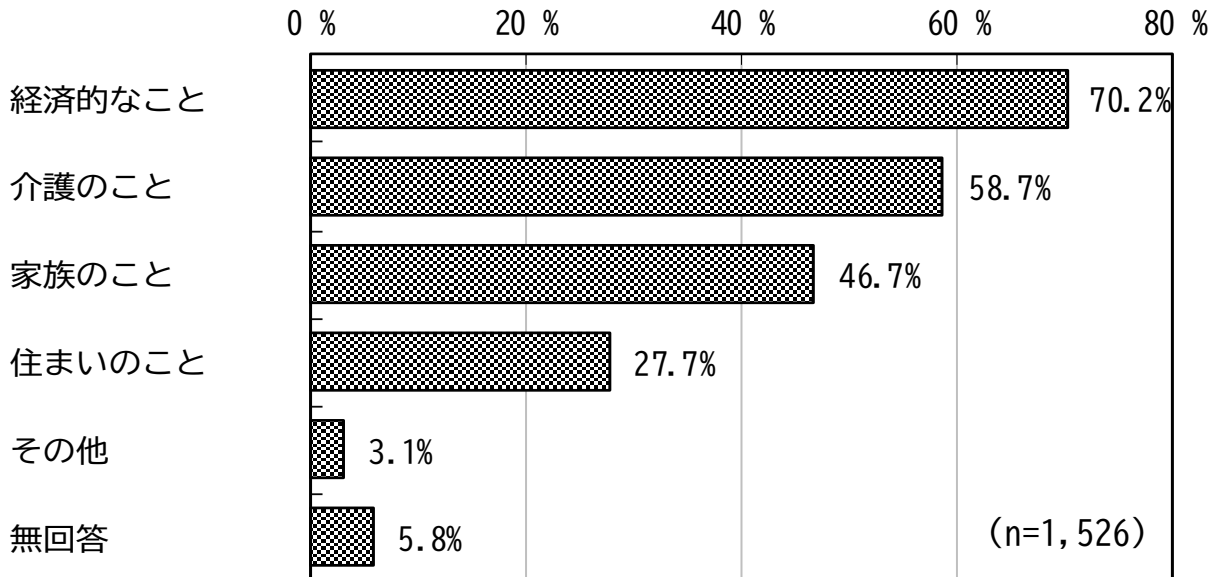
前期・後期別にみると、「考えているが具体的な行動はしていない」では、前期高齢者が41.5%、後期高齢者が41.3%となっている。

日常生活圏域別にみると、「考えていない」では、南東地区が9.7%と高く、千住地区が7.3%と低くなっている。



## 問14-1 考えている場合、それはどのようなことについてですか（いくつでも○）。

老いへの備えについて、「考えている」と回答した方の、考えている内容について、「経済的なこと」が70.2%と最も高く、「介護のこと」が58.7%、「家族のこと」が46.7%、「住まいのこと」が27.7%となっている。

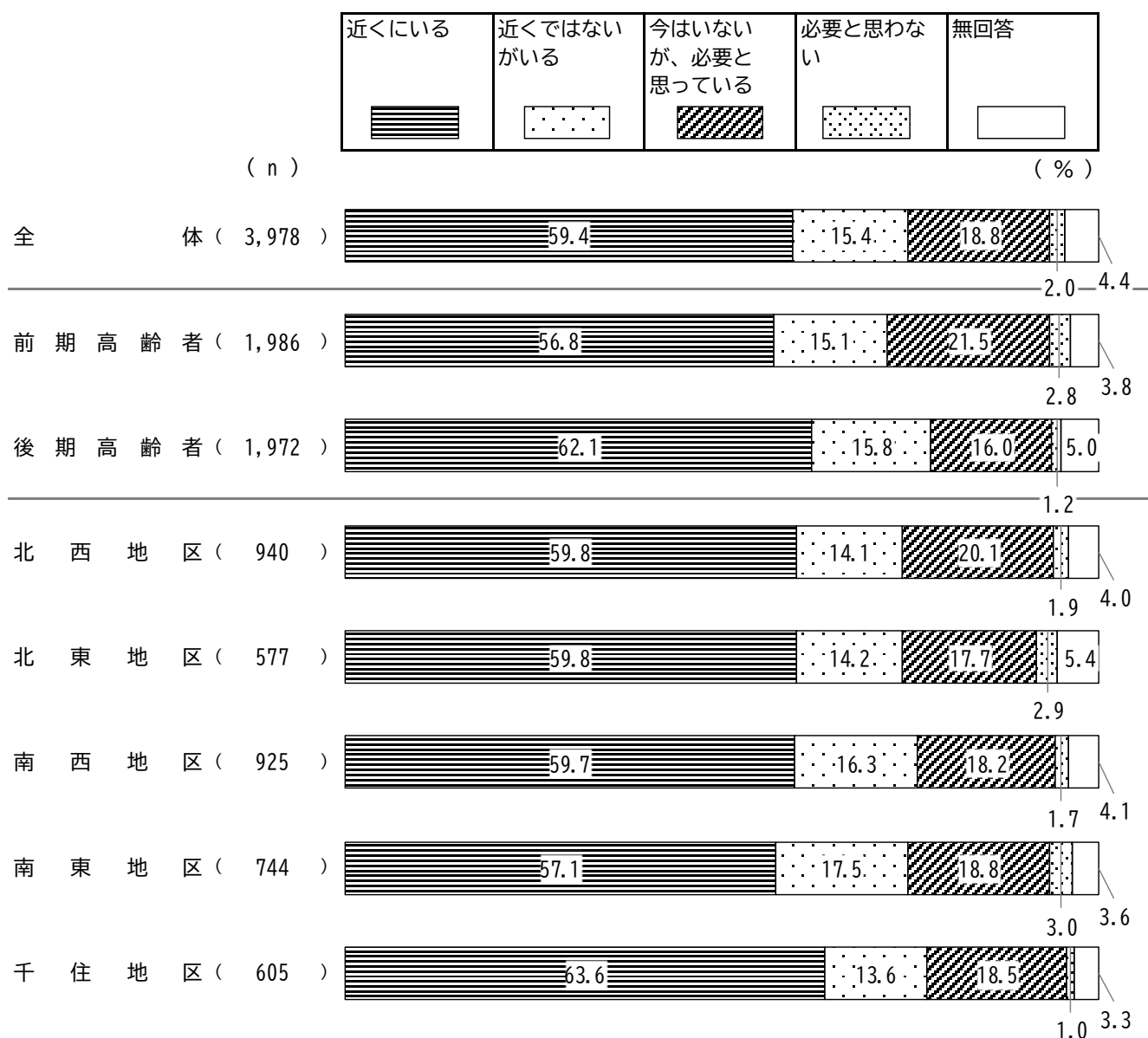


問15 あなたには、日常の健康について相談するかかりつけの医師、歯科医師、薬局のいずれかはいますか（1つに○）。

日常の健康について相談するかかりつけの医師等について、足立区全体では、「近くにいる」が59.4%と最も高く、「今はいないが、必要と思っている」が18.8%、「近くではないがいる」が15.4%、「必要と思わない」が2.0%となっている。

前期・後期別にみると、「近くにいる」では、前期高齢者が56.8%、後期高齢者が62.1%となっている。

日常生活圏域別にみると、「近くにいる」では、千住地区が63.6%と高く、南東地区が57.1%と低くなっている。

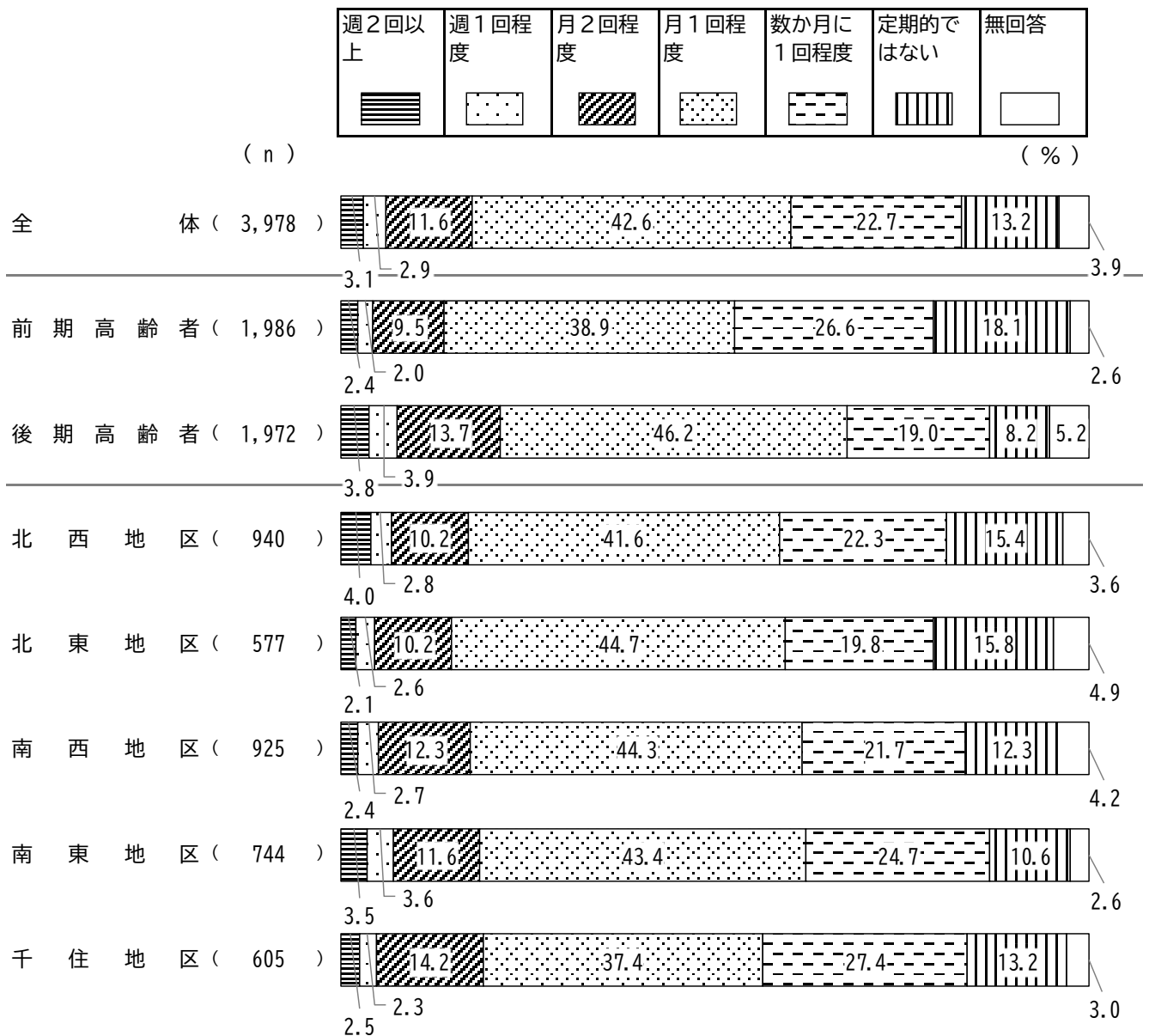


問16 あなたは、医療機関（病院・医院・診療所）にどのくらいの頻度で、通院や往診（訪問診療）を受けていますか（1つに○）。

通院や往診（訪問診療）の頻度について、足立区全体では、「月1回程度」が42.6%と最も高く、「数か月に1回程度」が22.7%、「定期的ではない」が13.2%、「月2回程度」が11.6%、「週2回以上」が3.1%、「週1回程度」が2.9%となっている。

前期・後期別にみると、「月1回程度」では、前期高齢者が38.9%、後期高齢者が46.2%となっている。

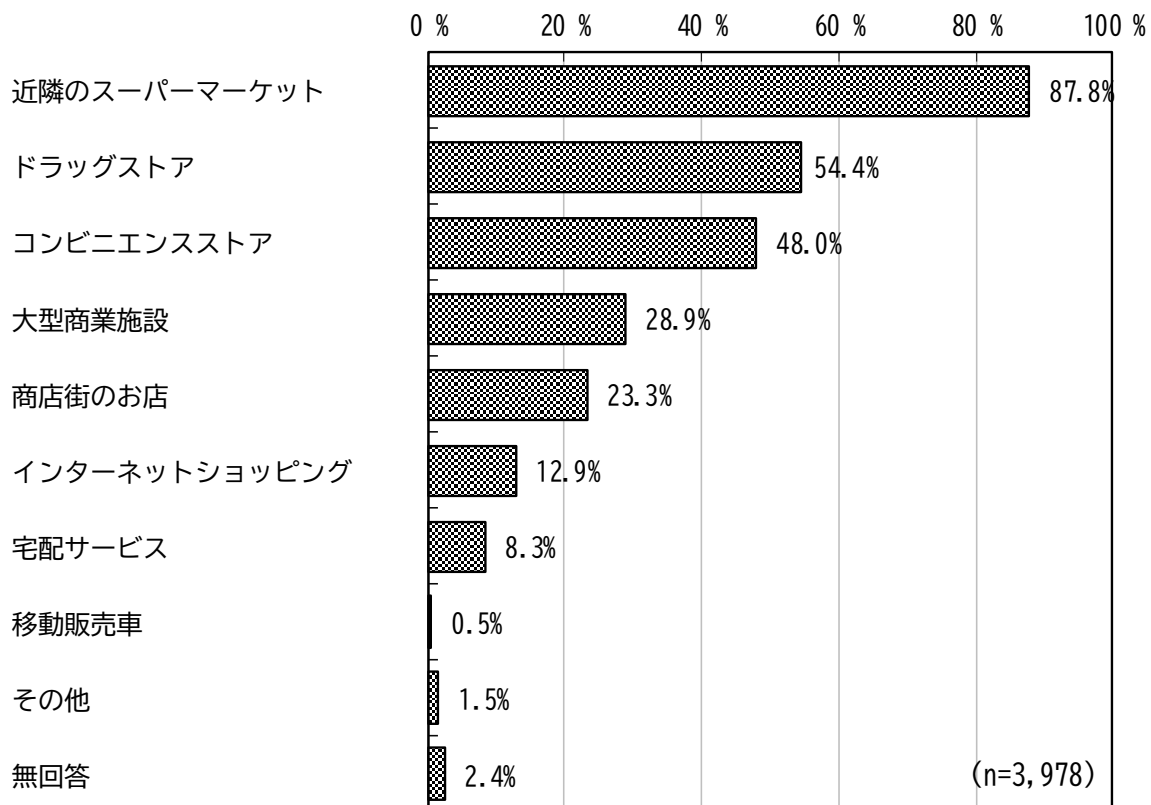
日常生活圏域別にみると、「月1回程度」では、北東地区が44.7%と高く、千住地区が37.4%と低くなっている。



(9) 買い物について

問17 日用品を買物する場合、どのような店を利用しますか（いくつでも○）。

日用品の買物先について、「近隣のスーパーマーケット」が87.8%と最も高く、「ドラッグストア」が54.4%、「コンビニエンスストア」が48.0%、「大型商業施設」が28.9%、「商店街のお店」が23.3%、「インターネットショッピング」が12.9%、「宅配サービス」が8.3%、「移動販売車」が0.5%となっている。

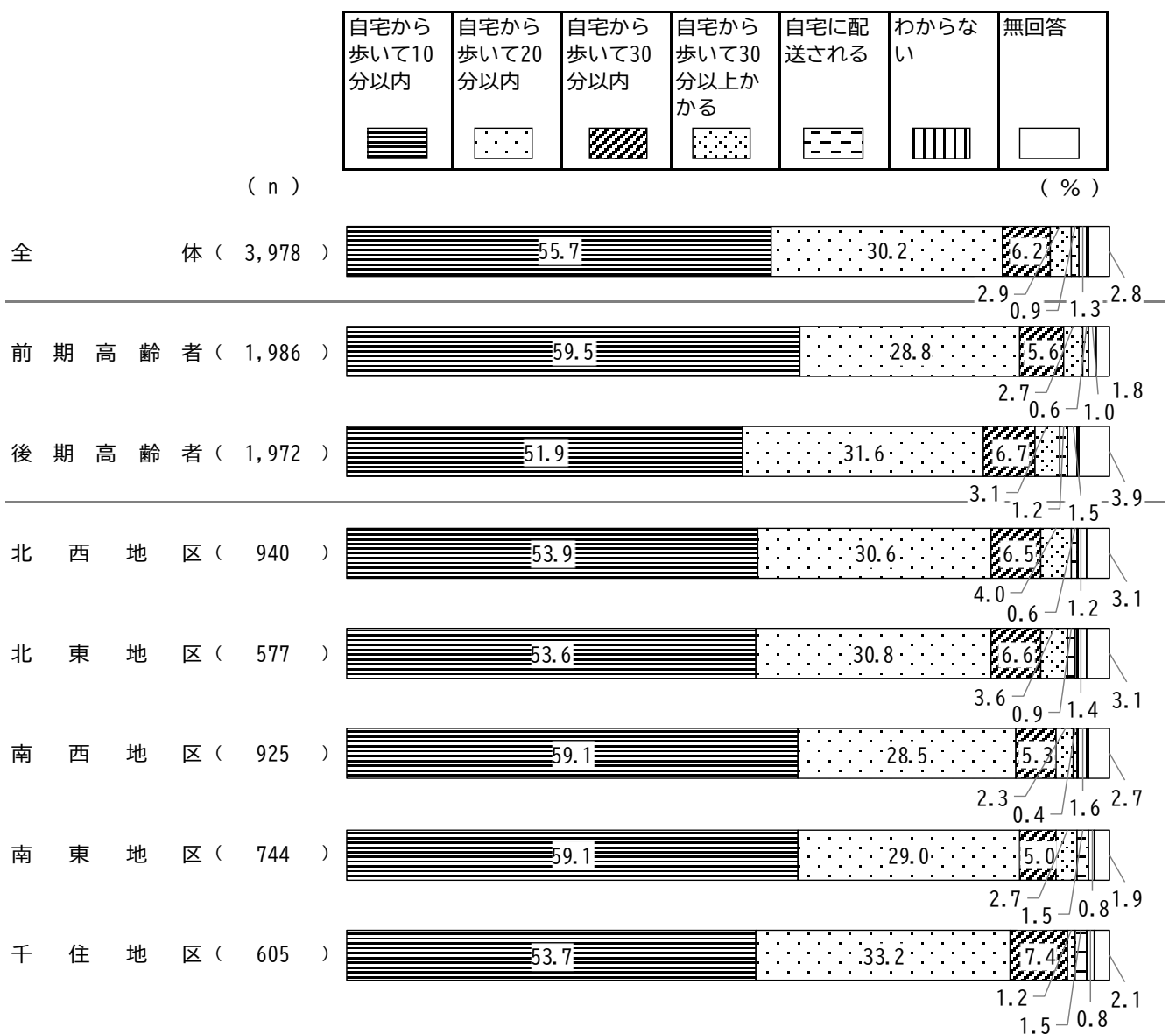


問18 日用品を買物する所(お店)は自宅からどれくらいかかりますか  
(1つに○)。

日用品を買物する場所までの所要時間について、足立区全体では、「自宅から歩いて10分以内」が55.7%と最も高く、「自宅から歩いて20分以内」が30.2%、「自宅から歩いて30分以内」が6.2%、「自宅から歩いて30分以上かかる」が2.9%、「自宅に配送される」が0.9%、「わからない」が1.3%となっている。

前期・後期別にみると、「自宅から歩いて10分以内」では、前期高齢者が59.5%、後期高齢者が51.9%となっている。

日常生活圏域別にみると、「自宅から歩いて10分以内」では、南西地区、南東地区が59.1%と高く、北東地区が53.6%と低くなっている。

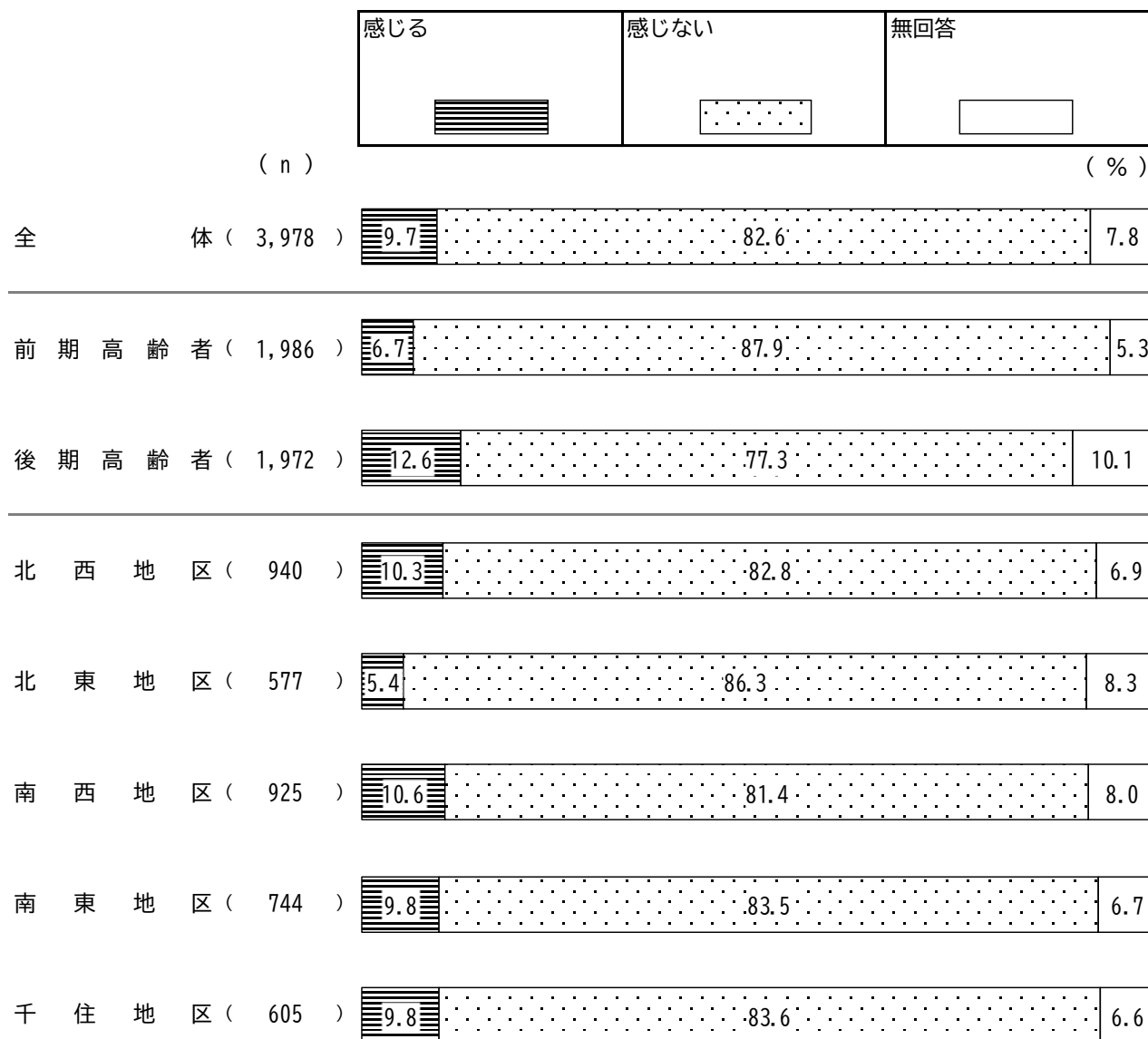


問19 日用品の買物について不便を感じていますか（1つに○）。

日用品の買物について、不便を感じているかについて、足立区全体では、「感じる」が9.7%、「感じない」が82.6%となっている。

前期・後期別にみると、「感じる」では、前期高齢者が6.7%、後期高齢者が12.6%となっている。

日常生活圏域別にみると、「感じる」では、南西地区が10.6%と高く、北東地区が5.4%と低くなっている。



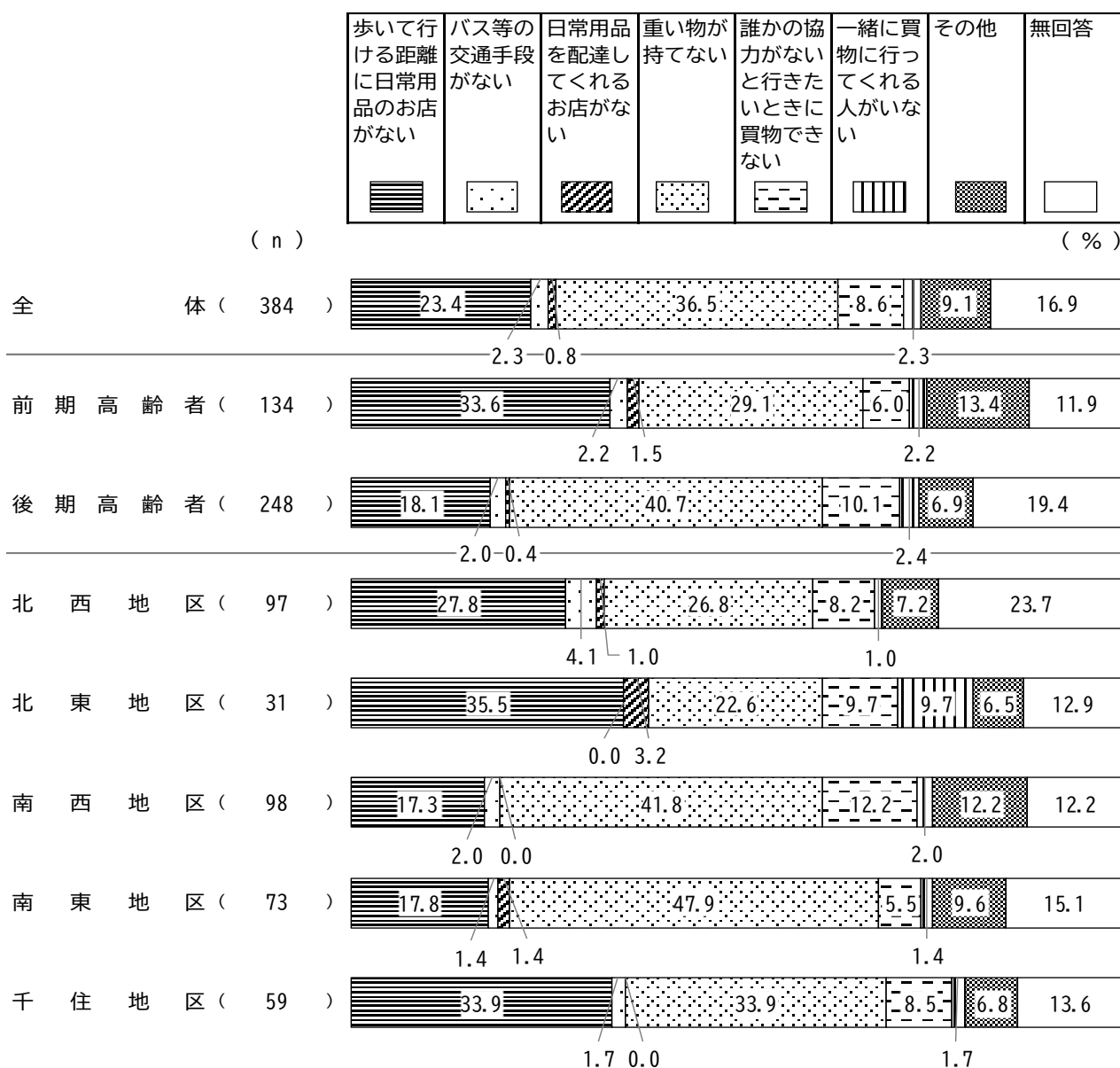


問19-1 不便を感じていることは、特にどのようなことですか（1つに○）。

日用品の買物において、不便を「感じる」と回答した方の不便を感じる点として、足立区全体では、「重い物が持てない」が36.5%と最も高く、「歩いて行ける距離に日用品のお店がない」が23.4%、「誰かの協力がないと行きたいときに買物できない」が8.6%、「バス等の交通手段がない」「一緒に買物に行ってくれる人がいない」が2.3%、「日用品を配達してくれるお店がない」が0.8%となっている。

前期・後期別にみると、前期高齢者では、「歩いて行ける距離に日用品のお店がない」が33.6%、後期高齢者では、「重い物が持てない」が40.7%と高くなっている。

日常生活圏域別にみると、北西地区、北東地区、千住地区では、「歩いて行ける距離に日用品のお店がない」が、南西地区、南東地区、千住地区では、「重い物が持てない」が高くなっている。



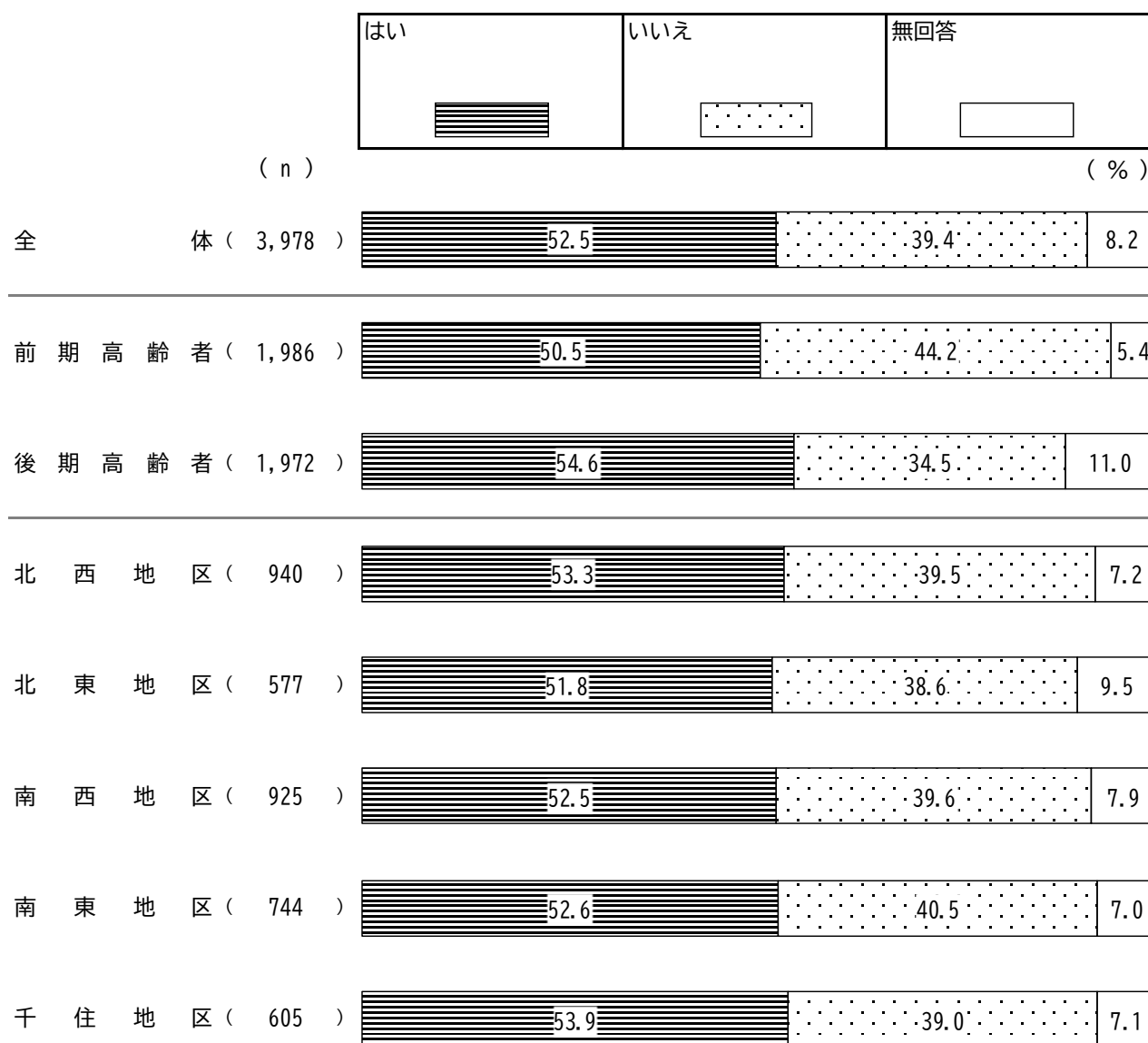
(10) 日々の生活について

問20 あなたは、詐欺にあわないための対策をしていますか（1つに○）。

詐欺にあわないための対策をしているかについて、足立区全体では、「はい」が52.5%、「いいえ」が39.4%となっている。

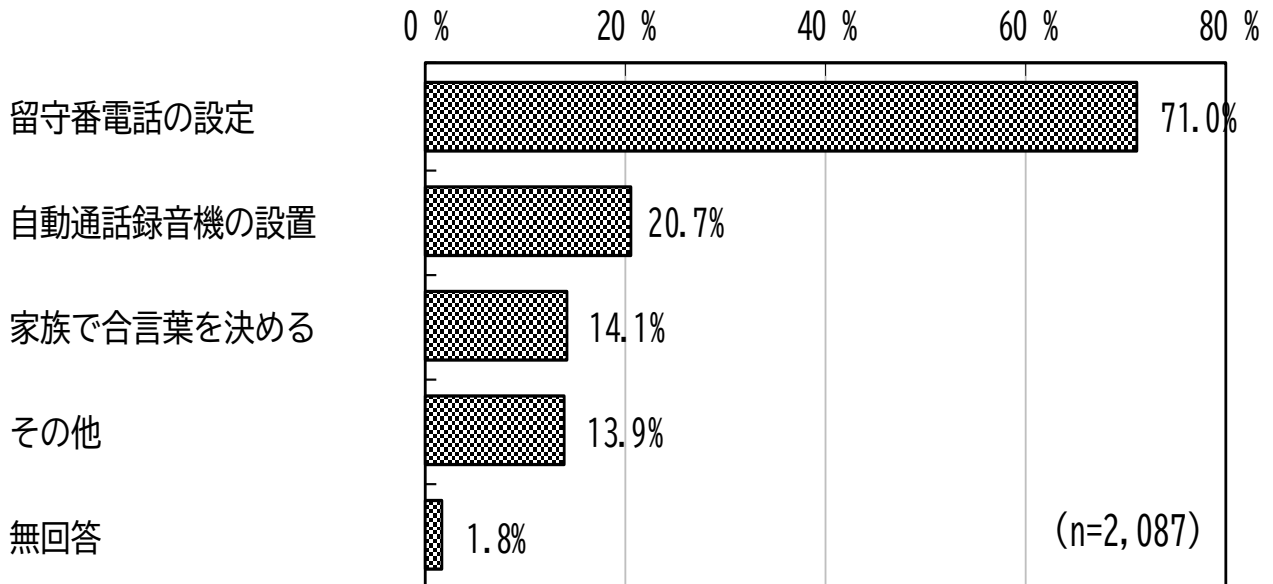
前期・後期別にみると、「はい」では、前期高齢者が50.5%、後期高齢者が54.6%となっている。

日常生活圏域別にみると、「はい」では、千住地区が53.9%と高く、北東地区が51.8%と低くなっている。



## 問20-1 どのような対策をしていますか (いくつでも○)。

詐欺にあわないための対策をしているかについて、「はい」と回答した方の対策について、「留守番電話の設定」が71.0%と最も高く、「自動通話録音機の設置」が20.7%、「家族で合言葉を決める」が14.1%となっている。

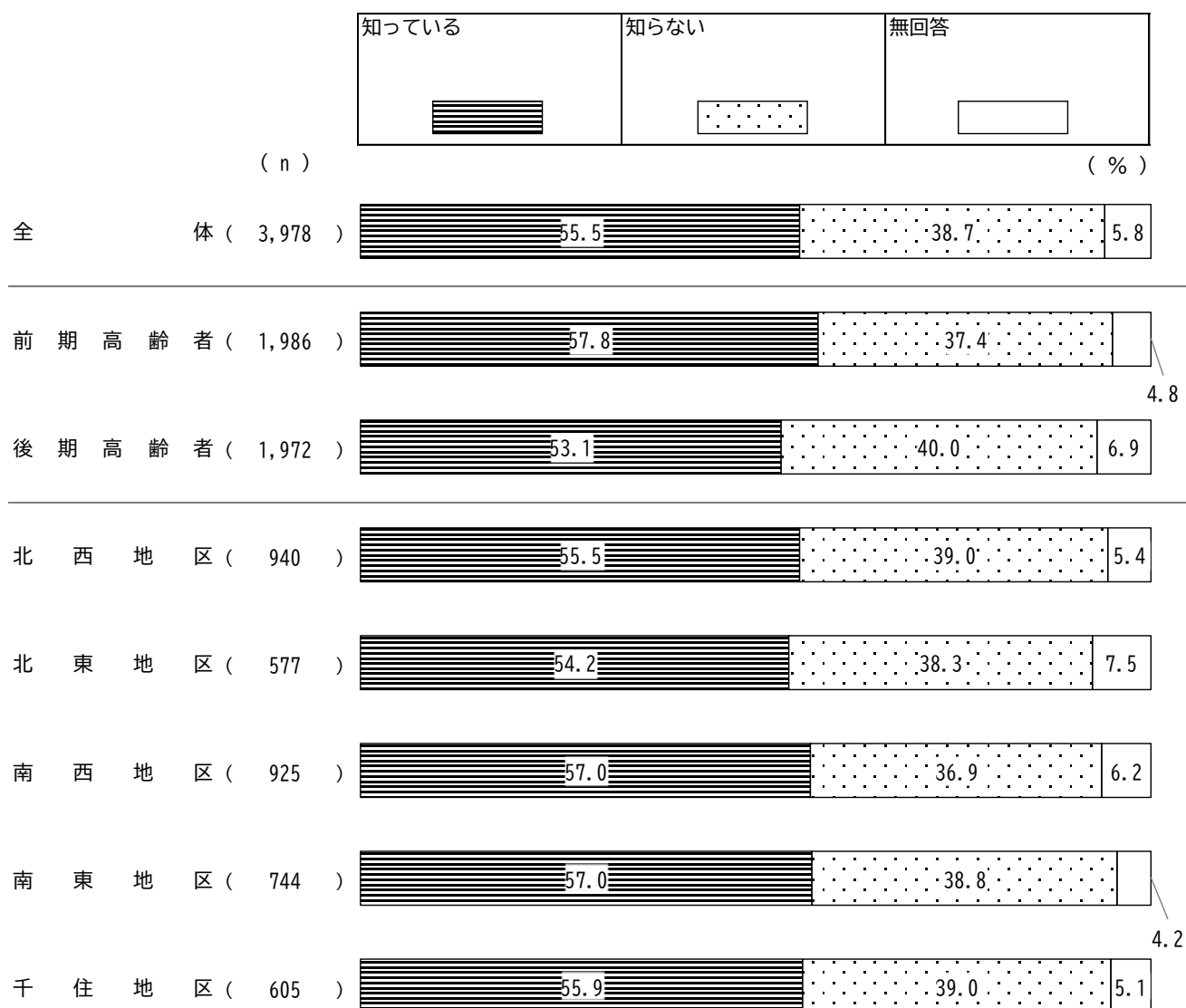


問21 消費者被害にあったときの相談先として「足立区消費者センター」がありますが、ご存知ですか（1つに○）。

消費者被害の相談先としての「足立区消費者センター」の存在について、足立区全体では、「知っている」が55.5%、「知らない」が38.7%となっている。

前期・後期別にみると、「知っている」では、前期高齢者が57.8%、後期高齢者が53.1%となっている。

日常生活圏域別にみると、「知っている」では、南西地区、南東地区が57.0%と高く、北東地区が54.2%と低くなっている。



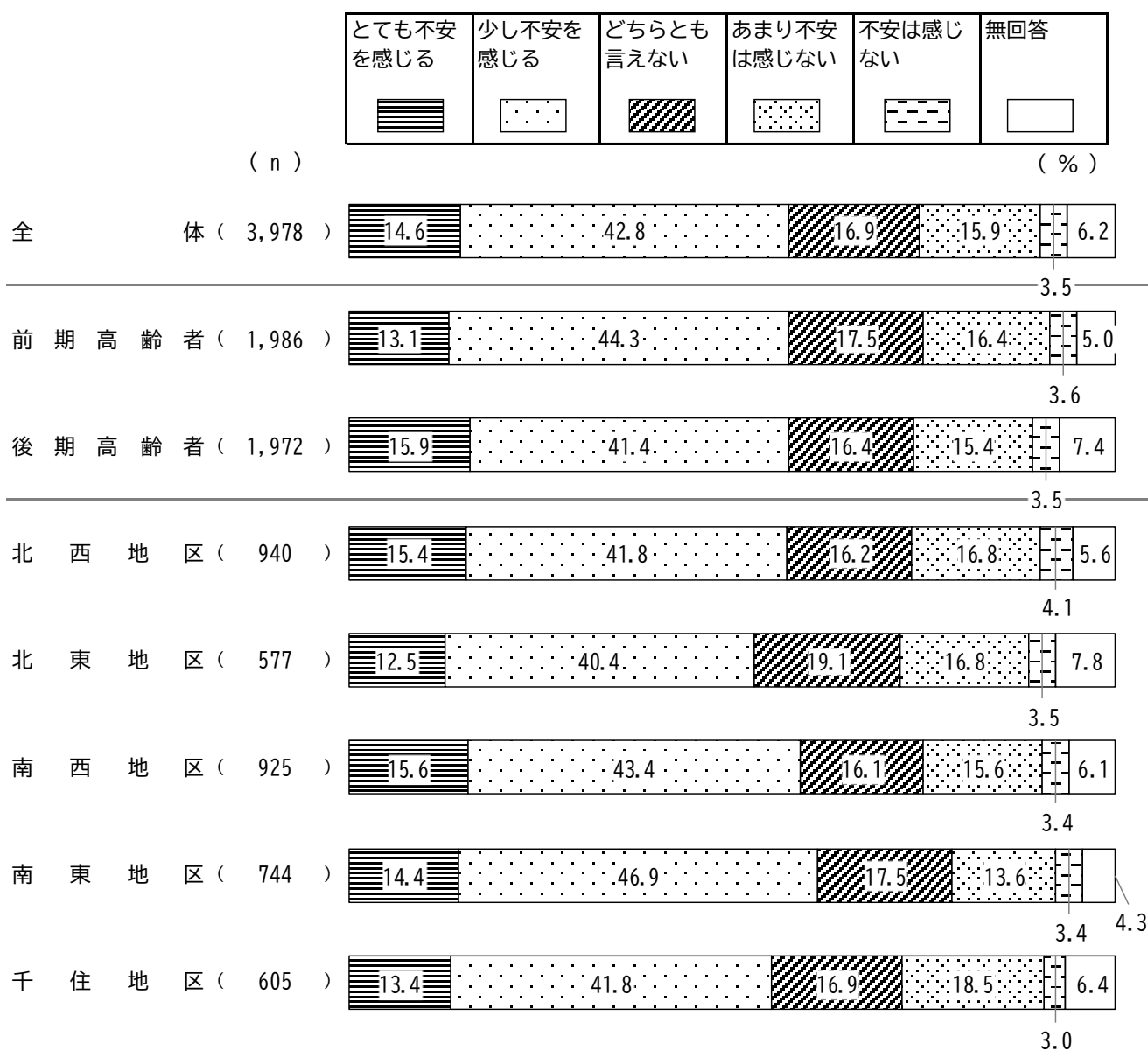
(11) 将来の生活について

問22 あなたは、今後の生活についてどのように感じていますか（1つに○）。

今後の生活について、足立区全体では、「少し不安を感じる」が42.8%と最も高く、「どちらとも言えない」が16.9%、「あまり不安は感じない」が15.9%、「とても不安を感じる」が14.6%、「不安は感じない」が3.5%となっている。

前期・後期別にみると、「少し不安を感じる」では、前期高齢者が44.3%、後期高齢者が41.4%となっている。

日常生活圏域別にみると、「少し不安を感じる」では、南東地区が46.9%と高く、北東地区が40.4%と低くなっている。

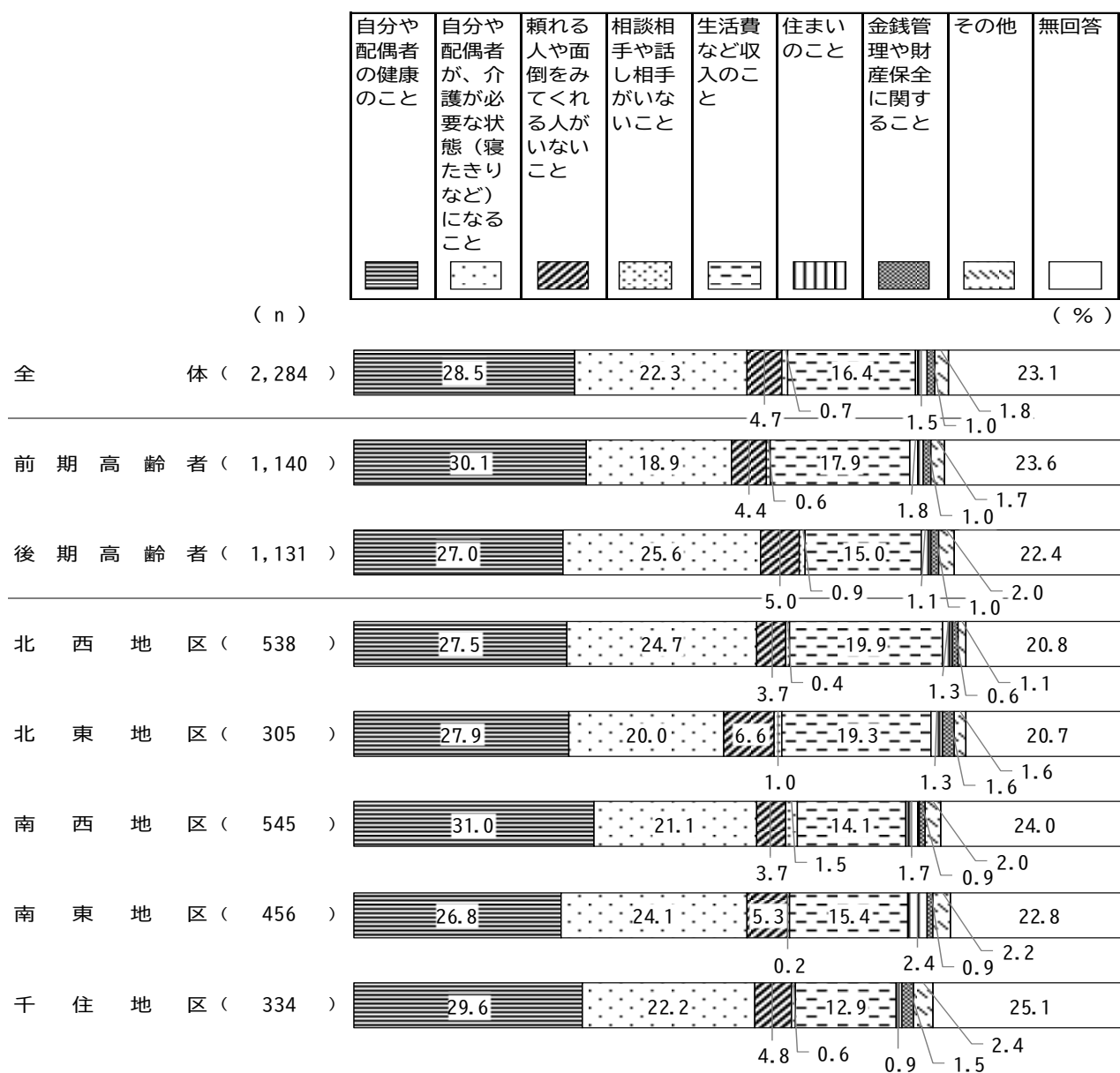


問22-1 不安を感じるのはどのようなことですか（1つに○）。

今後の生活について、「とても不安を感じる」または「少し不安を感じる」と回答した方の『不安を感じること』について、足立区全体では、「自分や配偶者の健康のこと」が28.5%と最も高く、「自分や配偶者が、介護が必要な状態（寝たきりなど）になること」が22.3%、「生活費など収入のこと」が16.4%、「頼れる人や面倒をみてくれる人がいないこと」が4.7%、「住まいのこと」が1.5%、「金銭管理や財産保全に関すること」が1.0%、「相談相手や話し相手がないこと」が0.7%となっている。

前期・後期別にみると、「自分や配偶者の健康のこと」では、前期高齢者が30.1%、後期高齢者が27.0%となっている。

日常生活圏域別にみると、「自分や配偶者の健康のこと」では、南西地区が31.0%と高く、南東地区が26.8%と低くなっている。

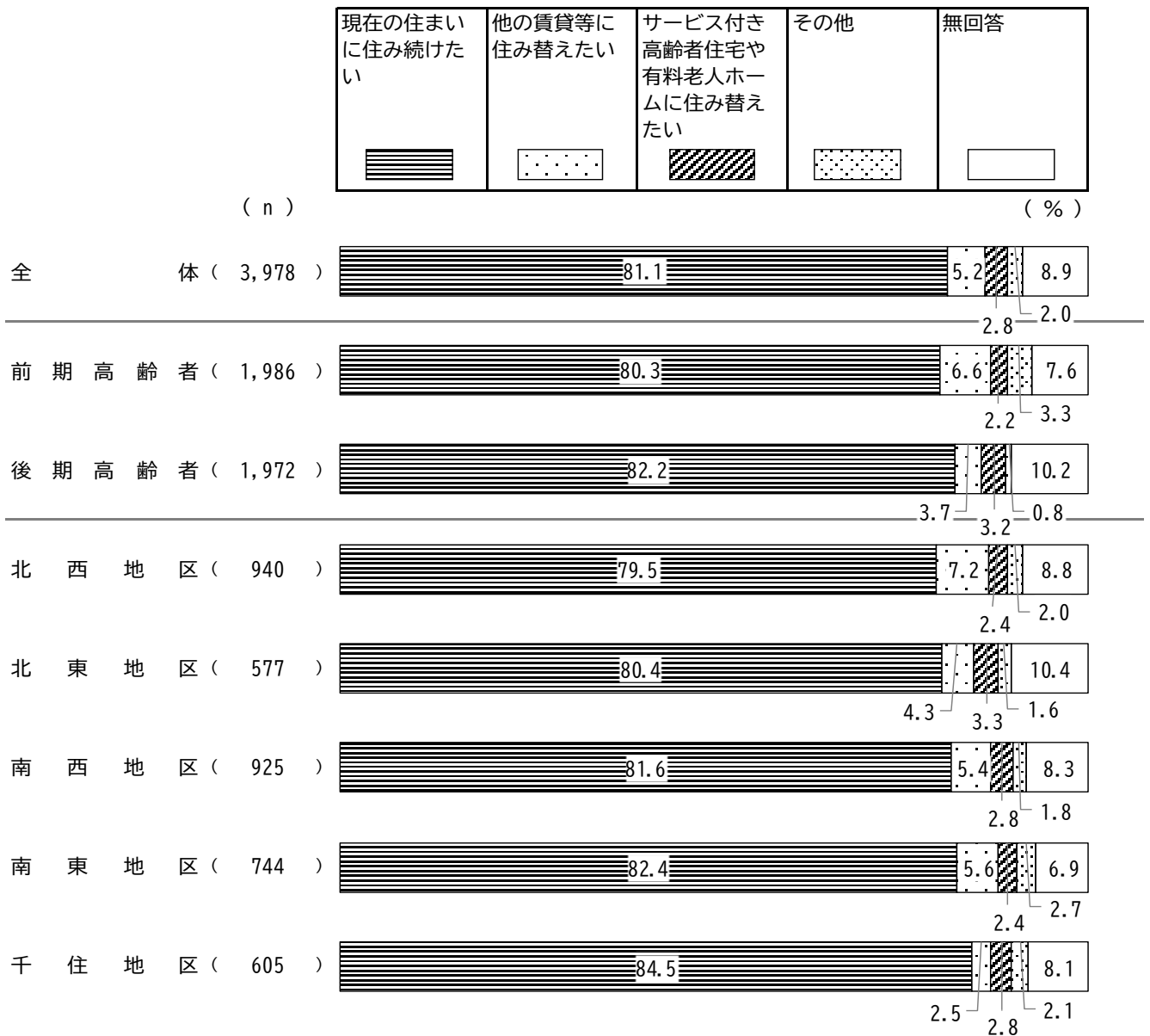


問23 あなたは今後も現在お住まいの住宅に住み続けたいとお考えですか  
(1つに○)。

現在の住宅に住み続けることについて、足立区全体では、「現在の住まいに住み続けたい」が81.1%と最も高く、「他の賃貸等に住み替えたい」が5.2%、「サービス付き高齢者住宅や有料老人ホームに住み替えたい」が2.8%となっている。

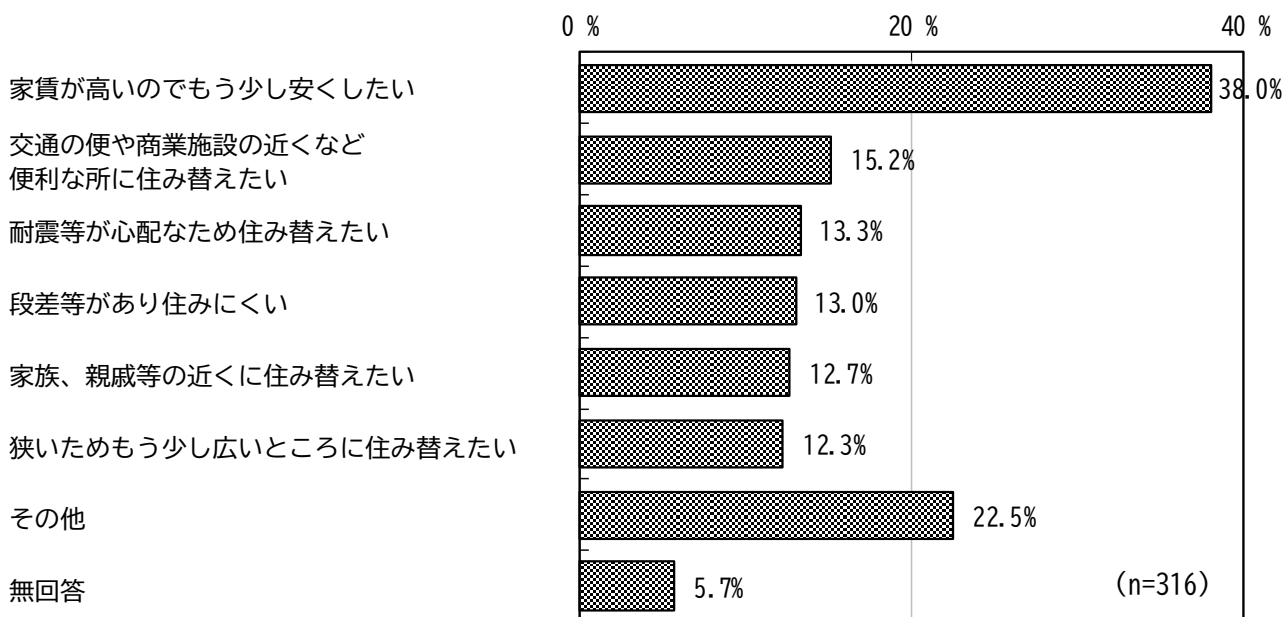
前期・後期別にみると、「現在の住まいに住み続けたい」では、前期高齢者が80.3%、後期高齢者が82.2%となっている。

日常生活圏域別にみると、「現在の住まいに住み続けたい」では、千住地区が84.5%と高く、北西地区が79.5%と低くなっている。



問23-1 住み替えたいと思う理由は何ですか（いくつでも○）。

現在の住宅に住み続けることについて、「住み替えたい」と回答した方の住み替えたい理由として、「家賃が高いのもう少し安くしたい」が38.0%と最も高く、「交通の便や商業施設の近くなど便利な所に住み替えたい」が15.2%、「耐震等が心配なため住み替えたい」が13.3%、「段差等があり住みにくい」が13.0%、「家族、親戚等の近くに住み替えたい」が12.7%、「狭いためもう少し広いところに住み替えたい」が12.3%となっている。



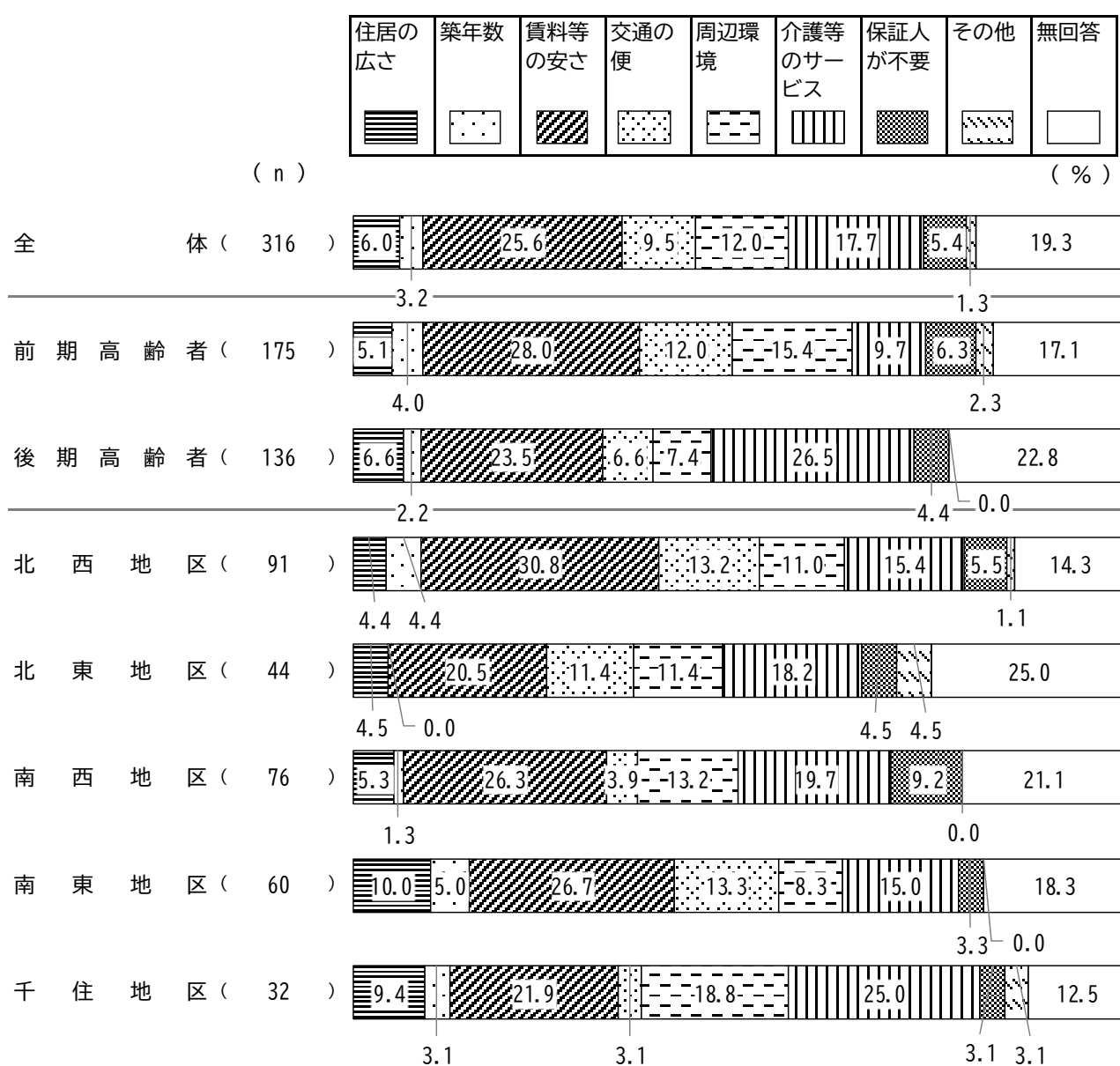


問23-2 住み替えを検討される場合、選ぶ基準として最も優先していることは何ですか（1つに○）。

現在の住宅に「住み替えたい」と回答した方の、住み替えの検討に際して優先する基準として、足立区全体では、「賃料等の安さ」が25.6%と最も高く、「介護等のサービス」が17.7%、「周辺環境」が12.0%、「交通の便」が9.5%、「住居の広さ」が6.0%、「保証人が不要」が5.4%、「築年数」が3.2%となっている。

前期・後期別にみると、前期高齢者では、「賃料等の安さ」が28.0%、後期高齢者では、「介護等のサービス」が26.5%と高くなっている。

日常生活圏域別にみると、北西地区、北東地区、南西地区、南東地区では「賃料等の安さ」、千住地区では、「介護等のサービス」が高くなっている。

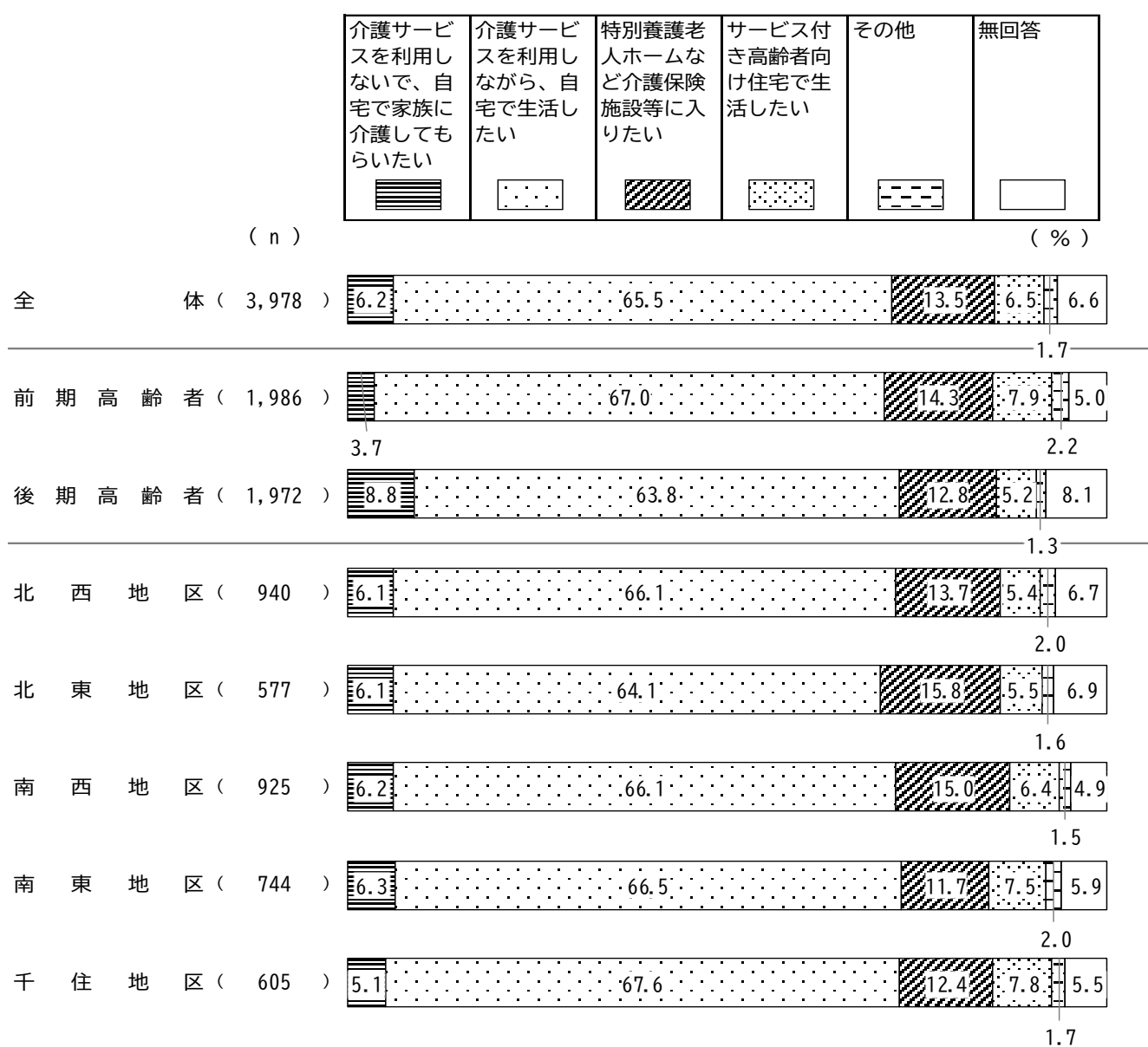


問24 あなたは、介護が必要になったとき、どのような介護を希望しますか  
(1つに○)。

介護が必要になった際の介護の希望として、足立区全体では、「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」が65.5%と最も高く、「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」が13.5%、「サービス付き高齢者向け住宅で生活したい」が6.5%、「介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい」が6.2%となっている。

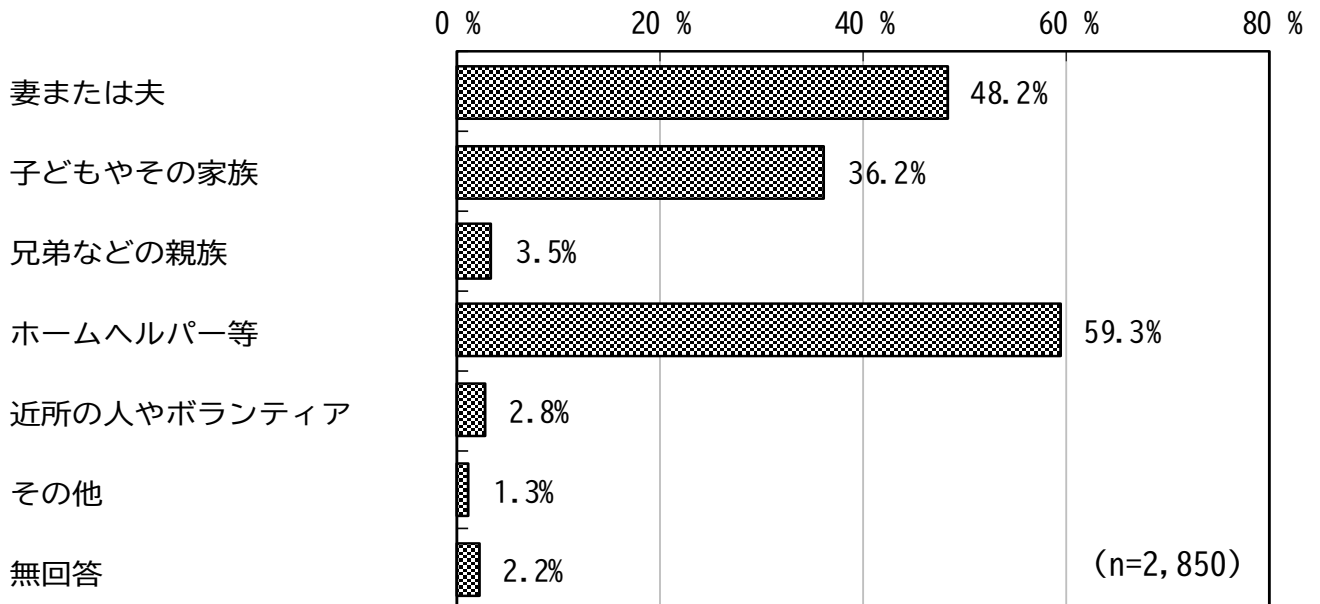
前期・後期別にみると、「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」では、前期高齢者が67.0%、後期高齢者が63.8%となっている。

日常生活圏域別にみると、「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」では、千住地区が67.6%と高く、北東地区が64.1%と低くなっている。



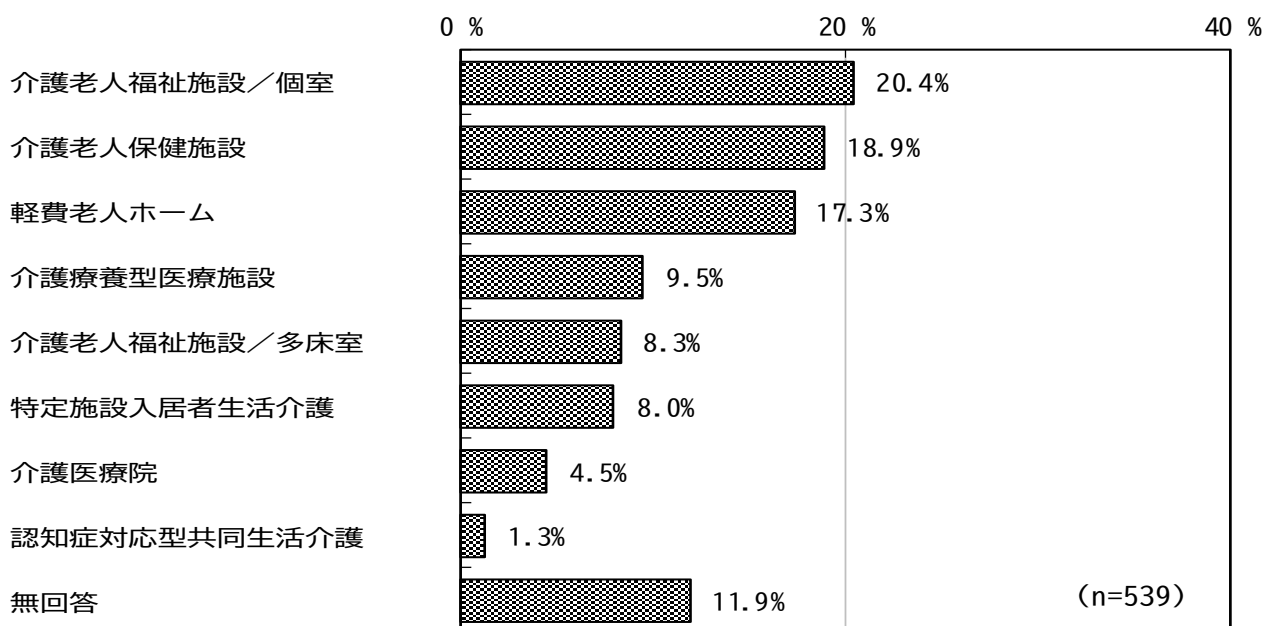
## 問24-1 あなたは、どなたに介護してもらいたいですか（いくつでも○）。

「介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい」または「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」と回答した方の介護者の希望として、「ホームヘルパー等」が59.3%と最も高く、「妻または夫」が48.2%、「子どもやその家族」が36.2%、「兄弟などの親族」が3.5%、「近所の人やボランティア」が2.8%となっている。



問24-2 介護を受けられる施設には、次のような施設がありますが、あなたはどのような施設等を望んでいますか（1つに○）。

「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」と回答した方の、介護を受ける施設の希望として、「介護老人福祉施設／個室」が20.4%と最も高く、「介護老人保健施設」が18.9%、「軽費老人ホーム」が17.3%、「介護療養型医療施設」が9.5%、「介護老人福祉施設／多床室」が8.3%、「特定施設入居者生活介護」が8.0%、「介護医療院」が4.5%、「認知症対応型共同生活介護」が1.3%となっている。

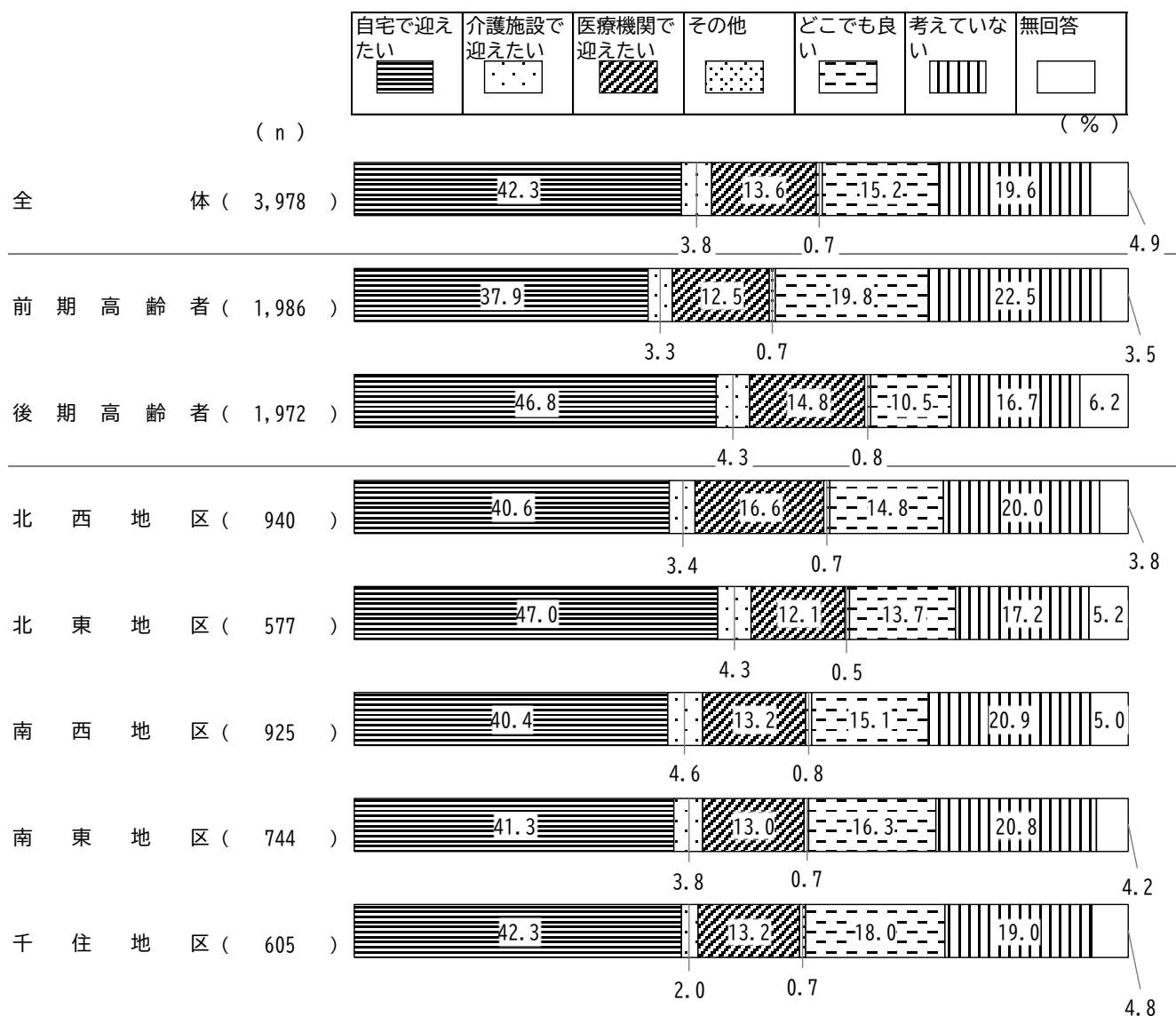


問25 あなたは人生の最期をどこで迎えたいですか（1つに○）。

人生の最期を迎えたい場所について、足立区全体では、「自宅で迎えたい」が42.3%と最も高く、「医療機関で迎えたい」が13.6%、「介護施設で迎えたい」が3.8%となっている。また「どこでも良い」が15.2%、「考えていない」が19.6%となっている。

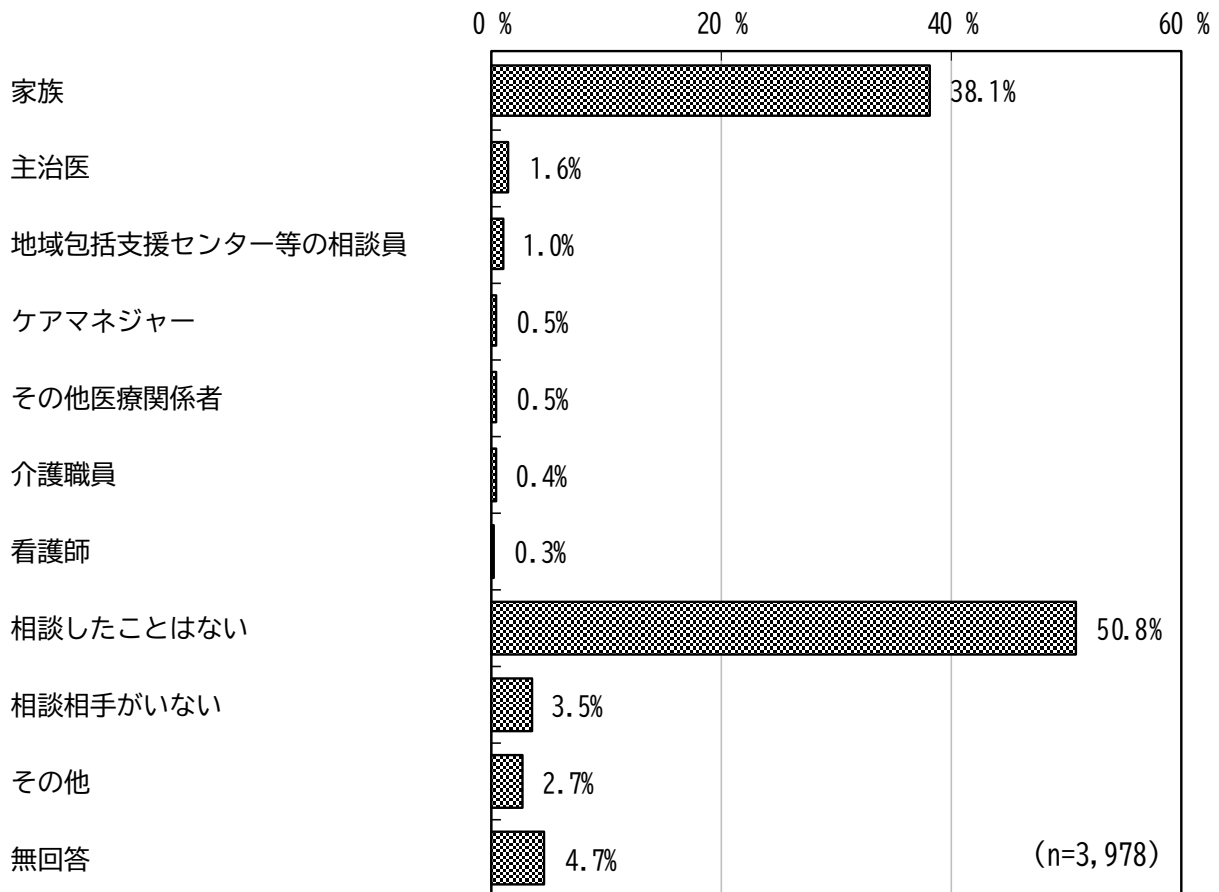
前期・後期別にみると、「自宅で迎えたい」では、前期高齢者が37.9%、後期高齢者が46.8%となっている。

日常生活圏域別にみると、「自宅で迎えたい」では、北東地区が47.0%と高く、南西地区が40.4%と低くなっている。



問26 あなたは人生の最期について、どなたかに相談したことはありますか  
(いくつでも○)。

人生の最期について誰かに相談したことがあるかについて、「相談したことはない」が50.8%と最も高く、「家族」が38.1%、「相談相手がない」が3.5%、「主治医」が1.6%、「地域包括支援センター等の相談員」が1.0%、「ケアマネジャー」が0.5%、「その他医療関係者」が0.5%、「介護職員」が0.4%、「看護師」が0.3%となっている。

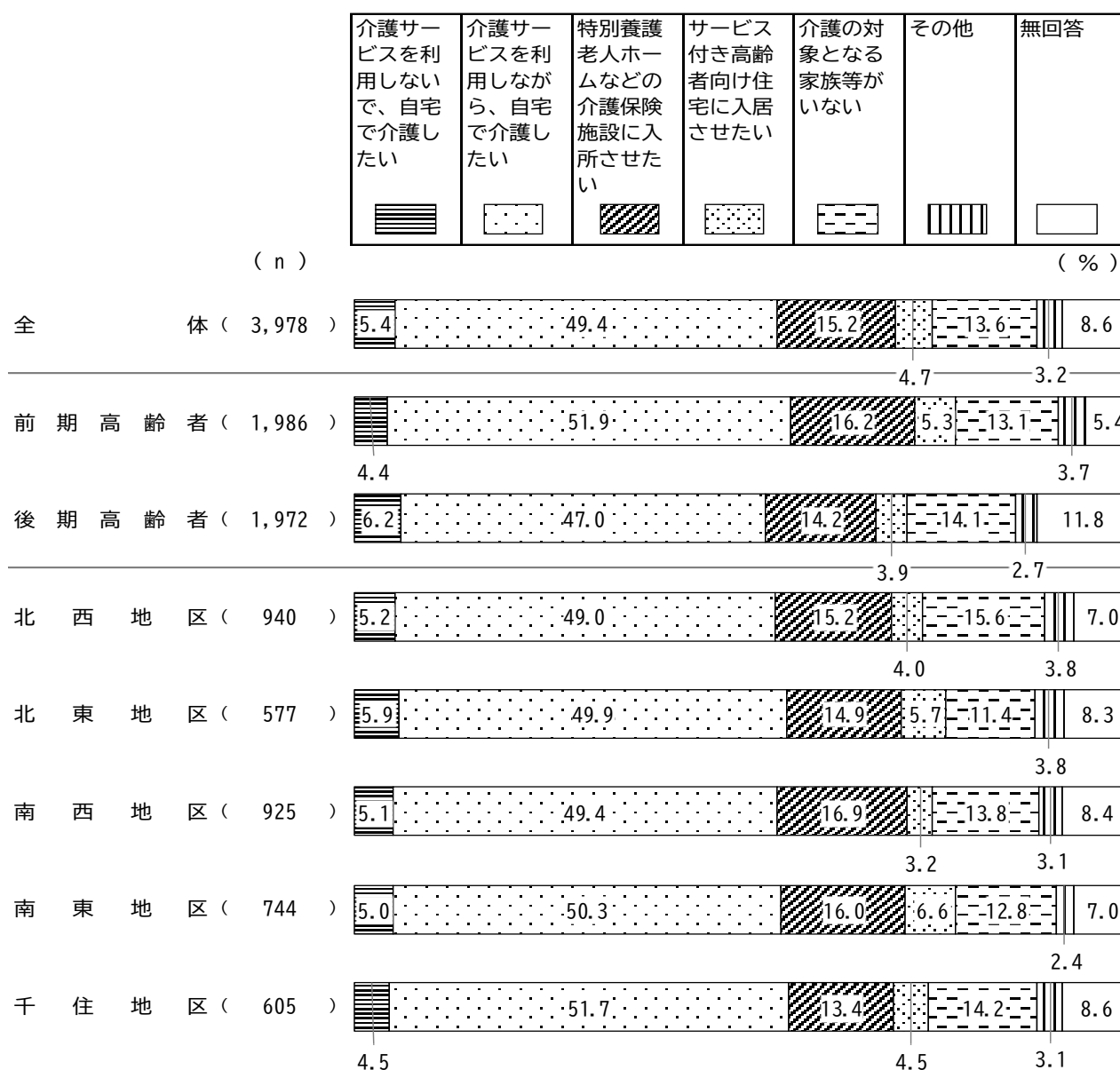


問27 あなたの家族等に介護が必要となった場合、どのようにしたいと思いますか  
(1つに○)。

家族等に介護が必要となった場合について、足立区全体では、「介護サービスを利用しながら、自宅で介護したい」が49.4%と最も高く、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所させたい」が15.2%、「介護の対象となる家族等がない」が13.6%、「介護サービスを利用しないで、自宅で介護したい」が5.4%、「サービス付き高齢者向け住宅に入居させたい」が4.7%となっている。

前期・後期別にみると、「介護サービスを利用しながら、自宅で介護したい」では、前期高齢者が51.9%、後期高齢者が47.0%となっている。

日常生活圏域別にみると、「介護サービスを利用しながら、自宅で介護したい」では、千住地区が51.7%と高く、北西地区が49.0%と低くなっている。



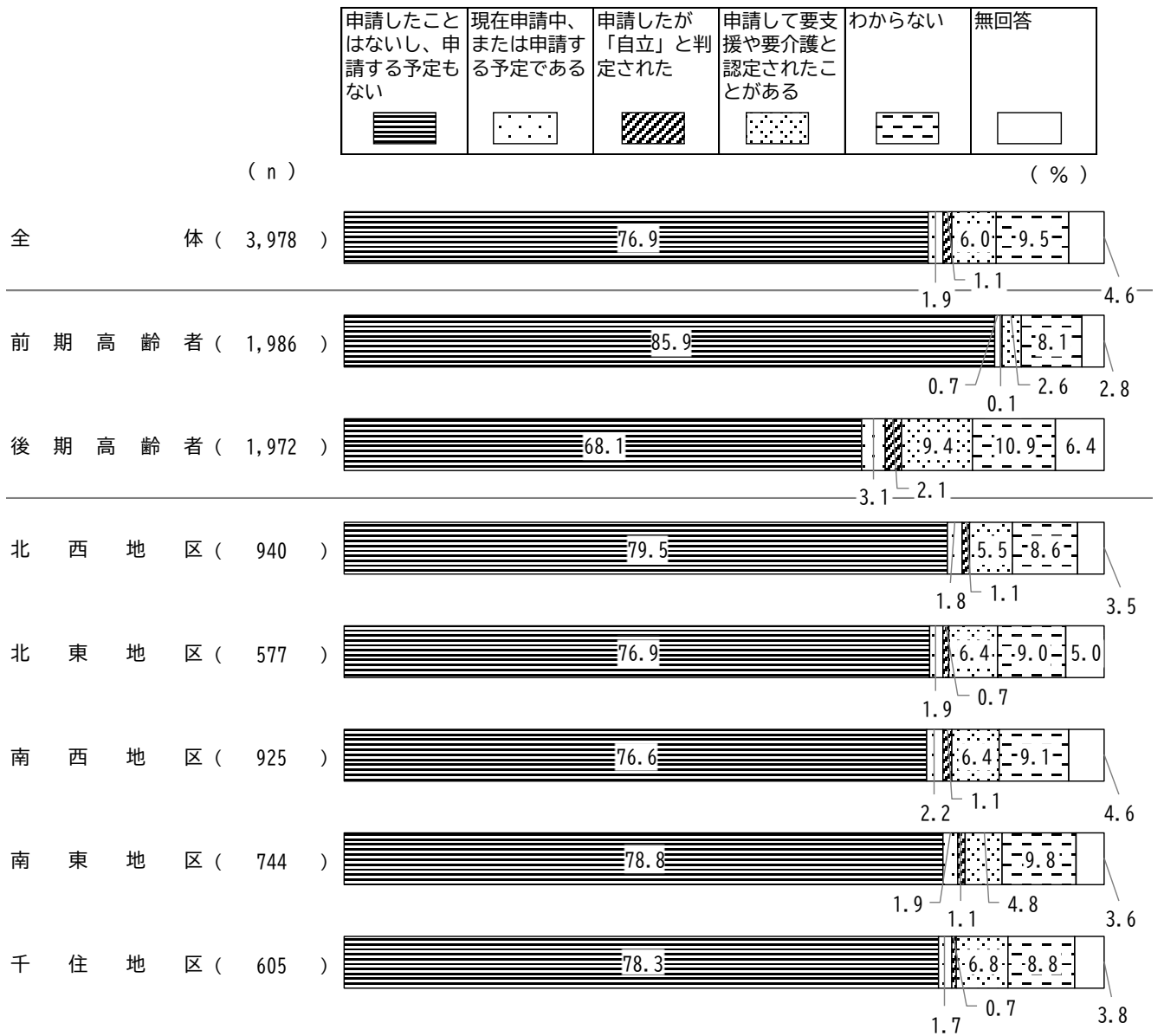
(12) 介護サービスについて

問28 あなたは、これまでに介護保険の要介護認定を申請したことがありますか  
(1つに○)。

要介護認定の申請について、足立区全体では、「申請したことはないし、申請する予定もない」が76.9%と最も高く、「申請して要支援や要介護と認定されたことがある」が6.0%、「現在申請中、または申請する予定である」が1.9%、「申請したが「自立」と判定された」が1.1%、「わからない」が9.5%となっている。

前期・後期別にみると、「申請したことはないし、申請する予定もない」では、前期高齢者が85.9%、後期高齢者が68.1%となっている。

日常生活圏域別にみると、「申請したことはないし、申請する予定もない」では、北西地区が79.5%と高く、南西地区が76.6%と低くなっている。



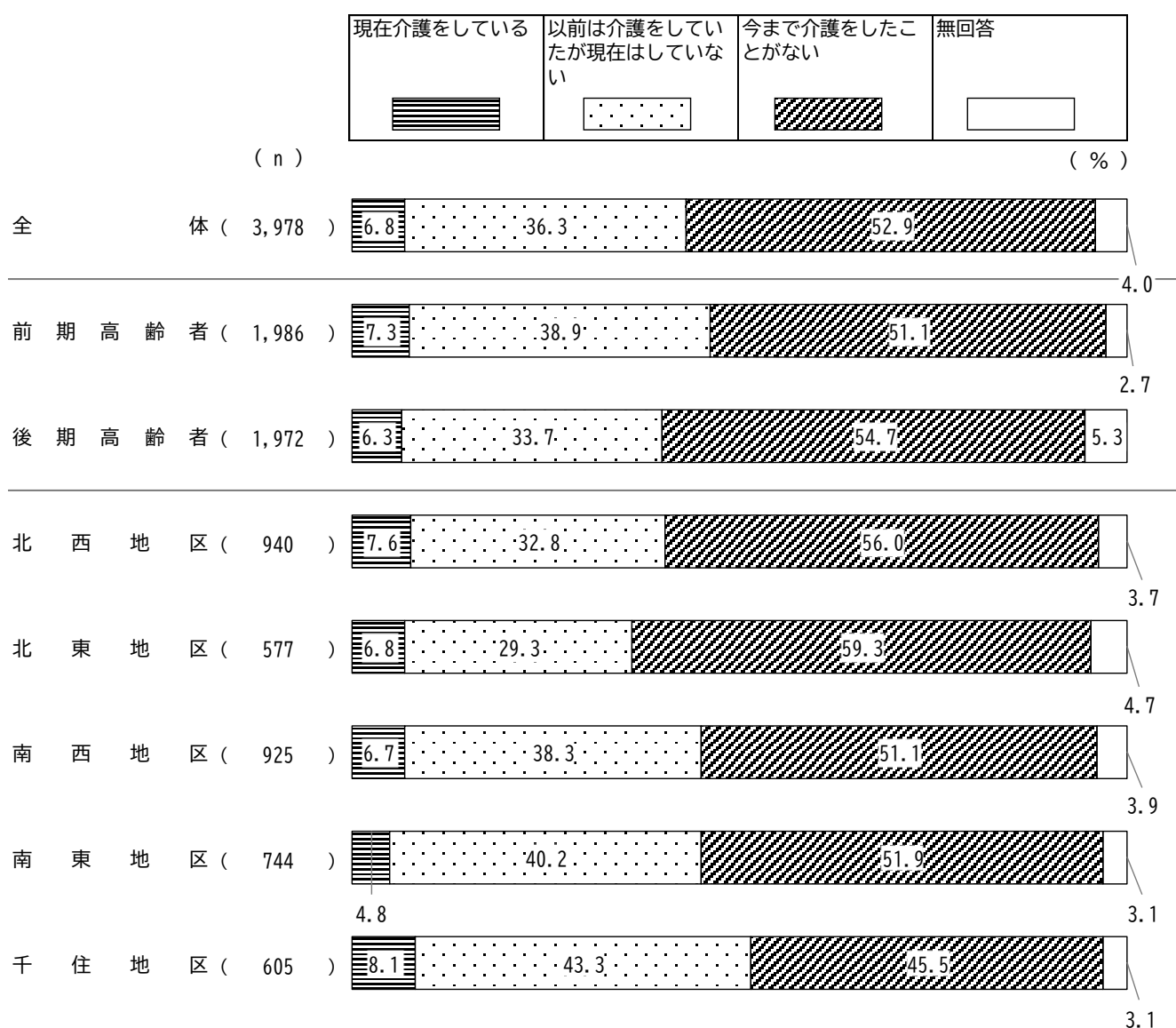


問29 あなたは、家族等の介護をした経験はありますか（1つに○）。

家族等の介護をした経験について、足立区全体では、「今まで介護をしたことがない」が52.9%と最も高く、「以前は介護をしていたが現在はしていない」が36.3%、「現在介護をしている」が6.8%となっている。

前期・後期別に見ると、「今まで介護をしたことがない」では、前期高齢者が51.1%、後期高齢者が54.7%となっている。

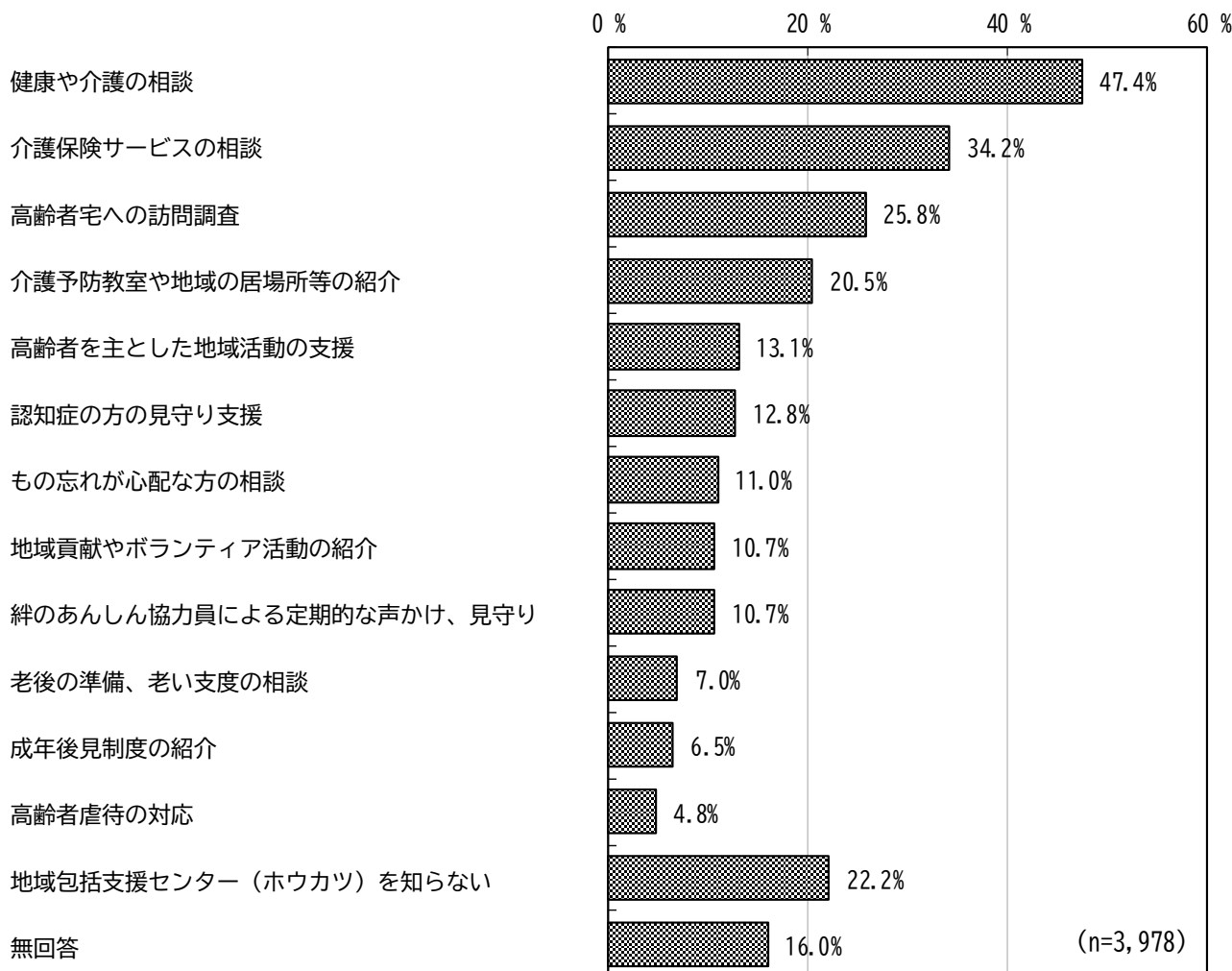
日常生活圏域別に見ると、「今まで介護をしたことがない」では、北東地区が59.3%と高く、千住地区が45.5%と低くなっている。



(13) 高齢者福祉サービスについて

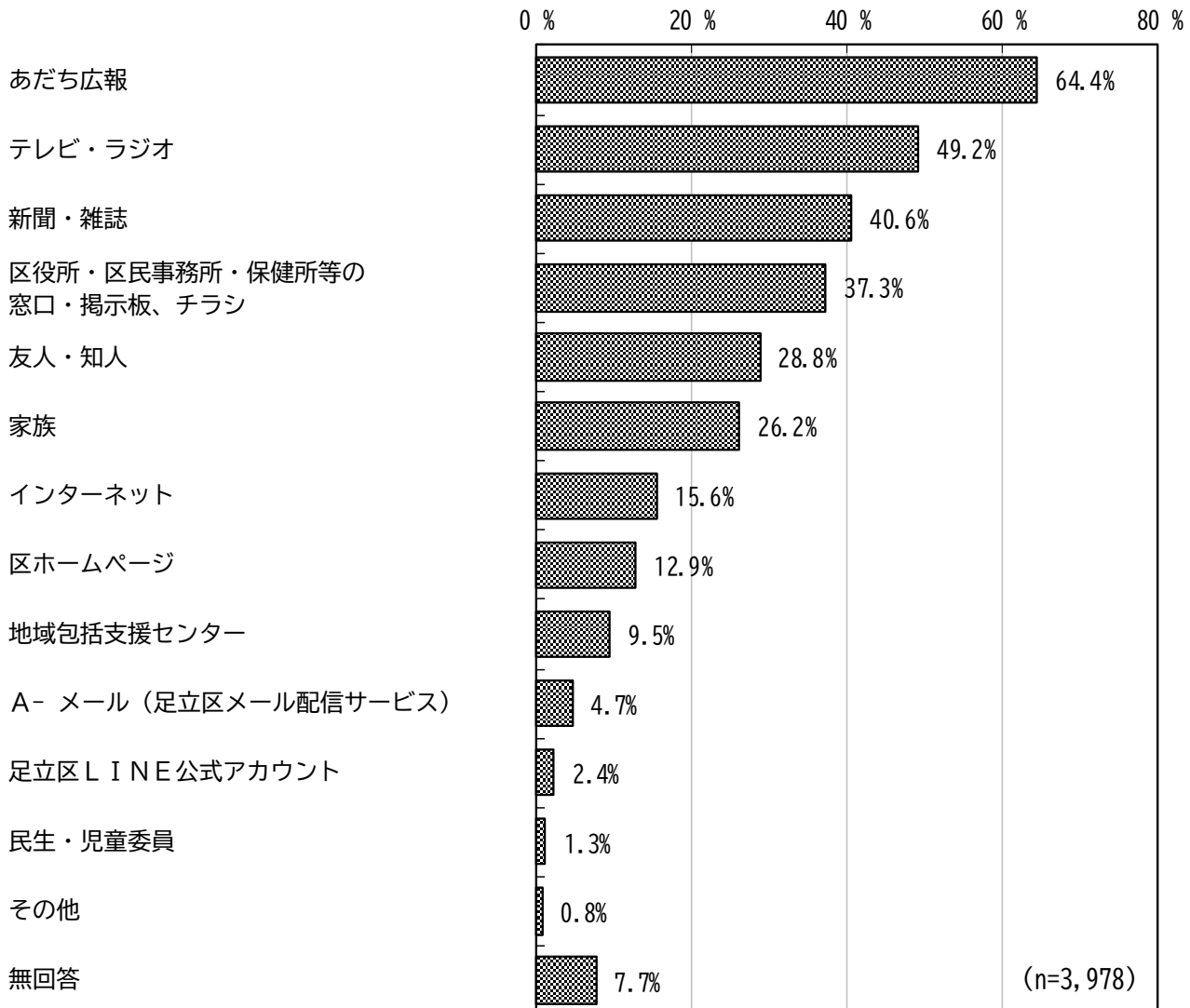
問30 現在、区内には、高齢者の介護や生活上の相談等を受ける地域包括支援センターがあります。地域包括支援センター（ホウカツ）の業務で、ご存知のものに○を付けてください（いくつでも○）。

足立区内の地域包括支援センターが行っている業務の認知度について、「健康や介護の相談」が47.4%と最も高く、「介護保険サービスの相談」が34.2%、「高齢者宅への訪問調査」が25.8%、「地域包括支援センター（ホウカツ）を知らない」が22.2%、「介護予防教室や地域の居場所等の紹介」が20.5%、「高齢者を主とした地域活動の支援」が13.1%、「認知症の方の見守り支援」が12.8%、「もの忘れが心配な方の相談」が11.0%、「地域貢献やボランティア活動の紹介」「絆のあんしん協力員による定期的な声かけ、見守り」が10.7%、「老後の準備、老い支度の相談」が7.0%、「成年後見制度の紹介」が6.5%、「高齢者虐待の対応」が4.8%となっている。



## 問31 身近な暮らしの情報をどのように入手しますか（いくつでも○）。

身近な暮らしの情報の入手先について、「あだち広報」が64.4%と最も高く、「テレビ・ラジオ」が49.2%、「新聞・雑誌」が40.6%、「区役所・区民事務所・保健所等の窓口・掲示板、チラシ」が37.3%、「友人・知人」が28.8%、「家族」が26.2%、「インターネット」が15.6%、「区ホームページ」が12.9%、「地域包括支援センター」が9.5%、「A-メール（足立区メール配信サービス）」が4.7%、「足立区LINE公式アカウント」が2.4%、「民生・児童委員」が1.3%となっている。

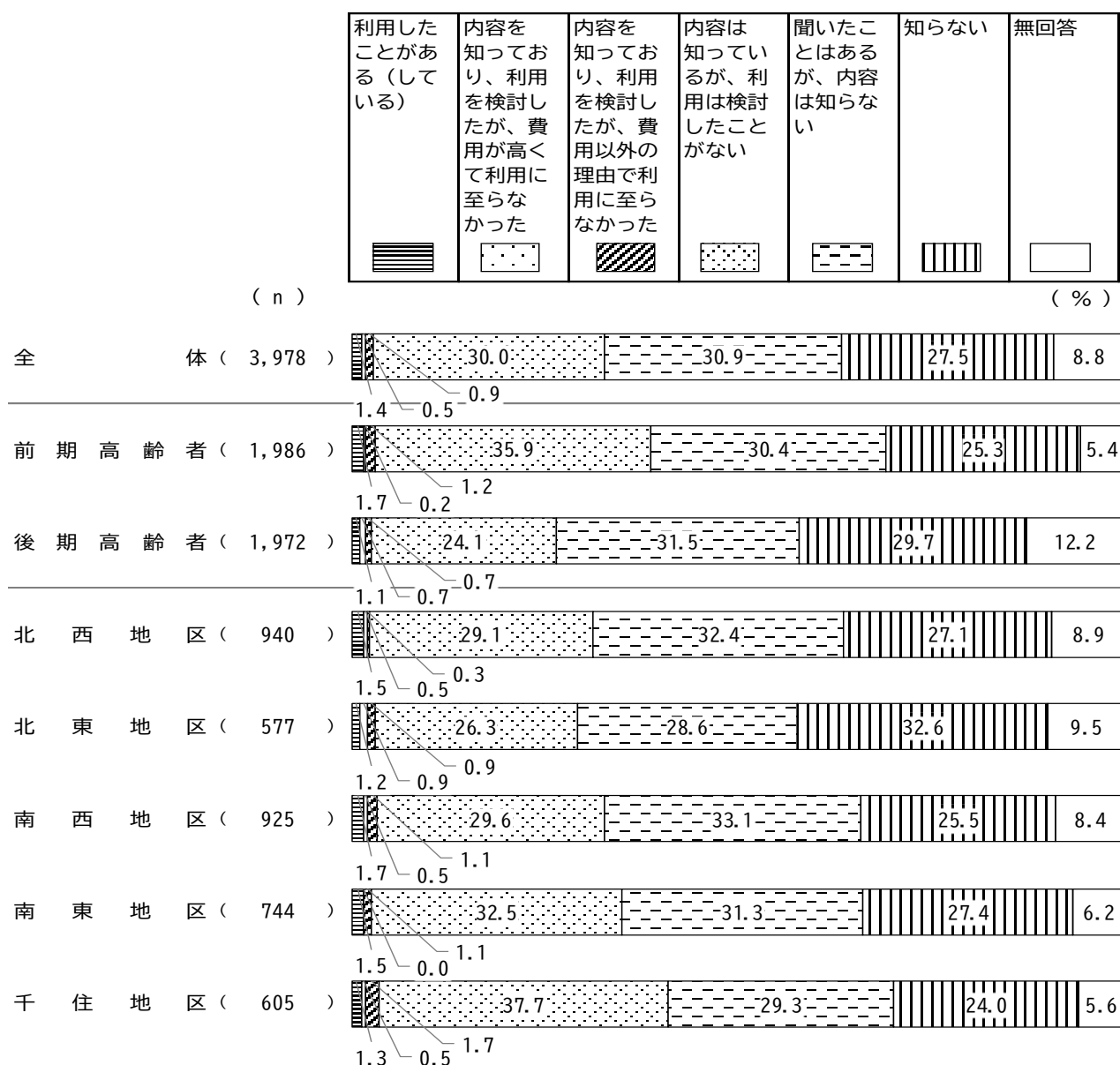


問32 成年後見制度についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか  
(1つに○)。

成年後見制度について、足立区全体では「聞いたことはあるが、内容は知らない」が30.9%と最も高く、「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が30.0%、「知らない」が27.5%、「利用したことがある(している)」が1.4%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった」が0.9%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった」が0.5%となっている。

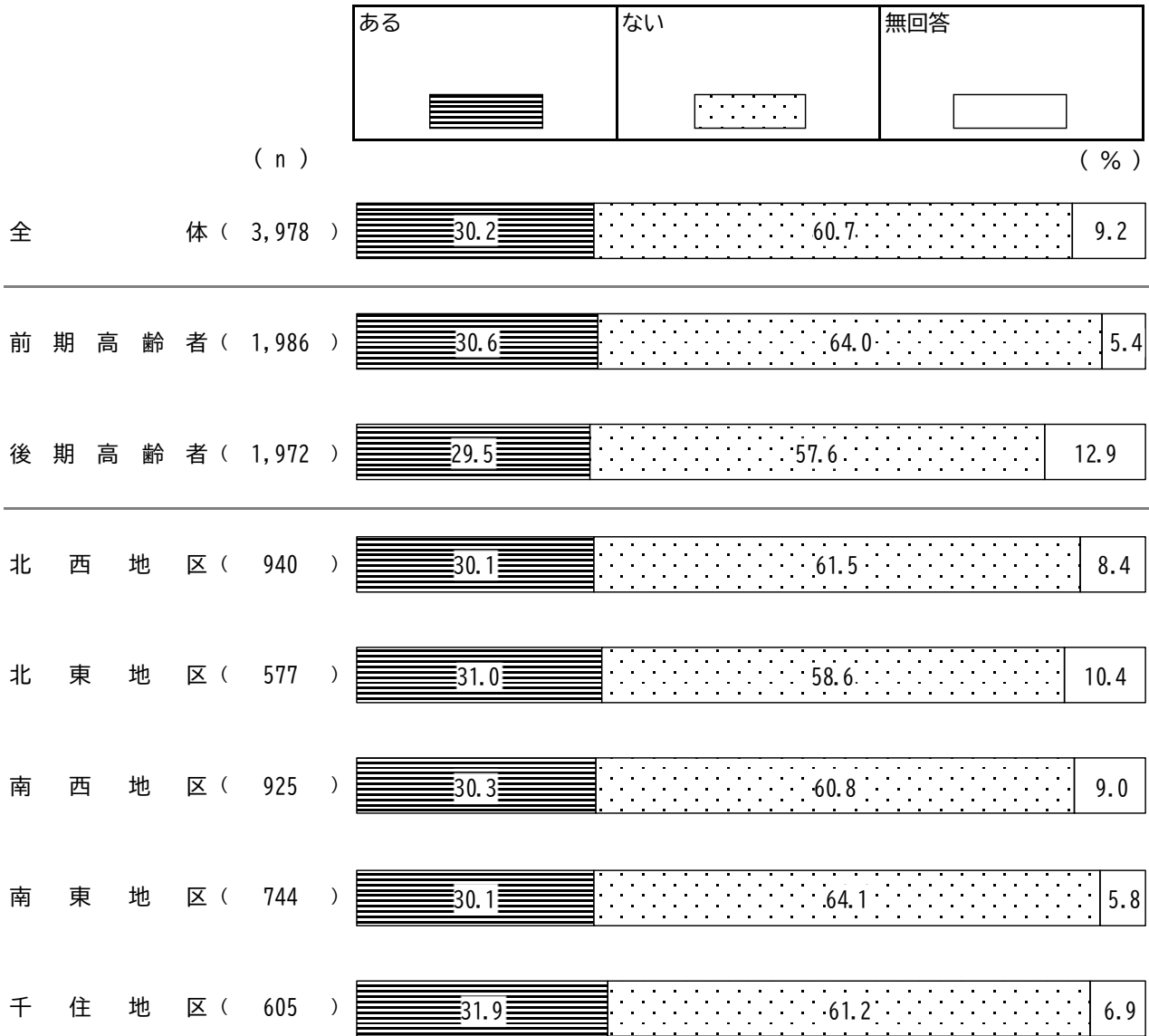
前期・後期別にみると、前期高齢者では、「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が35.9%、後期高齢者では、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が31.5%と高くなっている。

日常生活圏域別にみると、北西地区、南西地区では「聞いたことはあるが、内容は知らない」、北東地区では「知らない」、南東地区、千住地区では「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が高くなっている。



問33 成年後見制度について関心がありますか（1つに○）。

成年後見制度について、足立区全体では、関心が「ある」が30.2%、「ない」が60.7%となっている。

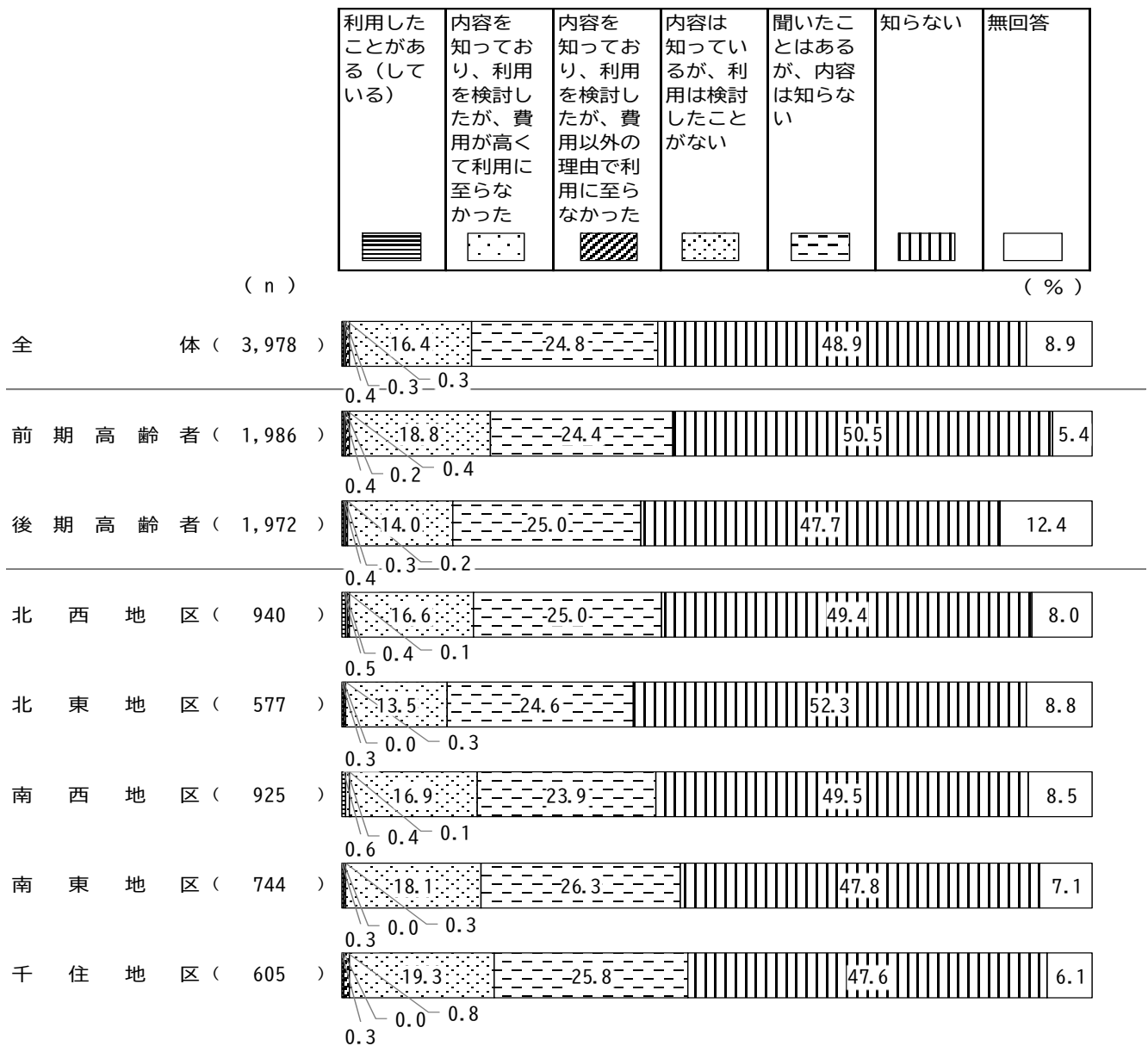


問34 任意後見制度についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか（1つに○）。

任意後見制度について、足立区全体では、「知らない」が48.9%と最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が24.8%、「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が16.4%、「利用したことがある（している）」が0.4%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった」が0.3%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった」が0.3%となっている。

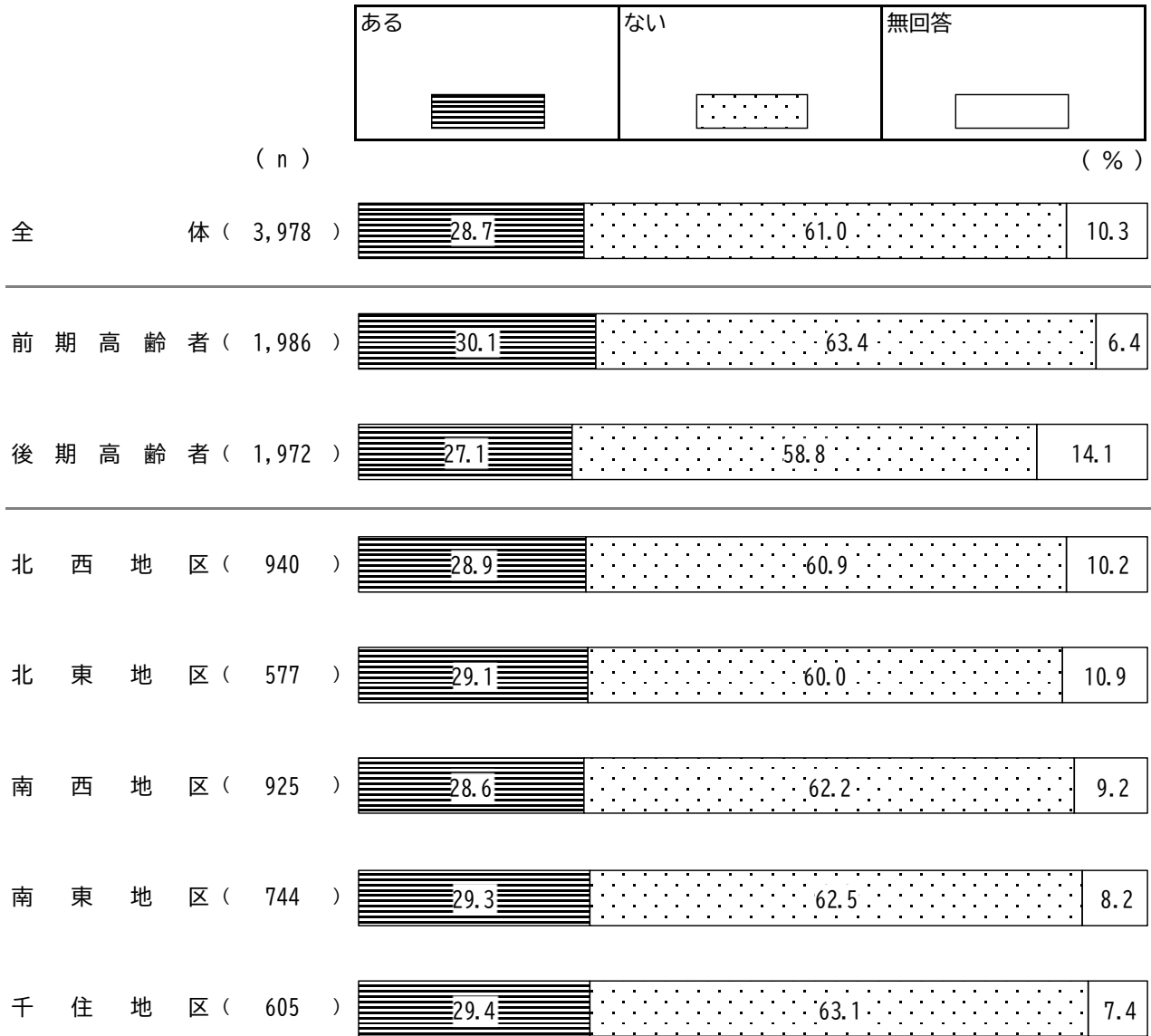
前期・後期別にみると、「知らない」では、前期高齢者が50.5%、後期高齢者が47.7%となっている。

日常生活圏域別にみると、「知らない」では、北東地区が52.3%と高く、千住地区が47.6%と低くなっている。



問35 任意後見制度について関心がありますか（1つに○）。

任意後見制度について、足立区全体では、関心が「ある」が28.7%、「ない」が61.0%となっている。

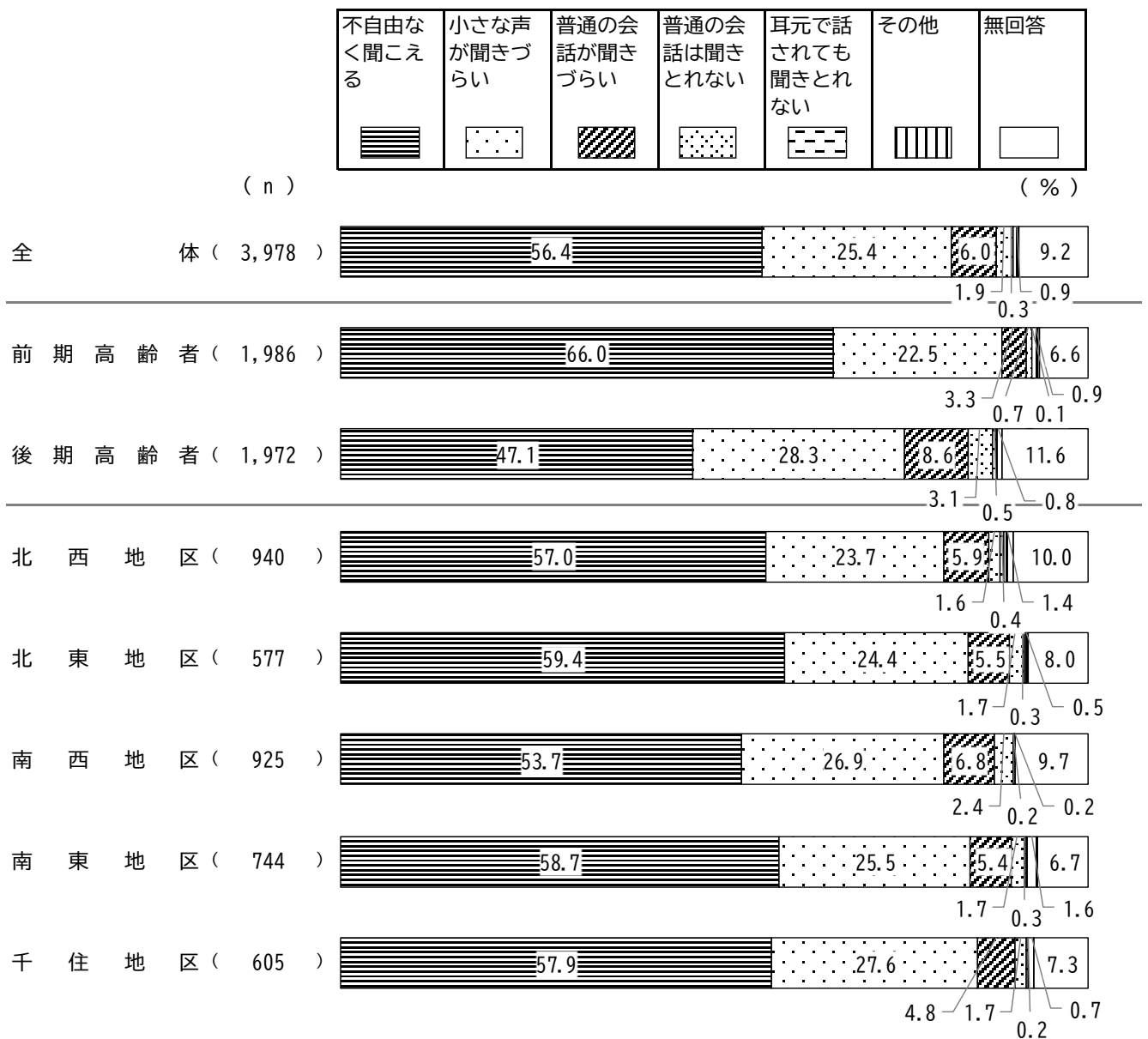


問36 近年、「難聴」のリスクを改善することにより、認知症の発症を遅らせたり予防する効果が期待できると報告されています。そこで、現在のあなたの日常生活において耳の聞こえについてお伺いします（1つに○）。

日常生活における耳の聞こえについて、足立区全体では、「不自由なく聞こえる」が56.4%と最も高く、「小さな声が聞きづらい」が25.4%、「普通の会話が聞きづらい」が6.0%、「普通の会話は聞きとれない」が1.9%、「耳元で話されても聞きとれない」が0.3%となっている。

前期・後期別にみると、「不自由なく聞こえる」では、前期高齢者が66.0%、後期高齢者が47.1%となっている。

日常生活圏域別にみると、「不自由なく聞こえる」では、北東地区が59.4%と高く、南西地区が53.7%と低くなっている。





## 問36-1 聞こえづらいつと感じるようになったのはいつ頃からですか（1つに○）。

日常生活における耳の聞こえについて、「小さな声が聞きづらい」「普通の会話が聞きづらい」「普通の会話は聞きとれない」「耳元で話されても聞きとれない」と回答した方が、聞こえづらいつと感じるようになった時期について、足立区全体では、「65～74歳」が41.0%と最も高く、「75～80歳」が20.5%、「64歳以前」が18.3%、「80～84歳」が12.2%、「85歳以上」が4.9%となっている。

(%)

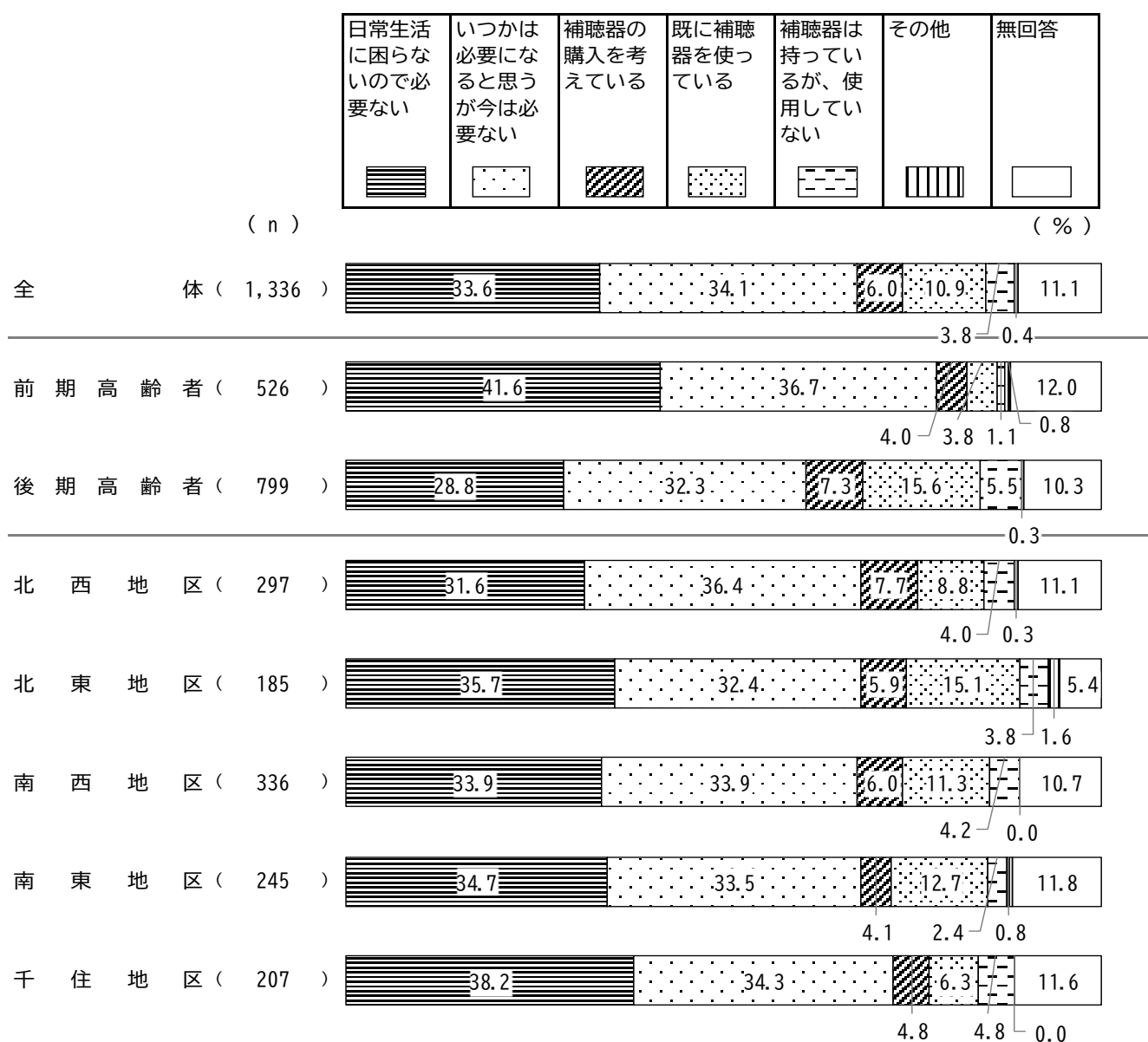
		調査数	64歳以前	65～74歳	75～80歳	80～84歳	85歳以上	無回答
全体		1,336	18.3	41.0	20.5	12.2	4.9	3.1
年齢	前期高齢者	526	33.5	65.4	0.0	0.0	0.0	1.1
	後期高齢者	799	8.1	25.2	34.0	20.3	8.1	4.3
日常生活圏域	北西地区	297	18.5	39.4	21.9	11.8	5.1	3.4
	北東地区	185	15.1	47.0	20.0	10.8	4.3	2.7
	南西地区	336	17.9	43.2	21.7	9.8	4.5	3.0
	南東地区	245	22.0	38.0	18.4	12.7	6.9	2.0
	千住地区	207	18.4	41.5	19.3	15.5	3.9	1.4

問36-2 現在、補聴器が必要ですか（1つに○）。

日常生活における耳の聞こえについて、「小さな声が聞きづらい」「普通の会話が聞きづらい」「普通の会話は聞きとれない」「耳元で話されても聞きとれない」と回答した方の補聴器の必要度について、足立区全体では、「いつかは必要になると思うが今は必要ない」が34.1%と最も高く、「日常生活に困らないので必要ない」が33.6%、「既に補聴器を使っている」が10.9%、「補聴器の購入を考えている」が6.0%、「補聴器は持っているが、使用していない」が3.8%となっている。

前期・後期別にみると、前期高齢者では、「日常生活に困らないので必要ない」が41.6%、後期高齢者では、「いつかは必要になると思うが今は必要ない」が32.3%と高くなっている。

日常生活圏域別にみると、「いつかは必要になると思うが今は必要ない」では、北西地区が36.4%と高く、北東地区が32.4%と低くなっている。

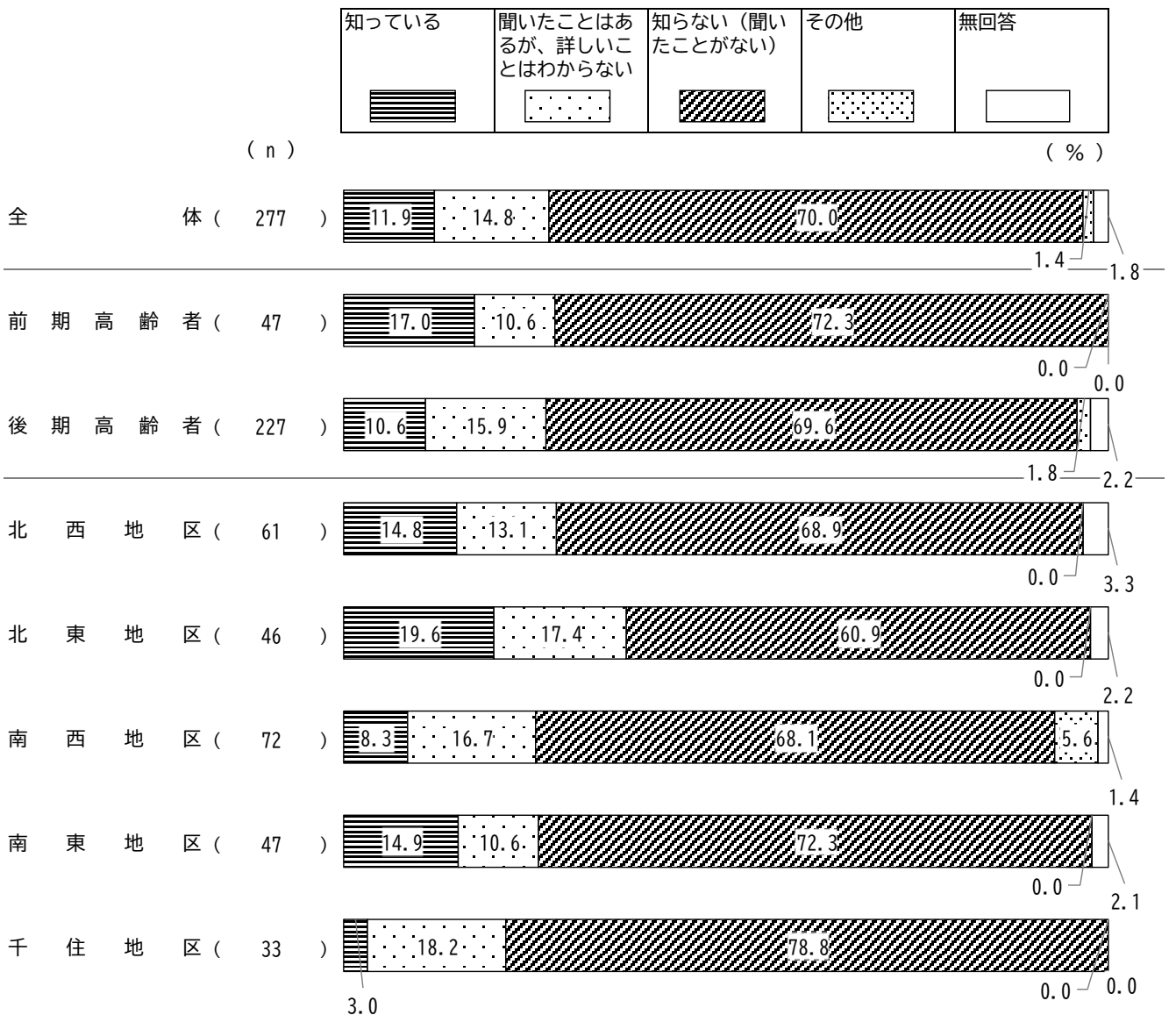


問36-3 足立区の補聴器購入助成制度を知っていますか（1つに○）。

「補聴器の購入を考えている」「既に補聴器を使っている」「補聴器は持っているが、使用していない」と回答した方の補聴器購入助成制度の認知について、足立区全体では、「知らない（聞いたことがない）」が70.0%と最も高く、「聞いたことはあるが、詳しいことはわからない」が14.8%、「知っている」が11.9%となっている。

前期・後期別にみると、「知らない（聞いたことがない）」では、前期高齢者が72.3%、後期高齢者が69.6%となっている。

日常生活圏域別にみると、「知らない（聞いたことがない）」では、千住地区が78.8%と高く、北東地区が60.9%と低くなっている。

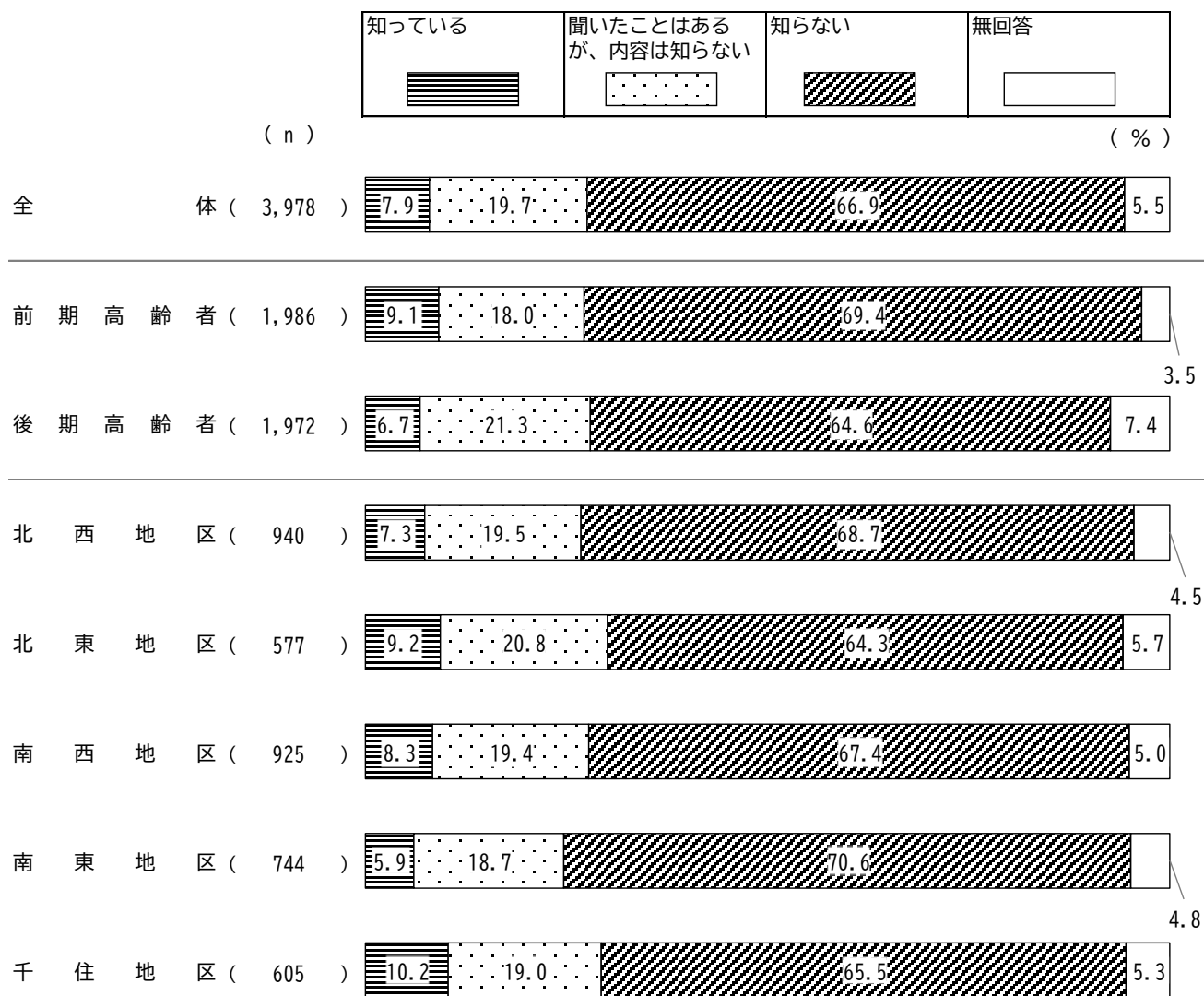


問37 認知症サポーターをご存知ですか。(1つに○)。

認知症サポーターについて、足立区全体では、「知らない」が66.9%と最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が19.7%、「知っている」が7.9%となっている。

前期・後期別にみると、「知らない」では、前期高齢者が69.4%、後期高齢者が64.6%となっている。

日常生活圏域別にみると、「知らない」では、南東地区が70.6%と高く、北東地区が64.3%と低くなっている。

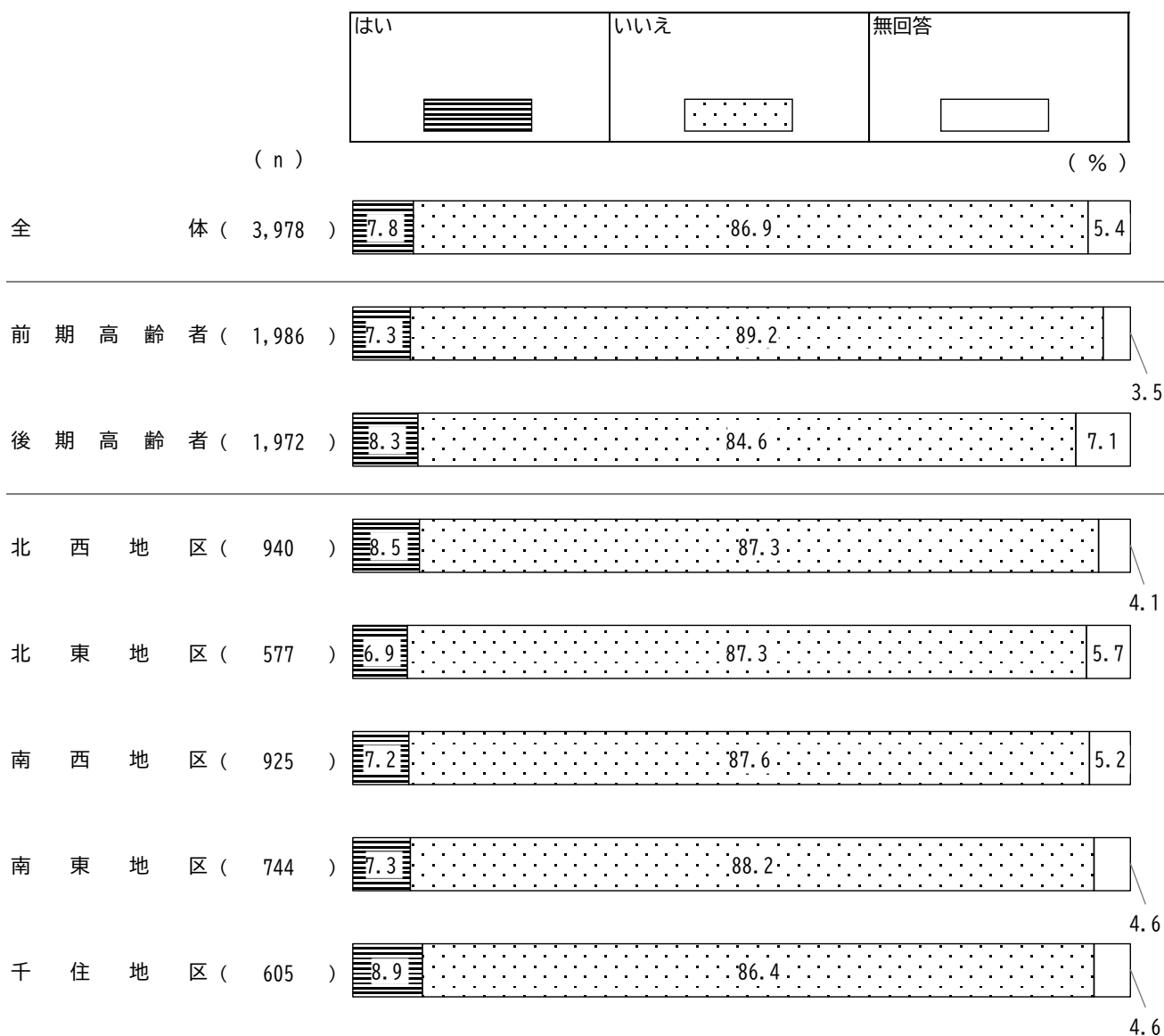


問38 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（1つに○）。

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて、足立区全体では、「はい」が7.8%、「いいえ」が86.9%となっている。

前期・後期別にみると、「はい」では、前期高齢者が7.3%、後期高齢者が8.3%となっている。

日常生活圏域別にみると、「はい」では、千住地区が8.9%と高く、北東地区が6.9%と低くなっている。

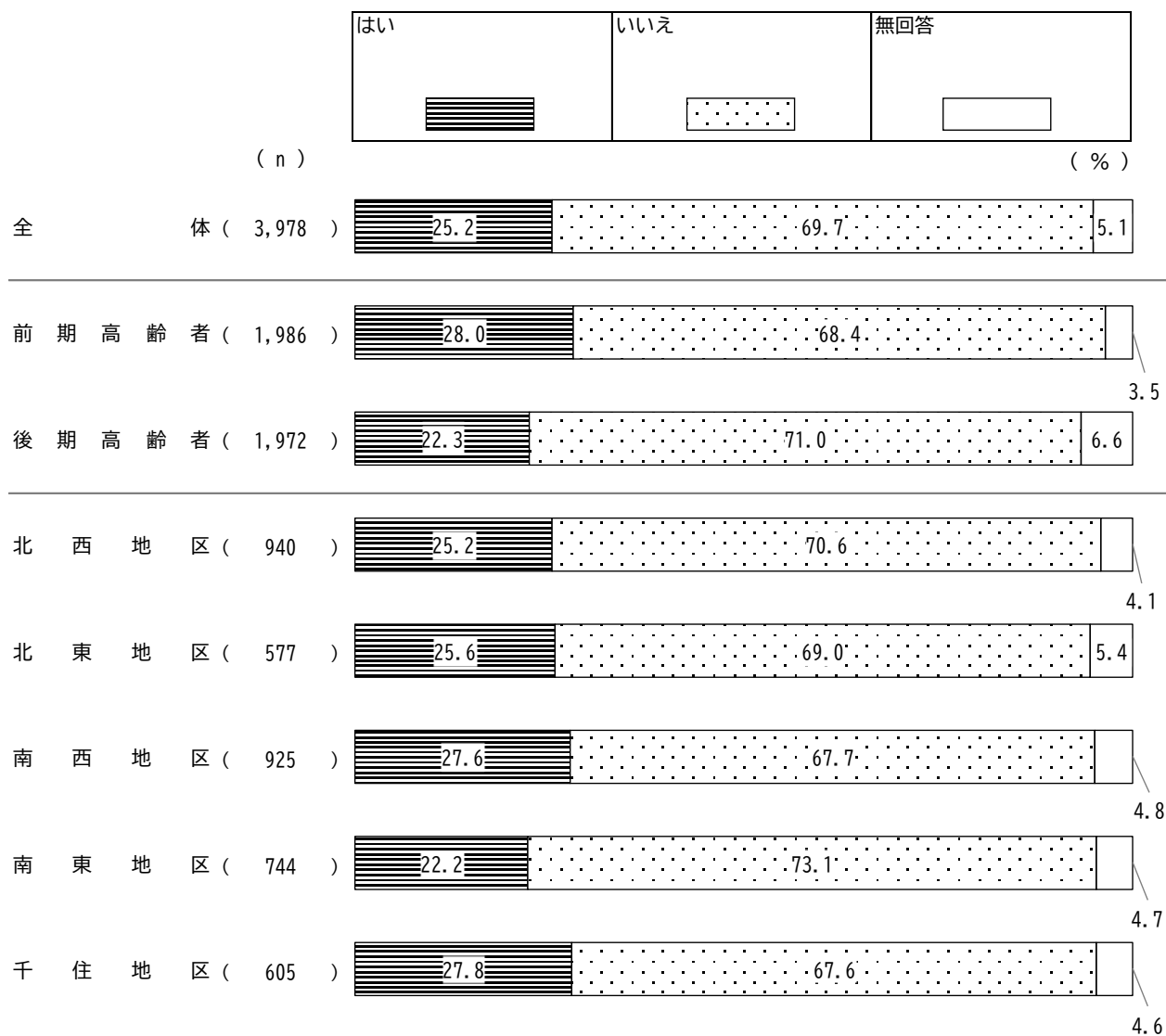


問39 認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つに○）。

認知症に関する相談窓口を知っているかについて、足立区全体では、「はい」が25.2%、「いいえ」が69.7%となっている。

前期・後期別にみると、「はい」では、前期高齢者が28.0%、後期高齢者が22.3%となっている。

日常生活圏域別にみると、「はい」では、千住地区が27.8%と高く、南東地区が22.2%と低くなっている。

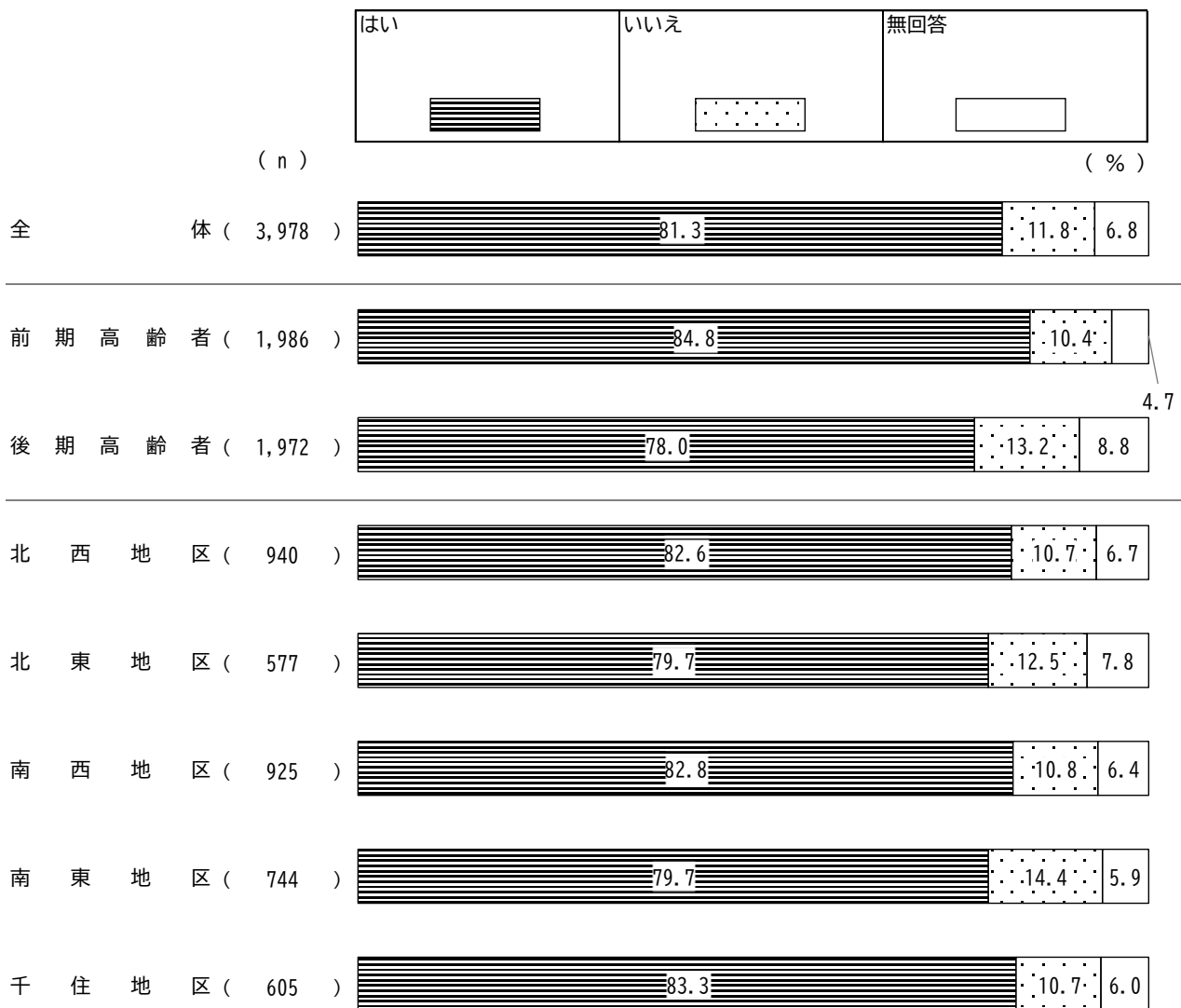


問40 将来、あなたが認知症になったら、周囲（家族や友人など）に公表しますか（1つに○）。

将来、認知症になったら、周囲（家族や友人など）に公表するかどうかについて、足立区全体では、「はい」が81.3%、「いいえ」が11.8%となっている。

前期・後期別にみると、「はい」では、前期高齢者が84.8%、後期高齢者が78.0%となっている。

日常生活圏域別にみると、「はい」では、千住地区が83.3%と高く、北東地区、南東地区が79.7%と低くなっている。

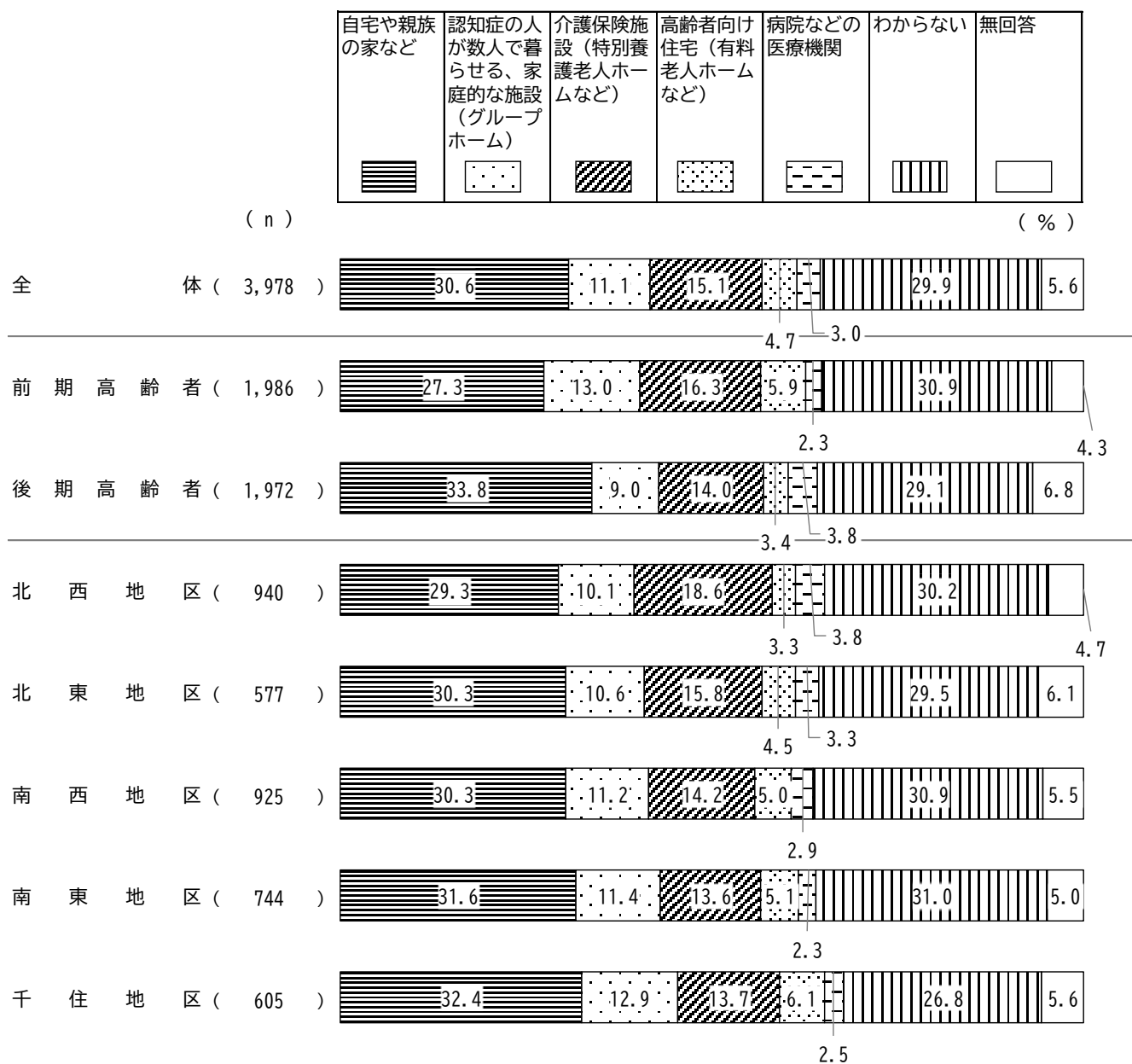


問41 将来、あなたが認知症になったとしたら、どこで暮らしたいですか  
(1つに○)。

将来、認知症になった場合に暮らしたい場所について、足立区全体では、「自宅や親族の家など」が30.6%と最も高く、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）」が15.1%、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）」が11.1%、「高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）」が4.7%、「病院などの医療機関」が3.0%、「わからない」が29.9%となっている。

前期・後期別にみると、「自宅や親族の家など」では、前期高齢者が27.3%、後期高齢者が33.8%となっている。

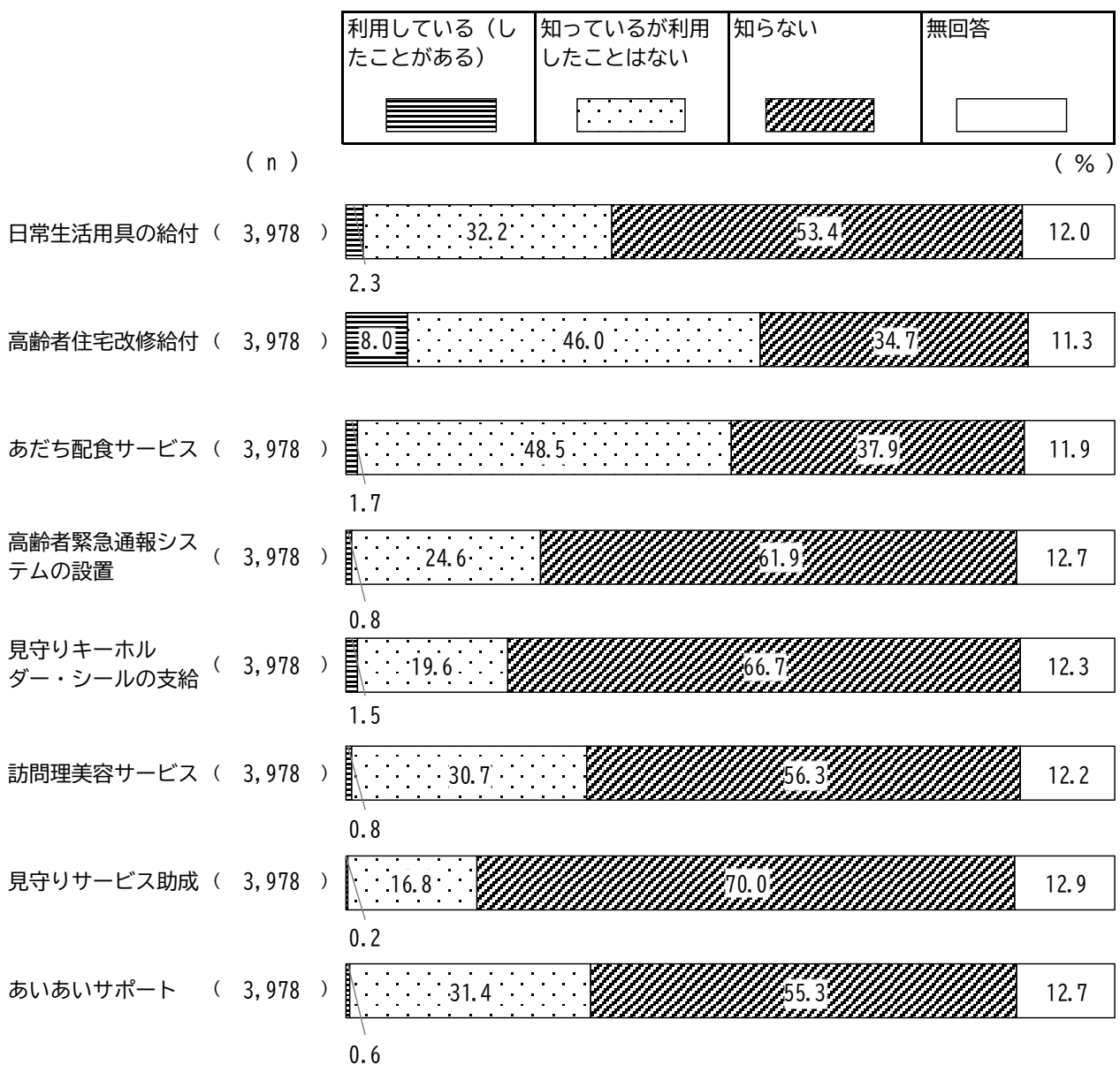
日常生活圏域別にみると、「自宅や親族の家など」では、千住地区が32.4%と高く、北西地区が29.3%と低くなっている。





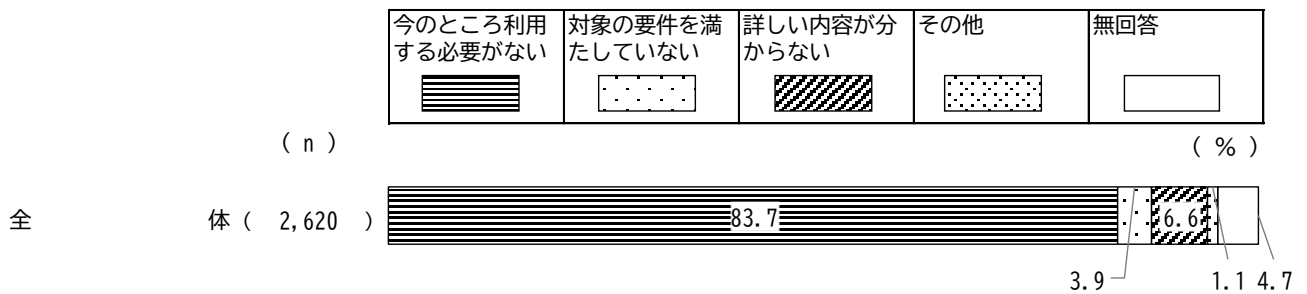
問42 足立区には次のようなサービスがありますが、あなたは現在利用していますか。また利用していない方は、そのサービスをご存知ですか  
(それぞれ1つに○)。

足立区内のサービスの利用状況について、日常生活用具の給付では、「知らない」が53.4%、高齢者住宅改修給付では、「知っているが利用したことはない」が46.0%、あだち配食サービスでは、「知っているが利用したことはない」が48.5%、高齢者緊急通報システムの設置では、「知らない」が61.9%、見守りキーホルダー・シールの支給では、「知らない」が66.7%、訪問理美容サービスでは、「知らない」が56.3%、見守りサービス助成では、「知らない」が70.0%、あいあいサポートでは、「知らない」が55.3%と高くなっている。



問42-1 利用したことがない理由は何ですか（1つに○）。

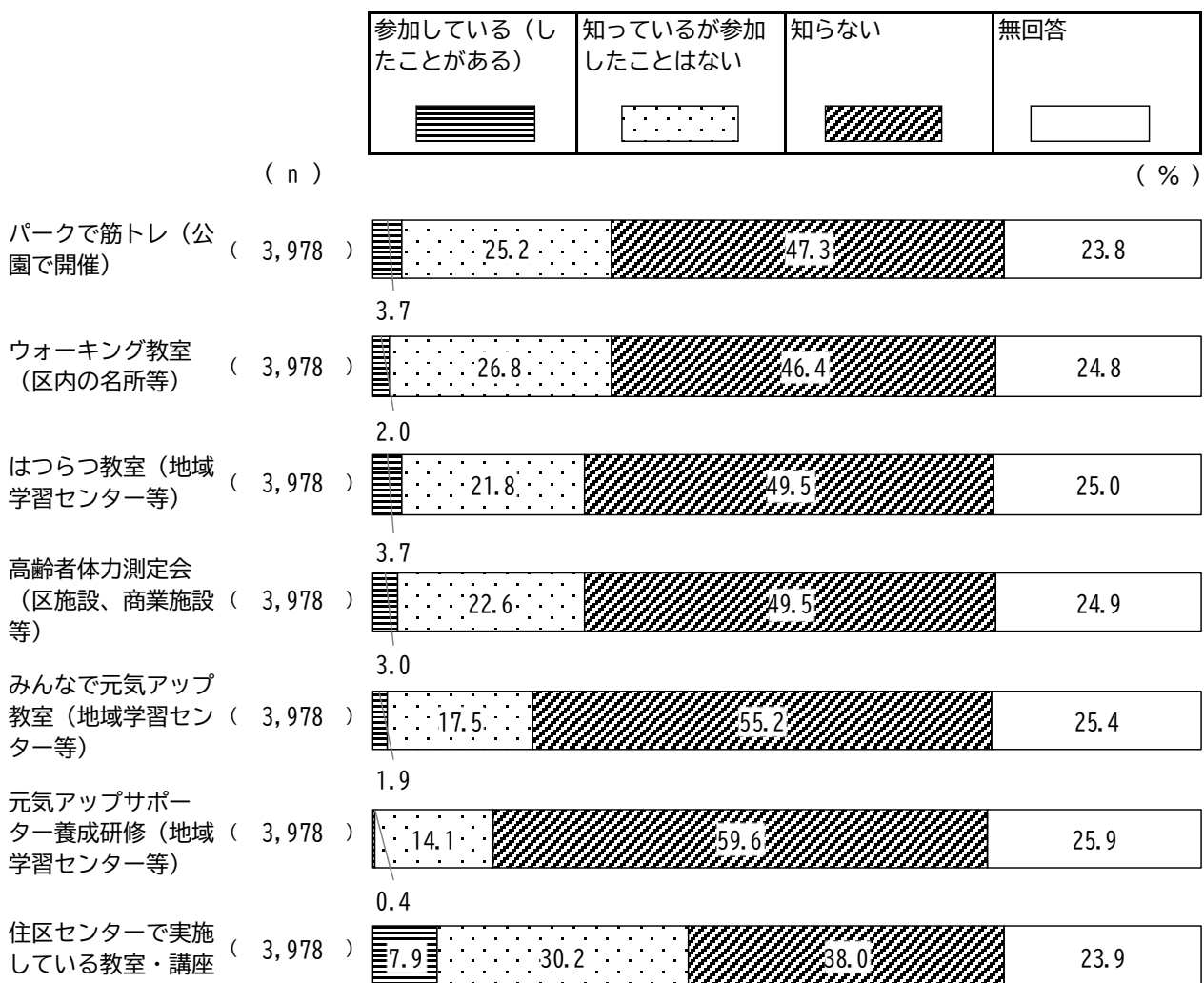
足立区内のサービスで1つでも「知っているが利用したことはない」と回答した方の利用したことがない理由は、「今のところ利用する必要がない」が83.7%と最も高く、「詳しい内容が分からない」が6.6%、「対象の要件を満たしていない」が3.9%となっている。



問43 介護予防事業についてお聞きします。あなたは以下の事業に現在参加していますか。またしていない方は、そのサービスをご存知ですか（それぞれ1つに○）。

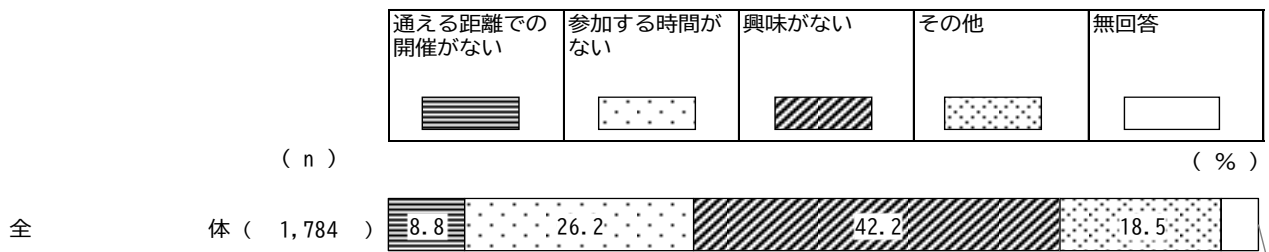
介護予防事業への参加状況について、すべての事業で「知らない」が最も高くなっている。

パークで筋トレ（公園で開催）では、「知らない」が47.3%、ウォーキング教室（区内の名所等）では、「知らない」が46.4%、はつらつ教室（地域学習センター等）では、「知らない」が49.5%、高齢者体力測定会（区施設、商業施設等）では、「知らない」が49.5%、みんなで元気アップ教室（地域学習センター等）では、「知らない」が55.2%、元気アップサポーター養成研修（地域学習センター等）では、「知らない」が59.6%、住区センターで実施している教室・講座では、「知らない」が38.0%と最も高くなっている。



問43-1 参加したことがない理由はですか（1つに○）。

介護予防事業で1つでも「知っているが参加したことはない」と回答した方の参加したことがない理由は、「興味がない」が42.2%と最も高く、「参加する時間がない」が26.2%、「通える距離での開催がない」が8.8%となっている。



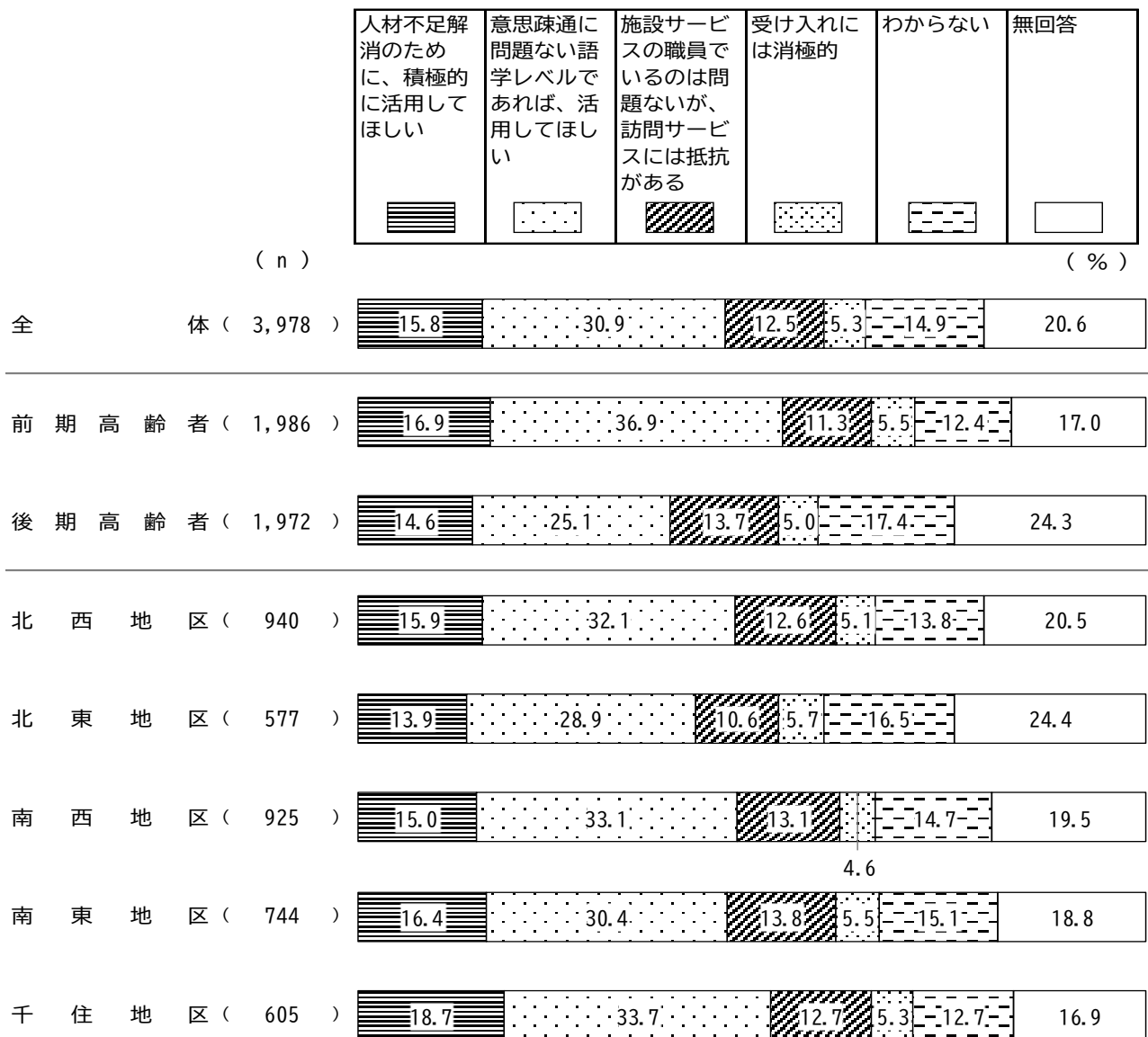
4.3

問44 介護サービスに関して、国では外国人材の活用が推進されていますが、どのよう  
にお考えですか（1つに○）。

介護サービスにおける外国人材の活用について、足立区全体では、「意思疎通に問題ない語学レベルであれば、活用してほしい」が30.9%と最も高く、「人材不足解消のために、積極的に活用してほしい」が15.8%、「施設サービスの職員でいるのは問題ないが、訪問サービスには抵抗がある」が12.5%、「受け入れには消極的」が5.3%、「わからない」が14.9%となっている。

前期・後期別にみると、「意思疎通に問題ない語学レベルであれば、活用してほしい」では、前期高齢者が36.9%、後期高齢者が25.1%となっている。

日常生活圏域別にみると、「意思疎通に問題ない語学レベルであれば、活用してほしい」では、千住地区が33.7%と高く、北東地区が28.9%と低くなっている。

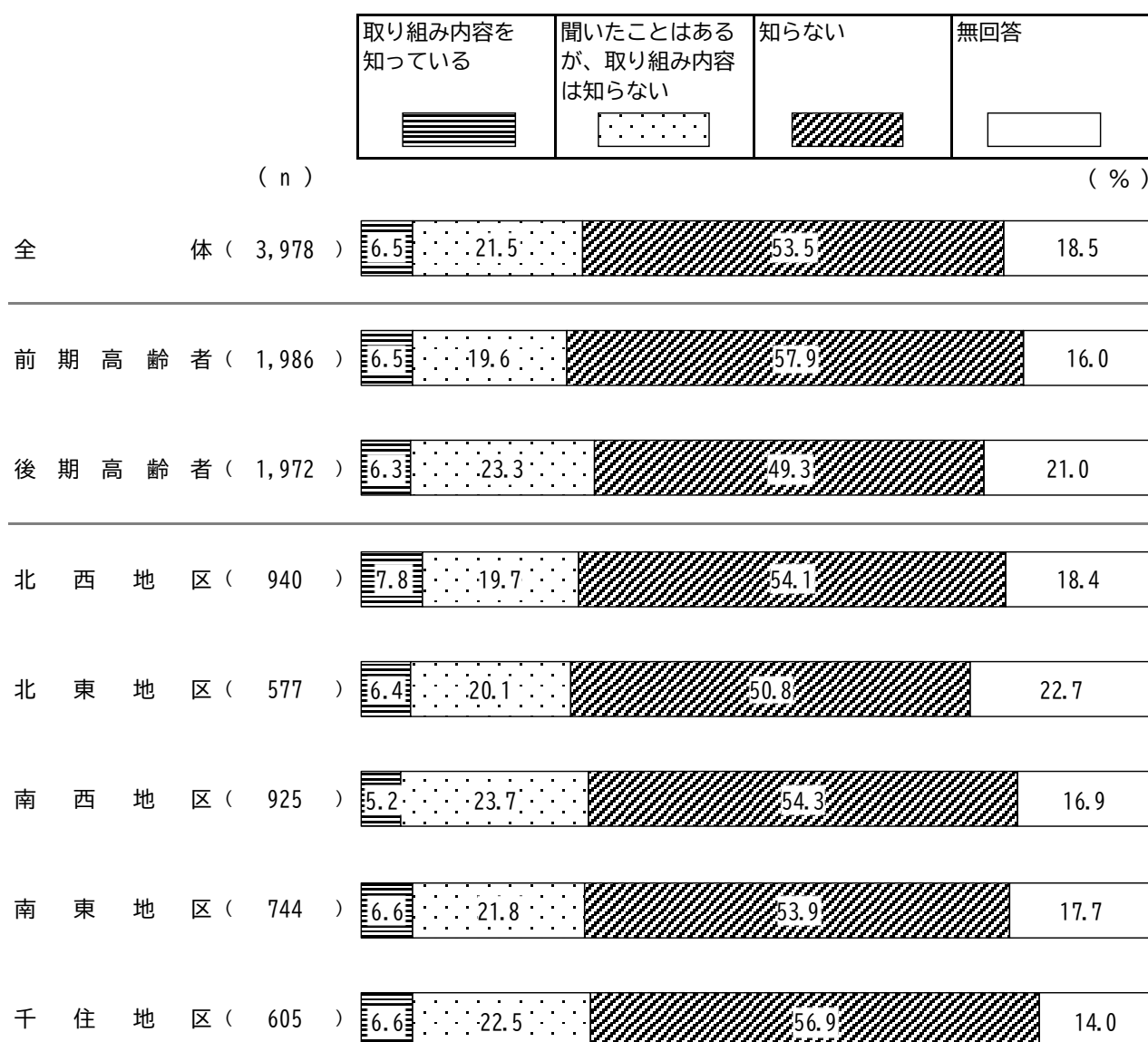


問45 足立区ではひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」(近隣同士の見守り活動)の取り組みを実施していますが、ご存知ですか(1つに○)。

「孤立ゼロプロジェクト」による取り組みについて、足立区全体では、「知らない」が53.5%と最も高く、「聞いたことはあるが、取り組み内容は知らない」が21.5%、「取り組み内容を知っている」が6.5%となっている。

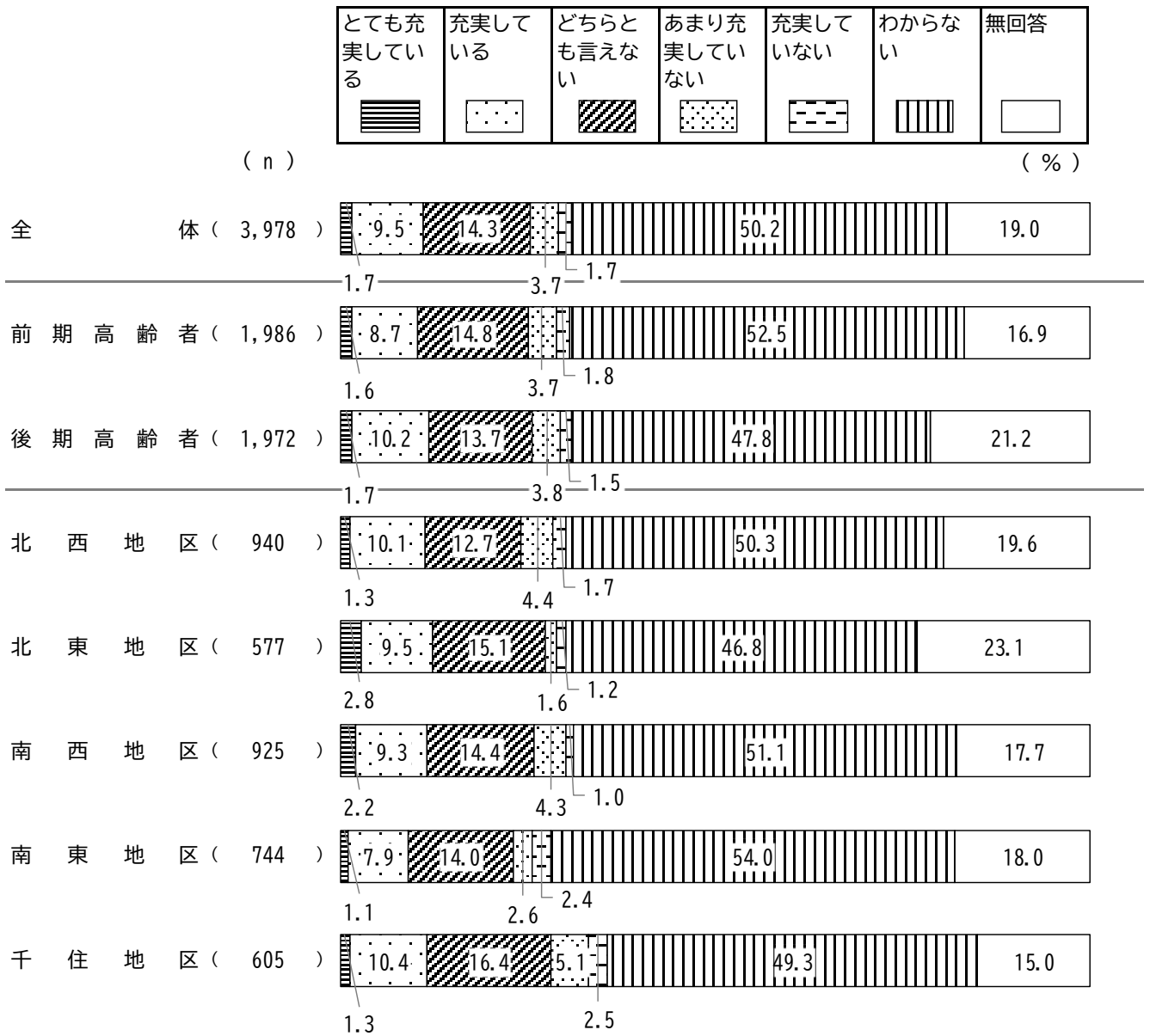
前期・後期別にみると、「知らない」では、前期高齢者が57.9%、後期高齢者が49.3%となっている。

日常生活圏域別にみると、「知らない」では、千住地区が56.9%と高く、北東地区が50.8%と低くなっている。



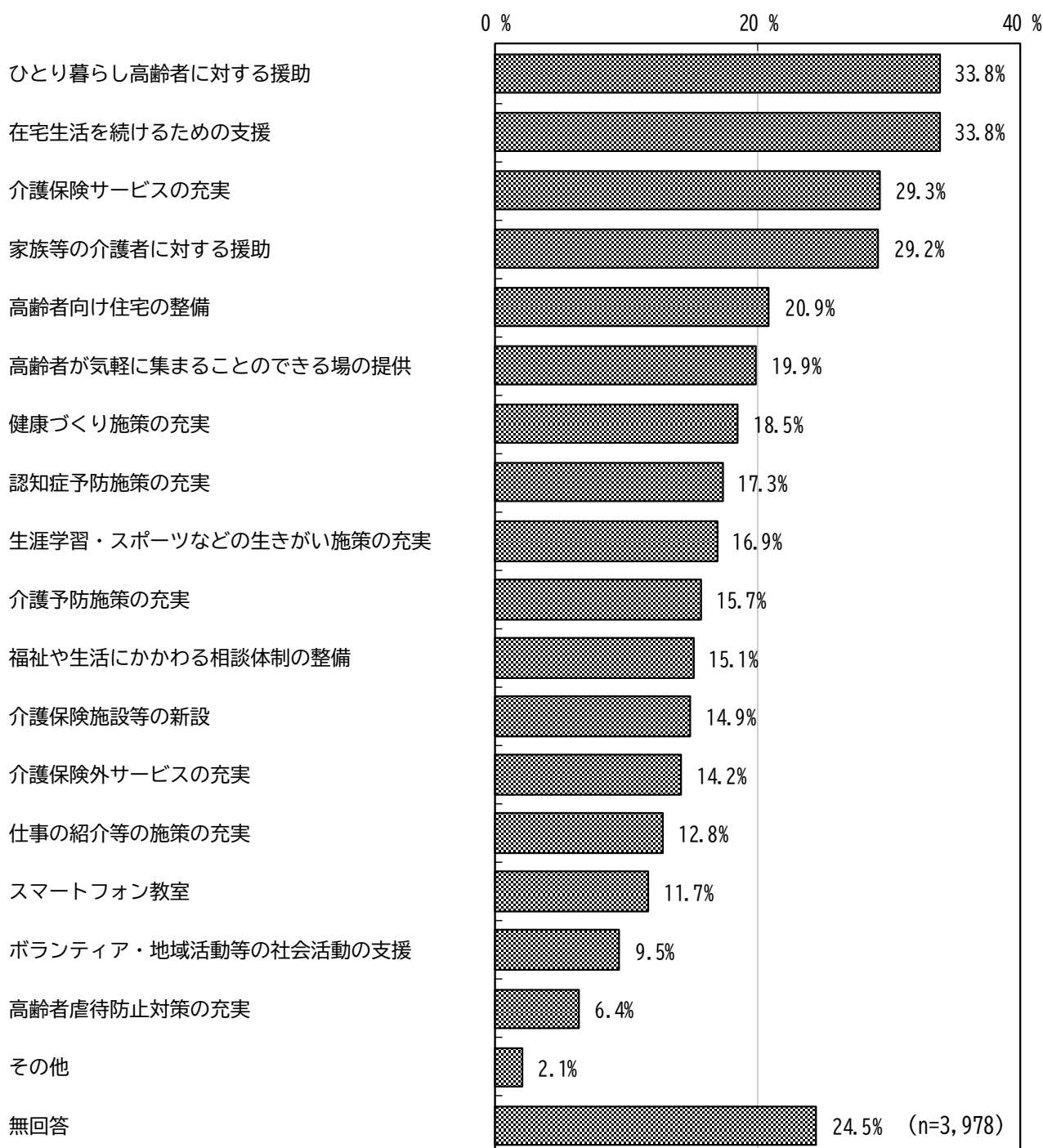
問46 あなたは、足立区の高齢者施策についてどのように感じていますか  
(1つに○)。

足立区の高齢者施策について、足立区全体では、「どちらとも言えない」が14.3%と最も高く、「充実している」が9.5%、「あまり充実していない」が3.7%、「とても充実している」「充実していない」が1.7%、「わからない」が50.2%となっている。



問47 あなたは、足立区に対してどのような高齢者施策の充実をお望みですか  
(いくつでも○)。

足立区に対して望む高齢者施策の充実について、「ひとり暮らし高齢者に対する援助」「在宅生活を続けるための支援」が33.8%と最も高く、「介護保険サービスの充実」が29.3%、「家族等の介護者に対する援助」が29.2%、「高齢者向け住宅の整備」が20.9%、「高齢者が気軽に集まることのできる場の提供」が19.9%と続いている。





基本チェックリスト点数化に基づく介護予防必要者の算出、該当割合

介護予防・日常生活圏域ニーズに関する調査、高齢者単身世帯実態調査の回答結果より、介護予防必要者を抽出するため、厚生労働省作成の基本チェックリストと比較可能な関連設問を整理した。基本チェックリストの点数化に基づく該当者割合の算出根拠および結果は次のとおりである。

基本チェックリスト		該当設問番号		設問項目・選択肢項目 (下線は基本チェックリストと異なる設問)		介護予防必要者 算出割合
分類	項目番号	【01】 ニーズ調査	【02】 単身 高齢者	設問項目	該当選択肢・割合	
暮らしが びり2の1	1	問8 (4)	問17 -1	【01】 <u>バスや電車を使って1人で外出していますか</u> ( <u>自家用車でも可</u> ) 【02】 バスや電車 <small>で</small> 1人で外出していますか	【01】 3 できない 【02】 2 いいえ	<暮らしがびり> 1~20のうち 10項目該当 【01】 4.4% 【02】 14.7%
	2	問8 (5)	問17 -2	【01】 自分で食品・日用品の買い物をしていますか 【02】 日用品の買い物をしていますか	【01】 3 できない 【02】 2 いいえ	
	3	問8 (8)	問17 -3	【01】 自分で預貯金の出し入れをしていますか 【02】 預貯金の出し入れをしていますか	【01】 3 できない 【02】 2 いいえ	
	4	問8 (13)	問17 -4	【01】 【02】 友人の家を訪ねていますか	【01】 3 できない 【02】 2 いいえ	
	5	問8 (14)	問17 -5	【01】 【02】 家族や友人の相談にのっていますか	【01】 3 できない 【02】 2 いいえ	
運動器 関係	6	問6 (1)	問17 -6	【01】 【02】 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	【01】 3 できない 【02】 2 いいえ	
	7	問6 (2)	問17 -7	【01】 【02】 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	【01】 3 できない 【02】 2 いいえ	
	8	問6 (3)	問17 -8	【01】 15分位続けて歩いていますか 【02】 15分くらい続けて歩いていますか	【01】 3 できない 【02】 2 いいえ	
	9	問6 (4)	問17 -9	【01】 過去1年間に転んだことがありますか 【02】 この1年間に転んだことがありますか	【01】 1 何度もある 2 一度ある 【02】 1 はい	
	10	問6 (5)	問17 -10	【01】 【02】 転倒に対する不安は大きいですか	【01】 1 とても不安である 2 やや不安である 【02】 1 はい	
栄養・口腔機能等の関係	11	問7 (8)	問17 -11	【01】 【02】 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	【01】 【02】 1 はい	
	12	問7 (1)	問18	【01】 【02】 BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m) BMI<18.5(やせ)	BMI<18.5(やせ)	
	13	問7 (2)	問17 -12	【01】 【02】 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	【01】 【02】 1 はい	
	14	問7 (3)	問17 -13	【01】 【02】 お茶や汁物などでむせることがありますか	【01】 【02】 1 はい	
	15	問7 (4)	問17 -14	【01】 【02】 口の渇きが気になりますか	【01】 【02】 1 はい	
暮らしが びり2の2	16	問6 (6)	問17 -15	【01】 【02】 週に1回以上は外出していますか	【01】 1 ほとんど外出しない 【02】 2 いいえ	
	17	問6 (7)	問17 -16	【01】 【02】 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	【01】 1 とても減っている 2 減っている 【02】 1 はい	
	18	問8 (1)	問17 -17	【01】 物忘れが多いと感じますか 【02】 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると云われますか	【01】 【02】 1 はい	
	19	問8 (2)	問17 -18	【01】 【02】 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	【01】 【02】 1 はい	
	20	問8 (3)	問17 -19	【01】 【02】 今日が何月何日かわからない時がありますか	【01】 【02】 1 はい	
こころ(うつ)予防	21	-	問17 -20	【02】 (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	【02】 1 はい	
	22	-	問17 -21	【02】 (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	【02】 1 はい	
	23	-	問17 -22	【02】 (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	【02】 1 はい	
	24	-	問17 -23	【02】 (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	【02】 1 はい	
	25	-	問17 -24	【02】 (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	【02】 1 はい	

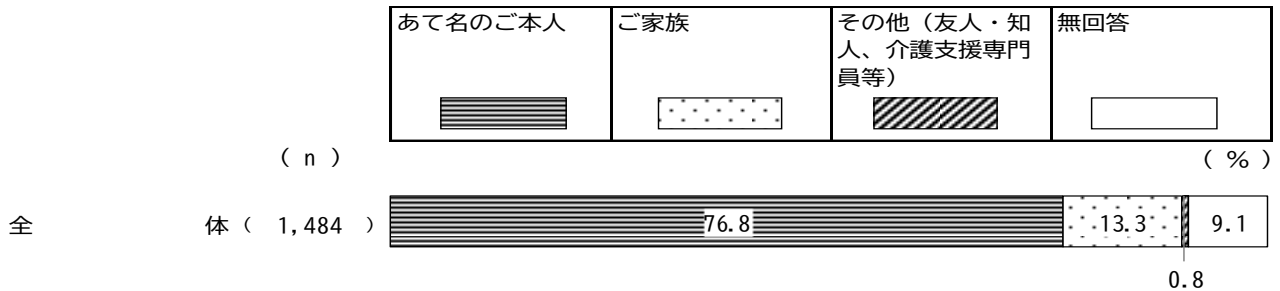


## 2 高齢者単身世帯実態調査

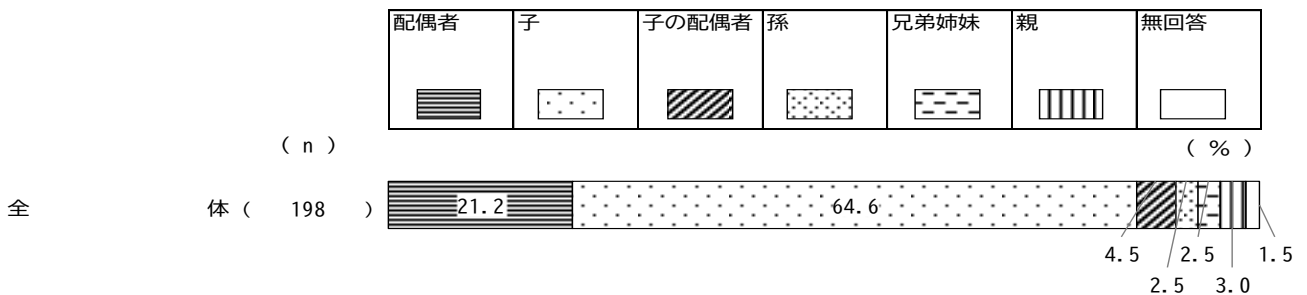
## (1) 回答者の基本情報

この調査票を記入されたのはどなたですか（1つに○）。

回答者は、「あて名のご本人」が76.8%と最も高く、「ご家族」が13.3%、「その他（友人・知人、介護支援専門員等）」が0.8%となっている。

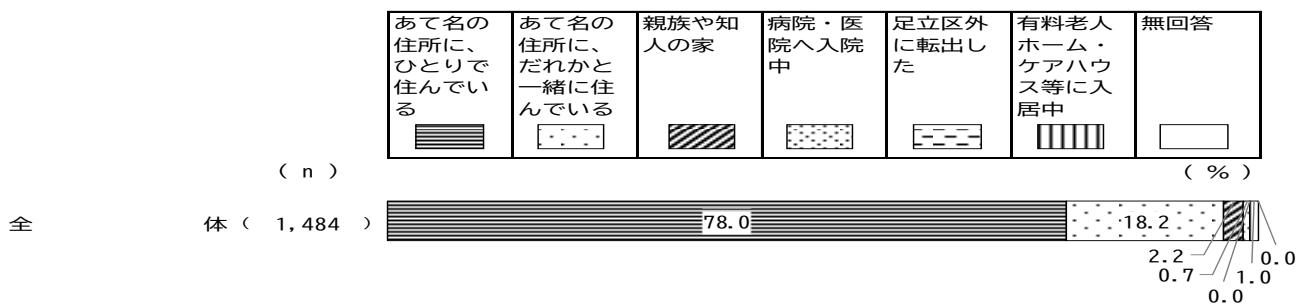


「ご家族」と回答した方の内訳をみると、「子」が64.6%と最も高く、「配偶者」が21.2%、「子の配偶者」が4.5%、「親」が3.0%、「孫」「兄弟姉妹」が2.5%となっている。



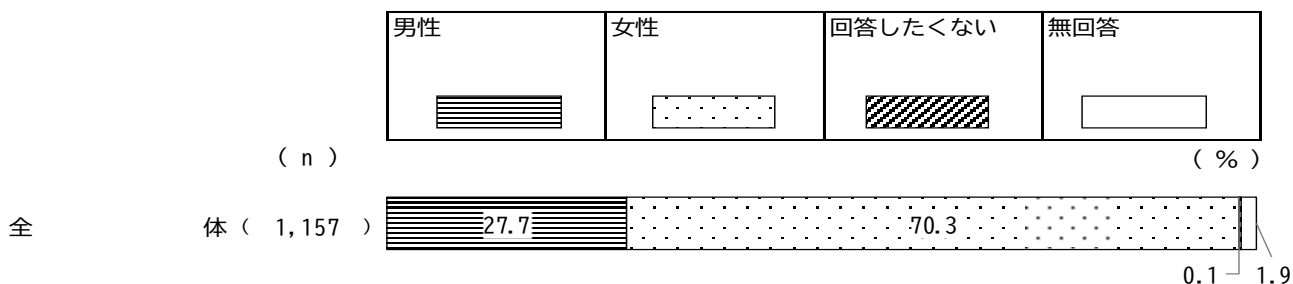
あなたは、普段、どちらにお住まいですか（1つに○）。

回答者の住まいは、「あて名の住所に、ひとりで住んでいる」が78.0%と最も高く、「あて名の住所に、だれかと一緒に住んでいる」が18.2%、「親族や知人の家」が2.2%、「有料老人ホーム・ケアハウス等に入居中」が1.0%、「病院・医院へ入院中」が0.7%、「足立区外に転出した」が0.0%となっている。



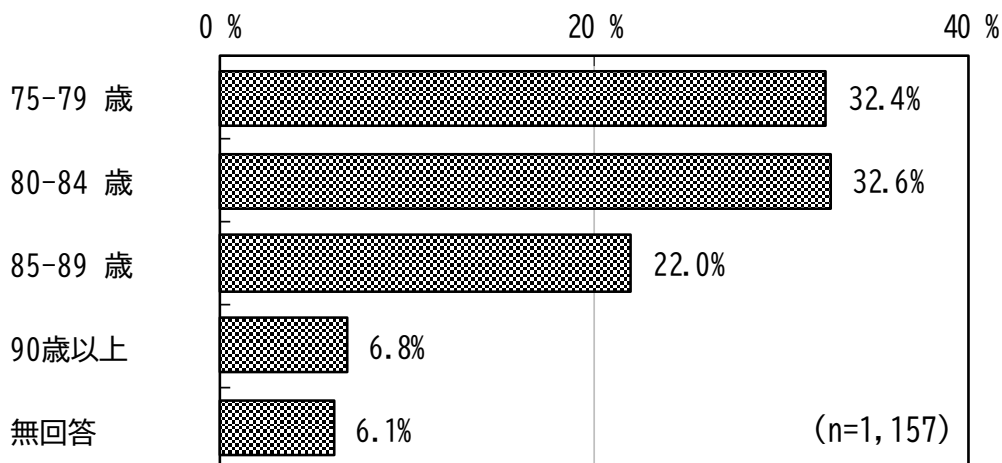
問1-1 あなたの性別をお聞きします。

性別は、「男性」が27.7%、「女性」が70.3%、「回答したくない」が0.1%となっている。



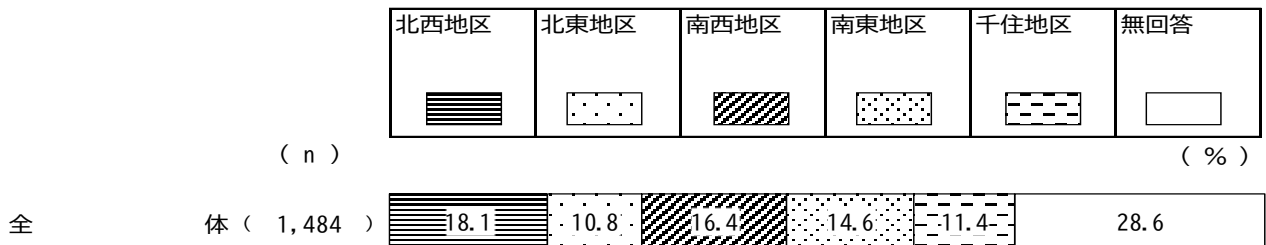
問1-2 あなたの年齢をお聞きします。

年齢は、「80-84歳」が32.6%と最も高く、「75-79歳」が32.4%、「85-89歳」が22.0%、「90歳以上」が6.8%となっている。



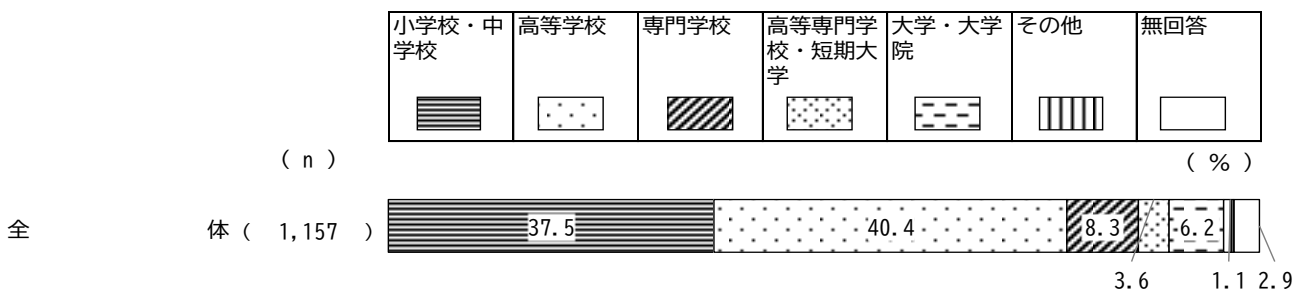
問2 お住まいの住所を「別紙：住所地一覧」の番号を記載してください。

日常生活圏域で見ると、「北西地区」が18.1%と最も高く、「南西地区」が16.4%、「南東地区」が14.6%、「千住地区」が11.4%、「北東地区」が10.8%となっている。



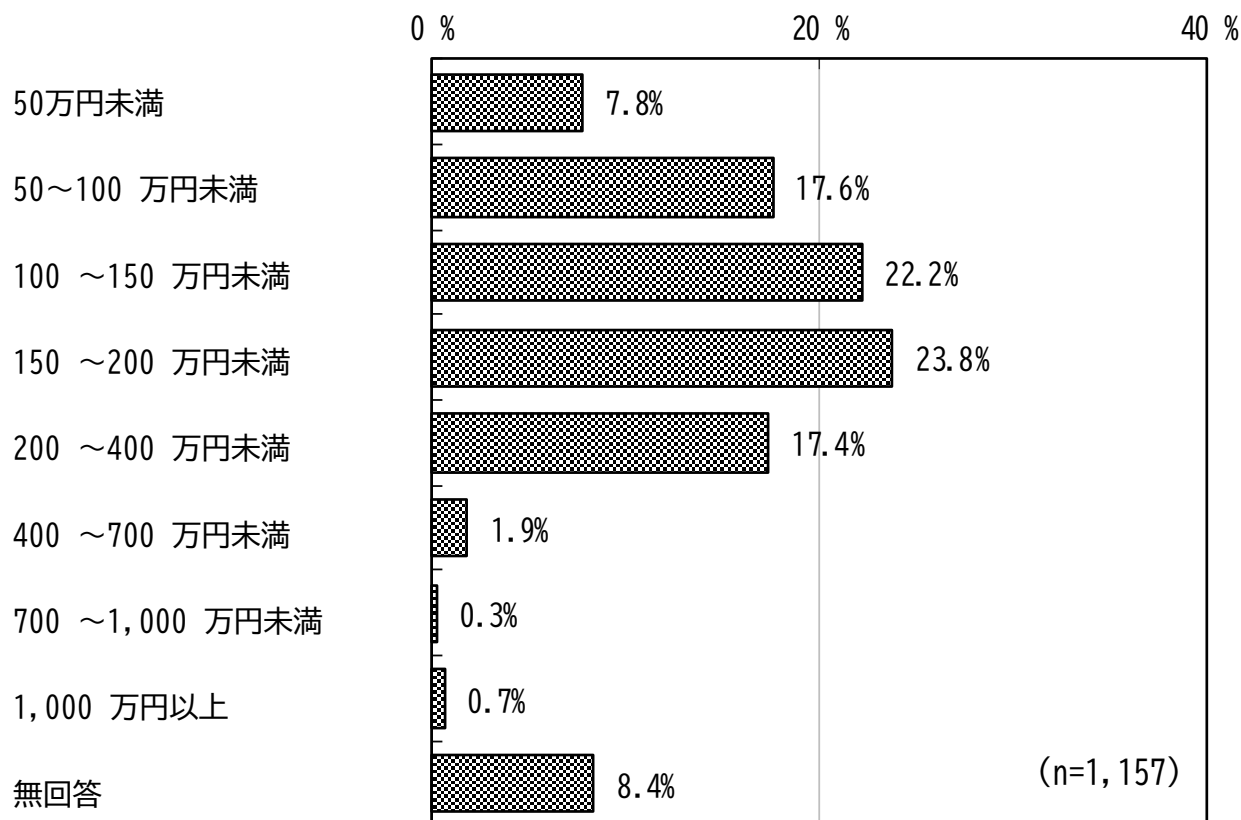
問3 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどれですか（1つに○）。

最後に卒業した学校について、「高等学校」が40.4%と最も高く、「小学校・中学校」が37.5%、「専門学校」が8.3%、「大学・大学院」が6.2%、「高等専門学校・短期大学」が3.6%となっている。



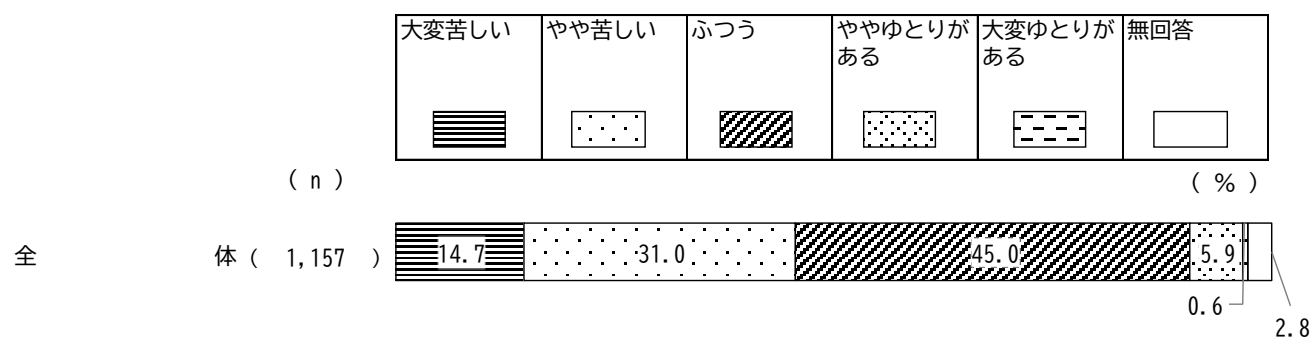
問4 現在の年間の収入はどの程度ですか（1つに○）。

現在の年収について、「150～200万円未満」が23.8%と最も高く、「100～150万円未満」が22.2%、「50～100万円未満」が17.6%、「200～400万円未満」が17.4%、「50万円未満」が7.8%、「400～700万円未満」が1.9%、「1,000万円以上」が0.7%、「700～1,000万円未満」が0.3%となっている。



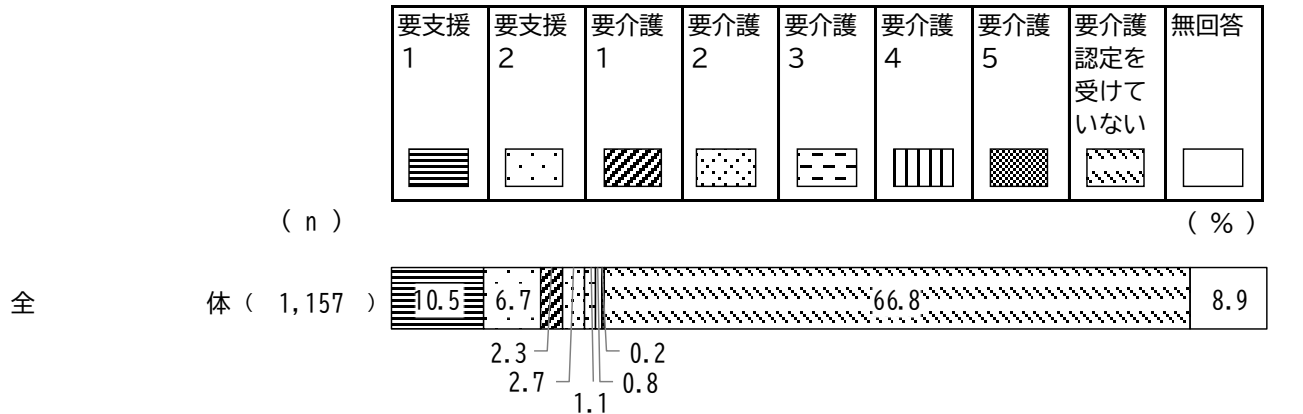
問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つに○）。

現在の暮らしの経済的な状況について、「ふつう」が45.0%と最も高く、「やや苦しい」が31.0%、「大変苦しい」が14.7%、「ややゆとりがある」が5.9%、「大変ゆとりがある」が0.6%となっている。



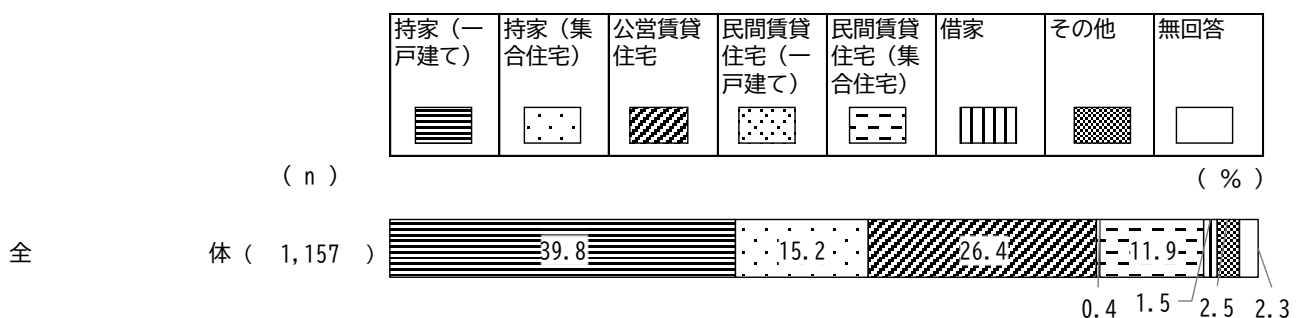
### 問6 あなたの現在の要介護度は、どれですか（1つに○）。

現在の要介護度は、「要介護認定を受けていない」が66.8%と最も高く、「要支援1」が10.5%、「要支援2」が6.7%、「要介護2」が2.7%、「要介護1」が2.3%、「要介護3」が1.1%、「要介護4」が0.8%、「要介護5」が0.2%となっている。



### 問7 あなたのお住まいは次の何に該当しますか（1つに○）。

住まいの種類について、「持家（一戸建て）」が39.8%と最も高く、「公営賃貸住宅」が26.4%、「持家（集合住宅）」が15.2%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が11.9%、「借家」が1.5%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が0.4%となっている。



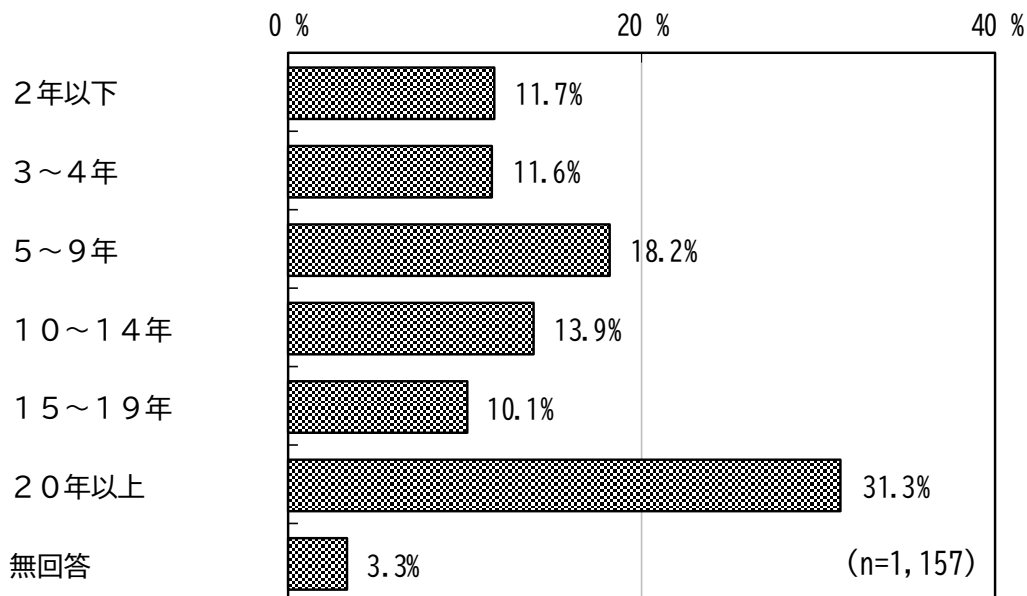
### 問8 あなたのお住まいの広さはおよそどのくらいですか（1つに○）。

住まいの広さについて、「40㎡以上（例：2LDK）」が45.4%と最も高く、「25㎡以上～40㎡未満（例：2DK、1LDK）」が35.4%、「25㎡未満（例：1K、1DK）」が11.8%となっている。



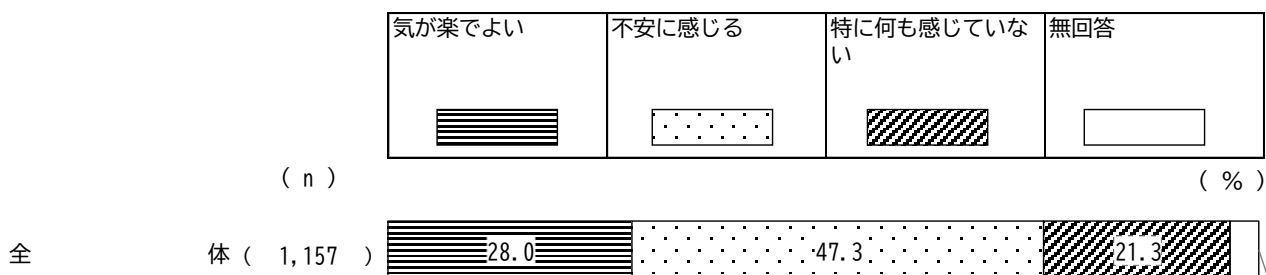
問9 おひとりでお住まいの期間はおよそどのくらいですか（1つに○）。

ひとりで住んでいる期間について、「20年以上」が31.3%と最も高く、「5～9年」が18.2%、「10～14年」が13.9%、「2年以下」が11.7%、「3～4年」が11.6%、「15～19年」が10.1%となっている。



問10 おひとりで暮らされていることについて、どのようにお感じですか（1つに○）。

ひとりで暮らしていることについて、「不安を感じる」が47.3%と最も高く、「気が楽でよい」が28.0%、「特に何も感じていない」が21.3%となっている。

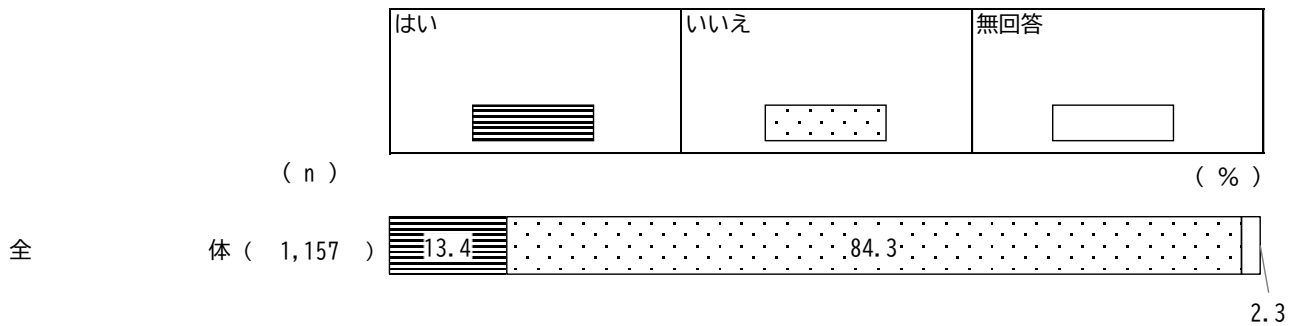


3.4



## 問11 あなたは現在、仕事に従事されていますか（1つに○）。

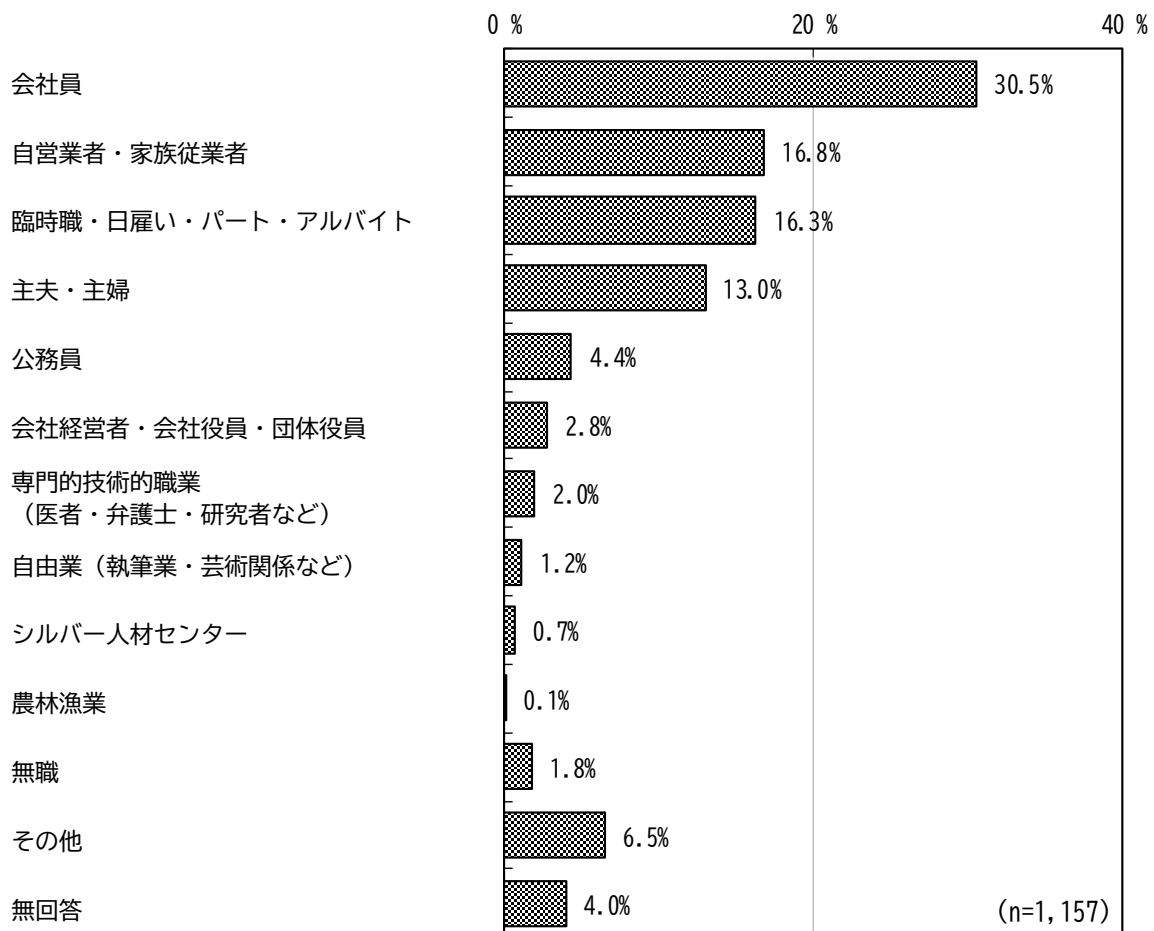
現在、仕事に従事しているかについて、「はい」が13.4%、「いいえ」が84.3%となっている。



2.3

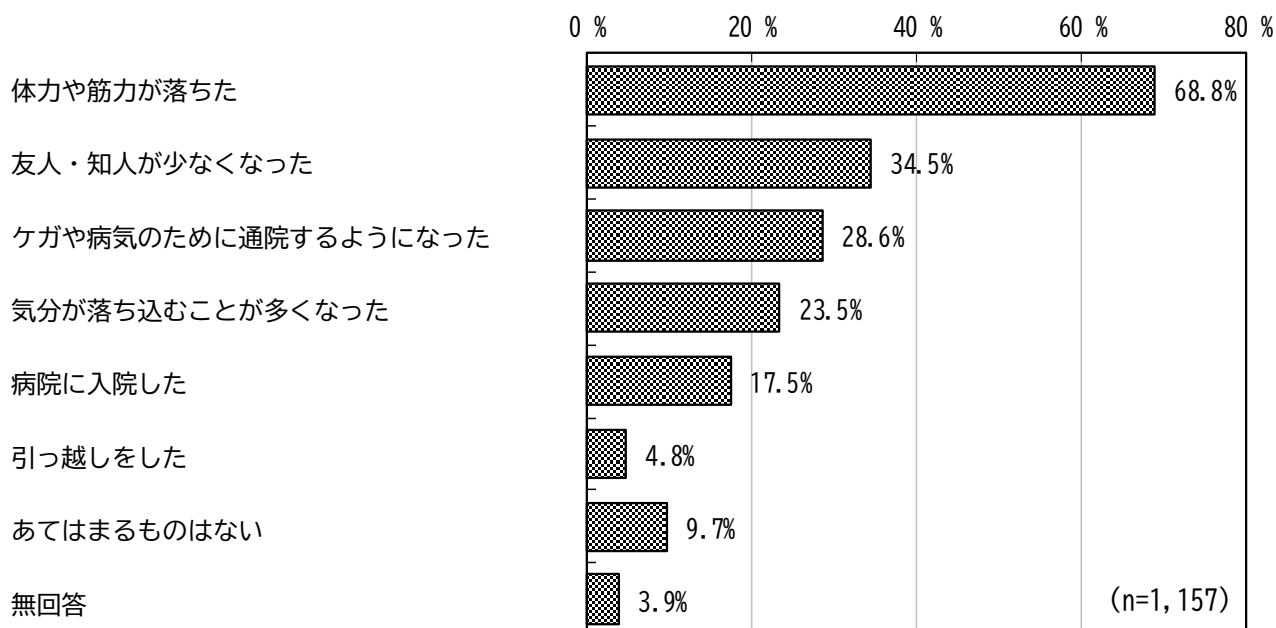
## 問12 あなたが今までに一番長く従事されたお仕事は何ですか（1つに○）。

過去一番長く従事した仕事について、「会社員」が30.5%と最も高く、「自営業者・家族従業者」が16.8%、「臨時職・日雇い・パート・アルバイト」が16.3%、「主夫・主婦」が13.0%、「公務員」が4.4%、「会社経営者・会社役員・団体役員」が2.8%、「専門的技術的職業（医者・弁護士・研究者など）」が2.0%、「無職」が1.8%、「自由業（執筆業・芸術関係など）」が1.2%、「シルバー人材センター」が0.7%、「農林漁業」が0.1%となっている。



問13 3年前の2019年と比べて、あなたの生活状況におきた変化としてあてはまるものをお答えください（あてはまるものすべてに○）。

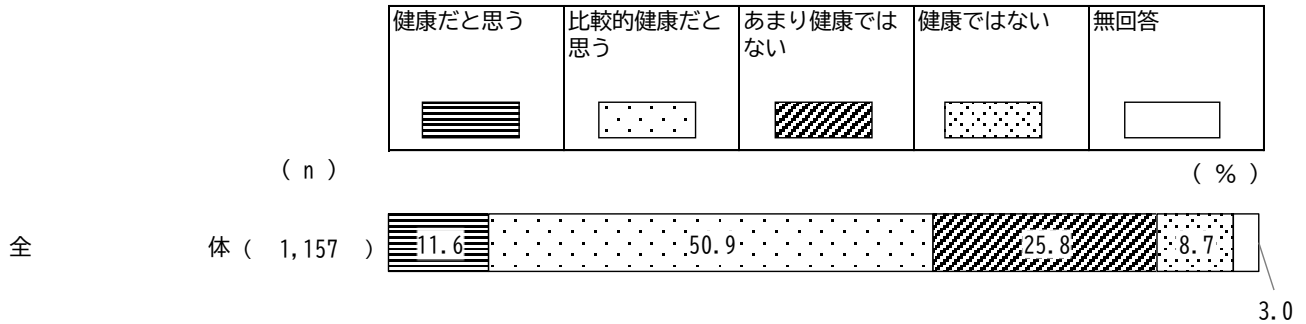
3年前と比べた生活状況におきた変化について、「体力や筋力が落ちた」が68.8%と最も高く、「友人・知人が少なくなった」が34.5%、「ケガや病気のために通院するようになった」が28.6%、「気分が落ち込むことが多くなった」が23.5%、「病院に入院した」が17.5%、「あてはまるものはない」が9.7%、「引っ越しをした」が4.8%となっている。



## (2) 健康と医療について

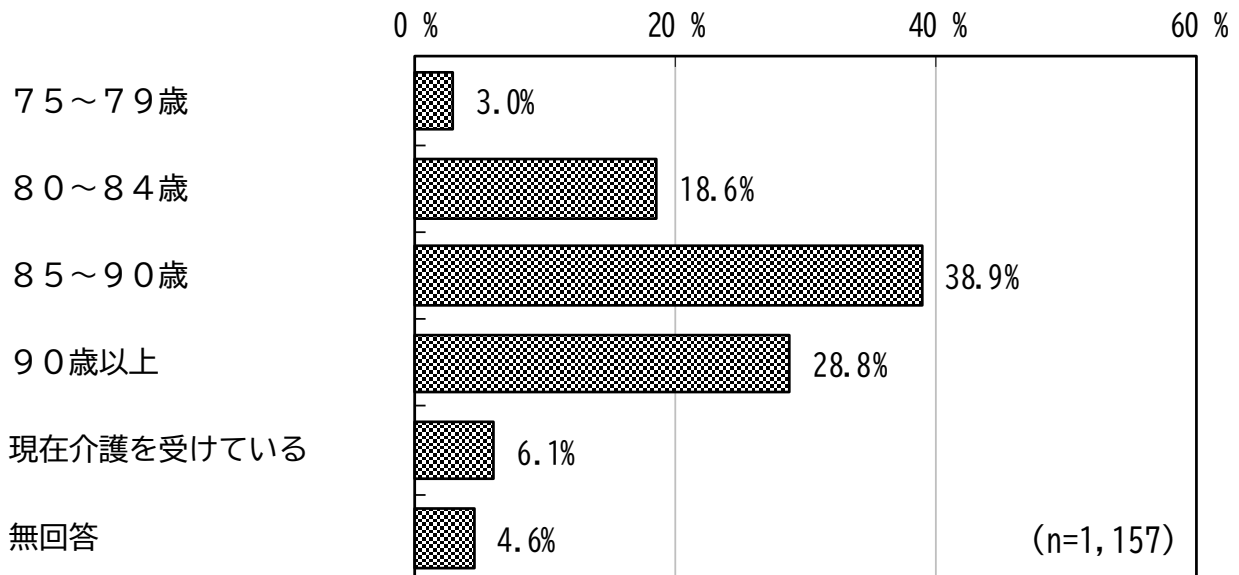
問14 あなたは、自分の健康状態についてどのようにお考えですか（1つに○）。

自分の健康状態について、「比較的健康的だと思ふ」が50.9%と最も高く、「あまり健康ではない」が25.8%、「健康だと思ふ」が11.6%、「健康ではない」が8.7%となっている。



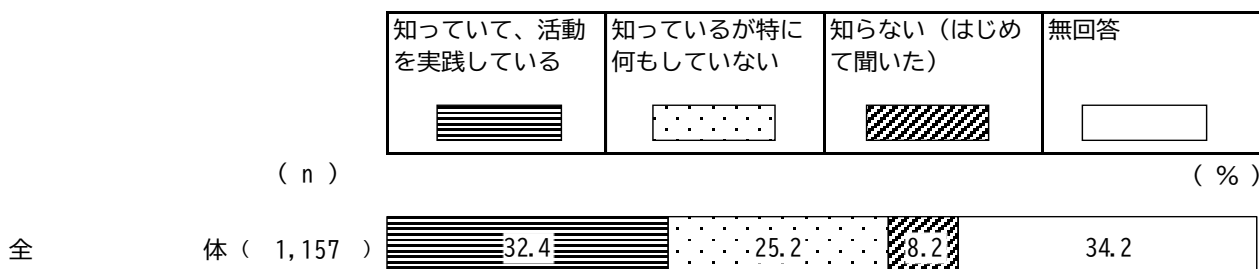
問15 あなたは、いくつまで健康（介護を受けない状態）に過ごしたいですか（1つに○）。

健康に過ごしたいと考えている年齢について、「85～90歳」が38.9%と最も高く、「90歳以上」が28.8%、「80～84歳」が18.6%、「現在介護を受けている」が6.1%、「75～79歳」が3.0%となっている。

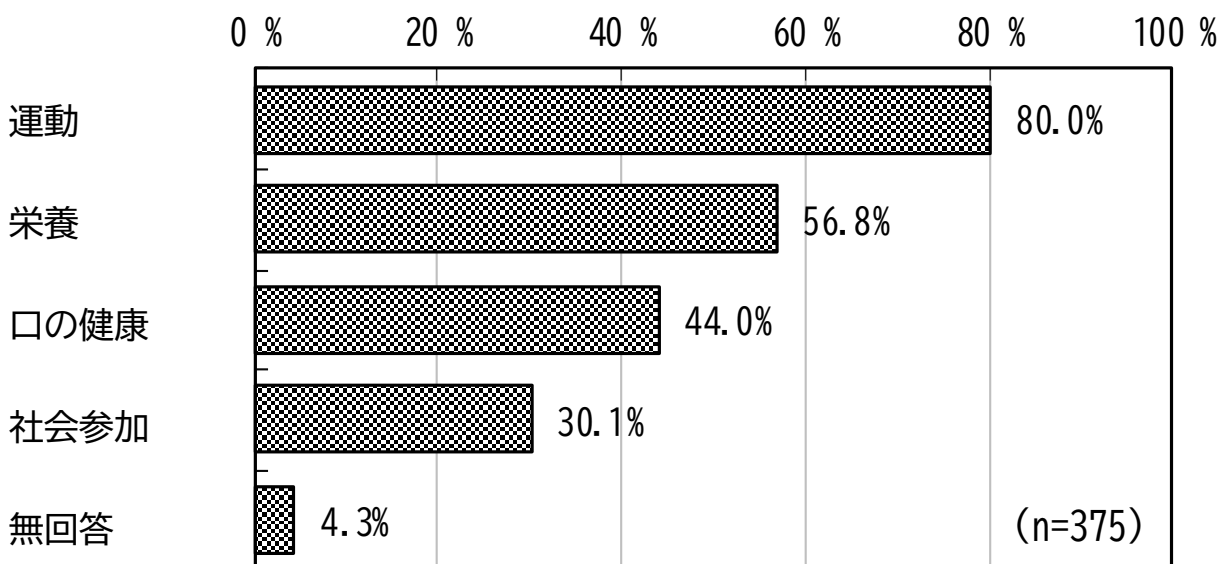


問16 高齢期におこりやすい「フレイル」(筋力や心身の機能などが低下し、衰弱した状態)にならないために、「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」のそれぞれが大切なことを知っていますか(1つに○)。

「フレイル」にならないために、「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」のそれぞれが大切なことを知っているかについて、「知っていて、活動を実践している」が32.4%と最も高く、「知っているが特に何もしていない」が25.2%。「知っていて、活動を実践している」と「知っているが、特に何もしていない」を合わせた【知っている】は57.6%となっている。「知らない(はじめて聞いた)」が8.2%となっている。

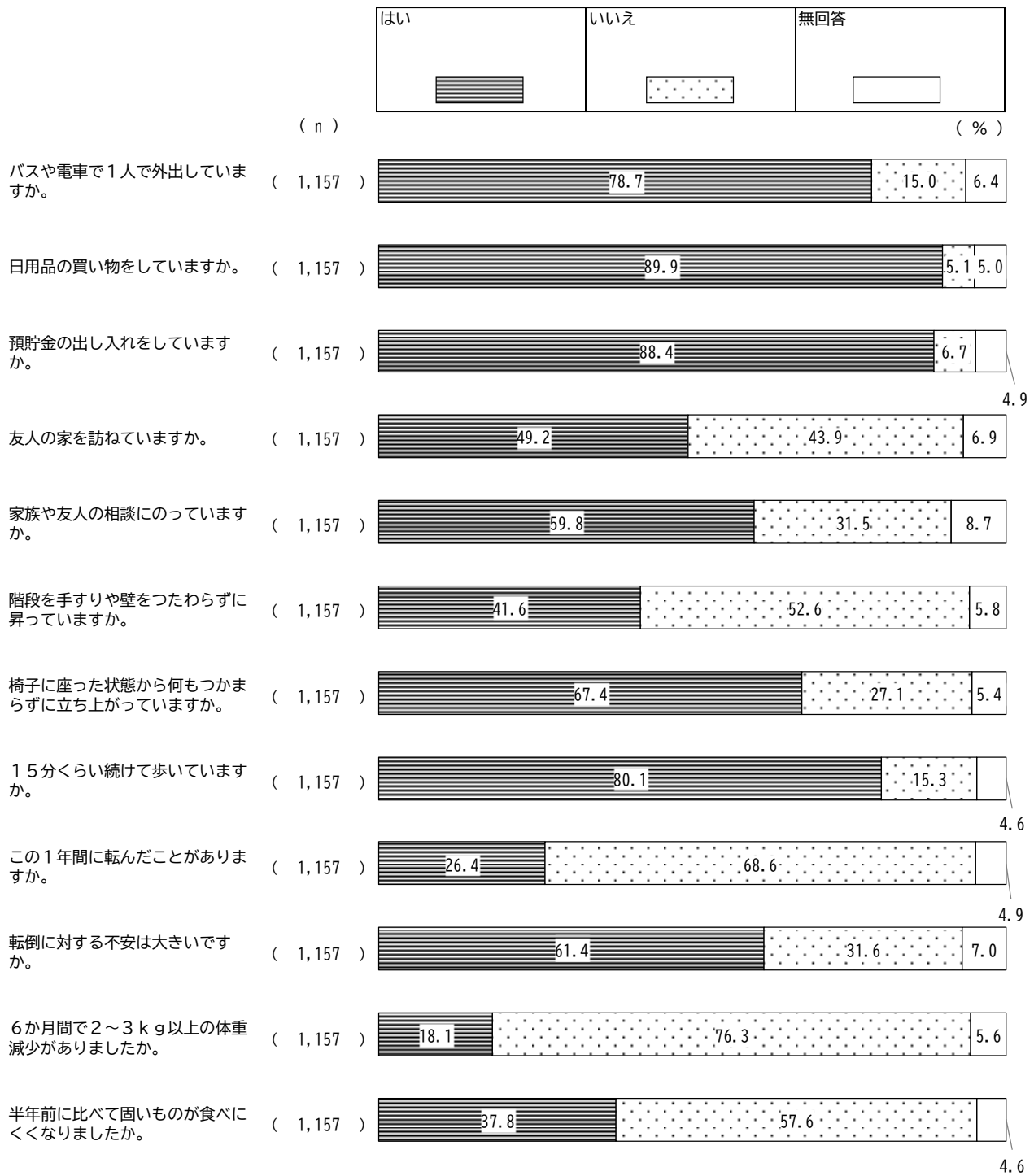


「フレイル」にならないために「実践している」と回答した方の活動は、「運動」が80.0%と最も高く、「栄養」が56.8%、「口の健康」が44.0%、「社会参加」が30.1%となっている。

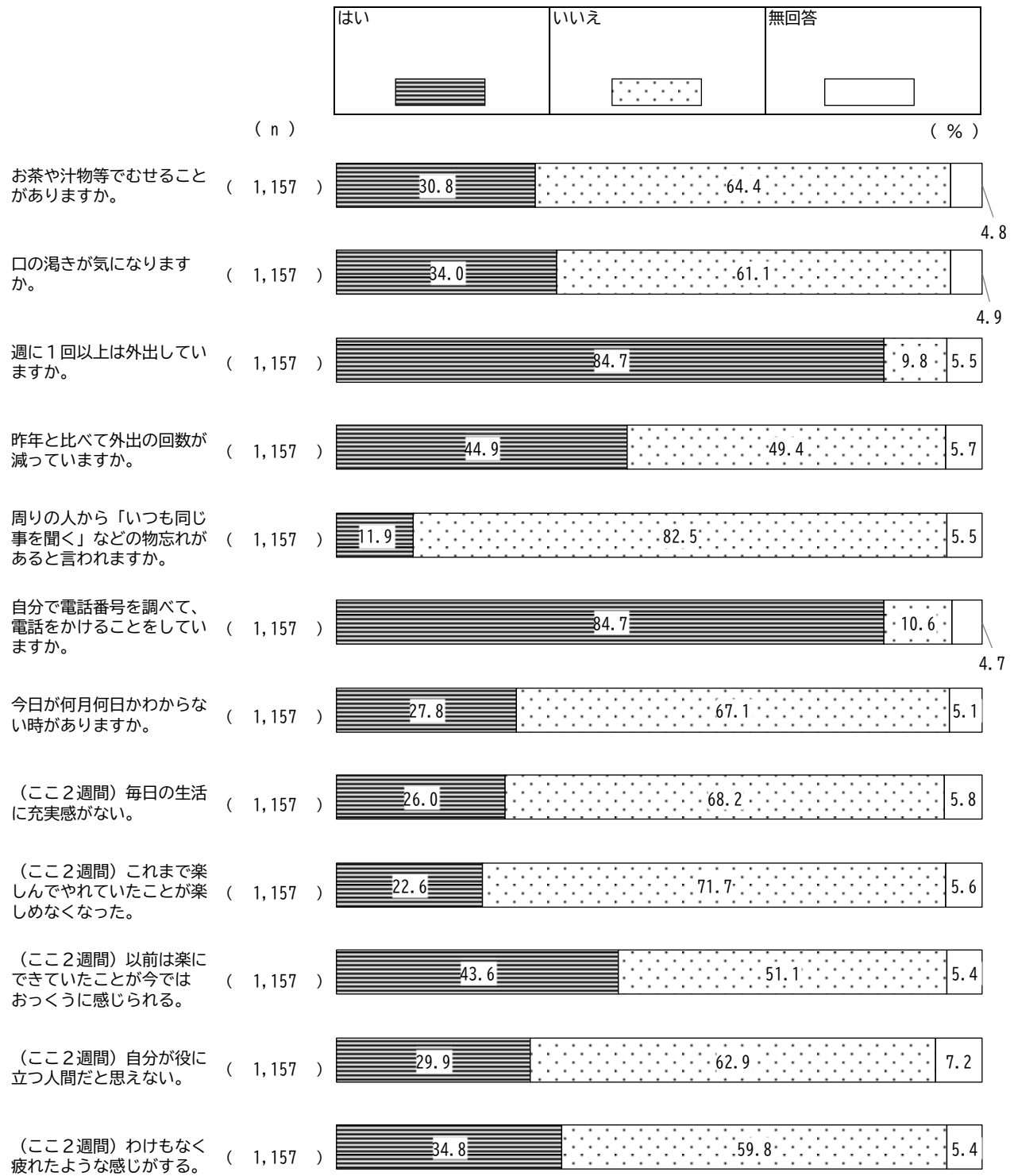


問17 あなたのふだんの生活について、「はい（している又はできる）」、「いいえ（していない又はできない）」のどちらかをお選びください。

ふだんの生活における行動のうち、「日用品の買い物」が89.9%と最も多く、「預貯金の出し入れ」が88.4%、「週に1回以上の外出」「自分で電話番号を調べて、電話をかける」が84.7%、「15分くらい続けて歩く」が80.1%となっている。

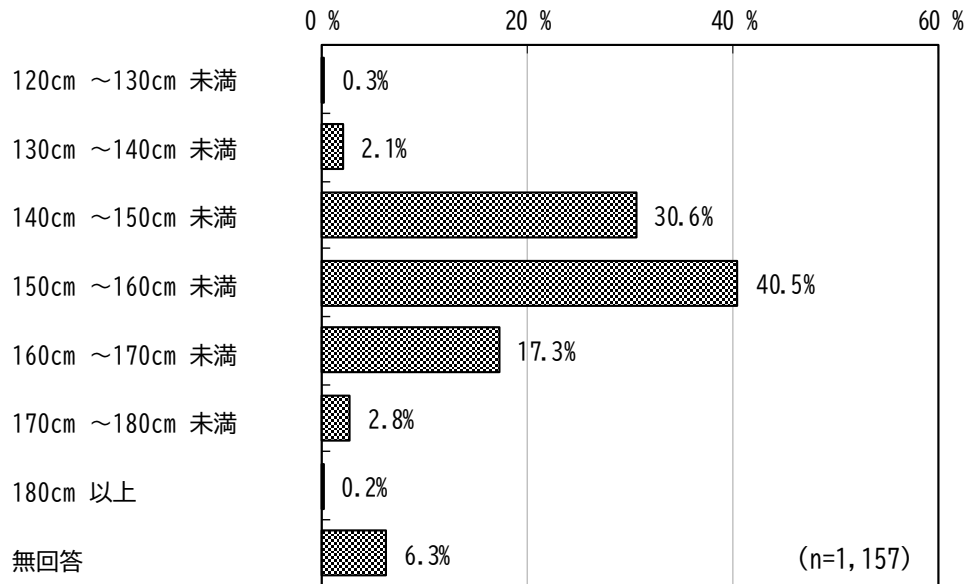


## 第2章 調査結果

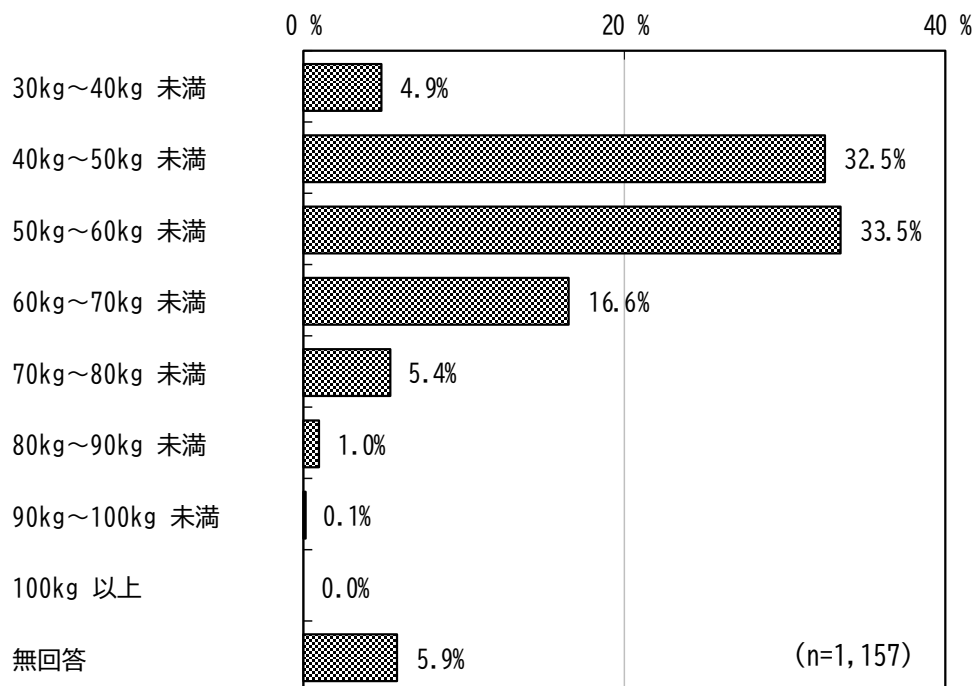


## 問18 現在の身長・体重をご記入ください（数字（整数）を記入）。

現在の身長について、「150cm～160cm 未満」が40.5%と最も高く、「140cm～150cm 未満」が30.6%、「160cm～170cm 未満」が17.3%、「170cm～180cm 未満」が2.8%、「130cm～140cm 未満」が2.1%、「120～130cm 未満」が0.3%、「180cm 以上」が0.2%となっている。



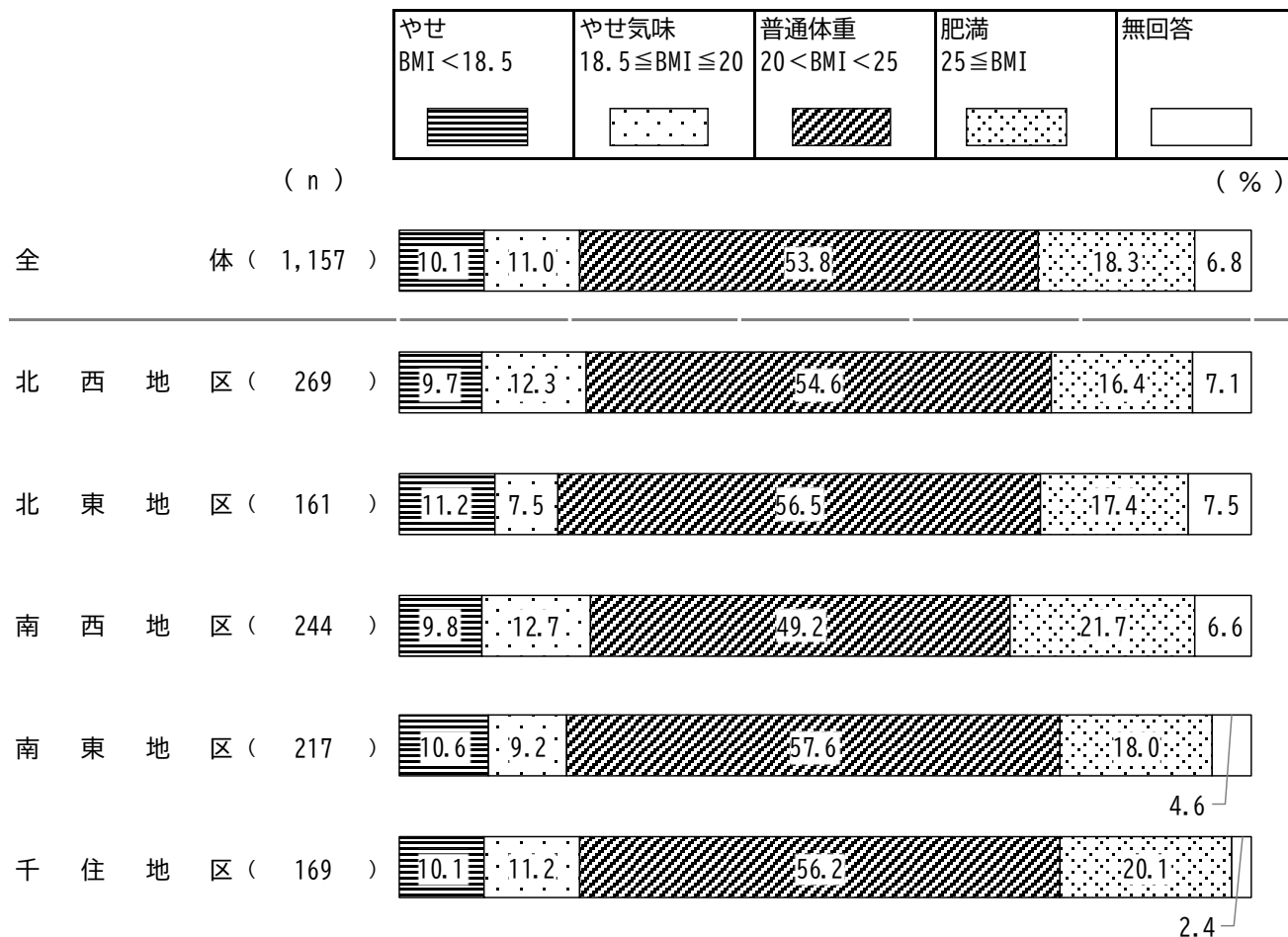
現在の体重について、「50kg～60kg 未満」が33.5%と最も高く、「40kg～50kg 未満」が32.5%、「60kg～70kg 未満」が16.6%、「70kg～80kg 未満」が5.4%、「30kg～40kg 未満」が4.9%、「80kg～90kg 未満」が1.0%、「90kg～100kg 未満」が0.1%、「100kg 以上」が0.0%となっている。



第2章 調査結果

BMIについて、足立区全体では、「普通体重」が53.8%と最も高く、「肥満」が18.3%、「やせ気味」が11.0%、「やせ」が10.1%となっている。

日常生活圏域別にみると、「やせ」「やせ気味」の合計では、北東地区が低くなっている。



BMI (Body Mass Index) とは体格を表す指標。肥満や低体重（やせ）の判定に用い、 $[\text{体重 (kg)}] \div [\text{身長 (m) の 2 乗}]$  で求める。

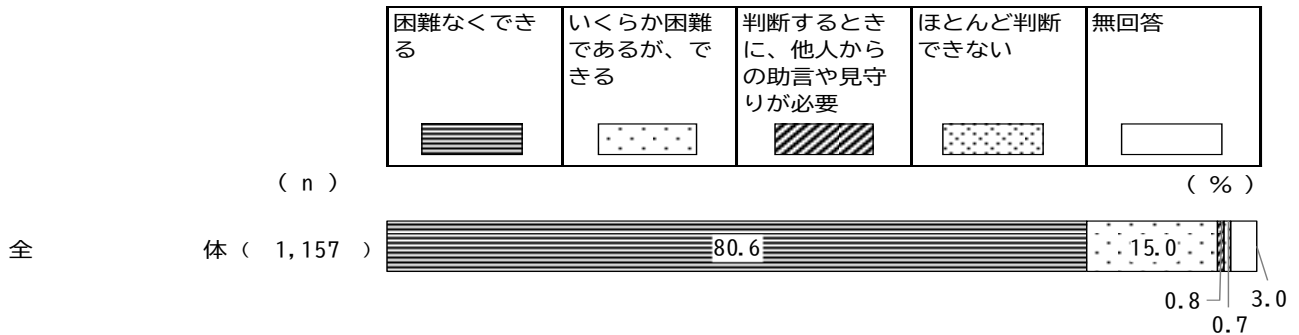
本設問では身長と体重の回答からBMIを求め、その値を国（厚生労働省）の基準を元に判定を区分している。

判定基準はBMI < 18.5 を「やせ」、18.5 ≤ BMI ≤ 20 を「やせ気味」、20 < BMI < 25 を「普通体重」、25 ≤ BMI を「肥満」とする。



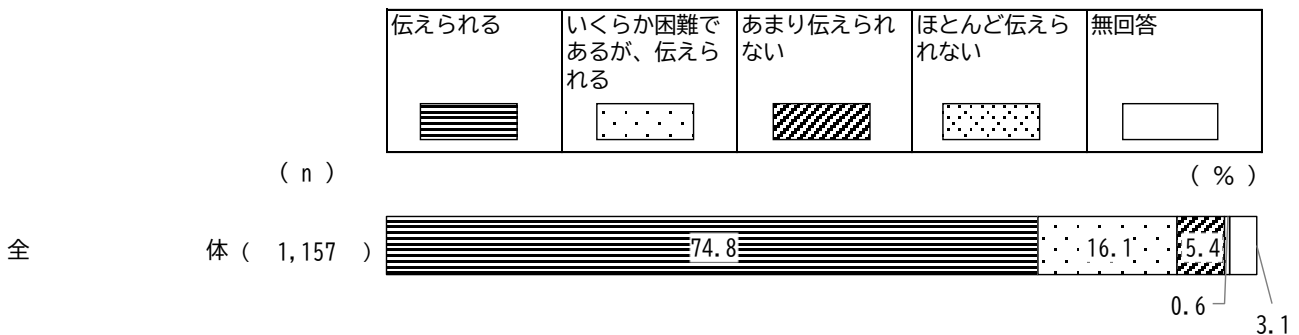
問19 あなたは、食事をする、衣服を選ぶなど、その日の活動を自分で判断できますか（1つに○）。

その日の活動の判断について、「困難なくできる」が80.6%、「いくらか困難であるが、できる」が15.0%、「判断するときに、他人からの助言や見守りが必要」が0.8%、「ほとんど判断できない」が0.7%となっている。



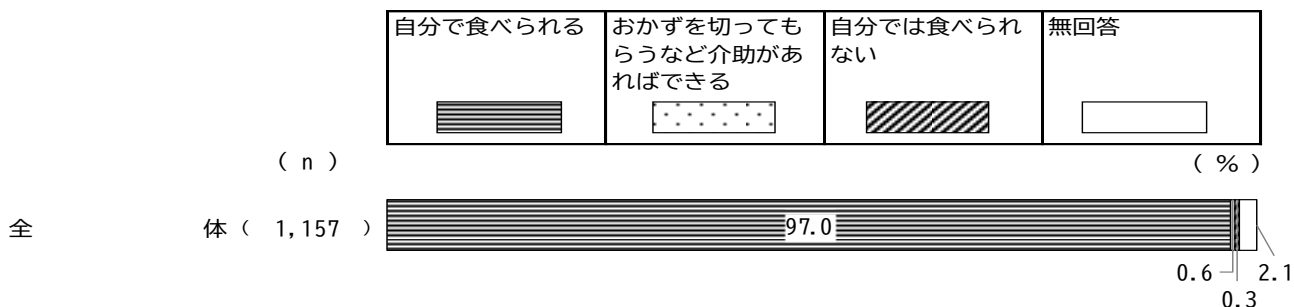
問20 あなたは、人に自分の考えをうまく伝えられますか（1つに○）。

自分の考えについて、「伝えられる」が74.8%、「いくらか困難であるが、伝えられる」が16.1%、「あまり伝えられない」が5.4%、「ほとんど伝えられない」が0.6%となっている。



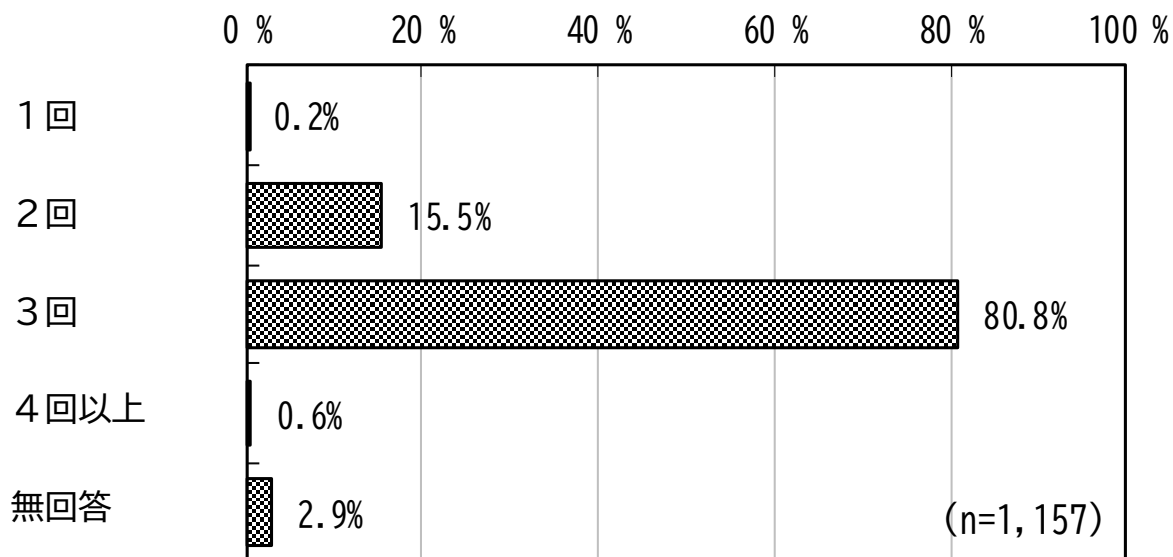
問21 あなたは、自分で食事を食べられますか（1つに○）。

自分の食事について、「自分で食べられる」が97.0%、「おかずを切ってもらなど介助があればできる」が0.6%、「自分では食べられない」が0.3%となっている。



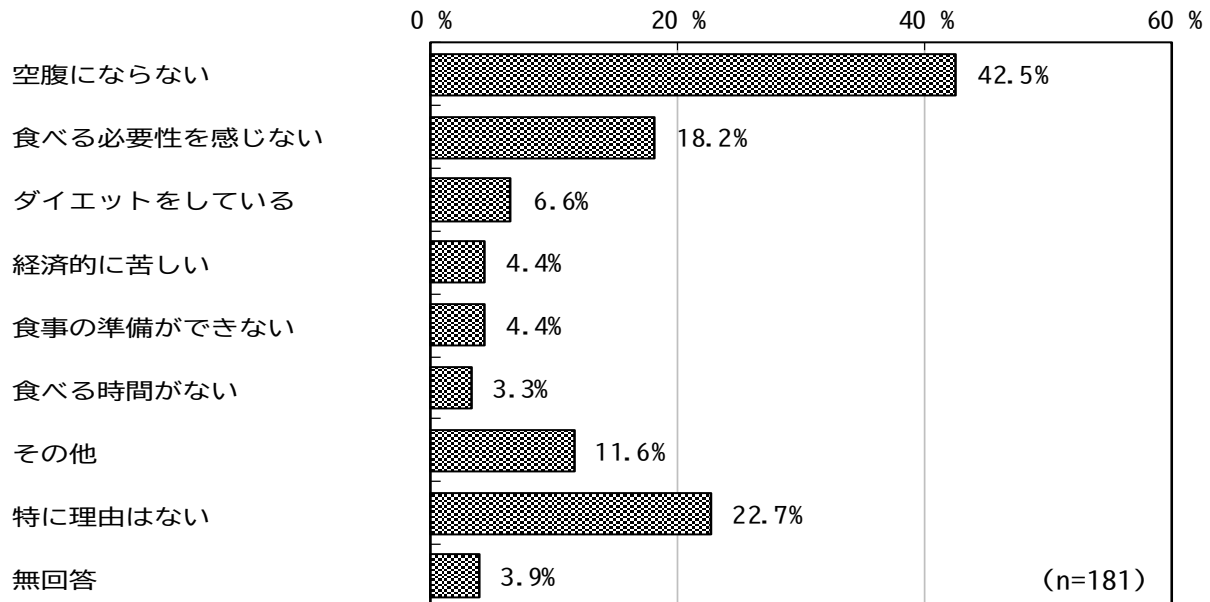
問22 食事は1日何回食べますか（1つに○）。

1日の食事の回数について、「3回」が80.8%と最も高く、「2回」が15.5%、「4回以上」が0.6%、「1回」が0.2%となっている。



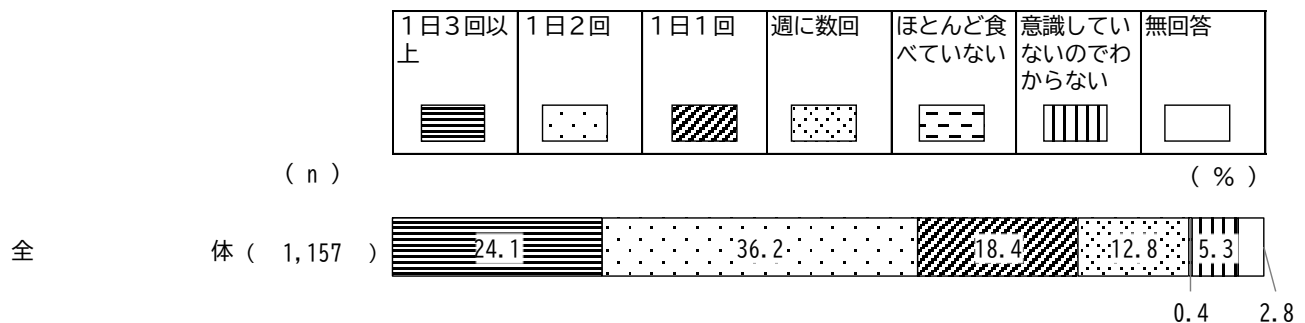
## 問22-1 食事を1日3回食べない理由は何ですか（いくつでも○）。

1日の食事の回数が「1回」または「2回」と回答した方の、食事を1日3回とらない理由について、「空腹にならない」が42.5%と最も高く、「食べる必要性を感じない」が18.2%、「ダイエットをしている」が6.6%、「経済的に苦しい」「食事の準備ができない」が4.4%、「食べる時間がない」が3.3%となっている。また「特に理由はない」が22.7%となっている。



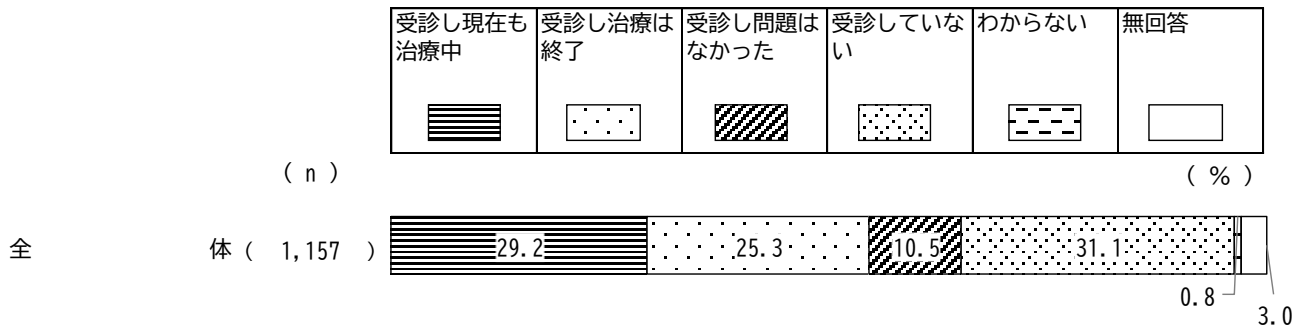
## 問23 たんぱく質を多く含む食品（肉・魚・卵・大豆製品の1種類以上）をどのくらいの頻度で食べていますか（1つに○）。

たんぱく質を多く含む食品を食べる頻度について、「1日3回以上」が24.1%となっている。



問24 あなたは1年前から今日の間で歯科医師による歯科健診（検診）や治療を受けましたか（1つに○）。

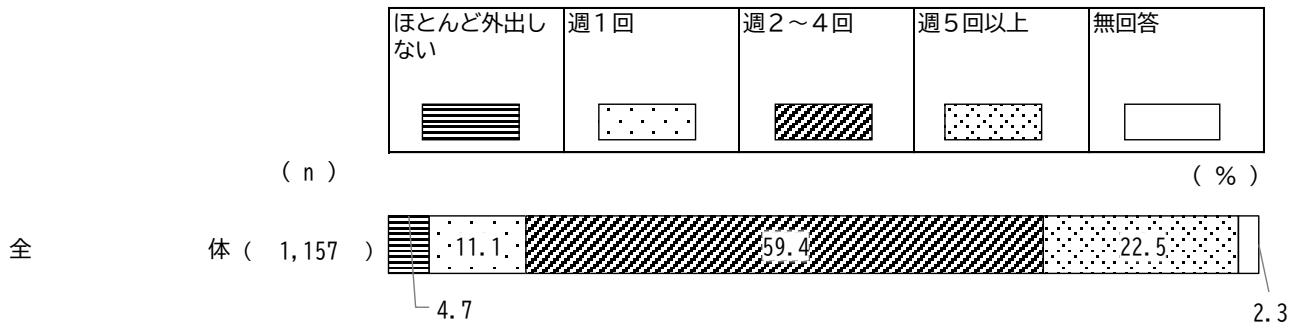
歯科医師による歯科健診（検診）や治療について、「受診していない」が31.1%と最も高く、「受診し現在も治療中」が29.2%、「受診し治療は終了」が25.3%、「受診し問題はなかった」が10.5%、「わからない」が0.8%となっている。



## (3) 買い物や日常生活について

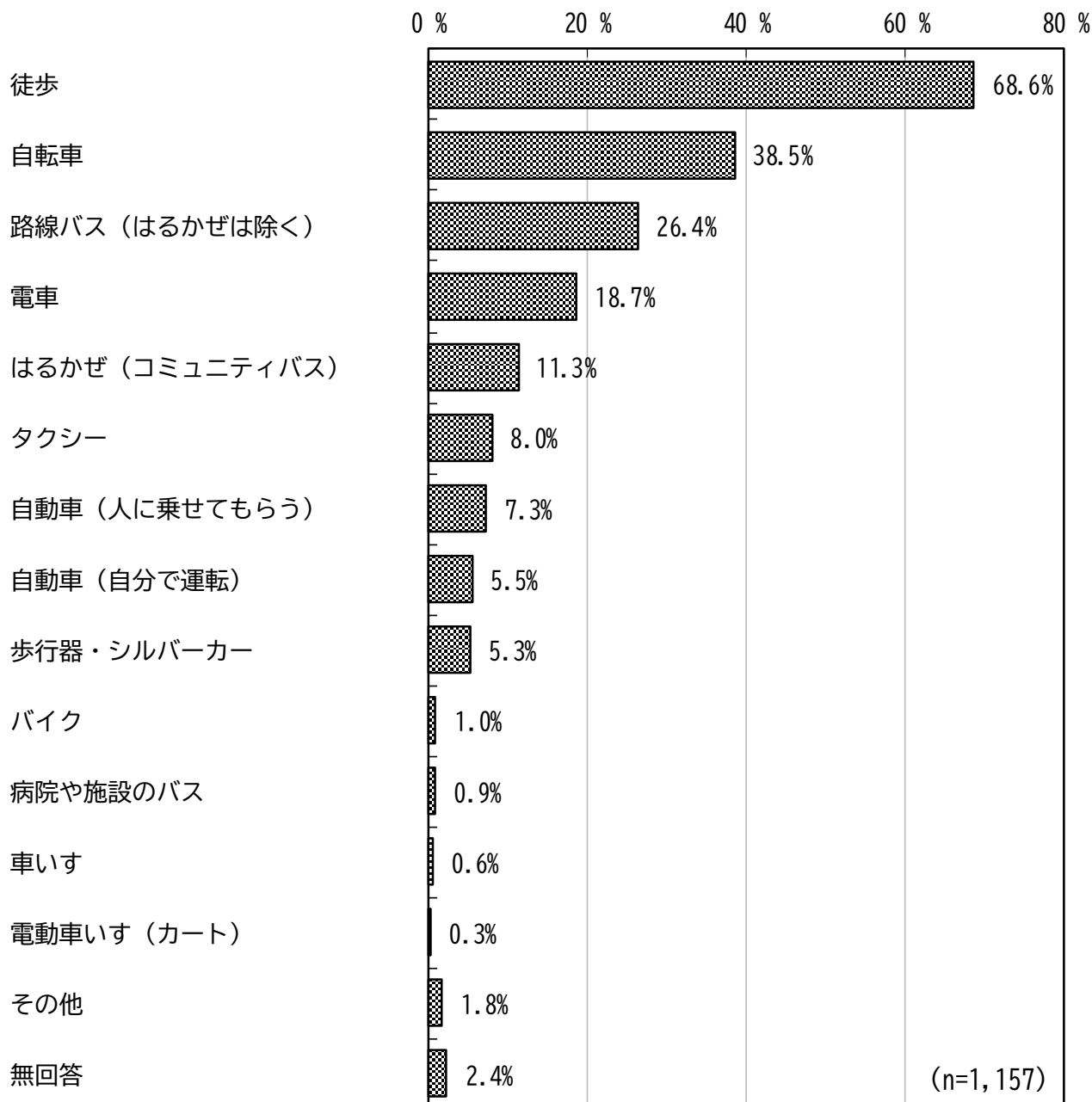
問25 買物に出かける頻度はどのくらいですか（1つに○）。

買物に出かける頻度について、「週2～4回」が59.4%と最も高く、「週5回以上」が22.5%、「週1回」が11.1%、「ほとんど外出しない」が4.7%となっている。



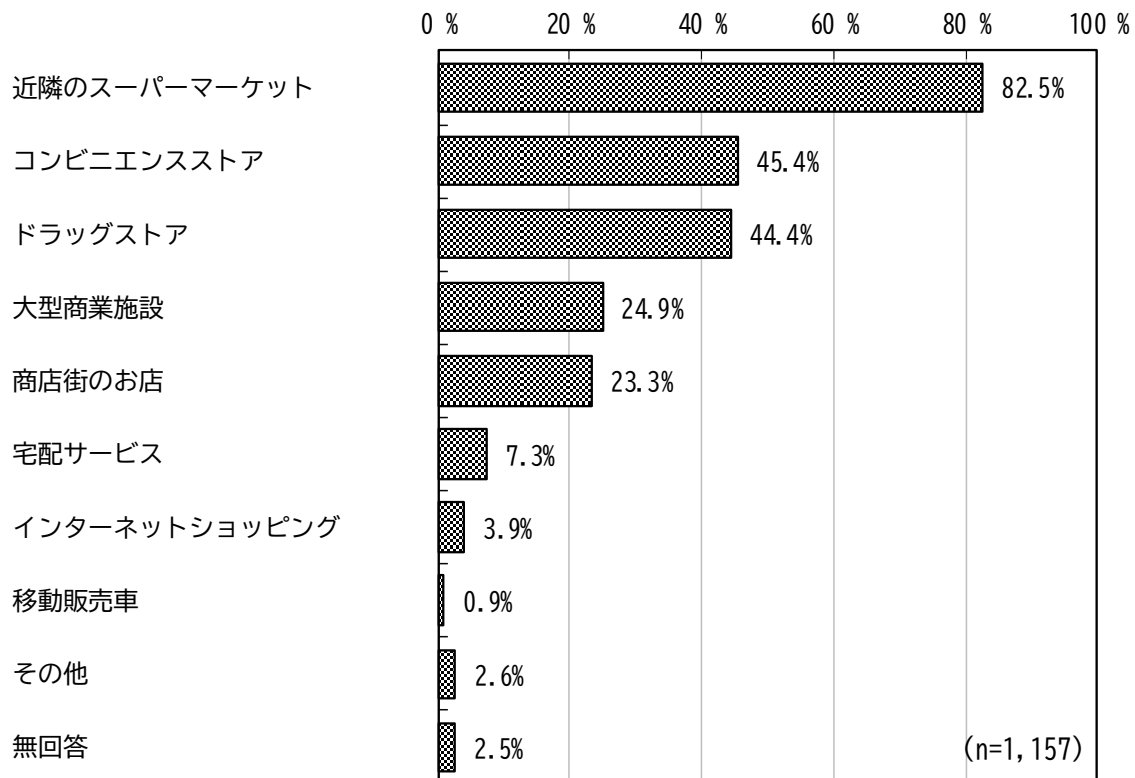
問26 買物に行く際の移動手段は何ですか (いくつでも○)。

買い物に行く際の移動手段として、「徒歩」が68.6%と最も高く、「自転車」が38.5%、「路線バス (はるかぜは除く)」が26.4%、「電車」が18.7%、「はるかぜ (コミュニティバス)」が11.3%、「タクシー」が8.0%、「自動車 (人に乗せてもらう)」が7.3%、「自動車 (自分で運転)」が5.5%、「歩行器・シルバーカー」が5.3%、「バイク」が1.0%、「病院や施設のバス」が0.9%、「車いす」が0.6%、「電動車いす (カート)」が0.3%となっている。



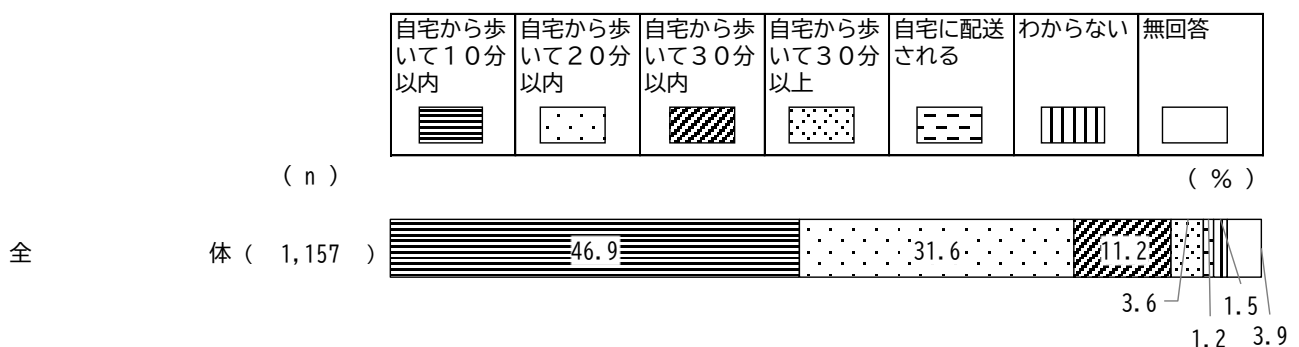
### 問27 日用品を買物する場合、どのような店を利用しますか（いくつでも○）。

日用品の買物先について、「近隣のスーパーマーケット」が82.5%と最も高く、「コンビニエンスストア」が45.4%、「ドラッグストア」が44.4%、「大型商業施設」が24.9%、「商店街のお店」が23.3%、「宅配サービス」が7.3%、「インターネットショッピング」が3.9%、「移動販売車」が0.9%となっている。



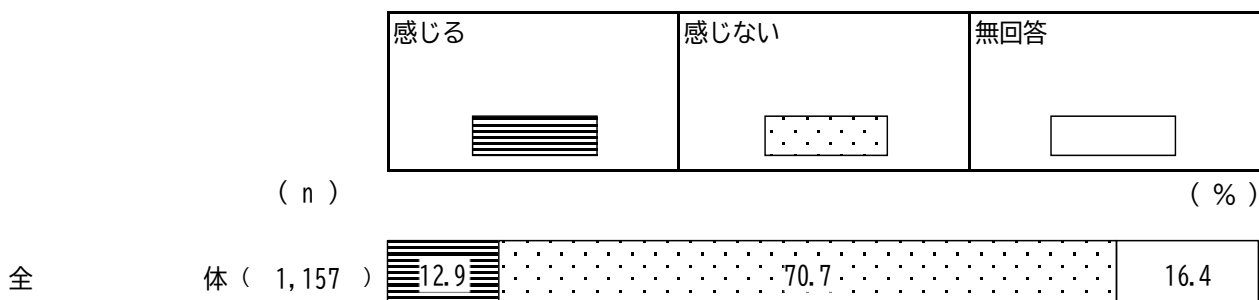
### 問28 日用品を買物する所（お店）は自宅からどれくらいかかりますか（1つに○）。

日用品を買物する場所までの所要時間について、「自宅から歩いて10分以内」が46.9%と最も高く、「自宅から歩いて20分以内」が31.6%、「自宅から歩いて30分以内」が11.2%、「自宅から歩いて30分以上」が3.6%、「自宅に配送される」が1.2%、「わからない」が1.5%となっている。



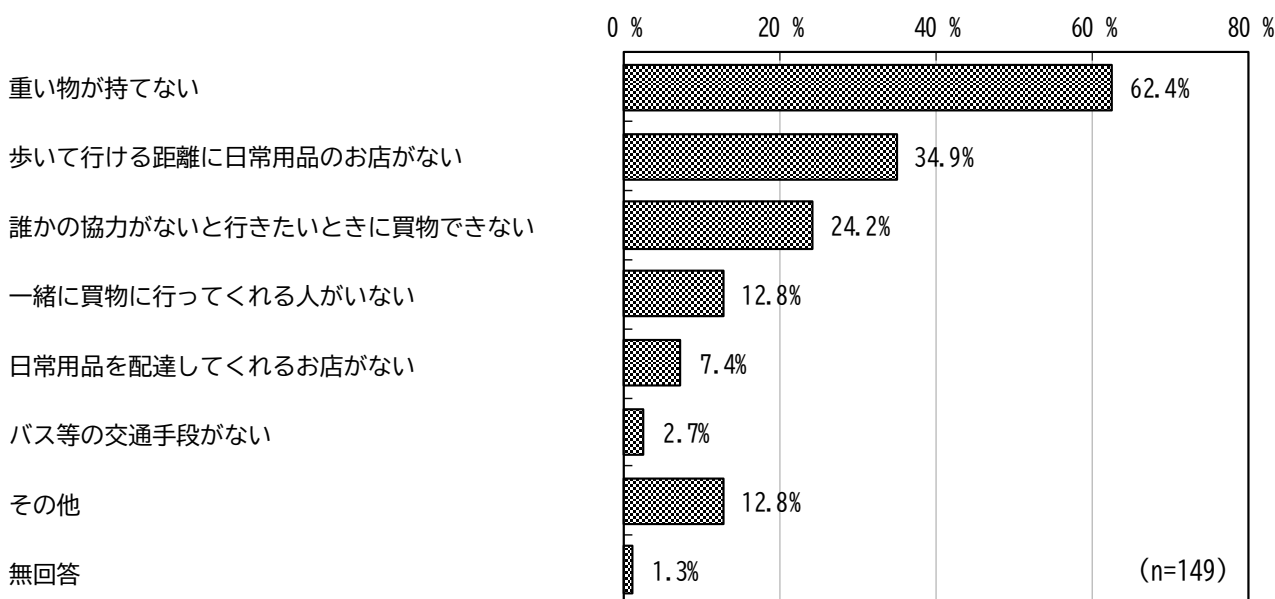
問29 日用品の買物について不便を感じていますか（1つに○）。

日用品の買物について、不便を「感じる」が12.9%、「感じない」が70.7%となっている。



問29-1 不便を感じていることは、特にどのようなことですか（いくつでも○）。

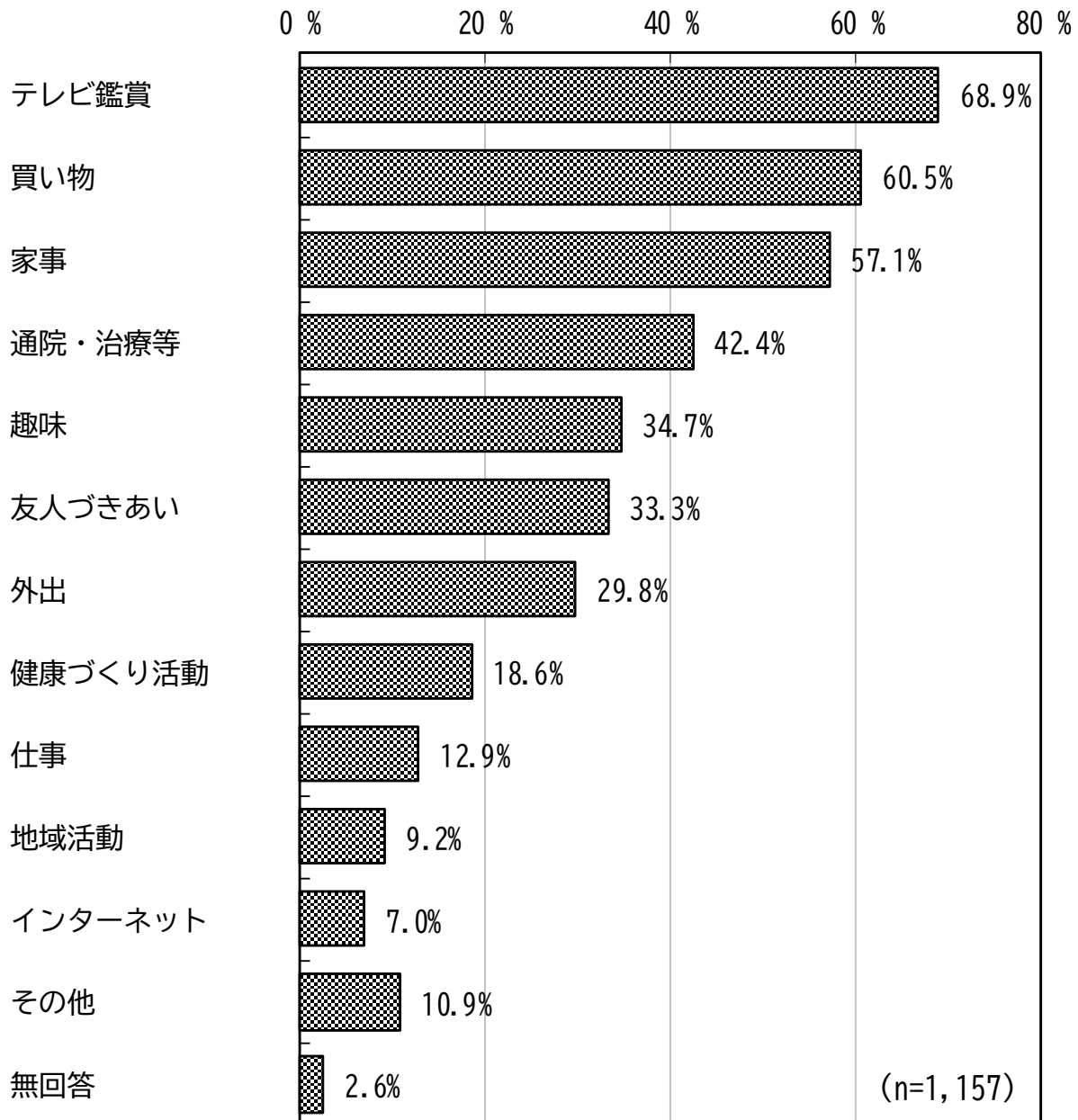
日用品の買物において、不便を「感じる」と回答した方の不便を感じる点として、「重い物が持てない」が62.4%と最も高く、「歩いて行ける距離に日用品のお店がない」が34.9%、「誰かの協力がないと行きたいときに買物できない」が24.2%、「一緒に買物に行ってくれる人がいない」が12.8%、「日用品を配達してくれるお店がない」が7.4%、「バス等の交通手段がない」が2.7%となっている。





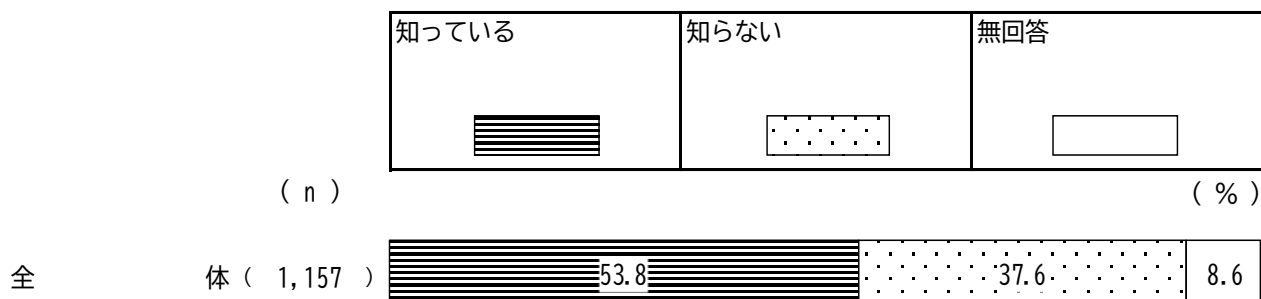
## 問30 日常、主にどのようにお過ごしでしょうか (いくつでも○)。

日常の主な過ごし方として、「テレビ鑑賞」が68.9%と最も高く、「買い物」が60.5%、「家事」が57.1%、「通院・治療等」が42.4%、「趣味」が34.7%、「友人づきあい」が33.3%、「外出」が29.8%、「健康づくり活動」が18.6%、「仕事」が12.9%、「地域活動」が9.2%、「インターネット」が7.0%となっている。



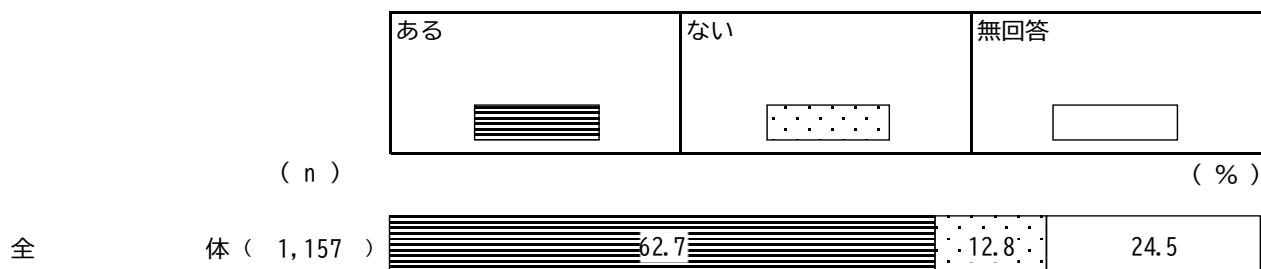
問31 消費者被害にあったときの相談先として、「足立区消費者センター」がありますが、ご存知ですか（1つに○）。

消費者被害の相談先としての「足立区消費者センター」の存在について、「知っている」が53.8%、「知らない」が37.6%となっている。



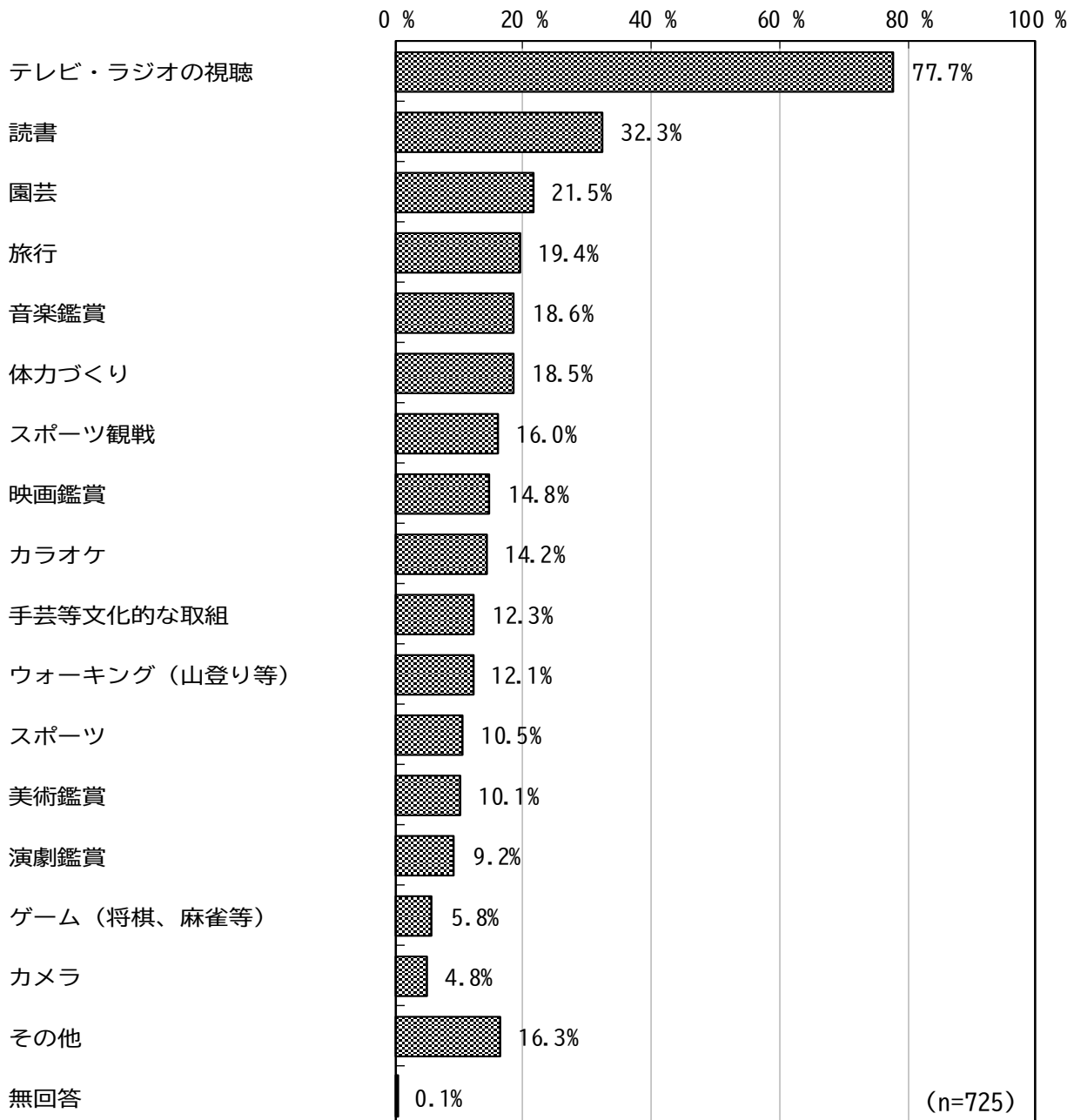
問32 あなたは今、何か生活の上で楽しみがありますか（1つに○）。

生活の上での楽しみについて、「ある」が62.7%、「ない」が12.8%となっている。



## 問32-1 それはどのようなことですか (いくつでも○)。

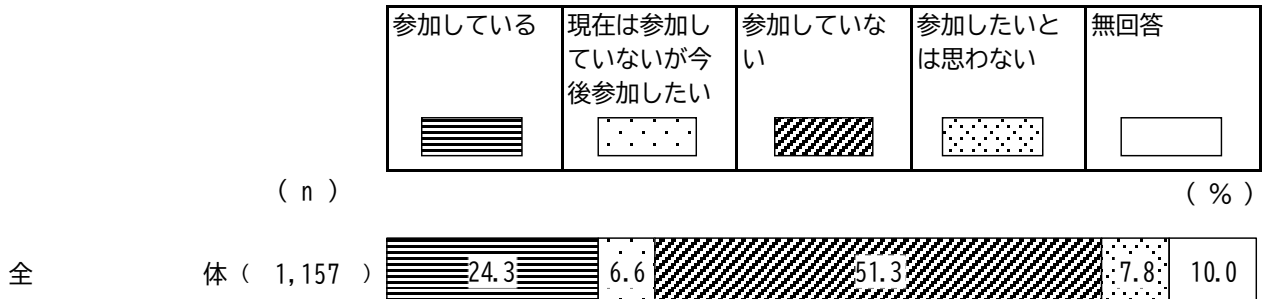
生活の上での楽しみの内容について、「テレビ・ラジオの視聴」が77.7%と最も高く、「読書」が32.3%、「園芸」が21.5%、「旅行」が19.4%、「音楽鑑賞」が18.6%、「体力づくり」が18.5%、「スポーツ観戦」が16.0%、「映画鑑賞」が14.8%、「カラオケ」が14.2%、「手芸等文化的な取組」が12.3%、「ウォーキング (山登り等)」が12.1%、「スポーツ」が10.5%、「美術鑑賞」が10.1%、「演劇鑑賞」が9.2%、「ゲーム (将棋、麻雀等)」が5.8%、「カメラ」が4.8%となっている。



(4) 社会参加や地域とのつながりについて

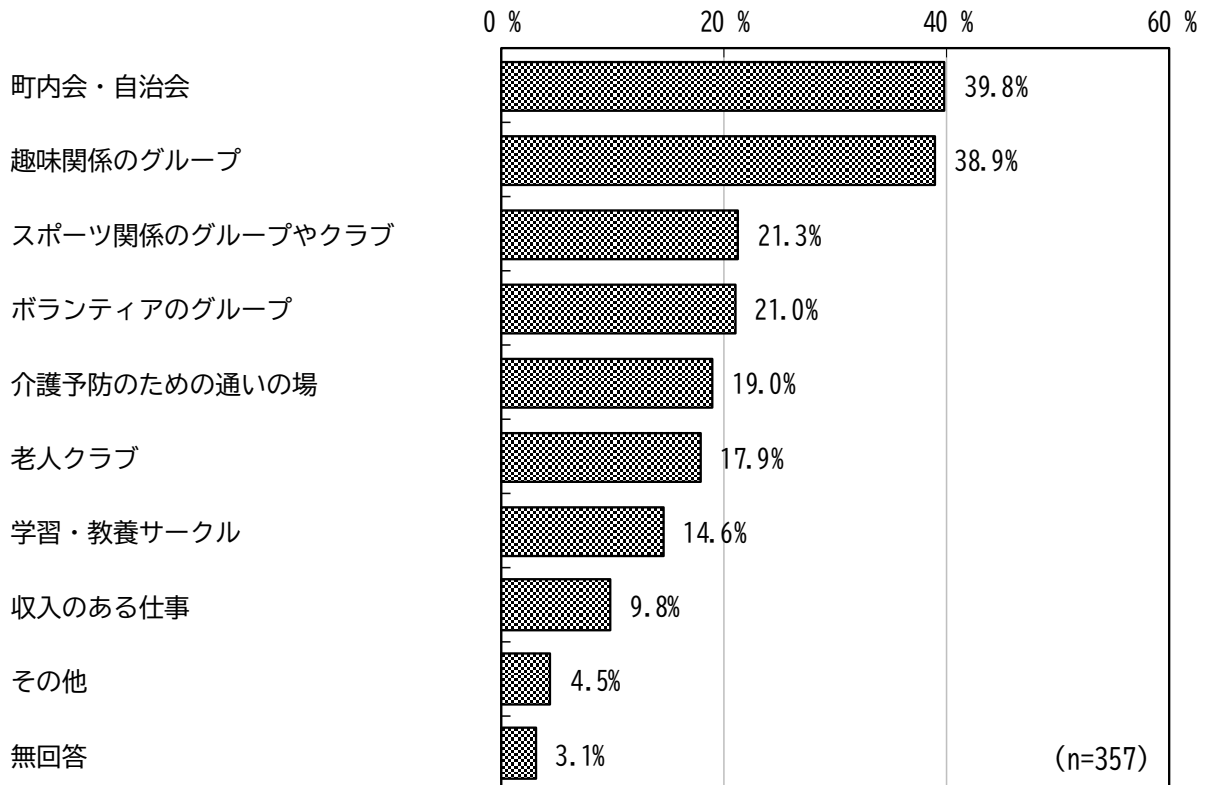
問33 あなたは現在、地域活動に参加していますか（1つに○）。

地域活動について、「参加していない」が51.3%と最も高く、「参加している」が24.3%、「参加したいとは思わない」が7.8%、「現在は参加していないが今後参加したい」が6.6%となっている。



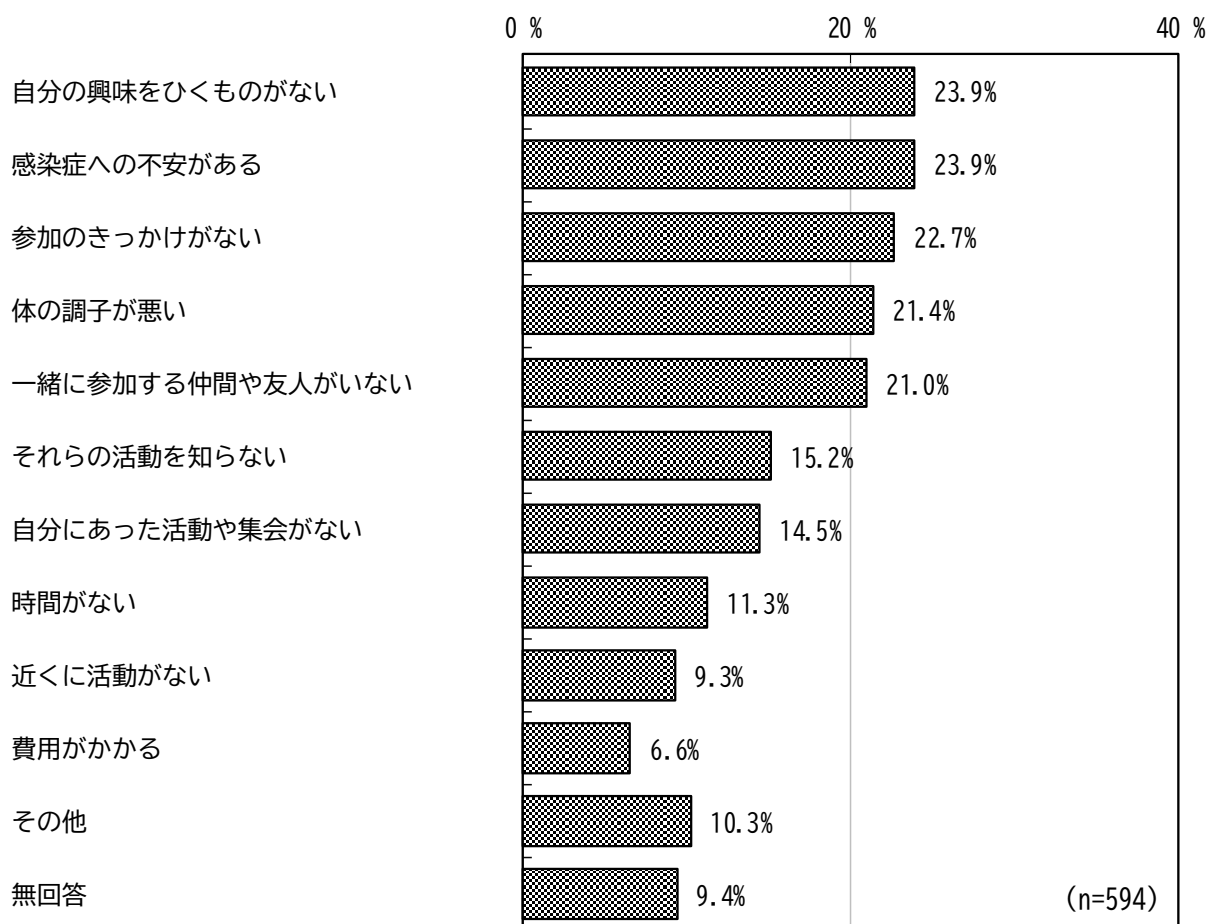
問33-1 あなたが現在参加されている、または今後参加したいと思う団体や集まりは何ですか（いくつでも○）。

団体や集まりに「参加している」または「今後参加したい」と思う団体や集まりについて、「町内会・自治会」が39.8%と最も高く、「趣味関係のグループ」が38.9%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が21.3%、「ボランティアのグループ」が21.0%、「介護予防のための通いの場」が19.0%、「老人クラブ」が17.9%、「学習・教養サークル」が14.6%、「収入のある仕事」が9.8%となっている。



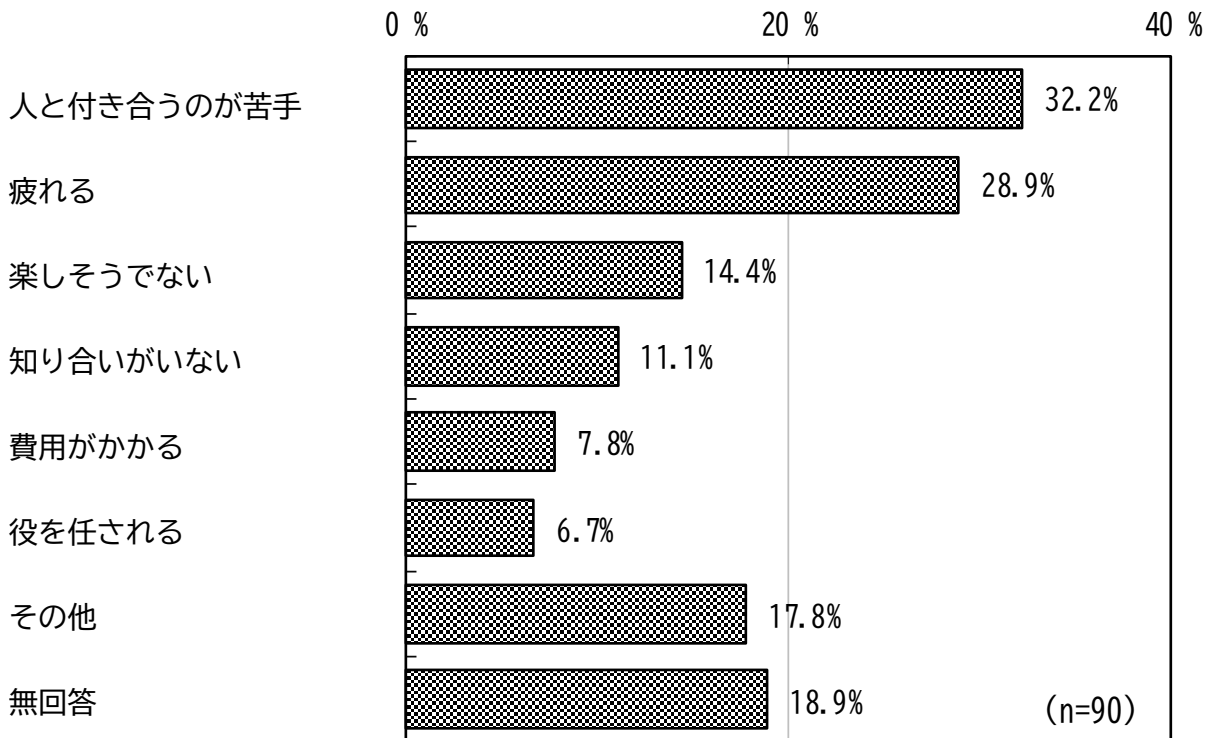
問33-2 参加していない理由は何ですか（いくつでも○）。

団体や集まりに「参加していない」と回答した理由として、「自分の興味をひくものがない」「感染症への不安がある」が23.9%と最も高く、「参加のきっかけがない」が22.7%、「体の調子が悪い」が21.4%、「一緒に参加する仲間や友人がいない」が21.0%、「それらの活動を知らない」が15.2%、「自分にあった活動や集会がない」が14.5%、「時間がない」が11.3%、「近くに活動がない」が9.3%、「費用がかかる」が6.6%となっている。



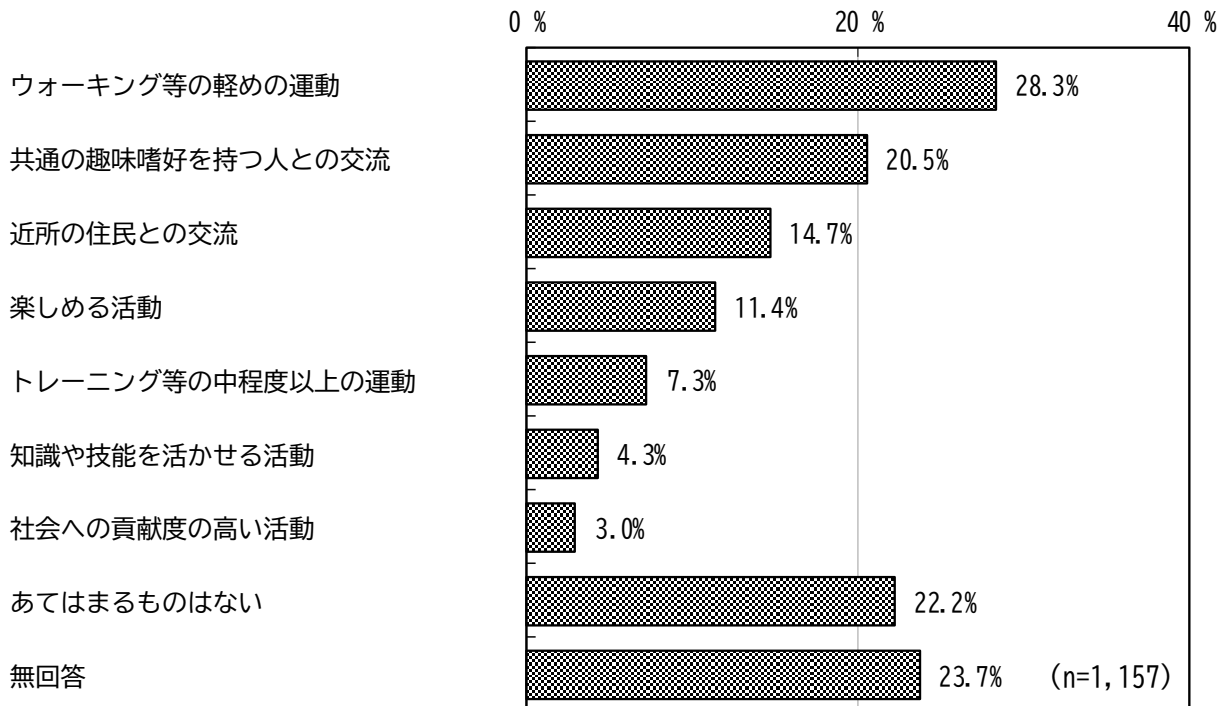
## 問33-3 参加したいと思わない理由は何ですか（いくつでも○）。

団体や集まりに「参加したいとは思わない」と回答した理由として、「人と付き合うのが苦手」が32.2%と最も高く、「疲れる」が28.9%、「楽しそうでない」が14.4%、「知り合いがいない」が11.1%、「費用がかかる」が7.8%、「役を任される」が6.7%となっている。



問34 あなたが月に1回以上行っている取り組みや活動はありますか  
(いくつでも○)。

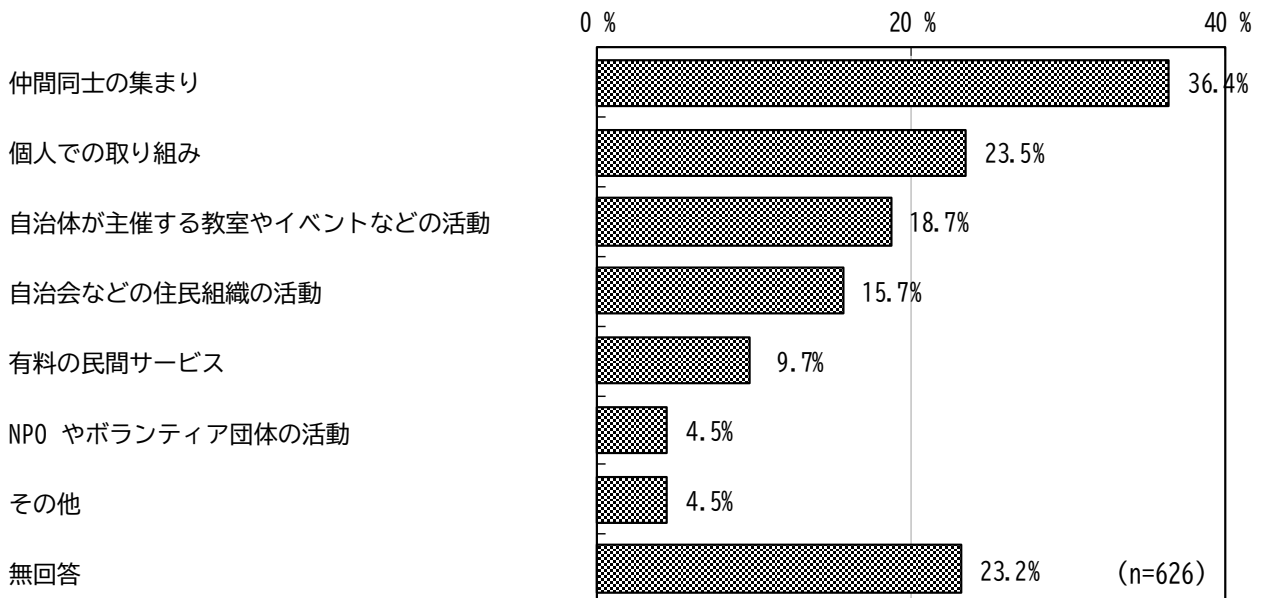
月に1回以上行っている取り組みや活動について、「ウォーキング等の軽めの運動」が28.3%と最も高く、「あてはまるものはない」が22.2%、「共通の趣味嗜好を持つ人との交流」が20.5%、「近所の住民との交流」が14.7%、「楽しめる活動」が11.4%、「トレーニング等の中程度以上の運動」が7.3%、「知識や技能を活かせる活動」が4.3%、「社会への貢献度の高い活動」が3.0%となっている。





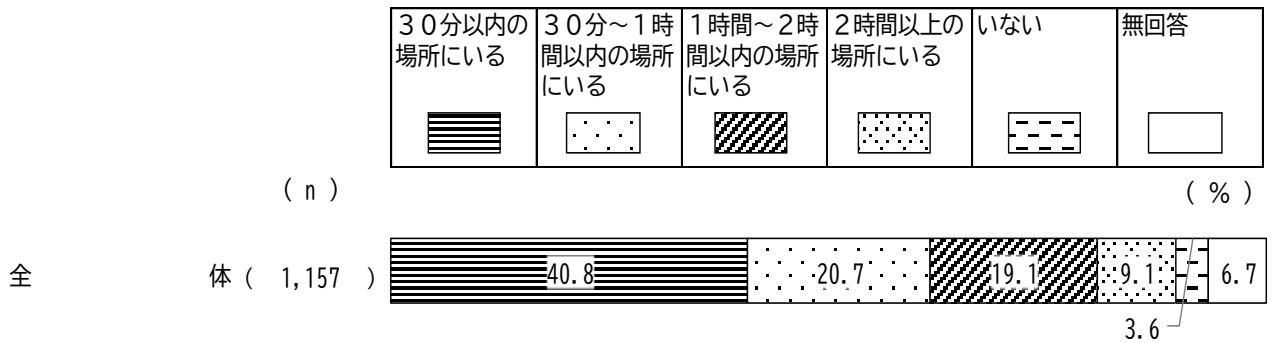
## 問34-1 活動にあてはまる場をお答えください（いくつでも○）。

月に1回以上行っている取り組みや活動の場について、「仲間同士の集まり」が36.4%と最も高く、「個人での取り組み」が23.5%、「自治体が主催する教室やイベントなどの活動」が18.7%、「自治会などの住民組織の活動」が15.7%、「有料の民間サービス」が9.7%、「NPO やボランティア団体の活動」が4.5%となっている。



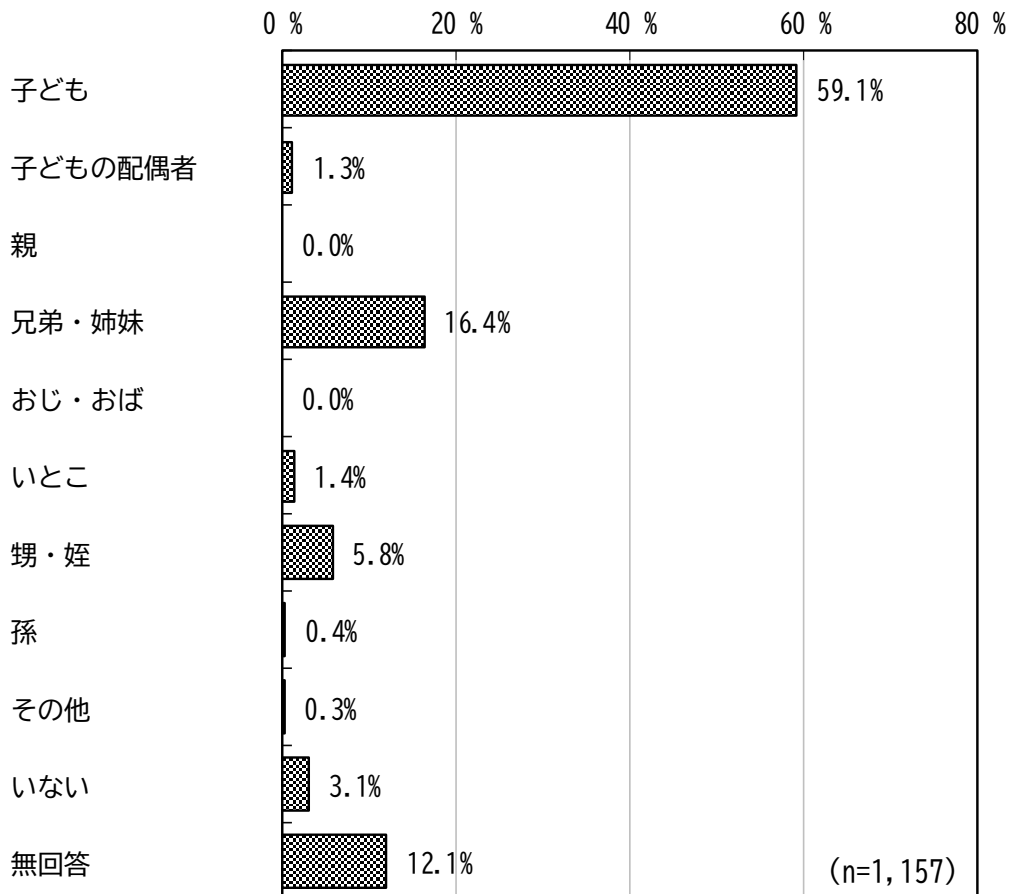
問35 ご家族、ご親せきで一番近い方はどのくらいの距離にいらっしゃいますか（普段利用される交通手段でご回答ください）（1つに○）。

距離が一番近い家族、親せきについて、「30分以内の場所にいる」が40.8%と最も高く、「30分～1時間以内の場所にいる」が20.7%、「1時間～2時間以内の場所にいる」が19.1%、「2時間以上の場所にいる」が9.1%、「いない」が3.6%となっている。



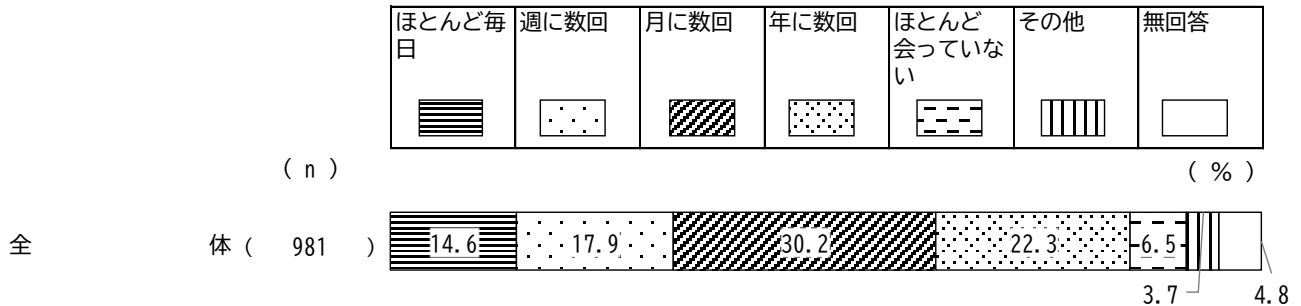
問36 日頃、最も連絡がとれるご家族、またはご親せきはどなたですか（1つに○）。

日頃、最も連絡がとれる家族、または親せきとして、「子ども」が59.1%と最も高く、「兄弟・姉妹」が16.4%、「甥・姪」が5.8%、「いとこ」が1.4%、「子どもの配偶者」が1.3%、「孫」が0.4%、「親」「おじ・おば」が0.0%となっている。また「いない」が3.1%となっている。



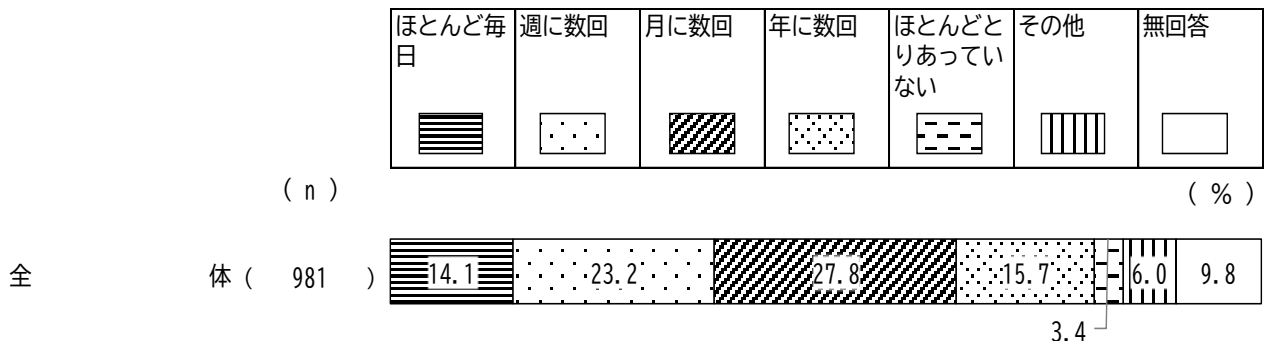
## 問36-1 その人とは、どのくらい会われますか（1つに○）。

日頃、最も連絡がとれる家族、または親せきと会う頻度は、「月に数回」が30.2%と最も高く、「年に数回」が22.3%、「週に数回」が17.9%、「ほとんど毎日」が14.6%、「ほとんど会っていない」が6.5%となっている。



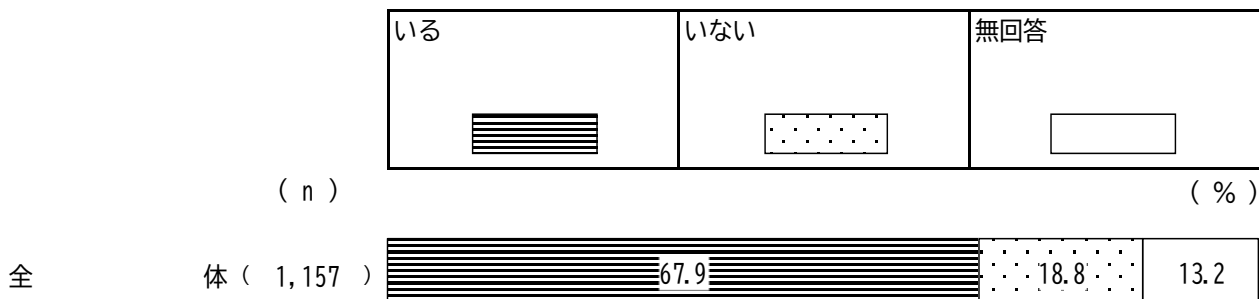
## 問36-2 その人とは、どのくらい電話をかけあっておられますか（1つに○）。

日頃、最も連絡がとれる家族、または親せきとの電話の頻度は、「月に数回」が27.8%と最も高く、「週に数回」が23.2%、「年に数回」が15.7%、「ほとんど毎日」が14.1%、「ほとんどとりあっていない」が3.4%となっている。



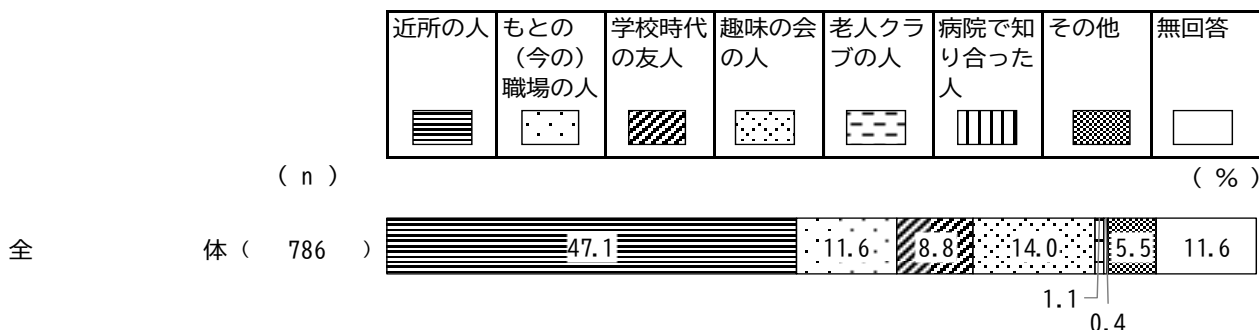
問37 日頃親しくしているご友人・知人はいらっしゃいますか（1つに○）。

日頃親しくしている友人・知人について、「いる」が67.9%、「いない」が18.8%となっている。



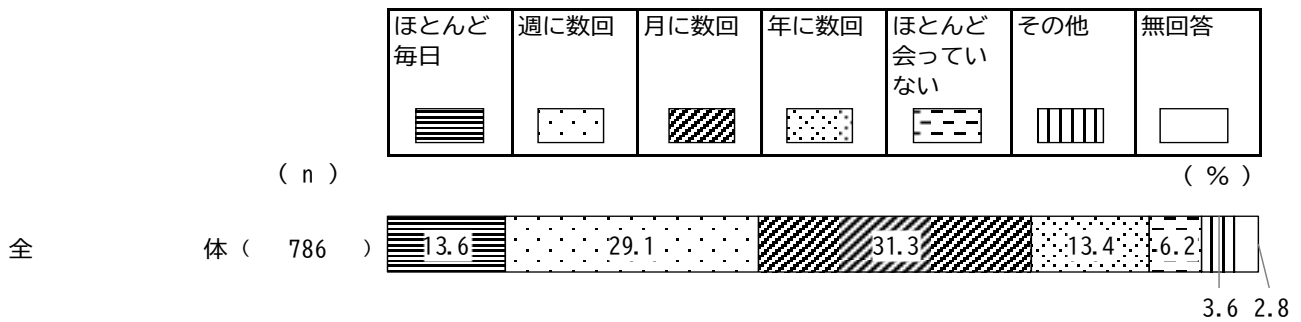
問37-1 最も親しいご友人・知人は次のどなたですか（1つに○）。

最も親しい友人・知人として、「近所の人」が47.1%と最も高く、「趣味の会の人」が14.0%、「もとの（今の）職場の人」が11.6%、「学校時代の友人」が8.8%、「老人クラブの人」が1.1%、「病院で知り合った人」が0.4%となっている。



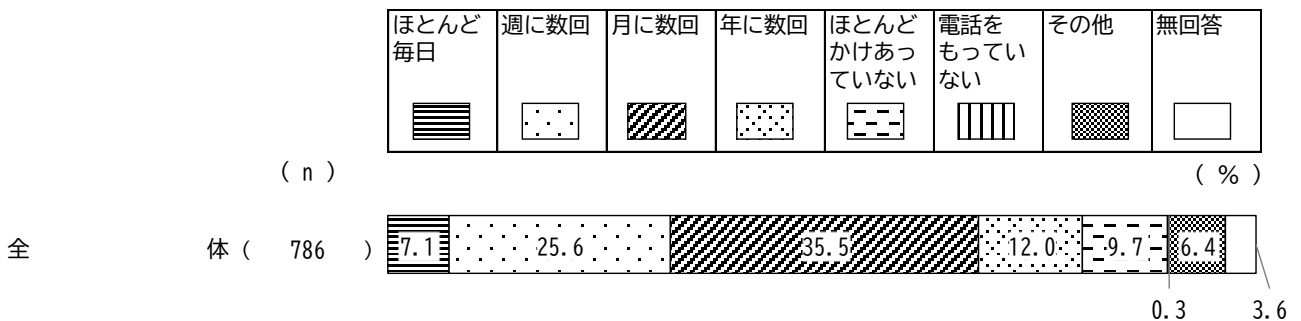
## 問37-2 最も親しいご友人・知人とはどのくらい会われますか（1つに○）。

最も親しい友人・知人と会う頻度として、「月に数回」が31.3%と最も高く、「週に数回」が29.1%、「ほとんど毎日」が13.6%、「年に数回」が13.4%、「ほとんど会っていない」が6.2%となっている。



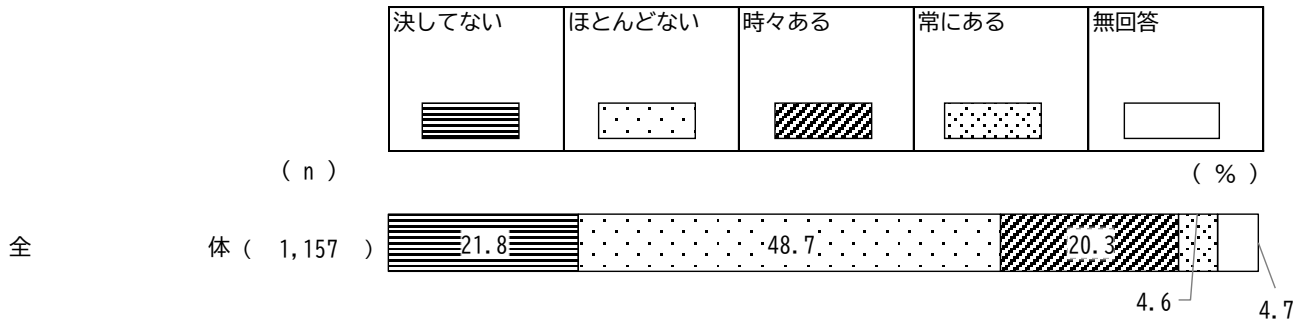
## 問37-3 最も親しいご友人・知人とはどのくらい電話をかけあっておられますか（1つに○）。

最も親しい友人・知人との電話の頻度は、「月に数回」が35.5%と最も高く、「週に数回」が25.6%、「年に数回」が12.0%、「ほとんどかけあっていない」が9.7%、「ほとんど毎日」が7.1%、「電話をもっていない」が0.3%となっている。



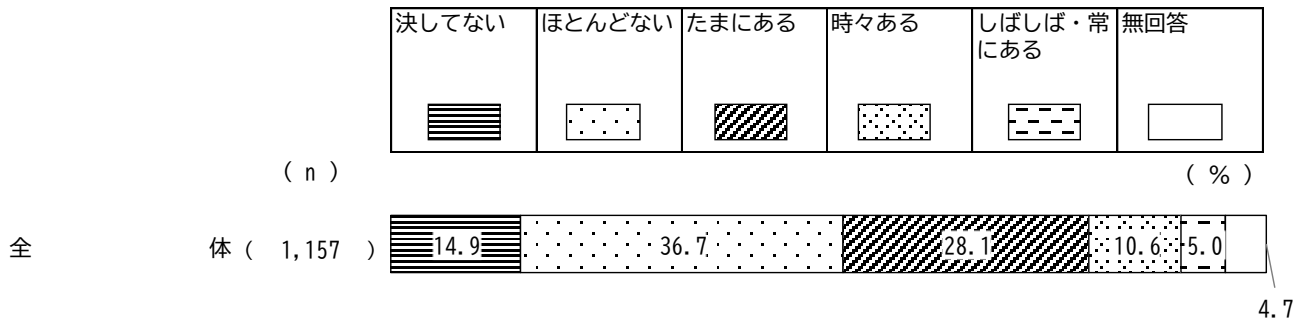
問38 あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか (1つに○)

他の人たちから孤立していると感じることは、「ほとんどない」が48.7%と最も高く、「決してない」が21.8%、「時々ある」が20.3%、「常にある」が4.6%となっている。



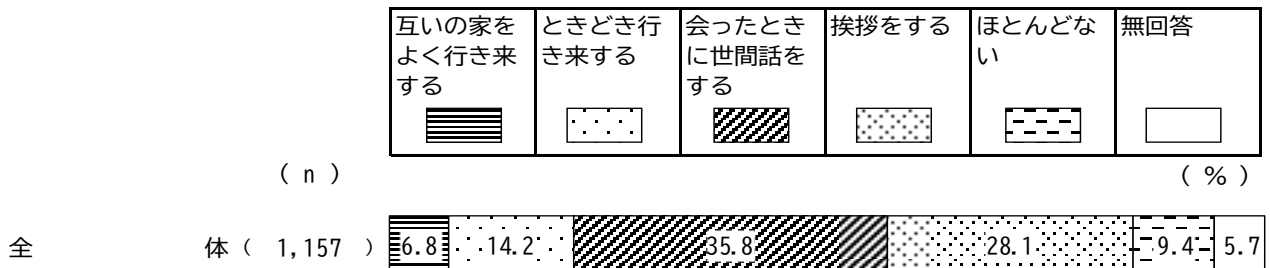
問39 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか (1つに○)。

孤独であると感じることは、「ほとんどない」が36.7%と最も高く、「たまにある」が28.1%、「決してない」が14.9%、「時々ある」が10.6%、「しばしば・常にある」が5.0%となっている。



## 問40 隣近所とどの程度交流を持っていますか（1つに○）。

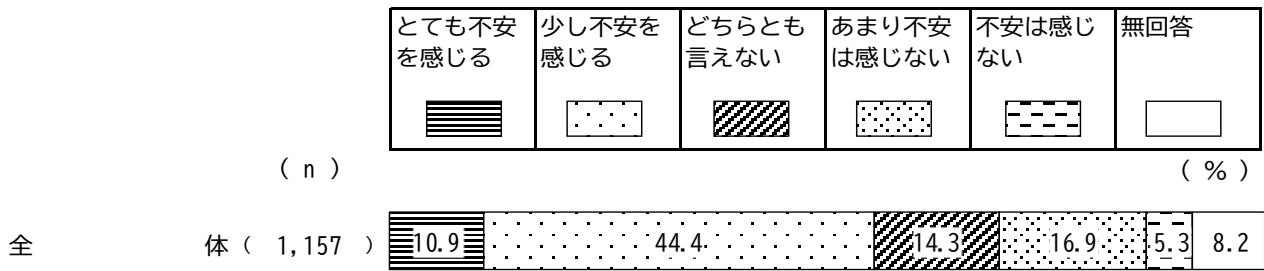
隣近所との交流の程度は、「会ったときに世間話をする」が35.8%と最も高く、「挨拶をする」が28.1%、「ときどき行き来する」が14.2%、「ほとんどない」が9.4%、「互いの家をよく行き来する」が6.8%となっている。



(5) 今後の生活について

問41 あなたは、今後の生活についてどのように感じていますか（1つに○）。

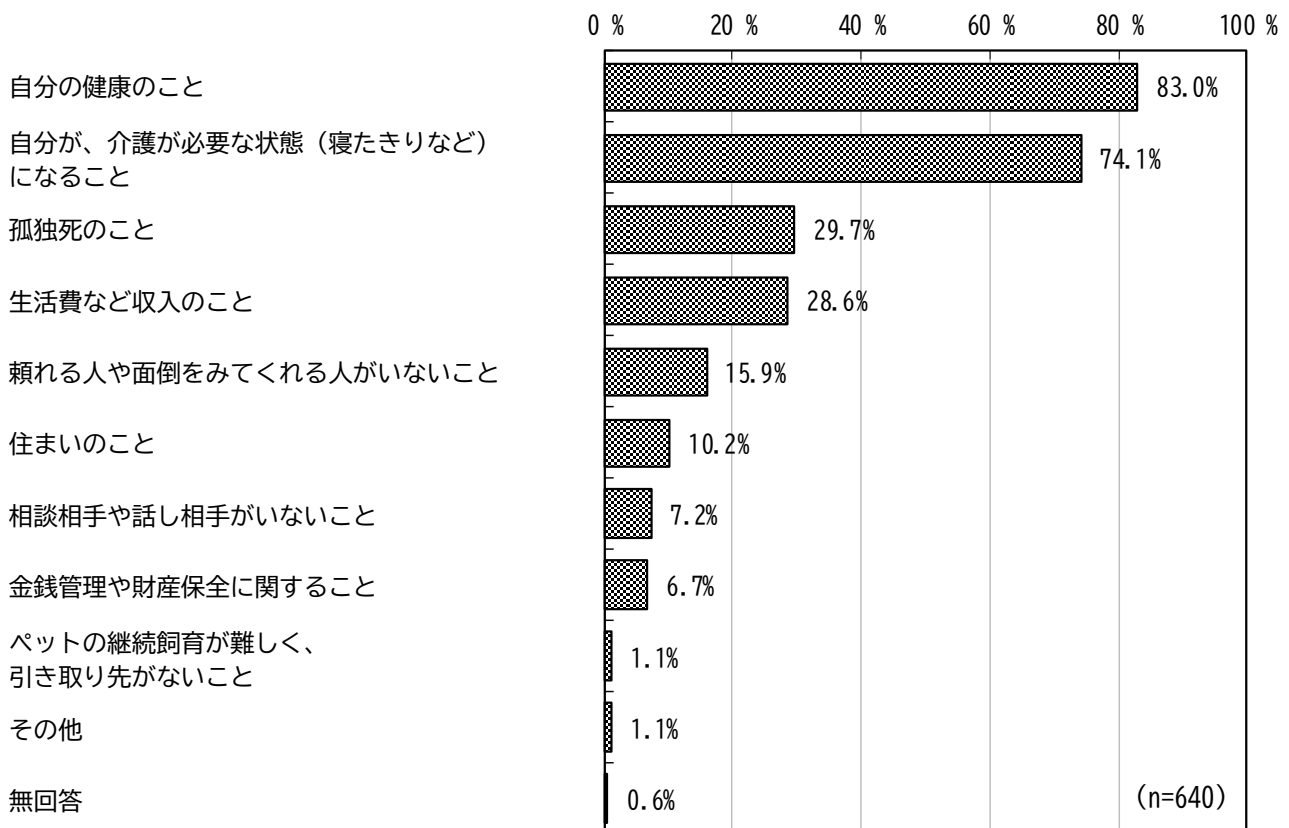
今後の生活について、「少し不安を感じる」が44.4%と最も高く、「あまり不安は感じない」が16.9%、「どちらとも言えない」が14.3%、「とても不安を感じる」が10.9%、「不安は感じない」が5.3%となっている。





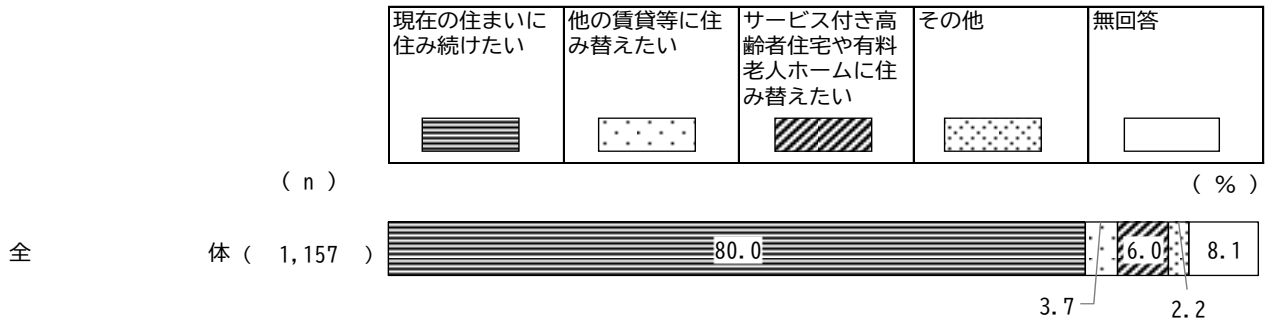
## 問41-1 不安を感じるのどのようなことですか（いくつでも○）。

今後の生活について、「とても不安を感じる」または「少し不安を感じる」と回答した方の『不安を感じること』について、「自分の健康のこと」が83.0%と最も高く、「自分が、介護が必要な状態（寝たきりなど）になること」が74.1%、「孤独死のこと」が29.7%、「生活費など収入のこと」が28.6%、「頼れる人や面倒をみてくれる人がいないこと」が15.9%、「住まいのこと」が10.2%、「相談相手や話し相手がないこと」が7.2%、「金銭管理や財産保全に関すること」が6.7%、「ペットの継続飼育が難しく、引き取り先がないこと」が1.1%となっている。



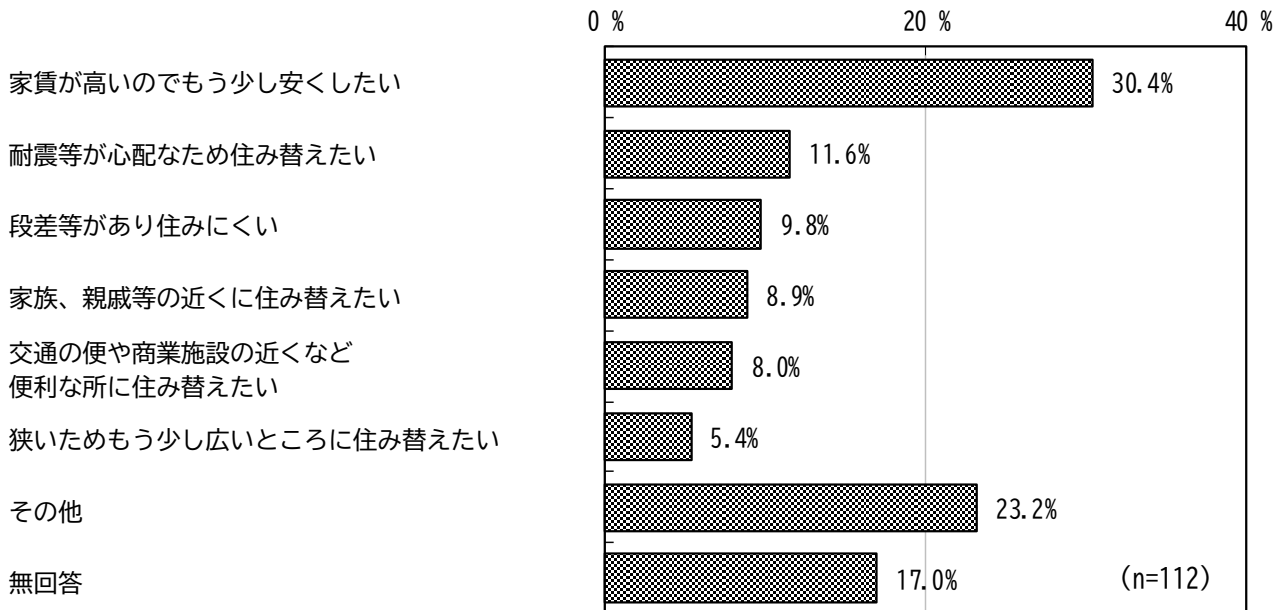
問42 あなたの今後のお住まいの希望を教えてください（1つに○）。

今後の住まいの希望について、「現在の住まいに住み続けたい」が80.0%と最も高く、「サービス付き高齢者住宅や有料老人ホームに住み替えたい」が6.0%、「他の賃貸等に住み替えたい」が3.7%となっている。



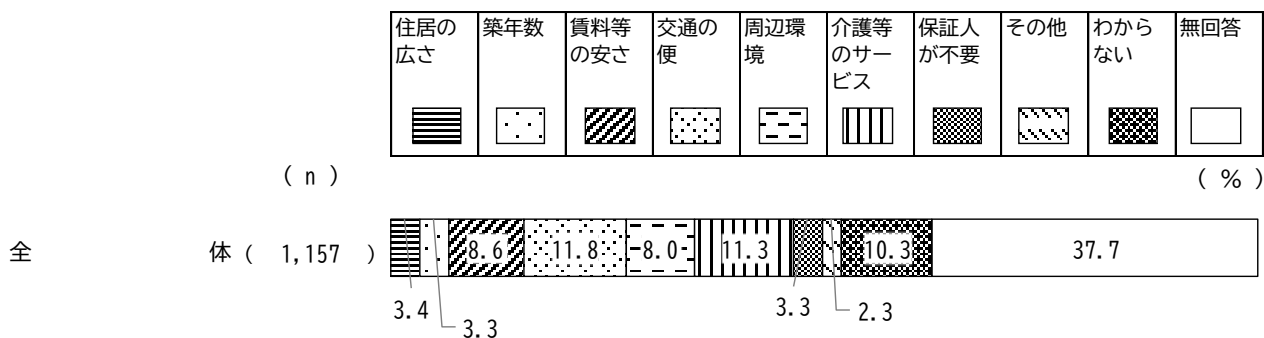
## 問4 2-1 住み替えたいと思う理由は何ですか (いくつでも○)。

「他の賃貸等に住み替えたい」または「サービス付き高齢者住宅や有料老人ホームに住み替えたい」と回答した方の住み替えたい理由として、「家賃が高いのもう少し安くしたい」が30.4%と最も高く、「耐震等が心配なため住み替えたい」が11.6%、「段差等があり住みにくい」が9.8%、「家族、親戚等の近くに住み替えたい」が8.9%、「交通の便や商業施設の近くなど便利な所に住み替えたい」が8.0%、「狭いためもう少し広いところに住み替えたい」が5.4%となっている。



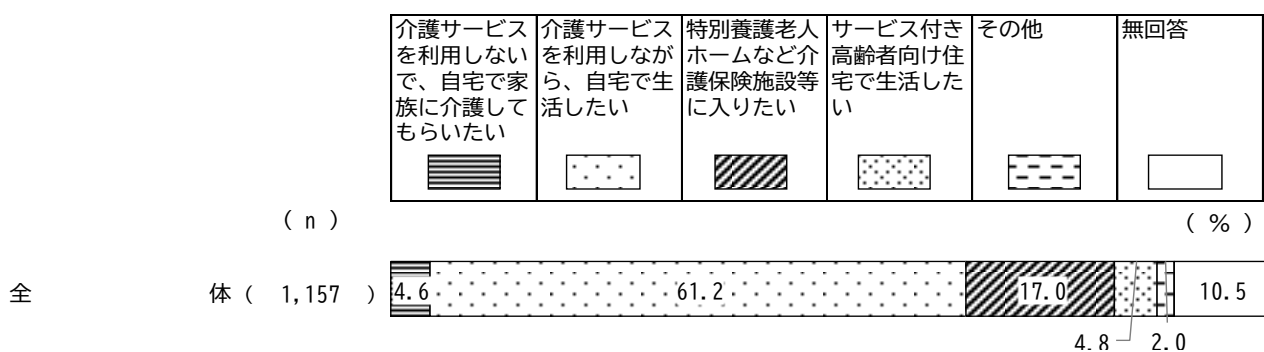
問43 住み替えを検討される場合、選ぶ基準として最も優先していることは何ですか  
(1つに○)。

住み替えの検討に際して優先する基準として、無回答を除くと、「交通の便」が11.8%と最も高く、「介護等のサービス」が11.3%、「賃料等の安さ」が8.6%、「周辺環境」が8.0%、「住居の広さ」が3.4%、「築年数」が3.3%、「保証人が不要」が3.3%となっている。また「わからない」が10.3%となっている。



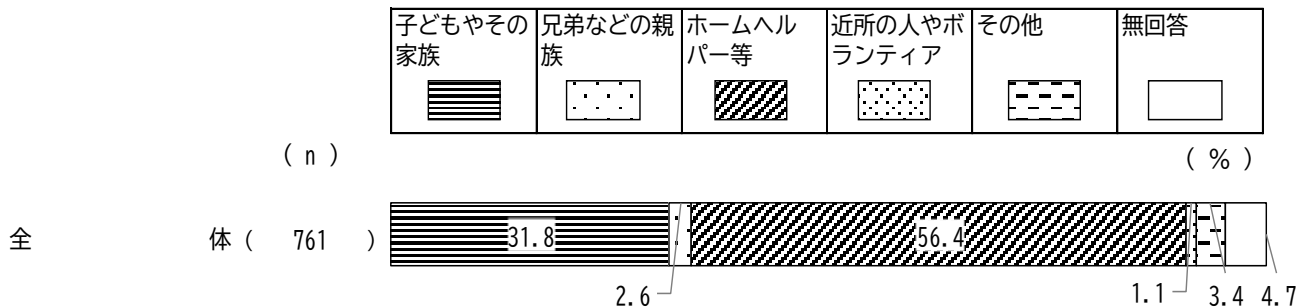
問44 あなたは、介護が必要になったとき、どのような介護を希望しますか  
(1つに○)。

介護が必要になった際の介護の希望として、「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」が61.2%と最も高く、「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」が17.0%、「サービス付き高齢者向け住宅で生活したい」が4.8%、「介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい」が4.6%となっている。



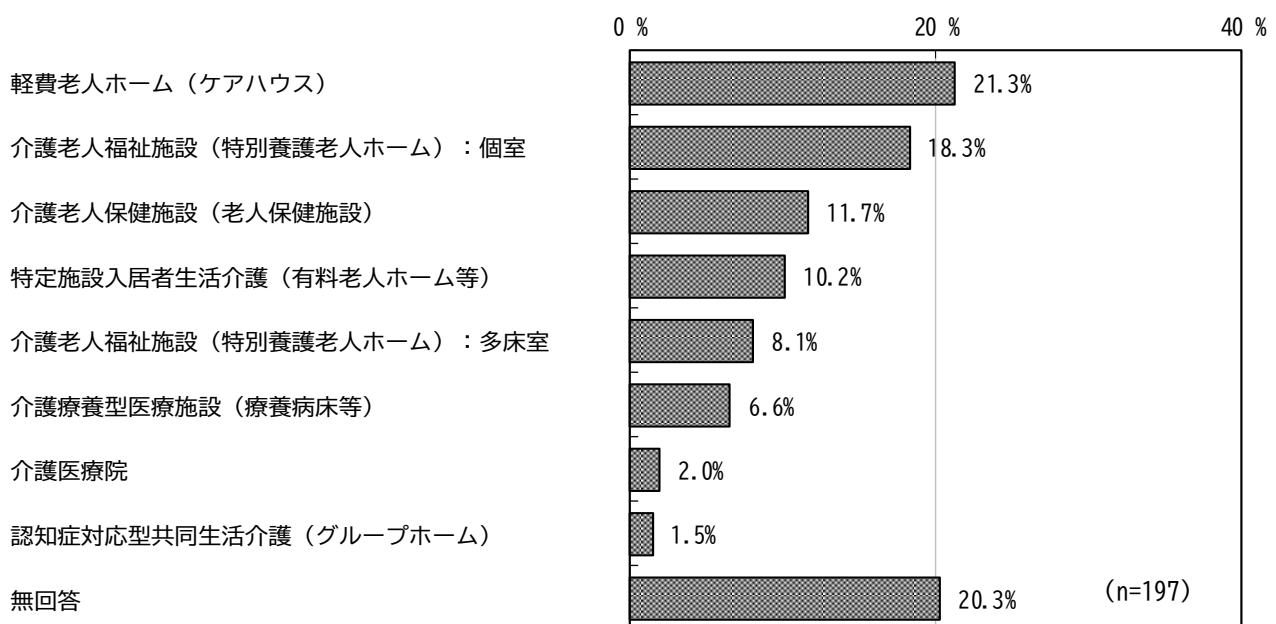
## 問44-1 あなたは、どなたに介護してもらいたいですか（1つに○）。

「介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい」または「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」と回答した方の介護者の希望として、「ホームヘルパー等」が56.4%と最も高く、「子どもやその家族」が31.8%、「兄弟などの親族」が2.6%、「近所の人やボランティア」が1.1%となっている。



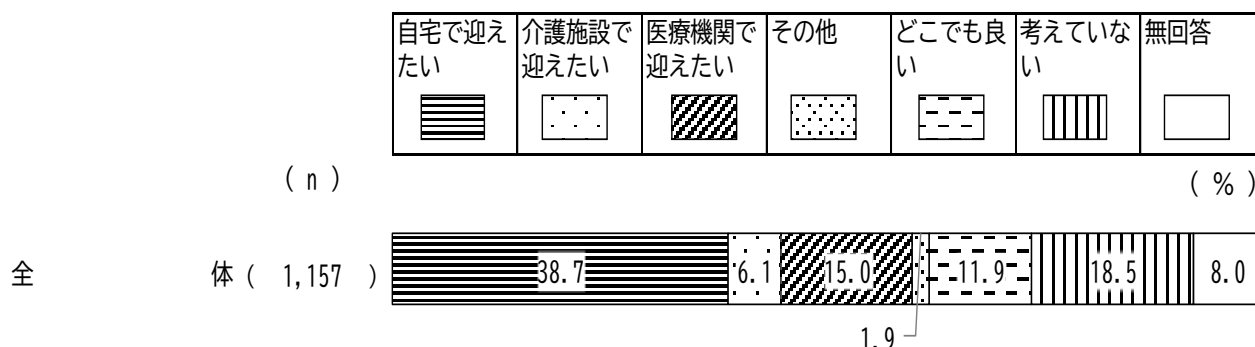
## 問44-2 介護を受けられる施設には、次のような施設がありますが、あなたはどのような施設等を望んでいますか（1つに○）。

「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」と回答した方の、介護を受ける施設の希望として、「軽費老人ホーム（ケアハウス）」が21.3%と最も高く、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）：個室」が18.3%、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が11.7%、「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）」が10.2%、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）：多床室」が8.1%、「介護療養型医療施設（療養病床等）」が6.6%、「介護医療院」が2.0%、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」が1.5%となっている。



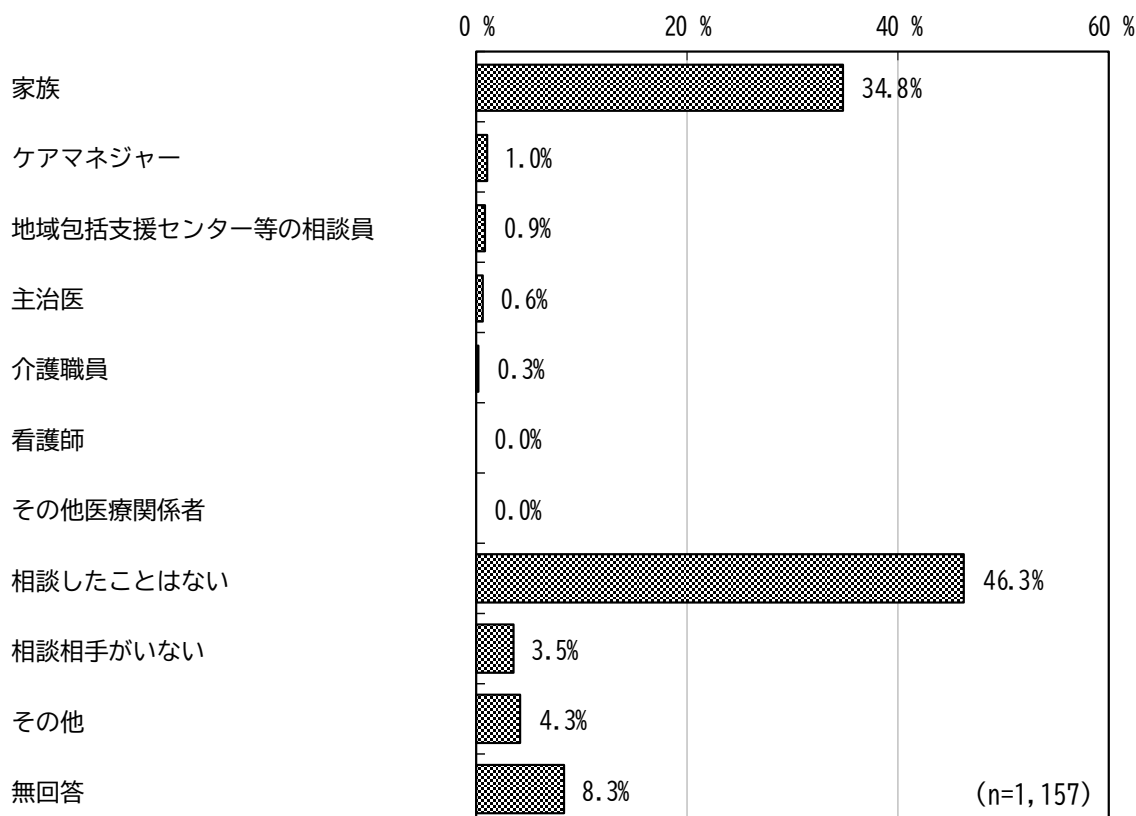
問45 あなたは人生の最期をどこで迎えたいですか（1つに○）。

人生の最期を迎えたい場所について、「自宅で迎えたい」が38.7%と最も高く、「医療機関で迎えたい」が15.0%、「介護施設で迎えたい」が6.1%となっている。また「どこでも良い」が11.9%、「考えていない」が18.5%となっている。



問46 あなたは人生の最期について、どなたかに相談したことはありますか（1つに○）。

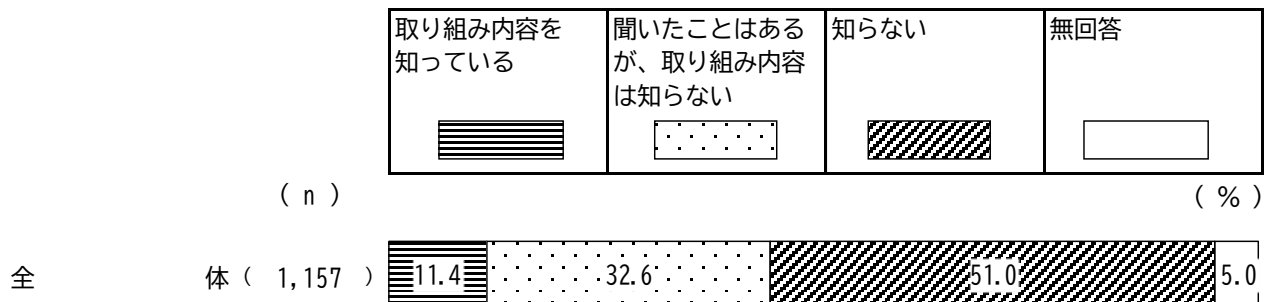
人生の最期について誰かに相談したことがあるかについて、「相談したことはない」が46.3%と最も高く、「家族」が34.8%、「相談相手がない」が3.5%、「ケアマネジャー」が1.0%、「地域包括支援センター等の相談員」が0.9%、「主治医」が0.6%、「介護職員」が0.3%、「看護師」「その他医療関係者」が0.0%となっている。



## (6) 介護保険サービスや足立区の事業について

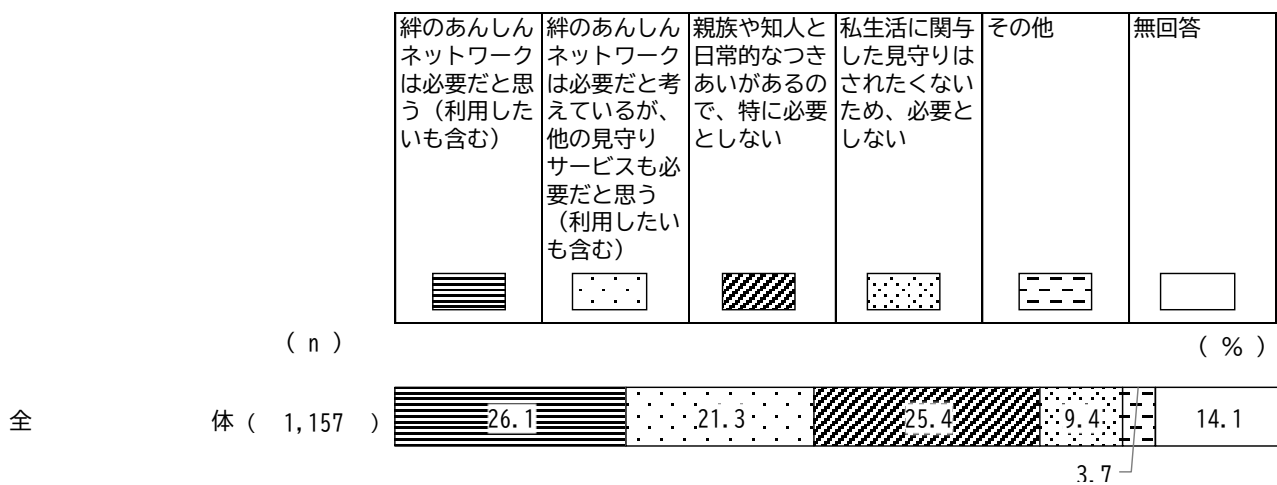
問47 足立区ではひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」(近隣同士の見守り活動)の取り組みを実施していますが、ご存知ですか(1つに○)

「孤立ゼロプロジェクト」の取り組みについて、「知らない」が51.0%と最も高く、「聞いたことはあるが、取り組み内容は知らない」が32.6%、「取り組み内容を知っている」が11.4%となっている。



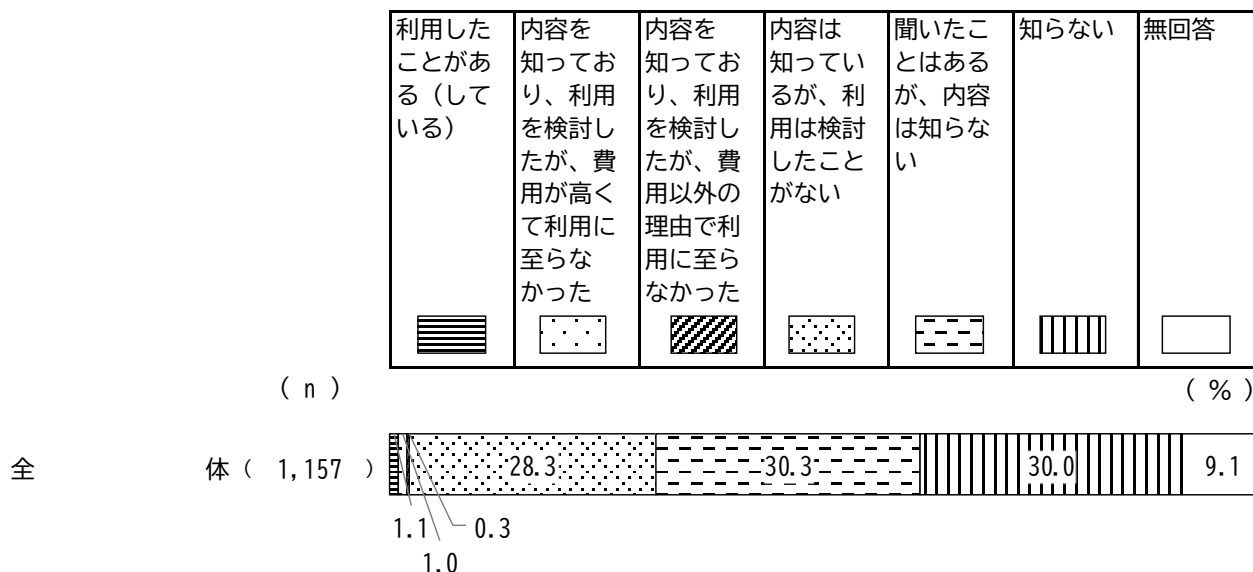
問48 「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」(近隣同士の見守り活動)による見守りや声かけを必要と思われるかどうか(1つに○)。

「孤立ゼロプロジェクト」による見守りや声かけについて、「絆のあんしんネットワークは必要だと思う(利用したいも含む)」が26.1%と最も高く、「親族や知人と日常的なつきあいがあるので、特に必要としない」が25.4%、「絆のあんしんネットワークは必要だと思っているが、他の見守りサービスも必要だと思う(利用したいも含む)」が21.3%、「私生活に関与した見守りはされたくないため、必要としない」が9.4%となっている。



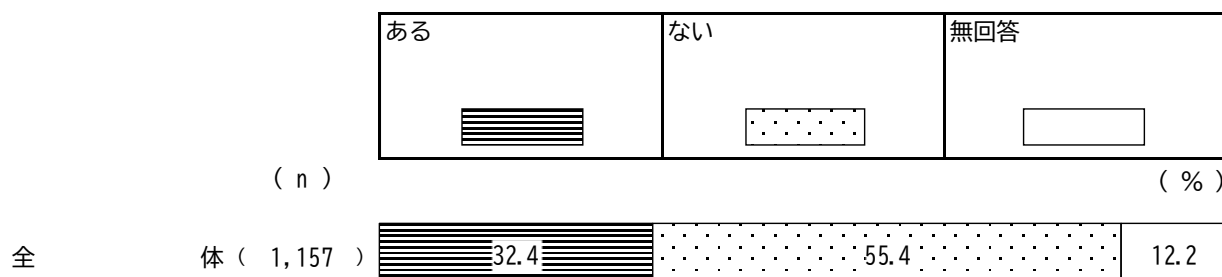
問49 成年後見制度についてご存知ですか。また、利用を検討したことがありますか（1つに○）。

成年後見制度について、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が30.3%と最も高く、「知らない」が30.0%、「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が28.3%、「利用したことがある（している）」が1.1%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった」が1.0%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった」が0.3%となっている。



問50 成年後見制度について関心がありますか（1つに○）。

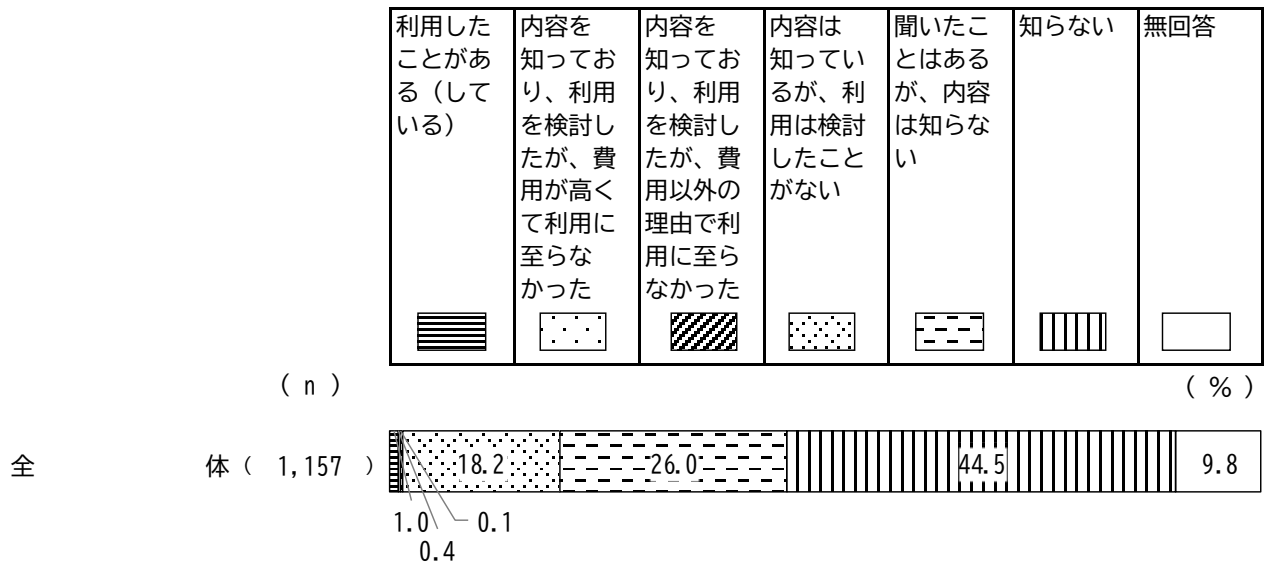
成年後見制度について、関心が「ある」が32.4%、「ない」が55.4%となっている。





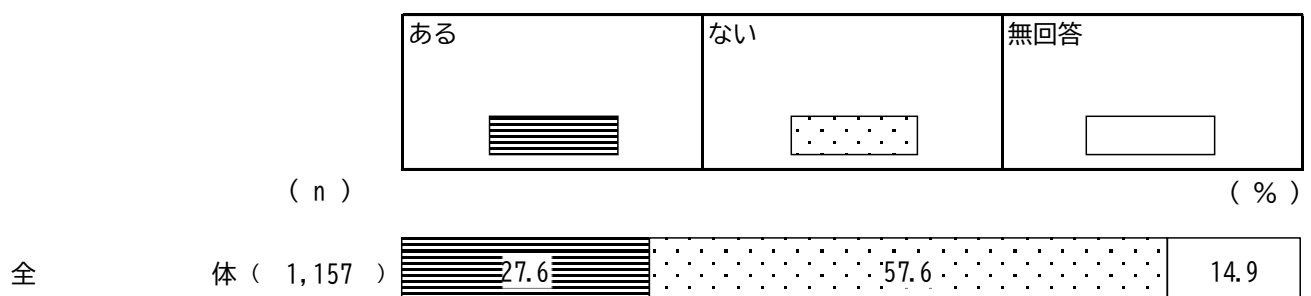
問5 1 任意後見制度についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか  
(1つに○)。

任意後見制度について、「知らない」が44.5%と最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が26.0%、「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が18.2%、「利用したことがある(している)」が1.0%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった」が0.4%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった」が0.1%となっている。



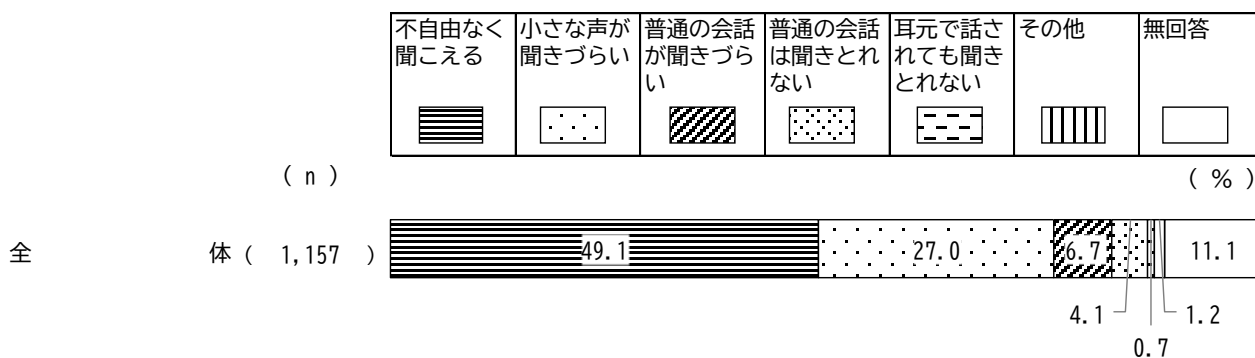
問5 2 任意後見制度について関心がありますか(1つに○)。

任意後見制度について、関心が「ある」が27.6%、「ない」が57.6%となっている。



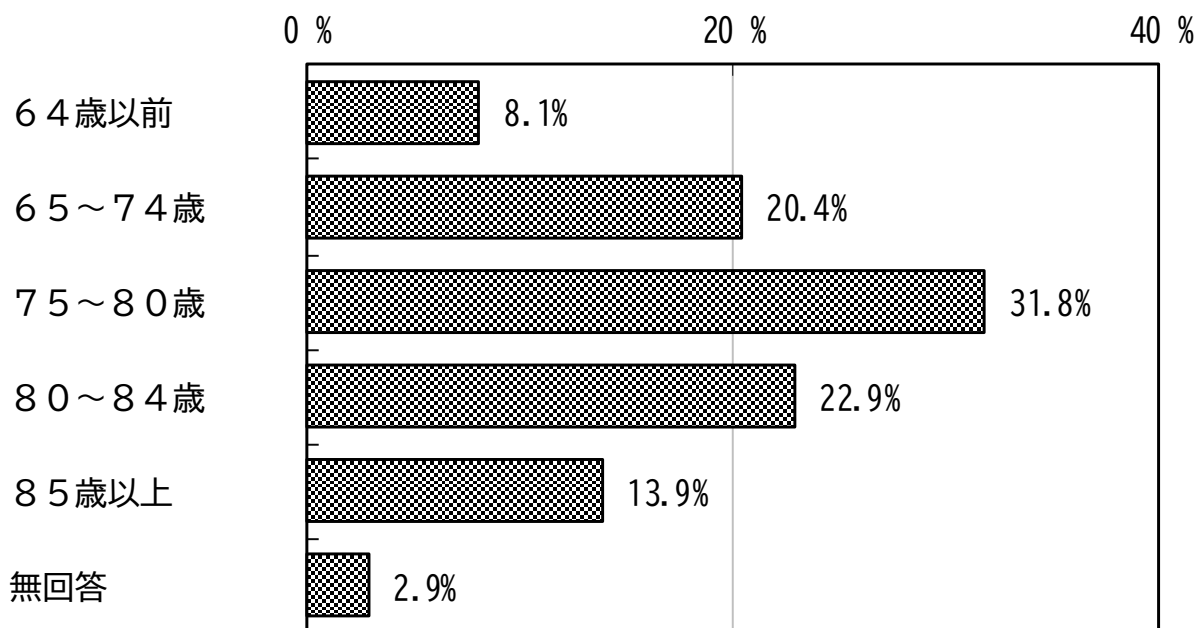
問53 近年、「難聴」のリスクを改善することにより、認知症の発症を遅らせたり予防する効果が期待できると報告されています。そこで、現在のあなたの日常生活において耳の聞こえについてお伺いします（1つに○）。

日常生活における耳の聞こえについて、「不自由なく聞こえる」が49.1%と最も高く、「小さな声が聞きづらい」が27.0%、「普通の会話が聞きづらい」が6.7%、「普通の会話は聞きとれない」が4.1%、「耳元で話されても聞きとれない」が0.7%となっている。



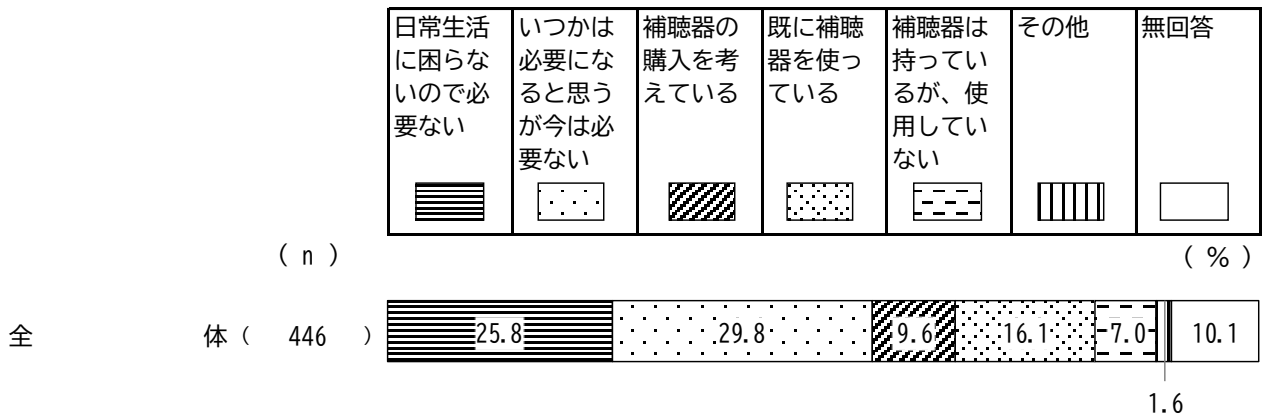
問53-1 聞こえづらいつと感じるようになったのはいつ頃からですか（1つに○）。

日常生活における耳の聞こえについて、「小さな声が聞きづらい」「普通の会話が聞きづらい」「普通の会話は聞きとれない」「耳元で話されても聞きとれない」と回答した方が、聞こえづらいつと感じるようになった時期について、「75～80歳」が31.8%と最も高く、「80～84歳」が22.9%、「65～74歳」が20.4%、「85歳以上」が13.9%、「64歳以前」が8.1%となっている。



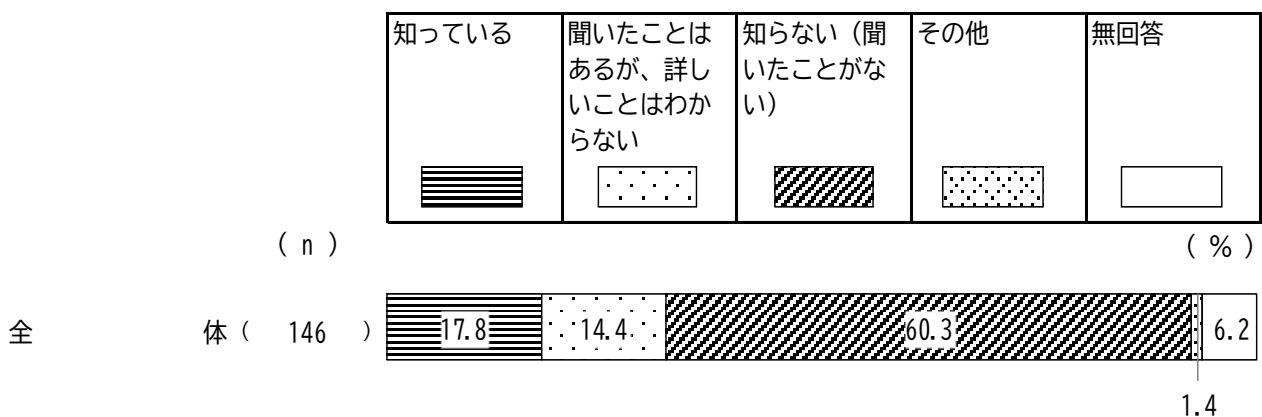
## 問53-2 現在、補聴器が必要ですか（1つに○）。

日常生活における耳の聞こえについて、「小さな声が聞きづらい」「普通の会話が聞きづらい」「普通の会話は聞きとれない」「耳元で話されても聞きとれない」と回答した方の補聴器の必要度について、「いつかは必要になると思うが今は必要ない」が29.8%と最も高く、「日常生活に困らないので必要ない」が25.8%、「既に補聴器を使っている」が16.1%、「補聴器の購入を考えている」が9.6%、「補聴器は持っているが、使用していない」が7.0%となっている。



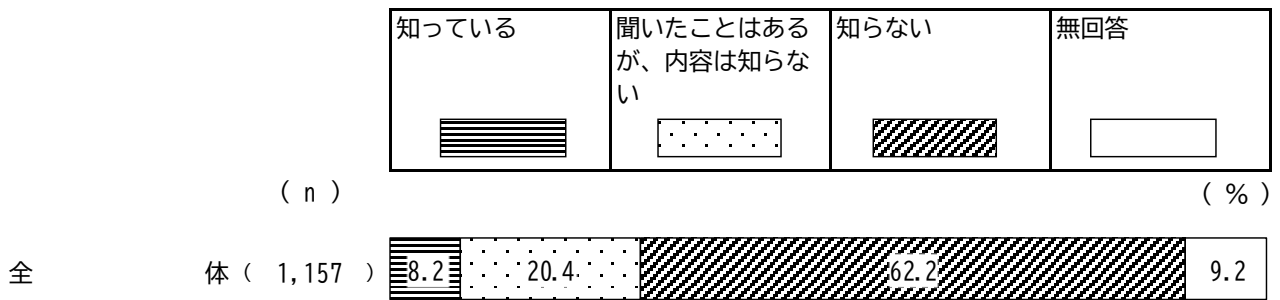
## 問53-3 足立区の補聴器購入助成制度を知っていますか（1つに○）。

「補聴器の購入を考えている」「既に補聴器を使っている」「補聴器は持っているが、使用していない」と回答した方の補聴器購入助成制度の認知について、「知らない（聞いたことがない）」が60.3%と最も高く、「知っている」が17.8%、「聞いたことはあるが、詳しいことはわからない」が14.4%となっている。



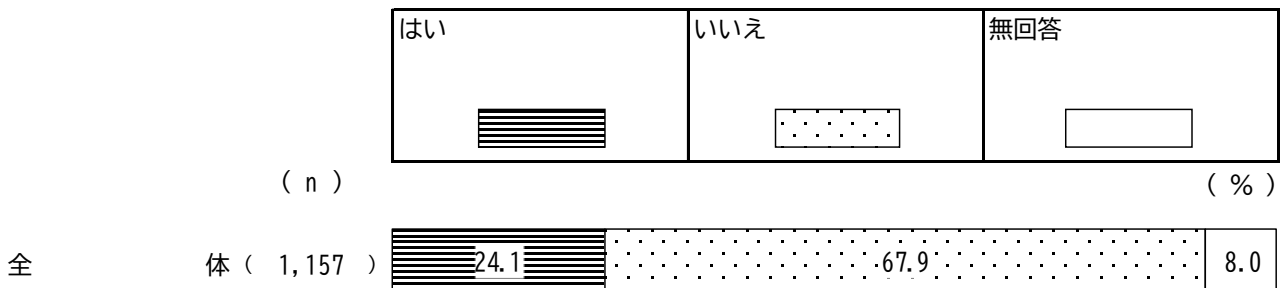
問54 認知症サポーターをご存知ですか（1つに○）。

認知症サポーターについて、「知らない」が62.2%と最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が20.4%、「知っている」が8.2%となっている。



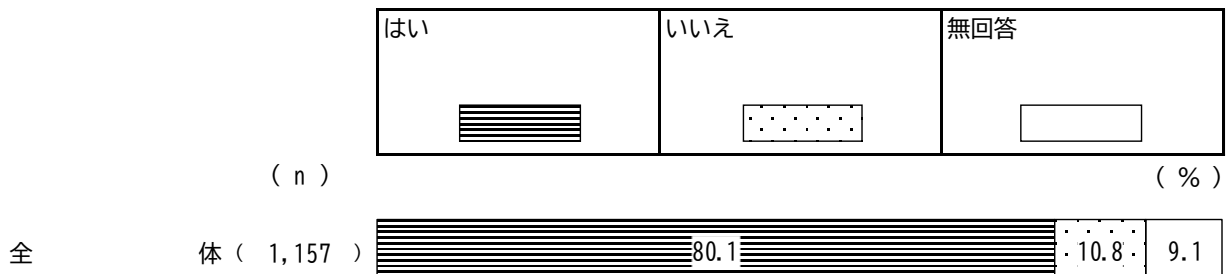
問55 認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つに○）。

認知症に関する相談窓口の認知について、「はい」が24.1%、「いいえ」が67.9%となっている。



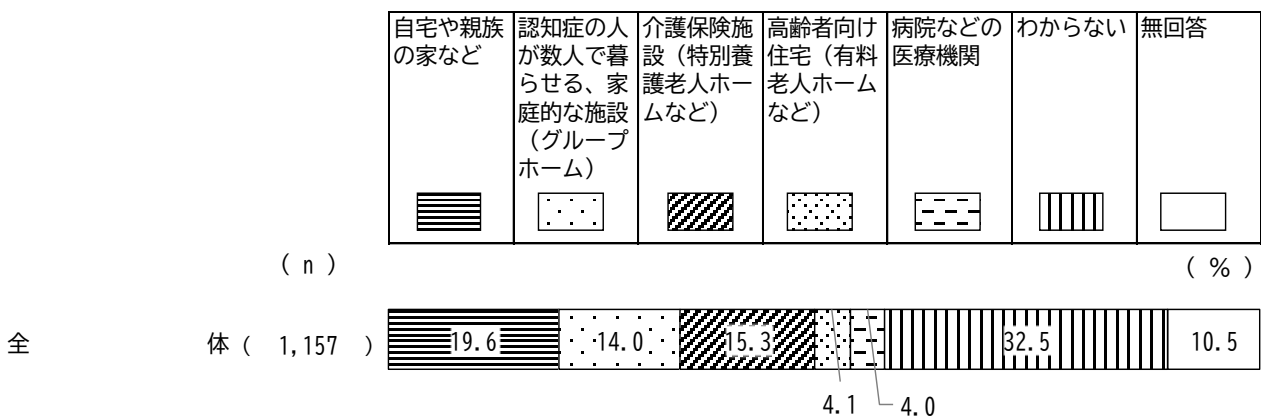
問56 将来、あなたが認知症になったら、周囲（家族や友人など）に公表しますか（1つに○）。

将来、認知症になったら、周囲（家族や友人など）に公表するかどうかについて、「はい」が80.1%、「いいえ」が10.8%となっている。



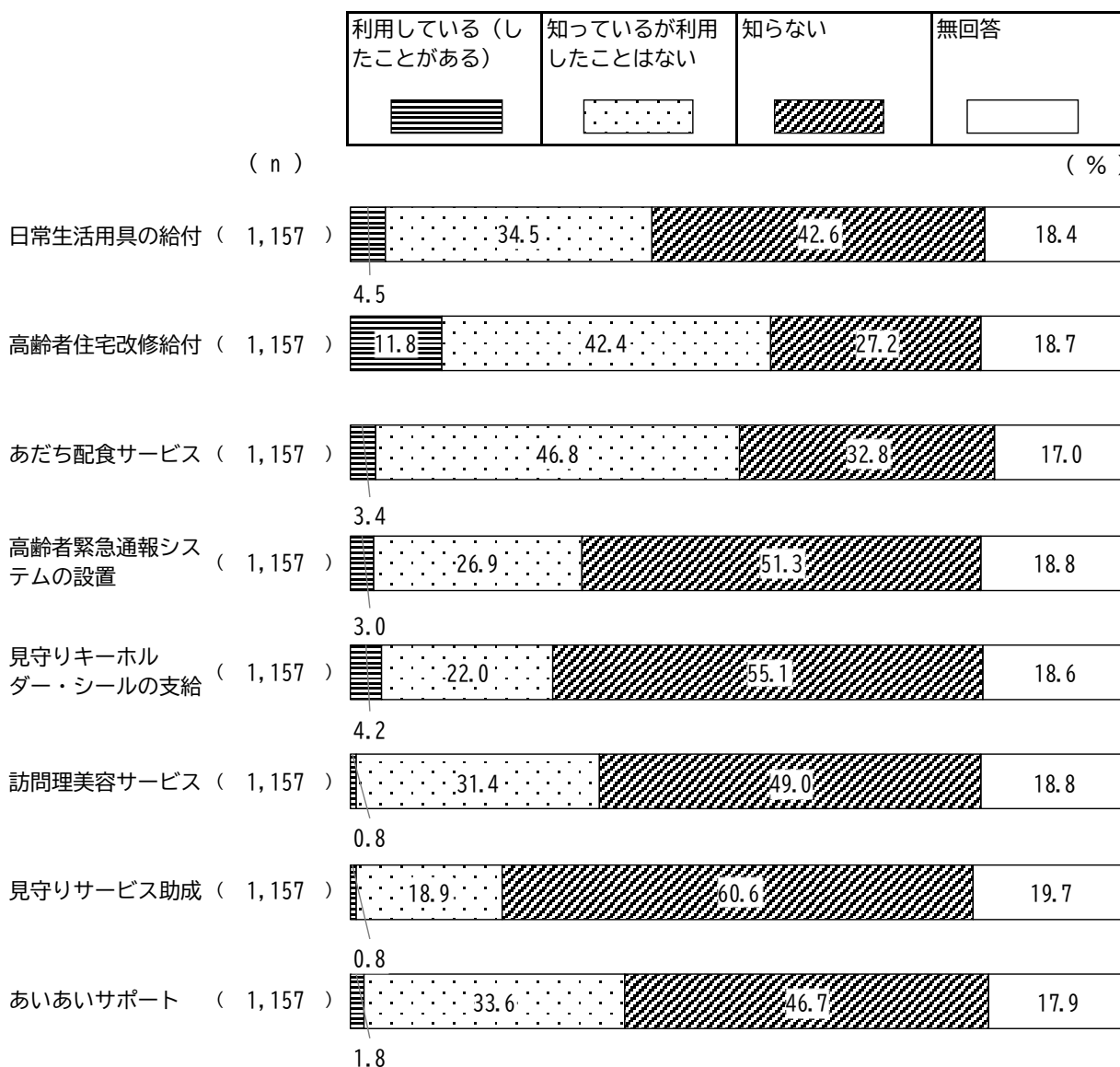
問57 将来、あなたが認知症になったら、どこで暮らしたいですか（1つに○）。

将来認知症になった場合に暮らしたい場所について、「自宅や親族の家など」が19.6%と最も高く、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）」が15.3%、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）」が14.0%、「高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）」が4.1%、「病院などの医療機関」が4.0%、「わからない」が32.5%となっている。



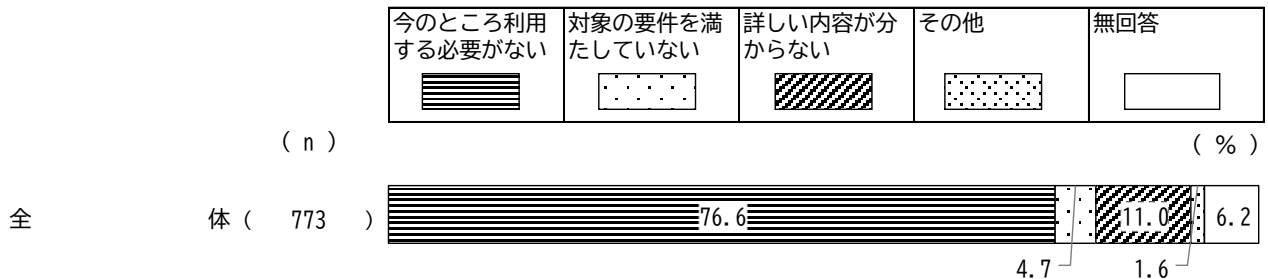
問58 足立区には次のようなサービスがありますが、あなたは現在利用していますか。また利用していない方は、そのサービスをご存知ですか  
(それぞれ1つに○)。

足立区内のサービスの利用状況について、「日常生活用具の給付」「高齢者緊急通報システムの設置」「見守りキーホルダー・シールの支給」「訪問理美容サービス」「見守りサービス助成」「あいあいサポート」では「知らない」の割合が、「高齢者住宅改修給付」「あだち配食サービス」では「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっている。



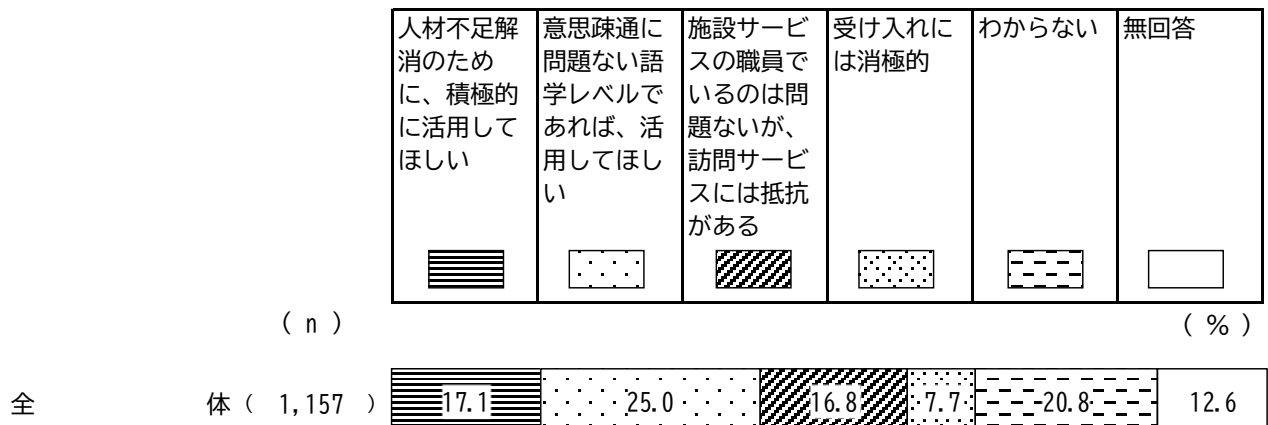
## 問58-1 利用したことがない理由は何ですか（1つに○）。

足立区内のサービスで1つでも「知っているが利用したことはない」と回答した方の利用したことがない理由は、「今のところ利用する必要がない」が76.6%と最も高く、「詳しい内容が分からない」が11.0%、「対象の要件を満たしていない」が4.7%となっている。



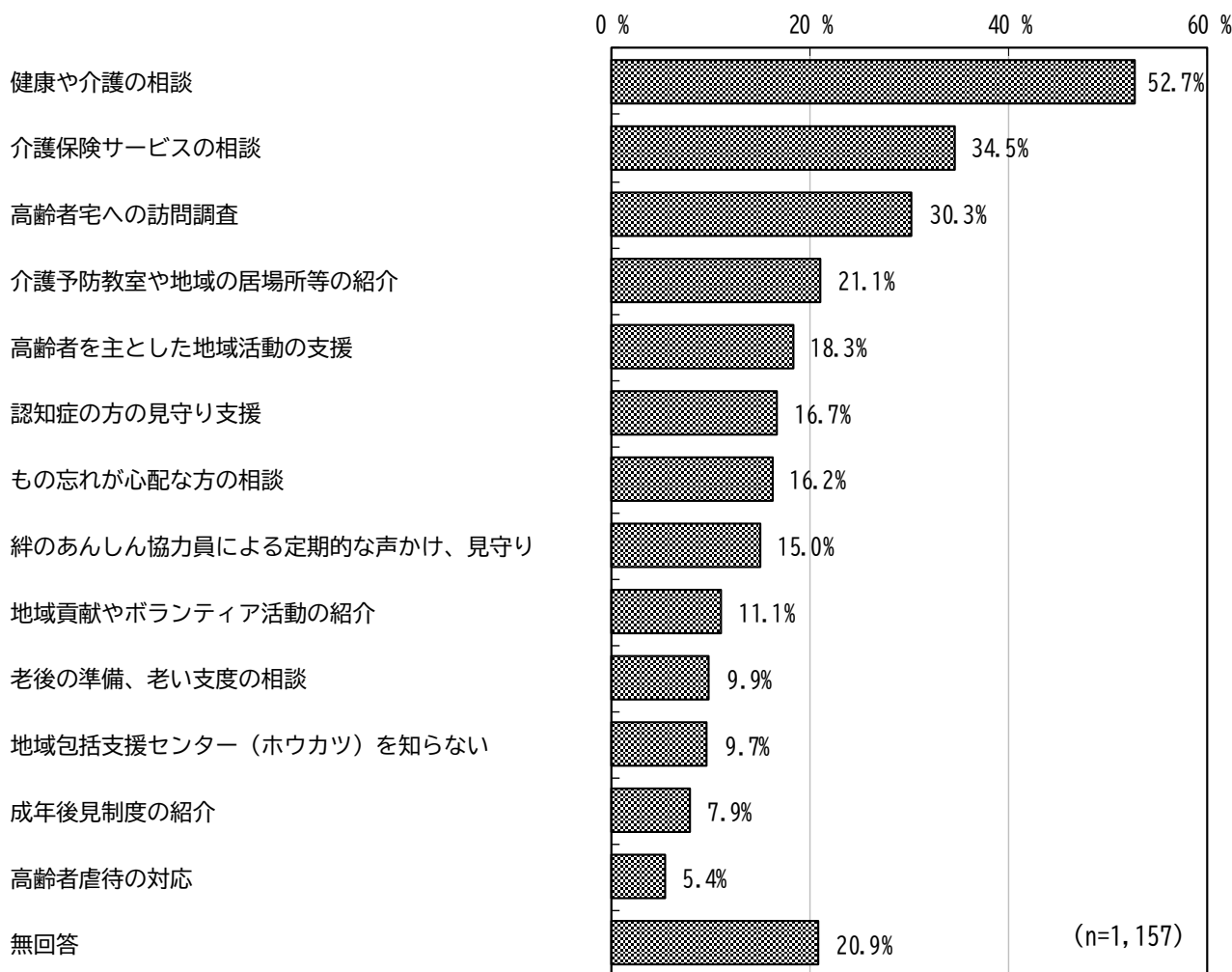
## 問59 介護サービスに関して、国では外国人材の活用が推進されていますが、どのようにお考えですか（1つに○）。

介護サービスにおける外国人材の活用について、「意思疎通に問題ない語学レベルであれば、活用してほしい」が25.0%と最も高く、「人材不足解消のために、積極的に活用してほしい」が17.1%、「施設サービスの職員でいるのは問題ないが、訪問サービスには抵抗がある」が16.8%、「受け入れには消極的」が7.7%、「わからない」が20.8%となっている。



問60 現在、足立区内には高齢者の介護や生活上の相談などを受ける地域包括支援センターがあります。地域包括支援センター（ホウカツ）の業務で、ご存知のものに○を付けてください（いくつでも○）。

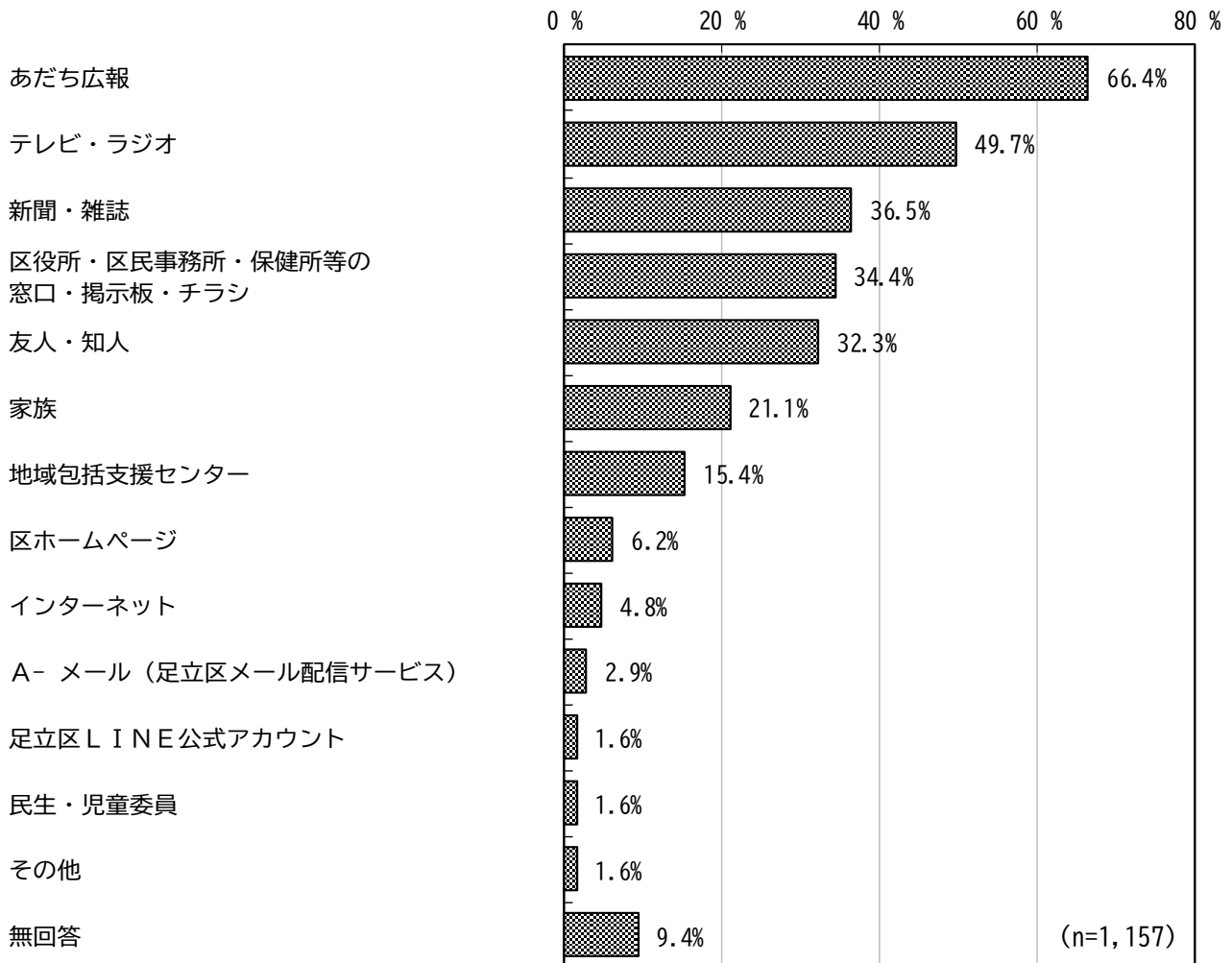
足立区内の地域包括支援センターが行っている業務の認知度について、「健康や介護の相談」が52.7%と最も高く、「介護保険サービスの相談」が34.5%、「高齢者宅への訪問調査」が30.3%、「介護予防教室や地域の居場所等の紹介」が21.1%、「高齢者を主とした地域活動の支援」が18.3%、「認知症の方の見守り支援」が16.7%、「もの忘れが心配な方の相談」が16.2%、「絆のあんしん協力員による定期的な声かけ、見守り」が15.0%、「地域貢献やボランティア活動の紹介」が11.1%、「老後の準備、老い支度の相談」が9.9%、「地域包括支援センター（ホウカツ）を知らない」が9.7%、「成年後見制度の紹介」が7.9%、「高齢者虐待の対応」が5.4%となっている。





## 問61 身近な暮らしの情報をどのように入手しますか（いくつでも○）。

身近な暮らしの情報の入手先について、「あだち広報」が66.4%と最も高く、「テレビ・ラジオ」が49.7%、「新聞・雑誌」が36.5%、「区役所・区民事務所・保健所等の窓口・掲示板・チラシ」が34.4%、「友人・知人」が32.3%、「家族」が21.1%、「地域包括支援センター」が15.4%、「区ホームページ」が6.2%、「インターネット」が4.8%、「A-メール（足立区メール配信サービス）」が2.9%、「足立区LINE公式アカウント」「民生・児童委員」が1.6%となっている。



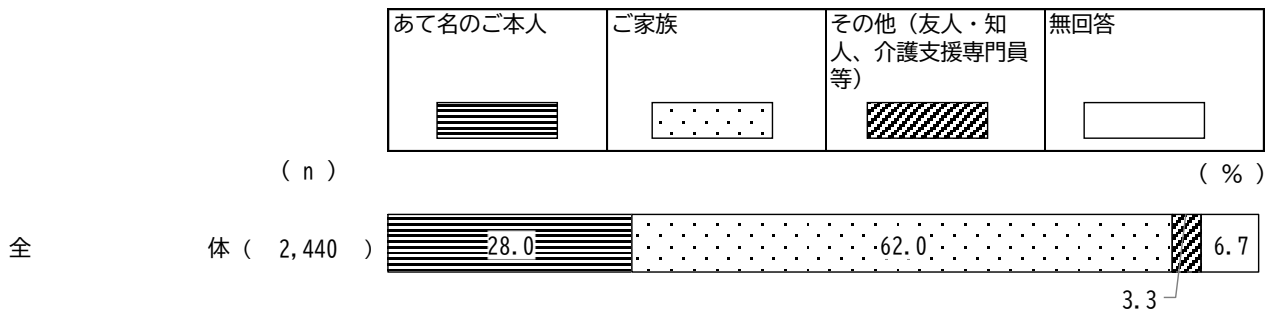


3 要介護認定者に関する実態調査

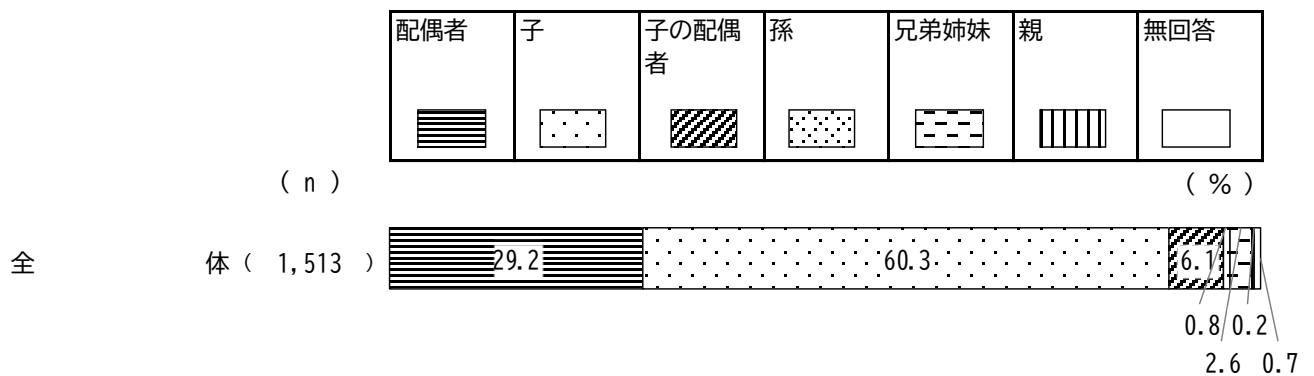
(1) 回答者の基本情報

この調査票を記入されたのはどなたですか（1つに○）。

回答者は、「ご家族」が62.0%と最も高く、「あて名のご本人」が28.0%、「その他（友人・知人、介護支援専門員等）」が3.3%となっている。

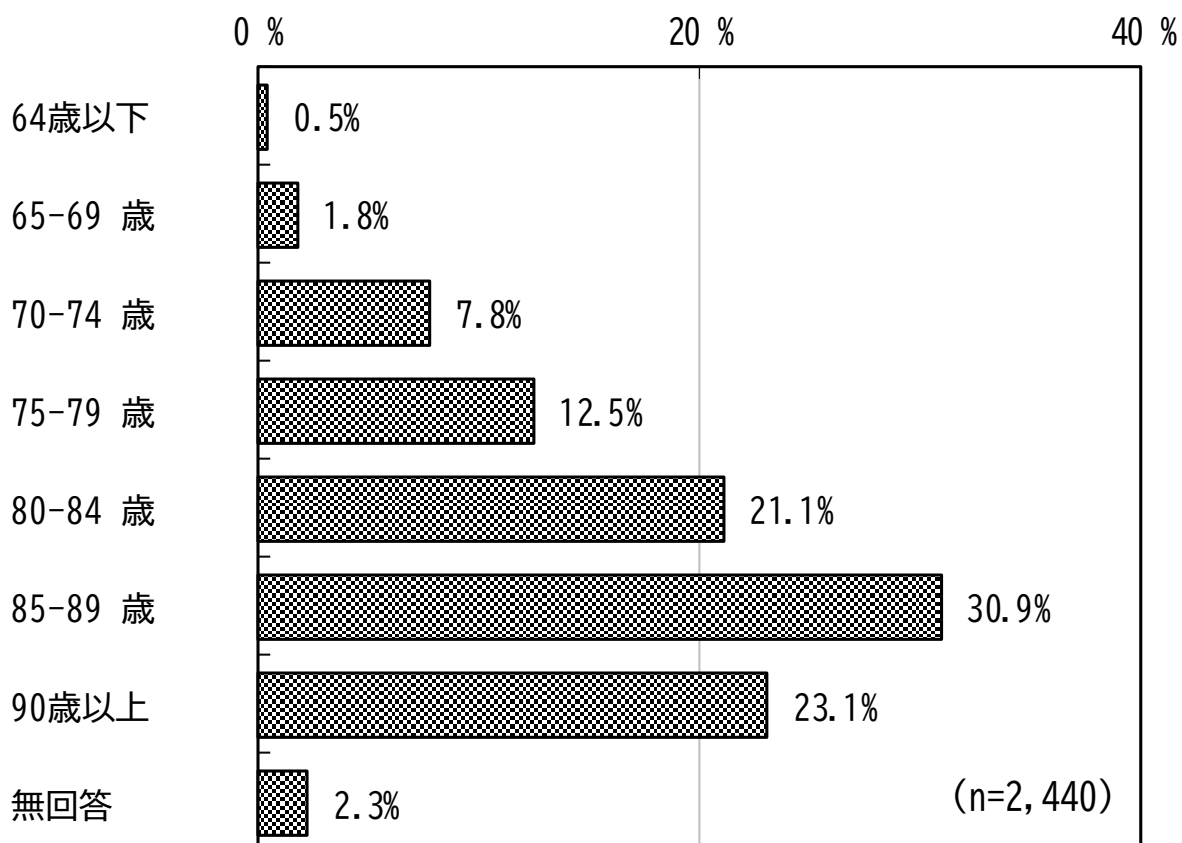
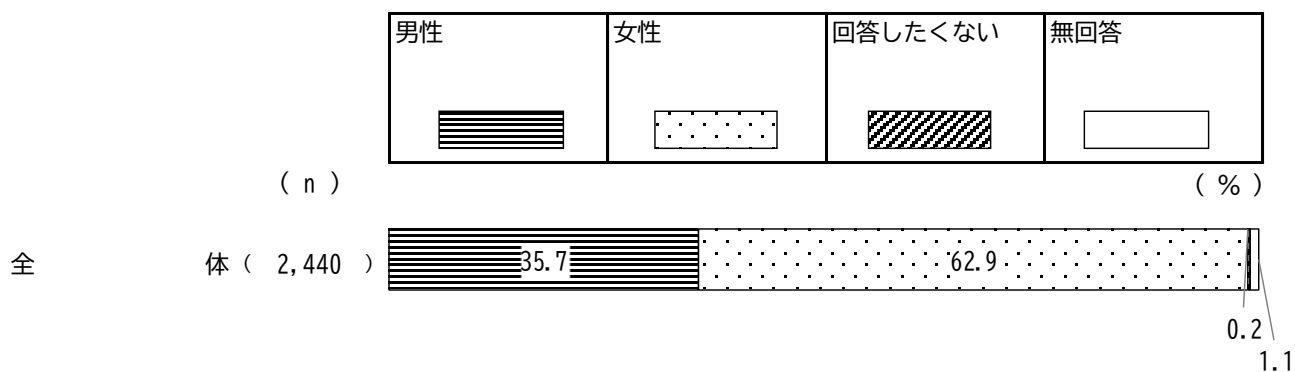


「ご家族」と回答した方の内訳をみると、「子」が60.3%と最も高く、「配偶者」が29.2%、「子の配偶者」が6.1%、「兄弟姉妹」が2.6%、「孫」が0.8%、「親」が0.2%となっている。



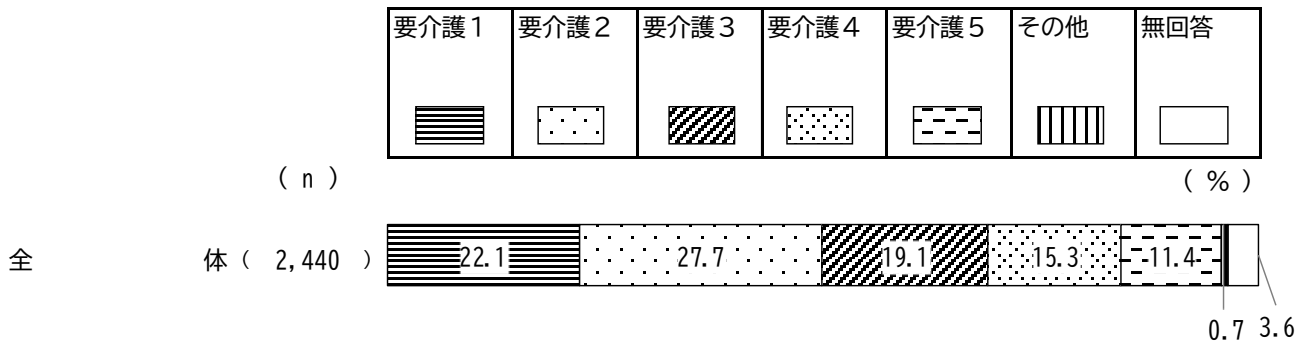
問1① あなたの性別・年齢をお聞きます。

性別は、「男性」が35.7%、「女性」が62.9%、「回答したくない」が0.2%となっている。  
 年齢は、「85-89歳」が30.9%と最も高く、「90歳以上」が23.1%、「80-84歳」が21.1%、「75-79歳」が12.5%、「70-74歳」が7.8%、「65-69歳」が1.8%、「64歳以下」が0.5%となっている。



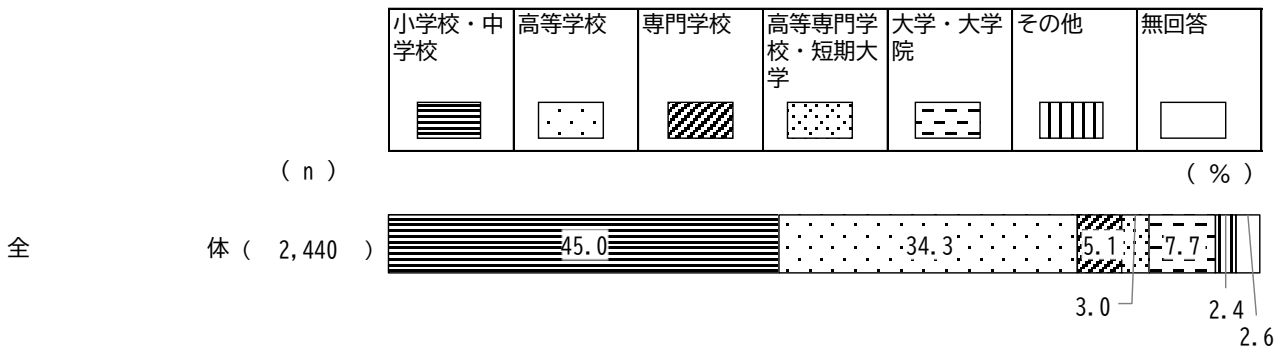
問1② あなたの現在の要介護度はどれですか（1つに○）。

現在の要介護度は、「要介護2」が27.7%と最も高く、「要介護1」が22.1%、「要介護3」が19.1%、「要介護4」が15.3%、「要介護5」が11.4%となっている。



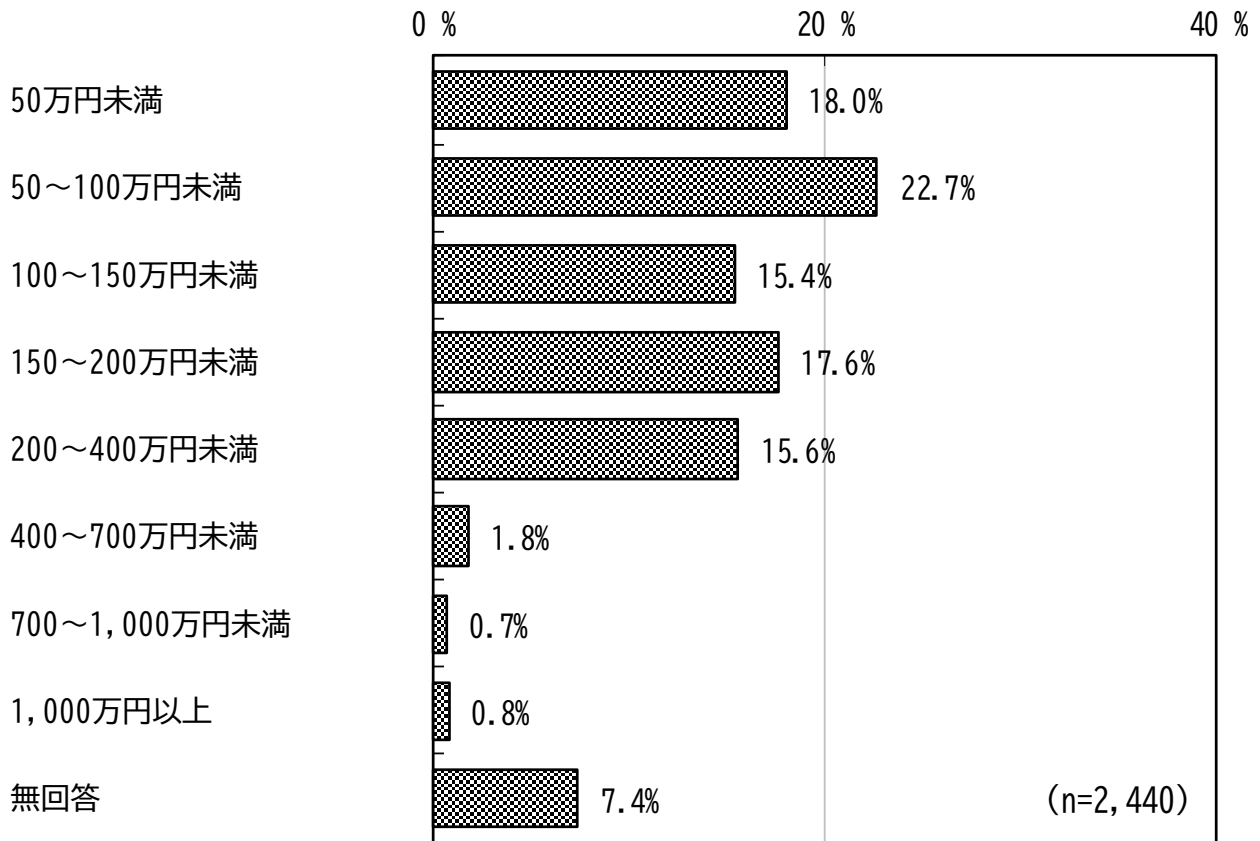
問1③ あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどれですか（1つに○）。

最後に卒業した学校について、「小学校・中学校」が45.0%と最も高く、「高等学校」が34.3%、「大学・大学院」が7.7%、「専門学校」が5.1%、「高等専門学校・短期大学」が3.0%となっている。



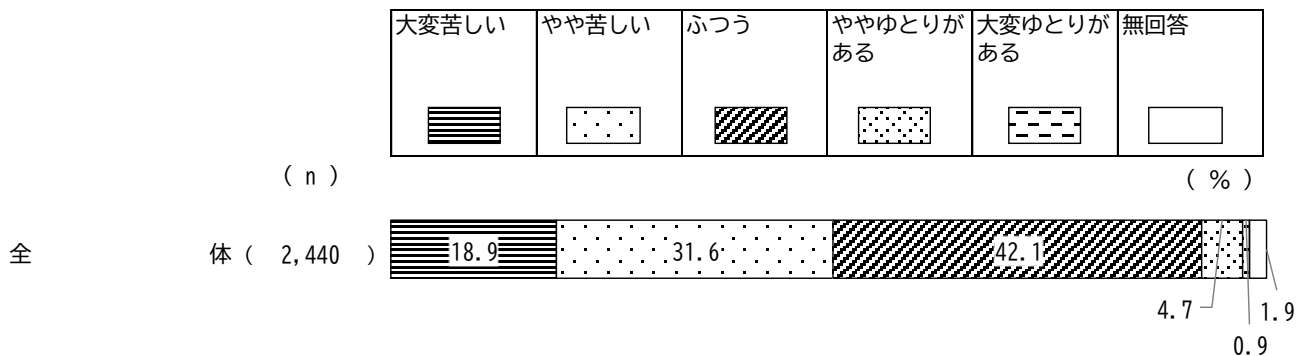
問1④ 現在の年間の収入はどの程度ですか（1つに○）。

現在の年収について、「50～100万円未満」が22.7%と最も高く、「50万円未満」が18.0%、「150～200万円未満」が17.6%、「200～400万円未満」が15.6%、「100～150万円未満」が15.4%、「400～700万円未満」が1.8%、「1,000万円以上」が0.8%、「700～1,000万円未満」が0.7%となっている。



問1⑤ 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つに○）。

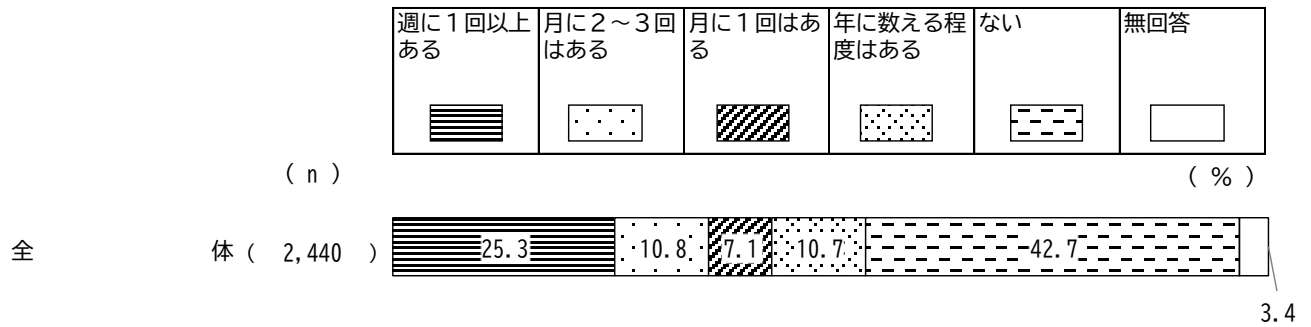
現在の暮らしの経済的な状況について、「ふつう」が42.1%と最も高く、「やや苦しい」が31.6%、「大変苦しい」が18.9%、「ややゆとりがある」が4.7%、「大変ゆとりがある」が0.9%となっている。



問1⑥ 地域とのつながり（※）はありますか（1つに○）。

※ 「近隣者等による声掛け」、「地域住民との交流会への参加等」。

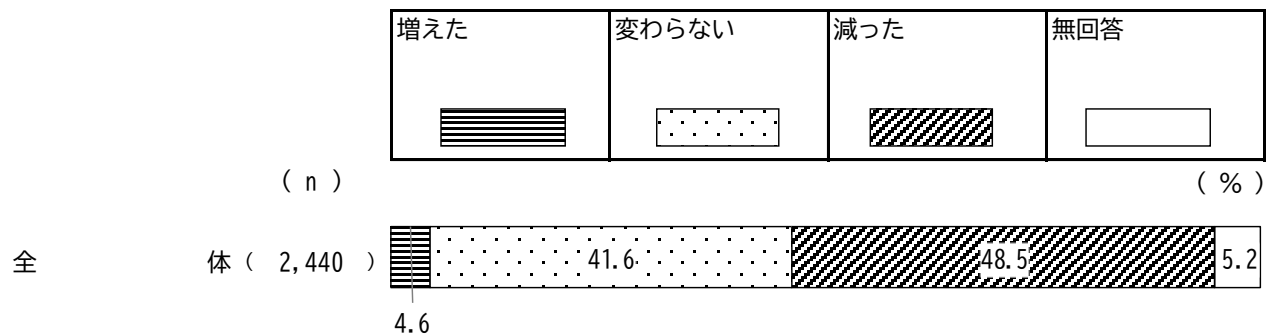
地域とのつながりについて、「ない」が42.7%と最も高く、「週に1回以上ある」が25.3%、「月に2～3回はある」が10.8%、「年に数える程度はある」が10.7%、「月に1回はある」が7.1%となっている。



問1⑦ 地域とのつながりの回数は以前（※）に比べてかわりましたか（1つに○）。

※ 以前とは現在の状況になる前を指します（施設入居者であれば、入居前、介護状況が変わった方は変わる前）。

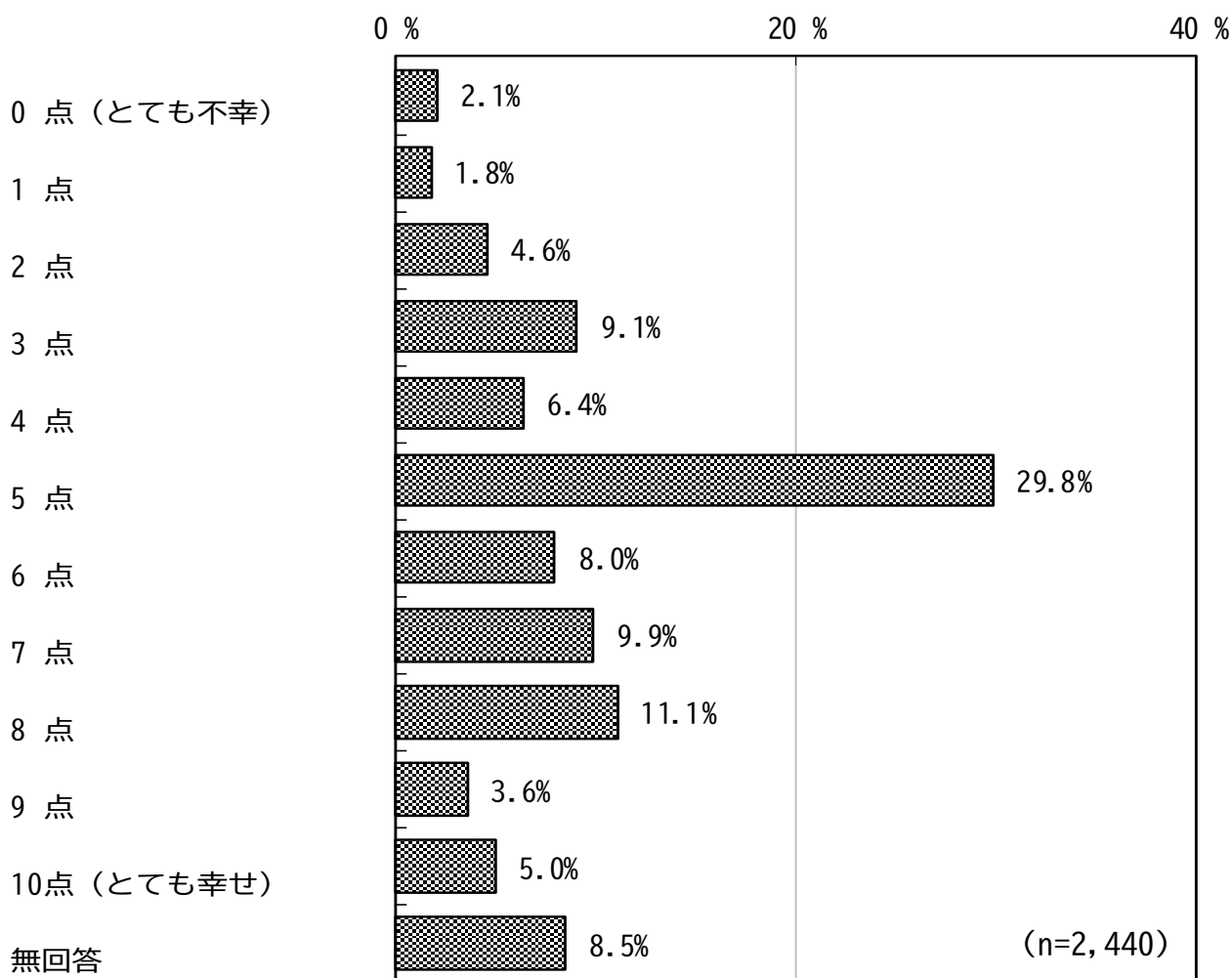
地域とのつながりの回数について、以前に比べて「増えた」が4.6%、「変わらない」が41.6%、「減った」が48.5%となっている。



問1⑧ あなたは、現在どの程度幸せですか。  
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に○をお付けください) (1つに○)。

現在の幸福度について、「5点」が29.8%と最も高く、「8点」が11.1%、「7点」が9.9%、「3点」が9.1%、「6点」が8.0%、「4点」が6.4%、「10点(とても幸せ)」が5.0%、「2点」が4.6%、「9点」が3.6%、「0点(とても不幸)」が2.1%、「1点」が1.8%となっている。7点以上は、29.6%となっている。

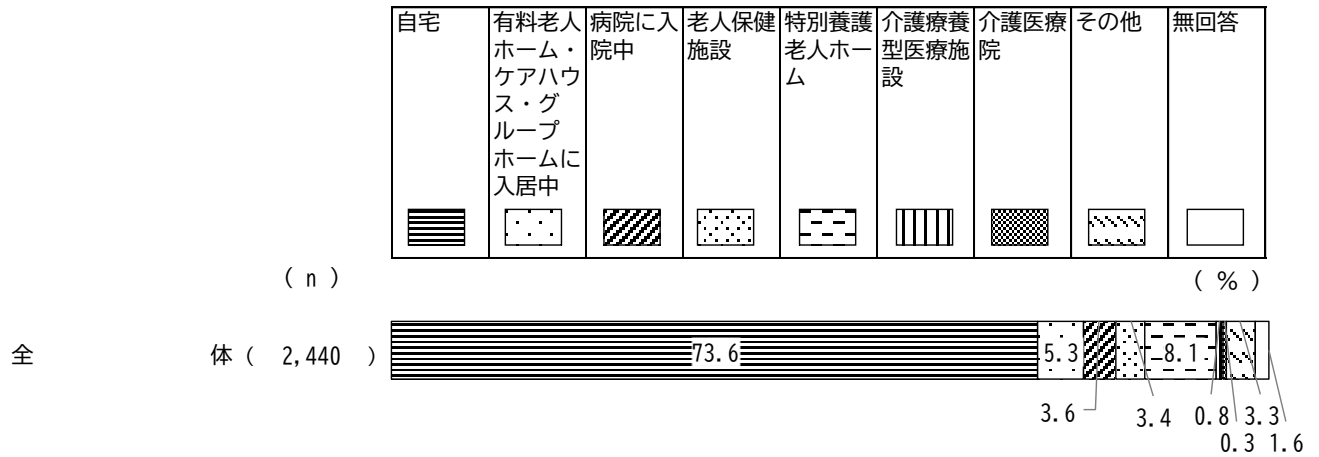
なお、足立区では幸福度が7点以上である割合を指標の1つとしている。





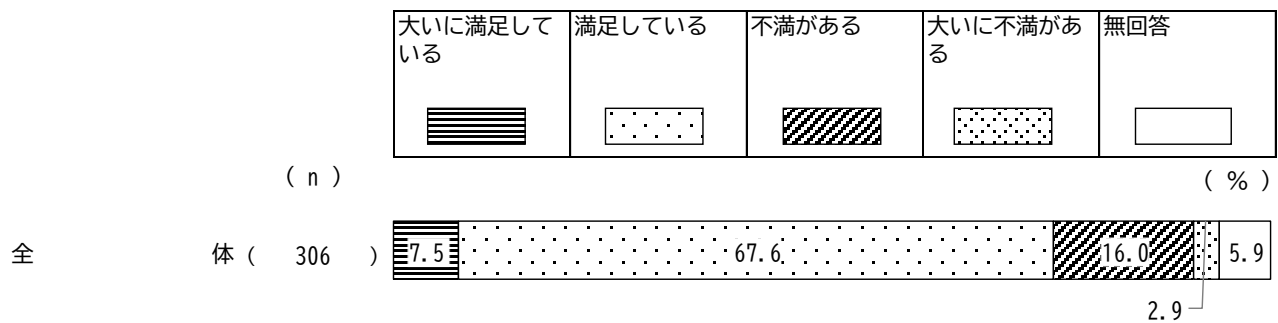
問1⑨ あなた（封筒のあて名の方）は、現在、どちらで生活していますか（1つに○）。

現在の住まいについて、「自宅」が73.6%と最も高く、「特別養護老人ホーム」が8.1%、「有料老人ホーム・ケアハウス・グループホームに入居中」が5.3%、「病院に入院中」が3.6%、「老人保健施設」が3.4%、「介護療養型医療施設」が0.8%、「介護医療院」が0.3%となっている。



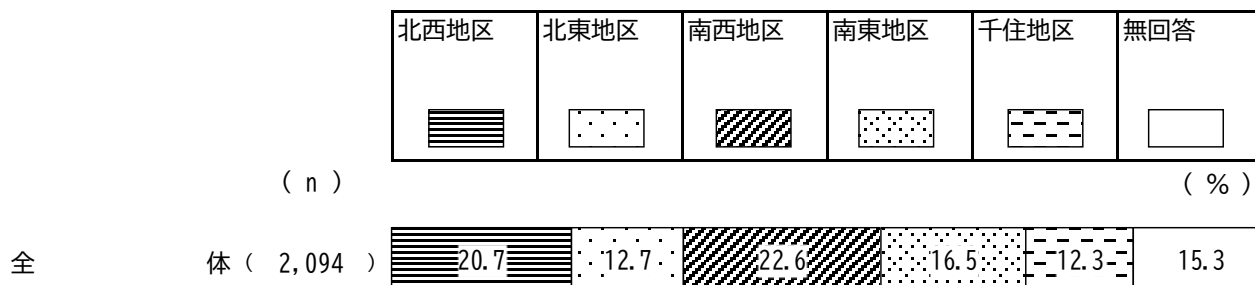
問1⑩ 現在の施設に満足していますか（1つに○）。

問1⑨にて「老人保健施設」「特別養護老人ホーム」「介護療養型医療施設」「介護医療院」と回答した方のうち、現在の施設について、「大いに満足している」が7.5%、「満足している」が67.6%と合計で7割を超えている。また、「不満がある」が16.0%、「大いに不満がある」が2.9%と合計で2割近くとなっている。



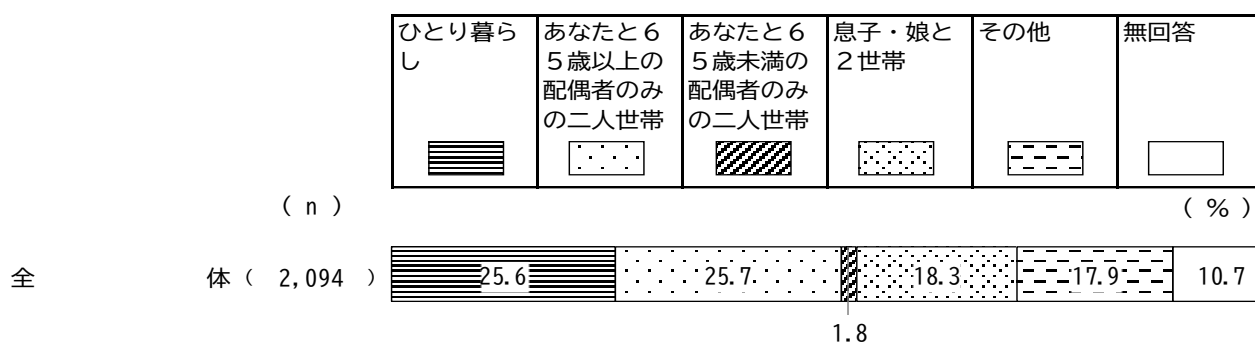
問2 お住まいの住所を別紙から数字を記載してください。

日常生活圏域でみると、「南西地区」が22.6%と最も高く、「北西地区」が20.7%、「南東地区」が16.5%、「北東地区」が12.7%、「千住地区」が12.3%となっている。



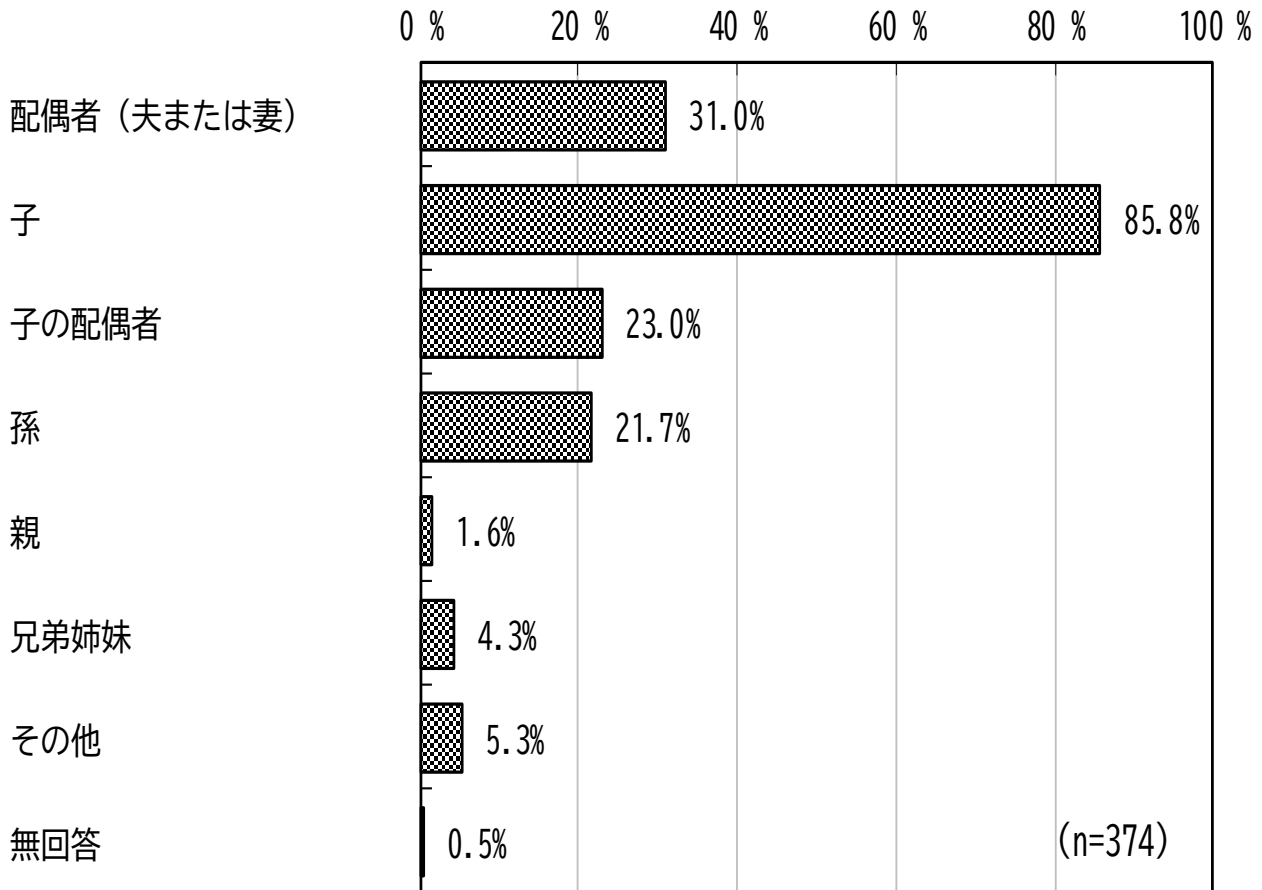
問3 あなたの家族構成をお答えください(1つに○)。

家族構成について、「あなたと65歳以上の配偶者のみの二世帯」が25.7%と最も高く、「ひとり暮らし」が25.6%、「息子・娘と2世帯」が18.3%、「あなたと65歳未満の配偶者のみの二世帯」が1.8%となっている。



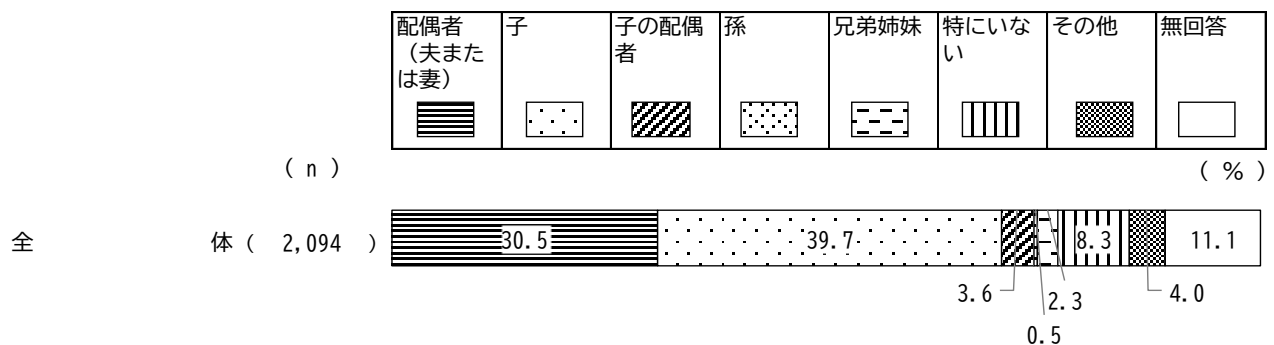
問3-1 あなたと一緒に住まいのご家族はどなたですか（いくつでも○）。

家族構成で「その他」と回答した方の同居している家族について、「子」が85.8%と最も高く、「配偶者（夫または妻）」が31.0%、「子の配偶者」が23.0%、「孫」が21.7%、「兄弟姉妹」が4.3%、「親」が1.6%となっている。



問4 あなたを主に介護している方（ヘルパー等を除く）はどなたですか（1つに○）。

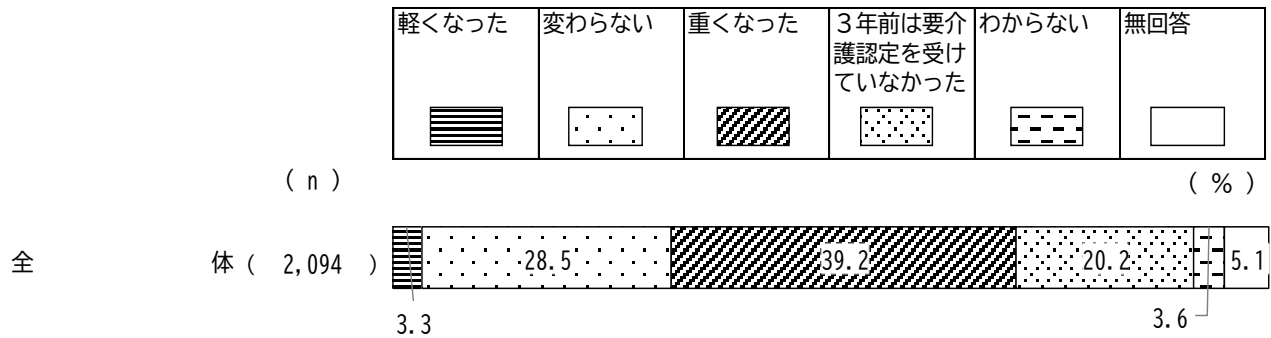
主に介護している方について、「子」が39.7%と最も高く、「配偶者（夫または妻）」が30.5%、「特にない」が8.3%、「子の配偶者」が3.6%、「兄弟姉妹」が2.3%、「孫」が0.5%となっている。



(2) 健康と医療について

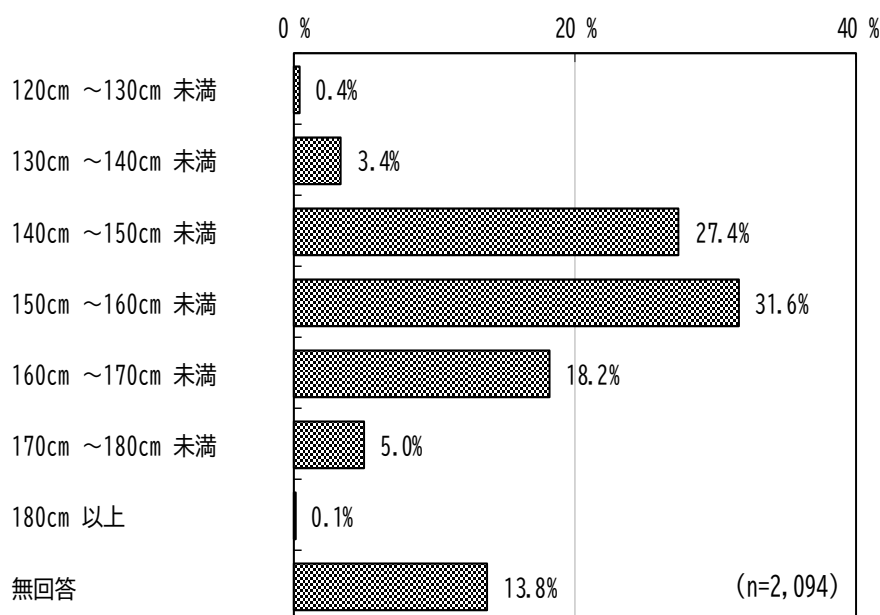
問5 あなたは3年前と比べて、介護度はどうなりましたか（1つに○）。

3年前と比べた介護度について、「重くなった」が39.2%と最も高く、「変わらない」が28.5%、「3年前は要介護認定を受けていなかった」が20.2%、「軽くなった」が3.3%、「わからない」が3.6%となっている。

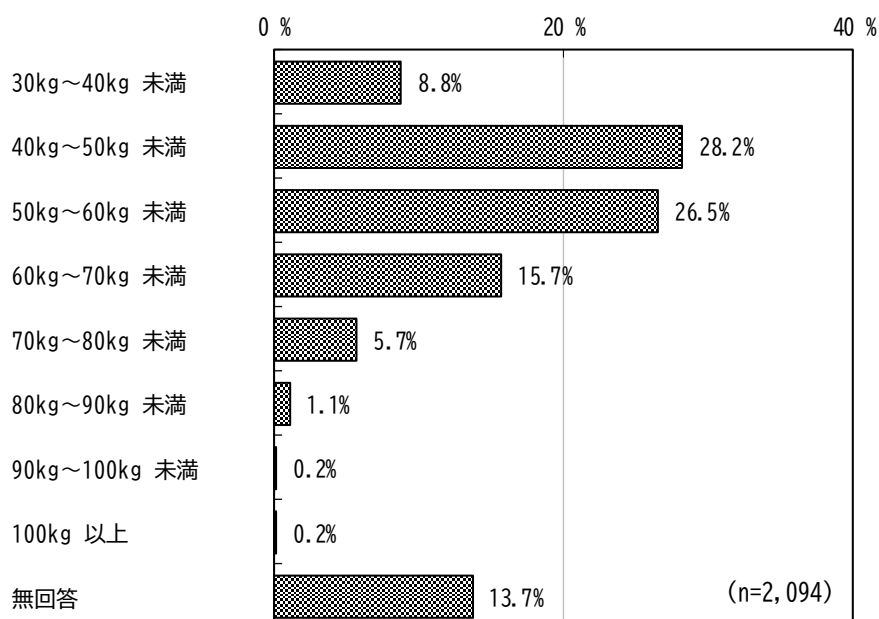


問6 現在の身長・体重をご記入ください（数字（整数）を記入）。

現在の身長について、「150cm～160cm 未満」が31.6%と最も高く、「140cm～150cm 未満」が27.4%、「160cm～170cm 未満」が18.2%、「170cm～180cm 未満」が5.0%、「130cm～140cm 未満」が3.4%、「120～130cm 未満」が0.4%、「180cm 以上」が0.1%となっている。



現在の体重について、「40kg～50kg 未満」が28.2%と最も高く、「50kg～60kg 未満」が26.5%、「60kg～70kg 未満」が15.7%、「30kg～40kg 未満」が8.8%、「70kg～80kg 未満」が5.7%、「80kg～90kg 未満」が1.1%、「90kg～100kg 未満」が0.2%、「100kg 以上」が0.2%となっている。

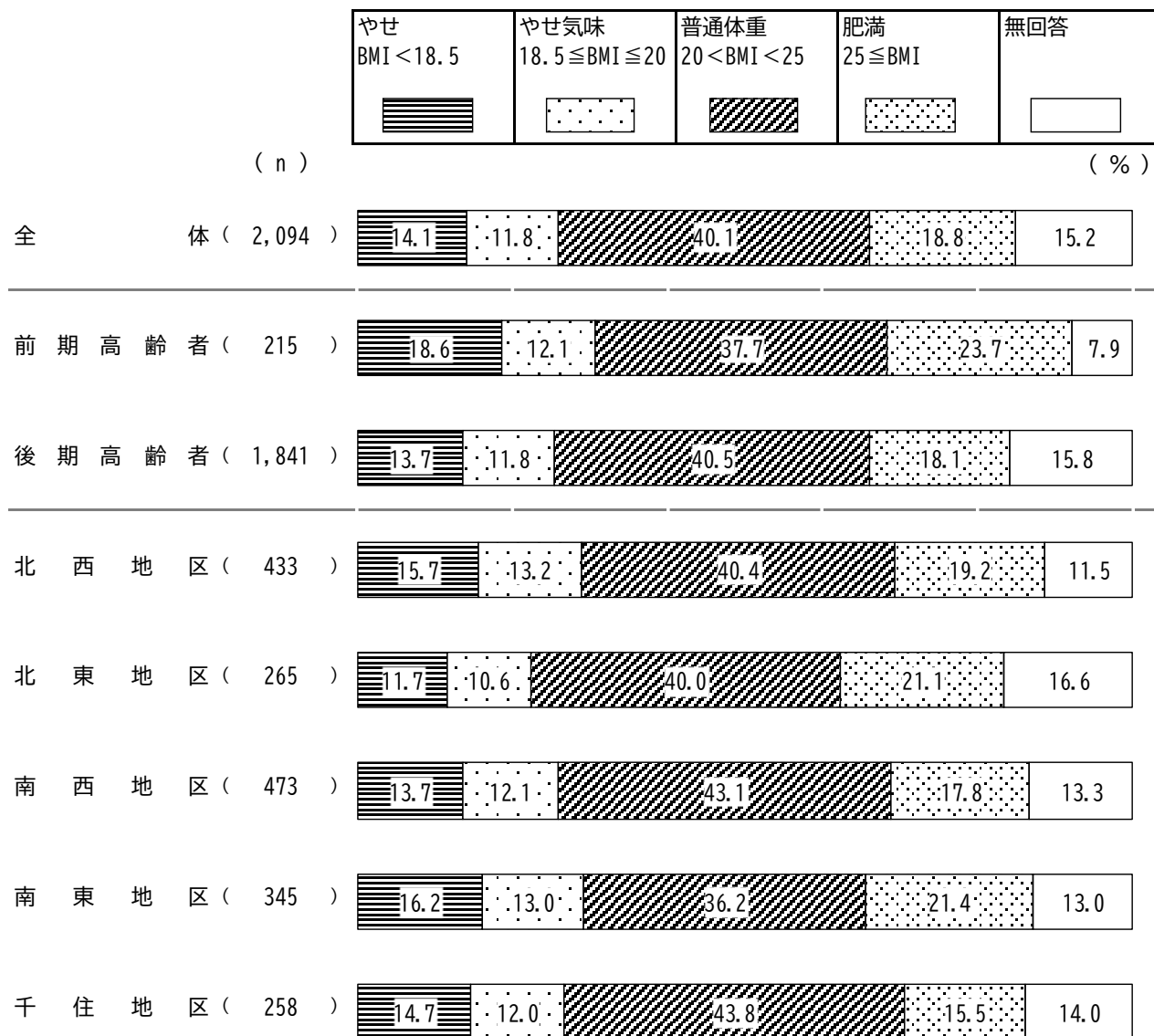


第2章 調査結果

BMIについて、足立区全体では、「普通体重」が40.1%と最も高く、「肥満」が18.8%、「やせ」が14.1%、「やせ気味」が11.8%となっている。

前期・後期別にみると、「肥満」では、前期高齢者が23.7%、後期高齢者が18.1%、「やせ」では、前期高齢者が18.6%、後期高齢者が13.7%となっている。

日常生活圏域別にみると、「肥満」では、南東地区が21.4%、「やせ」では、南東地区が16.2%と高くなっている。



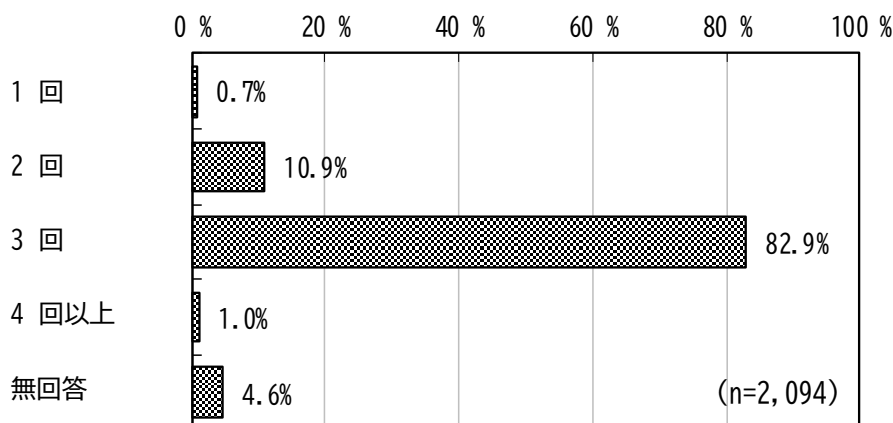
BMI (Body Mass Index) とは体格を表す指標。肥満や低体重(やせ)の判定に用い、 $[\text{体重 (kg)}] \div [\text{身長 (m) の 2 乗}]$  で求める。

本設問では身長と体重の回答からBMIを求め、その値を国(厚生労働省)の基準を元に判定を区分している。

判定基準はBMI < 18.5を「やせ」、18.5 ≤ BMI ≤ 20を「やせ気味」、20 < BMI < 25を「普通体重」、25 ≤ BMIを「肥満」とする。

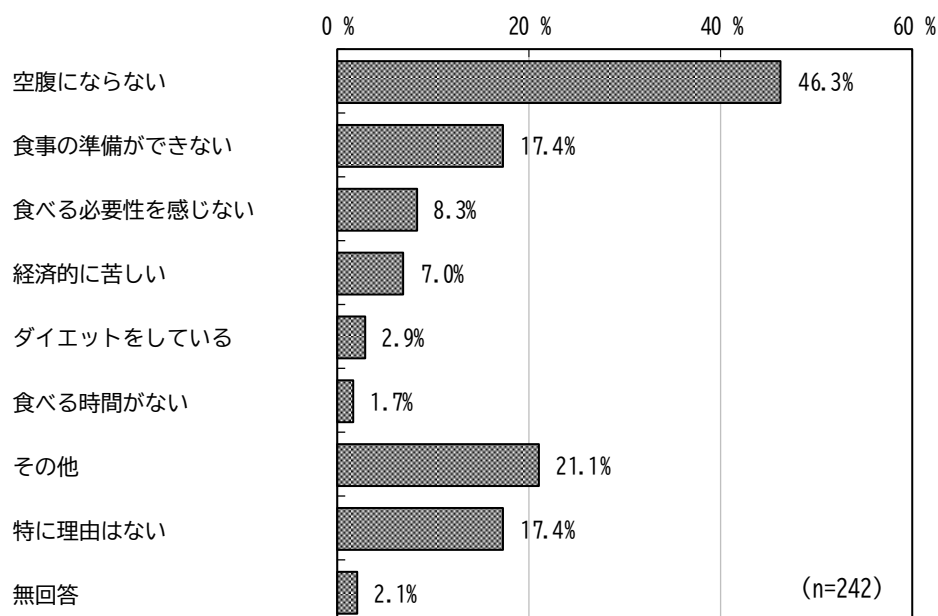
### 問7 食事は1日何回食べますか（1つに○）。

1日の食事の回数について、「3回」が82.9%と最も高く、「2回」が10.9%、「4回以上」が1.0%、「1回」が0.7%となっている。



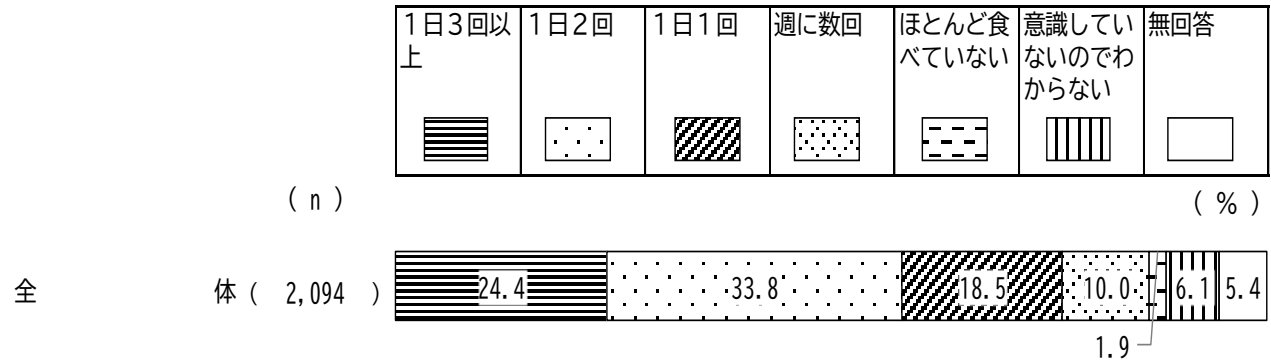
### 問7-1 食事を1日3回食べない理由は何ですか（いくつでも○）。

1日の食事の回数が「1回」または「2回」と回答した方の、食事を1日3回とらない理由について、「空腹にならない」が46.3%と最も高く、「食事の準備ができない」が17.4%、「食べる必要性を感じない」が8.3%、「経済的に苦しい」が7.0%、「ダイエットをしている」が2.9%、「食べる時間がない」が1.7%となっている。また「特に理由はない」が17.4%となっている。



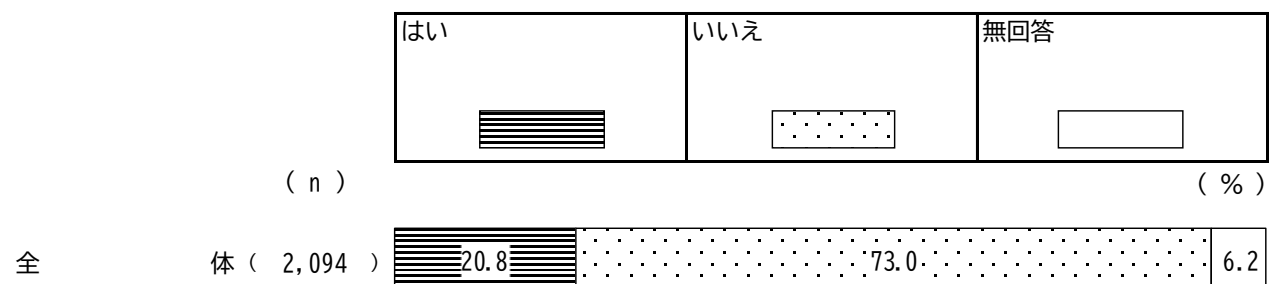
問8 たんぱく質を多く含む食品（肉・魚・卵・大豆製品の1種類以上）をどのくらいの頻度で食べていますか（1つに○）。

たんぱく質を多く含む食品を食べる頻度について、「1日3回以上」が24.4%となっている。



問9 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（1つに○）。

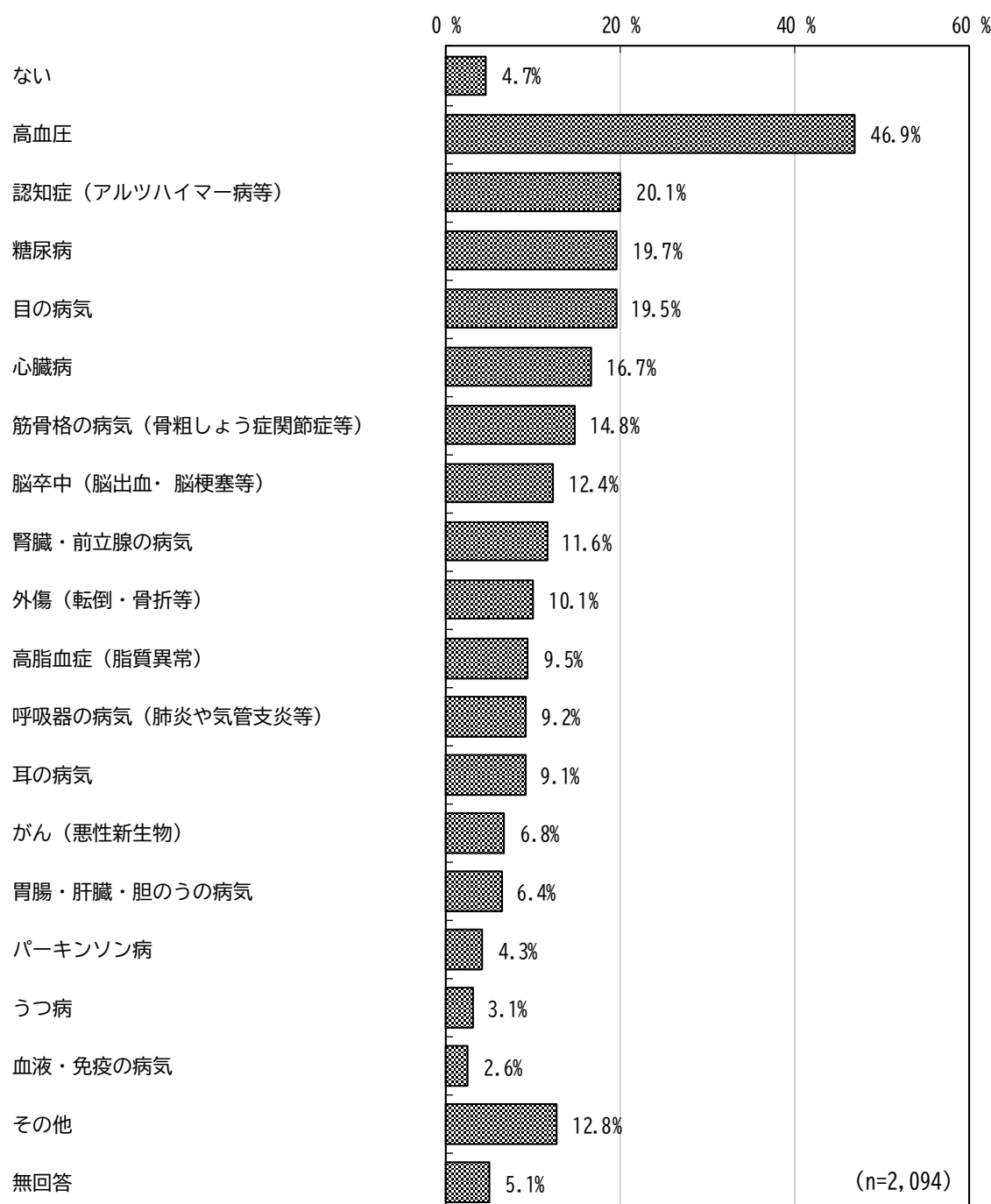
6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無について、「はい」が20.8%、「いいえ」が73.0%となっている。





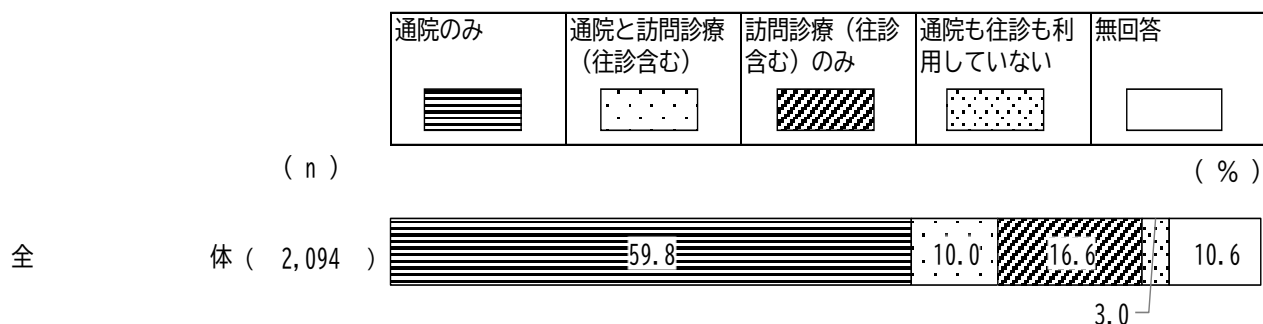
## 問10 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも○）。

現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が46.9%と最も高く、「認知症（アルツハイマー病等）」が20.1%、「糖尿病」が19.7%、「目の病気」が19.5%、「心臓病」が16.7%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症関節症等）」が14.8%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が12.4%、「腎臓・前立腺の病気」が11.6%、「外傷（転倒・骨折等）」が10.1%、「高脂血症（脂質異常）」が9.5%、「呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）」が9.2%、「耳の病気」が9.1%、「がん（悪性新生物）」が6.8%、「胃腸・肝臓・胆のうの病気」が6.4%、「ない」が4.7%、「パーキンソン病」が4.3%、「うつ病」が3.1%、「血液・免疫の病気」が2.6%となっている。



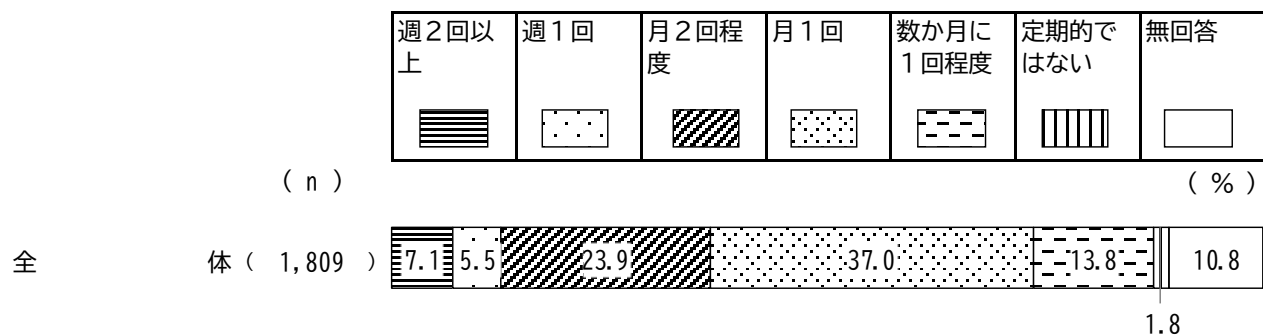
問11 あなたは現在、通院や訪問診療などで診療を受けていますか（1つに○）。

現在の通院や訪問診療などの診療状況について、「通院のみ」が59.8%と最も高く、「訪問診療（往診含む）のみ」が16.6%、「通院と訪問診療（往診含む）」が10.0%、「通院も往診も利用していない」が3.0%となっている。



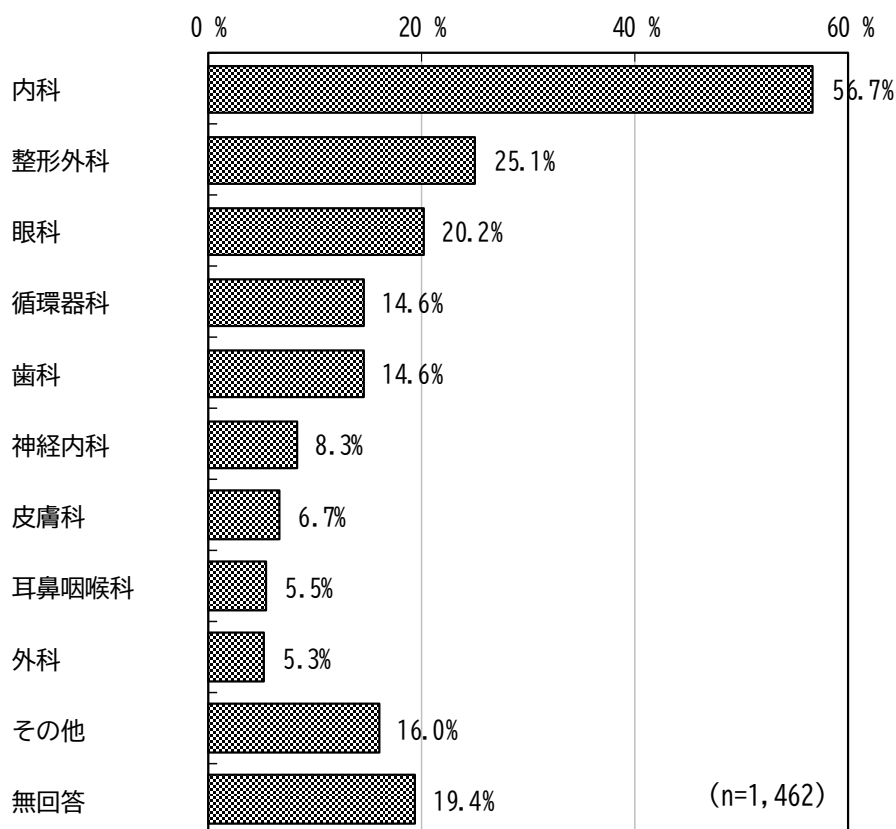
問11-1 どのくらいの頻度で、医療機関の通院や訪問診療を受けていますか（1つに○）。

「通院のみ」「通院と訪問診療」「訪問診療のみ」と回答した方の、医療機関の通院や訪問診療の頻度について、「月1回」が37.0%と最も高く、「月2回程度」が23.9%、「数か月に1回程度」が13.8%、「週2回以上」が7.1%、「週1回」が5.5%、「週2回以上」が7.1%、「週1回」が5.5%、「月2回程度」が23.9%、「月1回」が37.0%、「数か月に1回程度」が13.8%、「定期的ではない」が1.8%となっている。



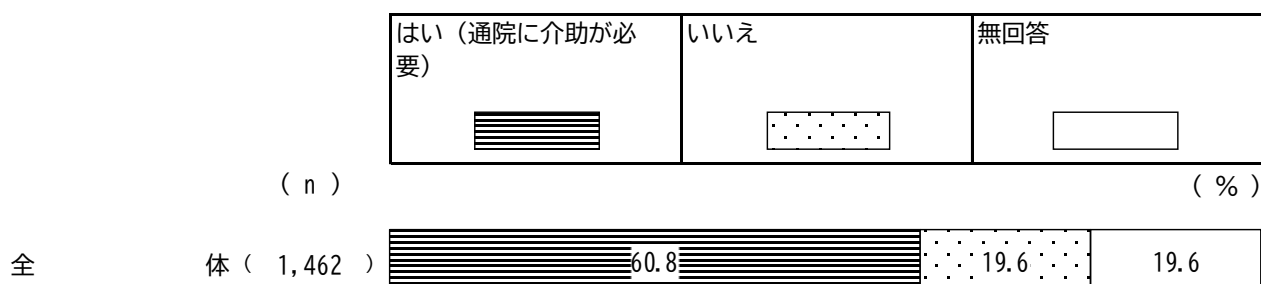
問11-2 通院で受診している診療科目は何ですか（いくつでも○）。

「通院のみ」「通院と訪問診療」と回答した方の、通院で受診している診療科目について、「内科」が56.7%と最も高く、「整形外科」が25.1%、「眼科」が20.2%、「循環器科」が14.6%、「歯科」が14.6%、「神経内科」が8.3%、「皮膚科」が6.7%、「耳鼻咽喉科」が5.5%、「外科」が5.3%となっている。



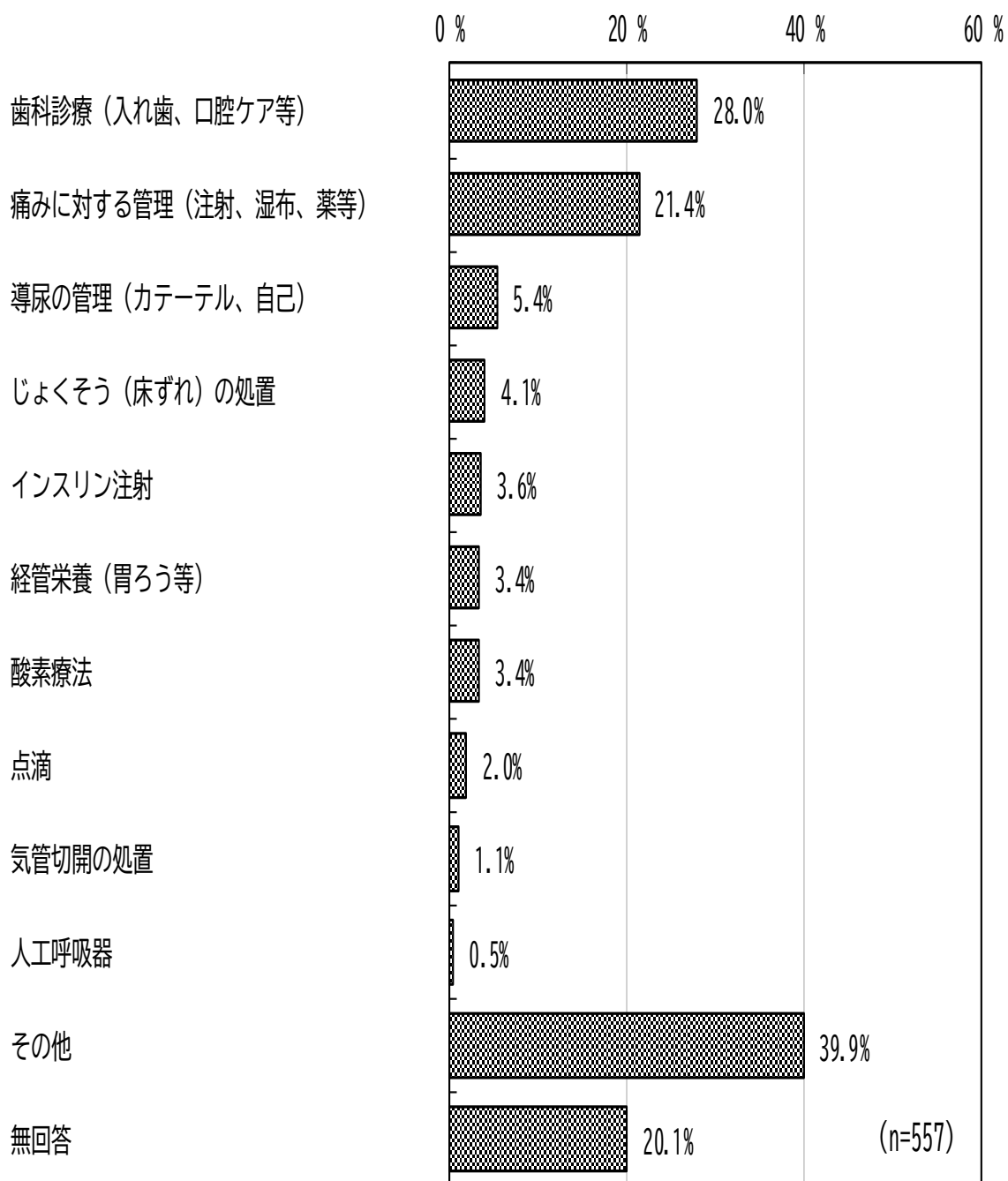
問11-3 通院に介助が必要ですか（1つに○）。

「通院のみ」「通院と訪問診療」と回答した方の、通院における介助が必要かについて、「はい（通院に介助が必要）」が60.8%、「いいえ」が19.6%となっている。



問11-4 訪問診療（往診含む）で受診しているものは、どのような内容ですか（いくつでも○）。

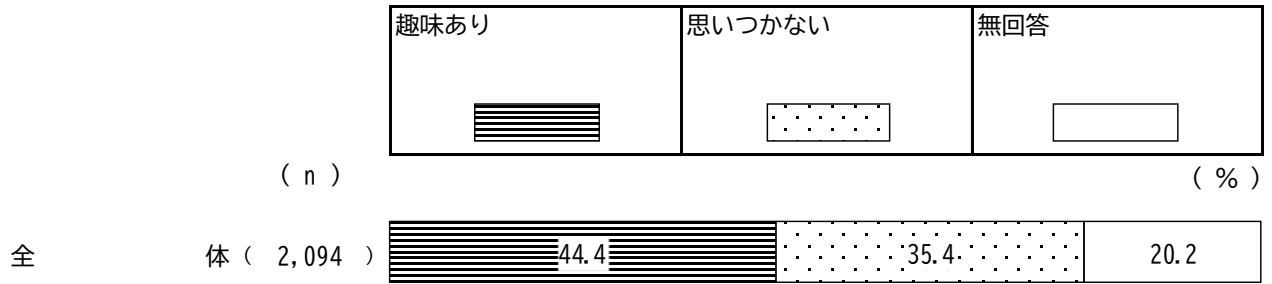
「通院と訪問診療」「訪問診療のみ」と回答した方の、訪問診療（往診含む）で受診している内容について、「その他」を除くと、「歯科診療（入れ歯、口腔ケア等）」が28.0%と最も高く、「痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）」が21.4%、「導尿の管理（カテーテル、自己）」が5.4%、「じょくそう（床ずれ）の処置」が4.1%、「インスリン注射」が3.6%、「経管栄養（胃ろう等）」「酸素療法」が3.4%、「点滴」が2.0%、「気管切開の処置」が1.1%、「人工呼吸器」が0.5%となっている。



(3) 日常生活等について

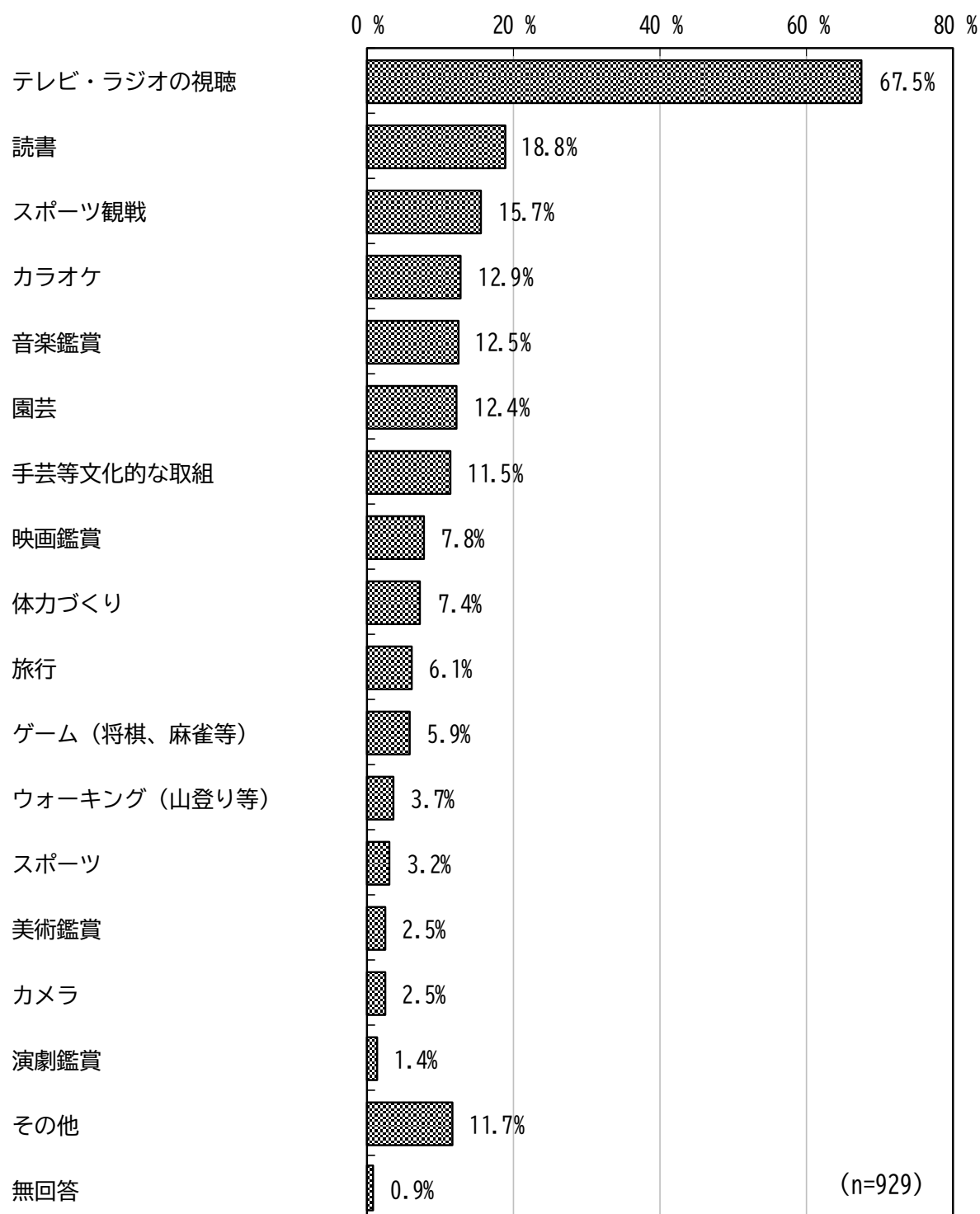
問12 趣味はありますか(1つに○)。

趣味について、「趣味あり」が44.4%、「思いつかない」が35.4%となっている。



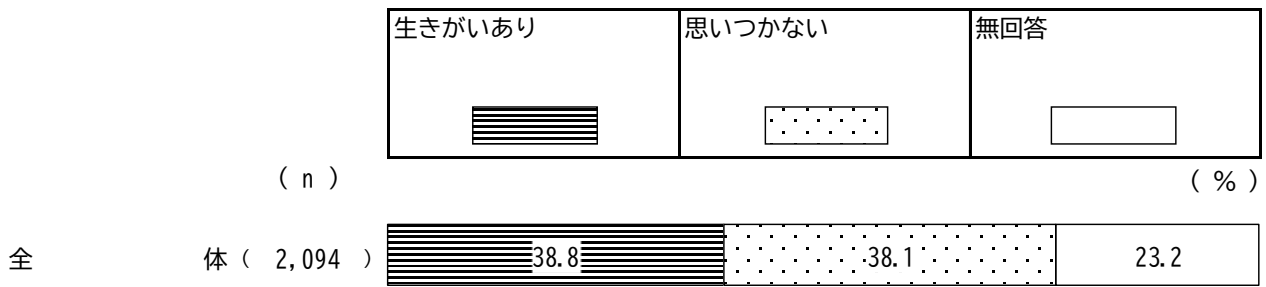
問12-1 どのようなことを趣味にしていますか（いくつでも○）。

「趣味あり」と回答した方の趣味の内容について、「テレビ・ラジオの視聴」が67.5%と最も高く、「読書」が18.8%、「スポーツ観戦」が15.7%、「カラオケ」が12.9%、「音楽鑑賞」が12.5%、「園芸」が12.4%、「手芸等文化的な取組」が11.5%、「映画鑑賞」が7.8%、「体力づくり」が7.4%、「旅行」が6.1%、「ゲーム（将棋、麻雀等）」が5.9%、「ウォーキング（山登り等）」が3.7%、「スポーツ」が3.2%、「美術鑑賞」「カメラ」が2.5%、「演劇鑑賞」が1.4%となっている。



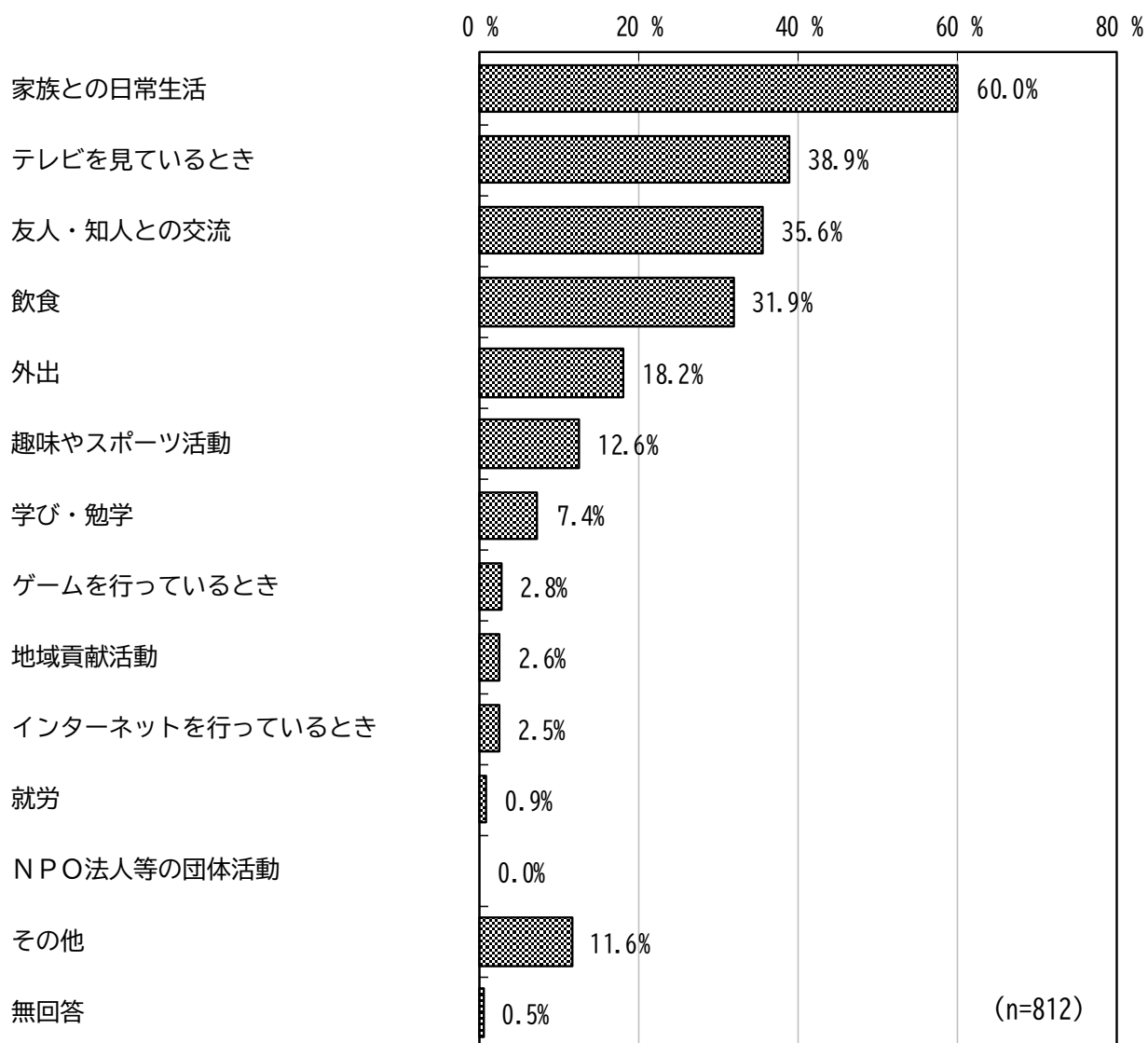
問13 生きがいがありますか（1つに○）。

生きがいについて、「生きがいあり」が38.8%、「思いつかない」が38.1%となっている。



問13-1 どのようなことに生きがいを感じますか（いくつでも○）。

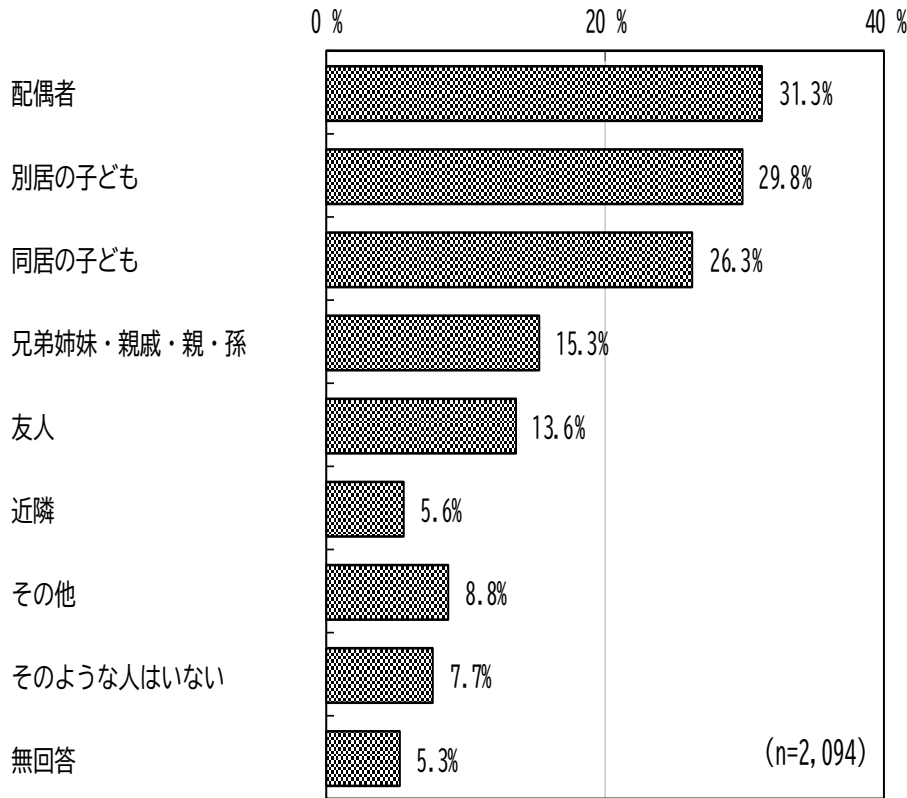
「生きがいあり」と回答した方の生きがいの内容について、「家族との日常生活」が60.0%と最も高く、「テレビを見ているとき」が38.9%、「友人・知人との交流」が35.6%、「飲食」が31.9%、「外出」が18.2%、「趣味やスポーツ活動」が12.6%、「学び・勉学」が7.4%、「ゲームを行っているとき」が2.8%、「地域貢献活動」が2.6%、「インターネットを行っているとき」が2.5%、「就労」が0.9%、「NPO法人等の団体活動」が0.0%となっている。





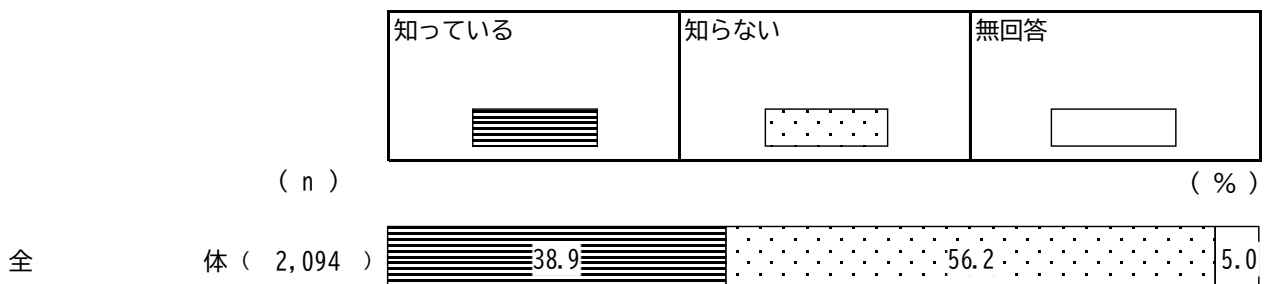
問14 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか（いくつでも○）。

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が31.3%と最も高く、「別居の子ども」が29.8%、「同居の子ども」が26.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が15.3%、「友人」が13.6%、「近隣」が5.6%となっている。また「そのような人はいない」が7.7%となっている。



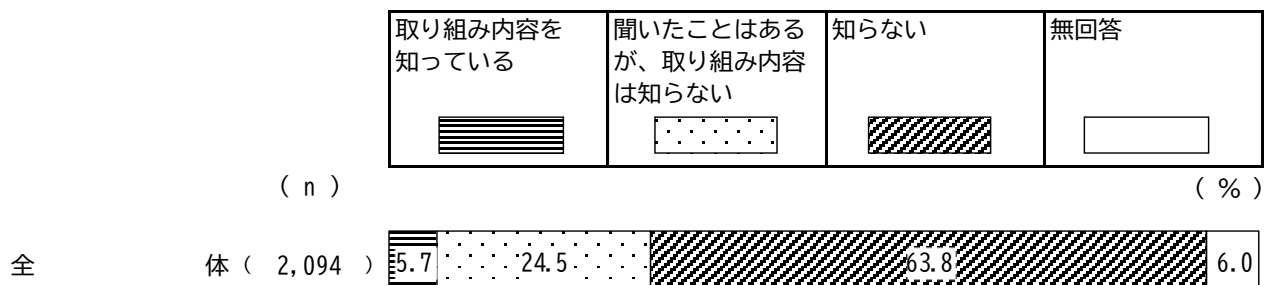
問15 消費者被害にあったときの相談先として、「足立区消費者センター」がありますが、ご存知ですか（1つに○）。

消費者被害の相談先としての「足立区消費者センター」の存在について、「知っている」が38.9%、「知らない」が56.2%となっている。



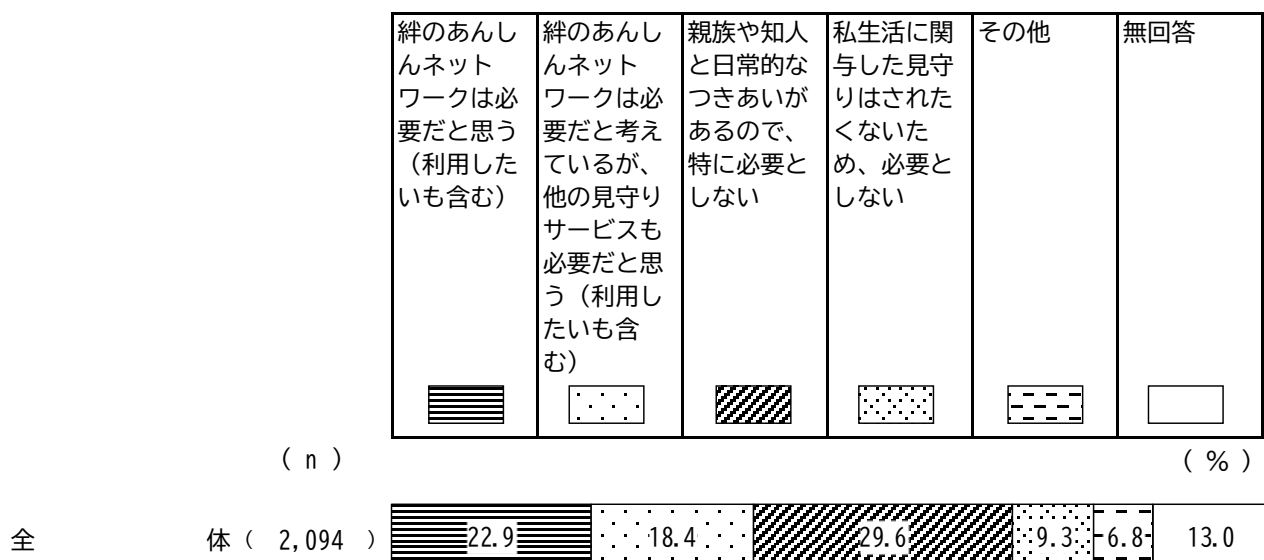
問16 「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」(近隣同士の見守り活動)の取り組みをご存知ですか(1つに○)。

「孤立ゼロプロジェクト」による取り組みについて、「知らない」が63.8%と最も高く、「聞いたことはあるが、取り組み内容は知らない」が24.5%、「取り組み内容を知っている」が5.7%となっている。



問17 「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」(近隣同士の見守り活動)による見守りや声かけを必要と思われますか(1つに○)。

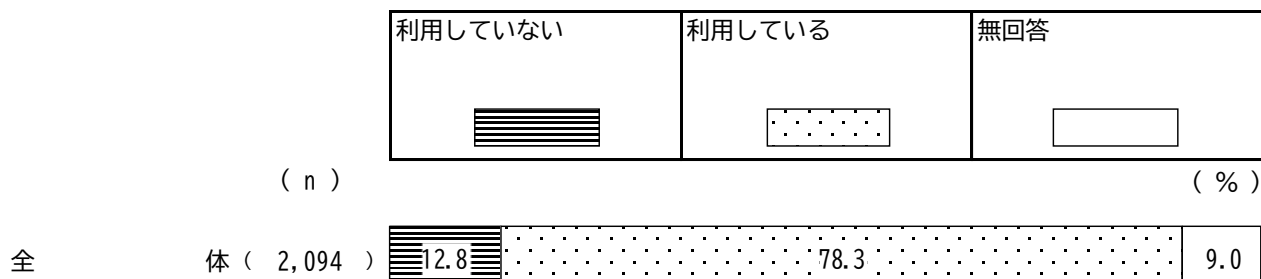
「孤立ゼロプロジェクト」による見守りや声かけについて、「親族や知人と日常的なつきあいがあるので、特に必要としない」が29.6%と最も高く、「絆のあんしんネットワークは必要だと思う(利用したいも含む)」が22.9%、「絆のあんしんネットワークは必要だと思っているが、他の見守りサービスも必要だと思う(利用したいも含む)」が18.4%、「私生活に関与した見守りはされたくないため、必要としない」が9.3%となっている。



## (4) 介護サービス等について

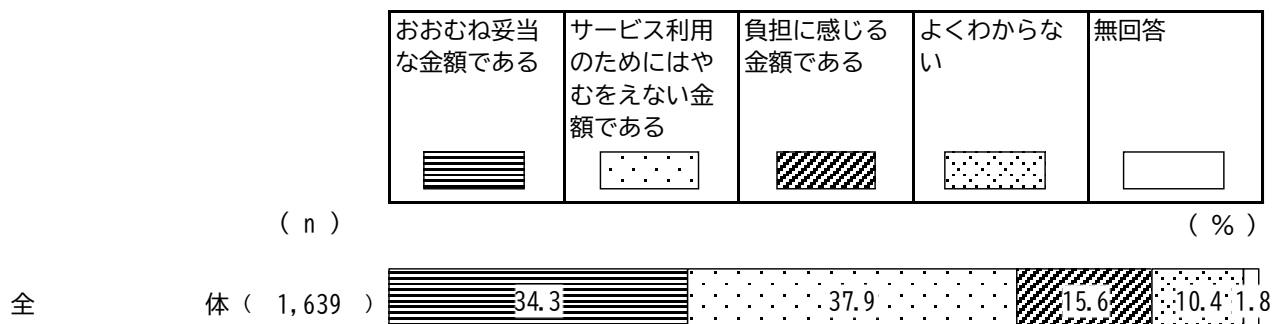
問18 あなたは、介護サービスを利用していますか（1つに○）。

介護サービスの利用状況について、「利用していない」が12.8%、「利用している」が78.3%となっている。



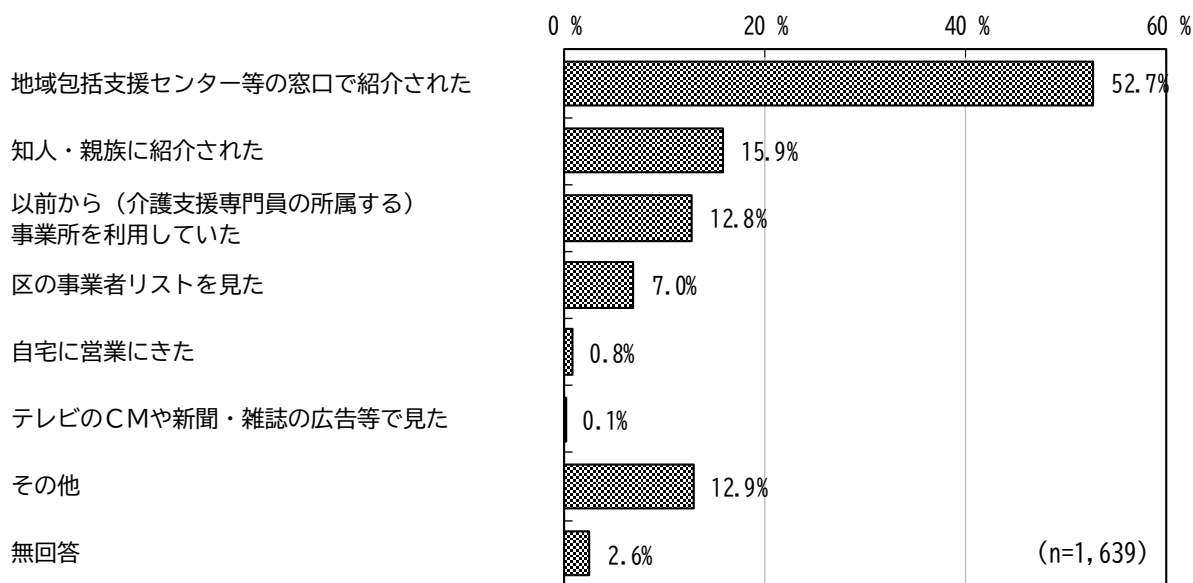
問18-1 介護サービスの自己負担額（サービス利用料の1割、2割または3割）について、あなたのご意見をおうかがいします（1つに○）。

介護サービスを「利用している」と回答した方の、自己負担額への考えについて、「サービス利用のためにはやむをえない金額である」が37.9%と最も多く、「おおむね妥当な金額である」が34.3%、「負担に感じる金額である」が15.6%、「よくわからない」が10.4%となっている。



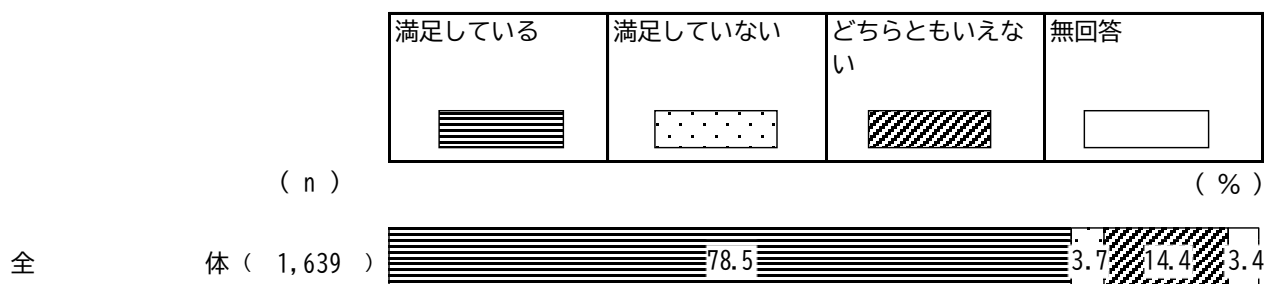
問18-2 あなたは、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）を、どのように選びましたか（いくつでも○）。

介護サービスを「利用している」と回答した方の、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）の選び方について、「地域包括支援センター等の窓口で紹介された」が52.7%と最も高く、「知人・親族で紹介された」が15.9%、「以前から（介護支援専門員の所属する）事業所を利用していた」が12.8%、「区の事業者リストを見た」が7.0%、「自宅に営業にきた」が0.8%、「テレビのCMや新聞・雑誌の広告等で見た」が0.1%となっている。



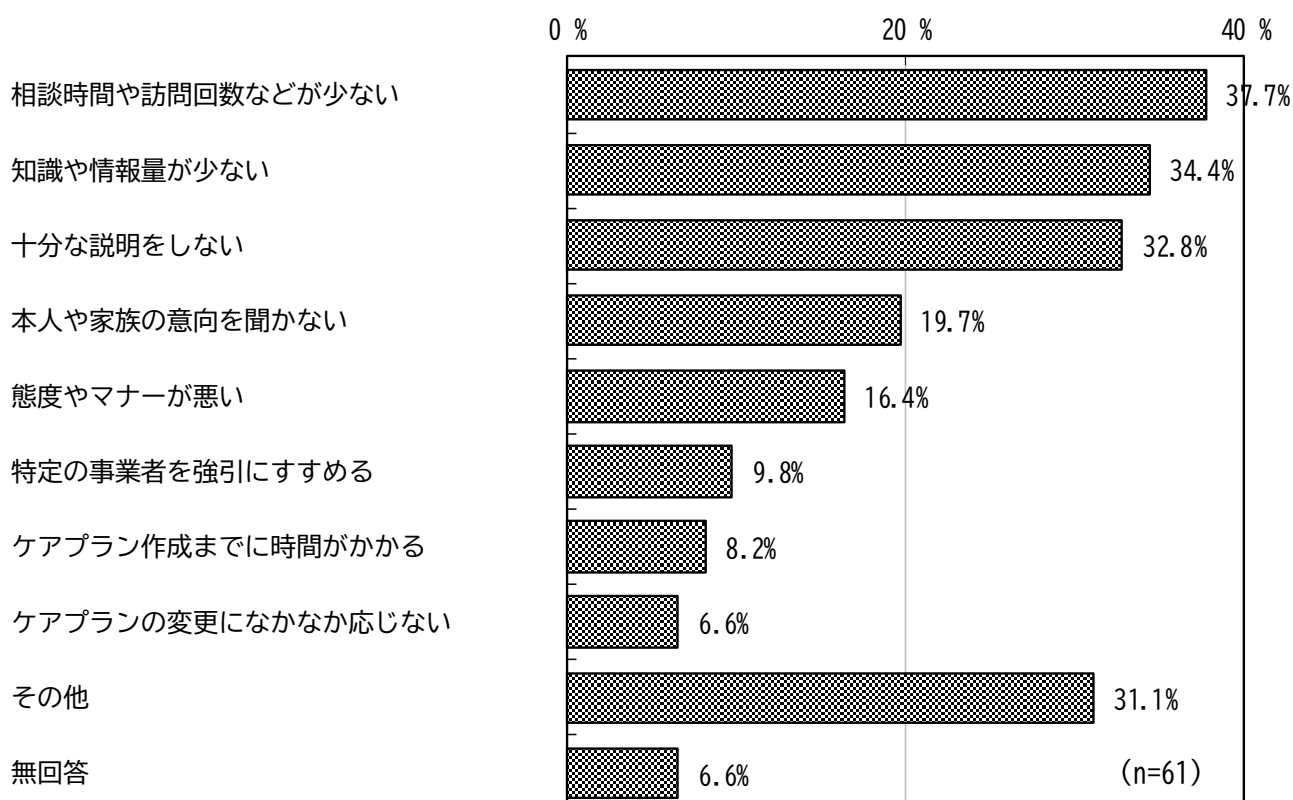
問18-3 あなたは、担当している介護支援専門員（ケアマネジャー）に満足していますか（1つに○）。

介護サービスを「利用している」と回答した方の、担当している介護支援専門員（ケアマネジャー）への満足度について、「満足している」が78.5%、「満足していない」が3.7%、「どちらともいえない」が14.4%となっている。



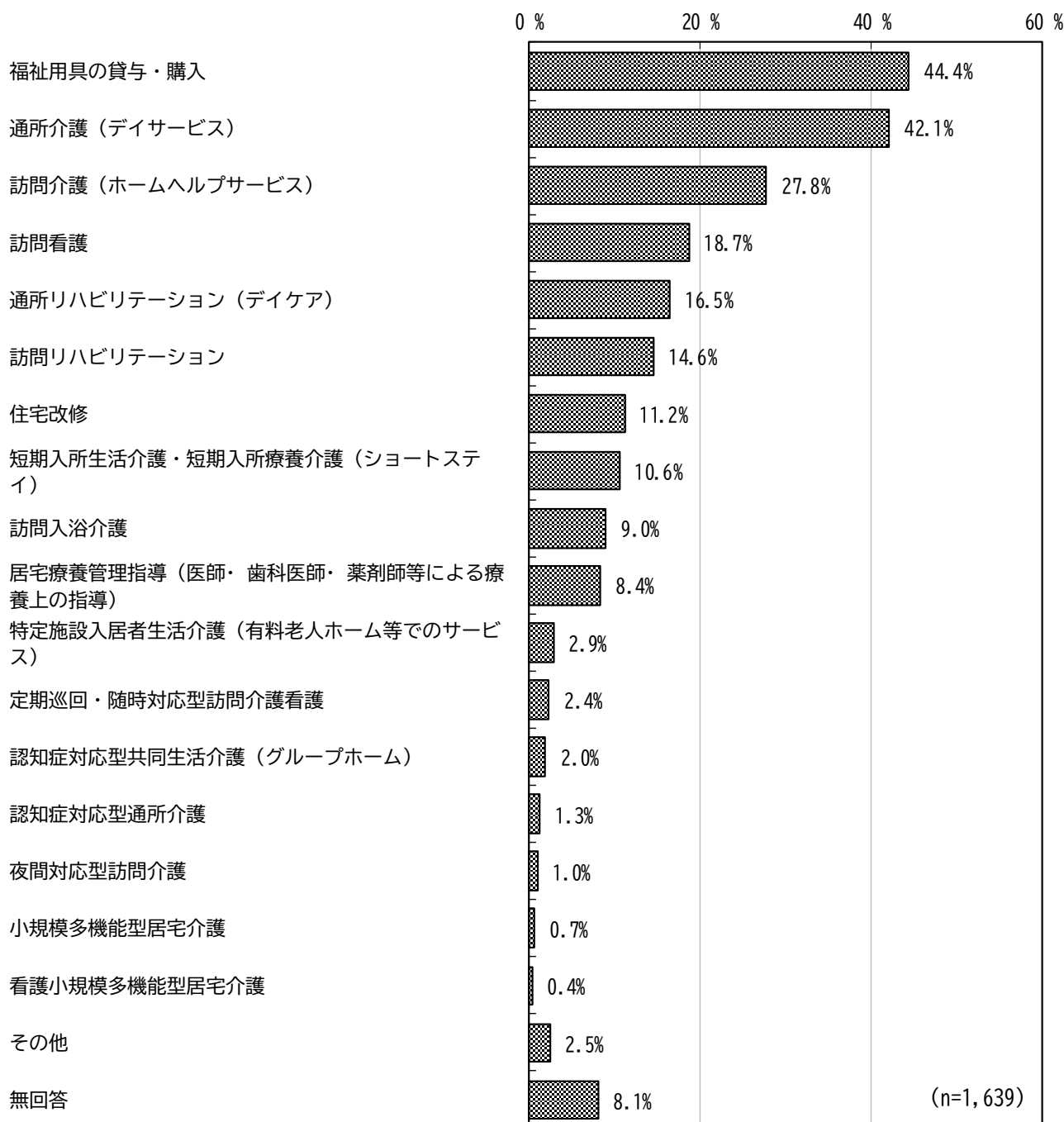
## 問18-4 あなたが不満に思われる点は、どのようなことですか（いくつでも○）。

担当している介護支援専門員（ケアマネジャー）に「満足していない」と回答した方が、不満に思われる点について、「相談時間や訪問回数などが少ない」が37.7%と最も高く、「知識や情報量が少ない」が34.4%、「十分な説明をしない」が32.8%、「本人や家族の意向を聞かない」が19.7%、「態度やマナーが悪い」が16.4%、「特定の事業者を強引にすすめる」が9.8%、「ケアプラン作成までに時間がかかる」が8.2%、「ケアプランの変更になかなか応じない」が6.6%となっている。



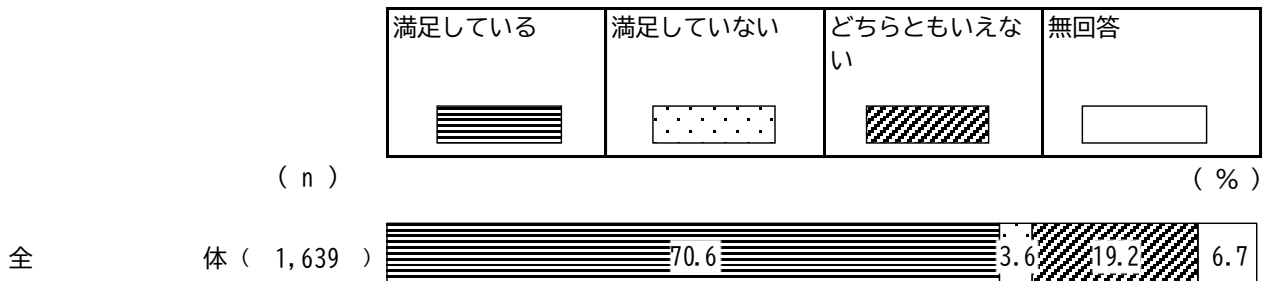
問18-5 現在利用している介護保険サービスは次のうちどれですか  
(いくつでも○)。

介護サービスを「利用している」と回答した方の、現在利用している介護保険サービスについて、「福祉用具の貸与・購入」が44.4%と最も高く、「通所介護（デイサービス）」が42.1%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が27.8%、「訪問看護」が18.7%、「通所リハビリテーション（デイケア）」が16.5%と続いている。



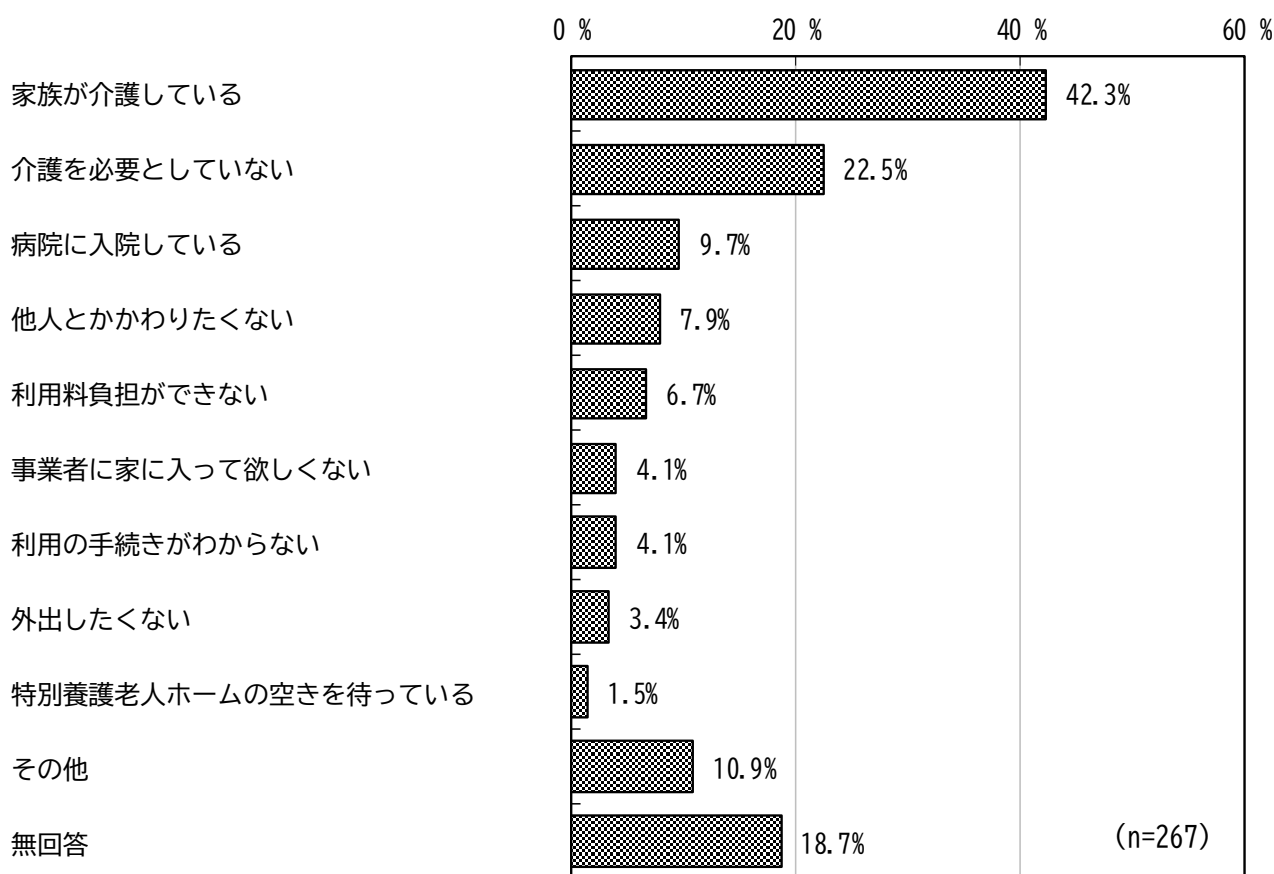
問18-6 あなたは、現在利用しているサービスに満足していますか（1つに○）。

介護サービスを「利用している」と回答した方の、現在利用しているサービスへの満足度について、「満足している」が70.6%、「満足していない」が3.6%、「どちらともいえない」が19.2%となっている。



問18-7 介護サービスを利用していない理由を、お聞かせください  
(いくつでも○)。

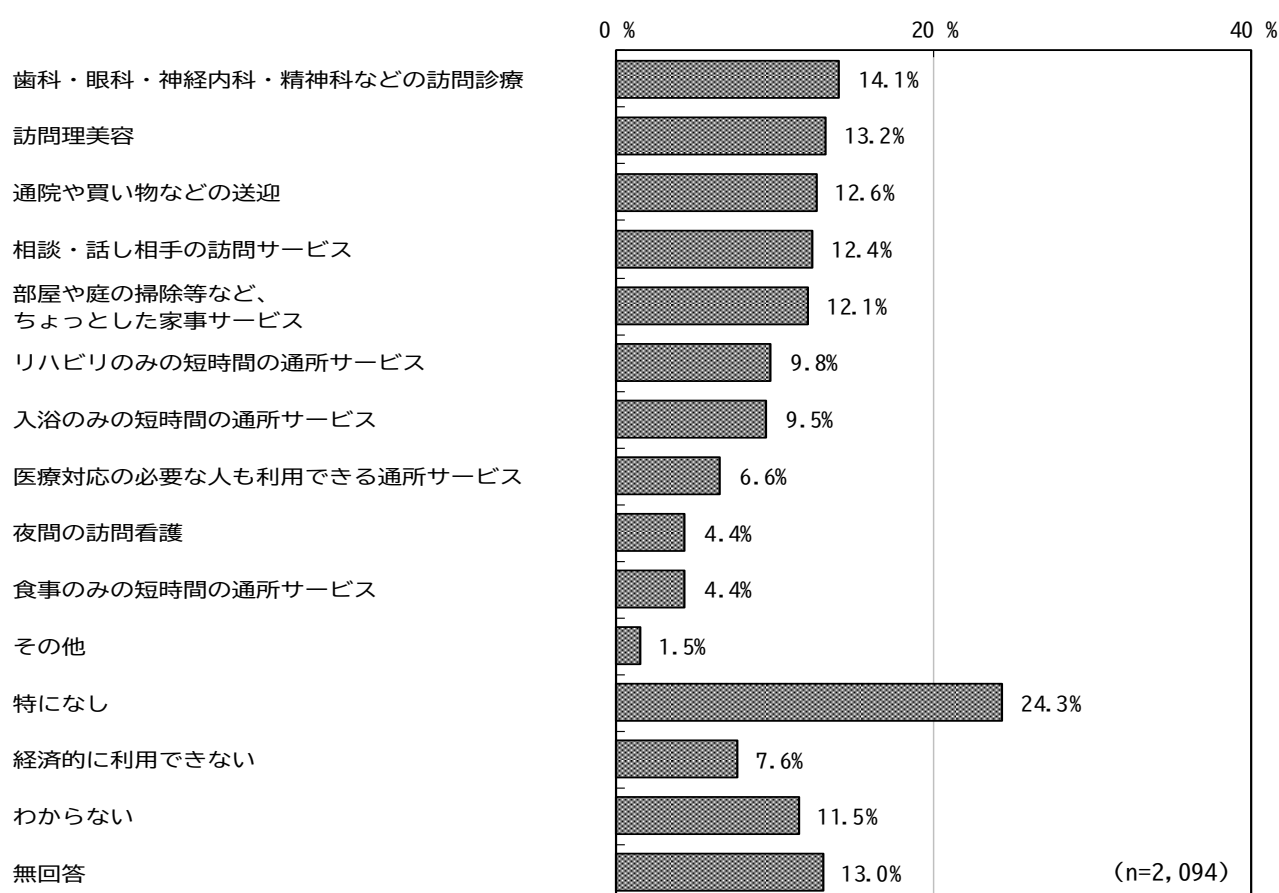
介護サービスを「利用していない」と回答した方の、介護サービスを利用していない理由として、「家族が介護している」が42.3%と最も高く、「介護を必要としていない」が22.5%、「病院に入院している」が9.7%、「他人とかかわりたくない」が7.9%、「利用料負担ができない」が6.7%、「事業者に入居して欲しくない」「利用の手続きがわからない」が4.1%、「外出したくない」が3.4%、「特別養護老人ホームの空きを待っている」が1.5%となっている。





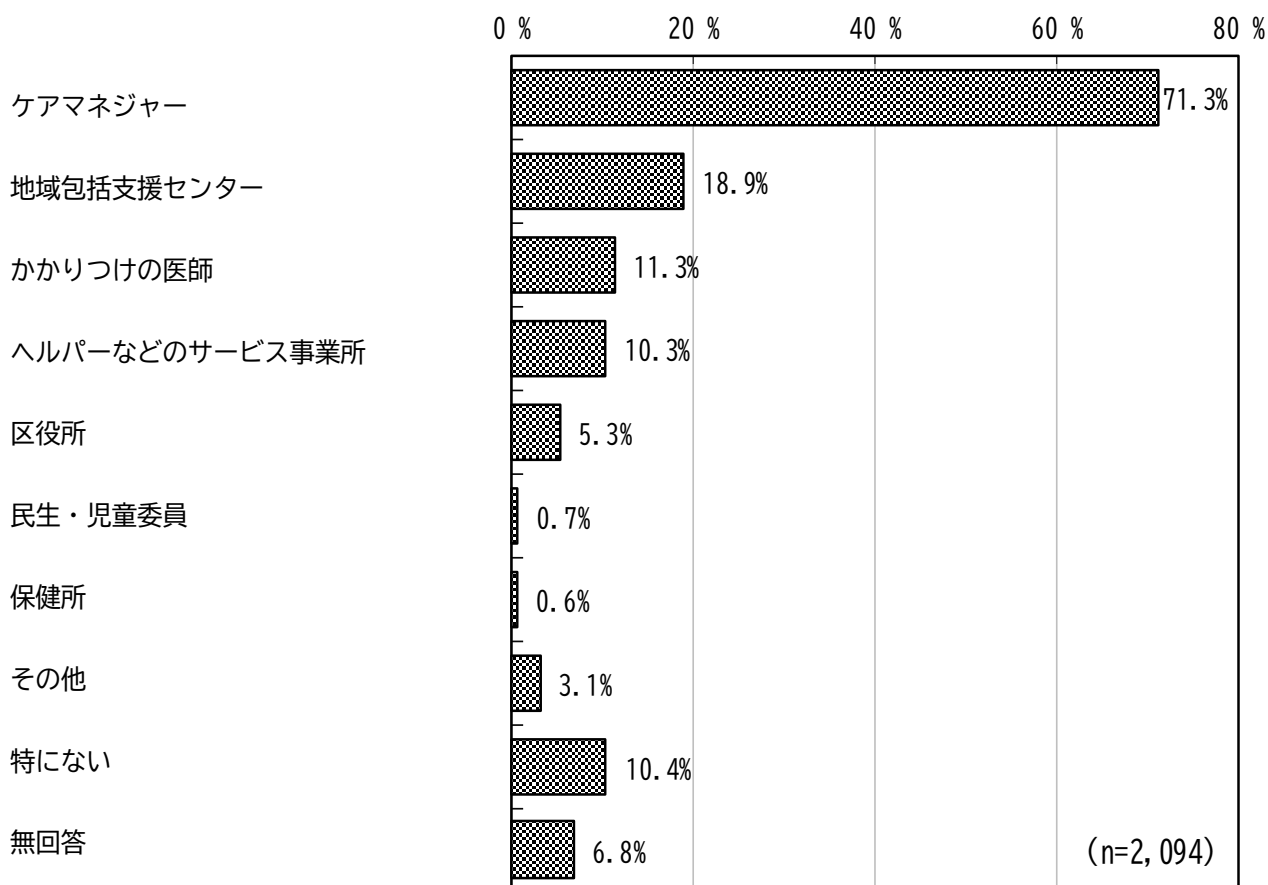
問19 あなたは、介護サービス対象外の以下のようなサービスを今後利用したいと思いますか（いくつでも○）。

介護サービス対象外のサービスの今後の利用意向について、「歯科・眼科・神経内科・精神科などの訪問診療」が14.1%と最も高く、「訪問理美容」が13.2%、「通院や買い物などの送迎」が12.6%、「相談・話し相手の訪問サービス」が12.4%、「部屋や庭の掃除等など、ちょっとした家事サービス」が12.1%、「リハビリのみの短時間の通所サービス」が9.8%、「入浴のみの短時間の通所サービス」が9.5%、「医療対応の必要な人も利用できる通所サービス」が6.6%、「夜間の訪問看護」「食事のみの短時間の通所サービス」が4.4%となっている。また「特になし」が24.3%、「経済的に利用できない」が7.6%、「わからない」が11.5%となっている。



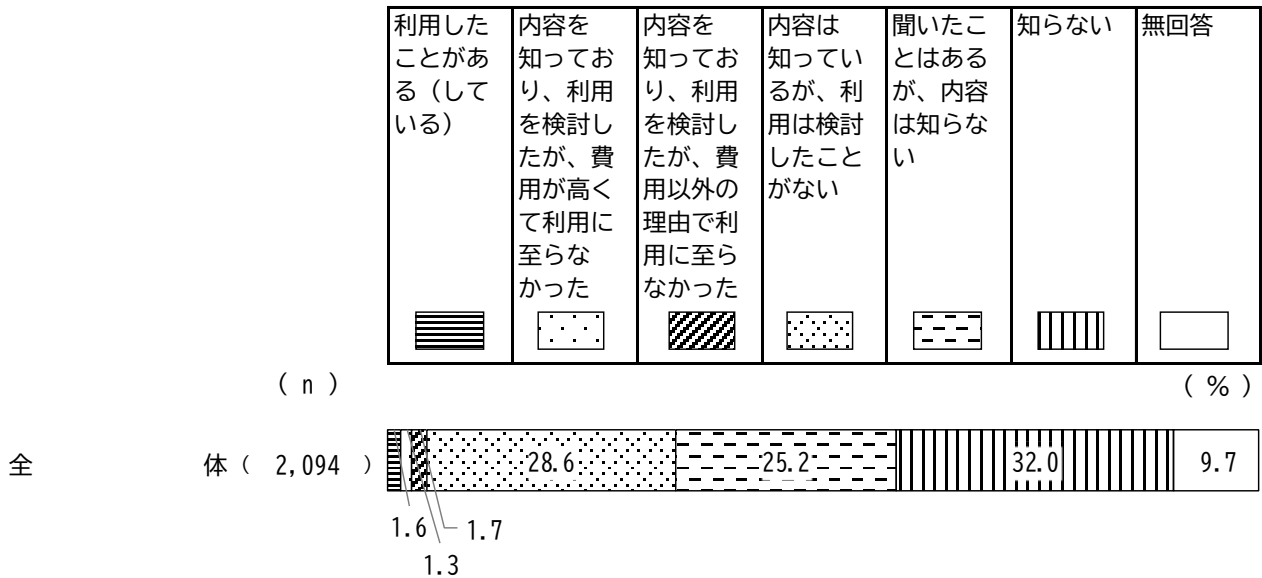
問20 介護保険制度をはじめとする、色々な高齢者制度の内容やサービスについて、あなたが相談しているところをお教えてください（いくつでも○）。

高齢者制度の内容やサービスを相談しているところについて、「ケアマネジャー」が71.3%と最も高く、「地域包括支援センター」が18.9%、「かかりつけの医師」が11.3%、「ヘルパーなどのサービス事業所」が10.3%、「区役所」が5.3%、「民生・児童委員」が0.7%、「保健所」が0.6%となっている。また「特にない」が10.4%となっている。



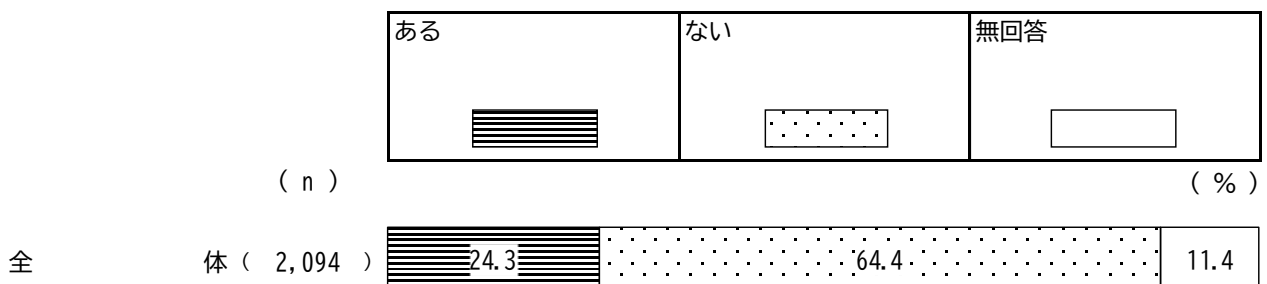
問21 成年後見制度についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか（1つに○）。

成年後見制度について、「知らない」が32.0%と最も高く、「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が28.6%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が25.2%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用以外で利用に至らなかった」が1.7%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった」が1.3%、「利用したことがある（している）」が1.6%、「内容を知らず、利用を検討したが、費用以外で利用に至らなかった」が1.6%、「内容を知らず、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった」が1.3%となっている。



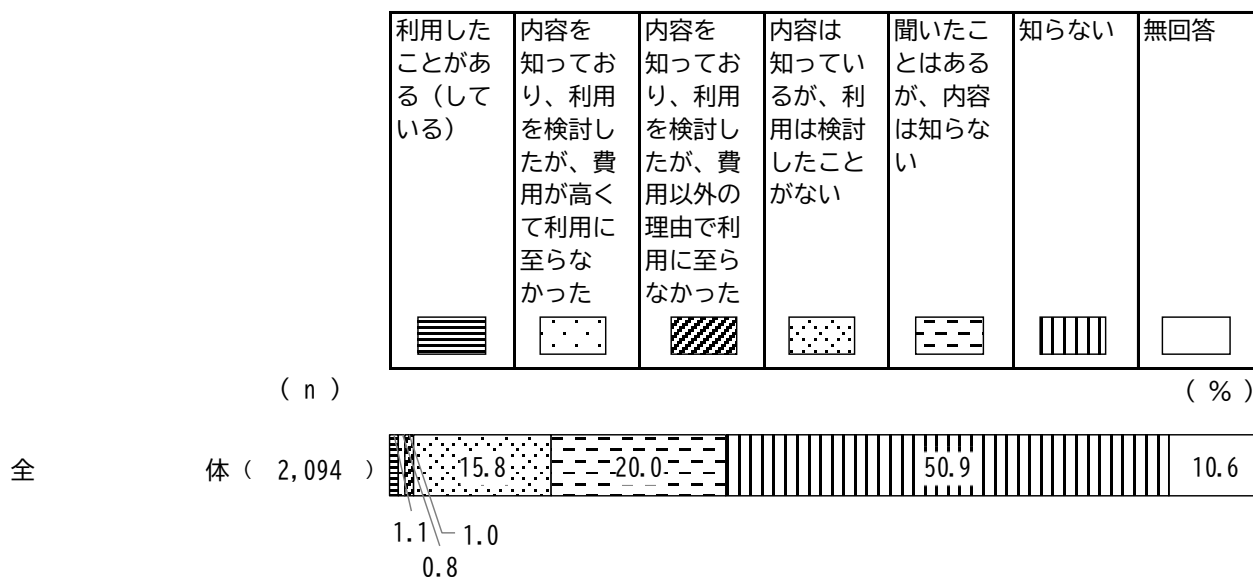
問22 成年後見制度について関心がありますか（1つに○）。

成年後見制度について、関心が「ある」が24.3%、「ない」が64.4%となっている。



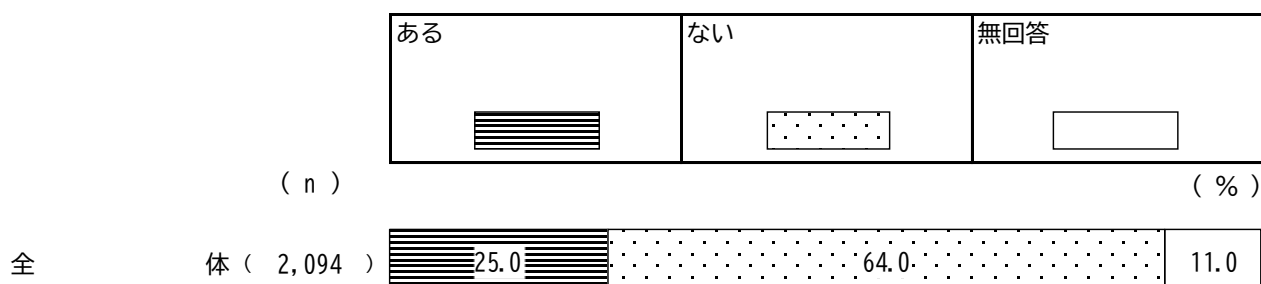
問23 任意後見制度についてご存知ですか。また利用を検討したことがありますか（1つに○）。

任意後見制度について、「知らない」が50.9%と最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が20.0%、「内容は知っているが、利用は検討したことがない」が15.8%、「利用したことがある（している）」が1.1%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用が高くて利用に至らなかった」が1.0%、「内容を知っており、利用を検討したが、費用以外の理由で利用に至らなかった」が0.8%となっている。



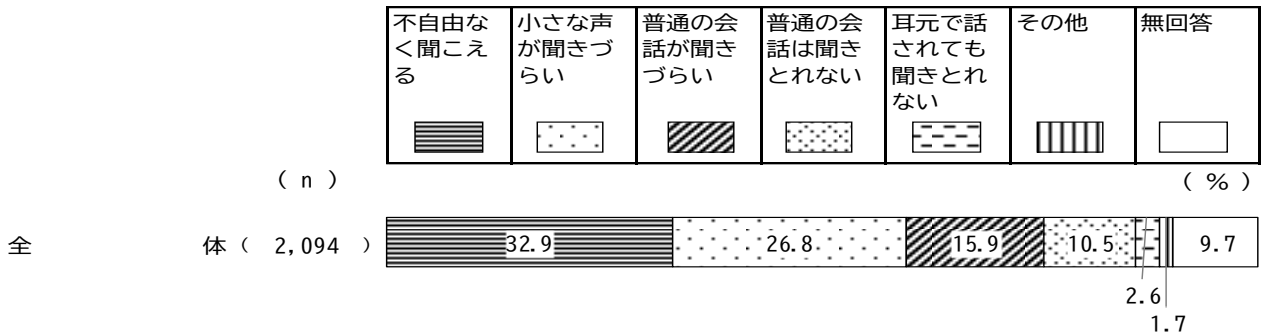
問24 任意後見制度について関心がありますか（1つに○）。

任意後見制度について、関心が「ある」が25.0%、「ない」が64.0%となっている。



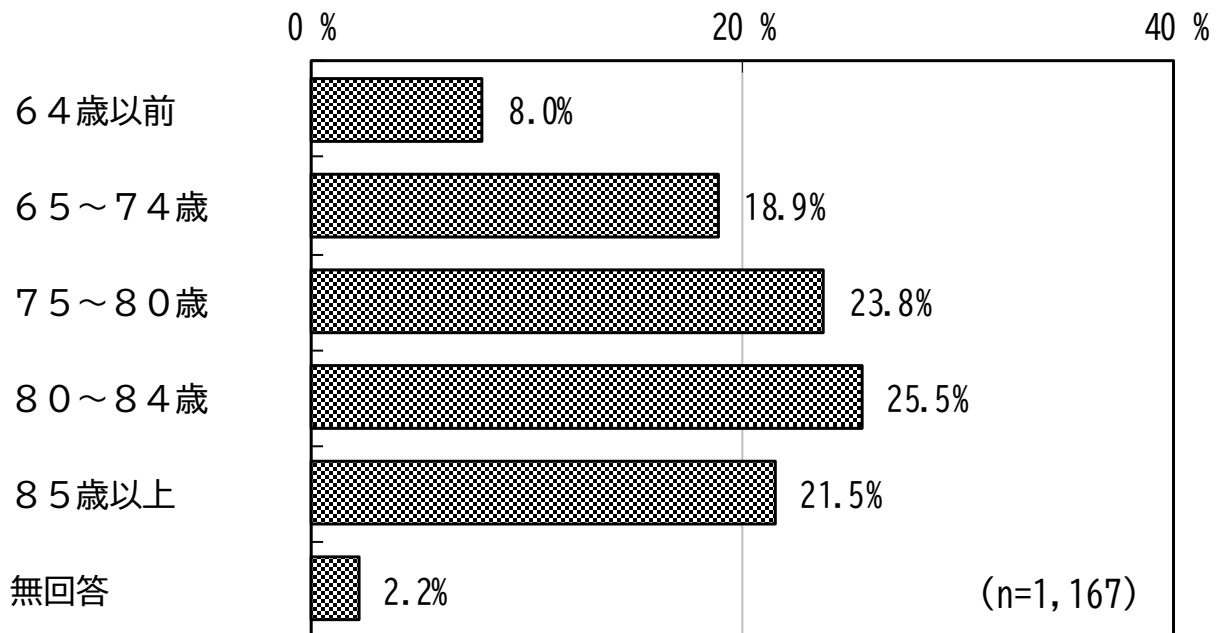
問25 近年、「難聴」のリスクを改善することにより、認知症の発症を遅らせたり予防する効果が期待できると報告されています。そこで、現在のあなたの日常生活において耳の聞こえについてお伺いします（1つに○）。

日常生活における耳の聞こえについて、「不自由なく聞こえる」が32.9%と最も高く、「小さな声が聞きづらい」が26.8%、「普通の会話が聞きづらい」が15.9%、「普通の会話は聞きとれない」が10.5%、「耳元で話されても聞きとれない」が2.6%となっている。



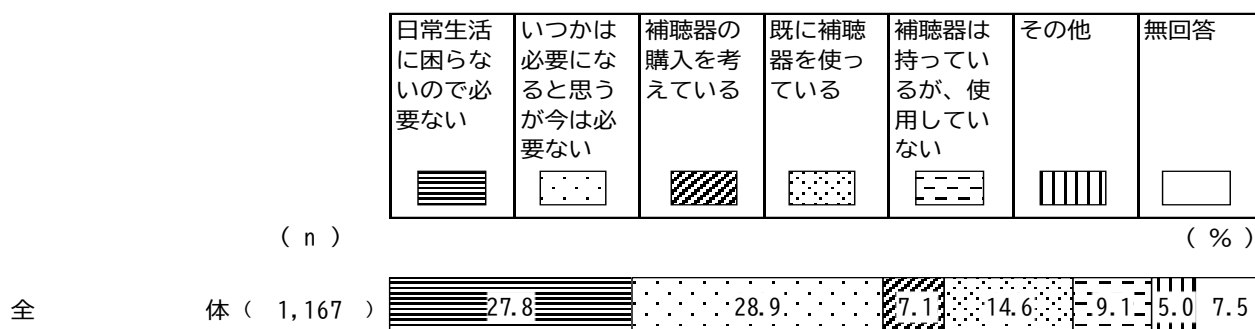
問25-1 聞こえづらいつ感じようになつたのはいつ頃からですか（1つに○）。

日常生活における耳の聞こえについて、「小さな声が聞きづらい」「普通の会話が聞きづらい」「普通の会話は聞きとれない」「耳元で話されても聞きとれない」と回答した方が、聞こえづらいつ感じようになつた時期について、「80～84歳」が25.5%と最も高く、「75～80歳」が23.8%、「85歳以上」が21.5%、「65～74歳」が18.9%、「64歳以前」が8.0%となっている。



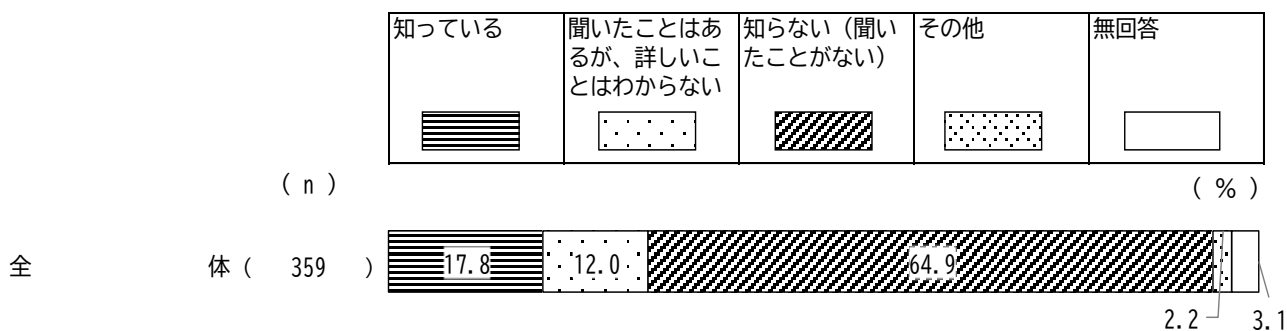
問25-2 現在、補聴器が必要ですか（1つに○）

日常生活における耳の聞こえについて、「小さな声が聞きづらい」「普通の会話が聞きづらい」「普通の会話は聞きとれない」「耳元で話されても聞きとれない」と回答した方の補聴器の必要度について、「いつかは必要になると思うが今は必要ない」が28.9%と最も高く、「日常生活に困らないので必要ない」が27.8%、「既に補聴器を使っている」が14.6%、「補聴器は持っているが、使用していない」が9.1%、「補聴器の購入を考えている」が7.1%となっている。



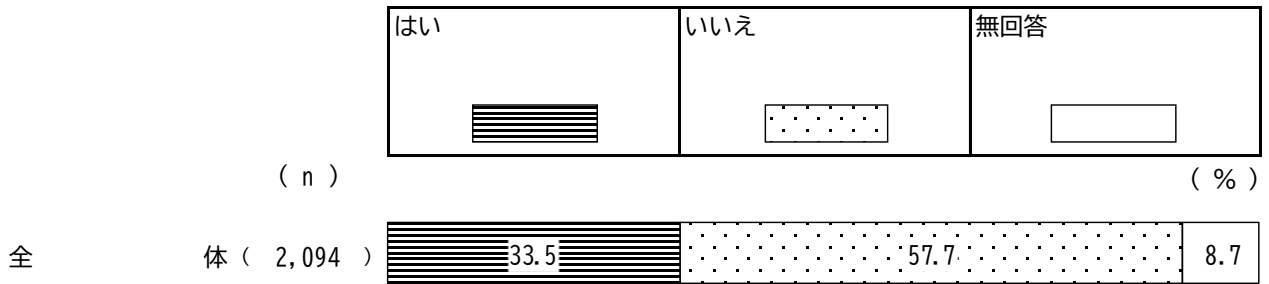
問25-3 足立区の補聴器購入助成制度を知っていますか（1つに○）。

「補聴器の購入を考えている」「既に補聴器を使っている」「補聴器は持っているが、使用していない」と回答した方の補聴器購入助成制度の認知について、「知らない（聞いたことがない）」が64.9%と最も高く、「知っている」が17.8%、「聞いたことはあるが、詳しいことはわからない」が12.0%となっている。



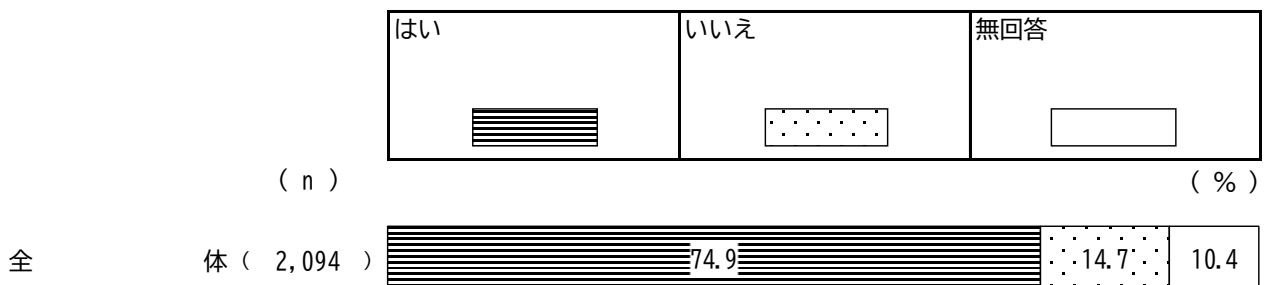
問26 認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つに○）。

認知症に関する相談窓口の認知について、「はい」が33.5%、「いいえ」が57.7%となっている。



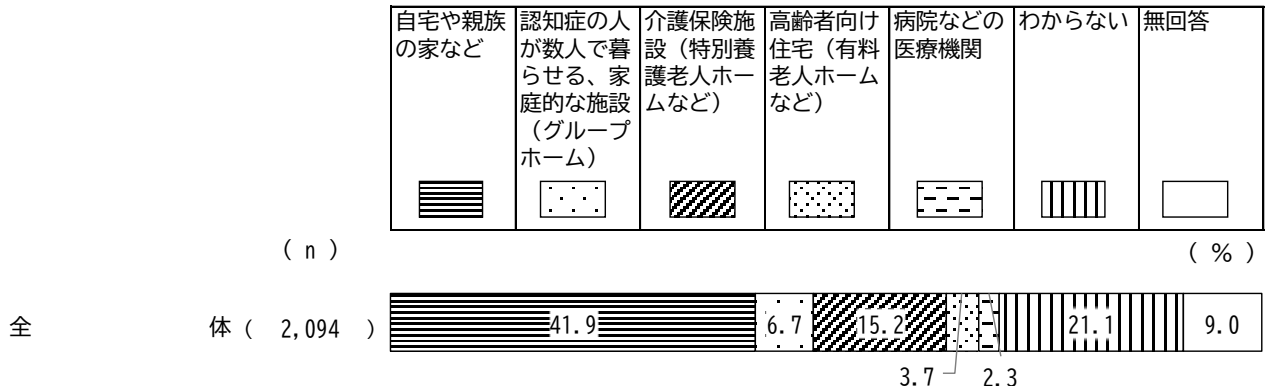
問27 将来、あなたが認知症になったら、周囲（家族や友人など）に公表しますか（1つに○）。

将来、認知症になったら、周囲（家族や友人など）に公表するかどうかについて、「はい」が74.9%、「いいえ」が14.7%となっている。



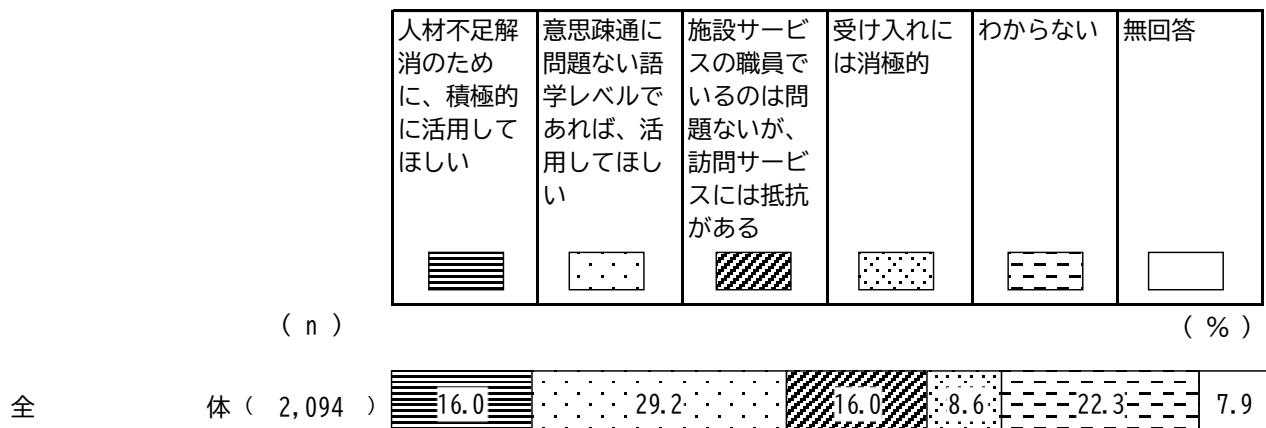
問28 将来、あなたが認知症になったら、どこで暮らしたいですか（1つに○）。

将来、認知症になった場合に暮らしたい場所について、「自宅や親族の家など」が41.9%と最も高く、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）」が15.2%、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）」が6.7%、「高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）」が3.7%、「病院などの医療機関」が2.3%、「わからない」が21.1%となっている。



問29 介護サービスに関して、国では外国人材の活用が推進されていますが、どのようにお考えですか（1つに○）。

介護サービスにおける外国人材の活用について、「意思疎通に問題ない語学レベルであれば、活用してほしい」が29.2%と最も高く、「人材不足解消のために、積極的に活用してほしい」が16.0%、「施設サービスの職員でいるのは問題ないが、訪問サービスには抵抗がある」が16.0%、「受け入れには消極的」が8.6%、「わからない」が22.3%となっている。

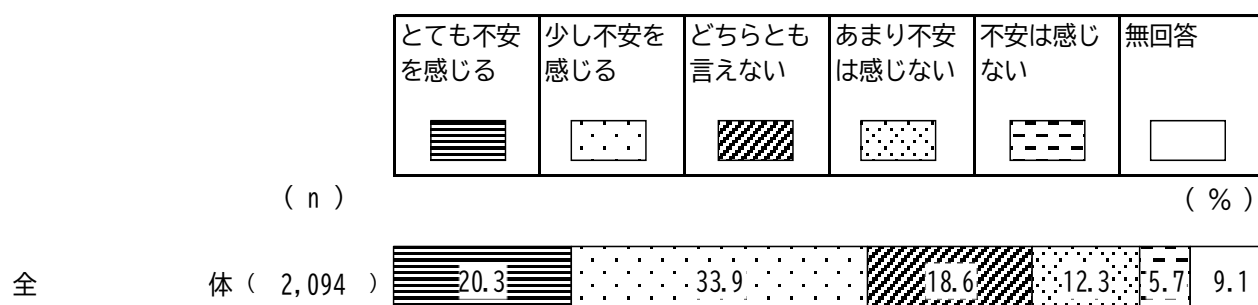




## (5) 今後の生活について

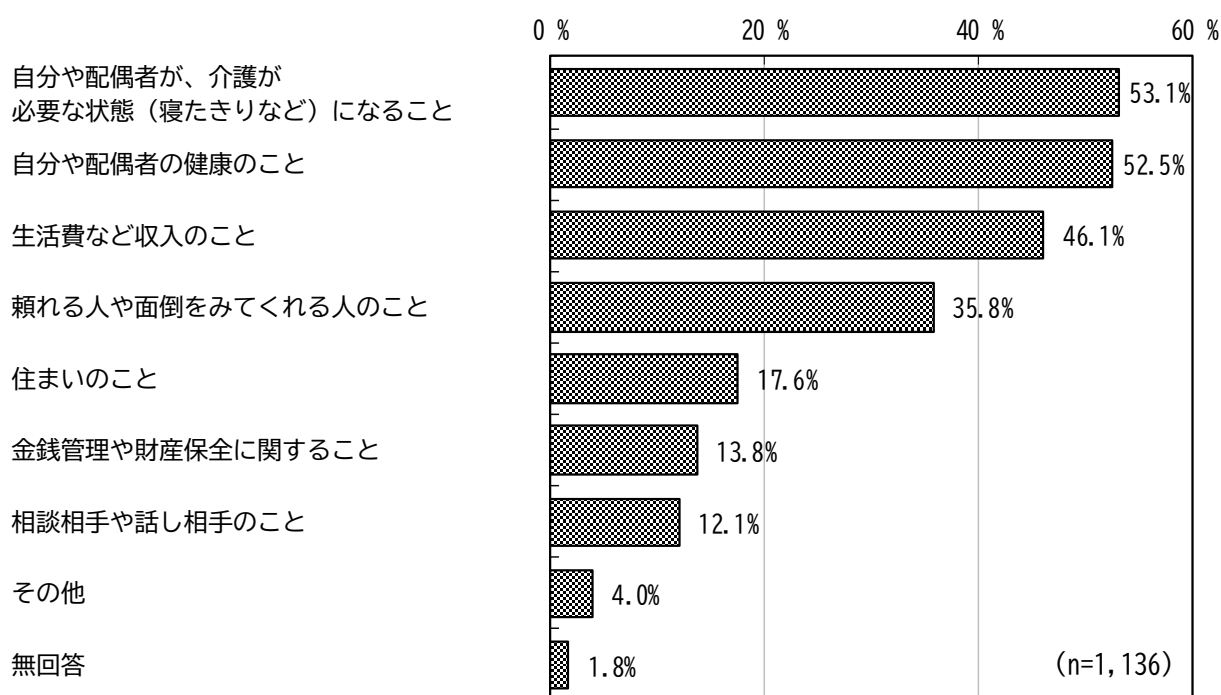
問30 あなたは、今後の生活についてどのように感じていますか（1つに○）。

今後の生活について、「少し不安を感じる」が33.9%と最も高く、「とても不安を感じる」が20.3%、「どちらとも言えない」が18.6%、「あまり不安は感じない」が12.3%、「不安は感じない」が5.7%となっている。



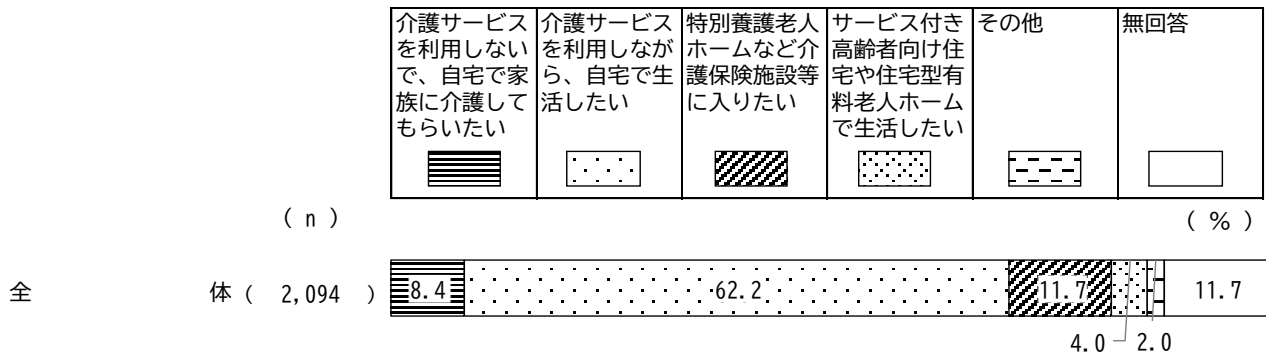
問30-1 不安を感じるのはどのようなことですか（いくつでも○）。

今後の生活について、「とても不安を感じる」または「少し不安を感じる」と回答した方の不安を感じることにについて、「自分や配偶者が、介護が必要な状態（寝たきりなど）になること」が53.1%と最も高く、「自分や配偶者の健康のこと」が52.5%、「生活費など収入のこと」が46.1%、「頼れる人や面倒をみてくれる人のこと」が35.8%、「住まいのこと」が17.6%、「金銭管理や財産保全に関すること」が13.8%、「相談相手や話し相手のこと」が12.1%となっている。



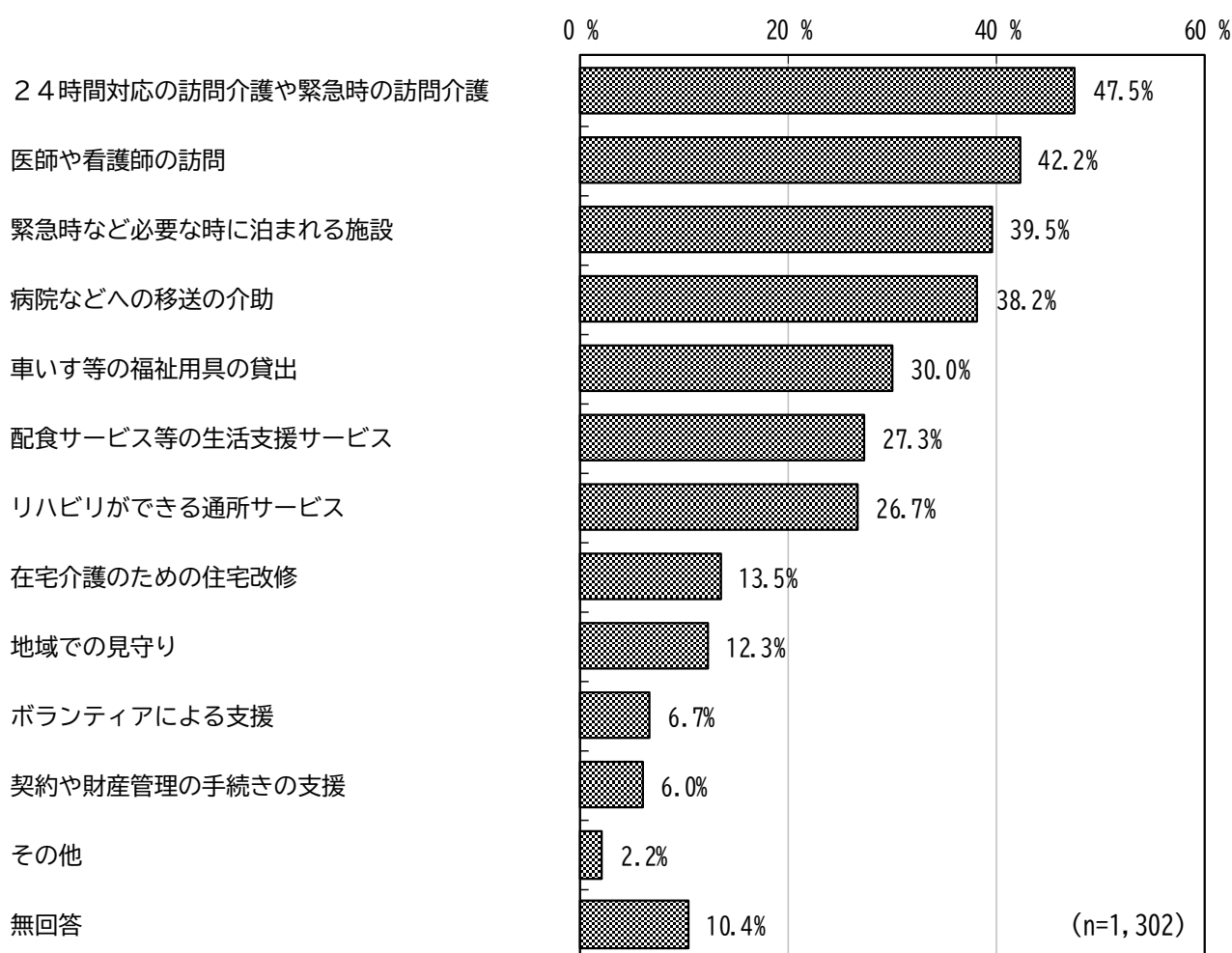
問31 今後どのような介護を希望しますか（1つに○）。

今後の介護の希望として、「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」が62.2%と最も高く、「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」が11.7%、「介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい」が8.4%、「サービス付き高齢者向け住宅や住宅型有料老人ホームで生活したい」が4.0%となっている。



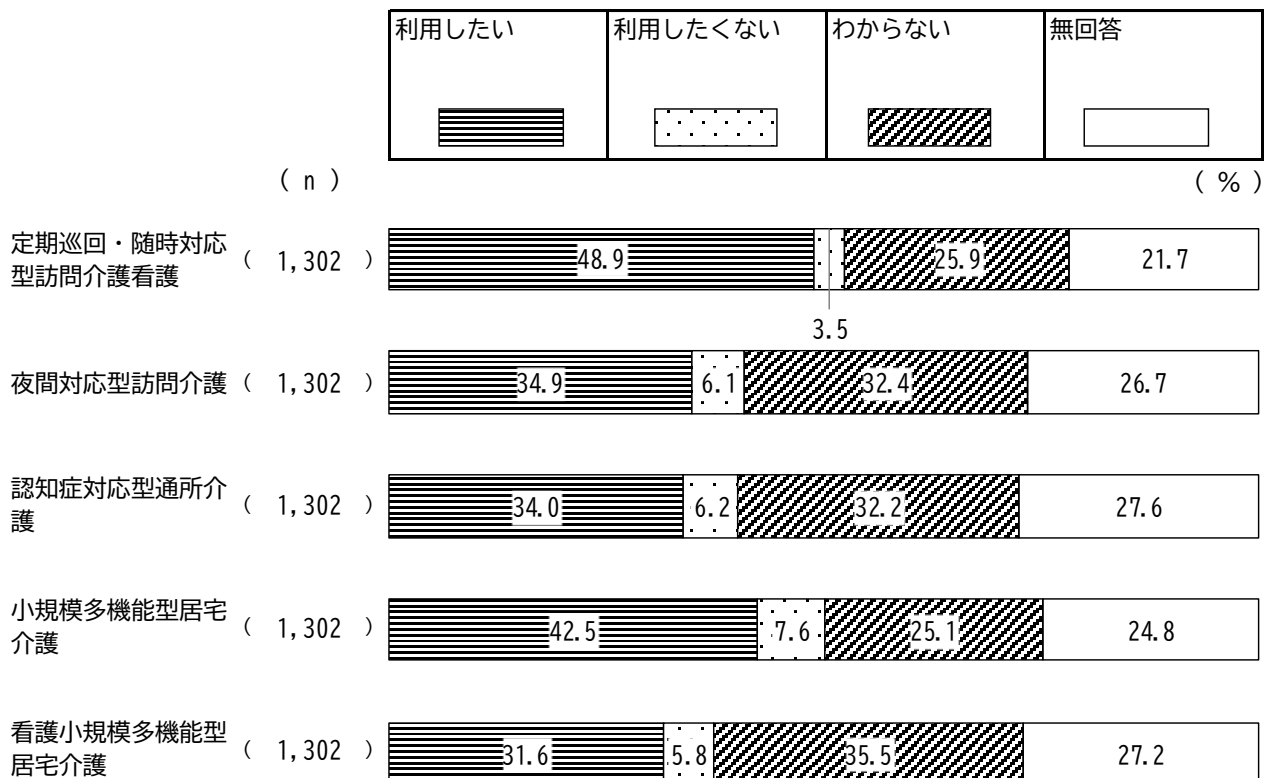
問31-1 今後も安心して在宅生活を続けていくために必要なことは何だと思いますか  
(いくつでも○)。

「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」と回答した方の、今後も安心して在宅生活を続けていくために必要なことについて、「24時間対応の訪問介護や緊急時の訪問介護」が47.5%と最も高く、「医師や看護師の訪問」が42.2%、「緊急時など必要な時に泊まれる施設」が39.5%、「病院などへの移送の介助」が38.2%、「車いす等の福祉用具の貸出」が30.0%、「配食サービス等の生活支援サービス」が27.3%、「リハビリができる通所サービス」が26.7%、「在宅介護のための住宅改修」が13.5%、「地域での見守り」が12.3%、「ボランティアによる支援」が6.7%、「契約や財産管理の手続きの支援」が6.0%となっている。



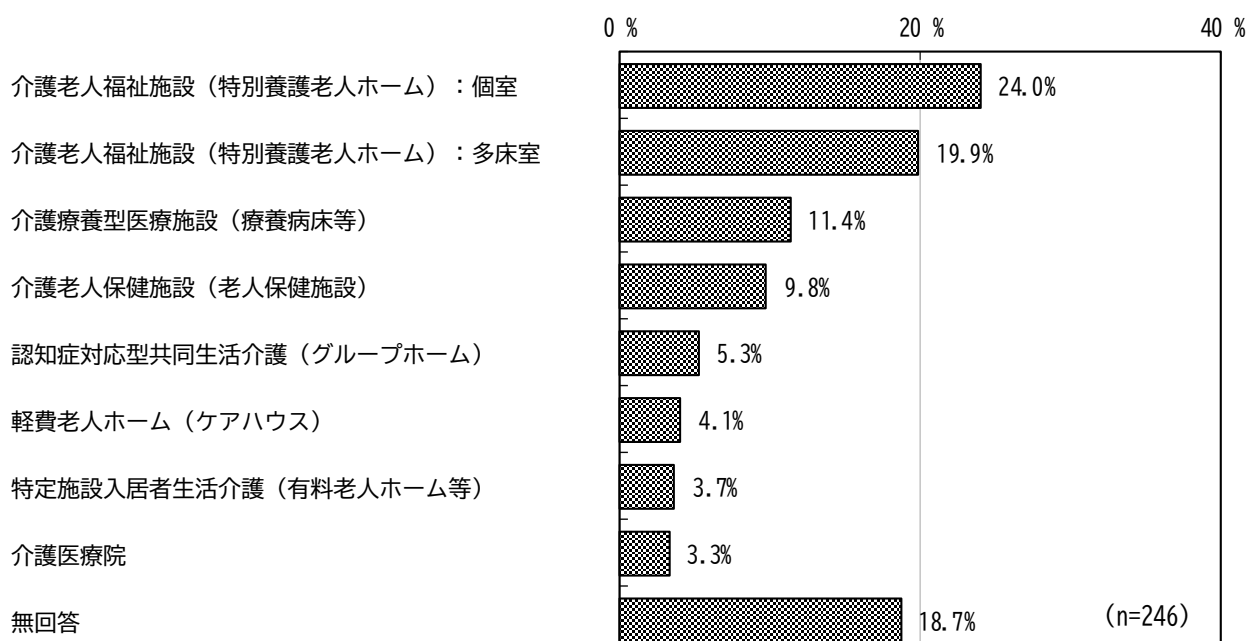
問31-2 地域密着型サービスは、高齢者が中重度の要介護状態となっても、可能な限り住み慣れた自宅または地域で生活を継続できるようにするためのサービスです。あなたは次のようなサービスを利用したいと思いますか（それぞれ1つに○）。

「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」と回答した方の、それぞれのサービス利用について、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」は48.9%、「夜間対応型訪問介護」は34.9%、「認知症対応型通所介護」は34.0%、「小規模多機能型居宅介護」は42.5%「看護小規模多機能型居宅介護」は31.6%が「利用したい」と回答している。



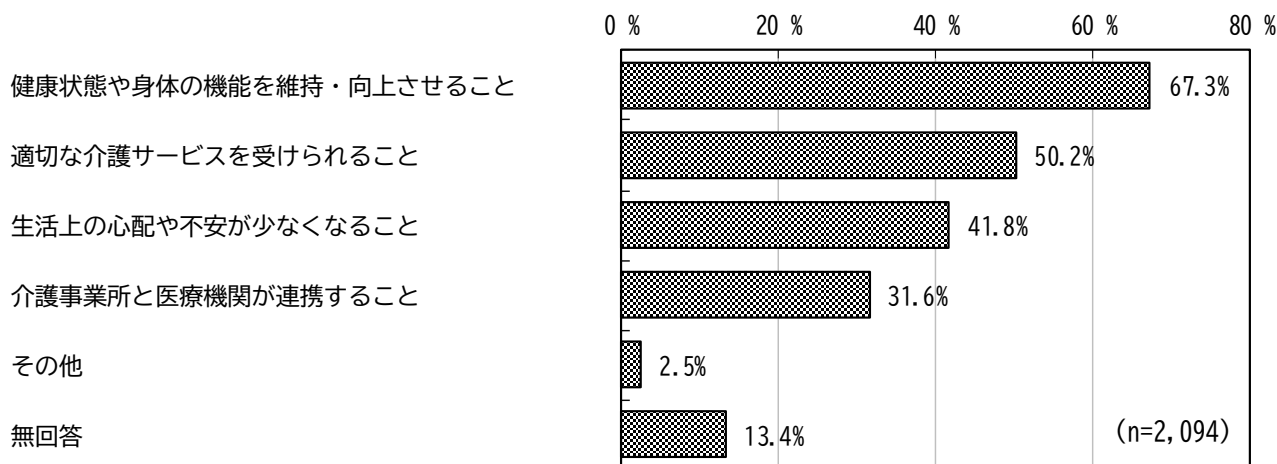
問31-3 介護を受けられる施設には、次のような施設がありますが、あなたはそのような施設等を望んでいますか（1つに○）。

「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」と回答した方の、利用してみたいと思う施設について、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）：個室」が24.0%と最も高く、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）：多床室」が19.9%、「介護療養型医療施設（療養病床等）」が11.4%、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が9.8%、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」が5.3%、「軽費老人ホーム（ケアハウス）」が4.1%、「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）」が3.7%、「介護医療院」が3.3%となっている。



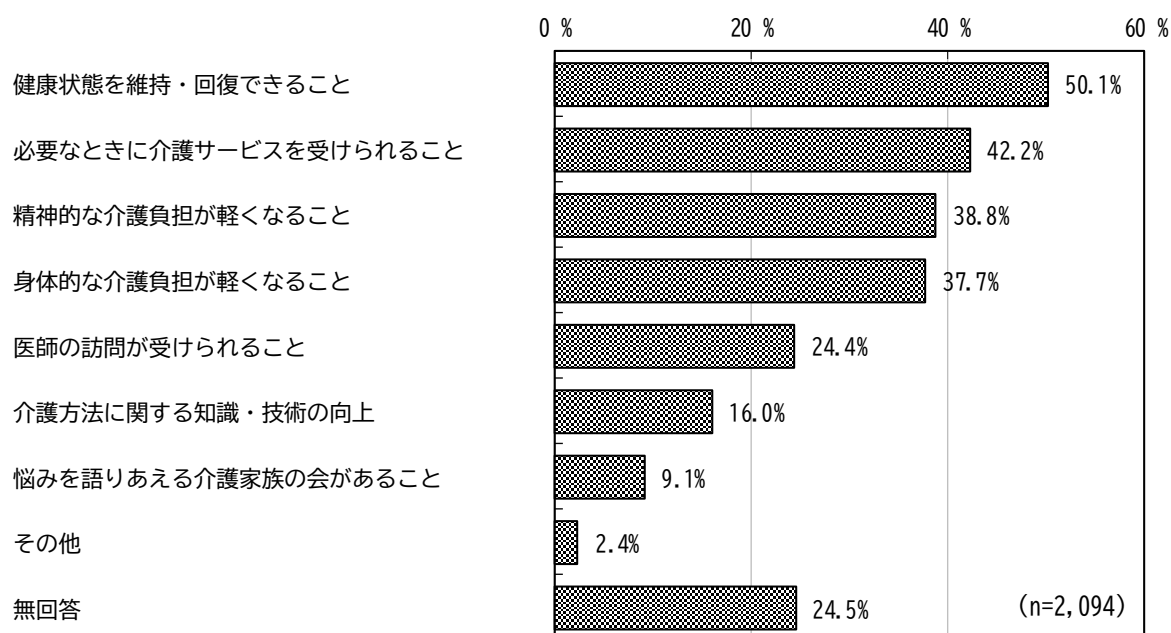
問32 あなたは、今後も在宅生活をするために何が必要だと思いますか。  
【ご自身について】(いくつでも○)。

ご自身が今後も在宅生活をするために必要だと思うことについて、「健康状態や身体の機能を維持・向上させること」が67.3%と最も高く、「適切な介護サービスを受けられること」が50.2%、「生活上の心配や不安が少なくなること」が41.8%、「介護事業所と医療機関が連携すること」が31.6%となっている。



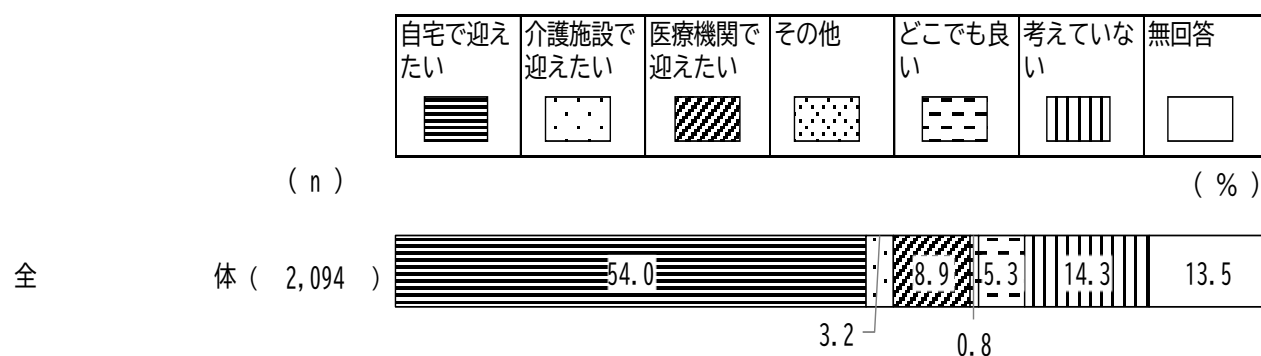
問32 あなたは、今後も在宅生活を続けるために何が必要だと思いますか。  
【介護している家族の方について】(いくつでも○)。

介護している家族の方が今後も在宅生活を続けるために必要だと思うことについて、「健康状態を維持・回復できること」が50.1%と最も高く、「必要なときに介護サービスを受けられること」が42.2%、「精神的な介護負担が軽くなること」が38.8%、「身体的な介護負担が軽くなること」が37.7%、「医師の訪問が受けられること」が24.4%、「介護方法に関する知識・技術の向上」が16.0%、「悩みを語りあえる介護家族の会があること」が9.1%となっている。



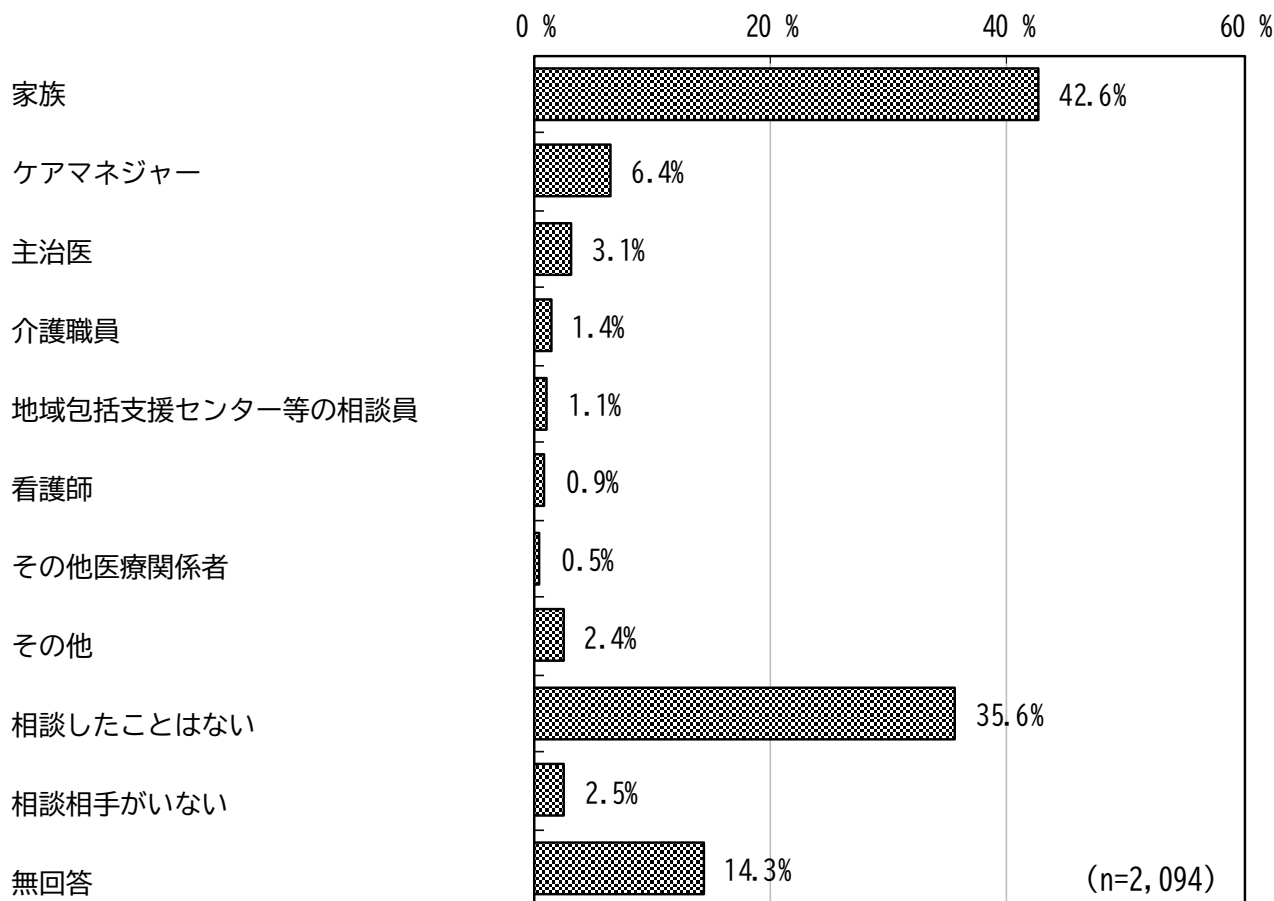
問33 あなたは人生の最期をどこで迎えたいですか(1つに○)。

人生の最期を迎えたい場所について、「自宅で迎えたい」が54.0%と最も高く、「医療機関で迎えたい」が8.9%、「介護施設で迎えたい」が3.2%となっている。また「どこでも良い」が5.3%、「考えていない」が14.3%となっている。



問34 あなたは人生の最期について、どなたかに相談したことはありますか（いくつでも○）。

人生の最期について誰かに相談したことがあるかについて、「家族」が42.6%と最も高く、「ケアマネジャー」が6.4%、「主治医」が3.1%、「相談相手がない」が2.5%、「介護職員」が1.4%、「地域包括支援センター等の相談員」が1.1%、「看護師」が0.9%、「その他医療関係者」が0.5%となっている。また、「相談したことはない」が35.6%、「相談相手がない」が2.5%となっている。



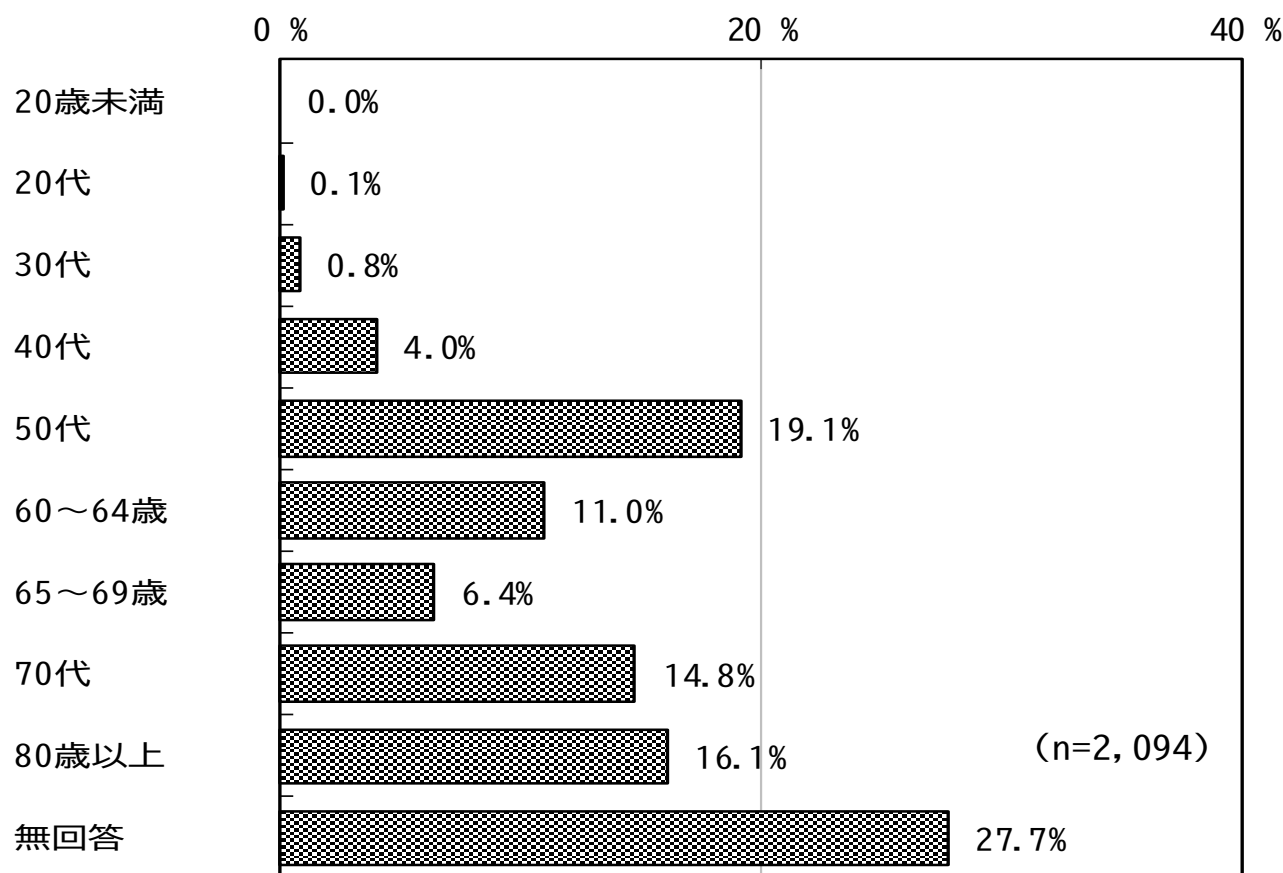
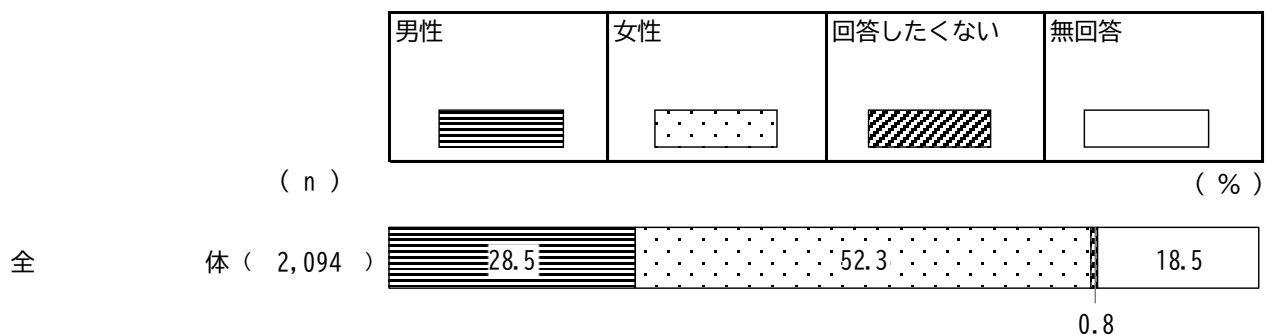


(6) 介護者について

問36 介護者の性別・年齢をおたずねします。

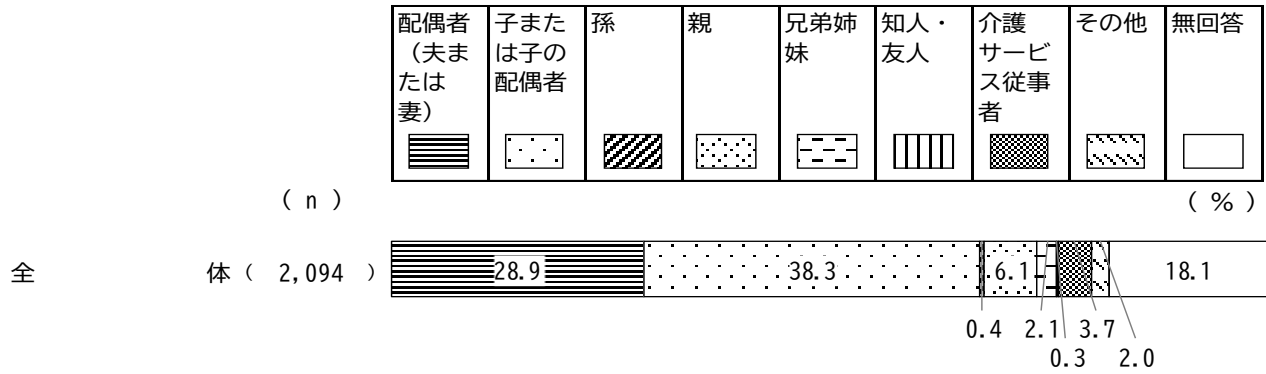
介護者の性別について、「男性」が28.5%、「女性」が52.3%、「回答したくない」が0.8%となっている。

介護者の年齢について、「50代」が19.1%と最も高く、「80歳以上」が16.1%、「70代」が14.8%、「60～64歳」が11.0%、「65～69歳」が6.4%、「40代」が4.0%、「30代」が0.8%、「20代」が0.1%、「20歳未満」が0.0%となっている。



問37 介護者は、あて名ご本人からみて次のうちどの関係ですか（1つに○）。

介護者との関係について、「子または子の配偶者」が38.3%と最も高く、「配偶者（夫または妻）」が28.9%、「親」が6.1%、「介護サービス従事者」が3.7%、「兄弟姉妹」が2.1%、「孫」が0.4%、「知人・友人」が0.3%となっている。



問38 介護者の方から見てあて名ご本人は、下記にお示しする状態にあてはまるものがありますか（1つに○）。

介護者の方から見た回答者の状態について、「多少の物忘れはあるが、日常生活は家庭内及び社会的に自立している」が30.3%と最も高く、「上記1～5のいずれもあてはまらない」が15.1%、「日常生活に支障を来たすような症状・行動（たびたび道に迷う、買い物や金銭管理など今までできたことにミスが目立つなど）や意思疎通の困難さが多少あっても、ほぼ自立している」が14.4%、「日常生活に支障を来たすような症状・行動（徘徊・失禁・火の不始末・不潔行為等）や意思疎通の困難さがときどきあり、介護が必要である」が9.4%、「日常生活に支障を来たすような症状・行動（徘徊・失禁・火の不始末・不潔行為等）や意思疎通の困難さが頻繁にあり、常に介護が必要である」が8.7%、「著しい精神症状（妄想・興奮・自傷など）あるいは重篤な身体疾患があり、専門医療が必要である」が1.2%となっている。

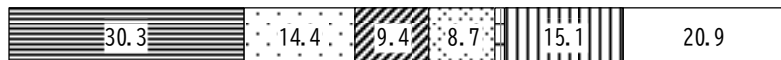
多少の物忘れはあるが、日常生活は家庭内及び社会的に自立している	日常生活に支障を来たすような症状・行動（たびたび道に迷う、買い物や金銭管理など今までできたことにミスが目立つなど）や意思疎通の困難さが多少あっても、ほぼ自立している	日常生活に支障を来たすような症状・行動（徘徊・失禁・火の不始末・不潔行為等）や意思疎通の困難さがときどきあり、介護が必要である	日常生活に支障を来たすような症状・行動（徘徊・失禁・火の不始末・不潔行為等）や意思疎通の困難さが頻繁にあり、常に介護が必要である	著しい精神症状（妄想・興奮・自傷など）あるいは重篤な身体疾患があり、専門医療が必要である	上記1～5のいずれもあてはまらない	無回答
■	□	■	□	■	□	□

( n )

( % )

全

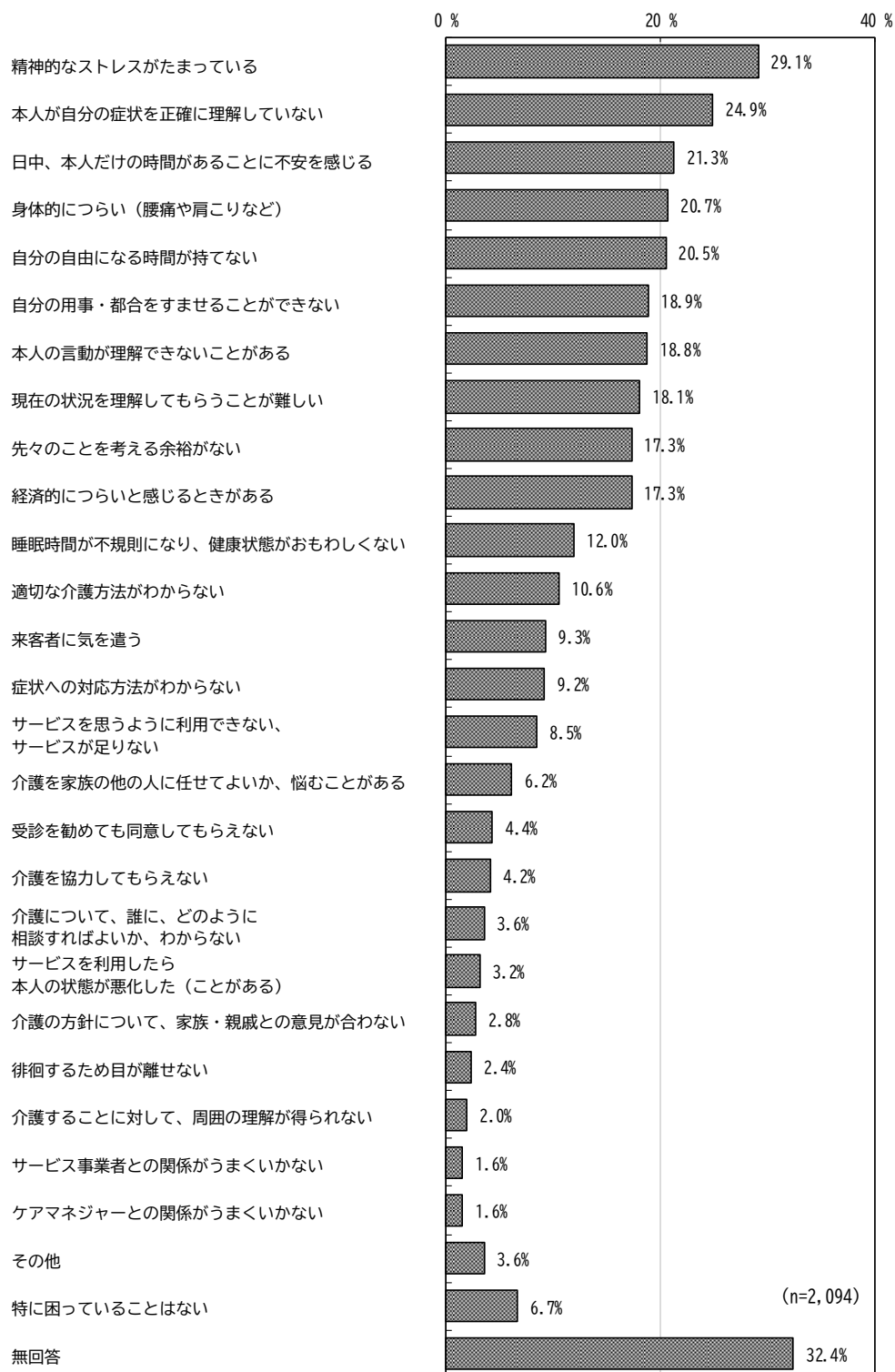
体 ( 2,094 )



1.2

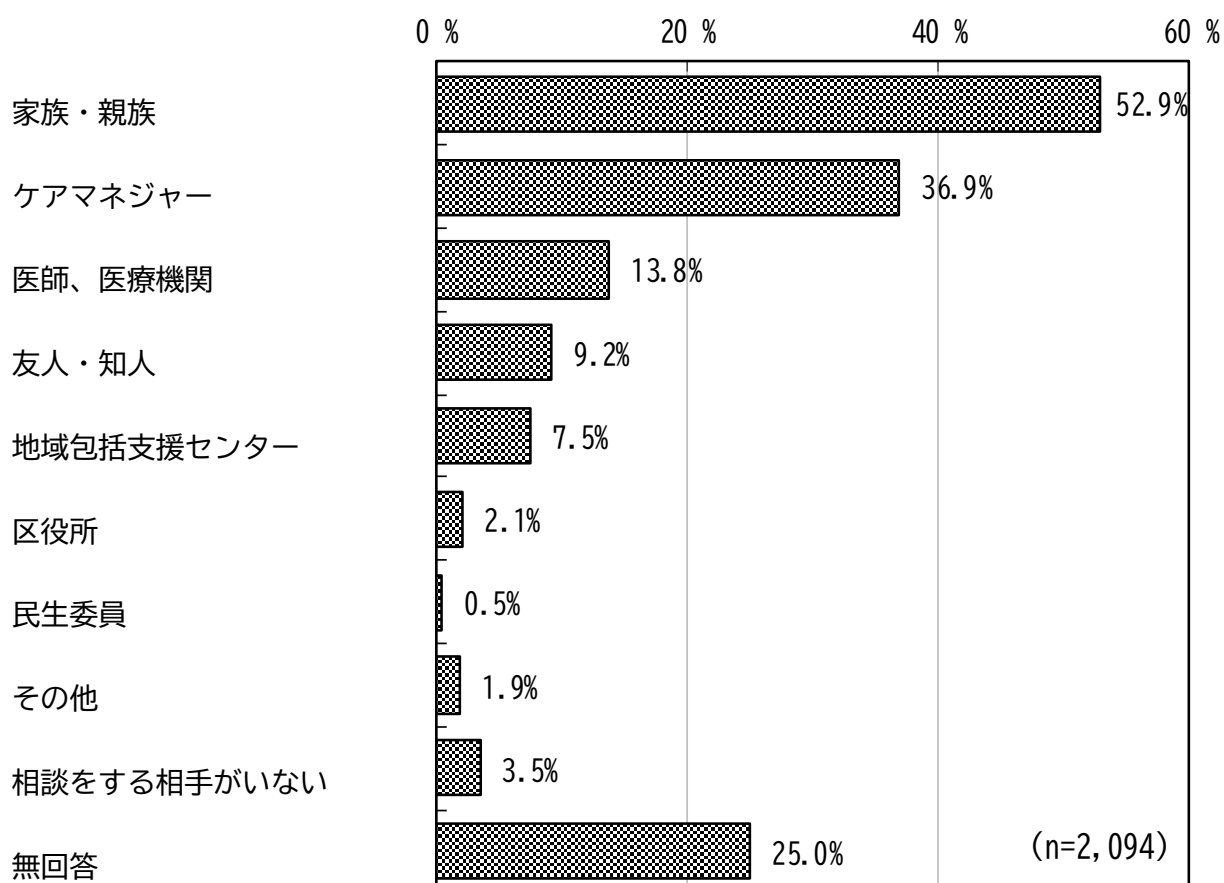
問39 在宅での介護について、介護者の方が困ったり、負担に感じていることはありますか（いくつでも○）。

在宅での介護において、介護者の方が困ったり、負担に感じたりしていることについて、「精神的なストレスがたまっている」が29.1%と最も高く、「本人が自分の症状を正確に理解していない」が24.9%、「日中、本人だけの時間があることに不安を感じる」が21.3%、「身体的につらい（腰痛や肩こりなど）」が20.7%、「自分の自由になる時間が持てない」が20.5%と続いている。また「特に困っていることはない」が6.7%となっている。



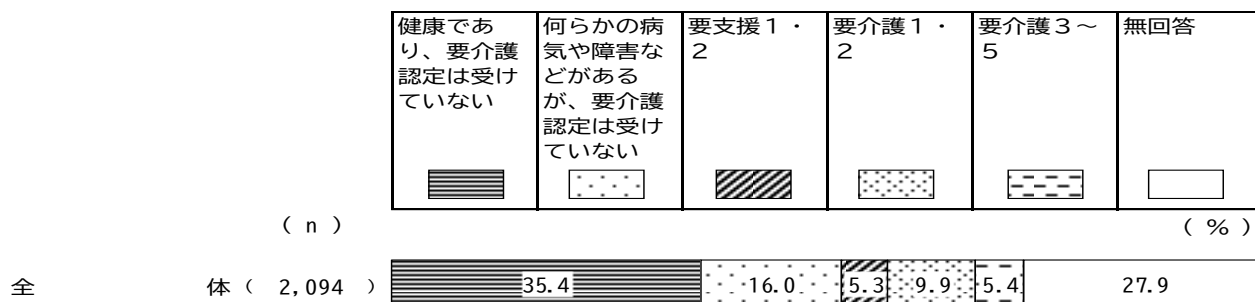
問40 主な介護者の方は、日常生活や健康のことなどで困った時、どなたに協力を頼んだり、相談されたりしますか（いくつでも○）。

主な介護者の方が日常生活や健康のことなどで困った時、協力を頼んだり、相談したりする人として、「家族・親族」が52.9%と最も高く、「ケアマネジャー」が36.9%、「医師、医療機関」が13.8%、「友人・知人」が9.2%、「地域包括支援センター」が7.5%、「区役所」が2.1%、「民生委員」が0.5%となっている。また「相談をする相手がない」が3.5%となっている。



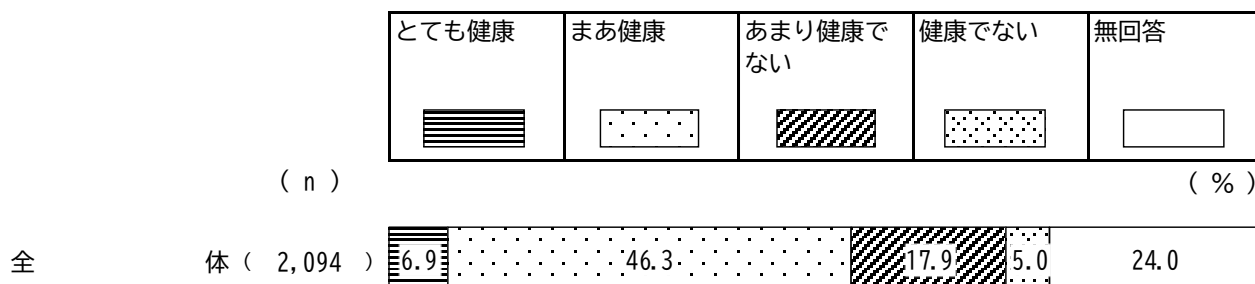
問4 1 主な介護者の方（おひとり）は要介護認定を受けていますか（1つに○）。

主な介護者の方の要介護認定について、「健康であり、要介護認定は受けていない」が35.4%と最も高く、「何らかの病気や障害などがあるが、要介護認定は受けていない」が16.0%、「要介護1・2」が9.9%、「要介護3～5」が5.4%、「要支援1・2」が5.3%となっている。



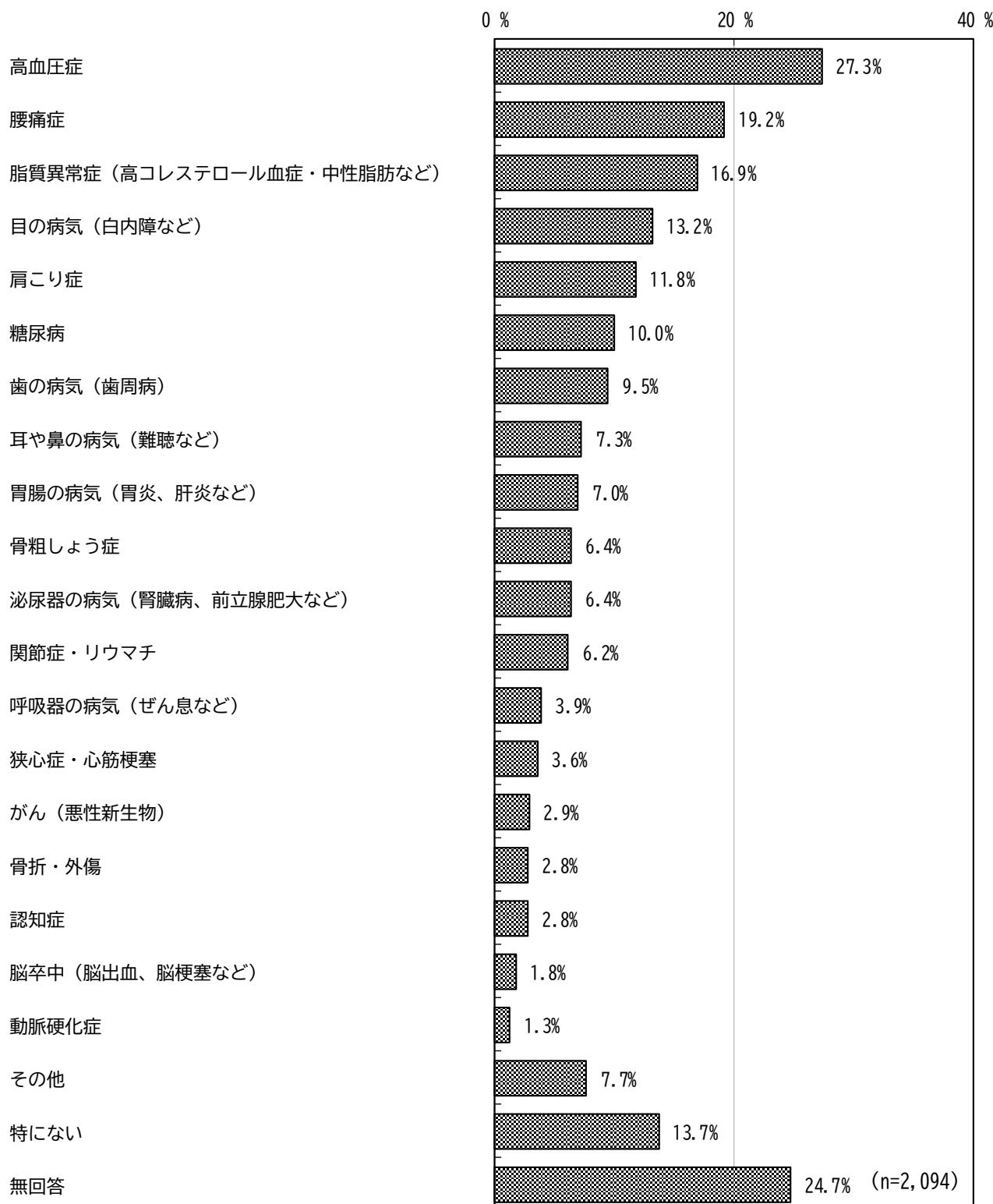
問4 2 主な介護者の方（おひとり）の現在の状況に最も近いものをお選びください（1つに○）。

主な介護者の方の現在の状況として、「とても健康」が6.9%、「まあ健康」が46.3%で合計が約5割である一方、「あまり健康でない」が17.9%、「健康でない」が5.0%で合計が約2割となっている。



問43 主な介護者の方（おひとり）は、現在、次のような傷病にかかっていますか（いくつでも○）。

主な介護者の方の現在罹患している傷病について、「高血圧症」が27.3%と最も高く、「腰痛症」が19.2%、「脂質異常症（高コレステロール血症・中性脂肪など）」が16.9%、「目の病気（白内障など）」が13.2%、「肩こり症」が11.8%と続いている。また「特にない」が13.7%となっている。





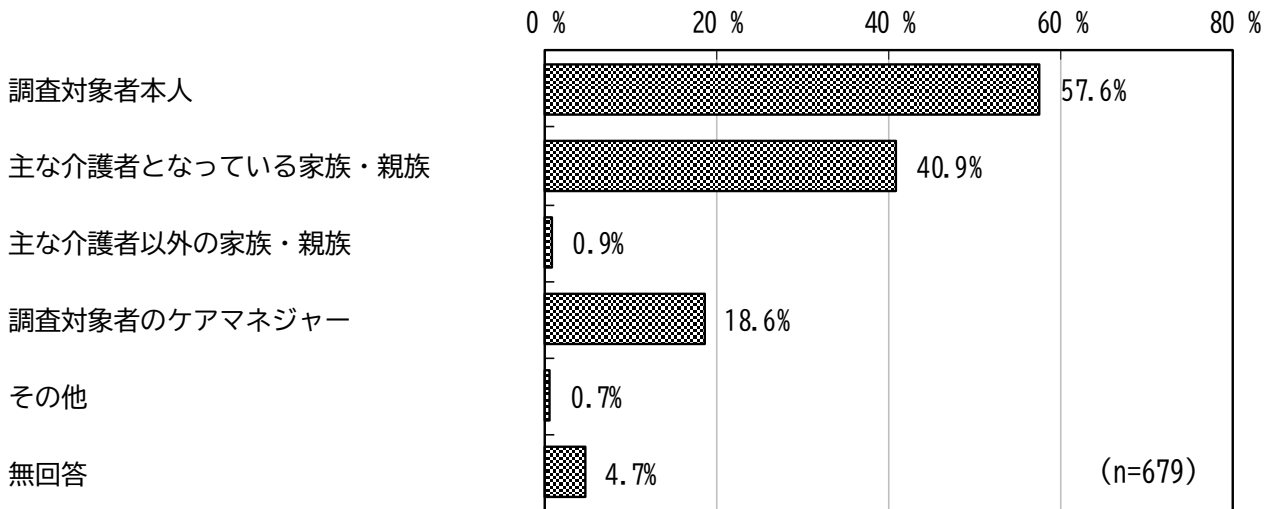


4 在宅介護の実態に関する調査

(1) 回答者の基本情報

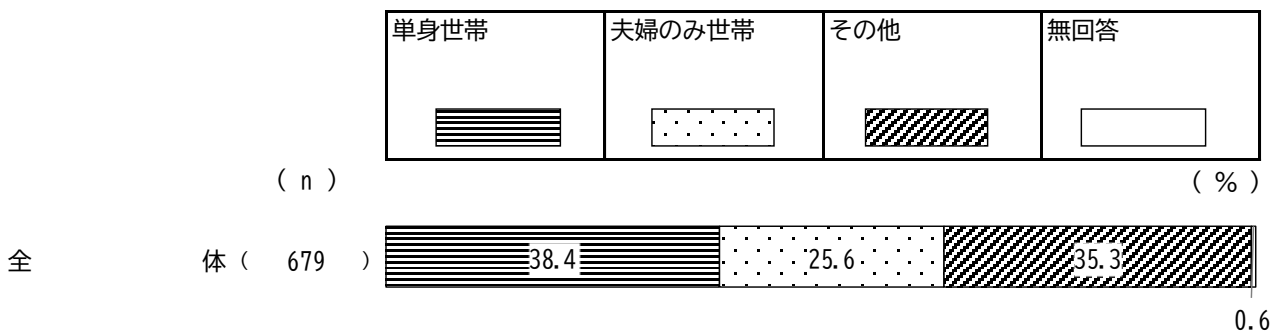
A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか（いくつでも○）。

聞き取りを行った相手について、「調査対象者本人」が57.6%と最も高く、「主な介護者となっている家族・親族」が40.9%、「調査対象者のケアマネジャー」が18.6%、「主な介護者以外の家族・親族」が0.9%となっている。



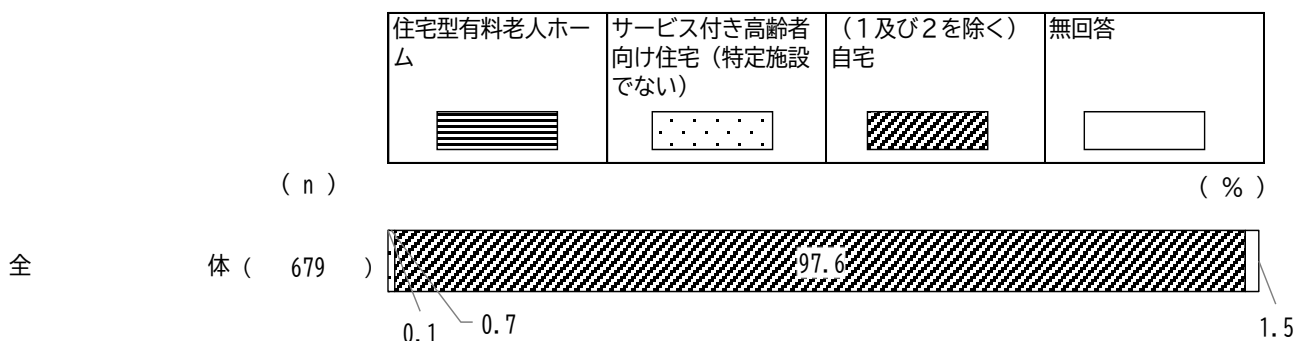
【A票】問1 世帯類型について、ご回答ください（1つに○）。

世帯類型について、「単身世帯」が38.4%と最も高く、「夫婦のみ世帯」が25.6%となっている。



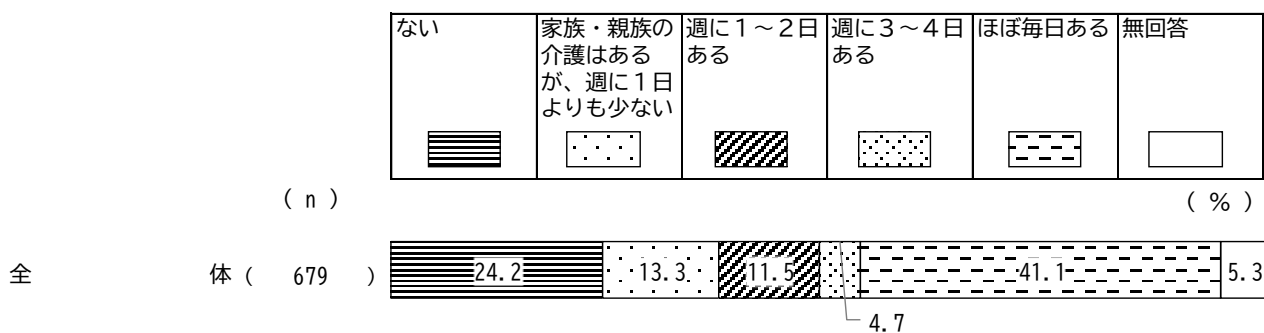
【A票】問1-1 住まいについて、ご回答ください（1つに○）。

住まいについて、「(1及び2を除く) 自宅」が97.6%と最も高く、「サービス付き高齢者向け住宅(特定施設でない)」が0.7%、「住宅型有料老人ホーム」が0.1%となっている。



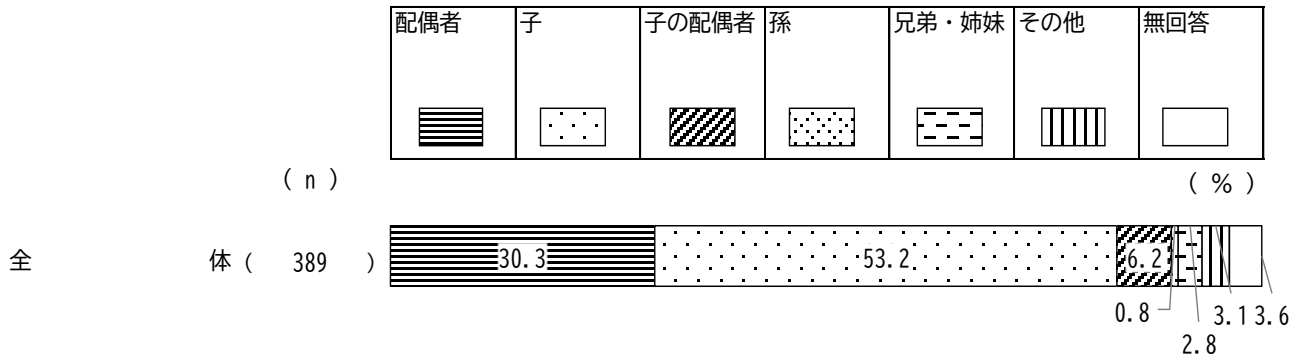
【A票】問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つに○）。

家族や親族の方からの介護の頻度について、「ほぼ毎日ある」が41.1%と最も高く、「ない」が24.2%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が13.3%、「週に1～2日ある」が11.5%、「週に3～4日ある」が4.7%となっている。



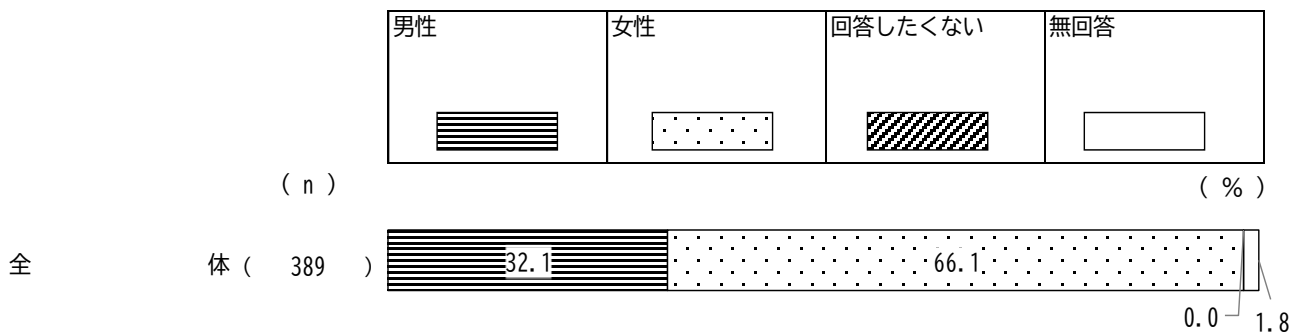
【A票】問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つに○）。

主な介護者の方は、「子」が53.2%と最も高く、「配偶者」が30.3%、「子の配偶者」が6.2%、「兄弟・姉妹」が2.8%、「孫」が0.8%となっている。



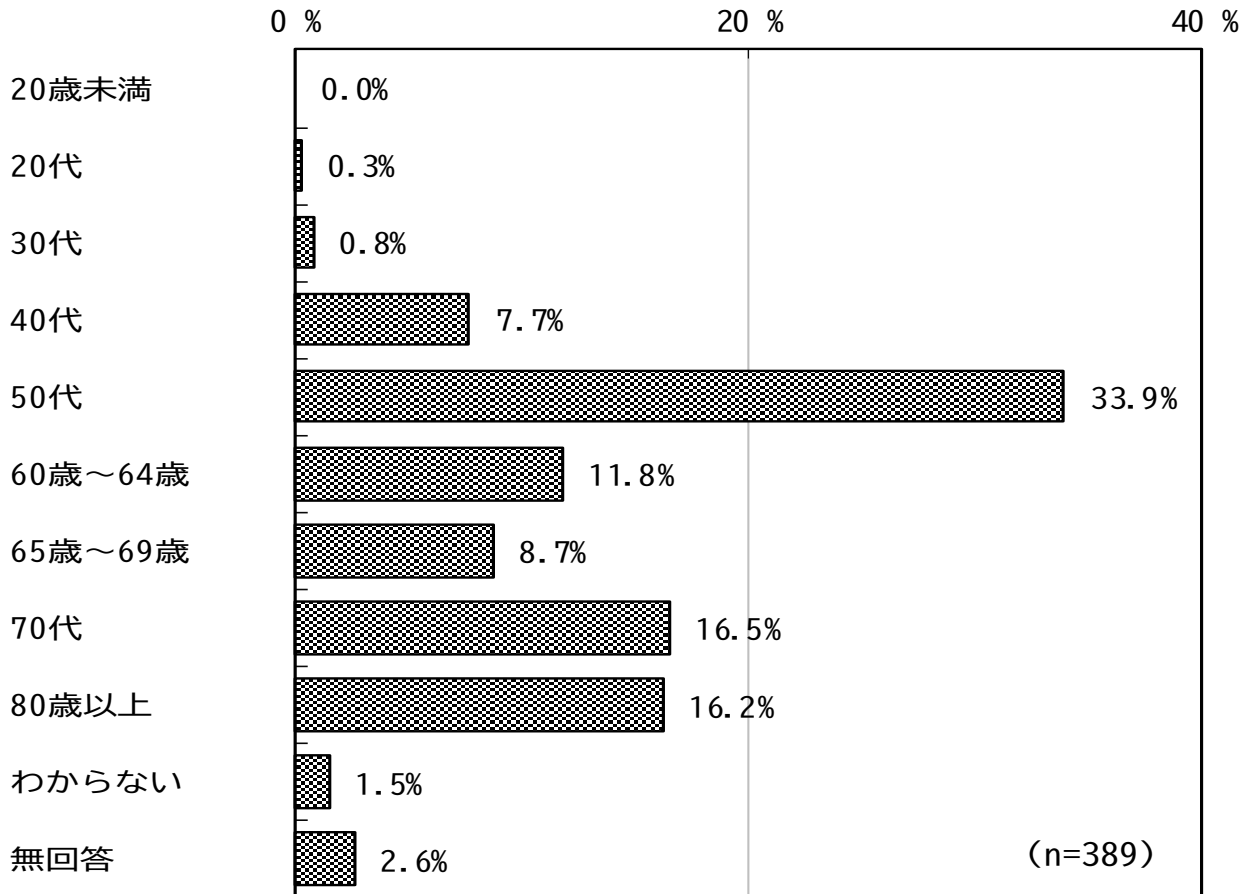
【A票】問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つに○）。

主な介護者の方の性別は、「男性」が32.1%、「女性」が66.1%となっている。



【A票】問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つに○）。

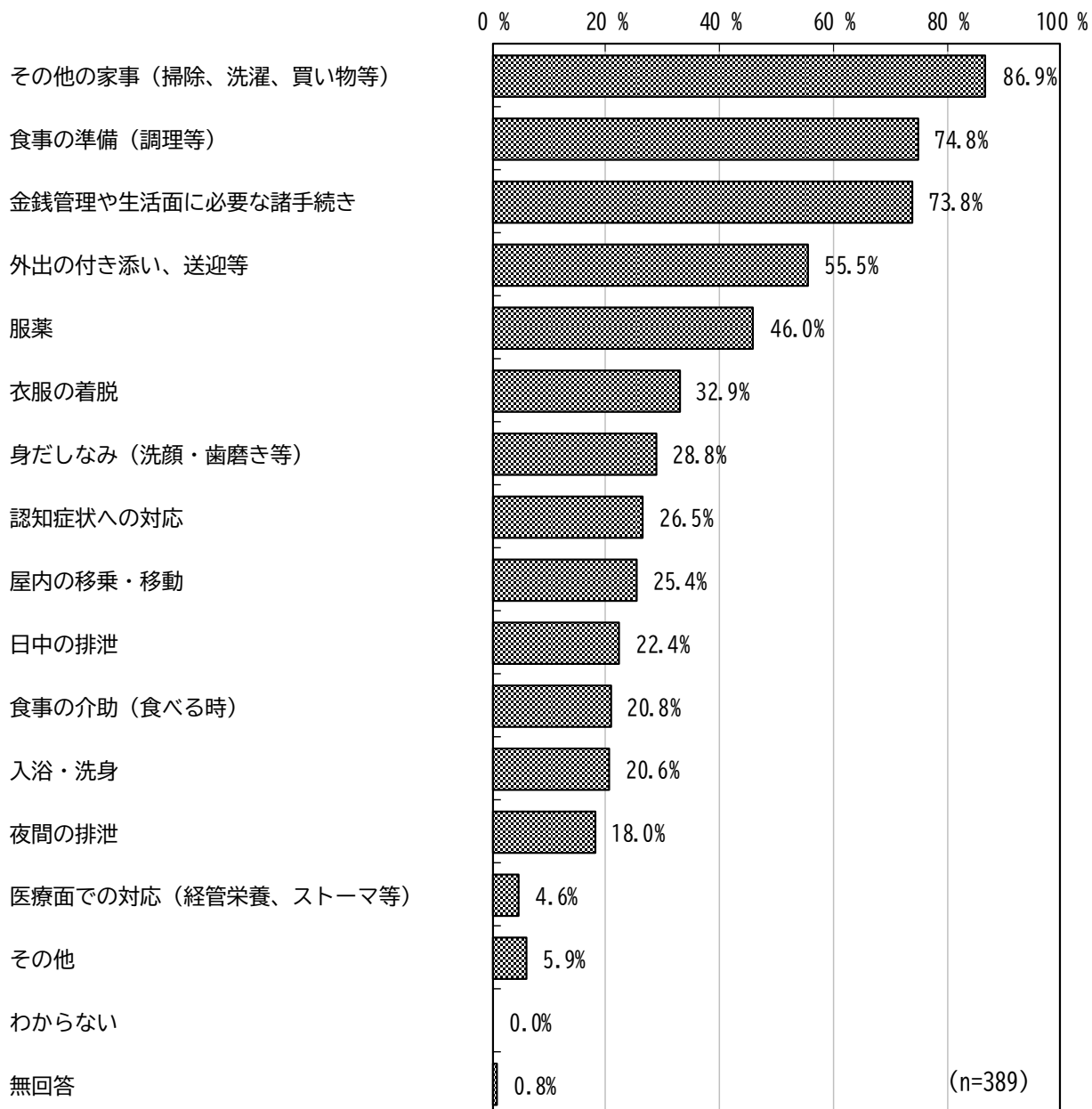
主な介護者の方の年齢は、「50代」が33.9%と最も高く、「70代」が16.5%、「80歳以上」が16.2%、「60歳～64歳」が11.8%、「65歳～69歳」が8.7%、「40代」が7.7%、「30代」が0.8%、「20代」が0.3%、「20歳未満」が0.0%、「わからない」が1.5%となっている。



## (2) 介護の状況について

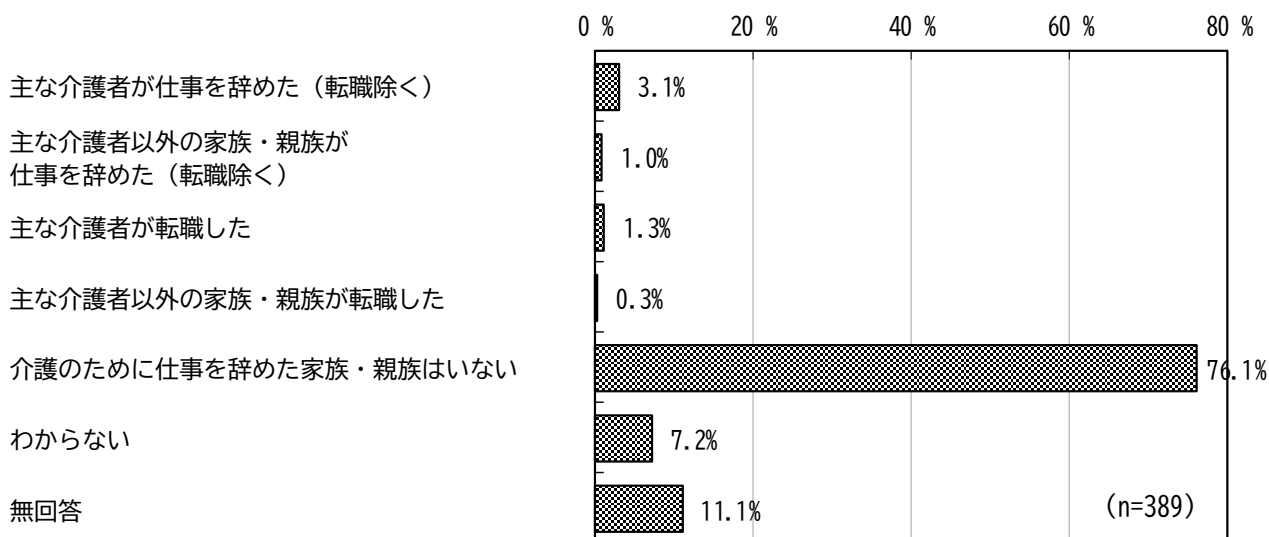
【A票】問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください  
(いくつでも○)。

現在、主な介護者の方が行っている介護等について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が86.9%と最も高く、「食事の準備（調理等）」が74.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が73.8%、「外出の付き添い、送迎等」が55.5%、「服薬」が46.0%、「衣服の着脱」が32.9%、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」が28.8%、「認知症状への対応」が26.5%、「屋内の移乗・移動」が25.4%、「日中の排泄」が22.4%、「食事の介助（食べる時）」が20.8%、「入浴・洗身」が20.6%、「夜間の排泄」が18.0%、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が4.6%となっている。



【A票】問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも○）。

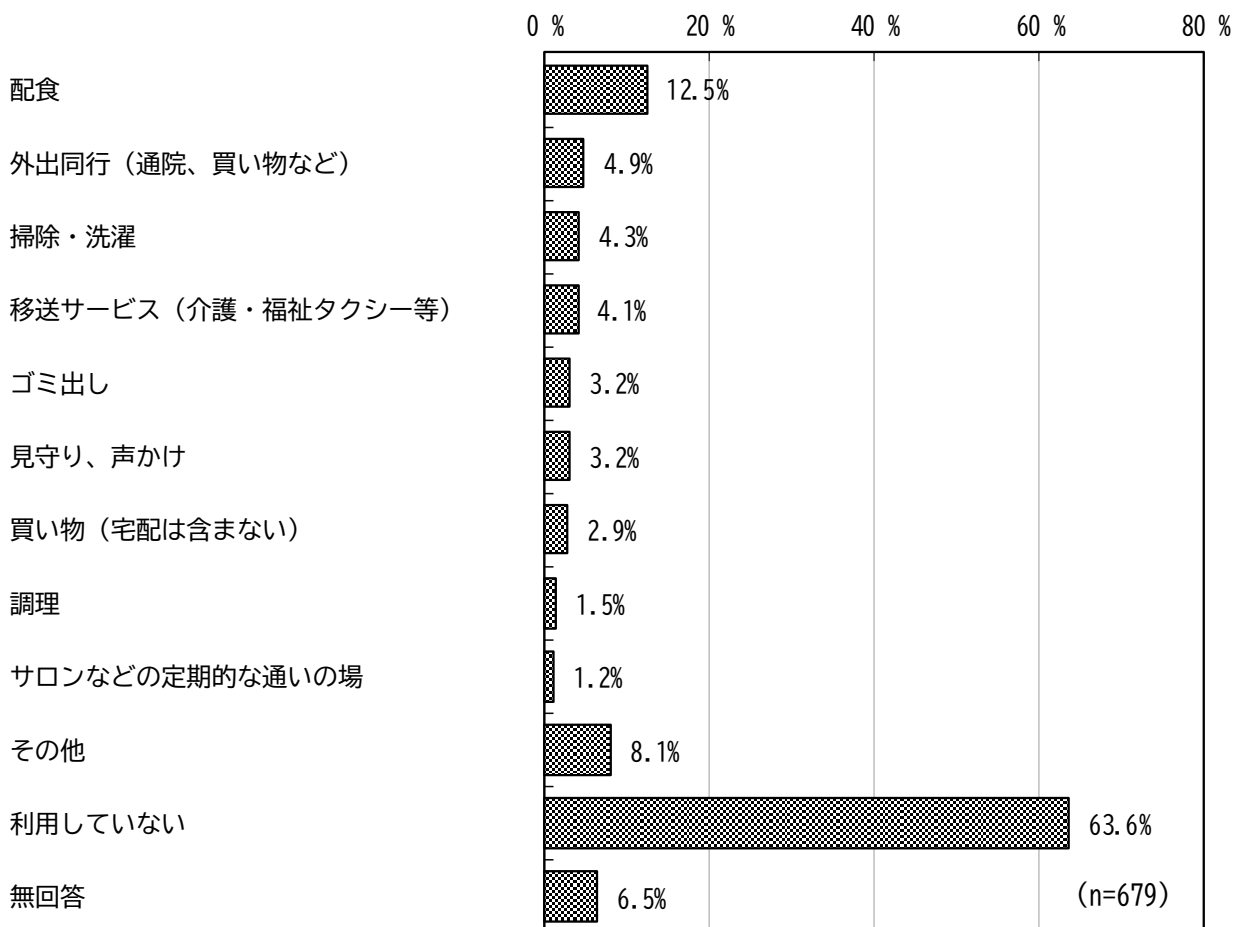
介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかについて、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が76.1%と最も高く、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が3.1%、「主な介護者が転職した」が1.3%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」が1.0%、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」が0.3%、「わからない」が7.2%となっている。



【A票】問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（いくつでも○）。

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含める。

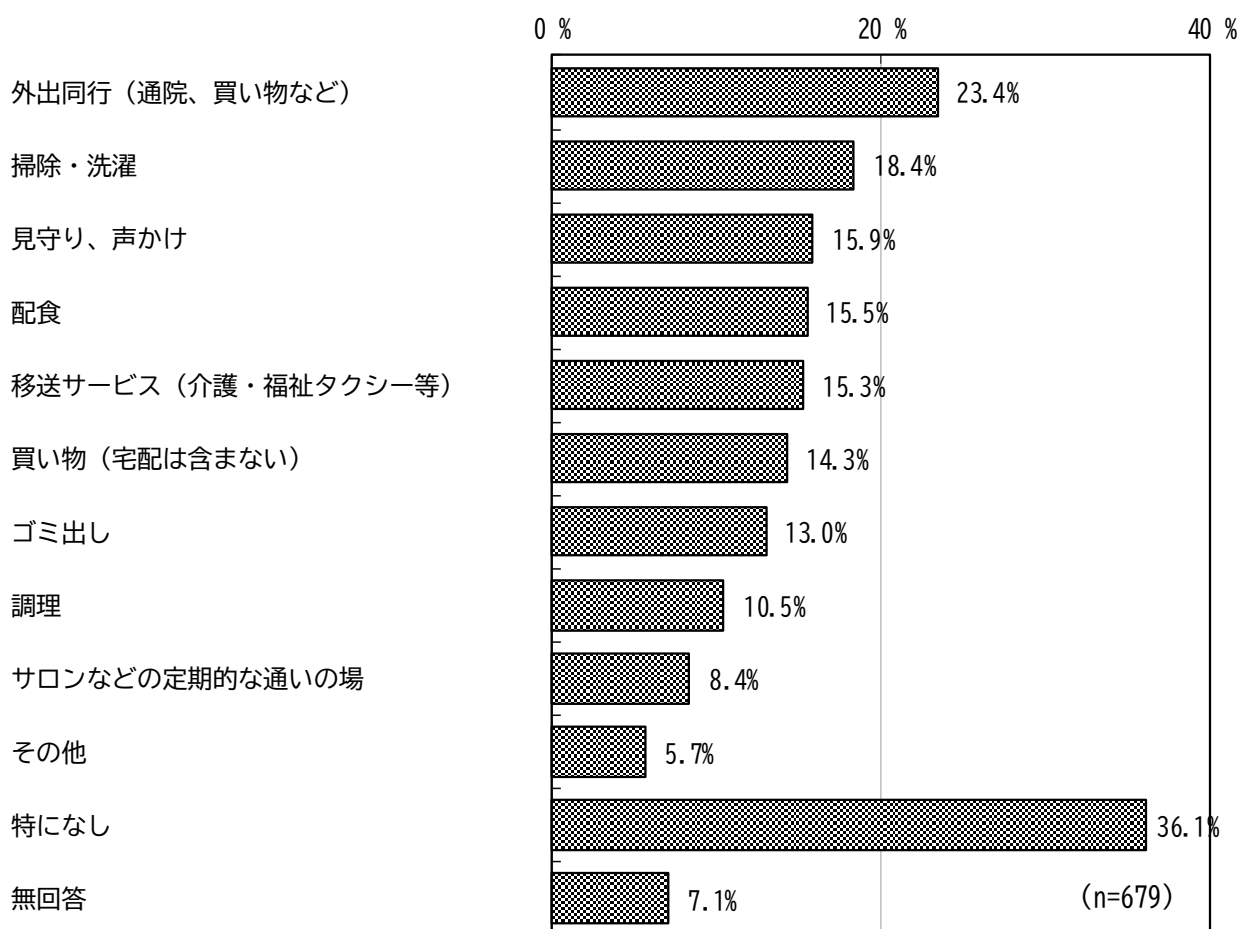
現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、「配食」が12.5%と最も高く、「外出同行（通院、買い物など）」が4.9%、「掃除・洗濯」が4.3%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が4.1%、「ゴミ出し」が3.2%、「見守り、声かけ」が3.2%、「買い物（宅配は含まない）」が2.9%、「調理」が1.5%、「サロンなどの定期的な通いの場」が1.2%となっている。また「利用していない」が63.6%となっている。



【A票】問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも○）。

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含める。

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「外出同行（通院、買い物など）」が23.4%と最も高く、「掃除・洗濯」が18.4%、「見守り、声かけ」が15.9%、「配食」が15.5%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が15.3%、「買い物（宅配は含まない）」が14.3%、「ゴミ出し」が13.0%、「調理」が10.5%、「サロンなどの定期的な通いの場」が8.4%となっている。また「特になし」が36.1%となっている。

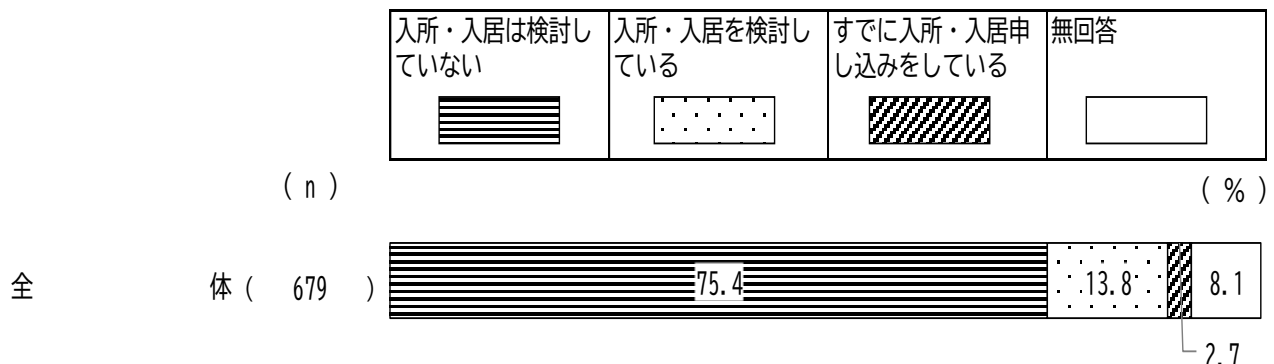




【A票】問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つに○）。

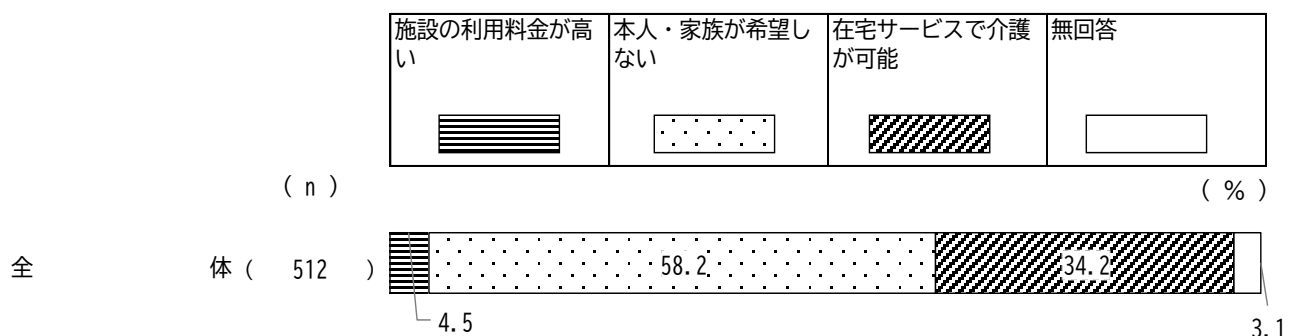
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指す。

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が75.4%と最も高く、「入所・入居を検討している」が13.8%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が2.7%となっている。



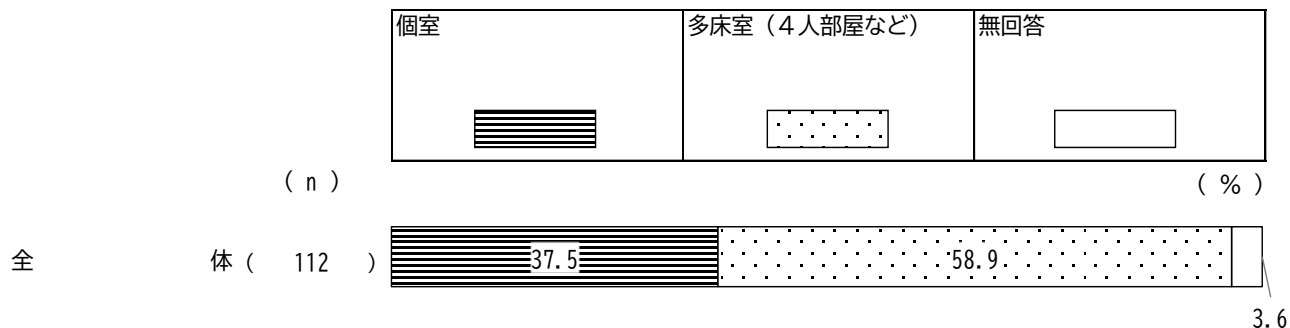
【A票】問10-1 入所・入居を検討していない理由は何ですか。（1つに○）。

現時点では「入所・入居は検討していない」と回答した方の入所・入居を検討していない理由について、「本人・家族が希望しない」が58.2%と最も高く、「在宅サービスで介護が可能」が34.2%、「施設の利用料金が低い」が4.5%となっている。



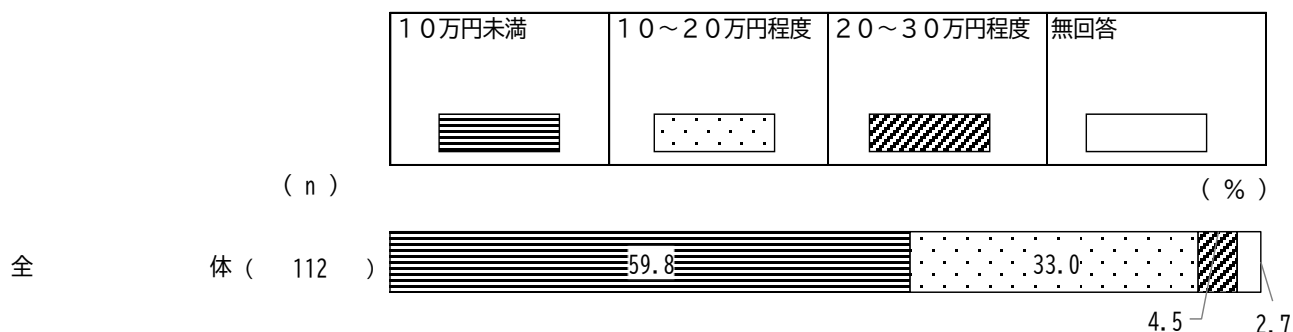
【A票】問10-2 入所・入居を希望する場合、どのような居室を希望しますか（1つに○）。

「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した方が希望する居室について、「個室」が37.5%、「多床室（4人部屋など）」が58.9%となっている。



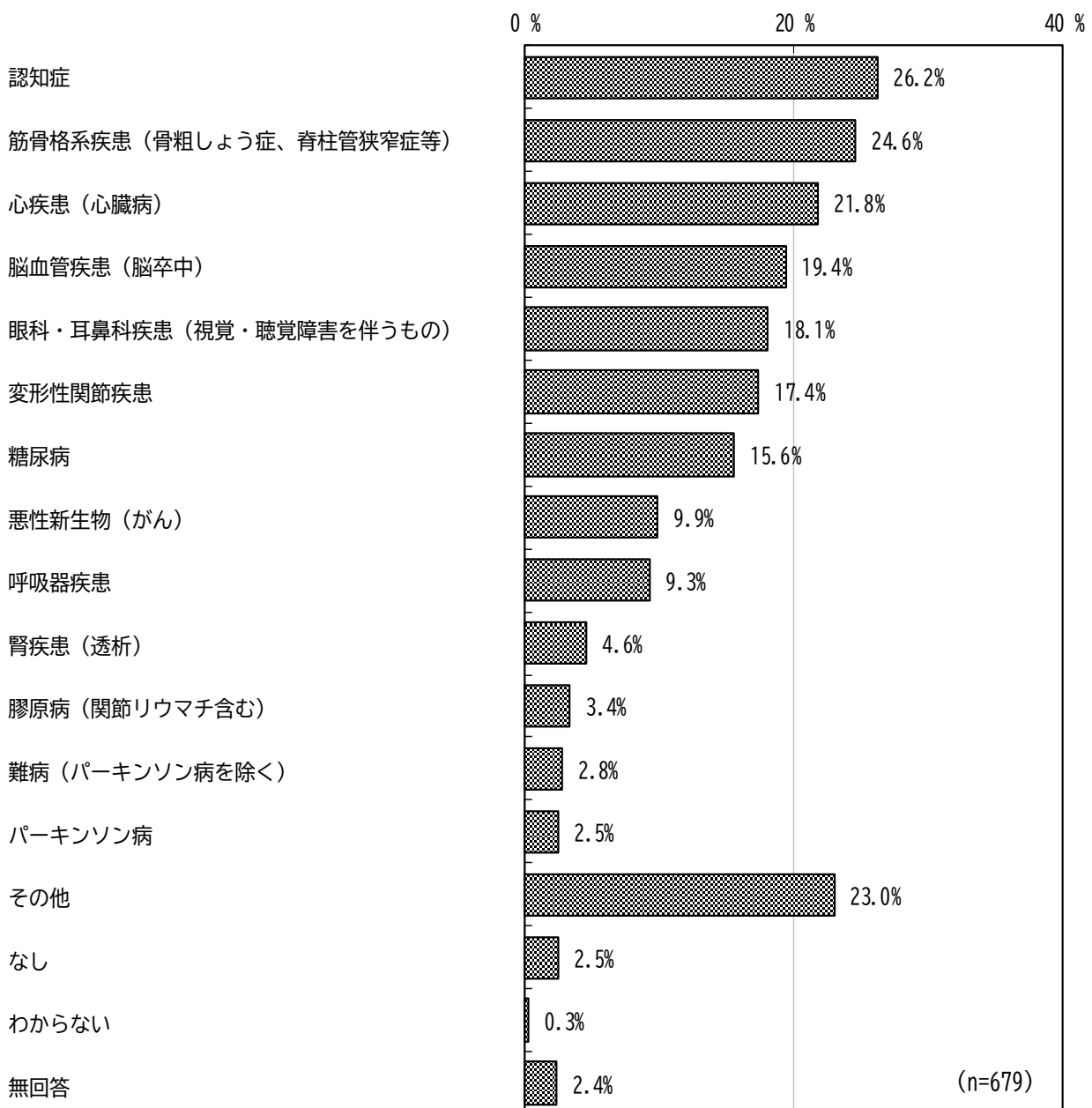
【A票】問10-3 月額利用料はどのくらいを希望していますか（1つに○）。

「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した方が希望する月額利用料について、「10万円未満」が59.8%、「10～20万円程度」が33.0%、「20～30万円程度」が4.5%となっている。



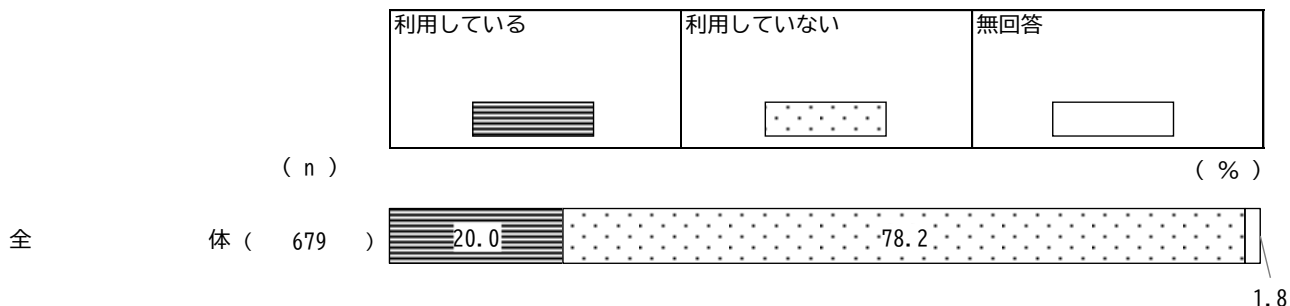
【A票】問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（いくつでも○）。

ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、「認知症」が26.2%と最も高く、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が24.6%、「心疾患（心臓病）」が21.8%、「脳血管疾患（脳卒中）」が19.4%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が18.1%、「変形性関節疾患」が17.4%、「糖尿病」が15.6%、「悪性新生物（がん）」が9.9%、「呼吸器疾患」が9.3%、「腎疾患（透析）」が4.6%、「膠原病（関節リウマチ含む）」が3.4%、「難病（パーキンソン病を除く）」が2.8%、「パーキンソン病」が2.5%となっている。また「なし」が2.5%、「わからない」が0.3%となっている。



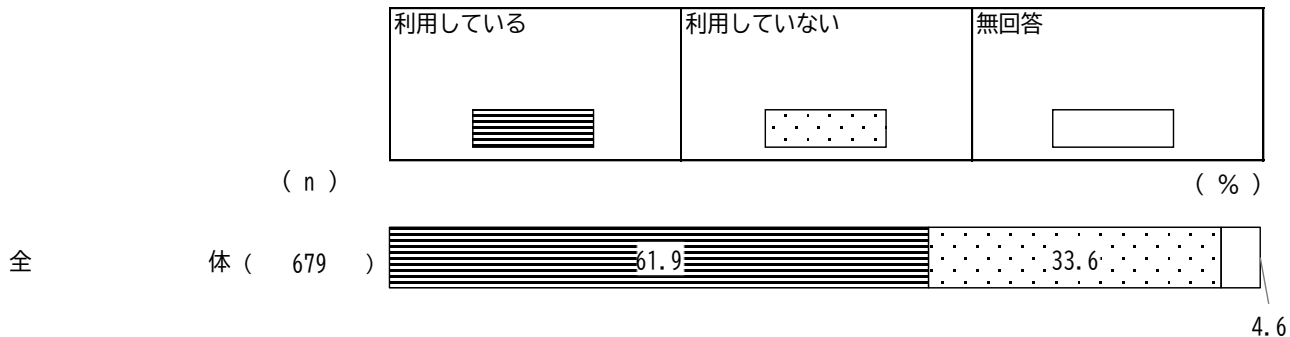
【A票】問12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つに○）。

ご本人（認定調査対象者）の現在の訪問診療の利用について、「利用している」が20.0%、「利用していない」が78.2%となっている。



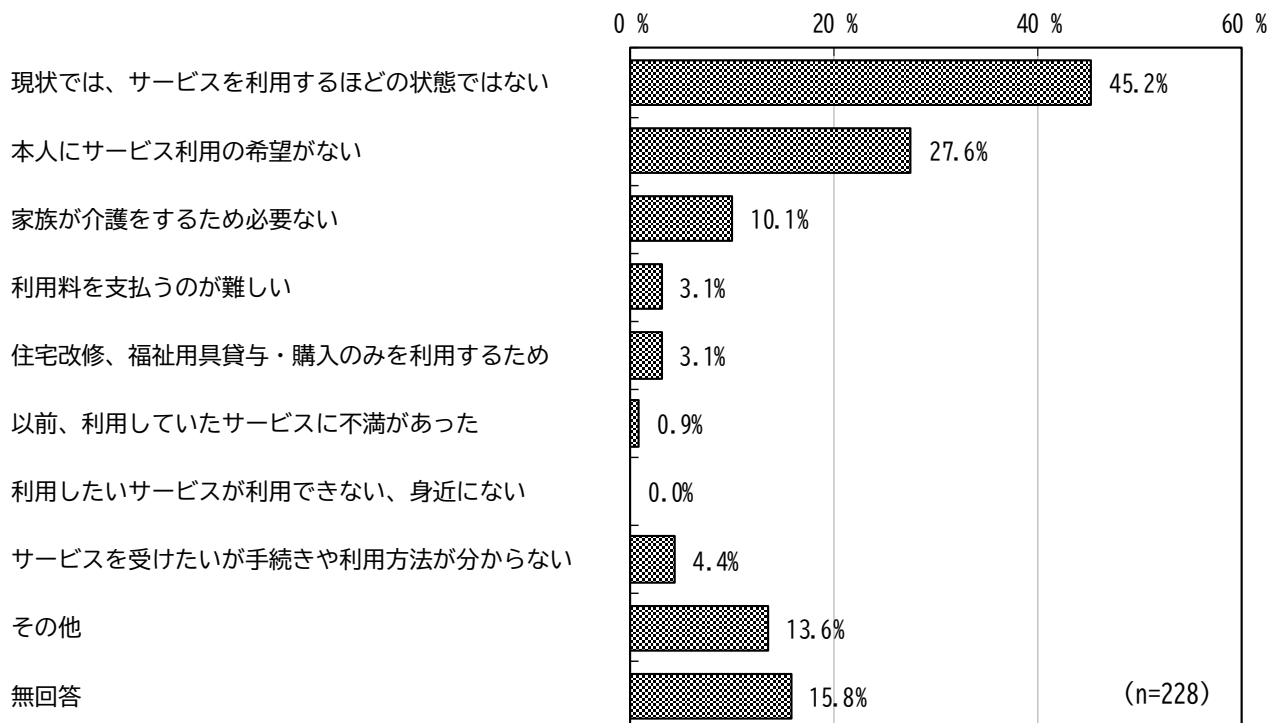
【A票】問13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つに○）。

現在の（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が61.9%、「利用していない」が33.6%となっている。



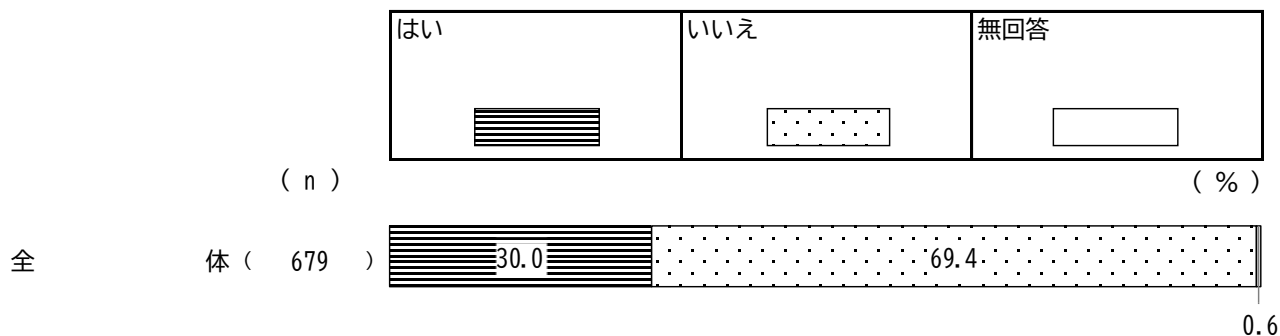
【A票】問13-1 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか  
(いくつでも○)。

介護保険サービスを「利用していない」と回答した方の利用していない理由として、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が45.2%と最も高く、「本人にサービス利用の希望がない」が27.6%、「家族が介護をするため必要ない」が10.1%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が4.4%、「利用料を支払うのが難しい」「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が3.1%、「以前、利用していたサービスに不満があった」が0.9%、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」が0.0%となっている。



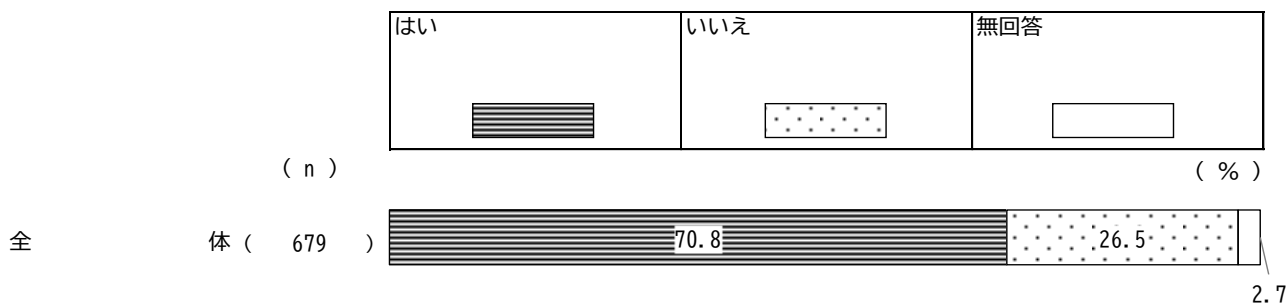
【A票】問14 ご本人（認定調査対象者）は、認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つに○）。

ご本人（認定調査対象者）の認知症に関する相談窓口を知っているかについて、「はい」が30.0%、「いいえ」が69.4%となっている。



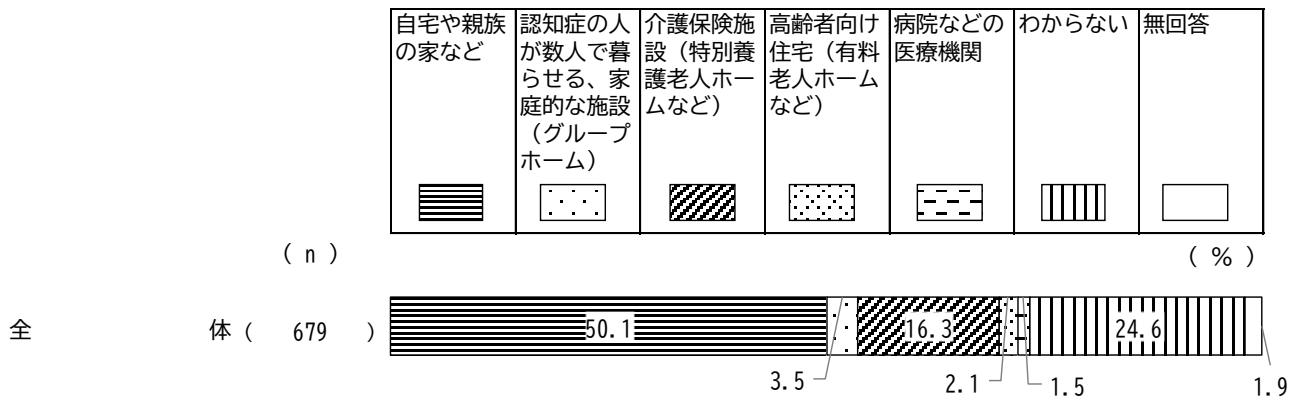
【A票】問15 将来、ご本人（認定調査対象者）が認知症になったら、周囲（家族や友人など）に公表しますか（すでに認知症と診断されている方は公表していますか）（1つに○）。

将来、ご本人（認定調査対象者）が認知症になったら、周囲（家族や友人など）に公表するかどうかについて、「はい」が70.8%、「いいえ」が26.5%となっている。



【A票】問16 将来、ご本人（認定調査対象者）が認知症になったら、どこで暮らしたいですか（すでに認知症と診断されている方は将来どこで暮らしたいですか）（1つに○）。

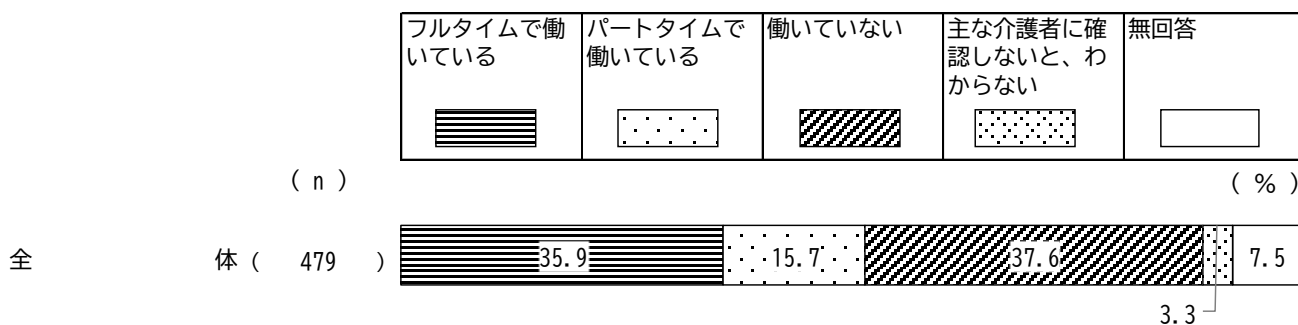
将来、ご本人（認定調査対象者）が認知症になったら、どこで暮らしたいかについて、「自宅や親族の家など」が50.1%と最も高く、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）」が16.3%、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）」が3.5%、「高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）」が2.1%、「病院などの医療機関」が1.5%、「わからない」が24.6%となっている。



(3) 介護者について

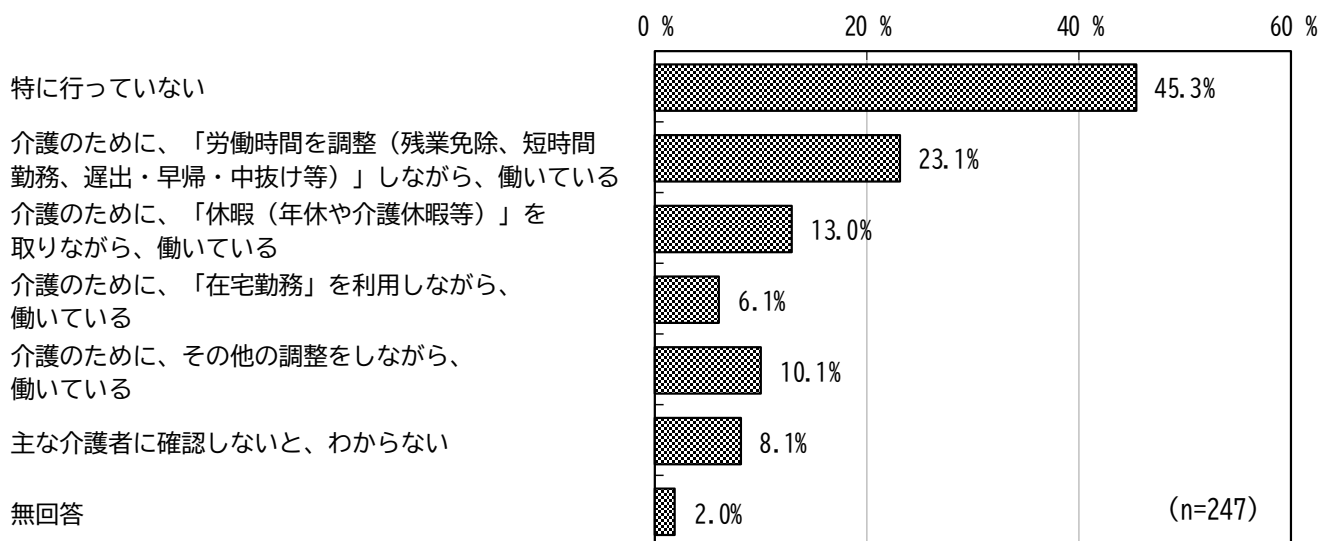
【B票】問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください  
(1つに○)。

主な介護者の方の現在の勤務形態について、「働いていない」が37.6%と最も高く、「フルタイムで働いている」が35.9%、「パートタイムで働いている」が15.7%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が3.3%となっている。



【B票】問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか (いくつでも○)。

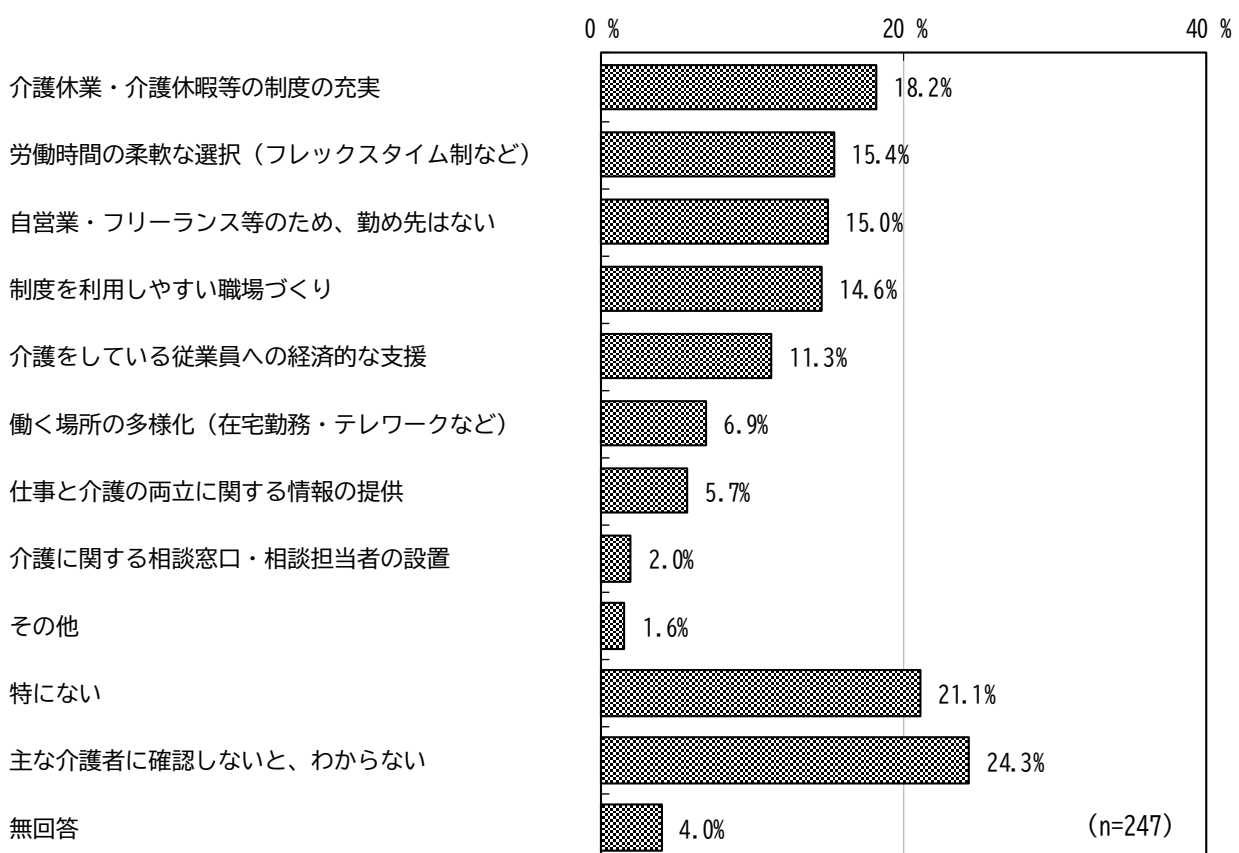
主な介護者の方の、介護をするにあたっての働き方の調整等について、「特に行っていない」が45.3%と最も高く、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が23.1%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が13.0%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が6.1%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が10.1%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が8.1%となっている。





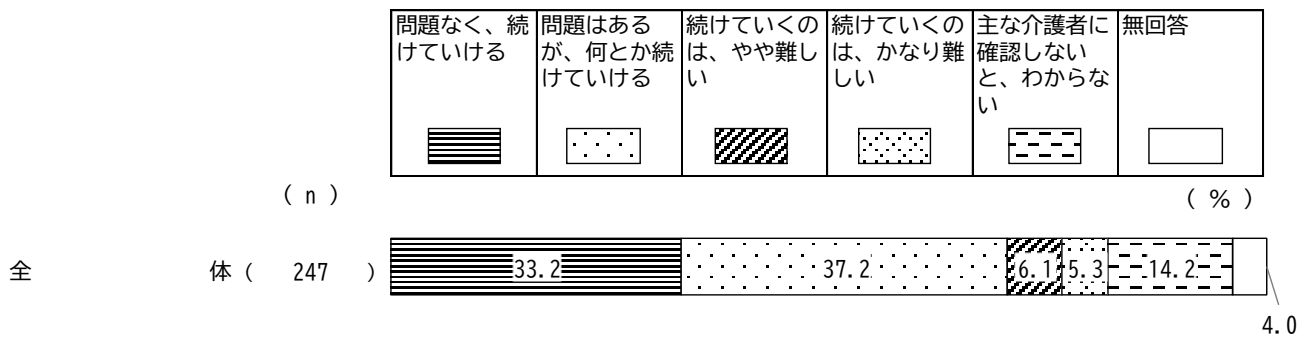
【B票】問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで○）。

主な介護者の方が仕事と介護の両立に効果があると考え、勤め先からの支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が18.2%と最も高く、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が15.4%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が15.0%、「制度を利用しやすい職場づくり」が14.6%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が11.3%、「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」が6.9%、「仕事と介護の両立に関する情報の提供」が5.7%、「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」が2.0%となっている。また「特にない」が21.1%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が24.3%となっている。



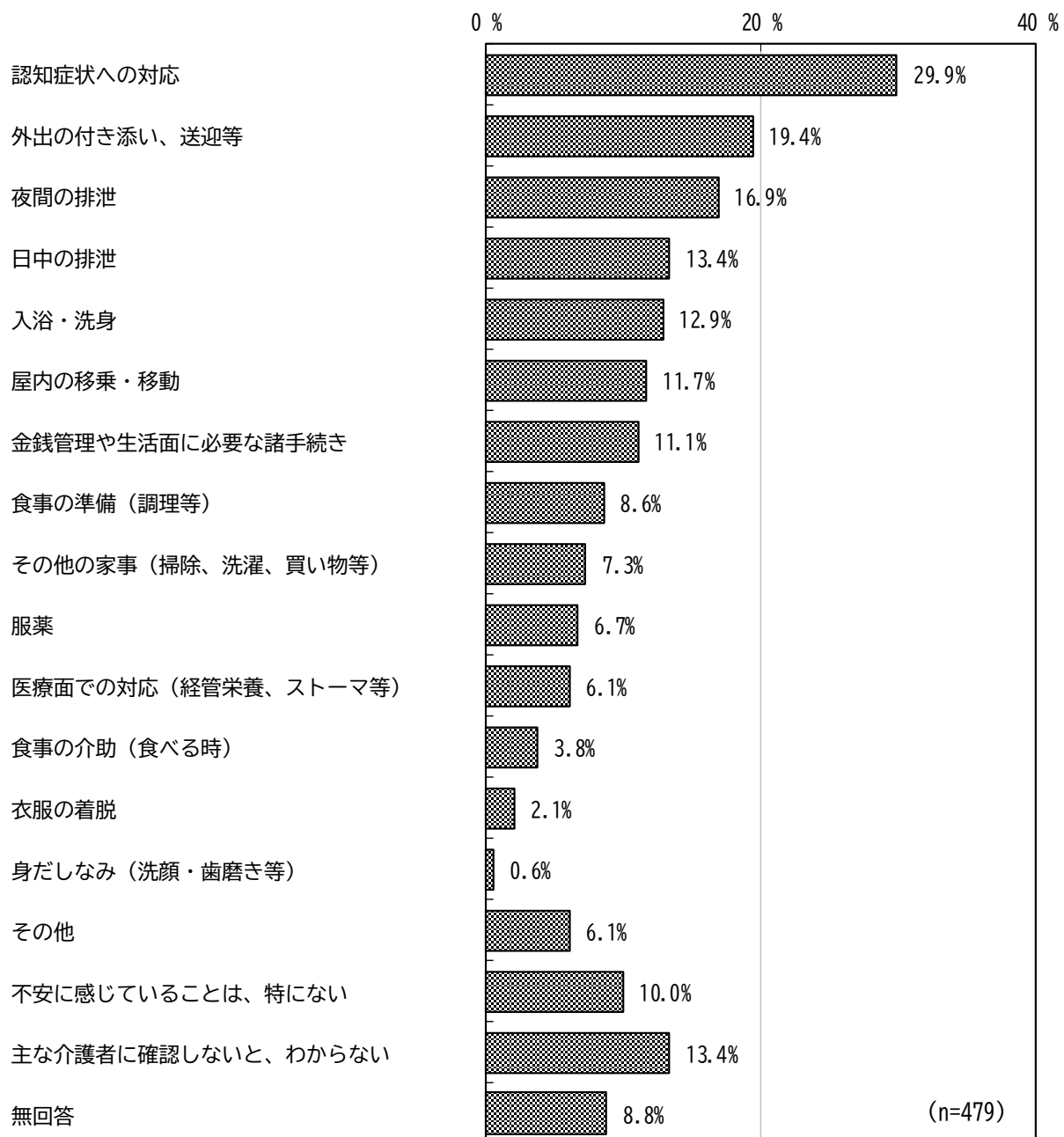
【B票】問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つに○）。

主な介護者の方が、今後も働きながら介護を続けていけそうかについて、「問題はあるが、何とか続けていける」が37.2%と最も高く、「問題なく、続けていける」が33.2%、「続けていくのは、やや難しい」が6.1%、「続けていくのは、かなり難しい」が5.3%となっている。また、「主な介護者に確認しないと、わからない」が14.2%となっている。



【B票】問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで○）。

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、「認知症状への対応」が29.9%と最も高く、「外出の付き添い、送迎等」が19.4%、「夜間の排泄」が16.9%、「日中の排泄」が13.4%、「入浴・洗身」が12.9%、「屋内の移乗・移動」が11.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が11.1%、「食事の準備（調理等）」が8.6%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が7.3%、「服薬」が6.7%、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が6.1%、「食事の介助（食べる時）」が3.8%、「衣服の着脱」が2.1%、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」が0.6%となっている。また「不安に感じていることは、特にない」が10.0%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が13.4%となっている。





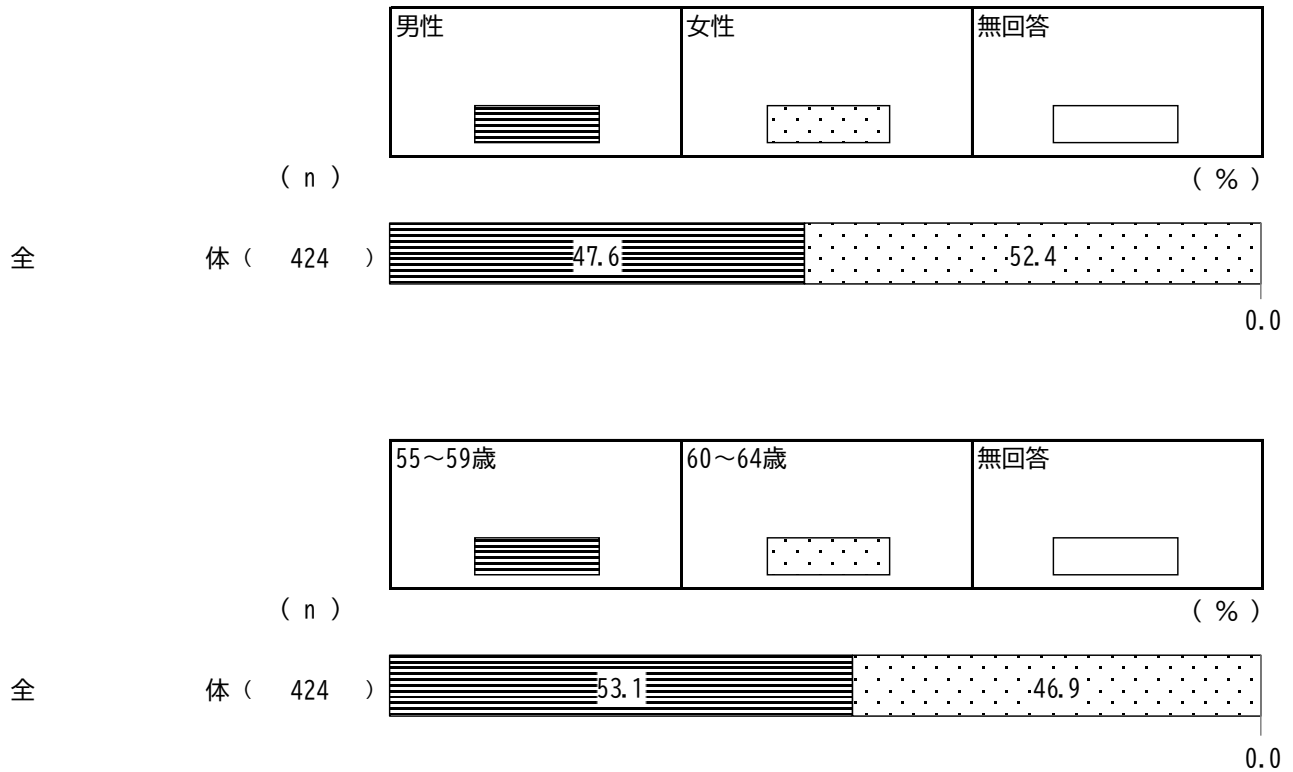
## 5 第2号被保険者調査

## (1) 回答者の基本情報

問1 あなたの性別・年齢をお聞きします（1つに○）。

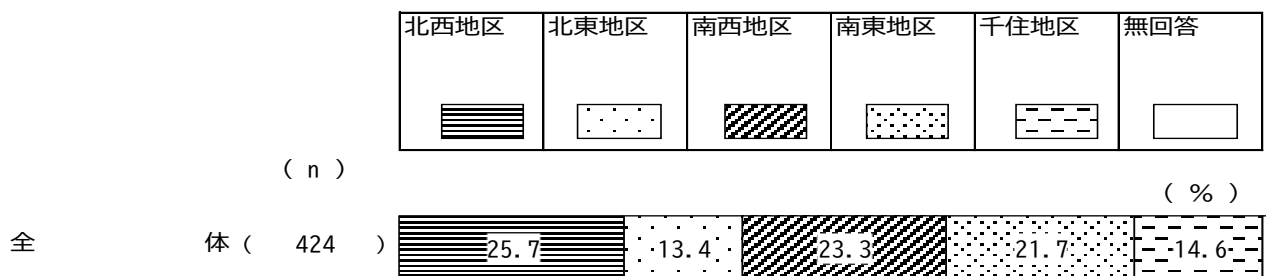
性別は、「男性」が47.6%、「女性」が52.4%となっている。

年齢は、「55～59歳」が53.1%、「60～64歳」が46.9%となっている。



問2(1) あなたのお住まいはどちらですか。

日常生活圏域でみると、「北西地区」が25.7%と最も高く、「南西地区」が23.3%、「南東地区」が21.7%、「千住地区」が14.6%、「北東地区」が13.4%となっている。

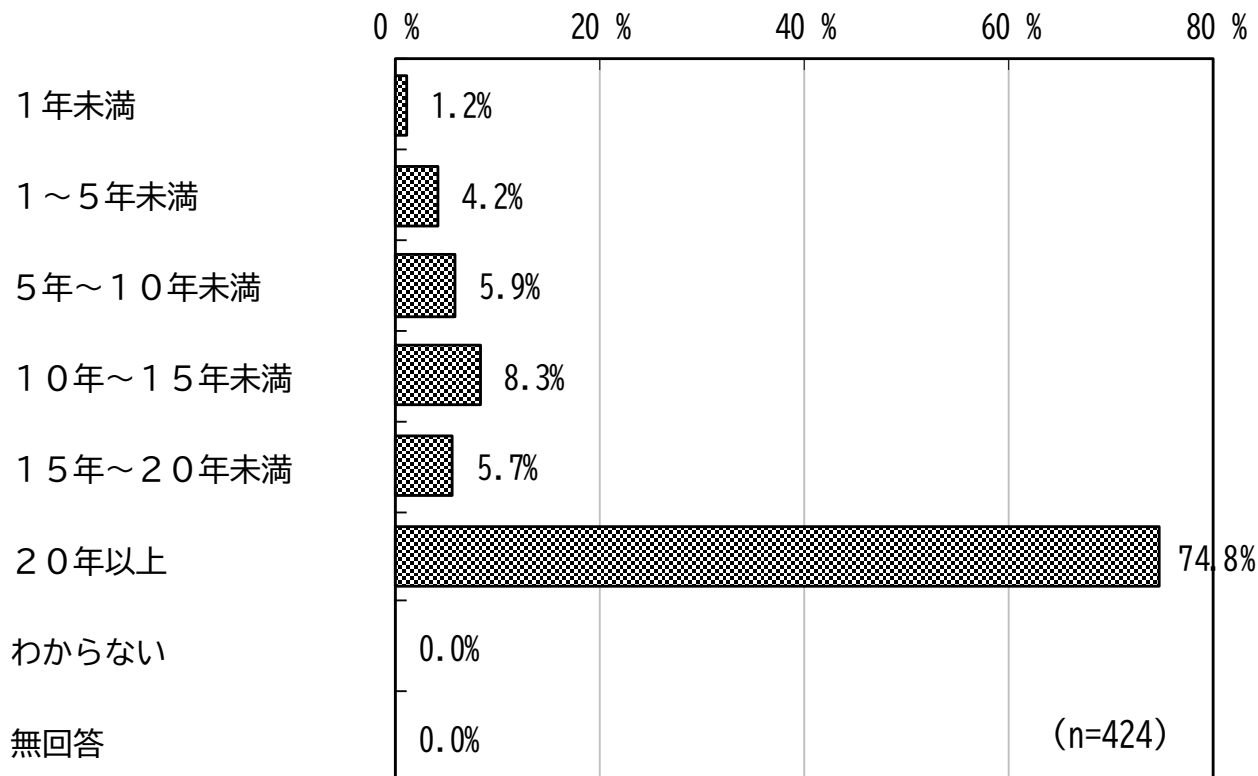


1.2

問2(2) あなたの足立区での居住年数は何年ですか。

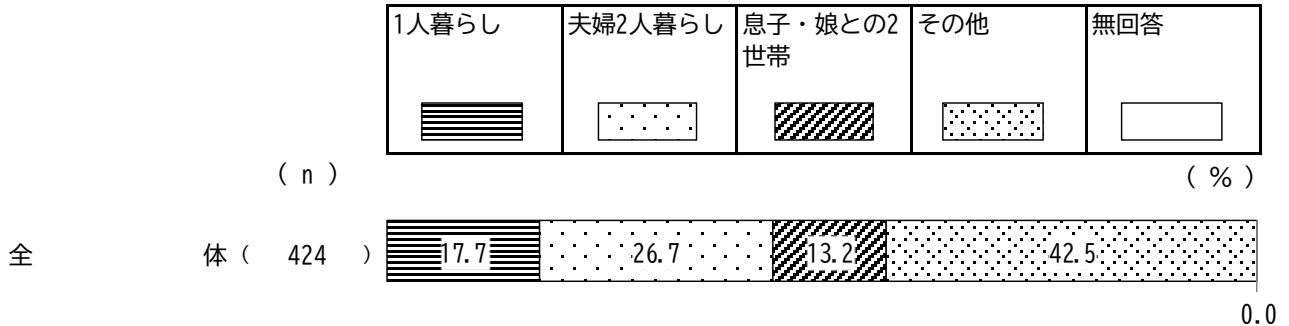
※ 一旦区を離れた場合でも通算してお答えください(1つを選択)。

全体では、「20年以上」が74.8%と最も高く、「10年～15年未満」が8.3%、「5年～10年未満」が5.9%、「15年～20年未満」が5.7%、「1～5年未満」が4.2%、「1年未満」が1.2%となっている。



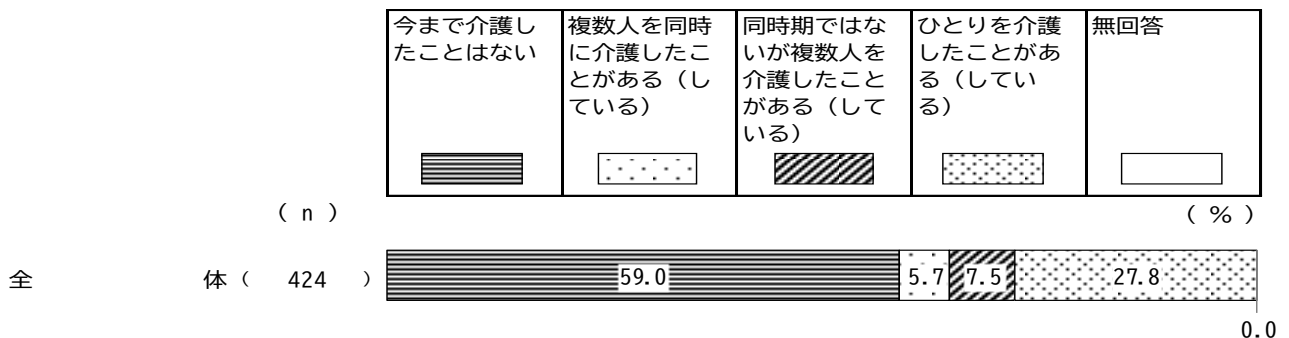
## 問3(1) 家族構成をお教えてください(1つを選択)。

家族構成について、「1人暮らし」が17.7%、「夫婦2人暮らし」が26.7%、「息子・娘との2世帯」が13.2%となっている。



## 問3(2) あなたは、家族や親族を3か月以上介護したことがありますか(1つを選択)。

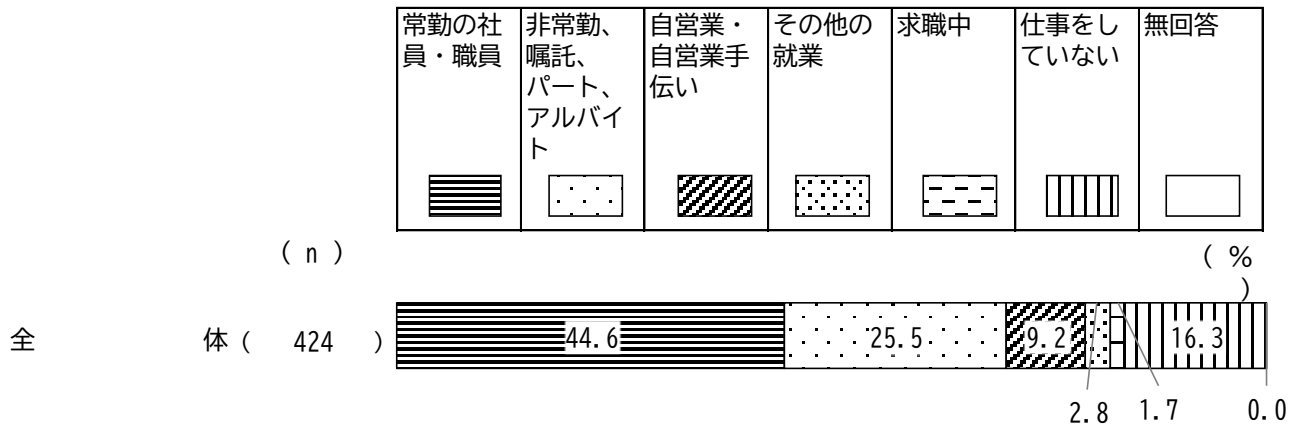
家族や親族を3か月以上介護したことがあるかについて、「今まで介護したことはない」が59.0%と最も高く、「ひとりを介護したことがある(している)」が27.8%、「同時期ではないが複数人を介護したことがある(している)」が7.5%、「複数人を同時に介護したことがある(している)」が5.7%となっている。



(2) 就労について

問4 あなたの現在の就業状況をお聞きます(1つを選択)。

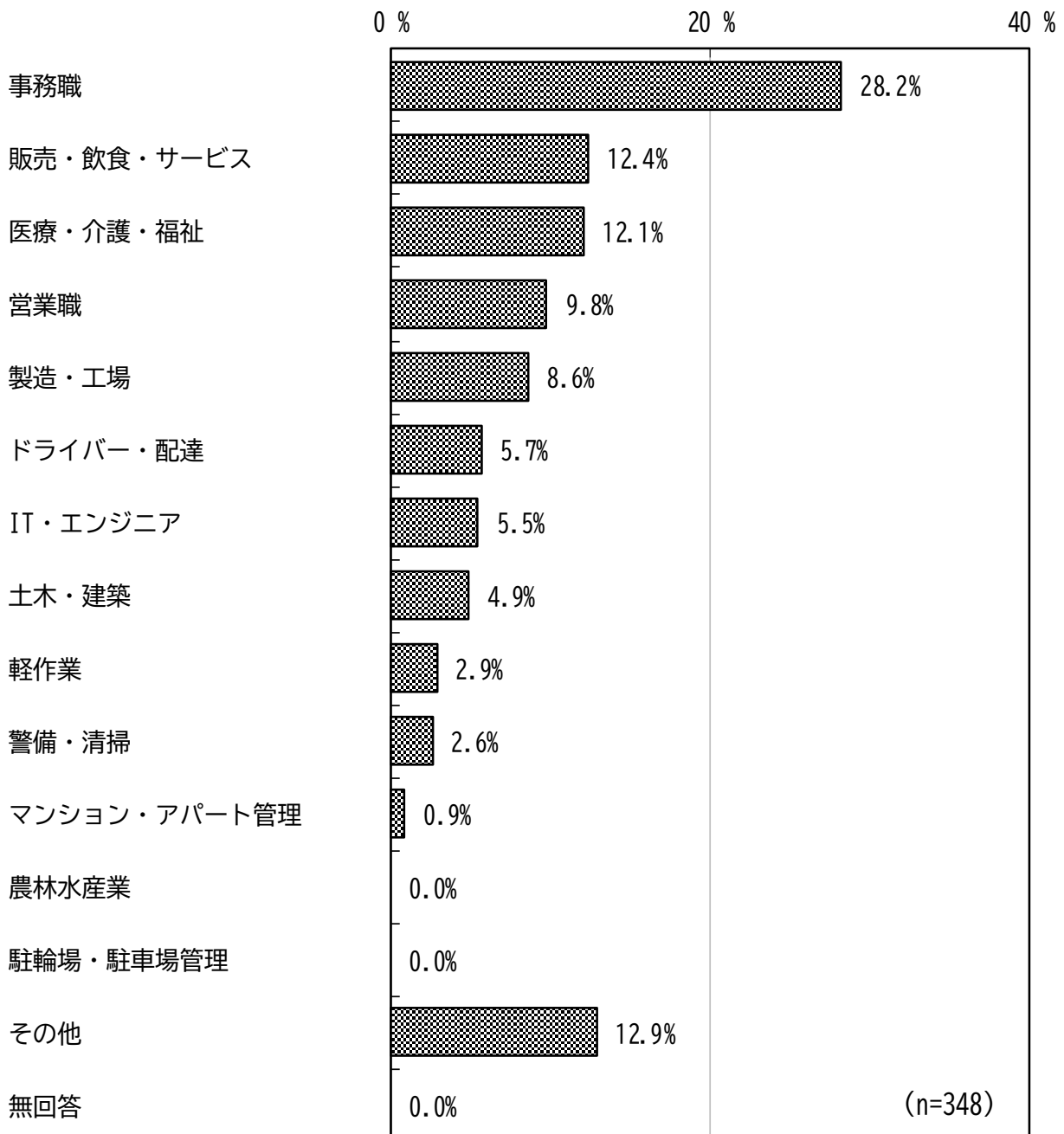
現在の就業状況について、「常勤の社員・職員」が44.6%と最も高く、「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」が25.5%、「仕事をしていない」が16.3%、「自営業・自営業手伝い」が9.2%、「その他の就業」が2.8%、「求職中」が1.7%となっている。





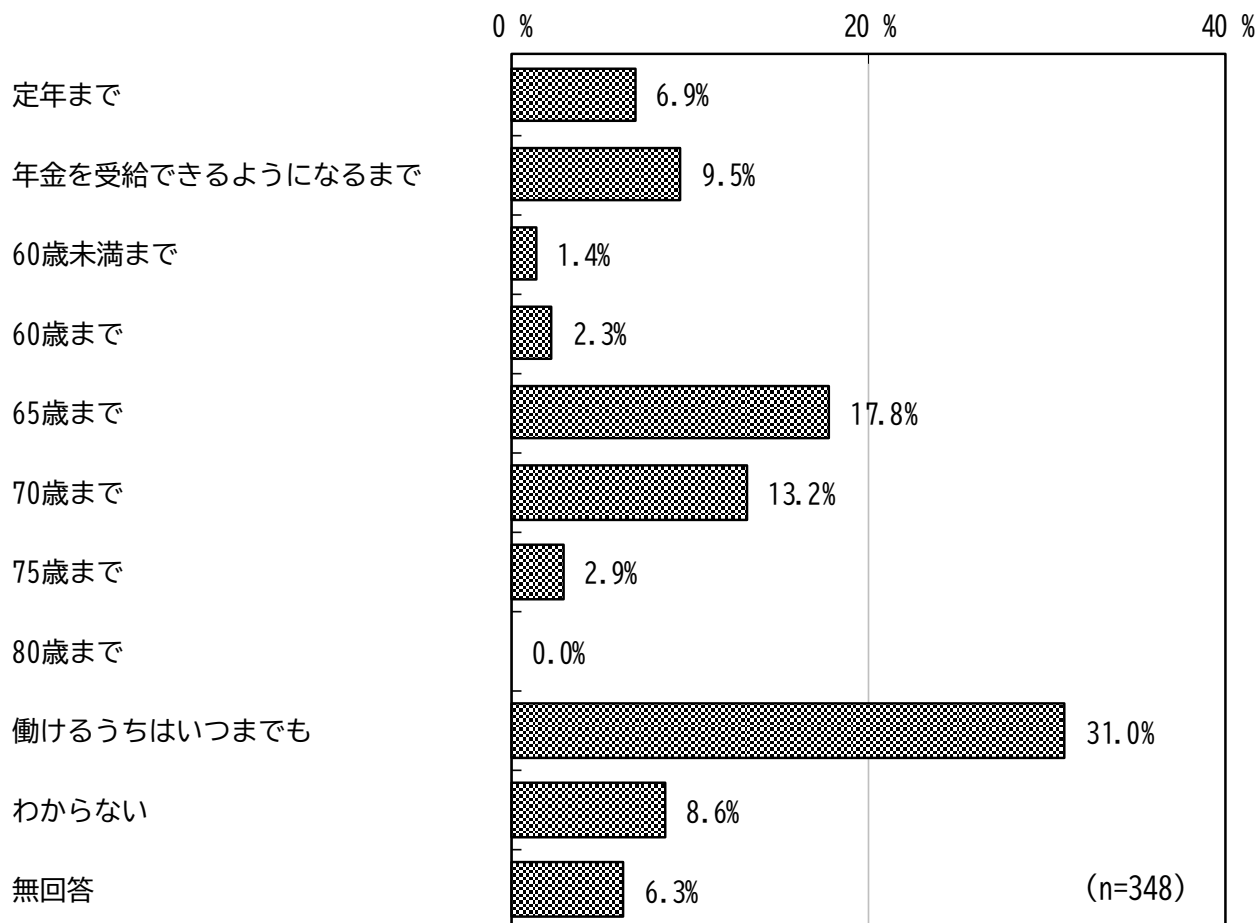
## 問4(1) 現在の職種について教えてください(いくつでも選択可)。

「常勤の社員・職員」「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」「自営業・自営業手伝い」「その他の就業」と回答した方の、現在の職種について、「事務職」が28.2%と最も高く、「販売・飲食・サービス」が12.4%、「医療・介護・福祉」が12.1%、「営業職」が9.8%、「製造・工場」が8.6%となっている。



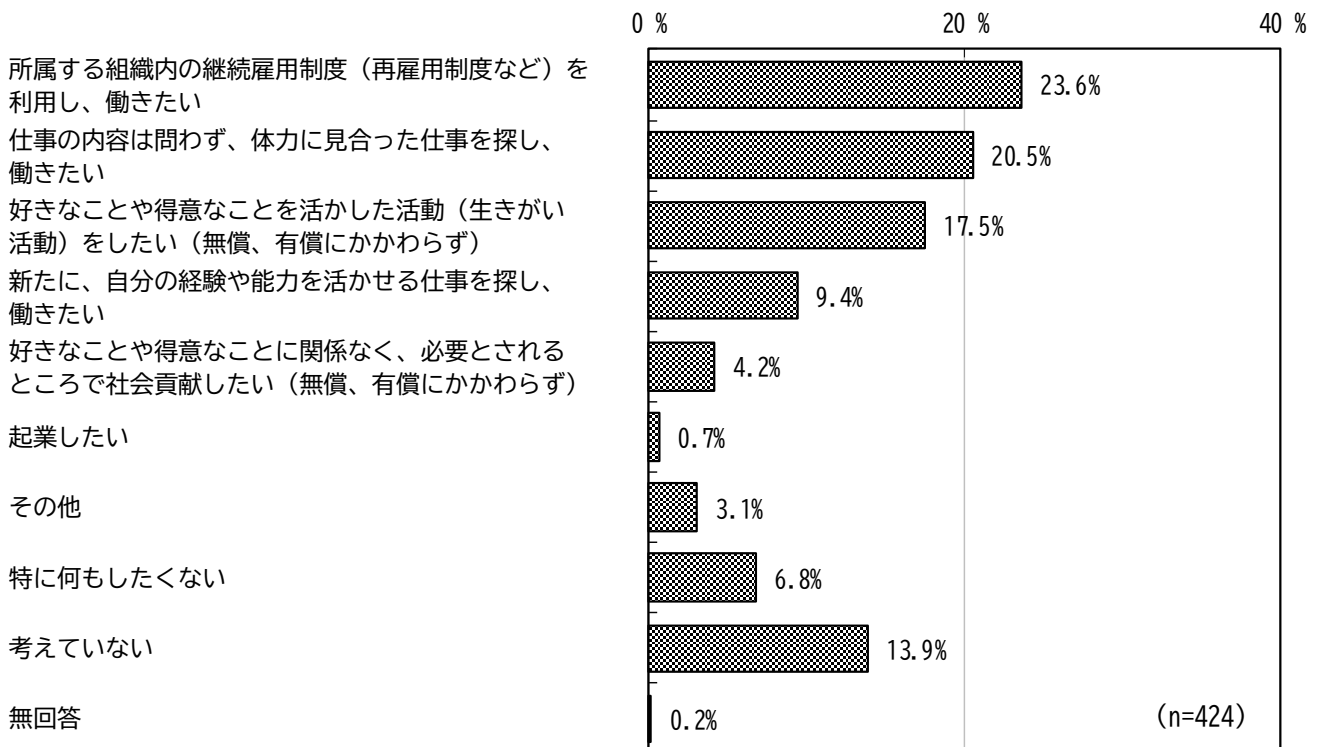
問4(2) あなたは何歳まで仕事をしたい(または続けたい)ですか(1つを選択)。

「常勤の社員・職員」「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」「自営業・自営業手伝い」「その他の就業」と回答した方の、何歳まで仕事をしたいかについて、「働けるうちはいつまでも」が31.0%と最も高く、「65歳まで」が17.8%、「70歳まで」が13.2%、「年金を受給できるようになるまで」が9.5%、「定年まで」が6.9%、「75歳まで」が2.9%、「60歳まで」が2.3%、「60歳未満まで」が1.4%、「80歳まで」が0.0%、「わからない」が8.6%となっている。



問4(3) あなたの退職後の働き方等に関する希望を教えてください(1つを選択)。

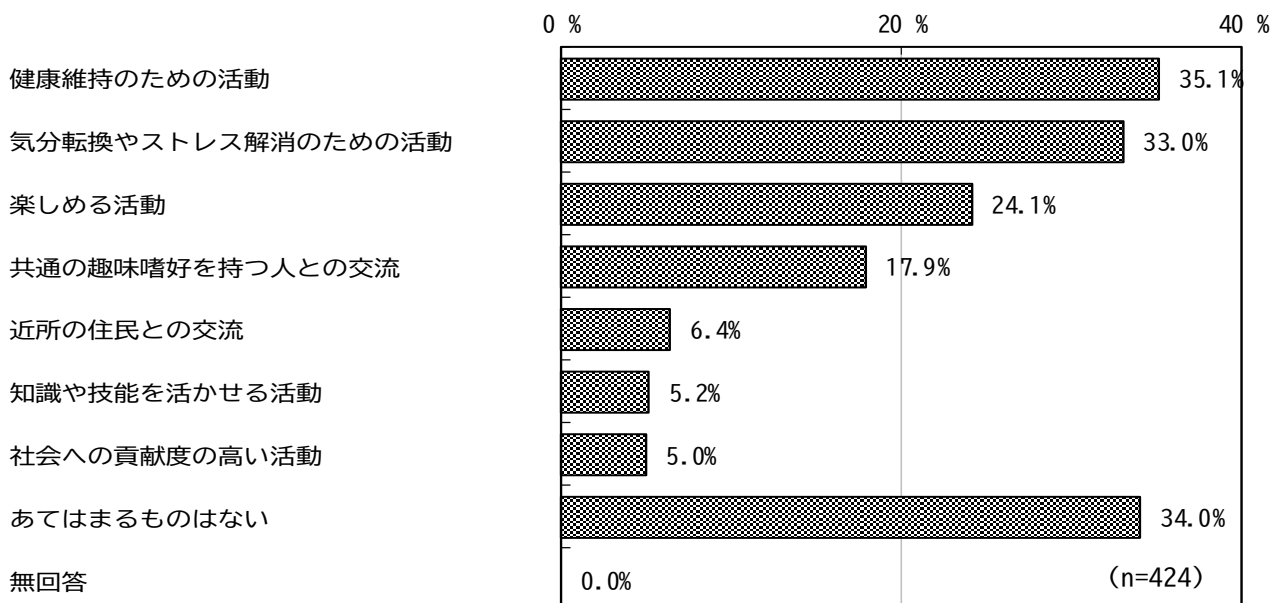
退職後の働き方等に関する希望について、「所属する組織内の継続雇用制度(再雇用制度など)を利用し、働きたい」が23.6%と最も高く、「仕事の内容は問わず、体力に見合った仕事を探し、働きたい」が20.5%、「好きなことや得意なことを活かした活動(生きがい活動)をしたい(無償、有償にかかわらず)」が17.5%、「新たに、自分の経験や能力を活かせる仕事を探し、働きたい」が9.4%、「好きなことや得意なことに関係なく、必要とされるところで社会貢献したい(無償、有償にかかわらず)」が4.2%、「起業したい」が0.7%となっている。また「特に何もしたくない」が6.8%、「考えていない」が13.9%となっている。



(3) 健康や地域との関わりについて

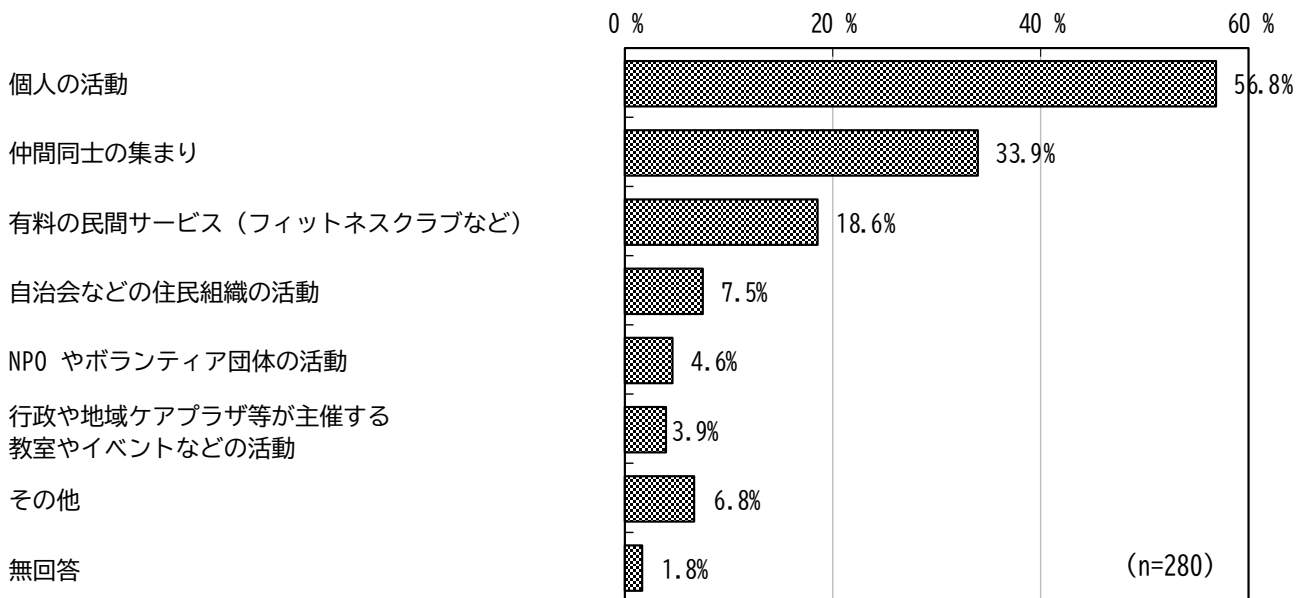
問5 あなたが、月に1回以上行っている取り組みや活動はありますか  
(いくつでも選択可)。

月に1回以上行っている取り組みや活動について、「健康維持のための活動」が35.1%と最も高く、「あてはまるものはない」が34.0%、「気分転換やストレス解消のための活動」が33.0%、「楽しめる活動」が24.1%、「共通の趣味嗜好を持つ人との交流」が17.9%、「近所の住民との交流」が6.4%、「知識や技能を活かせる活動」が5.2%、「社会への貢献度の高い活動」が5.0%となっている。



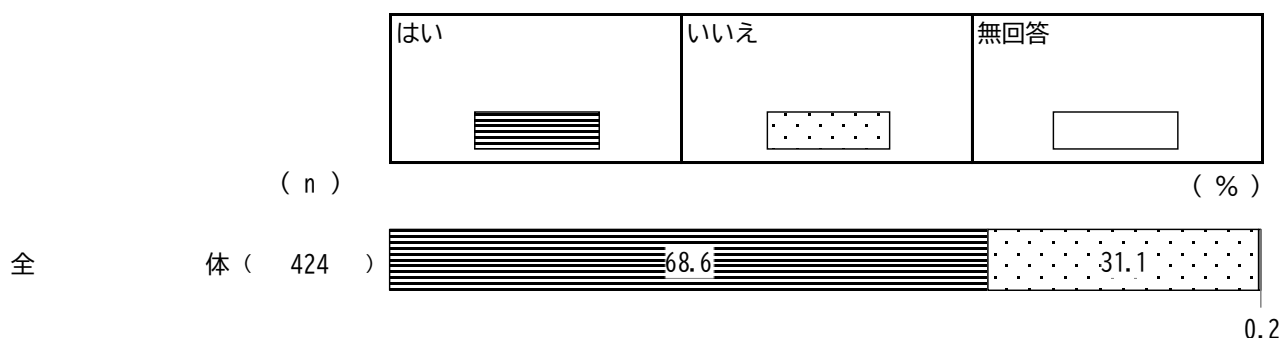
## 問5(1) あなたが取り組んでいる活動はどのような場ですか。(いくつでも選択可)

取り組んでいる活動の場について、「個人の活動」が56.8%と最も高く、「仲間同士の集まり」が33.9%、「有料の民間サービス（フィットネスクラブなど）」が18.6%、「自治会などの住民組織の活動」が7.5%、「NPO やボランティア団体の活動」が4.6%、「行政や地域ケアプラザ等が主催する教室やイベントなどの活動」が3.9%となっている。



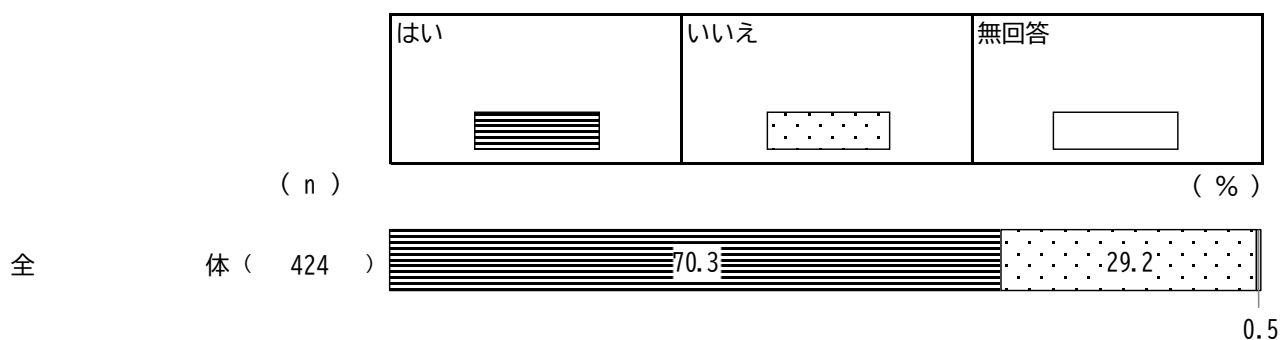
問6(1) かかりつけ医（医院・病院）はいますか（1つを選択）。

『かかりつけ医（医院・病院）はいますか。』に対して、「はい」が68.6%、「いいえ」が31.1%となっている。



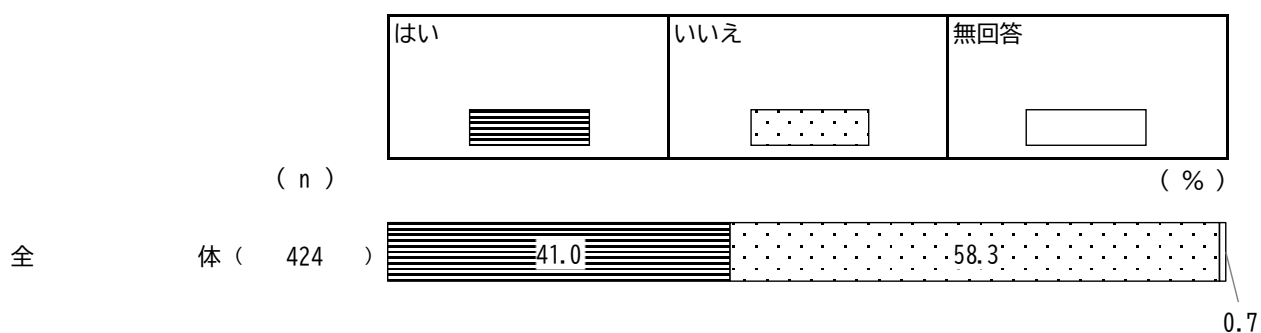
問6(2) かかりつけ歯科医（医院・病院）はいますか（1つを選択）。

『かかりつけ歯科医（医院・病院）はいますか。』に対して、「はい」が70.3%、「いいえ」が29.2%となっている。



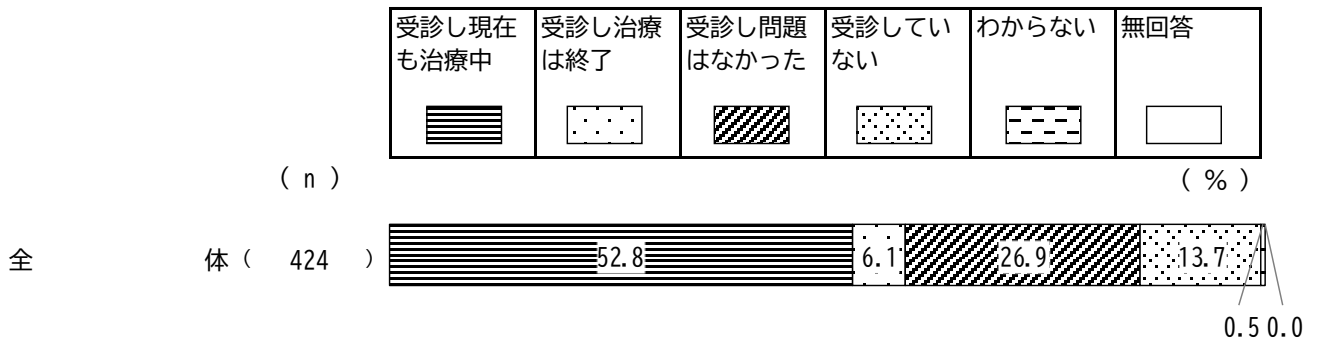
問6(3) かかりつけ薬剤師（薬局）はいますか（1つを選択）。

『かかりつけ薬剤師（薬局）はいますか。』に対して、「はい」が41.0%、「いいえ」が58.3%となっている。



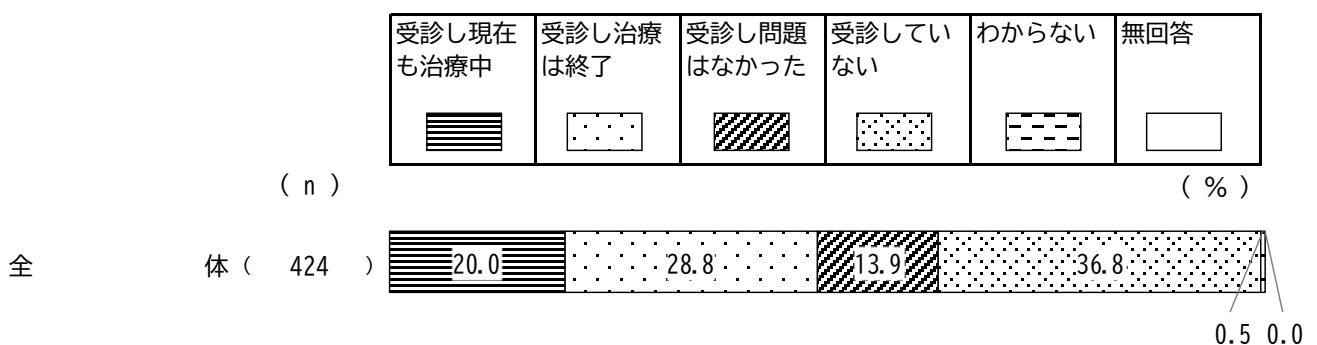
問7(1) あなたは1年前から今日の間で医師による健康診査(検診)や治療を受けましたか(1つを選択)。

1年前から今日の間で医師による健康診査(検診)や治療の受診状況について、「受診し現在も治療中」が52.8%と最も高く、「受診し問題はなかった」が26.9%、「受診していない」が13.7%、「受診し治療は終了」が6.1%、「わからない」が0.5%となっている。



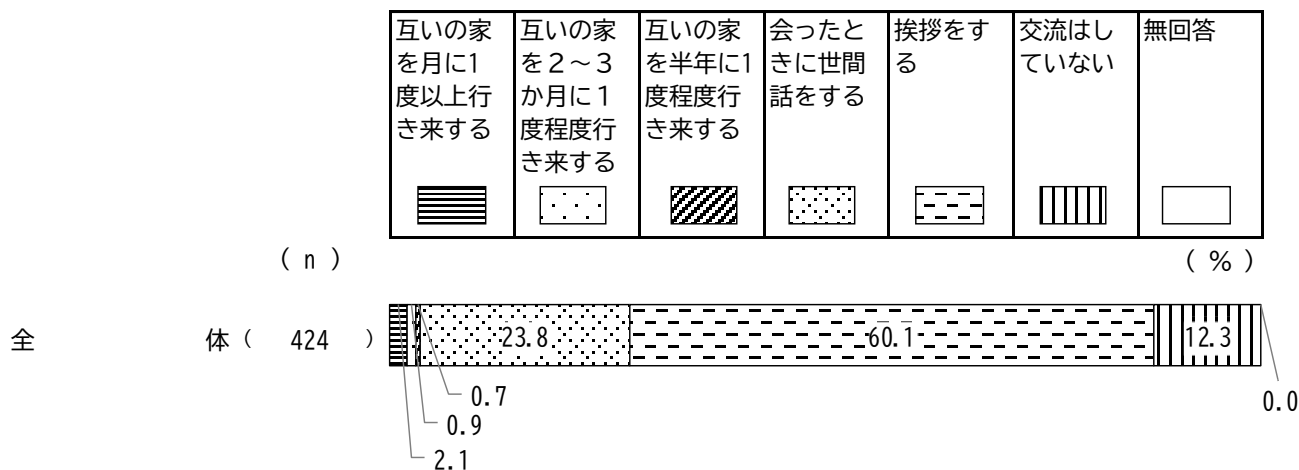
問7(2) あなたは1年前から今日の間で歯科医師による歯科健診(検診)や治療を受けましたか(1つを選択)。

1年前から今日の間で歯科医師による歯科健診(検診)や治療の受診状況について、「受診していない」が36.8%と最も高く、「受診し治療は終了」が28.8%、「受診し現在も治療中」が20.0%、「受診し問題はなかった」が13.9%、「わからない」が0.5%となっている。



問8 あなたは隣近所とどの程度交流を持っていますか（1つを選択）。

隣近所との交流の程度は、「挨拶をする」が60.1%と最も高く、「会ったときに世間話をする」が23.8%、「交流はしていない」が12.3%、「互いの家を月に1度以上行き来する」が2.1%、「互いの家を2～3か月に1度程度行き来する」が0.9%、「互いの家を半年に1度程度行き来する」が0.7%となっている。



問9 あなたの地域活動への参加状況についてお聞きします（1つを選択）。

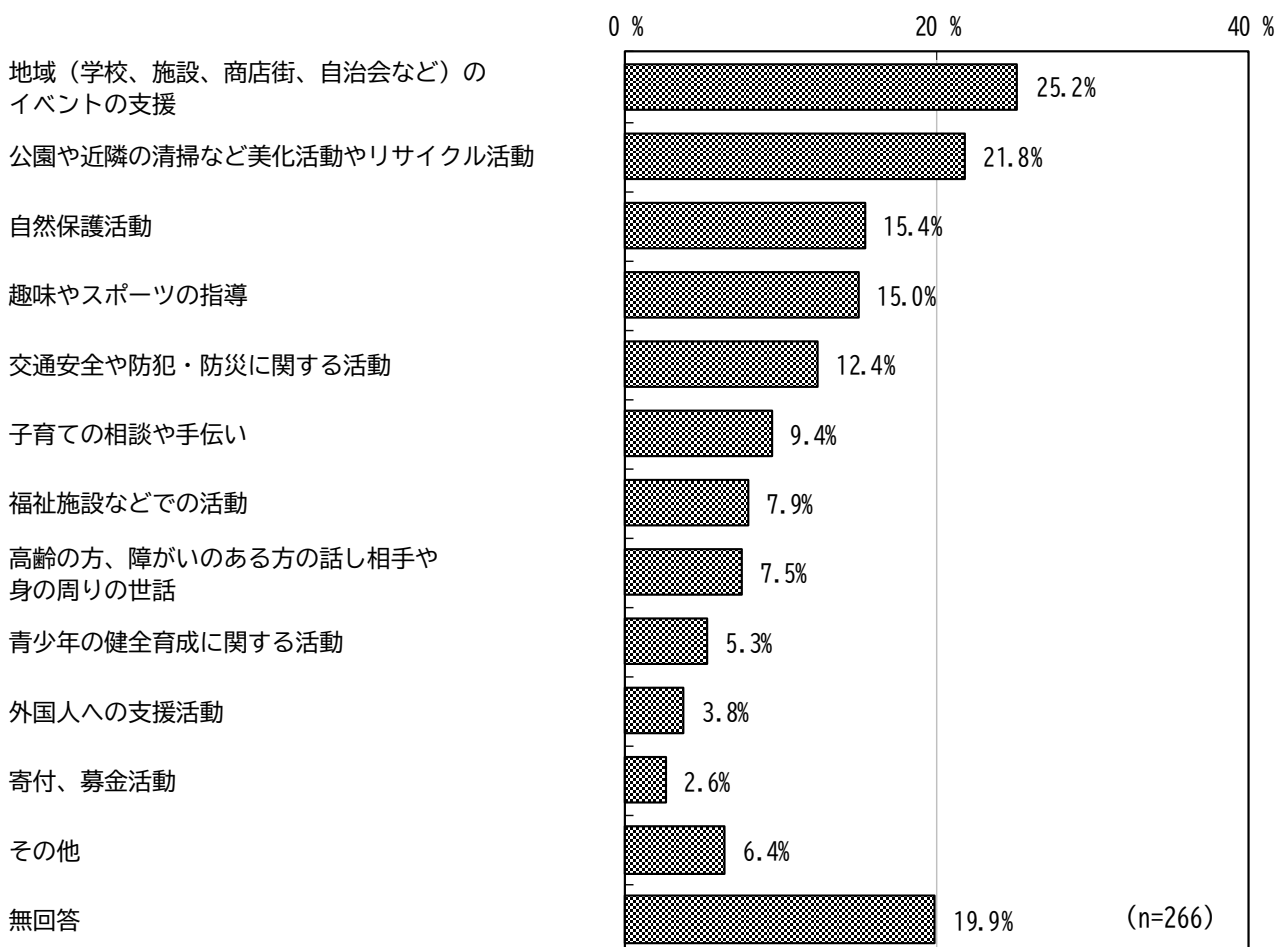
地域活動への参加状況について、「あまり参加していない」が40.3%と最も高く、「参加したいとは思わない」が37.3%、「参加している」が10.4%、「現在はしていないが、今後参加したい」が12.0%、「参加したいとは思わない」が12.0%となっている。





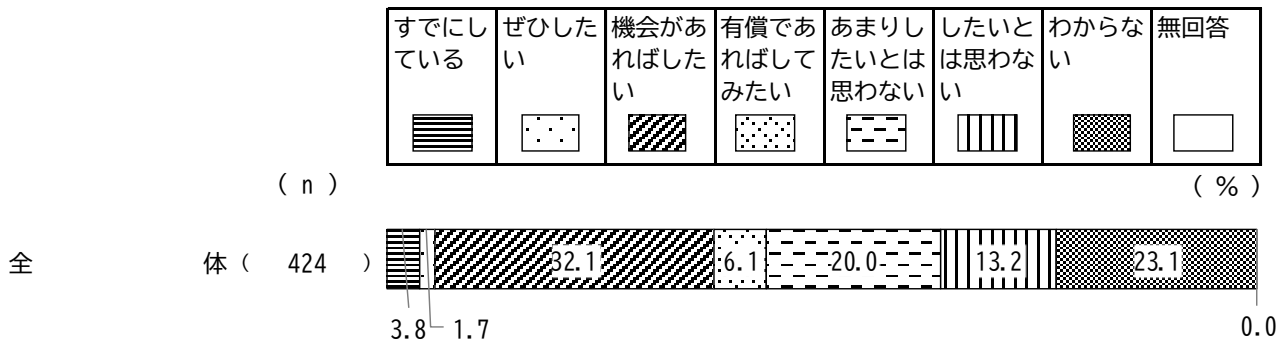
問9(1) 参加している、または参加したいと思う活動内容はどのようなものですか  
(いくつでも選択可)。

参加している、または参加したいと思う活動内容について、「地域（学校、施設、商店街、自治会など）のイベントの支援」が25.2%と最も高く、「公園や近隣の清掃など美化活動やリサイクル活動」が21.8%、「自然保護活動」が15.4%、「趣味やスポーツの指導」が15.0%、「交通安全や防犯・防災に関する活動」が12.4%、「子育ての相談や手伝い」が9.4%、「福祉施設などでの活動」が7.9%、「高齢の方、障がいのある方の話し相手や身の周りの世話」が7.5%、「青少年の健全育成に関する活動」が5.3%、「外国人への支援活動」が3.8%、「寄付、募金活動」が2.6%となっている。



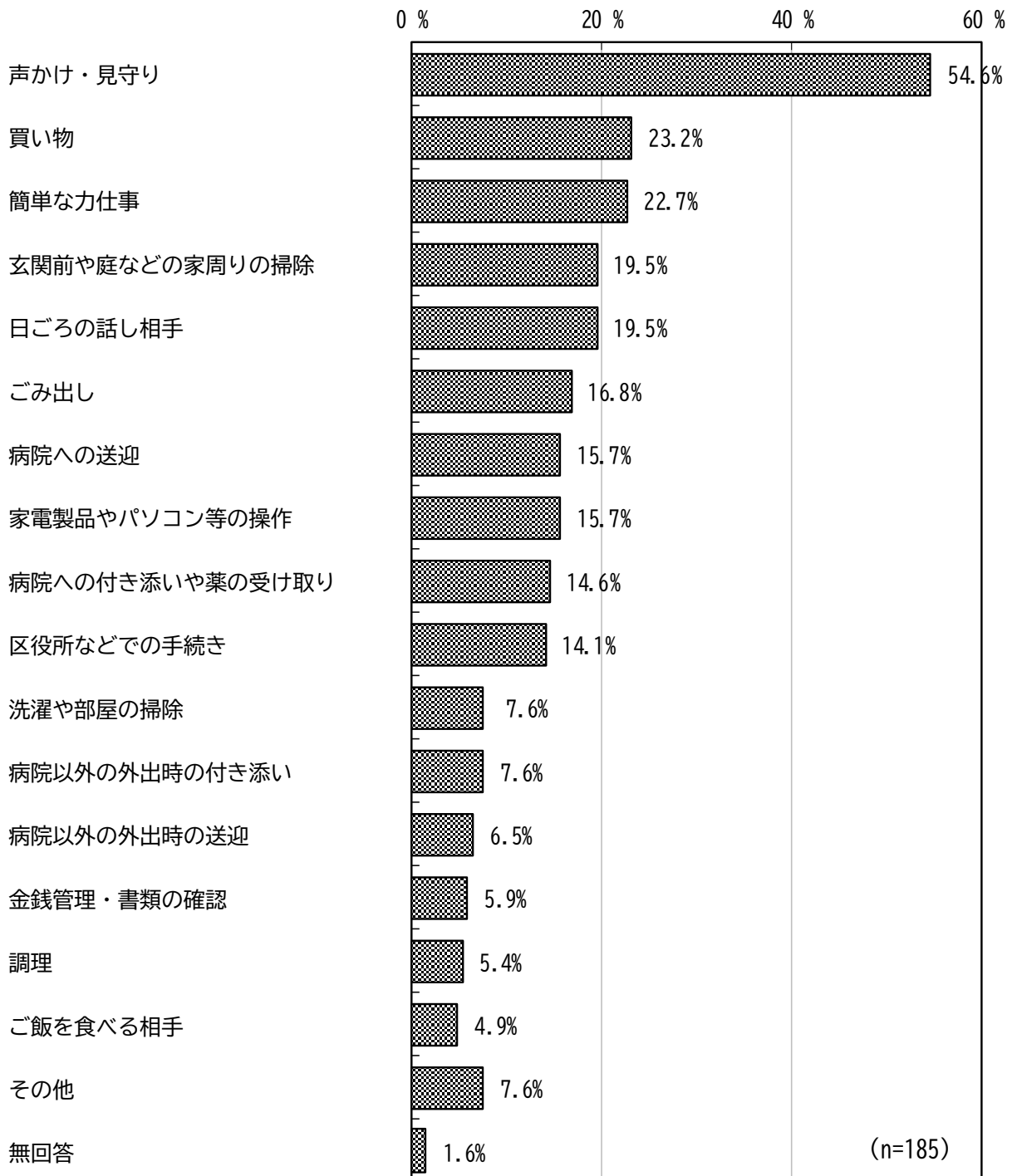
問10 あなたはお住まいの地域で、支援が必要な人に対して何か手助けや活動（ボランティアを含む）をしようと思いますか。（1つを選択）。

支援が必要な人に対して何か手助けや活動（ボランティアを含む）をしようと思うかについて、「機会があればしたい」が32.1%と最も高く、「あまりしたいとは思わない」が20.0%、「したいとは思わない」が13.2%、「有償であればしてみたい」が6.1%、「すでに行っている」が3.8%、「ぜひしたい」が1.7%、「わからない」が23.1%となっている。



## 問10-1 それはどのような手助けや活動ですか。(いくつでも選択可)

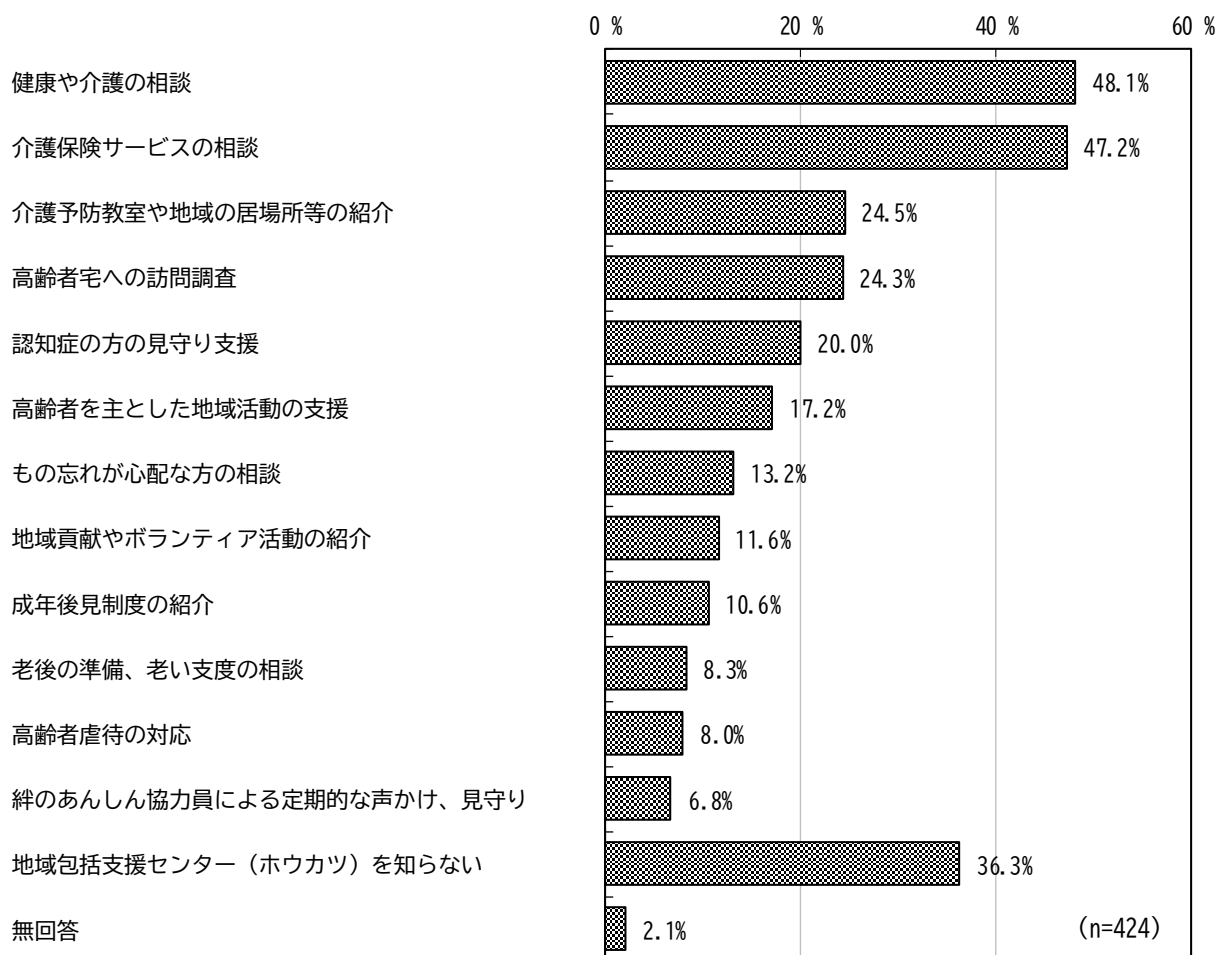
「すでに行っている」「してみたい」と回答した方の、手助けや活動について、「声かけ・見守り」が54.6%と最も高く、「買い物」が23.2%、「簡単な力仕事」が22.7%、「玄関前や庭などの家周りの掃除」「日ごろの話し相手」が19.5%、「ごみ出し」が16.8%、「病院への送迎」「家電製品やパソコン等の操作」が15.7%、「病院への付き添いや薬の受け取り」が14.6%、「区役所などでの手続き」が14.1%、「洗濯や部屋の掃除」「病院以外の外出時の付き添い」が7.6%、「病院以外の外出時の送迎」が6.5%、「金銭管理・書類の確認」が5.9%、「調理」が5.4%、「ご飯を食べる相手」が4.9%となっている。



(4) 区のサービス等について

問11 現在、区内には、高齢者の介護や生活上の相談等を受ける地域包括支援センターがあります。地域包括支援センター（ホウカツ）の業務で、ご存知のものを選択してください（いくつでも選択可）。

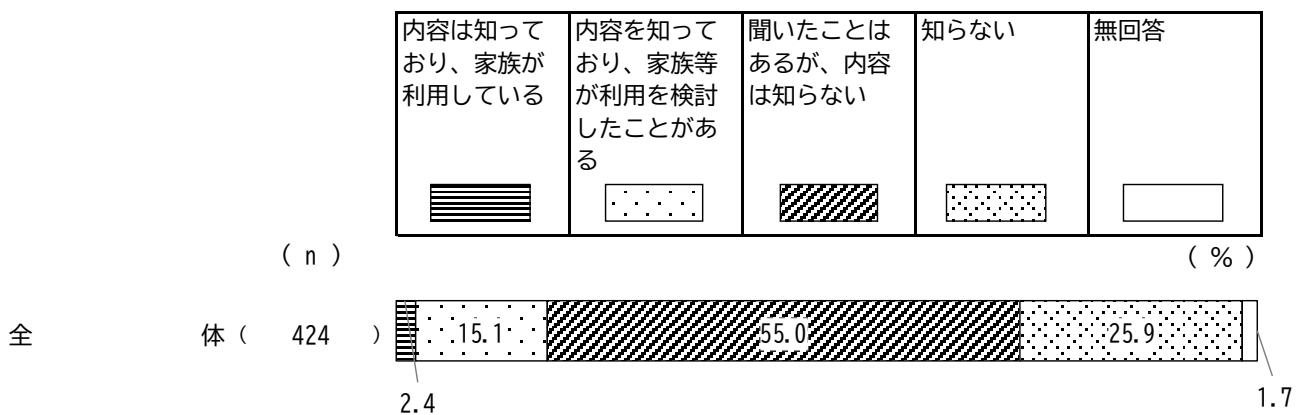
足立区内の地域包括支援センターが行っている業務の認知度について、「健康や介護の相談」が48.1%と最も高く、「介護保険サービスの相談」が47.2%、「地域包括支援センター（ホウカツ）を知らない」が36.3%、「介護予防教室や地域の居場所等の紹介」が24.5%、「高齢者宅への訪問調査」が24.3%、「認知症の方の見守り支援」が20.0%、「高齢者を主とした地域活動の支援」が17.2%、「もの忘れが心配な方の相談」が13.2%、「地域貢献やボランティア活動の紹介」が11.6%、「成年後見制度の紹介」が10.6%、「老後の準備、老い支度の相談」が8.3%、「高齢者虐待の対応」が8.0%、「絆のあんしん協力員による定期的な声かけ、見守り」が6.8%となっている。



### 問12 成年後見制度についてご存知ですか（1つを選択）。

※成年後見制度とは、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力の不十分な人が、生活をするうえで不利益を被らないよう判断能力の不十分な方々を保護し、支援する制度である。

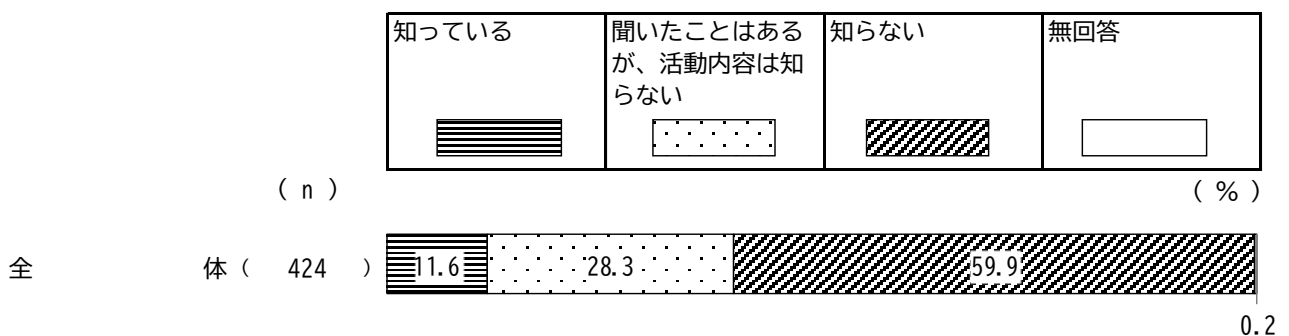
成年後見制度について、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が55.0%と最も高く、「知らない」が25.9%、「内容を知っており、家族等が利用を検討したことがある」が15.1%、「内容は知っており、家族が利用している」が2.4%となっている。



### 問13 認知症サポーターをご存知ですか。（1つを選択）。

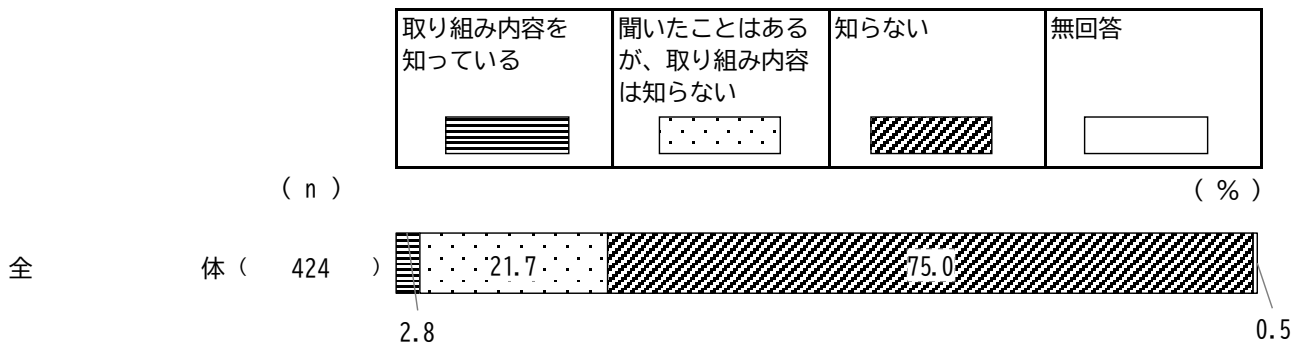
※認知症サポーターとは、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人やそのご家族を支援する人のことを言う。

認知症サポーターについて、「知らない」が59.9%と最も高く、「聞いたことはあるが、活動内容は知らない」が28.3%、「知っている」が11.6%となっている。



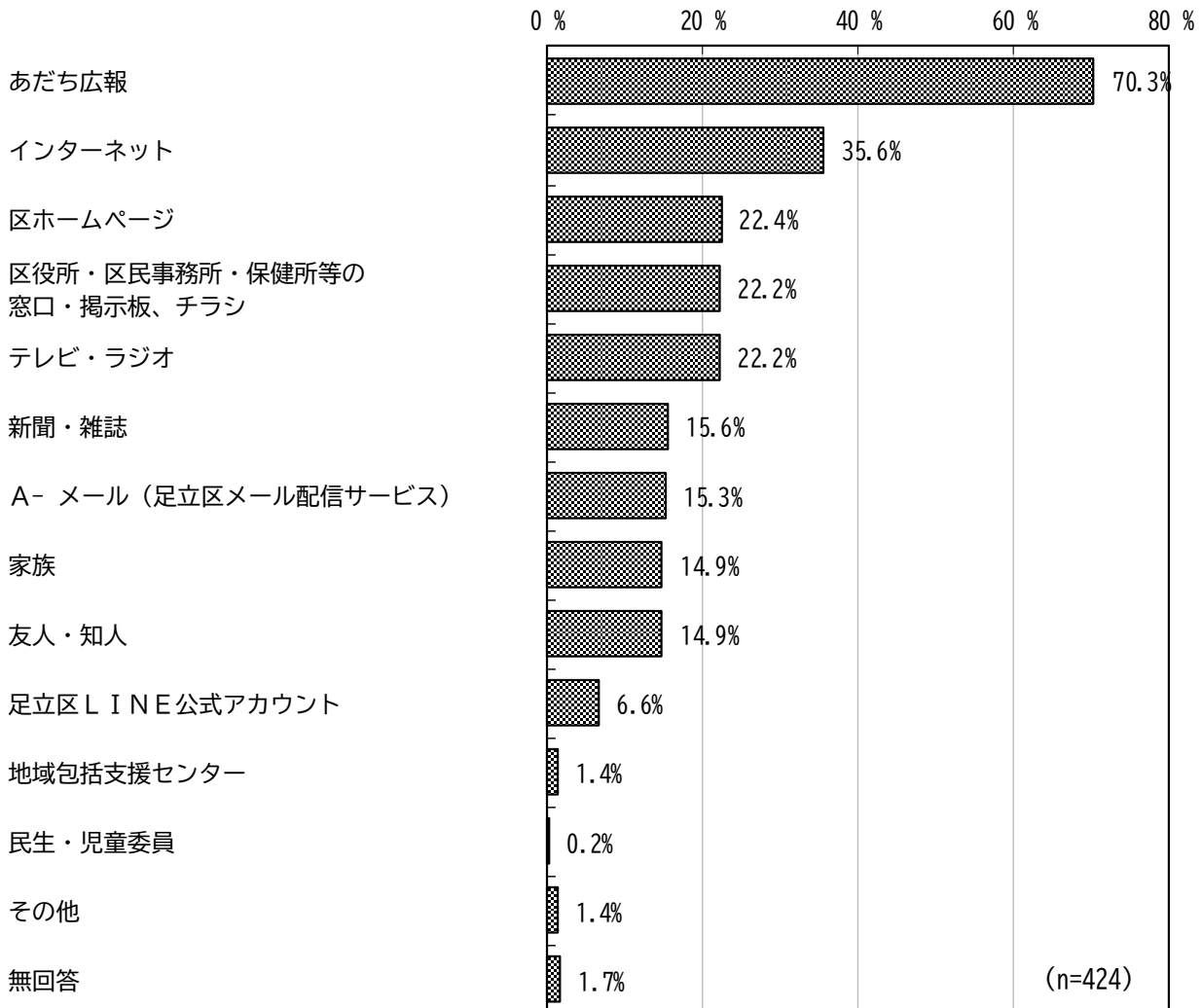
問14 足立区ではひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、「孤立ゼロプロジェクト～絆のあんしんネットワーク～」(近隣同士の見守り活動)の取り組みを実施していますが、ご存知ですか(1つを選択)。

「孤立ゼロプロジェクト」による取り組みについて、「知らない」が75.0%と最も高く、「聞いたことはあるが、取り組み内容は知らない」が21.7%、「取り組み内容を知っている」が2.8%となっている。



## 問15 身近な暮らしの情報をどのように入手しますか（いくつでも選択可）。

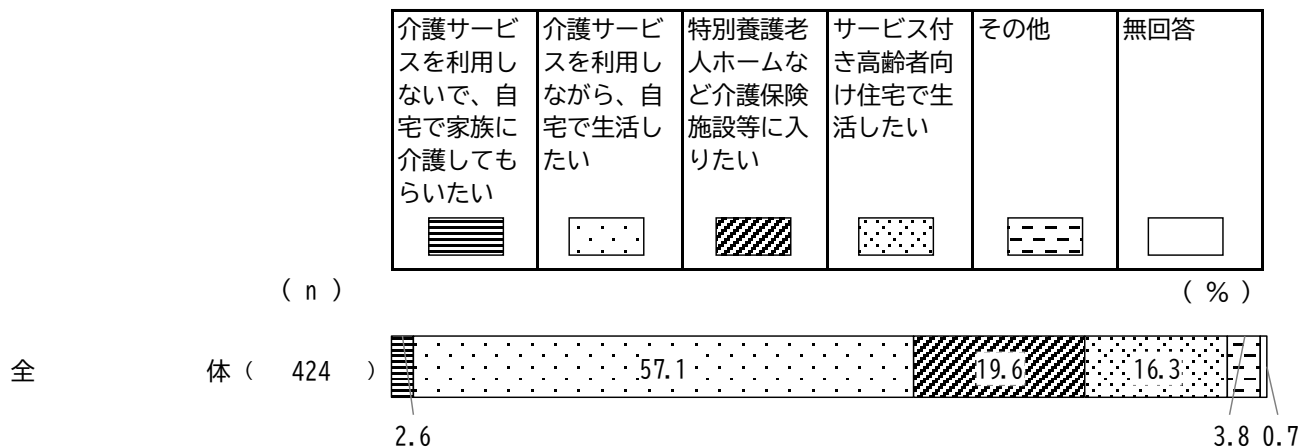
身近な暮らしの情報の入手先について、「あだち広報」が70.3%と最も高く、「インターネット」が35.6%、「区ホームページ」が22.4%、「区役所・区民事務所・保健所等の窓口・掲示板、チラシ」「テレビ・ラジオ」が22.2%、「新聞・雑誌」が15.6%、「A-メール（足立区メール配信サービス）」が15.3%、「家族」「友人・知人」が14.9%、「足立区LINE公式アカウント」が6.6%、「地域包括支援センター」が1.4%、「民生・児童委員」が0.2%となっている。



(5) 今後の生活について

問16 あなたに介護が必要となった場合、どのように生活したいと思いますか  
(1つを選択)。

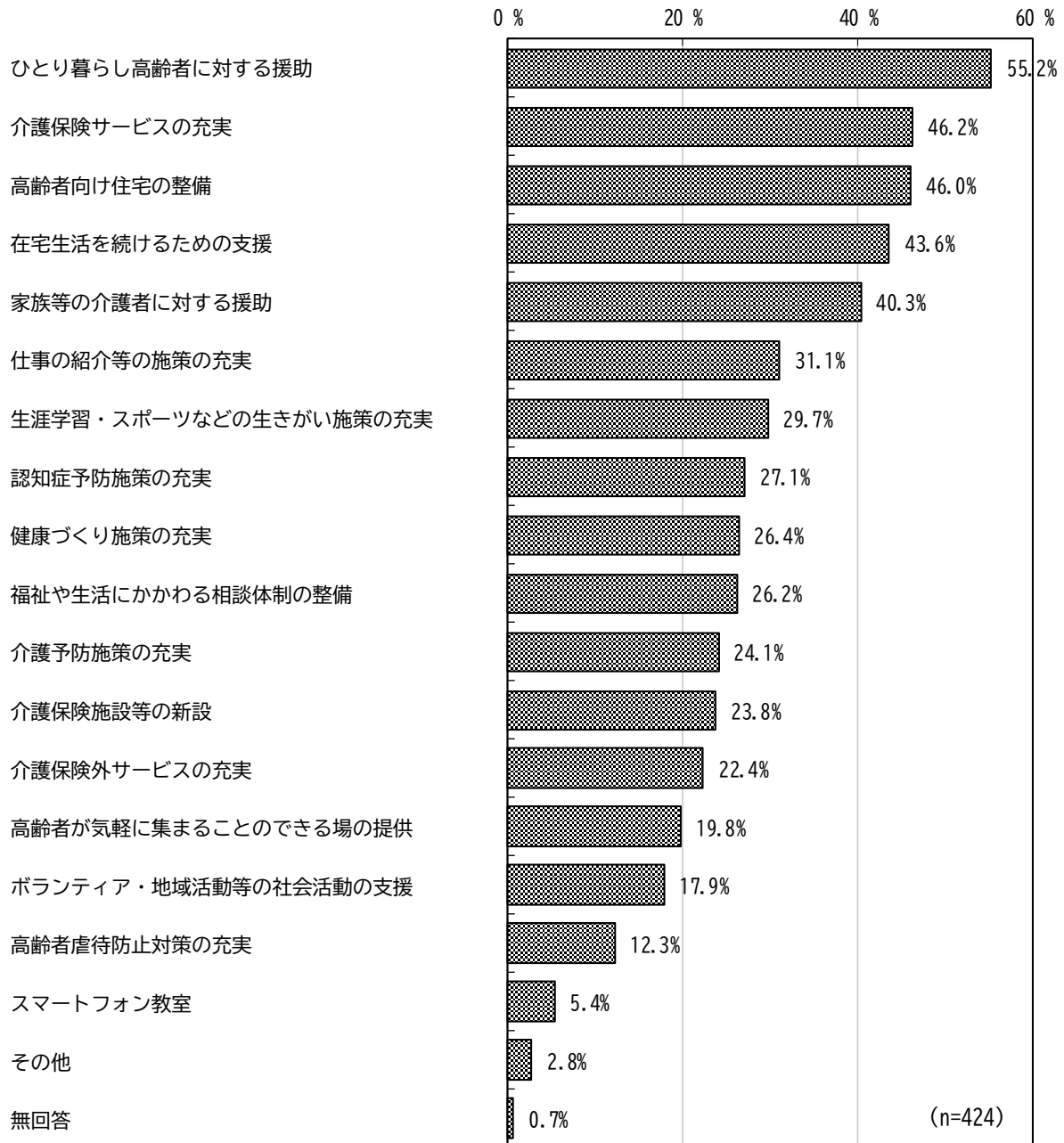
介護が必要になった際の生活の希望として、「介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」が57.1%と最も高く、「特別養護老人ホームなど介護保険施設等に入りたい」が19.6%、「サービス付き高齢者向け住宅で生活したい」が16.3%、「介護サービスを利用しないで、自宅で家族に介護してもらいたい」が2.6%となっている。





問17 あなたは、足立区に対してどのような高齢者施策の充実をお望みですか  
(いくつでも選択可)。

足立区に対して望む高齢者施策の充実について、「ひとり暮らし高齢者に対する援助」が55.2%と最も高く、「介護保険サービスの充実」が46.2%、「高齢者向け住宅の整備」が46.0%、「在宅生活を続けるための支援」が43.6%、「家族等の介護者に対する援助」が40.3%と続いている。





## 6 在宅サービス事業所調査

## (1) 事業所の基本情報

## 問1 貴事業所について

※①は「事業所名をご記入ください」という設問であるため省略

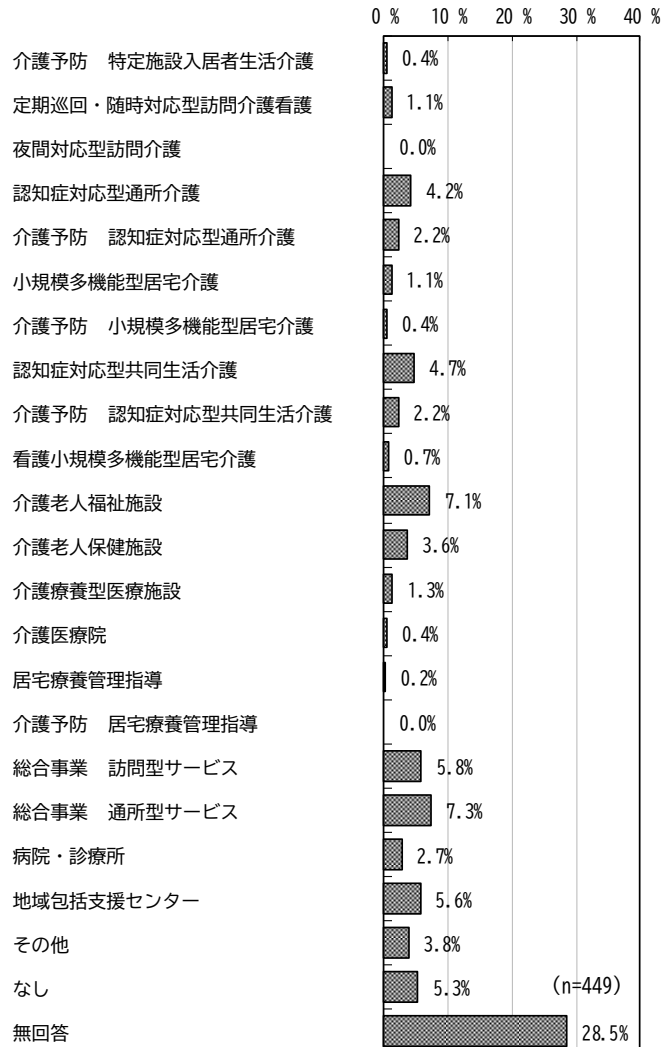
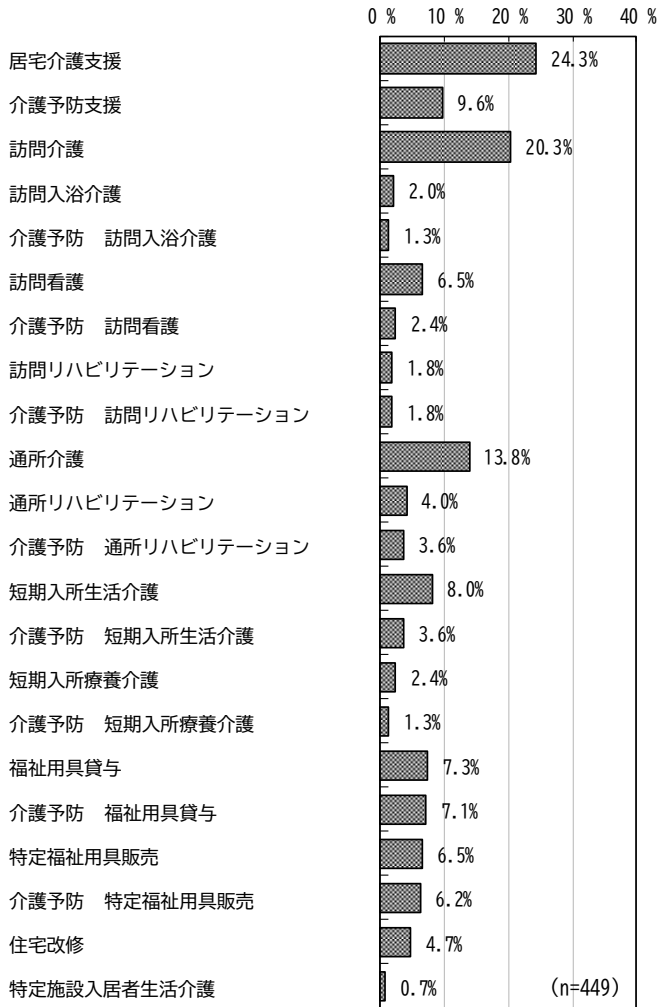
## ② 封筒の宛名に記載のある事業種別は何ですか。

事業種別について、「訪問介護」が26.3%と最も高く、「通所介護」が17.4%、「訪問看護」が8.7%、「短期入所生活介護」「認知症対応型共同生活介護」が4.9%、「福祉用具貸与」が4.7%と続いている。



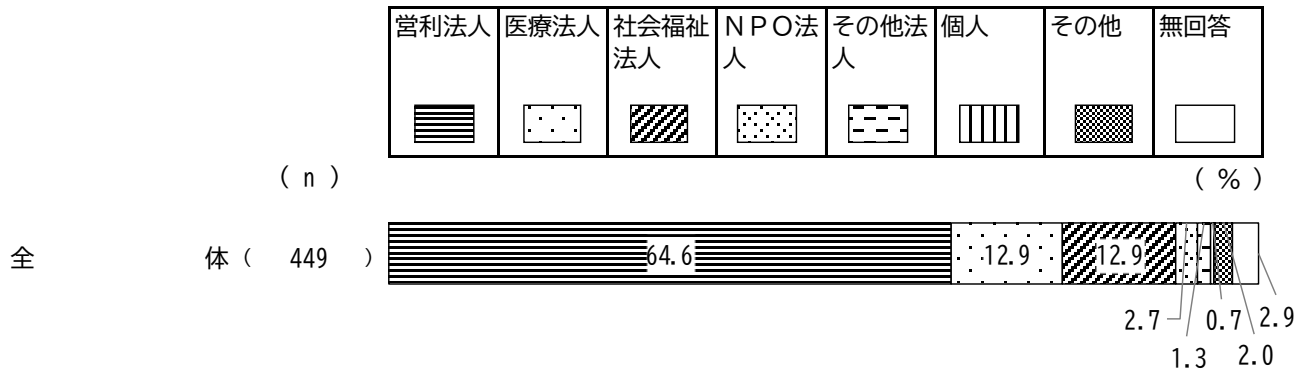
③ 貴事業所の併設事業について、あてはるものに○をつけてください  
(いくつでも○)。

事業所の併設事業について、「居宅介護支援」が24.3%と最も高く、「訪問介護」が20.3%、「通所介護」が13.8%、「介護予防支援」が9.6%、「短期入所生活介護」が8.0%、と続いている。



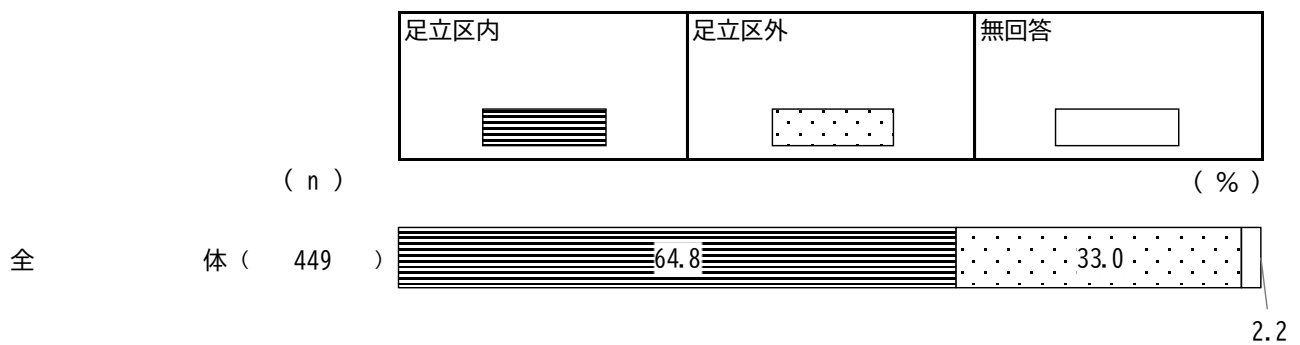
## ④ 事業所の経営主体は何ですか（1つに○）。

事業所の経営主体は、「営利法人」が64.6%と最も高く、「医療法人」が12.9%、「社会福祉法人」が12.9%、「NPO法人」が2.7%、「その他法人」が1.3%、「個人」が0.7%となっている。



## ⑤ 事営主体の法人の所在地はどこですか(1つに○)。

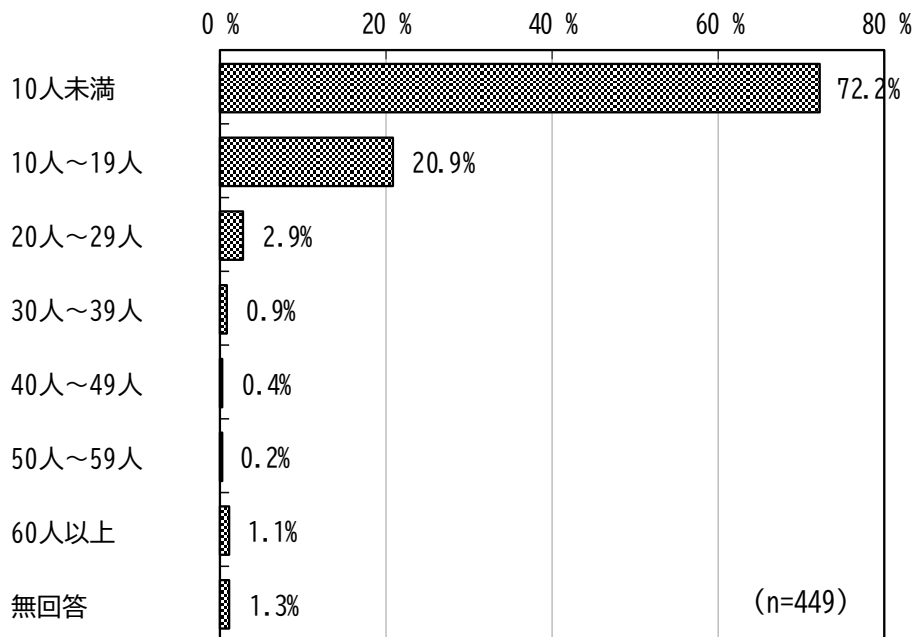
経営主体の法人の所在地は、「足立区内」が64.8%、「足立区外」が33.0%となっている。



問2 貴事業所の職員体制についてご記入ください。

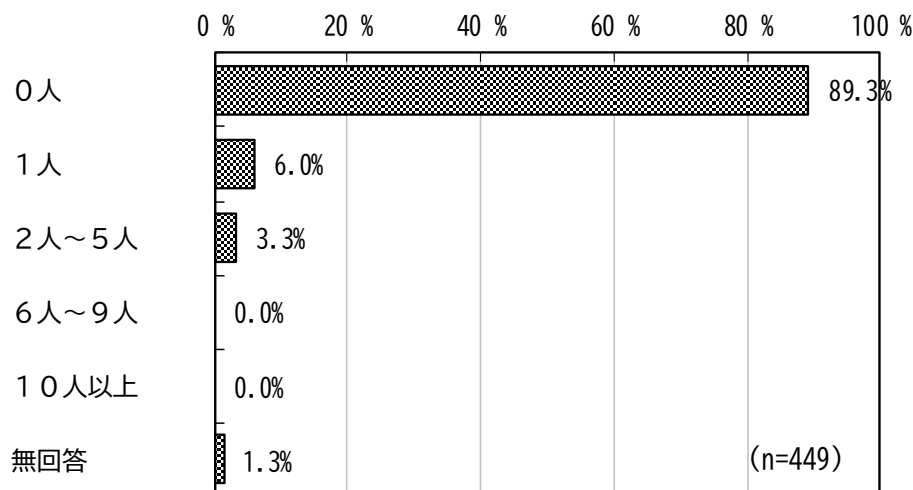
① 正規職員

正規職員の職員体制について、「10人未満」が72.2%と最も高く、「10人～19人」が20.9%、「20人～29人」が2.9%、「60人以上」が1.1%、「30人～39人」が0.9%、「40人～49人」が0.4%、「50人～59人」が0.2%となっている。



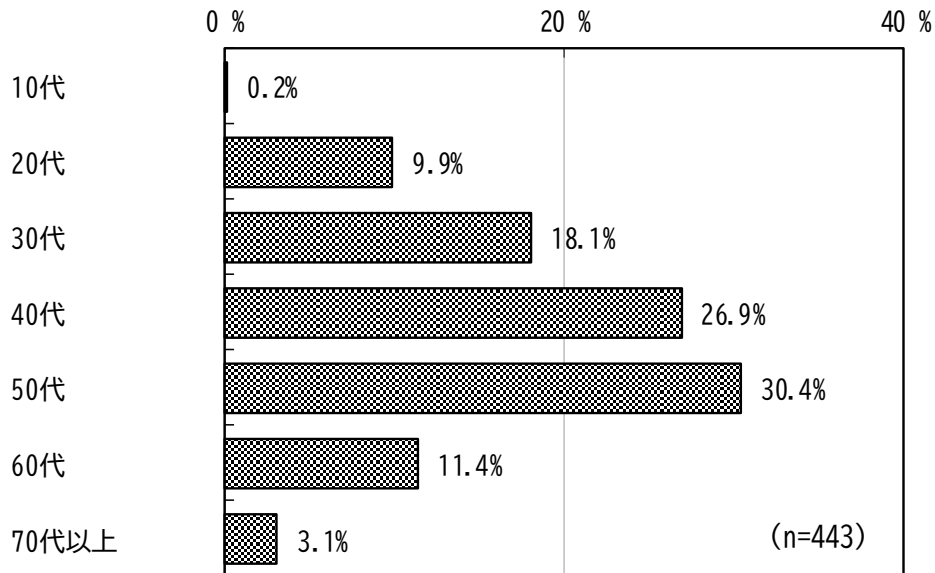
①-1 正規職員のうち外国人の職員

うち、外国人の正規職員について、「0人」が89.3%と最も高く、「1人」が6.0%、「2人～5人」が3.3%、「6人～9人」「10人以上」が0.0%となっている。



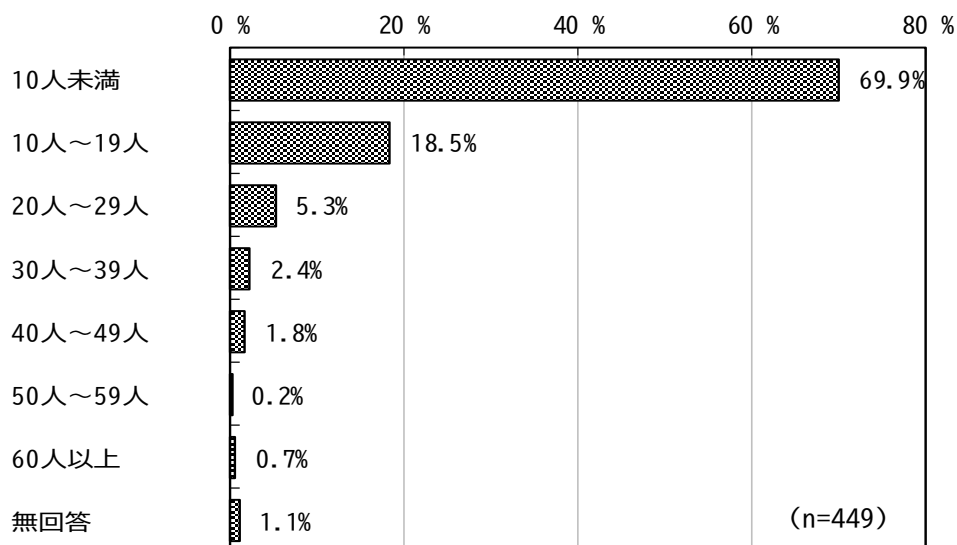
## ①-2 正規職員の年齢階級別人数

回答のあった事業所の正規職員の年齢構成について、「50代」が30.4%と最も高く、「40代」が26.9%、「30代」が18.1%、「60代」が11.4%、「20代」が9.9%、「70代以上」が3.1%、「10代」が0.2%となっている。



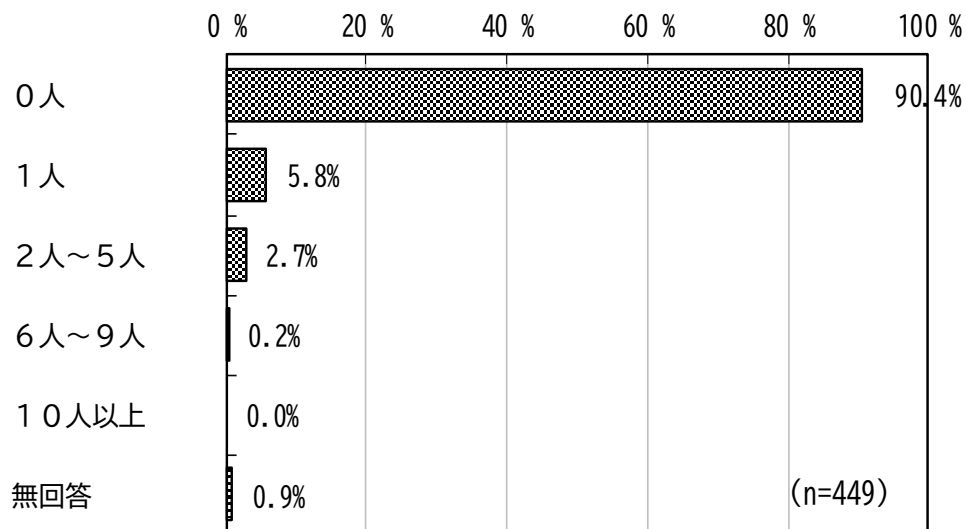
## ② 非正規職員

非正規職員の職員体制について、「10人未満」が69.9%と最も高く、「10人～19人」が18.5%、「20人～29人」が5.3%、「30人～39人」が2.4%、「40人～49人」が1.8%、「60人以上」が0.7%、「50人～59人」が0.2%となっている。



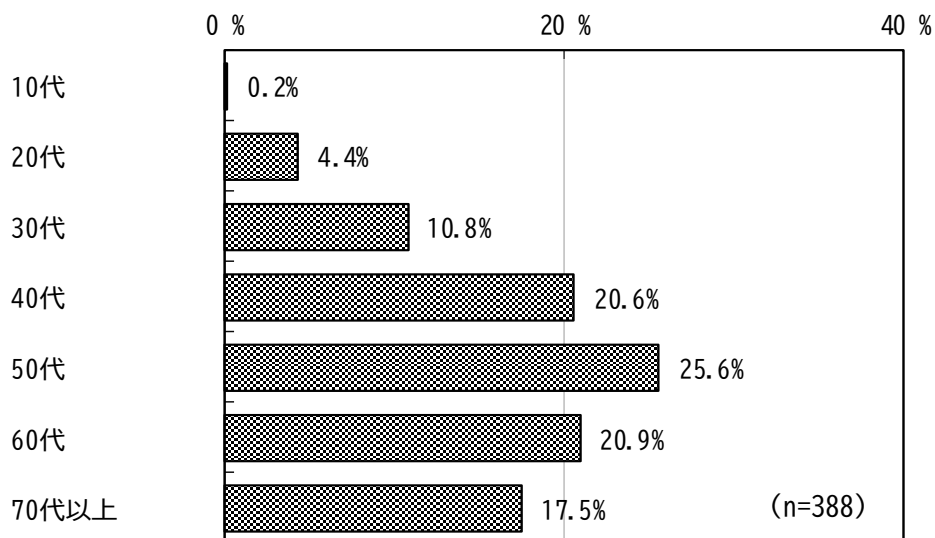
②-1 非正規職員のうち外国人の職員

うち、外国人の非正規職員について、「0人」が90.4%と最も高く、「1人」が5.8%、「2人～5人」が2.7%、「6人～9人」が0.2%、「10人以上」が0.0%となっている。



②-2 非正規職員の年齢階級別の人数

回答のあった事業所の正規職員の年齢構成について、「50代」が25.6%と最も高く、「60代」が20.9%、「40代」が20.6%、「70代以上」が17.5%、「30代」が10.8%、「20代」が4.4%、「10代」が0.2%となっている。



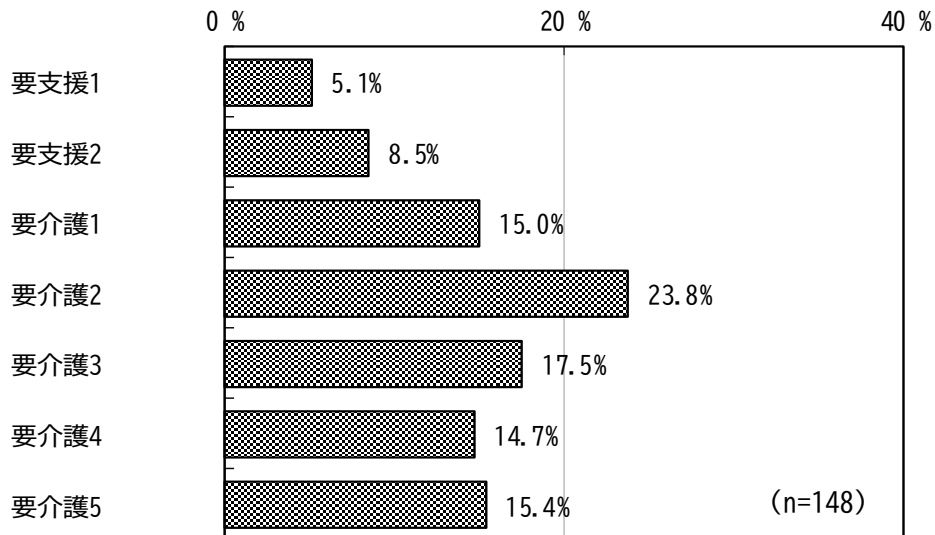


## (2) サービスの提供状況について

問3 それぞれのサービス利用者数を介護度別にご記入ください。

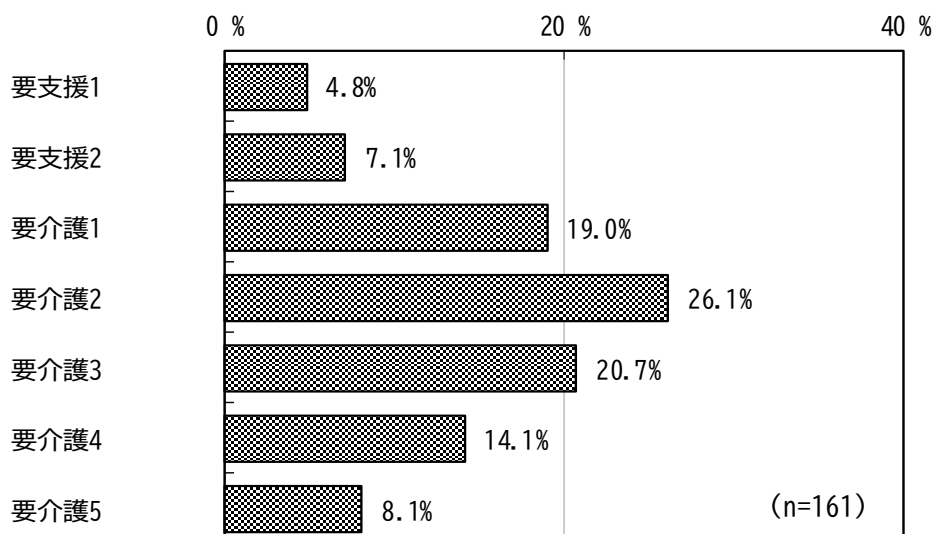
## ① 訪問介護（訪問型サービス）

回答のあった事業所の訪問介護利用者の介護度の構成について、「要介護2」が23.8%と最も高く、「要介護3」が17.5%、「要介護5」が15.4%、「要介護1」が15.0%、「要介護4」が14.7%、「要支援2」が8.5%、「要支援1」が5.1%となっている。



## ② 通所介護（通所型サービス）

回答のあった事業所の通所介護利用者の介護度の構成について、「要介護2」が26.1%と最も高く、「要介護3」が20.7%、「要介護1」が19.0%、「要介護4」が14.1%、「要介護5」が8.1%、「要支援2」が7.1%、「要支援1」が4.8%となっている。



問4 利用定員のあるサービスを実施されている場合、実施サービスの番号に○を付け、該当する欄に利用定員及びサービス利用者数（延べ人数）、営業日数をご記入ください。なお、半日単位での利用がある場合は、0.5人で計上してください。

定員について、

通所介護では、「10人～19人」が43.0%、通所リハビリテーションでは、「40人～49人」「60人～69人」が23.1%、短期入所生活介護では、「20人～29人」が43.3%、短期入所療養介護では、「10人未満」が50.0%、認知症対応型共同生活介護では、「10人～19人」が81.0%、認知症対応型通所介護では、「10人～19人」が95.8%、定期巡回・随時対応型訪問介護看護では、「10人～19人」が100.0%、小規模多機能型居宅介護では、「20人～29人」が90.0%、看護小規模多機能型居宅介護では、「20人～29人」が75.0%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	10人未満	10人～19人	20人～29人	30人～39人	40人～49人	50人～59人	60人～69人	70人～79人	80人～89人	90人～99人	100人以上	無回答
通所介護	128	3.1	43.0	14.1	21.1	7.0	4.7	1.6	1.6	0.8	0.8	1.6	0.8
通所リハビリテーション	13	0.0	0.0	15.4	15.4	23.1	7.7	23.1	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7
短期入所生活介護	30	23.3	23.3	43.3	3.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
短期入所療養介護	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
認知症対応型共同生活介護	21	9.5	81.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認知症対応型通所介護	24	0.0	95.8	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夜間対応型訪問介護	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小規模多機能型居宅介護	10	0.0	10.0	90.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護小規模多機能型居宅介護	4	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

稼働率について、

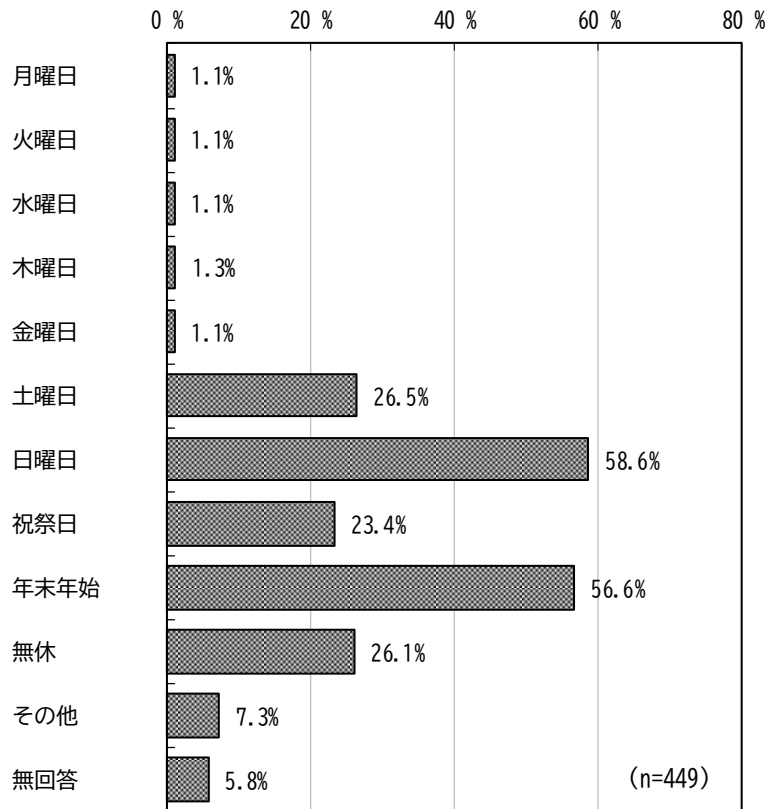
通所介護では、「70～80%未満」が19.5%、通所リハビリテーションでは、「40～50%未満」が23.1%、短期入所生活介護では、「100%以上」が26.7%、短期入所療養介護では、「30～40%未満」「40～50%未満」が25.0%、認知症対応型共同生活介護では、「90～100%未満」が33.3%、認知症対応型通所介護では、「80～90%未満」が29.2%、小規模多機能型居宅介護（通い）では、「40～50%未満」「80～90%未満」が30.0%、小規模多機能型居宅介護（宿泊）では、「10～20%未満」が20.0%、看護小規模多機能型居宅介護（通い）では、「50～60%未満」「60～70%未満」「100%以上」が25.0%、看護小規模多機能型居宅介護（宿泊）では、「50～60%未満」「70～80%未満」「80～90%未満」が25.0%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	0～10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30～40%未満	40～50%未満	50～60%未満	60～70%未満	70～80%未満	80～90%未満	90～100%未満	100%以上	無回答
通所介護	128	4.7	0.8	3.9	4.7	3.1	12.5	14.1	19.5	16.4	5.5	3.9	10.9
通所リハビリテーション	13	7.7	7.7	0.0	15.4	23.1	15.4	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7
短期入所生活介護	30	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	10.0	16.7	20.0	26.7	16.7
短期入所療養介護	4	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
認知症対応型共同生活介護	21	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.8	33.3	28.6	14.3
認知症対応型通所介護	24	0.0	0.0	4.2	0.0	16.7	20.8	8.3	16.7	29.2	0.0	0.0	4.2
夜間対応型訪問介護	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
小規模多機能型居宅介護（通い）	10	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0	10.0	10.0	30.0	0.0	10.0	0.0
小規模多機能型居宅介護（宿泊）	10	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0
看護小規模多機能型居宅介護（通い）	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
看護小規模多機能型居宅介護（宿泊）	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0

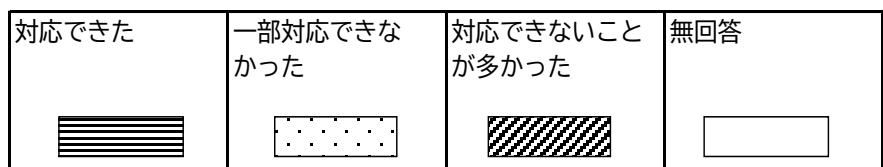
問5 事業所の休業日はいつですか（いくつでも○）。

事業所の休業日について、「日曜日」が58.6%と最も高く、「年末年始」が56.6%、「土曜日」が26.5%、「無休」が26.1%、「祝祭日」が23.4%、「木曜日」が1.3%、「月曜日」「火曜日」「水曜日」「金曜日」が1.1%となっている。



問6 提供しているサービスの供給量が利用者の希望に合わせて対応できたかどうか、対応状況についてお答えください（1つに○）。

提供しているサービスの供給量が利用者の希望に合わせて対応できたかどうかについて、「対応できた」が63.0%と最も高く、「一部対応できなかった」が27.6%、「対応できないことが多かった」が0.9%となっている。



( n )

( % )

全

体 ( 449 )

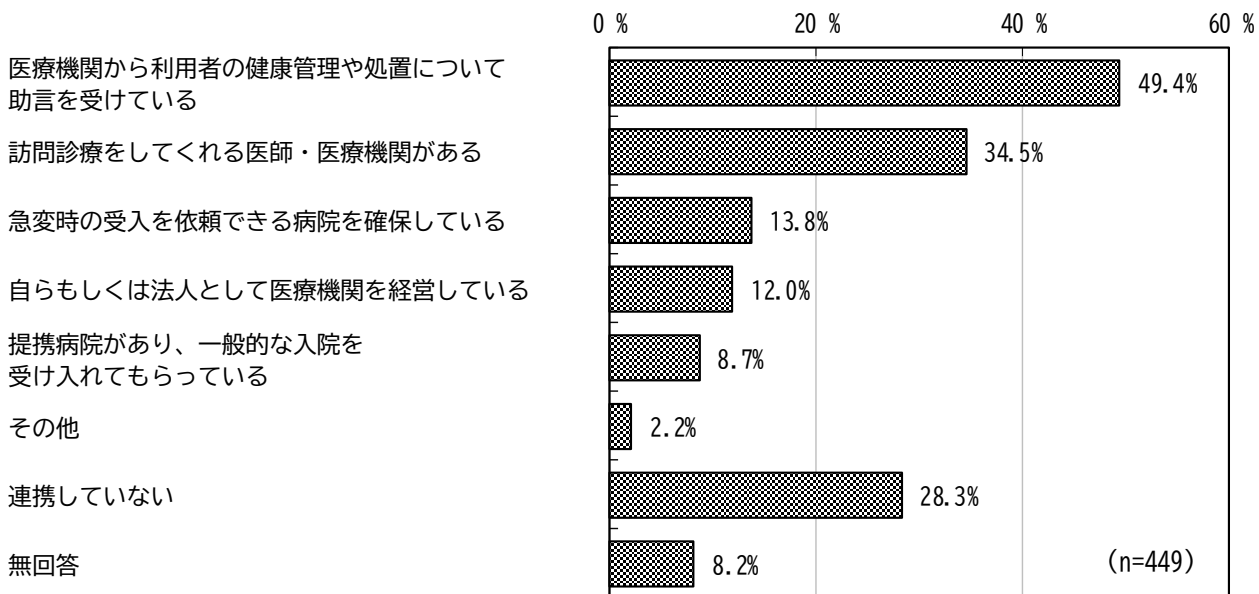


0.9

## (3) 関係機関との連携やサービスの質の向上について

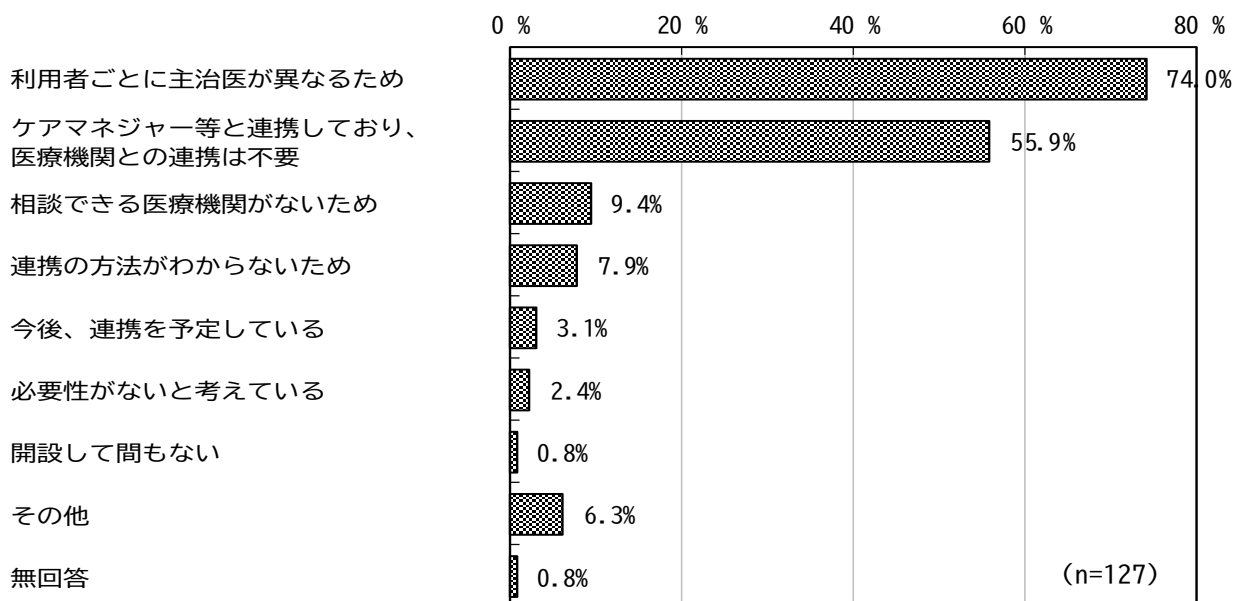
問7 医療機関との連携について、事業所として取り組んでいることがありますか  
(いくつでも○)。

医療機関との連携の取り組みについて、「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」が49.4%と最も高く、「訪問診療をしてくれる医師・医療機関がある」が34.5%、「急変時の受入を依頼できる病院を確保している」が13.8%、「自らもしくは法人として医療機関を運営している」が12.0%、「提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている」が8.7%となっている。また「連携していない」が28.3%となっている。



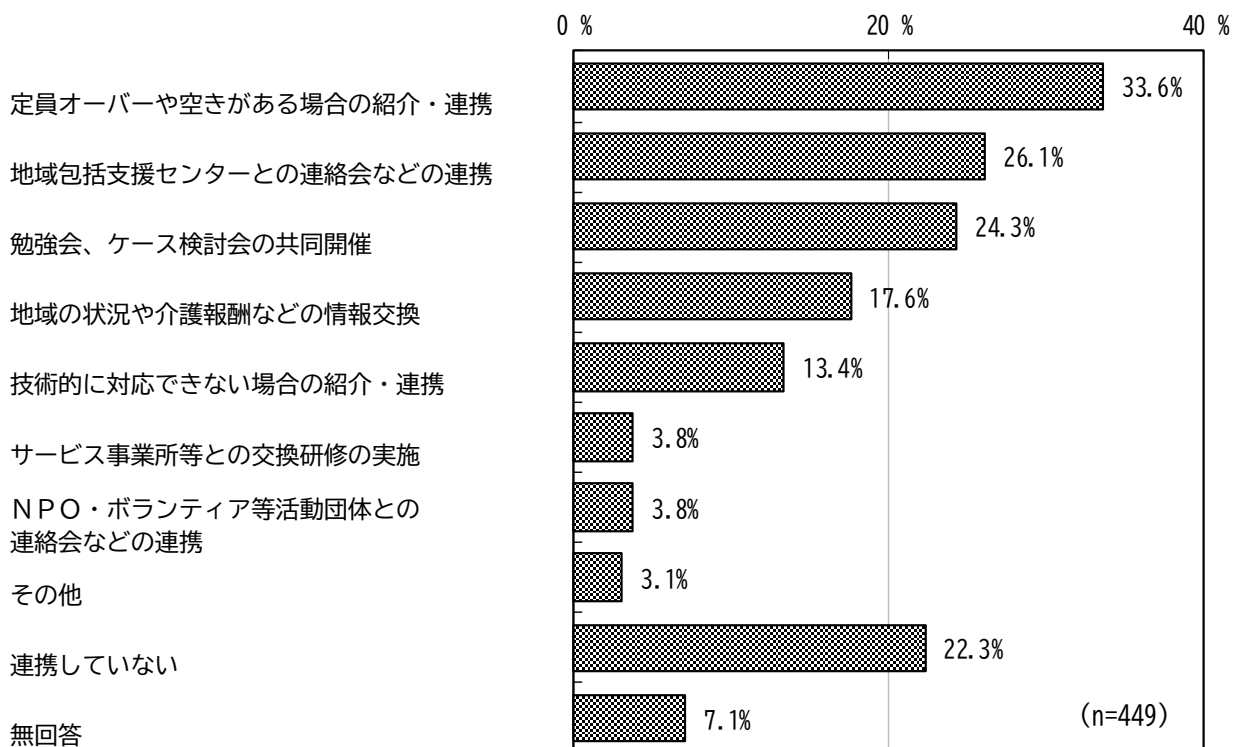
問7-1 医療機関と連携していない理由は何ですか（いくつでも○）。

医療機関と連携していない理由は、「利用者ごとに主治医が異なるため」が74.0%と最も高く、「ケアマネジャー等と連携しており、医療機関との連携は不要」が55.9%、「相談できる医療機関がないため」が9.4%、「連携の方法がわからないため」が7.9%、「今後、連携を予定している」が3.1%、「必要性がないと考えている」が2.4%、「開設して間もない」が0.8%となっている。



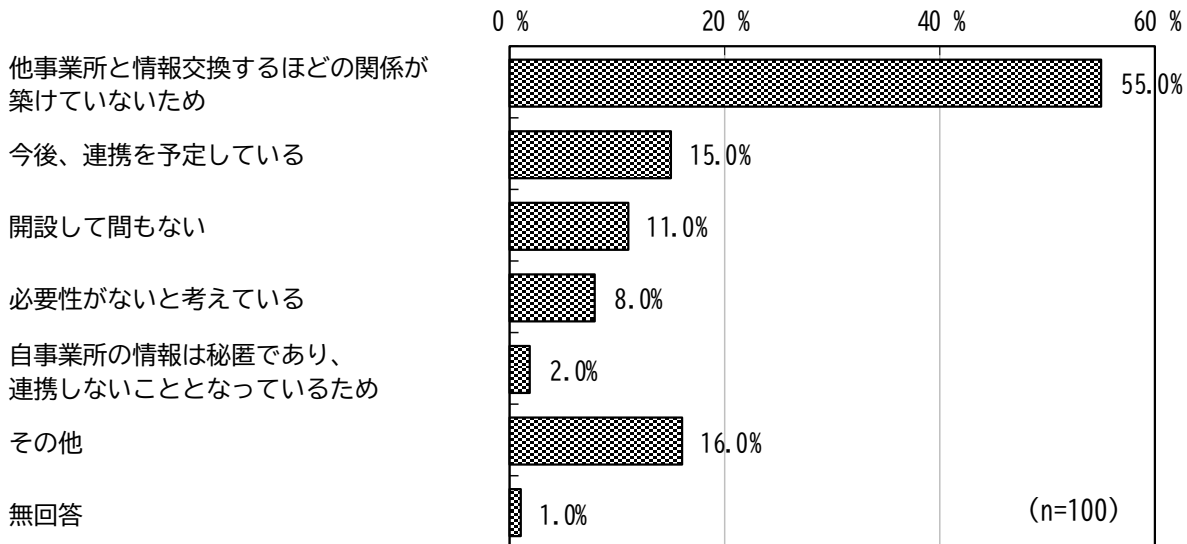
問8 他の介護サービス事業所等との連携について、取り組んでいることがありますか  
(いくつでも○)。

他の介護サービス事業所等との連携で取り組んでいることについて、「定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携」が33.6%と最も高く、「地域包括支援センターとの連絡会などの連携」が26.1%、「勉強会、ケース検討会の共同開催」が24.3%、「地域の状況や介護報酬などの情報交換」が17.6%、「技術的に対応できない場合の紹介・連携」が13.4%、「サービス事業所等との交換研修の実施」「NPO・ボランティア等活動団体との連絡会などの連携」が3.8%となっている。また「連携していない」が22.3%となっている。



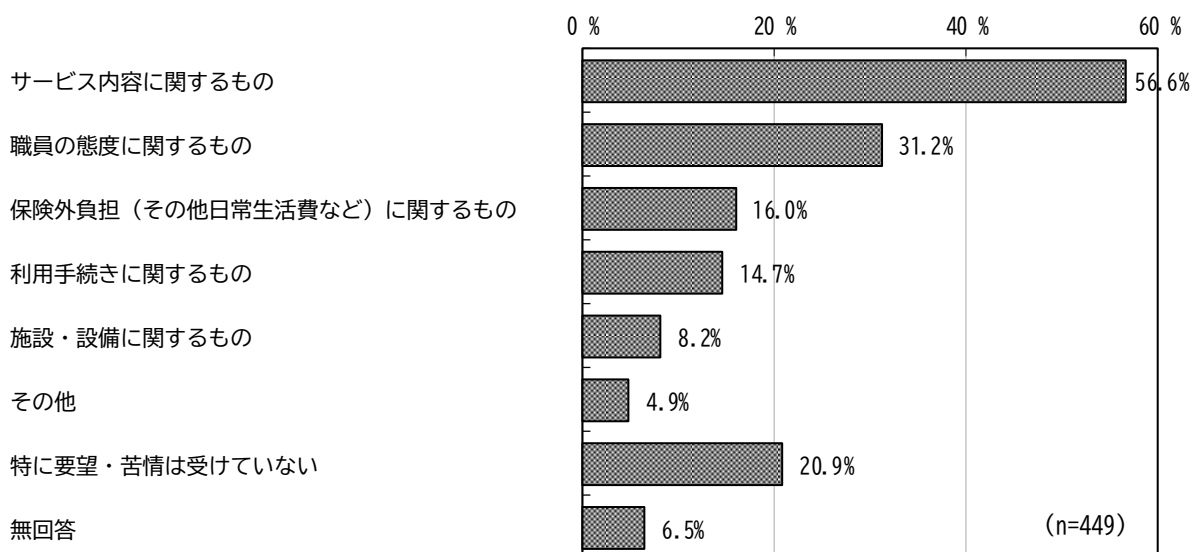
問8-1 他の介護サービス事業所等と連携していない理由は何ですか  
(いくつでも○)。

他の介護サービス事業所等と連携していない理由は、「他事業所と情報交換するほどの関係が築けていないため」が55.0%と最も高く、「今後、連携を予定している」が15.0%、「開設して間もない」が11.0%、「必要性がないと考えている」が8.0%、「自事業所の情報は秘匿であり、連携しないこととなっているため」が2.0%となっている。



問9 サービス実施時において、これまで利用者や家族からどのような要望・苦情がありましたか (いくつでも○)。

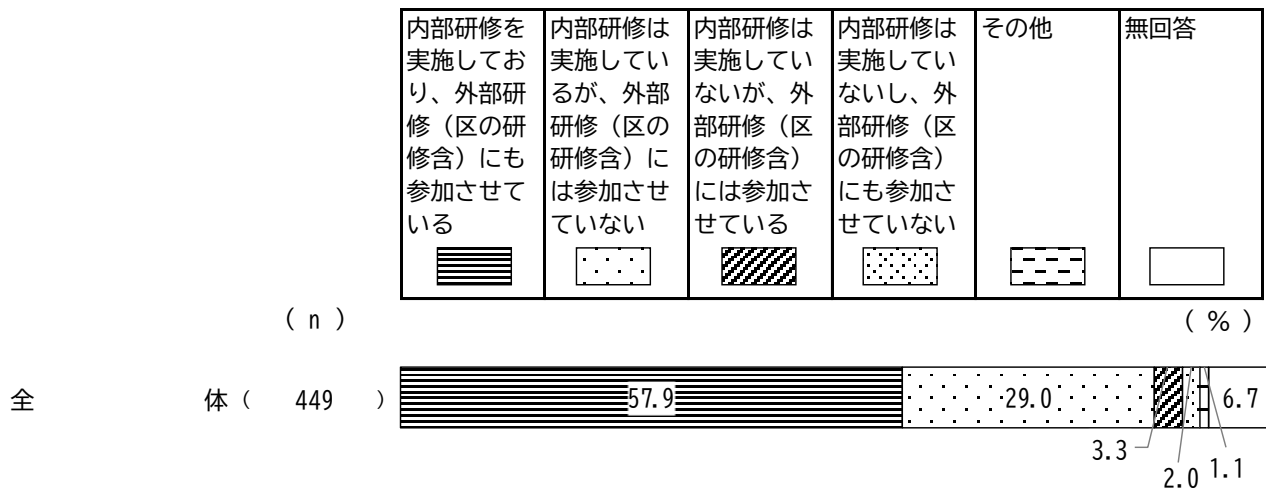
サービス実施時において、これまで利用者や家族から受けた要望・苦情について、「サービス内容に関するもの」が56.6%と最も高く、「職員の態度に関するもの」が31.2%、「保険外負担（その他日常生活費など）に関するもの」が16.0%、「利用手続きに関するもの」が14.7%、「施設・設備に関するもの」が8.2%となっている。また「特に要望・苦情は受けていない」が20.9%となっている。





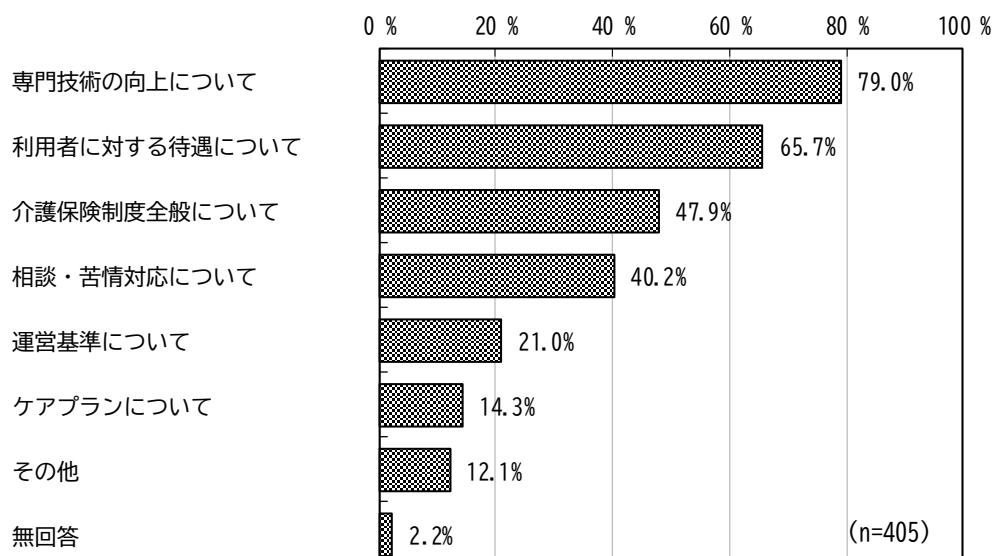
### 問10 職員に対する社内・社外研修の実施状況をお答えください（1つに○）。

職員に対する社内・社外研修の実施状況について、「内部研修を実施しており、外部研修（区の研修含）にも参加させている」が57.9%と最も高く、「内部研修は実施しているが、外部研修（区の研修含）には参加させていない」が29.0%、「内部研修は実施していないが、外部研修（区の研修含）には参加させている」が3.3%、「内部研修は実施していないし、外部研修（区の研修含）にも参加させていない」が2.0%となっている。



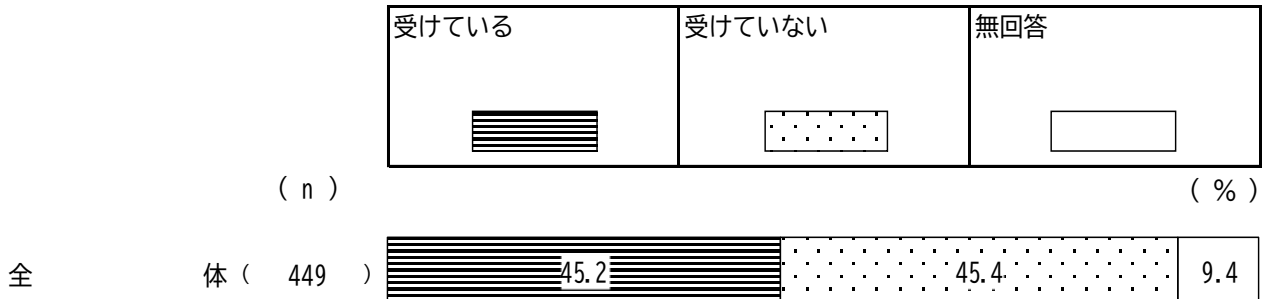
### 問10-1 どのような内容の研修を実施されていますか。もしくはどのような研修に参加させていますか（いくつでも○）。

実施している、もしくは参加させている研修の内容について、「専門技術の向上について」が79.0%と最も高く、「利用者に対する待遇について」が65.7%、「介護保険制度全般について」が47.9%、「相談・苦情対応について」が40.2%、「運営基準について」が21.0%、「ケアプランについて」が14.3%となっている。



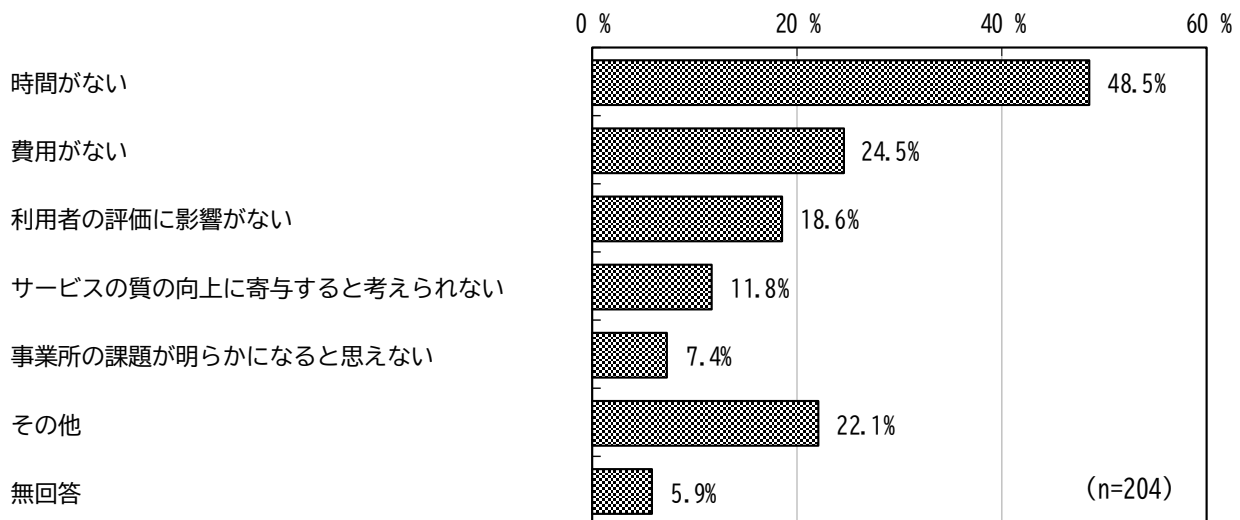
問11 サービスの質の確保や向上に向けて、第三者評価を受けていますか (1つに○)。

サービスの質の確保や向上に向けた第三者評価について、「受けている」が45.2%、「受けていない」が45.4%となっている。



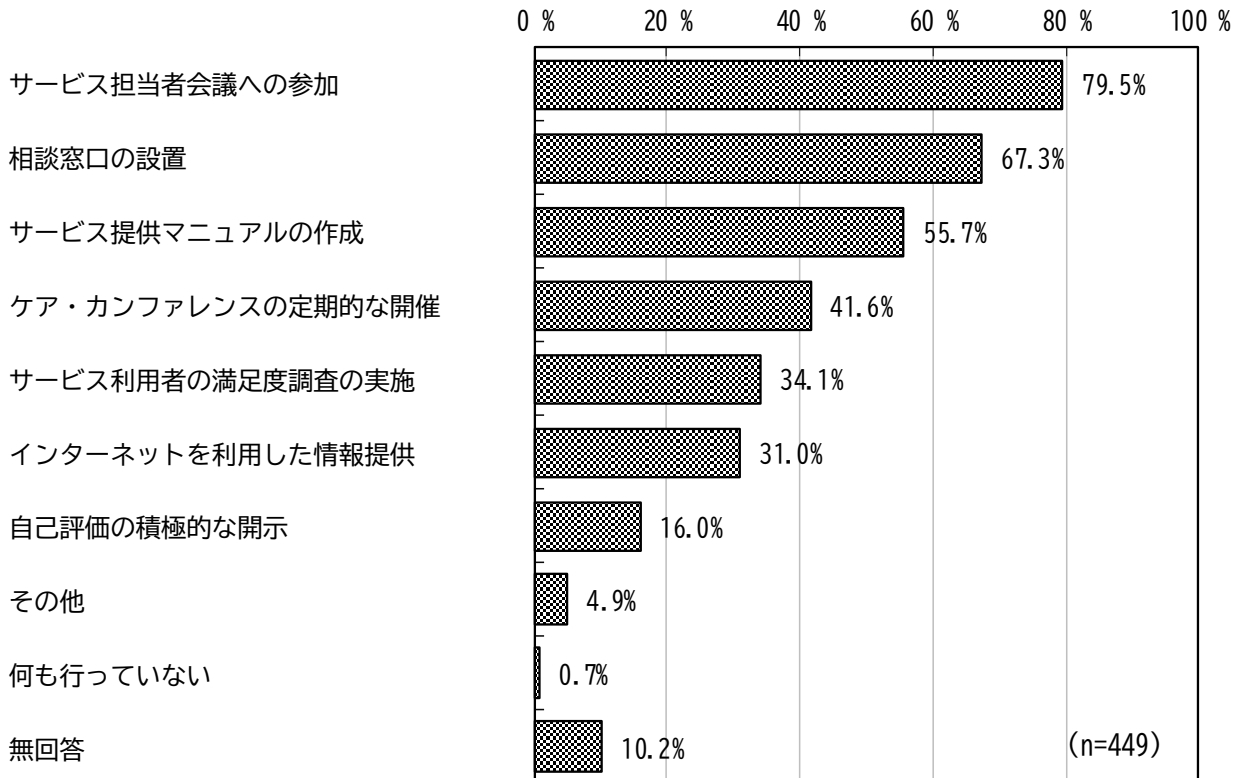
問11-1 第三者評価を受けていない理由は何ですか (いくつでも○)。

第三者評価を受けていない理由は、「時間がない」が48.5%と最も高く、「費用がない」が24.5%、「利用者の評価に影響がない」が18.6%、「サービスの質の向上に寄与すると考えられない」が11.8%、「事業所の課題が明らかになると思えない」が7.4%となっている。



問12 サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか  
(いくつでも○)。

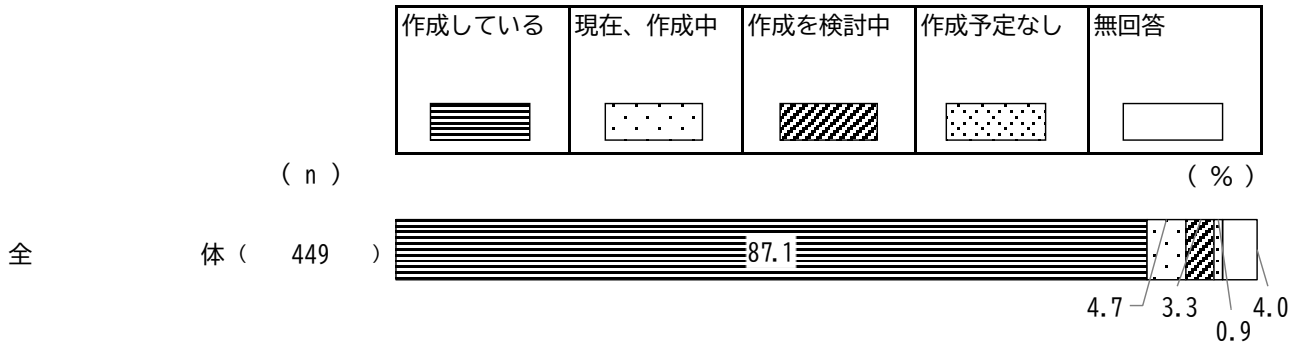
サービスの質の向上のためにしている取り組みについて、「サービス担当者会議への参加」が79.5%と最も高く、「相談窓口の設置」が67.3%、「サービス提供マニュアルの作成」が55.7%、「ケア・カンファレンスの定期的な開催」が41.6%、「サービス利用者の満足度調査の実施」が34.1%、「インターネットを利用した情報提供」が31.0%、「自己評価の積極的な開示」が16.0%となっている。また「何も行っていない」が0.7%となっている。



問13 各種マニュアルの作成状況について、お答えください（それぞれ1つに○）。

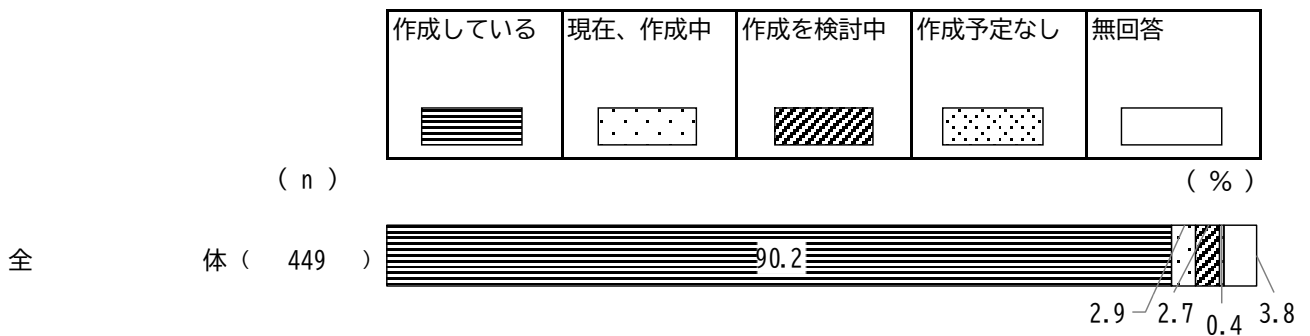
① 職員向けの業務マニュアル

職員向けの業務マニュアルの作成状況について、「作成している」が87.1%と最も高く、「現在、作成中」が4.7%、「作成を検討中」が3.3%、「作成予定なし」が0.9%となっている。



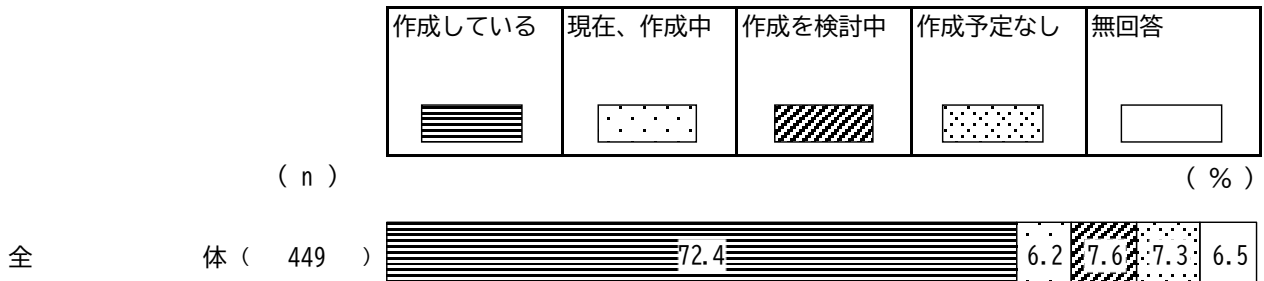
② 事故発生など緊急時の対応マニュアル

事故発生など緊急時の対応マニュアルの作成状況について、「作成している」が90.2%と最も高く、「現在、作成中」が2.9%、「作成を検討中」が2.7%、「作成予定なし」が0.4%となっている。



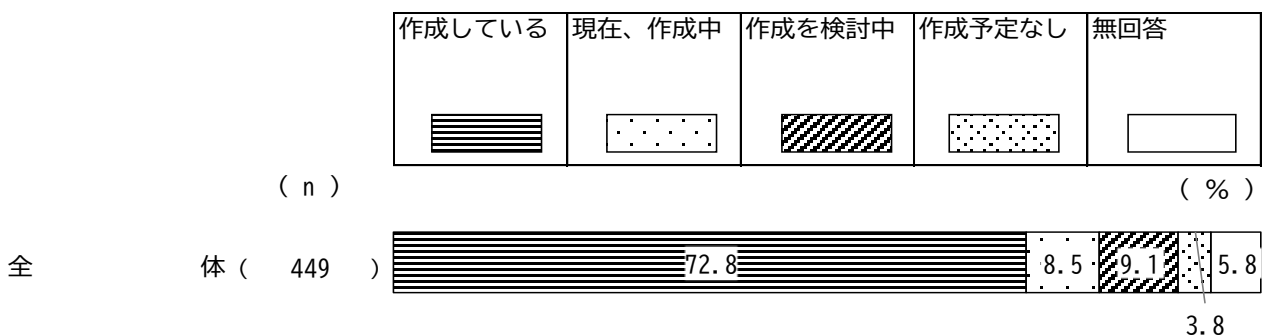
## ③ 身体拘束防止のための対応マニュアル

身体拘束防止のための対応マニュアルの作成状況について、「作成している」が72.4%と最も高く、「作成を検討中」が7.6%、「作成予定なし」が7.3%、「現在、作成中」が6.2%となっている。



## ④ 虐待防止のための対応マニュアル

虐待防止のための対応マニュアルの作成状況について、「作成している」が72.8%と最も高く、「作成を検討中」が9.1%、「現在、作成中」が8.5%、「作成予定なし」が3.8%となっている。

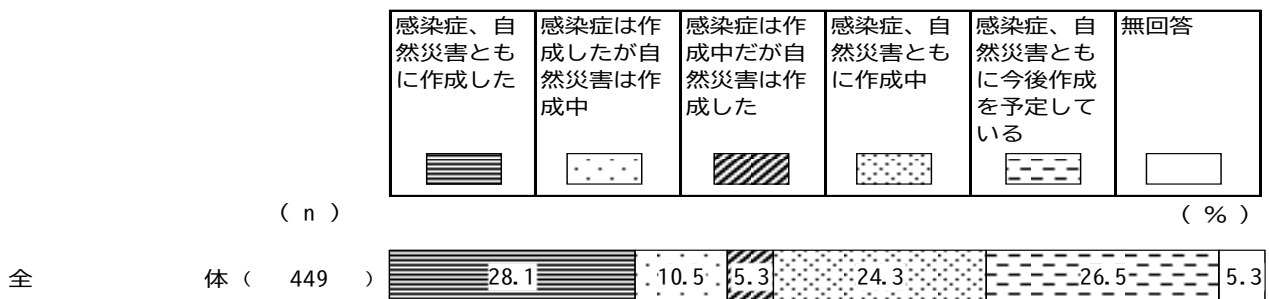


(4) 災害対応について

問14 BCP（事業継続計画）の作成状況について、お答えください（1つに○）。

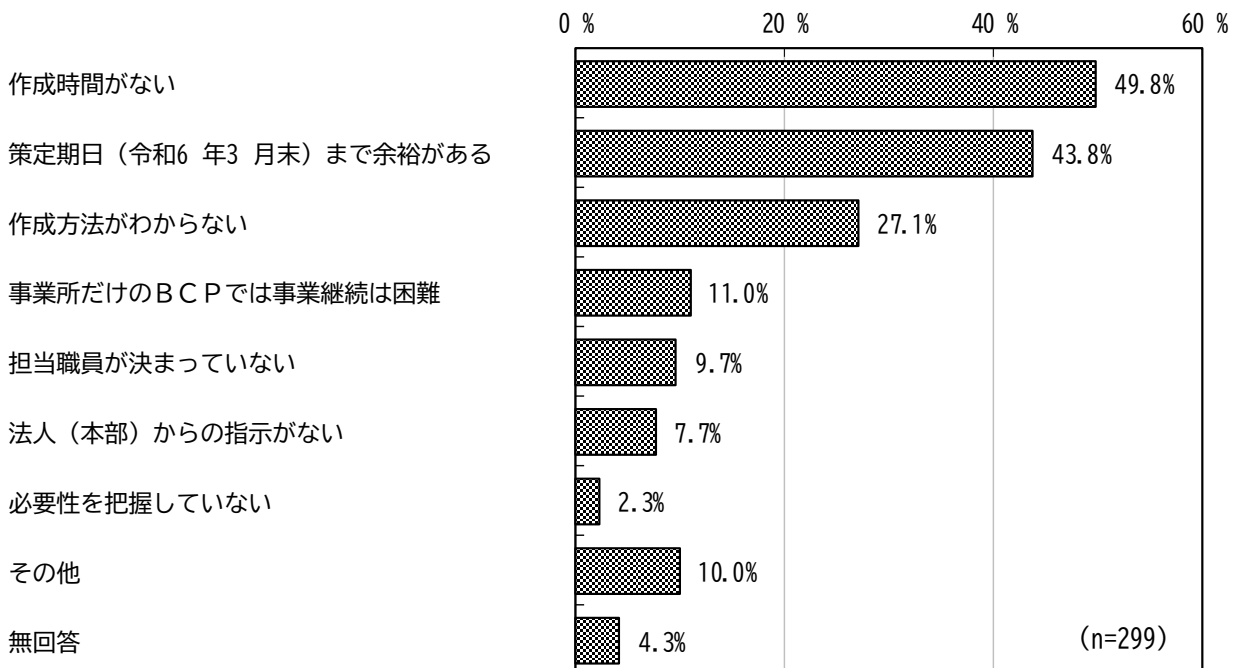
※令和3年度の介護報酬改定にともない、令和6年4月1日よりBCPの策定が義務化される。

BCP（事業継続計画）の作成状況について、「感染症、自然災害ともに作成した」が28.1%と最も高く、「感染症、自然災害ともに今後作成を予定している」が26.5%、「感染症、自然災害ともに作成中」が24.3%、「感染症は作成したが自然災害は作成中」が10.5%、「感染症は作成したが自然災害は作成した」が5.3%となっている。



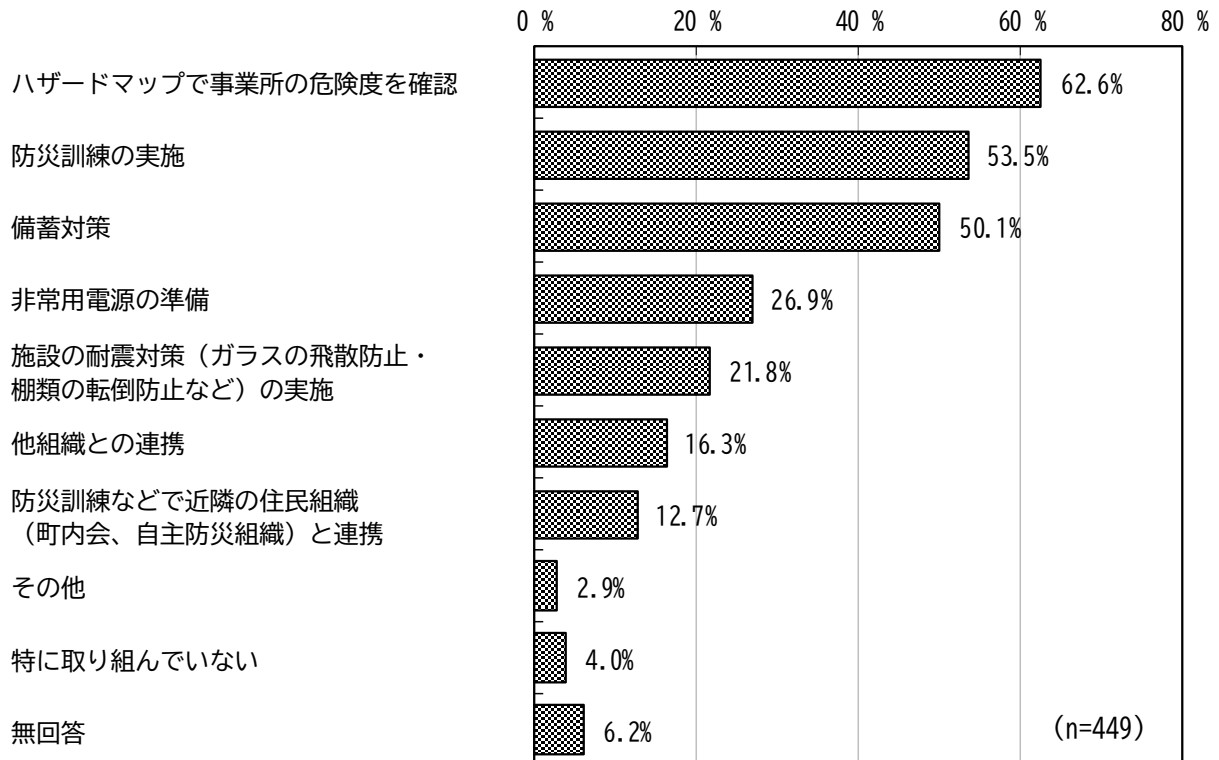
問14-1 BCPの作成に着手していない又は作成が完了していない理由は何ですか  
(いくつでも○)。

BCPの作成に着手していない又は作成が完了していない理由は、「作成時間がない」が49.8%と最も高く、「策定期日（令和6年3月末）まで余裕がある」が43.8%、「作成方法がわからない」が27.1%、「事業所だけのBCPでは事業継続は困難」が11.0%、「担当職員が決まっていない」が9.7%、「法人（本部）からの指示がない」が7.7%、「必要性を把握していない」が2.3%となっている。



問15 貴事業所が行っている有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、お答えください（いくつでも○）。

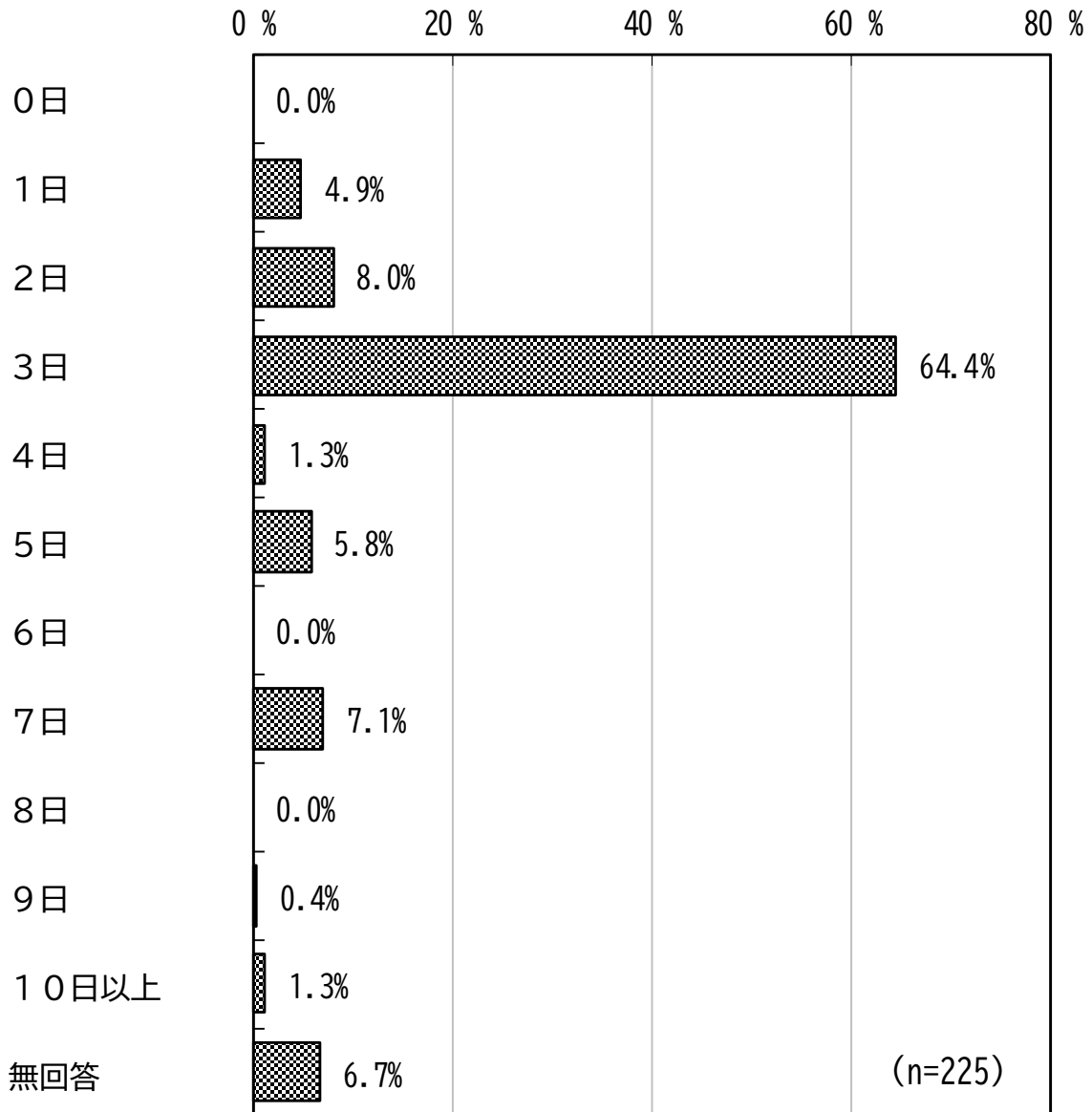
事業所における有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、「ハザードマップで事業所の危険度を確認」が62.6%と最も高く、「防災訓練の実施」が53.5%、「備蓄対策」が50.1%、「非常用電源の準備」が26.9%、「施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など）の実施」が21.8%、「他組織との連携」が16.3%、「防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携」が12.7%となっている。また「特に取り組んでいない」が4.0%となっている。





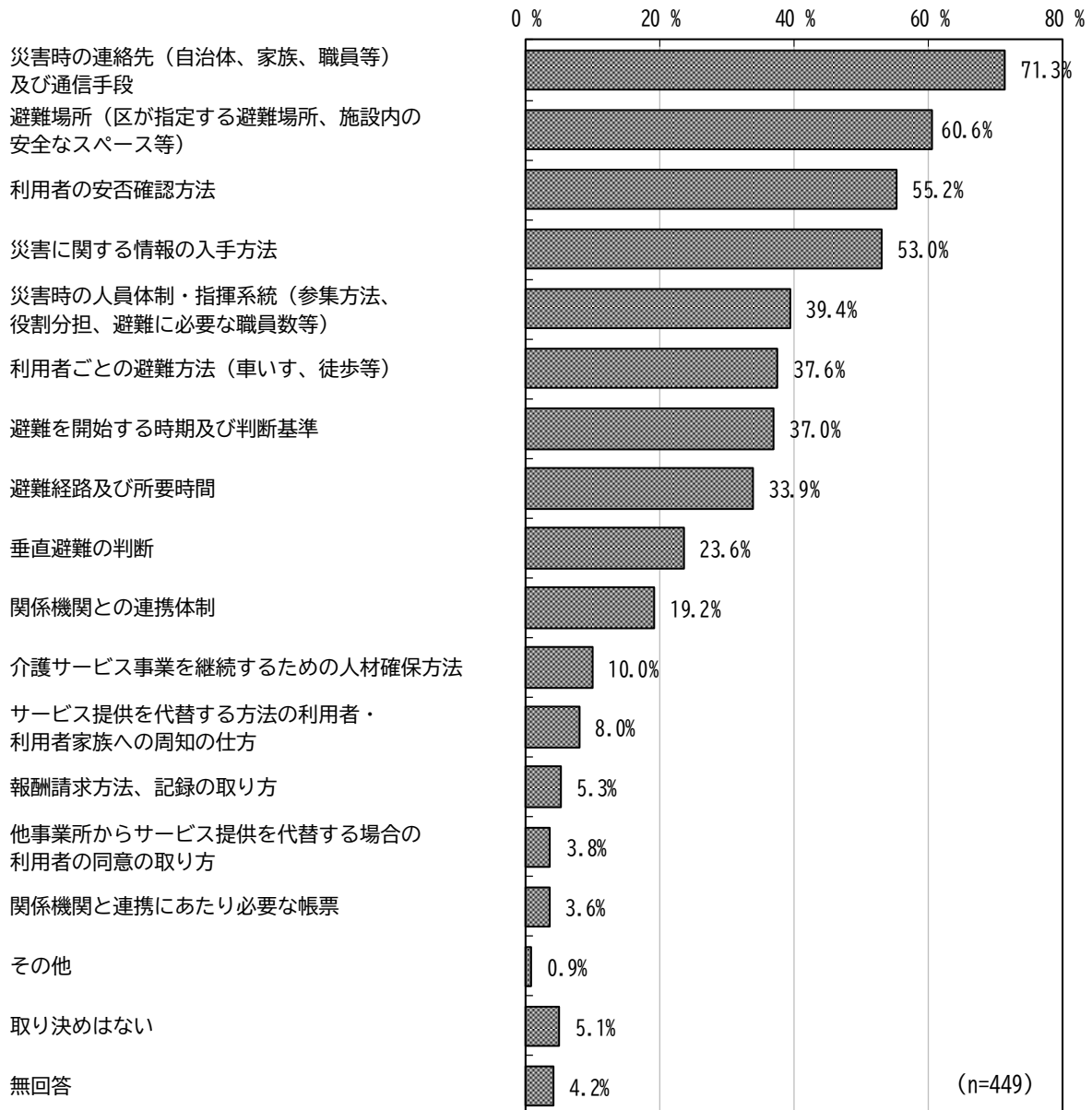
問15-1 備蓄は定員および職員あわせて何日分準備していますか（数字を記入）。

「備蓄対策」と回答した事業所の、事業所における災害時の備蓄を定員および職員をあわせて準備している日数は、「3日」が64.4%と最も高く、「2日」が8.0%、「7日」が7.1%、「5日」が5.8%、「1日」が4.9%、「4日」が1.3%、「10日以上」が1.3%、「9日」が0.4%、「0日」が0.0%、「6日」が0.0%、「8日」が0.0%となっている。



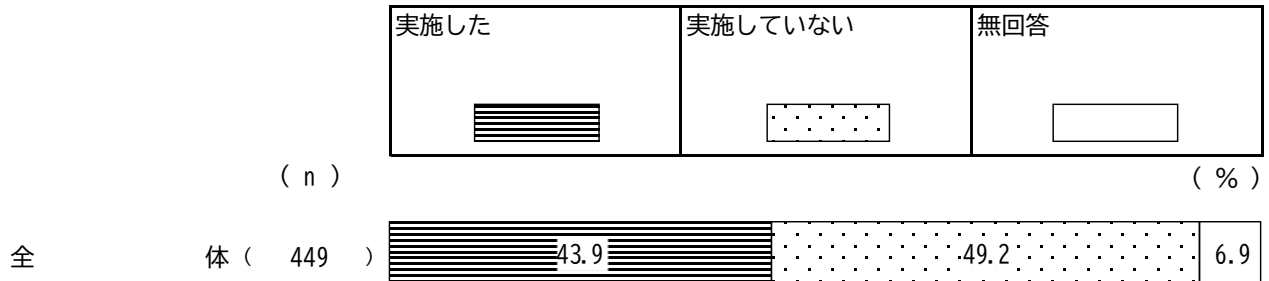
問16 有事（感染症や自然災害）が発生した際に貴事業所で取り決められている内容について、お答えください（いくつでも○）。

有事（感染症や自然災害）が発生した際に事業所で取り決められている内容について、「災害時の連絡先（自治体、家族、職員等）及び通信手段」が71.3%と最も高く、「避難場所（区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等）」が60.6%、「利用者の安否確認方法」が55.2%、「災害に関する情報の入手方法」が53.0%、「災害時の人員体制・指揮系統（参集方法、役割分担、避難に必要な職員数等）」が39.4%と続いている。また「取り決めはない」が5.1%となっている。



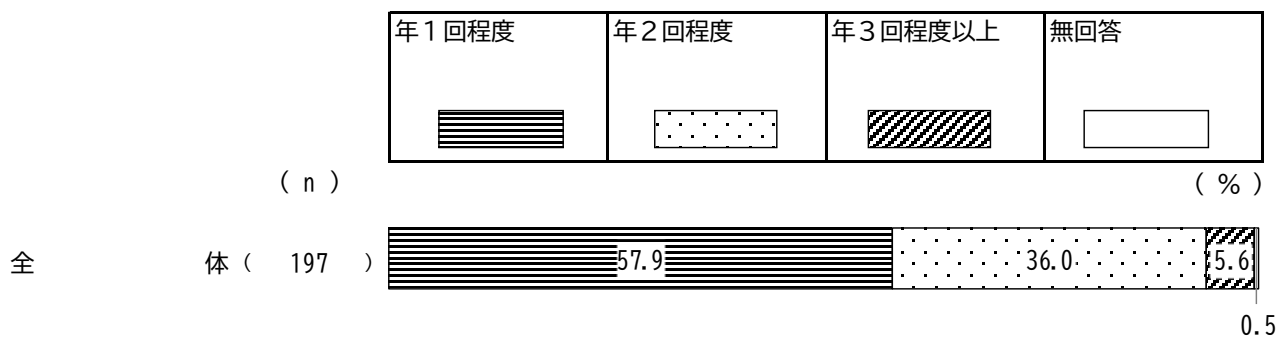
問17 貴事業所は令和3・4年に水害を含む避難訓練を実施しましたか（1つに○）。

令和3年・4年における水害を含む避難訓練について、「実施した」が43.9%、「実施していない」が49.2%となっている。



① 水害を含む避難訓練を実施した事業所の年間実施回数（数字で記入）

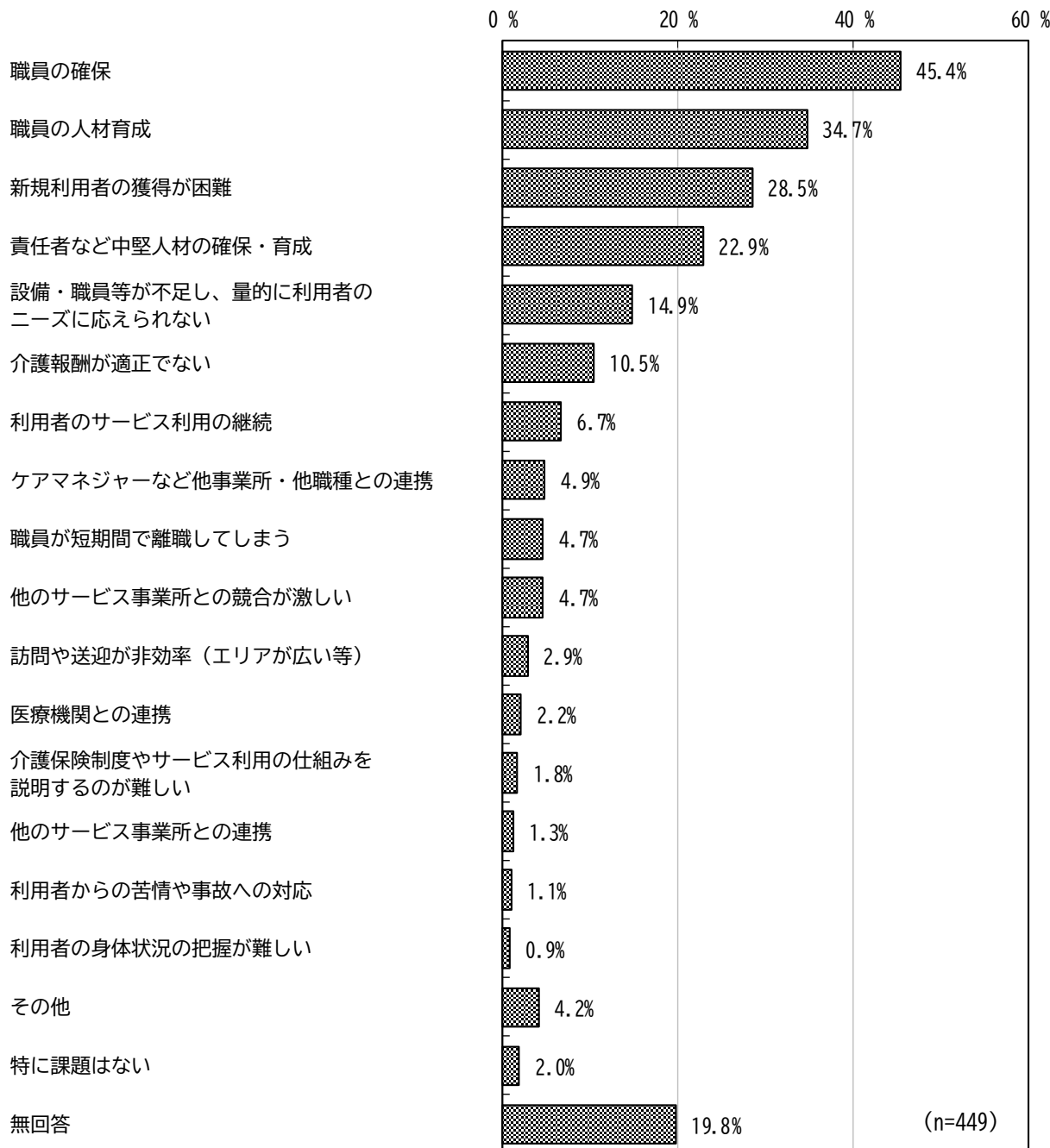
水害を含む避難訓練について、実施した事業所の実施回数は、「年1回程度」が57.9%と最も高く、「年2回程度」が36.0%、「年3回程度以上」が5.6%となっている。



(5) 事業運営等について

問18 事業を運営する上での課題は何ですか（3つまで○）。

事業を運営する上での課題について、「職員の確保」が45.4%と最も高く、「職員の人材育成」が34.7%、「新規利用者の獲得が困難」が28.5%、「責任者など中堅人材の確保・育成」が22.9%、「設備・職員等が不足し、量的に利用者のニーズに応えられない」が14.9%、「介護報酬が適正でない」が10.5%と続いている。また「特に課題はない」が2.0%となっている。



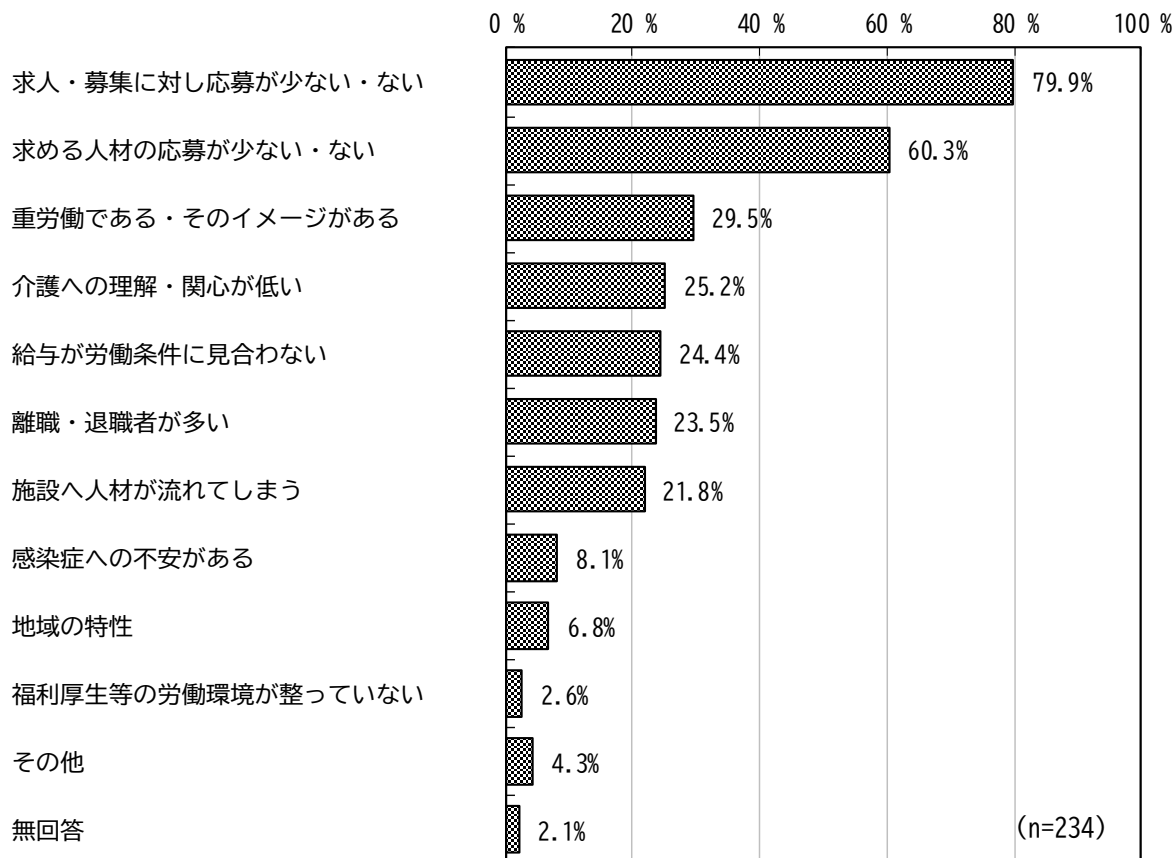
問19 貴事業所では、介護職員等の人材は事業者から十分に確保できていますか  
(1つに○)。

事業所の介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」が35.9%と最も高く、「概ね確保できている」が28.7%、「確保できていない」が16.3%、「確保できている」が10.2%となっている。



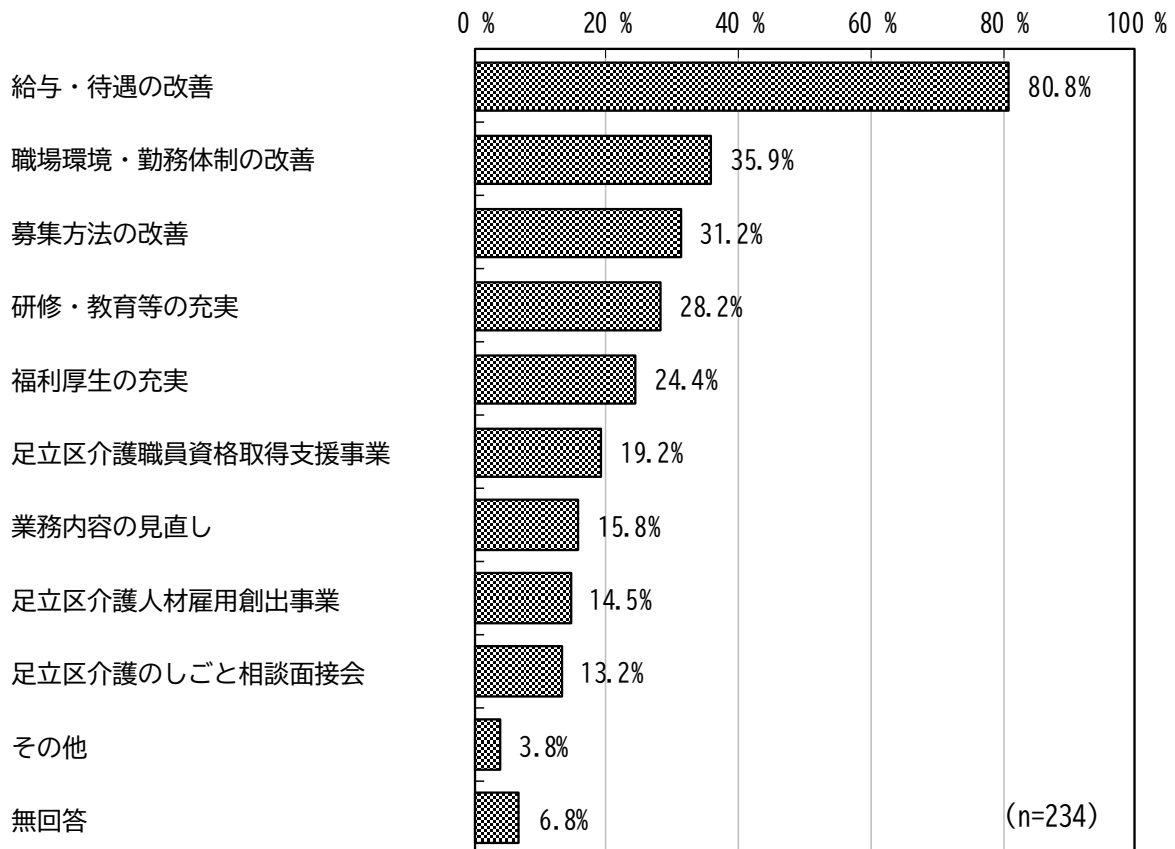
問19-1 その理由は何ですか（いくつでも○）。

介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」または「確保できていない」と回答した事業所の、人材確保が難しい理由として、「求人・募集に対し応募が少ない・ない」が79.9%と最も高く、「求める人材の応募が少ない・ない」が60.3%、「重労働である・そのイメージがある」が29.5%、「介護への理解・関心が低い」が25.2%、「給与が労働条件に見合わない」が24.4%、「離職・退職者が多い」が23.5%、「施設へ人材が流れてしまう」が21.8%、「感染症への不安がある」が8.1%、「地域の特性」が6.8%、「福利厚生等の労働環境が整っていない」が2.6%となっている。



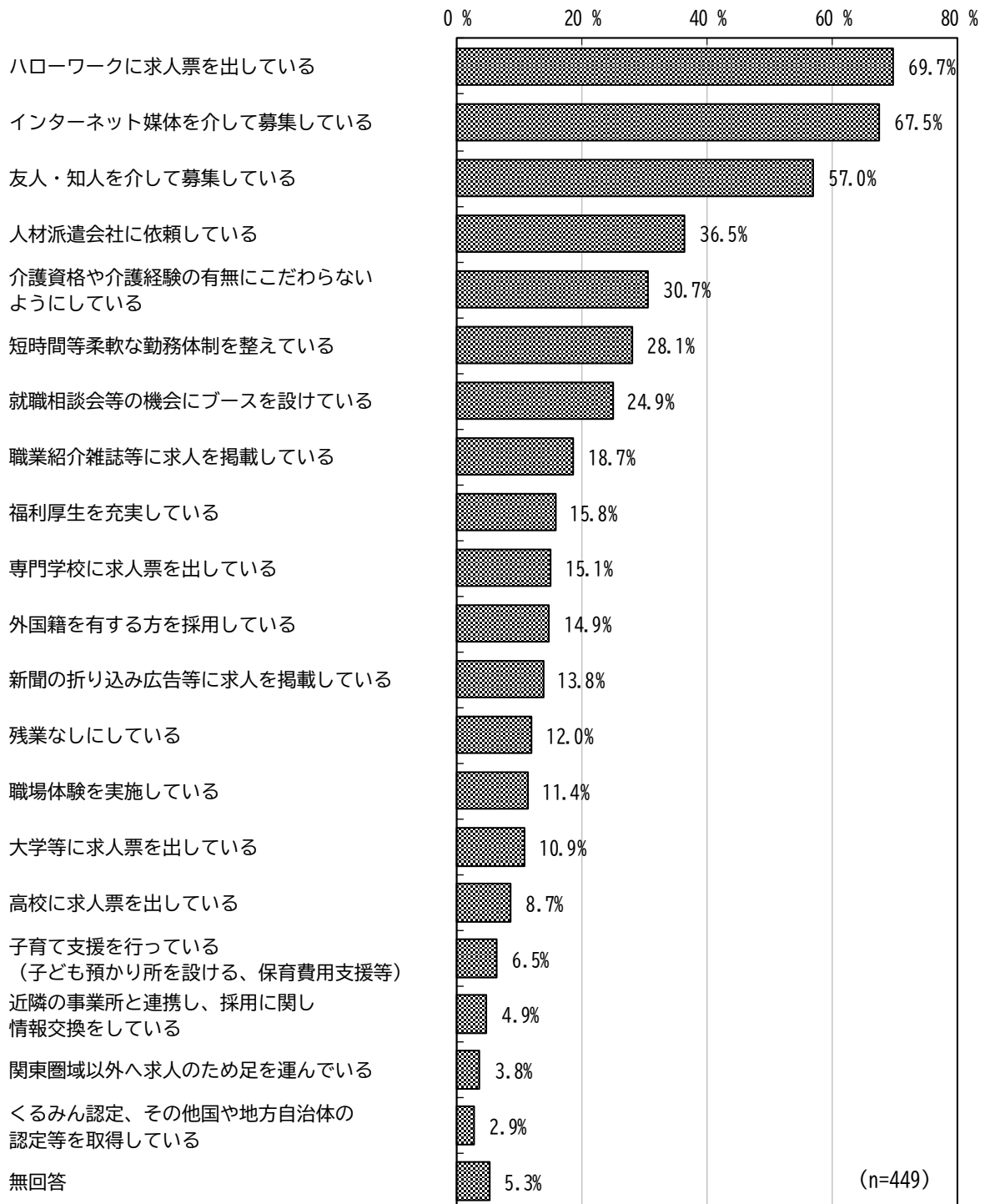
## 問19-2 人材確保支援策として有効だと思うものは何ですか（いくつでも○）。

介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」または「確保できていない」と回答した事業所の、人材確保支援策として有効だと思うものについて、「給与・待遇の改善」が80.8%と最も高く、「職場環境・勤務体制の改善」が35.9%、「募集方法の改善」が31.2%、「研修・教育等の充実」が28.2%、「福利厚生等の充実」が24.4%、「足立区介護職員資格取得支援事業」が19.2%、「業務内容の見直し」が15.8%、「足立区介護人材雇用創出事業」が14.5%、「足立区介護のしごと相談面接会」が13.2%となっている。



問20 貴事業所では、職員の募集（採用）にあたりどのような工夫を行っていますか（いくつでも○）。

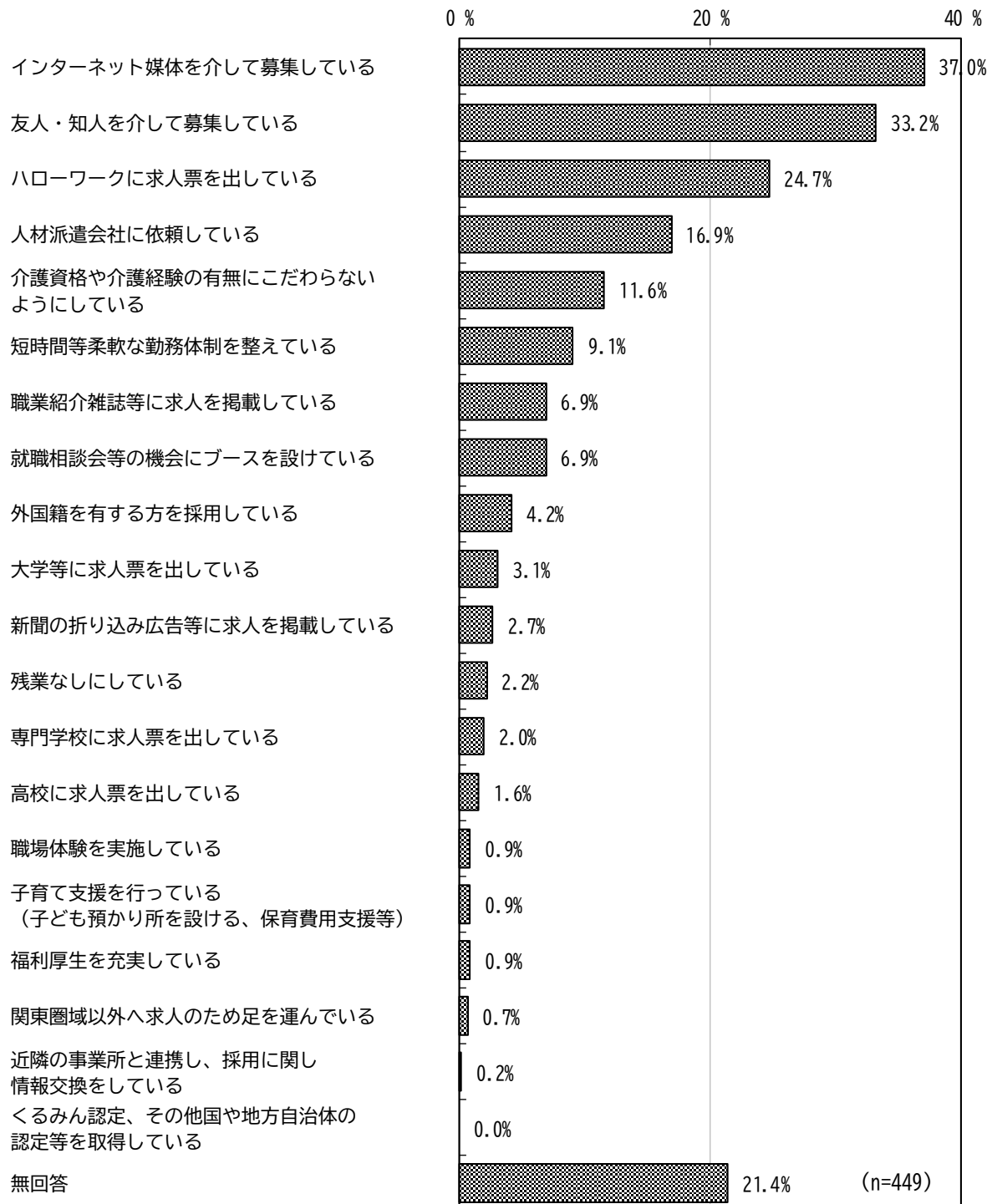
事業所の職員募集の方法について、「ハローワークに求人票を出している」が69.7%と最も高く、「インターネット媒体を介して募集している」が67.5%、「友人・知人を介して募集している」が57.0%、「人材派遣会社に依頼している」が36.5%、「介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている」が30.7%と続いている。





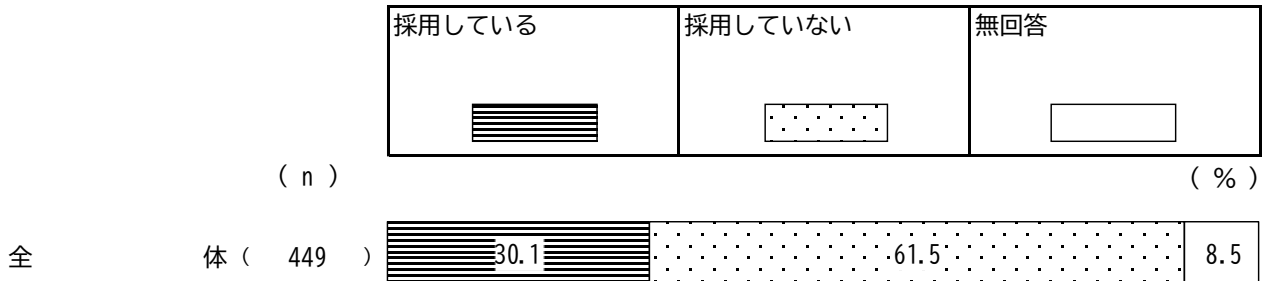
## 問20-1 問20の職員募集で効果のあったものは何ですか（3つまで数字を記入）。

職員募集で効果のあったものとして、「インターネット媒体を介して募集している」が37.0%と最も高く、「友人・知人を介して募集している」が33.2%、「ハローワークに求人票を出している」が24.7%、「人材派遣会社に依頼している」が16.9%、「介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている」が11.6%、「短時間等柔軟な勤務体制を整えている」が9.1%と続いている。



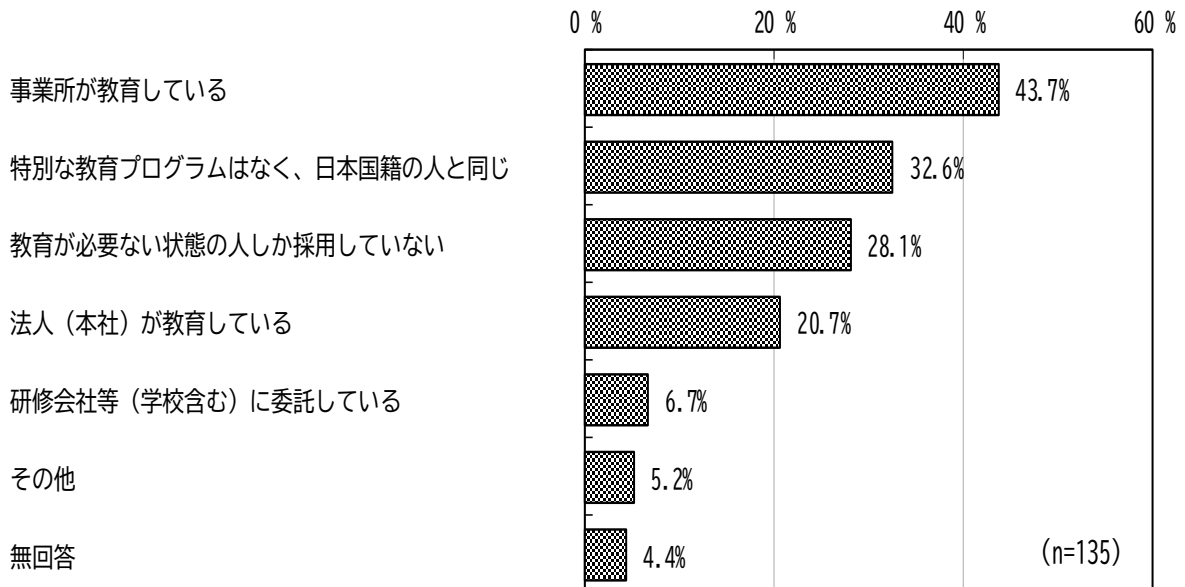
問21 貴事業所では、外国籍を有する方を積極的に採用していますか（1つに○）。

外国籍を有する方の採用について、積極的に「採用している」が30.1%、「採用していない」が61.5%となっている。



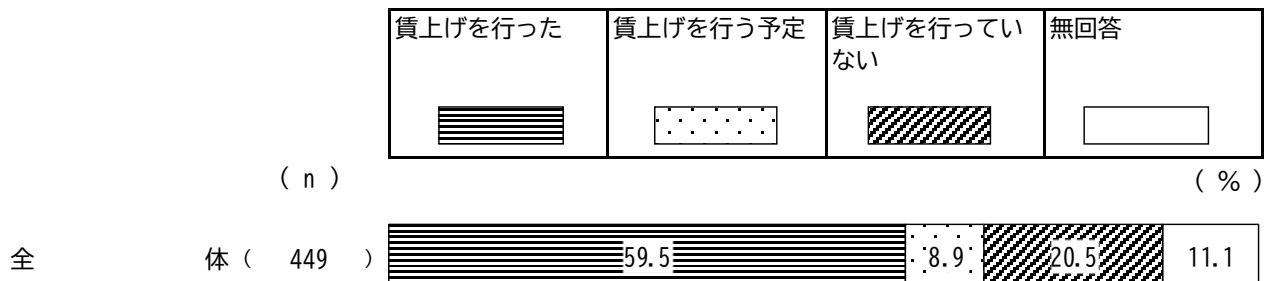
問21-1 外国籍を有する方を積極的に採用している場合、必要な教育はどのようにしていますか（いくつでも○）。

外国籍を有する方を積極的に「採用している」と回答した事業所の、必要な教育の実施状況について、「事業所が教育している」が43.7%と最も高く、「特別な教育プログラムはなく、日本国籍の人と同じ」が32.6%、「教育が必要ない状態の人しか採用していない」が28.1%、「法人（本社）が教育している」が20.7%、「研修会社等（学校含む）に委託している」が6.7%となっている。



問22 令和4年2月～9月の介護職員処遇改善支援補助金（令和4年10月～のベースアップ加算）を活用し、介護職員等の賃上げを行いましたか（1つに○）。

介護職員処遇改善支援補助金を活用した介護職員等の賃上げについて、「賃上げを行った」が59.5%と最も高く、「賃上げを行っていない」が20.5%、「賃上げを行う予定」が8.9%となっている。



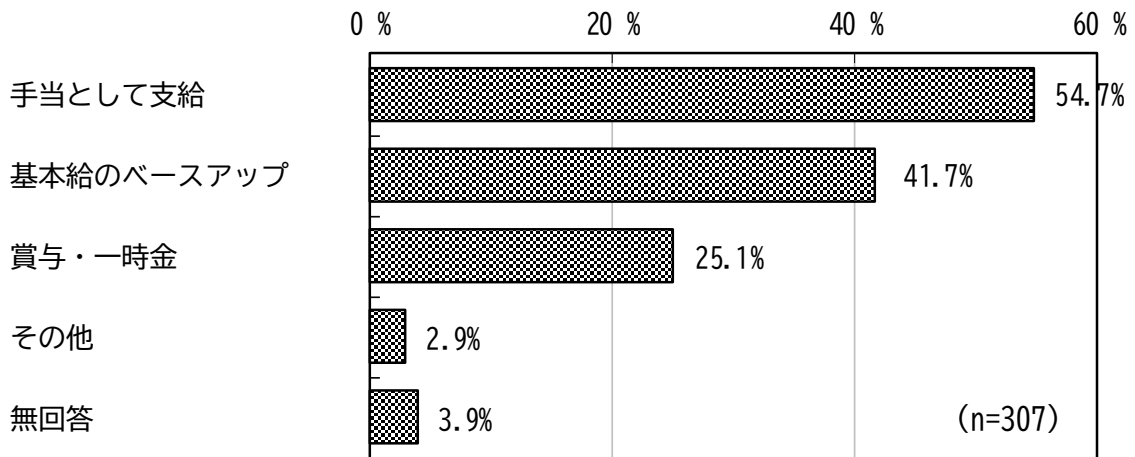
問22-1 令和4年2月～9月の介護職員処遇改善支援補助金（令和4年10月～のベースアップ加算）を活用し、介護職員以外に賃上げを行った（または、賃上げを行う予定の）職種があればお答えください（いくつでも○）。

介護職員等の「賃上げを行った」または「賃上げを行う予定」と回答した事業所の、介護職員以外に賃上げを行った職種について、無回答を除くと、「生活相談員」が35.5%と最も高く、「事務職」が30.3%、「看護師」が26.4%、「機能訓練指導員」が20.2%となっている。



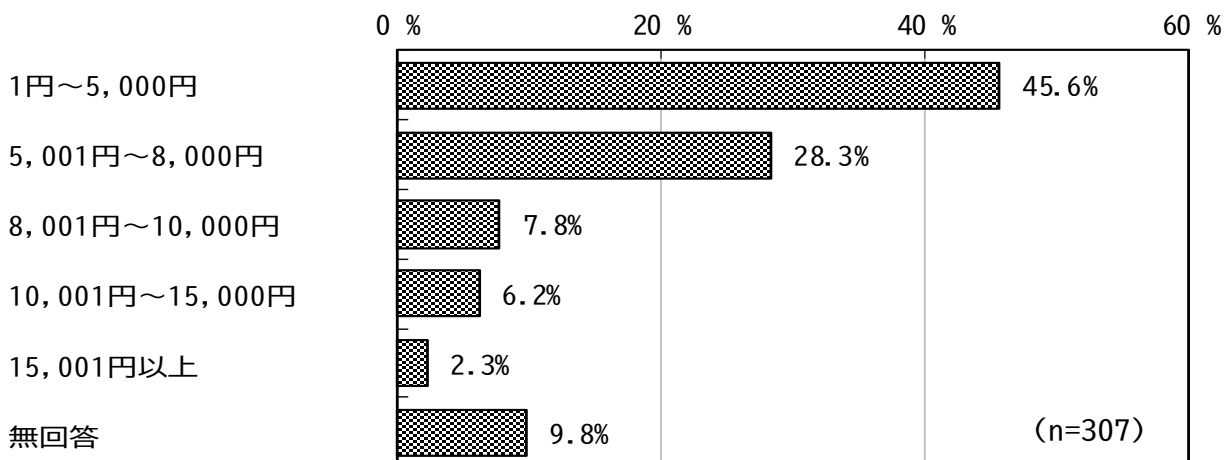
問22-2 介護職員等の賃金改善はどのように行いましたか（いくつでも○）。

介護職員等の「賃上げを行った」または「賃上げを行う予定」と回答した事業所の、介護職員等の賃金改善の方法について、「手当として支給」が54.7%と最も高く、「基本給のベースアップ」が41.7%、「賞与・一時金」が25.1%となっている。



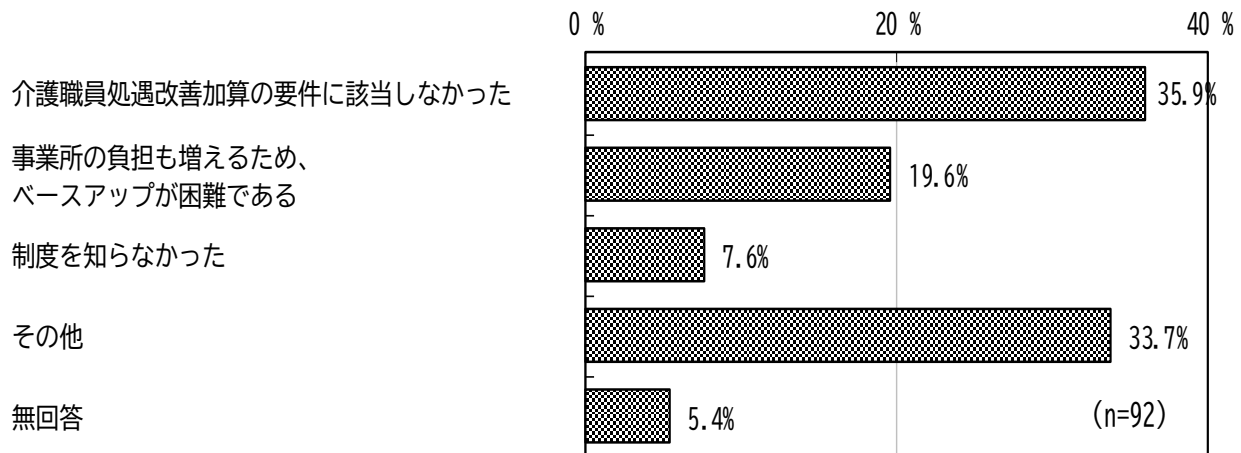
問22-3 職員1人あたりの賃上げ平均額は月額（換算）でいくらですか（1つに○）。

介護職員等の「賃上げを行った」または「賃上げを行う予定」と回答した事業所の、職員1人あたりの賃上げ平均額について、「1円～5,000円」が45.6%と最も高く、「5,001円～8,000円」が28.3%、「8,001円～10,000円」が7.8%、「10,001円～15,000円」が6.2%、「15,001円以上」が2.3%となっている。



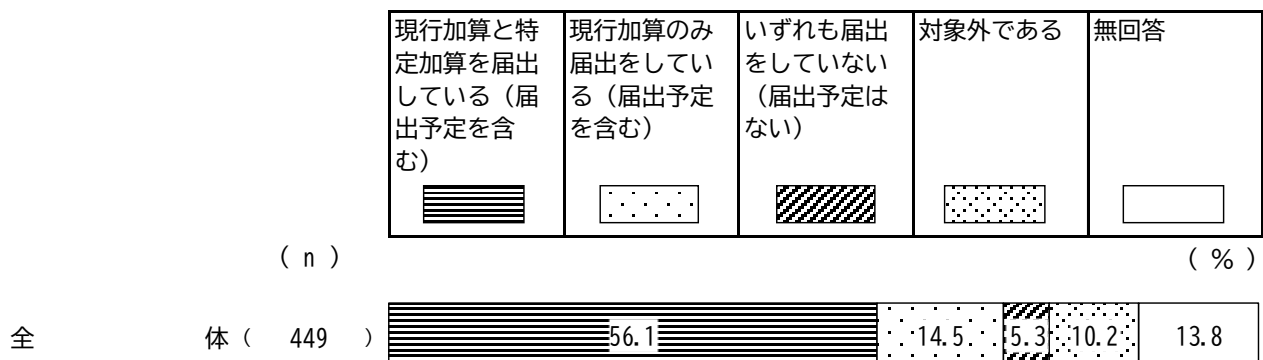
問22-4 賃上げを行わなかった理由は何ですか（いくつでも○）。

介護職員等の「賃上げを行っていない」と回答した事業所の、賃上げを行わなかった理由について、「介護職員処遇改善加算の要件に該当しなかった」が35.9%と最も高く、「事業所の負担も増えるため、ベースアップが困難である」が19.6%、「制度を知らなかった」が7.6%となっている。



問23 貴事業所では、介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）を届出していますか（1つに○）。

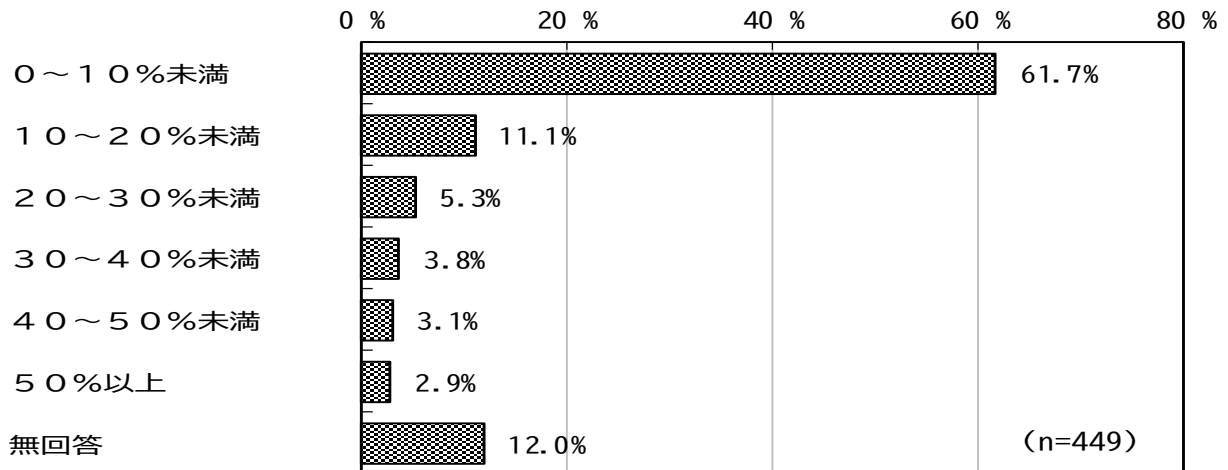
介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）の届出状況について、「現行加算と特定加算を届出している（届出予定を含む）」が56.1%と最も高く、「現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）」が14.5%、「対象外である」が10.2%、「いずれも届出をしていない（届出予定はない）」が5.3%となっている。



問24 令和3年（1月から12月）の入職率と離職率についてお答えください。  
（それぞれ1つに○）。

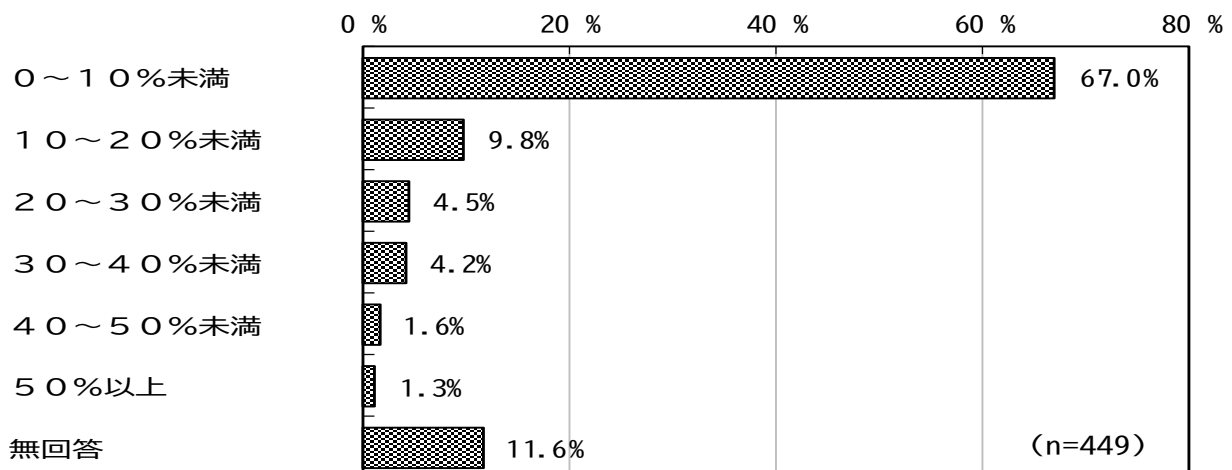
① 正規職員 入職率

令和3年（1月から12月）の正規職員の入職率について、「0～10%未満」が61.7%と最も高く、「10～20%未満」が11.1%、「20～30%未満」が5.3%、「30～40%未満」が3.8%、「40～50%未満」が3.1%、「50%以上」が2.9%となっている。



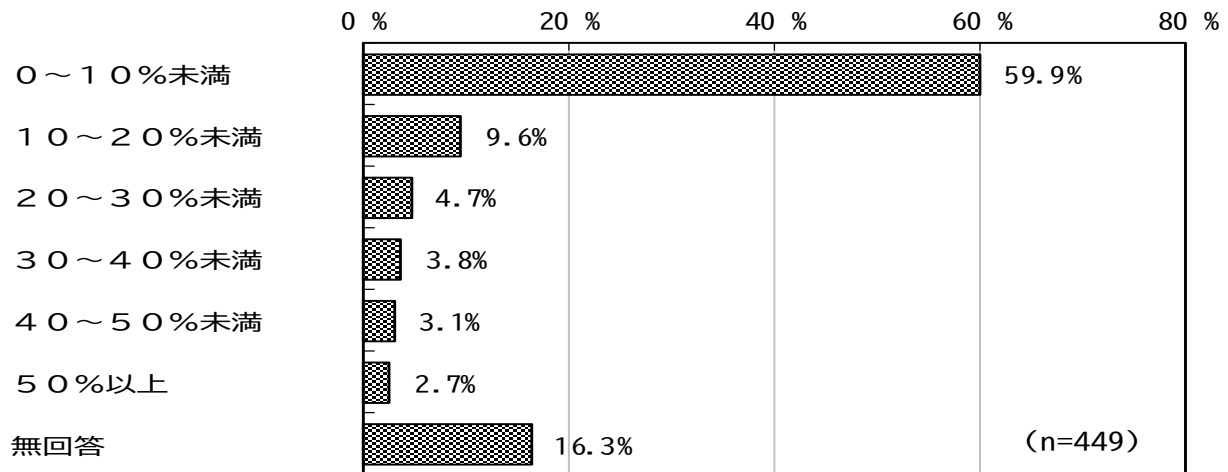
② 正規職員 離職率

令和3年（1月から12月）の正規職員の離職率について、「0～10%未満」が67.0%と最も高く、「10～20%未満」が9.8%、「20～30%未満」が4.5%、「30～40%未満」が4.2%、「40～50%未満」が1.6%、「50%以上」が1.3%となっている。



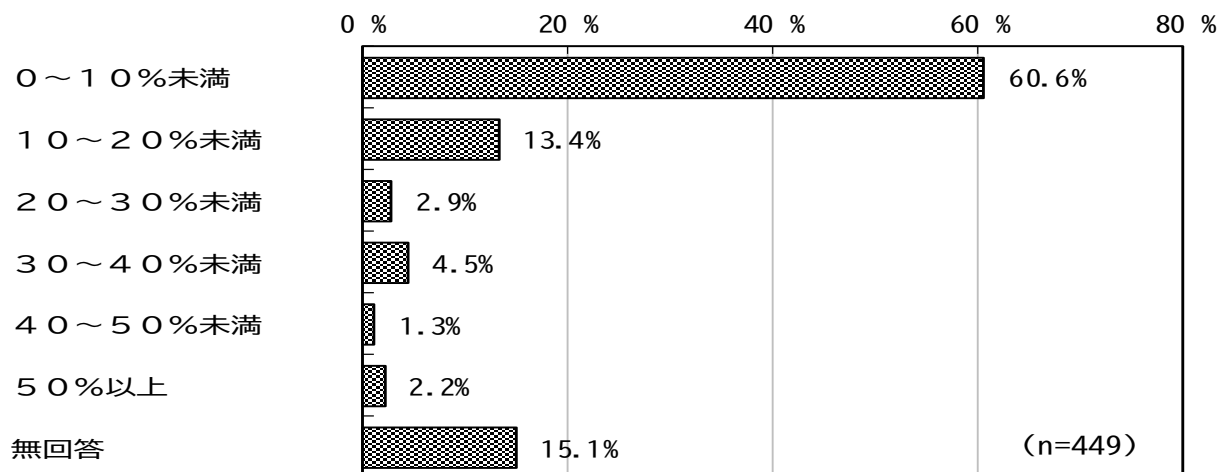
## ③ 非正規職員 入職率

令和3年(1月から12月)の非正規職員の入職率について、「0～10%未満」が59.9%と最も高く、「10～20%未満」が9.6%、「20～30%未満」が4.7%、「30～40%未満」が3.8%、「40～50%未満」が3.1%、「50%以上」が2.7%となっている。



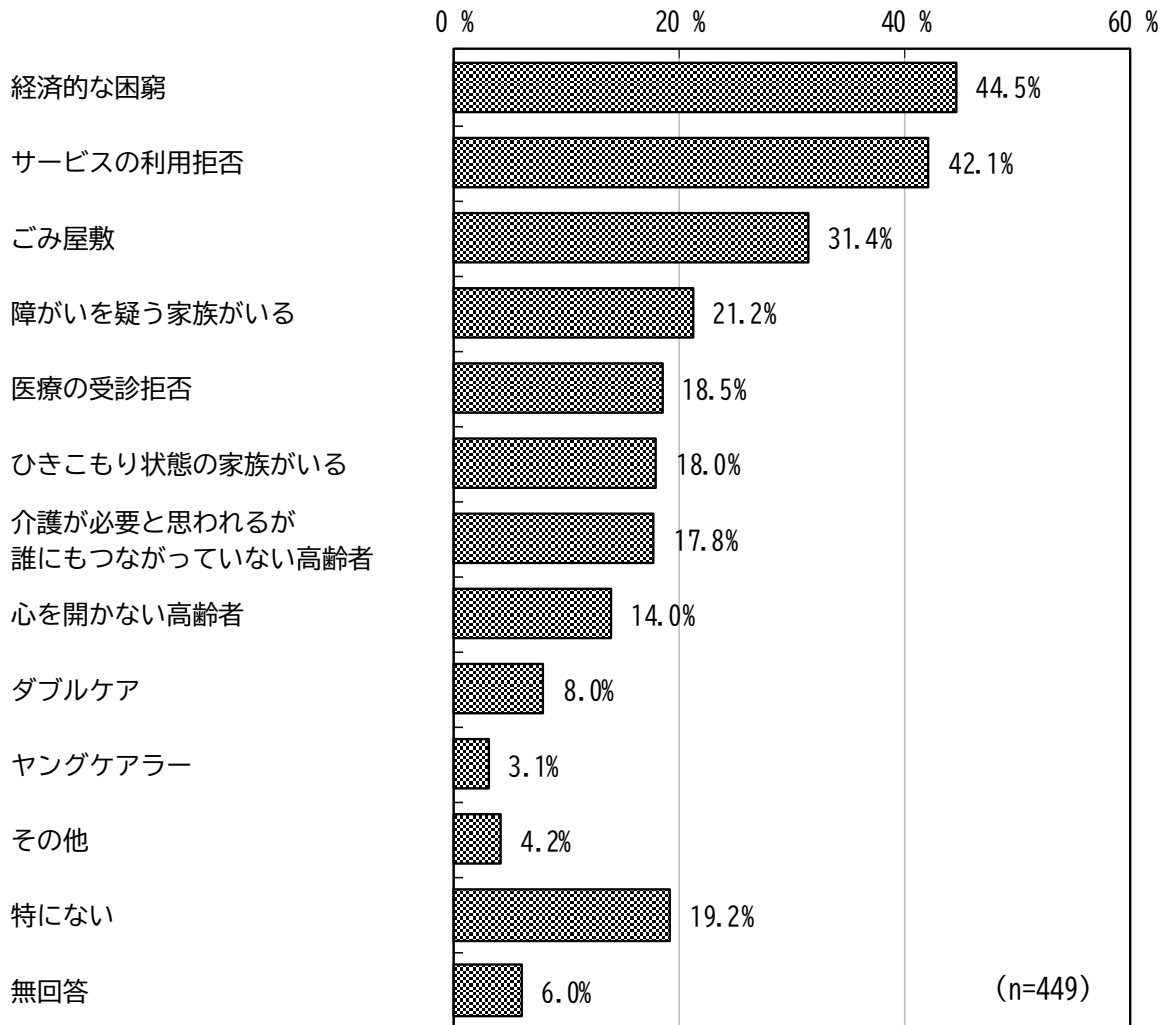
## ④ 非正規職員 離職率

令和3年(1月から12月)の非正規職員の離職率について、「0～10%未満」が60.6%と最も高く、「10～20%未満」が13.4%、「30～40%未満」が4.5%、「20～30%未満」が2.9%、「50%以上」が2.2%、「40～50%未満」が1.3%となっている。



問25 利用者へのサービス提供を行う中で、気になる相談を受けたり、対応困難な事例に遭遇したことがありますか（いくつでも○）。

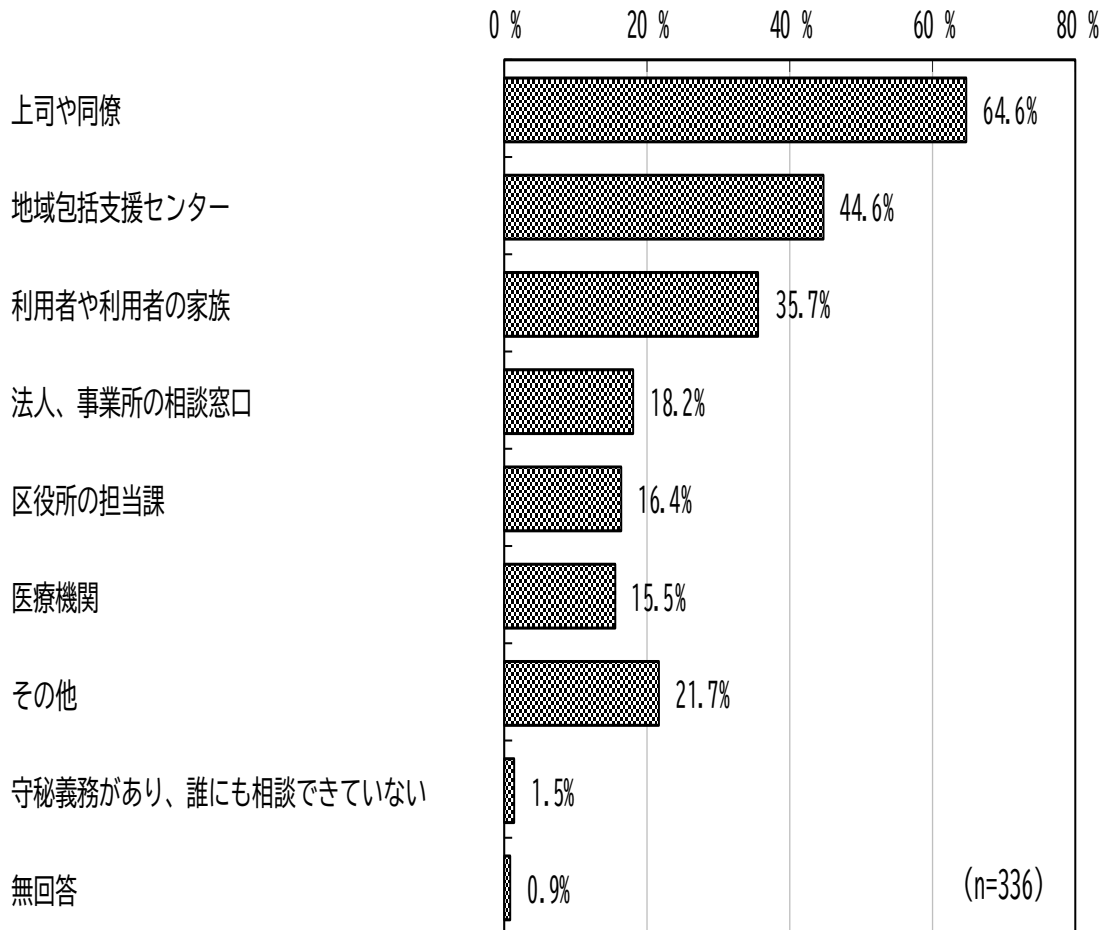
利用者へのサービス提供を行う中で受けた気になる相談や遭遇した対応困難な事例について、「経済的な困窮」が44.5%と最も高く、「サービスの利用拒否」が42.1%、「ごみ屋敷」が31.4%、「障がいを疑う家族がいる」が21.2%、「医療の受診拒否」が18.5%、「ひきこもり状態の家族がいる」が18.0%、「介護が必要と思われるが誰にもつながっていない高齢者」が17.8%、「心を開かない高齢者」が14.0%、「ダブルケア」が8.0%、「ヤングケアラー」が3.1%となっている。また「特にない」が19.2%となっている。





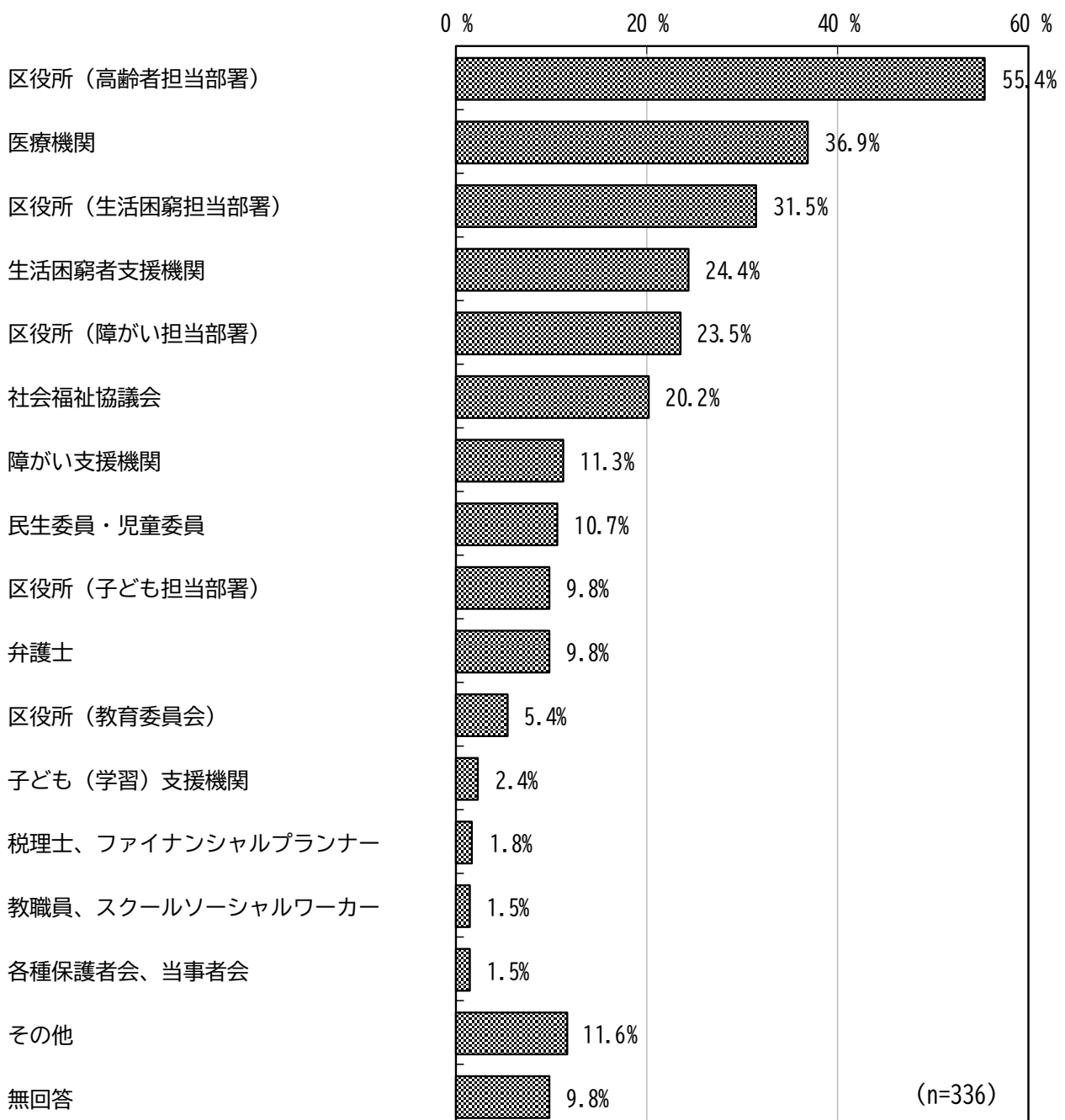
## 問25-1 気になった相談や困難事例を誰に相談していますか（いくつでも○）。

気になった相談や困難事例の相談先について、「上司や同僚」が64.6%と最も高く、「地域包括支援センター」が44.6%、「利用者や利用者の家族」が35.7%、「法人、事業所の相談窓口」が18.2%、「区役所の担当課」が16.4%、「医療機関」が15.5%となっている。また「守秘義務があり、誰にも相談できていない」が1.5%となっている。



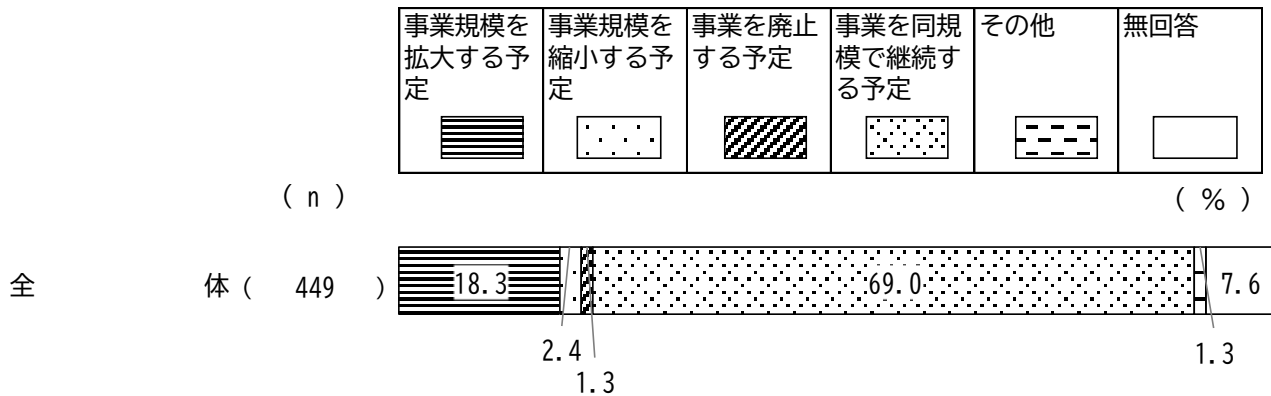
問25-2 気になった相談や困難事例の対応にあたり、誰と連携したいと思いますか  
(いくつでも○)。

気になった相談や困難事例の対応にあたり連携したいと思う先について、「区役所（高齢者担当部署）」が55.4%と最も高く、「医療機関」が36.9%、「区役所（生活困窮担当部署）」が31.5%、「生活困窮者支援機関」が24.4%、「区役所（障がい担当部署）」が23.5%、「社会福祉協議会」が20.2%、「障がい支援機関」が11.3%、「民生委員・児童委員」が10.7%、「区役所（子ども担当部署）」が9.8%、「弁護士」が9.8%、「区役所（教育委員会）」が5.4%、「子ども（学習）支援機関」が2.4%、「税理士、ファイナンシャルプランナー」が1.8%、「教職員、スクールソーシャルワーカー」「各種保護者会、当事者会」が1.5%となっている。



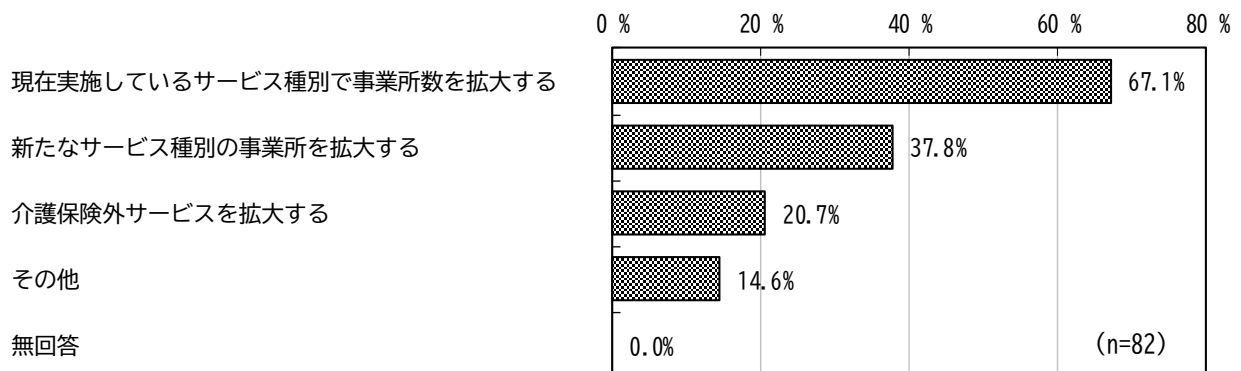
### 問26 貴事業所の今後の事業展開についてお答えください（1つに○）。

事業所の今後の事業展開について、「事業を同規模で継続する予定」が69.0%と最も高く、「事業規模を拡大する予定」が18.3%、「事業規模を縮小する予定」が2.4%、「事業を廃止する予定」が1.3%、「事業を廃止する予定」が1.3%となっている。



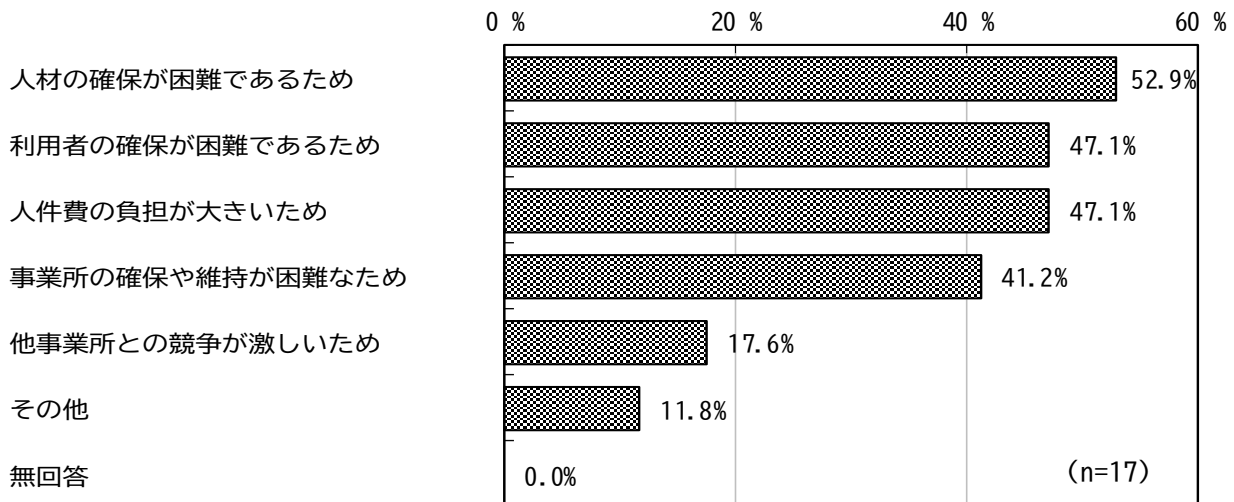
### 問26-1 どのように事業規模を拡大しますか（いくつでも○）。

「事業規模を拡大する予定」と回答した事業所の事業拡大の方法について、「現在実施しているサービス種別で事業所数を拡大する」が67.1%と最も高く、「新たなサービス種別の事業所を拡大する」が37.8%、「介護保険外サービスを拡大する」が20.7%となっている。



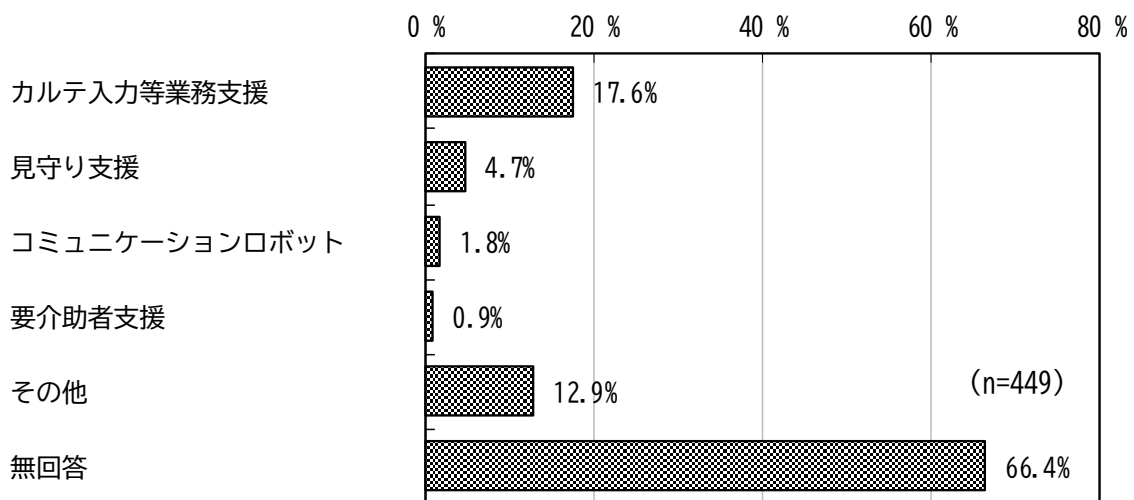
問26-2 事業規模を縮小・廃止する予定である理由は何ですか（いくつでも○）。

「事業規模を縮小する予定」または「事業を廃止する予定」と回答した事業所の、縮小・廃止の理由について、「人材の確保が困難であるため」が52.9%と最も高く、「利用者の確保が困難であるため」「人件費の負担が大きいため」が47.1%、「事業所の確保や維持が困難なため」が41.2%、「他事業所との競争が激しいため」が17.6%となっている。



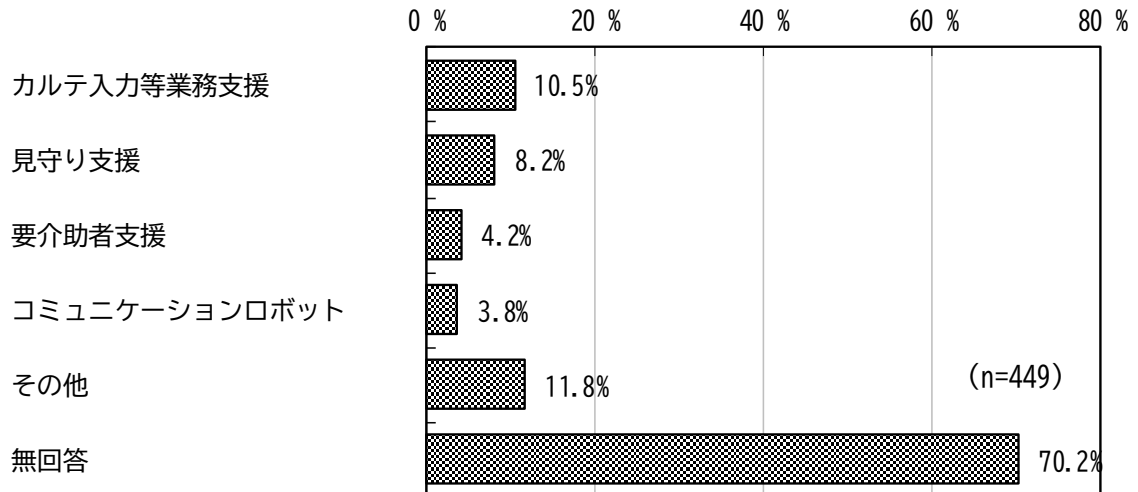
問27 ロボット・IoTについて導入をされていますか（いくつでも○）。

ロボット・IoTの導入状況について、無回答および「その他」を除くと、「カルテ入力等業務支援」が17.6%と最も高く、「見守り支援」が4.7%、「コミュニケーションロボット」が1.8%、「要介助者支援」が0.9%となっている。



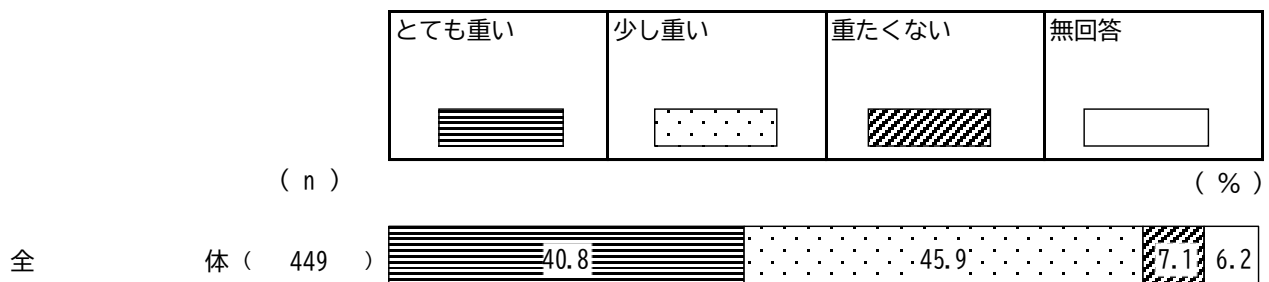
### 問28 ロボット・IoTについて導入を検討していますか（いくつでも○）。

ロボット・IoTの検討状況について、無回答および「その他」を除くと、「カルテ入力等業務支援」が10.5%と最も高く、「見守り支援」が8.2%、「要介助者支援」が4.2%、「コミュニケーションロボット」が3.8%となっている。



### 問29 現在、事務負担はどの程度ですか（1つに○）。

現在の事務負担について、「少し重い」が45.9%と最も高く、「とても重い」が40.8%、「重たくない」が7.1%となっている。





## 7 居宅介護支援事業所調査

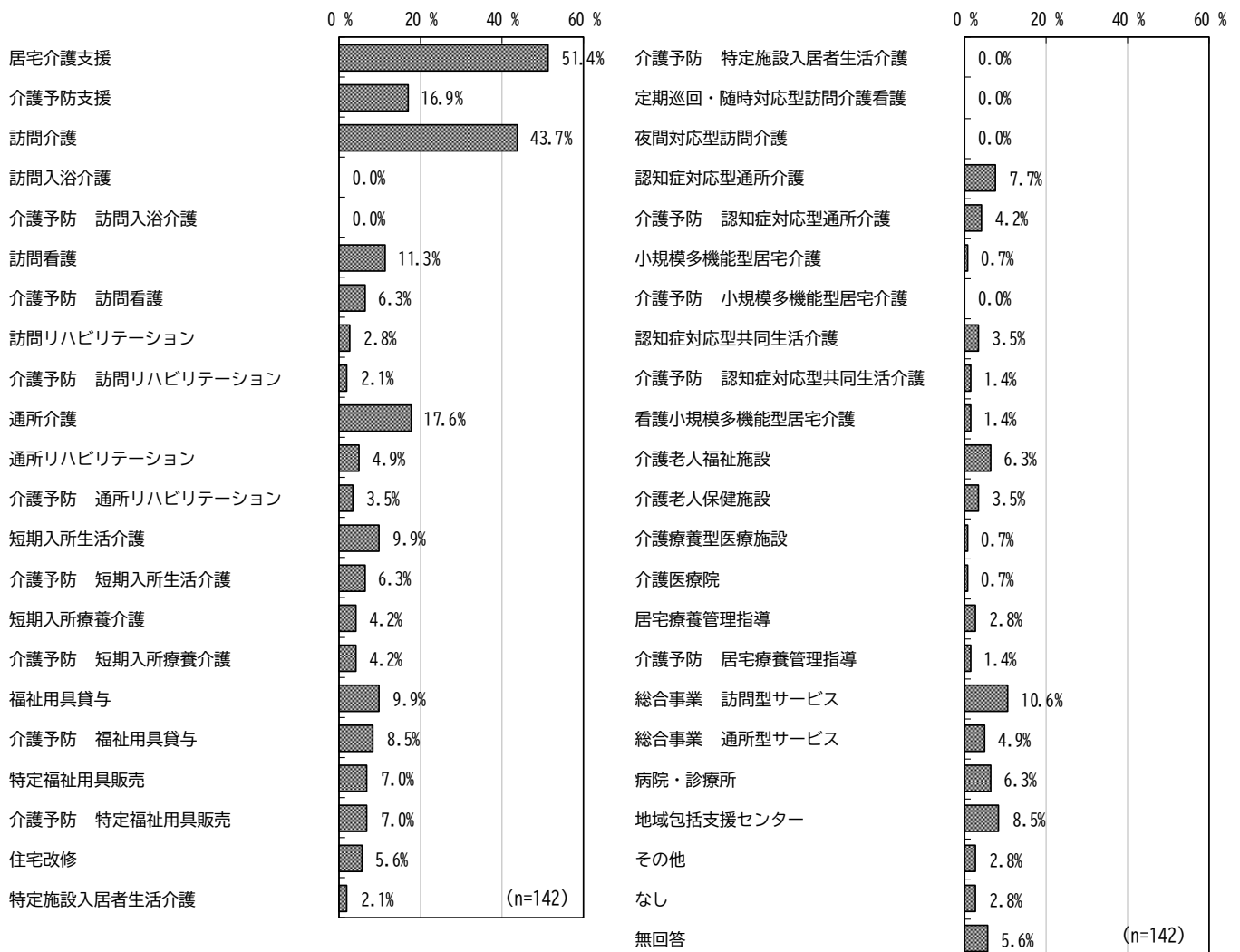
### (1) 事業所の基本情報

#### 問1 貴事業所について

※①は「事業所名をご記入ください」という設問であるため省略

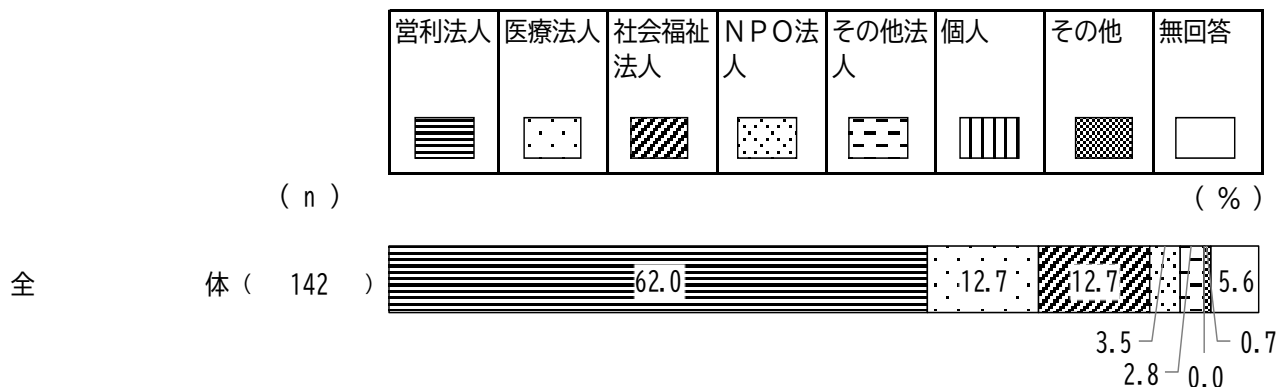
#### ② 貴事業所の併設事業をお答えください (いくつでも○)。

事業所の併設事業について、「居宅介護支援」が51.4%と最も高く、「訪問介護」が43.7%、「通所介護」が17.6%、「介護予防支援」が16.9%、「訪問看護」が11.3%と続いている。また「なし」が2.8%となっている。



③ 事業所の経営主体は何ですか（1つに○）。

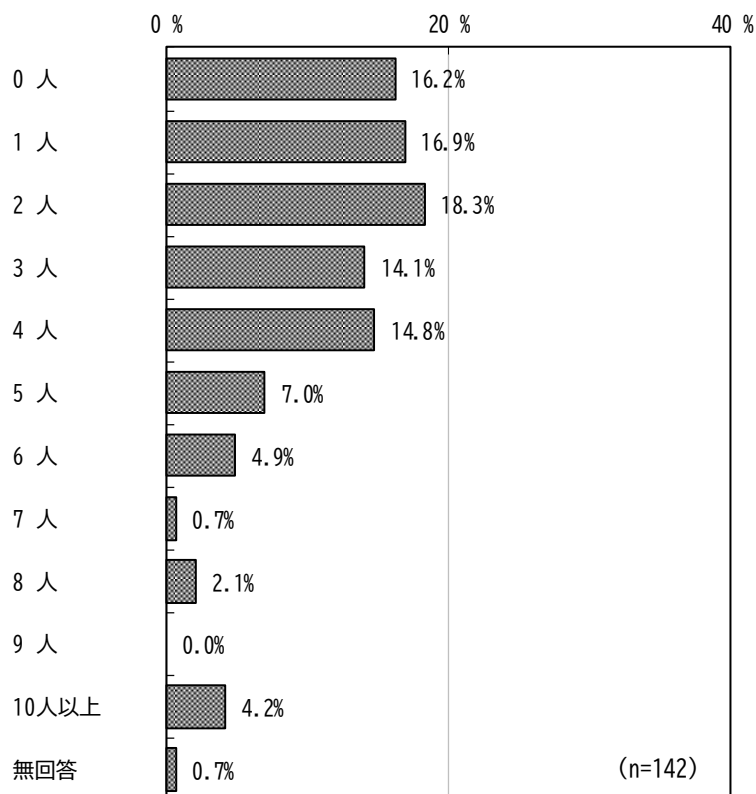
事業所の経営主体は、「営利法人」が62.0%と最も高く、「医療法人」が12.7%、「社会福祉法人」が12.7%、「NPO法人」が3.5%、「その他法人」が2.8%、「個人」が0.0%となっている。



④ 職員体制についてお答えください。

正規職員 専任

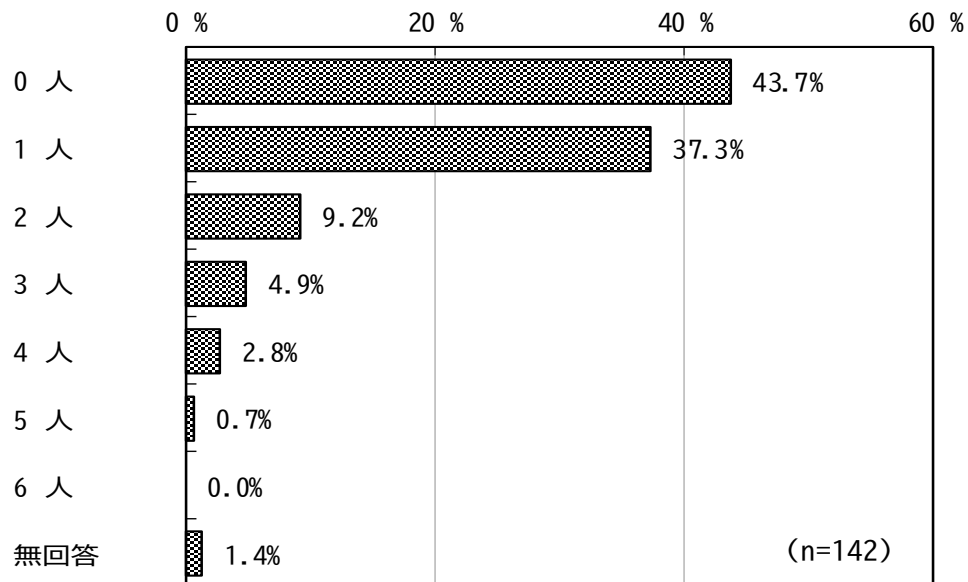
正規職員（専任）の職員体制について、「2人」が18.3%と最も高く、「1人」が16.9%、「0人」が16.2%、「4人」が14.8%、「3人」が14.1%、「5人」が7.0%、「6人」が4.9%、「10人以上」が4.2%、「8人」が2.1%、「7人」が0.7%、「9人」が0.0%となっている。





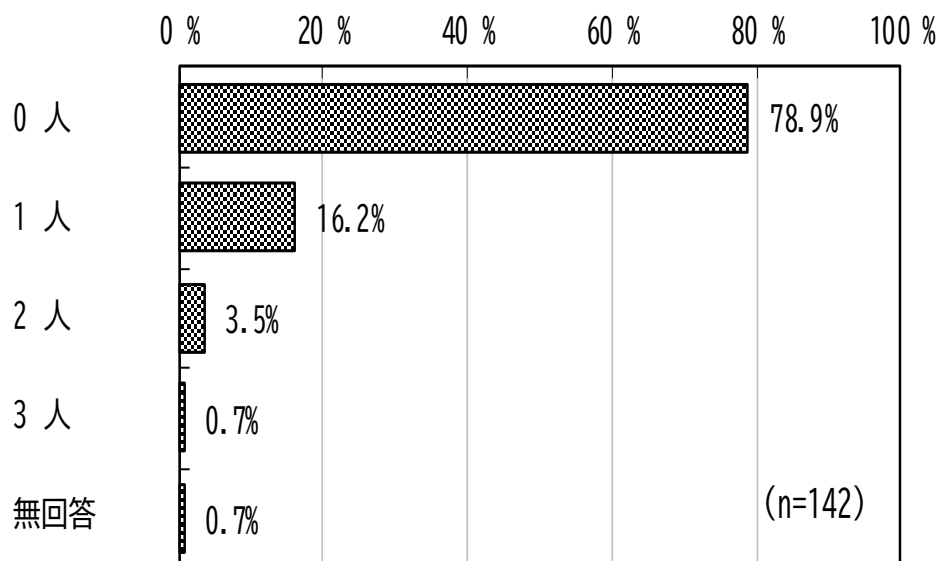
### 正規職員 兼務

正規職員（兼務）の職員体制について、「0人」が43.7%と最も高く、「1人」が37.3%、「2人」が9.2%、「3人」が4.9%、「4人」が2.8%、「5人」が0.7%、「6人」が0.0%となっている。



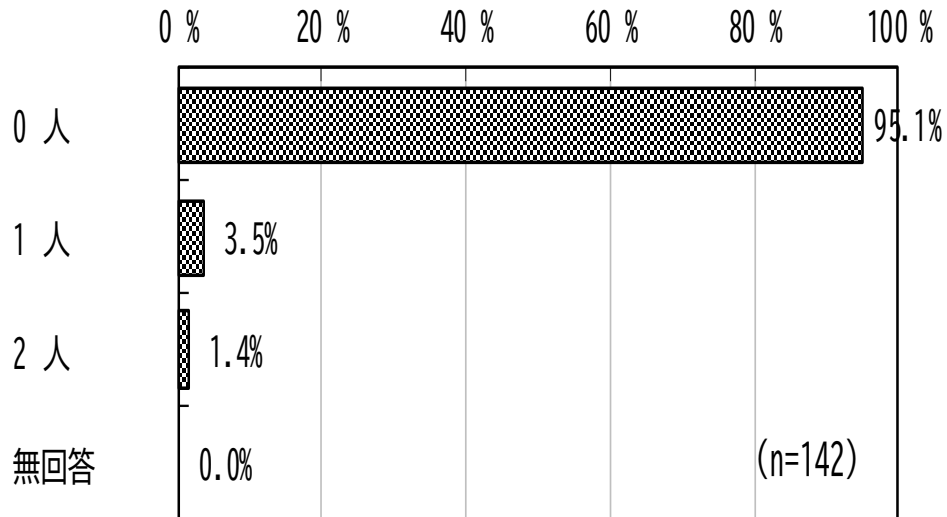
### 非正規職員 専任

非正規職員（専任）の職員体制について、「0人」が78.9%と最も高く、「1人」が16.2%、「2人」が3.5%、「3人」が0.7%となっている。



非正規職員 兼務

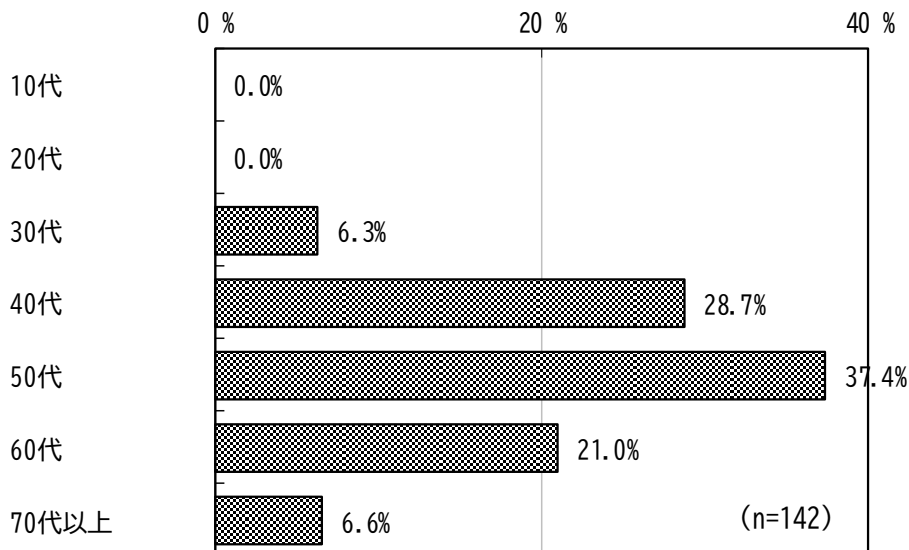
非正規職員（兼務）の職員体制について、「0人」が95.1%と最も高く、「1人」が3.5%、「2人」が1.4%となっている。



## ⑤ 年齢構成についてお答えください（数字を記入）。

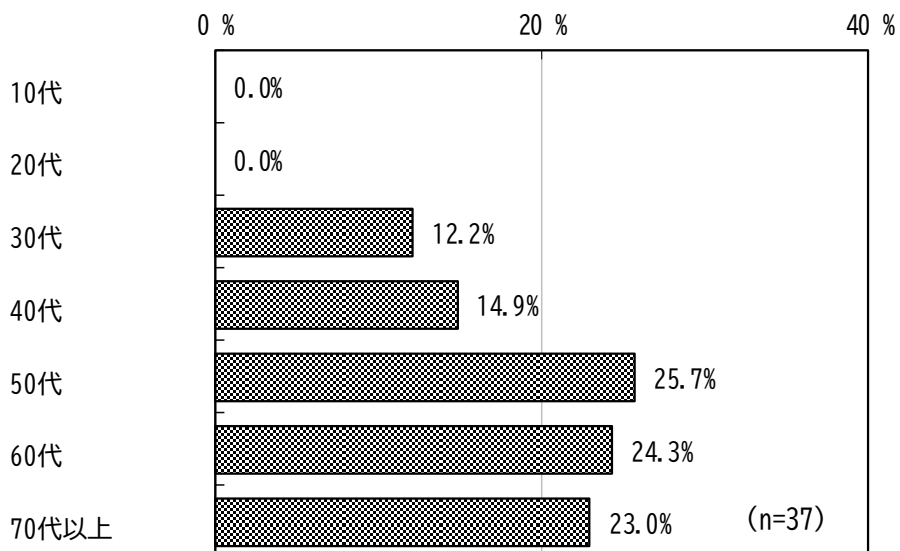
## ⑤-1 正規職員

回答のあった事業所の正規職員の年齢構成について、「50代」が37.4%と最も高く、「40代」が28.7%、「60代」が21.0%、「70代以上」が6.6%、「30代」が6.3%となっている。



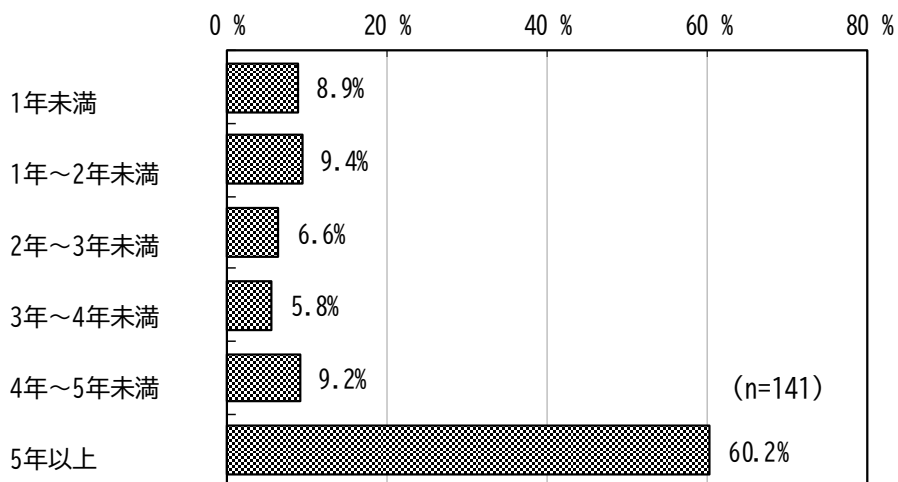
## ⑤-2 非正規職員

回答のあった事業所の非正規職員の年齢構成について、「50代」が25.7%と最も高く、「60代」が24.3%、「70代以上」が23.0%、「40代」が14.9%、「30代」が12.2%となっている。

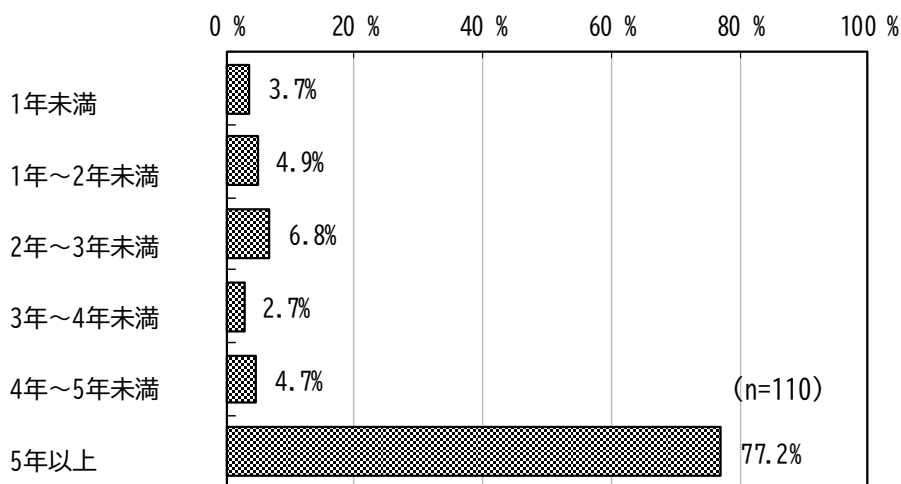


問2 貴事業所の介護支援専門員の人数を、勤務年数別にお答えください。また、主任介護支援専門員的人数をお答えください（数字を記入）。

回答のあった事業所の介護支援専門員の勤務年数について、「5年以上」が60.2%と最も高く、「1年～2年未満」が9.4%、「4年～5年未満」が9.2%、「1年未満」が8.9%、「2年～3年未満」が6.6%、「3年～4年未満」が5.8%となっている。

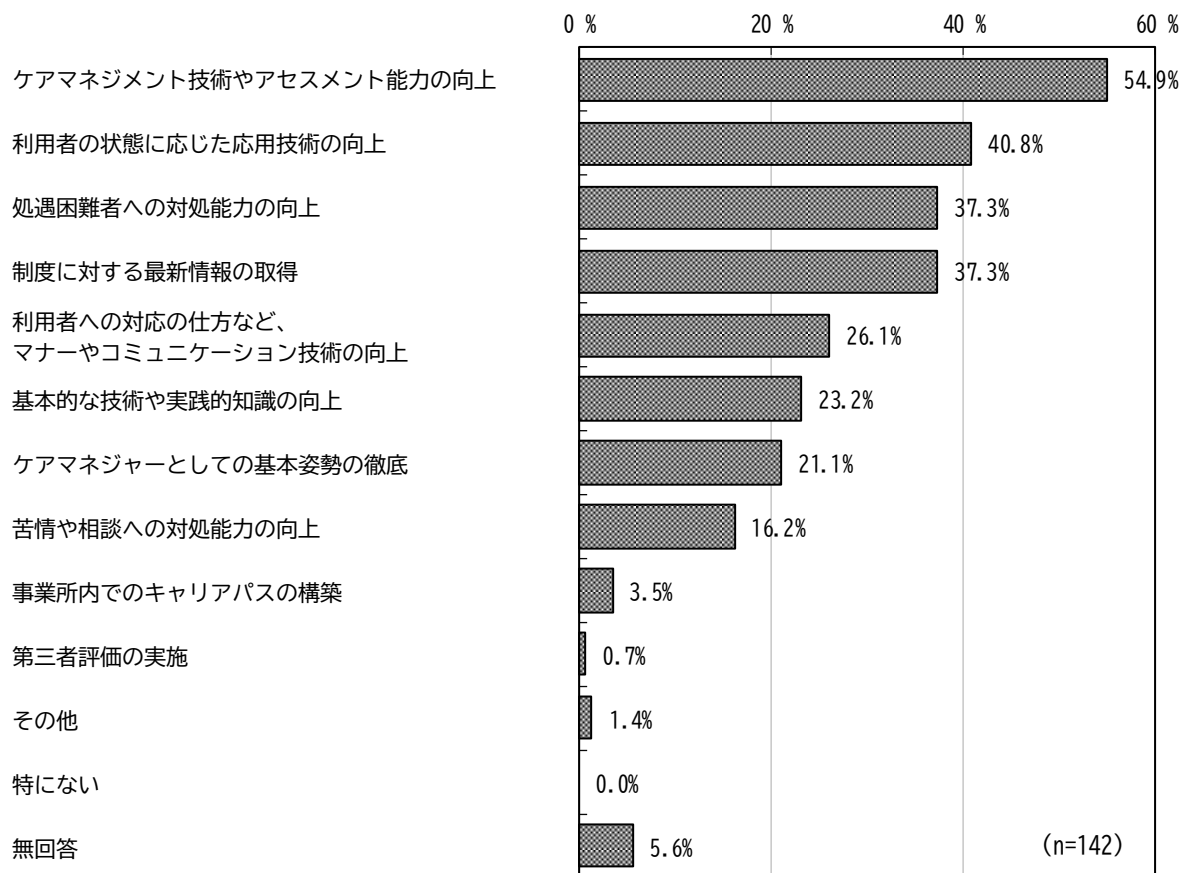


うち主任介護支援専門員の勤務年数について、「5年以上」が77.2%と最も高く、「2年～3年未満」が6.8%、「1年～2年未満」が4.9%、「4年～5年未満」が4.7%、「1年未満」が3.7%、「3年～4年未満」が2.7%となっている。



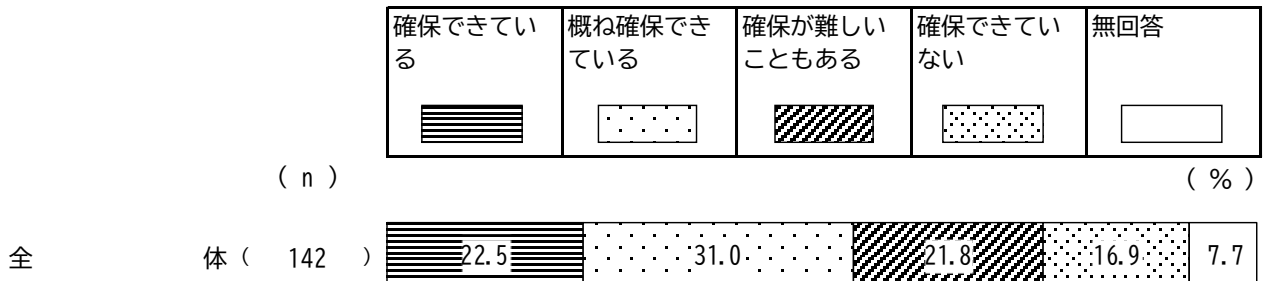
問3 貴事業所では、ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために、今後どのような視点を重視した取り組みが必要だと思いますか（3つまで○）。

居宅介護事業所が行うケアマネジャーの質の確保・向上のために重視する取り組みとして、「ケアマネジメント技術やアセスメント能力の向上」が54.9%と最も高く、「利用者の状態に応じた応用技術の向上」が40.8%、「処遇困難者への対処能力の向上」「制度に対する最新情報の取得」が37.3%、「利用者への対応の仕方など、マナーやコミュニケーション技術の向上」が26.1%、「基本的な技術や実践的知識の向上」が23.2%、「ケアマネジャーとしての基本姿勢の徹底」が21.1%、「苦情や相談への対処能力の向上」が16.2%、「事業所内でのキャリアパスの構築」が3.5%、「第三者評価の実施」が0.7%となっている。また「特にない」が0.0%となっている。



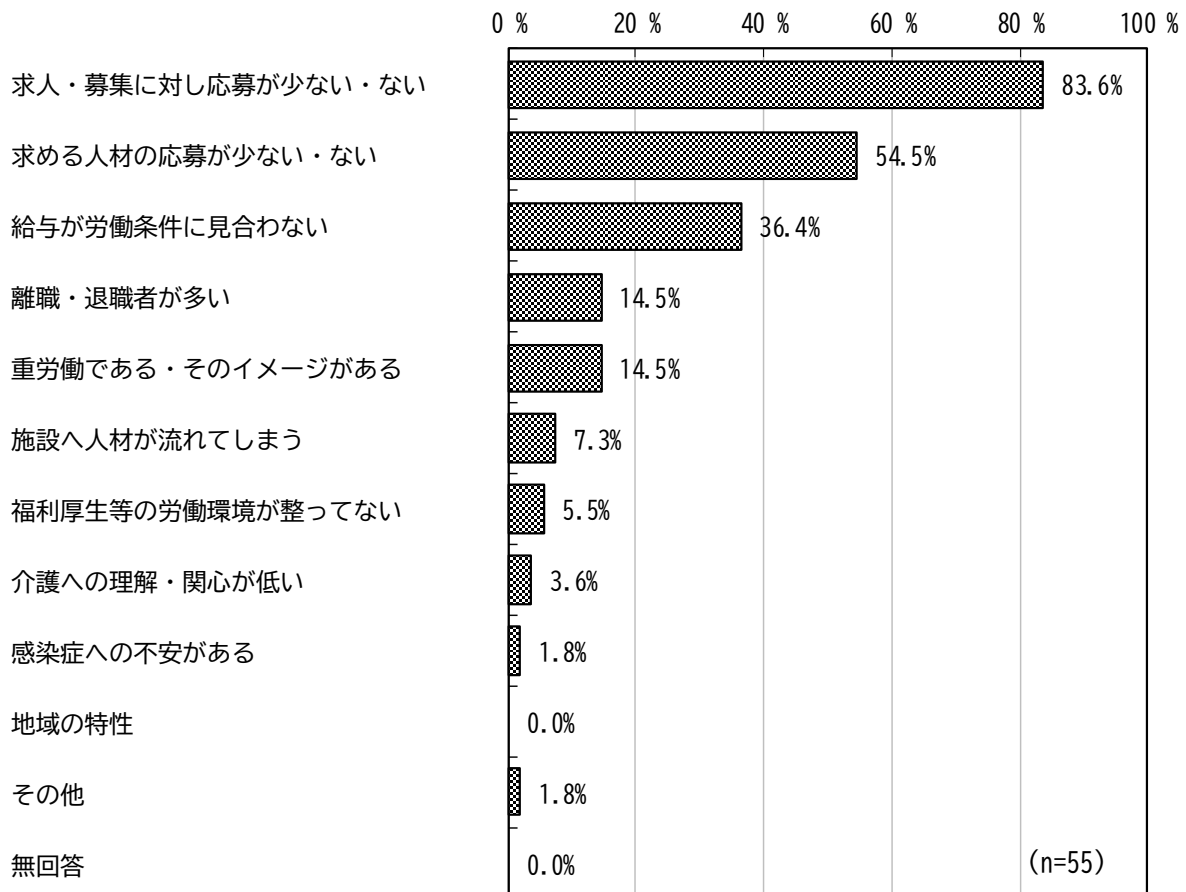
問4 貴事業所では、介護職員等の人材は確保できていますか（1つに○）。

事業所の介護職員等の人材について、「概ね確保できている」が31.0%と最も高く、「確保できている」が22.5%、「確保が難しいこともある」が21.8%、「確保できていない」が16.9%となっている。



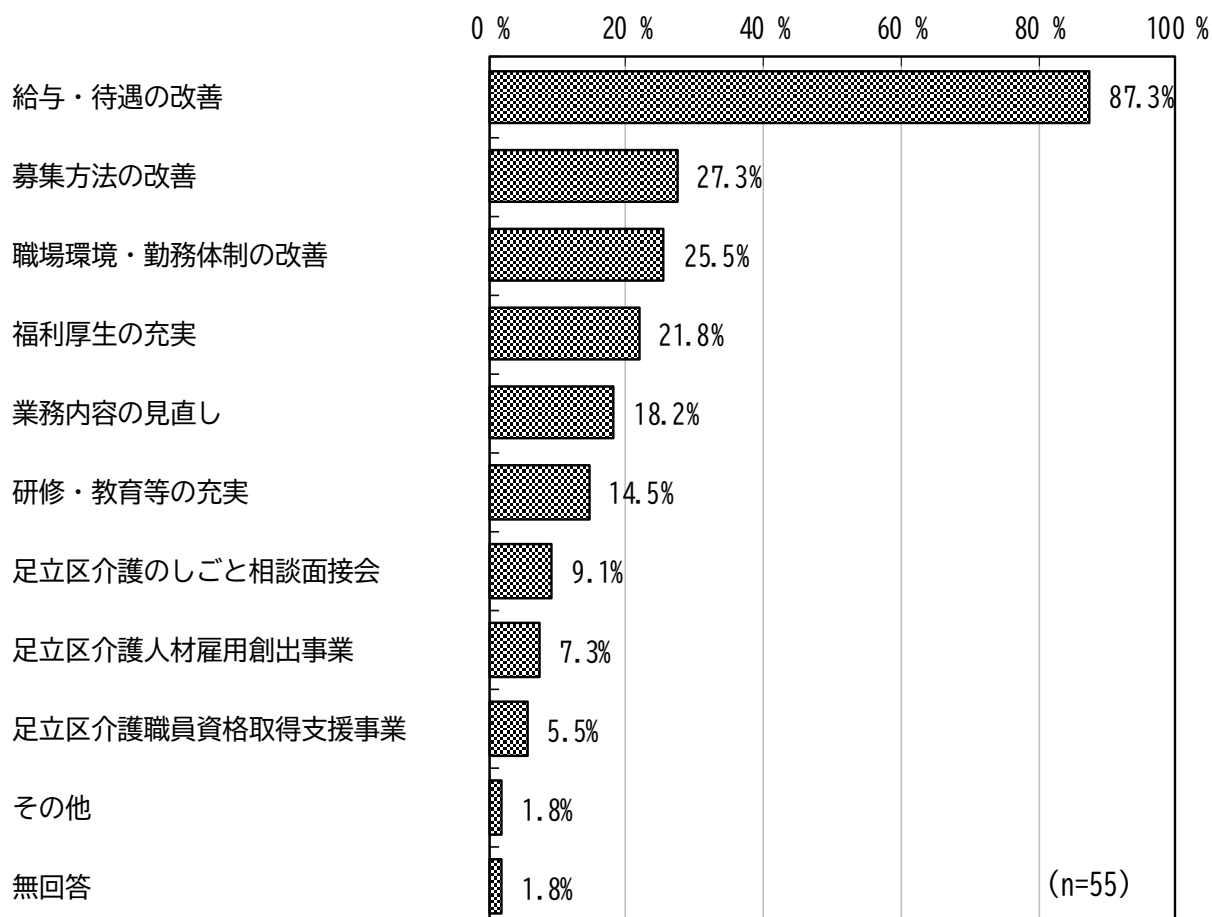
## 問4-1 その理由は何ですか (いくつでも○)。

介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」または「確保できていない」と回答した事業所の、人材確保が難しい理由として、「求人・募集に対し応募が少ない・ない」が83.6%と最も高く、「求める人材の応募が少ない・ない」が54.5%、「給与が労働条件に見合わない」が36.4%、「離職・退職者が多い」「重労働である・そのイメージがある」が14.5%、「施設へ人材が流れてしまう」が7.3%、「福利厚生等の労働環境が整っていない」が5.5%、「介護への理解・関心が低い」が3.6%、「感染症への不安がある」が1.8%、「地域の特性」が0.0%となっている。



問4-2 人材確保支援策として有効だと思うものは何ですか（いくつでも○）。

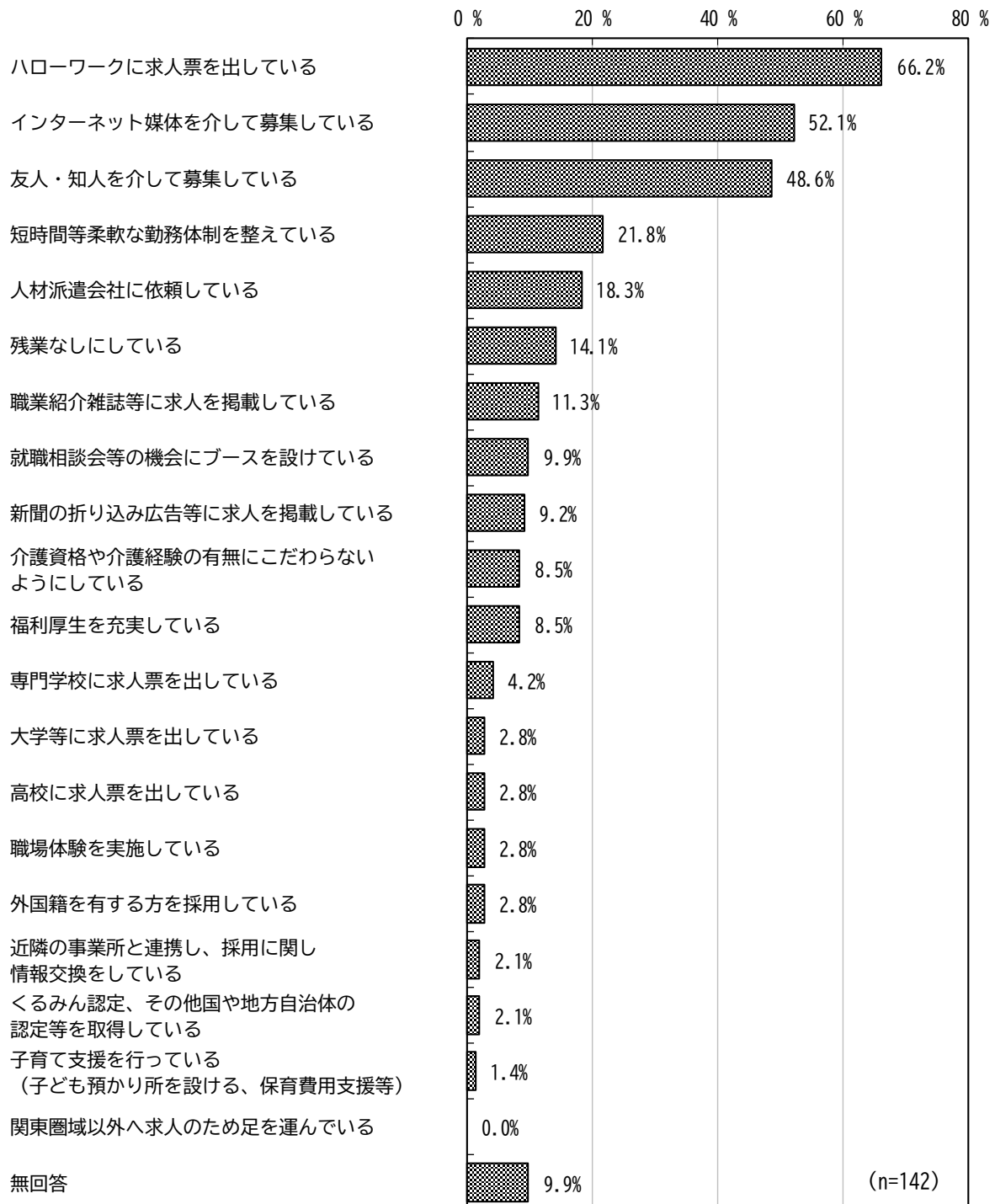
介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」または「確保できていない」と回答した事業所の、人材確保支援策として有効だと思うものについて、「給与・待遇の改善」が87.3%と最も高く、「募集方法の改善」が27.3%、「職場環境・勤務体制の改善」が25.5%、「福利厚生の充実」が21.8%、「業務内容の見直し」が18.2%、「研修・教育等の充実」が14.5%、「足立区介護のしごと相談面接会」が9.1%、「足立区介護人材雇用創出事業」が7.3%、「足立区介護職員資格取得支援事業」が5.5%となっている。





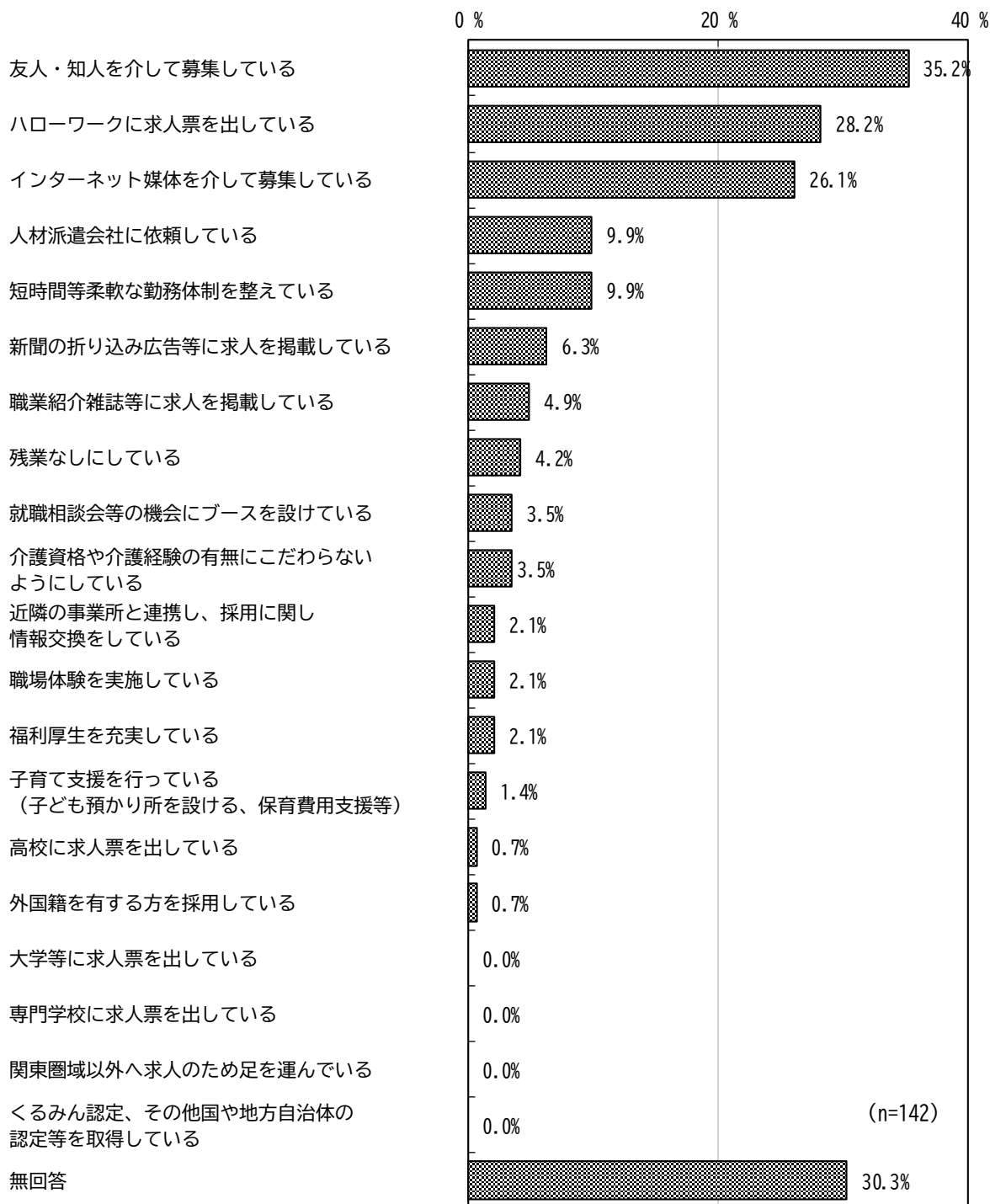
問5 貴事業所では、職員の募集（採用）にあたりどのような工夫を行っていますか（いくつでも○）。

事業所の職員募集の方法について、「ハローワークに求人票を出している」が66.2%と最も高く、「インターネット媒体を介して募集している」が52.1%、「友人・知人を介して募集している」が48.6%、「短時間等柔軟な勤務体制を整えている」が21.8%、「人材派遣会社に依頼している」が18.3%、「残業なしにしている」が14.1%と続いている。



問5-1 問5の職員募集で効果のあったものは何ですか（3つまで数字を記入）。

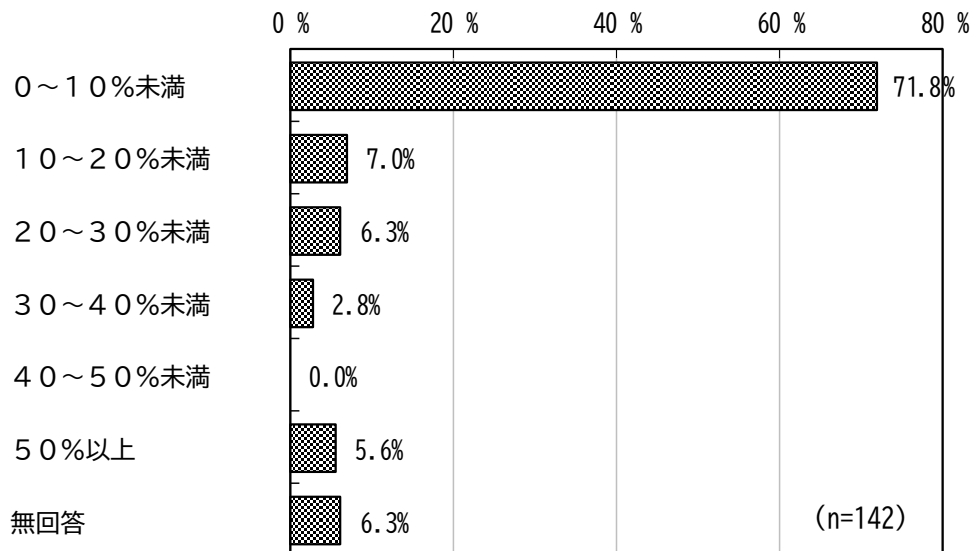
職員募集で効果のあったものとして、無回答を除くと、「友人・知人を介して募集している」が35.2%と最も高く、「ハローワークに求人票を出している」が28.2%、「インターネット媒体を介して募集している」が26.1%、「人材派遣会社に依頼している」「短時間等柔軟な勤務体制を整えている」が9.9%、「新聞の折り込み広告等に求人を掲載している」が6.3%と続いている。



問6 令和3年（1月から12月）の入職率と離職率についてお答えください  
（それぞれ1つに○）。

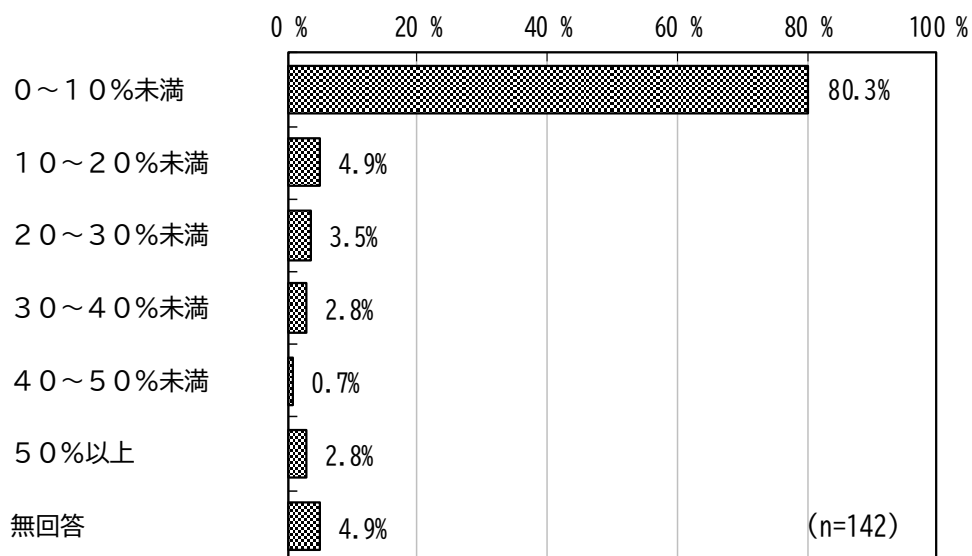
① 正規職員 入職率

正規職員の入職率について、「0～10%未満」が71.8%と最も高く、「10～20%未満」が7.0%、「20～30%未満」が6.3%、「50%以上」が5.6%、「30～40%未満」が2.8%、「40～50%未満」が0.0%となっている。



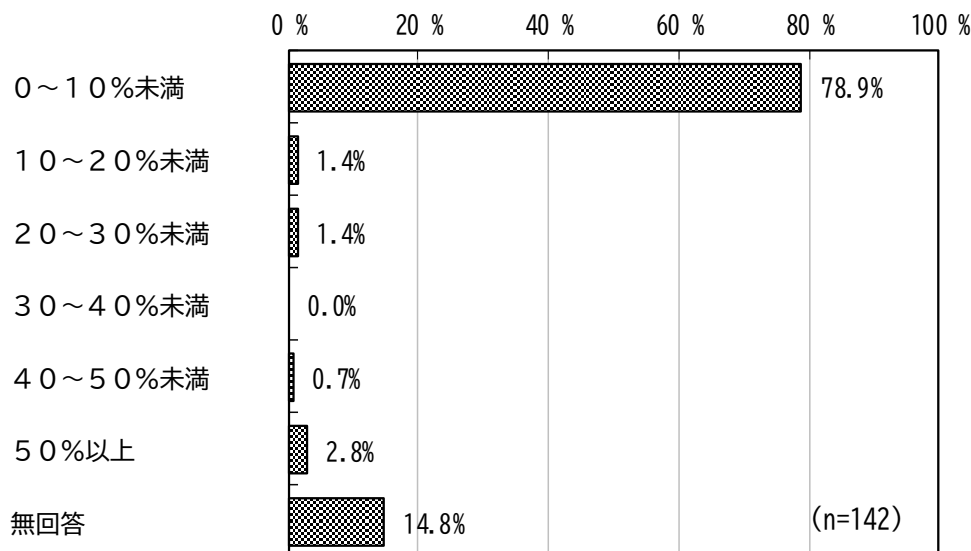
② 正規職員 離職率

正規職員の離職率について、「0～10%未満」が80.3%と最も高く、「10～20%未満」が4.9%、「20～30%未満」が3.5%、「30～40%未満」が2.8%、「50%以上」が2.8%、「40～50%未満」が0.7%となっている。



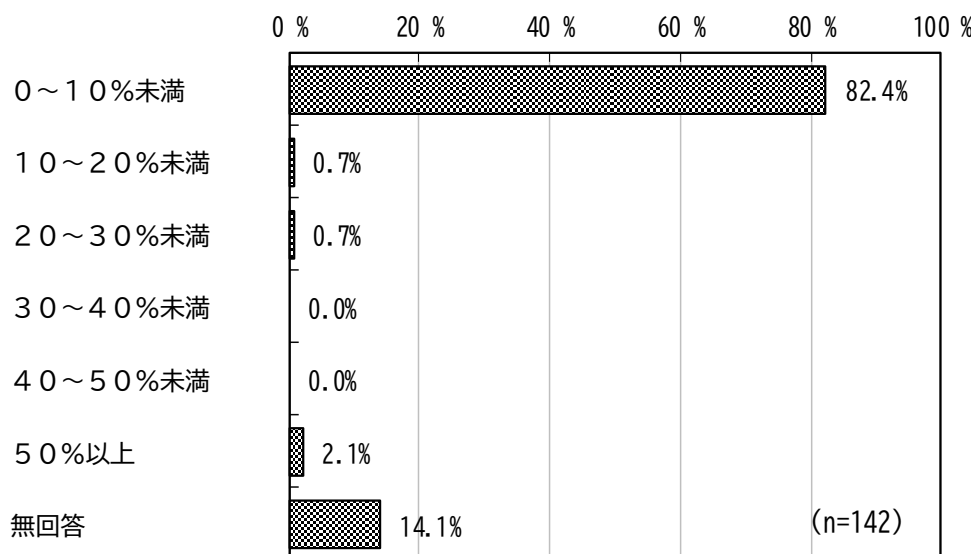
③ 非正規職員 入職率

非正規職員の入職率について、「0～10%未満」が78.9%と最も高く、「50%以上」が2.8%、「10～20%未満」が1.4%、「20～30%未満」が1.4%、「40～50%未満」が0.7%、「30～40%未満」が0.0%となっている。



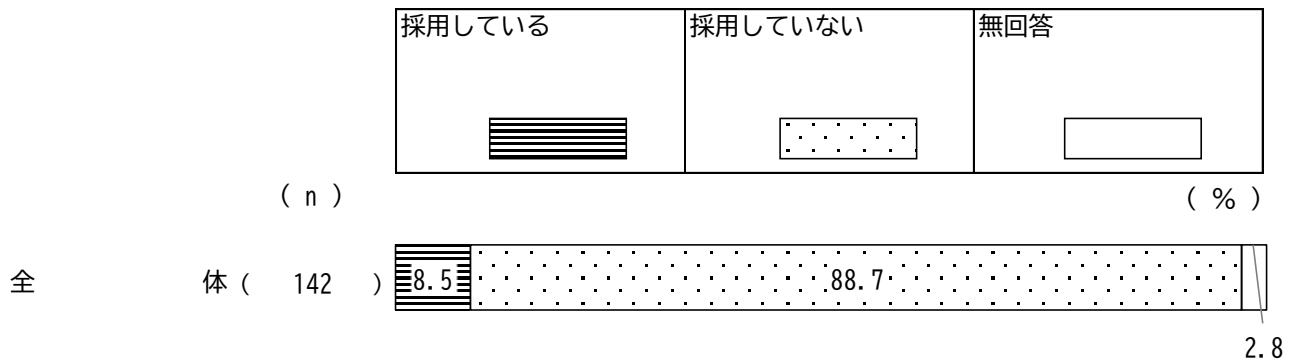
④ 非正規職員 離職率

非正規職員の離職率について、「0～10%未満」が82.4%と最も高く、「50%以上」が2.1%、「10～20%未満」が0.7%、「20～30%未満」が0.7%、「30～40%未満」が0.0%、「40～50%未満」が0.0%となっている。



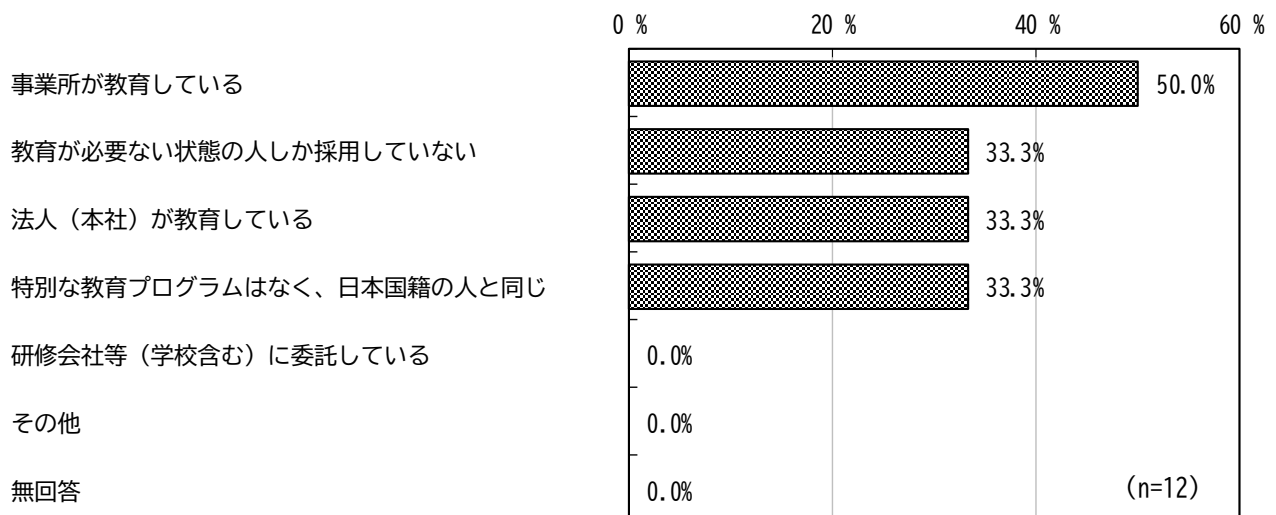
問7 貴事業者では、外国籍を有する方を積極的に採用していますか（1つに○）。

外国籍を有する方の採用について、積極的に「採用している」が8.5%、「採用していない」が88.7%となっている。



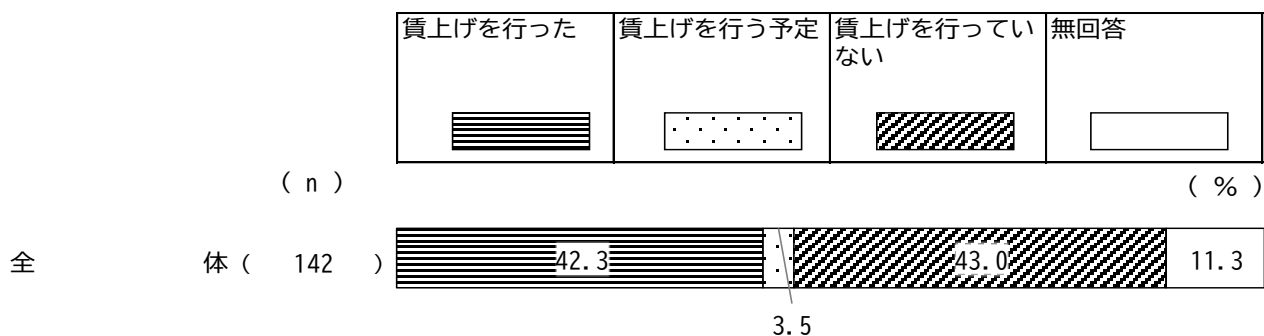
問7-1 外国籍を有する方を積極的に採用している場合、必要な教育はどのようにしていますか（いくつでも○）。

外国籍を有する方を積極的に「採用している」と回答した事業所の、必要な教育の実施状況について、「事業所が教育している」が50.0%と最も高く、「教育が必要ない状態の人しか採用していない」「法人（本社）が教育している」「特別な教育プログラムはなく、日本国籍の人と同じ」が33.3%、「研修会社等（学校含む）に委託している」が0.0%となっている。



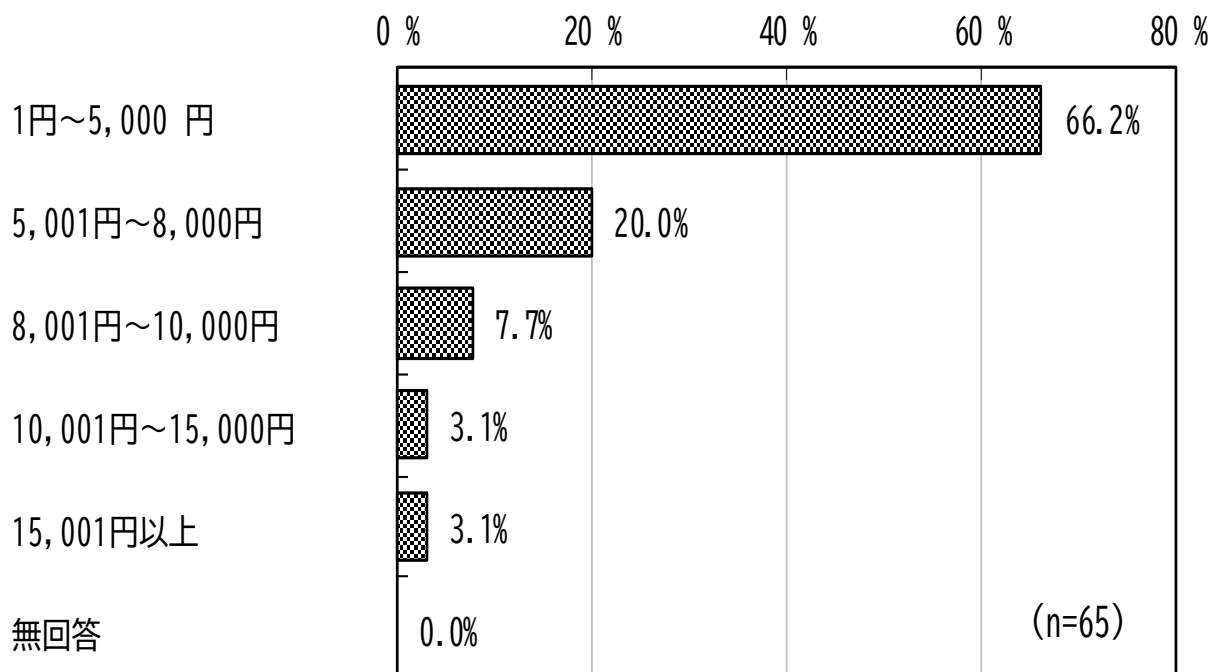
問8 貴事業所は今年度に賃上げを実施しましたか（1つに○）。

今年度の賃上げについて、「賃上げを行っていない」が43.0%と最も高く、「賃上げを行った」が42.3%、「賃上げを行う予定」が3.5%となっている。



問8-1 職員1人あたりの賃上げ平均額は月額（換算）でいくらですか（1つに○）。

「賃上げを行った」または「賃上げを行う予定」と回答した事業所の、職員1人あたりの賃上げ平均額について、「1円～5,000円」が66.2%と最も高く、「5,001円～8,000円」が20.0%、「8,001円～10,000円」が7.7%、「10,001円～15,000円」「15,001円以上」が3.1%となっている。

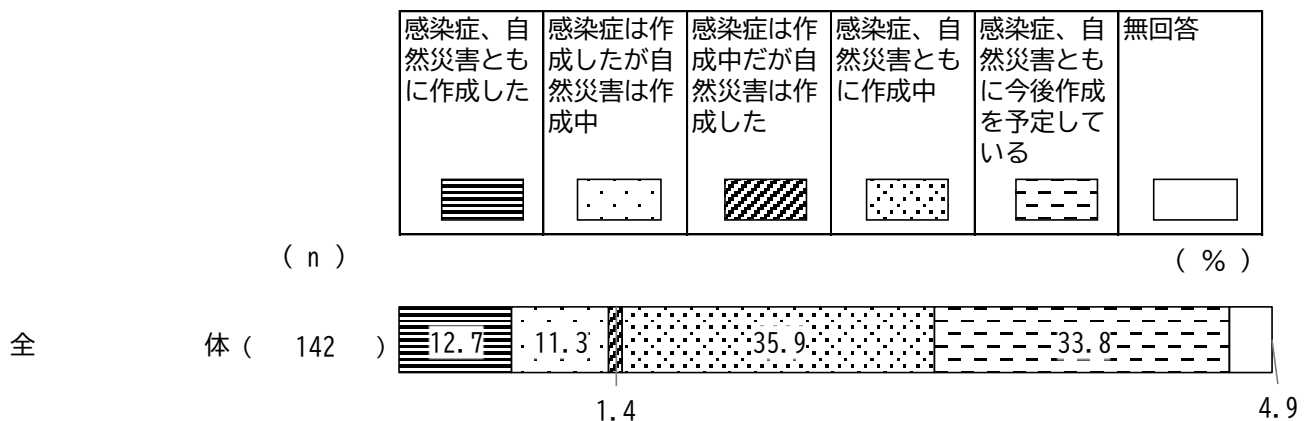


## (2) 災害対応について

問9 BCP（事業継続計画）の作成状況について、お答えください（1つに○）。

※令和3年度の介護報酬改定にともない、令和6年4月1日よりBCPの策定が義務化される。

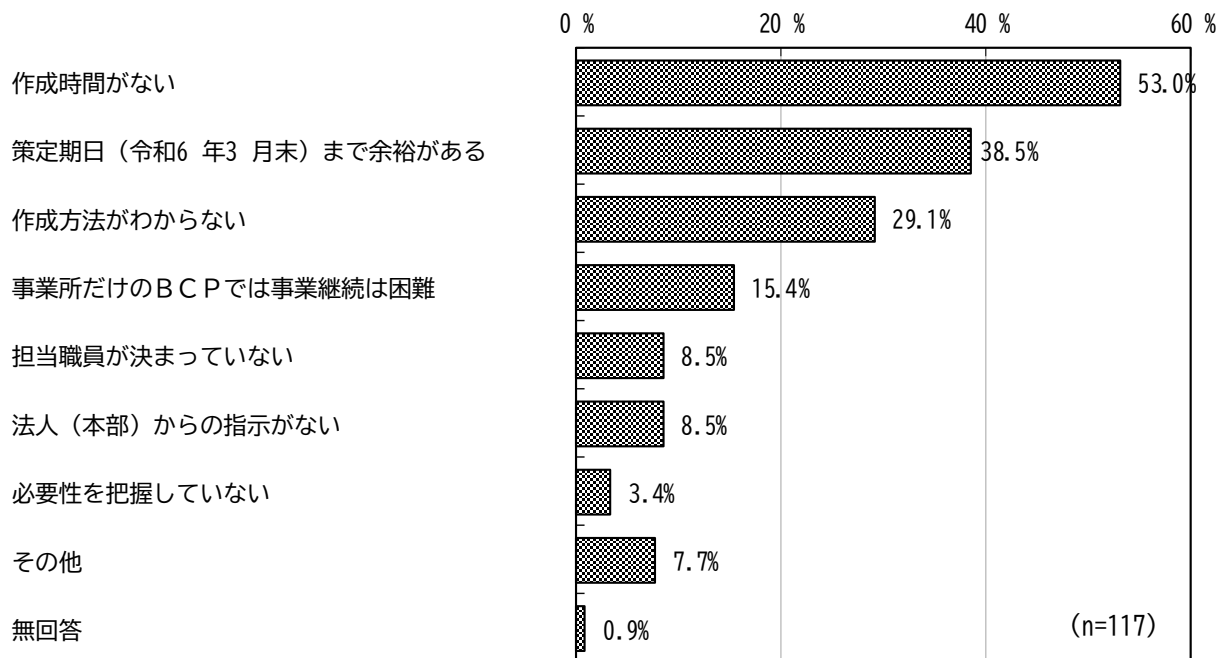
BCP（事業継続計画）の作成状況について、「感染症、自然災害ともに作成中」が35.9%と最も高く、「感染症、自然災害ともに今後作成を予定している」が33.8%、「感染症、自然災害ともに作成した」が12.7%、「感染症は作成したが自然災害は作成中」が11.3%、「感染症は作成中だが自然災害は作成した」が1.4%となっている。



問9-1 BCPの作成に着手していない又は作成が完了していない理由は何ですか  
(いくつでも○)。

※令和3年度の介護報酬改定にともない、令和6年4月1日よりBCPの策定が義務化される。

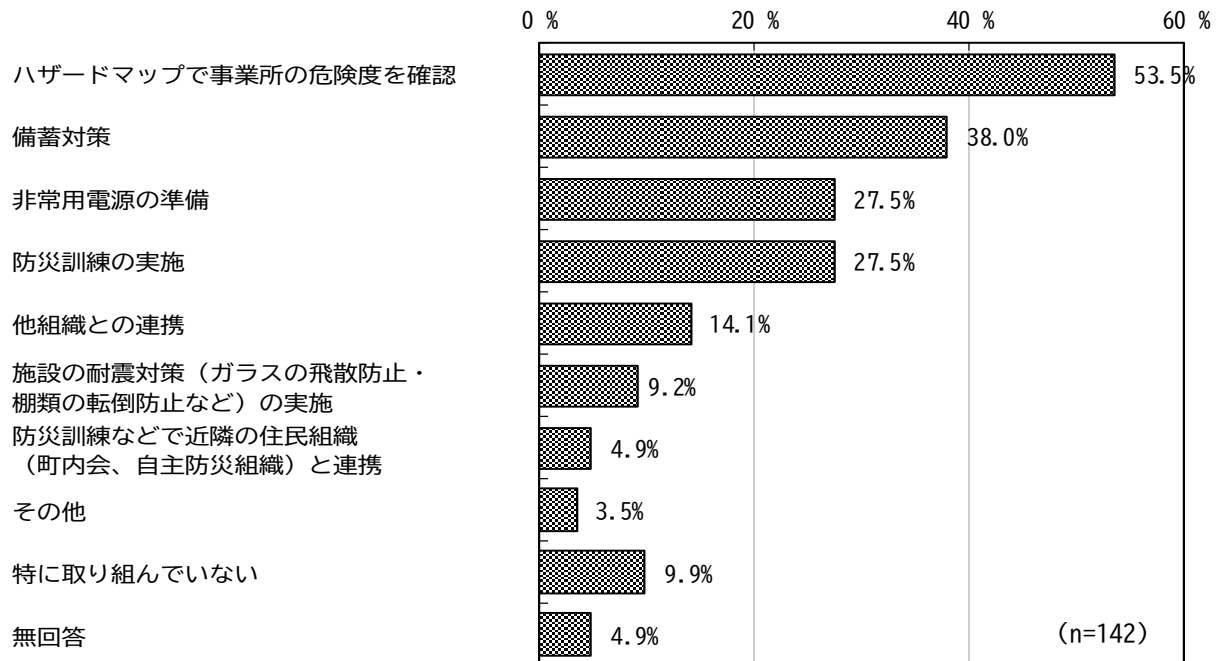
BCPの作成に着手していない又は作成が完了していない理由は、「作成時間がない」が53.0%と最も高く、「策定期日（令和6年3月末）まで余裕がある」が38.5%、「作成方法がわからない」が29.1%、「事業所だけのBCPでは事業継続は困難」が15.4%、「担当職員が決まっていない」「法人（本部）からの指示がない」が8.5%、「必要性を把握していない」が3.4%となっている。





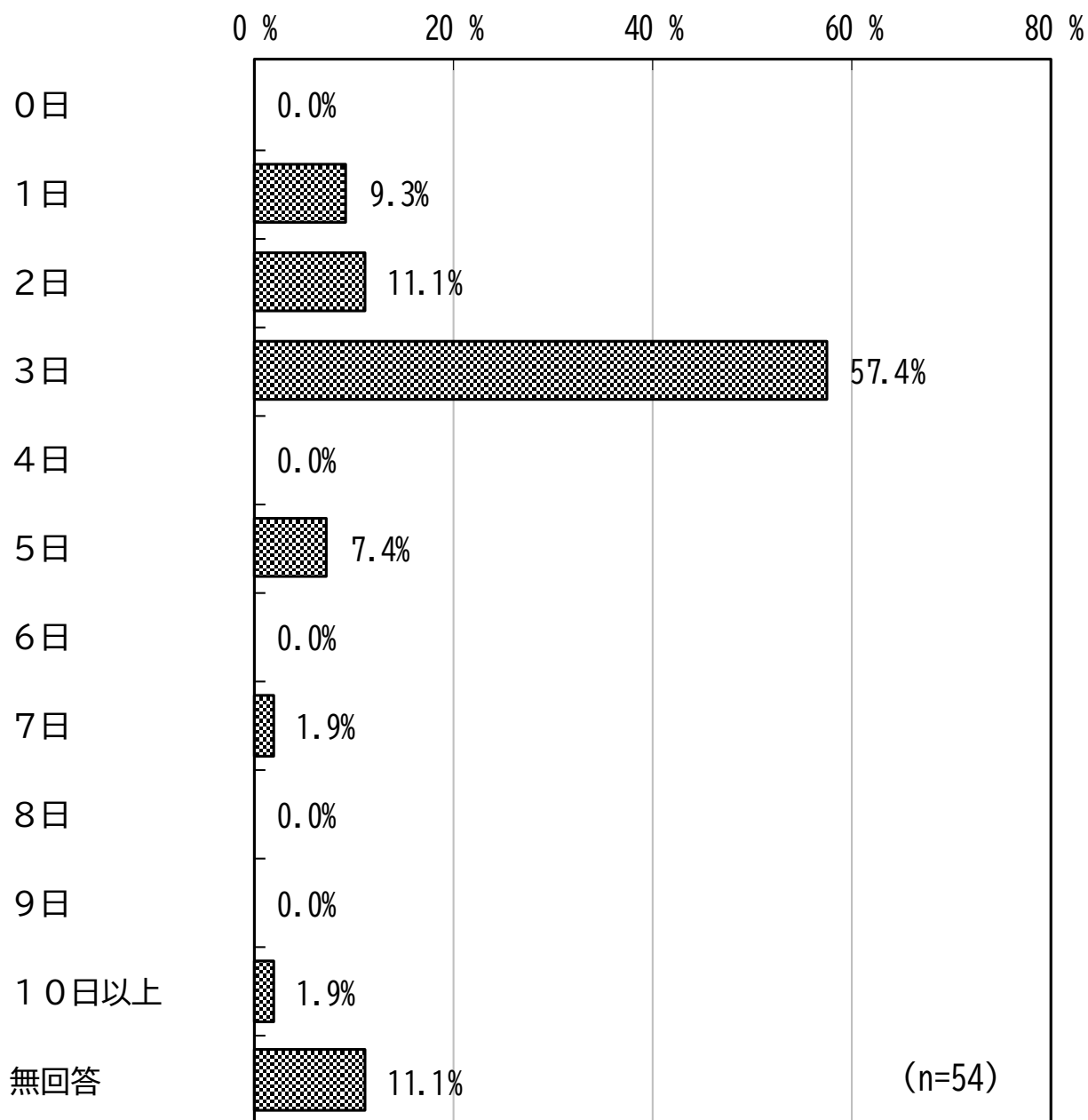
問10 貴事業所が行っている有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、お答えください（いくつでも○）。

事業所における有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、「ハザードマップで事業所の危険度を確認」が53.5%と最も高く、「備蓄対策」が38.0%、「非常用電源の準備」「防災訓練の実施」が27.5%、「他組織との連携」が14.1%、「施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など）の実施」が9.2%、「防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携」が4.9%となっている。また「特に取り組んでいない」が9.9%となっている。



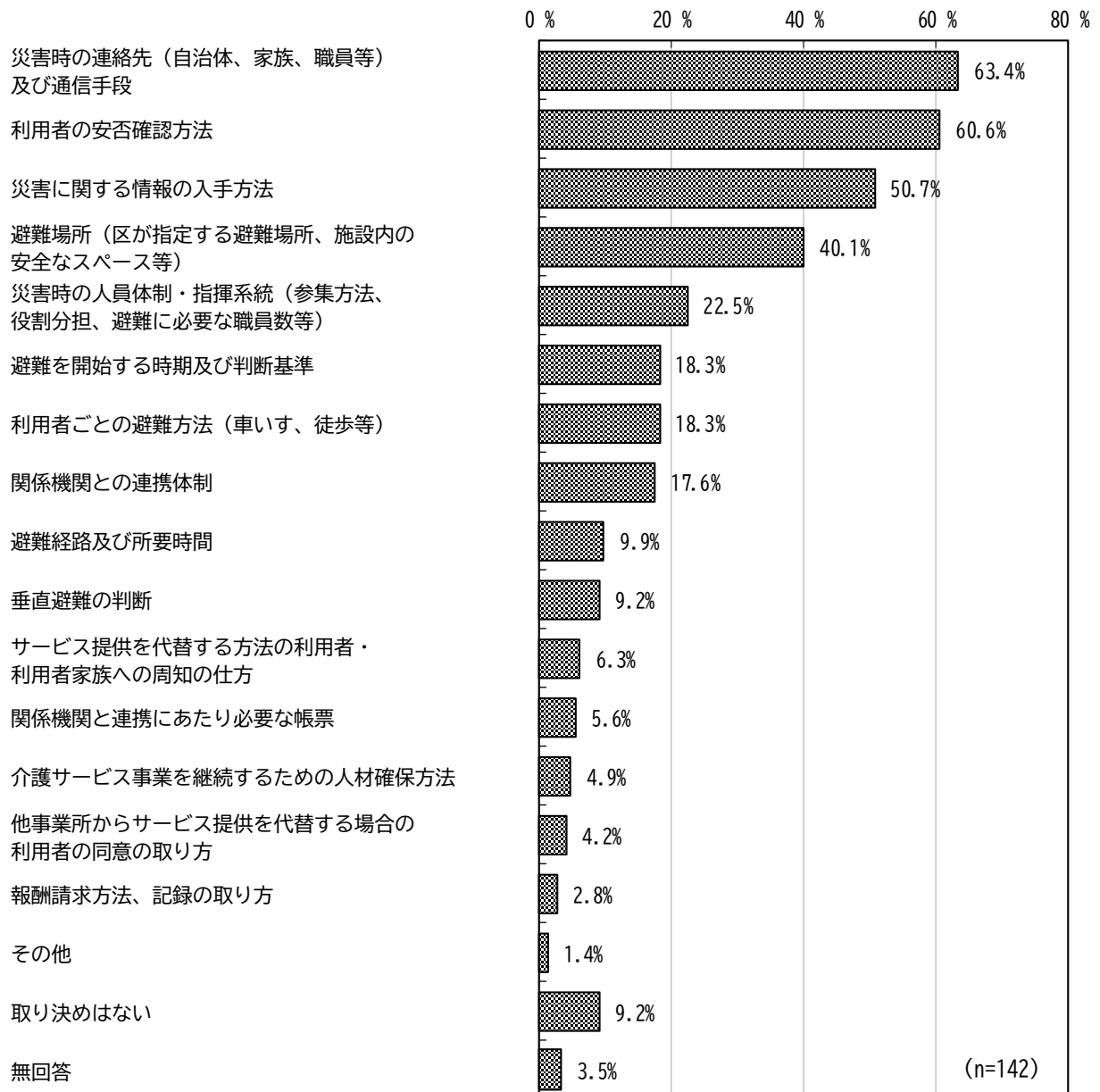
問10-1 備蓄は定員および職員あわせて何日分準備していますか（数字を記入）。

「備蓄対策」と回答した事業所の、事業所における災害時の備蓄を定員および職員をあわせて準備している日数は、「3日」が57.4%と最も高く、「2日」が11.1%、「1日」が9.3%、「5日」が7.4%、「7日」「10日以上」が1.9%、「0日」「4日」「6日」「8日」「9日」が0.0%となっている。



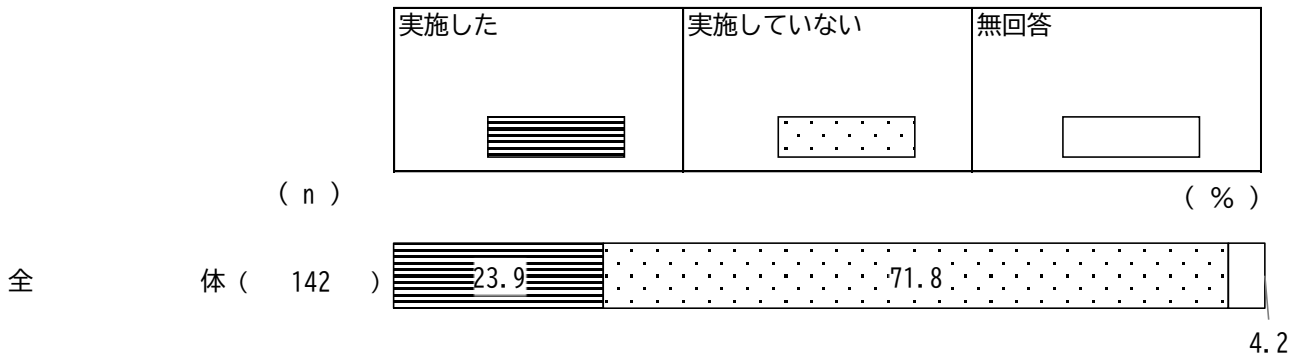
問11 有事（感染症や自然災害）が発生した際に貴事業所で取り決められている内容について、お答えください（いくつでも○）。

有事（感染症や自然災害）が発生した際に事業所で取り決められている内容について、「災害時の連絡先（自治体、家族、職員等）及び通信手段」が63.4%と最も高く、「利用者の安否確認方法」が60.6%、「災害に関する情報の入手方法」が50.7%、「避難場所（区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等）」が40.1%、「災害時の人員体制・指揮系統（参集方法、役割分担、避難に必要な職員数等）」が22.5%と続いている。また「取り決めはない」が9.2%となっている。



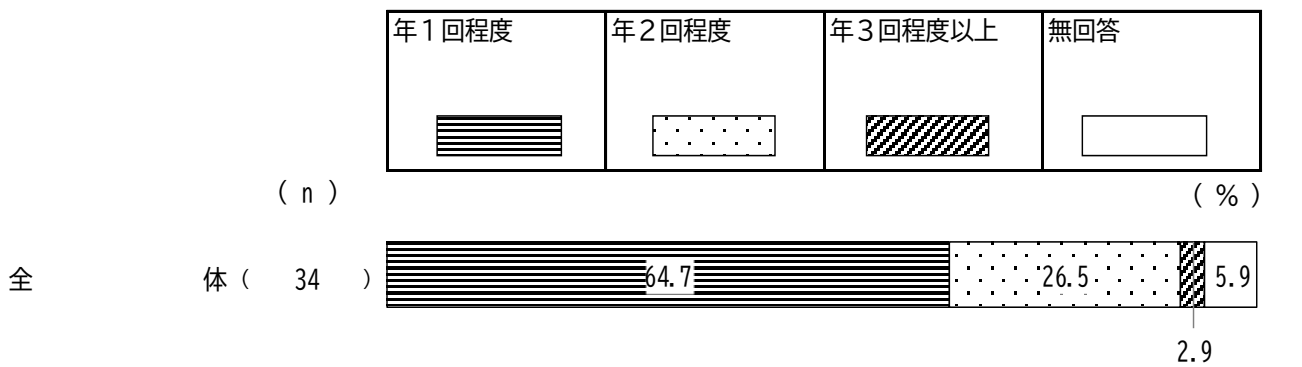
問12 貴事業所は令和3・4年に水害を含む避難訓練を実施しましたか。  
(1つに○・数字で記載)。

令和3年・4年における水害を含む避難訓練について、「実施した」が23.9%、「実施していない」が71.8%となっている。



① 水害を含む避難訓練を実施した事業所の年間実施回数 (数字で記入)

水害を含む避難訓練について、実施した事業所の実施回数は、「年1回程度」が64.7%と最も高く、「年2回程度」が26.5%、「年3回程度以上」が2.9%となっている。

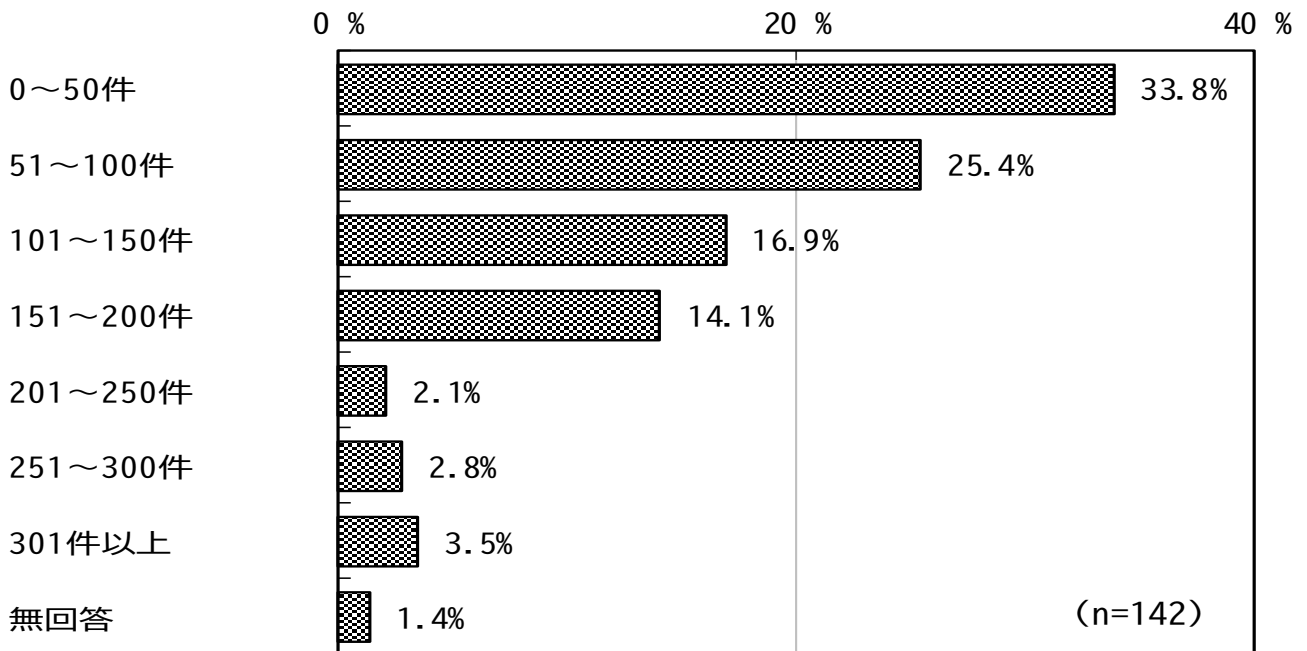


## (3) ケアプラン作成等について

問13 貴事業所は10月の1か月間で何名の方のケアプランを作成していますか。令和3年10月分と令和4年10月分についてお答えください（数字を記入）。

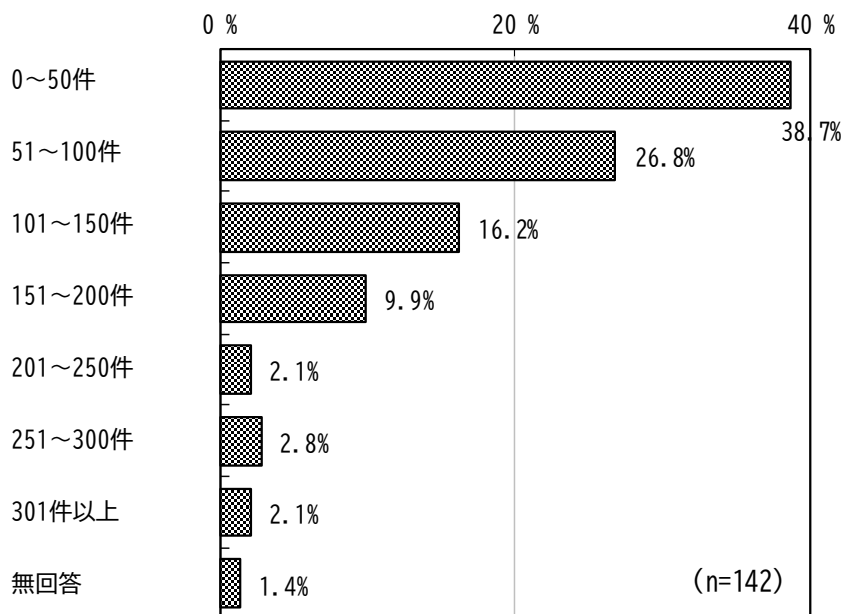
## ① 令和3年10月分のケアプラン作成件数

令和3年10月分のケアプラン作成件数について、「0～50件」が33.8%と最も高く、「51～100件」が25.4%、「101～150件」が16.9%、「151～200件」が14.1%、「301件以上」が3.5%、「251～300件」が2.8%、「201～250件」が2.1%となっている。



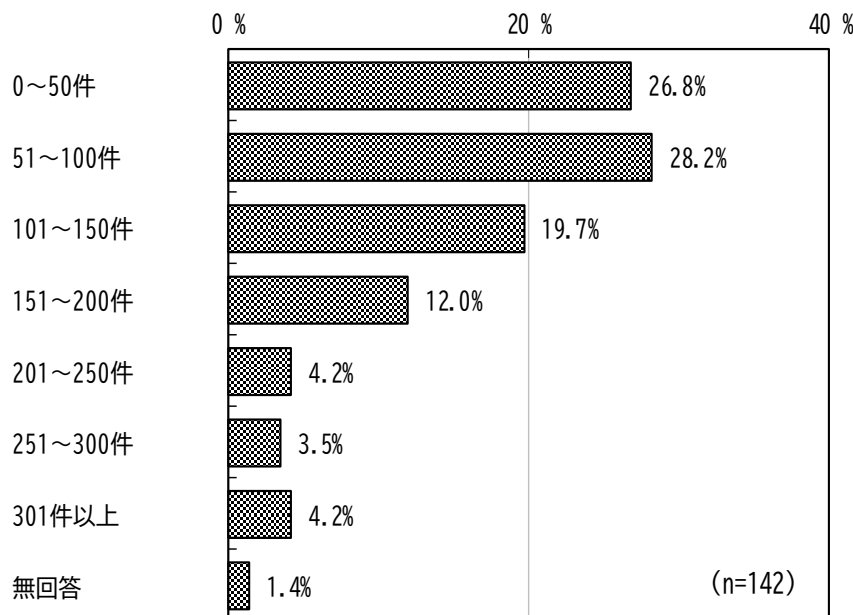
② 令和3年10月分のケアプラン作成件数のうち、足立区の利用者件数

令和3年10月分のケアプラン作成件数のうち、足立区の利用者件数について、「0～50件」が38.7%と最も高く、「51～100件」が26.8%、「101～150件」が16.2%、「151～200件」が9.9%、「251～300件」が2.8%、「201～250件」が2.1%、「301件以上」が2.1%となっている。



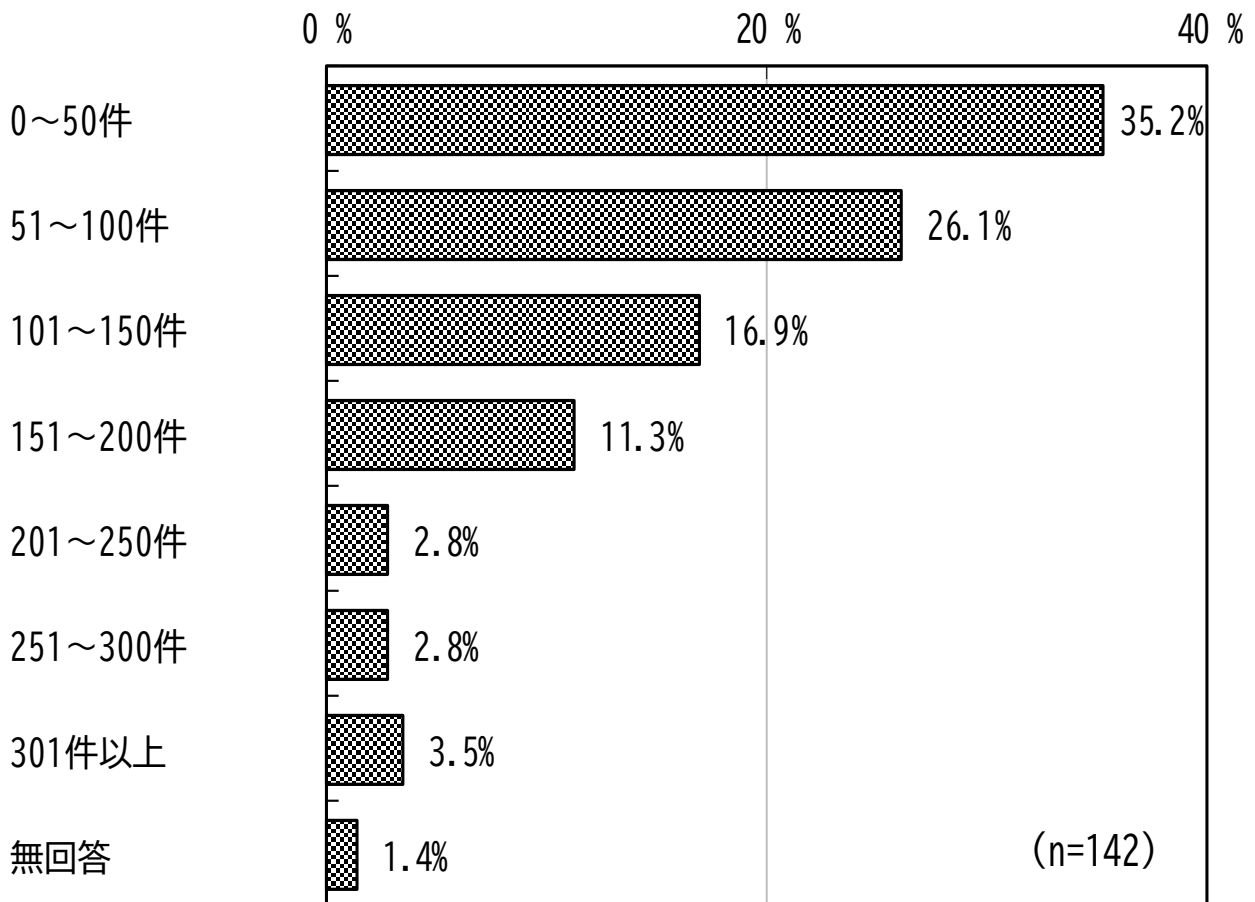
③ 令和4年10月分のケアプラン作成件数

令和4年10月分のケアプラン作成件数について、「51～100件」が28.2%と最も高く、「0～50件」が26.8%、「101～150件」が19.7%、「151～200件」が12.0%、「201～250件」が4.2%、「301件以上」が4.2%、「251～300件」が3.5%となっている。



## ④ 令和4年10月分のケアプラン作成件数のうち、足立区の利用者件数

令和4年10月分のケアプラン作成件数のうち、足立区の利用者件数について、「0～50件」が35.2%と最も高く、「51～100件」が26.1%、「101～150件」が16.9%、「151～200件」が11.3%、「301件以上」が3.5%、「201～250件」「251～300件」が2.8%となっている。



問13-1 令和4年10月分について、要支援・要介護度別の件数をお答えください（委託を含む）（数字を記入）。

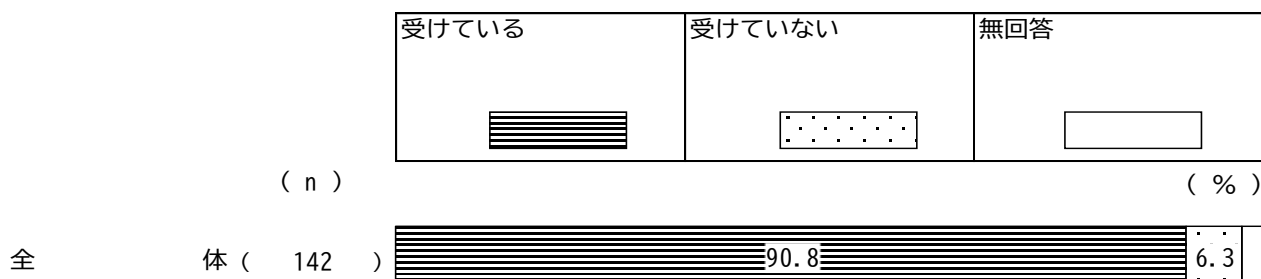
令和4年10月の要支援・要介護度別のケアプラン作成件数について、  
 要介護5では、「0～10件」が71.8%、要介護4では、「0～10件」が44.4%、要介護3では、「11～20件」が31.7%、要介護2では、「21～30件」が21.1%、要介護1では、「0～10件」が31.7%、要支援2では、「0～10件」が38.7%、要支援1では、「0～10件」が55.6%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	0～10件	11～20件	21～30件	31～40件	41～50件	51～60件	61～70件	71～80件	81～90件	91～100件	101件以上	無回答
要介護5	142	71.8	21.8	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.4
要介護4	142	44.4	37.3	10.6	4.2	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4
要介護3	142	30.3	31.7	19.0	6.3	6.3	2.8	1.4	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4
要介護2	142	19.0	16.9	21.1	9.2	12.0	7.0	4.9	2.8	1.4	1.4	2.8	1.4
要介護1	142	31.7	17.6	24.6	8.5	7.7	2.1	5.6	0.0	0.0	0.7	0.0	1.4
要支援2	142	38.7	34.5	12.7	7.0	2.8	0.7	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
要支援1	142	55.6	28.9	11.3	0.7	1.4	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4

問14 貴事業所は介護予防プランの委託を受けていますか（1つに○）。

事業所が介護予防プランの委託を「受けている」が90.8%、「受けていない」が6.3%となっている。

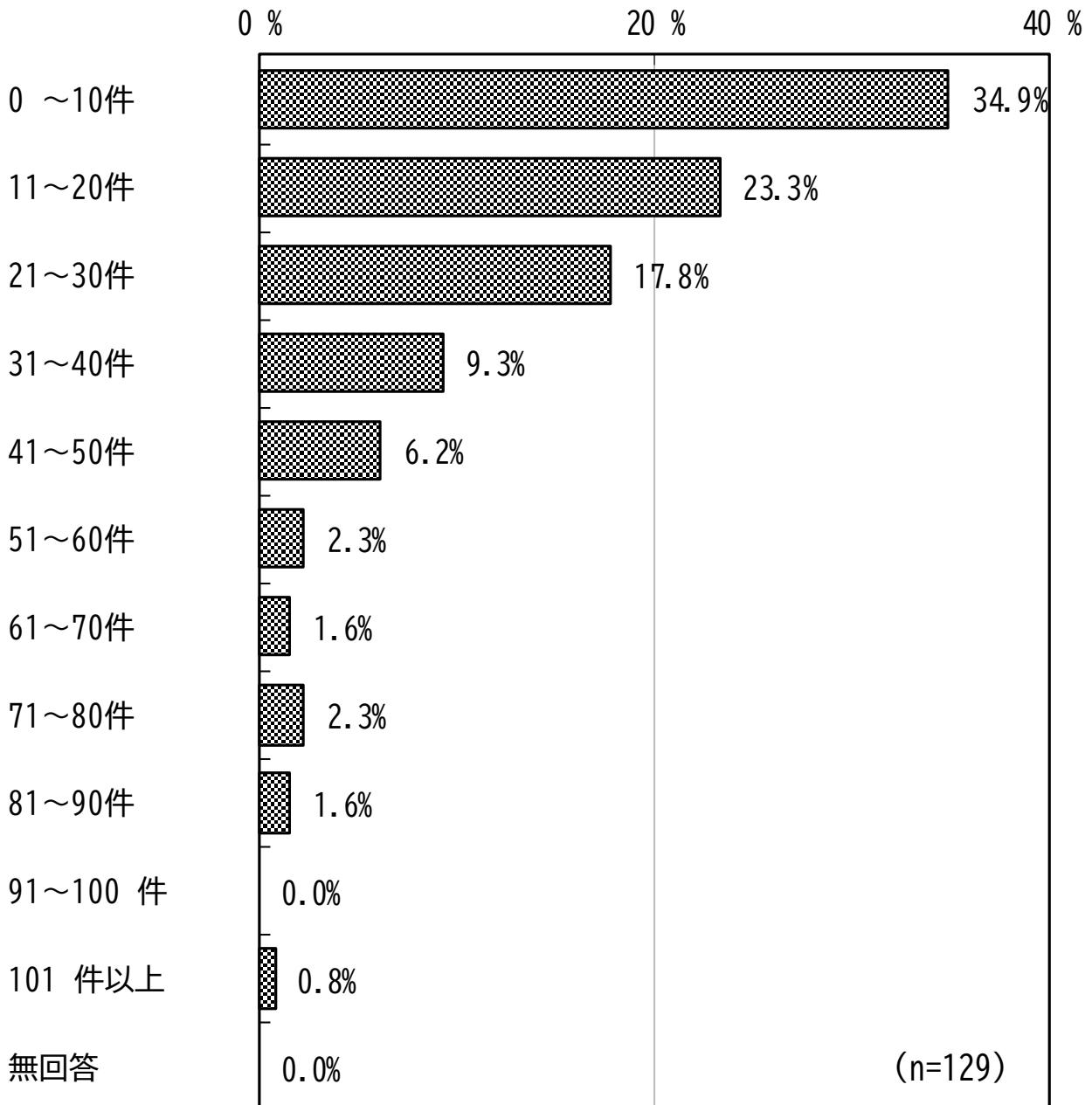


2.8



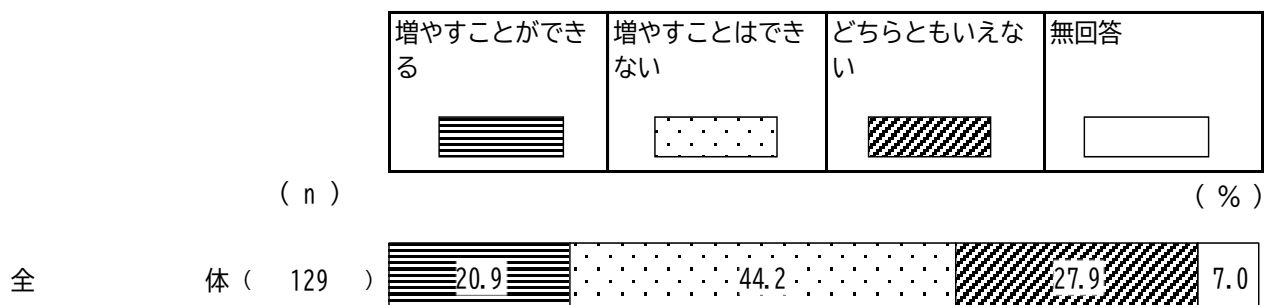
問14-1 令和4年10月の1か月間で何件の介護予防プランの委託を受けていますか。

令和4年10月の1か月間に委託を受けた介護予防プランの件数について、「0～10件」が34.9%と最も高く、「11～20件」が23.3%、「21～30件」が17.8%、「31～40件」が9.3%、「41～50件」が6.2%、「51～60件」が2.3%、「71～80件」が2.3%、「61～70件」が1.6%、「81～90件」が1.6%、「101件以上」が0.8%、「91～100件」が0.0%となっている。



問14-2 介護予防プランの作成件数を増やすことはできますか（1つに○）。

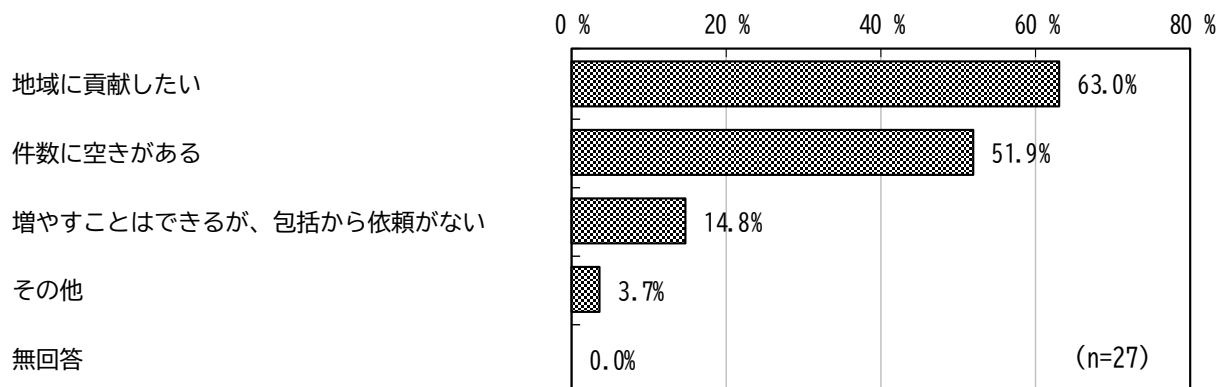
介護予防プランの作成件数について、「増やすことはできない」が44.2%と最も高く、「どちらともいえない」が27.9%、「増やすことができる」が20.9%となっている。



問14-2 また、その理由は何ですか（いくつでも○）。

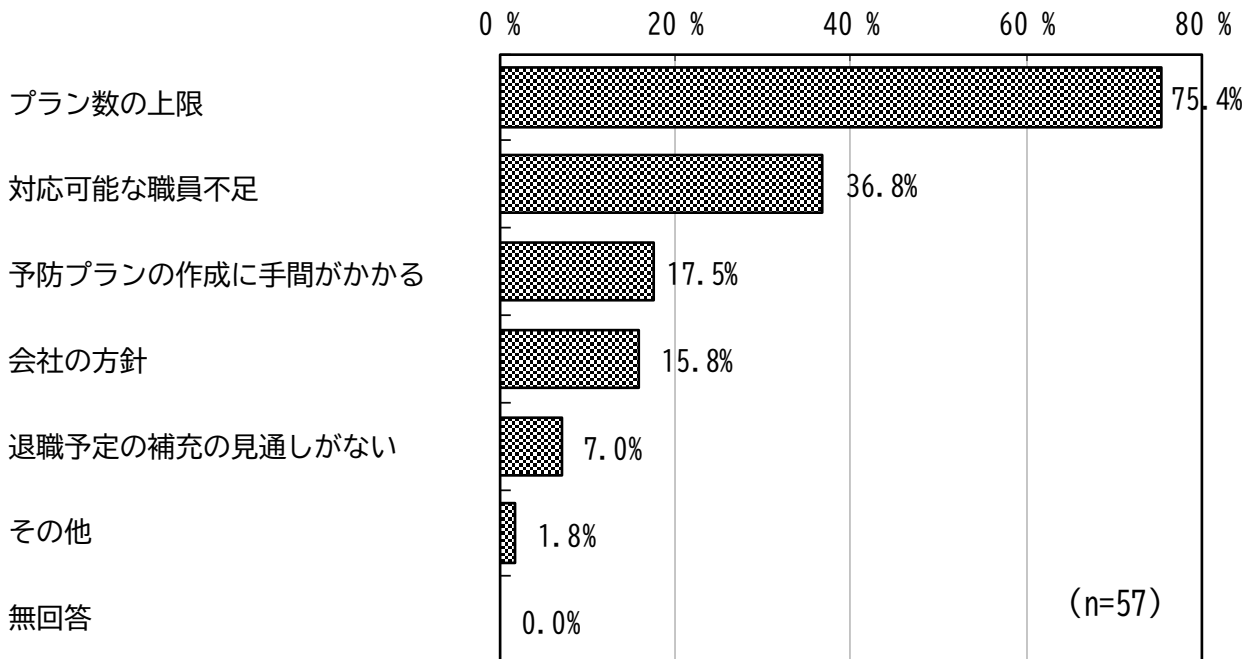
① 「増やすことができる」理由

介護予防プランの作成件数を「増やすことができる」理由として、「地域に貢献したい」が63.0%と最も高く、「件数に空きがある」が51.9%、「増やすことはできるが、包括から依頼がない」が14.8%となっている。



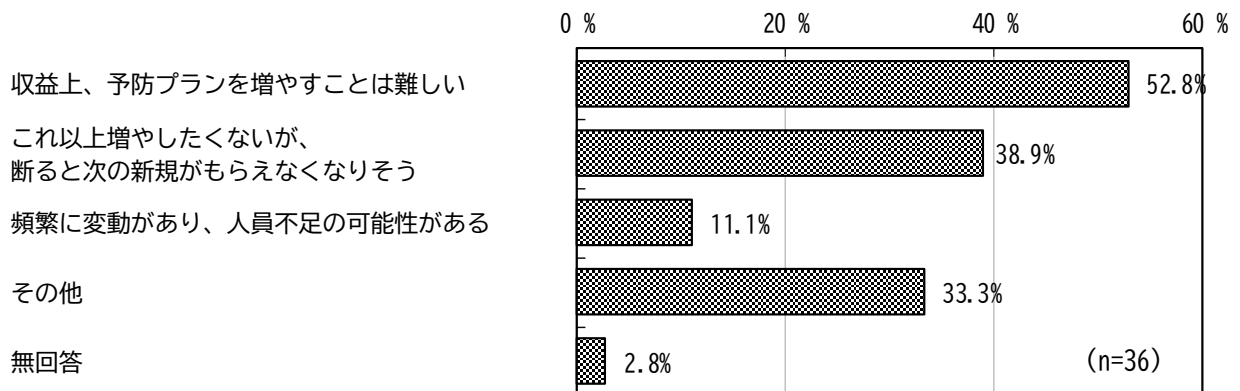
## ② 「増やすことはできない」理由

介護予防プランの作成件数を「増やすことはできない」理由として、「プラン数の上限」が75.4%と最も高く、「対応可能な職員不足」が36.8%、「予防プランの作成に手間がかかる」が17.5%、「会社の方針」が15.8%、「退職予定の補充の見通しがいい」が7.0%となっている。



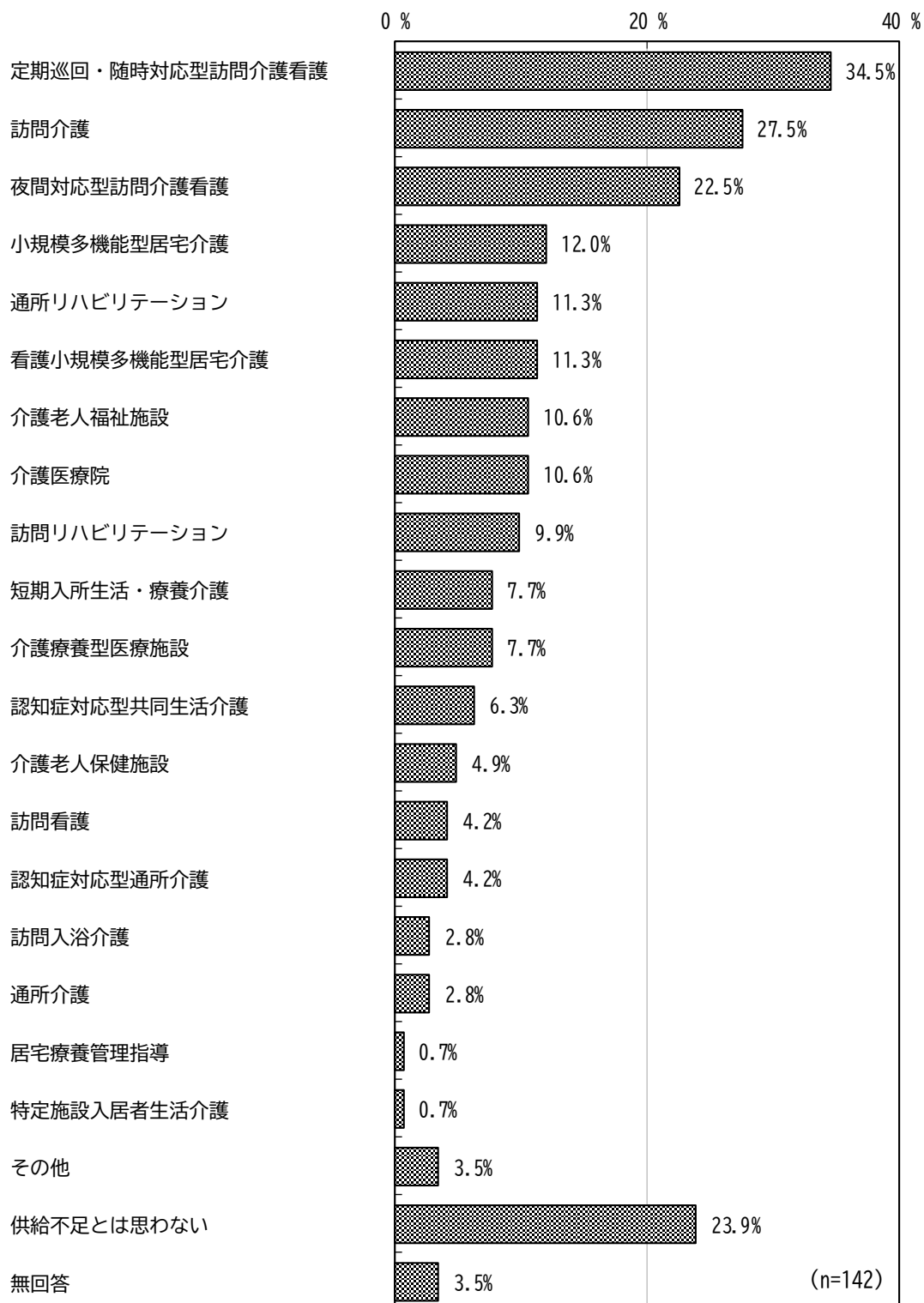
## ③ 「どちらともいえない」理由

介護予防プランの作成件数を増やすことについて「どちらともいえない」理由として、「収益上、予防プランを増やすことは難しい」が52.8%と最も高く、「これ以上増やしたくないが、断ると次の新規がもらえなくなりそう」が38.9%、「頻繁に変動があり、人員不足の可能性ある」が11.1%となっている。



問15 ケアプランを立てる際に、区内でサービスの供給量が不足している介護サービスはありますか（いくつでも○）。

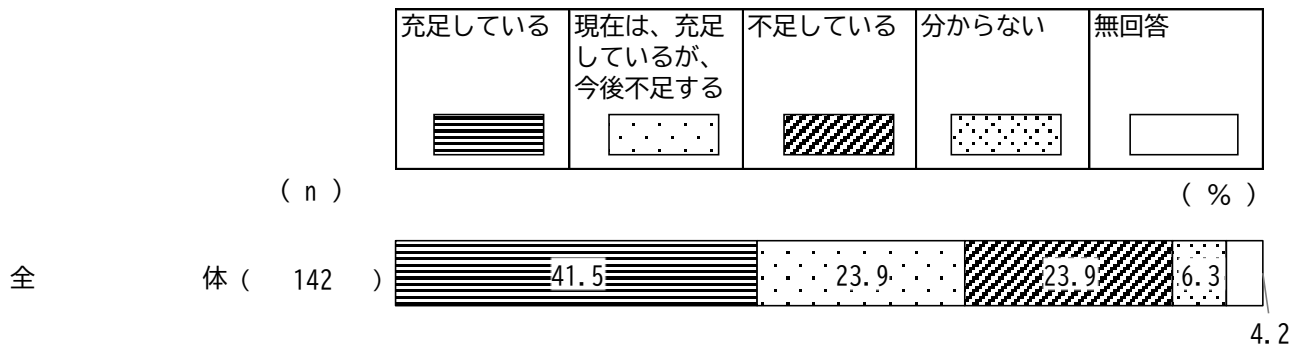
ケアプランを立てる際に、区内でサービスの供給量が不足している介護サービスとして、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が34.5%と最も高く、「訪問介護」が27.5%、「夜間対応型訪問介護看護」が22.5%、「小規模多機能型居宅介護」が12.0%、「通所リハビリテーション」「看護小規模多機能型居宅介護」が11.3%と続いている。また「供給不足とは思わない」が23.9%となっている。



問16 介護予防プランを策定する際に、区内で総合事業のサービスの供給量は不足していますか（それぞれに1つ〇）。

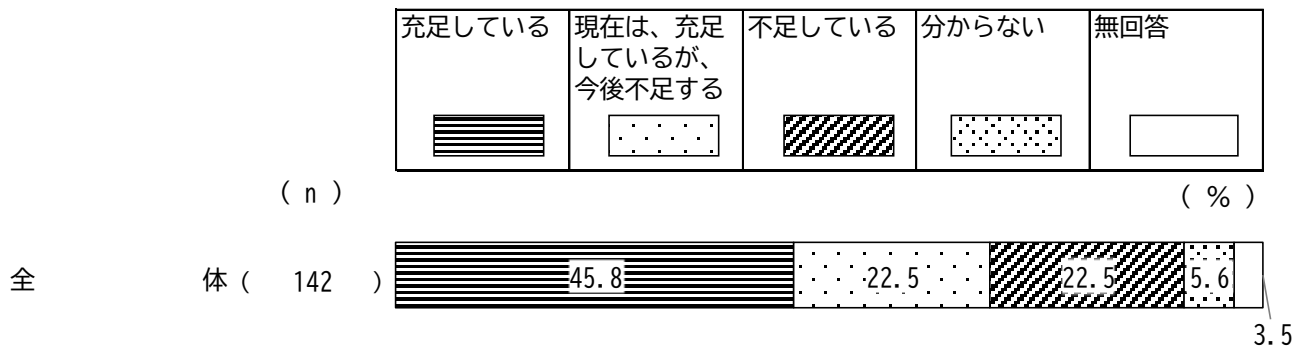
### ① 訪問サービス

介護予防プランを策定する際の区内の総合事業のサービス（訪問サービス）の供給量について、「充足している」が41.5%と最も高く、「現在は、充足しているが、今後不足する」「不足している」が23.9%、「分からない」が6.3%となっている。



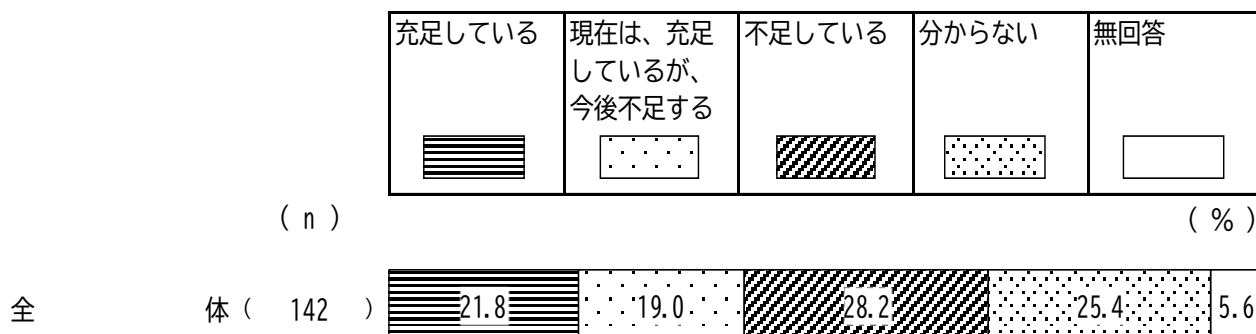
### ② 通所サービス

介護予防プランを策定する際の区内の総合事業のサービス（通所サービス）の供給量について、「充足している」が45.8%と最も高く、「現在は、充足しているが、今後不足する」「不足している」が22.5%、「分からない」が5.6%となっている。



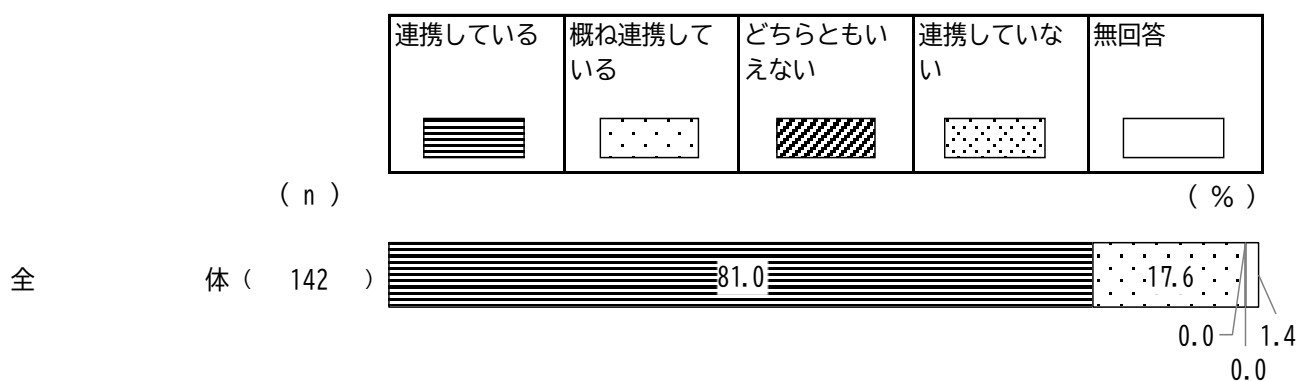
③ 生活支援サービス

介護予防プランを策定する際の区内の総合事業のサービス（生活支援サービス）の供給量について、「不足している」が28.2%と最も高く、「分からない」が25.4%、「充足している」が21.8%、「現在は、充足しているが、今後不足する」が19.0%となっている。



問17 ケアプランを立てる際に、併設事業所以外の介護サービス提供事業者との連携を図られていますか（1つに○）。

ケアプランを立てる際の併設事業所以外の介護サービス提供事業者との連携について、「連携している」が81.0%と最も高く、「概ね連携している」が17.6%、「どちらともいえない」「連携していない」が0.0%となっている。

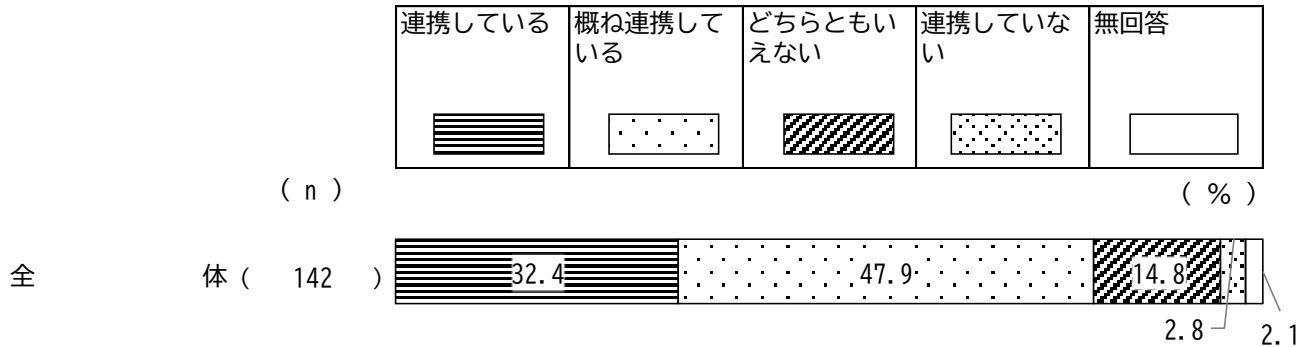


問17-1 併設事業所以外の介護サービス提供事業者と連携していない理由は何ですか（いくつでも○）。

「連携していない」と回答した事業所はなかった。

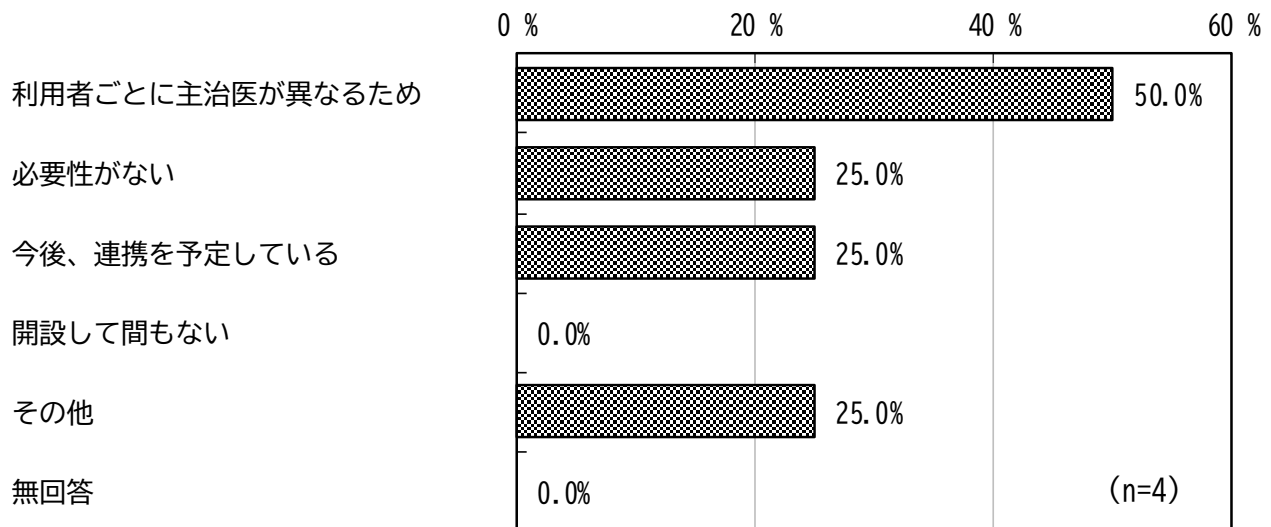
問18 ケアプランを立てる際に、主治医との連携を図られていますか（1つに○）。

ケアプランを立てる際の主治医との連携状況について、「概ね連携している」が47.9%と最も高く、「連携している」が32.4%、「どちらともいえない」が14.8%、「連携していない」が2.8%となっている。



問18-1 主治医と連携していない理由は何ですか（いくつでも○）。

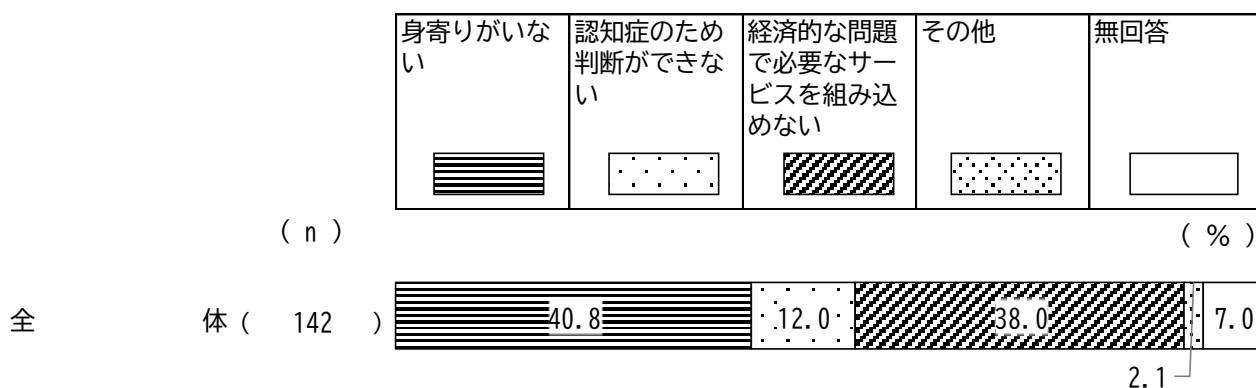
主治医と「連携していない」理由として、「利用者ごとに主治医が異なるため」が50.0%と最も高く、「必要性がない」「今後、連携を予定している」が25.0%、「開設して間もない」が0.0%となっている。



問19 ケアプランを立てる際に、特に対処が難しいのはどのような時ですか。本人の状況と家族の状況についてお答えください（1つに○）。

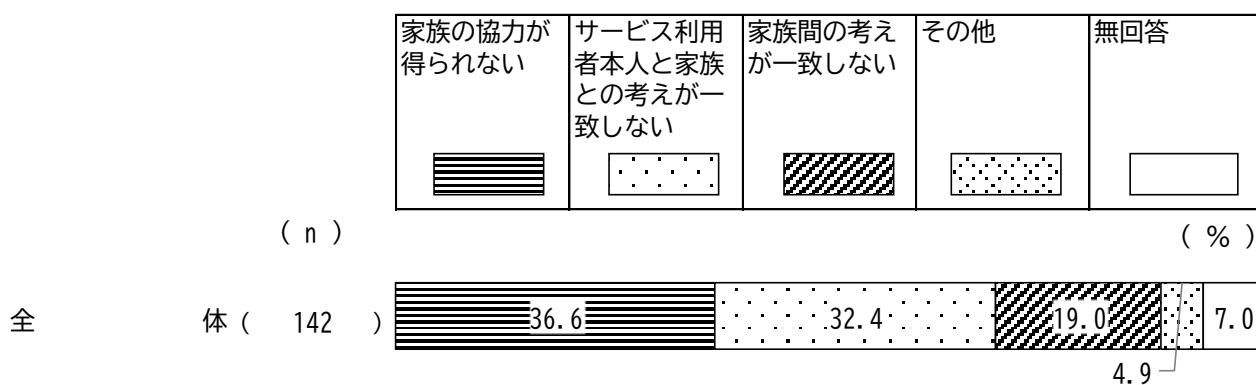
利用者本人の状況

ケアプランを立てる際に利用者本人の状況について特に対処が難しい事項として、「身寄りがいない」が40.8%と最も高く、「経済的な問題で必要なサービスを組み込めない」が38.0%、「認知症のため判断ができない」が12.0%となっている。



家族の状況

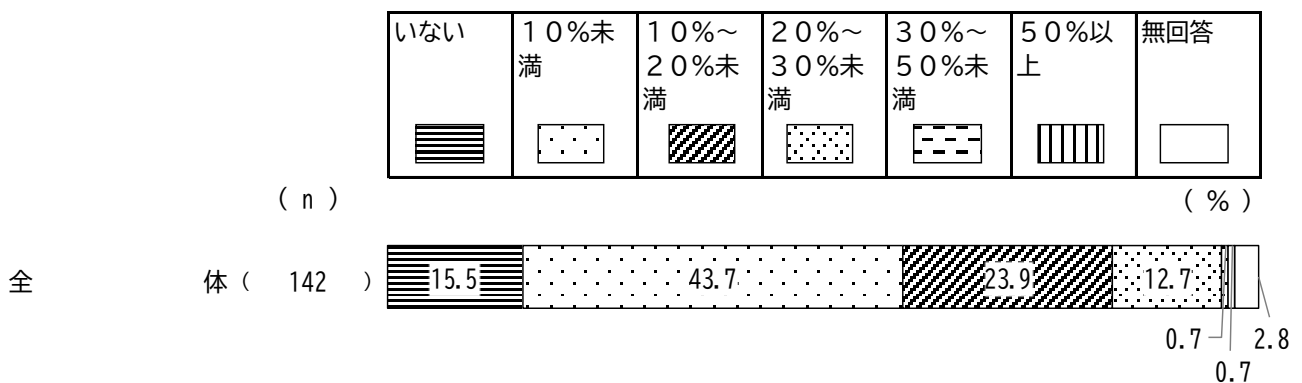
ケアプランを立てる際に家族の状況について特に対処が難しい事項として、「家族の協力が得られない」が36.6%と最も高く、「サービス利用者本人と家族との考えが一致しない」が32.4%、「家族間の考えが一致しない」が19.0%となっている。





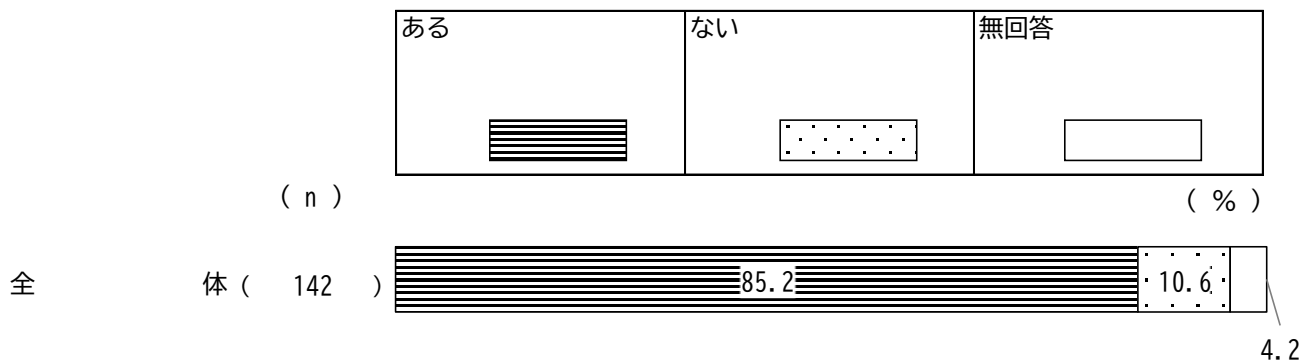
問20 ケアプランを作成した利用者のうち、「自宅」、「サービス付高齢者住宅」、「住宅型有料老人ホーム」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方で「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者はどのくらいいますか（1つに○）。

ケアプランを作成した利用者のうち、「自宅」、「サービス付高齢者住宅」、「住宅型有料老人ホーム」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方で「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者の割合は、「10%未満」が43.7%と最も高く、「10%～20%未満」が23.9%、「いない」が15.5%、「20%～30%未満」が12.7%、「30%～50%未満」「50%以上」が0.7%となっている。



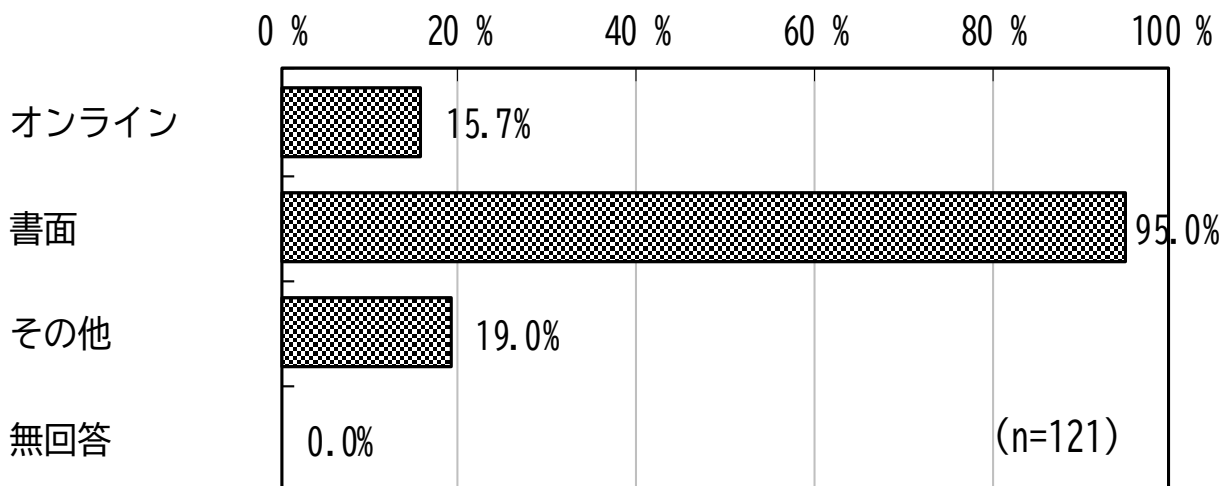
問21 コロナ禍において、サービス担当者会議を参集以外の方法で実施したことはありますか（1つに○）。

コロナ禍において、サービス担当者会議を参集以外の方法で実施したことが「ある」が85.2%、「ない」が10.6%となっている。



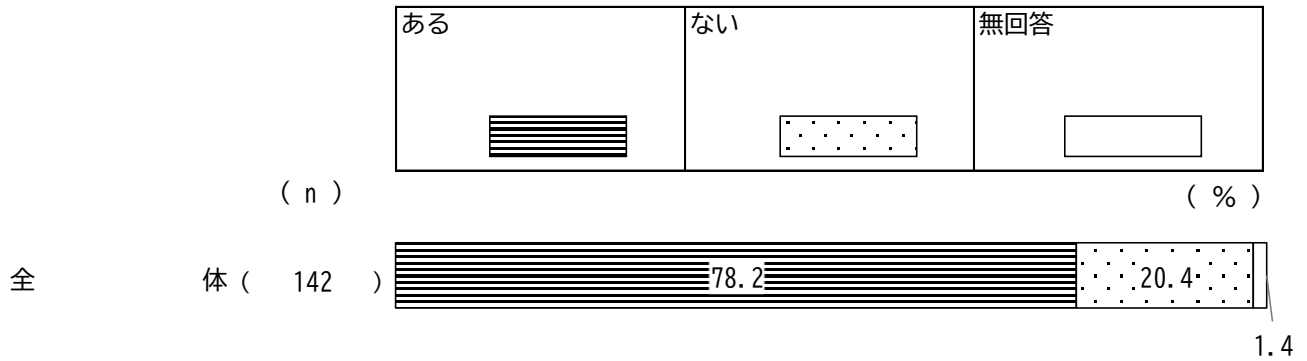
問21-1 どのような方法でサービス担当者会議を実施しましたか(いくつでも○)。

コロナ禍において、サービス担当者会議を参集以外の方法で実施したことが「ある」と回答した事業所の実施方法について、「書面」が95.0%と最も高く、「オンライン」が15.7%となっている。



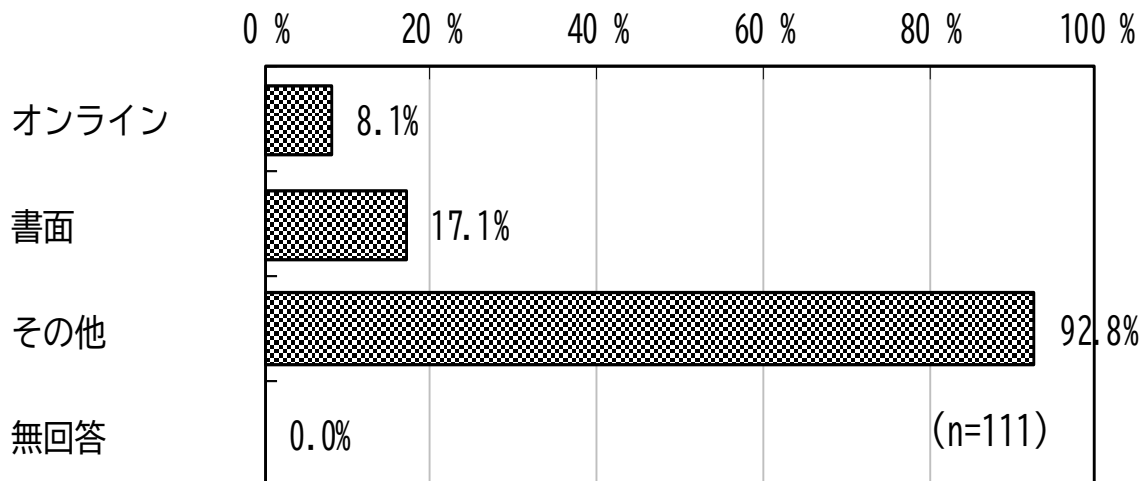
問22 コロナ禍において、利用者へのモニタリングを訪問以外の方法で行ったことはありますか（1つに○）。

コロナ禍において、利用者へのモニタリングを訪問以外の方法で行ったことが「ある」が78.2%、「ない」が20.4%となっている。



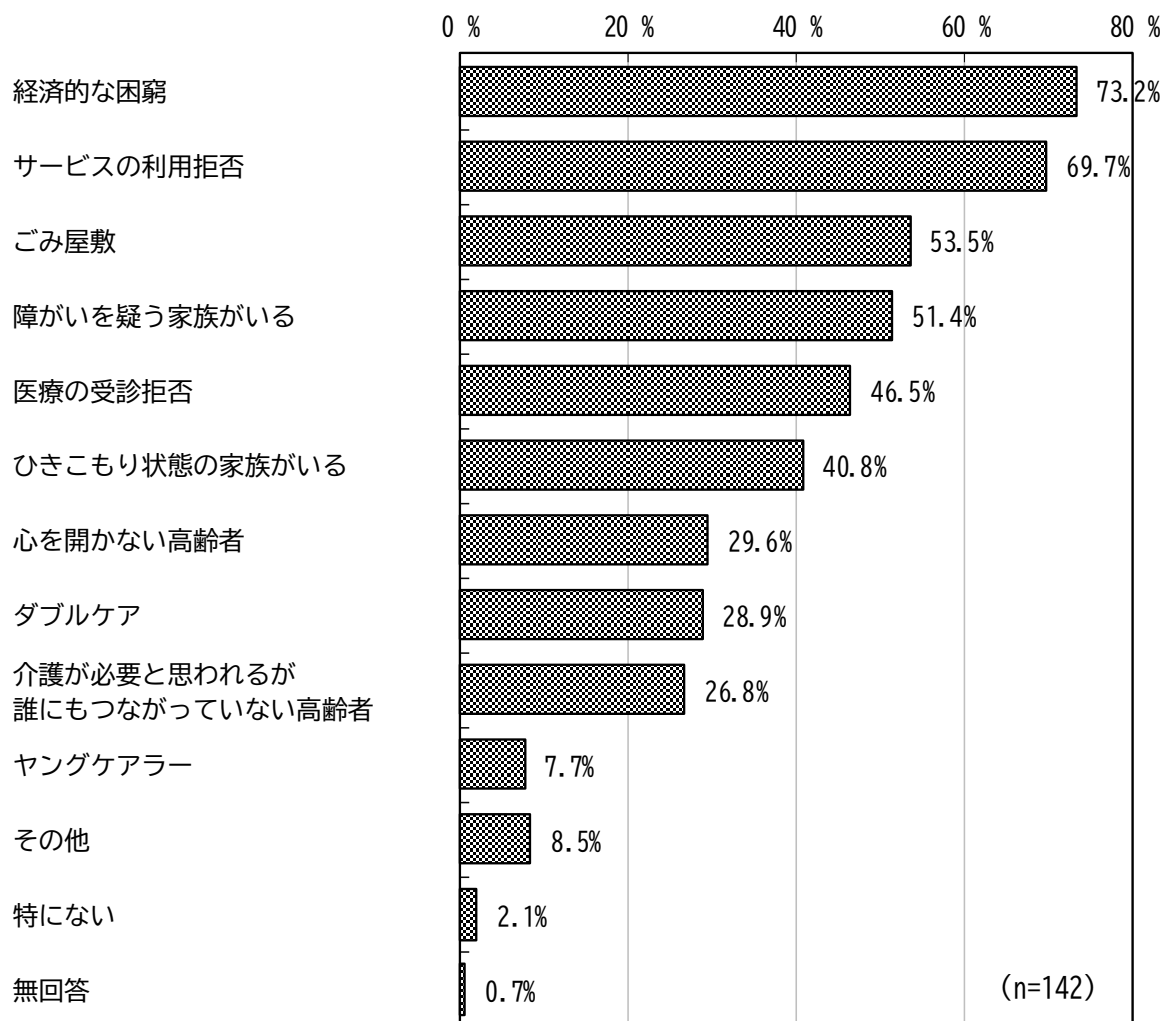
問22-1 どのような方法でモニタリングを実施しましたか（いつでも○）。

コロナ禍において、利用者へのモニタリングを訪問以外の方法で行ったことが「ある」と回答した事業所の実施方法について、「書面」が17.1%と最も高く、「オンライン」が8.1%となっている。



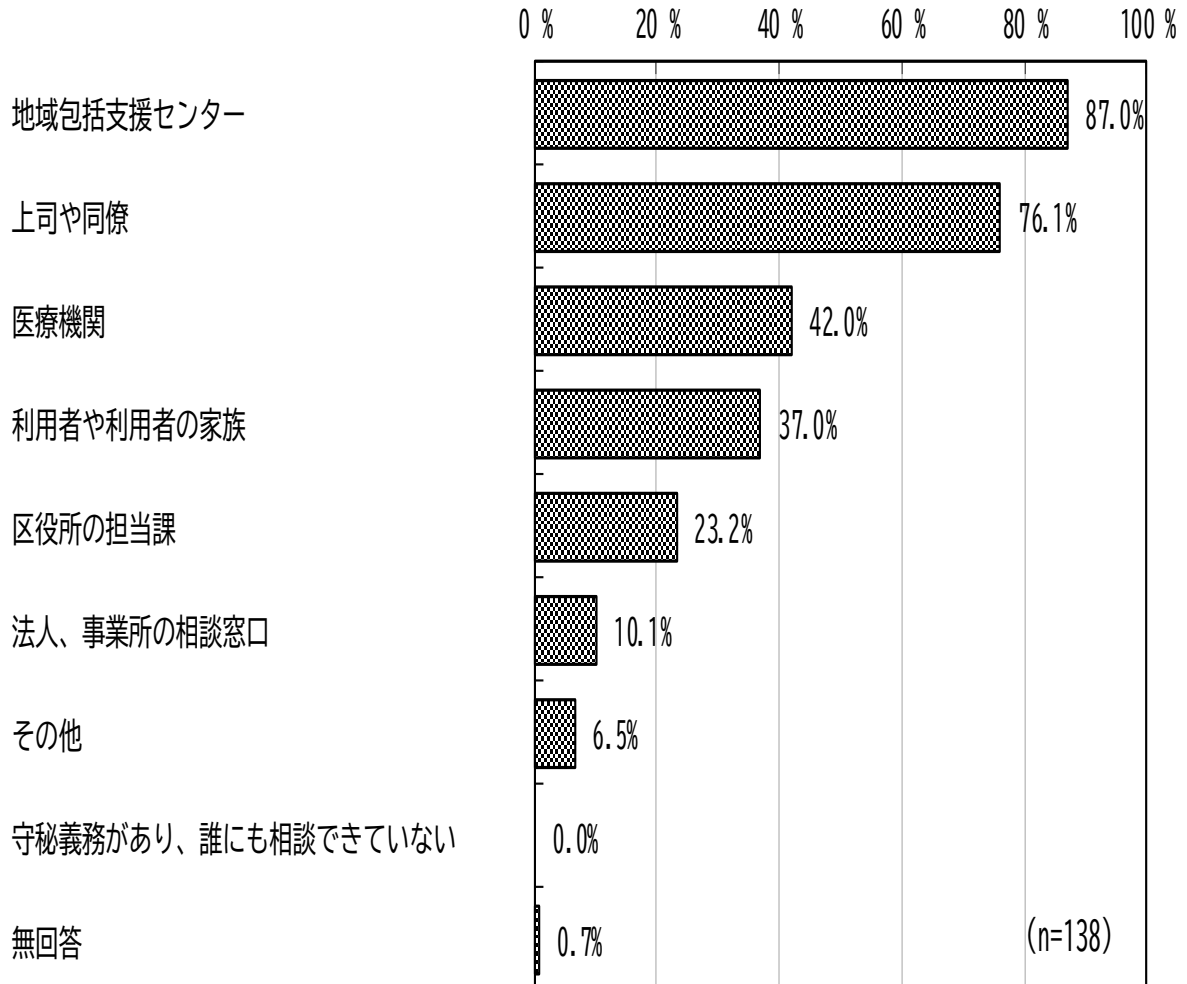
問23 利用者へのケアプランを作成する中で、気になる相談を受けたり、対応困難な事例に遭遇したことがありますか（いくつでも○）。

利用者へのケアプランを作成する中で受けた気になる相談や遭遇した対応困難な事例について、「経済的な困窮」が73.2%と最も高く、「サービスの利用拒否」が69.7%、「ごみ屋敷」が53.5%、「障がいを疑う家族がいる」が51.4%、「医療の受診拒否」が46.5%、「ひきこもり状態の家族がいる」が40.8%、「心を開かない高齢者」が29.6%、「ダブルケア」が28.9%、「介護が必要と思われるが誰にもつながっていない高齢者」が26.8%、「ヤングケアラー」が7.7%となっている。また「特にない」が2.1%となっている。



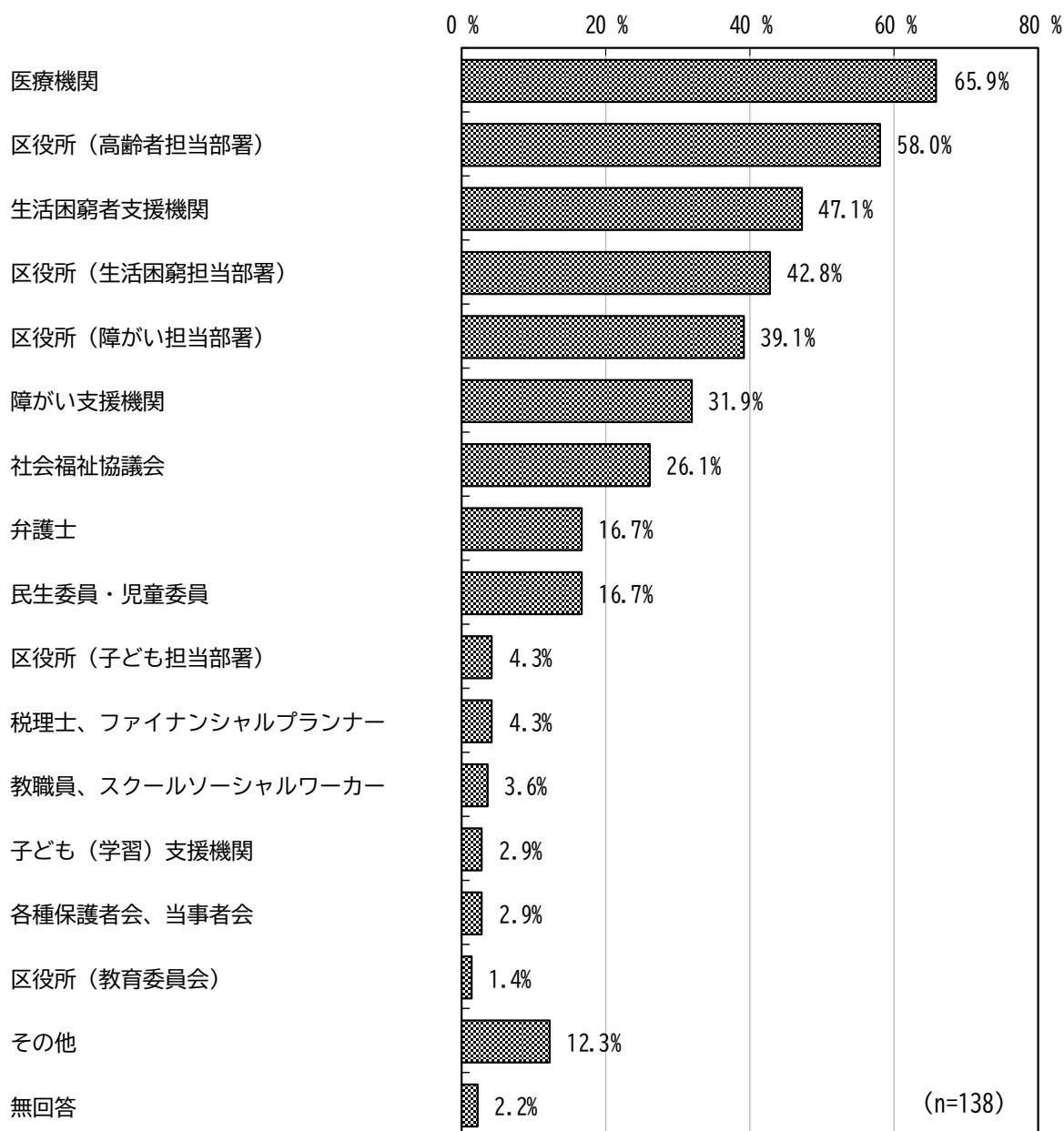
## 問23-1 気になった相談や困難事例を誰に相談していますか（いくつでも○）。

気になった相談や困難事例の相談先について、「地域包括支援センター」が87.0%と最も高く、「上司や同僚」が76.1%、「医療機関」が42.0%、「利用者や利用者の家族」が37.0%、「区役所の担当課」が23.2%、「法人、事業所の相談窓口」が10.1%となっている。



問23-2 気になった相談や困難事例の対応にあたり、誰と連携したいと思いますか  
(いくつでも○)。

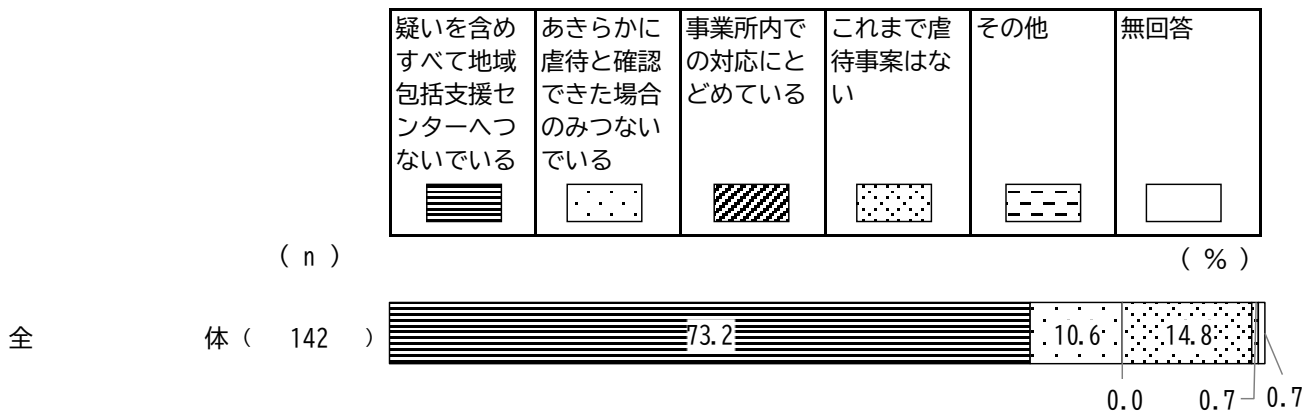
気になった相談や困難事例の対応にあたり連携したいと思う先について、「医療機関」が65.9%と最も高く、「区役所（高齢者担当部署）」が58.0%、「生活困窮者支援機関」が47.1%、「区役所（生活困窮担当部署）」が42.8%、「区役所（障がい担当部署）」が39.1%、「障がい支援機関」が31.9%、「社会福祉協議会」が26.1%、「弁護士」が16.7%、「民生委員・児童委員」が16.7%、「区役所（子ども担当部署）」が4.3%、「税理士、ファイナンシャルプランナー」が4.3%、「教職員、スクールソーシャルワーカー」が3.6%、「子ども（学習）支援機関」が2.9%、「各種保護者会、当事者会」が2.9%、「区役所（教育委員会）」が1.4%となっている。



## (4) 権利擁護等について

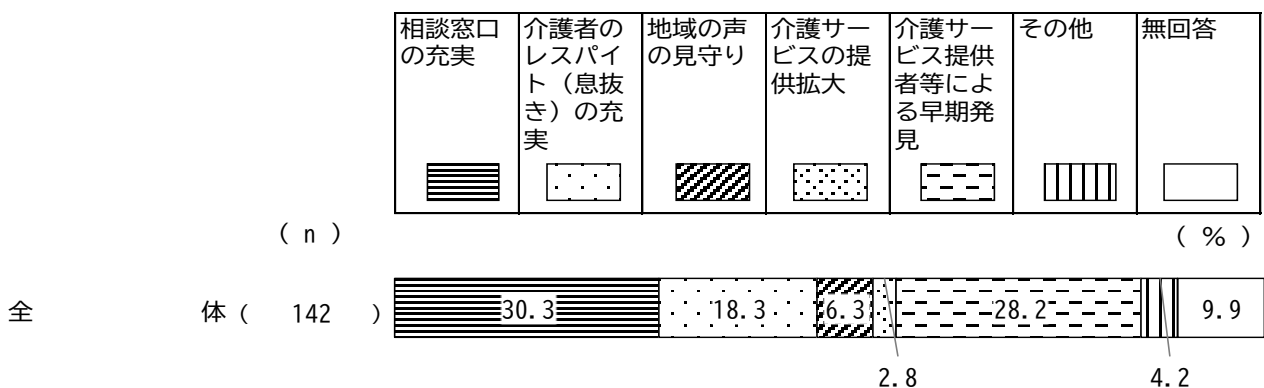
問24 貴事業所は、高齢者等に対する家族や介護者からの虐待について地域包括支援センターへつないでいますか（1つに○）。

高齢者等に対する家族や介護者からの虐待について、「疑いを含めすべて地域包括支援センターへつないでいる」が73.2%と最も高く、「これまで虐待事案はない」が14.8%、「あきらかに虐待と確認できた場合のみつないでいる」が10.6%、「事業所内での対応にとどめている」が0.0%となっている。



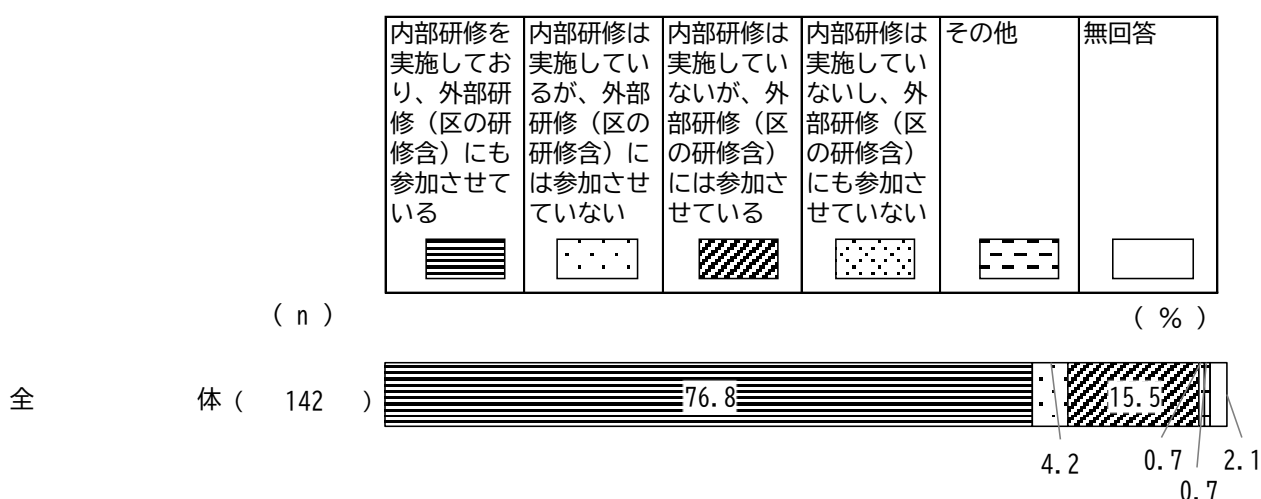
問25 貴事業所は、高齢者に対する虐待に早期に対応するためにはなにが必要だと思いますか（1つに○）。

事業所としての高齢者に対する虐待に早期に対応するために必要な取り組みとして、「相談窓口の充実」が30.3%と最も高く、「介護サービス提供者等による早期発見」が28.2%、「介護者のレスパイト（息抜き）の充実」が18.3%、「地域の声の見守り」が6.3%、「介護サービスの提供拡大」が2.8%となっている。



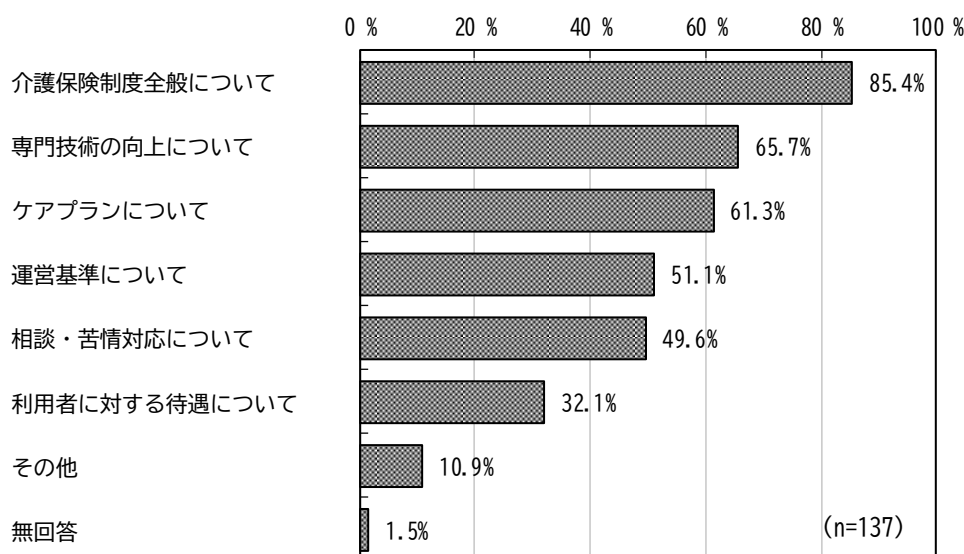
問26 職員に対する社内・社外研修の実施状況をお答えください（1つに○）。

職員に対する社内・社外研修の実施状況について、「内部研修を実施しており、外部研修（区の研修含）にも参加させている」が76.8%と最も高く、「内部研修は実施していないが、外部研修（区の研修含）には参加させている」が15.5%、「内部研修は実施しているが、外部研修（区の研修含）には参加させていない」が4.2%、「内部研修は実施していないし、外部研修（区の研修含）にも参加させていない」が0.7%となっている。



問26-1 どのような内容の研修を実施されていますか。もしくはどのような研修に参加させていますか（いくつでも○）。

実施している、もしくは参加させている研修の内容について、「介護保険制度全般について」が85.4%と最も高く、「専門技術の向上について」が65.7%、「ケアプランについて」が61.3%、「運営基準について」が51.1%、「相談・苦情対応について」が49.6%、「利用者に対する待遇について」が32.1%となっている。

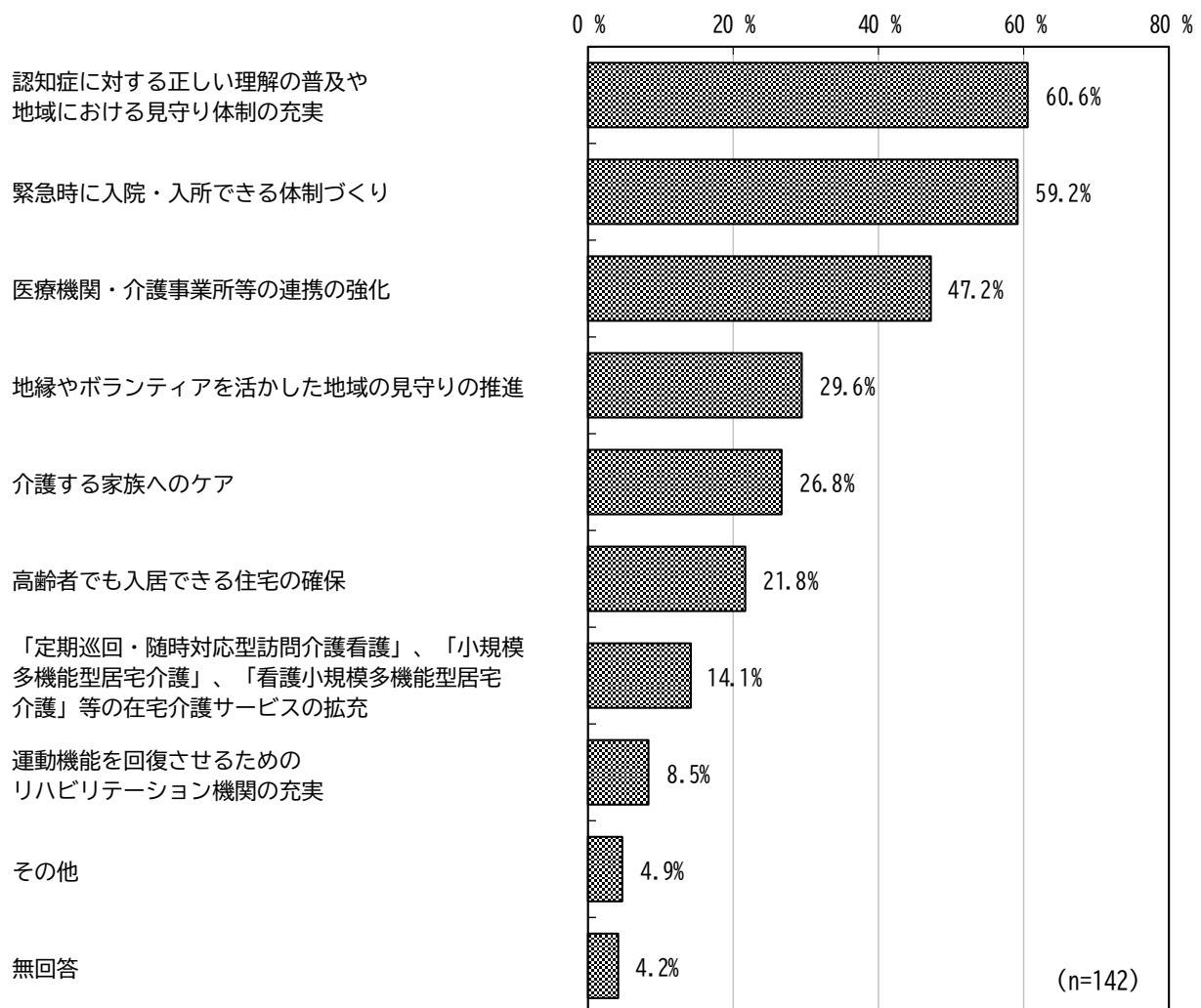




## (5) その他について

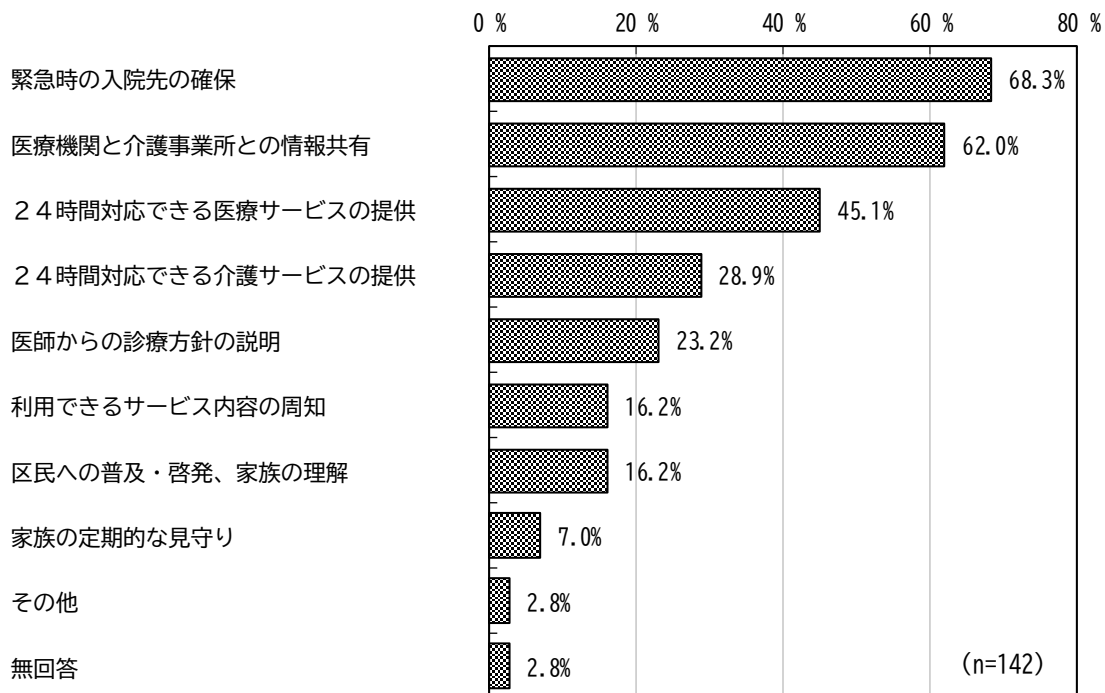
問27 地域包括ケアシステムの推進に向けて、高齢者が自宅や地域で暮らし続けるために、今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか（3つまで○）。

地域包括ケアシステムの推進に向けて、「認知症に対する正しい理解の普及や地域における見守り体制の充実」が60.6%と最も高く、「緊急時に入院・入所できる体制づくり」が59.2%、「医療機関・介護事業所等の連携の強化」が47.2%、「地縁やボランティアを活かした地域の見守りの推進」が29.6%、「介護する家族へのケア」が26.8%、「高齢者でも入居できる住宅の確保」が21.8%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」等の在宅介護サービスの拡充」が14.1%、「運動機能を回復させるためのリハビリテーション機関の充実」が8.5%となっている。



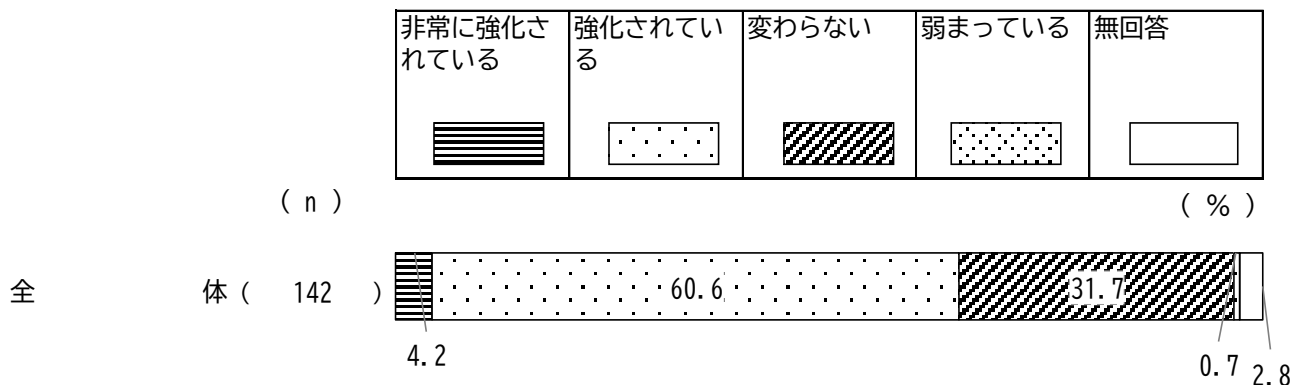
問28 利用者が安心して在宅医療を受けるために、今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか（3つまで○）。

利用者が安心して在宅医療を受けるために、今後さらに強化が必要な取り組みは、「緊急時の入院先の確保」が68.3%と最も高く、「医療機関と介護事業所との情報共有」が62.0%、「24時間対応できる医療サービスの提供」が45.1%、「24時間対応できる介護サービスの提供」が28.9%、「医師からの診療方針の説明」が23.2%、「利用できるサービス内容の周知」「区民への普及・啓発、家族の理解」が16.2%、「家族の定期的な見守り」が7.0%となっている。



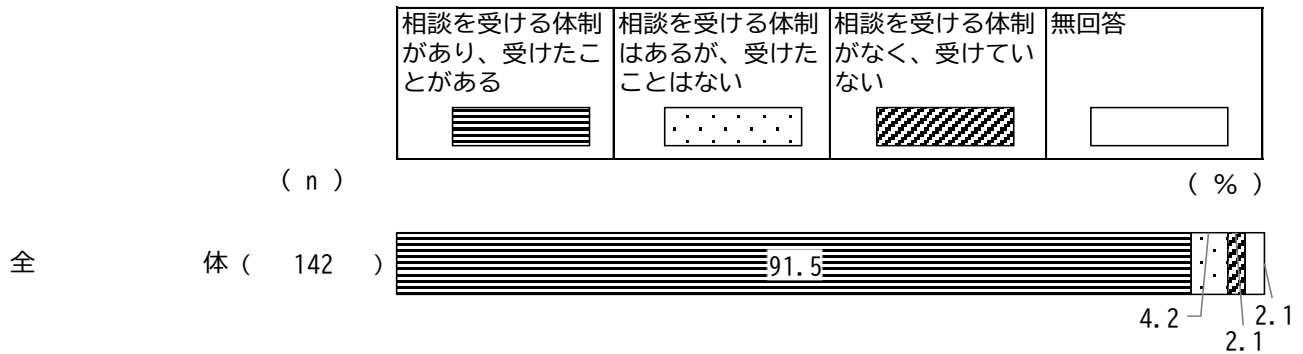
問29 医療機関と連携はこれまでよりも強化されていますか（1つに○）。

医療機関との連携について、これまでよりも「強化されている」が60.6%と最も高く、「変わらない」が31.7%、「非常に強化されている」が4.2%、「弱まっている」が0.7%となっている。



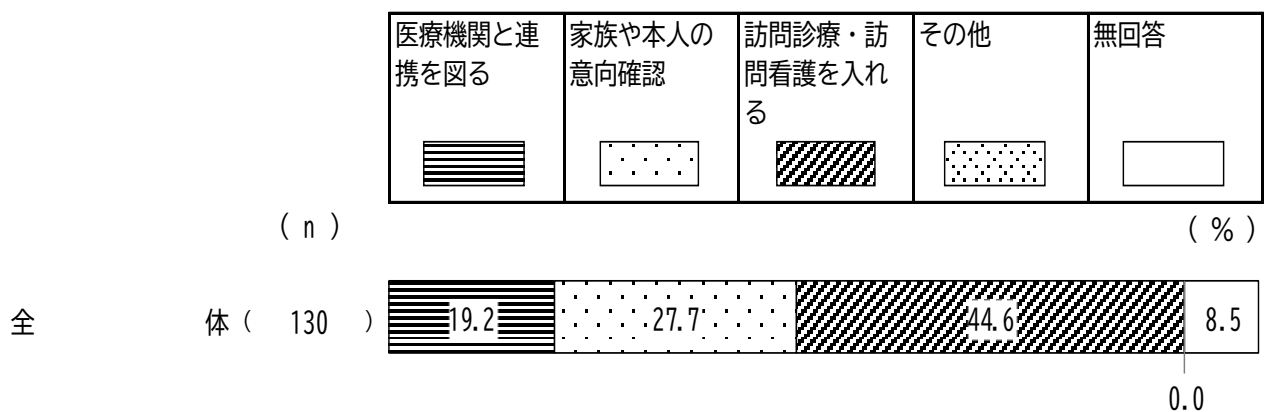
問30 貴事業所では、利用者や家族等から看取りの相談を受けたことがありますか（1つに○）。

利用者や家族等からの看取りの相談について、「相談を受ける体制があり、受けたことがある」が91.5%と最も高く、「相談を受ける体制はあるが、受けたことはない」が4.2%、「相談を受ける体制がなく、受けていない」が2.1%となっている。



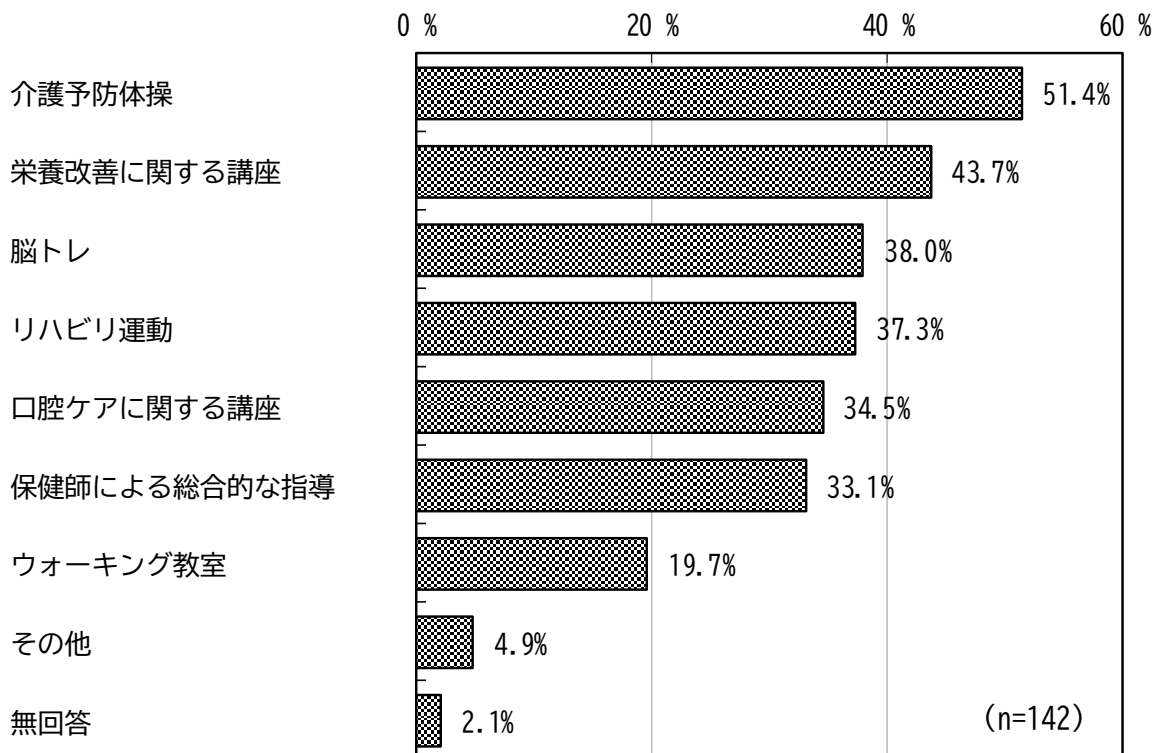
問30-1 看取りの相談を受けた際、どのような対応をされましたか（1つに○）。

看取りの相談を「受けたことがある」事業所において、看取りの相談を受けた際の対応として、「訪問診療・訪問看護を入れる」が44.6%と最も高く、「家族や本人の意向確認」が27.7%、「医療機関と連携を図る」が19.2%となっている。



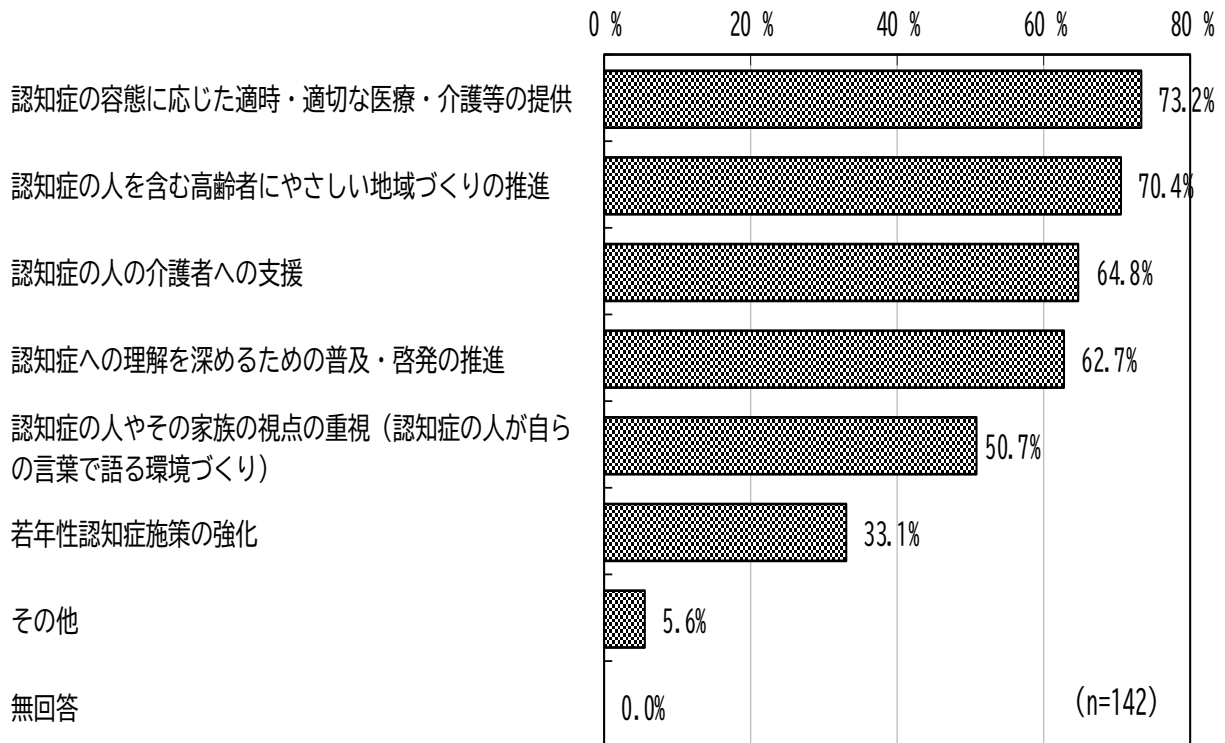
問31 高齢者の健康を維持・向上させていくため、介護予防事業として今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか（3つまで○）。

高齢者の健康を維持・向上させていくため、介護予防事業として今後さらに強化が必要な取り組みは、「介護予防体操」が51.4%と最も高く、「栄養改善に関する講座」が43.7%、「脳トレ」が38.0%、「リハビリ運動」が37.3%、「口腔ケアに関する講座」が34.5%、「保健師による総合的な指導」が33.1%、「ウォーキング教室」が19.7%となっている。



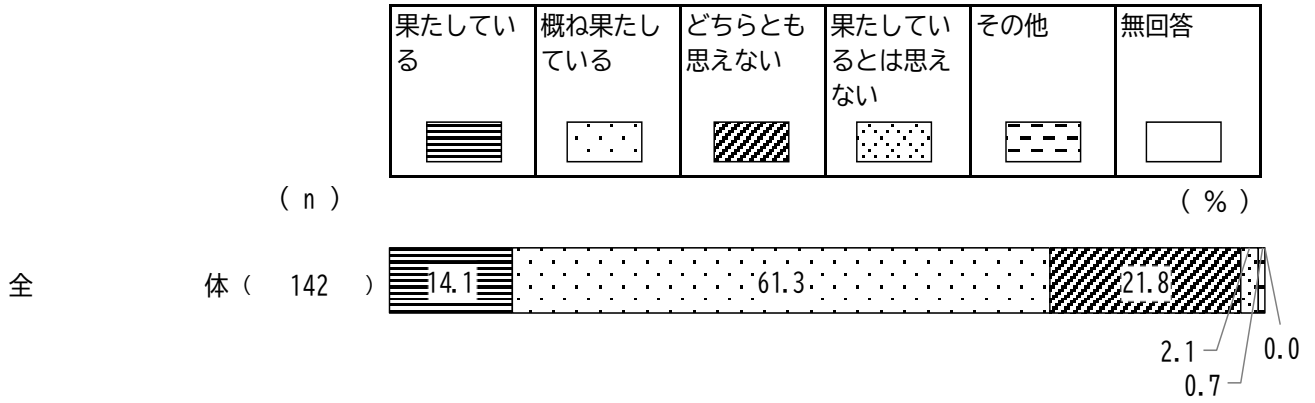
問32 認知症高齢者に関して今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか  
(いくつでも○)。

認知症高齢者に関して、今後さらに強化が必要な取り組みは、「認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供」が73.2%と最も高く、「認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進」が70.4%、「認知症の人の介護者への支援」が64.8%、「認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進」が62.7%、「認知症の人やその家族の視点の重視(認知症の人が自らの言葉で語る環境づくり)」が50.7%、「若年性認知症施策の強化」が33.1%となっている。



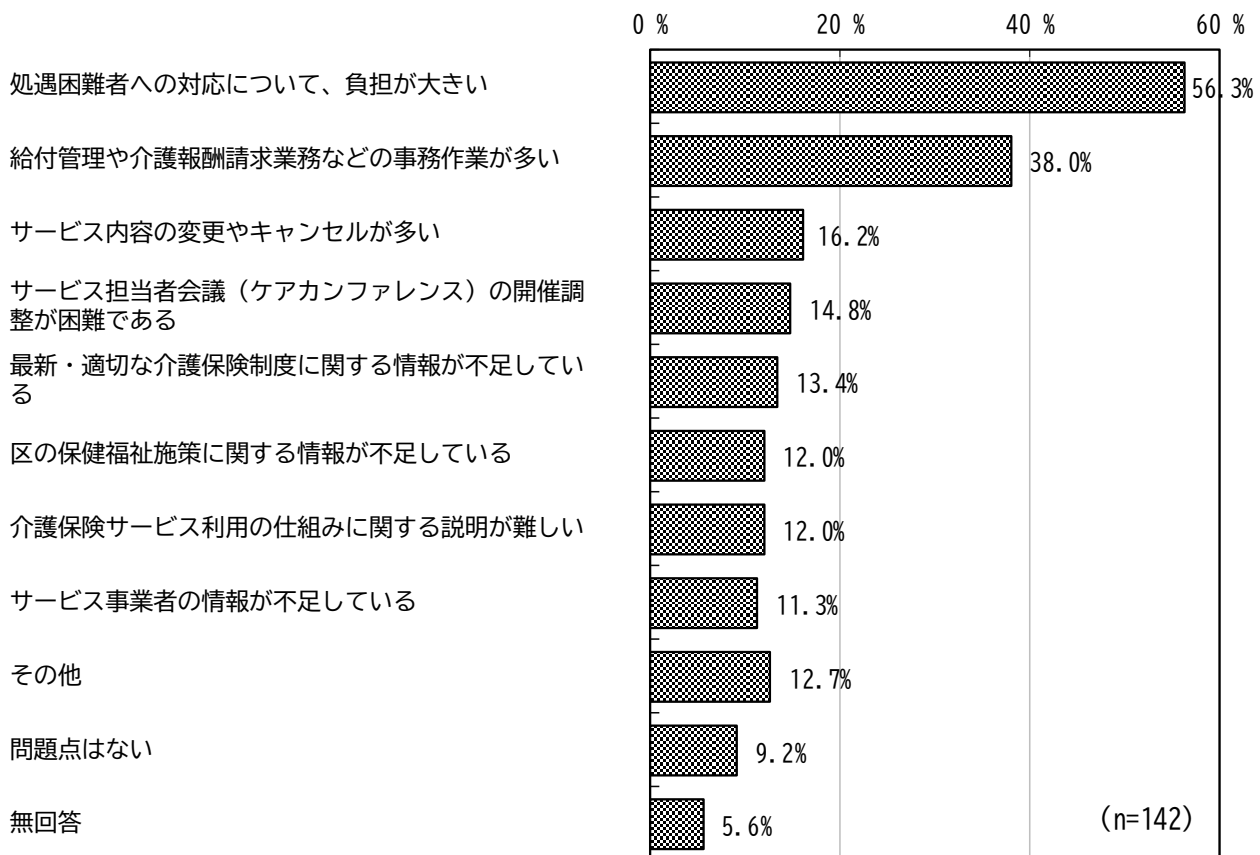
問33 貴事業所は、現在の介護保険サービスは高齢者の自立支援を促進する役割を果たしていると思いますか（1つに○）。

現在の介護保険サービスは高齢者の自立支援を促進する役割を果たしているか、という問いに対して、「概ね果たしている」が61.3%と最も高く、「どちらとも思えない」が21.8%、「果たしている」が14.1%、「果たしているとは思えない」が2.1%となっている。



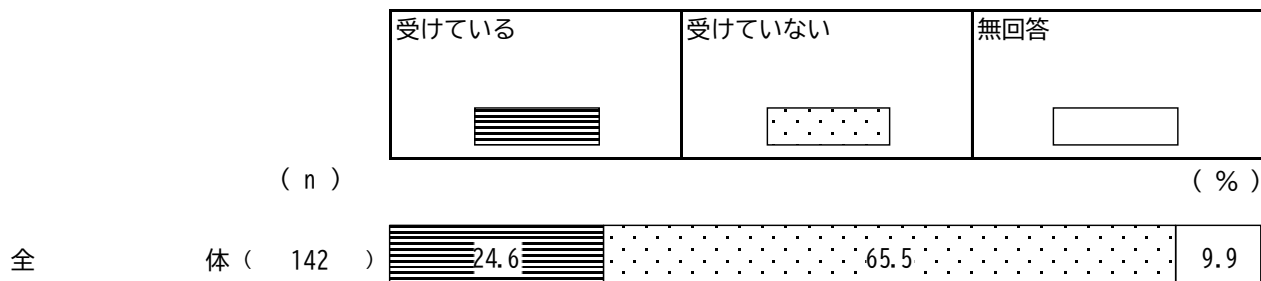
問34 貴事業所において、足立区で居宅介護支援事業を行う上での問題点がありますか（いくつでも○）。

事業所において、足立区で居宅介護支援事業を行う上での問題点として、「処遇困難者への対応について、負担が大きい」が56.3%と最も高く、「給付管理や介護報酬請求業務などの事務作業が多い」が38.0%、「サービス内容の変更やキャンセルが多い」が16.2%、「サービス担当者会議（ケアカンファレンス）の開催調整が困難である」が14.8%、「最新・適切な介護保険制度に関する情報が不足している」が13.4%、「区の保健福祉施策に関する情報が不足している」「介護保険サービス利用の仕組みに関する説明が難しい」が12.0%、「サービス事業者の情報が不足している」が11.3%となっている。また「問題点はない」が9.2%となっている。



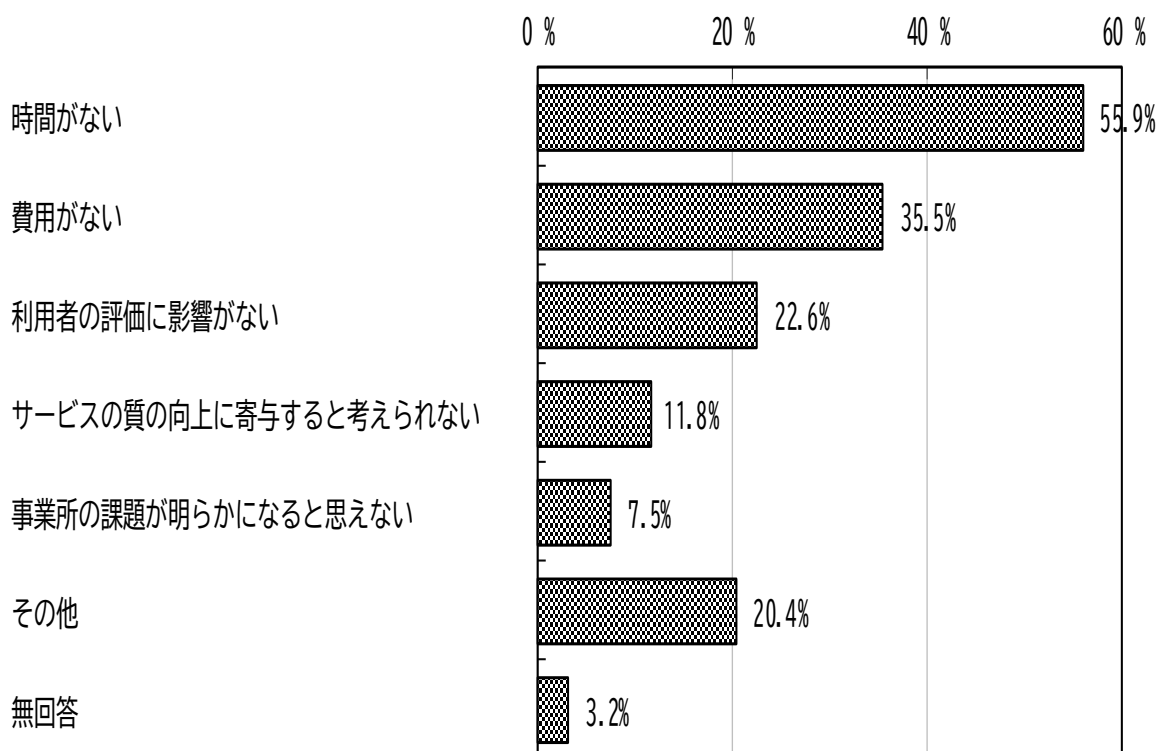
問35 サービスの質の確保や向上に向けて、第三者評価を受けていますか（1つに○）。

サービスの質の確保や向上に向けて、第三者評価を「受けている」が24.6%、「受けていない」が65.5%となっている。



問35-1 第三者評価を受けていない理由を教えてください（いくつでも○）。

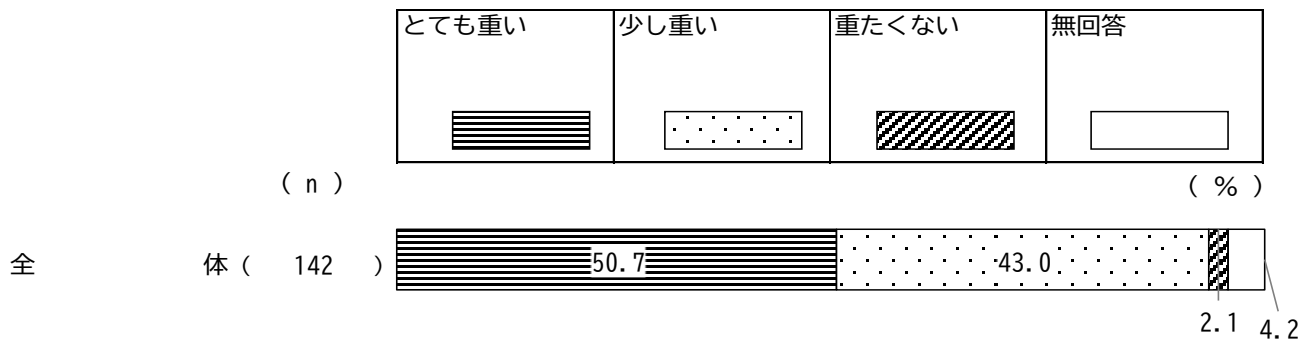
第三者評価を受けていない理由は、「時間がない」が55.9%と最も高く、「費用がない」が35.5%、「利用者の評価に影響がない」が22.6%、「サービスの質の向上に寄与すると考えられない」が11.8%、「事業所の課題が明らかになると思えない」が7.5%となっている。





問36 現在、事務負担はどの程度ですか（1つに○）。

現在の事務負担について、「とても重い」が50.7%と最も高く、「少し重い」が43.0%、「重たくない」が2.1%となっている。





## 8 介護保険施設調査

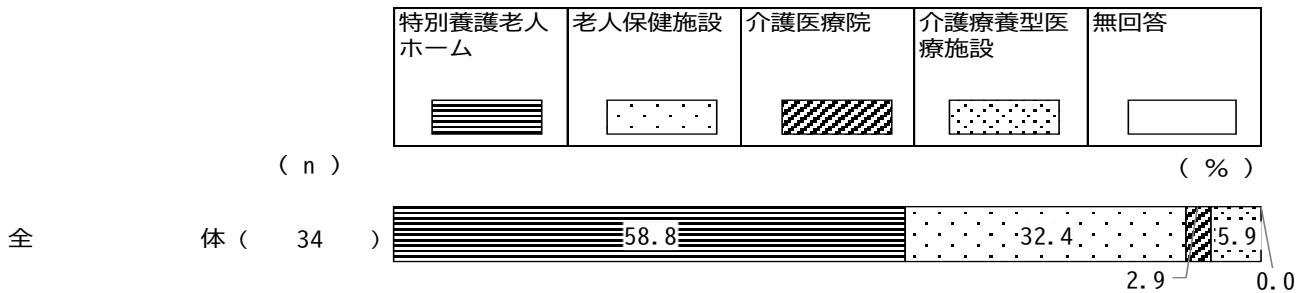
## (1) 事業所の基本情報

## 問1 貴事業所について

※①は「事業所名をご記入ください」という設問であるため省略

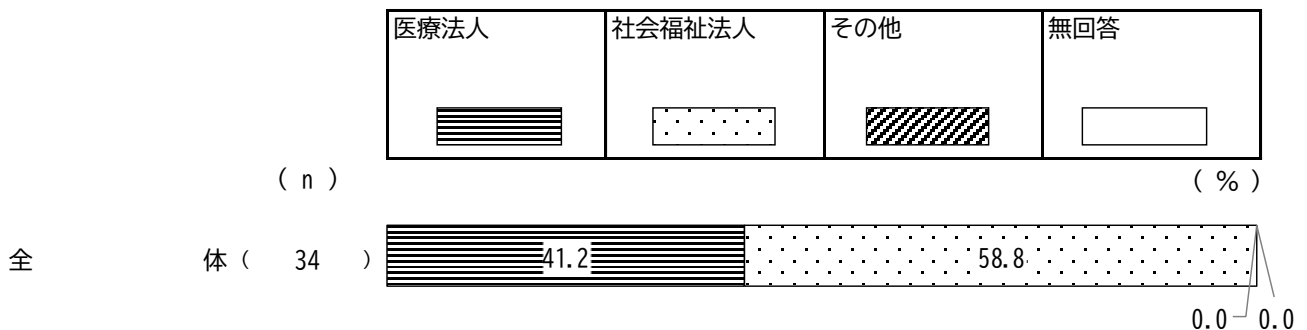
## ② 事業種別をお答えください。

事業種別について、「特別養護老人ホーム」が58.8%と最も高く、「老人保健施設」が32.4%、「介護療養型医療施設」が5.9%、「介護医療院」が2.9%となっている。



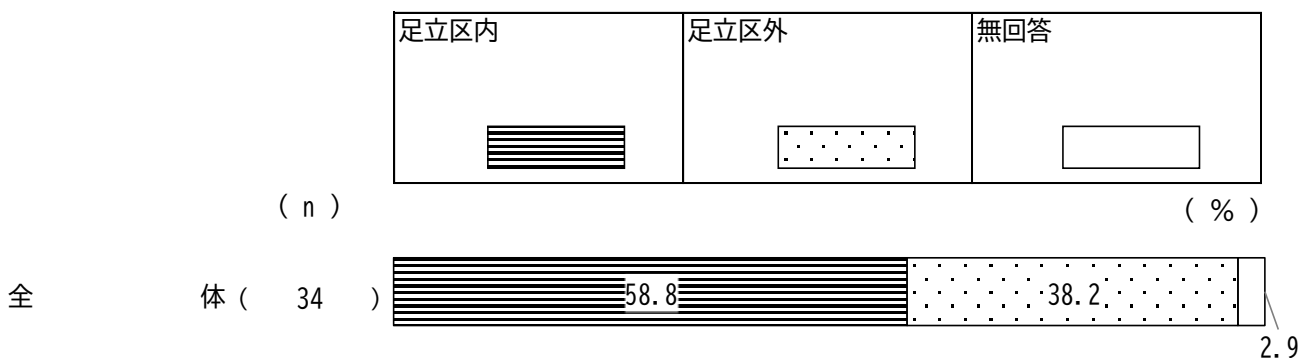
## ③ 事業所の経営主体は何ですか (1つに○)。

事業所の経営主体について、「社会福祉法人」が58.8%と最も高く、「医療法人」が41.2%となっている。



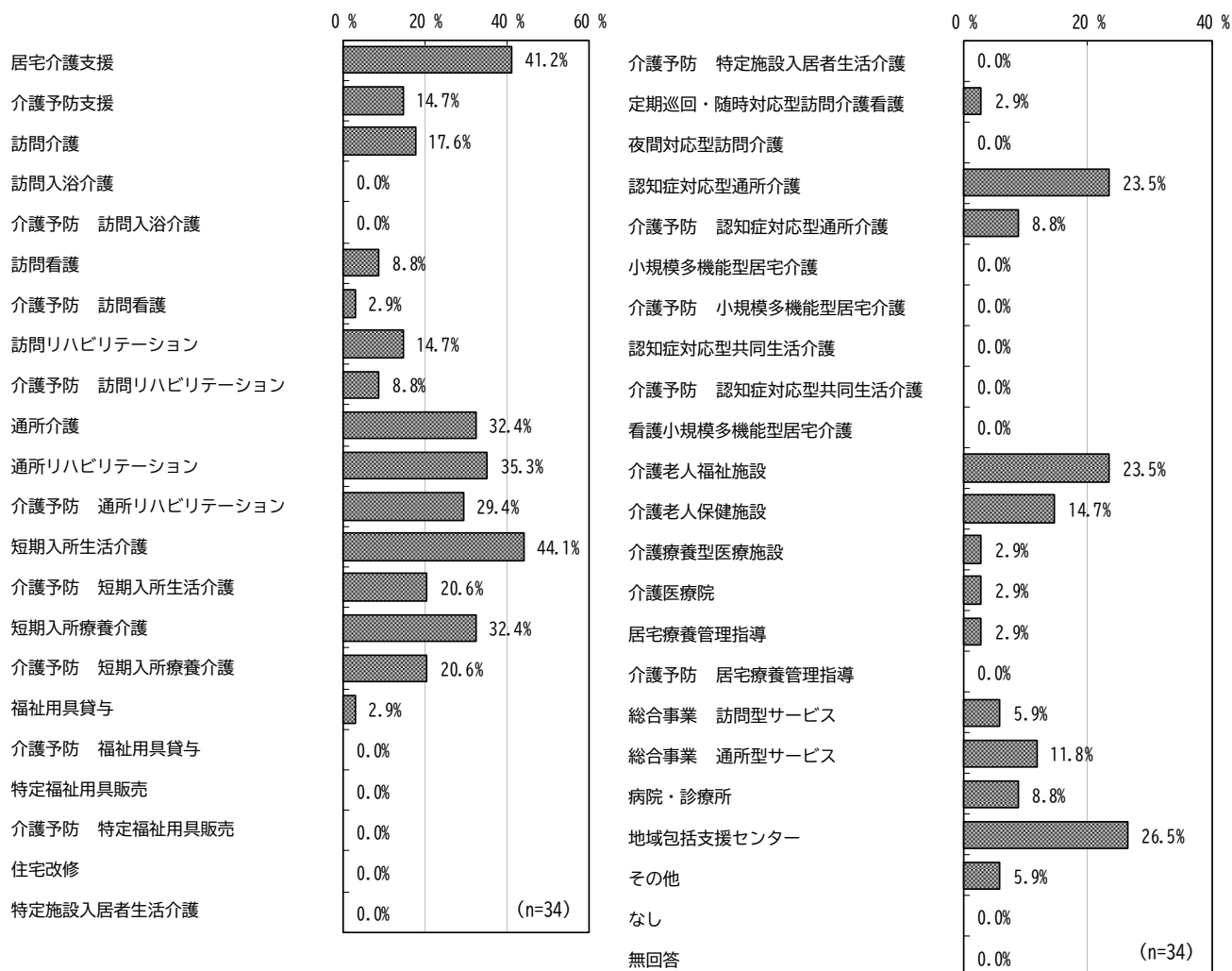
## ④ 経営主体の法人の所在地はどこですか (1つに○)。

経営主体の法人の所在地について、「足立区内」が58.8%、「足立区外」が38.2%となっている。



⑤ 貴事業所の併設事業について、あてはるものに○をつけてください  
(いくつでも○)。

事業所の併設事業について、「短期入所生活介護」が44.1%と最も高く、「居宅介護支援」が41.2%、「通所リハビリテーション」が35.3%、「通所介護」「短期入所療養介護」が32.4%、「介護予防 通所リハビリテーション」が29.4%と続いている。

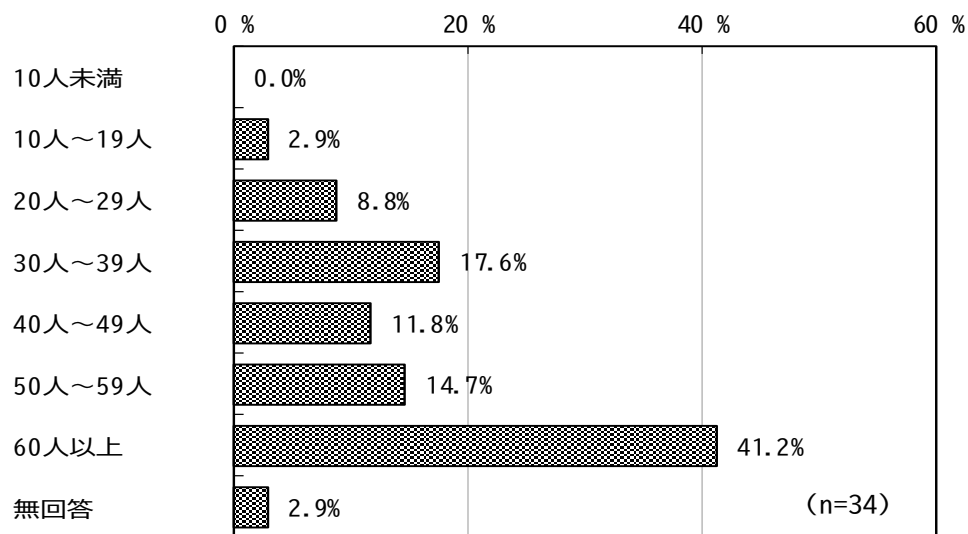


⑥ 貴事業所の職員体制について記入して下さい（数字を記入）。  
また、（）内に外国人職員数を記載してください。

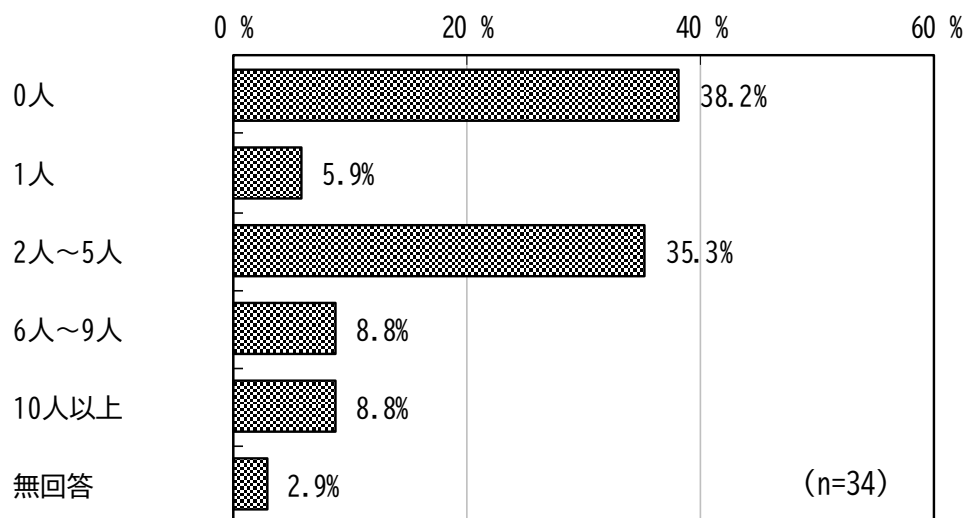
※令和4年10月1日現在

⑥-1 正規職員

正規職員の職員体制について、「60人以上」が41.2%と最も高く、「30人～39人」が17.6%、「50人～59人」が14.7%、「40人～49人」が11.8%、「20人～29人」が8.8%、「10人～19人」が2.9%、「10人未満」が0.0%となっている。

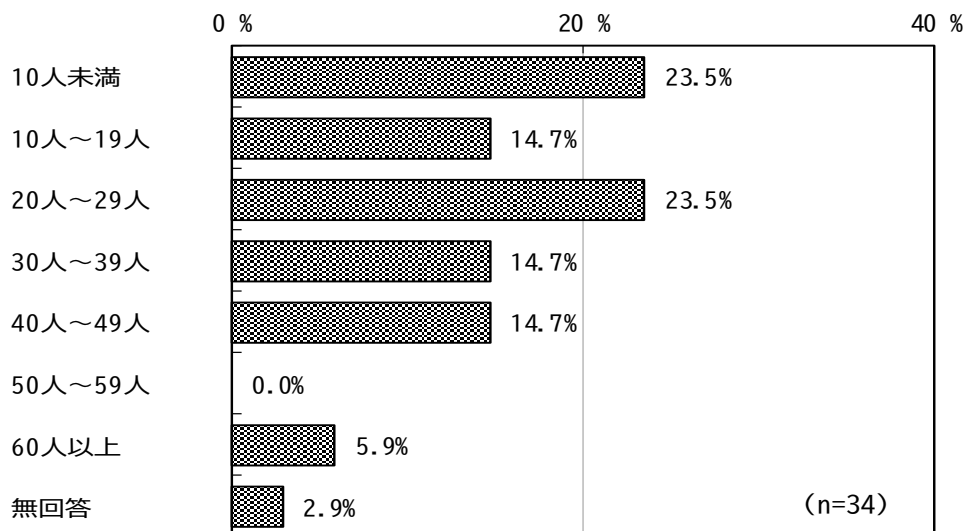


うち、外国人の正規職員について、「0人」が38.2%と最も高く、「2人～5人」が35.3%、「6人～9人」が8.8%、「10人以上」が8.8%、「1人」が5.9%となっている。

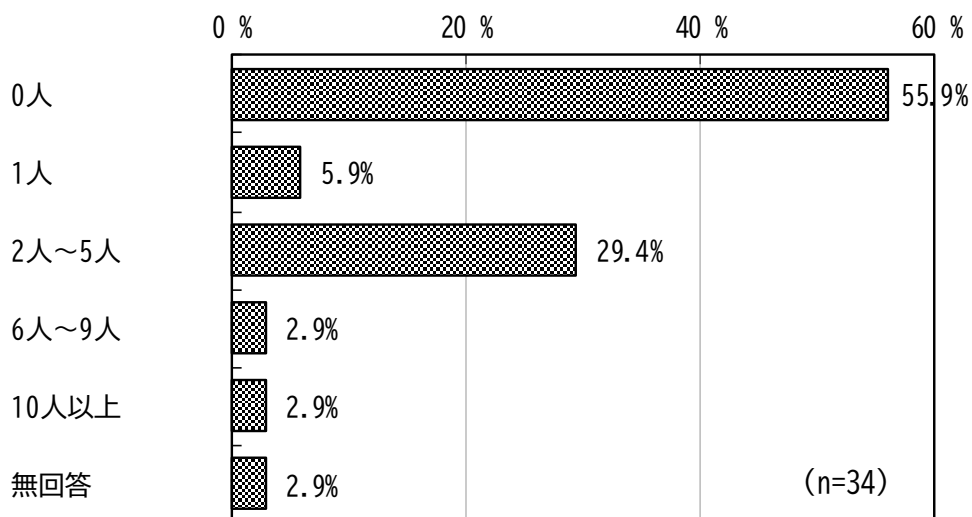


⑥-2 非正規職員

非正規職員の職員体制について、「10人未満」「20人～29人」が23.5%と最も高く、「10人～19人」が14.7%、「30人～39人」が14.7%、「40人～49人」が14.7%、「60人以上」が5.9%、「50人～59人」が0.0%となっている。



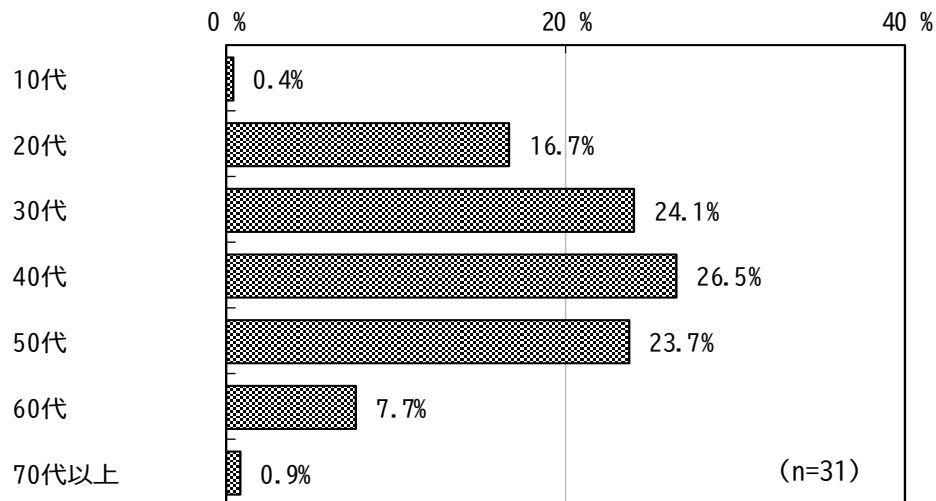
うち、外国人の非正規職員について、「0人」が55.9%と最も高く、「2人～5人」が29.4%、「1人」が5.9%、「6人～9人」「10人以上」が2.9%となっている。



## ⑦ 年齢階級別

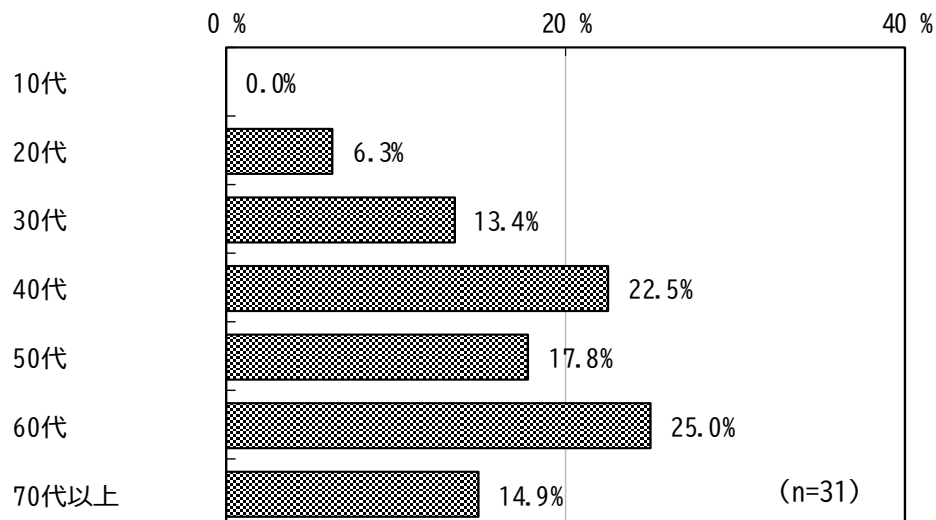
## ⑦-1 正規職員

回答のあった事業所の正規職員の年齢構成について、「40代」が26.5%と最も高く、「30代」が24.1%、「50代」が23.7%、「20代」が16.7%、「60代」が7.7%、「70代以上」が0.9%、「10代」が0.4%となっている。



## ⑦-2 非正規職員

回答のあった事業所の非正規職員の年齢構成について、「60代」が25.0%と最も高く、「40代」が22.5%、「50代」が17.8%、「70代以上」が14.9%、「30代」が13.4%、「20代」が6.3%、「10代」が0.0%となっている。

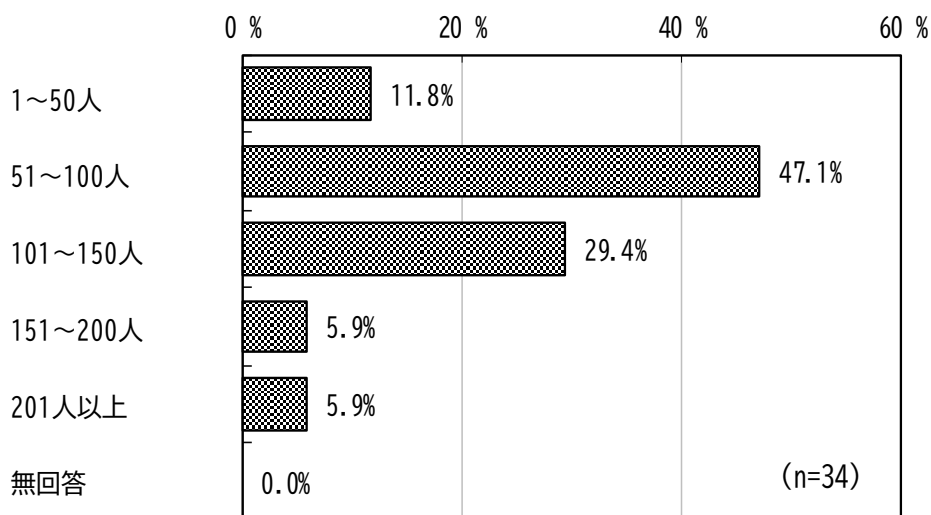


(2) サービスの提供状況について

問2 貴事業所の定員等

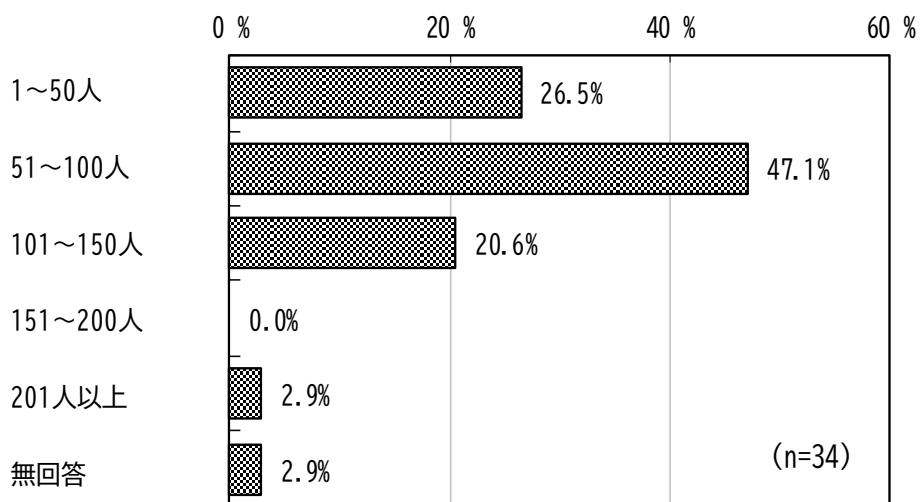
①-1 定員 (数字を記入)

定員について、「51～100人」が47.1%と最も高く、「101～150人」が29.4%、「1～50人」が11.8%、「151～200人」が5.9%、「201人以上」が5.9%となっている。



①-2 入居者数 (数字を記入)

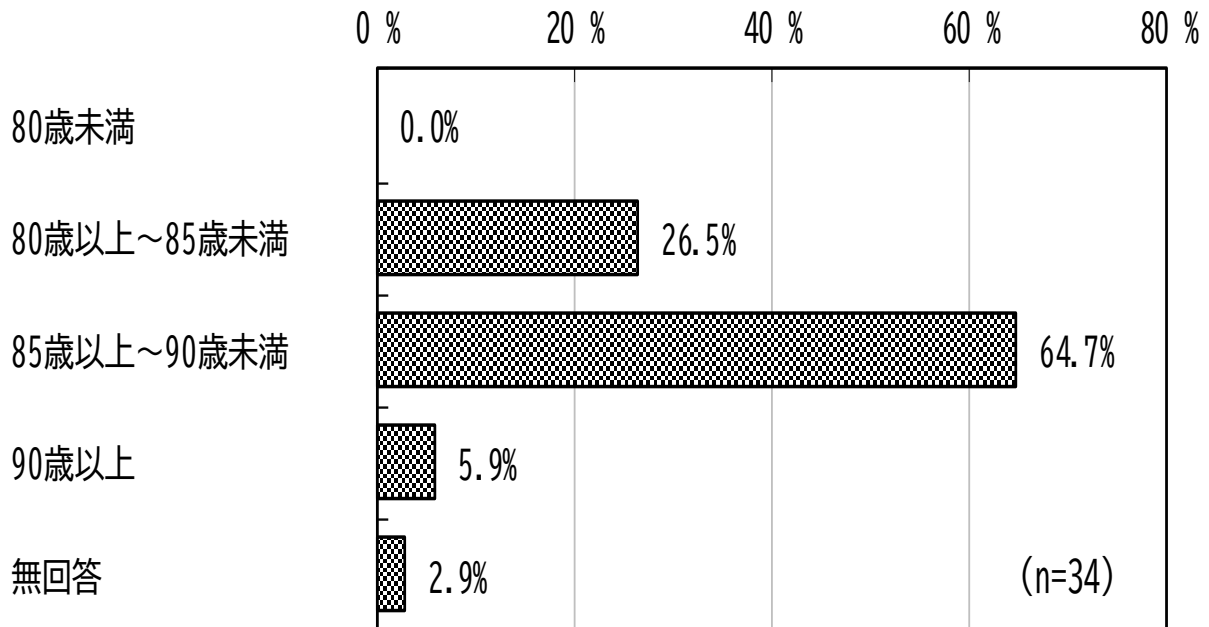
入所(院)者数について、「51～100人」が47.1%と最も高く、「1～50人」が26.5%、「101～150人」が20.6%、「201人以上」が2.9%、「151～200人」が0.0%となっている。





## ② 入所（院）者の平均年齢（数字を記入）

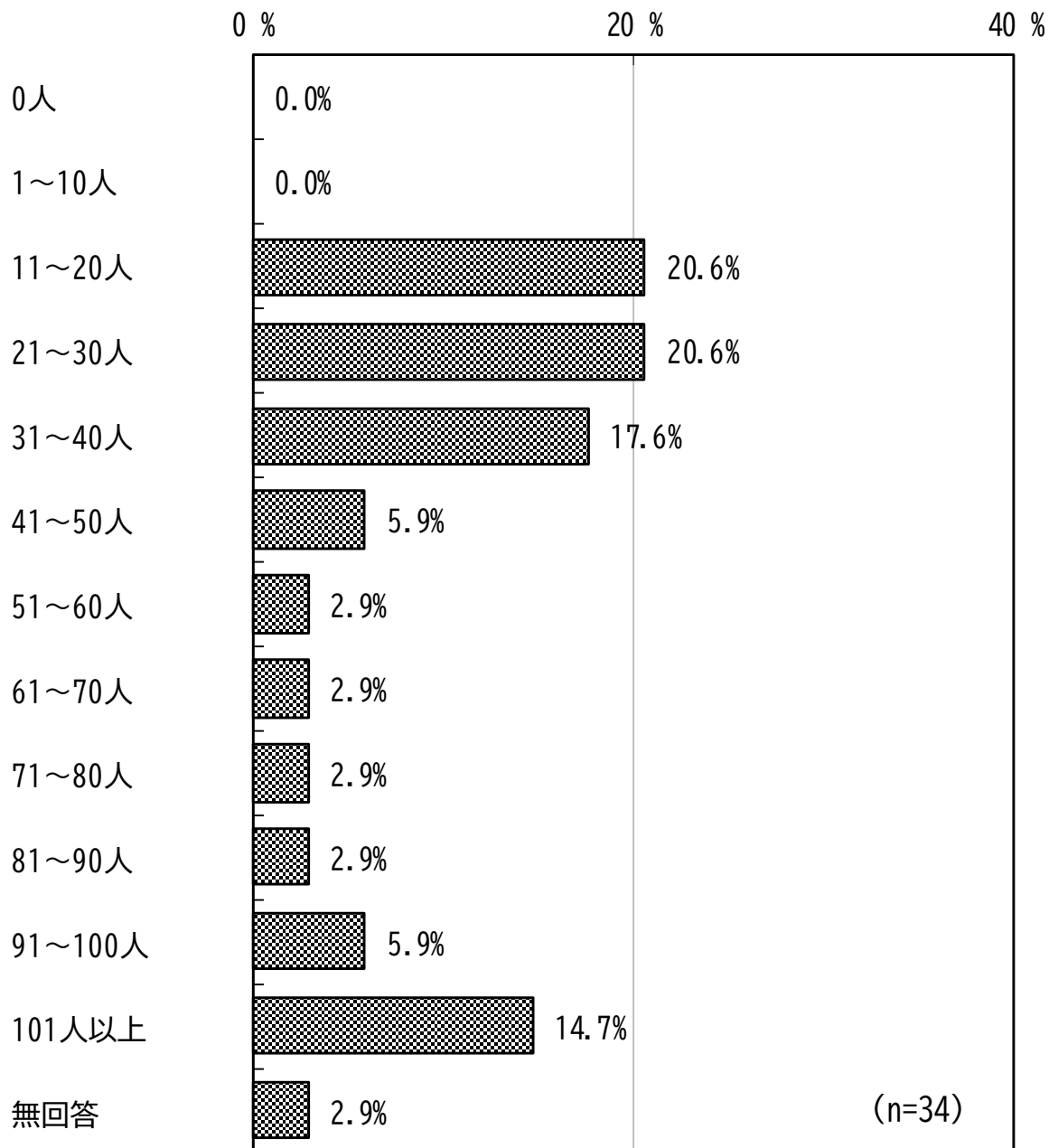
入所（院）者の平均年齢について、「85歳以上～90歳未満」が64.7%と最も高く、「80歳以上～85歳未満」が26.5%、「90歳以上」が5.9%、「80歳未満」が0.0%となっている。



③ 1年間に入退所（院）者数（数字を記入）（令和3年1月～12月）

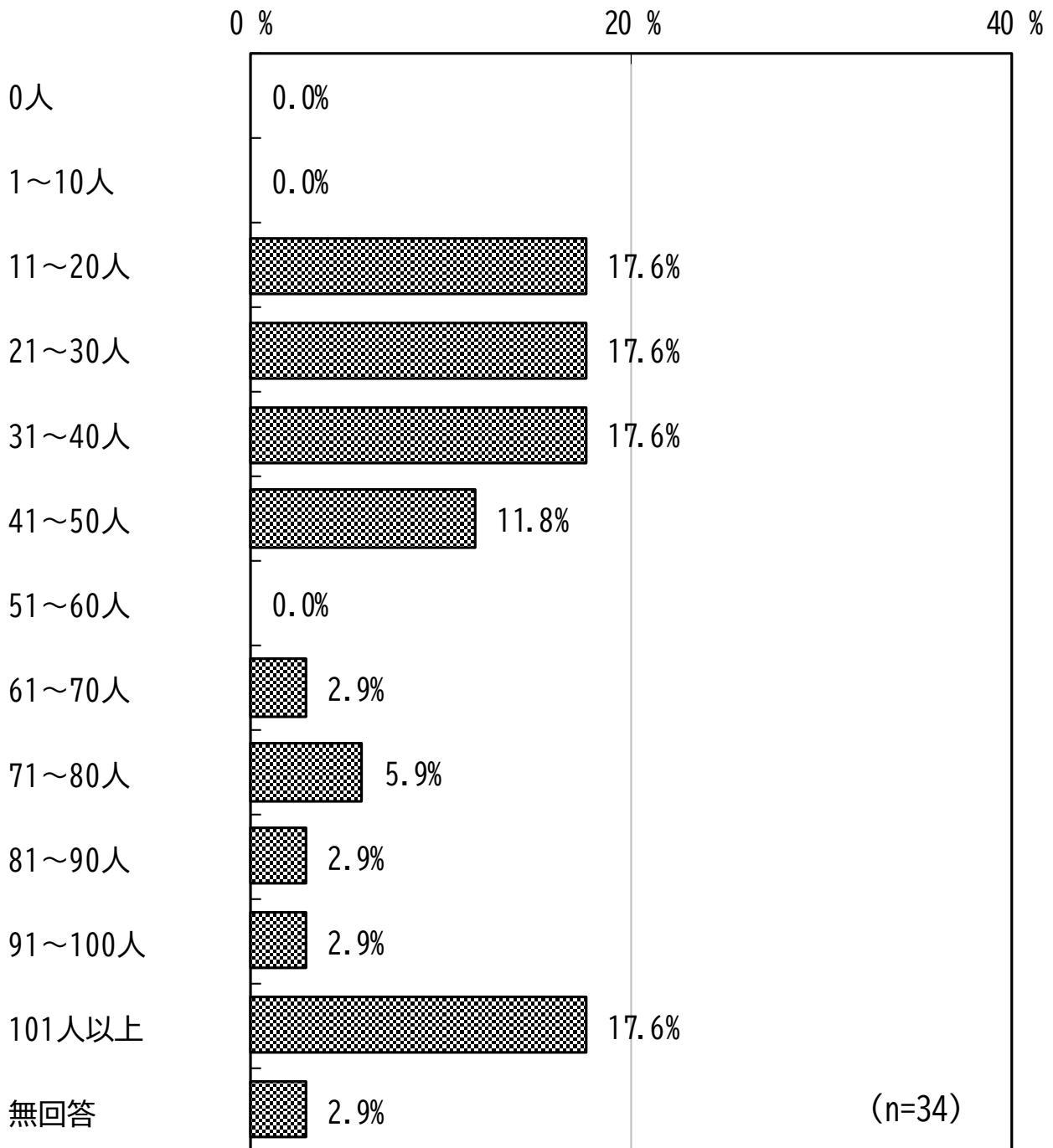
③ - 1 入所（院）者数

1年間の入所（院）者数については、「11～20人」「21～30人」が20.6%と最も高く、「31～40人」が17.6%、「101人以上」が14.7%、「41～50人」「91～100人」が5.9%、「51～60人」「61～70人」「71～80人」「81～90人」が2.9%、「0人」「1～10人」が0.0%となっている。



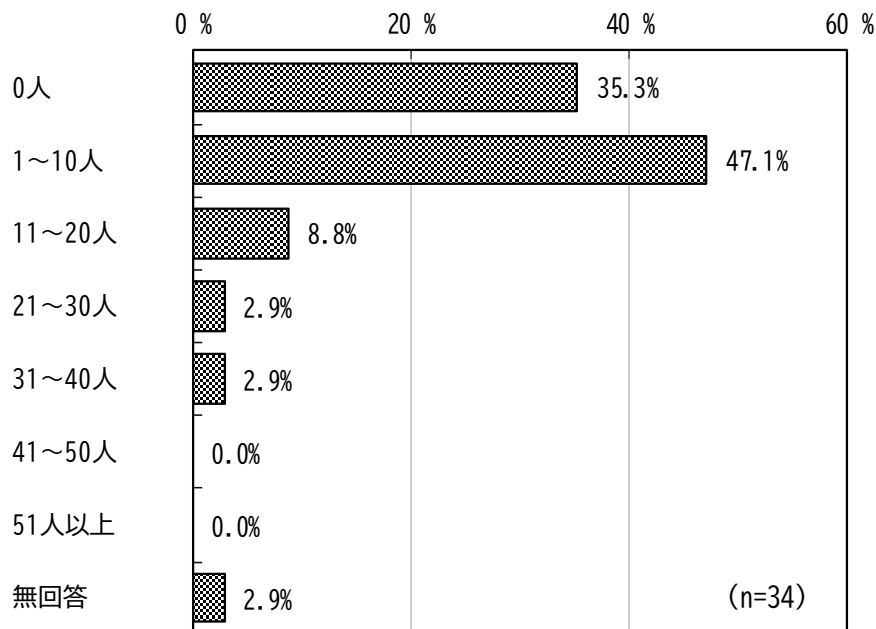
## ③ - 2 退所（院）者数

1年間の退所（院）者数については、「11～20人」「21～30人」「31～40人」「101人以上」が17.6%と最も高く、「41～50人」が11.8%、「71～80人」が5.9%、「61～70人」「81～90人」「91～100人」が2.9%、「0人」「1～10人」「51～60人」が0.0%となっている。



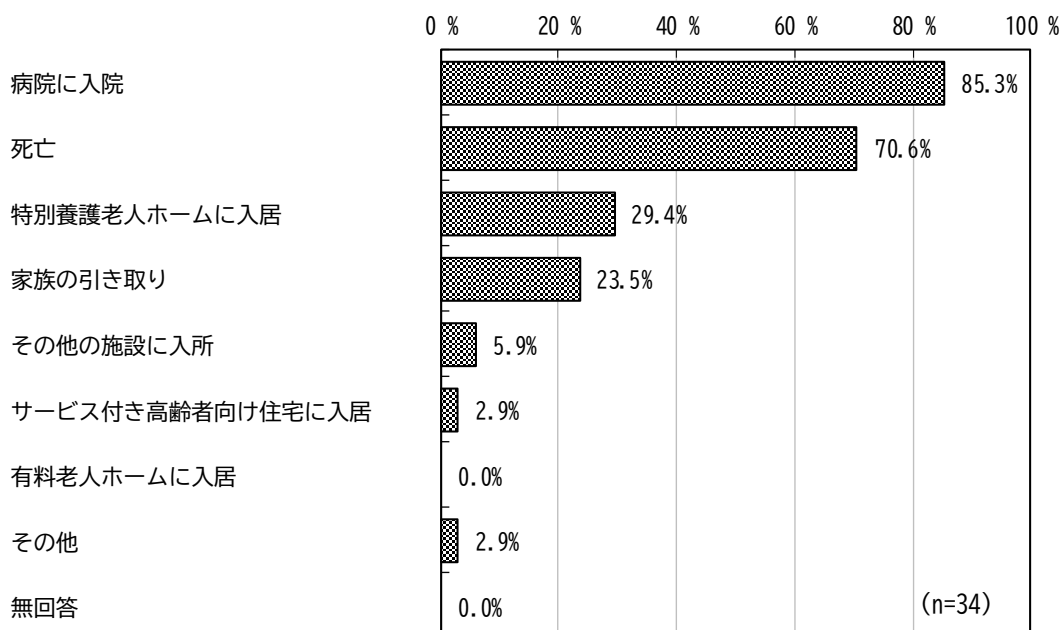
④ 入居者のうち住所地特例（保険者が足立区外）の該当者は何人ですか（数字を記入）。

住所地特例（保険者が足立区外）の該当者について、「1～10人」が47.1%と最も高く、「0人」が35.3%、「11～20人」が8.8%、「21～30人」「31～40人」が2.9%、「41～50人」「51人以上」が0.0%となっている。



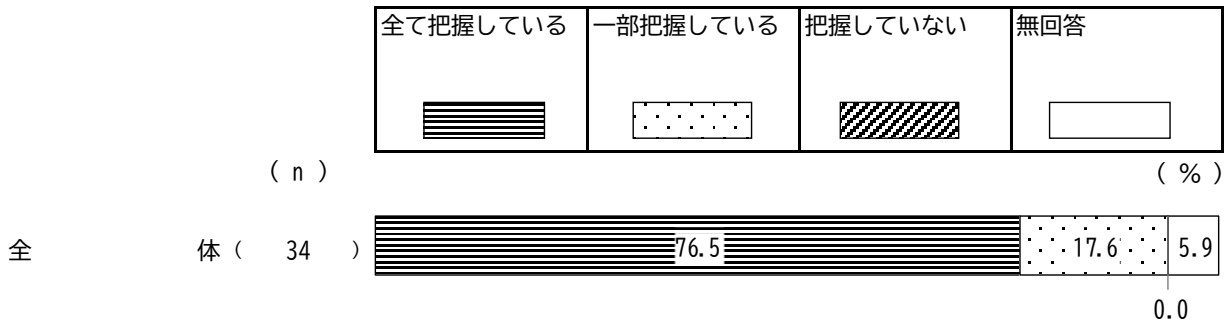
⑤ 退所（院）の主な理由は何ですか（3つまで○）。

退所（院）の主な理由として、「病院に入院」が85.3%と最も高く、「死亡」が70.6%、「特別養護老人ホームに入居」が29.4%、「家族の引き取り」が23.5%、「その他の施設に入所」が5.9%、「サービス付き高齢者向け住宅に入居」が2.9%、「有料老人ホームに入居」が0.0%となっている。



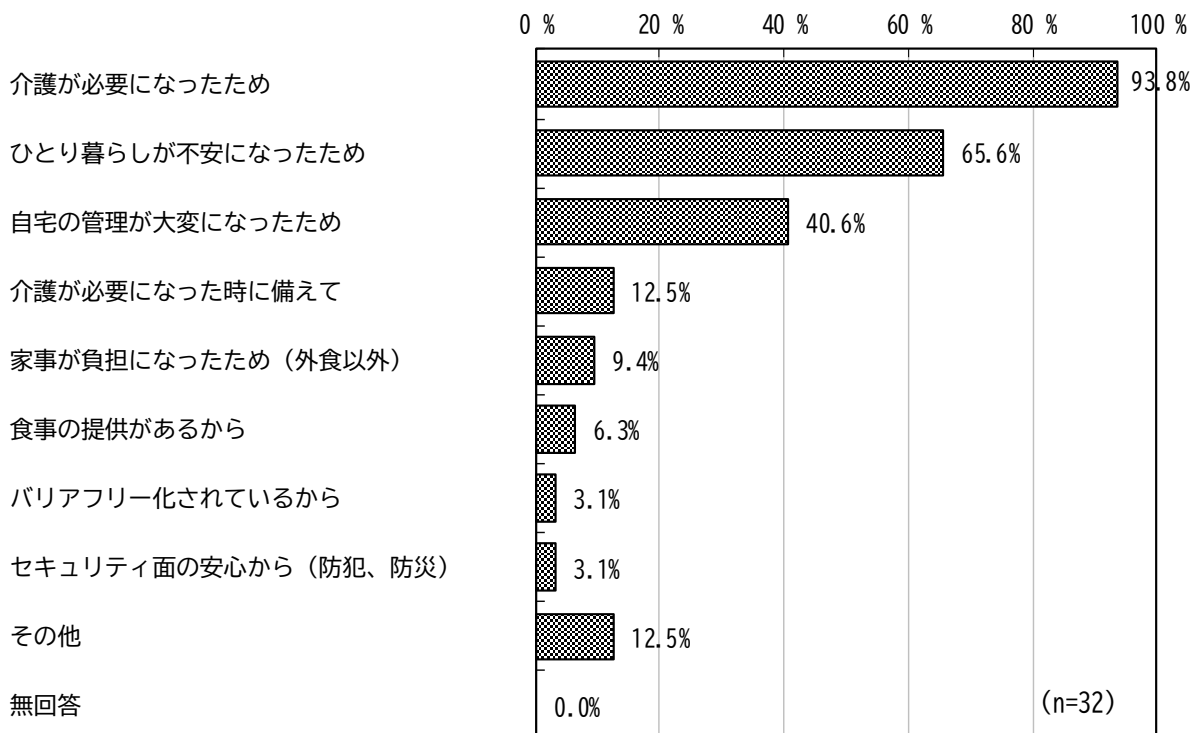
## ⑥ 入所（院）の動機を把握されていますか（1つに○）。

入所（院）の動機について、「全て把握している」が76.5%と最も高く、「一部把握している」が17.6%、「把握していない」が0.0%となっている。



## ⑥ -1 入所（院）を決められた主な理由は何ですか（いくつでも○）。

入所（院）の動機について「全て把握している」または「一部把握している」と回答した事業所における入所（院）を決められた主な理由について、「介護が必要になったため」が93.8%と最も高く、「ひとり暮らしが不安になったため」が65.6%、「自宅の管理が大変になったため」が40.6%、「介護が必要になった時に備えて」が12.5%、「家事が負担になったため（外食以外）」が9.4%、「食事の提供があるから」が6.3%、「バリアフリー化されているから」「セキュリティ面の安心から（防犯、防災）」が3.1%となっている。



⑦ 入所（院）者の要介護度別の人数についてお答えください（数字を記入）。

要介護度別の人数について、

要介護1では、「0人」が61.8%、要介護2では、「0人」が44.1%、要介護3では、「11～20人」「21～30人」が23.5%、要介護4では、「31～40人」が29.4%、要介護5では、「21～30人」が26.5%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51人以上	無回答
要介護1	34	61.8	26.5	5.9	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9
要介護2	34	44.1	35.3	2.9	11.8	0.0	0.0	2.9	2.9
要介護3	34	5.9	14.7	23.5	23.5	11.8	14.7	2.9	2.9
要介護4	34	0.0	5.9	8.8	11.8	29.4	17.6	23.5	2.9
要介護5	34	0.0	8.8	23.5	26.5	17.6	11.8	8.8	2.9

うち、医療処置の必要な要介護度別の人数について、

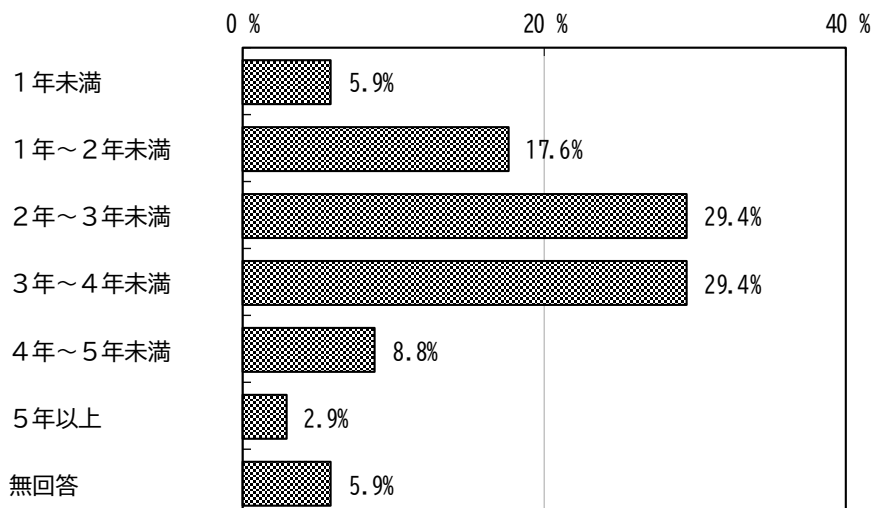
要介護1では、「0人」が79.4%、要介護2では、「0人」が76.5%、要介護3では、「0人」が50.0%、要介護4では、「1～10人」が47.1%、要介護5では、「1～10人」が44.1%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51人以上	無回答
要介護1	34	79.4	14.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9
要介護2	34	76.5	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9
要介護3	34	50.0	32.4	8.8	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9
要介護4	34	32.4	47.1	8.8	2.9	0.0	0.0	5.9	2.9
要介護5	34	26.5	44.1	17.6	2.9	0.0	2.9	2.9	2.9

⑧ 入所（院）者の平均入所（院）年数は何年ですか（1つに○）。

平均入所（院）年数について、「2年～3年未満」「3年～4年未満」が29.4%と最も高く、「1年～2年未満」が17.6%、「4年～5年未満」が8.8%、「1年未満」が5.9%、「5年以上」が2.9%となっている。



⑨ 過去3年間の年間稼働率は何パーセントですか（それぞれ1つに○）。

年間稼働率について、全ての年で「90～100%」が最も高く、令和3年では「90～100%」が64.7%、「80～90%未満」が32.4%、「60%未満」「60～70%未満」「70～80%未満」が0.0%となっている。

	(%)		
	令和元年	令和2年	令和3年
調査数	34	34	34
60%未満	0.0	0.0	0.0
60～70%未満	0.0	0.0	0.0
70～80%未満	5.9	2.9	0.0
80～90%未満	20.6	20.6	32.4
90～100 %	70.6	73.5	64.7
無回答	2.9	2.9	2.9

⑩ 併設している短期入所生活介護の過去3年間の年間稼働率は何パーセントですか。（それぞれ1つに○）。

併設している短期入所生活介護の過去3年間の年間稼働率について、全ての年でほぼ同じ傾向にあるが、令和3年では、「90～100%」が26.5%と最も高く、「60%未満」が23.5%、「併設していない」「60～70%未満」「80～90%未満」が11.8%、「70～80%未満」が2.9%となっている。

	(%)		
	令和元年	令和2年	令和3年
調査数	34	34	34
併設していない	11.8	11.8	11.8
60%未満	17.6	20.6	23.5
60～70%未満	5.9	8.8	11.8
70～80%未満	8.8	11.8	2.9
80～90%未満	11.8	5.9	11.8
90～100 %	32.4	29.4	26.5
無回答	11.8	11.8	11.8

⑪ 待機者数は何人ですか（数字を記入）。

待機者数について、  
全ての介護度で「0人」が最も高くなっている。

(%)

	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71～80人	81～90人	91～100人	101人以上	無回答
要介護1	34	85.3	14.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護2	34	52.9	47.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護3	34	41.2	20.6	5.9	2.9	14.7	2.9	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護4	34	41.2	23.5	5.9	5.9	5.9	2.9	8.8	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護5	34	47.1	20.6	8.8	8.8	11.8	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

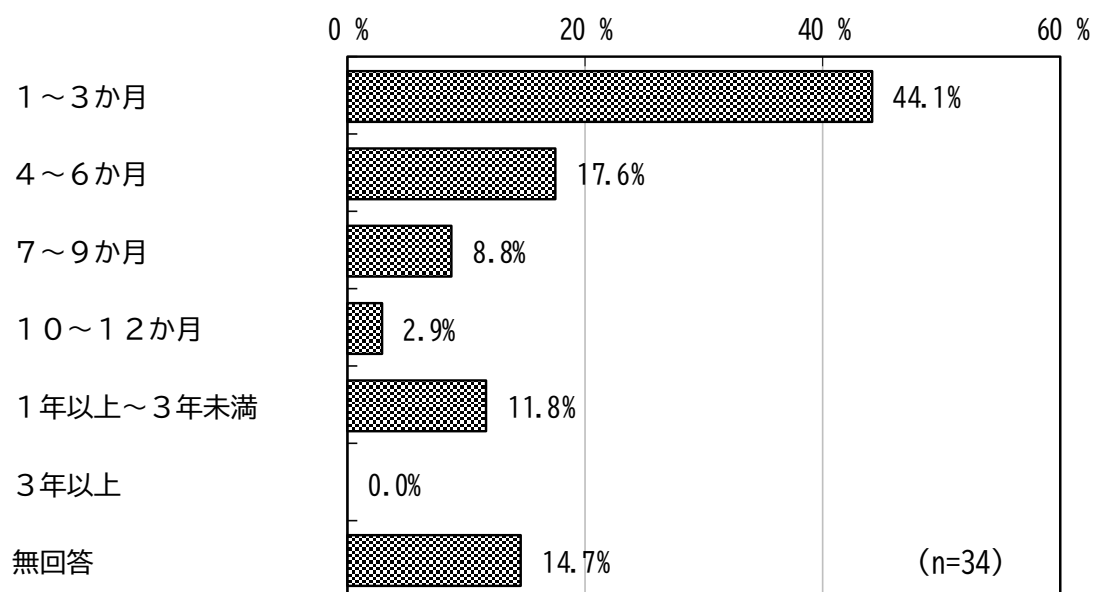
待機者数のうち足立区民の人数について、  
全ての介護度で「0人」が最も高くなっている。

(%)

	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71～80人	81～90人	91～100人	101人以上	無回答
要介護1	34	85.3	14.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護2	34	55.9	44.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護3	34	47.1	17.6	5.9	5.9	11.8	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護4	34	44.1	23.5	5.9	5.9	5.9	0.0	11.8	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護5	34	50.0	20.6	8.8	11.8	5.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑫ 入所（院）までに平均どのくらいかかりますか（1つに○）。

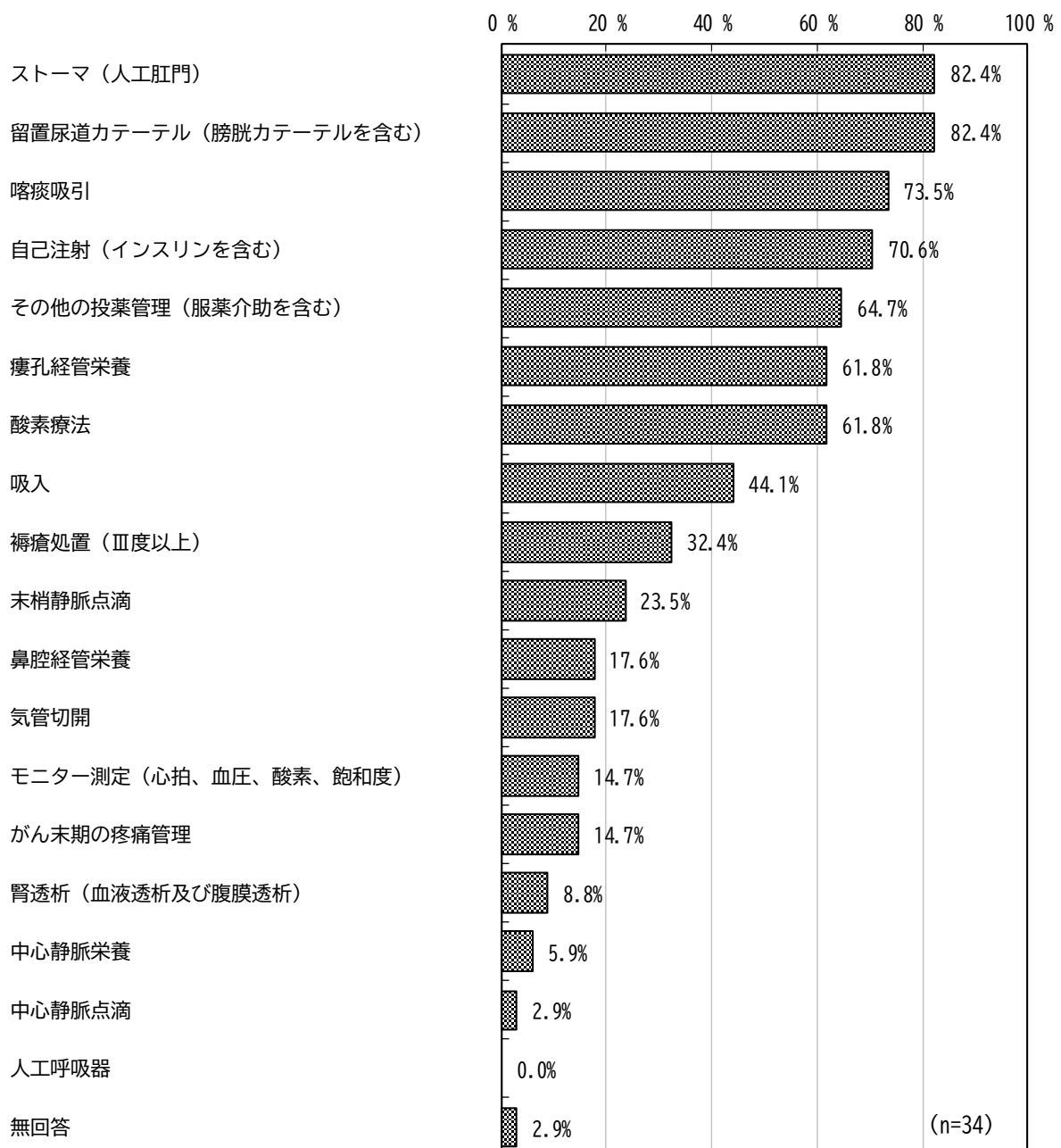
入所（院）までにかかる期間について、「1～3か月」が44.1%と最も高く、「4～6か月」が17.6%、「1年以上～3年未満」が11.8%、「7～9か月」が8.8%、「10～12か月」が2.9%、「3年以上」が0.0%となっている。





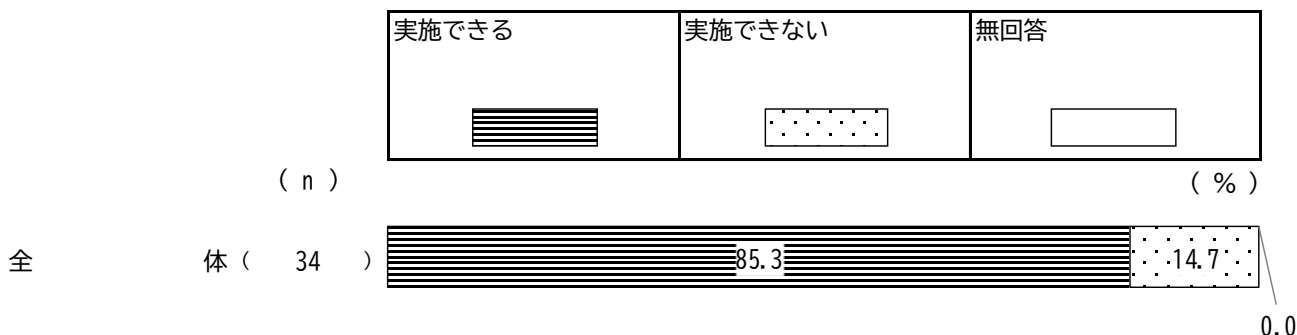
## ⑬ 貴事業所に入所（院）可能な医療処置を教えてください（いくつでも○）。

事業所に入所（院）可能な医療処置について、「ストーマ（人工肛門）」「留置尿道カテーテル（膀胱カテーテルを含む）」82.4%と最も高く、「喀痰吸引」が73.5%、「自己注射（インスリンを含む）」が70.6%、「その他の投薬管理（服薬介助を含む）」が64.7%、「瘻孔経管栄養」「酸素療法」が61.8%、「吸入」が44.1%、「褥瘡処置（Ⅲ度以上）」が32.4%、「末梢静脈点滴」が23.5%、「鼻腔経管栄養」「気管切開」が17.6%、「モニター測定（心拍、血圧、酸素、飽和度）」「がん末期の疼痛管理」が14.7%、「腎透析（血液透析及び腹膜透析）」が8.8%、「中心静脈栄養」が5.9%、「中心静脈点滴」が2.9%、「人工呼吸器」が0.0%となっている。



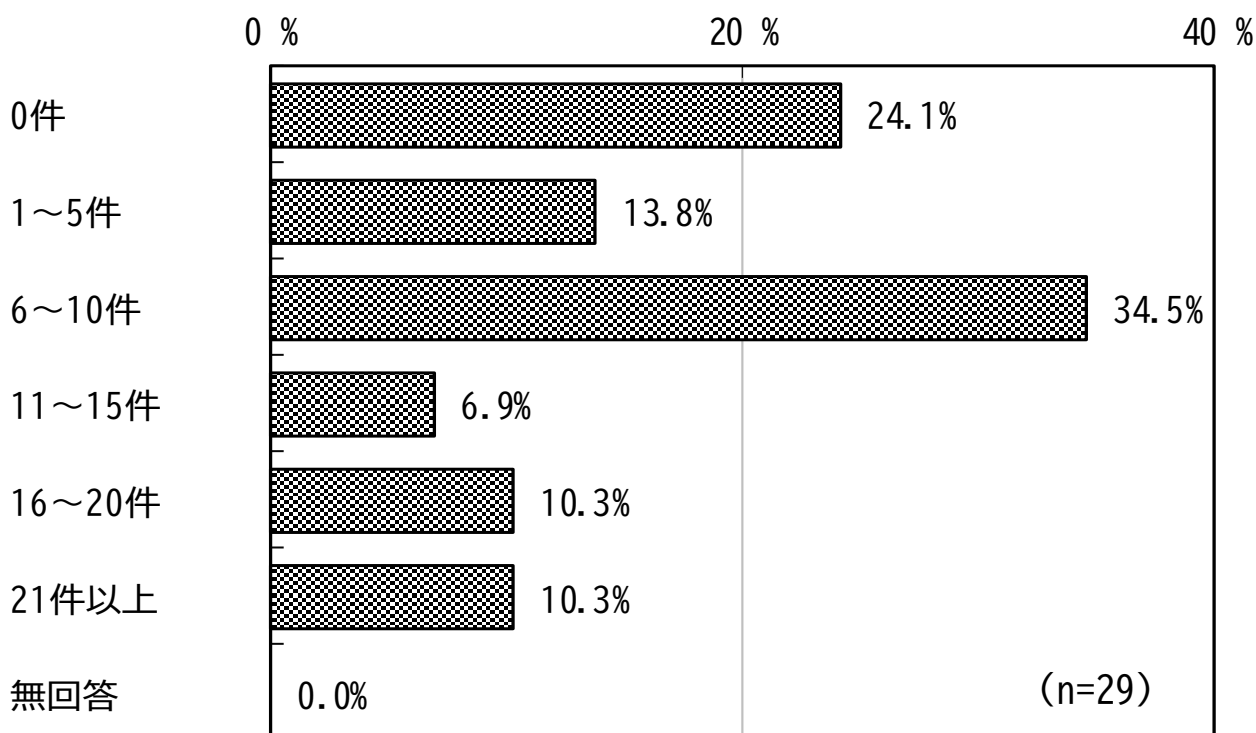
問3 貴事業所では、看取りを実施できますか（1つに○・数字を記入）。

看取りの実施状況について、「実施できる」が85.3%、「実施できない」が14.7%となっている。



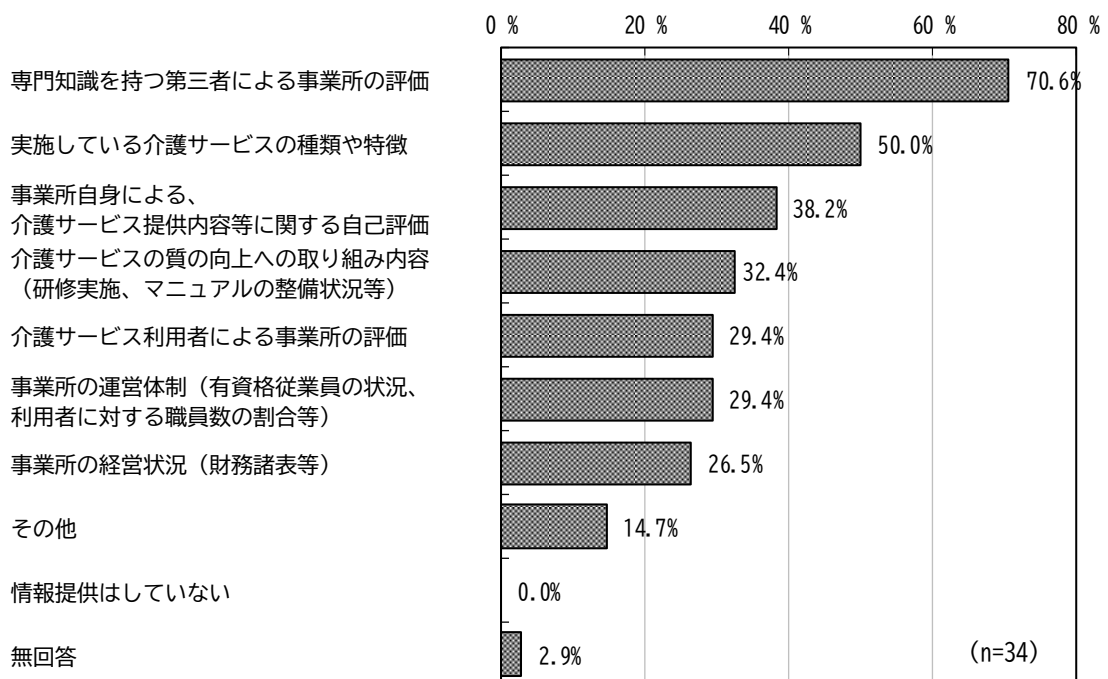
① 看取りを実施できる事業所のこの1年の実績

看取りを「実施できる」事業所において、この1年の実績として、「6～10件」が34.5%と最も高く、「0件」が24.1%、「1～5件」が13.8%、「16～20件」「21件以上」が10.3%、「11～15件」が6.9%となっている。



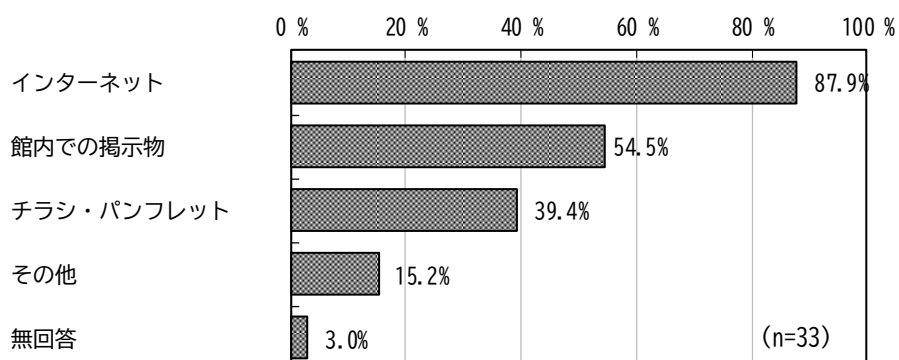
問4 貴事業所では、利用者を含め区民に対してどのような情報提供を行っていますか（いくつでも○）。

利用者を含む区民への情報提供の内容として、「専門知識を持つ第三者による事業所の評価」が70.6%と最も高く、「実施している介護サービスの種類や特徴」が50.0%、「事業所自身による、介護サービス提供内容等に関する自己評価」が38.2%、「介護サービスの質の向上への取り組み内容（研修実施、マニュアルの整備状況等）」が32.4%、「介護サービス利用者による事業所の評価」「事業所の運営体制（有資格従業員の状況、利用者に対する職員数の割合等）」が29.4%、「事業所の経営状況（財務諸表等）」が26.5%となっている。また「情報提供はしていない」が0.0%となっている。



問4-1 情報提供の手段は何ですか（いくつでも○）。

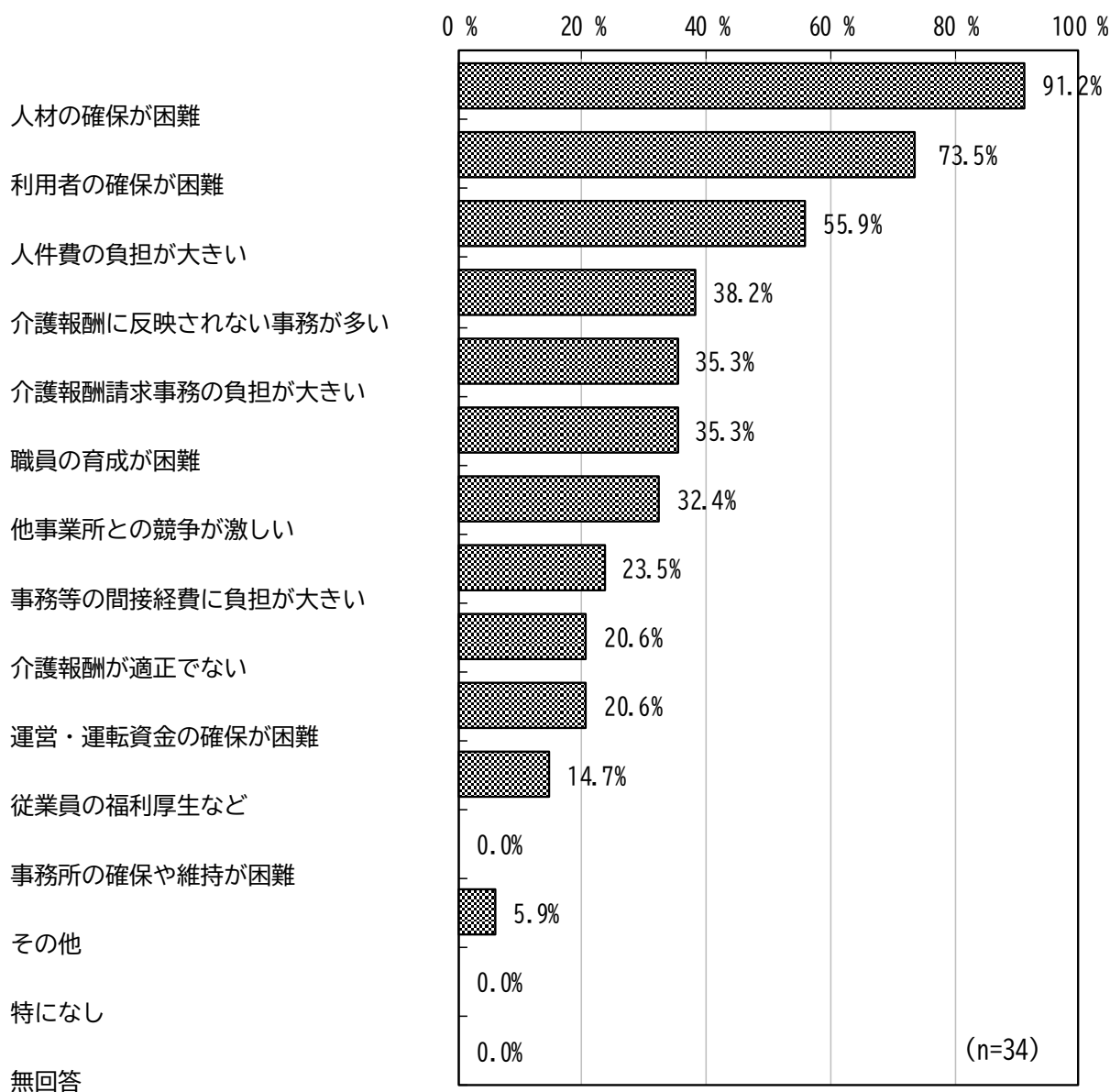
情報提供の手段として、「インターネット」が87.9%と最も高く、「館内での掲示物」が54.5%、「チラシ・パンフレット」が39.4%となっている。



(3) 事業運営等について

問5 事業所を経営するうえで、どのような問題点や課題がありますか（いくつでも○）。

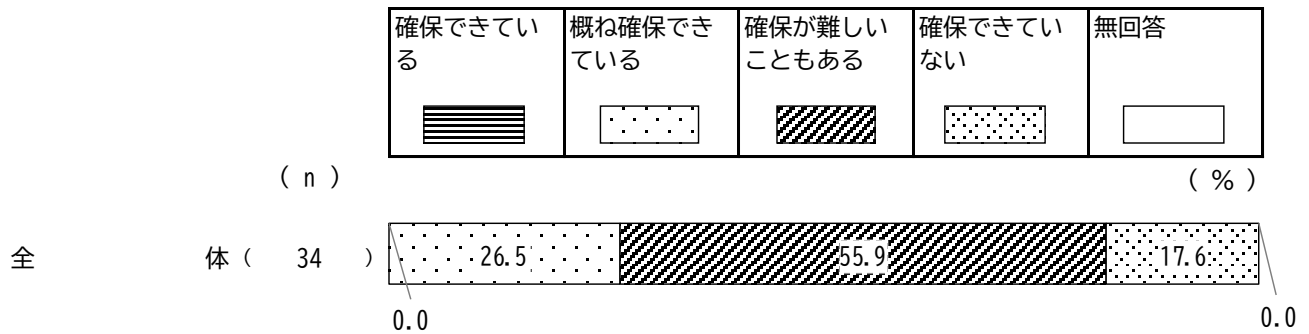
事業所を経営するうえでの問題点や課題として、「人材の確保が困難」が91.2%と最も高く、「利用者の確保が困難」が73.5%、「人件費の負担が大きい」が55.9%、「介護報酬に反映されない事務が多い」が38.2%、「介護報酬請求事務の負担が大きい」「職員の育成が困難」が35.3%、「他事業所との競争が激しい」が32.4%、「事務等の間接経費に負担が大きい」が23.5%、「介護報酬が適正でない」「運営・運転資金の確保が困難」が20.6%、「従業員の福利厚生など」が14.7%、「事務所の確保や維持が困難」が0.0%となっている。また「特になし」が0.0%となっている。



## (4) 人材確保について

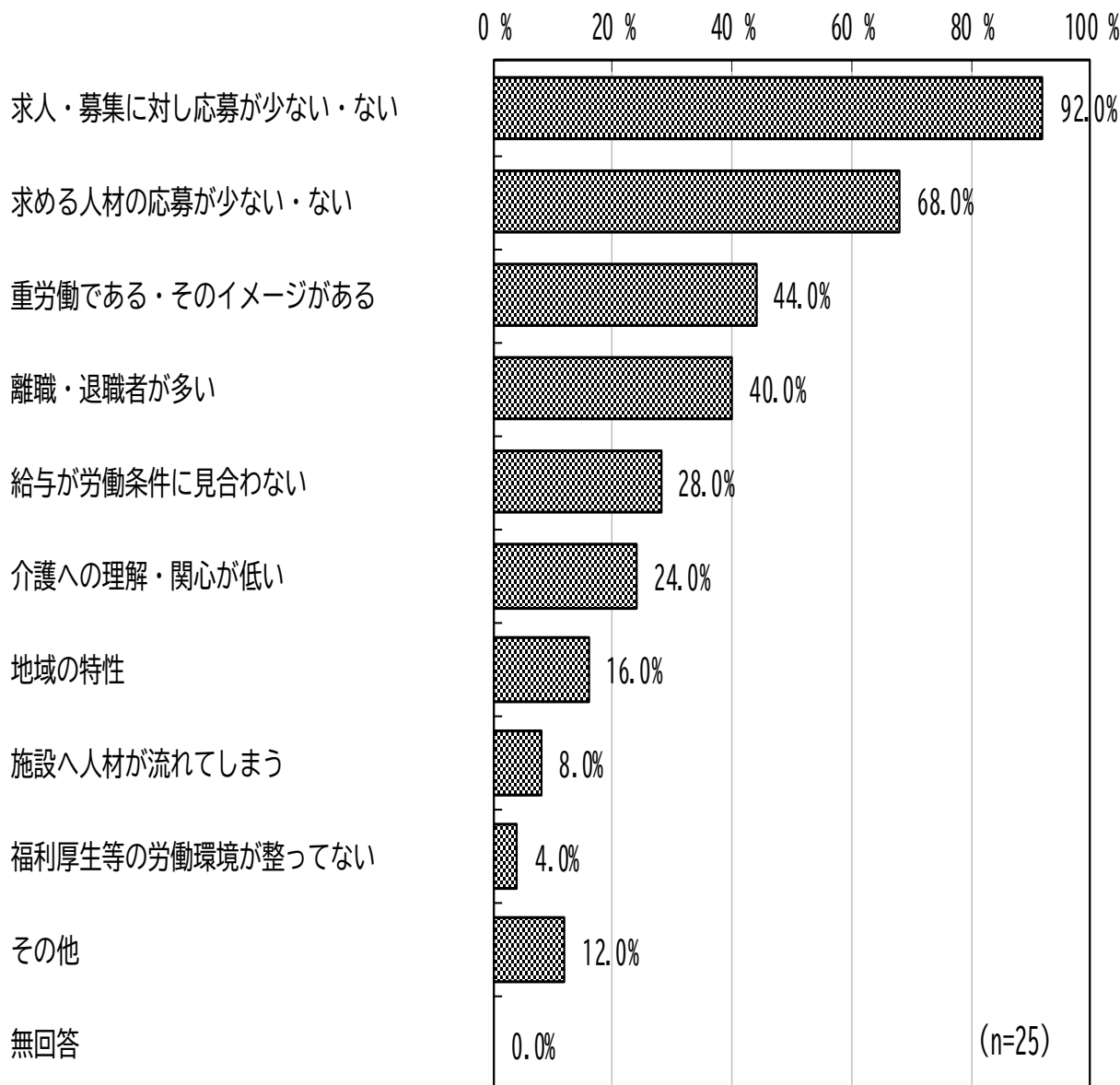
問6 貴事業所では、介護職員等の人材は確保できていますか（1つに○）。

事業所の介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」が55.9%と最も高く、「概ね確保できている」が26.5%、「確保できていない」が17.6%、「確保できている」が0.0%となっている。



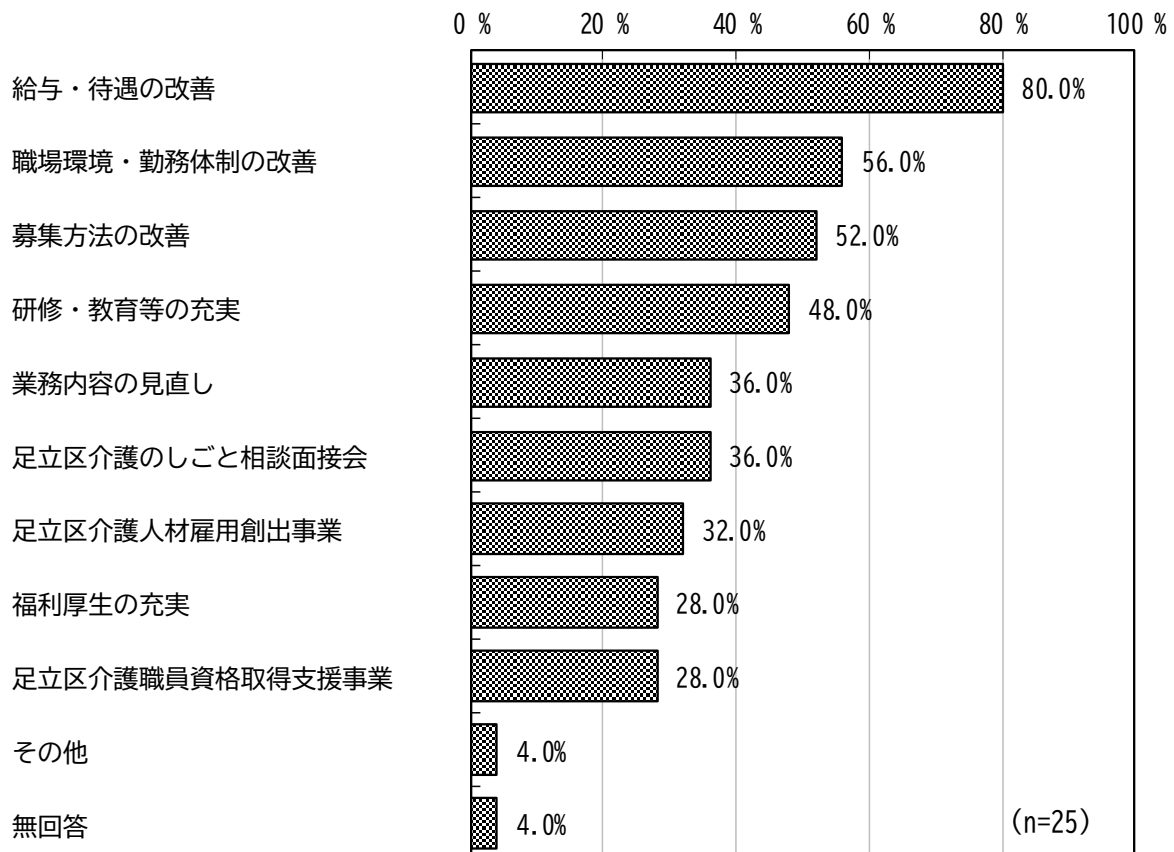
問6-1 その理由は何ですか（いくつでも○）。

介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」または「確保できていない」と回答した事業所の、人材確保が難しい理由として、「求人・募集に対し応募が少ない・ない」が92.0%と最も高く、「求める人材の応募が少ない・ない」が68.0%、「重労働である・そのイメージがある」が44.0%、「離職・退職者が多い」が40.0%、「給与が労働条件に見合わない」が28.0%、「介護への理解・関心が低い」が24.0%、「地域の特性」が16.0%、「施設へ人材が流れてしまう」が8.0%、「福利厚生等の労働環境が整ってない」が4.0%となっている。



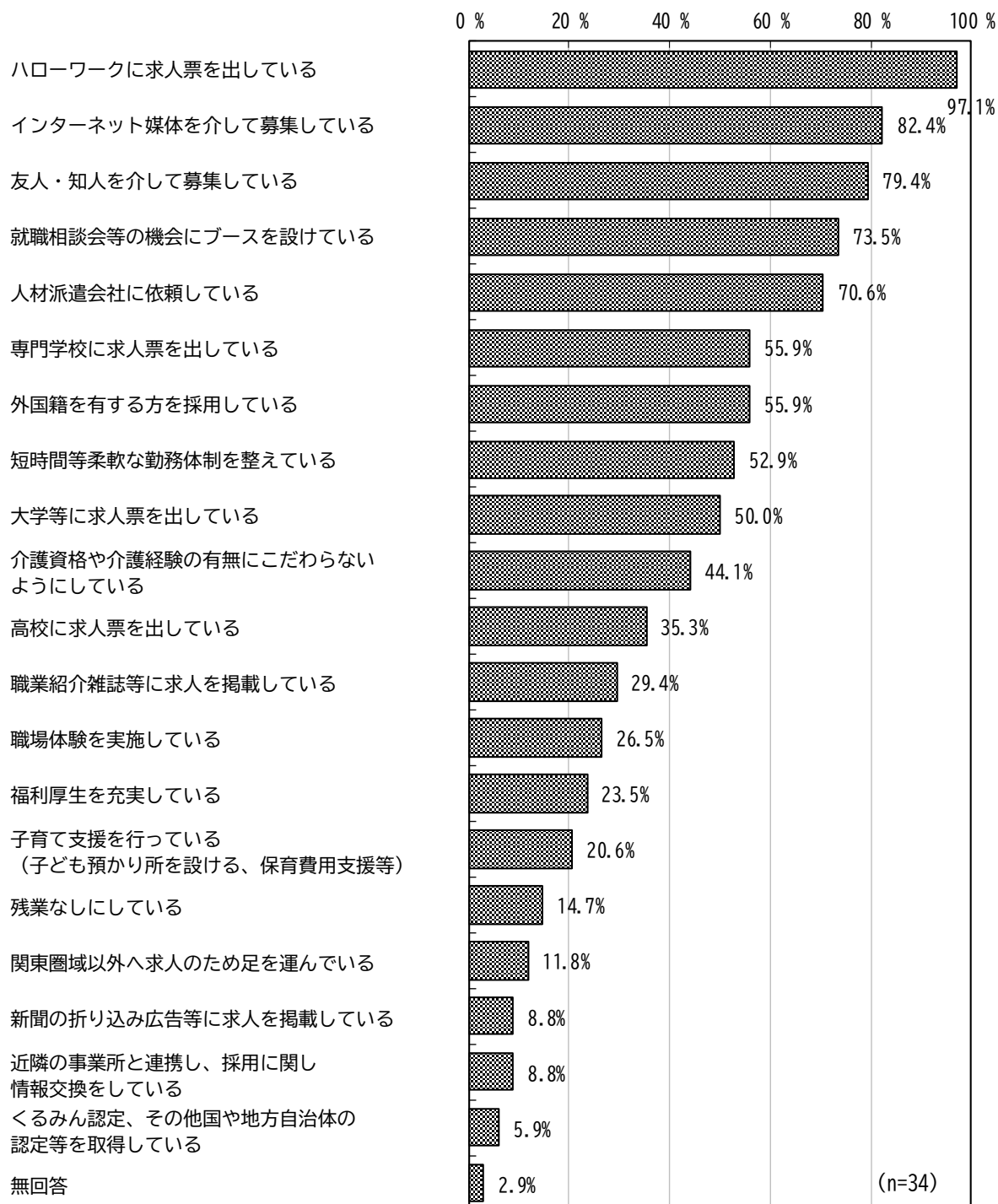
## 問6-2 人材確保支援策として有効だと思うものは何ですか（いくつでも○）。

介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」または「確保できていない」と回答した事業所の、人材確保支援策として有効だと思うものについて、「給与・待遇の改善」が80.0%と最も高く、「職場環境・勤務体制の改善」が56.0%、「募集方法の改善」が52.0%、「研修・教育等の充実」が48.0%、「業務内容の見直し」「足立区介護のしごと相談面接会」が36.0%、「足立区介護人材雇用創出事業」が32.0%、「福利厚生充実」「足立区介護職員資格取得支援事業」が28.0%となっている。



問7 貴事業所では、職員の募集（採用）にあたりどのような工夫を行っていますか（いくつでも○）。

事業所の職員募集の方法について、「ハローワークに求人票を出している」が97.1%と最も高く、「インターネット媒体を介して募集している」が82.4%、「友人・知人を介して募集している」が79.4%、「就職相談会等の機会にブースを設けている」が73.5%、「人材派遣会社に依頼している」が70.6%と続いている。





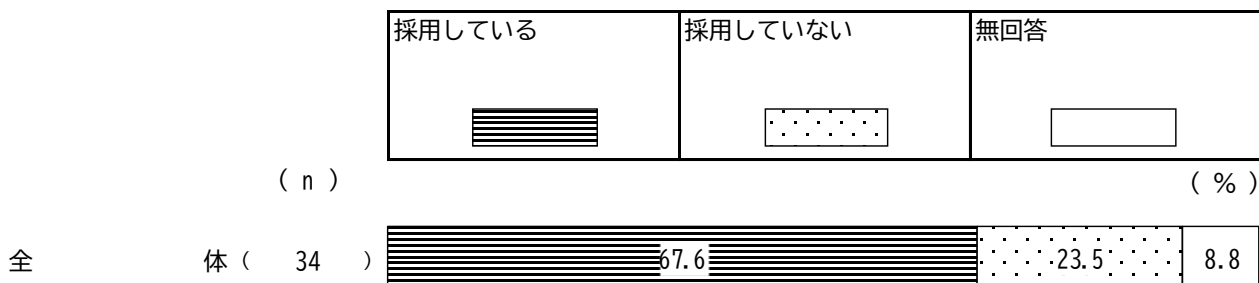
## 問7-1 問7の職員募集で効果のあったものは何ですか（3つまで数字を記入）。

職員募集で効果のあったものとして、「インターネット媒体を介して募集している」が44.1%と最も高く、「友人・知人を介して募集している」が32.4%、「人材派遣会社に依頼している」が29.4%、「ハローワークに求人票を出している」が26.5%、「就職相談会等の機会にブースを設けている」が20.6%と続いている。



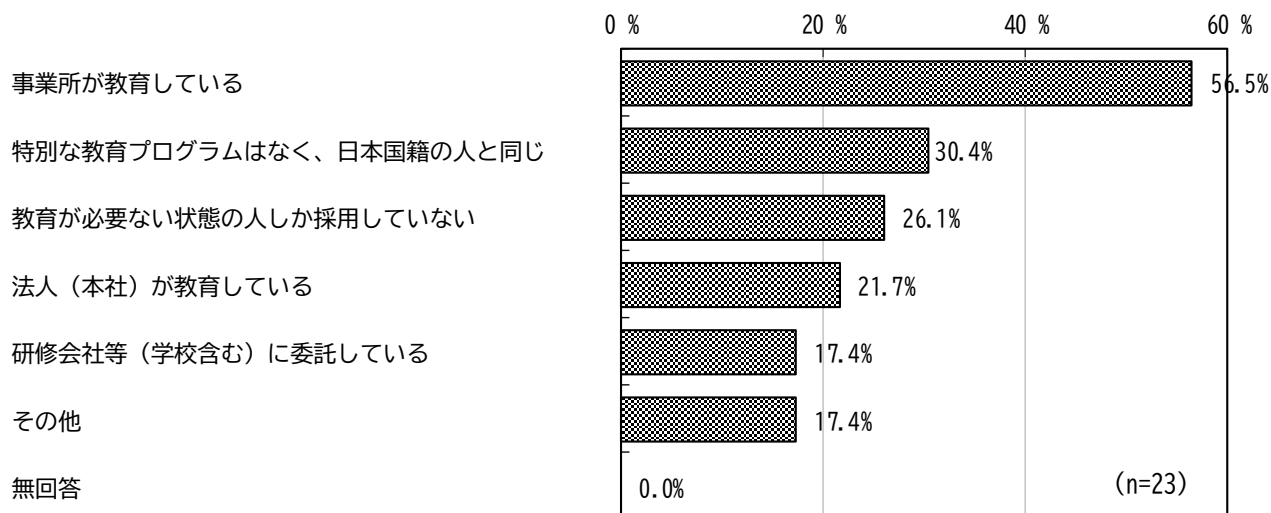
問8 貴事業者では、外国籍を有する方を積極的に採用していますか（1つに○）。

外国籍を有する方の採用について、積極的に「採用している」が67.6%と最も高く、「採用していない」が23.5%となっている。



問8-1 外国籍を有する方を積極的に採用している場合、必要な教育はどのようにしていますか（いくつでも○）。

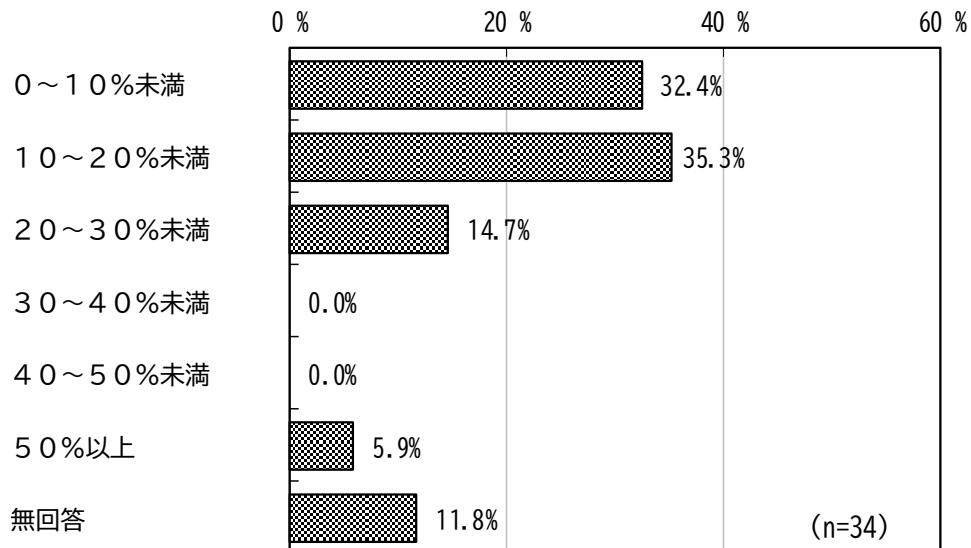
外国籍を有する方を積極的に「採用している」と回答した事業所の、必要な教育の実施状況について、「事業所が教育している」が56.5%と最も高く、「特別な教育プログラムはなく、日本国籍の人と同じ」が30.4%、「教育が必要ない状態の人しか採用していない」が26.1%、「法人（本社）が教育している」が21.7%、「研修会社等（学校含む）に委託している」が17.4%となっている。



問9 令和3年(1月～12月)の入職率と離職率についてお答えください  
(それぞれ1つに○)。

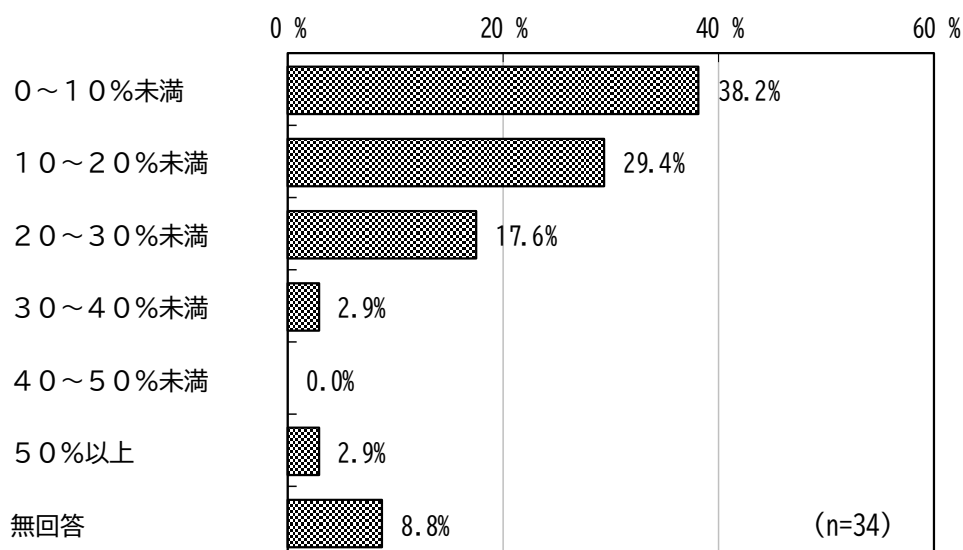
### ① 正規職員 入職率

令和3年(1月から12月)の正規職員の入職率について、「10～20%未満」が35.3%と最も高く、「0～10%未満」が32.4%、「20～30%未満」が14.7%、「50%以上」が5.9%、「30～40%未満」「40～50%未満」が0.0%となっている。



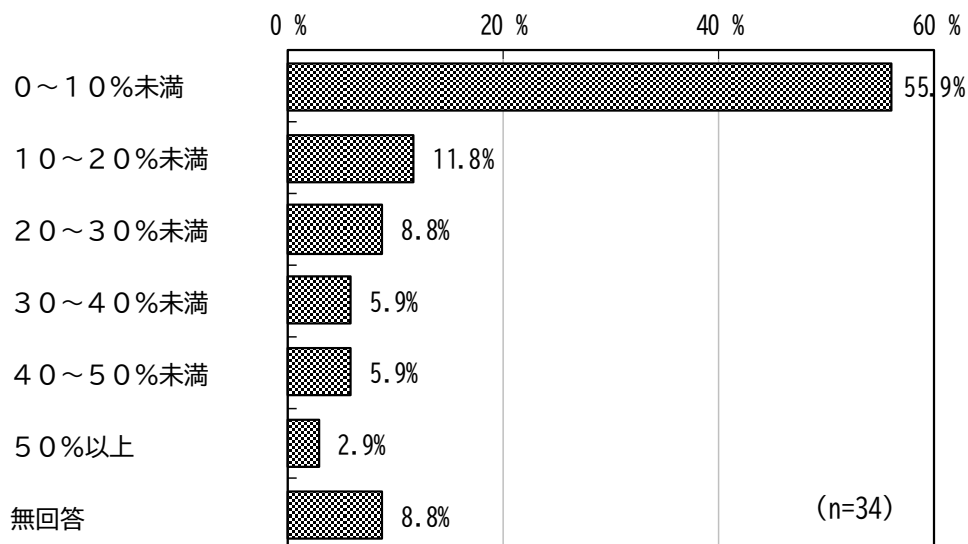
### ② 正規職員 離職率

令和3年(1月から12月)の正規職員の離職率について、「0～10%未満」が38.2%と最も高く、「10～20%未満」が29.4%、「20～30%未満」が17.6%、「30～40%未満」が2.9%、「50%以上」が2.9%、「40～50%未満」が0.0%となっている。



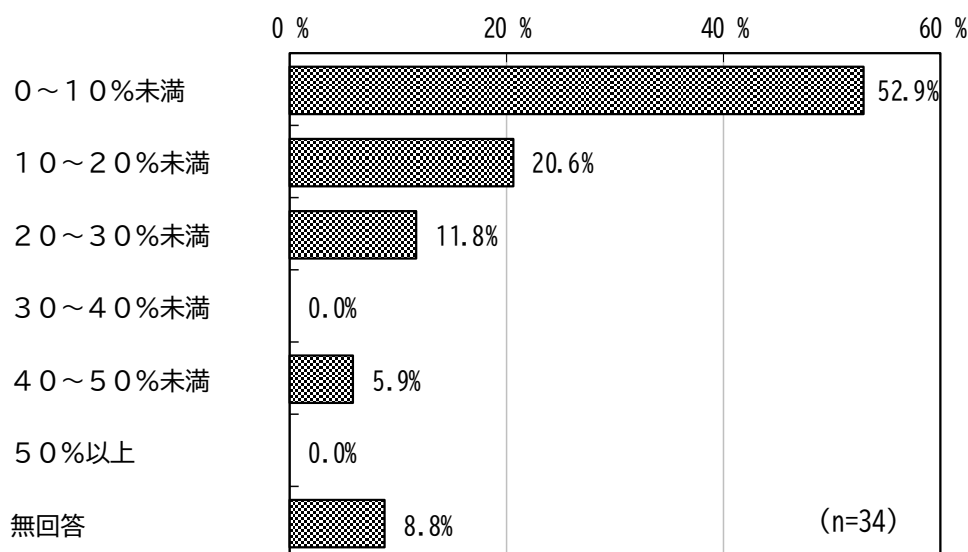
③ 非正規職員 入職率

令和3年(1月から12月)の非正規職員の入職率について、「0～10%未満」が55.9%と最も高く、「10～20%未満」が11.8%、「20～30%未満」が8.8%、「30～40%未満」が5.9%、「40～50%未満」が5.9%、「50%以上」が2.9%となっている。



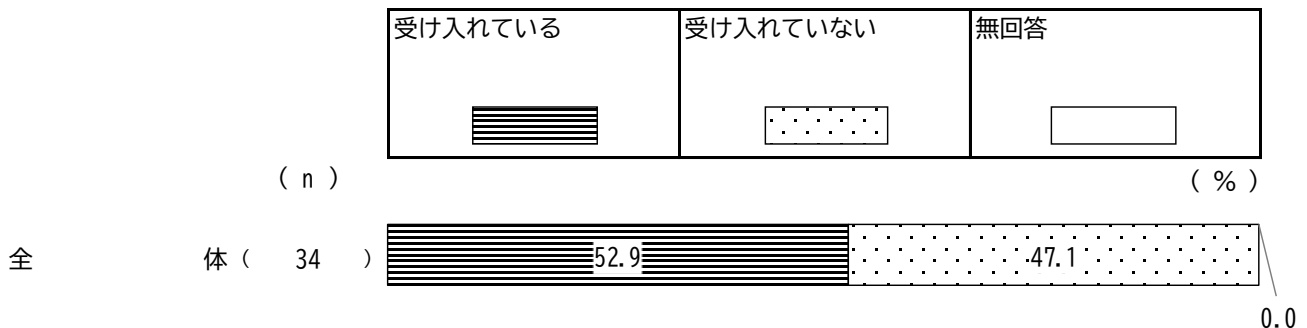
④ 非正規職員 離職率

令和3年(1月から12月)の非正規職員の離職率について、「0～10%未満」が52.9%と最も高く、「10～20%未満」が20.6%、「20～30%未満」が11.8%、「40～50%未満」が5.9%、「30～40%未満」「50%以上」が0.0%となっている。



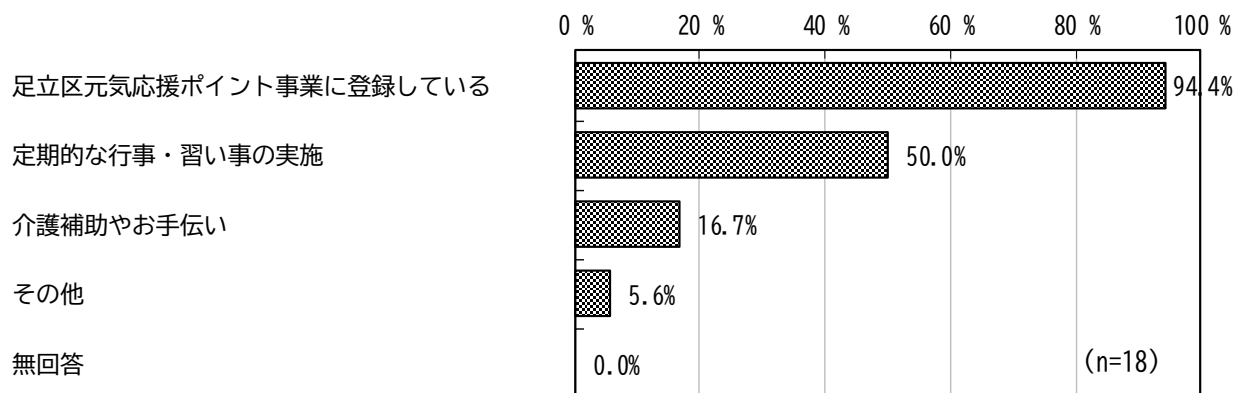
問10 ボランティアの受け入れはしていますか（1つに○）。

ボランティアの受け入れ状況について、「受け入れている」が52.9%、「受け入れていない」が47.1%となっている。



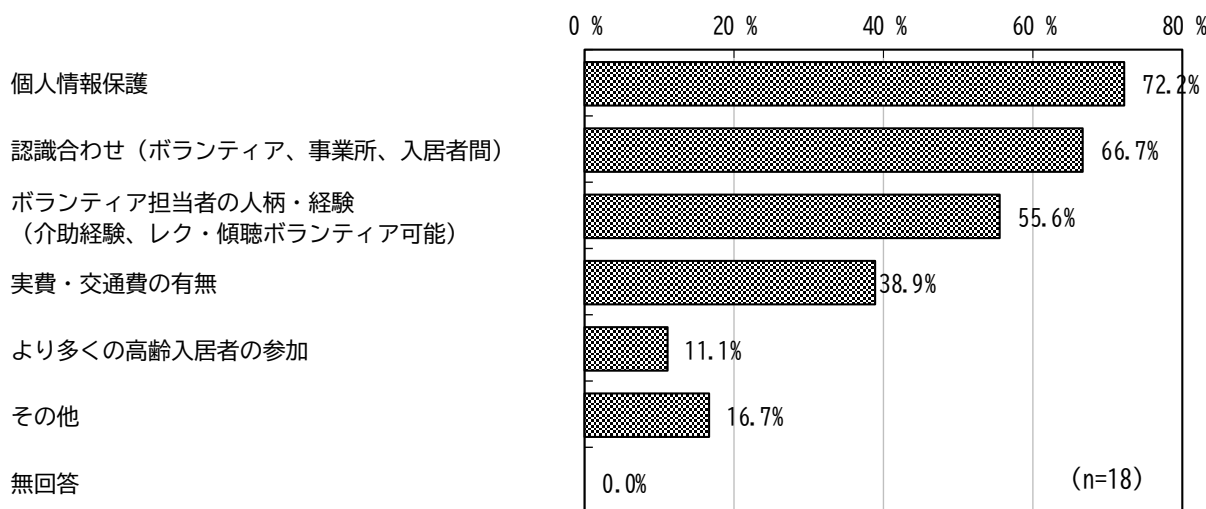
問10-1 ボランティアの活動内容は何ですか（いくつでも○）。

ボランティアを「受け入れている」事業所において、ボランティアの活動内容として、「足立区元気応援ポイント事業に登録している」が94.4%と最も高く、「定期的な行事・習い事の実施」が50.0%、「介護補助やお手伝い」が16.7%となっている。



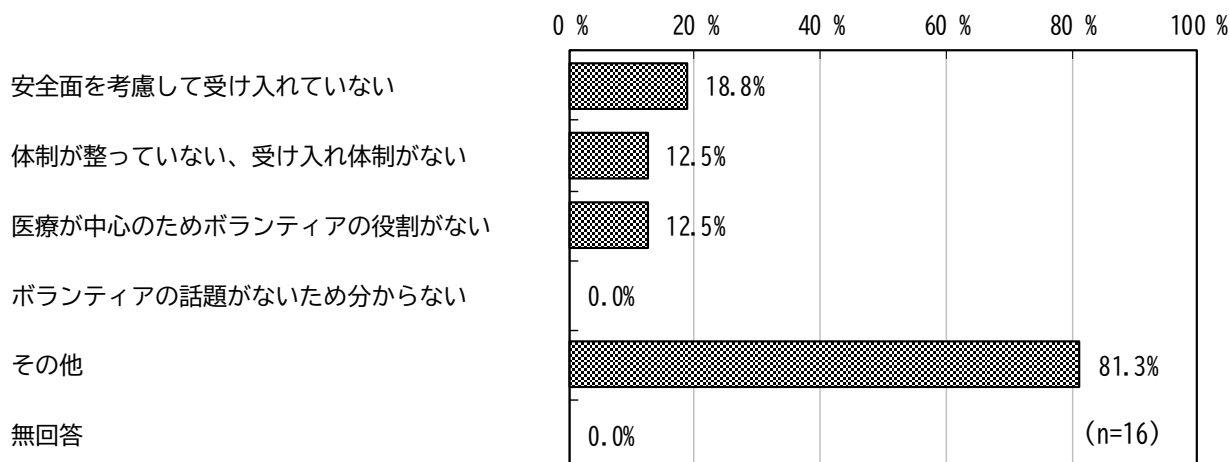
問10-2 ボランティアを受け入れる際の課題や注意していることは何ですか (いくつでも○)。

ボランティアを「受け入れている」事業所において、ボランティアを受け入れる際の課題や注意点として、「個人情報保護」が72.2%と最も高く、「認識合わせ（ボランティア、事業所、入居者間）」が66.7%、「ボランティア担当者の人柄・経験（介助経験、レク・傾聴ボランティア可能）」が55.6%、「実費・交通費の有無」が38.9%、「より多くの高齢入居者の参加」が11.1%となっている。



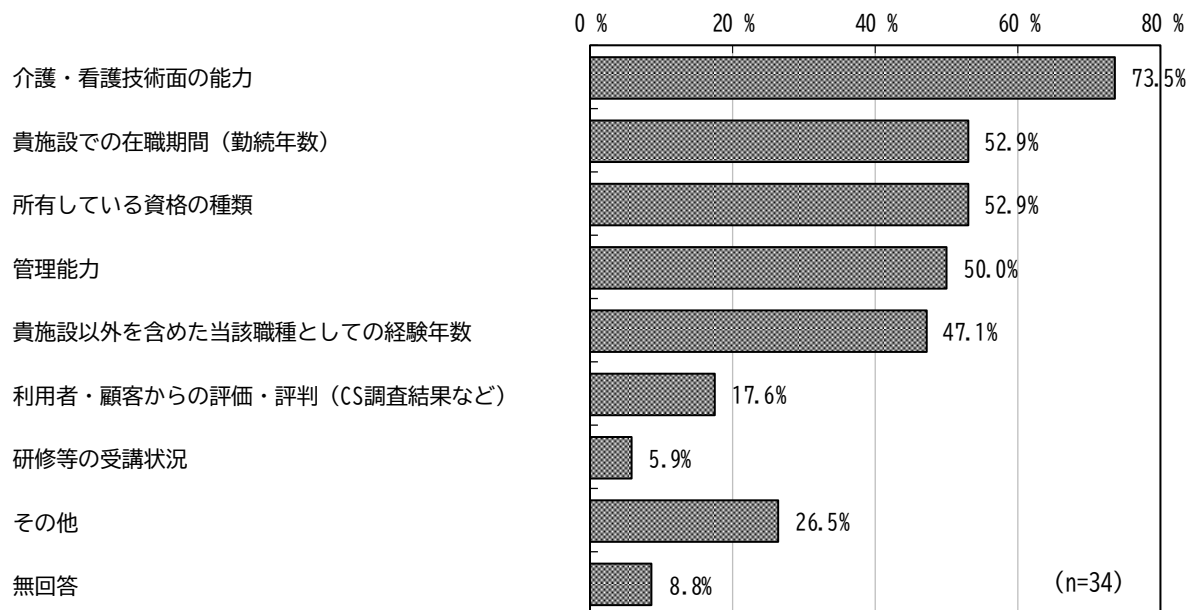
問10-3 ボランティアを受け入れていない理由は何ですか (いくつでも○)。

ボランティアを「受け入れていない」事業所において、ボランティアを受け入れていない理由として、「その他」を除くと、「安全面を考慮して受け入れていない」が18.8%と最も高く、「体制が整っていない、受け入れ体制がない」「医療が中心のためボランティアの役割がない」が12.5%、「ボランティアの話題がないため分からない」が0.0%となっている。



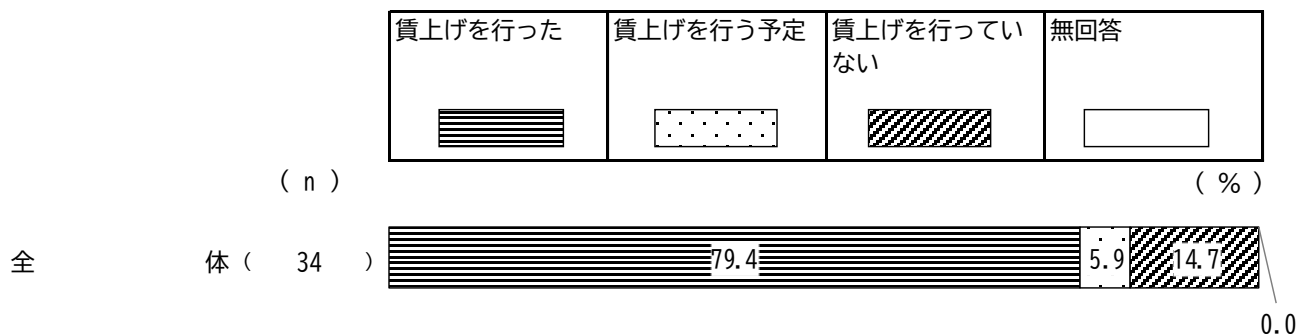
問11 質の高い人材を確保するために、貴事業所では昇進、昇給等に際して、どのような基準で評価を行っていますか（いくつでも○）。

質の高い人材を確保するための昇進、昇給等に際しての基準として、「介護・看護技術面の能力」が73.5%と最も高く、「貴施設での在職期間（勤続年数）」「所有している資格の種類」が52.9%、「管理能力」が50.0%、「貴施設以外を含めた当該職種としての経験年数」が47.1%、「利用者・顧客からの評価・評判（CS調査結果など）」が17.6%、「研修等の受講状況」が5.9%となっている。



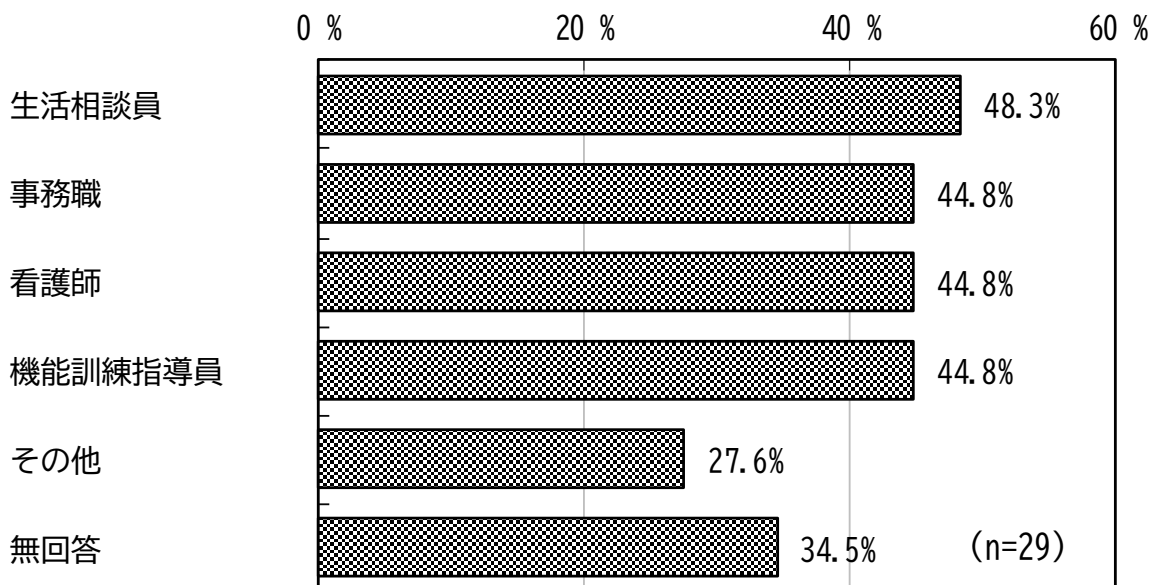
問12 令和4年2月～9月の介護職員処遇改善支援補助金（令和4年10月～のベースアップ加算）を活用し、介護職員等の賃上げを行いましたか（1つに○）。

介護職員処遇改善支援補助金を活用した介護職員等の賃上げについて、「賃上げを行った」が79.4%と最も高く、「賃上げを行っていない」が14.7%、「賃上げを行う予定」が5.9%となっている。



問12-1 令和4年2月～9月の介護職員処遇改善支援補助金（令和4年10月～のベースアップ加算）を活用し、介護職員以外に賃上げを行った（または、賃上げを行う予定の）職種があれば教えてください（いくつでも○）。

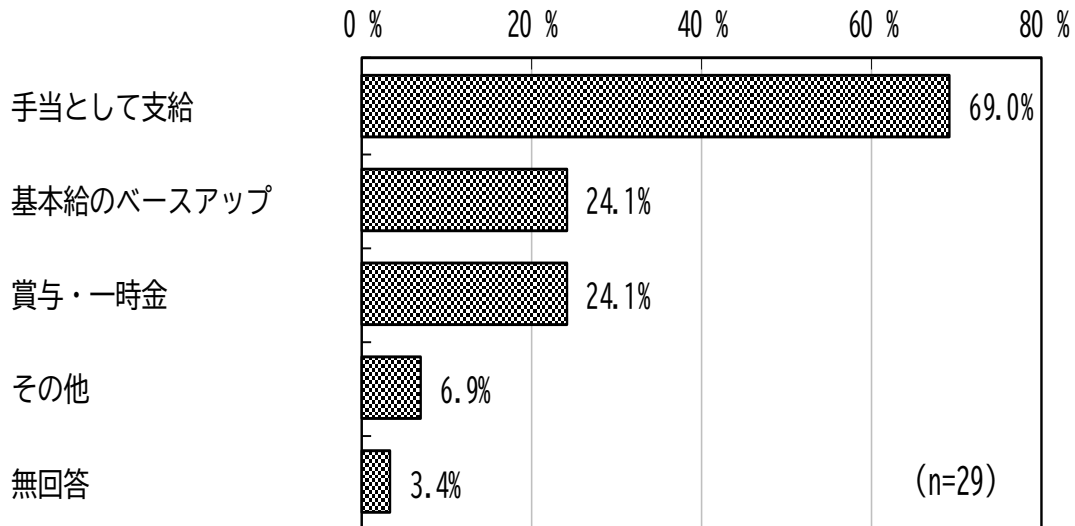
介護職員等の「賃上げを行った」または「賃上げを行う予定」と回答した事業所の、介護職員以外に賃上げを行った職種について、「生活相談員」が48.3%と最も高く、「事務職」「看護師」「機能訓練指導員」が44.8%となっている。





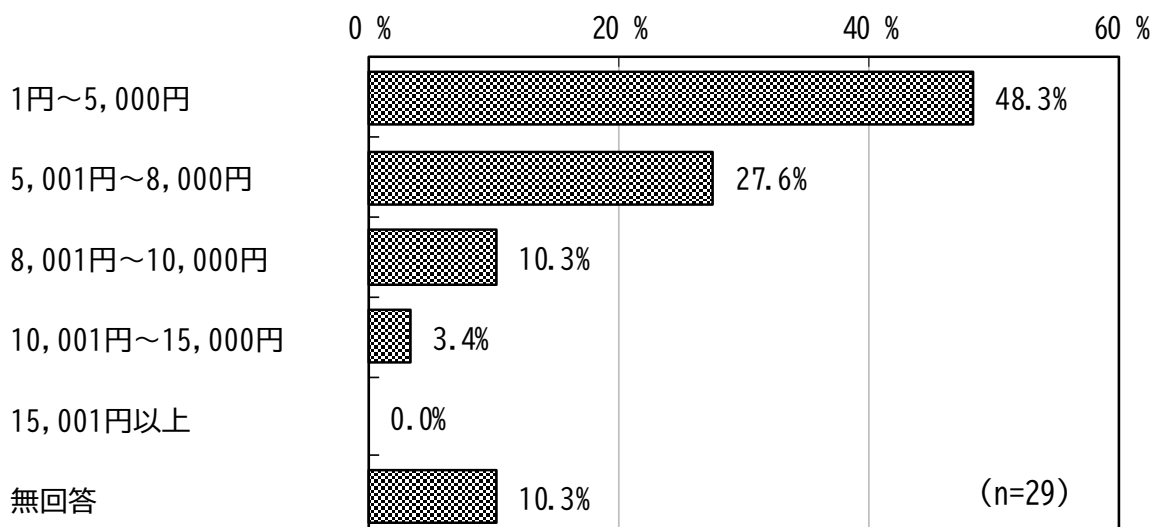
## 問12-2 介護職員等の賃金改善はどのように行いましたか（いくつでも○）。

介護職員等の「賃上げを行った」または「賃上げを行う予定」と回答した事業所の、介護職員等の賃金改善の方法について、「手当として支給」が69.0%と最も高く、「基本給のベースアップ」「賞与・一時金」が24.1%となっている。



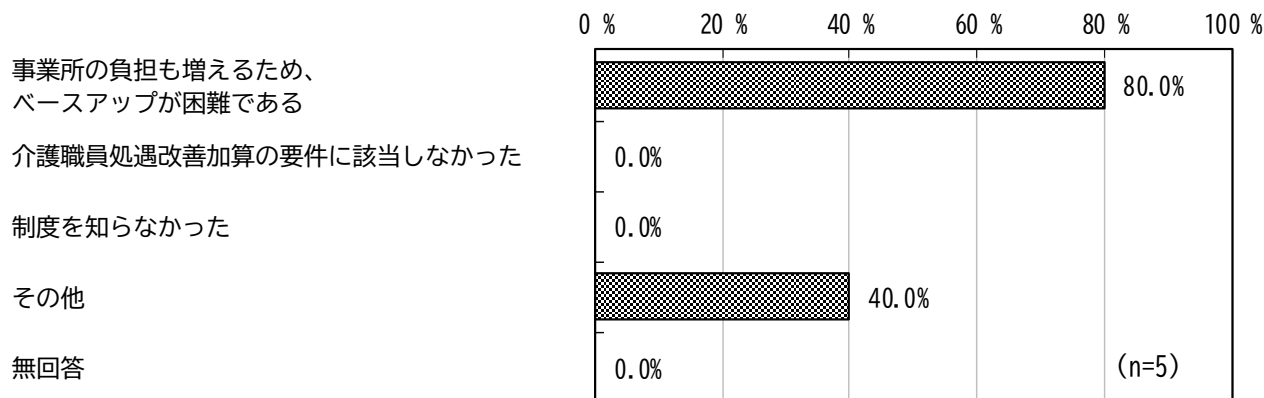
## 問12-3 職員1人あたりの賃上げ平均額は月額（換算）でいくらですか（1つに○）。

介護職員等の「賃上げを行った」または「賃上げを行う予定」と回答した事業所の、職員1人あたりの賃上げ平均額について、「1円～5,000円」が48.3%と最も高く、「5,001円～8,000円」が27.6%、「8,001円～10,000円」が10.3%、「10,001円～15,000円」が3.4%、「15,001円以上」が0.0%となっている。



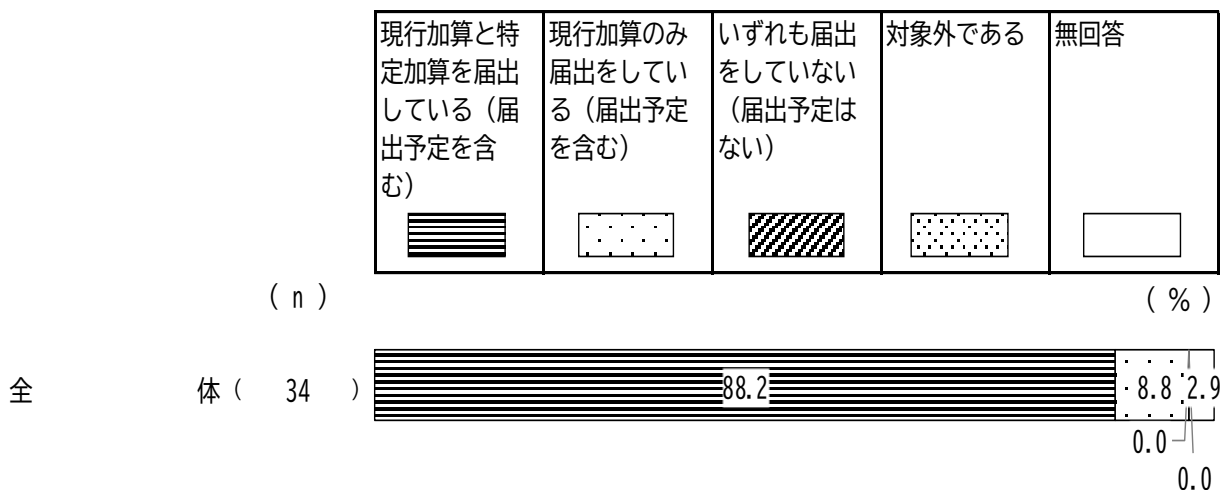
問12-4 賃上げを行わなかった理由は何ですか（いくつでも○）。

介護職員等の「賃上げを行っていない」と回答した事業所の、賃上げを行わなかった理由について、「事業所の負担も増えるため、ベースアップが困難である」が80.0%と最も高く、「介護職員処遇改善加算の要件に該当しなかった」「制度を知らなかった」が0.0%となっている。



問13 貴事業所では、介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）を届出していますか（1つに○）。

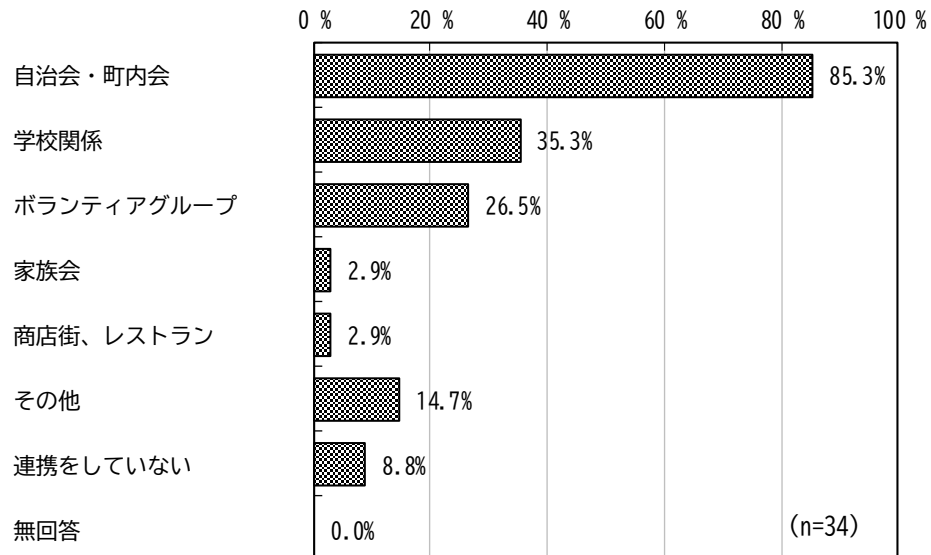
介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）の届出状況について、「現行加算と特定加算を届出している（届出予定を含む）」が88.2%と最も高く、「現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）」が8.8%、「いずれも届出をしていない（届出予定はない）」が2.9%、「対象外である」が0.0%となっている。



## (5) 関係機関との連携やサービスの質の向上について

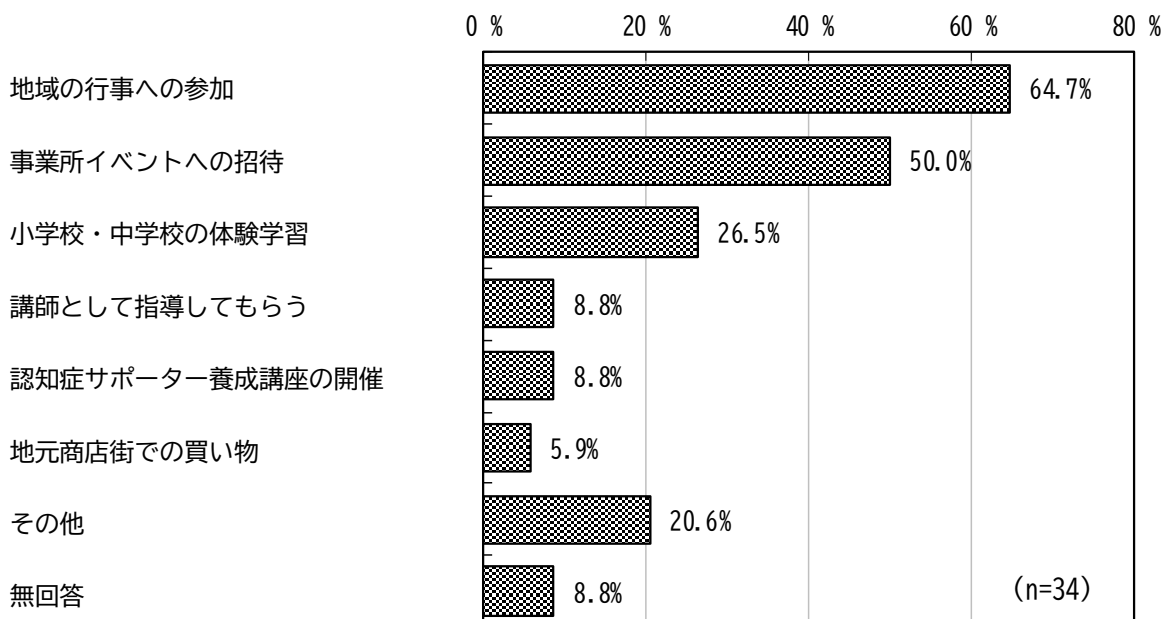
## 問14 地域のどのような組織と連携をしていますか (いくつでも○)。

地域の連携先として、「自治会・町内会」が85.3%と最も高く、「学校関係」が35.3%、「ボランティアグループ」が26.5%、「家族会」「商店街、レストラン」が2.9%となっている。また「連携をしていない」が8.8%となっている。



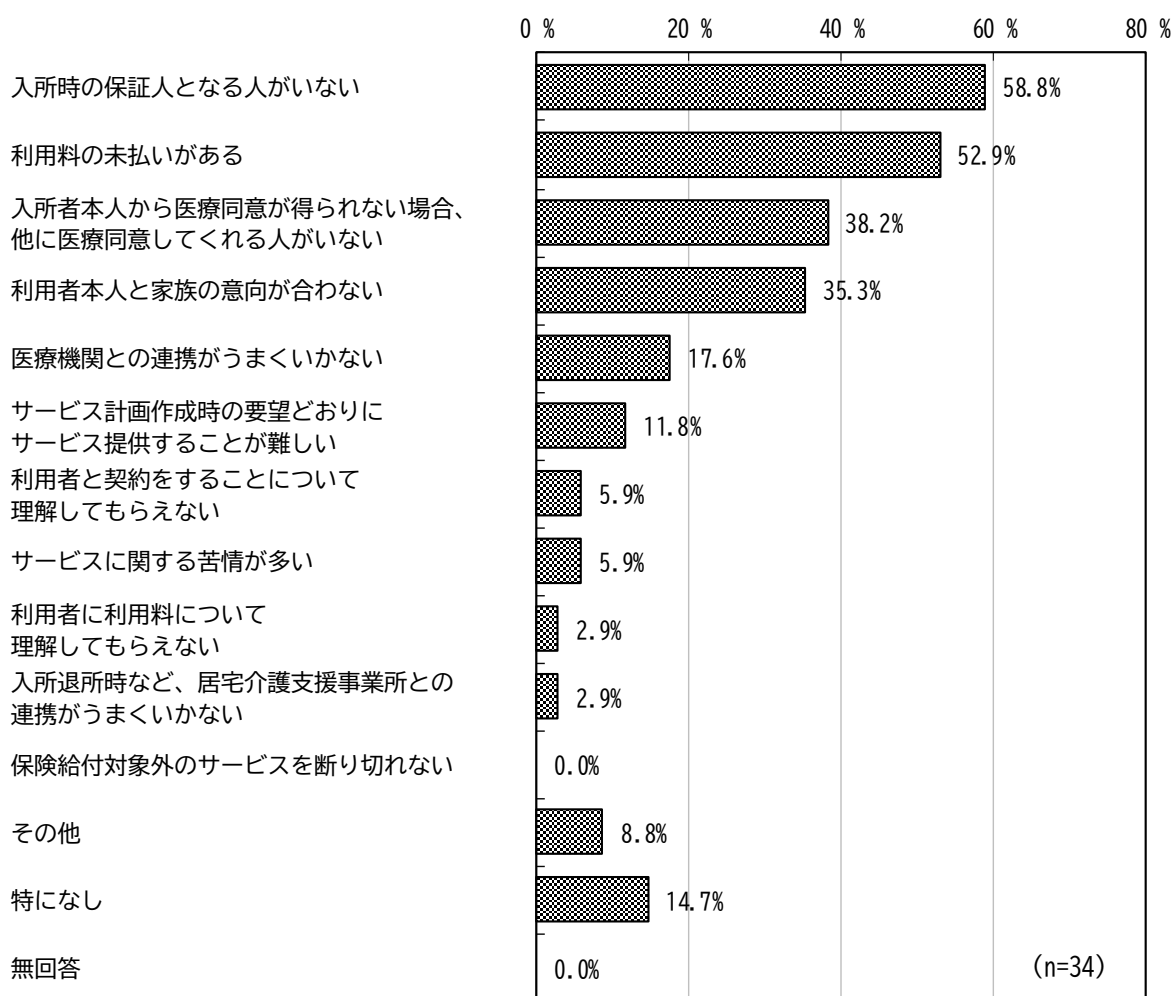
## 問15 地域とどのような連携をしていますか (いくつでも○)。

地域との連携方法として、「地域の行事への参加」が64.7%と最も高く、「事業所イベントへの招待」が50.0%、「小学校・中学校の体験学習」が26.5%、「講師として指導してもらおう」「認知症サポーター養成講座の開催」が8.8%、「地元商店街での買い物」が5.9%となっている。



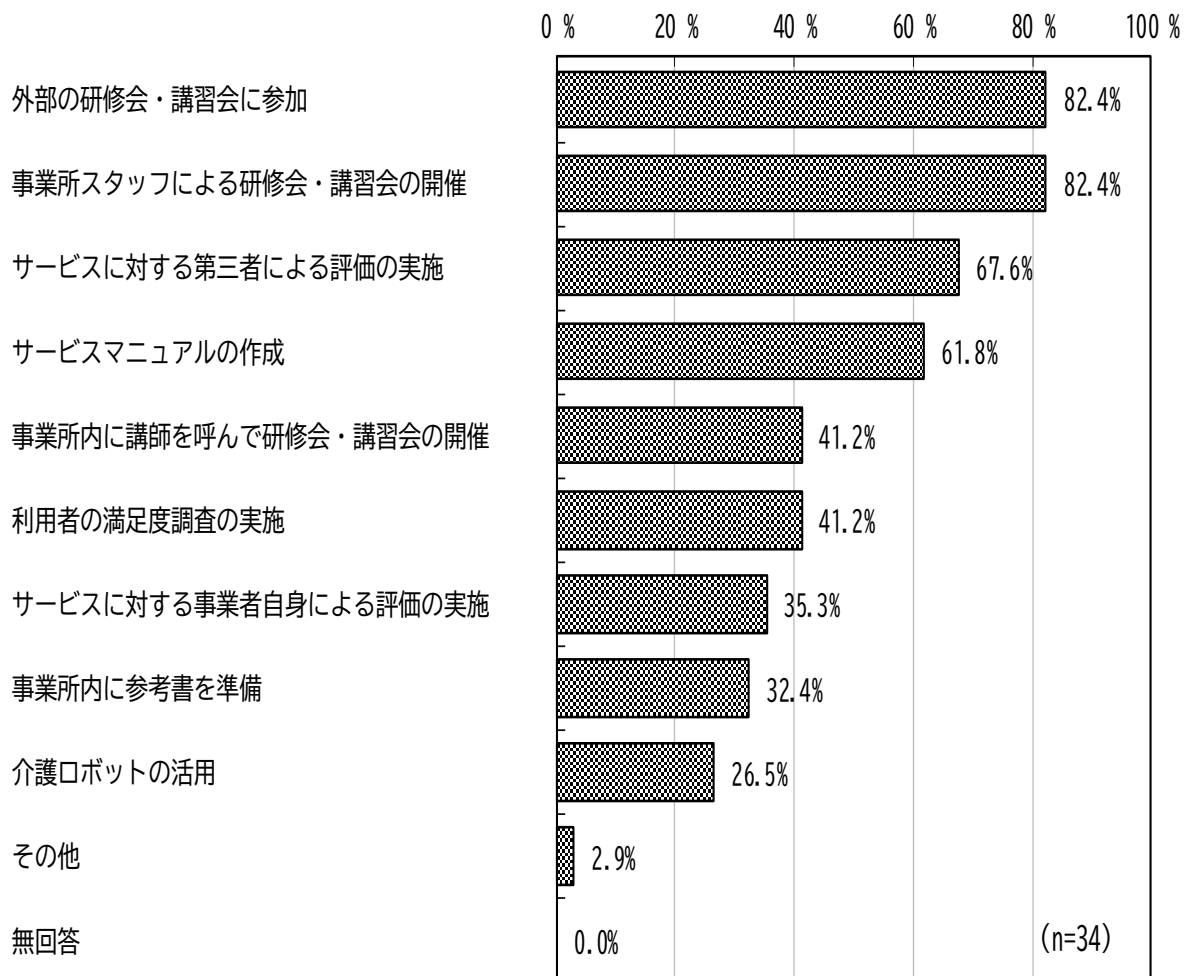
問16 事業を実施するうえで、利用者やその家族等との関係でどのような問題点や課題がありますか（いくつでも○）。

事業を実施するうえでの利用者やその家族等との関係上の問題点や課題として、「入所時の保証人となる人がいない」が58.8%と最も高く、「利用料の未払いがある」が52.9%、「入所者本人から医療同意が得られない場合、他に医療同意してくれる人がいない」が38.2%、「利用者本人と家族の意向が合わない」が35.3%、「医療機関との連携がうまくいかない」が17.6%、「サービス計画作成時の要望どおりにサービス提供することが難しい」が11.8%、「利用者と契約をすることについて理解してもらえない」「サービスに関する苦情が多い」が5.9%、「利用者に利用料について理解してもらえない」「入所退所時など、居宅介護支援事業所との連携がうまくいかない」が2.9%、「保険給付対象外のサービスを断り切れない」が0.0%となっている。また「特になし」が14.7%となっている。



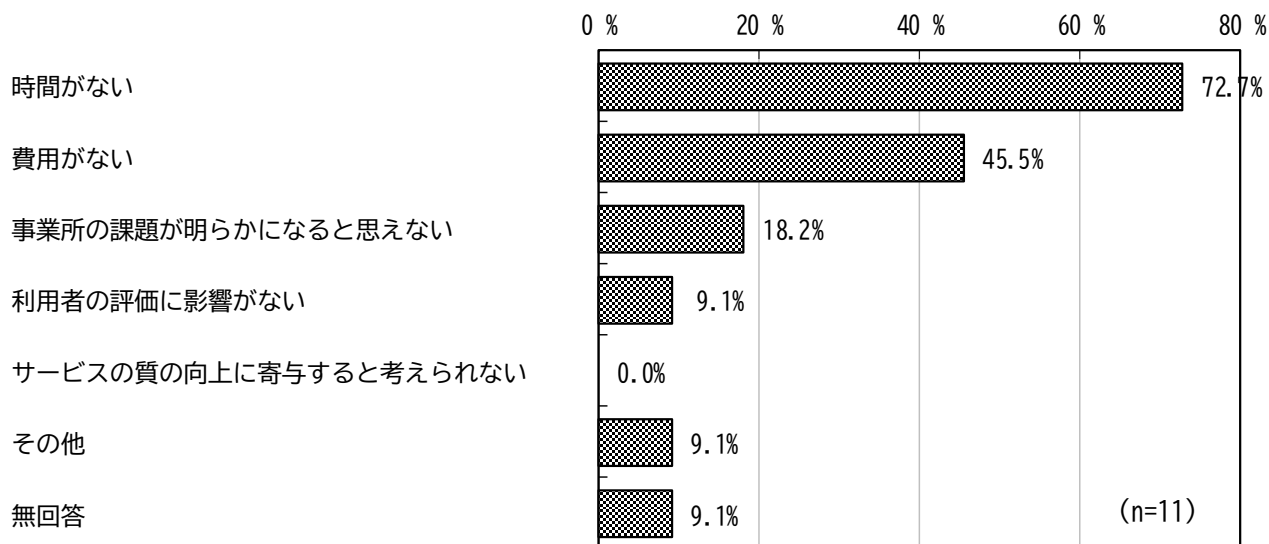
問17 サービスの質の向上にむけて、事業所としての取り組みについてお聞きします。具体的な内容について、現在の状況と今後の予定も含めてお答えください（いくつでも○）。

サービスの質の向上にむけて行っている取り組みについて、「外部の研修会・講習会に参加」「事業所スタッフによる研修会・講習会の開催」が82.4%と最も高く、「サービスに対する第三者による評価の実施」が67.6%、「サービスマニュアルの作成」が61.8%、「事業所内に講師を呼んで研修会・講習会の開催」「利用者の満足度調査の実施」が41.2%、「サービスに対する事業者自身による評価の実施」が35.3%、「事業所内に参考書を準備」が32.4%、「介護ロボットの活用」が26.5%となっている。



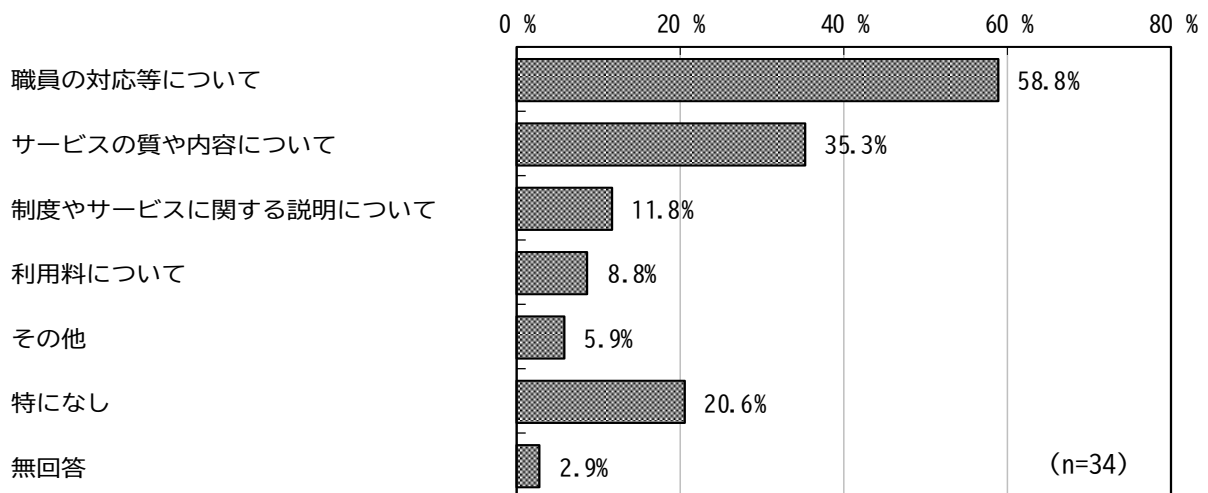
問17-1 第三者評価を受けていない理由を教えてください（いくつでも○）。

サービスの質の向上にむけて、「サービスに対する第三者による評価の実施」を行っていない事業所において、第三者評価を受けていない理由について、「時間がない」が72.7%と最も高く、「費用がない」が45.5%、「事業所の課題が明らかになると思えない」が18.2%、「利用者の評価に影響がない」が9.1%、「サービスの質の向上に寄与すると考えられない」が0.0%となっている。



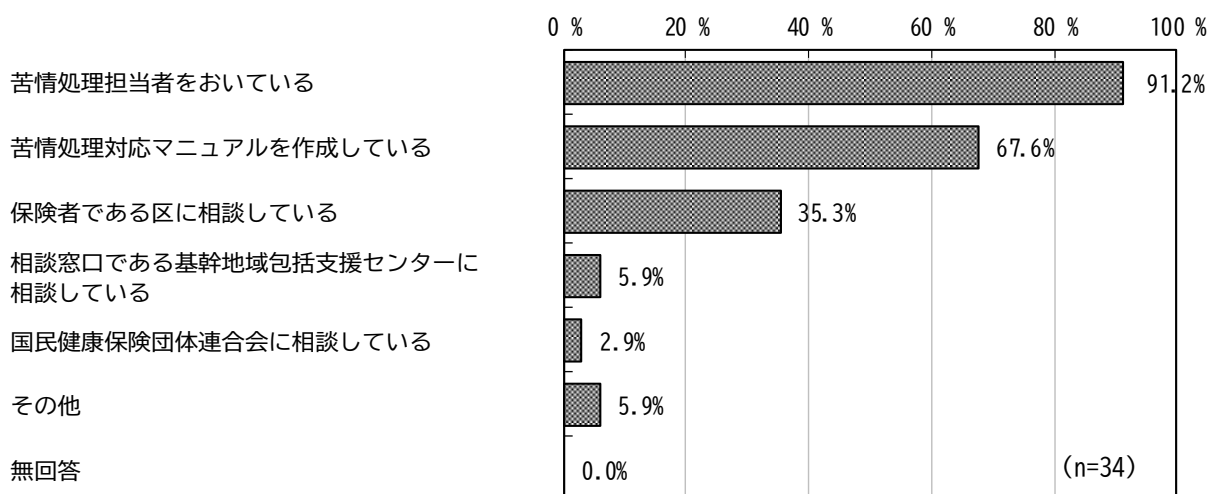
問18 令和3年度以降、利用者やその家族からどのような要望・苦情がありましたか  
(いくつでも○)。

令和3年度以降、利用者やその家族から受けた要望・苦情について、「職員の対応等について」が58.8%と最も高く、「サービスの質や内容について」が35.3%、「制度やサービスに関する説明について」が11.8%、「利用料について」が8.8%となっている。また「特になし」が20.6%となっている。



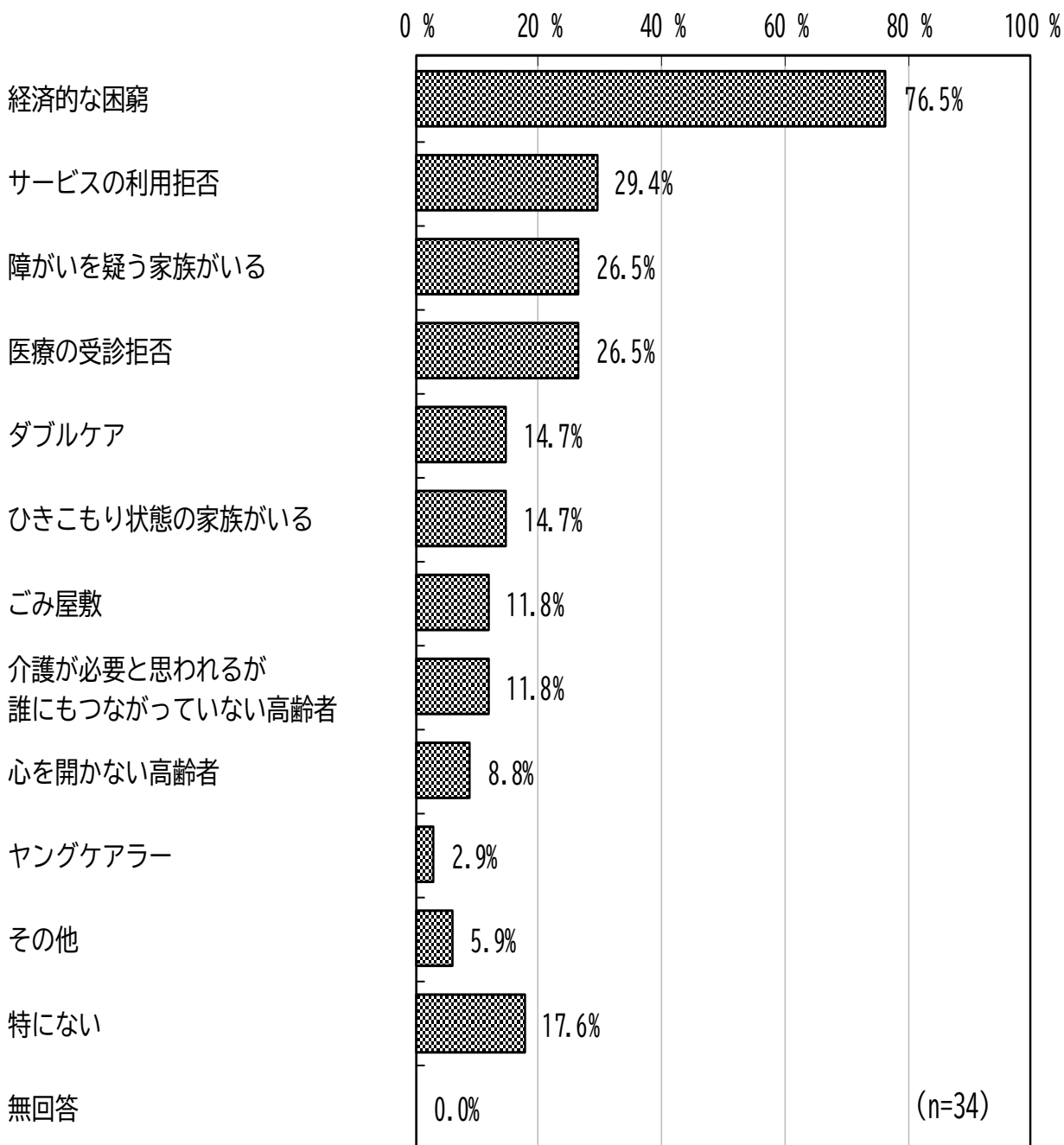
問19 利用者等から苦情があった場合、どのように対応していますか  
(いくつでも○)。

利用者等から苦情があった場合の対応として、「苦情処理担当者をおいている」が91.2%と最も高く、「苦情処理対応マニュアルを作成している」が67.6%、「保険者である区に相談している」が35.3%、「相談窓口である基幹地域包括支援センターに相談している」が5.9%、「国民健康保険団体連合会に相談している」が2.9%となっている。



問20 利用者へのサービス提供を行う中で、気になる相談を受けたり、対応困難な事例に遭遇したことがありますか（いくつでも○）。

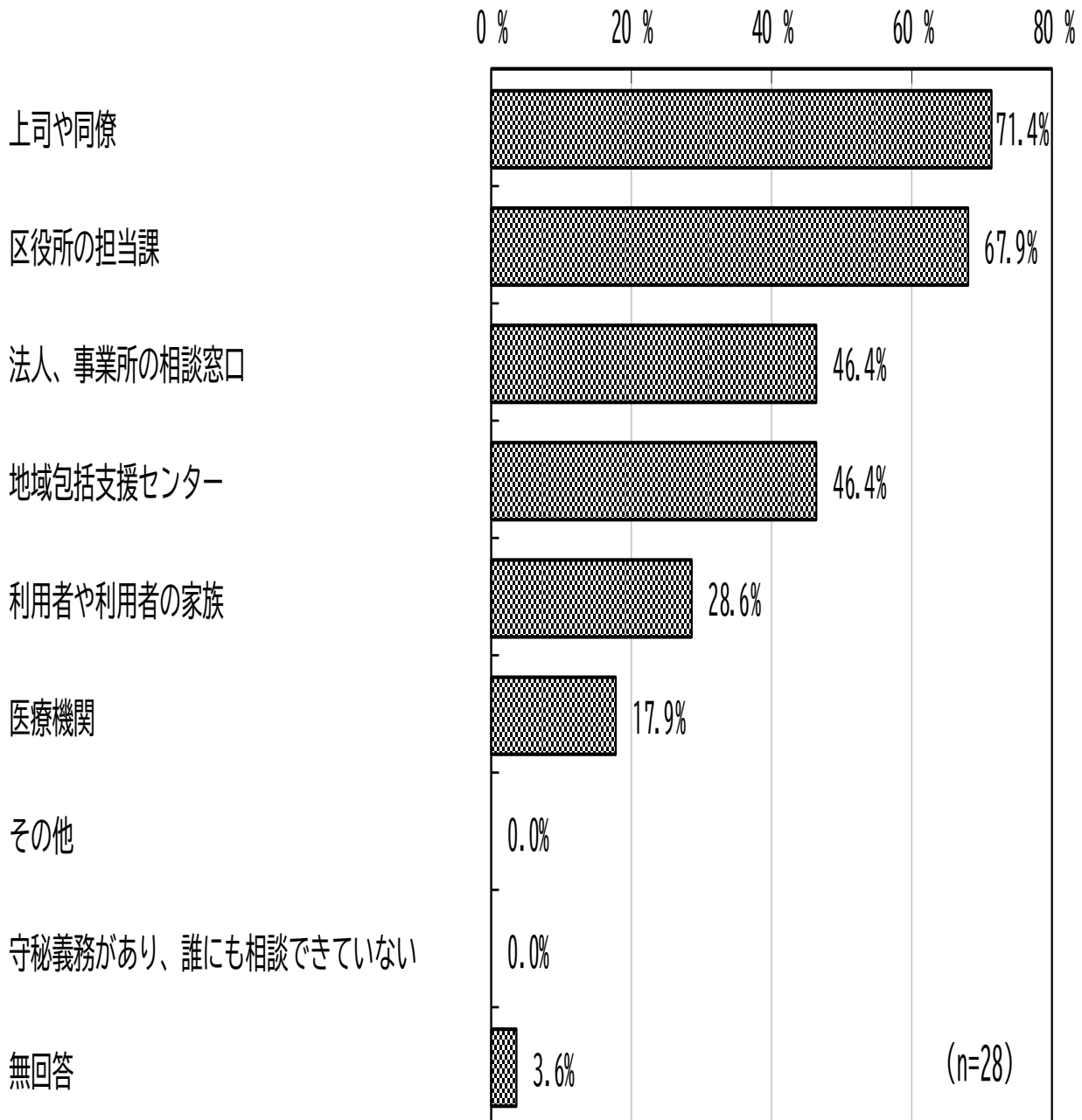
利用者へのサービス提供を行う中で受けた気になる相談や遭遇した対応困難な事例について、「経済的な困窮」が76.5%と最も高く、「サービスの利用拒否」が29.4%、「障がい进行を疑う家族がいる」「医療の受診拒否」が26.5%、「ダブルケア」が14.7%、「ひきこもり状態の家族がいる」が14.7%、「ごみ屋敷」「介護が必要と思われるが誰にもつながっていない高齢者」が11.8%、「心を開かない高齢者」が8.8%、「ヤングケアラー」が2.9%となっている。また「特にない」が17.6%となっている。





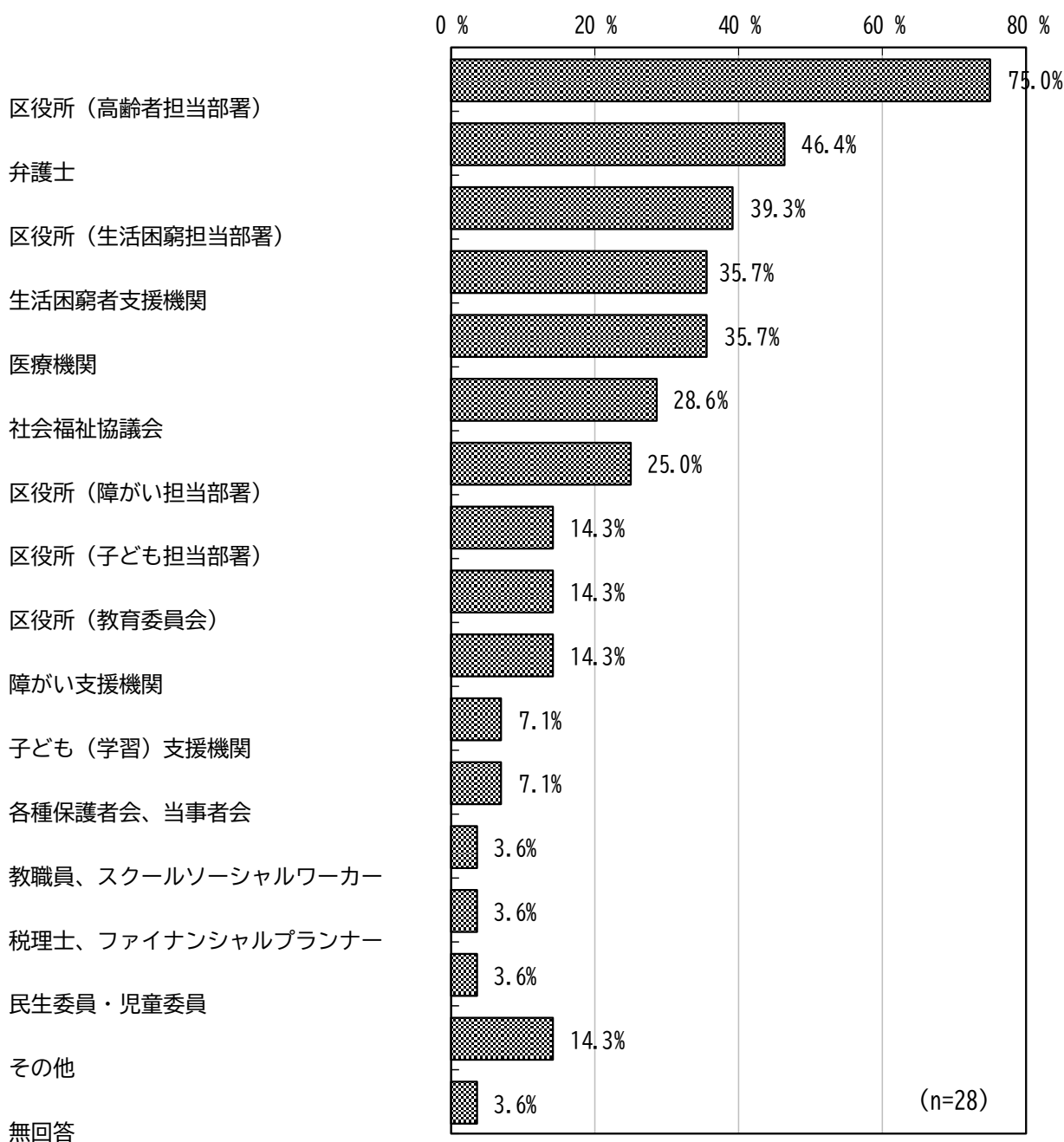
## 問20-1 気になった相談や困難事例を誰に相談していますか（いくつでも○）。

気になった相談や困難事例の相談先について、「上司や同僚」が71.4%と最も高く、「区役所の担当課」が67.9%、「法人、事業所の相談窓口」「地域包括支援センター」が46.4%、「利用者や利用者の家族」が28.6%、「医療機関」が17.9%となっている。また「守秘義務があり、誰にも相談できていない」が0.0%となっている。



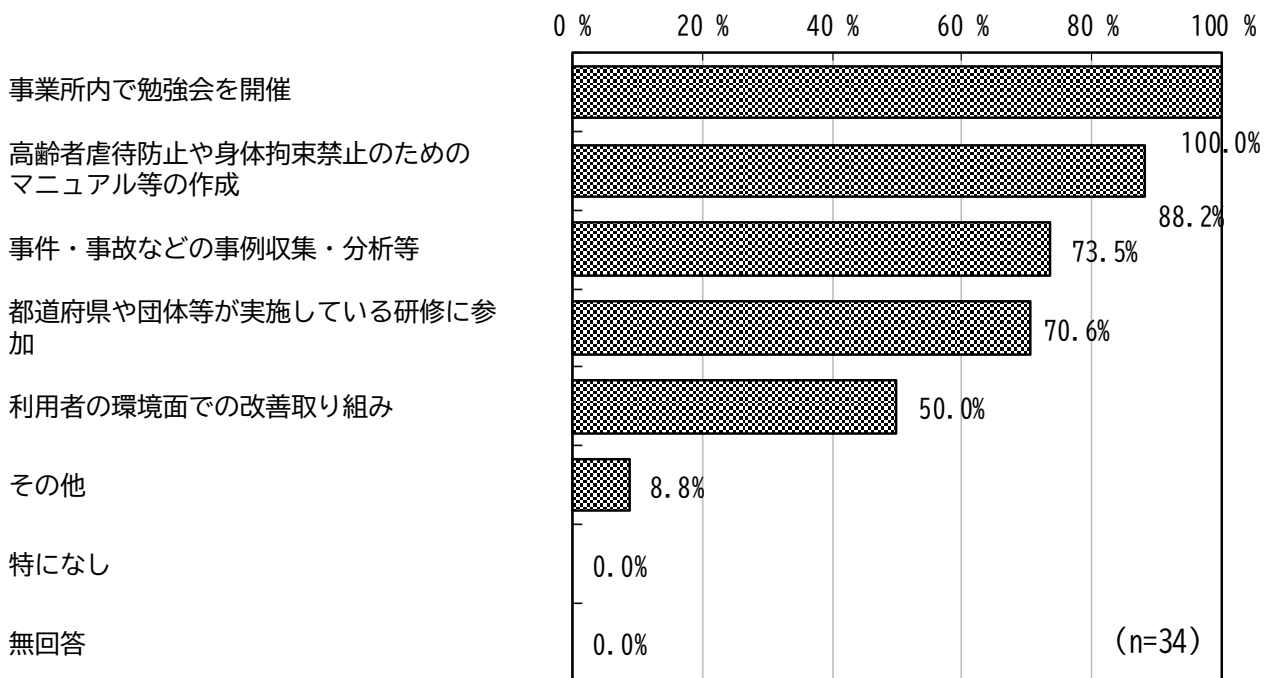
問20-2 気になった相談や困難事例の対応にあたり、誰と連携したいと思いますか  
(いくつでも○)。

気になった相談や困難事例の対応にあたり連携したいと思う先について、「区役所（高齢者担当部署）」が75.0%と最も高く、「弁護士」が46.4%、「区役所（生活困窮担当部署）」が39.3%、「生活困窮者支援機関」「医療機関」が35.7%、「社会福祉協議会」が28.6%、「区役所（障がい担当部署）」が25.0%、「区役所（子ども担当部署）」「区役所（教育委員会）」「障がい支援機関」が14.3%、「子ども（学習）支援機関」「各種保護者会、当事者会」が7.1%、「教職員、スクールソーシャルワーカー」「税理士、ファイナンシャルプランナー」「民生委員・児童委員」が3.6%となっている。



問21 高齢者虐待防止・身体拘束禁止に対する取り組みについて、特に重点を置いているものは何ですか（いくつでも○）。

高齢者虐待防止・身体拘束禁止に対する取り組みとして、「事業所内で勉強会を開催」が100.0%と最も高く、「高齢者虐待防止や身体拘束禁止のためのマニュアル等の作成」が88.2%、「事件・事故などの事例収集・分析等」が73.5%、「都道府県や団体等が実施している研修に参加」が70.6%、「利用者の環境面での改善取り組み」が50.0%となっている。また「特になし」が0.0%となっている。

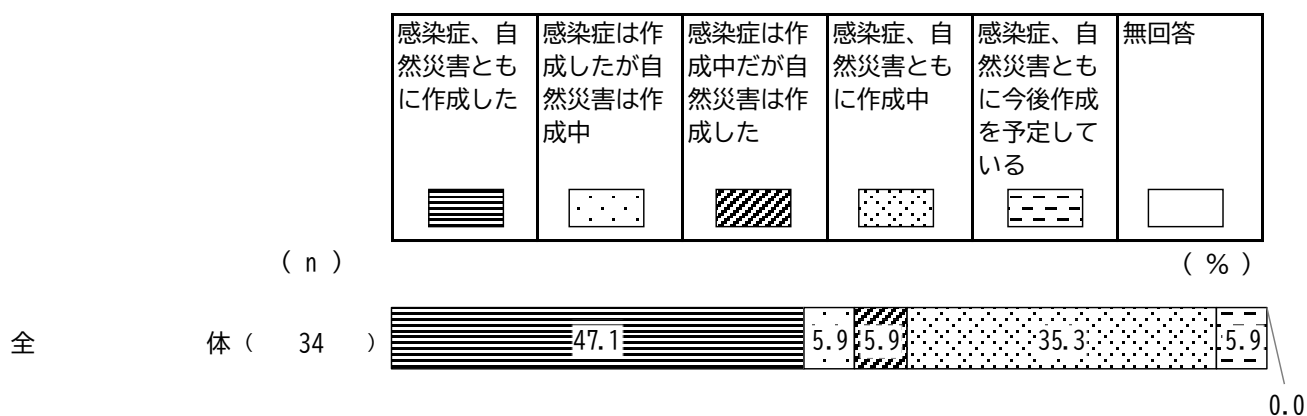


(6) 災害対応について

問22 BCP（事業継続計画）の作成状況について、お答えください（1つに○）。

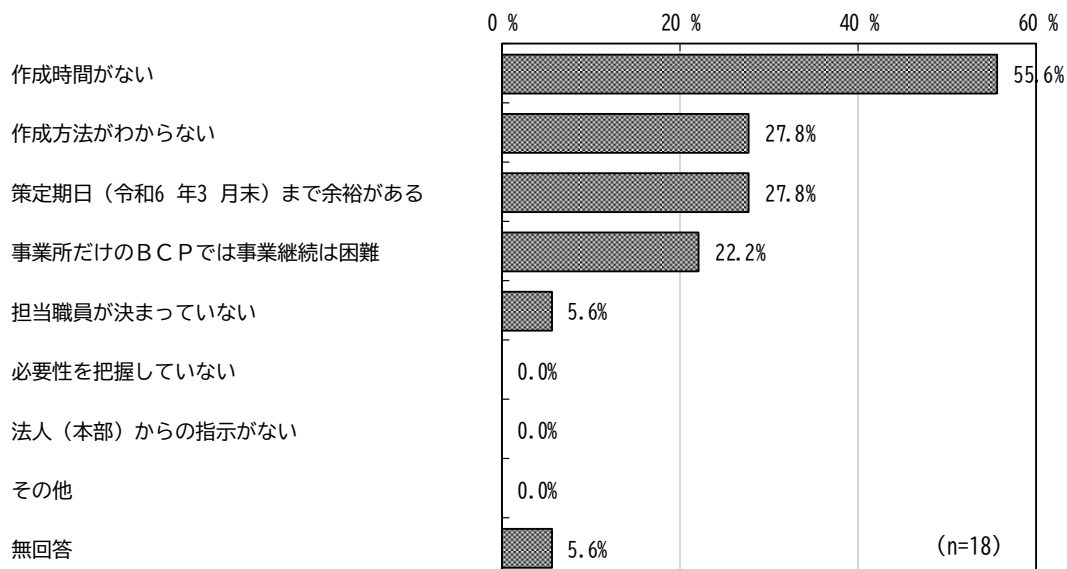
※令和3年度の介護報酬改定にともない、令和6年4月1日よりBCPの策定が義務化される。

BCP（事業継続計画）の作成状況について、「感染症、自然災害ともに作成した」が47.1%と最も高く、「感染症、自然災害ともに作成中」が35.3%、「感染症は作成したが自然災害は作成中」「感染症は作成中だが自然災害は作成した」「感染症、自然災害ともに今後作成を予定している」が5.9%となっている。



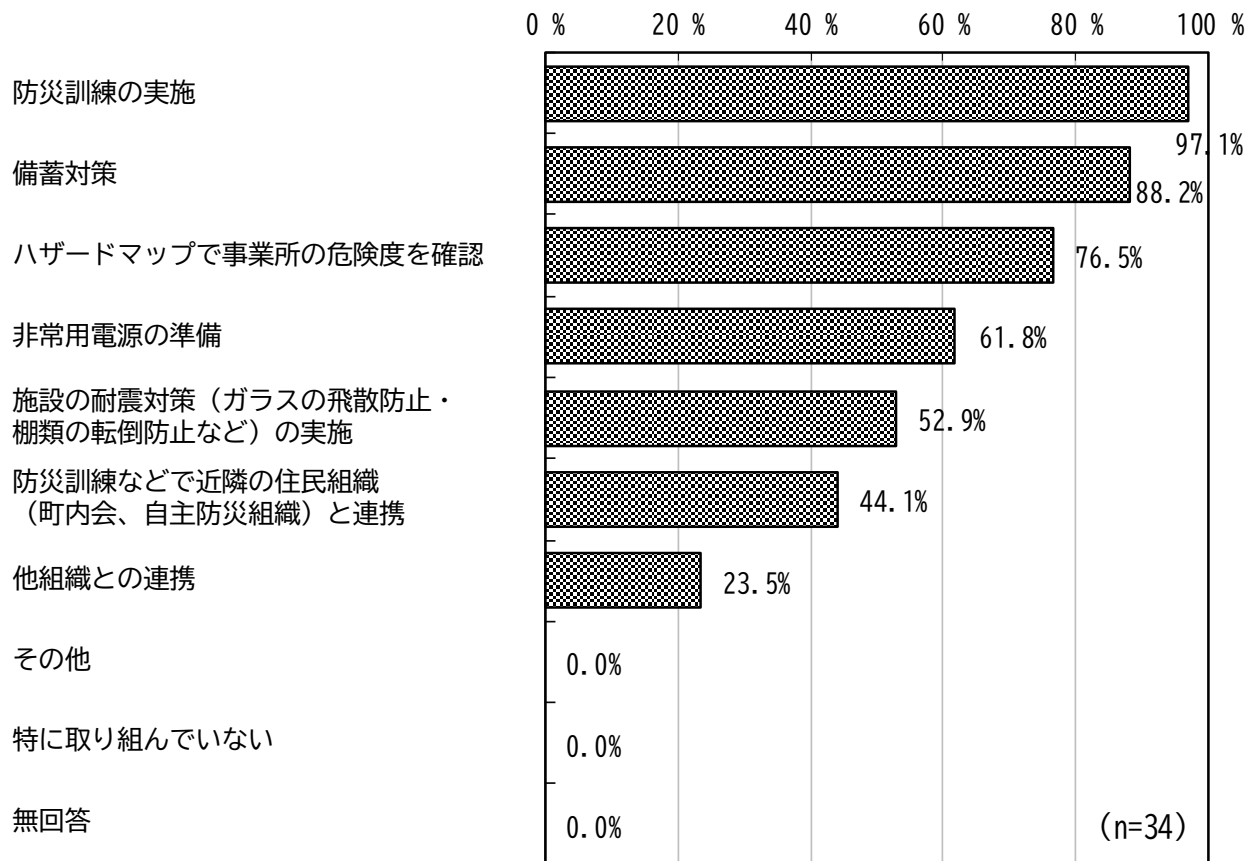
問22-1 BCPの作成に着手していない又は作成が完了していない理由は何ですか（いくつでも○）。

BCPの作成に着手していない、または作成が完了していない理由は、「作成時間がない」が55.6%と最も高く、「作成方法がわからない」「策定期日（令和6年3月末）まで余裕がある」が27.8%、「事業所だけのBCPでは事業継続は困難」が22.2%、「担当職員が決まっていない」が5.6%、「必要性を把握していない」「法人（本部）からの指示がない」が0.0%となっている。



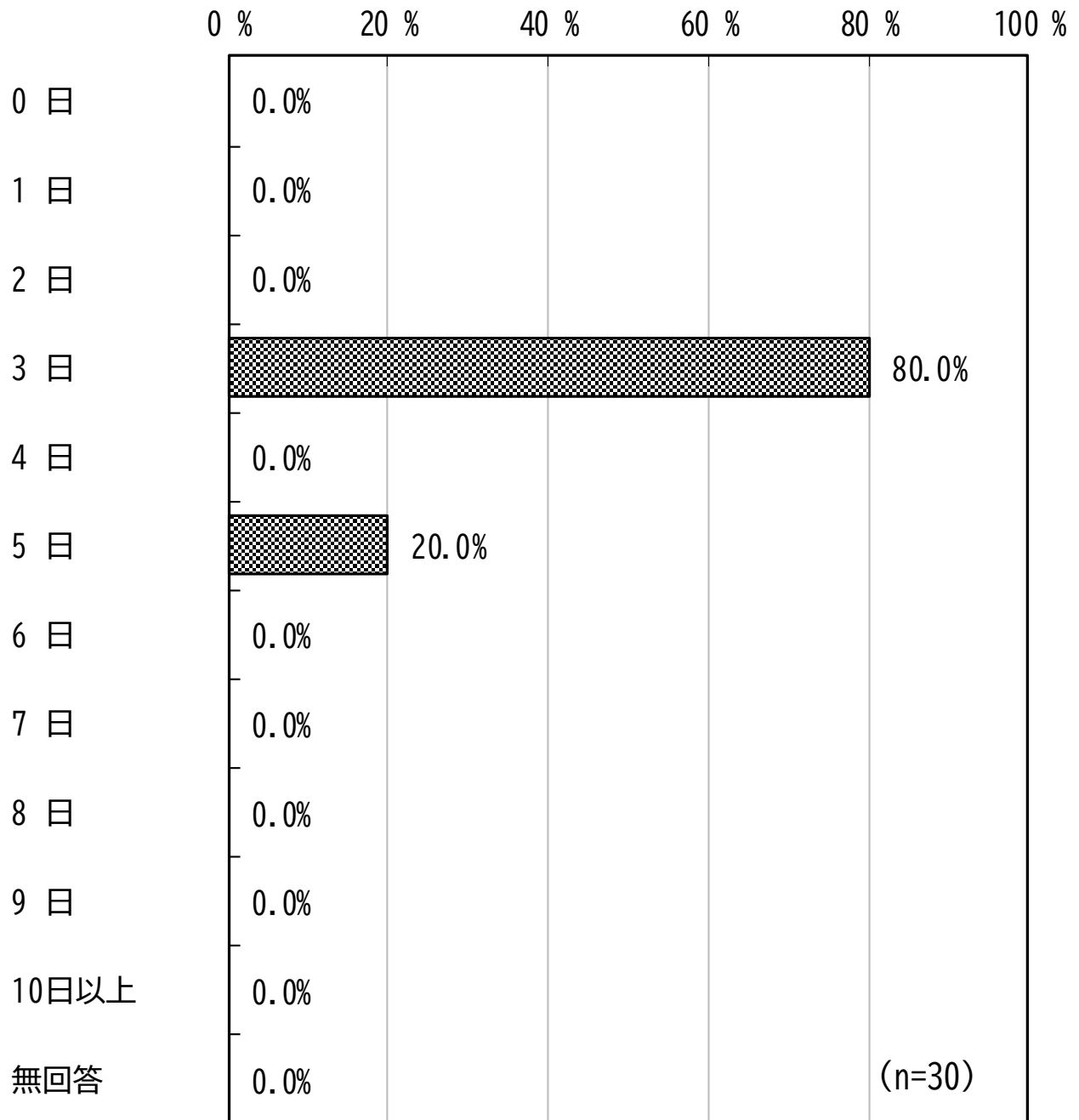
問23 貴事業所が行っている有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、お答えください（いくつでも○）。

事業所における有事（感染症や自然災害）を想定した平時の備えについて、「防災訓練の実施」が97.1%と最も高く、「備蓄対策」が88.2%、「ハザードマップで事業所の危険度を確認」が76.5%、「非常用電源の準備」が61.8%、「施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など）の実施」が52.9%、「防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携」が44.1%、「他組織との連携」が23.5%となっている。また「特に取り組んでいない」が0.0%となっている。



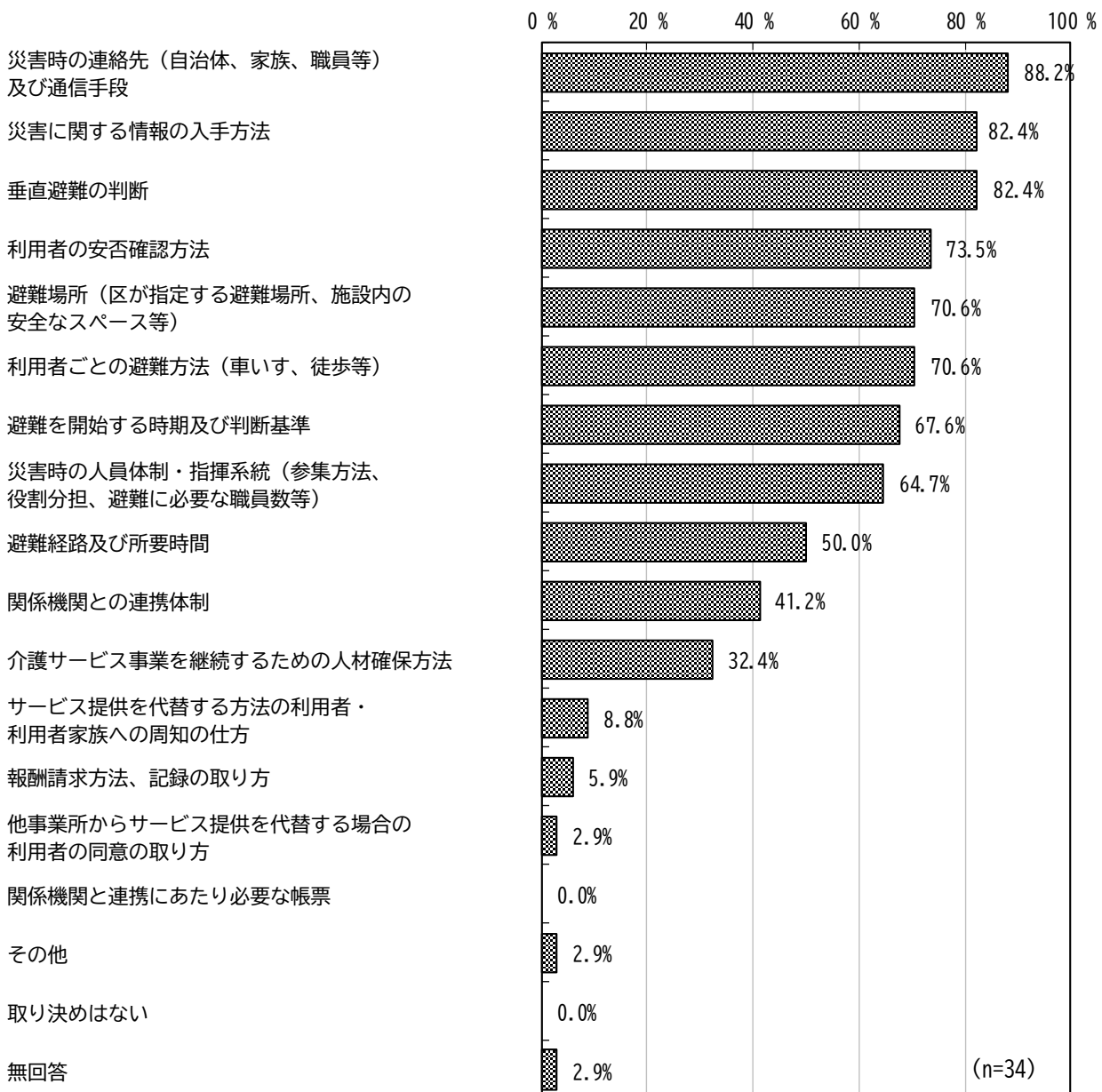
問23-1 備蓄は定員および職員あわせて何日分準備していますか（数字を記入）。

「備蓄対策」と回答した事業所の、事業所における災害時の備蓄を定員および職員をあわせて準備している日数は、「3日」が80.0%と最も高く、「5日」が20.0%となっている。



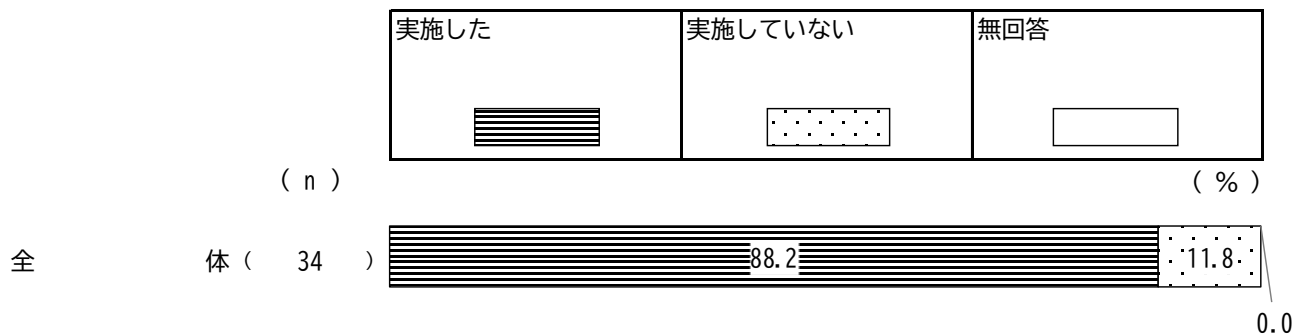
問24 有事（感染症や自然災害）が発生した際に貴事業所で取り決められている内容について、お答えください（いくつでも○）。

有事（感染症や自然災害）が発生した際に事業所で取り決められている内容について、「災害時の連絡先（自治体、家族、職員等）及び通信手段」が88.2%と最も高く、「災害に関する情報の入手方法」「垂直避難の判断」が82.4%、「利用者の安否確認方法」が73.5%、「避難場所（区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等）」が70.6%と続いている。また「取り決めはない」が0.0%となっている。



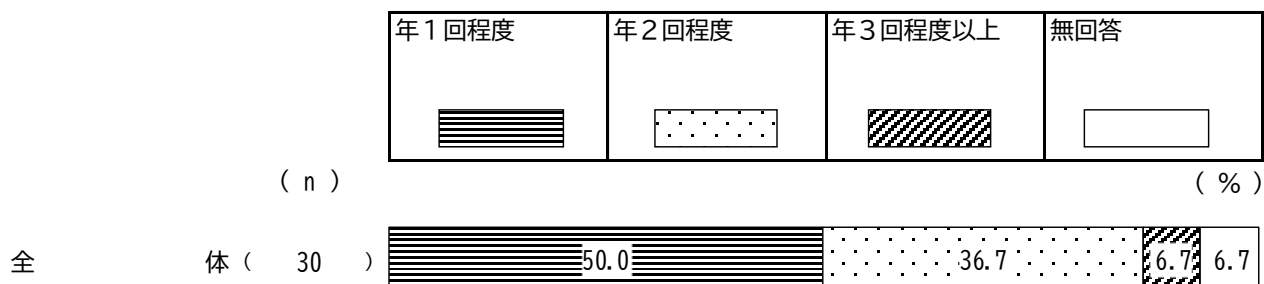
問25 貴事業所は令和3・4年に水害を含む避難訓練を実施しましたか  
(1つに○・数字を記入)。

令和3年・4年における水害を含む避難訓練について、「実施した」が88.2%、「実施していない」が11.8%となっている。



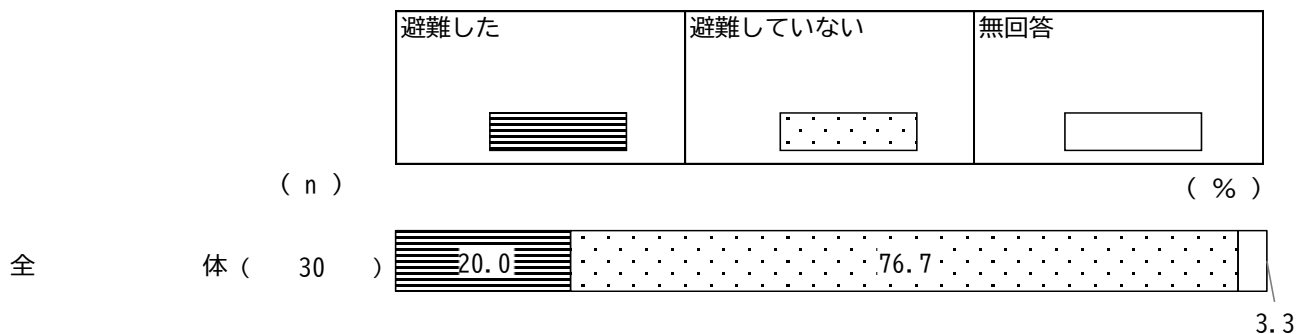
① 水害を含む避難訓練を実施した事業所の年間実施回数 (数字で記入)

水害を含む避難訓練について、実施した事業所の実施回数は、「年1回程度」が50.0%と最も高く、「年2回程度」が36.7%、「年3回程度以上」が6.7%となっている。



問25-1 実施した避難訓練に介護度の最も重い方は参加しましたか (実際に避難しましたか) (1つに○)。

介護度の最も重い方の避難訓練への参加について、「避難した」が20.0%、「避難していない」が76.7%となっている。

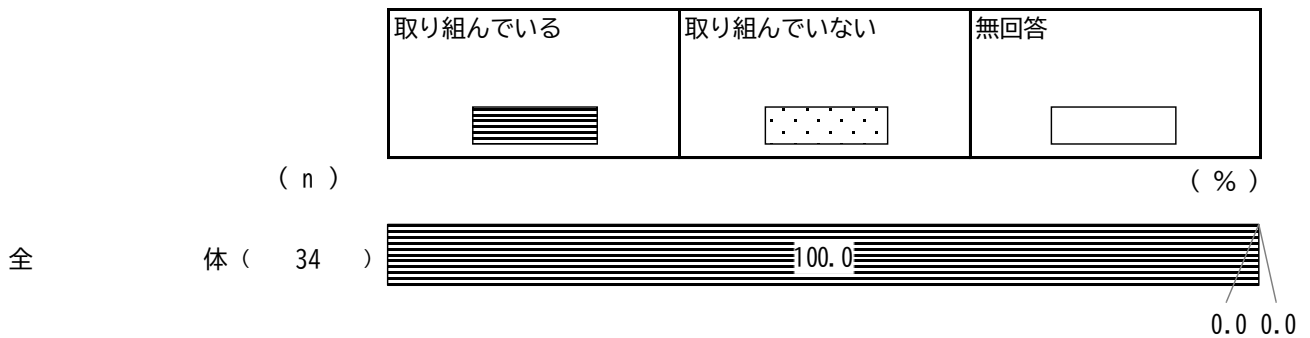




## (7) 職員研修・その他について

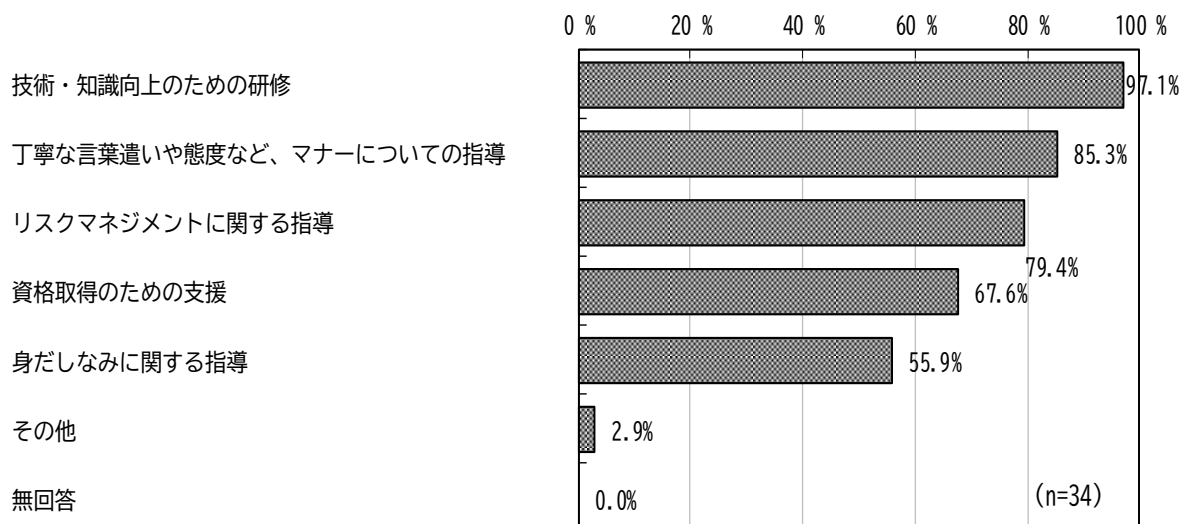
## 問26 職員の教育に取り組んでいますか(1つに○)。

職員の教育について、「取り組んでいる」が100.0%、「取り組んでいない」が0.0%となっている。



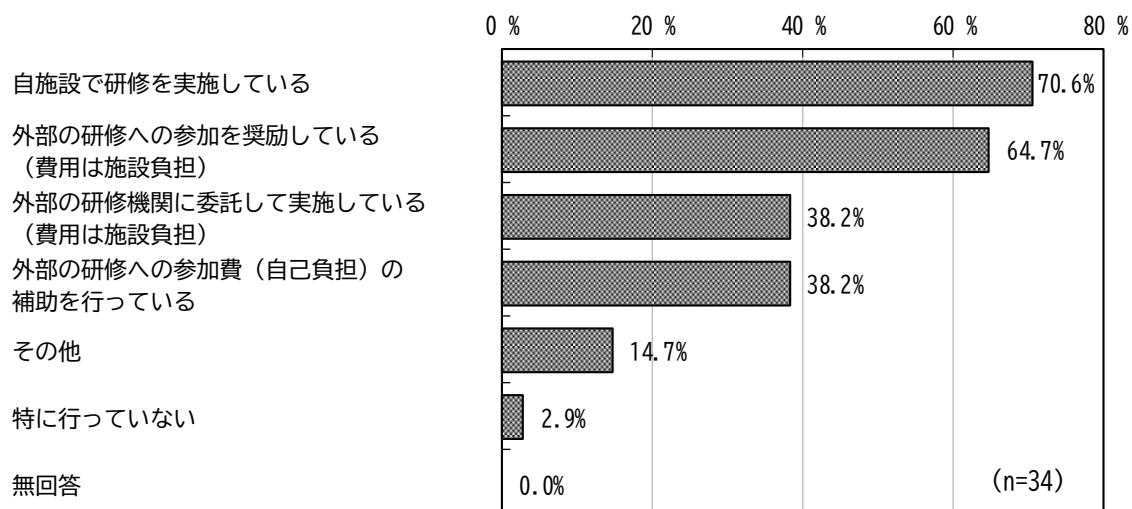
## 問26-1 貴事業所では、職員教育にあたり、どのような点に力を入れていますか(いくつでも○)。

職員教育で力を入れている点について、「技術・知識向上のための研修」が97.1%と最も高く、「丁寧な言葉遣いや態度など、マナーについての指導」が85.3%、「リスクマネジメントに関する指導」が79.4%、「資格取得のための支援」が67.6%、「身だしなみに関する指導」が55.9%となっている。



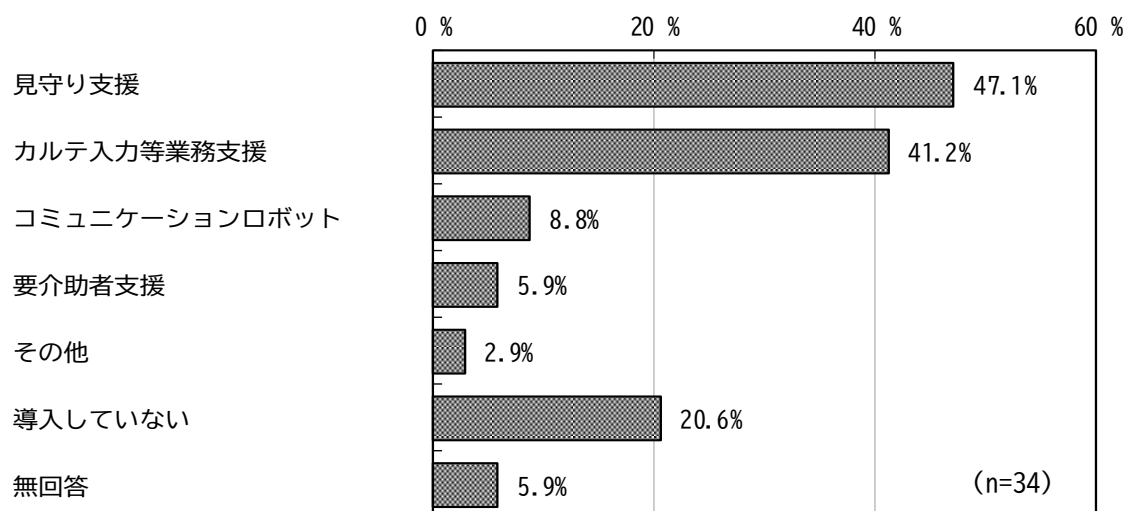
問27 職員の研修や資格取得について、以下の取り組みを行っていますか（いくつでも○）。

職員の研修や資格取得に関する取り組みとして、「自施設で研修を実施している」が70.6%と最も高く、「外部の研修への参加を奨励している（費用は施設負担）」が64.7%、「外部の研修機関に委託して実施している（費用は施設負担）」「外部の研修への参加費（自己負担）の補助を行っている」が38.2%となっている。また「特に行っていない」が2.9%となっている。



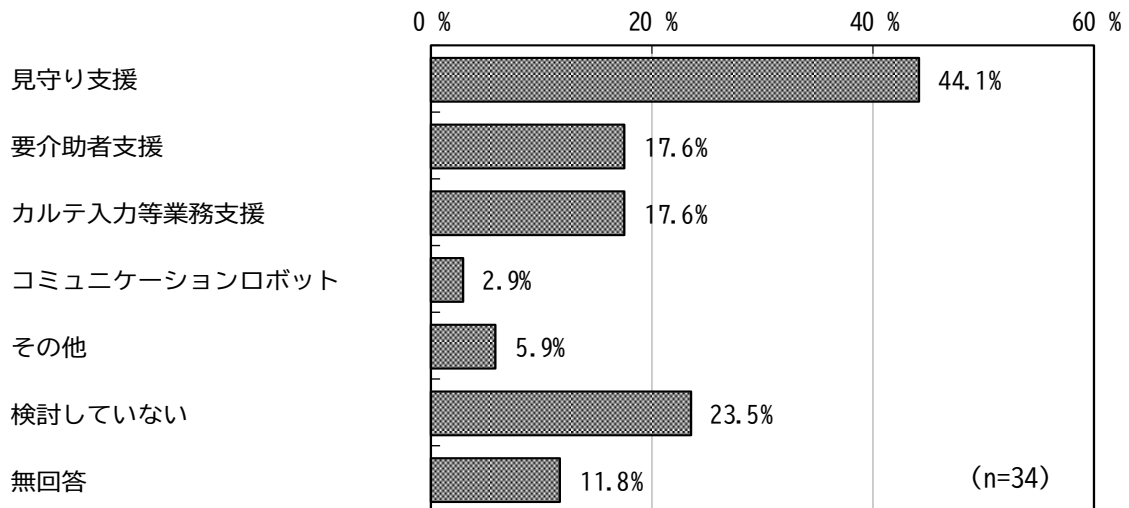
問28 ロボット・IoTについて導入をされていますか（いくつでも○）。

ロボット・IoTの導入状況について、「見守り支援」が47.1%と最も高く、「カルテ入力等業務支援」が41.2%、「コミュニケーションロボット」が8.8%、「要介助者支援」が5.9%となっている。また「導入していない」が20.6%となっている。



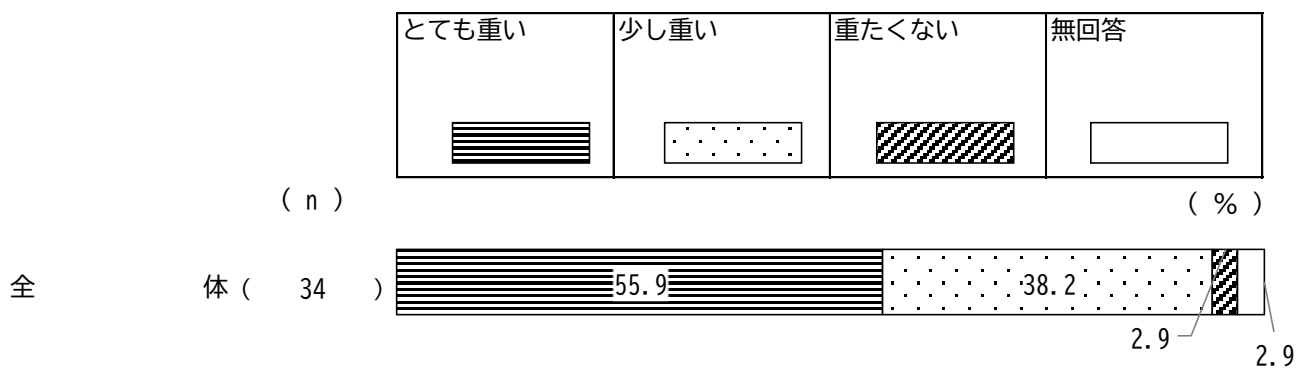
問29 ロボット・IoTについて導入を検討していますか（いくつでも○）。

ロボット・IoTの検討状況について、「見守り支援」が44.1%と最も高く、「要介助者支援」「カルテ入力等業務支援」が17.6%、「コミュニケーションロボット」が2.9%となっている。また「検討していない」が23.5%となっている。



問30 現在、事務負担はどの程度ですか（1つに○）。

現在の事務負担について、「とても重い」が55.9%と最も高く、「少し重い」が38.2%、「重たくない」が2.9%となっている。





9 有料老人ホーム・軽費老人ホーム施設調査

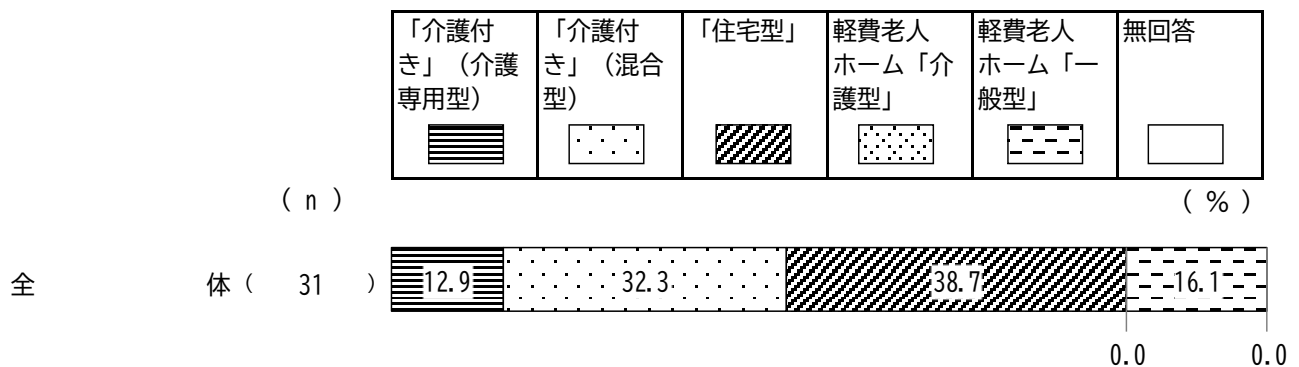
(1) 事業所の基本情報

問1 貴事業所についてお答えください。

※①は「事業所名をご記入ください」、②は「開設年月日をお答えください」という設問であるため省略

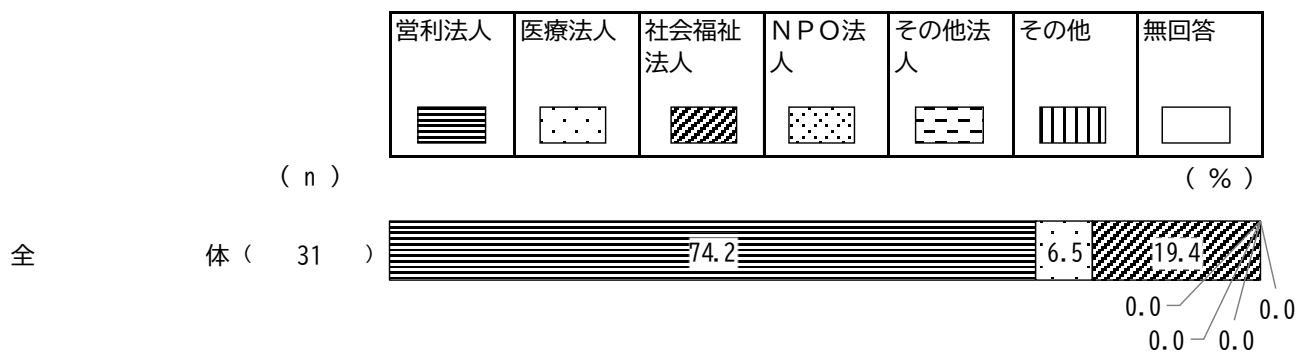
③ 事業種別をお答えください。

事業種別について、「住宅型」が38.7%と最も高く、「介護付き（混合型）」が32.3%、「軽費老人ホーム「一般型」」が16.1%、「介護付き（介護専用型）」が12.9%、「介護付き（介護専用型）」が0.0%となっている。



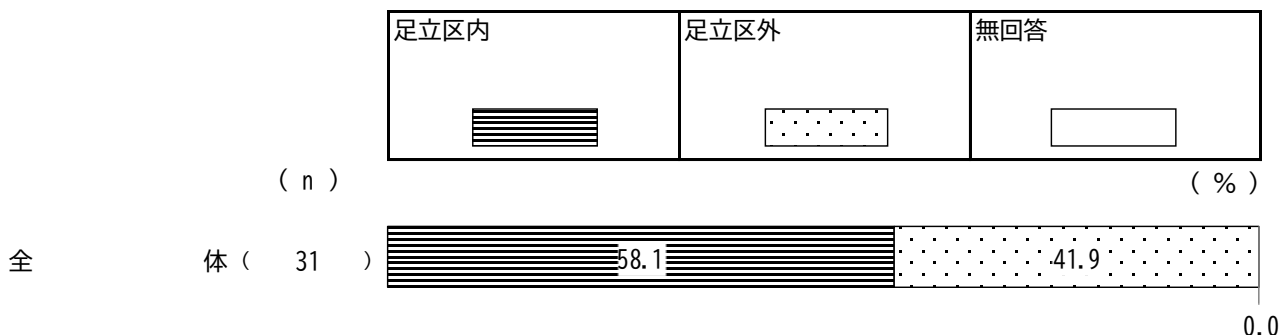
④ 事業所の経営主体は何ですか（1つに○）。

事業所の経営主体について、「営利法人」が74.2%と最も高く、「社会福祉法人」が19.4%、「医療法人」が6.5%、「NPO法人」「その他法人」が0.0%となっている。



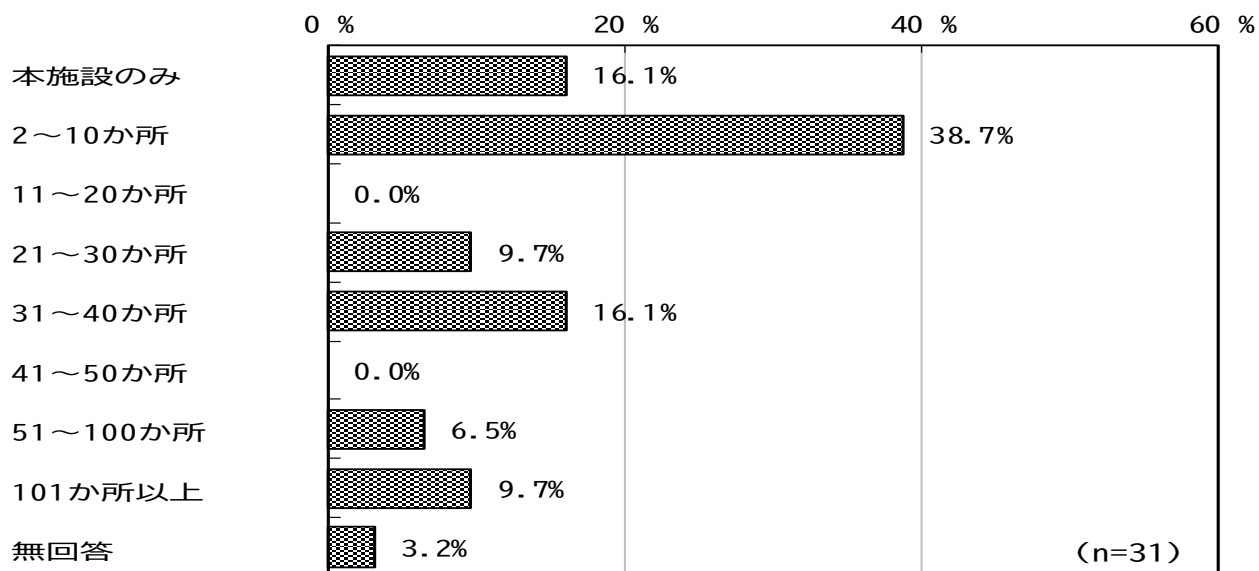
⑤ 経営主体の法人の所在地はどこですか（1つに○）。

経営主体の法人の所在地について、「足立区内」が58.1%、「足立区外」が41.9%となっている。



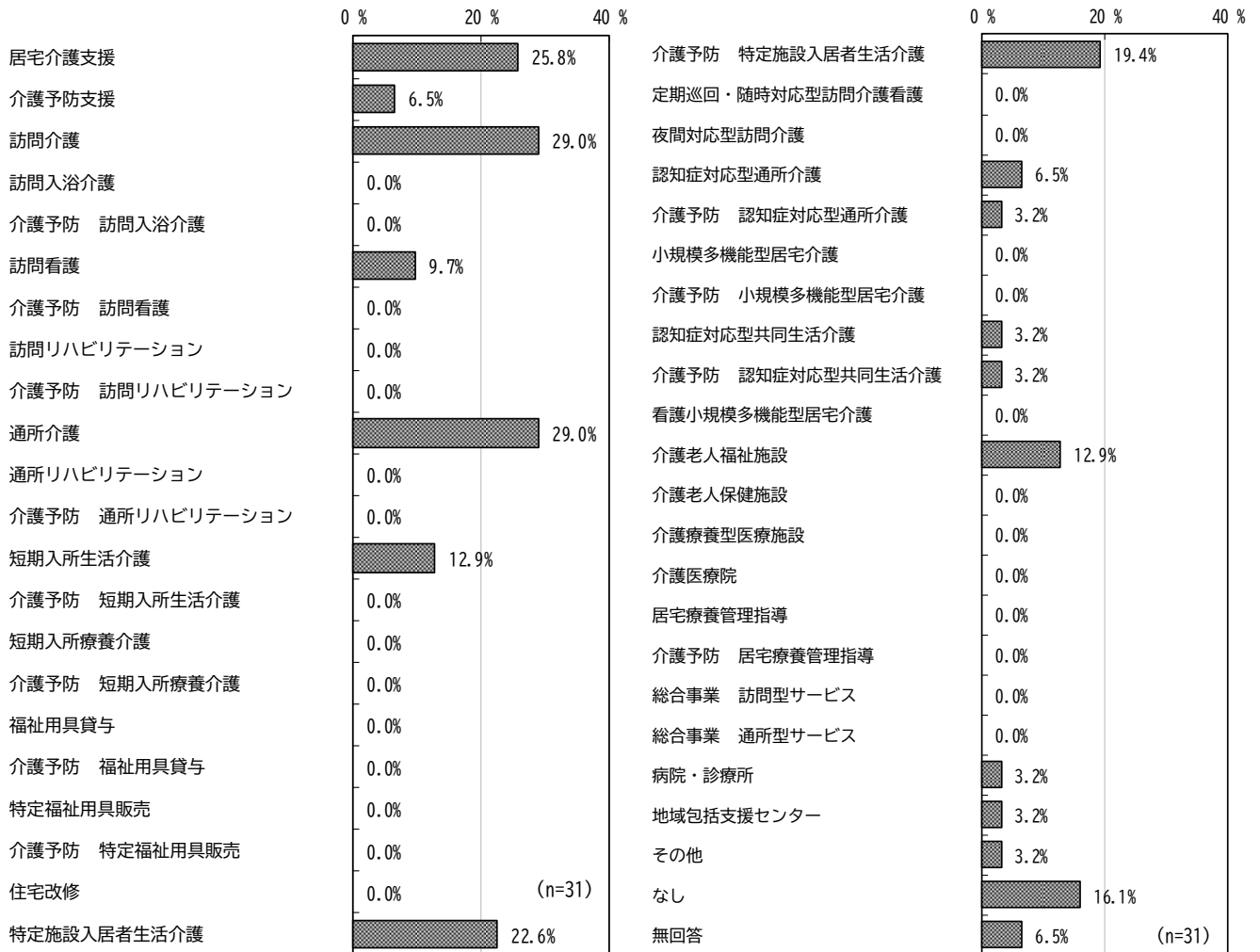
⑥ 貴法人は、貴事業所を含め、有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅を運営していますか。すべての箇所数をお答えください（1つに○・数字を記載）。

有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅の運営状況について、「2～10か所」が38.7%と最も高く、「本施設のみ」「31～40か所」が16.1%、「21～30か所」「101か所以上」が9.7%、「51～100か所」が6.5%、「11～20か所」「41～50か所」が0.0%となっている。



⑦ 貴事業所に併設されている事業について、あてはるものに○をつけてください  
(いくつでも○)。

事業所の併設事業について、「訪問介護」「通所介護」が29.0%と最も高く、「居宅介護支援」が25.8%、「特定施設入居者生活介護」が22.6%、「介護予防 特定施設入居者生活介護」が19.4%、「短期入所生活介護」「介護老人福祉施設」が12.9%と続いている。

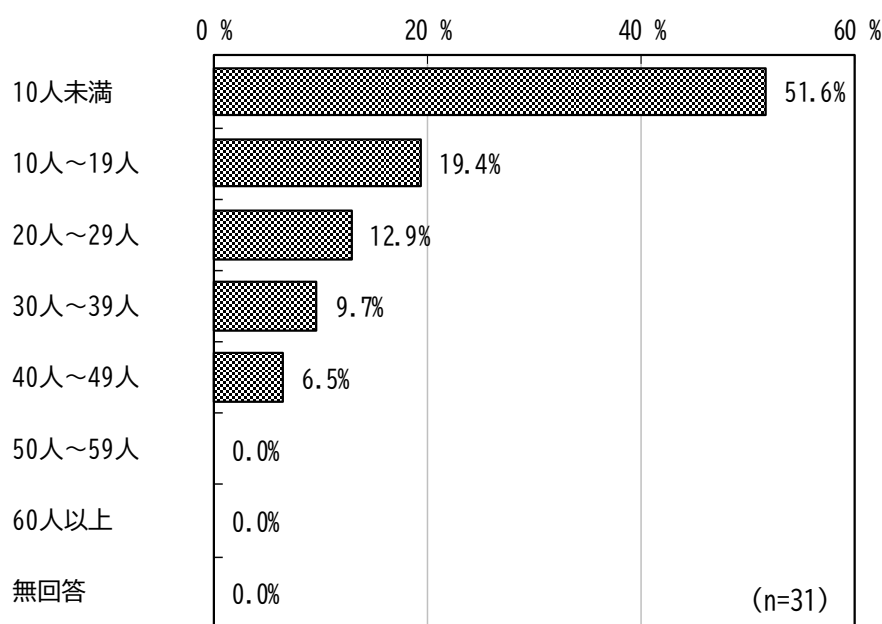


⑧ 貴事業所の職員体制について記入して下さい（数字を記入）。  
また、（）内に外国人職員数を記載してください。

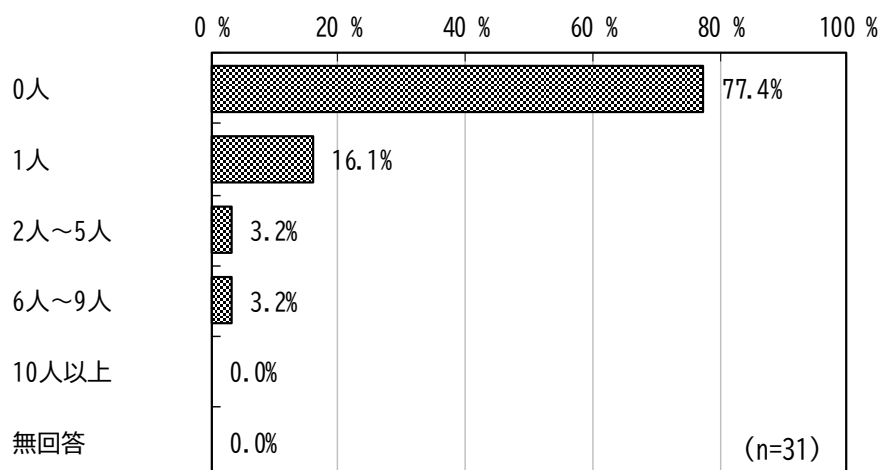
※令和4年10月1日現在

⑧-1 正規職員

正規職員の職員体制について、「10人未満」が51.6%と最も高く、「10人～19人」が19.4%、「20人～29人」が12.9%、「30人～39人」が9.7%、「40人～49人」が6.5%、「50人～59人」「60人以上」が0.0%となっている。



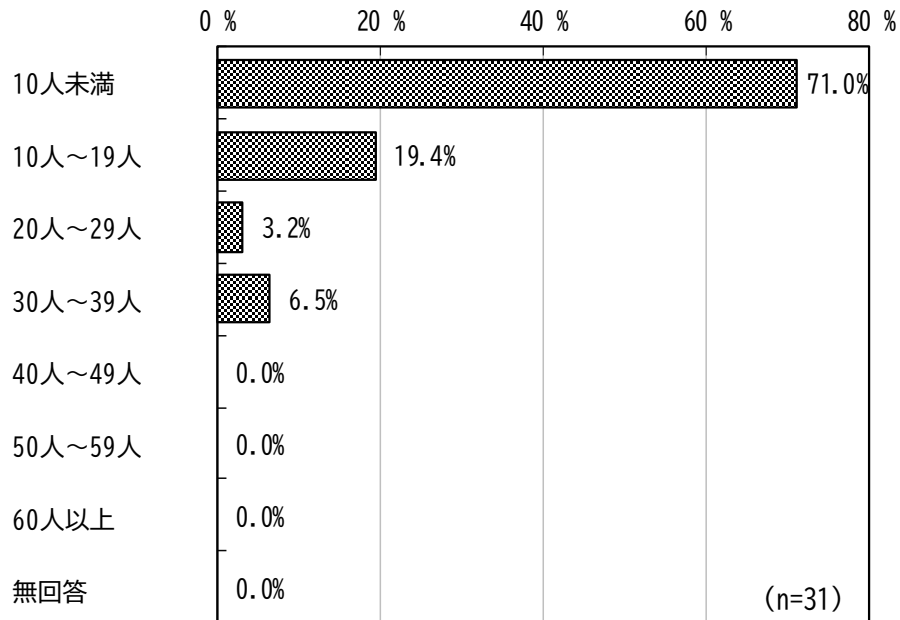
うち、外国人の正規職員について、「0人」が77.4%と最も高く、「1人」が16.1%、「2人～5人」「6人～9人」が3.2%、「10人以上」が0.0%となっている。



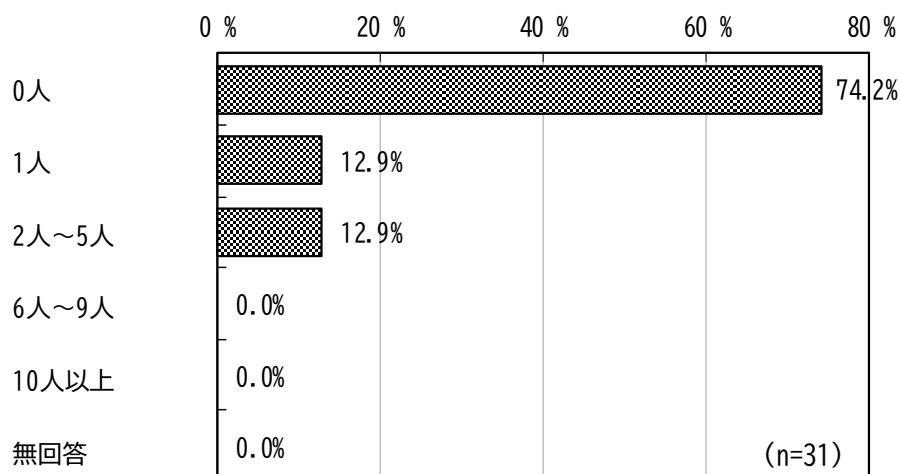


## ⑧-2 非正規職員

非正規職員の職員体制について、「10人未満」が71.0%と最も高く、「10人～19人」が19.4%、「30人～39人」が6.5%、「20人～29人」が3.2%、「40人～49人」「50人～59人」「60人以上」が0.0%となっている。



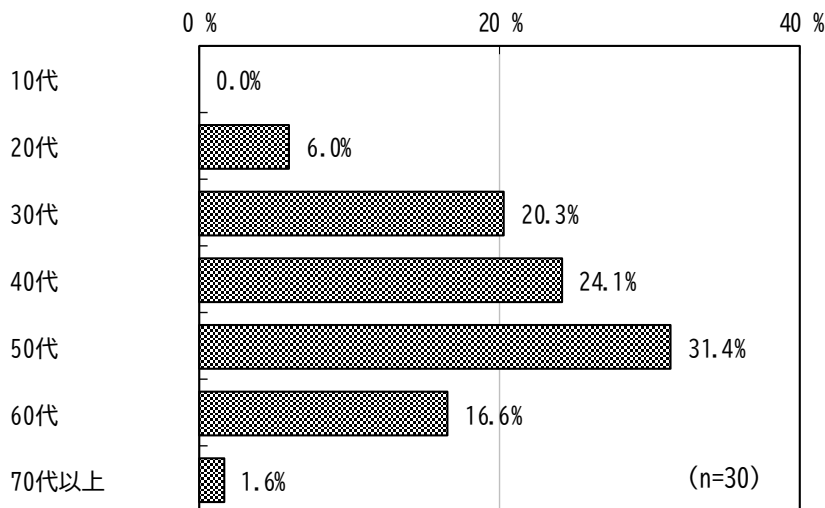
うち、外国人の非正規職員について、「0人」が74.2%と最も高く、「1人」が12.9%、「2人～5人」が12.9%、「6人～9人」「10人以上」が0.0%となっている。



⑨ 年齢階級別

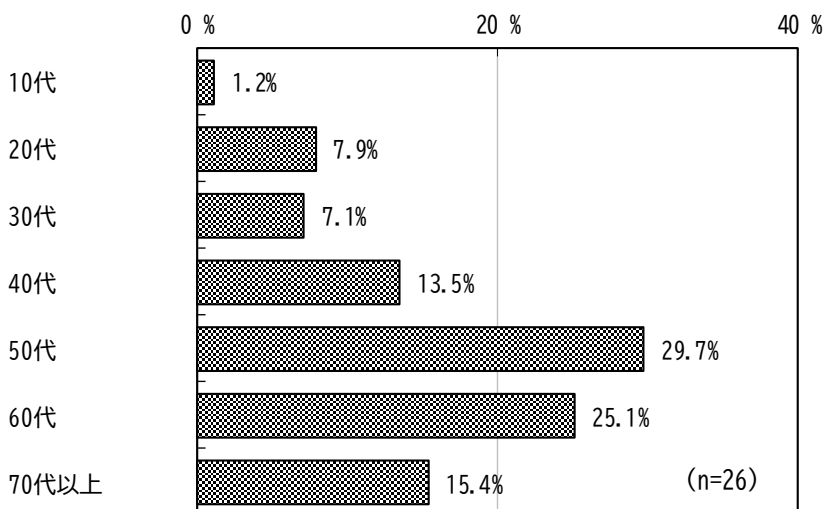
⑨-1 正規職員

回答のあった事業所の正規職員の年齢構成について、「50代」が31.4%と最も高く、「40代」が24.1%、「30代」が20.3%、「60代」が16.6%、「20代」が6.0%、「70代以上」が1.6%、「10代」が0.0%となっている。



⑨-2 非正規職員

回答のあった事業所の非正規職員の年齢構成について、「50代」が29.7%と最も高く、「60代」が25.1%、「70代以上」が15.4%、「40代」が13.5%、「20代」が7.9%、「30代」が7.1%、「10代」が1.2%となっている。

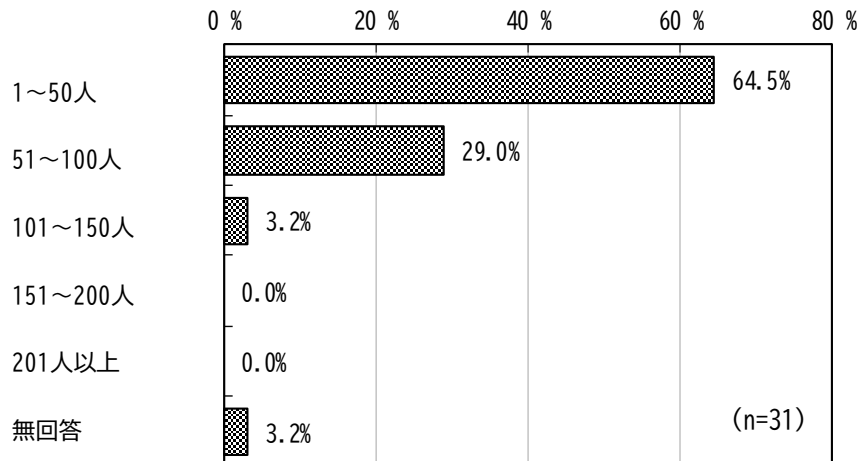


## (2) サービスの提供状況について

問2 貴事業所の定員等につき、以下の質問にお答えください。

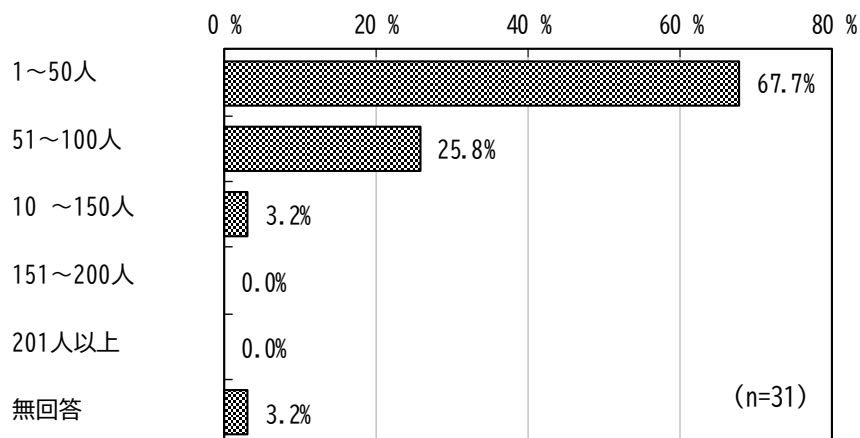
## ①-1 定員 (数字を記入)

定員について、「1～50人」が64.5%と最も高く、「51～100人」が29.0%、「101～150人」が3.2%、「151～200人」「201人以上」が0.0%となっている。



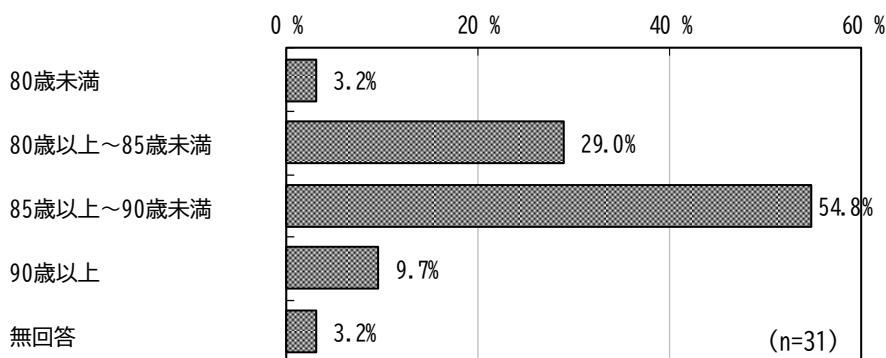
## ①-2 入居者数 (数字を記入)

入居者数について、「1～50人」が67.7%と最も高く、「51～100人」が25.8%、「101～150人」が3.2%、「151～200人」「201人以上」が0.0%となっている。



② 入居者の平均年齢（数字を記入）

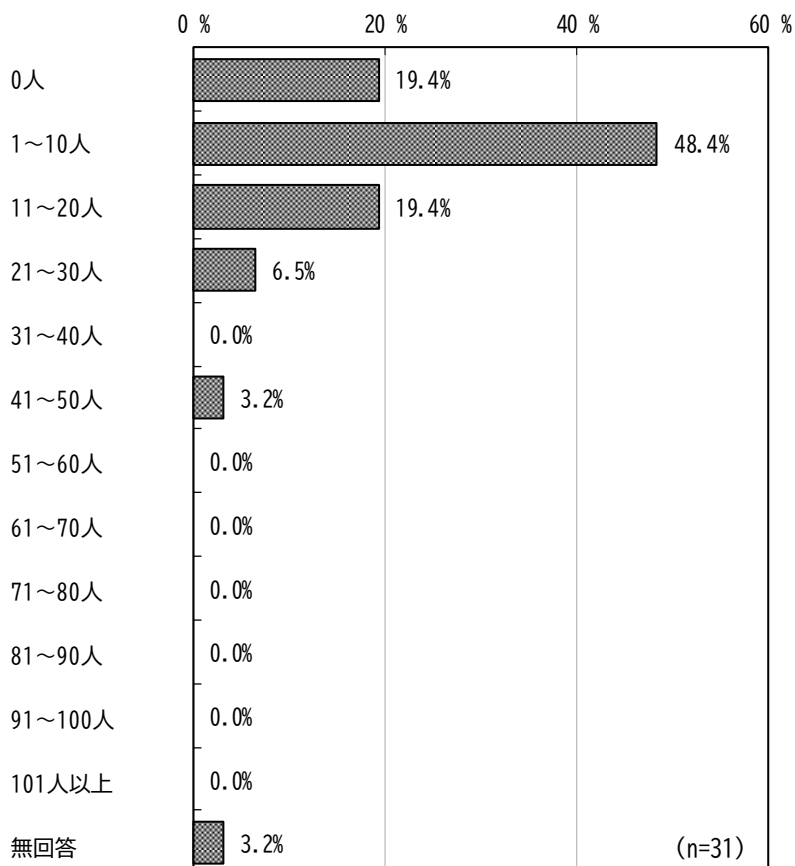
入居者の平均年齢は、「85歳以上～90歳未満」が54.8%と最も高く、「80歳以上～85歳未満」が29.0%、「90歳以上」が9.7%、「80歳未満」が3.2%となっている。



③ 1年間の入退居者数（令和3年1月～12月）（数字を記入）

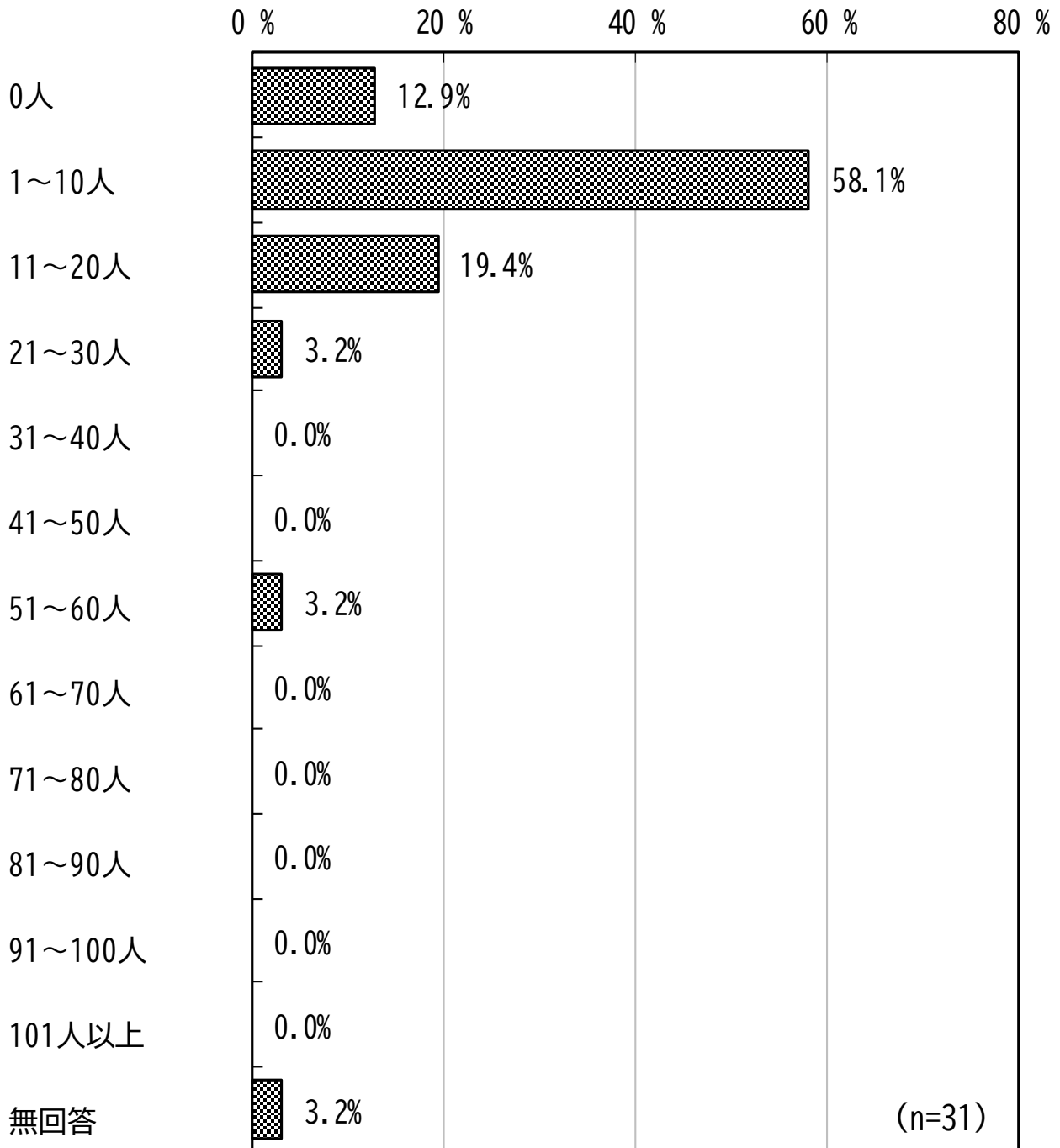
③-1 入居者数

1年間の入居者数について、「1～10人」が48.4%と最も高く、「0人」「11～20人」が19.4%、「21～30人」が6.5%、「41～50人」が3.2%、「31～40人」及び「51～60人」以上が0.0%となっている。



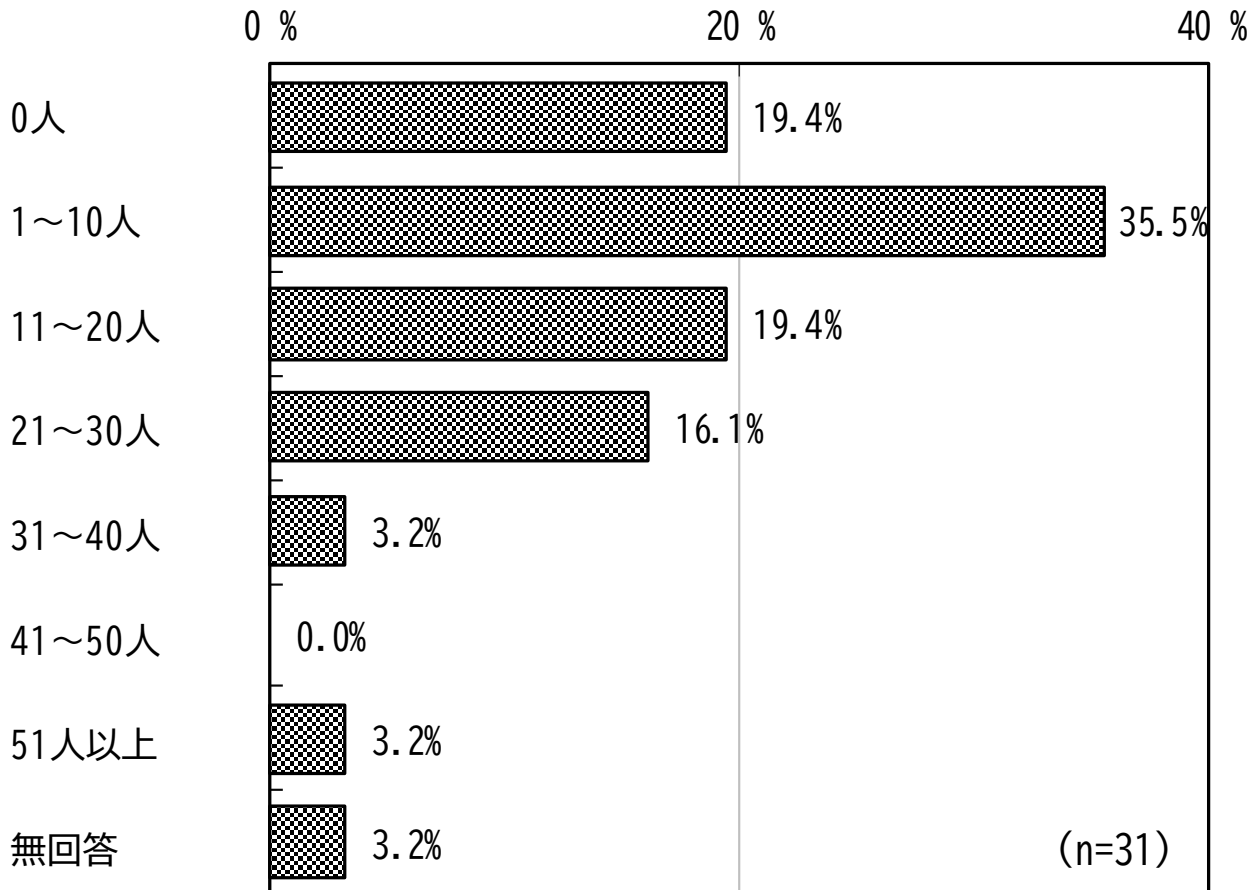
## ③-2 退居者数

1年間の退居者数について、「1～10人」が58.1%と最も高く、「11～20人」が19.4%、「0人」が12.9%、「21～30人」「51～60人」が3.2%、「31～40人」「41～50人」及び「61～70人」以上が0.0%となっている。



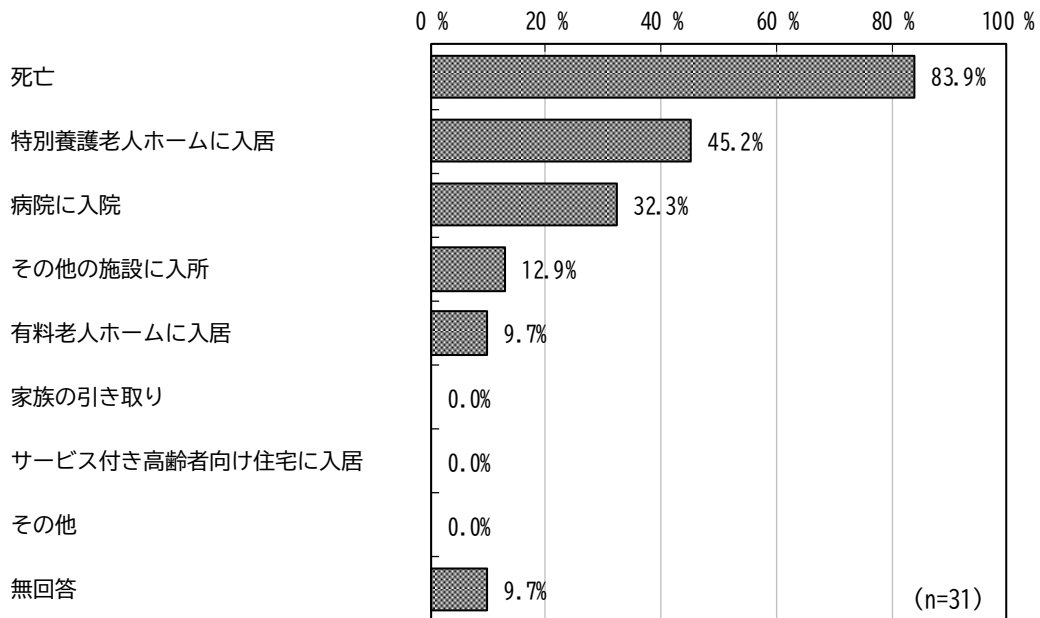
④ 入居者のうち住所地特例（保険者が足立区外）の該当者は何人ですか（数字を記入）。

入居者のうち住所地特例（保険者が足立区外）の該当者について、「1～10人」が35.5%と最も高く、「0人」「11～20人」が19.4%、「21～30人」が16.1%、「31～40人」「51人以上」が3.2%、「41～50人」が0.0%となっている。



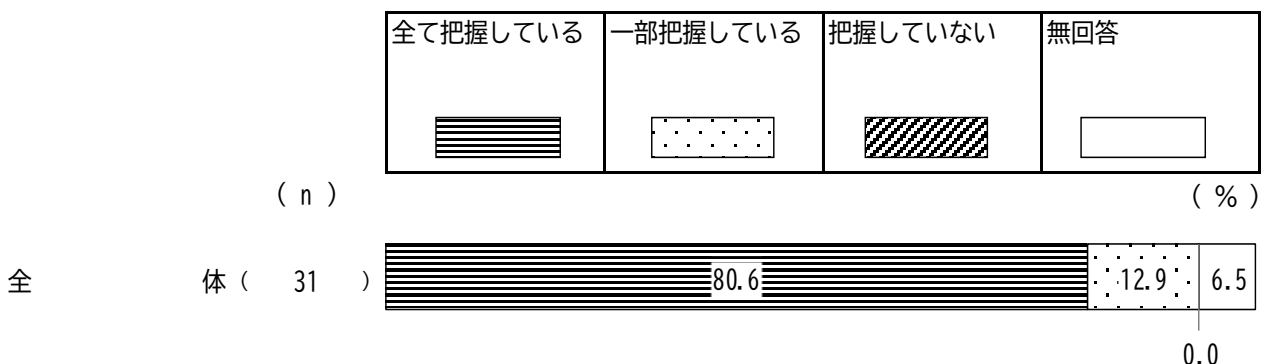
⑤ 退居の主な理由は何ですか（3つまで○）。

退居の主な理由として、「死亡」が83.9%と最も高く、「特別養護老人ホームに入居」が45.2%、「病院に入院」が32.3%、「その他の施設に入所」が12.9%、「有料老人ホームに入居」が9.7%、「家族の引き取り」「サービス付き高齢者向け住宅に入居」が0.0%となっている。



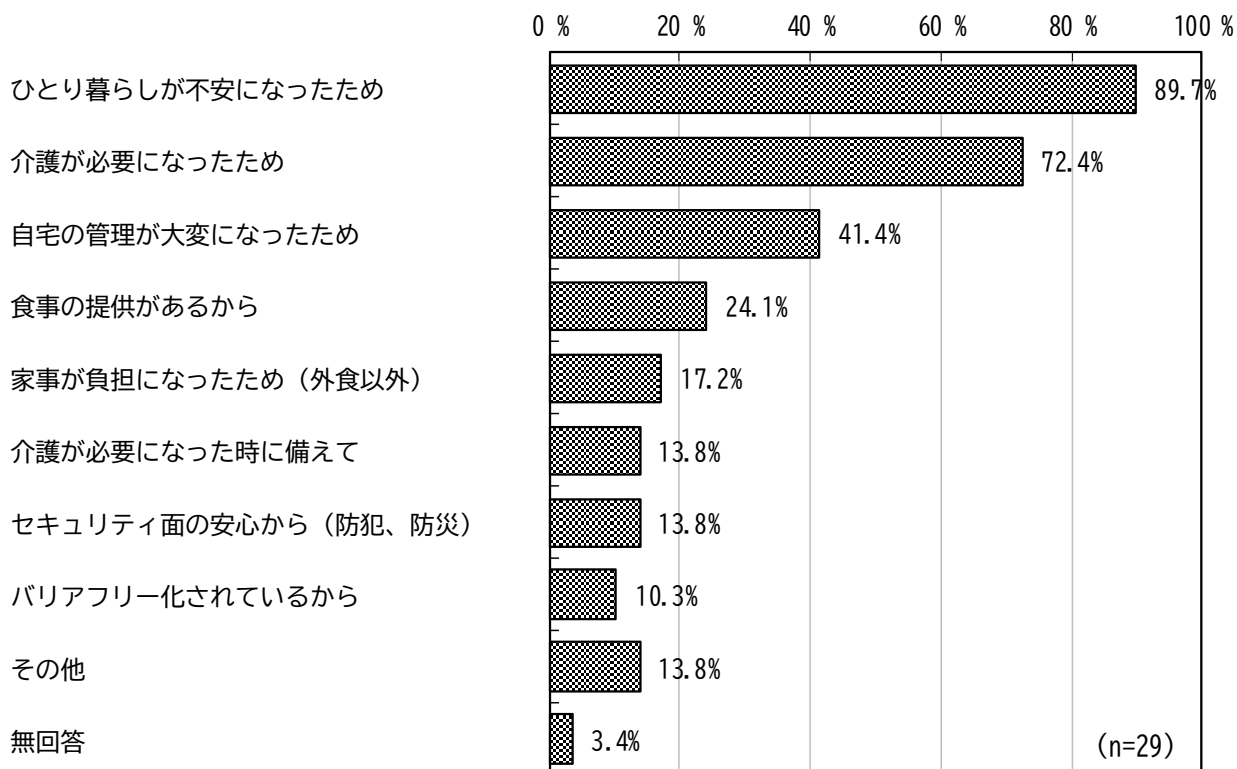
⑥ 入居の動機を把握されていますか（1つに○）。

入居の動機について、「全て把握している」が80.6%と最も高く、「一部把握している」が12.9%、「把握していない」が0.0%となっている。



⑥-1 入居を決められた主な理由は何ですか（いくつでも○）。

入居の動機について「全て把握している」または「一部把握している」と回答した事業所における入居を決められた主な理由について、「ひとり暮らしが不安になったため」が89.7%と最も高く、「介護が必要になったため」が72.4%、「自宅の管理が大変になったため」が41.4%、「食事の提供があるから」が24.1%、「家事が負担になったため（外食以外）」が17.2%、「介護が必要になった時に備えて」「セキュリティ面の安心から（防犯、防災）」が13.8%、「バリアフリー化されているから」が10.3%となっている。





## ⑦ 入居者の要介護度別の人数についてお答えください（数字を記入）。

要介護度別の人数について、

自立では、「0人」が74.2%、要支援1では、「0人」が51.6%、要支援2では、「0人」が54.8%、要介護1では、「1～10人」が67.7%、要介護2では、「1～10人」が61.3%、要介護3では、「1～10人」が80.6%、要介護4では、「1～10人」が48.4%、要介護5では、「1～10人」が67.7%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51人以上	無回答
自立	31	74.2	16.1	0.0	3.2	3.2	0.0	0.0	3.2
要支援1	31	51.6	45.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
要支援2	31	54.8	41.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
要介護1	31	16.1	67.7	12.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
要介護2	31	19.4	61.3	9.7	6.5	0.0	0.0	0.0	3.2
要介護3	31	3.2	80.6	12.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
要介護4	31	16.1	48.4	25.8	3.2	0.0	3.2	0.0	3.2
要介護5	31	22.6	67.7	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2

うち、医療処置の必要な要介護度別の人数について、

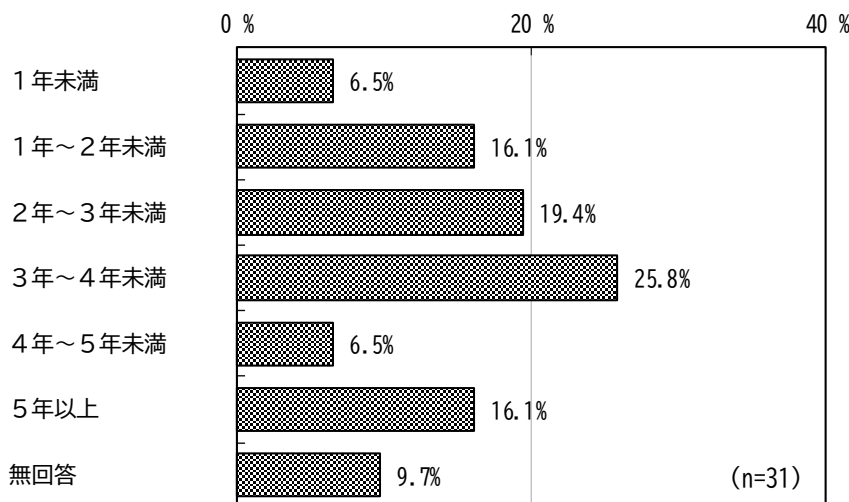
自立では、「0人」が96.8%、要支援1では、「0人」が93.5%、要支援2では、「0人」が87.1%、要介護1では、「0人」が77.4%、要介護2では、「0人」が80.6%、要介護3では、「0人」が64.5%、要介護4では、「1～10人」が48.4%、要介護5では、「0人」が54.8%と最も高くなっている。

(%)

	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51人以上	無回答
自立	31	96.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
要支援1	31	93.5	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
要支援2	31	87.1	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
要介護1	31	77.4	19.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
要介護2	31	80.6	12.9	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
要介護3	31	64.5	32.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
要介護4	31	45.2	48.4	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
要介護5	31	54.8	35.5	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2

⑧ 入居者の平均入居年数は何年ですか（1つに○）。

平均入居年数について、「3年～4年未満」が25.8%と最も高く、「2年～3年未満」が19.4%、「1年～2年未満」「5年以上」が16.1%、「1年未満」「4年～5年未満」が6.5%となっている。



⑨ 過去3年間の年間稼働率は何パーセントですか（それぞれ1つに○）。

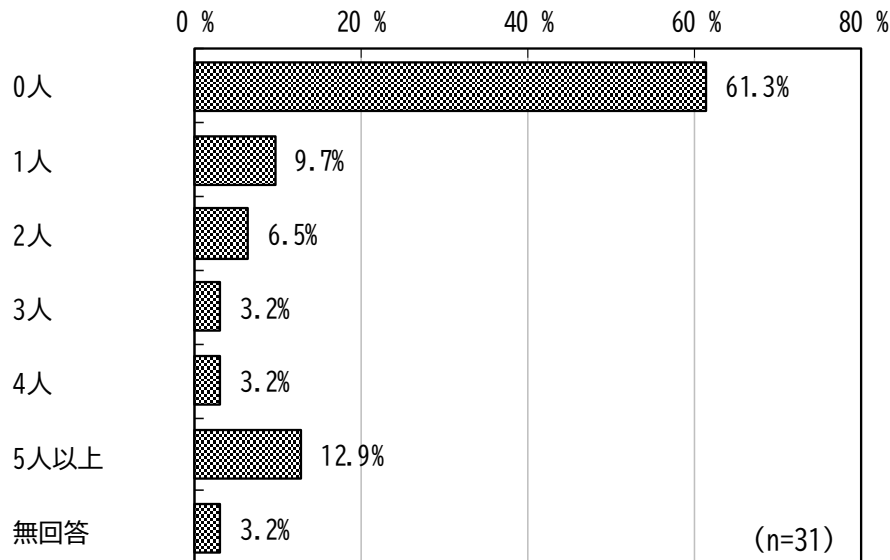
年間稼働率について、全ての年で「90～100%」が最も高く、令和3年では、「90～100%」が35.5%と最も高く、「70～80%未満」「80～90%未満」が25.8%、「60%未満」「60～70%未満」が0.0%となっている。

	令和元年	令和2年	令和3年
調査数	31	31	31
60%未満	0.0	0.0	0.0
60～70%未満	3.2	3.2	0.0
70～80%未満	16.1	19.4	25.8
80～90%未満	25.8	19.4	25.8
90～100 %	29.0	35.5	35.5
無回答	25.8	22.6	12.9

(%)

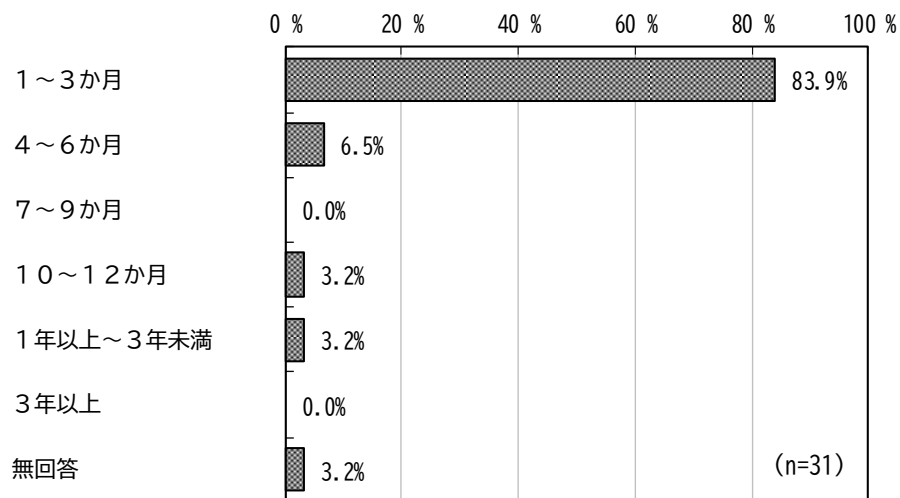
## ⑩ 待機者数は何人ですか（数字を記入）。

待機者数について、「0人」が61.3%と最も高く、「5人以上」が12.9%、「1人」が9.7%、「2人」が6.5%、「3人」「4人」が3.2%となっている。



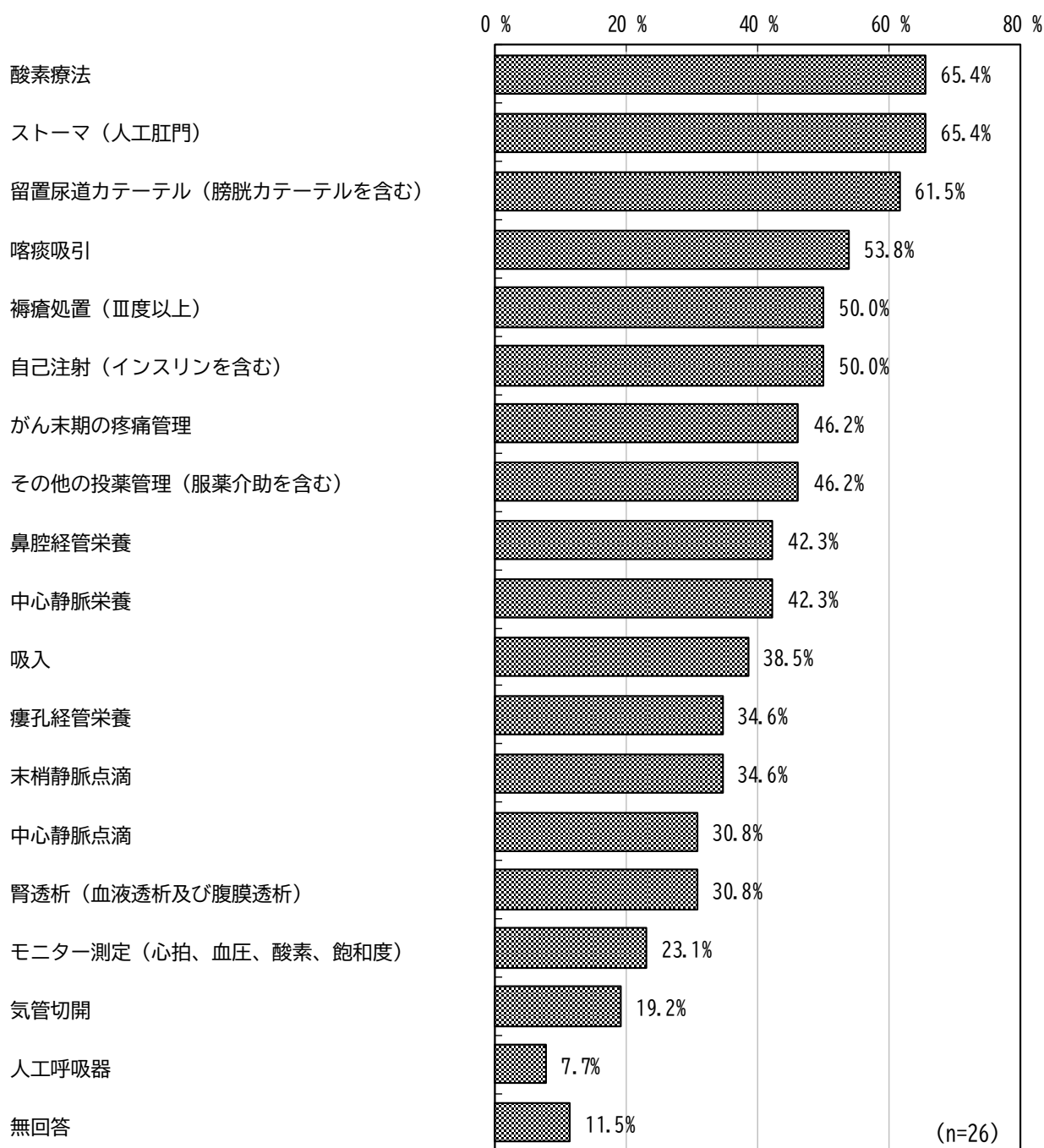
## ⑪ 入居までに平均どのくらいかかりますか（1つに○）。

入居までにかかる期間について、「1～3か月」が83.9%と最も高く、「4～6か月」が6.5%、「10～12か月」「1年以上～3年未満」が3.2%、「7～9か月」「3年以上」が0.0%となっている。



⑫ 貴事業所に入居可能な医療処置を教えてください（いくつでも○）。

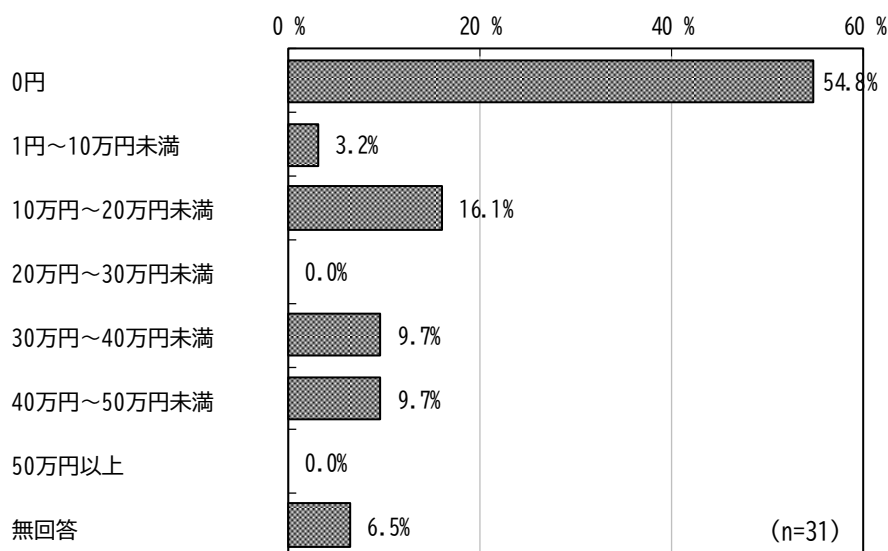
有料老人ホームの事業所において、入居可能な医療処置について、「酸素療法」「ストーマ（人工肛門）」65.4%と最も高く、「留置尿道カテーテル（膀胱カテーテルを含む）」が61.5%、「喀痰吸引」が53.8%、「褥瘡処置（Ⅲ度以上）」「自己注射（インスリンを含む）」が50.0%、「がん末期の疼痛管理」「その他の投薬管理（服薬介助を含む）」が46.2%、「鼻腔経管栄養」「中心静脈栄養」が42.3%、「吸入」が38.5%、「瘻孔経管栄養」「末梢静脈点滴」が34.6%、「中心静脈点滴」「腎透析（血液透析及び腹膜透析）」が30.8%、「モニター測定（心拍、血圧、酸素、飽和度）」が23.1%、「気管切開」が19.2%、「人工呼吸器」が7.7%となっている。



問3 貴事業所の利用料等につき、以下の質問にお答えください（数字を記入）。

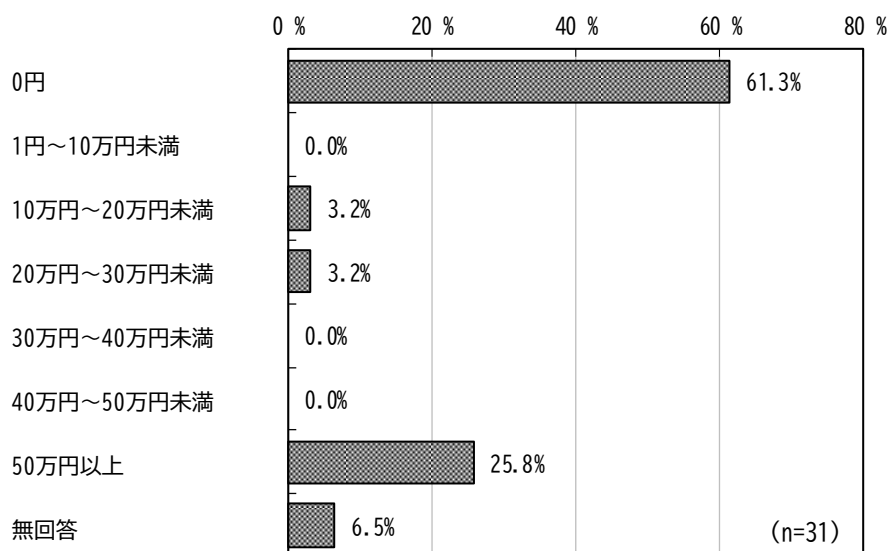
① 敷金（保証金）【代表的なプランでお答えください】

敷金（保証金）について、「0円」が54.8%と最も高く、「10万円～20万円未満」が16.1%、「30万円～40万円未満」「40万円～50万円未満」が9.7%、「1円～10万円未満」が3.2%、「20万円～30万円未満」「50万円以上」が0.0%となっている。



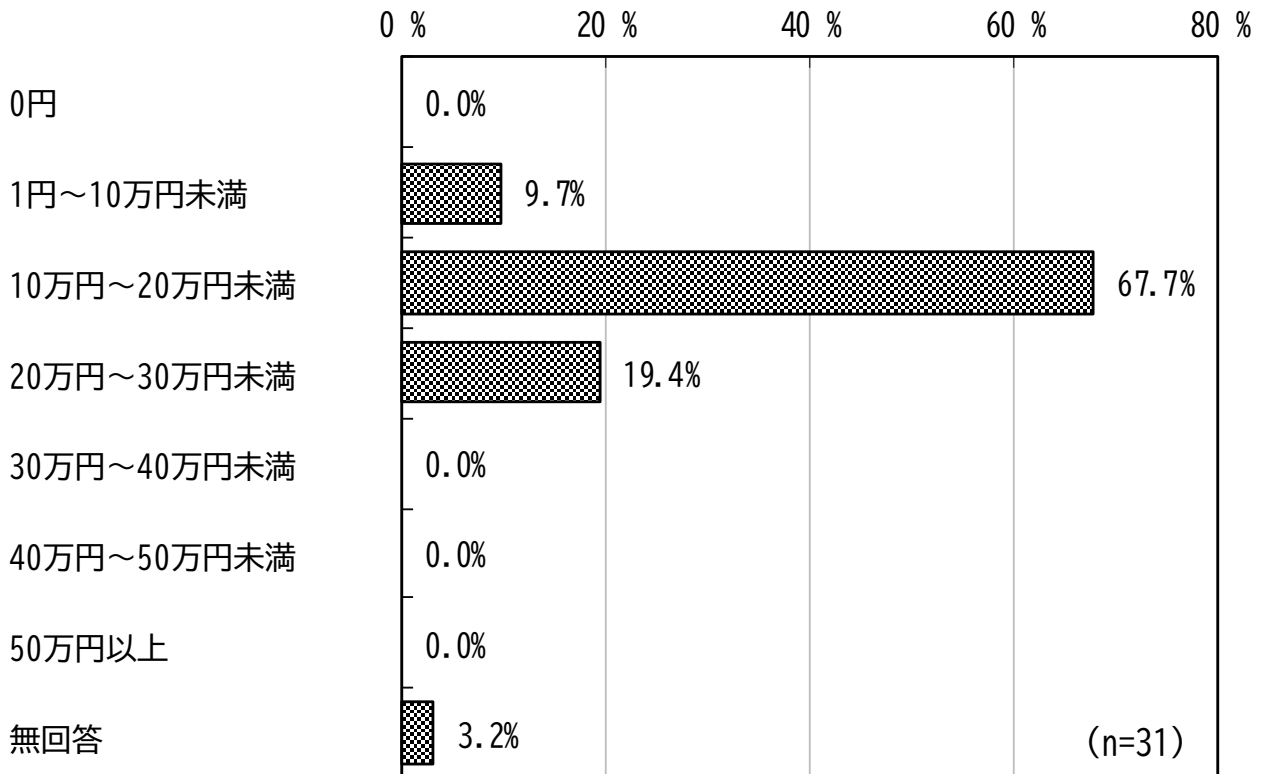
② 前払金（入所一時金）【代表的なプランでお答えください】

前払金（入所一時金）について、「0円」が61.3%と最も高く、「50万円以上」が25.8%、「10万円～20万円未満」「20万円～30万円未満」が3.2%、「1円～10万円未満」「30万円～40万円未満」「40万円～50万円未満」が0.0%となっている。



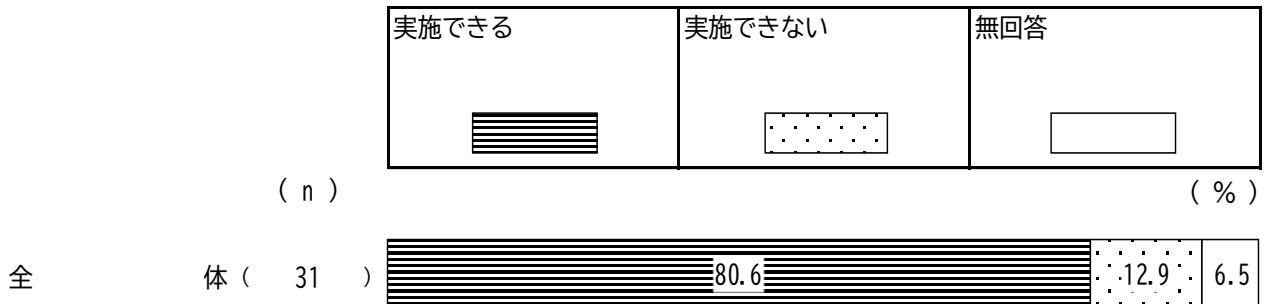
③ 月額利用料【代表的なプランでお答えください】

月額利用料について、「10万円～20万円未満」が67.7%と最も高く、「20万円～30万円未満」が19.4%、「1円～10万円未満」が9.7%、「30万円～40万円未満」「40万円～50万円未満」「50万円以上」が0.0%となっている。



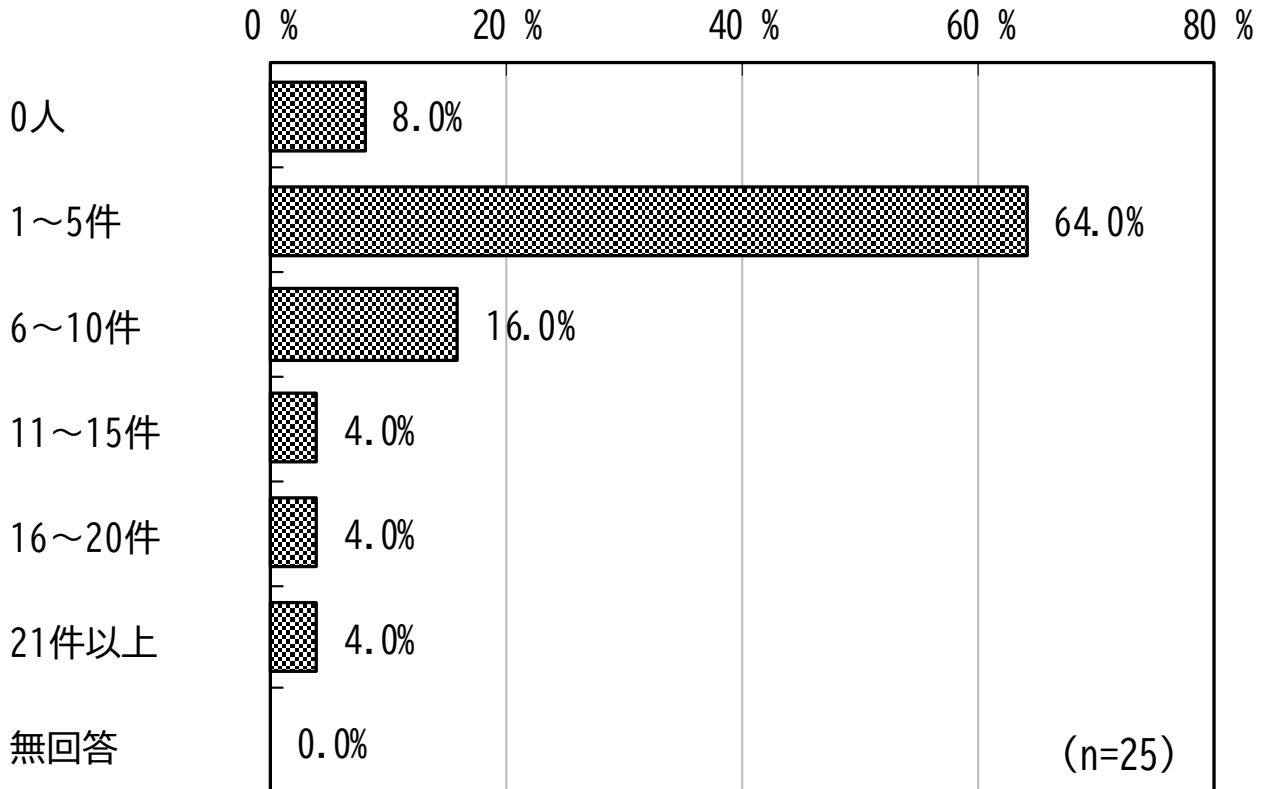
問4 貴事業所では、看取りを実施できますか（1つに○・数字を記入）。

看取りの実施状況について、「実施できる」が80.6%、「実施できない」が12.9%となっている。



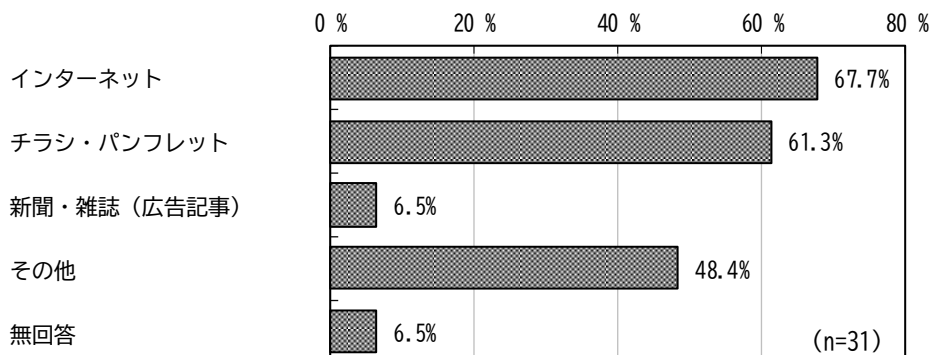
① 看取りを実施できる事業所の、この1年の実績

看取りを「実施できる」事業所において、この1年の実績として、「1～5件」が64.0%と最も高く、「6～10件」が16.0%、「0人」が8.0%、「11～15件」「16～20件」「21件以上」が4.0%となっている。



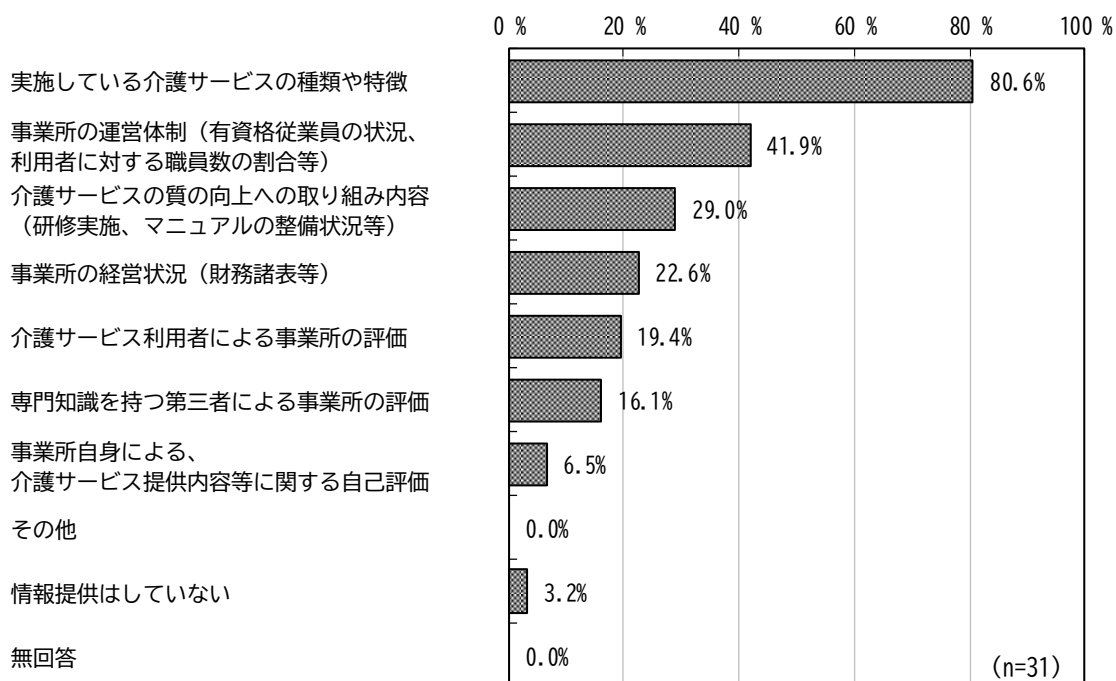
問5 貴事業所では、どのような方法で入居者の募集を行っていますか（いくつでも○）。

入居者の募集方法として、「インターネット」が67.7%と最も高く、「チラシ・パンフレット」が61.3%、「新聞・雑誌（広告記事）」が6.5%となっている。



問6 貴事業所では、利用者を含め区民に対してどのような情報提供を行っていますか（いくつでも○）。

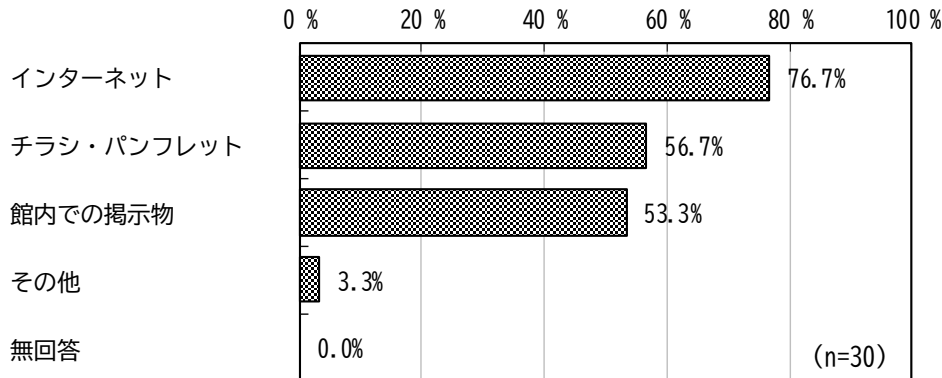
利用者を含む区民への情報提供の内容として、「実施している介護サービスの種類や特徴」が80.6%と最も高く、「事業所の運営体制（有資格従業員の状況、利用者に対する職員数の割合等）」が41.9%、「介護サービスの質の向上への取り組み内容（研修実施、マニュアルの整備状況等）」が29.0%、「事業所の経営状況（財務諸表等）」が22.6%、「介護サービス利用者による事業所の評価」が19.4%、「専門知識を持つ第三者による事業所の評価」が16.1%、「事業所自身による、介護サービス提供内容等に関する自己評価」が6.5%となっている。また「情報提供はしていない」が3.2%となっている。





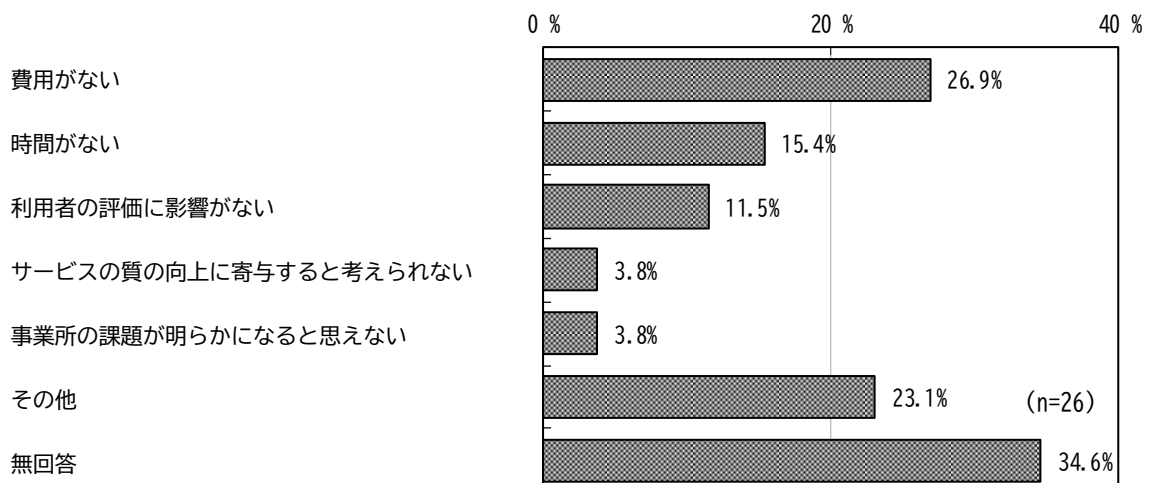
## 問6-1 情報提供の手段は何ですか (いくつでも○)。

情報提供の手段として、「インターネット」が76.7%と最も高く、「チラシ・パンフレット」が56.7%、「館内での掲示物」が53.3%となっている。



## 問6-2 第三者評価を受けていない理由を教えてください (いくつでも○)。

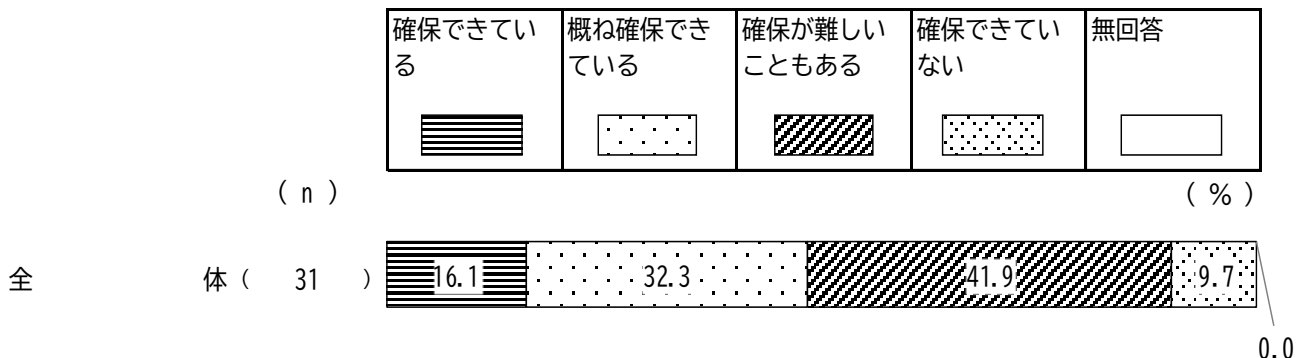
利用者を含む区民へ「専門知識を持つ第三者による事業所の評価」について情報提供を行っていない事業所において、第三者評価を受けていない理由について、無回答を除くと、「費用がない」が26.9%と最も高く、「時間がない」が15.4%、「利用者の評価に影響がない」が11.5%、「サービスの質の向上に寄与すると考えられない」「事業所の課題が明らかになると思えない」が3.8%となっている。



(3) 人材確保について

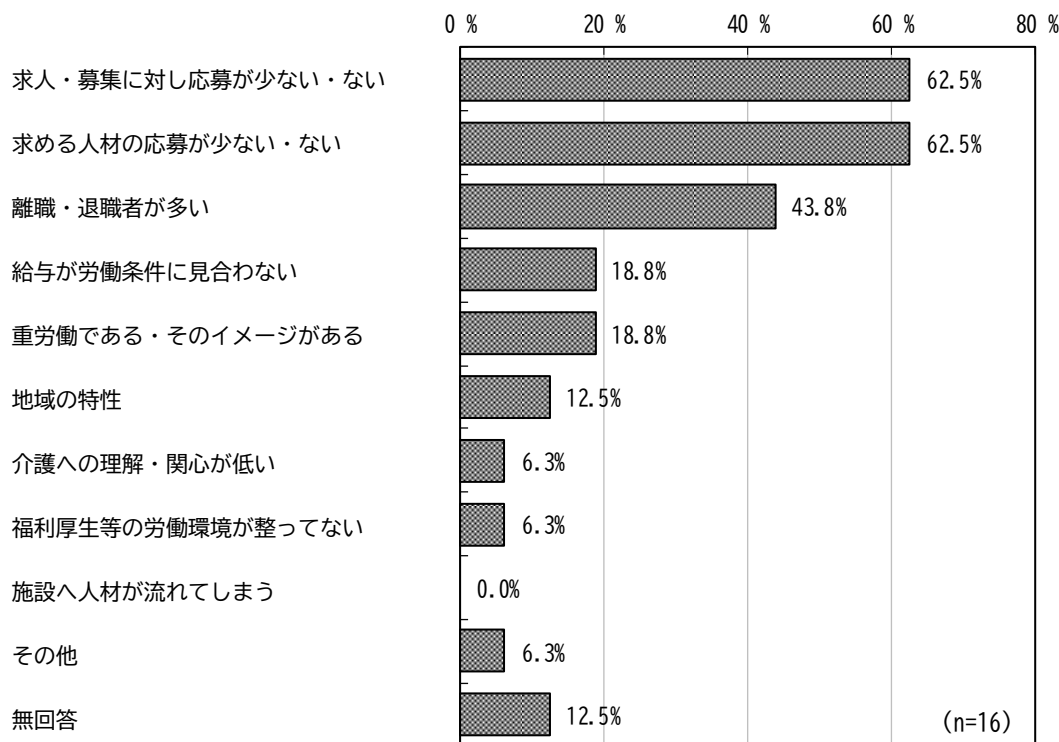
問7 貴事業所では、介護職員等の人材は確保できていますか（1つに○）。

事業所の介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」が41.9%と最も高く、「概ね確保できている」が32.3%、「確保できている」が16.1%、「確保できていない」が9.7%となっている。



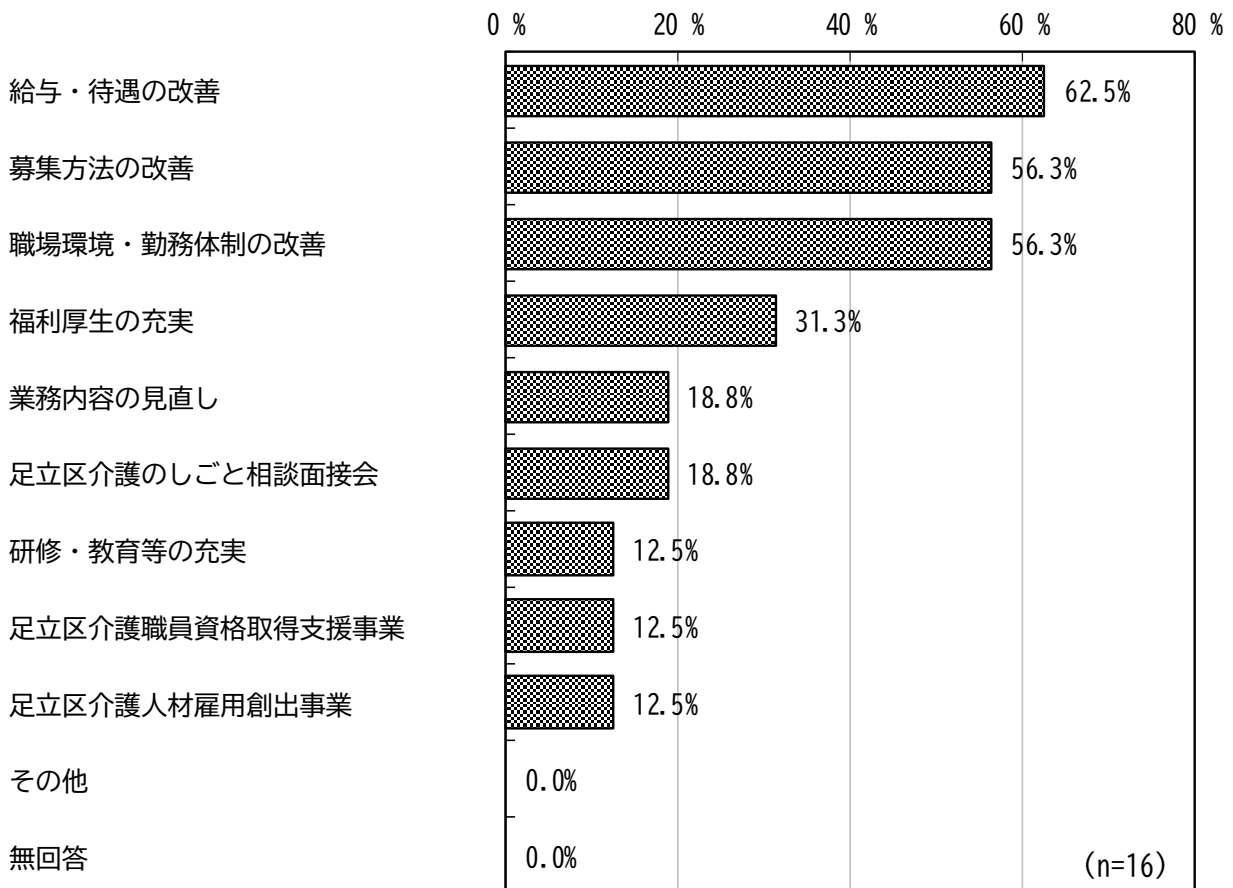
問7-1 その理由は何ですか（いくつでも○）。

介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」または「確保できていない」と回答した事業所の、人材確保が難しい理由として、「求人・募集に対し応募が少ない・ない」「求める人材の応募が少ない・ない」が62.5%と最も高く、「離職・退職者が多い」が43.8%、「給与が労働条件に見合わない」「重労働である・そのイメージがある」が18.8%、「地域の特性」が12.5%、「介護への理解・関心が低い」「福利厚生等の労働環境が整っていない」が6.3%、「施設へ人材が流れてしまう」が0.0%となっている。



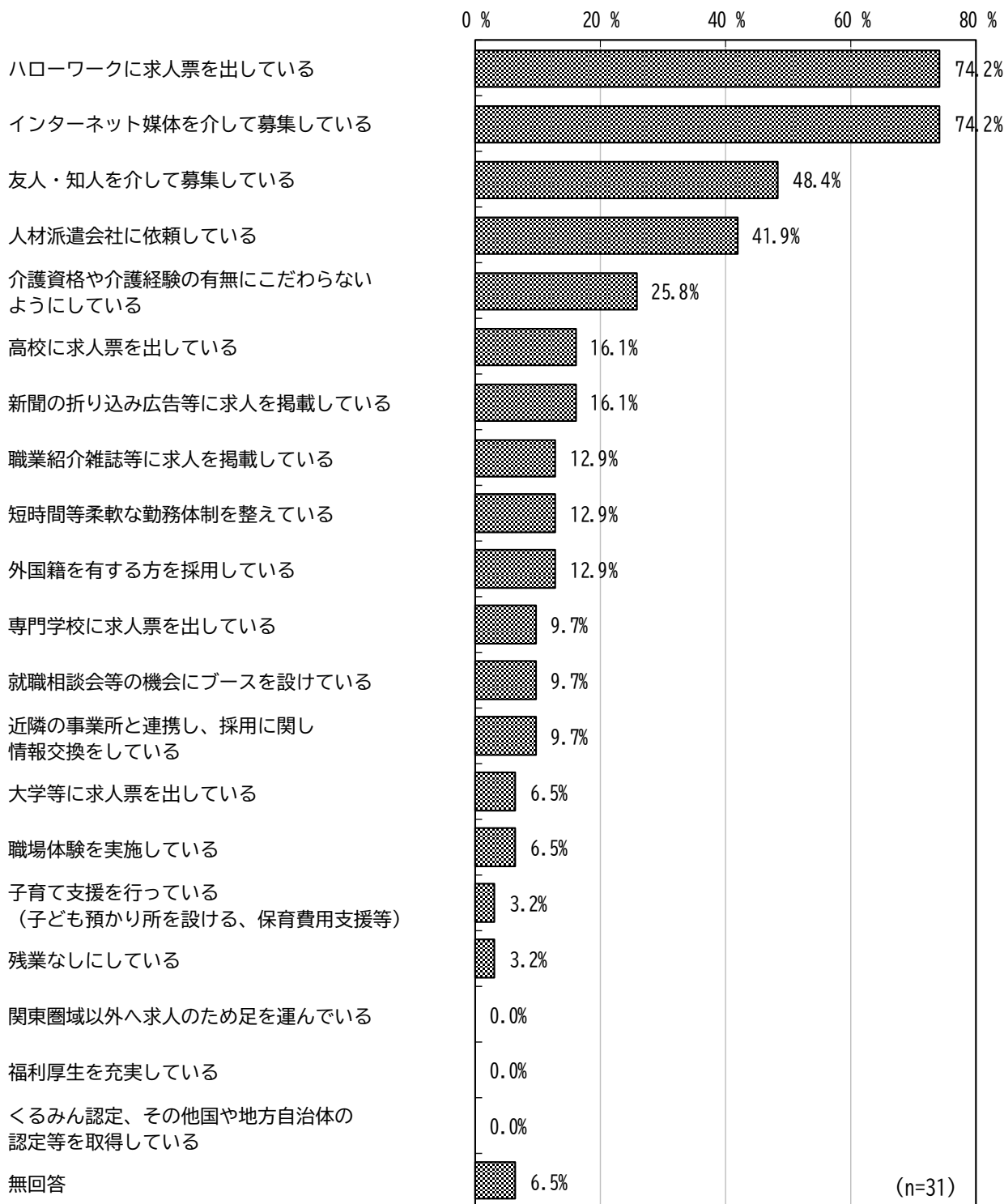
## 問7-2 人材確保支援策として有効だと思うものは何ですか（いくつでも○）。

介護職員等の人材について、「確保が難しいこともある」または「確保できていない」と回答した事業所の、人材確保支援策として有効だと思うものについて、「給与・待遇の改善」が62.5%と最も高く、「募集方法の改善」「職場環境・勤務体制の改善」が56.3%、「福利厚生の充実」が31.3%、「業務内容の見直し」「足立区介護のしごと相談面接会」が18.8%、「研修・教育等の充実」「足立区介護職員資格取得支援事業」「足立区介護人材雇用創出事業」が12.5%となっている。



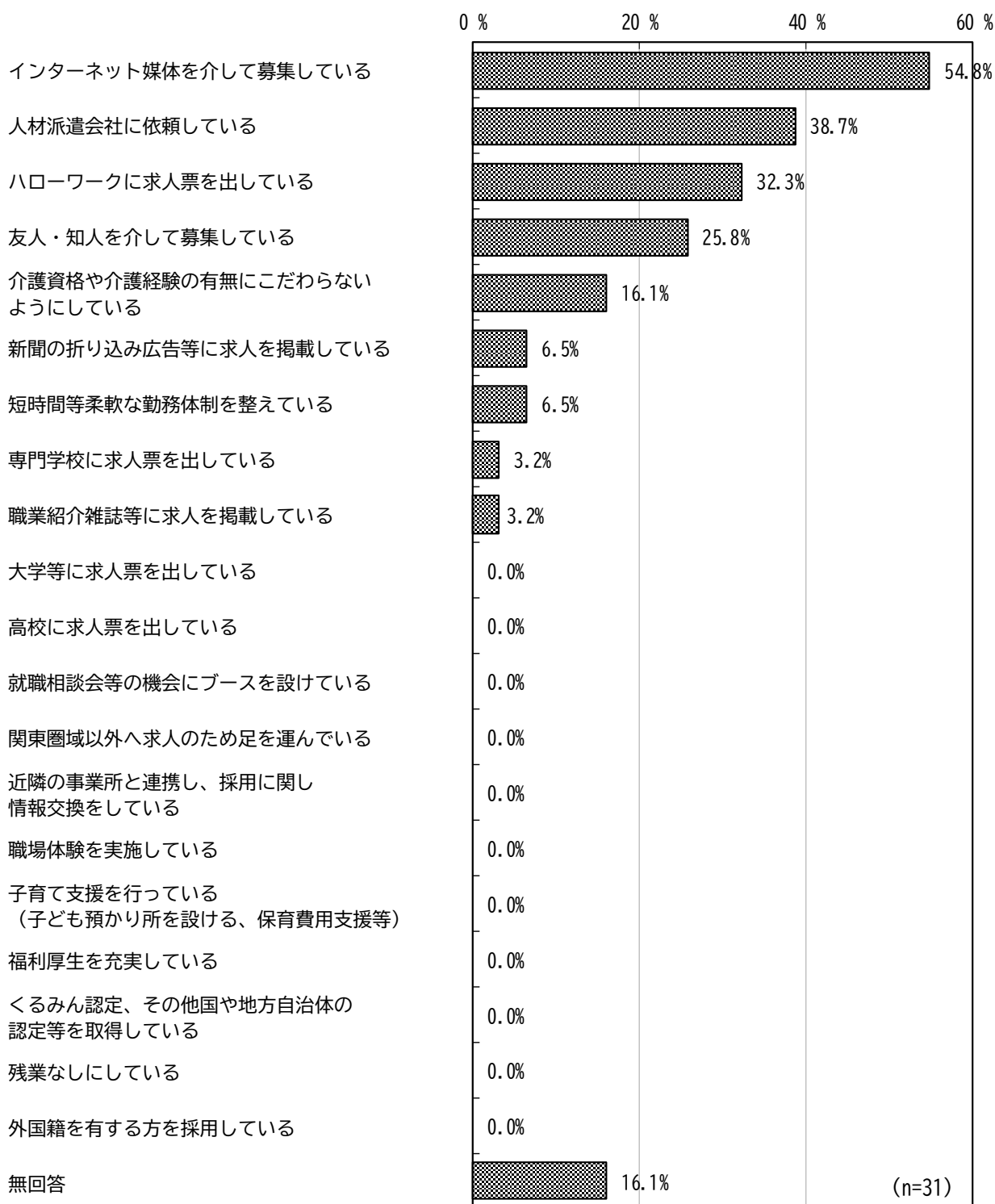
問8 貴事業所では、職員の募集（採用）にあたりどのような工夫を行っていますか（いくつでも○）。

事業所の職員募集の方法について、「ハローワークに求人票を出している」「インターネット媒体を介して募集している」が74.2%と最も高く、「友人・知人を介して募集している」が48.4%、「人材派遣会社に依頼している」が41.9%、「介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている」が25.8%と続いている。



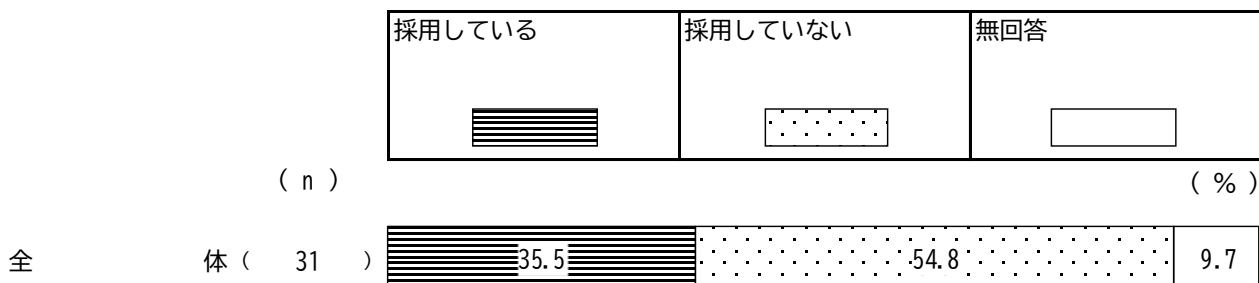
## 問8-1 問8の職員募集で効果のあったものは何ですか（3つまで数字を記入）。

職員募集で効果のあったものとして、「インターネット媒体を介して募集している」が54.8%と最も高く、「人材派遣会社に依頼している」が38.7%、「ハローワークに求人票を出している」が32.3%、「友人・知人を介して募集している」が25.8%、「介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている」が16.1%と続いている。



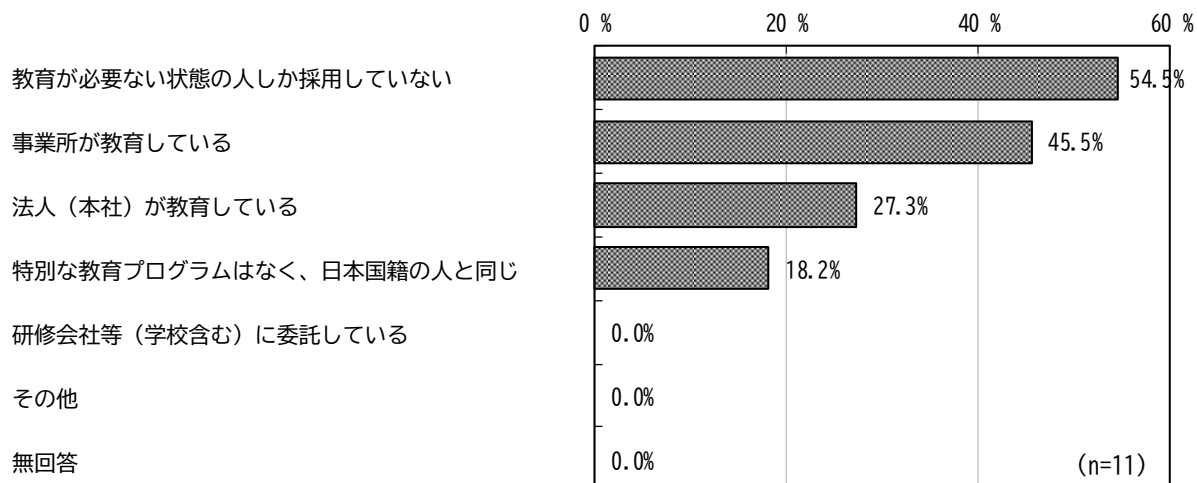
問9 貴事業者では、外国籍を有する方を積極的に採用していますか（1つに○）。

外国籍を有する方の採用について、積極的に「採用している」が35.5%、「採用していない」が54.8%となっている。



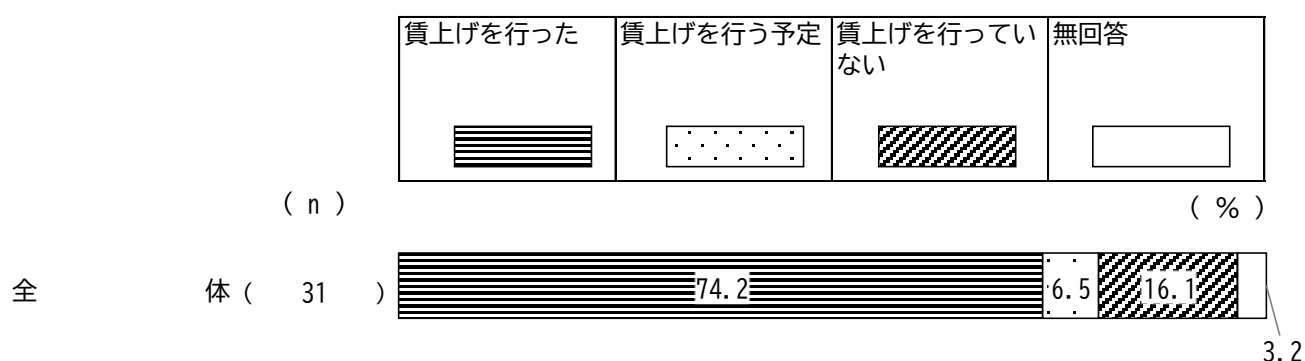
問9-1 外国籍を有する方を積極的に採用している場合、必要な教育はどのようにしていますか（いくつでも○）。

外国籍を有する方を積極的に「採用している」と回答した事業所の、必要な教育の実施状況について、「教育が必要ない状態の人しか採用していない」が54.5%と最も高く、「事業所が教育している」が45.5%、「法人（本社）が教育している」が27.3%、「特別な教育プログラムはなく、日本国籍の人と同じ」が18.2%、「研修会社等（学校含む）に委託している」が0.0%となっている。



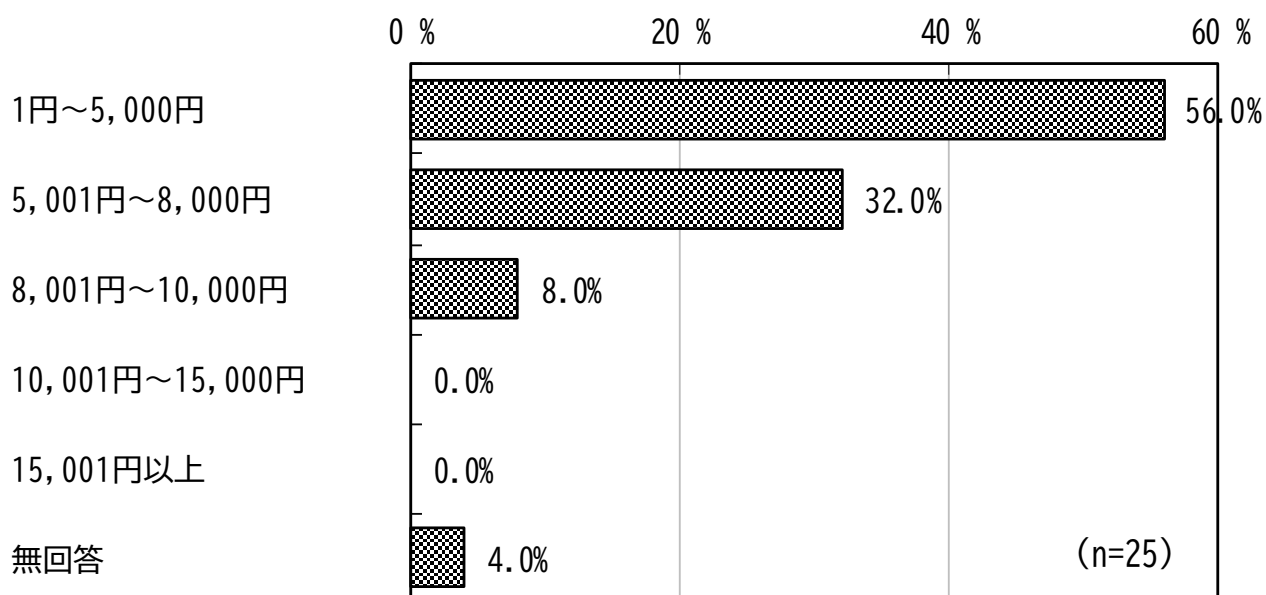
## 問10 貴事業所は今年度に賃上げを実施しましたか（1つに○）。

今年度の賃上げについて、「賃上げを行った」が74.2%と最も高く、「賃上げを行っていない」が16.1%、「賃上げを行う予定」が6.5%となっている。



## 問10-1 職員1人あたりの賃上げ平均額は月額（換算）でいくらですか（1つに○）。

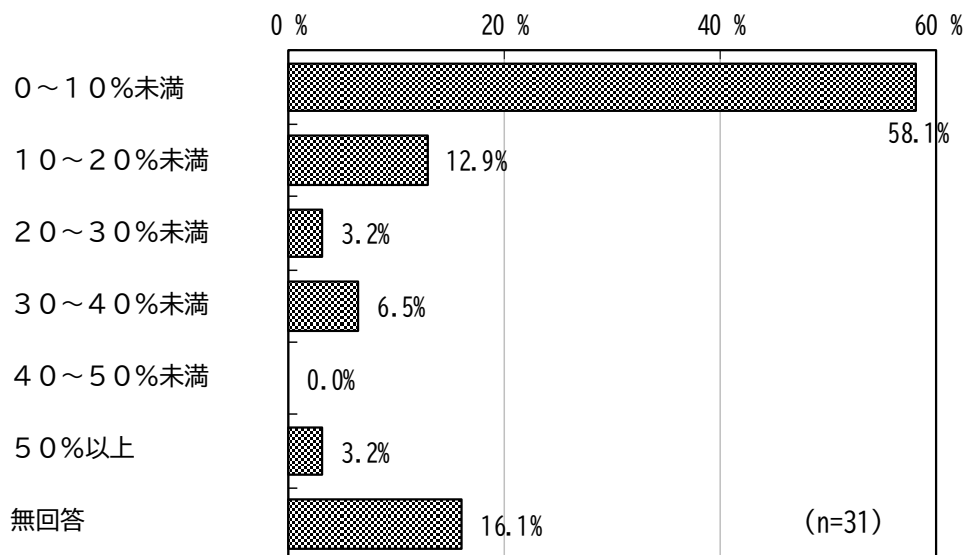
「賃上げを行った」または「賃上げを行う予定」と回答した事業所の、職員1人あたりの賃上げ平均額について、「1円～5,000円」が56.0%と最も高く、「5,001円～8,000円」が32.0%、「8,001円～10,000円」が8.0%、「10,001円～15,000円」「15,001円以上」が0.0%となっている。



問11 令和3年（1月～12月）の入職率と離職率についてお答えください（それぞれ1つに○）。

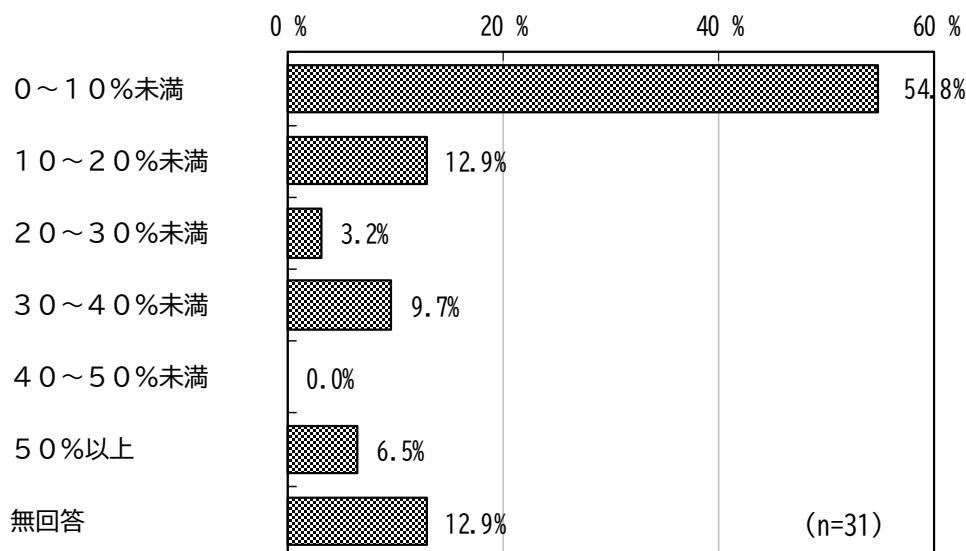
① 正規職員 入職率

令和3年（1月から12月）の正規職員の入職率について、「0～10%未満」が58.1%と最も高く、「10～20%未満」が12.9%、「30～40%未満」が6.5%、「20～30%未満」「50%以上」が3.2%、「40～50%未満」が0.0%となっている。



② 正規職員 離職率

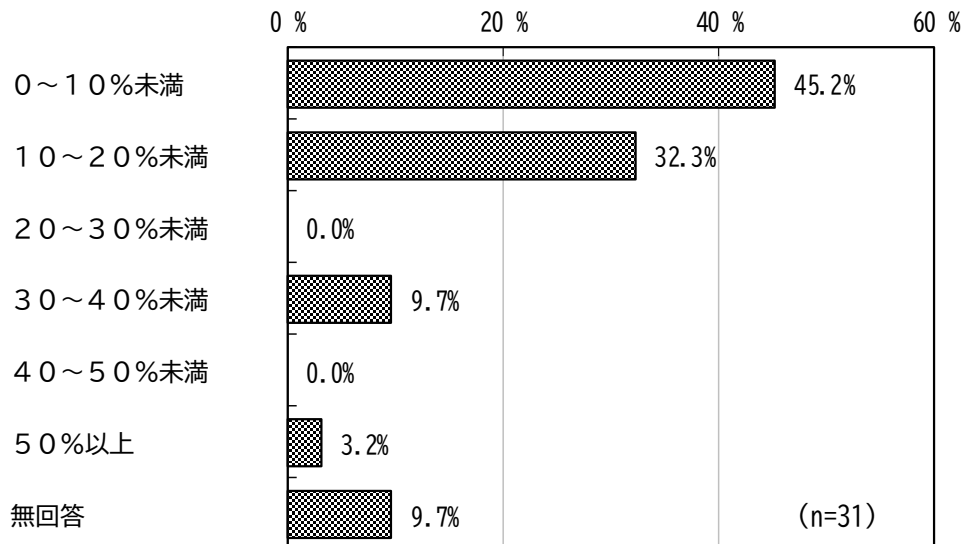
令和3年（1月から12月）の正規職員の離職率について、「0～10%未満」が54.8%と最も高く、「10～20%未満」が12.9%、「30～40%未満」が9.7%、「50%以上」が6.5%、「20～30%未満」が3.2%、「40～50%未満」が0.0%となっている。





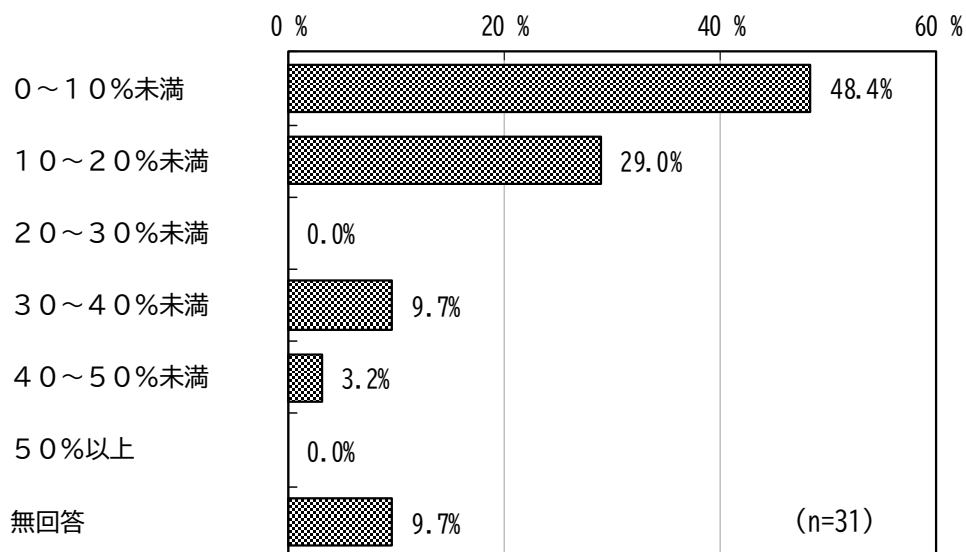
## ③ 非正規職員 入職率

令和3年(1月から12月)の非正規職員の入職率について、「0～10%未満」が45.2%と最も高く、「10～20%未満」が32.3%、「30～40%未満」が9.7%、「50%以上」が3.2%、「20～30%未満」「40～50%未満」が0.0%となっている。



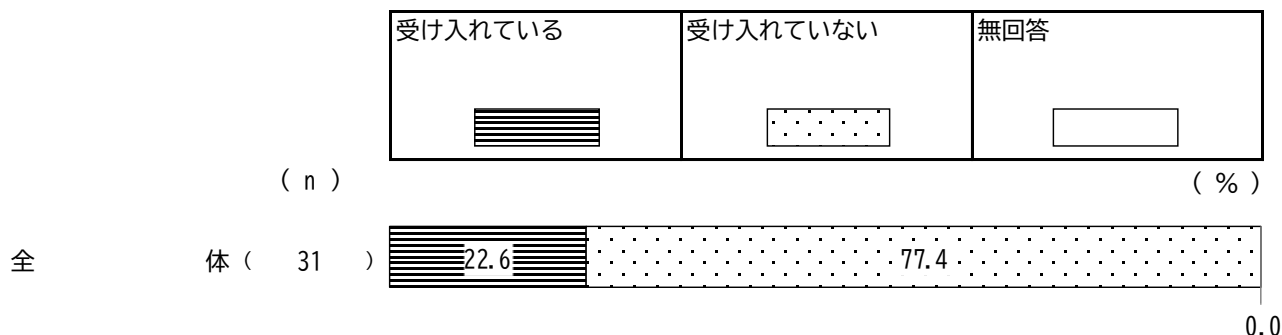
## ④ 非正規職員 離職率

令和3年(1月から12月)の非正規職員の離職率について、「0～10%未満」が48.4%と最も高く、「10～20%未満」が29.0%、「30～40%未満」が9.7%、「40～50%未満」が3.2%、「20～30%未満」「50%以上」が0.0%となっている。



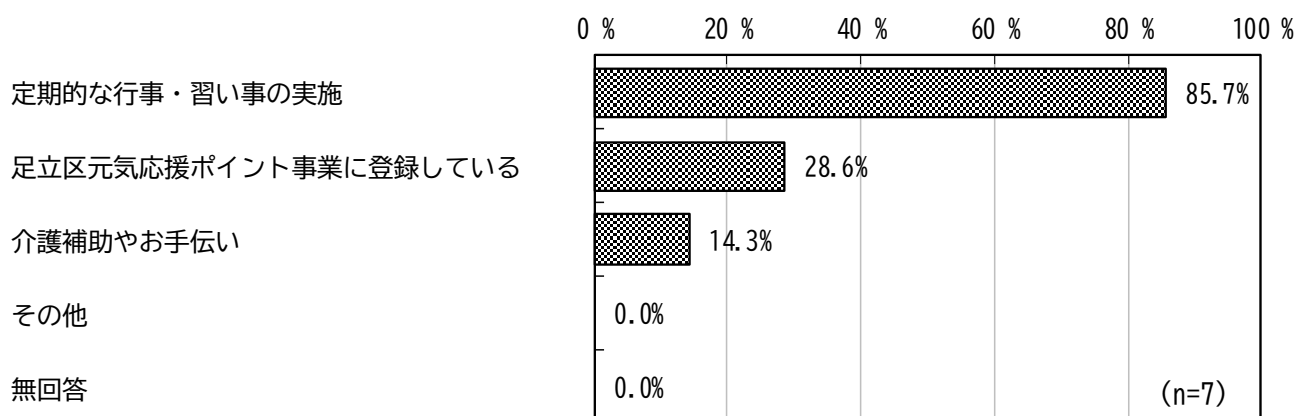
問12 ボランティアの受け入れはしていますか（1つに○）。

ボランティアの受け入れ状況について、「受け入れている」が22.6%、「受け入れていない」が77.4%となっている。



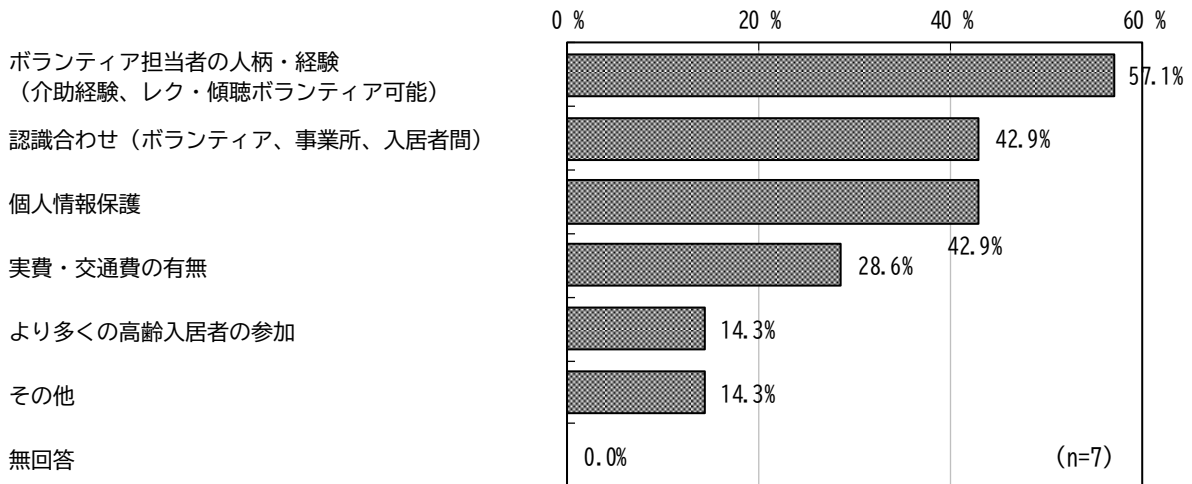
問12-1 ボランティアの活動内容は何ですか（いくつでも○）。

ボランティアを「受け入れている」事業所において、ボランティアの活動内容として、「定期的な行事・習い事の実施」が85.7%と最も高く、「足立区元気応援ポイント事業に登録している」が28.6%、「介護補助やお手伝い」が14.3%となっている。



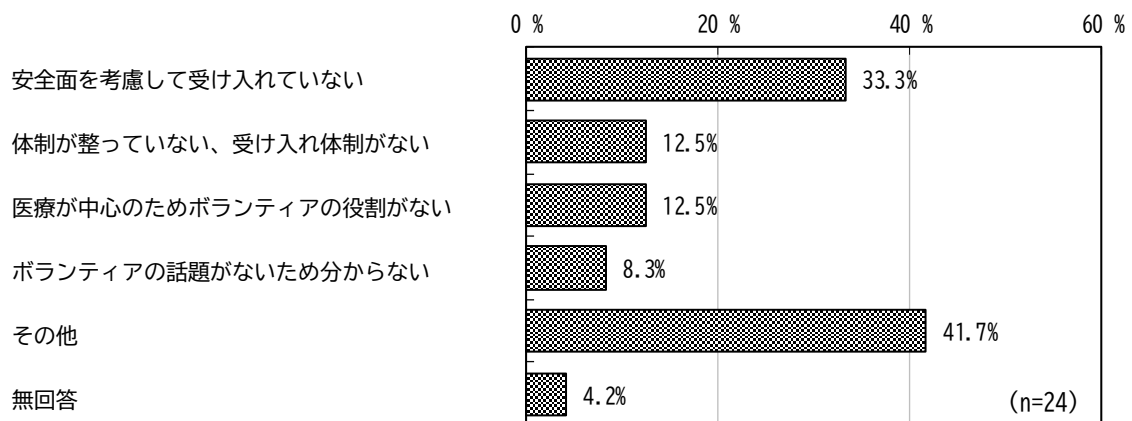
問12-2 ボランティアを受け入れる際の課題や注意していることがあれば、お書きください（いくつでも○）。

ボランティアを「受け入れている」事業所において、ボランティアを受け入れる際の課題や注意点として、「ボランティア担当者の人柄・経験（介助経験、レク・傾聴ボランティア可能）」が57.1%と最も高く、「認識合わせ（ボランティア、事業所、入居者間）」「個人情報保護」が42.9%、「実費・交通費の有無」が28.6%、「より多くの高齢入居者の参加」が14.3%となっている。



問12-3 ボランティアを受け入れていない理由は何ですか（いくつでも○）。

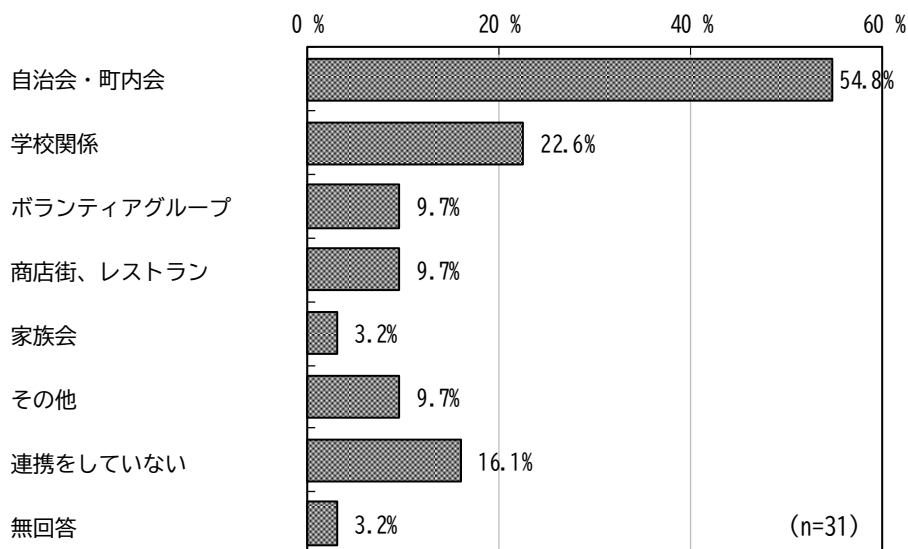
ボランティアを「受け入れていない」事業所において、ボランティアを受け入れていない理由として、「その他」を除くと、「安全面を考慮して受け入れていない」が33.3%と最も高く、「体制が整っていない、受け入れ体制がない」「医療が中心のためボランティアの役割がない」が12.5%、「ボランティアの話題がないため分からない」が8.3%となっている。



(4) 地域連携について

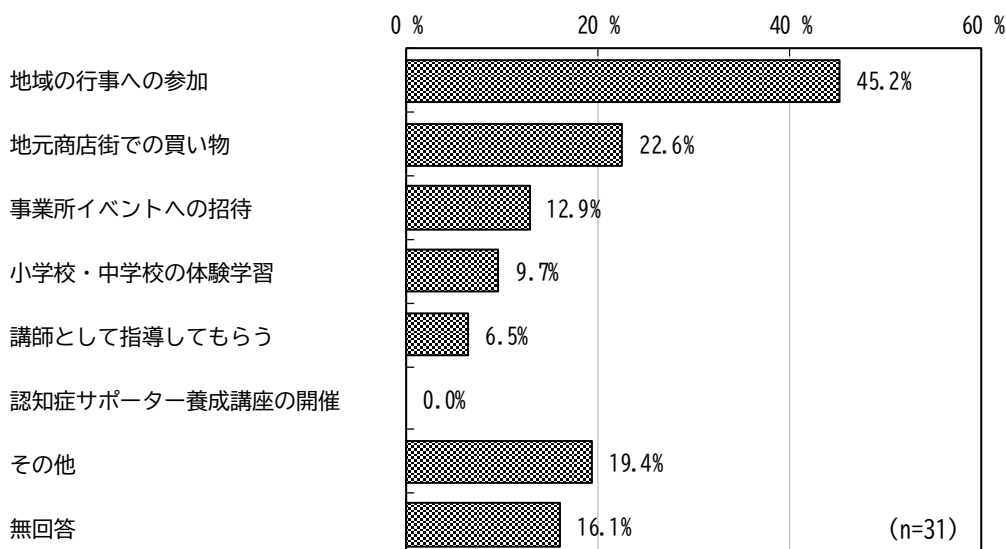
問13 地域のどのような組織と連携をしていますか (いくつでも○)。

地域の連携先として、「自治会・町内会」が54.8%と最も高く、「学校関係」が22.6%、「ボランティアグループ」「商店街、レストラン」が9.7%、「家族会」が3.2%となっている。また「連携をしていない」が16.1%となっている。



問14 地域とどのような連携をしていますか (いくつでも○)。

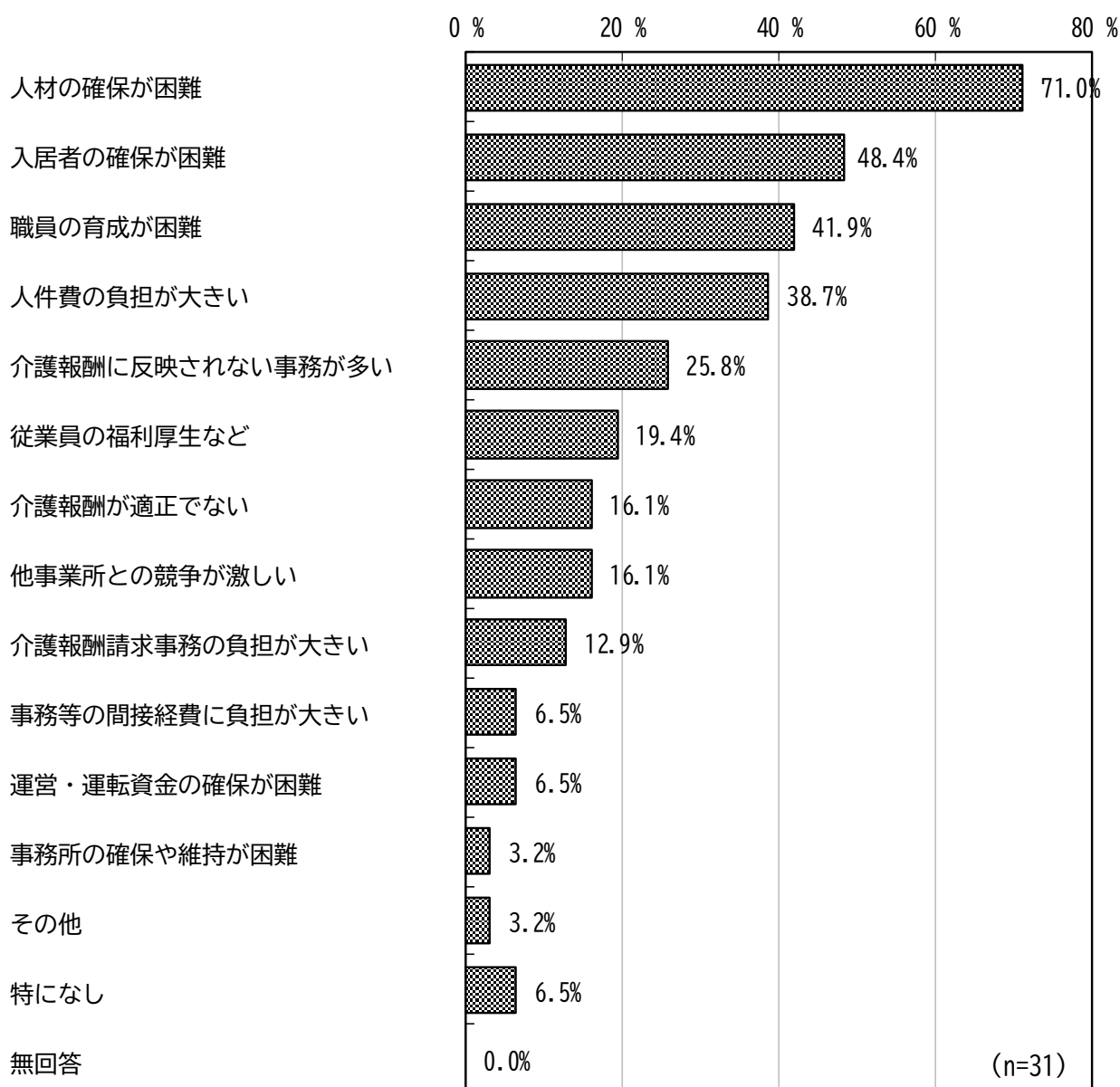
地域との連携方法として、「地域の行事への参加」が45.2%と最も高く、「地元商店街での買い物」が22.6%、「事業所イベントへの招待」が12.9%、「小学校・中学校の体験学習」が9.7%、「講師として指導してもらおう」が6.5%、「認知症サポーター養成講座の開催」が0.0%となっている。



## (5) 事業運営等について

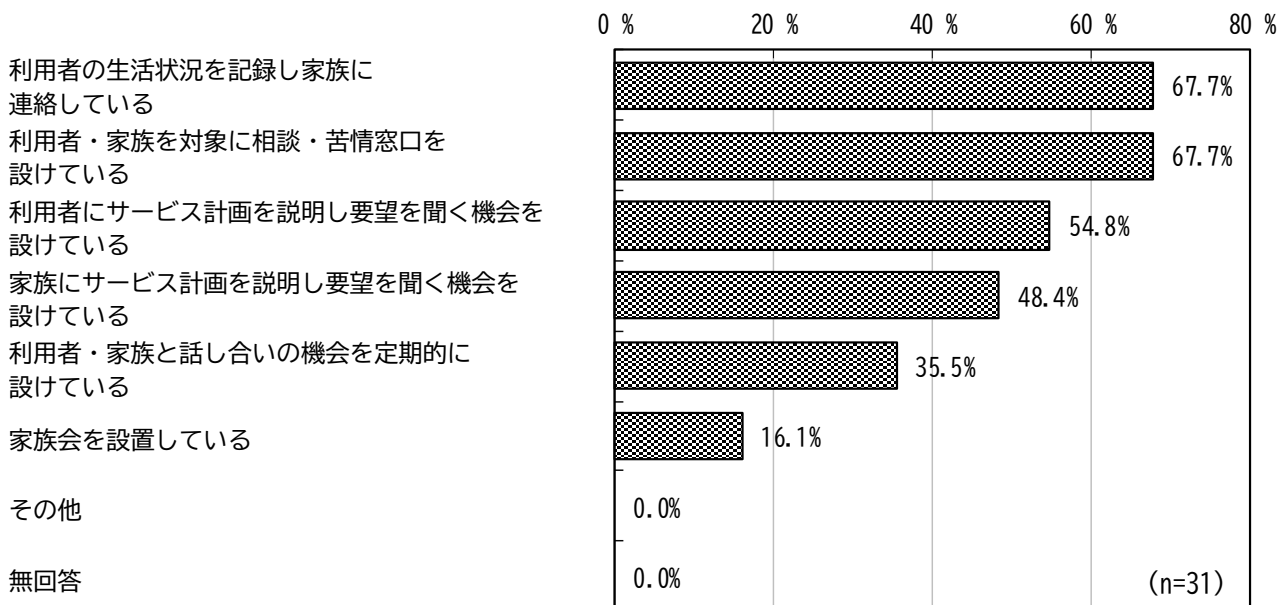
問15 事業を実施するうえで、経営面でどのような問題点や課題がありますか  
(いくつでも○)。

事業を実施するうえでの経営面での問題点や課題として、「人材の確保が困難」が71.0%と最も高く、「入居者の確保が困難」が48.4%、「職員の育成が困難」が41.9%、「人件費の負担が大きい」が38.7%、「介護報酬に反映されない事務が多い」が25.8%、「従業員の福利厚生など」が19.4%、「介護報酬が適正でない」「他事業所との競争が激しい」が16.1%、「介護報酬請求事務の負担が大きい」が12.9%、「事務等の間接経費に負担が大きい」「運営・運転資金の確保が困難」が6.5%、「事務所の確保や維持が困難」が3.2%となっている。また「特になし」が6.5%となっている。



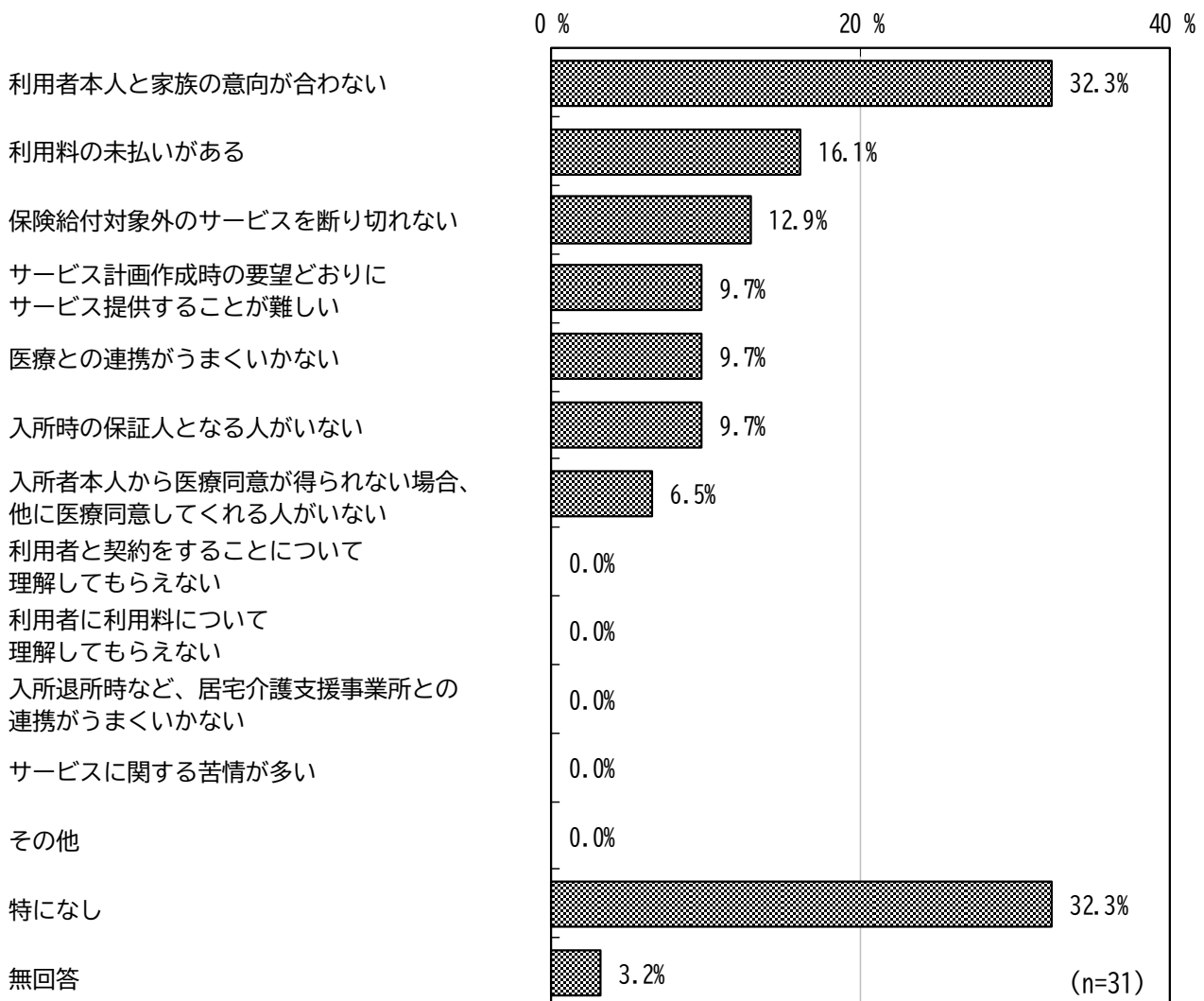
問16 利用者や家族の要望を積極的に取り入れるため、どのような取り組みを行っていますか（いくつでも○）。

利用者や家族の要望を積極的に取り入れるための取り組みとして、「利用者の生活状況を記録し家族に連絡している」「利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている」が67.7%と最も高く、「利用者にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている」が54.8%、「家族にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている」が48.4%、「利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている」が35.5%、「家族会を設置している」が16.1%となっている。



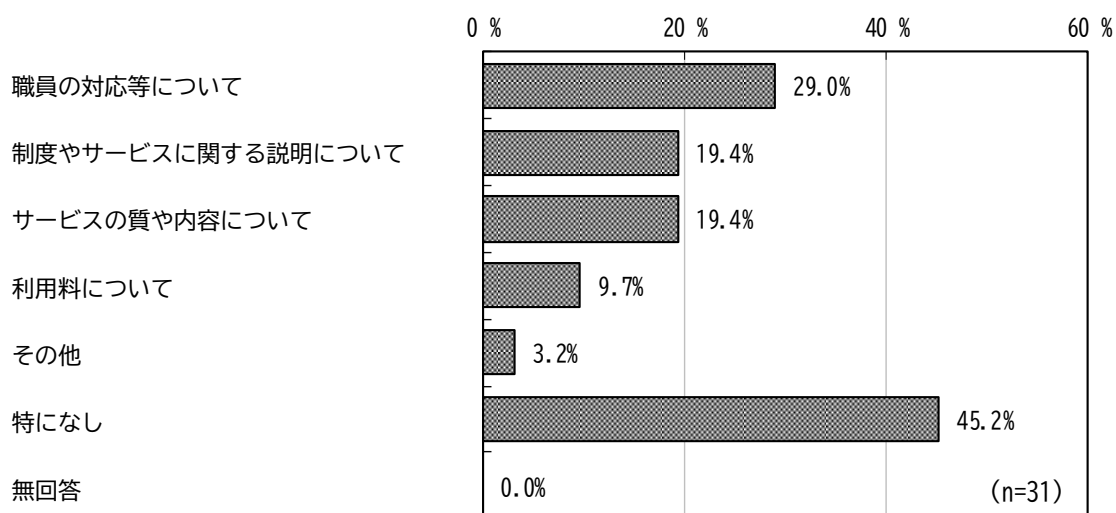
問17 事業を実施するうえで、利用者やその家族等との関係でどのような問題点や課題がありますか（いくつでも○）。

事業を実施するうえでの利用者やその家族等との関係上の問題点や課題として、「利用者本人と家族の意向が合わない」が32.3%と最も高く、「利用料の未払いがある」が16.1%、「保険給付対象外のサービスを断り切れない」が12.9%、「サービス計画作成時の要望どおりにサービス提供することが難しい」「医療との連携がうまくいかない」「入所時の保証人となる人がいない」が9.7%、「入所者本人から医療同意が得られない場合、他に医療同意してくれる人がいない」が6.5%となっている。また「特になし」が32.3%となっている。



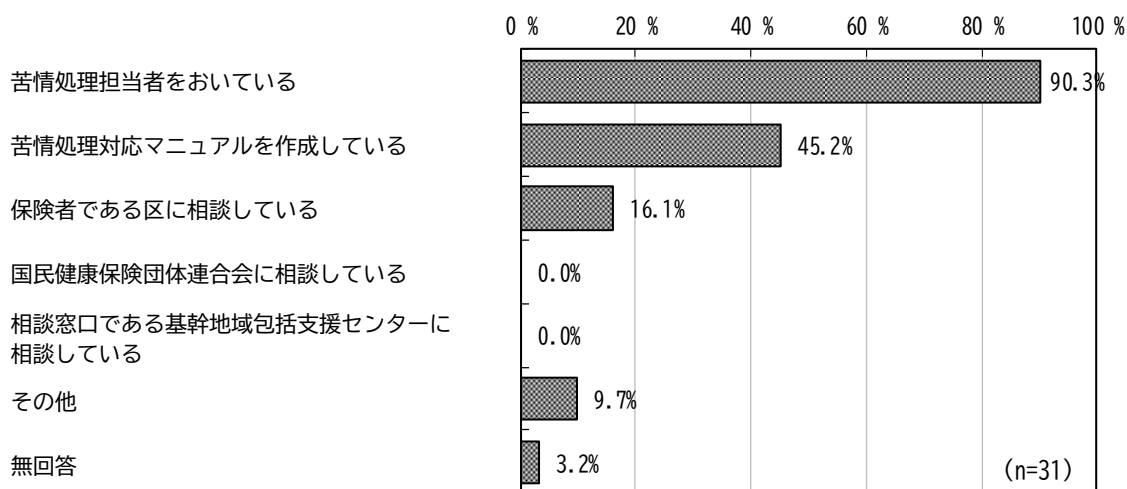
問18 令和3年度以降、利用者やその家族からどのような要望・苦情がありましたか（いくつでも○）。

令和3年度以降、利用者やその家族から受けた要望・苦情について、「職員の対応等について」が29.0%と最も高く、「制度やサービスに関する説明について」「サービスの質や内容について」が19.4%、「利用料について」が9.7%となっている。また「特になし」が45.2%となっている。



問19 利用者等から苦情があった場合、どのように対応していますか（いくつでも○）。

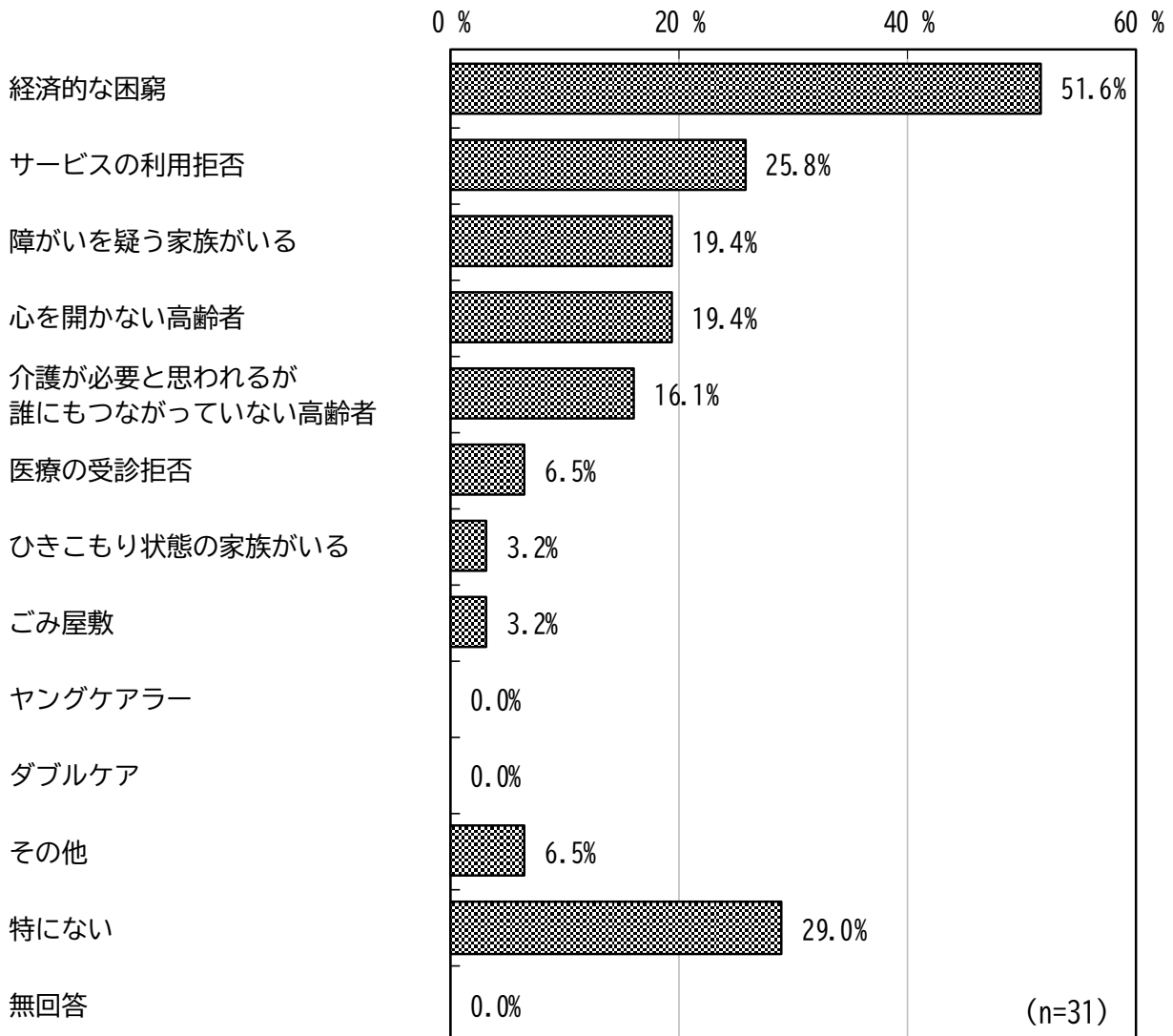
利用者等から苦情があった場合の対応として、「苦情処理担当者をおいている」が90.3%と最も高く、「苦情処理対応マニュアルを作成している」が45.2%、「保険者である区に相談している」が16.1%、「国民健康保険団体連合会に相談している」「相談窓口である基幹地域包括支援センターに相談している」が0.0%となっている。





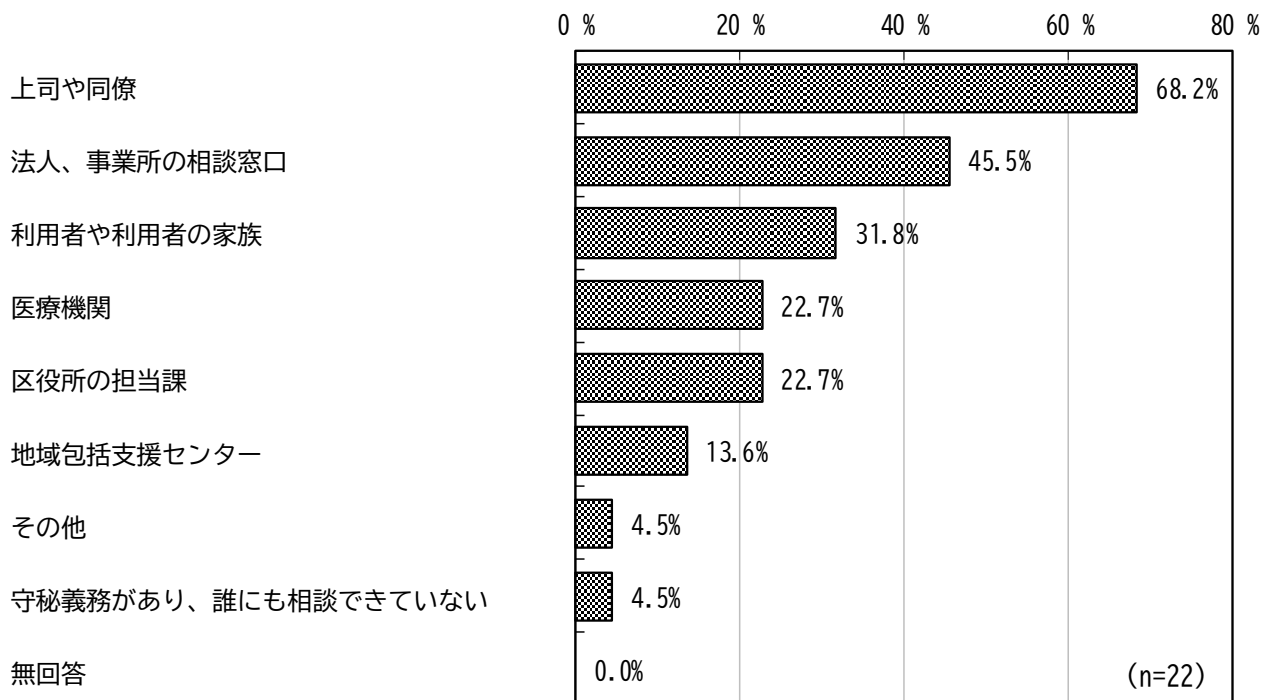
問20 利用者へのサービス提供を行う中で、気になる相談を受けたり、対応困難な事例に遭遇したことがありますか（いくつでも○）。

利用者へのサービス提供を行う中で受けた気になる相談や遭遇した対応困難な事例について、「経済的な困窮」が51.6%と最も高く、「サービスの利用拒否」が25.8%、「障がい进行を疑う家族がいる」「心を開かない高齢者」が19.4%、「介護が必要と思われるが誰にもつながっていない高齢者」が16.1%、「医療の受診拒否」が6.5%、「ひきこもり状態の家族がいる」「ごみ屋敷」が3.2%、「ヤングケアラー」「ダブルケア」が0.0%となっている。また「特にない」が29.0%となっている。



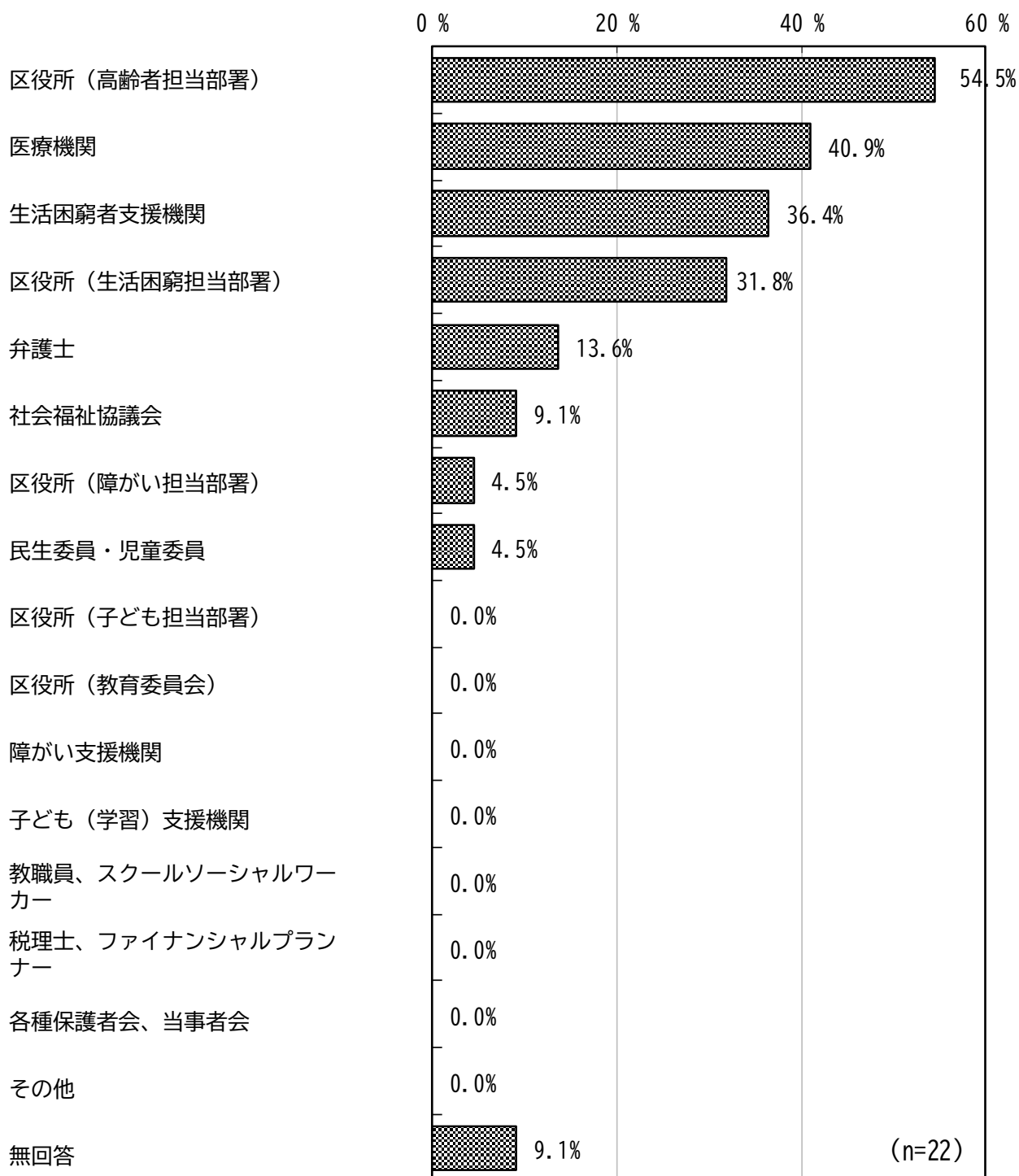
問20-1 気になった相談や困難事例を誰に相談していますか（いくつでも○）。

気になった相談や困難事例の相談先について、「上司や同僚」が68.2%と最も高く、「法人、事業所の相談窓口」が45.5%、「利用者や利用者の家族」が31.8%、「医療機関」「区役所の担当課」が22.7%、「地域包括支援センター」が13.6%となっている。また「守秘義務があり、誰にも相談できていない」が4.5%となっている。



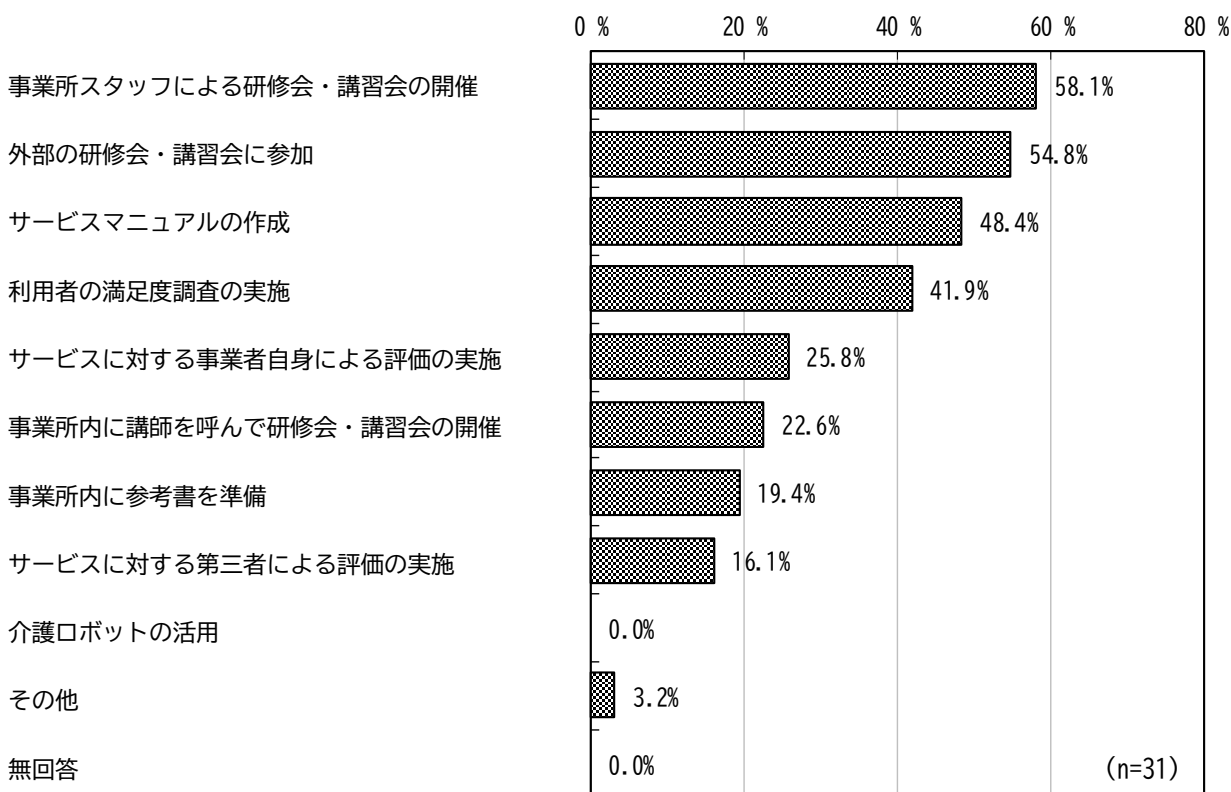
問20-2 気になった相談や困難事例の対応にあたり、誰と連携したいと思いますか  
(いくつでも○)。

気になった相談や困難事例の対応にあたり連携したいと思う先について、「区役所（高齢者担当部署）」が54.5%と最も高く、「医療機関」が40.9%、「生活困窮者支援機関」が36.4%、「区役所（生活困窮担当部署）」が31.8%、「弁護士」が13.6%、「社会福祉協議会」が9.1%、「区役所（障がい担当部署）」「民生委員・児童委員」が4.5%となっている。



問21 サービスの質の向上にむけて、事業所としての取組についてうかがいます。具体的な内容について、現在の状況と今後の予定も含めてお答えください（いくつでも○）。

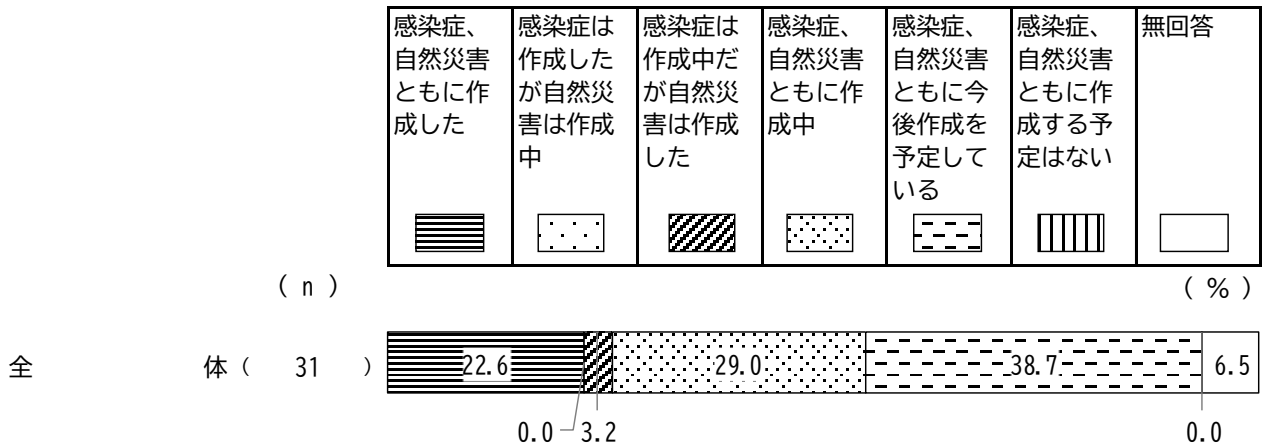
サービスの質の向上にむけて行っている取り組みについて、「事業所スタッフによる研修会・講習会の開催」が58.1%と最も高く、「外部の研修会・講習会に参加」が54.8%、「サービスマニュアルの作成」が48.4%、「利用者の満足度調査の実施」が41.9%、「サービスに対する事業者自身による評価の実施」が25.8%、「事業所内に講師を呼んで研修会・講習会の開催」が22.6%、「事業所内に参考書を準備」が19.4%、「サービスに対する第三者による評価の実施」が16.1%、「介護ロボットの活用」が0.0%となっている。



## (6) 災害対応について

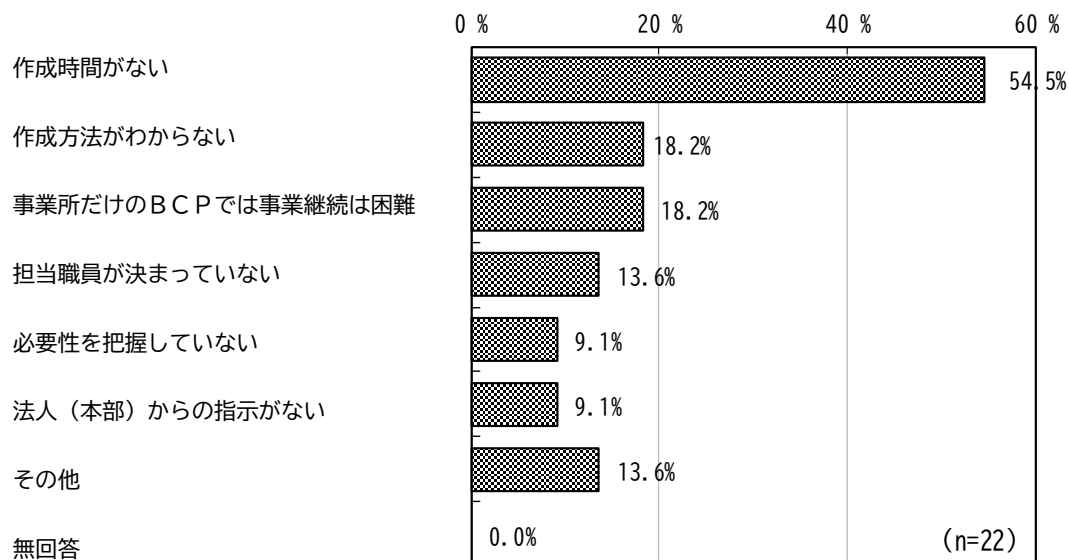
## 問22 BCP（事業継続計画）の作成状況について、お答えください（1つに○）。

BCP（事業継続計画）の作成状況について、「感染症、自然災害ともに今後作成を予定している」が38.7%と最も高く、「感染症、自然災害ともに作成中」が29.0%、「感染症、自然災害ともに作成した」が22.6%、「感染症は作成中だが自然災害は作成した」が3.2%、「感染症は作成したが自然災害は作成中」「感染症、自然災害ともに作成する予定はない」が0.0%となっている。



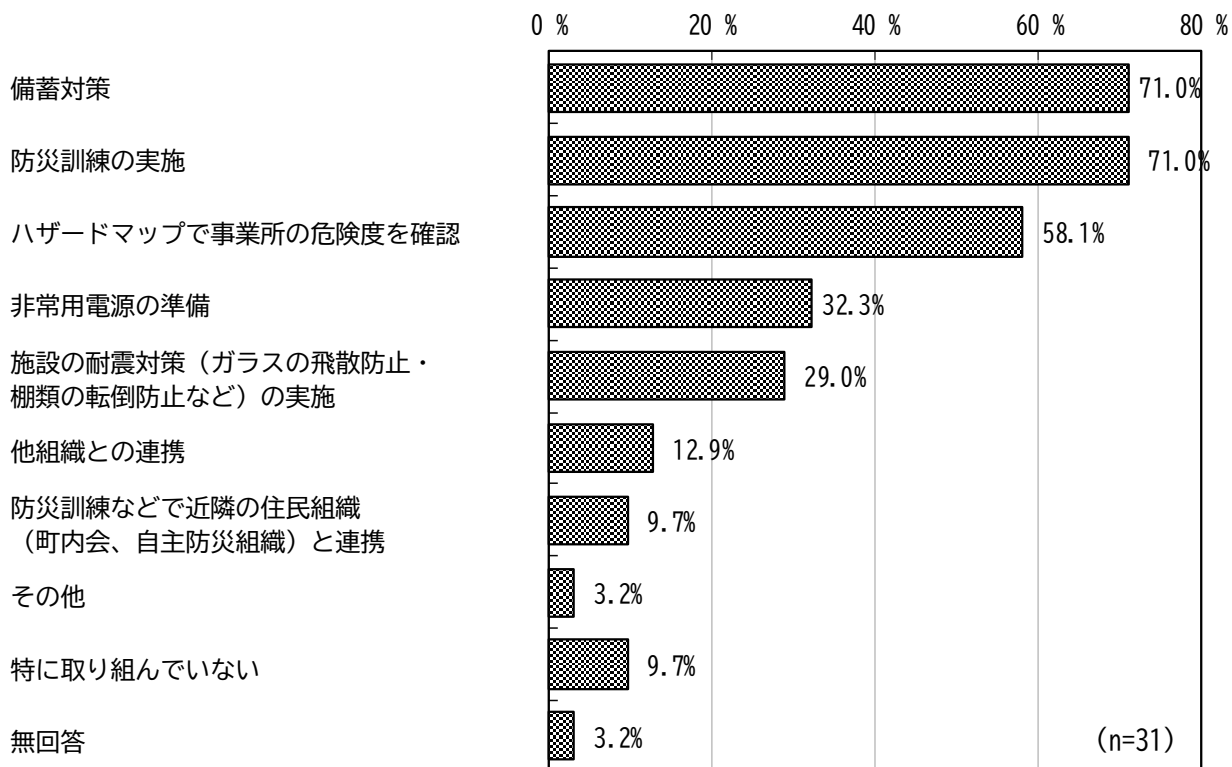
## 問22-1 BCPの作成に着手していない又は作成が完了していない理由は何ですか（いくつでも○）。

BCPの作成に着手していない、または作成が完了していない理由は、「作成時間がない」が54.5%と最も高く、「作成方法がわからない」「事業所だけのBCPでは事業継続は困難」が18.2%、「担当職員が決まっていない」が13.6%、「必要性を把握していない」「法人（本部）からの指示がない」が9.1%となっている。



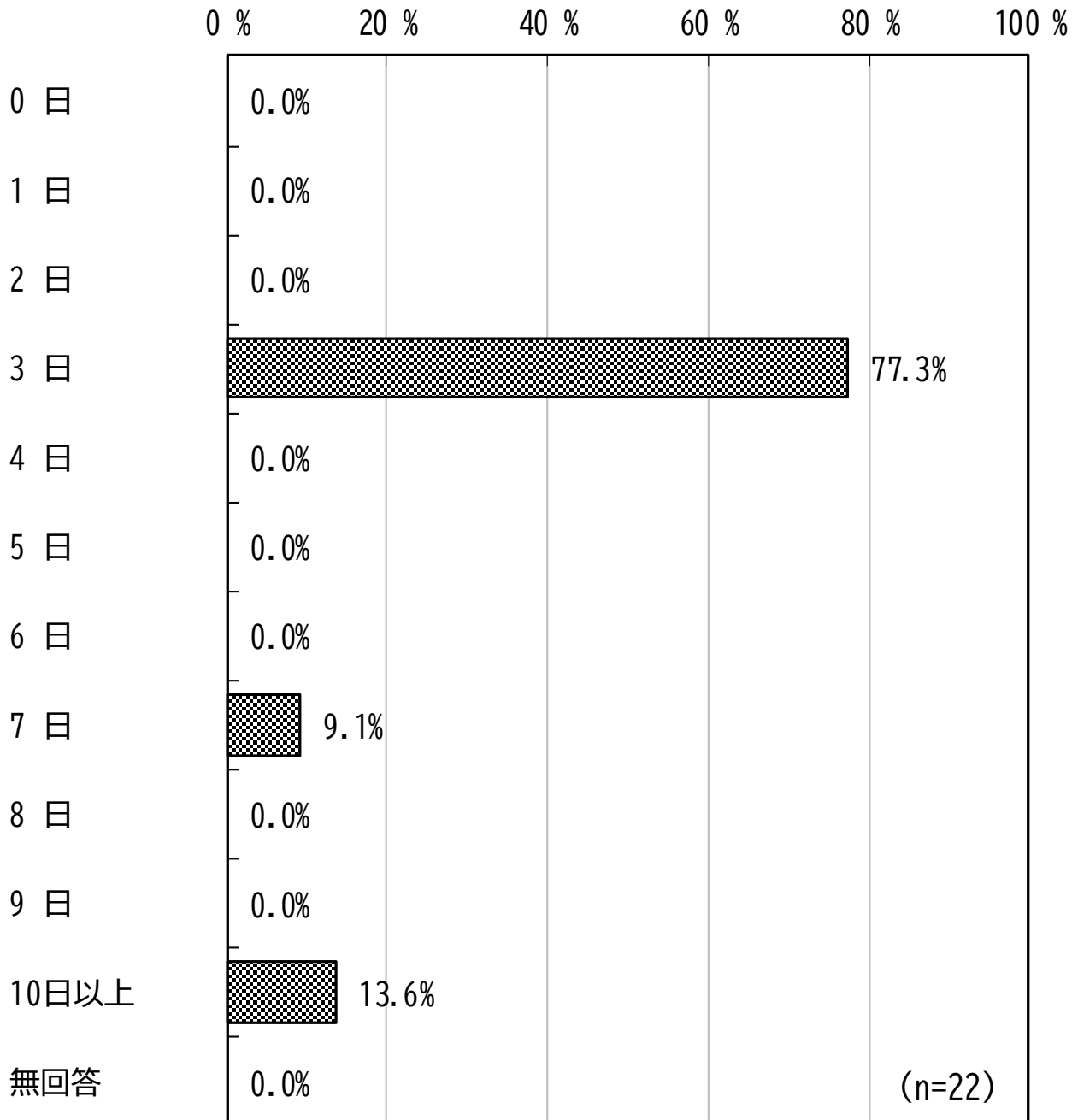
問23 貴事業所が行っている有事(感染症や自然災害)を想定した平時の備えについて、お答えください(いくつでも○)。

事業所における有事(感染症や自然災害)を想定した平時の備えについて、「備蓄対策」「防災訓練の実施」が71.0%と最も高く、「ハザードマップで事業所の危険度を確認」が58.1%、「非常用電源の準備」が32.3%、「施設の耐震対策(ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など)の実施」が29.0%、「他組織との連携」が12.9%、「防災訓練などで近隣の住民組織(町内会、自主防災組織)と連携」が9.7%となっている。また「特に取り組んでいない」が9.7%となっている。



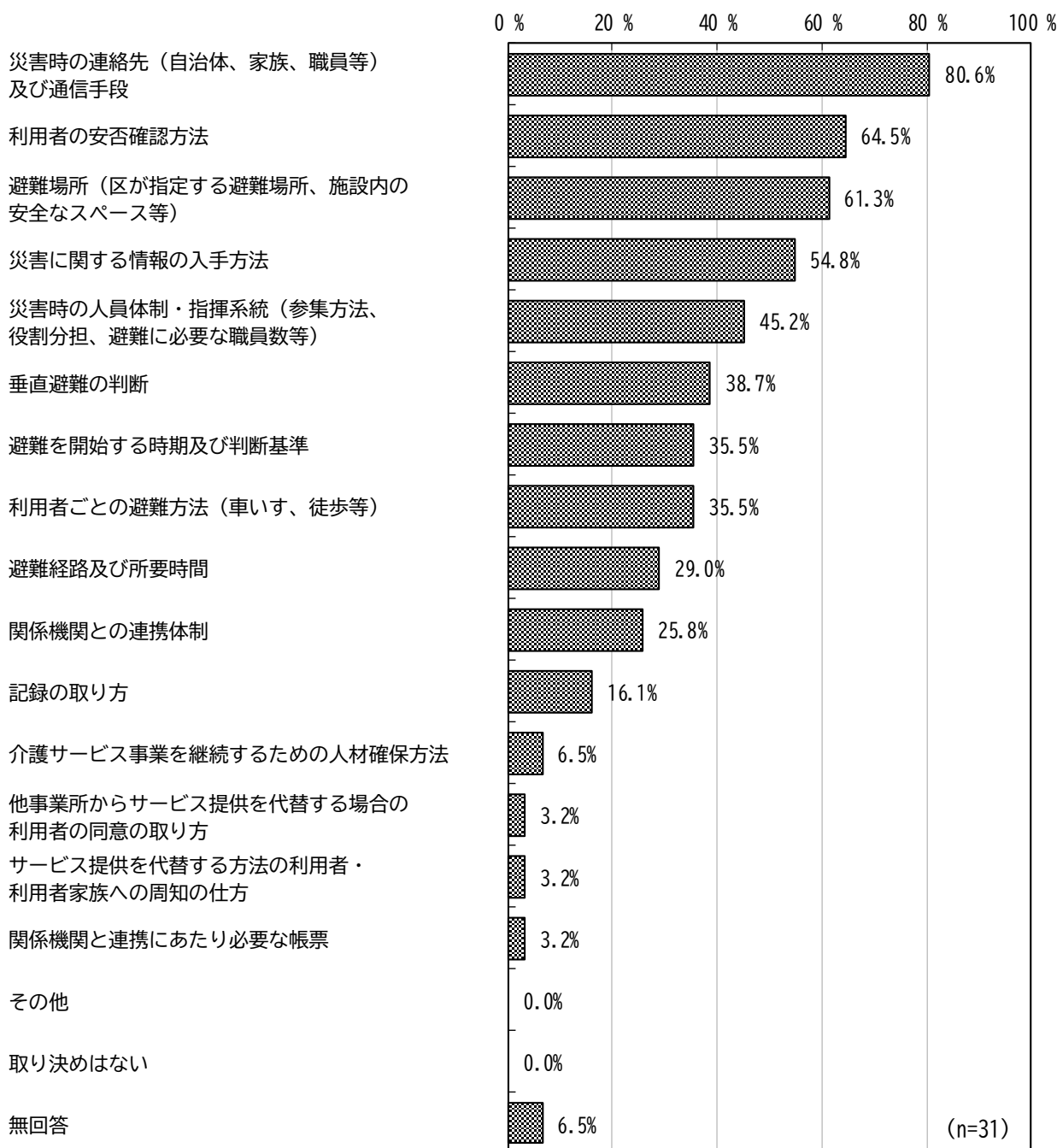
## 問23-1 備蓄は定員および職員あわせて何日分準備していますか（数字を記入）。

「備蓄対策」と回答した事業所の、事業所における災害時の備蓄を定員および職員をあわせて準備している日数は、「3日」が77.3%と最も高く、「10日以上」が13.6%、「7日」が9.1%となっている。



問24 有事（感染症や自然災害）が発生した際に貴事業所で取り決められている内容について、お答えください（いくつでも○）。

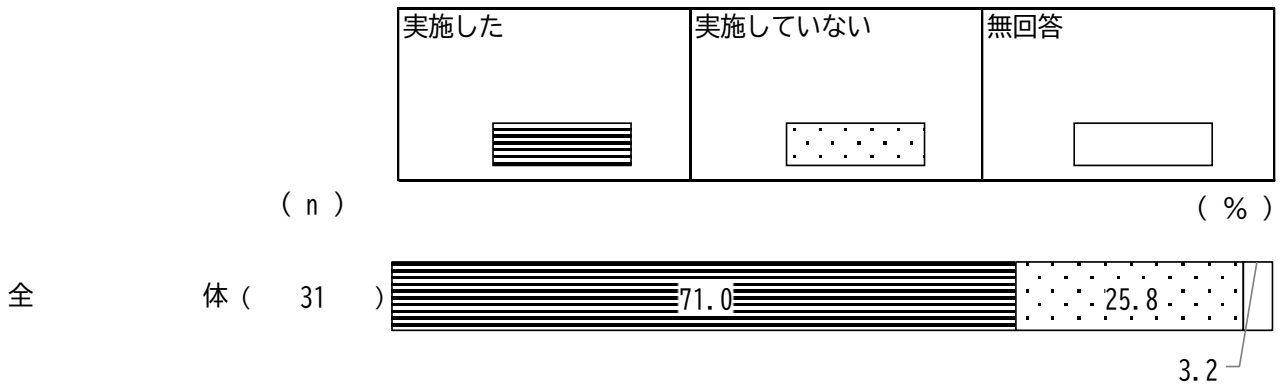
有事（感染症や自然災害）が発生した際に事業所で取り決められている内容について、「災害時の連絡先（自治体、家族、職員等）及び通信手段」が80.6%と最も高く、「利用者の安否確認方法」が64.5%、「避難場所（区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等）」が61.3%、「災害に関する情報の入手方法」が54.8%、「災害時の人員体制・指揮系統（参集方法、役割分担、避難に必要な職員数等）」が45.2%と続いている。また「取り決めはない」が0.0%となっている。





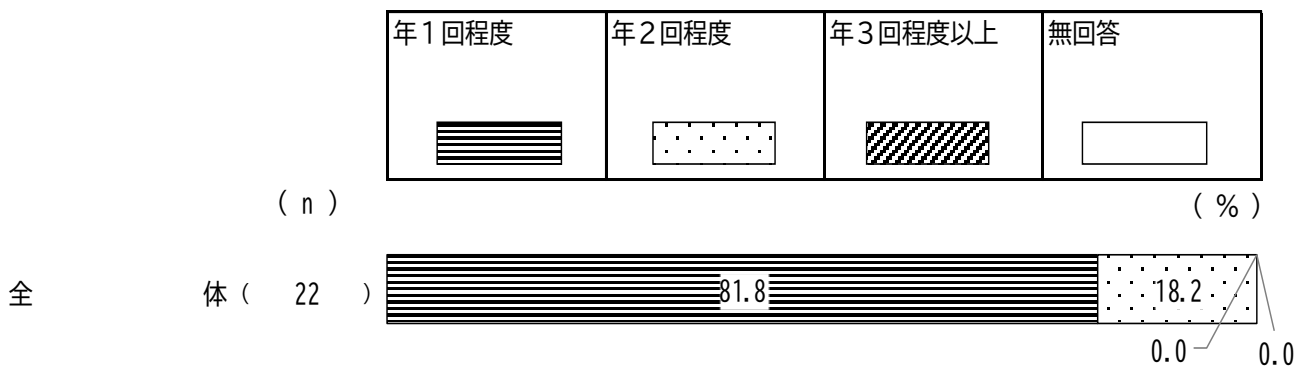
問25 貴事業所は令和3・4年に水害を含む避難訓練を実施しましたか  
(1つに○・数字を記入)。

令和3年・4年における水害を含む避難訓練について、「実施した」が71.0%、「実施していない」が25.8%となっている。



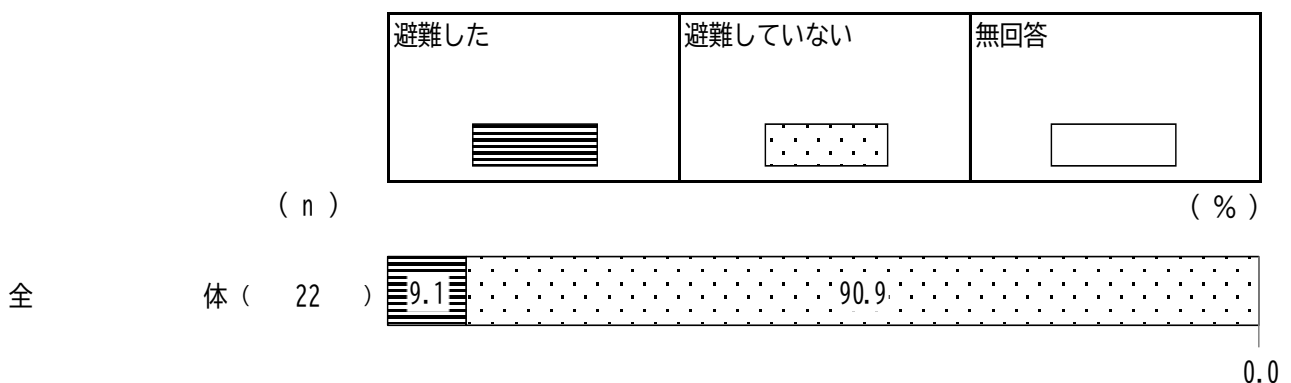
① 水害を含む避難訓練を実施した事業所の年間実施回数 (数字で記入)

水害を含む避難訓練について、実施した事業所の実施回数は、「年1回程度」が81.8%と最も高く、「年2回程度」が18.2%、「年3回程度以上」が0.0%となっている



問25-1 実施した避難訓練に介護度の最も重い方は参加しましたか (実際に避難しましたか) (1つに○)。

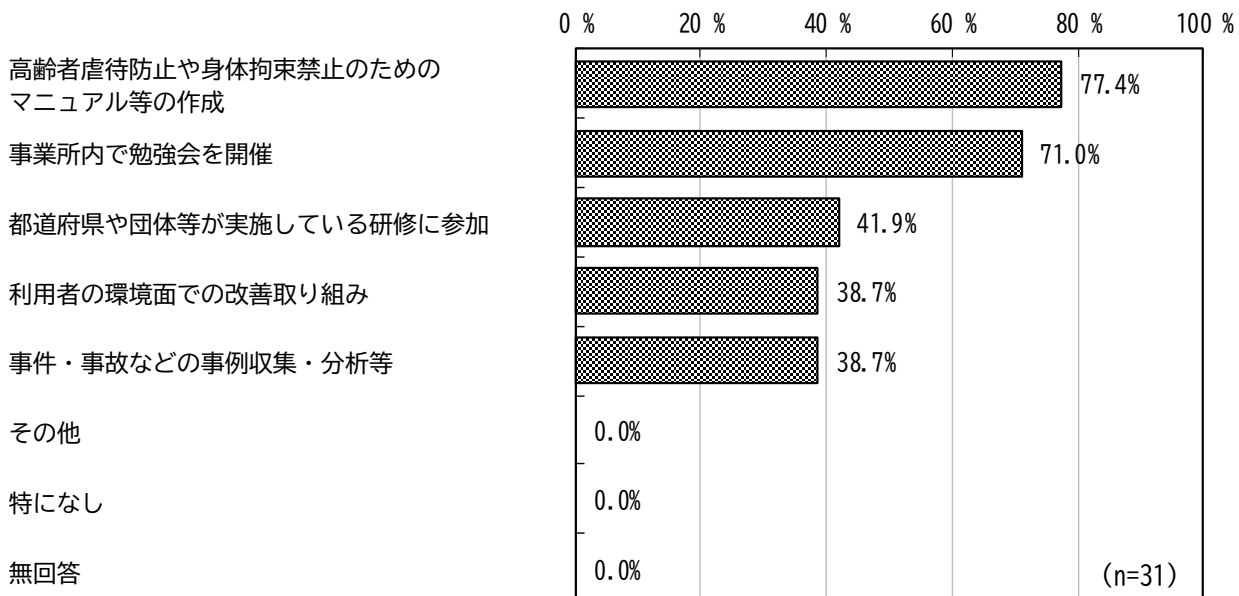
介護度の最も重い方の避難訓練への参加について、「避難した」が9.1%、「避難していない」が90.9%となっている。



(7) 職員研修・その他について

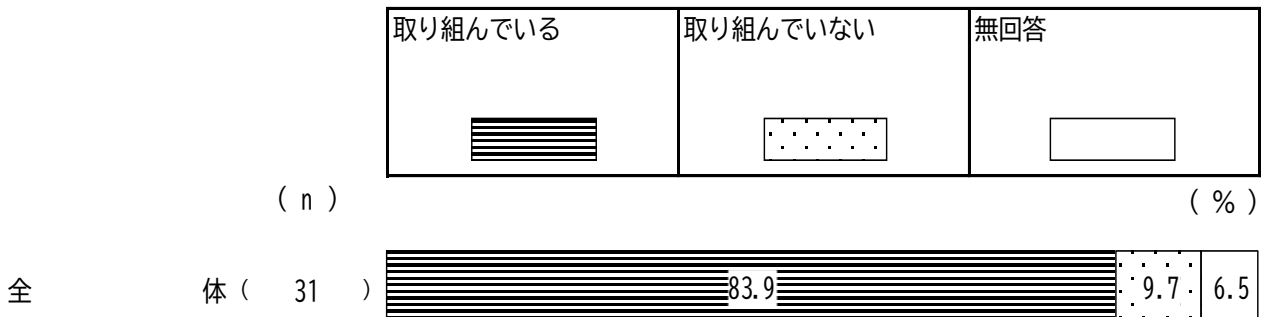
問26 高齢者虐待防止・身体拘束禁止に対する取り組みについて、特に重点を置いているものは何ですか（いくつでも○）。

高齢者虐待防止・身体拘束禁止に対する取り組みとして、「高齢者虐待防止や身体拘束禁止のためのマニュアル等の作成」が77.4%と最も高く、「事業所内で勉強会を開催」が71.0%、「都道府県や団体等が実施している研修に参加」が41.9%、「利用者の環境面での改善取り組み」「事件・事故などの事例収集・分析等」が38.7%となっている。また「特になし」が0.0%となっている。



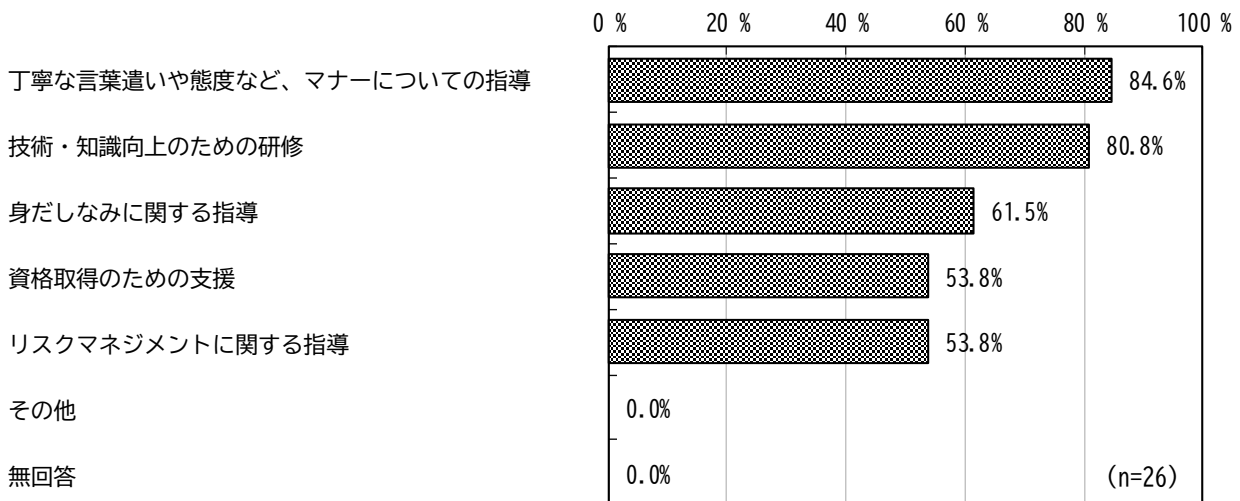
問27 職員の教育に取り組んでいますか（1つに○）。

職員の教育について、「取り組んでいる」が83.9%、「取り組んでいない」が9.7%となっている。



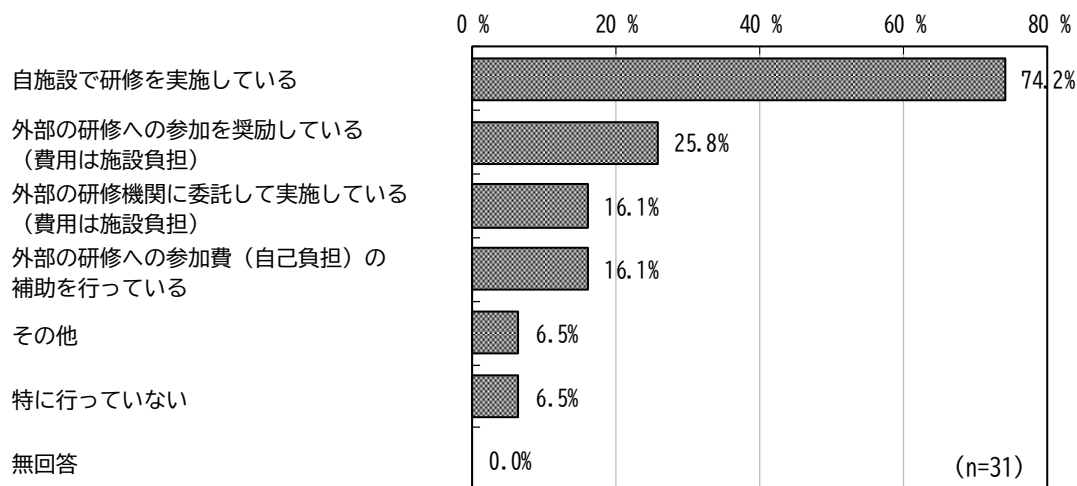
問27-1 貴事業所では、職員教育にあたり、どのような点に力を入れていますか（いくつでも○）。

職員教育で力を入れている点について、「丁寧な言葉遣いや態度など、マナーについての指導」が84.6%と最も高く、「技術・知識向上のための研修」が80.8%、「身だしなみに関する指導」が61.5%、「資格取得のための支援」「リスクマネジメントに関する指導」が53.8%となっている。



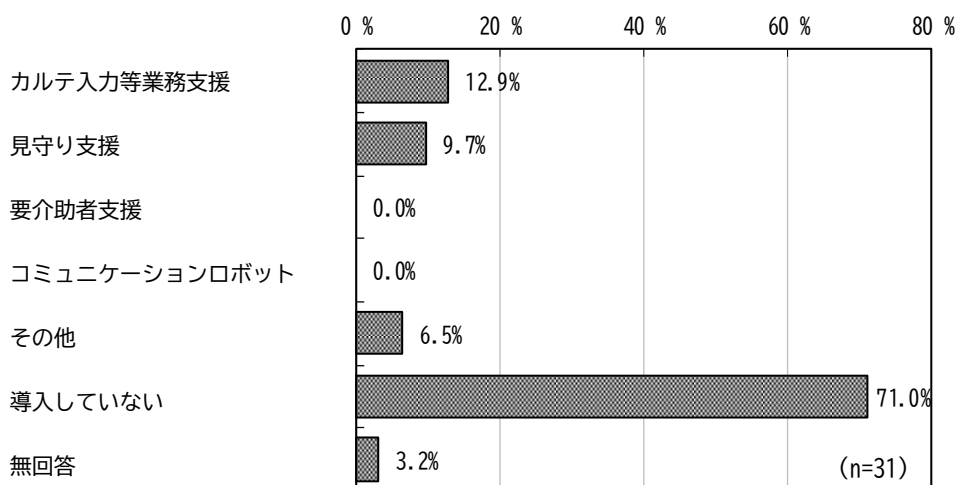
問28 職員の研修や資格取得について、以下の取り組みを行っていますか（いくつでも○）。

職員の研修や資格取得に関する取り組みとして、「自施設で研修を実施している」が74.2%と最も高く、「外部の研修への参加を奨励している（費用は施設負担）」が25.8%、「外部の研修機関に委託して実施している（費用は施設負担）」「外部の研修への参加費（自己負担）の補助を行っている」が16.1%となっている。また「特に行っていない」が6.5%となっている。



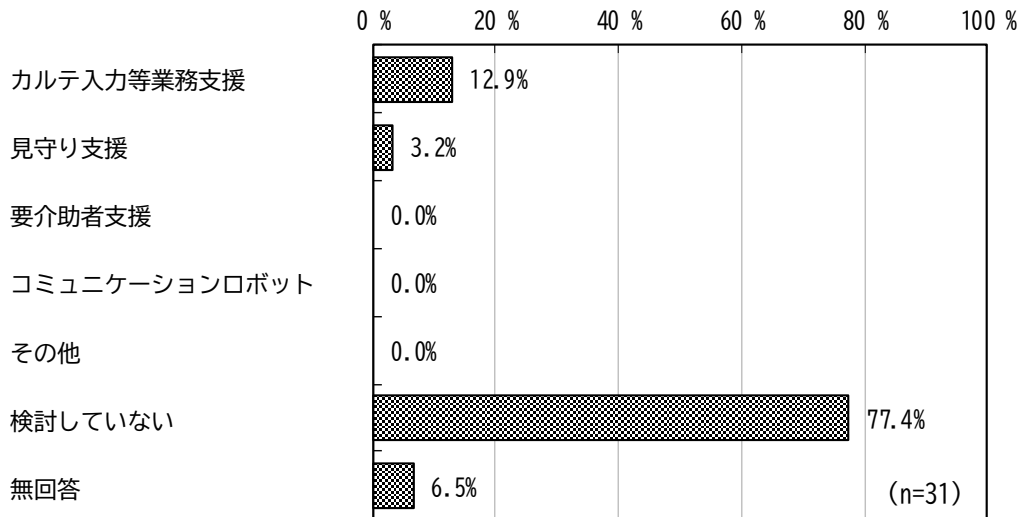
問29 ロボット・IoTについて導入をされていますか（いくつでも○）。

ロボット・IoTの導入状況について、「カルテ入力等業務支援」が12.9%と最も高く、「見守り支援」が9.7%、「要介助者支援」「コミュニケーションロボット」が0.0%となっている。また「導入していない」が71.0%となっている。



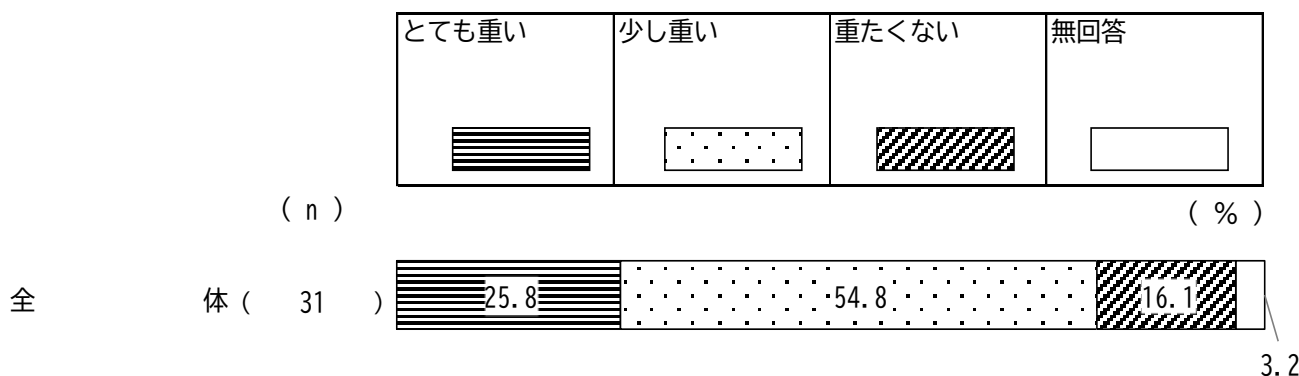
問30 ロボット・IoTについて導入を検討していますか（いくつでも○）。

ロボット・IoTの検討状況について、「カルテ入力等業務支援」が12.9%と最も高く、「見守り支援」が3.2%、「要介助者支援」「コミュニケーションロボット」が0.0%となっている。また「検討していない」が77.4%となっている。



問31 現在、事務負担はどの程度ですか（1つに○）。

現在の事務負担について、「少し重い」が54.8%と最も高く、「とても重い」が25.8%、「重たくない」が16.1%となっている。





10 サービス付き高齢者向け住宅調査

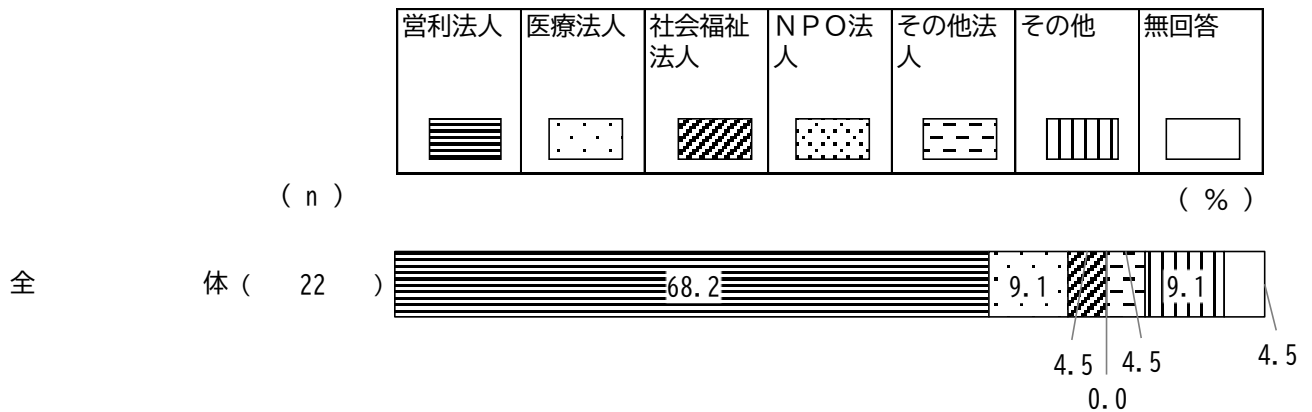
(1) 事業所の基本情報

問1 貴事業所についてお答えください。

※①は「事業所名をご記入ください」、②は「開設年月日をお答えください」という設問であるため省略

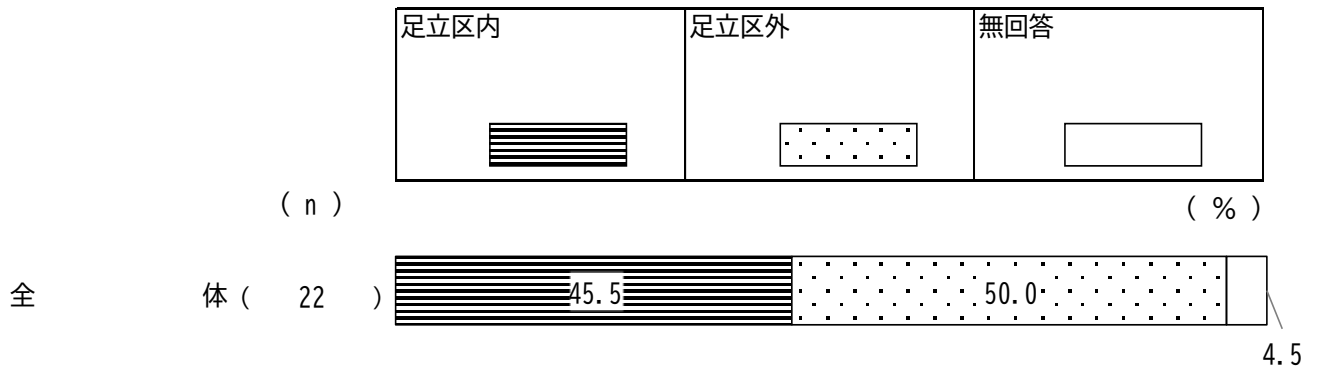
③ 事業所の経営主体は何ですか（1つに○）。

事業所の経営主体について、「営利法人」が68.2%と最も高く、「医療法人」が9.1%、「社会福祉法人」「その他法人」が4.5%、「NPO法人」が0.0%となっている。



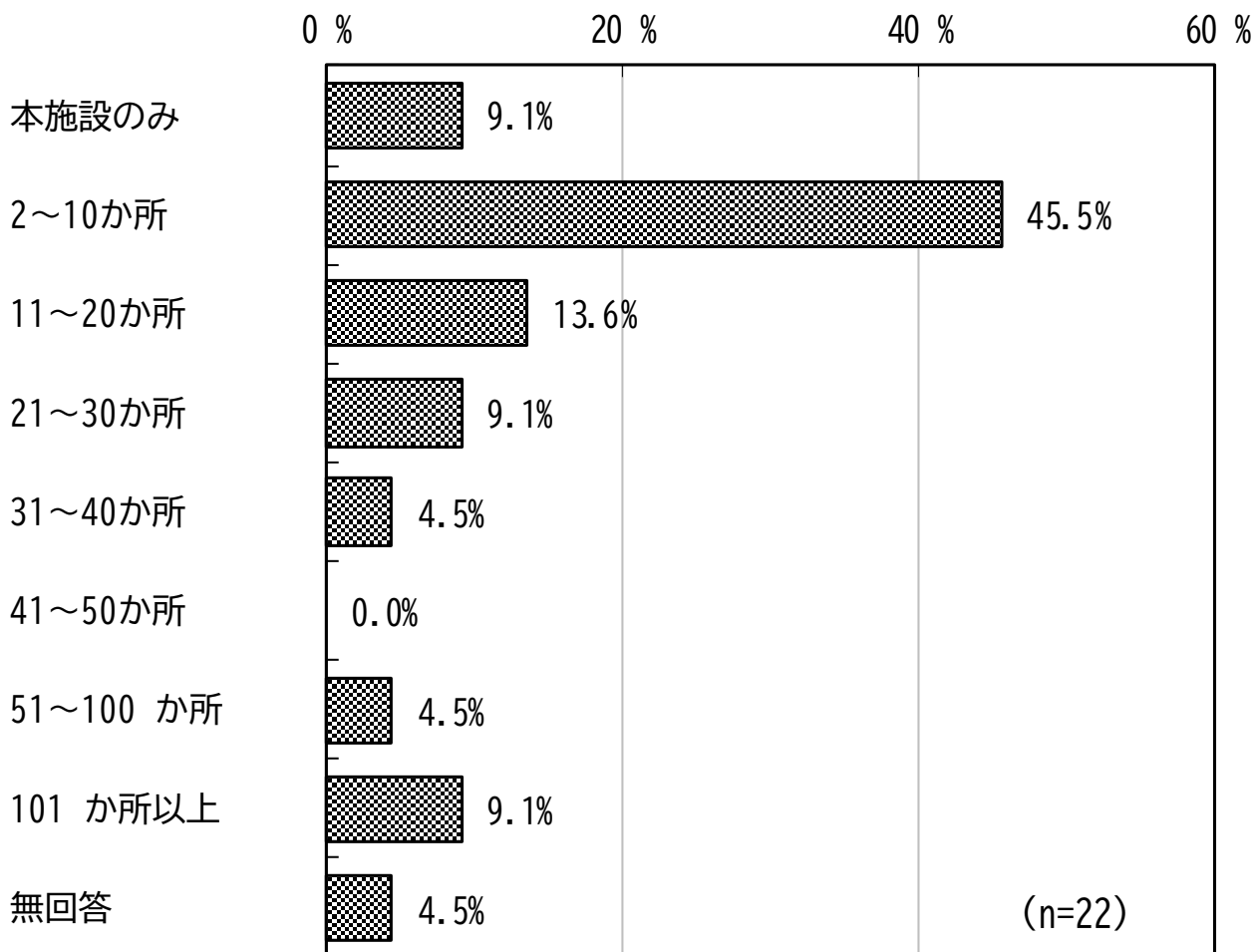
④ 経営主体の法人の所在地はどこですか（1つに○）。

経営主体の法人の所在地について、「足立区内」が45.5%、「足立区外」が50.0%となっている。



⑤ 貴法人は、貴事業所を含め、有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅を運営していますか。すべての箇所数をお答えください。

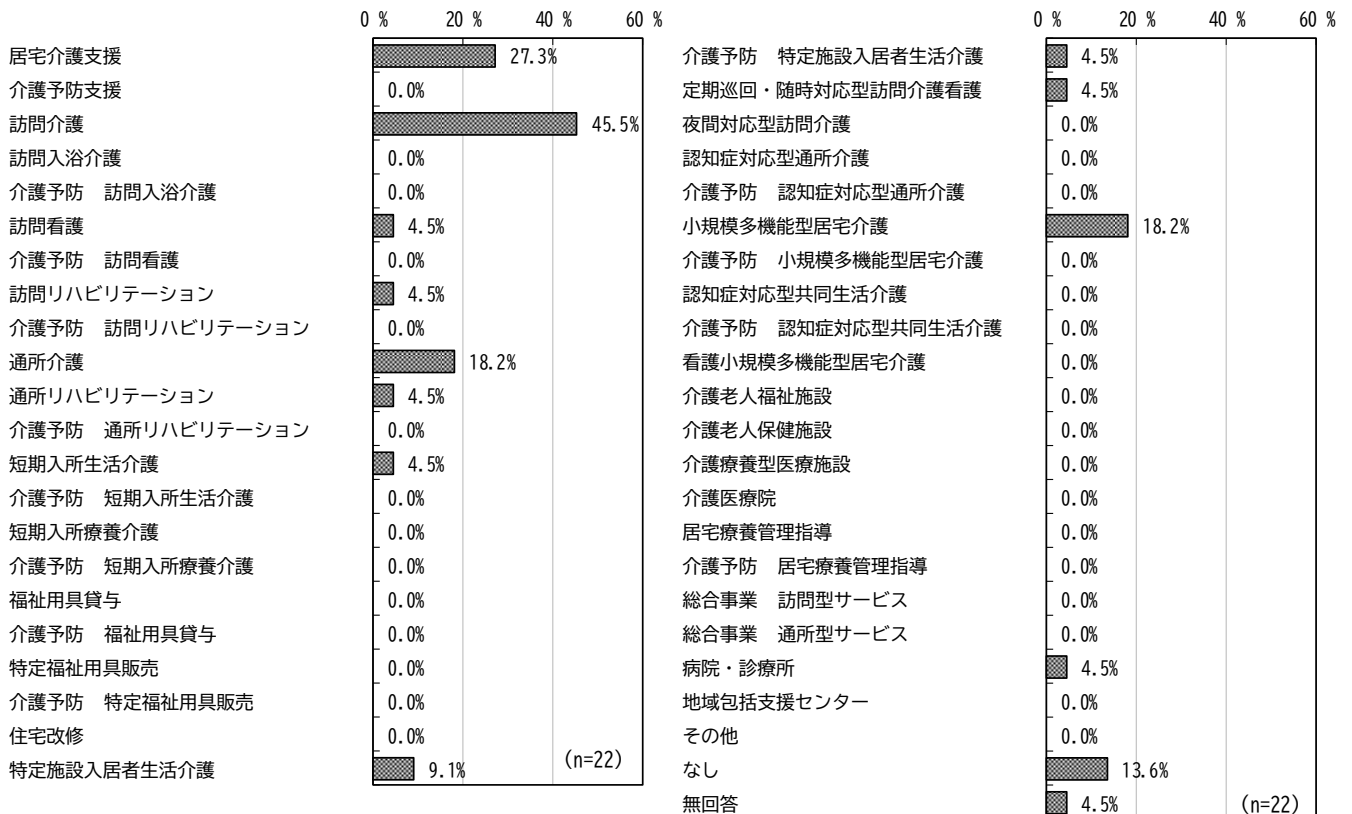
有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅の運営状況について、「2～10か所」が45.5%と最も高く、「11～20か所」が13.6%、「本施設のみ」「21～30か所」「101か所以上」が9.1%、「31～40か所」「51～100か所」が4.5%、「41～50か所」が0.0%となっている。





⑥ 貴事業所に併設されている事業について、あてはるものに○をつけてください（いくつでも○）。

事業所の併設事業について、「訪問介護」が45.5%と最も高く、「居宅介護支援」が27.3%、「通所介護」「小規模多機能型居宅介護」が18.2%、「特定施設入居者生活介護」が9.1%、「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「通所リハビリテーション」「短期入所生活介護」「介護予防 特定施設入居者生活介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「病院・診療所」が4.5%となっている。また「なし」が13.6%となっている。

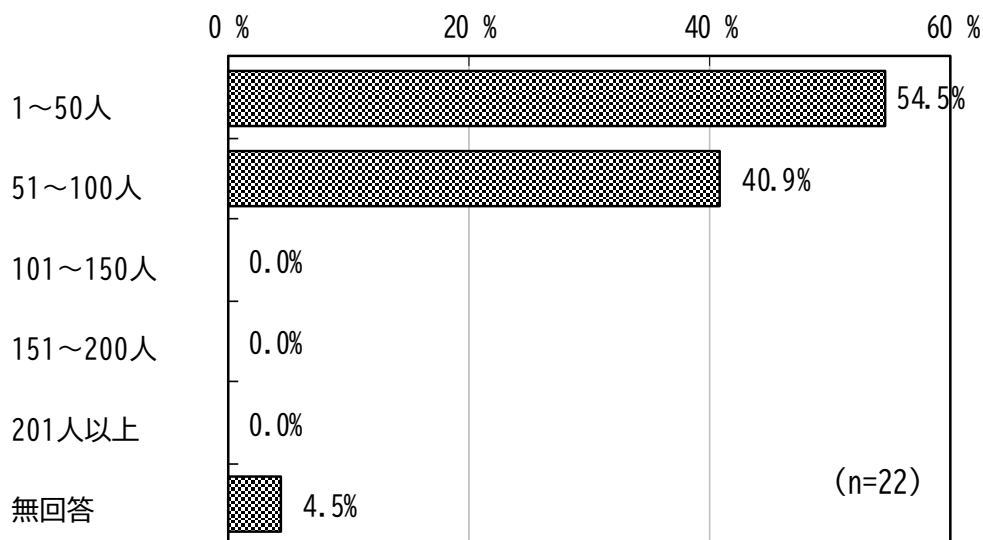


(2) サービスの提供状況について

問2 貴事業所の定員等につき、以下の質問にお答えください。

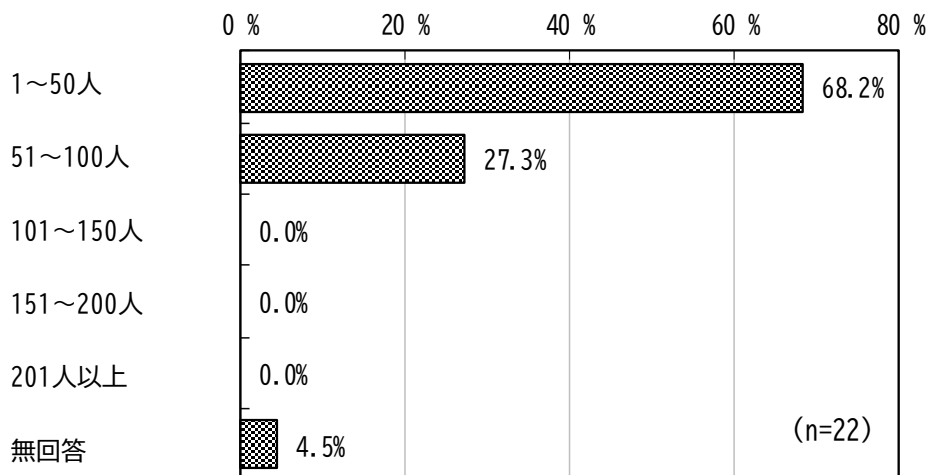
①-1 定員 (数字を記入)

定員について、「1~50人」が54.5%と最も高く、「51~100人」が40.9%、「101~150人以上」が0.0%となっている。



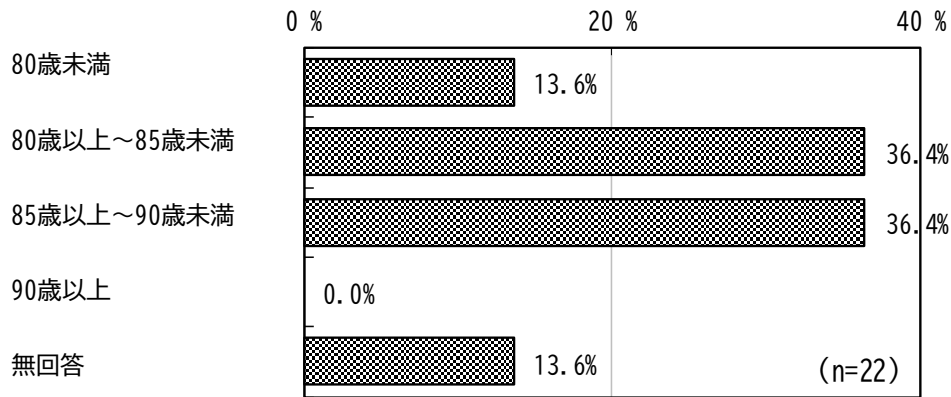
①-2 入居者数 (数字を記入)

入居者数について、「1~50人」が68.2%と最も高く、「51~100人」が27.3%、「101~150人以上」が0.0%となっている。



## ② 入居者の平均年齢（数字を記入）

入居者の平均年齢は、「80歳以上～85歳未満」「85歳以上～90歳未満」が36.4%と最も高く、「80歳未満」が13.6%、「90歳以上」が0.0%となっている。



## ③ 入居者の要介護度別の人数についてお答えください（数字を記入）。

要介護度別の人数について、

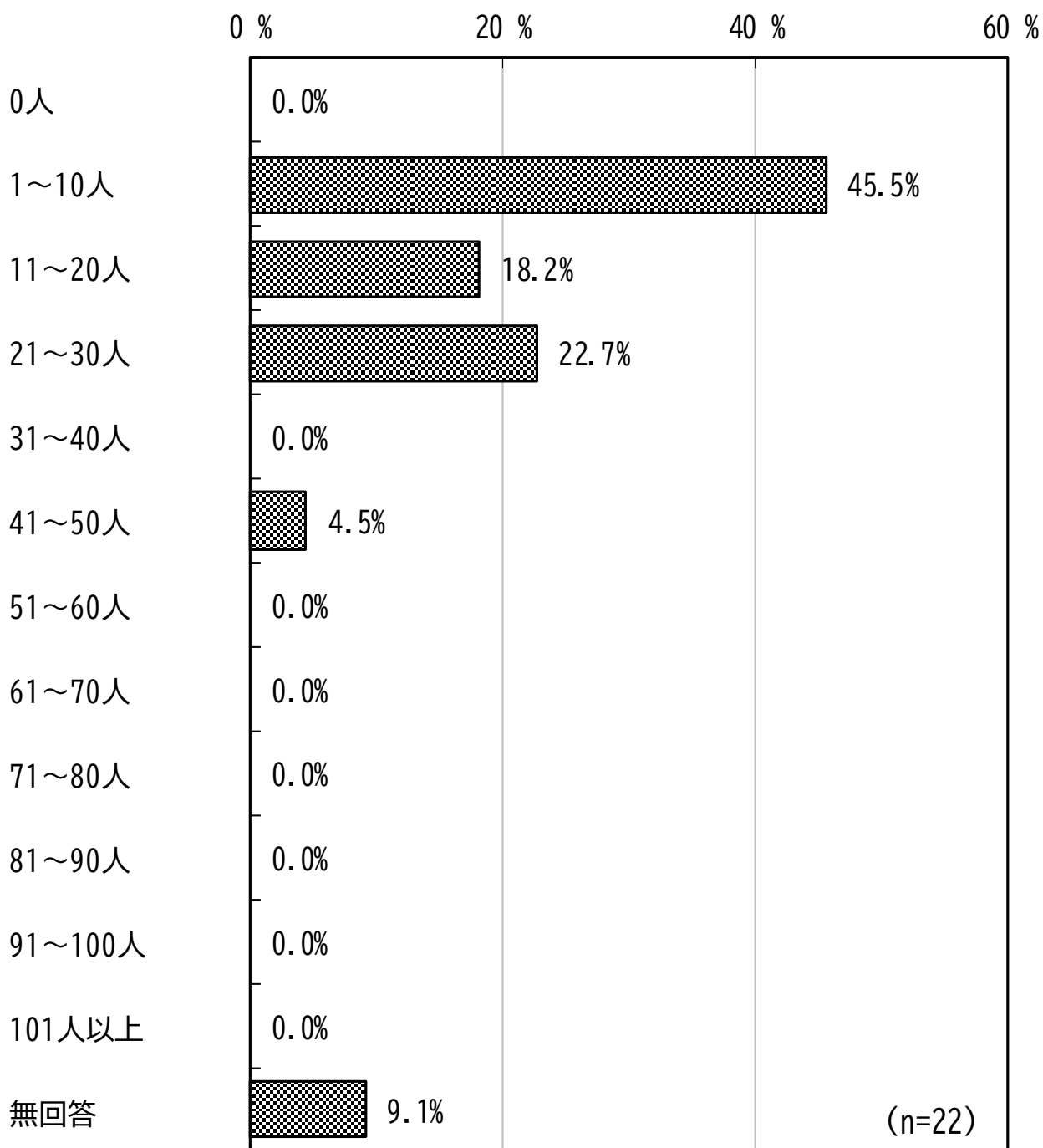
自立では、「1～10人」が45.5%、要支援1では、「0人」が59.1%、要支援2では、「1～10人」が50.0%、要介護1では、「1～10人」が59.1%、要介護2では、「1～10人」が72.7%、要介護3では、「1～10人」が68.2%、要介護4では、「1～10人」が59.1%、要介護5では、「1～10人」が59.1%と最も高くなっている。

	調査数	(%)							
		0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51人以上	無回答
自立	22	40.9	45.5	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5
要支援1	22	59.1	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
要支援2	22	45.5	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
要介護1	22	13.6	59.1	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
要介護2	22	0.0	72.7	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
要介護3	22	4.5	68.2	18.2	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5
要介護4	22	13.6	59.1	18.2	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5
要介護5	22	22.7	59.1	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5

④ 1年間の入退居者数（数字を記入）（令和3年1月～12月）

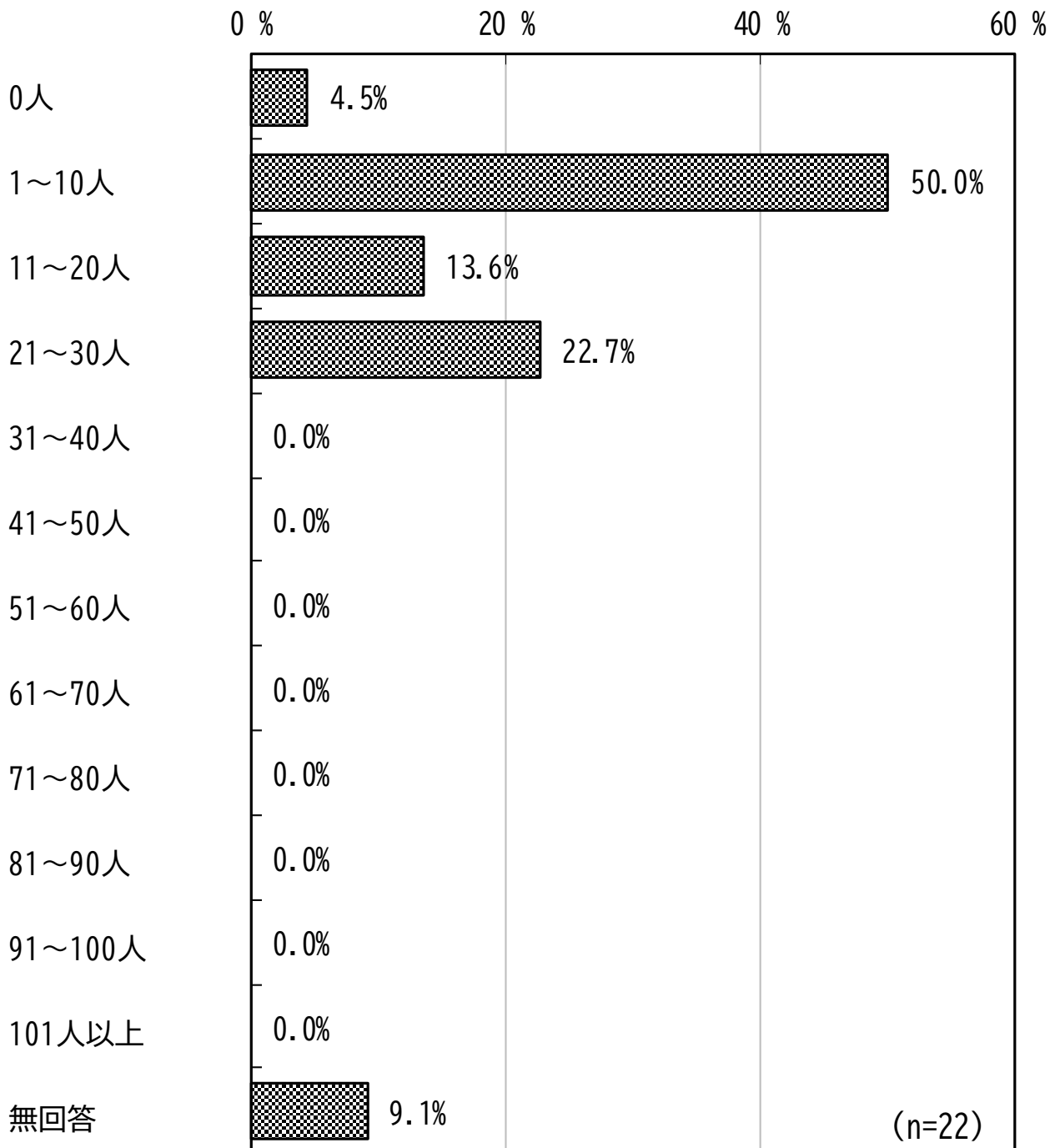
④-1 入居者数

1年間の入居者数について、「1～10人」が45.5%と最も高く、「21～30人」が22.7%、「11～20人」が18.2%、「41～50人」が4.5%、「0人」「31～40人」及び「51～60人」以上が0.0%となっている。



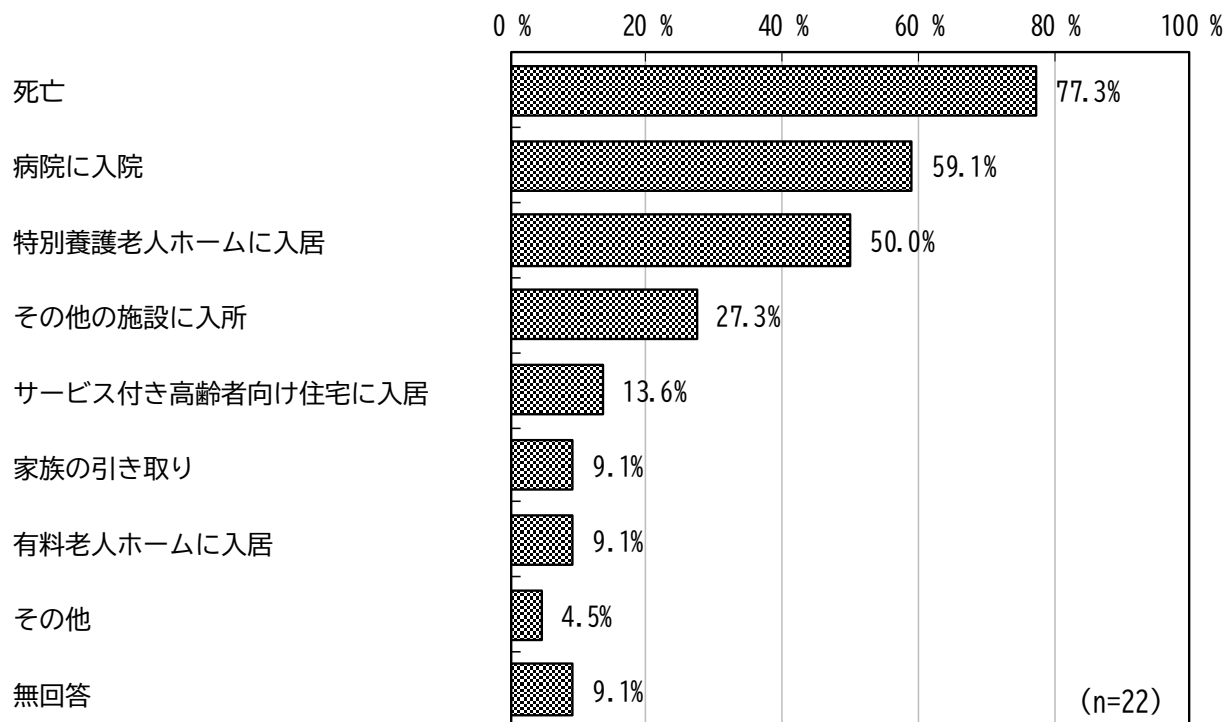
## ④-2 退居者数

1年間の退居者数について、「1～10人」が50.0%と最も高く、「21～30人」が22.7%、「11～20人」が13.6%、「0人」が4.5%、「31～40人」以上が0.0%となっている。



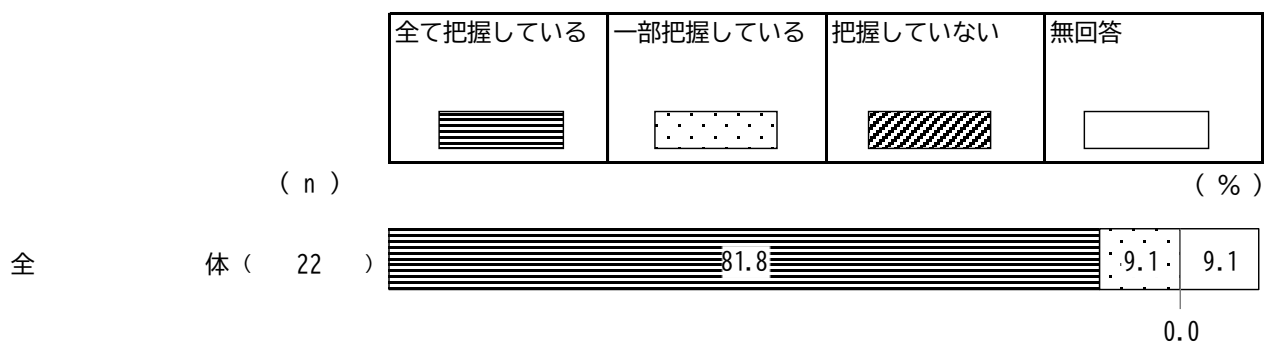
⑤ 退居の主な理由は何ですか（いくつでも○）。

退居の主な理由として、「死亡」が77.3%と最も高く、「病院に入院」が59.1%、「特別養護老人ホームに入居」が50.0%、「その他の施設に入所」が27.3%、「サービス付き高齢者向け住宅に入居」が13.6%、「家族の引き取り」「有料老人ホームに入居」が9.1%となっている。



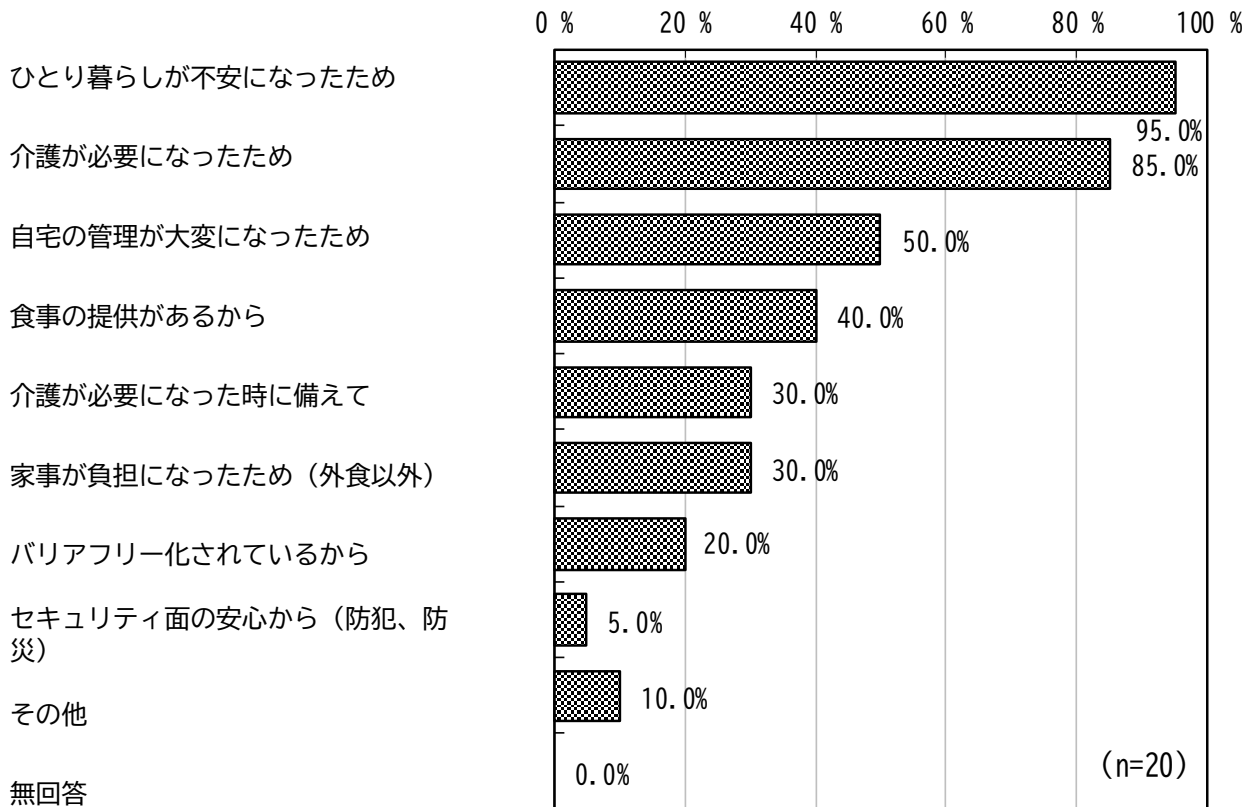
⑥ 入居の動機を把握されていますか（1つに○）。

入居の動機について、「全て把握している」が81.8%と最も高く、「一部把握している」が9.1%、「把握していない」が0.0%となっている。



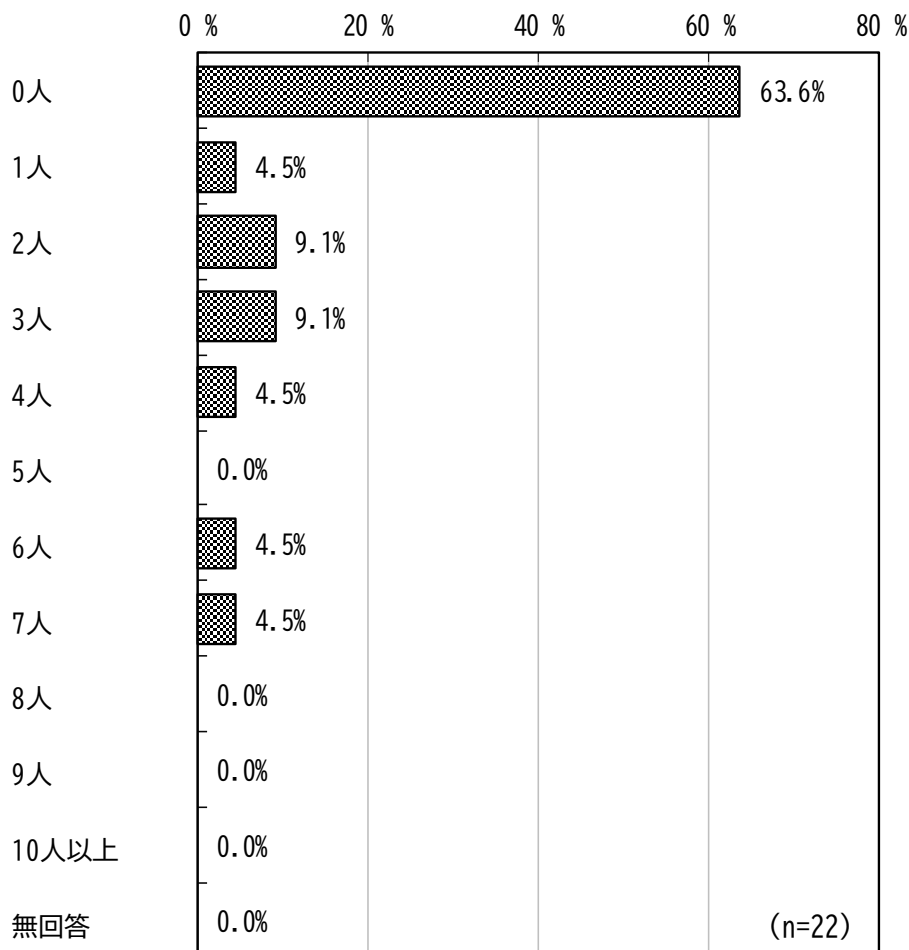
### ⑥-1 入居を決められた主な理由は何ですか（いくつでも○）。

入居の動機について「全て把握している」または「一部把握している」と回答した事業所における入居を決められた主な理由について、「ひとり暮らしが不安になったため」が95.0%と最も高く、「介護が必要になったため」が85.0%、「自宅の管理が大変になったため」が50.0%、「食事の提供があるから」が40.0%、「介護が必要になった時に備えて」「家事が負担になったため（外食以外）」が30.0%、「バリアフリー化されているから」が20.0%、「セキュリティ面の安心から（防犯、防災）」が5.0%となっている。



⑦ 待機者は何人ですか（数字を記入）。

待機者数について、「0人」が63.6%と最も高く、「2人」が9.1%、「3人」が9.1%、「1人」が4.5%、「4人」が4.5%、「6人」が4.5%、「7人」が4.5%、「5人」「8人」以上が0.0%となっている。



⑧ 入居者の従前の住所地をお答えください（数字を記入）。

※令和4年10月現在

入居者の従前の住所地について、

足立区内では、「1～10人」が47.6%、東京都内では、「1～10人」が40.0%、他府県では、「1～10人」が66.7%と最も高くなっている。

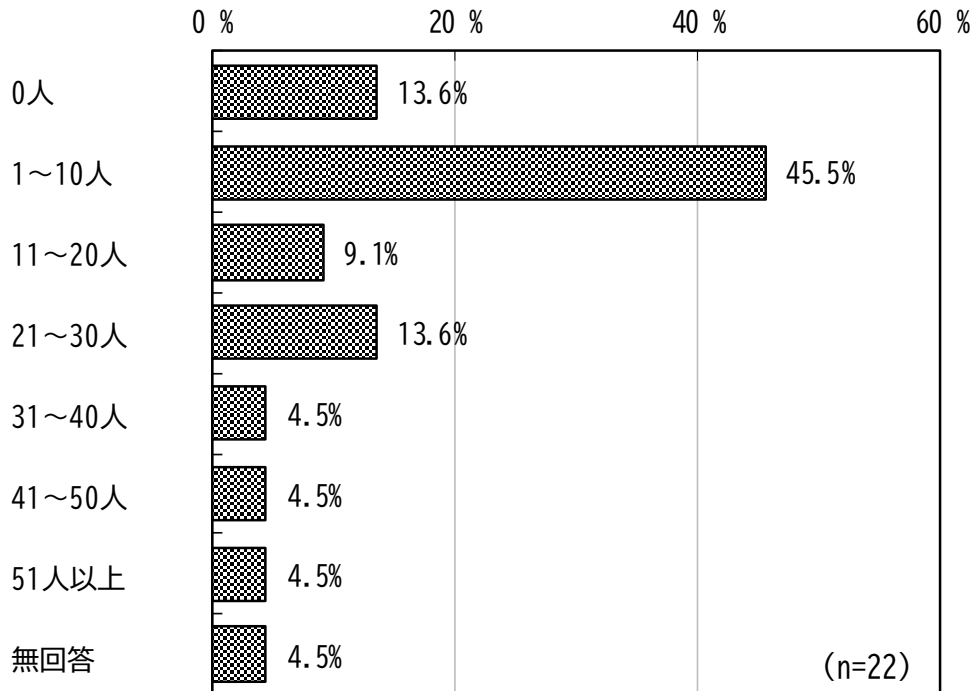
	調査数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51人以上	無回答
足立区内	21	0.0	47.6	28.6	14.3	4.8	4.8	0.0	0.0
東京都内	20	0.0	40.0	20.0	20.0	5.0	10.0	5.0	0.0
他府県	18	5.6	66.7	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)



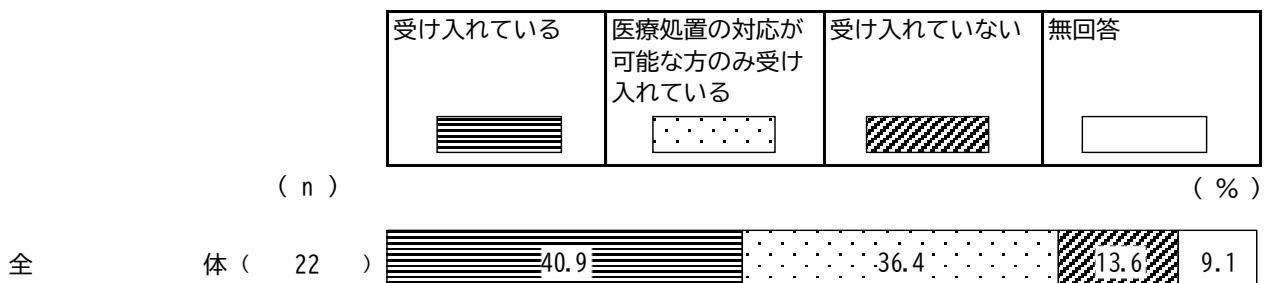
⑨ 住所地特例の対象となっている事業所にお聞きします。入居者のうち住所地特例（保険者が足立区外）の該当者は何人ですか（数字を記入）。

住所地特例（保険者が足立区外）の該当者について、「1～10人」が45.5%と最も高く、「0人」「21～30人」が13.6%、「11～20人」が9.1%、「31～40人」「41～50人」「51人以上」が4.5%となっている。



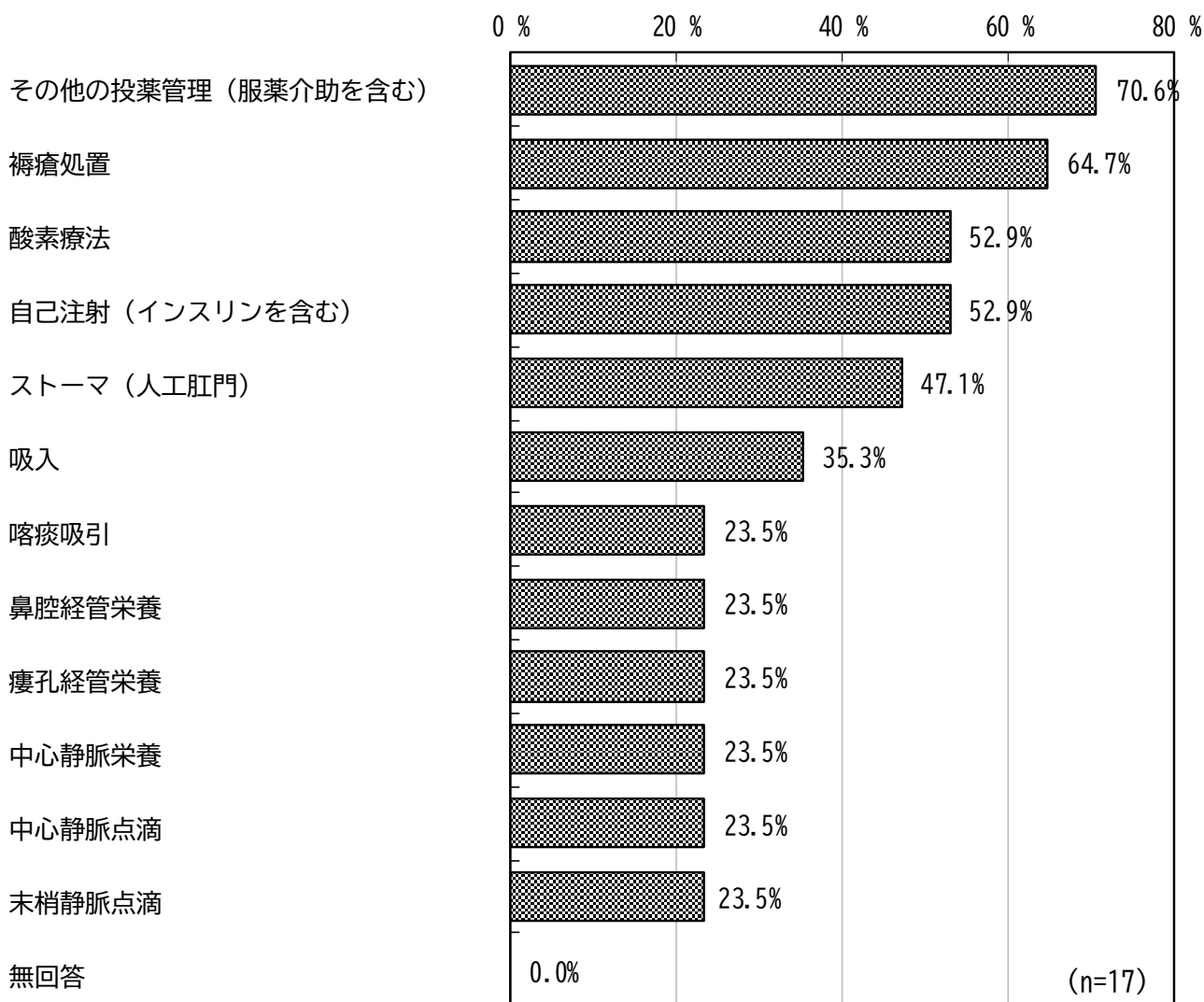
問3 貴事業所は医療処置が必要な方の入居を受け入れていますか（1つに○）。

医療処置が必要な方の入居受入状況について、「受け入れている」が40.9%と最も高く、「医療処置の対応が可能な方のみ受け入れている」が36.4%、「受け入っていない」が13.6%となっている。



問3-1 貴事業所で対応が可能な医療処置をお答えください（いくつでも○）。

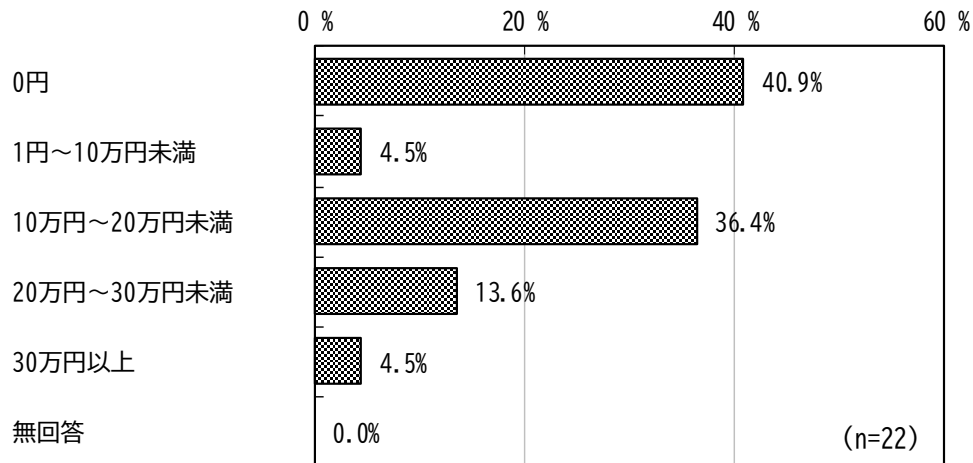
事業所で対応が可能な医療処置について、「その他の投薬管理（服薬介助を含む）」が70.6%と最も高く、「褥瘡処置」が64.7%、「酸素療法」が52.9%、「自己注射（インスリンを含む）」が52.9%、「ストーマ（人工肛門）」が47.1%、「吸入」が35.3%、「喀痰吸引」「鼻腔経管栄養」「瘻孔経管栄養」「中心静脈栄養」「中心静脈点滴」「末梢静脈点滴」が23.5%となっている。



問4 貴事業所の利用料等につき、以下の質問にお答えください（数字を記入）。

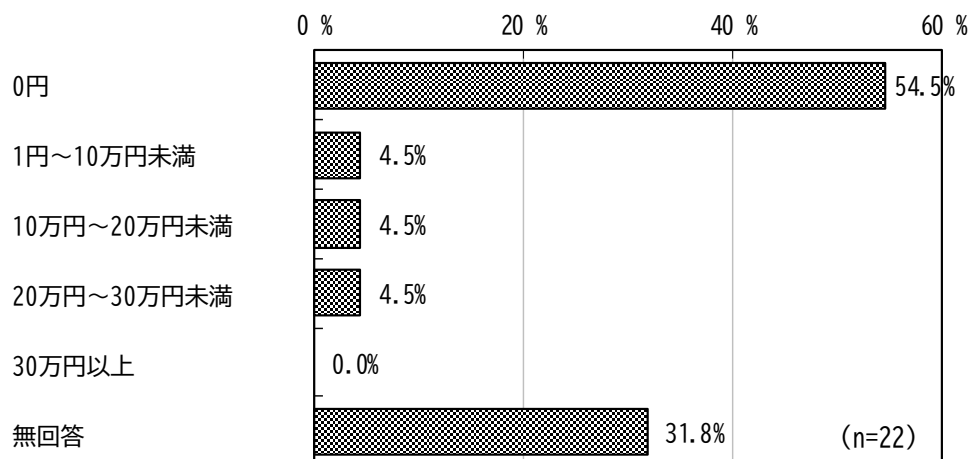
① 敷金（保証金）【代表的なプランでお答えください】

敷金（保証金）について、「0円」が40.9%と最も高く、「10万円～20万円未満」が36.4%、「20万円～30万円未満」が13.6%、「1円～10万円未満」「30万円以上」が4.5%となっている。



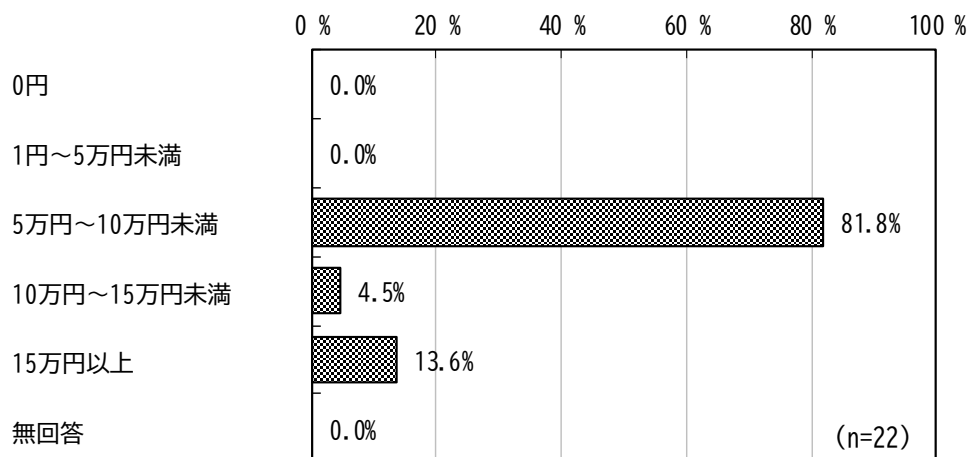
② 前払金（入所一時金）【代表的なプランでお答えください】

前払金（入所一時金）について、「0円」が54.5%と最も高く、「1円～10万円未満」「10万円～20万円未満」「20万円～30万円未満」が4.5%、「30万円以上」が0.0%となっている。



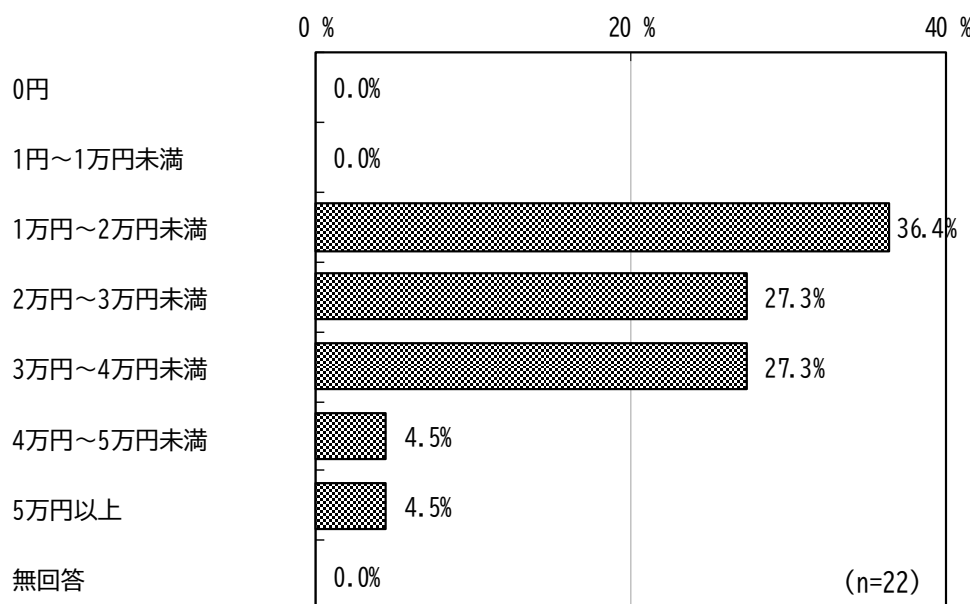
③ 月額利用料（賃料）【代表的なプランでお答えください】

月額利用料（賃料）について、「5万円～10万円未満」が81.8%と最も高く、「15万円以上」が13.6%、「10万円～15万円未満」が4.5%、「0円」「1円～5万円未満」が0.0%となっている。



④ 共益費【代表的なプランでお答えください】

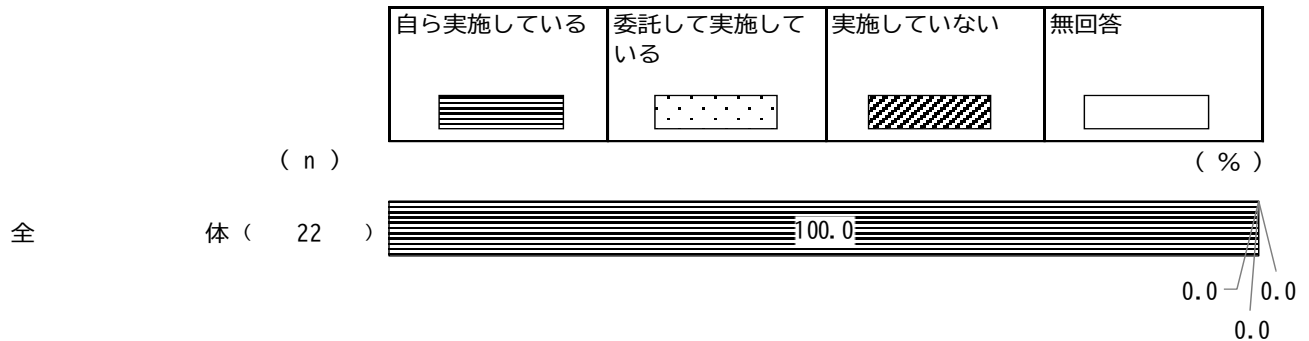
共益費について、「1万円～2万円未満」が36.4%と最も高く、「2万円～3万円未満」「3万円～4万円未満」が27.3%、「4万円～5万円未満」「5万円以上」が4.5%、「0円」「1円～1万円未満」が0.0%となっている。



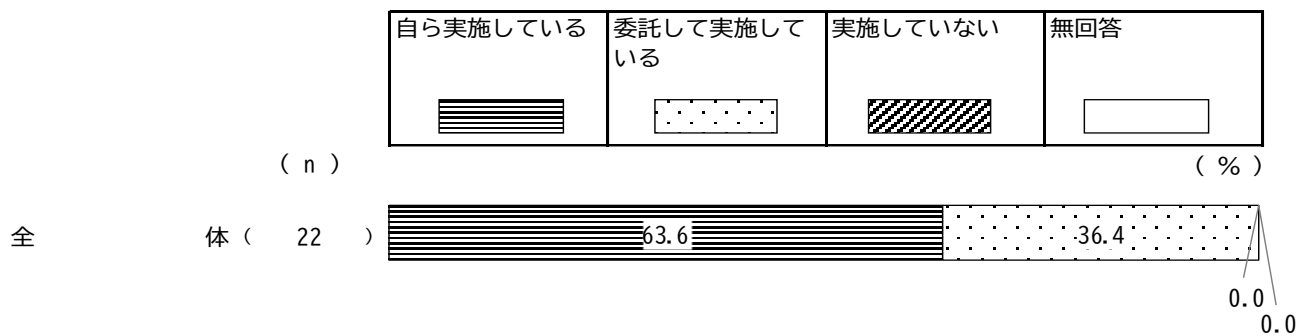
問5 貴事業所のサービス内容についてお答えください。

① 実施しているサービスをお知らせください（それぞれ1つに○・数字を記入）。

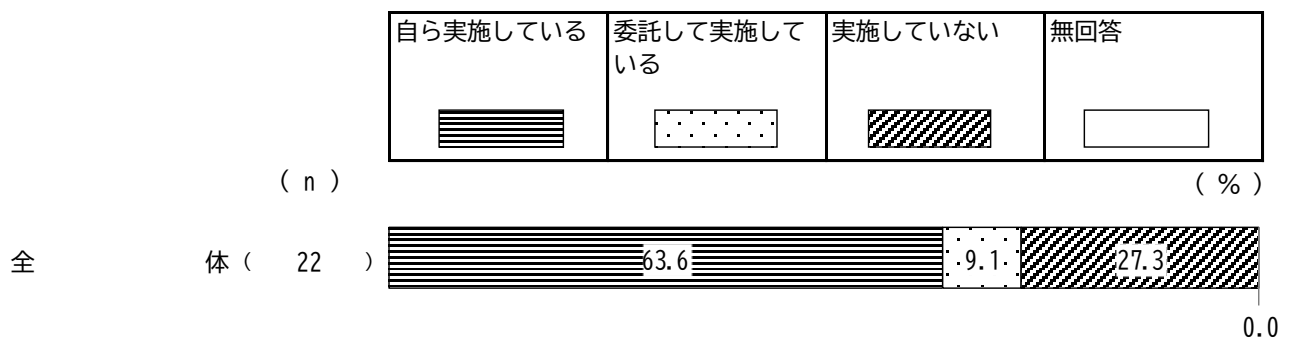
状況把握・生活相談について、「自ら実施している」が100.0%となっている。



「食事の提供について、自ら実施している」が63.6%、「委託して実施している」が36.4%、「実施していない」が0.0%となっている。

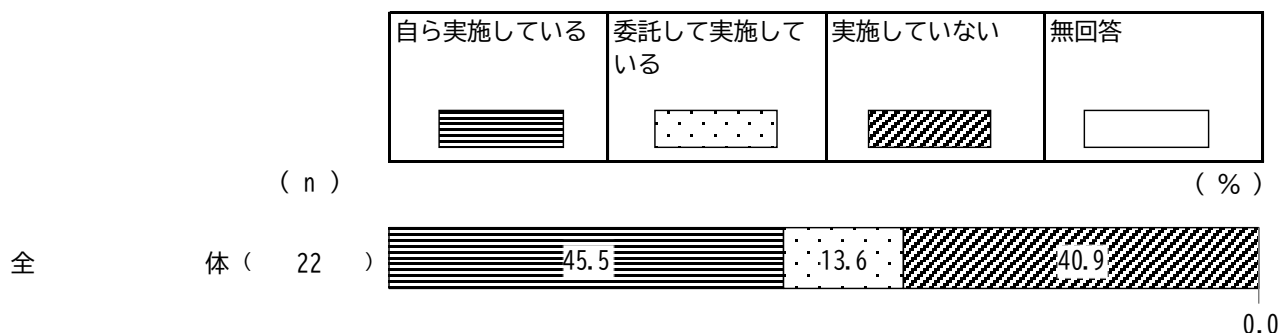


入浴・排せつ・食事等の介護[介護保険外サービスについて、「自ら実施している」が63.6%、「委託して実施している」が9.1%、「実施していない」が27.3%となっている。

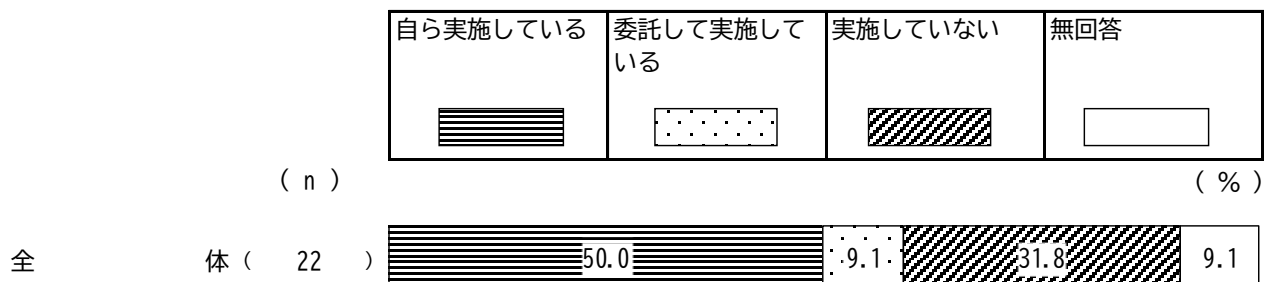


第2章 調査結果

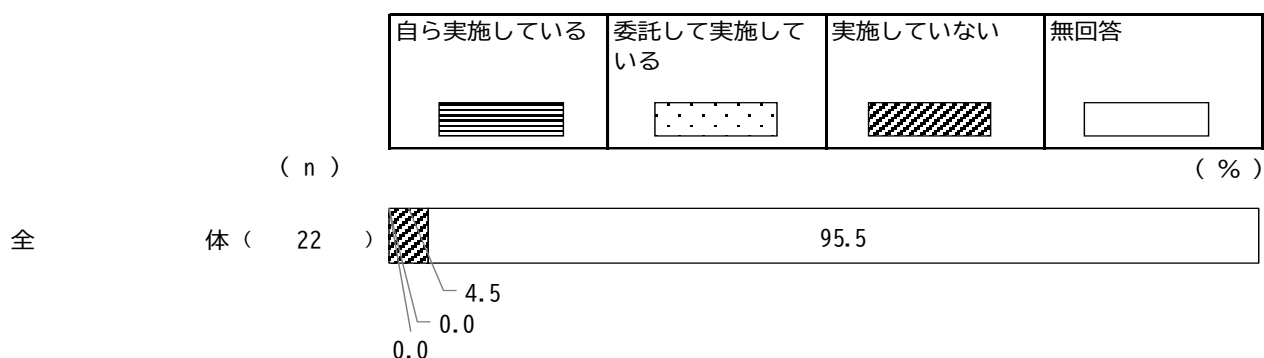
調理・洗濯・掃除等の家事〔介護保険外サービス〕について、「自ら実施している」が45.5%、「委託して実施している」が13.6%、「実施していない」が40.9%となっている。



心身の健康の維持・増進について、「自ら実施している」が50.0%、「委託して実施している」が9.1%、「実施していない」が31.8%となっている。



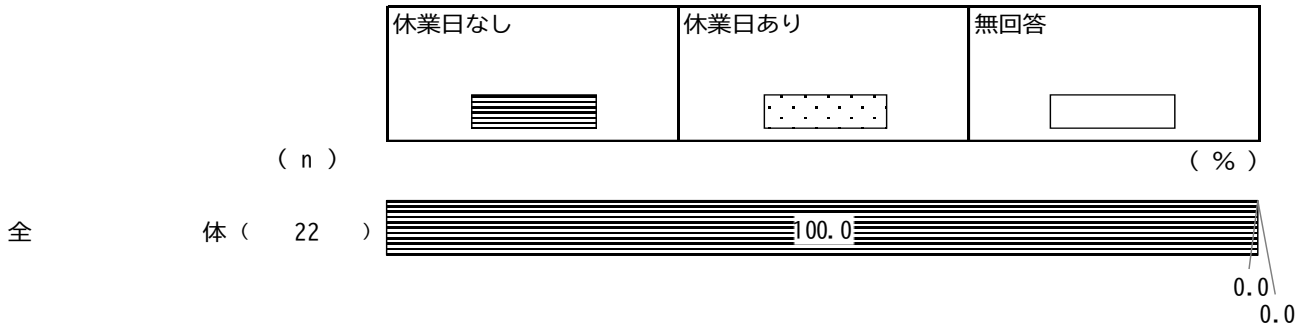
その他のサービスについて、「自ら実施している」が0.0%、「委託して実施している」が0.0%、「実施していない」が4.5%となっている。



② 状況把握・生活相談の体制をお知らせください。

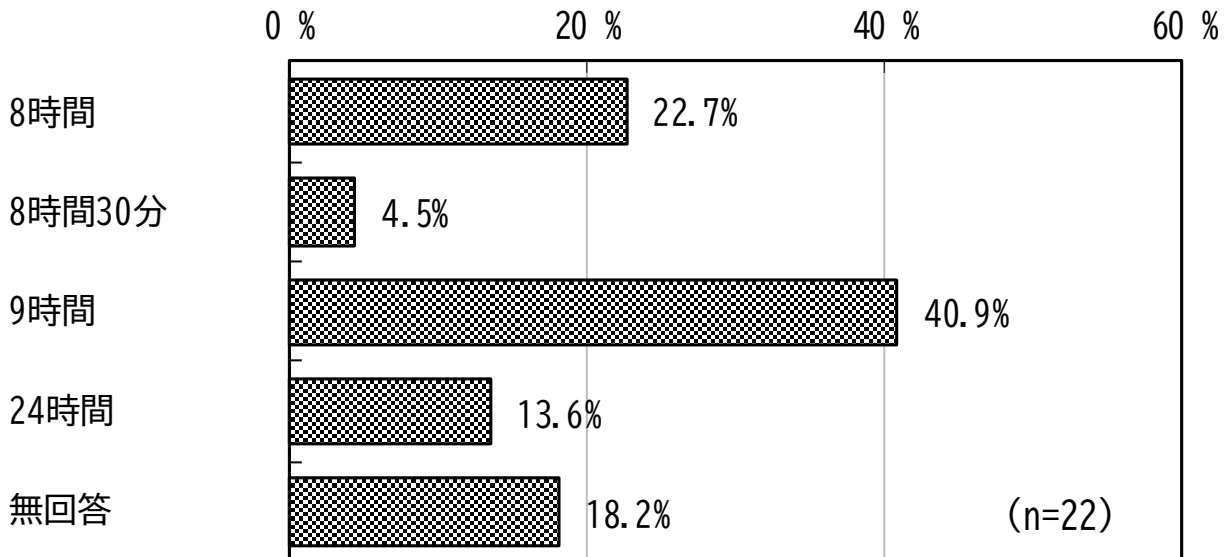
提供日 (1つに○)

提供日について、「休業日なし」が100.0%となっている。



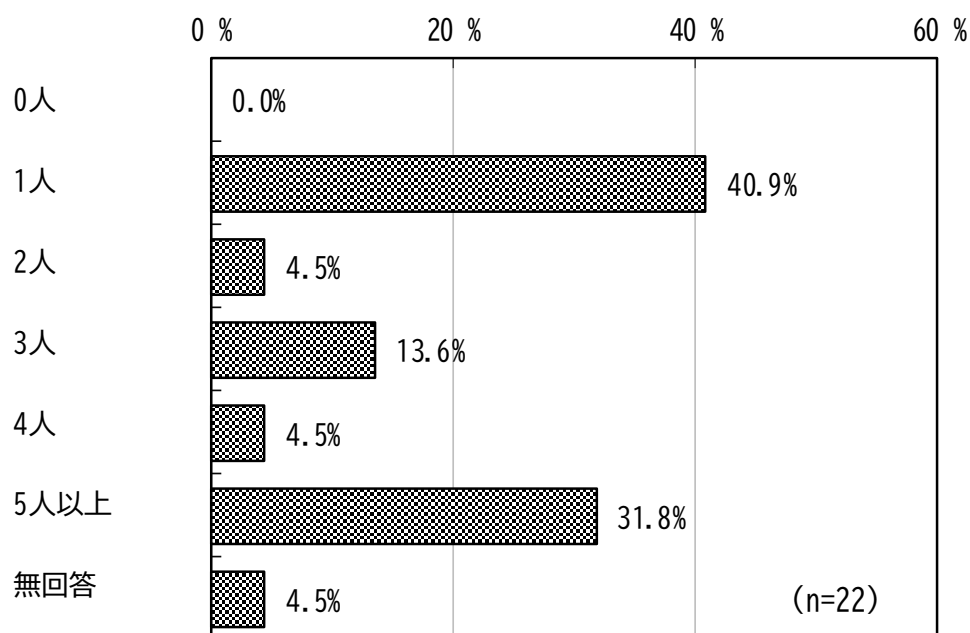
提供時間 (数字を記入)

提供時間について、「9 時間」が 40.9%と最も高く、「8 時間」が 22.7%、「24 時間」が 13.6%、「8 時間 30 分」が 4.5%となっている。

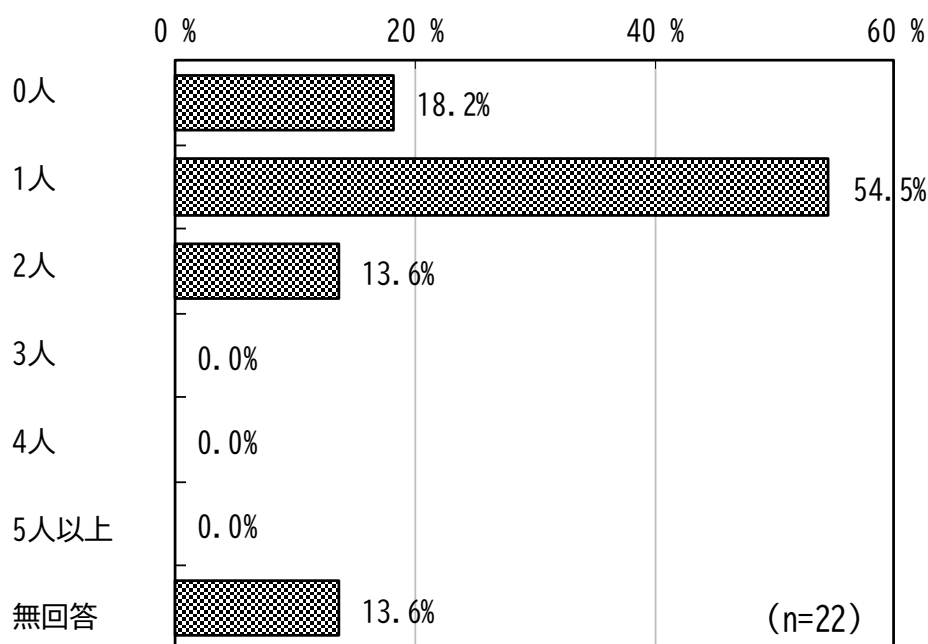


職員配置数（数字を記入）

日中の職員配置数について、「1人」が40.9%と最も高く、「5人以上」が31.8%、「3人」が13.6%、「2人」「4人」が4.5%となっている。



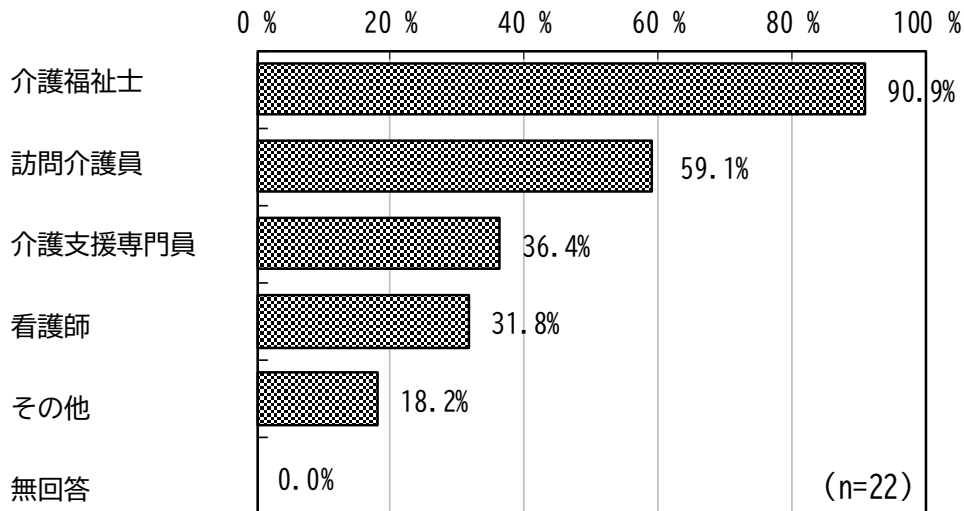
夜間の職員配置集について、「1人」が54.5%と最も高く、「0人」が18.2%、「2人」が13.6%、「3人」以上が0.0%となっている。



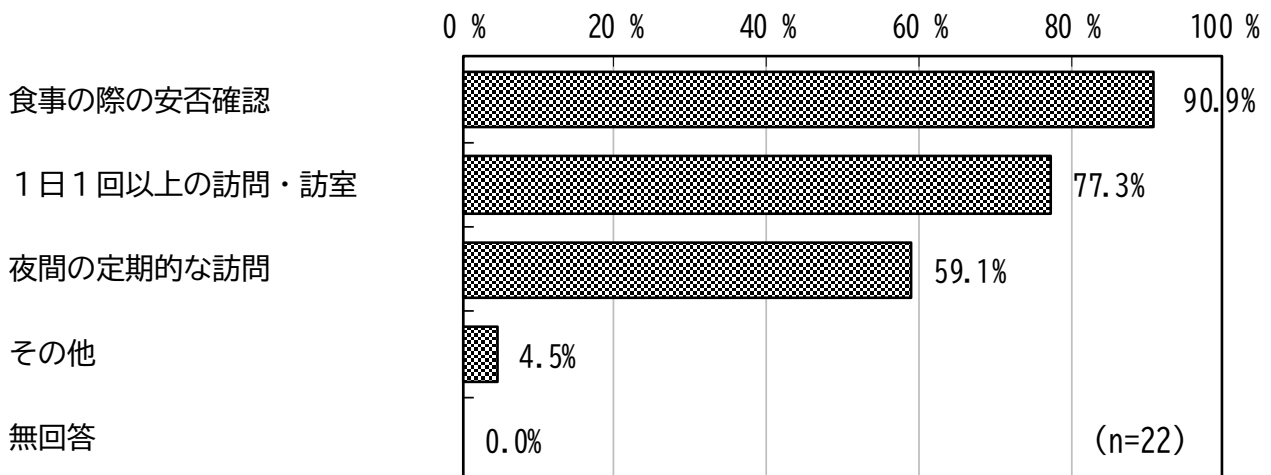


## 職員の資格（いくつでも○）

職員の資格について、「介護福祉士」が90.9%と最も高く、「訪問介護員」が59.1%、「介護支援専門員」が36.4%、「看護師」が31.8%となっている。



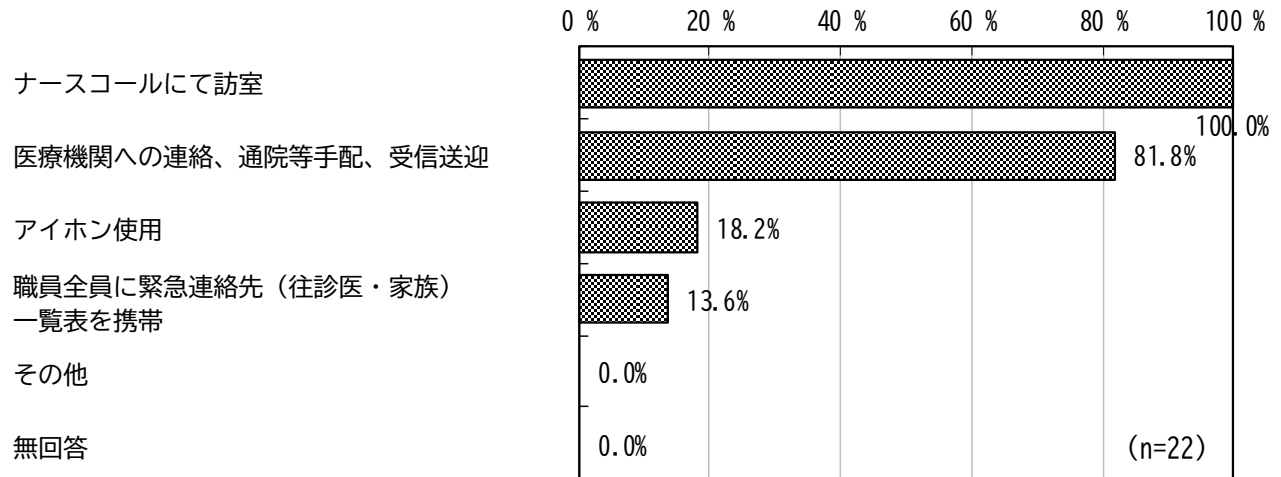
## 状況把握の方法（いくつでも○）



状況把握の方法について、「食事の際の安否確認」が90.9%と最も高く、「1日1回以上の訪問・訪室」が77.3%、「夜間の定期的な訪問」が59.1%となっている。

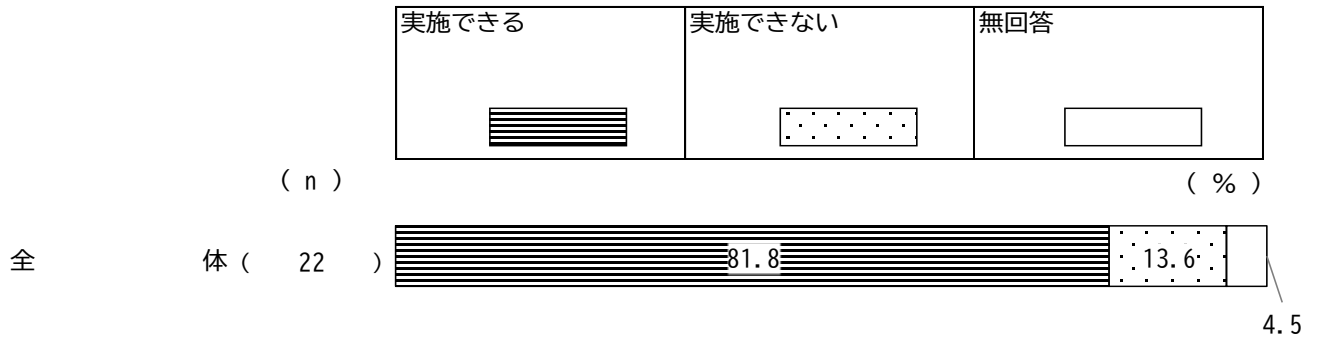
緊急通報サービスの内容（いくつでも○）

緊急通報サービスの内容について、「ナースコールにて訪室」が100.0%と最も高く、「医療機関への連絡、通院等手配、受信送迎」が81.8%、「アイホン使用」が18.2%、「職員全員に緊急連絡先（往診医・家族）一覧表を携帯」が13.6%となっている。



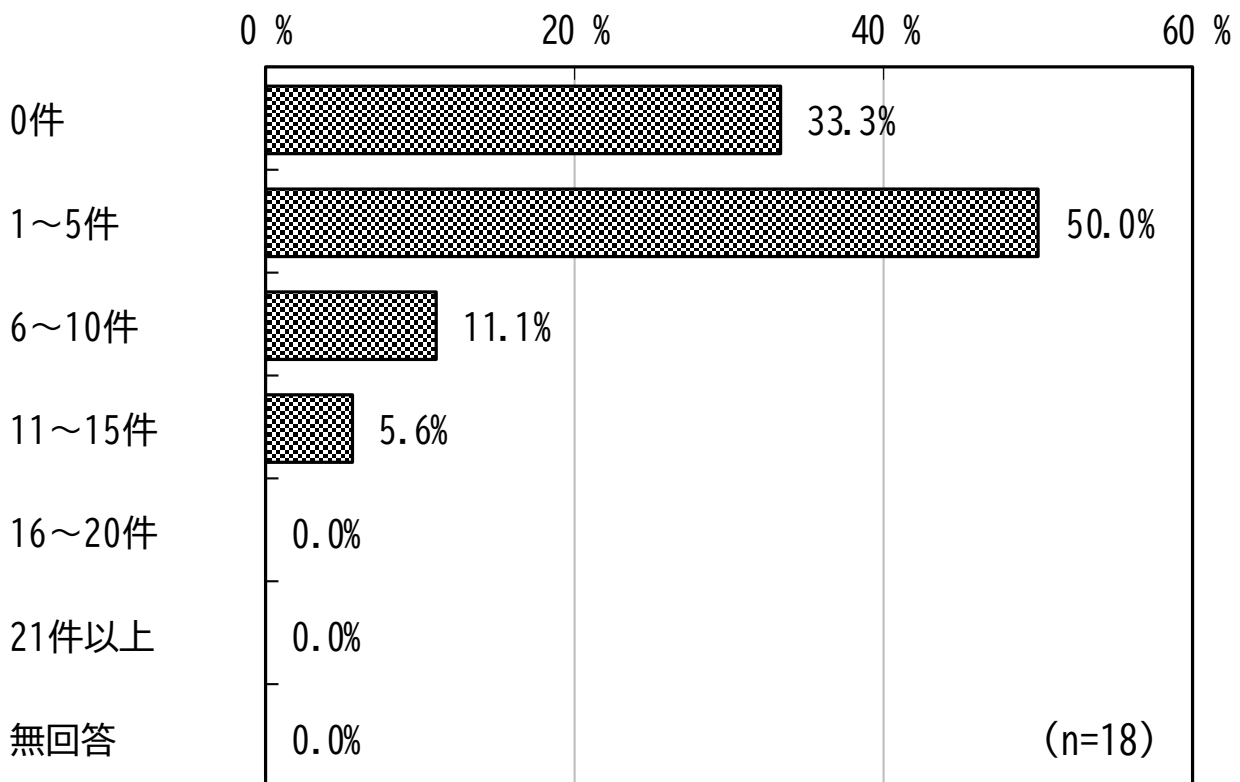
問6 貴事業所では、看取りを実施できますか（1つに○・数字を記入）

看取りの実施状況について、「実施できる」が81.8%、「実施できない」が13.6%となっている。



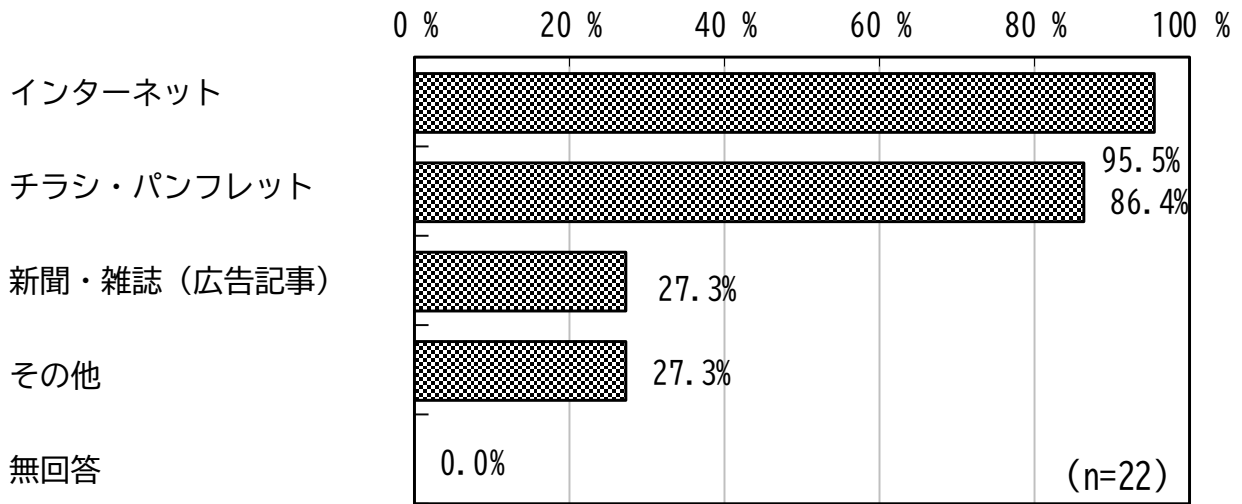
① 看取りを実施できる事業所のこの1年の実績

看取りを「実施できる」事業所において、この1年の実績として、「1～5件」が50.0%と最も高く、「0件」が33.3%、「6～10件」が11.1%、「11～15件」が5.6%、「16～20件」以上が0.0%となっている。



問7 貴事業所では、どのような方法で入居者の募集を行っていますか（いくつでも○）。

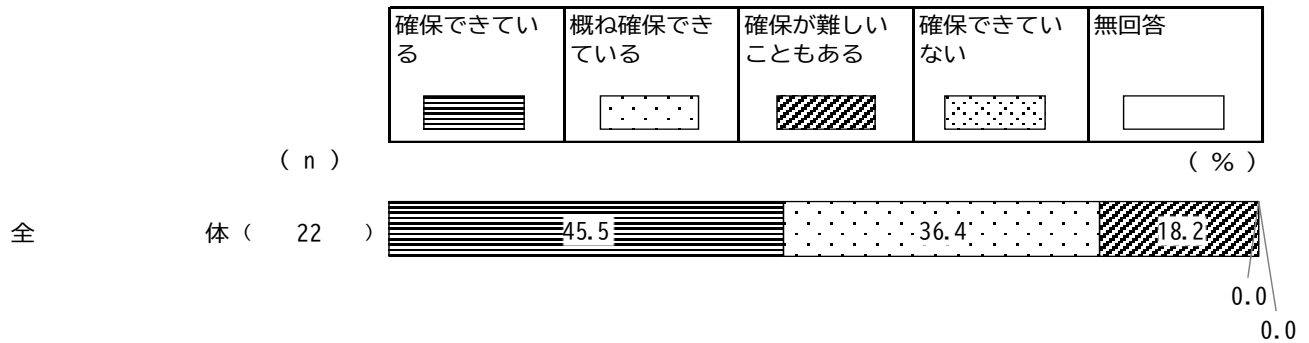
入居者の募集方法として、「インターネット」が95.5%と最も高く、「チラシ・パンフレット」が86.4%、「新聞・雑誌（広告記事）」が27.3%となっている。



(3) 人材確保について

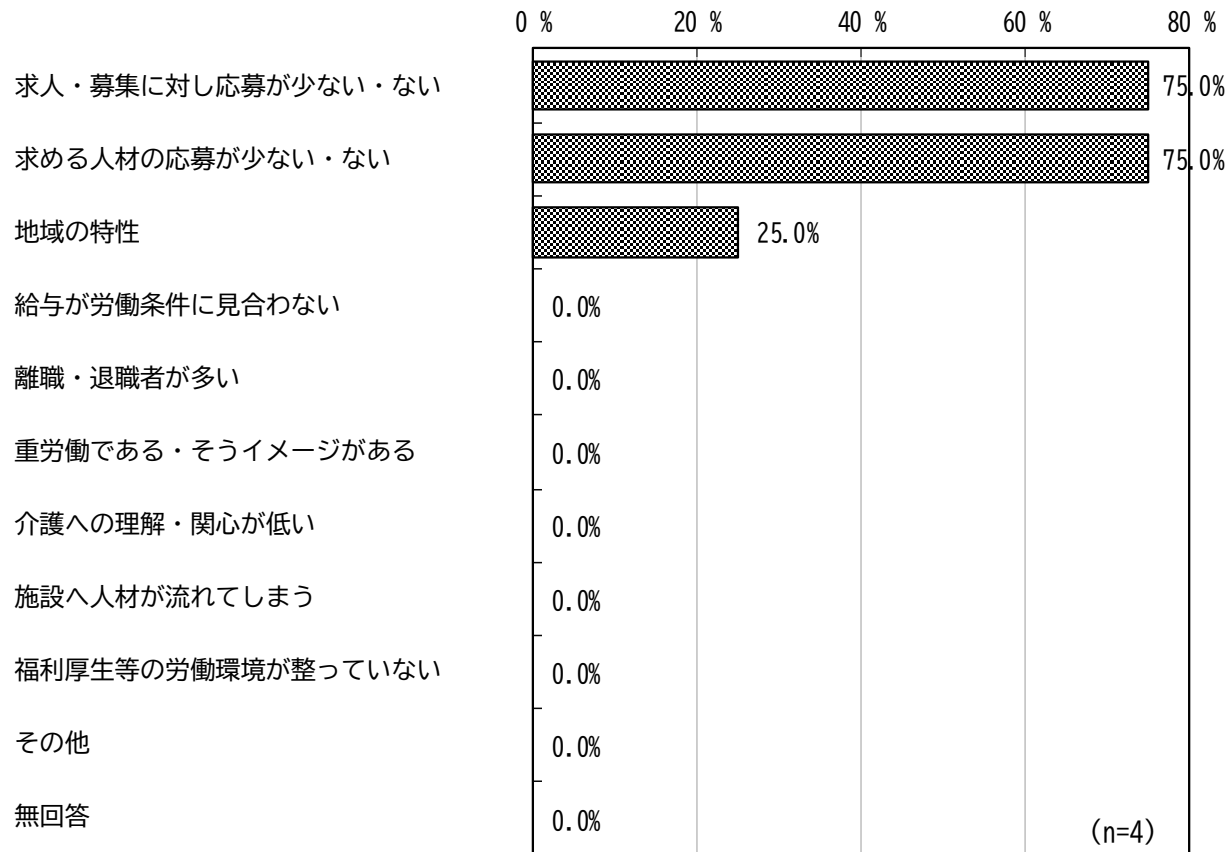
問8 貴事業所では、生活相談員等の人材は確保できていますか（1つに○）。

事業所の生活相談員等の人材について、「確保できている」が45.5%、「概ね確保できている」が36.4%、「確保が難しいこともある」が18.2%、「確保できていない」が0.0%となっている。



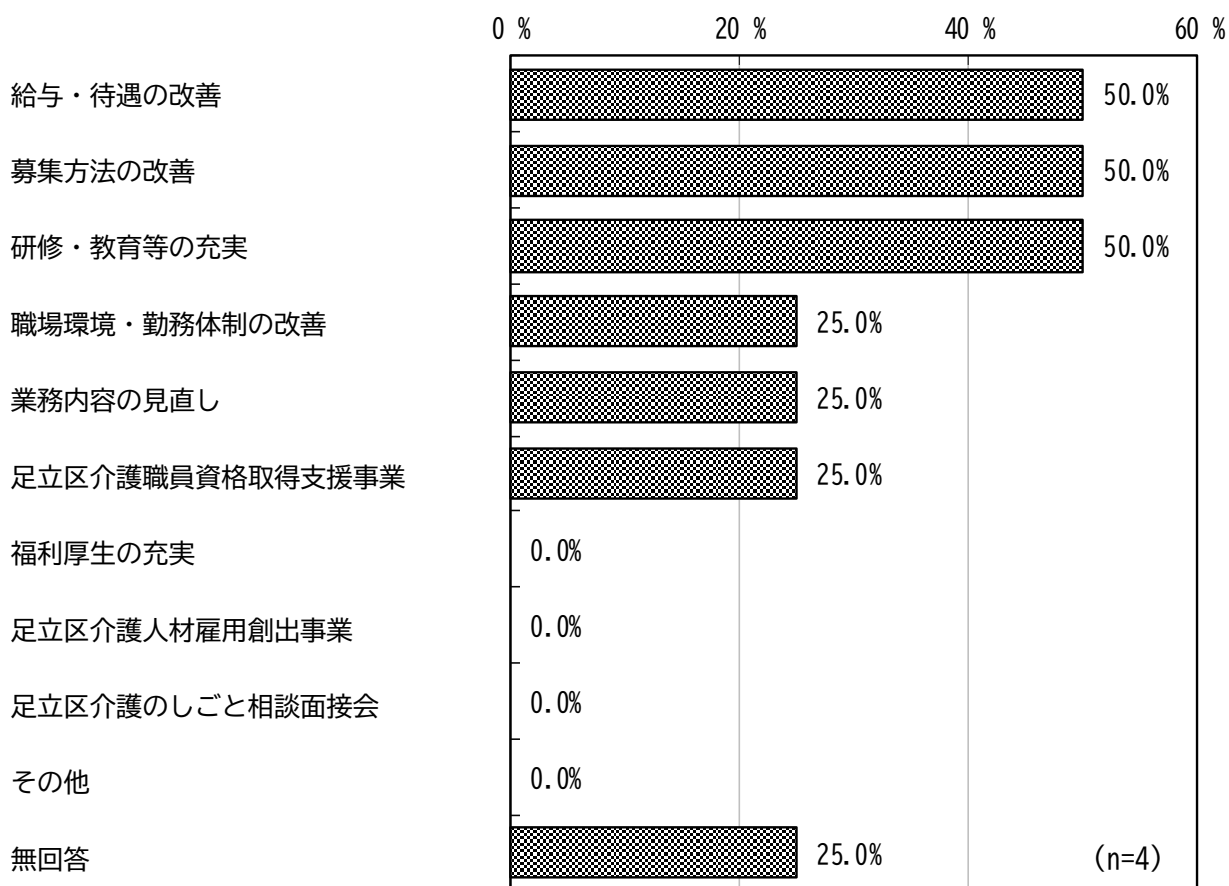
問8-1 その理由は何ですか（いくつでも○）。

生活相談員等の人材について、「確保が難しいこともある」または「確保できていない」と回答した事業所の、人材確保が難しい理由として、「求人・募集に対し応募が少ない・ない」「求める人材の応募が少ない・ない」が75.0%と最も高く、「地域の特性」が25.0%となっている。



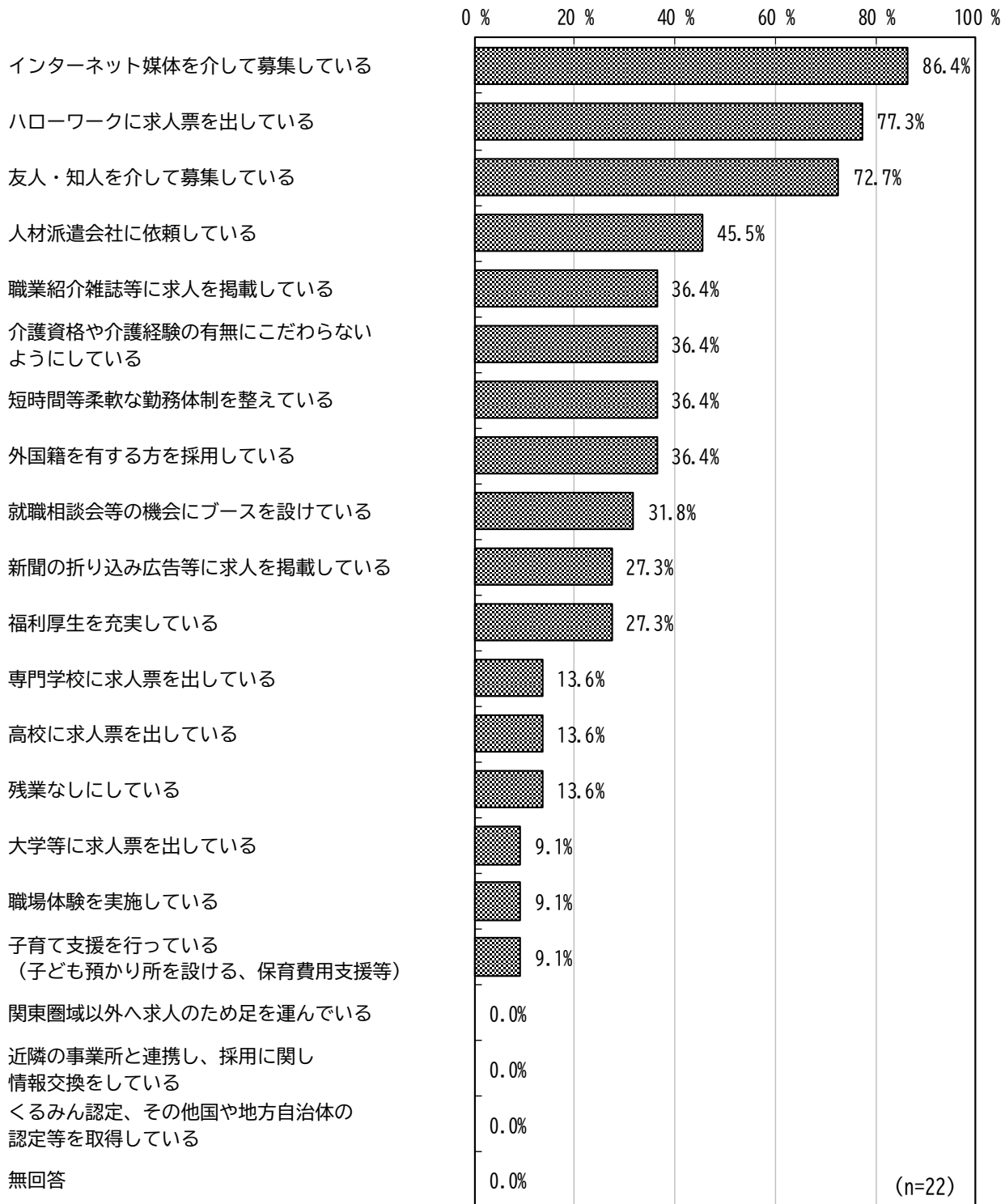
問8-2 人材確保支援策として有効だと思うものは何ですか（いくつでも○）。

生活相談員等の人材について、「確保が難しいこともある」または「確保できていない」と回答した事業所の、人材確保支援策として有効だと思うものについて、「給与・待遇の改善」「募集方法の改善」「研修・教育等の充実」が50.0%と最も高く、「職場環境・勤務体制の改善」「業務内容の見直し」「足立区介護職員資格取得支援事業」が25.0%、「福利厚生等の充実」「足立区介護人材雇用創出事業」「足立区介護のしごと相談面接会」が0.0%となっている。



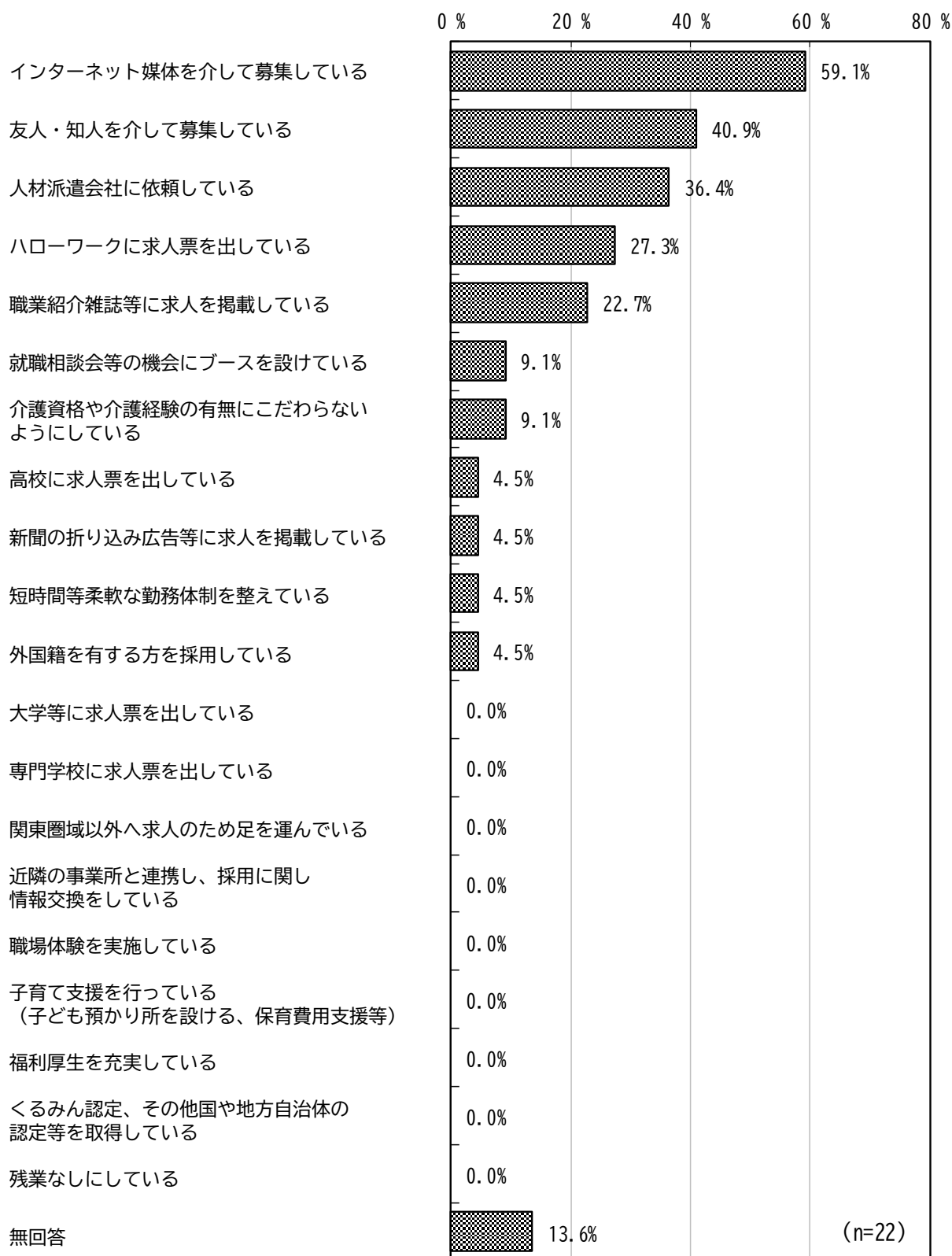
問9 貴事業所では、職員の募集（採用）にあたりどのような工夫を行っていますか（いくつでも○）。

事業所の職員募集の方法について、「インターネット媒体を介して募集している」が86.4%と最も高く、「ハローワークに求人票を出している」が77.3%、「友人・知人を介して募集している」が72.7%、「人材派遣会社に依頼している」が45.5%と続いている。



問9-1 問9の職員募集で効果のあったものは何ですか（3つまで数字を記入）。

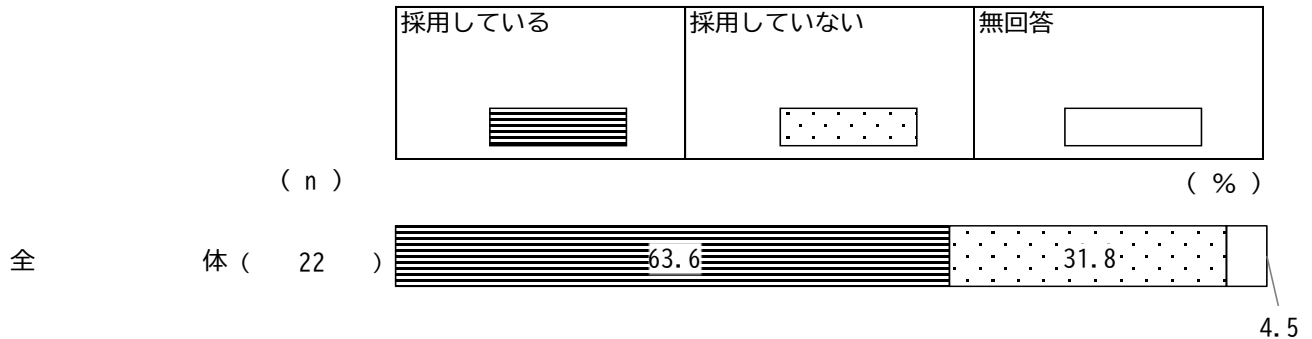
職員募集で効果のあったものとして、「インターネット媒体を介して募集している」が59.1%と最も高く、「友人・知人を介して募集している」が40.9%、「人材派遣会社に依頼している」が36.4%、「ハローワークに求人票を出している」が27.3%、「職業紹介雑誌等に求人を掲載している」が22.7%と続いている。





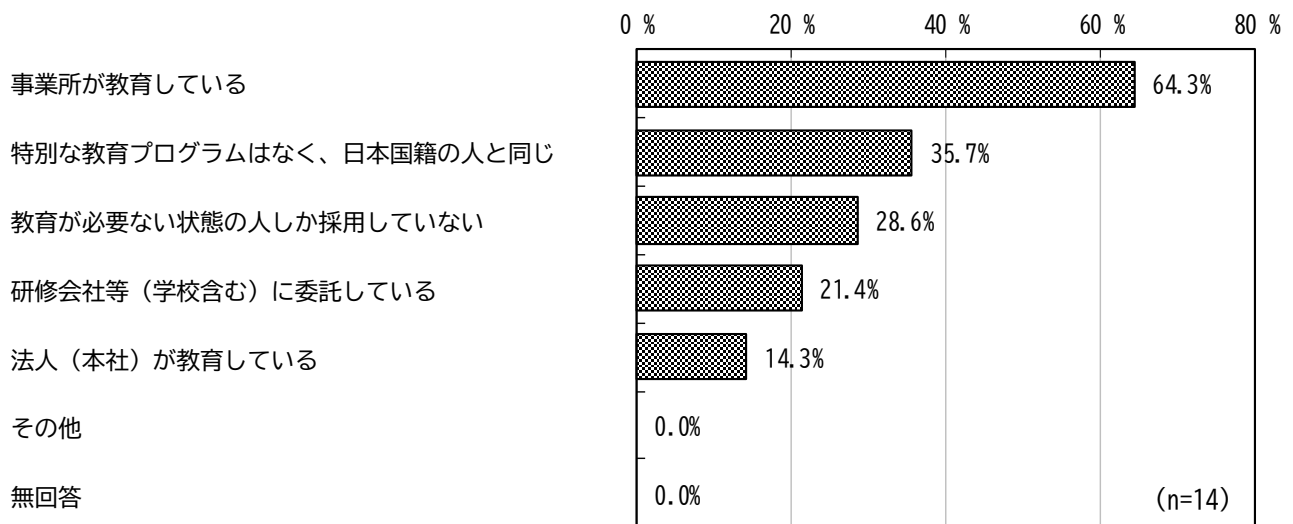
問10 貴事業者では、外国籍を有する方を積極的に採用していますか（1つに○）。

外国籍を有する方の採用について、積極的に「採用している」が63.6%、「採用していない」が31.8%となっている。



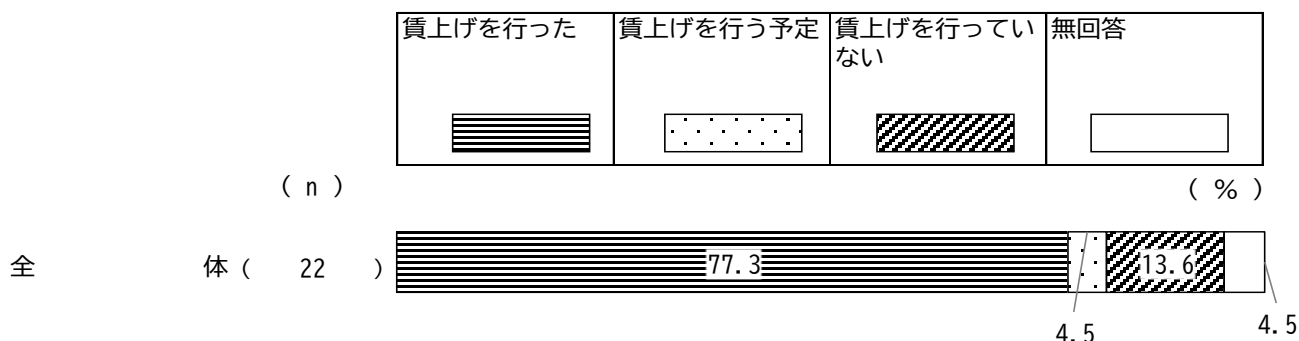
問10-1 外国籍を有する方を積極的に採用している場合、必要な教育はどのようにしていますか（いくつでも○）。

外国籍を有する方を積極的に「採用している」と回答した事業所の、必要な教育の実施状況について、「事業所が教育している」が64.3%と最も高く、「特別な教育プログラムはなく、日本国籍の人と同じ」が35.7%、「教育が必要ない状態の人しか採用していない」が28.6%、「研修会社等（学校含む）に委託している」が21.4%、「法人（本社）が教育している」が14.3%となっている。



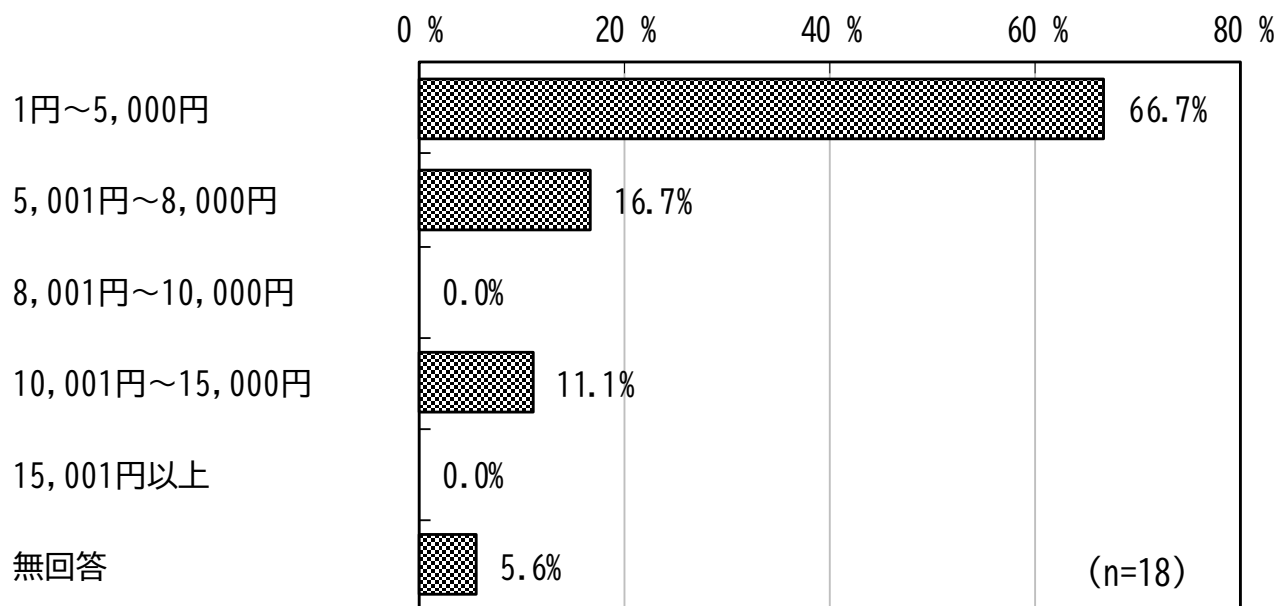
問11 貴事業所は今年度に賃上げを実施しましたか（1つに○）。

今年度の賃上げについて、「賃上げを行った」が77.3%と最も高く、「賃上げを行っていない」が13.6%、「賃上げを行う予定」が4.5%となっている。



問11-1 職員1人あたりの賃上げ平均額は月額（換算）でいくらですか（1つに○）。

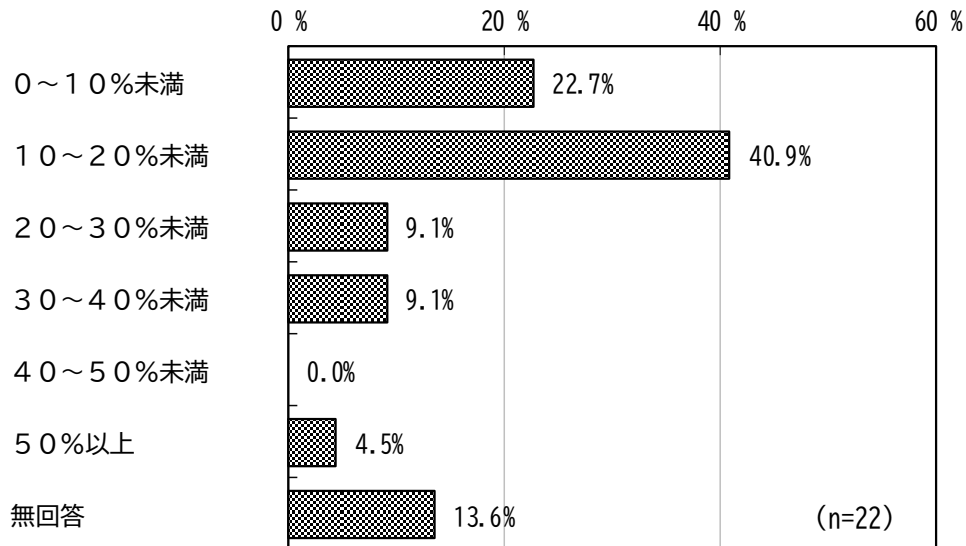
「賃上げを行った」または「賃上げを行う予定」と回答した事業所の、職員1人あたりの賃上げ平均額について、「1円～5,000円」が66.7%と最も高く、「5,001円～8,000円」が16.7%、「10,001円～15,000円」が11.1%、「8,001円～10,000円」「15,001円以上」が0.0%となっている。



問12 令和3年(1月~12月)の入職率と離職率についてお答えください  
(それぞれ1つに○)。

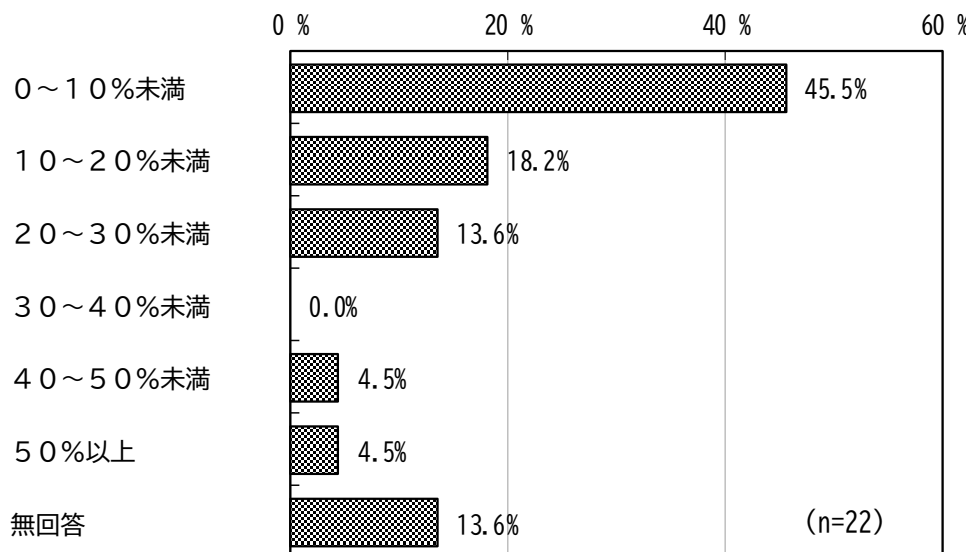
### ① 正規職員 入職率

令和3年(1月から12月)の正規職員の入職率について、「10~20%未満」が40.9%と最も高く、「0~10%未満」が22.7%、「20~30%未満」が9.1%、「30~40%未満」が9.1%、「50%以上」が4.5%、「40~50%未満」が0.0%となっている。



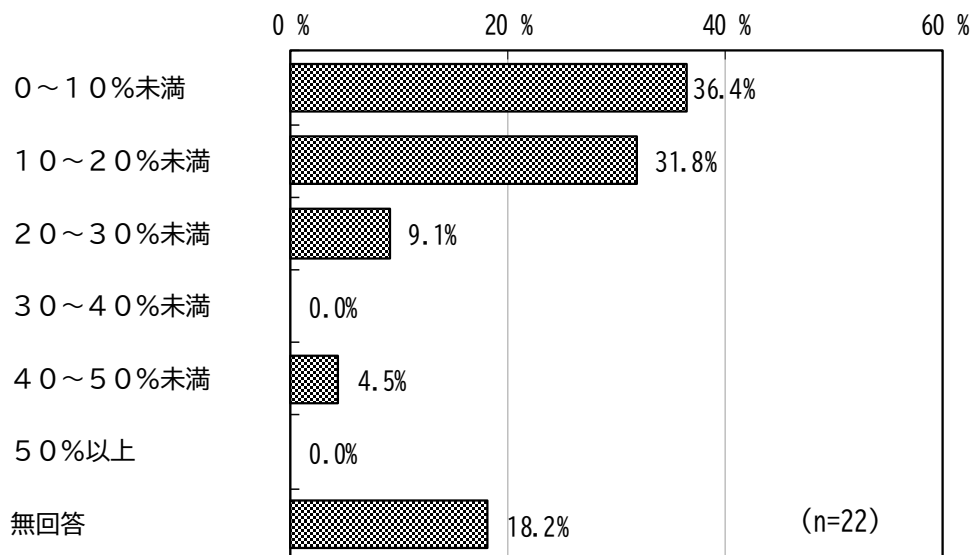
### ② 正規職員 離職率

令和3年(1月から12月)の正規職員の離職率について、「0~10%未満」が45.5%と最も高く、「10~20%未満」が18.2%、「20~30%未満」が13.6%、「40~50%未満」「50%以上」が4.5%、「30~40%未満」が0.0%となっている。



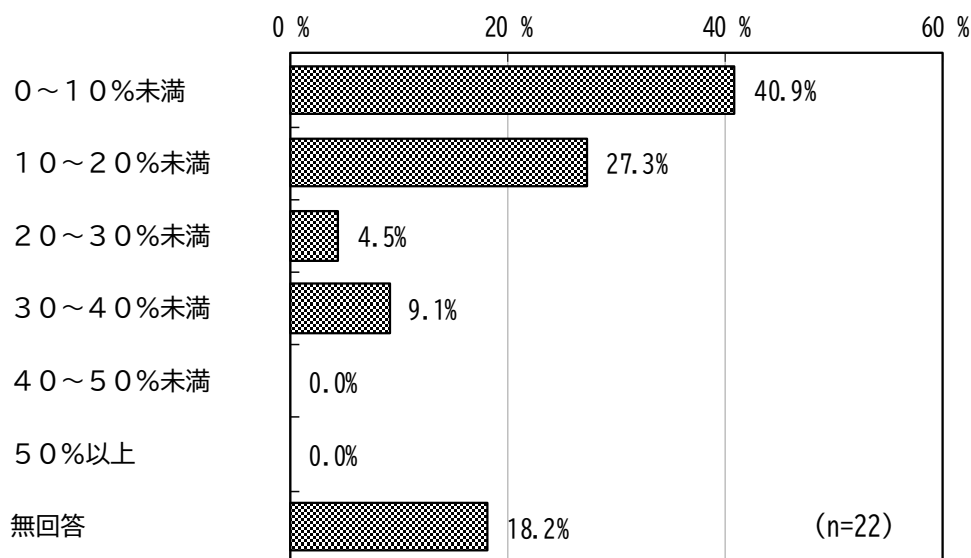
③ 非正規職員 入職率

令和3年(1月から12月)の非正規職員の入職率について、「0～10%未満」が36.4%と最も高く、「10～20%未満」が31.8%、「20～30%未満」が9.1%、「40～50%未満」が4.5%、「30～40%未満」「50%以上」が0.0%となっている。



④ 非正規職員 離職率

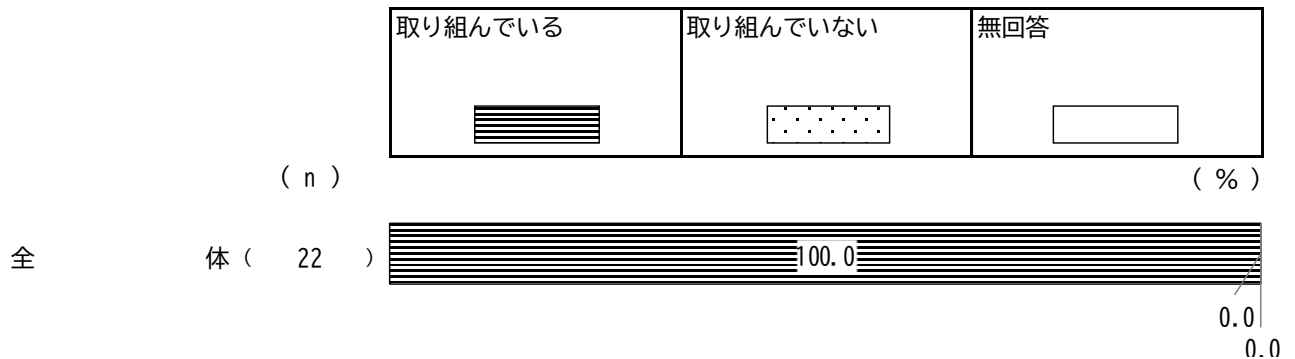
令和3年(1月から12月)の非正規職員の離職率について、「0～10%未満」が40.9%と最も高く、「10～20%未満」が27.3%、「30～40%未満」が9.1%、「20～30%未満」が4.5%、「40～50%未満」「50%以上」が0.0%となっている。



(4) 職員研修・相談内容について

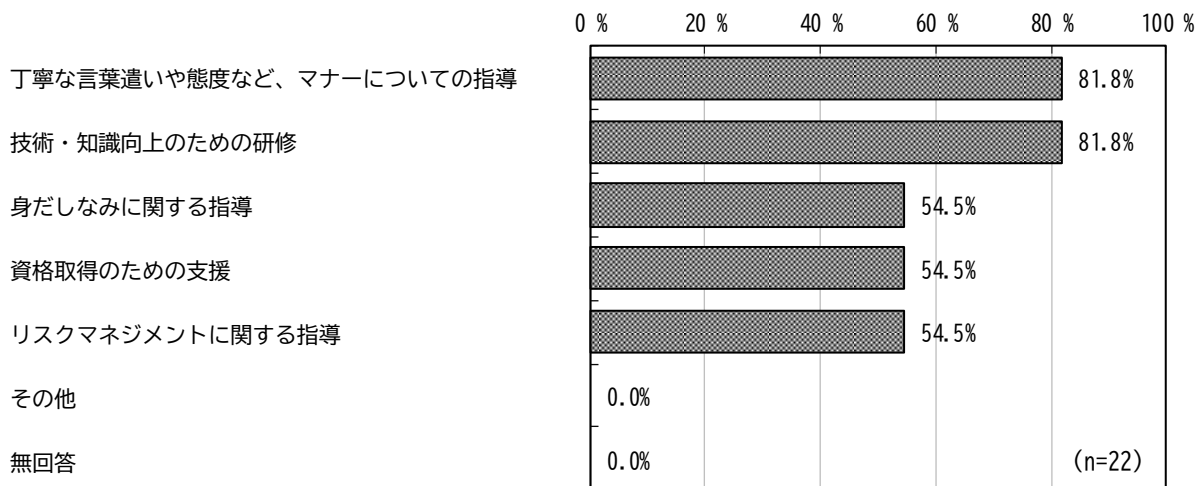
問13 職員の教育に取り組んでいますか(1つに○)。

職員の教育について、「取り組んでいる」が100.0%となっている。



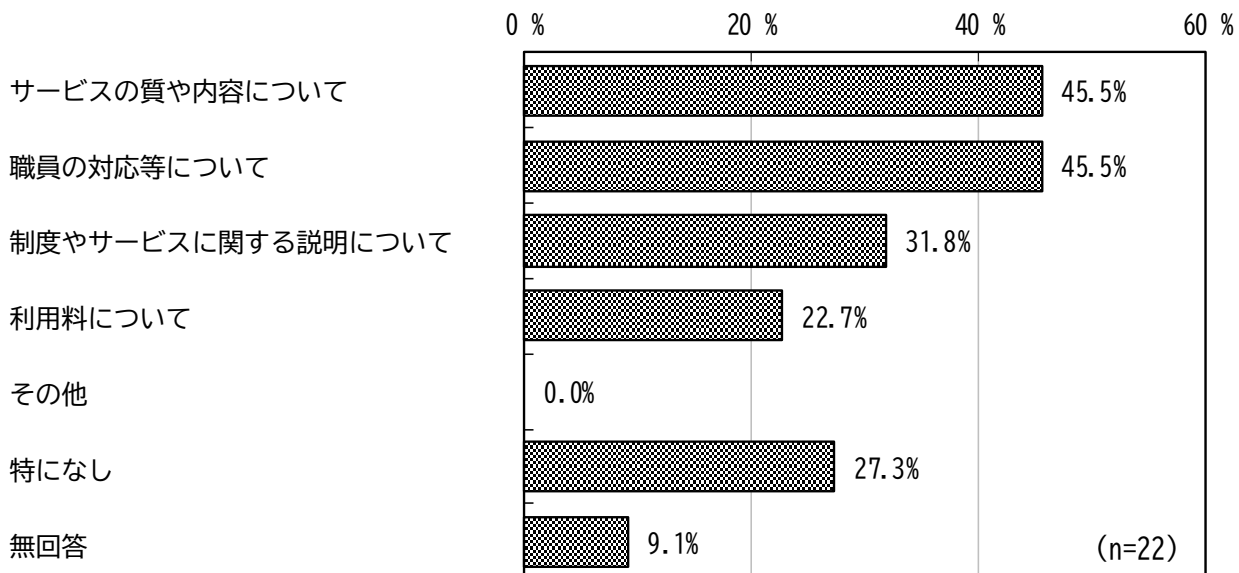
問13-1 貴事業所では、職員教育にあたり、どのような点に力を入れていますか(いくつでも○)。

職員教育で力を入れている点について、「丁寧な言葉遣いや態度など、マナーについての指導」「技術・知識向上のための研修」が81.8%と最も高く、「身だしなみに関する指導」「資格取得のための支援」「リスクマネジメントに関する指導」が54.5%となっている。



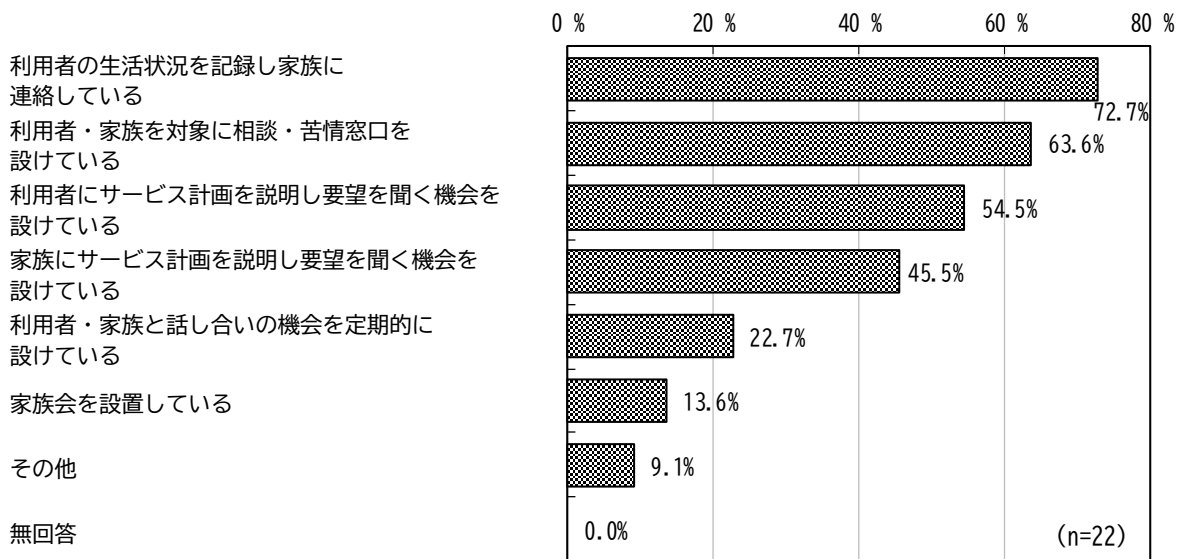
問14 令和3年度以降、利用者やその家族からどのような要望・苦情がありましたか  
(いくつでも○)。

令和3年度以降、利用者やその家族から受けた要望・苦情について、「サービスの質や内容について」「職員の対応等について」が45.5%と最も高く、「制度やサービスに関する説明について」が31.8%、「利用料について」が22.7%となっている。また「特になし」が27.3%となっている。



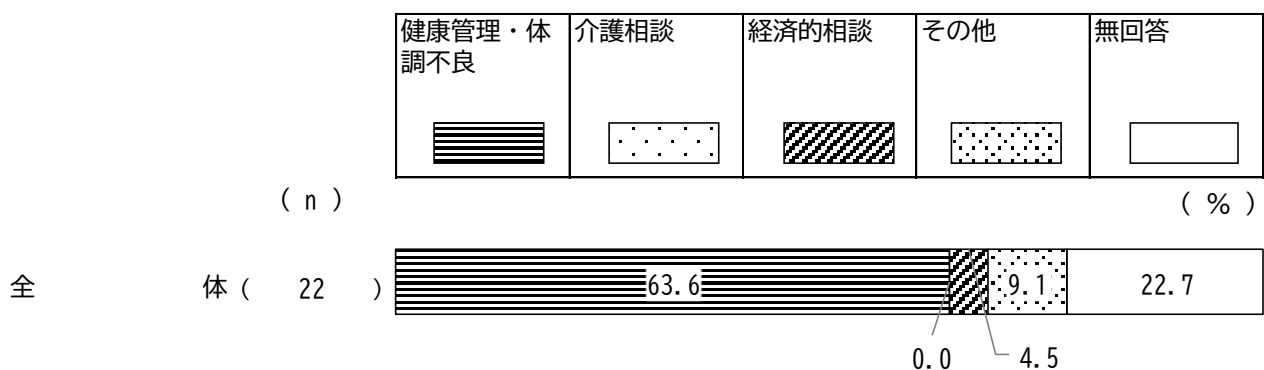
問15 利用者や家族の要望を積極的に取り入れるため、次の取り組みを行っていますか（いくつでも○）。

利用者や家族の要望を積極的に取り入れるための取り組みとして、「利用者の生活状況を記録し家族に連絡している」が72.7%と最も高く、「利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている」が63.6%、「利用者にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている」が54.5%、「家族にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている」が45.5%、「利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている」が22.7%、「家族会を設置している」が13.6%となっている。



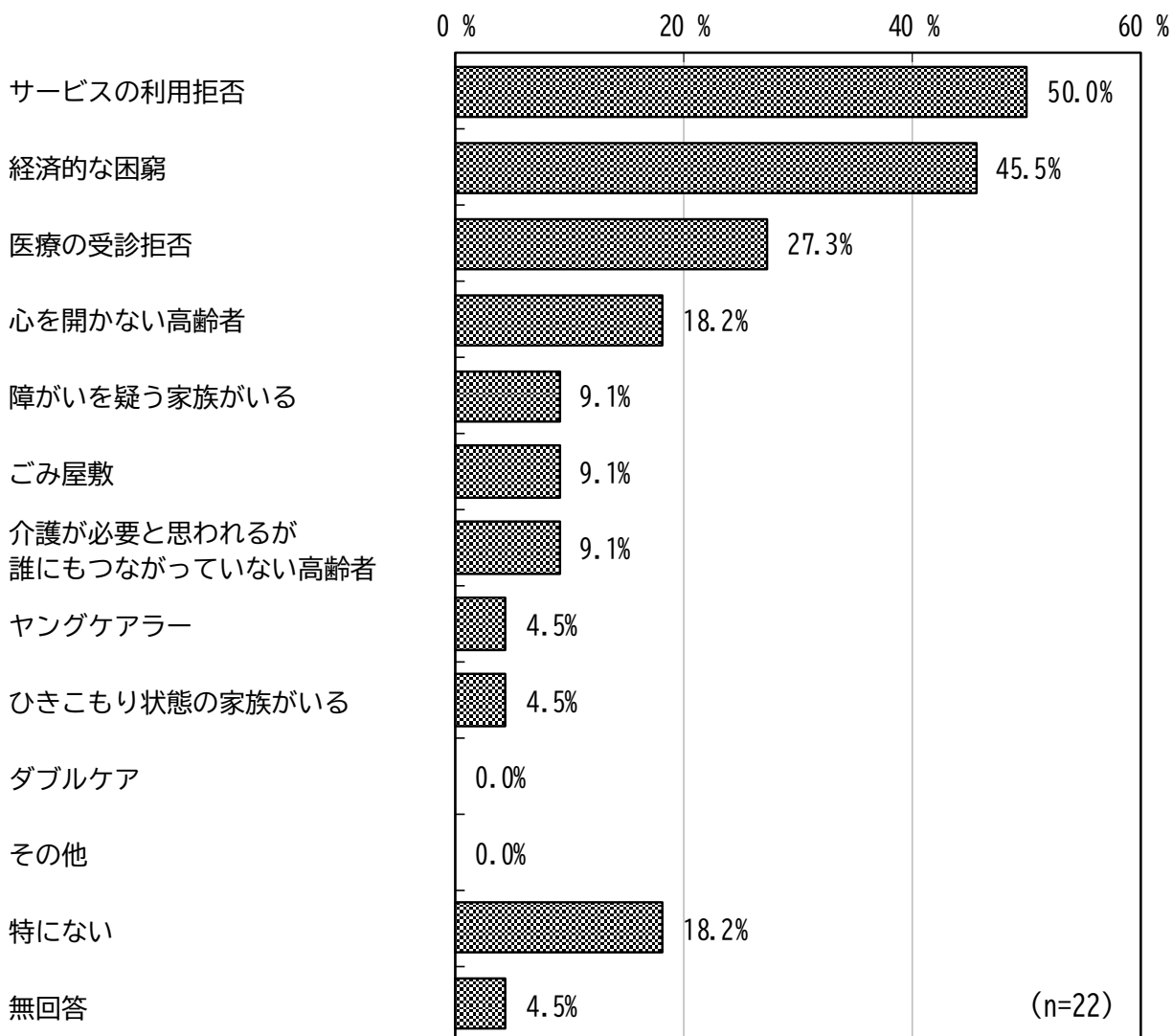
問16 入居者から多い生活相談をお教えてください（1つに○）。

入居者からの生活相談について、「健康管理・体調不良」が63.6%と最も高く、「経済的相談」が4.5%、「介護相談」が0.0%となっている。



問17 利用者へのサービス提供を行う中で、気になる相談を受けたり、対応困難な事例に遭遇したことがありますか（いくつでも○）。

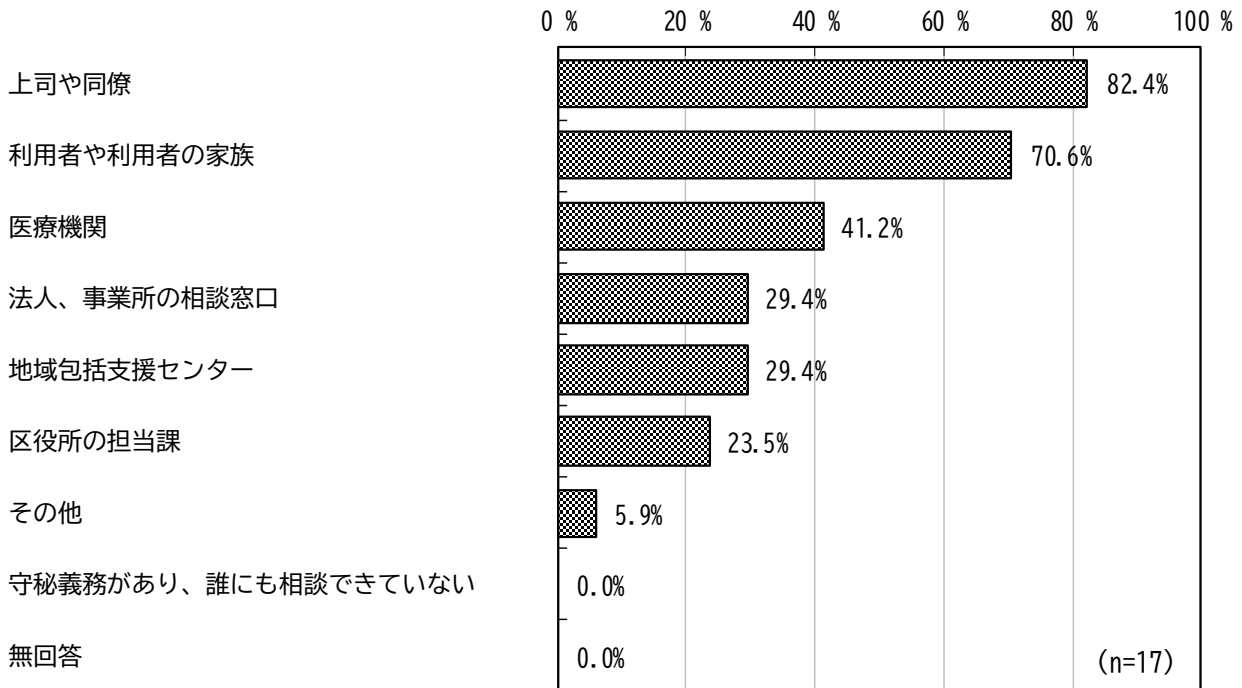
利用者へのサービス提供を行う中で受けた気になる相談や遭遇した対応困難な事例について、「サービスの利用拒否」が50.0%と最も高く、「経済的な困窮」が45.5%、「医療の受診拒否」が27.3%、「心を開かない高齢者」が18.2%、「障がいを疑う家族がいる」「ごみ屋敷」「介護が必要と思われるが誰にもつながっていない高齢者」が9.1%、「ヤングケアラー」「ひきこもり状態の家族がいる」が4.5%、「ダブルケア」が0.0%となっている。また「特にない」が18.2%となっている。





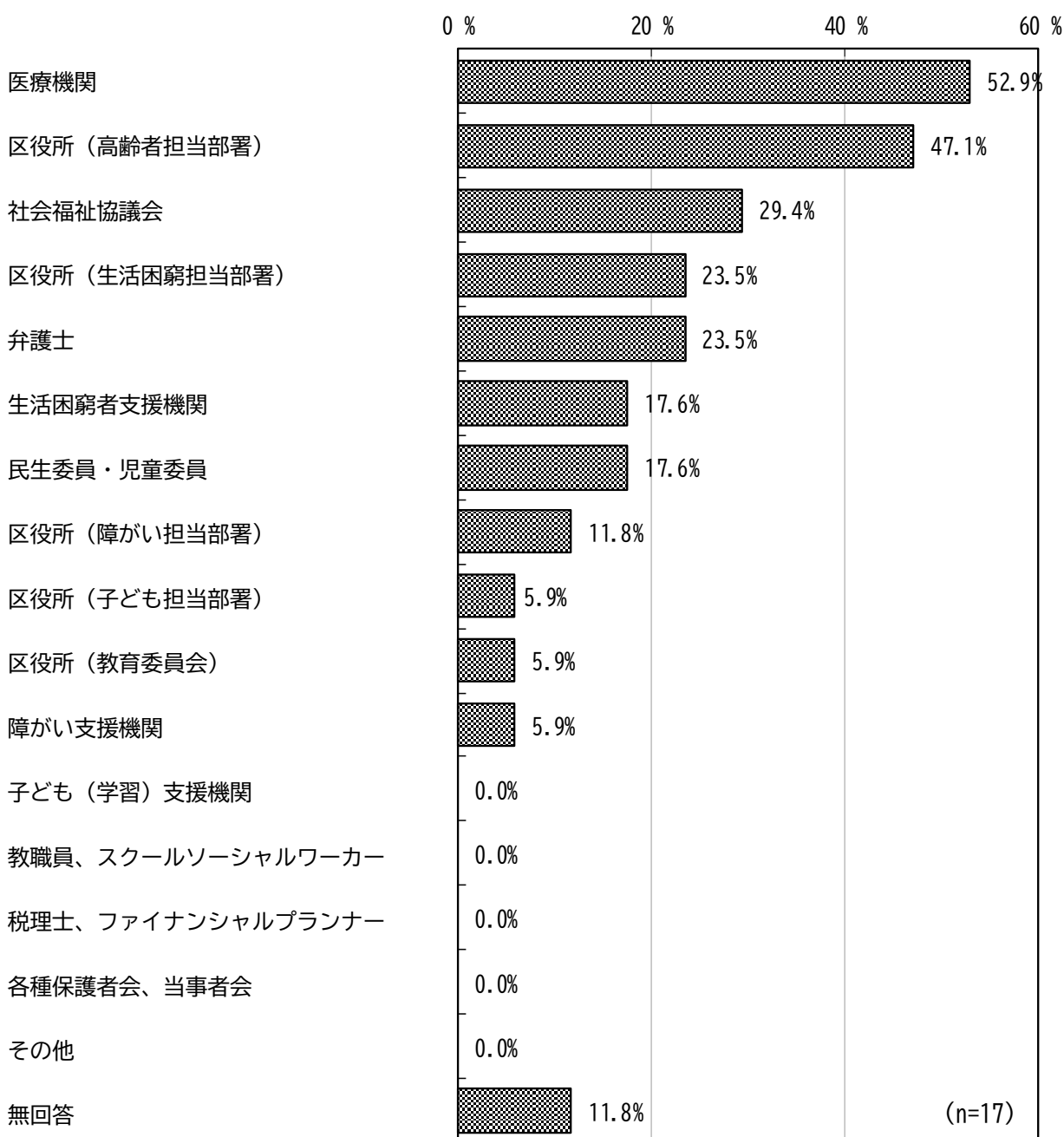
## 問17-1 気になった相談や困難事例を誰に相談していますか（いくつでも○）。

気になった相談や困難事例の相談先について、「上司や同僚」が82.4%と最も高く、「利用者や利用者の家族」が70.6%、「医療機関」が41.2%、「法人、事業所の相談窓口」「地域包括支援センター」が29.4%、「区役所の担当課」が23.5%となっている。また「守秘義務があり、誰にも相談できていない」が0.0%となっている。



問17-2 気になった相談や困難事例の対応にあたり、誰と連携したいと思いますか  
(いくつでも○)。

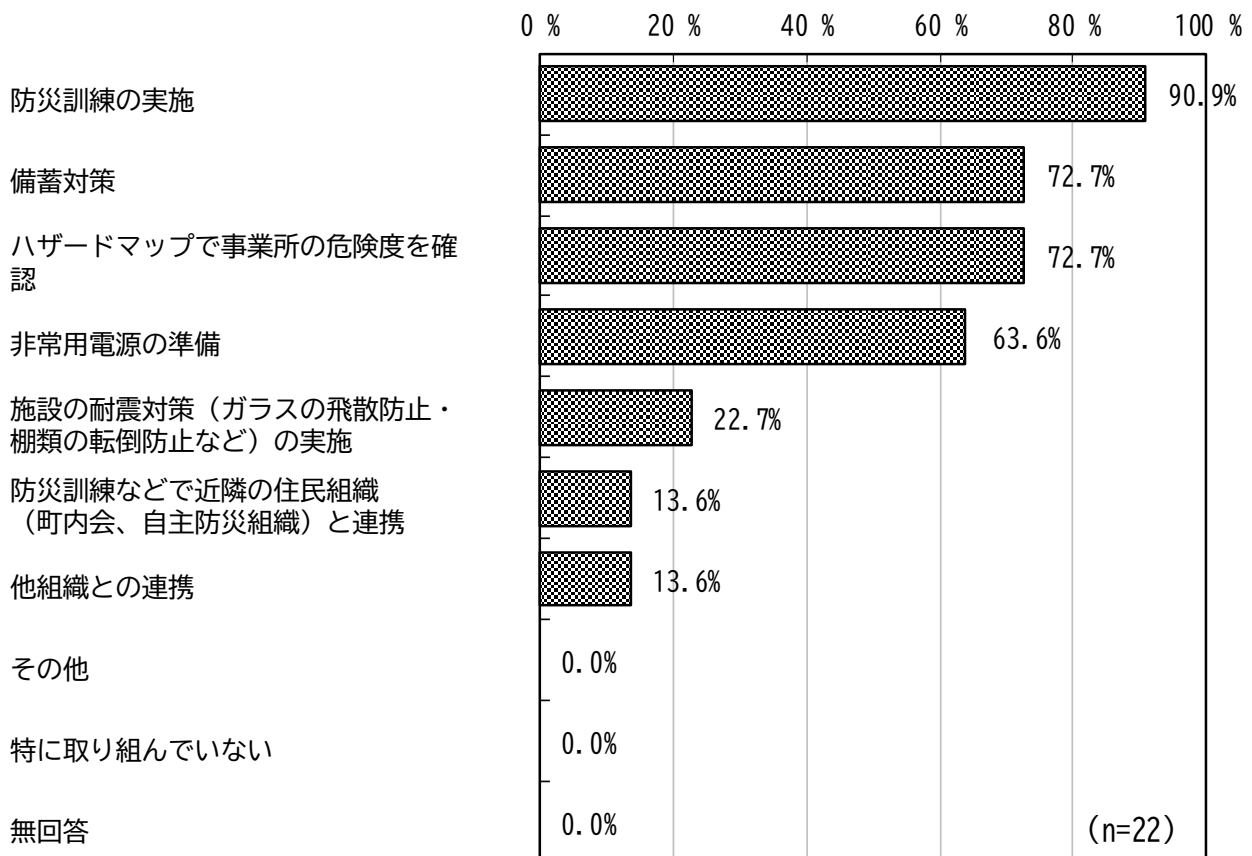
気になった相談や困難事例の対応にあたり連携したいと思う先について、「医療機関」が52.9%と最も高く、「区役所(高齢者担当部署)」が47.1%、「社会福祉協議会」が29.4%、「区役所(生活困窮担当部署)」「弁護士」が23.5%、「生活困窮者支援機関」「民生委員・児童委員」が17.6%、「区役所(障がい担当部署)」が11.8%、「区役所(子ども担当部署)」「区役所(教育委員会)」「障がい支援機関」が5.9%、「子ども(学習)支援機関」「教職員、スクールソーシャルワーカー」「税理士、ファイナンシャルプランナー」「各種保護者会、当事者会」が0.0%となっている。



## (5) 災害対応について

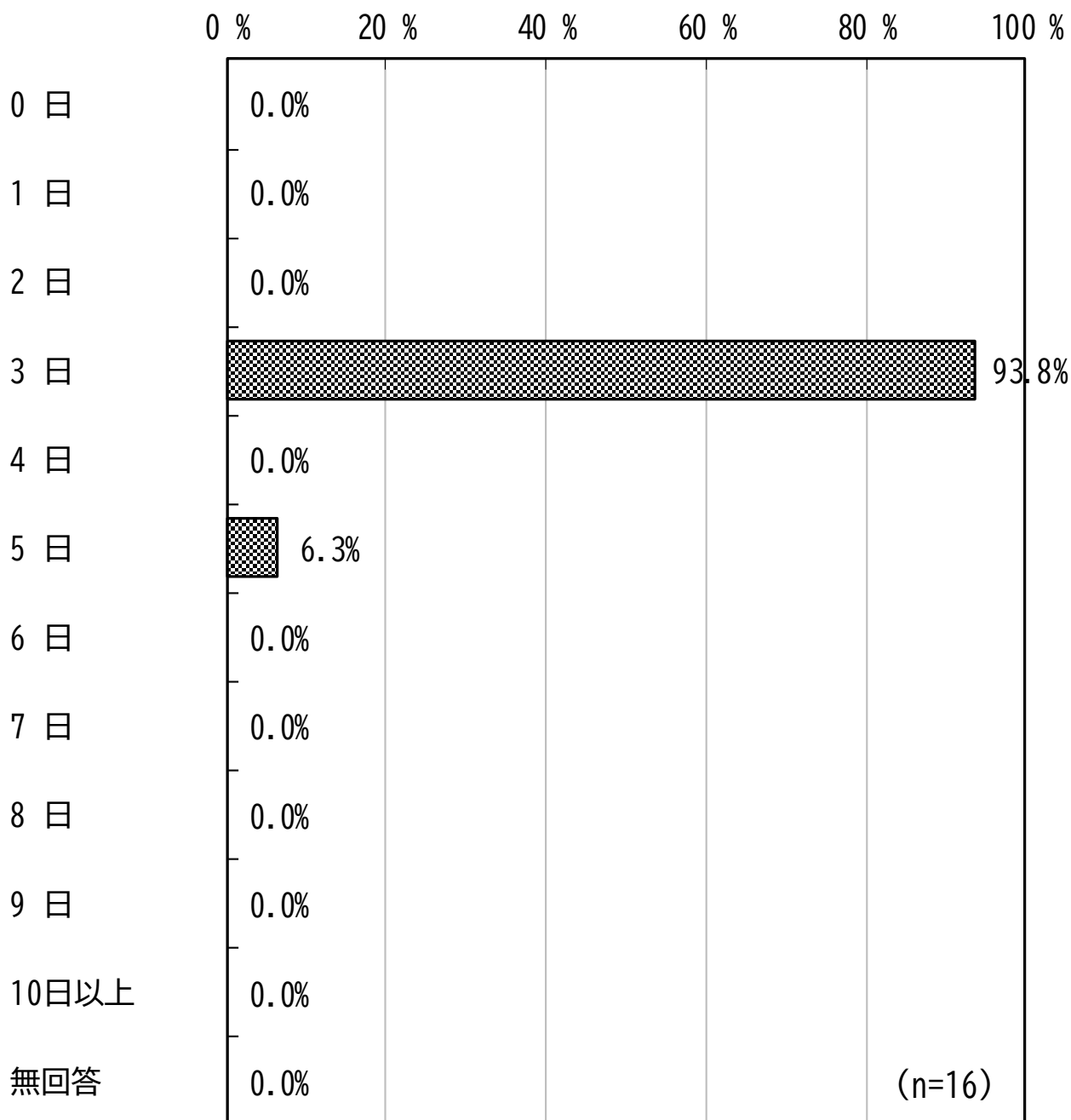
問18 貴事業所が行っている有事(感染症や自然災害)を想定した平時の備えについて、お答えください(いくつでも○)。

事業所における有事(感染症や自然災害)を想定した平時の備えについて、「防災訓練の実施」が90.9%と最も高く、「備蓄対策」「ハザードマップで事業所の危険度を確認」が72.7%、「非常用電源の準備」が63.6%、「施設の耐震対策(ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など)の実施」が22.7%、「防災訓練などで近隣の住民組織(町内会、自主防災組織)と連携」「他組織との連携」が13.6%となっている。また「特に取り組んでいない」が0.0%となっている。



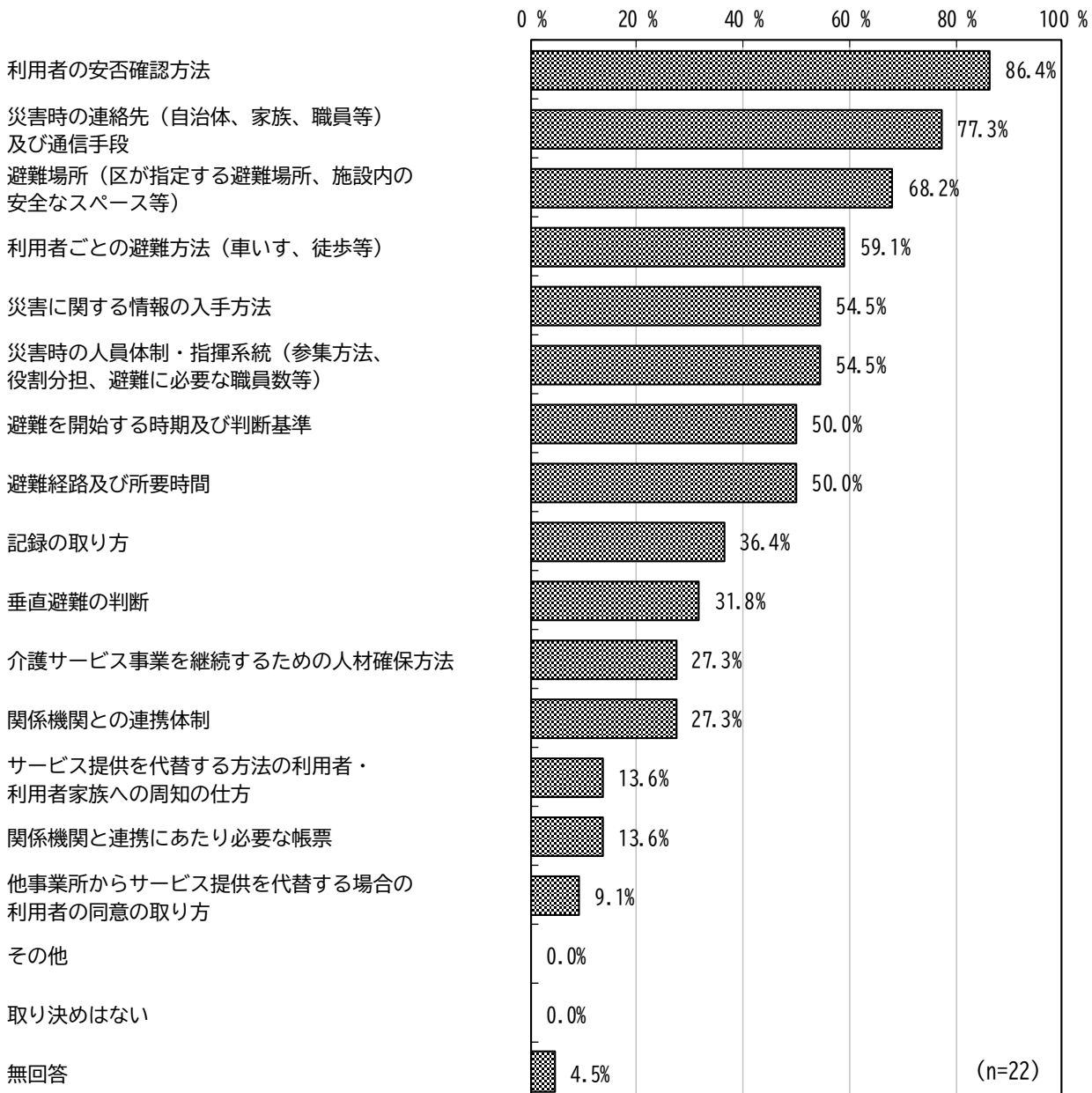
問18-1 備蓄は定員および職員あわせて何日分準備していますか（数字を記入）。

「備蓄対策」と回答した事業所の、事業所における災害時の備蓄を定員および職員をあわせて準備している日数は、「3日」が93.8%と最も高く、「5日」が6.3%となっている。



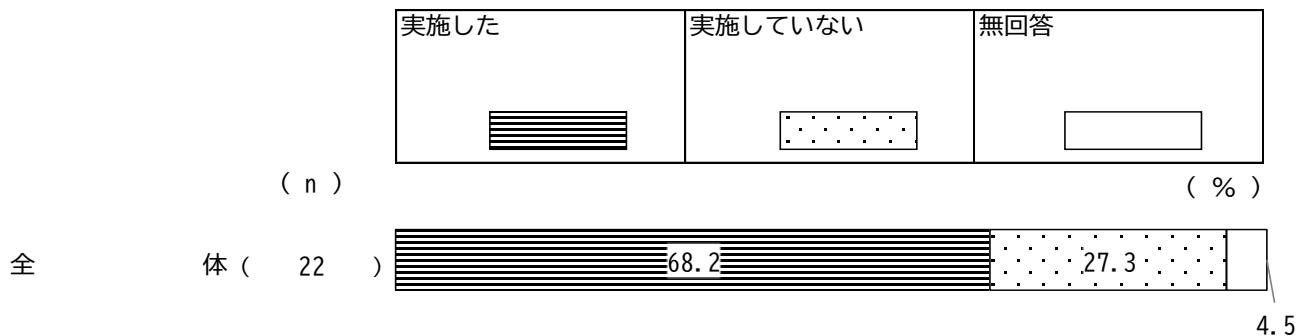
問19 有事（感染症や自然災害）が発生した際に貴事業所で取り決められている内容について、お答えください（いくつでも○）。

有事（感染症や自然災害）が発生した際に事業所で取り決められている内容について、「利用者の安否確認方法」が86.4%と最も高く、「災害時の連絡先（自治体、家族、職員等）及び通信手段」が77.3%、「避難場所（区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等）」が68.2%、「利用者ごとの避難方法（車いす、徒歩等）」が59.1%、「災害に関する情報の入手方法」「災害時の人員体制・指揮系統（参集方法、役割分担、避難に必要な職員数等）」が54.5%と続いている。また「取り決めはない」が0.0%となっている。



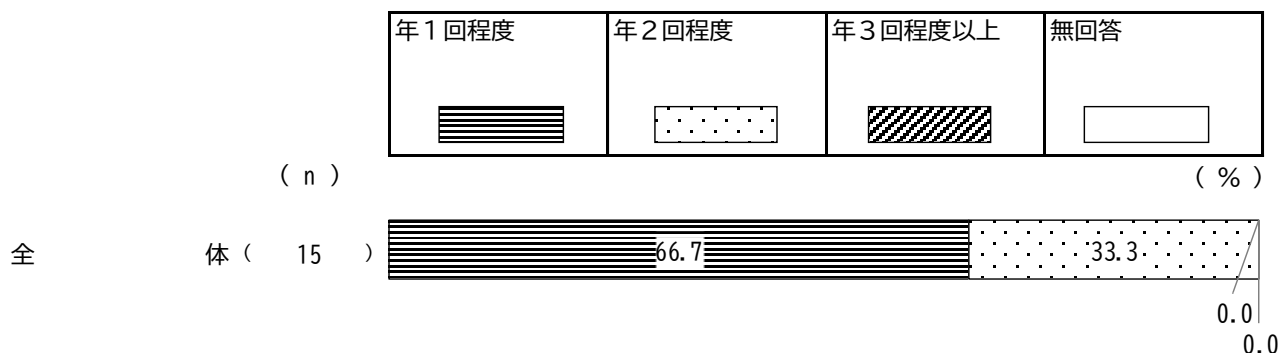
問20 貴事業所は令和3・4年に水害を含む避難訓練を実施しましたか。  
(1つに○・数字を記入)。

令和3年・4年における水害を含む避難訓練について、「実施した」が68.2%、「実施していない」が27.3%となっている。



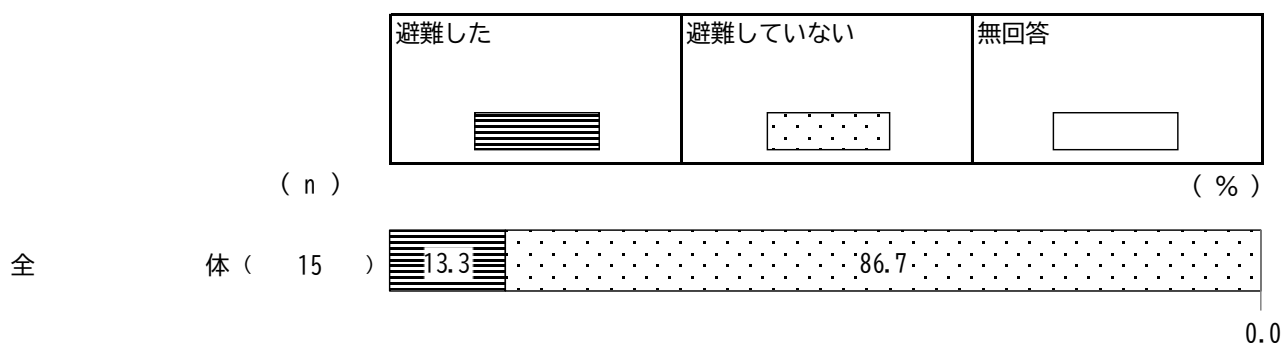
① 水害を含む避難訓練を実施した事業所の年間実施回数 (数字で記入)

水害を含む避難訓練について、実施した事業所の実施回数は、「年1回程度」が66.7%と最も高く、「年2回程度」が33.3%、「年3回程度以上」が0.0%となっている。



問20-1 実施した避難訓練に介護度の最も重い方は参加しましたか (実際に避難しましたか) (1つに○)。

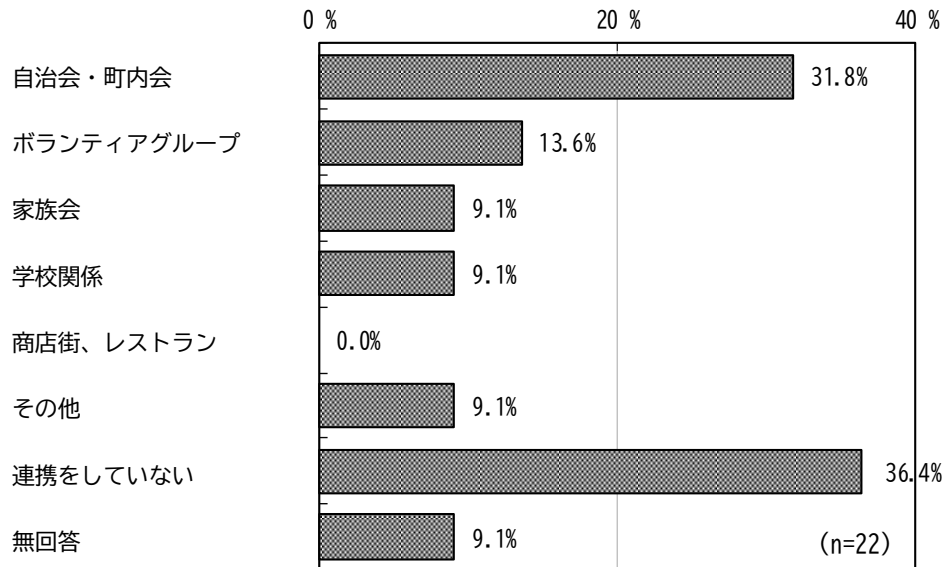
介護度の最も重い方の避難訓練への参加について、「避難した」が13.3%、「避難していない」が86.7%となっている。



## (6) 地域連携・その他について

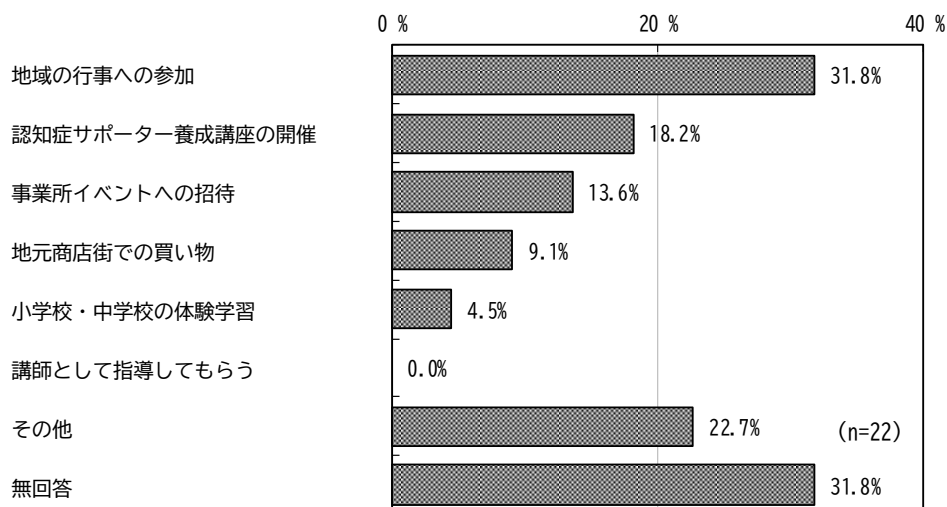
## 問21 地域のどのような組織と連携をしていますか (いくつでも○)。

地域の連携先として、「自治会・町内会」が31.8%と最も高く、「ボランティアグループ」が13.6%、「家族会」「学校関係」が9.1%、「商店街、レストラン」が0.0%となっている。また「連携をしていない」が36.4%となっている。



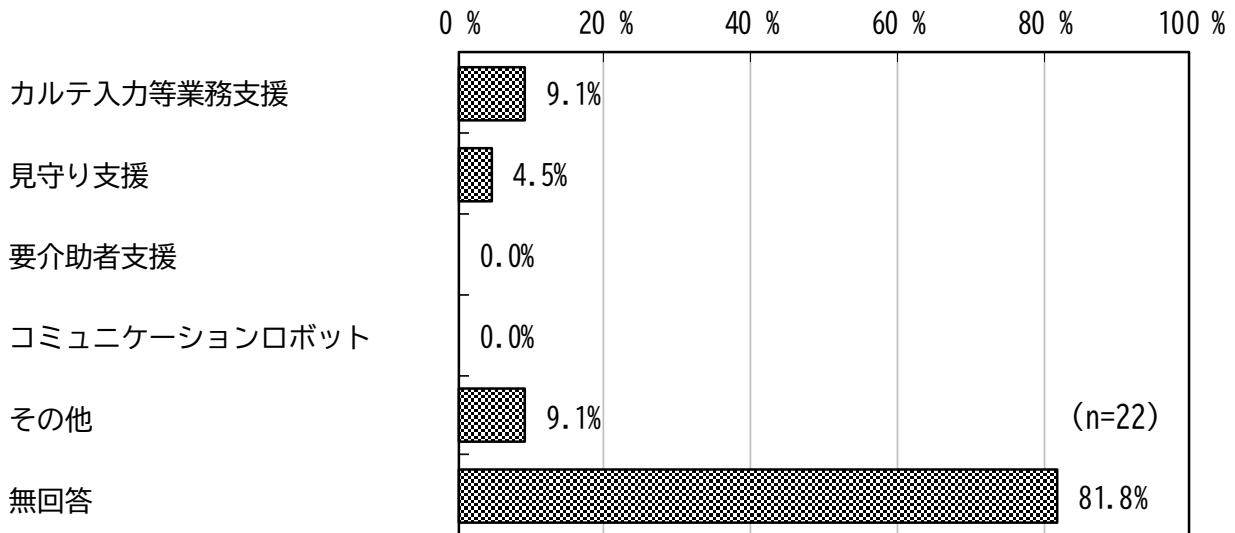
## 問22 地域とどのような連携をしていますか (いくつでも○)。

地域との連携方法として、無回答を除くと、「地域の行事への参加」が31.8%と最も高く、「認知症サポーター養成講座の開催」が18.2%、「事業所イベントへの招待」が13.6%、「地元商店街での買い物」が9.1%、「小学校・中学校の体験学習」が4.5%、「講師として指導してもらう」が0.0%となっている。



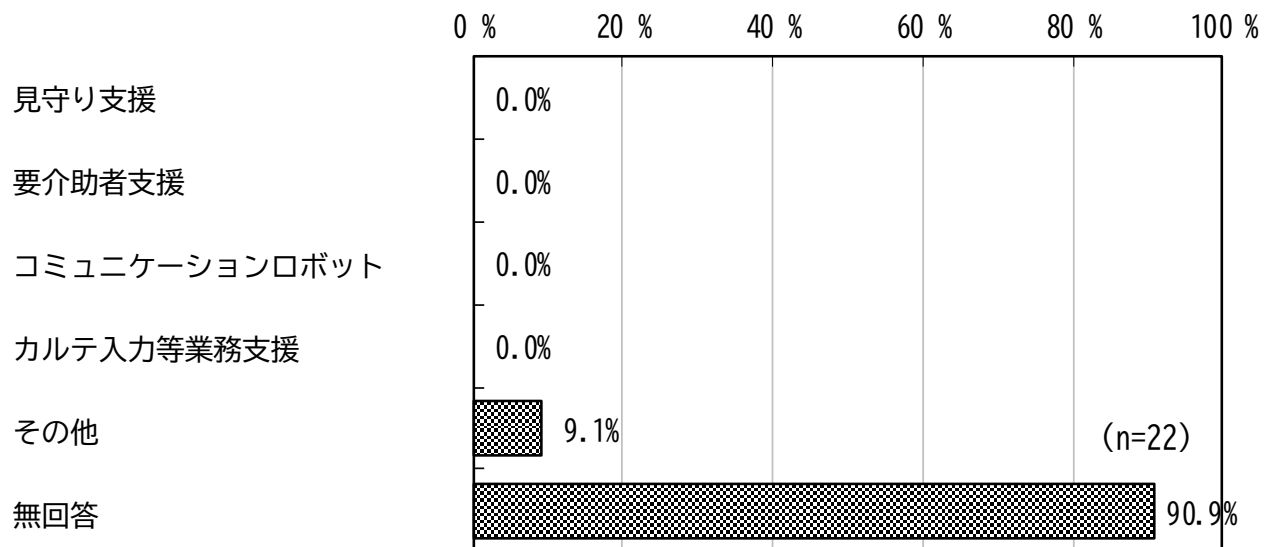
問23 ロボット・IoTについて導入をされていますか（いくつでも○）。

ロボット・IoTの導入状況について、「カルテ入力等業務支援」が9.1%と最も高く、「見守り支援」が4.5%、「要介助者支援」「コミュニケーションロボット」が0.0%となっている。



問24 ロボット・IoTについて導入を検討していますか（いくつでも○）。

ロボット・IoTの検討状況について、「見守り支援」「要介助者支援」「コミュニケーションロボット」「カルテ入力等業務支援」が0.0%となっている。





問25 現在、事務負担はどの程度ですか（1つに○）。

現在の事務負担について、「とても重い」「少し重い」が45.5%、「重たくない」が0.0%となっている。

